2026年度

シラバス 外国語学部

Faculty of Languages and Cultures

明海大学

2026年度

シラバス

外国語学部

Faculty of Languages and Cuotures

共通科目（基礎教育・人間力形成教育・キャリア形成教育・特別科目）

専門科目（専門基礎・ILP・日本語学科・英米語学科・中国語学科・グローバル・スタディーズ関連科目）

教職課程科目

目　次

共 通 科 目

基礎教育

学修の基礎Ⅰ …… 相川野々香 12
阿方由紀枝 12
稲田　環菜 12
遠藤　信一 12
大黒　章子 12
佐々木文彦 12
杉浦　雄策 12
高野　紀子 12
中村　元紀 12
萩尾由貴子 12
濱﨑あゆみ 12
遠藤　信一 14
佐々木文彦 14
学修の基礎Ⅱ …… 小野寺樹璃 16
髙橋　眞人 16
髙橋亜里沙 16
高柳　奈月 16
富樫　里真 16
中村　佑衣 16
荷見　美有 16
藤本　陽子 16
小野寺樹璃 18
高柳　奈月 18
荷見　美有 18
学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）… 相川野々香 20
遠藤　信一 20
後藤　英樹 20
佐々木文彦 20
高橋　奈佳 20
中村　元紀 20
萩尾由貴子 20
前田新太郎 20
渡部　綾子 20
学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）… 相川野々香 22
遠藤　信一 22
後藤　英樹 22
佐々木文彦 22
高橋　奈佳 22
中村　元紀 22
萩尾由貴子 22
前田新太郎 22
渡部　綾子 22
学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）… 相川野々香 24
中村　元紀 24
萩尾由貴子 24
学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）… 相川野々香 26
遠藤　信一 26
中村　元紀 26
萩尾由貴子 26

人間力形成教育

人間存在の課題 …… 中根　弘之 28
社会生活と倫理 …… 中根　弘之 30
文学の世界 …… 川勝　麻里 32
森　晴彦 34
人類と文化 …… 山本早良紗 36
美とは何か …… 髙久　馨 38
記号と論理 …… 土屋　真一 40
コミュニケーション論 …… 小野寺樹璃 42
海谷　千波 44
心理学 …… 中嶋　一恵 46
林　哲也 48
からだと健康 …… 宮澤　慶 50
日本人の生活意識 …… 中根　弘之 52
堀内　貴子 54
性格とは何か …… 樋口　倫子 56
生命と遺伝子 …… 桑山　秀一 58
スポーツ科学講義 A …… 杉浦　雄策 60
矢島ますみ 62
スポーツ科学講義 B …… 杉浦　雄策 64
矢島ますみ 66
スポーツ科学演習 A …… 杉浦　雄策 68
矢島ますみ 70
矢島ますみ 72
スポーツ科学演習 B …… 杉浦　雄策 74
矢島ますみ 76
矢島ますみ 78
ボランティア講義 …… 小川　正純 80
人間形成ゼミナール …… 伊藤　直樹 82
樋口　倫子 84
矢島ますみ 86
矢島ますみ 88
ボランティア活動 A …… 単位認定科目 90
ボランティア活動 B …… 単位認定科目 92
日本の歴史 …… 野田有紀子 94
国際関係論 …… 東　夢子 96
国際貢献論 …… 小川　正純 98
民族と宗教 …… 岩田　成就 100

異文化コミュニケーション論…… 岡田　麻唯 102
日本語と日本文化 A …… 川勝　麻里 104
日本語と日本文化 B …… 川勝　麻里 106
フランス語とフランス文化 A…… 馬越　洋平 108
西村　美穂 110
フランス語とフランス文化 B…… 馬越　洋平 112
西村　美穂 114
ドイツ語とドイツ文化 A …… 諏佐ランカ 116
ﾘｰｽｽﾅｰ ﾌﾗﾝｸ ﾍﾞｰﾀｰ 118
ドイツ語とドイツ文化 B …… 諏佐ランカ 120
ﾘｰｽｽﾅｰ ﾌﾗﾝｸ ﾍﾞｰﾀｰ 122
スペイン語とスペイン文化 A…… ｺﾝｻﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ 124
スペイン語とスペイン文化 B…… ｺﾝｻﾚｽ ｶﾞﾌﾞﾘｴﾙ 126
韓国語と韓国文化 A …… 全 イジョング 128
韓国語と韓国文化 B …… 全 イジョング 130
中国語と中国文化 A …… 于　明明 132
中島　祝 134
中国語と中国文化 B …… 于　明明 136
中島　祝 138
英語文化研究 A …… 諏佐ランカ 140
英語文化研究 B …… 諏佐ランカ 142
国際理解ゼミナール …… 小川　正純 144
異文化実地研修 A・B…… 単位認定科目 146
法学…… 櫻井　博子 147
日本国憲法…… 吉田　成利 149
経済のしくみ…… 野口　尚洋 151
社会と生活…… 櫻井　博子 153
田川　麻央 155
政治のしくみ…… 河野　武司 157
社会思想史…… 上野　大樹 159
日本企業論…… 粟沢　尚志 161
地理と環境…… 池田　和子 163
小野寺樹璃 165
自然環境論…… 磯田　尚子 167
都市と生活…… 中嶋　久人 169
生活と安全…… 笠嶋　義夫 171
行動科学…… 樋口　倫子 173
データのまとめ方 …… 新井　　啓 175
数理の世界…… 中島　達洋 177
中島　達洋 179
身近な物理…… 中島　達洋 181
現代物理のはなし …… 中島　達洋 183
身近な化学…… 藤井　大輔 185
笠嶋　義夫 187
科学技術と社会 …… 遠藤　信一 189
社会生活ゼミナール …… 新井　　啓 191
中島　達洋 193

キャリア形成教育

キャリアプランニングⅠ …… 阿方由紀枝 195
稲田　環菜 195
大黒　章子 195
高野　紀子 195
濱﨑あゆみ 195
阿方由紀枝 197
小野寺樹璃 199
行田　悦子 199
髙橋亜里沙 199
林　　苗 199
範　　弘宇 199
小野寺樹璃 201
範　　弘宇 201
キャリアプランニングⅡ…… 阿方由紀枝 203
稲田　環菜 203
大黒　章子 203
高野　紀子 203
濱﨑あゆみ 203
大道　和夫 205
荷見　美有 207
範　　弘宇 207
キャリアプランニングⅢ…… 阿方由紀枝 209
稲田　環菜 209
大黒　章子 209
高野　紀子 209
濱﨑あゆみ 209
大道　和夫 211
荷見　美有 213
範　　弘宇 213
キャリアデザイン …… 阿方由紀枝 215
稲田　環菜 215
高野　紀子 215
濱﨑あゆみ 215
大道　和夫 217
範　　弘宇 219
インターンシップ A・B・C・D…… 単位認定科目 221
特別聴講科目 A・B・C・D …… 単位認定科目 223
ビジネススキル A・B・C・D…… 単位認定科目 224
ツーリズム概論 …… 松山　豊浩 225
エアライン概論 …… 松山　豊浩 227
航空サービス論 …… 大嵜史眞子 229
フライトアテンダント・グランドスタッフ研究… 青地　香里 231
ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ論Ⅰ(ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ基礎・ﾏﾅｰ演習)… 大嵜史眞子 233
ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨ論Ⅱ(ﾎｽﾋﾟﾀﾘﾃｨと産業)… 井元　千穂 235
ビジネスコミュニケーション A・B ‥ 豊田　順子 237

資本市場の役割と証券投資…… 廣部　恒忠　238
はじめての起業講座（Start up Basics）… 飯田　信一　240

特別科目

アカデミック日本語Ⅰ …… 富樫　里真　242
高柳　奈月　244
髙橋亜里沙　246
荷見　美有　248
範　弘宇　248
堀内　貴子　248
アカデミック日本語Ⅱ …… 林　苗　250
富樫　里真　252
髙橋亜里沙　254
小野寺樹璃　256
行田　悦子　256
荷見　美有　256
アカデミック日本語Ⅲ …… 範　弘宇　258
林　苗　260
沈　伽迪　262
小野寺樹璃　264
髙橋亜里沙　264
田川　麻央　264
アカデミック日本語Ⅳ …… 荷見　美有　266
髙橋亜里沙　268
藤本　陽子　270
小野寺樹璃　272
行田　悦子　272
範　弘宇　272

専門科目

専門基礎・ILP

フレッシュパーソンセミナーⅠ …… 田鍋　桂子　276
中村　佑衣　276
西川　寛之　276
フレッシュパーソンセミナーⅡ …… 田鍋　桂子　278
中村　佑衣　278
西川　寛之　278
課題探求セミナーⅠ（日本語専攻）… 田川　麻央　280
田鍋　桂子　282
課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）… 西川　寛之　284
課題探求セミナーⅡ（日本語専攻）… 田川　麻央　286
田鍋　桂子　288
課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）… 西川　寛之　290
日本語基礎演習 …… 佐々木文彦　292
田鍋　桂子　292
中村　佑衣　292
田鍋　桂子　294
英語Ⅲ -a …… ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ　296
ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ　296
ﾀﾞﾆｴﾙ ﾌﾞﾛｶﾞﾝ　296
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ　296
ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ ﾏｸﾞﾇｿﾝ　296
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ　296
英語Ⅲ -b …… ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ　298
ｼﾞｪﾗﾙﾄﾞ ﾗｲﾄ　298
ﾀﾞﾆｴﾙ ﾌﾞﾛｶﾞﾝ　298
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ　298
ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ ﾏｸﾞﾇｿﾝ　298
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ　298
フレッシュパーソンセミナーⅠ …… 鍛治　広真　300
小谷　哲男　300
中井　延美　300
横山竜一郎　300
フレッシュパーソンセミナーⅡ …… 鍛治　広真　302
小谷　哲男　302
中井　延美　302
横山竜一郎　302
課題探求セミナーⅠ（英米語専攻）…. 鍛治　広真　304
嶋田　珠巳　304
課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）… 小谷　哲男　306
ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ　306
課題探求セミナーⅡ（英米語専攻）…. 鍛治　広真　308
嶋田　珠巳　308
課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）… 小谷　哲男　310
ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ　310
英米語基礎演習 …… 河原　伸一　312
嶋田　珠巳　312
ｹｲｺ ﾅｶﾑﾗ　312
辰己　雄太　312
Integrated English Ⅰ …… ｱﾌﾞﾃﾞﾙﾜﾍﾄﾞ ﾍﾝｼﾞﾘﾙ　314
ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ　314
ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ　314
ﾃｨﾓｼｰ ｵﾋﾟﾂ　314
ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ　314
ﾏｰｸ ﾛｲ ｸﾞｯﾄﾞﾋｭｰ　314
ﾘｶﾙﾄﾞ ﾊﾞﾙﾑ　314
ﾛﾊﾞｰﾄ ﾓﾘｱｰﾃｨ　314

Integrated English Ⅱ …… アブデルワヘド ベンジリル 316
キーネン ディナ クリスティンセン 316
タイソン ロード 316
ティモシー オピツ 316
パルブド ブルメル エスティオコ 316
マーク ロイ グッドヒュー 316
リカルド バルム 316
ロバート モリアーティ 316
Integrated English Ⅲ …… アブデルワヘド ベンジリル 318
キーネン ディナ クリスティンセン 318
クリストファ マタズスキー 318
コマンドュリ シリーシャ 318
タイソン ロード 318
ティモシー オピツ 318
パルブド ブルメル エスティオコ 318
ピエール アレック 318
ロバート モリアーティ 318
Integrated English Ⅳ …… アブデルワヘド ベンジリル 320
キーネン ディナ クリスティンセン 320
クリストファ マタズスキー 320
コマンドュリ シリーシャ 320
タイソン ロード 320
ティモシー オピツ 320
パルブド ブルメル エスティオコ 320
ピエール アレック 320
ロバート モリアーティ 320
Grammar a …… 河原 伸一 322
篠塚 勝正 322
辰己 雄太 322
長谷川奈緒美 322
Grammar b …… 河原 伸一 324
篠塚 勝正 324
辰己 雄太 324
長谷川奈緒美 324
Reading Ⅰ -a …… 海谷 千波 326
中井 延美 326
長谷川奈緒美 326
松堂 啓子 326
ロバート モリアーティ 326
Reading Ⅰ -b …… 海谷 千波 328
中井 延美 328
長谷川奈緒美 328
松堂 啓子 328
ロバート モリアーティ 328
Reading Ⅱ -a …… クリストファ マタズスキー 330
ジェラルド ライト 330
ティモシー オピツ 330
ロバート モリアーティ 330
Reading Ⅱ -b …… クリストファ マタズスキー 332
ジェラルド ライト 332
ティモシー オピツ 332
ロバート モリアーティ 332
Reading Ⅲ -a …… 河原 伸一 334
ジェラルド ライト 334
長谷川奈緒美 334
ピエール アレック 334
Reading Ⅲ -b …… 河原 伸一 336
ジェラルド ライト 336
長谷川奈緒美 336
ピエール アレック 336
Writing Ⅰ -a …… 河原 伸一 338
パルブド ブルメル エスティオコ 338
マーク ロイ グッドヒュー 338
Writing Ⅰ -b …… 河原 伸一 340
パルブド ブルメル エスティオコ 340
マーク ロイ グッドヒュー 340
Writing Ⅱ -a …… アブデルワヘド ベンジリル 342
コマンドュリ シリーシャ 342
パルブド ブルメル エスティオコ 342
ピエール アレック 342
マーク ロイ グッドヒュー 342
リカルド バルム 342
ロバート モリアーティ 342
Writing Ⅱ -b …… アブデルワヘド ベンジリル 344
コマンドュリ シリーシャ 344
パルブド ブルメル エスティオコ 344
ピエール アレック 344
マーク ロイ グッドヒュー 344
リカルド バルム 344
ロバート モリアーティ 344
Listening Ⅰ -a …… 梶浦 恭平 346
クリストファ マタズスキー 346
ティモシー クレイシンガー 346
リカルド バルム 346
Listening Ⅰ -b …… 梶浦 恭平 348
クリストファ マタズスキー 348
ティモシー クレイシンガー 348
リカルド バルム 348

Listening Ⅱ -a …… ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ 350
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ 350
ﾏｰｸ ﾛｲ ｸﾞｯﾄﾞﾋｭｰ 350
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ 350
Listening Ⅱ -b …… ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ 352
ﾋﾟｴｰﾙ ｱﾚｯｸ 352
ﾏｰｸ ﾛｲ ｸﾞｯﾄﾞﾋｭｰ 352
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ 352
フレッシュパーソンセミナーⅠ …… 小川 唯 354
河村 昌子 354
神崎 龍志 354
中嶋 諒 354
フレッシュパーソンセミナーⅡ …… 小川 唯 356
河村 昌子 356
神崎 龍志 356
中嶋 諒 356
課題探求セミナーⅠ（中国語専攻）… 王 丹 358
曹 泰和 358
余 瀾 358
課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）… 高田 誠 360
張 先煜 360
課題探求セミナーⅡ（中国語専攻）… 王 丹 362
曹 泰和 362
余 瀾 362
課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）… 高田 誠 364
張 先煜 364
中国語基礎演習A …… 河村 昌子 366
中国語基礎演習B …… 宇賀神秀一 368
漢語基礎Ⅰ …… 宇賀神秀一 370
小川 唯 370
河村 昌子 370
曹 泰和 370
中嶋 諒 370
馬場 将三 370
漢語基礎Ⅱ …… 宇賀神秀一 372
小川 唯 372
河村 昌子 372
曹 泰和 372
中嶋 諒 372
馬場 将三 372
漢語基礎Ⅲ …… 宇賀神秀一 374
曹 泰和 374
段 威 374
漢語基礎Ⅳ …… 宇賀神秀一 376
曹 泰和 376
段 威 376
漢語会話Ⅰ …… 周 威兵 378
漢語会話Ⅱ …… 周 威兵 380
漢語会話Ⅲ …… 翁 璟 382
段 威 382
漢語会話Ⅳ …… 翁 璟 384
段 威 384
中級漢語Ⅰ …… 張 先煜 386
中島 祝 386
馬場 将三 386
余 瀾 386
中級漢語Ⅱ …… 張 先煜 388
中島 祝 388
馬場 将三 388
余 瀾 388
漢語実践Ⅰ …… 王 丹 390
神崎 龍志 390
小川 唯 390
高田 誠 390
漢語実践Ⅱ …… 王 丹 392
神崎 龍志 392
小川 唯 392
高田 誠 392
漢語実践Ⅲ …… 神崎 龍志 394
高田 誠 394
南 勇 394
馬場 将三 394
漢語実践Ⅳ …… 神崎 龍志 396
高田 誠 396
南 勇 396
馬場 将三 396
漢語作文Ⅰ …… 張 先煜 398
中桐 典子 398
劉 磊 398
漢語作文Ⅱ …… 張 先煜 400
中桐 典子 400
劉 磊 400
中国語Ⅰ -a …… 于 明明 402
中島 祝 402
馬場 将三 402
劉 磊 402
中国語Ⅰ -b …… 于 明明 404
中島 祝 404
馬場 将三 404
劉 磊 404
中国語Ⅱ -a …… 王 丹 406
高田 誠 406
南 勇 406
劉 磊 406

中国語Ⅱ -b …… 王　丹 408
高田　誠 408
南　勇 408
劉　磊 408
外国語研究概論 …… 宇賀神秀一 410
辰己　雄太 410
中川　仁 410
現代社会事情 …… 宮崎　礼二 412
日本語Ⅰ -a …… 範　弘宇 414
日本語Ⅰ -b …… 範　弘宇 416
日本語Ⅱ -a …… 髙橋亜里沙 418
日本語Ⅱ -b …… 小野寺樹璃 420
英語Ⅰ -a …… ｱﾝﾃﾞﾙﾜﾍﾞﾝｼﾞﾘﾙ 422
ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏｸﾞｽｷｰ 422
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 422
ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ 422
英語Ⅰ -b …… ｱﾝﾃﾞﾙﾜﾍﾞﾝｼﾞﾘﾙ 424
ｸﾘｽﾄﾌｧ ﾏｸﾞｽｷｰ 424
ｺﾏﾝﾄﾞｭﾘ ｼﾘｰｼｬ 424
ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ 424
英語Ⅱ -a …… 小山田幸永 426
ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ 426
ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ 426
ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ ﾏｸﾞﾇｿﾝ 426
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ 426
松堂　啓子 426
英語Ⅱ -b …… 小山田幸永 428
ｷｰﾈﾝ ﾃｨﾅ ｸﾘｽﾁｬﾝｾﾝ 428
ﾃｨﾓｼｰ ｸﾚｲｼﾝｶﾞｰ 428
ﾃﾞﾋﾞｯﾄﾞ ﾏｸﾞﾇｿﾝ 428
ﾏｯﾄ ﾋﾟｰﾀｰｾﾝ 428
松堂　啓子 428

日本語学科

日本語学概論 …… 田鍋　桂子 432
日本語表現研究Ⅰ …… 中村　佑衣 434
日本語表現研究Ⅱ …… 中村　佑衣 436
日本語学基礎演習 …… 佐々木文彦 438
日本語学講義Ⅰ …… 佐々木文彦 440
日本語学講義Ⅱ …… 佐々木文彦 442
日本語方言学 …… 田鍋　桂子 444
日本語学演習Ⅰ …… 佐々木文彦 446
日本語学演習Ⅱ …… 佐々木文彦 448
日本語講読Ⅰ …… 菊地　明範 450
日本語講読Ⅱ …… 菊地　明範 452
日本語史Ⅰ …… 田鍋　桂子 454
日本語史Ⅱ …… 田鍋　桂子 456
音声学概論 …… 片桐　史尚 458
日本語音声学 …… 片桐　史尚 460
日本語文法論Ⅰ …… 田鍋　桂子 462
日本語文法論Ⅱ …… 田鍋　桂子 464
敬語表現法 …… 髙橋　眞人 466
表記法概論 …… 田鍋　桂子 468
言語学概論 …… 中川　仁 470
応用言語学 …… 中川　仁 472
社会言語学 …… 片桐　史尚 474
対照言語学 …… 土屋　真一 476
言語研究法／コンピュータ言語学Ⅰ … 田川　麻央 478
コンピュータ言語学 …… 田川　麻央 480
日本文学概論 …… 中村　佑衣 482
日本文学史 …… 長谷川哲夫 484
近現代文学 …… 中村　佑衣 486
古典概説 …… 長谷川哲夫 488
古典演習 …… 長谷川哲夫 490
漢文学概論 …… 橘　和久 491
漢文学講義 …… 橘　和久 493
漢文学演習Ⅰ …… 橘　和久 495
漢文学演習Ⅱ …… 橘　和久 497
日本語教育概論 …… 木山　三佳 499
日本語教育演習 …… 西川　寛之 501
日本語教授法 …… 田川　麻央 503
日本語教材論 …… 田川　麻央 505
検定対策Ⅰ …… 西川　寛之 507
検定対策Ⅱ …… 髙橋　眞人 509
検定対策Ⅲ …… 片桐　史尚 511
検定対策Ⅳ …… 西川　寛之 513
音声指導法研究 …… 片桐　史尚 515
文型指導法研究 …… 片桐　史尚 517
評価法研究 …… 西川　寛之 519
教案作成研究 …… 田川　麻央 521
日本語教育事情 …… 片桐　史尚 523
第二言語習得論 …… 木山　三佳 525
日本語教育実習 …… 木山　三佳 527
年少者日本語教育概説 …… 木山　三佳 530
児童生徒のための日本語教育論 …… 西川　寛之 532
日本語学習支援・実地研究 …… 田川　麻央 534

専門領域研究講座 …… 片桐　史尚　536
木山　三佳　538
佐々木文彦　540
田川　麻央　542
田鍋　桂子　544
中川　仁　546
西川　寛之　548
中村　佑衣　550
卒業研究 …… 片桐　史尚　552
木山　三佳　554
佐々木文彦　556
田川　麻央　558
田鍋　桂子　560
中川　仁　562
西川　寛之　564
中村　佑衣　566
田鍋　桂子　568
日本語教授法 …… 田川　麻央　570

英米語学科

異文化コミュニケーション概論 a …… 海谷　千波　574
鍛治　広真　576
異文化コミュニケーション概論 b …… 海谷　千波　578
鍛治　広真　580
英語学概論 a …… 中井　延美　582
辰己　雄太　584
英語学概論 b …… 中井　延美　586
辰己　雄太　588
英米文学概論 a …… 横山竜一郎　590
英米文学概論 b …… 横山竜一郎　592
英語教育学概論 a …… 金子　義隆　594
英語教育学概論 b …… 金子　義隆　596
TOEFL 対策講座 …… ﾊﾙﾌﾞﾄﾞ ﾌﾞﾙﾒﾙ ｴｽﾃｨｵｺ　598
英語音声学 a …… 鍛治　広真　600
ﾀｲｿﾝ　ﾛｰﾄﾞ　602
英語音声学 b …… 鍛治　広真　604
ﾀｲｿﾝ　ﾛｰﾄﾞ　606
英語史 …… 青木　輝　608
対照言語研究 a …… 青木　輝　610
対照言語研究 b …… 青木　輝　612
英文法研究 a …… 辰己　雄太　614
英文法研究 b …… 辰己　雄太　616
Interpreting Skills a …… 小林　裕子　618
Interpreting Skills b …… 小林　裕子　620
Translation Skills a …… 篠塚　勝正　622
Translation Skills b …… 篠塚　勝正　624
Advanced Writing Skills a …… ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ　626
Advanced Writing Skills b …… ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ　628
Advanced Reading Skills a …… 梶浦　恭平　630
Advanced Reading Skills b …… 梶浦　恭平　632
Advanced Reading Skills a …… ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ　634
Advanced Reading Skills b …… ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ　636
Advanced Listening Skills a …… 梶浦　恭平　638
Advanced Listening Skills b …… 梶浦　恭平　640
Advanced Listening Skills a …… ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ　642
Advanced Listening Skills b …… ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ　644
Discussion &Debate a …… ﾀｲｿﾝ　ﾛｰﾄﾞ　646
Discussion &Debate b …… ﾀｲｿﾝ　ﾛｰﾄﾞ　648
Advanced Research &Presentation Skills .. ｹｲｺ　ﾅｶﾑﾗ　650
ｹｲｺ　ﾅｶﾑﾗ　652
コミュニケーション特講Ⅰ -a …… ｹｲｺ　ﾅｶﾑﾗ　654
コミュニケーション特講Ⅰ -b …… ｹｲｺ　ﾅｶﾑﾗ　656
コミュニケーション特講Ⅱ -a …… 中井　延美　658
コミュニケーション特講Ⅱ -b …… 中井　延美　660
英語学特講Ⅰ -a …… 嶋田　珠巳　662
英語学特講Ⅰ -b …… 嶋田　珠巳　664
英語学特講Ⅱ -a …… 鍛治　広真　666
英語学特講Ⅱ -b …… 鍛治　広真　668
文学特講Ⅰ -a …… 佐藤　亨　670
文学特講Ⅰ -b …… 佐藤　亨　672
文学特講Ⅱ -a …… 横山竜一郎　674
文学特講Ⅱ -b …… 横山竜一郎　676
英語教育特講Ⅰ -a …… 金子　義隆　678
英語教育特講Ⅰ -b …… 金子　義隆　680
特殊研究Ⅰ …… 単位認定科目　682
特殊研究Ⅱ …… 単位認定科目　683
海外実地研修 …… 単位認定科目　684
専門領域研究講座 …… 鍛治　広真　685
金子　義隆　687
河原　伸一　689
ｹｲｺ　ﾅｶﾑﾗ　691
小谷　哲男　693
嶋田　珠巳　695
辰己　雄太　697
中井　延美　699
ﾊﾄﾘﾂｨｱ ﾊﾔｼ　701
横山竜一郎　703

卒業研究…… 鍛治　広真　705
金子　義隆　707
河原　伸一　709
ｹｲｺ　ﾅｶﾑﾗ　711
小谷　哲男　713
嶋田　珠巳　715
辰己　雄太　717
中井　延美　719
ﾊﾄﾘﾂｨｱ　ﾊﾔｼ　721
横山竜一郎　723
米村　珠子　725

中国語学科

中国語検定対策講座Ⅰ …… 南　勇　728
中国語検定対策講座Ⅱ …… 南　勇　730
文章表現演習Ⅰ …… 段　威　732
文章表現演習Ⅱ …… 段　威　734
口頭表現演習Ⅰ …… 周　威兵　736
口頭表現演習Ⅱ …… 周　威兵　738
日中通訳基礎演習Ⅰ …… 神崎　龍志　740
日中通訳基礎演習Ⅱ …… 神崎　龍志　742
日中翻訳基礎演習Ⅰ …… 中桐　典子　744
日中翻訳基礎演習Ⅱ …… 中桐　典子　746
中国方言基礎演習Ⅰ …… 郭　文ホー　748
中国方言基礎演習Ⅱ …… 郭　文ホー　750
中国語文法Ⅰ …… 曹　泰和　752
現当代文学Ⅰ …… 河村　昌子　754
現当代文学Ⅱ …… 河村　昌子　756
古典文学Ⅰ …… 宇賀神秀一　758
古典文学Ⅱ …… 宇賀神秀一　760
東アジア比較思想論Ⅰ …… 南　勇　762
東アジア比較思想論Ⅱ …… 南　勇　764
中国宗教・文化論Ⅰ …… 中嶋　諒　766
中国宗教・文化論Ⅱ …… 中嶋　諒　768
中国語圏実地研修 …… 単位認定科目　770
中国現代史Ⅰ …… 中島　祝　771
中国現代史Ⅱ …… 中島　祝　773
中国社会研究入門 …… 高田　誠　775
中国現代史研究入門 …… 小川　唯　777
中国思想研究入門 …… 中嶋　諒　779
中国文学研究入門 …… 宇賀神秀一　781
中国歴史研究入門 …… 中嶋　諒　783
中国語学研究入門 …… 中桐　典子　785
中国語音声学入門 …… 曹　泰和　787
専門領域研究講座 …… 宇賀神秀一　789
小川　唯　791
河村　昌子　792
神崎　龍志　793
曹　泰和　795
高田　誠　797
中嶋　諒　799
卒業研究…… 宇賀神秀一　801
小川　唯　803
河村　昌子　804
神崎　龍志　805
曹　泰和　807
高田　誠　808
中嶋　諒　810
日中言語対照Ⅰ …… 曹　泰和　812
日中言語対照Ⅱ …… 曹　泰和　814
ビジネス中国語演習Ⅰ …… 段　威　816
ビジネス中国語演習Ⅱ …… 段　威　818

グローバル・スタディーズ関連科目

ビジネス経済学 …… 中澤　栄一　822
経営学総論…… 呉　東錫　824
会計学総論…… 蟹澤　啓輔　826
社会統計学…… 高田　誠　828
マーケティング論 …… 飯田　信一　830
日本研究…… 西川　寛之　832
北アメリカ研究 …… 小谷　哲男　834
南アメリカ研究 …… 諏佐ランカ　836
ヨーロッパ研究 …… 小谷　哲男　838
オセアニア研究 …… 大石　隆介　840
東アジア研究 …… 中川　仁　842
ASEAN 研究…… 高田　誠　844
中東研究…… 都甲　裕文　846
国際関係概論 …… 小谷　哲男　848
ビジネスキャリア特講ａ…… 篠塚　勝正　850
ビジネスキャリア特講ｂ…… 篠塚　勝正　852
中国ビジネス入門 …… 高田　誠　854
中国経済Ⅰ …… 高田　誠　856
中国経済Ⅱ …… 高田　誠　858
日中観光実務Ⅰ …… 小川　唯　860
日中観光実務Ⅱ …… 小川　唯　862
通訳の基礎ａ…… 小林　裕子　864
通訳の基礎ｂ…… 小林　裕子　866
時事英語ａ…… 小谷　哲男　868
小林　裕子　870

時事英語 b …… 小谷　哲男　872
小林　裕子　874
Advanced Business English a …. 小谷　哲男　876
小林　裕子　878
Advanced Business English b …. 小谷　哲男　880
小林　裕子　882
文化講義Ⅰ（日本）…… 菊地　明範　884
文化講義Ⅱ（異文化理解）…… 髙橋　眞人　886
Preparation for TOEIC Ⅰ -a…… 長谷川奈緒美　888
Preparation for TOEIC Ⅰ -b…… 長谷川奈緒美　890
Preparation for TOEIC Ⅰ -a…… 青木　輝　892
小山田幸永　892
河原　伸一　892
篠塚　勝正　892
中井　延美　892
Preparation for TOEIC Ⅰ -b…… 青木　輝　894
小山田幸永　894
河原　伸一　894
篠塚　勝正　894
中井　延美　894
Preparation for TOEIC Ⅱ -a…… 青木　輝　896
小谷　哲男　896
中井　延美　896
長谷川奈緒美　896
横山竜一郎　896
Preparation for TOEIC Ⅱ -b…… 青木　輝　898
小谷　哲男　898
中井　延美　898
長谷川奈緒美　898
横山竜一郎　898
Preparation for TOEIC Ⅰ -a…… 長谷川奈緒美　900
Preparation for TOEIC Ⅰ -b…… 長谷川奈緒美　902
Preparation for TOEIC Ⅱ -a…… 篠塚　勝正　904
Preparation for TOEIC Ⅱ -b…… 篠塚　勝正　906
GSM 海外留学…… 単位認定科目　908
GSM 海外研修…… 単位認定科目　909
GSM インターンシップⅠ …… 単位認定科目　910
GSM インターンシップⅡ …… 単位認定科目　911
GSM ボランティアⅠ …… 単位認定科目　912
GSM ボランティアⅡ …… 単位認定科目　913

教職課程科目

書道Ⅰ …… 春田賢次朗　916
書道Ⅱ …… 春田賢次朗　918
教職基礎セミナーⅠ（国語科）…… 山本　聖志　920
教職基礎セミナーⅡ（国語科）…… 山本　聖志　922
教職基礎セミナーⅢ（国語科）…… 浅田　勉　924
教職基礎セミナーⅣ（国語科）…… 浅田　勉　926
国語科教育法Ⅰ …… 浅田　勉　928
国語科教育法Ⅱ …… 浅田　勉　930
国語科教育法Ⅲ …… 山本　聖志　932
国語科教育法Ⅳ …… 山本　聖志　934
教職基礎セミナーⅠ（英語科）…… 遠藤　哲也　936
教職基礎セミナーⅡ（英語科）…… 遠藤　哲也　938
教職基礎セミナーⅢ（英語科）…… 西貝　裕武　940
教職基礎セミナーⅣ（英語科）…… 西貝　裕武　942
英語科教育法Ⅰ …… 金子　義隆　944
英語科教育法Ⅱ …… 金子　義隆　946
英語科教育法Ⅲ …… 西貝　裕武　948
英語科教育法Ⅳ …… 西貝　裕武　950
教育原理…… 遠藤　哲也　952
教師論…… 山本　聖志　954
教育行政学…… 藤井　大輔　956
教育心理学…… 樋口　倫子　958
特別支援教育論 …… 篠﨑　友誉　960
教育課程論…… 遠藤　哲也　962
道徳教育の理論と実践 …… 山本　聖志　964
「総合的な学習の時間」の指導法 …… 西貝　裕武　966
特別活動論…… 西貝　裕武　968
教育方法論…… 遠藤　信一　970
生徒指導・進路指導論 …… 浅田　勉　972
教育相談…… 樋口　倫子　974
教育実習Ⅰ …… 浅田　勉　976
教育実習Ⅱ …… 浅田　勉　978
教育実習Ⅰ …… 米村　珠子　980
教育実習Ⅱ …… 米村　珠子　982
教職実践演習（中・高）…… 西貝　裕武　984
藤井　大輔　984
教職インターンシップ …… 浅田　勉　986
Four Skills for Teaching a …… 米村　珠子　988
ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ　988
ﾊﾟﾄﾘｼｨｱ ﾊﾔｼ　988
Four Skills for Teaching b …… 米村　珠子　990
ﾀｲｿﾝ ﾛｰﾄﾞ　990
ﾊﾟﾄﾘｼｨｱ ﾊﾔｼ　990
小学校英語基礎概論Ⅰ …… 遠藤　哲也　992
小学校英語基礎概論Ⅱ …… 遠藤　哲也　994

［共通科目］

○基礎教育

○人間力形成教育

○キャリア形成教育

○特別科目

学修の基礎 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2026 年度入学生のみ履修可能

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**阿方　由紀枝**（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**杉浦　雄策**（すぎうら　ゆうさく）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

この科目は「スタディ・プロモーション」を目的とし、新入生のみなさんが明海大学での４年間をどのように過ごし、どのような自分をつくっていくのかを考えるための授業です。大学について知り、自分自身を理解し、周囲と協力しながら学ぶ姿勢を育てます。授業では、自己理解を深めるワークや大学理解に加えて、探究型 PBL（IBL：Inquiry Based Learning）を取り入れた学生主体のグループワークを行います。自ら問いを立て、調べ、話し合い、解決策を導く経験を通して、課題解決力を高め、有為な人材として成長するための基盤を築いていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：明海大学の建学の精神のキーワードである「社会性」「創造性」「合理性」が、社会に貢献するための課題解決の鍵となることを理解する。大学での主体的な学び方を身につけ、探究型 PBL（IBL）を含むグループワークを通じて、課題解決に取り組むための基礎的なスキルを養うことを目標とする。

個別目標：①明海大学について理解を深め、建学の精神に掲げる「社会性」「創造性」「合理性」について説明できる。
②自らの考えを整理し、相手に伝わるようにわかりやすく説明できる。
③自分の特性を理解し、それを踏まえて「なりたいじぶん」の姿を描くことができる。
④大学生活を通じて「なりたいじぶん」を実現するためのロードマップを設計できる。
⑤探究型 PBL（IBL）を通じて、問いを立て、調べ、話し合い、解決策を導く力を身につける。

▌履修条件

2026 年度新入生（アカデミック日本語の履修対象者を除く）

▌評価基準・方法

①提出物、プレゼンテーションスライドなどの作成　40 %
②発表など　40 %
③授業中の活動などアクティブラーニングの評価　20 %
（提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない）
発表資料などが間に合わない場合は、「事前学修」「振り返り」が出来ていないものと判断し、減点する
※なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって協働ワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （自分のノートパソコンを持参すること）

▌教科書

特にないが、manaba を通してコンテンツを配信する。
毎回自分のノートパソコンを持参すること。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション／学び方（ノートテイキング），図書館の利用方法** 授業内容：授業の目的や進め方を理解し、大学での学びに必要な姿勢を確認します。効果的なノートテイキングの方法，図書館を利用した情報収集方法などを学び、今後の授業で活用できる基礎を身につけます。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の目的や進め方を確認する。大学での学びに対する不安や期待を整理しておく。 事後学修 2.0hr：学んだノートテイキングを使い、授業内容をまとめる。今後の学び方の改善点を振り返る。
2 回	**授業テーマ：大学からのメッセージ１　学長講話** 授業内容：学長から明海大学の理念や教育方針について話を聞き、大学で学ぶ意義を考えます。大学生活を主体的に過ごすための視点を得る機会とします。 事前学修 2.0hr：明海大学の建学の精神について事前に調べ、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：学長講話で印象に残った点をまとめ、大学での学びの意義を自分なりに言語化する。講演で印象に残ったことを記録する。
3 回	**授業テーマ：大学からのメッセージ２　特別講演「グアムの文化と歴史」（課題探究のための予備学修）** 授業内容：第 10 回～ 12 回の探究学修で取り上げるグアムについての予備知識を学ぶために、グアム政府観光局、JTB による特別講演を聴きます。 事前学修 2.0hr：グアムの観光地などについて調べる。 事後学修 2.0hr：講演で印象に残ったことを記録する。
4 回	**授業テーマ：自己を知る１　PROG テスト受験** 授業内容：PROG テストを受験し、自分の思考力・人間力の現状を把握します。今後の成長目標を考えるための基礎データとして活用します。PC を必ず持参してください。 事前学修 2.0hr：PROG の目的を理解し、自分の強み・弱みを予想しておく。 事後学修 2.0hr：受験の感想をまとめ、今後伸ばしたい力について簡単に整理する。
5 回	**授業テーマ：大学での学びの方法１　学修ポートフォリオの記入・探究型 PBL（IBL）の導入** 授業内容：ポートフォリオの書き方を学び、自己理解を深めます。探究型 PBL（IBL）の考え方を導入し、課題解決のプロセス (明海スパイラルメソッド) を理解します。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオの意義を確認し、自己理解に関するメモを準備する。 事後学修 2.0hr：PBL の特徴を振り返り、探究における自分の課題や役割を整理する。
6 回	**授業テーマ：大学での学びの方法２　グループワーク開始・コーチングスキル（教育用カードゲームを活用）** 授業内容：教育用カードゲームを用いて、相手の話を引き出すコーチングスキルを学びます。IBL に向けた協働の基礎をつくり、グループワークを開始します。 事前学修 3.0hr：コーチングの基本姿勢（傾聴など）について簡単に調べておく。 事後学修 2.0hr：カードゲームで得た気づきをまとめ、グループでの関わり方を振り返る。

7回	**授業テーマ：大学での学びの方法３　IBL ①「身近なものを比較する」１ 課題設定** 授業内容：身近なテーマから問いを立て、比較の視点を設定します。IBL の第一歩として、課題設定の重要性を理解し、グループでテーマを１つに決め、解決案を探ります。 事前学修 3.0hr：身近な比較テーマをいくつか考え、問いの候補を準備する。 事後学修 2.0hr：設定した課題の妥当性を振り返り、必要な追加調査を整理する。
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法４　IBL ②「身近なものを比較する」２ 分析・議論・解決策立案** 授業内容：集めた情報をもとに分析し、グループで議論を深めます。比較から見える特徴を整理し、解決策や提案をまとめていきます。提案するための発表スライドを作成します。 事前学修 3.0hr：比較対象に関する情報を集め、何によって分析するのか、制約条件などを考えておく。 事後学修 2.0hr：発表スライドを完成させ、提案の根拠となるデータや視点を補強する。
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法５　IBL ③「身近なものを比較する」３ 成果発表・立案・フィードバック** 授業内容：グループごとに成果を発表し、他者からのフィードバックを受けます。比較の視点や分析の深さを振り返り、次の探究に活かします。 事前学修 3.0hr：発表スライドの最終確認を行い、伝えたいポイントを明確にする。 事後学修 3.0hr：聴衆に伝わったか否かなど、受けたフィードバックをまとめ、次の探究に活かす改善点を整理する。
10回	**授業テーマ：大学での学びの方法６　IBL ④「社会課題に取り組む」１ 課題設定** 授業内容：グアム島が抱える社会課題について、みなさんに解決策を考えてもらいます。観光や地域経済の課題を IBL のプロセス (明海スパイラルメソッド) で探究します。まず、現状の課題を整理し、問題が生じた背景や要因をグループで設定します。 事前学修 3.0hr：グアム島の観光地の現状や観光課題について簡単に調べ、疑問点を整理する。 事後学修 2.0hr：設定した社会課題の背景を深掘りし、追加で調べるべき視点をまとめる。
11回	**授業テーマ：大学での学びの方法７　IBL ⑤「社会課題に取り組む」２ 分析・議論・解決策立案** 授業内容：グアム島が抱える社会課題の背景を調べ、原因や影響を分析します。分析と議論を行い、実現可能な解決策を立案し、グアム島を活性化させるための発表スライドを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマを１つに絞るための話し合いをグループでしておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを行うための発表スライドを完成させる。
12回	**授業テーマ：大学での学びの方法８　IBL ⑥「社会課題に取り組む」３ 成果発表・立案・フィードバック** 授業内容：グアム島を活性化させる提案内容を発表し、他グループからのフィードバックを受けて改善点を明確にし、社会課題に向き合う姿勢を養います。 事前学修 2.0hr：発表内容を整理し、伝わりやすい構成を確認する。 事後学修 2.0hr：フィードバックを受けて提案の改善点を明確にし、学びの成果を記録する。
13回	**授業テーマ：自己を知る２　PROG の返却とフィードバック 行動指針の策定** 授業内容：PROG の結果を受け取り、自分の強みと課題を確認します。結果を踏まえて、今後の大学生活で意識する行動指針をつくります。 事前学修 2.0hr：PROG 結果の見方を確認し、振り返りの準備をする。 事後学修 3.0hr：返却結果をもとに、自分の行動指針を文章化し、今後の学びに反映させる。
14回	**授業テーマ：ポートフォリオ記入・ロードマップ作成** 授業内容：これまでの学びをポートフォリオに整理し、「なりたい自分」に向けたロードマップを作成します。成長の軌跡を可視化します。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを振り返り、ロードマップに入れたい内容を整理する。 事後学修 2.0hr：作成したロードマップを見直し、実行可能な行動に落とし込む。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化** 授業内容：ロードマップを完成させ、１年間の学びを振り返ります。経験を言語化し、今後の大学生活で活かす視点を明確にします。 事前学修 2.0hr：1 年間の学びを振り返り、言語化したい経験を整理する。 事後学修 2.0hr：完成したロードマップをもとに、今後の大学生活で実践する行動を明確にする。

学修の基礎Ⅰ

開講学科等：日英中不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

遠藤　信一（えんどう　しんいち）**・佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

本科目は再履修科目として位置づけられており、これまでの大学生活を振り返り、学び直しを通してより良い大学生活を再設計することを目的とします。「自己を知る」「情報整理術」「学修計画やロードマップの作成」等さまざまな課題について考えます。明海大学での「自分さがし、自分づくり」を再スタートさせましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：再履修者がこれまでの経験を踏まえて自己理解を深め、改善点を明確にし、大学生活を再構築できるようにする
個別目標：①自分自身の特性を理解し、わかりやすく伝えることができる
②明海大学を理解し、わかりやすく伝えることができる
③大学生活でどのような自分を創り出すか、明確に描くことができる

▌履修条件

授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること

▌評価基準・方法

①毎回の「事前学修」および「振り返りシート」(提出および内容) 60 %
②提出物　40 %
(提出日時、所定のルールを守らないものは評価しない)
※なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によってペアワークを実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業回によって使用する場合がある）

▌教科書

『学修の基礎Ⅰ』(入学年度に購入した教科書)

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：再履修者は、前回の学修経験を振り返りながら取り組むことで、より深い自己理解と実践的な学修計画の構築を目指す。 事前学修 2.0hr：シラバス及び教科書を読み、授業全体の流れを確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：大学での学びの方法①：メールと LMS の活用** 授業内容：大学での学びの準備として、大学の基本ツール(メールと manaba)を使えるようにする。 事前学修 2.0hr：「メールの書き方」について、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：自己を知る①：これまでの自分を整理する(ポートフォリオ)** 授業内容：過去の経験を整理し、自己理解の土台をつくる。 事前学修 2.0hr：e ポートフォリオ・ポートフォリオについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：大学での学びの方法②：大学の仕組みと学修環境を知る** 授業内容：大学の理解を深めるため、大学の制度・施設を理解する。 事前学修 2.0hr：明海大学の大学公式ウェブサイトで、学内の施設について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：自己を知る②：時間の使い方から自分を知る** 授業内容：行動パターンから特性を理解した上で、自分のスケジュール管理を見直す。 事前学修 2.0hr：「スケジュール管理」について、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、スケジュール帳などにこれからの計画を記入する
6回	**授業テーマ：大学での学びの方法③：ノートテイキングの基礎** 授業内容：学修スキル(ノートテイキング)の基礎を身につける。 事前学修 2.0hr：これまでの受講した授業のノートを見直し、良い点と問題点を考える 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：情報整理術　アイディアの発想と情報の整理** 授業内容：大学で必要な思考の 1 つである「発想」とそれを整理する方法を知る。 事前学修 2.0hr：教科書「情報整理術」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：大学での学びの方法④：情報検索の基礎** 授業内容：図書館・Web 検索の基礎を理解する。 事前学修 2.0hr：明海大学メディアセンターについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：大学での学びの方法⑤：学部での学びを理解する** 授業内容：自分の学部の学修内容を理解する。 事前学修 2.0hr：履修ガイドや大学公式ウェブサイトで、自分の学科について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：自己を知る③：マインドマップで自分を可視化する** 授業内容：自分の興味・価値観を広げて捉える。 事前学修 2.5hr：マインドマップについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：自己を知る④：マインドマップから強みを見つける** 授業内容：マインドマップから、自己の強みを抽出し、自分自身の強みを見つける。 事前学修 2.0hr：作成したマインドマップの中から「キーワード」を探す 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：自己を知る⑤：ジェネリックスキルで客観的に理解する** 授業内容：自己評価を客観化し、強み・課題を整理する。 事前学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて、大学公式ウェブサイトなどで調べる 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：学修計画を立てる　e ポートフォリオの記入** 授業内容：自分自身の特性を再確認し、大学生活でどのような自分を創り出すかを考える。 事前学修 2.0hr：教科書「学修計画を立てる」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したポートフォリオを見直し、修正する
14回	**授業テーマ：ロードマップを考える　ロードマップの作成** 授業内容：大学生活でどのような自分を創り出すかを明確に描く。 事前学修 2.0hr：教科書「ロードマップを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する
15回	**授業テーマ：大学での学びを考える　ロードマップ実行のための指針** 授業内容：自分自身の特性を理解し、目標を持って改めて大学生活をスタートさせる。 事前学修 2.0hr：教科書「大学での学びを考える」を読み、学修内容を確認する 事後学修 2.0hr：記入したロードマップを見直し、修正する

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：2026 年度入学生のみ履修可能

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**髙橋　眞人**（たかはし　まさと）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**高柳　奈月**（たかやなぎ　なつき）・**富樫　里真**（とがし　りま）・**中村　佑衣**（なかむら　ゆい）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）・**藤本　陽子**（ふじもと　ようこ）

▌授業の概要

広く社会に目を向けると、様々な立場の人、背景の異なる人がいて、相互理解を図るためにコミュニケーションが欠かせないことが分かります。親しい人であっても自分とは異なる他者です。大学生として新たに身につけて欲しいのは、このような自分とは異なる他者と一緒に共同体や社会を作っていくためのコミュニケーション力です。そのために、他者の言ったことや書いたことを正しく論理的に理解する力や、自分の考えや主張を理由や根拠を示して他者に正しく論理的に伝達する力が必要です。この授業では、読解、文章作成、会話などの活動を通して、それらの力を育成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：社会問題に対して自分の意見を持ち、その意見を論理的な文章によって分かりやすく表現したり、他者に正しく理解されるような発表ができる。
入門書レベルの文章を一定の時間内に論理性に注意して正しく読み取ることができる。
大学の教員や職員、インターンシップや就職活動で出会う社会人など、大学生が実際に接する機会が多い目上の人との対面コミュニケーションにおいて適切な会話スタイルで相互理解を図ることができる。

個別目標：支持する理由や根拠を複数あげて、社会問題に対する自分の意見を書くことができる。資料やデータ、論文などの先行研究を正しい引用方法で引用することができる。読解力(文の基本構造を把握する力、指示代名詞・省略された語を把握する力、含意関係・同義文を判定する力、基本的知識と推論により文の意味を理解する力、図やグラフを参照して内容を理解する力、定義を読み合致する具体例を認識する力)を身につける。場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、人間関係を保持しつつ自分の伝達意図を伝えることができる。

▌履修条件

期限までに課題の提出をしてください。授業内の活動に積極的に参加してください。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とします。
課題提出(小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり）60%、最終レポート 10 %、最終試験 30 %で評価します。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

必要な時に授業で指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション(文章・会話)には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション(文章・会話)について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
5回	**授業テーマ：文章の構造を理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
6回	**授業テーマ：プランニング１(アイディアの抽出と整理)** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。読解では基礎問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回 事後学修 2.0hr：読解基礎問題の復習をする。
7回	**授業テーマ：プランニング２(アイディアの構造化)** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。

9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。読解では中級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第９回 事後学修 2.0hr：読解中級問題の復習をする。
11回	**授業テーマ：論理的なつながりを検討する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
12回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
13回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
14回	**授業テーマ：発表、コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。読解では上級問題を行い、文の読み取り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回 事後学修 2.0hr：読解上級問題の復習をする。
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：最終試験を行う。コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や読解で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：試験の準備を行う。 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**高柳　奈月**（たかやなぎ　なつき）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

日本語の運用能力の向上をめざし、論理的な思考力、表現力の育成をはかる。また、漢字・語句練習による語彙力の育成、談話完成練習による会話力の育成をはかる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：論理的で分かりやすい文章で意見を述べることができる。
その際に、基本的な漢字・語句を正しく使い、正しい引用方法で先行研究やデータを利用することができる。
短文の文章を正しく読み取ることができる。
また、適切な対面コミュニケーションができる。

個別目標：基本的な漢字・語句について正しく理解、表現できるようになる。
論理的な思考により、伝えたい内容を分かりやすく表現できるようになる。
入門書レベルの文章を読んで大意を把握できるようになる。
場面情報、言語情報を正確に把握したうえで、適切な対面コミュニケーションができるようになる。

▌履修条件

期限までに課題の提出を行うこと。授業内の活動に積極的に参加すること。遅刻や欠席をしないこと。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
課題提出（小テスト・事前学修・事後学修・授業内課題・学修のふりかえり）60%、最終レポート 10 %、期末試験 30 %で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プロセスライティングで文章作成を学ぶ。その中で、ピアレビュー、自己点検、発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成にワードを、テーマ決めや主張を支える証拠を探すために Web 検索をし、発表資料作成にパワーポイントを使用する。）

▌教科書

『学生のコミュニケーション・スキルの学び　グローバル社会を生きるためのレッスン』実教出版

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：コミュニケーションとは** 授業内容：本授業の概要についての説明を行う。また、事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：自分の経験から、良いコミュニケーション（文章・会話）には何が必要かを考える。 事後学修 2.0hr：コミュニケーション（文章・会話）について自分の考えを整理し、まとめる。
2回	**授業テーマ：情報を調整する** 授業内容：文章作成では、情報を調整する方法を学ぶ。会話では、感謝の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１回
3回	**授業テーマ：段落の構成を理解する** 授業内容：文章作成では、段落構成について学ぶ。会話では、延期の依頼の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、送り仮名のつけ方２を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第２回
4回	**授業テーマ：要約する** 授業内容：文章作成では、要約の方法を学ぶ。会話では、書類の提出時の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の基本の形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第３回
5回	**授業テーマ：文章の構造を理解する** 授業内容：文章作成では、文章の構造を学び、文章の構造が理解できることを目指す。会話では、手順の質問の場面の会話を学ぶ。漢字・語句では、敬語の特別な形を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第４回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第４回
6回	**授業テーマ：プランニング１（アイディアの抽出と整理）** 授業内容：文章作成では、文章の構想を練るプランニングを学ぶ。会話では、会議の場面で司会の話し方について学ぶ。漢字・語句では、ウチとソトを意識した敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第５回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第５回
7回	**授業テーマ：プランニング２（アイディアの構造化）** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを行う。会話では、遅刻の連絡場面での話し方を学ぶ。漢字・語句では、間違えやすい敬語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第６回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第６回
8回	**授業テーマ：主張を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの検討として、自分とは異なる主張の立場から見る方法を学ぶ。会話では、会議の場面で、自分の意見の適切な述べ方を学ぶ。漢字・語句では、改まった表現について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第７回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第７回
9回	**授業テーマ：理由を検討する** 授業内容：文章作成では、自分の作成したプランニングの主張を支える理由の妥当性を考える。会話では、仕事などの進捗状況を責任者等に報告する際の伝え方を学ぶ。漢字・語句では、熟語の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第８回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第８回

10回	**授業テーマ：証拠となる客観的資料を探す** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングを見て、主張を支える理由の証拠となる資料を探す方法を学ぶ。会話では、会議の場面で結論を導くための話し方を学ぶ。漢字・語句では、漢字の構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第９回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第９回
11回	**授業テーマ：論理的なつながりを検討する** 授業内容：文章作成では、自分の文章のプランニングを見て、主張、理由、証拠となるデータが論理的に適切につながっているかを検討する。会話では、企画について話し合う場面で、建設的な相談の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１０回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１０回
12回	**授業テーマ：原稿を作成する** 授業内容：文章作成では、自分のプランニングに基づいて、意見文の文章作成を行う。会話では、その場にいない人に対する伝言を残す際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、四字熟語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１１回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１１回
13回	**授業テーマ：資料を作成する** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する際の資料を作成する。会話では、就職活動等で自己 PR を述べる際の話し方を学ぶ。漢字・語句では、対義語と誤字訂正を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１２回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１２回
14回	**授業テーマ：発表、コメントをする** 授業内容：文章作成では、自分の意見を発表する。また他者の発表を聞いて改善のための建設的なコメントを行う。会話では、就職活動等で志望動機を述べる際の話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」第１３回 事後学修 2.0hr：テキスト「会話」第１３回
15回	**授業テーマ：論理的な思考力・表現力とは** 授業内容：コース全体の振りかえりをする。文章作成ではライティングプロセスを振り返り、工夫した点や改善をした点について再度検討を行う。また、会話や漢字・語句で学んだことをまとめる。 事前学修 2.0hr：テキスト「漢字・語句」巻末問題 事後学修 2.0hr：これまでの復習をする。

学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）

開講学科等：日英中経不 HT 保　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**後藤　英樹**（ごとう　ひでき）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**高橋　奈佳**（たかはし　なか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**渡部　綾子**（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の導入編として位置付け、新入生がＢＹＯＤの学修環境で学ぶためのスキルの育成をはかる。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・Microsoft 365 の活用方法を通じて、ＢＹＯＤの学修環境で学ぶための基礎的素養を身につけること

・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること

・データを利活用しながら、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「データリテラシー」の基礎的素養を身につけ、ICT ツールを用いて情報を分析し、分析結果を表現して伝えるためのスキルを身につける。

個別目標：1. ＢＹＯＤの学習環境で学ぶための基礎的素養を身につける（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）

2. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。

3.Word による報告書の作成、Excel による実データの分析と可視化ができる。

4.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

5. データ分析や可視化に必要な数理的な能力の基礎を身につける。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

数理課題は必ず取り組むこと。

Microsoft 365 の Word、Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題（85%）、数理課題（15 %）の合計点で評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）（電子テキスト）

ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション 1 ／ PC 利用の基礎・Gmail 設定・Microsoft 365、（数理課題なし）** 授業内容：本科目の目的を理解する。また、大学の Gmail 設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。 ＢＹＯＤの学習環境を整備する（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：PC を使って授業内容を復習し、自分で使えるようにする。
2回	**授業テーマ：オリエンテーション 2 ／ウェブポータルシステム・manaba・START、（数理課題なし）** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、大学で利用している Web ポータルシステム、manaba、START の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：PowerPoint 1（プレゼンテーションの基礎）、数理課題（割合・比）** 授業内容：スライド作成の基本操作を学び、伝わりやすい構成の考え方を身につける。テーマ設定、レイアウト選択、文字と画像の配置、配色の基礎など、プレゼン資料づくりの土台となる操作とデザイン原則を実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：Microsoft365 をインストールする。すぐ使えるように PowerPoint をセットアップする。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
4回	**授業テーマ：PowerPoint 2（効果的なプレゼンテーション）、数理課題（表・集合）** 授業内容：視覚的に訴える資料作成のコツを学ぶ。アニメーションや図解の活用、情報の強弱づけ、話し手の意図を支えるスライド構成を実践。短い発表演習を通して、資料と話し方の一体化を体験する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：PowerPoint の機能について、予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
5回	**授業テーマ：Word 1（報告書作成）、数理課題（場合の数）** 授業内容：基本的な文書作成スキルを身につける。ページ設定、フォントや段落の整え方、箇条書き、表の挿入、ヘッダー・フッターなど、報告書に必須の機能を実践的に学ぶ。整ったレイアウトを作るための基礎操作を確実に習得する。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
6回	**授業テーマ：Word 2（レポート作成の基礎）、数理課題（確率）** 授業内容：レポート形式の文書を題材に、スタイル設定、目次の自動作成、引用と参考文献リスト、図表番号の付与など、より高度な機能を扱う。論理的で読みやすい文書構成を意識し、学術的なレポート作成に必要な Word 操作を体系的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。

7回	**授業テーマ：Excel の基礎①：セル操作、SUM・AVERAGE などの関数、数理課題(図形と空間)** 授業内容：セルの入力・編集・コピー、相対参照など基本操作を学ぶ。SUM・AVERAGE など代表的な関数を使い、簡単な集計表を作成することで Excel の基礎的な仕組みを理解する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
8回	**授業テーマ：Excel の基礎②：表の操作と編集、数理課題(論理・命題)** 授業内容：データの並べ替え、フィルター、書式設定など、表を扱うための基本機能を学ぶ。見やすい表に整える編集方法を実践し、業務で使える表作成スキルを身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
9回	**授業テーマ：Excel の基礎③：グラフと可視化１　グラフの種類と使い分け、数理課題(グラフ 1)** 授業内容：棒・折れ線・円グラフなど主要なグラフの特徴と使い分けを学ぶ。データに適したグラフを選ぶ判断力を養い、基本的なグラフ作成操作を実践する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
10回	**授業テーマ：Excel の基礎④：グラフと可視化２　見やすい資料作成のコツ、数理課題(グラフ 2)** 授業内容：軸設定、色の選び方、強調の仕方など、見やすく誤解のないグラフを作るための編集技法を学ぶ。資料として伝わるグラフに仕上げるポイントを実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
11回	**授業テーマ：Excel の基礎⑤：グラフと可視化３　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 3)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いて作成したグラフを読み取り、特徴や傾向を文章で説明する練習を行う。データの意味を正しく解釈し、簡潔に報告する力を養う。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
12回	**授業テーマ：Excel の基礎⑥：グラフと可視化４　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 4)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いてグラフを作成し、複数グラフの比較、誤解を招く表現の回避、情報量の調整など、より高度な「見せ方」を学ぶ。読み手に配慮した可視化の実践力を高める。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
13回	**授業テーマ：Excel の基礎⑦：簡単な分析１　標準偏差・相関係数、数理課題(相関・回帰)** 授業内容：標準偏差や相関係数の意味を理解し、Excel で計算する方法を学ぶ。公的統計データや実際のデータを用いて、データのばらつきや関係性を読み取り、簡単な分析ができる基礎力を身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。また、数理課題について復習する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
14回	**授業テーマ：Excel の基礎⑧：簡単な分析２　ピボットテーブル・条件付き書式、数理課題(まとめ 1)** 授業内容：大量データを整理・集計するピボットテーブルの基本操作を学ぶ。条件付き書式によるデータの強調も扱い、分析結果を視覚的に示すスキルを習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化、数理課題(まとめ 2)** 授業内容：ロードマップを記入する。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.5hr：本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。また、数理課題について復習する。

学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**後藤　英樹**（ごとう　ひでき）・**佐々木　文彦**（ささき　ふみひこ）・**高橋　奈佳**（たかはし　なか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）・**前田　新太郎**（まえだ　しんたろう）・**渡部　綾子**（わたべ　あやこ）

▌授業の概要

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の発展編として位置付け、前学期のⅢ-a で身につけた基礎的知識をもとに、データ分析や AI を活用するためのスキルを育成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができる力を身につける。

個別目標：1. 情報社会で必要な判断ができる…個人情報やプライバシーの重要性を理解し、SNS や AI 利用時に適切な判断と行動ができる。(例えば、検索結果の信頼性評価、SNS 情報の真偽判断、データの出典確認、バイアスや操作的可視化の見抜き方など)
2. 生成 AI を目的に応じて使い分けできる…要約・分類・質問応答など、生成 AI の特性を踏まえて適切なプロンプトで活用できる。
3. データを可視化し、読み取りができる…Excel や BI ツールを使い、データを整理・可視化し、指標の意味や傾向を読み取って説明できる。
4. データから課題を発見し、仮説を立てられる…駅カルテなどの実データを分析し、地域や社会の課題を見つけ、根拠ある仮説を設定できる。
5. 分析結果をもとに提案をまとめ、発表できる…データに基づく改善案を資料として構成し、根拠を示しながらわかりやすく発表できる

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft 365 の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題により評価する。
なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

なし

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：情報モラル：個人情報とプライバシー　SNS 事例，データの扱い方，法律との関係** 授業内容：本科目の目的を理解する。 SNS 事例を通して、個人情報の扱い方やプライバシー保護の重要性を理解する。データ流通の仕組みや関連する法律にも触れ、情報社会で必要な判断力とリスク認識を身につける(例えば、検索結果の信頼性評価、SNS 情報の真偽判断、データの出典確認、バイアスや操作的可視化の見抜き方など)。 事前学修 2.0hr：SNS や個人情報に関するニュースを 1 つ調べ、気づきを整理する。 事後学修 2.0hr：授業で学んだリスクと対策を自分の行動に照らしてまとめる。
2回	**授業テーマ：生成 AI ①：基礎と仕組み　ChatGPT、Copilot など生成 AI の概要、言語モデルの概要** 授業内容：生成 AI の特徴や活用領域を概観し、言語モデルの基本的な仕組みを学ぶ。ChatGPT、Copilot など身近な AI を例に、入力と出力の関係、得意・不得意を理解し、適切な使い方の基礎をつかむ。 事前学修 2.0hr：生成 AI に関する記事を読み、疑問点をメモする。 事後学修 2.5hr：生成 AI の仕組みについて理解した点を短くまとめる。
3回	**授業テーマ：生成 AI ②：活用と体験　実際に使ってみる(要約、分類、質問応答など)** 授業内容：要約・分類・質問応答など複数のタスクを実際に試し、プロンプトの工夫による出力の違いを体験する。自分の関心に沿ったテーマで生成 AI を操作し、適切な使い方を理解することを目的とする。 事前学修 2.0hr：生成 AI で試したい作業(要約・質問など)を考えておく。 事後学修 2.5hr：体験して得た気づきと、活用できそうな場面を整理する。
4回	**授業テーマ：BI ツール(Power BI)体験①：見せ方の工夫と操作体験** 授業内容：BI ツール(Power BI)を用いてデータを可視化し、見せ方による印象の違いを体験する。基本操作を学びながら、グラフや指標の選び方が意思決定に与える影響を理解する。 事前学修 2.0hr：身近なグラフを 1 つ探し、良い点・気になる点を考える。 事後学修 2.5hr：作成した可視化の工夫点と改善点を振り返る。
5回	**授業テーマ：BI ツール(Power BI)体験②：ストーリーテリングと提案づくり** 授業内容：BI ツール(Power BI)を用いてデータから読み取れるストーリーを構築し、提案につなげる演習を行う。可視化と説明の組み合わせを学び、データを根拠にした説得力ある資料作成を体験する。 事前学修 2.0hr：伝えたいテーマを 1 つ選び、理由を整理する。 事後学修 2.5hr：データから導いたストーリーを短く文章化する。
6回	**授業テーマ：駅カルテ①：データの読み取り— 実際の駅データから指標の意味を理解する** 授業内容：実際の駅データを用いて、人口・乗降客数・商業施設などの指標の意味を理解する。データから現状を把握する力を養い、地域分析の基礎を身につける。 事前学修 2.0hr：対象駅の周辺情報を簡単に調べておく。 事後学修 2.5hr：扱った指標の意味と気づいた特徴をまとめる。
7回	**授業テーマ：駅カルテ②：課題発見 — 駅周辺の課題をデータから読み解く** 授業内容：駅周辺の課題をデータから読み解き、仮説を立てる演習を行う。数値の背景を考え、地域の状況を多角的に捉える思考力を育てる。 事前学修 2.0hr：前回のデータを見返し、気になる点を整理する。 事後学修 2.5hr：立てた仮説の根拠と背景を文章化する。

8回	**授業テーマ：駅カルテ③：仮説検証― Excel で分析し、仮説を検証する** 授業内容：Excel を使ってデータを分析し、前回立てた仮説を検証する。分析結果をグループで共有し、解釈の違いや新たな視点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：Excel の基本操作を復習しておく。 事後学修 2.5hr：分析結果と仮説の関係を整理し、次回に向けて課題を明確にする。
9回	**授業テーマ：駅カルテ④：提案づくり ― 改善案を考え、資料にまとめる** 授業内容：分析結果をもとに改善案を考え、資料としてまとめる。根拠と提案を結びつけ、読み手に伝わる構成を意識した資料作成を行う。 事前学修 2.0hr：改善案の方向性を個人で考えておく。 事後学修 2.5hr：資料の構成案を整え、発表準備を進める。
10回	**授業テーマ：駅カルテ⑤：発表とフィードバック　グループ発表と相互評価を実施する。** 授業内容：グループごとに提案を発表し、相互評価を行う。データに基づく説明力やプレゼンテーション力を高め、他者の視点から学びを深める。 事前学修 2.0hr：発表内容を最終確認し、役割分担を明確にする。 事後学修 2.5hr：他グループの良い点を参考に、改善点を振り返る。
11回	**授業テーマ：社会課題とデータ活用①　各学部あるいは学部を横断した課題とデータの関係を考える。** 授業内容：各学部の専門領域に関連する社会課題，あるいは学部を横断した社会課題を取り上げ、データがどのように理解や解決に役立つかを考える。学問とデータ活用の接点を体感する。 事前学修 2.0hr：自分の学部に関係する社会課題を 1 つ調べる。 事後学修 2.5hr：課題とデータの関係について気づいた点を整理する。
12回	**授業テーマ：社会課題とデータ活用②** 授業内容：第 11 回での意思決定に応じて，課題探究を深める。汎用的な内容とする場合は、複利計算などデータを使った意思決定のプロセスを体験する。 事前学修 2.0hr：前回扱った課題の追加情報を調べておく。 事後学修 2.5hr：意思決定にデータがどう役立つかをまとめる。
13回	**授業テーマ：自分の生活とデータ①　課題とデータの可視化** 授業内容：自分の生活に関するデータ(時間、行動、支出など)を収集し、可視化する。日常のパターンを客観的に捉え、気づきを得るための基礎をつくる。 事前学修 2.0hr：1 日の行動や時間の使い方を簡単に記録する。 事後学修 2.5hr：可視化したデータから得た気づきを整理する。
14回	**授業テーマ：自分の生活とデータ②　データから自分の行動を振り返る。メタ認知活動** 授業内容：可視化したデータをもとに、自分の行動や習慣を振り返る。改善点や新たな目標を考え、データを使った自己理解とメタ認知を深める。 事前学修 2.0hr：前回の可視化データを見返し、気になる点を考える。 事後学修 2.5hr：行動改善のアイデアや今後の目標をまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめと展望　　学びの言語化，今後の学びへの接続** 授業内容：これまでの学びを言語化し、データ活用・AI 活用の可能性を再確認する。今後の学びやキャリアへのつながりを考え、学修成果を整理して締めくくる。 事前学修 2.5hr：これまでの学びで印象に残った内容を振り返る。 事後学修 2.0hr：今後の学びに活かしたい点を言語化し、提出する。

学修の基礎Ⅲ-a（データリテラシー　数理・推論）

開講学科等：日英中経不 HT 保　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後　｜　備考：再履修クラス

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）

▌授業の概要

【再履修クラス】数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度 (MDASH) の導入編として位置付け、新入生がＢＹＯＤの学修環境で学ぶためのスキルの育成をはかる。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・Microsoft 365 の活用方法を通じて、ＢＹＯＤの学修環境で学ぶための基礎的素養を身につけること

・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること

・データを利活用しながら、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「データリテラシー」の基礎的素養を身につけ、ICT ツールを用いて情報を分析し、分析結果を表現して伝えるためのスキルを身につける。

個別目標：1. ＢＹＯＤの学習環境で学ぶための基礎的素養を身につける（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）

2. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。

3.Word による報告書の作成、Excel による実データの分析と可視化ができる。

4.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

5. データ分析や可視化に必要な数理的な能力の基礎を身につける。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。

数理課題は必ず取り組むこと。

Microsoft 365 の Word、Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題（85%）、数理課題（15 %）の合計点で評価する。

なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （各自のパソコンを必ず持参する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）（電子テキスト）

ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。

担当教員によって授業方法・進行が異なります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション 1 ／ PC 利用の基礎・Gmail 設定・Microsoft 365、（数理課題なし）** 授業内容：本科目の目的を理解する。また、大学の Gmail 設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。 ＢＹＯＤの学習環境を整備する（例えば、パスワード管理、フィッシング詐欺の回避、公共 Wi-Fi 利用時の注意、ソフトウェア更新の重要性などを含む）。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：PC を使って授業内容を復習し、自分で使えるようにする。
2回	**授業テーマ：オリエンテーション 2 ／ウェブポータルシステム・manaba・START、（数理課題なし）** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、大学で利用している Web ポータルシステム、manaba、START の利用方法を確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：PowerPoint 1（プレゼンテーションの基礎）、数理課題（割合・比）** 授業内容：スライド作成の基本操作を学び、伝わりやすい構成の考え方を身につける。テーマ設定、レイアウト選択、文字と画像の配置、配色の基礎など、プレゼン資料づくりの土台となる操作とデザイン原則を実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：Microsoft365 をインストールする。すぐ使えるように PowerPoint をセットアップする。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
4回	**授業テーマ：PowerPoint 2（効果的なプレゼンテーション）、数理課題（表・集合）** 授業内容：視覚的に訴える資料作成のコツを学ぶ。アニメーションや図解の活用、情報の強弱づけ、話し手の意図を支えるスライド構成を実践。短い発表演習を通して、資料と話し方の一体化を体験する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：PowerPoint の機能について、予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
5回	**授業テーマ：Word 1（報告書作成）、数理課題（場合の数）** 授業内容：基本的な文書作成スキルを身につける。ページ設定、フォントや段落の整え方、箇条書き、表の挿入、ヘッダー・フッターなど、報告書に必須の機能を実践的に学ぶ。整ったレイアウトを作るための基礎操作を確実に習得する。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
6回	**授業テーマ：Word 2（レポート作成の基礎）、数理課題（確率）** 授業内容：レポート形式の文書を題材に、スタイル設定、目次の自動作成、引用と参考文献リスト、図表番号の付与など、より高度な機能を扱う。論理的で読みやすい文書構成を意識し、学術的なレポート作成に必要な Word 操作を体系的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：Word の機能について予め調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。

7回	**授業テーマ：Excel の基礎①：セル操作、SUM・AVERAGE などの関数、数理課題(図形と空間)** 授業内容：セルの入力・編集・コピー、相対参照など基本操作を学ぶ。SUM・AVERAGE など代表的な関数を使い、簡単な集計表を作成することで Excel の基礎的な仕組みを理解する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
8回	**授業テーマ：Excel の基礎②：表の操作と編集、数理課題(論理・命題)** 授業内容：データの並べ替え、フィルター、書式設定など、表を扱うための基本機能を学ぶ。見やすい表に整える編集方法を実践し、業務で使える表作成スキルを身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
9回	**授業テーマ：Excel の基礎③：グラフと可視化１　グラフの種類と使い分け、数理課題(グラフ 1)** 授業内容：棒・折れ線・円グラフなど主要なグラフの特徴と使い分けを学ぶ。データに適したグラフを選ぶ判断力を養い、基本的なグラフ作成操作を実践する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
10回	**授業テーマ：Excel の基礎④：グラフと可視化２　見やすい資料作成のコツ、数理課題(グラフ 2)** 授業内容：軸設定、色の選び方、強調の仕方など、見やすく誤解のないグラフを作るための編集技法を学ぶ。資料として伝わるグラフに仕上げるポイントを実践的に習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
11回	**授業テーマ：Excel の基礎⑤：グラフと可視化３　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 3)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いて作成したグラフを読み取り、特徴や傾向を文章で説明する練習を行う。データの意味を正しく解釈し、簡潔に報告する力を養う。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
12回	**授業テーマ：Excel の基礎⑥：グラフと可視化４　グラフの読み方・見せ方、数理課題(グラフ 4)** 授業内容：公的統計データや実際のデータを用いてグラフを作成し、複数グラフの比較、誤解を招く表現の回避、情報量の調整など、より高度な「見せ方」を学ぶ。読み手に配慮した可視化の実践力を高める。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
13回	**授業テーマ：Excel の基礎⑦：簡単な分析１　標準偏差・相関係数、数理課題(相関・回帰)** 授業内容：標準偏差や相関係数の意味を理解し、Excel で計算する方法を学ぶ。公的統計データや実際のデータを用いて、データのばらつきや関係性を読み取り、簡単な分析ができる基礎力を身につける。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。また、数理課題について復習する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
14回	**授業テーマ：Excel の基礎⑧：簡単な分析２　ピボットテーブル・条件付き書式、数理課題(まとめ 1)** 授業内容：大量データを整理・集計するピボットテーブルの基本操作を学ぶ。条件付き書式によるデータの強調も扱い、分析結果を視覚的に示すスキルを習得する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習し、学んだ機能を使えるようにする。また、数理課題について復習する。
15回	**授業テーマ：ロードマップ記入・リフレクション+学びの言語化、数理課題(まとめ 2)** 授業内容：ロードマップを記入する。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。また、manaba の追加課題として数理課題に取り組む。 事前学修 2.5hr：本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。また、数理課題について復習する。

学修の基礎Ⅲ-b（情報リテラシー）

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス

相川　野々香（あいかわ　ののか）・**遠藤　信一**（えんどう　しんいち）・**中村　元紀**（なかむら　げんき）・**萩尾　由貴子**（はぎお　ゆきこ）

▌授業の概要

【再履修クラス】生成 AI の登場により、データサイエンスの分野も大きく変革を遂げようとしている。本学の学生として身につけるべき基礎教養として、Society5.0 社会・ビッグデータ・IoT・AI・ロボットなどについて学ぶ。なお、本科目では、データサイエンスの基礎として、

・生成 AI の利活用とその前提として必要な情報モラルについて理解すること
・データの利活用に関わる安全対策、情報モラルについて理解すること
・データの利活用のための分析スキルの基礎知識を習得すること
・データの利活用し、建学の精神を柱とした問題解決学習・プレゼンテーション技法を身につけること

を目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：データサイエンス・生成 AI に関する知識、情報モラル・セキュリティの知識、「データを読む、説明する、扱う」能力などを踏まえて情報・データの利活用ができるようになること。

個別目標：1. データの利活用、AI(生成 AI を含む) 利活用の役割と事例を具体的に説明することができる。
2. データ利活用の倫理、セキュリティについて的確に説明することができる。
3. 文字入力や、ファイル操作、ネットワーク利用などの基本操作ができる。
4.Excel による実データの分析と可視化ができる。
5.PowerPoint を用いたプレゼンテーション資料の作成と適切な発表ができる。

▌履修条件

授業は毎回必ず出席して課題を提出し、事前事後学修もしっかり行うこと。
Microsoft の Excel、PowerPoint を授業外でも使えることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題で評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

提出物の評価および、フィードバックは授業内、もしくは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によって異なるが実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報処理演習室を利用する）

▌教科書

保本正芳『基礎から始めるデータサイエンス』noa 出版（2022）
ISBN：978-4-908434-76-1

▌参考書

参考となる図書やウェブページがある場合は別途指示する。
担当教員によって授業方法・進行がことなります。詳細は担当教員に確認してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：講義の概要と進め方・インターネットの利活用** 授業内容：学修の基礎Ⅲ-b での授業の目的を理解する。また、大学のメール設定をし、大学や社会で必要なメールの書き方を学修する。合わせて、大学で利用している LMS である「manaba」の利用方法を確認する。タイピング練習方法を確認する。 現在進行中の社会変化(第４次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：シラバスおよび担当教員の指示内容を確認する。
2回	**授業テーマ：Windows の基礎：Windows の概要とウィンドウやファイルなどの操作方法・データサイエンスの役割** 授業内容：Windows の概要と基本的な操作方法を確認する。合わせて、データや AI の活用によって起きている社会の環境の変化について確認する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って参考資料などを確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。タイピング練習を行う。
3回	**授業テーマ：情報モラルと情報セキュリティ：データを扱う上での留意事項** 授業内容：データ・生成 AI を扱う際の留意事項や、それらに対する取り組みについて学修する。また、データの中には機密情報や個人情報も多く含まれていることから、データを守るための原則と方法を確認する。 事前学修 2.0hr：データの扱いについて調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(1)：ビッグデータと生成 AI の活用領域と利活用のための技術** 授業内容：データ・生成 AI が利活用される領域・分野は広がりを見せている。そこで、データ・生成 AI が利活用される領域について学修する。また、生成 AI などを利活用する上で必要な留意点について学ぶ。 収集したデータを活用するために、データを解析する方法や技術について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用事例を調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：ビッグデータと生成 AI(2)：ビッグデータと AI の課題解決への活用場面と最新動向** 授業内容：人がどのようにデータ・生成 AI を利活用しているのかについて具体的な例を確認し、利活用の方法や可能性について学修する。また、データ・生成 AI が活用されている最新のビジネスモデルや用語、技術を確認する。中でも生成 AI 等を活用した新しいビジネスモデル (シェアリングエコノミー、商品のレコメンデーションなど) などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビッグデータ・生成 AI の活用したビジネスモデルを調べる。 事後学修 2.5hr：授業内容を復習する。

6回	**授業テーマ：Excel（1）：Excel の基本** 授業内容：ビッグデータ、IoT 、生成 AI などによる社会の変化とデータ量の増加、計算機の処理性能の向上、AI の最新技術の活用例などを学び、データ解析と推論や流通システム、金融等におけるデータ・生成 AI 利活用事例などについて学ぶ。 データ分析には Excel を用いる。その前段階として、Excel の基本であるデータ入力、セル操作、ワークシート操作・計算式について説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：Excel（2）：相対参照と絶対参照・基本の関数** 授業内容：Excel でデータを分析するときに利用する「関数」と、セル参照を使った計算方法について演習形式で説明し、実際に操作し、理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：Excel（3）：「データを説明する、扱う」方法（顧客分析）** 授業内容：データ分析の練習として、データの集計（和、平均、代表値を計算したのち、グラフを作成する。グラフ作成では、優れた可視化と不適切なグラフ表現があるため、これについて理解し、「データを説明する、扱う」ための演習を実施する。。 事前学修 2.0hr：データの種類について調べておく。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：Excel（4）：「データを読む」方法・タイピング試験（仕入れ体験）** 授業内容：データの種類（量的変数、質的変数）・データの分布 (ヒストグラム)、代表値・代表値の性質の違い・データのばらつき、データに含まれる誤差の扱い、相関関係・相関係数について理解する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。これまでの課題の修正をする。
10回	**授業テーマ：Excel（5）：データを用いたデータ分析（公的統計データ）** 授業内容：POS データや公的統計データから実践的なデータ分析の演習を行う。タイピング試験を実施する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
11回	**授業テーマ：Excel（6）：データを用いたデータ分析（公的統計データ）** 授業内容：POS データや公的統計データを用いて、実践的なデータの集計の演習を行う。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：Excel（7）：実データを用いたデータの可視化と考察（公的統計データ）** 授業内容：第 11 回授業で集計したデータを可視化し、これまで学修した内容を踏まえてデータ分析の結果を考察する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：PowerPoint（1）：プレゼンテーションの概要、スライド作成・編集** 授業内容：学修の基礎 I に関連させ、明海大学独自の問題解決メソッドによりながら、プレゼンテーションで利用する PowerPoint の基本的な操作を学修したのち、スライドのレイアウト、わかりやすいプレゼンの展開、色の表現方法などについて理解する。 その際、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：PowerPoint（2）：プレゼンテーションの適切な準備** 授業内容：第 15 回授業で発表するためのスライドを作成する。スライド作成には、第 13 回の授業で学修した内容を活用する。 なお、スライド作成にあたっては、建学の精神との関連に留意する。 事前学修 2.0hr：担当教員の指示に従って教科書・資料を確認する。 事後学修 2.5hr：PC を使って授業内容を復習する。発表練習をする。
15回	**授業テーマ：PowerPoint（3）：プレゼンテーションの適切な実行・まとめ：到達度の自己評価** 授業内容：第 14 回で作成したプレゼンテーションをグループで発表し、相互評価を行う。授業の最後に、授業全体のまとめと、この授業の到達度について評価する。 事前学修 2.5hr：発表練習をする。本科目の到達・個別目標を再確認し、これまでの学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容を復習する。

人間存在の課題

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

現代は様々な物質的発達の影で人間のあり方が問われている時代であると言うことができる。なぜなら「生きるために物質的に豊かになる」という本来の手段と目的が逆転し、「物質的に豊かになるために生きる」という状況に、人間性が押しつぶされるような状況が生じているからである。本講義では、西洋哲学・思想を中心に学習しながら、自己と世界のあり方を反省し、生きるの意味を自ら問いただすために必要な事項について講義する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：　合理的思考力形成のため西洋哲学の基礎的思考をたどり、世界と人間に対してどこまでも論理的に考える思考力を身に着ける。さらに実存思想に属する哲学を学ぶことで自身が置かれた環境の中で自発的に考えることの大切さを学び、主体的に思考して自分自身を創造するという視点を獲得する。

個別目標：（1）西洋哲学の基礎的術語や諸命題について説明することができる。
（2）実存思想に属する哲学者の思想の特徴を説明することができる。
（3）過去の哲学的諸問題を論理的に現代社会に当てはめて考えることができる。

▌履修条件

主体的に自己のあり方、世界のあり方を考え、哲学思想を学ぶ意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定しない。プリント資料は教室で配布する。

▌参考書

指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：西洋哲学思想とは何か　導入** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋哲学の学問範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：哲学と呼ばれている学問について自分なりに調べる 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容の確認と自身が調べた内容の違いをノート学習する
2回	**授業テーマ：哲学入門　認識論１** 授業内容：真理判断に用いられる基準について学ぶ。具体的には対応説、整合説、有用説、合意説の 4 つであり、それぞれの該当する真理概念について検討する。 事前学修 2.0hr：「真理」と呼ばれるものの成立条件は何かを考える 事後学修 2.0hr：「真理」に関する様々な立場を説明できるようにノート整理を行う
3回	**授業テーマ：哲学入門　認識論２** 授業内容：認識の起源論として合理論と経験論、そしてカントの認識論雄それぞれについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：「物を知る」条件とは何かを考える 事後学修 2.0hr：経験論の限界について自分なりにまとめる
4回	**授業テーマ：哲学入門　認識論３** 授業内容：認識の妥当範囲について学ぶ。また実在論の中から、哲学の歴史的論争となった「普遍論争」について検討する。 事前学修 2.0hr：「何を知る」のかその対象となる範囲について考える 事後学修 2.0hr：実在論と観念論の違いについて自分なりに答えられるようにしておく
5回	**授業テーマ：哲学入門　存在論１　アリストテレスのカテゴリー論** 授業内容：アリストテレスの『形而上学』を中心として、「存在」の条件について検討する。 事前学修 2.0hr：アリストテレスの存在論について調べておく 事後学修 2.0hr：カテゴリーについて全て答えられるように自主学習する
6回	**授業テーマ：哲学入門　存在論２　存在の量について** 授業内容：一元論や多元論といった存在の量的差異の検討を行う。また、二元論から生じる「機会原因論」についても取り上げて検討する。 事前学修 2.0hr：一元論と多元論についてあらかじめ事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
7回	**授業テーマ：哲学入門　存在論３　存在の質について** 授業内容：存在の質についても門愛代から唯物論とその批判、そして観念論と唯心論について検討する。 事前学修 2.0hr：唯物論と唯心論について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：種々の立場の主張の問題点をノート学習で自分なりに整理する
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：ここまで講義で扱ってきた西洋哲学の基本的な考えについて要点をまとめ、中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った認識論と存在論雄範囲について自分で復習しておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：人間存在の学としての実存思想…サルトルの問題提起** 授業内容：実存思想、実存主義について、これまで学んだ認識論的、存在論的な前提からどの点で変更がなされたか、サルトルの思想を軸に検討する。 事前学修 2.0hr：実存思想について事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む

10回	**授業テーマ：パスカルの思想** 授業内容：パスカルの『パンセ』を軸に、実存思想の先駆けとなったモラリストの思想的特徴を紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：B. パスカルについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
11回	**授業テーマ：ニーチェの思想** 授業内容：「神は死んだ」に代表される「ニヒリズム」の思想とそこから生じる実存的な価値世界について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：F. ニーチェについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
12回	**授業テーマ：キェルケゴールの思想** 授業内容：実存思想の代表的人物であるキェルケゴールの思想について「不安」「絶望」の概念を軸に紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：S. キェルケゴールについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
13回	**授業テーマ：ヤスパースの思想** 授業内容：ヤスパースの「実存哲学」を軸に、「限界状況」などよく知られているヤスパースの思想について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：K. ヤスパースについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
14回	**授業テーマ：ハイデガーの思想** 授業内容：ハイデガーの主張する「死に臨む存在」としての人間のあり方を「頽落」いているとされる「世人」のあり方から検討する。 事前学修 2.0hr：M. ハイデガーについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：講義で習った要点を復習し、参考図書を読む
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：実存思想、実存主義の思想について要点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：１４回までの講義で習ったことをノート整理して学習する 事後学修 2.0hr：講義全体から人間存在のあるべき姿について考え、自分なりにまとめる。

社会生活と倫理

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

今日、価値観が多様化し、「善」について確固とした意見を持つことが困難になってきている。しかし、そうした状況にあっても我々は生きている限り「どのように生きるべきか」考え、自ら「よい人生」を選びとらなければならない。成熟した人格を持つ個人として社会生活をよりよく生きるため、本講義では西洋倫理学で用いられる概念を講じ、複雑な現代社会にあっても「よく生きること」へのヒントを提示したいと考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：　今日の社会で発生する倫理的諸問題を西洋倫理学の基礎的諸議論から合理的に整理し、自分と社会の人々が「よく生きること」を可能とするために何が必要なのかを自身で考えることができる。

個別目標：(1)倫理学の問題領域についての基礎知識を身に付け、説明することができる。
(2)「良心」について複数の視点から説明することができる。
(3)「他者」認識について複数の視点から説明することができる。
(4)「徳」について現代的意義を踏まえながら説明することができる。
(5)「幸福」について個人的「幸福」と社会的「幸福」の違いと関係性を説明することができる。

▌履修条件

主体的に善と悪を考え、倫理思想を学ぶ意志のある学生であること。講義時のノート作成に加え、日々の生活に対する洞察と反省を必要とするので、積極的に「よく生きること」について考える学生が望ましい。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教室でプリントした講義資料を配布する。

▌参考書

指定しない

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：倫理思想への導入…「よさ」と「よい人生」について** 授業内容：単位取得の条件の確認、および西洋倫理学の対象、範囲、分類などの全体を概括する。 事前学修 2.0hr：「倫理的」と形容される事件、事故、事象について考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱った事例と身の回りのことを照らしてノートを整理する
2回	**授業テーマ：良心について(1)…現象としての良心の分析** 授業内容：「良心」の働きを概括し、東洋思想と西洋思想に由来する概念としての「良心」の検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」と呼ばれるものについて自分なりに考えておく 事後学修 2.0hr：講義で習った術語をノートの整理を通して行う
3回	**授業テーマ：良心について(2)…良心の働き方の諸相** 授業内容：石川文康の『良心論』に基づき、「共知」の構造と法則性を検討する。 事前学修 2.0hr：「良心」の働き方について、自身の経験を通して考えておく 事後学修 2.0hr：良心のあり方、働きの法則について復習する
4回	**授業テーマ：良心について(3)…良心を中心にした倫理思想について** 授業内容：良心を中心にしたデカルトとカントの倫理思想について概括する。 事前学修 2.0hr：先週まで学んだことを整理し、良心を巡る議論の問題点を考えておく 事後学修 2.0hr：デカルトとカントの倫理思想についてまとめておく
5回	**授業テーマ：他者について(1)…他者問題の諸相について** 授業内容：「他者認識」にまつわる問題性と他者の把握についての方法論の整理を行う。 事前学修 2.0hr：他者の存在について、自分の人間関係の諸相を反省しておく 事後学修 2.0hr：他者問題について学んだ術語についてノート整理を通して行う
6回	**授業テーマ：他者について(2)…「人格」の要件と「同感」について** 授業内容：一般的な「人格」概念として 4 つのポイントを紹介し、「感情移入」理論とヒュームとスミスの「同感」に基づく道徳感覚理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：「人格」存在の必要要件を自分なりに列挙してみる 事後学修 2.0hr：「人格」存在と「同感」について学んだことを自分の生活に当てはめて検討する
7回	**授業テーマ：他者について(3)…「関係」概念にもとづく他者理解について** 授業内容：自我と他者の「関係」概念に注目したブーバーとレヴィナスの「間主観性」理論を紹介、検討する。 事前学修 2.0hr：抽象的な他者と具体的他者の違いについて自分なりに整理する 事後学修 2.0hr：ブーバーとレヴィナスの思想について自分の考えをまとめておく
8回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：「良心」と「他者」概念を中心に、これまで学習した理論のまとめと習熟度を測る中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで講義で扱った良心と他者の範囲を自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する
9回	**授業テーマ：徳について(1)…徳倫理学の歴史と諸相について** 授業内容：「徳」概念の基本をおさえ、東洋思想上の「徳」と「卓越性」を指す西洋的「徳」について紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」と呼ばれる語について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：社会に望まれる人間諸性質の共通点についてまとめておく

10回	**授業テーマ：徳について（2）…具体的な徳目の理解** 授業内容：具体的な「徳目」を東洋思想と西洋思想、そして我が国の古典的な「徳目」を挙げて検討する。 事前学修 2.0hr：「徳」に数え入れるものが何かを具体的に考えておく 事後学修 2.0hr：講義で扱われた様々な徳目を整理し、現代日本の徳目を自分なりにまとめる
11回	**授業テーマ：徳について（3）…ギリシアの徳倫理学について** 授業内容：ソクラテス、プラトン、アリストテレスの「徳倫理学」について、紹介し、検討する。 事前学修 2.0hr：ソクラテス、プラトン、アリストテレスについて事典等で調べておく 事後学修 2.0hr：徳倫理学の特徴についてノートを整理し、自身が身についている道徳観との差をまとめる
12回	**授業テーマ：幸福について（1）…幸福の定義とその諸相** 授業内容：前回のアリストテレスの主張から「幸福主義」の倫理学を紹介し、「快楽主義」との違いを明示したうえで、「快楽主義」について紹介する。 事前学修 2.0hr：「幸福」と呼ばれる事項について公共概念と合わせて考えておく 事後学修 2.0hr：「幸福」中身について自身の定義をはっきりさせておく
13回	**授業テーマ：幸福について（2）…個人の快楽主義** 授業内容：キュレネ派の倫理思想からエピクロス派の独自の倫理まで個人を軸にした「快楽主義」の展開を概括する。 事前学修 2.0hr：個人を軸にした幸福追求にまつわる問題を検討しておく 事後学修 2.0hr：ヘゲシアスの「識見」について、自分ならどのようなものが当てはまるかを考えておく
14回	**授業テーマ：幸福について（3）…公共の福祉と功利主義** 授業内容：「功利主義」を中心に社会規模で考えられる「快楽主義」について、その問題を含めて検討する。 事前学修 2.0hr：個人の幸福追求の限界について考えておく 事後学修 2.0hr：「社会の幸福」という概念について功利主義の主張を吟味しておく
15回	**授業テーマ：まとめと平常テスト** 授業内容：「徳倫理学」と「功利主義」を軸にした倫理思想の特徴点をまとめ、期末テストを平常テストで実施する。 事前学修 2.0hr：テストに備え、これまで学習したないようについてまとめておく 事後学修 2.0hr：テスト後に、自身の解答から社会生活と倫理の全体像を構築する

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

海外でも高く評価されるノーベル賞作家・川端康成について学ぶ。日本人で初めてノーベル文学賞を受賞できたのはなぜなのか。孤児としての生い立ちや、数々の仰天エピソードも交えながら、作家像を知る。また、代表作『伊豆の踊子』を、映画を理解の補助として、映画→小説→映画→小説の順に読み進め、松本清張の短編小説と比較しながら、川端の名作がいかに読み継がれていくのか考えていく。その他、短編もいくつか取り上げ、それまでの文学にない、独特の擬人法や、映画的表現を学ぶことで、今なお新しさを失わない新感覚派小説の面白さを味わい、川端作品の幅広さを知る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：日本文学や日本文化の知識を学び、それを生かすことができるようになる。日本を代表する作家について、簡単な言葉で他者にも説明できるようになる。川端康成という作家を通して、日本の文学史の一端を学ぶ。

個別目標：原作をより深く理解し、名作が読み継がれていく過程を知る。実際の作家の生い立ちと、作中に描かれた事柄を区別しつつ、小説ならではの構造を読み解くことが出来るようにする。

▌履修条件

くわしくは授業で指示する。なお、この授業で扱う松本清張は『日本語と日本文化B』(担当：川勝麻里)でも扱っているので、あわせて受講すると理解が深まる。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%、試験 60%の結果に基づき総合的に評価する。授業内の作業にはリアクションペーパーの提出が含まれる。
課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

詳細は授業内で指示する。

▌参考書

授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：授業のガイダンスと、川端康成についての簡単な紹介。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 2.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：川端康成について(生い立ち、ユニークな人物像、文壇状況、交友関係など)** 授業内容：孤児の生い立ち、無口、動物好き、読書の名人、文壇政治家、ゴーストライターによる代作、そして、川端を取り巻く人間関係について説明する。まずは作家に興味を持ち、これから読んでいく小説にさらに興味を持って取り組めるようにする。 事前学修 2.0hr：川端康成の年譜事項について見ておく。 事後学修 2.0hr：プリントや授業の話をまとめておく。
3回	**授業テーマ：川端康成と『伊豆の踊子』：実在モデルと小説の違い** 授業内容：『伊豆の踊子』のモデルとなった少女とその兄の実際の姿は、小説にえがかれている姿とは、ことなっている。そこで、その違いを読み解きながら、小説では何が描かれているのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
4回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(１)旧制高等学校と踊り子について** 授業内容：『伊豆の踊子』の主人公の学生は、エリート学生であり、踊り子たちのような社会的に差別されている。そうした社会の中での違いをふまえて、小説を読んでいく。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：差別される踊り子とエリート学生主人公の格差を理解する。
5回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(２)主人公の金銭感覚について** 授業内容：主人公は茶屋で大金を支払っているが、それが当時の日本で、どれくらいの高額だったのか、同時代の資料から考える。また、そうした多くのお金を払ったのはなぜなのかを、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を音読できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
6回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(３)踊り子への差別について** 授業内容：踊り子たちが、どのような差別を受けているのか考える。小説を読む補助として、映画の DVD も視聴。 事前学修 2.0hr：小説を細かいところまで理解できるようにする。 事後学修 2.0hr：学習内容を箇条書きにしてまとめておく。
7回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(４)踊子のモデルと小説の違い** 授業内容：モデルと小説の違いを理解し、純文学として、この小説がどのように理想的につくられているのかを考える。 小説は現実をそのまま描いているわけではないので、その点について考える。 事前学修 2.0hr：『伊豆の踊子』を再度、読んでくる。 事後学修 2.0hr：モデルと実像の違いについて理解する。
8回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(５)孤児根性について** 授業内容：孤児根性を持って伊豆の旅に出てきた主人公は、孤児であることに必要以上にこだわっていた気持ちを捨てて、素直に自分と向き合うことができるようになる。孤児根性から癒されていく心の動きについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：孤児根性という言葉の意味を理解し、小説内でそれが解消されていく様子を理解する。
9回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(６)風景描写について** 授業内容：景色と主人公の感情が、どのように連動してうごいているのかを考える。 事前学修 2.0hr：再度、『伊豆の踊子』全体を読んでくる。 事後学修 2.0hr：主人公が孤児根性から癒されていく過程を、風景と結びつけて理解する。

10回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(7)リメイク小説：松本清張『天城越え』の風景描写** 授業内容：『天城越え』は『伊豆の踊子』を意識しながら書かれた小説なので、2作品を比べながら、風景描写を読んでいく。 同じ伊豆半島を舞台とし、同じ大正15年が背景となっているにもかかわらず、風景の描き方がちがっていることがわかる。主人公の心の変化と風景には関係があるということを学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』が『伊豆の踊子』をどのように意識して書かれたか共通点を理解する。
11回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(8)リメイク小説：松本清張『天城越え』の金銭感覚** 授業内容：2つの小説を比較しながら、金銭感覚の違いが、純文学かミステリーかで、異なることに注目して、読み解く。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：金銭感覚その他、『天城越え』と『伊豆の踊子』の正反対な部分を理解し、作品を深く学ぶ。
12回	**授業テーマ：『伊豆の踊子』を読む(9)リメイク小説：松本清張『天城越え』の心理的動機** 授業内容：松本清張が、川端康成をのりこえようとして、名作『伊豆の踊子』に対して、『天城越え』を執筆したということについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントで『天城越え』の一場面を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『天城越え』の犯行動機を理解し、小説全体の読解をまとめる。
13回	**授業テーマ：もう1つの『伊豆の踊子』を読む―西河克己の2つめの『伊豆の踊子』(吉永小百合版)** 授業内容：授業前半では、DVD で西河克己監督の映画「伊豆の踊子」(山口百恵版) を見たが、後半からは、この監督がまったく同じタイトルで、別の女優をつかって撮影した映画「伊豆の踊子」(吉永小百合版) を見ていく。 事前学修 2.0hr：西河克己の『伊豆の踊子』(山口百恵版)を復習しておく。 事後学修 2.0hr：踊り子一行に対する差別について理解する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：これまでのプリントをまとめておく。
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：試験。 事前学修 2.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 2.0hr：試験問題の不明点の復習。

文学の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

森　晴彦（もり　はるひこ）

▌授業の概要

文学は国内・外を通じ多様な形で存在し、研究されているが、本授業では身近にある広告等の表現技巧とその源泉を古典文学に求め、そこから文学的表現の世界に分け入り、本文批評や文学研究の諸方法を俯瞰した上で、物語の話型を学び、それがドラマにまで通底する点を見たい。童話の改変・分析の問題に触れ、次に引用の美学を確認、さらにリアリティ獲得の方法を、歴史小説や自然主義、私小説と非私小説に見、作品生成の背景や成立の場を考える。対立する作家論・テクスト論の方法を自在に用いて作品を追究、言語・思想・社会の影響下に織りなされる文学に言及する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：(1)広告表現のしくみ、物語の話型・しくみ、創作過程のしくみ、など「文学のしくみ (構造)」を知ることができる
　　(2)文学の果たす機能や役割を説明できる
個別目標：(1)文学作品について説明できる
　　(2)著名な作品・作家について説明できる

▌履修条件

特になし。
※第 1 回から出席・学修支援システム manaba を使用できるスマホを含む電子機器を持参してください。

▌評価基準・方法

定期試験 60 %、課題として前半 7 回後に manaba から提出する学修内容振り返りシート（前半まとめ）30%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 % 及び到達目標・一般目標の達成度に基づき、総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等の提出やフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で毎回プリントを配布する。

▌参考書

必要に応じて授業内で掲示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：広告言語の構造〜身近にある表現技巧の源泉** 授業内容：第 1 回は、広告言語と呼ばれるコマーシャルのコピーについてです。コマーシャルの言葉の使い方はレトリックと呼ばれる技巧が施されています。そのため、その使い方を含めてポスターのコピーや商品名のネーミングなども含め、日本古典文学の技法が活用されています。そのあたりを紐解いていきます。　※受講人数によって〈授業を受けるためのガイダンス〉の説明が長くなった場合、第 1 回内容を第 2 回まで延長する場合あります。承知おきください。 事前学修 2.0hr：身近にある CM で言語的技法と思うものを 1 つピックアップしておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえ、技法的な CM を探してみる。
2回	**授業テーマ：文学作品の生成と本文批評** 授業内容：第 2 回は、文学作品の生成と本文批評（ほんもんひひょう）です。初めての用語でしょうから丁寧に解説します。作者自身で書きかえる場合もあれば、時代を経て作品が改変されてしまう場合もあります。それを文献学や本文批評によって、より古い形はどのようなものだったのか、が探索できるわけです。皆さんの知る著名な作品の結末が違うなど例に見ていきます。 事前学修 2.0hr：書誌学・文献学について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを再読する。
3回	**授業テーマ：物語の生成〜竹取物語を例に** 授業内容：第 3 回は、日本で最古の物語 (900 年頃か) といわれる『竹取物語』を例にして、作品の生成過程を追うことで物語の構造 (しくみ) を学びます。同時に、第 2 回の本文批評を用いて、「思想の作品への影響」についても考えてみます。 事前学修 2.0hr：竹取物語のストーリーについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを読んでおく。
4回	**授業テーマ：物語の変容〜グリム童話初版から第 7 版に至る改変** 授業内容：第 4 回は、皆さんが「知っている」『グリム童話』を取り上げ、皆さんが「知らない」『グリム童話』の元の姿をお見せします。今回も第 2 回の本文批評を用いて、「作品の原初の形」(最初の姿、元の姿) を学びます。私たちの読んだテキストは物語が変容したものであることが判ります。 事前学修 2.0hr：グリム童話について簡潔に調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリント（明治時代刊行のシンデレラ）を読む。
5回	**授業テーマ：童話分析の諸問題〜歴史社会・神話解釈・精神分析の問題点** 授業内容：第 5 回は、前回で読んだ『グリム童話』の作品や、読んではいませんが皆さんが知っている『グリム童話』を取り上げ、テキストの変容（本文批評／テキストクリティーク）をないがしろにすると分析も変わってしまう例を、歴史社会・神話解釈・精神分析の各方法と問題点を見ていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のストーリーを確認してくる。 事後学修 2.0hr：本時で扱った方法を整理しておく。
6回	**授業テーマ：物語の構造〜プロップの 31 機能を中心に現代に及ぶ** 授業内容：今回は、「話型学」という、物語や小説の、「話しの骨格」について学びます。話型とは服を脱がせれば人間の骨格は同じです。服によって見え方が違います。水戸黄門も浅見光彦も、骨格は同じ一「同じ話型」となる例です。著名な話型の形を紹介した後、プロップの 31 分類について説明し、物語の形の構造があることを学びます。 事前学修 2.0hr：プロップについて調べておく。 事後学修 2.0hr：物語や映画やゲームの展開と比較してみる。
7回	**授業テーマ：引用の織物〜本歌取から芭蕉・漱石、啄木と谷村、長渕とあいだの場合** 授業内容：第 7 回は、「文学における引用という技法」を取り上げます。引用が当たり前の時代から、博学主義などといわれる近代を経て、現代ではオマージュとかリスペクトと呼ばれる類のものです。しかし、著作権やプライオリティの確保から、現代では、引用は出典を明記して断らないと盗作です。今回はその「引用」に関わる文学の世界を見ていきます。 事前学修 2.0hr：オマージュ、インスパイアという単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：本時で出てきた概念を時代別に整理しておく。7 回終了後 manaba から前半振り返りのまとめを出してもらいます。

8回	**授業テーマ：歴史小説の構造〜高瀬舟執筆の目的** 授業内容：第 8 回は明治の二大文豪(夏目漱石と森鷗外)の一人、森鷗外の『高瀬舟』という小説について学びます。『高瀬舟』の執筆目的とはなにか、考えていきます。資料にそって解説していきます。 事前学修 2.0hr：歴史小説、森鷗外について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
9回	**授業テーマ：原話に付加される近代的自我〜芥川龍之介の作品を中心に** 授業内容：第 9 回は、原作を利用しながら、単なる脚色に終わらず、近代的な自我によって新たな「文学」となった芥川龍之介の作品を見たいと思います。芥川の苦悩が原話を変えた、というのが結論となります。また、一度書いた結末を書き換えている点についても言及します。それらを資料で確認しながら追究します。 事前学修 2.0hr：芥川について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読する。
10回	**授業テーマ：原作を改変する内面的世界〜中島敦・太宰治 1** 授業内容：中島敦の『山月記』について考えます。唐代の伝奇説話『人虎伝』を原作に書かれた小説です。『高瀬舟』も『羅生門』も『山月記』も原作のある小説です。それらの「新たな読み直し」をこの授業では志向しています。『山月記』には独自の運命観が出ているところがあります。その生成の背景と独自性について考察します。後半は、来週読む太宰治の生涯についても言及します。 事前学修 2.0hr：中島敦、太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時配布のプリントを精読しておく。太宰治について調べておく。
11回	**授業テーマ：自伝脚色を駆使する私小説的装置〜太宰治 2、事実と虚構と自立するテクストと** 授業内容：多くの読者は、太宰の小説は太宰の実人生が書かれている、と思っているところです。私小説と多くの人は理解しています。太宰自身は、作品を自分の伝記のように読ませたい、という点をねらっています。そこでこの太宰の方法を、私小説的装置と名付け、事実と虚構の対比から、太宰ワールドに迫ってみようとします。 事前学修 2.0hr：太宰治について調べておく。 事後学修 2.0hr：本時を踏まえて『富嶽百景』を構築された作品として読みを更新する。
12回	**授業テーマ：自然主義小説・私小説とアンチ私小説〜柳美里・福島次郎 VS 村上春樹・江國香織等** 授業内容：日本の自然主義と呼ばれる小説は、現実をそのままリアルに描写し、実際に起きたことをそのまま小説化することでリアリティを持たせるスタイルで、現代の私小説に繋がっています。他方、すべて想像から創る小説、すべてを零から作り上げる小説があります。小説世界は、この両極の間を、どちらに近づくか、になりますが、そのあたりを具体的に学びます。 事前学修 2.0hr：日本の自然主義とは何かしらべておく。 事後学修 2.0hr：小説の二潮流を念頭に作品を読み分ける。
13回	**授業テーマ：作品の詩と真実 短編の長編化〜蛍とノルウェイの森、事実と虚構** 授業内容：村上春樹の『ノルウェイの森』と『螢』を比較し、村上の初期の創作方法を探求します。『螢』は村上作品の繰り返す青年期のノスタルジックな世界の断片であり、その世界に触発され、その後を書き加えようと、『ノルウェイの森』を執筆するあたりを見ていきます。 事前学修 2.0hr：村上春樹について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントを精読する。
14回	**授業テーマ：著名な翻案小説〜その原作の存在** 授業内容：知らない人は少ないはず、という皆さんが読んだことのある著名な小説には、外国文学の原作があり、原作とほぼ同じストーリーなのはあまり知られていません。誘発する事件も作品の背景にあります。それらを皆さんが知ることが難しい、しかし、作品成立の根幹に当たりますから、ぜひ知っておいてほしいと強く思いまして取り上げます。 事前学修 2.0hr：過去に読んだ感動や美談の小説はないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布のプリントを精読する。翻案小説とは何か理解する。
15回	**授業テーマ：翻訳文学の世界〜翻訳文学の基礎的諸問題／授業のまとめ** 授業内容：翻訳文学の基礎的諸問題として、訳者の文体とは、にこだわってみます。ひいては訳した人の感覚というものにまで言及します。　村上春樹訳『キャッチャー・イン・ザ・ライ』(サリンジャー作、2006 年) を「窓」(入り口)として話を進めます。また、授業の総まとめについても行います。 事前学修 2.0hr：上田敏、村上春樹翻訳小説を調べておく。今までの授業内容を総復習しておく。 事後学修 2.0hr：文学について各自切り込み方が深化したか考え直してみる。

人類と文化

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

山本　早良紗（やまもと　さらさ）

▌授業の概要

本授業では、文化人類学にかんする基礎的な知識を学びます。文化人類学とは、「文化」という概念を手がかりに、多様な人間の行動や思考、制度などの差異に注目し、それらを多様性と普遍性という観点からとらえ、「人間とは何か」について考える学問です。そして文化人類学の研究手法や視点は、いわば「常識」を相対化し、これまでとは少しちがった世界やものごとの見方・切り取り方を教えてくれるものです。日々目まぐるしく変化するこの現代において、そうした新しい認識の仕方は、自身の生き方や考え方の幅を広げるものとして、有効な知識・知恵となるはずです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：私たちにとって身近な問題関心である、人間の〈生〉の営みに関連するさまざまなテーマをとりあげながら、文化人類学の考え方を学びます。さらに、それらの知識をもとに、個別の事例に照らし合わせて比較検討する視座を養います。具体的には、既存の考え方や自身の価値観を相対化する視点を獲得するとともに、現代を生き抜く術として、〈他者〉との共生のあり方について、みずから考える力を養うことを目標とします。

個別目標：知識を習得するだけでなく、授業から離れた日々の生活の場においても、文化人類学的な考え方を用いて、これまでとはちがったものの見方ができるよう、実践につなげていくことを目指します。また、普段は「当たり前のこと」として気に留めないような事柄についても、改めて主題化し、問い直していく視座を身に付けることを目標とします。

▌履修条件

履修条件は、講義を聞き、学ぶ意思のある者。出席回数を稼ぐためだけに在室し、授業中にスマホ操作や私語、居眠りを繰り返すといった、講義を聞く意思のない者の受講はお断りします（常習者には注意喚起のうえ、開講途中であっても、受講をお断りする場合があります）。本授業は、「出席した回数」よりも、受講態度や授業への関心の高さ、授業内容の理解度を重視した評価を行います。そうした本授業の主旨を十分理解・了承したうえでの受講をお願いします。

▌評価基準・方法

【試験（約 5 割）＋平常点（約 5 割）】により評価を行います。平常点には、①毎授業後に manaba に提出されたコメントの内容から、理解度・関心の高さ・取り組みの姿勢を判断し算出する「コメント点」、および②授業の受講態度の２点が含まれます。出席するだけで得られる「出席点」は設けません。学期末に行う試験は、半期の講義内容すべての総まとめとなり、持ち込みは不可とします。また、試験を無断で欠席した場合、不正行為が行われた場合には、評価の対象外となります。

▌フィードバック方法

授業内容について質問や不明点があった場合には、教室で直接教員にたずねるか、manaba で提出するコメントに記載してください。内容によって、コメントに返信するかたちで回答、もしくは翌週の授業内でとりあげ、解説します。授業内容以外のことについて質問や相談がある場合には、manaba の個別指導コレクションを利用してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必須ではありませんが、PC を使ってメモを取ることを推奨しています。）

▌教科書

指定しない。

▌参考書

授業内で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の概要、予定、進め方、評価方法など、授業内容および授業運営にかんする基本的事項について解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業に期待する内容、学びたいことについて考え、まとめる。 事後学修 2.0hr：興味をもったテーマに関連する書籍を探し、読んでみる。
2 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：文化人類学とはどのような学問かについて、近接する学問分野との比較を通して解説し、学問としての位置づけ、および全体像を理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：文化人類学とはどのような学問か、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学がどのような学問なのかについての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
3 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（1）** 授業内容：文化人類学が得意とするものの見方、およびその見方を実践するための研究手法について解説し、学問の特徴を大まかに理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
4 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（2）** 授業内容：身近な事例をとりあげながら、文化人類学のものの見方・考え方について、より具体的に考える機会を設け、文化人類学という学問のあり方、特徴をしっかりと理解することを目指します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：文化人類学に特徴的なものの見方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。
5 回	**授業テーマ：文化人類学におけるものの見方・考え方（3）** 授業内容：文化人類学がめざす〈他者理解〉のあり方について解説するとともに、さらに身近な問題に引きつけて、〈他者〉との接合の仕方について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学にかんする諸理論について、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：文化人類学が目指す自己と他者とのあり方についての理解を定着させるため、授業内容の要点および重要箇所をまとめる。また、文化人類学のものの見方を身近な事例に当てはめ、自分なりに問い直してみる。
6 回	**授業テーマ：文化人類学の理論（1）** 授業内容：文化人類学の学問としての歴史について学ぶ 1 回目として、初めての体系的な理論となった「文化進化論」について学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。

7回	**授業テーマ：文化人類学の理論（2）** 授業内容：文化人類学の学問としての歴史について学ぶ 1 回目として、「文化進化論」の衰退後から現在にいたるまで、学問を支える理論となっている「文化相対主義」について学びます。とくに「文化進化論」とのちがいをおさえながら、この理論の概要を解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
8回	**授業テーマ：文化相対主義（1）** 授業内容：文化人類学を理解するうえで欠かせない「文化相対主義」の考え方について、しっかりと理解を定着させるために、この回では、映像像資料を用い、具体的な事例をもとにその考え方について細かく解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
9回	**授業テーマ：文化相対主義（2）** 授業内容：前回の映像像資料の内容をふまえて、文化相対主義の考え方を実践するための具体的な方法について解説します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第５～９回全体を通して復習し、文化人類学の理論の通時的な流れを理解する。
10回	**授業テーマ：フィールドワーク（1）** 授業内容：文化人類学にとって欠かせない研究手法である「フィールドワーク」について、その歴史、および特徴や方法について解説します。 事前学修 2.0hr：人類学的フィールドワークとはどのようなものか、みずから調べ予習する。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
11回	**授業テーマ：フィールドワーク（2）** 授業内容：実際のフィールドワークの様子を、教員自身のフィールドワークの事例を用いて紹介します。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。また第８～９回全体を通して復習し、人類学的フィールドワークの主眼および特徴を理解する。第１０～１１回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「結婚」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
12回	**授業テーマ：フィールドワーク（3）** 授業内容：前回の授業で紹介した、教員のフィールドワークの事例をふまえて、文化人類学的な問いの立て方やものごとの捉え方について、具体的に解説していきます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容をふり返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
13回	**授業テーマ：「死」の人類学（1）** 授業内容：最後は、個別のテーマをもとに、文化人類学のものの見方・考え方を実践してみることを目的として、人間にとって普遍的な事象である、「死」をめぐる問題をとりあげます。「死」をめぐって、自分自身のなかにある「あたりまえ」に気付き、改めて主題化することを目指します。この回では、わが国における「死」のとらえ方・考え方、「死」をめぐる事象や葬送・葬儀の方法について考えます。 事前学修 2.0hr：文化人類学において、これまで「死」というテーマがどのように扱われてきたかを調べ、それをふまえて自身の問題意識を醸成させる。 事後学修 2.0hr：今日の授業内容をふり返り、要点および重要箇所をまとめる。
14回	**授業テーマ：「死」の人類学（2）** 授業内容：前回の内容をふまえ、続いて諸外国における「死」をめぐるさまざまな事例を紹介します。比較の視点を用いることで、自身の「あたりまえ」を相対化し、人間の〈生〉の営みの多様性を学びます。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を振り返り、疑問点や問題意識をまとめる。 事後学修 2.0hr：第１３～１４回全体を通して復習し、要点および重要箇所をまとめる。また、授業でとりあげた事例以外で、「死」にかんして自身のなかにどのような「あたりまえ」があるか改めて問い直し、相対化してみる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業全体の理解度をはかるため、まとめのテストを実施します。 事前学修 4.0hr：これまでの授業内容をふり返り、重要なポイントを整理してまとめ、理解を深めておく。 事後学修 1.0hr：テストを振り返り、理解が不足していた点を補う。また全授業をふり返り、人類学的なものの見方を用いて、社会におけるさまざまな問題や身近な出来事をとらえ直してみる。

美とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

髙久　馨（たかく　かおる）

▌授業の概要

芸術家たちは真に迫ったリアルな表現を目指して顔や人体を研究してきたが、同時に、芸術的、美的効果をあげるために、解剖学的正確さをあえて無視して、顔や人体をさまざまに誇張、変形、省略してきた。本講義ではまず第 10 回まで、顔や人体が人種、年齢、性別によってどのように違うか、それらの違いが古今東西の絵画、彫刻の中でどのように表現され、どのような印象、効果を見る者に与えているかを考察する。第 11 回目からは、美の諸問題について、西洋美術史や美学、精神分析などさまざまな観点から講義していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎）

一般目標：(1)顔や人体の人種、年齢、性別による違いを知り、それらの違いが美術作品ではどのように表現されているかについて自ら観察する姿勢を身に着け、感じたことを言語化できるようになる。
(2)芸術作品を通じて、主に日本文化やヨーロッパ文化のエッセンスを学び、同時に芸術的感性の涵養と異文化の理解に努める。

個別目標：(1) 顔や人体の性差・人種差・年齢差について説明することができる。
(2) 芸術理論や作品に接したとき、常に自分の経験や美意識に引き付けて考えていく習慣を身に着け、美的感受性を練磨していく。

▌履修条件

(1) 授業中の居眠り、携帯・スマホの使用は厳禁。
(2) 思ったことや感じたことを臆せず発言しようという気持ちがある者。授業内容に関係することであれば、どのような意見、発言も歓迎します。

▌評価基準・方法

・期末試験 (50 %)、授業態度(授業に参加、協力しようとする姿勢) (20 %)、manaba の事前学修とリアクションペーパーの内容 (30 %) で評価する。また、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
・授業態度や manaba の事前学修の出来も重要な評価対象となる。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （口頭発表、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用せず。適宜プリントを配布し、美術作品はスライドで紹介する。

▌参考書

中尾喜保「生体の観察」、メヂカルフレンド社。 村澤博人「顔の文化を考える」(新潟大学ブックレット「顔から学ぶ」所収)。
宮下規久朗「ウォーホルの芸術」、光文社新書。 鈴木晶「図説フロイト」、河出書房新社。
その他の西洋近現代美術関連の参考文献については授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明。** 授業内容：授業の内容、進め方、評価方法等について詳しく説明する。 事前学修 1.5hr：シラバスを読み、本講義に期待する内容や興味をひかれたことを考えておく。 事後学修 1.5hr：もう一度シラバスに目を通し、特に本講義の到達目標を強く意識する。
2回	**授業テーマ：顔と人体の美(1)性差について** 授業内容：主に顔、頸の男女の性差について詳しく説明する。また、あまり知られていない身体における性差についても述べる。 事前学修 2.0hr：顔と人体における性差にどのようなものがあるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔と人体(特に頸)の性差について具体的に説明できるようにする。
3回	**授業テーマ：顔と人体の美(2)顔の経年変化について(前半)** 授業内容：頭部と目もとの経年変化について、乳幼児期から老年期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：頭部と目もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：頭部と目もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
4回	**授業テーマ：顔と人体の美(3)顔の経年変化について(後半)** 授業内容：口もとや顔の輪郭の経年変化について、乳幼児期から老人期にいたるまでどのように変化していくのか詳述する。 事前学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとにおける年齢差にどのような特徴があるか調べておく。 事後学修 2.0hr：顔の輪郭と口もとの経年変化について具体的に説明できるようにする。
5回	**授業テーマ：顔と人体の美(4)魅力的な顔とは？** 授業内容：顔面における子どもの特徴、大人の特徴をふまえつつ、多くの人が魅力的と感じる顔の特徴とは何かについて述べる。 事前学修 2.0hr：自分はどのような顔が魅力的だと思うか、具体例をあげて述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：多くの人が魅力的に感じる顔とはどのような顔か、また顔における幼児性と成熟さの特徴について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：顔と人体の美(5)「かわいらしさ」(幼児性)について** 授業内容：動物行動学者 K・ローレンツのベビー図式を紹介して、「かわいらしさ」とは何かについて述べる。また、日本人を理解するうえで重要なキーワードの一つとなって久しい「ネオテニー」についても紹介する。 事前学修 2.0hr：ヒトや動物のどのような形態的特徴をわれわれは「かわいらしい」と捉えるのか、事前に考えておく。 事後学修 2.0hr：ベビー図式の応用例を具体的に身近なものから探し出してみる。授業でとりあげた以外のネオテニーの例を調べる。
7回	**授業テーマ：顔と人体の美(6)目もとにおける上瞼の重要性** 授業内容：目と眉の間が広いか狭いかで目もとの印象はまったく違う。それぞれどのような印象を与えるのか、美術作品にはどのように利用、表現されているのかを詳述する。 事前学修 2.0hr：目と眉の間の長短でどのように目もとの印象が違うか、述べることができるようにしておく。 事後学修 2.0hr：目もとにおける上瞼の重要性について、具体例をあげて説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：顔と人体の美(7)人種差、あるいは日本人の成り立ちについて** 授業内容：人種によって顔や身体にどのような違いがあるのか、その違いの理由は何かを詳述する。あわせて、現代日本人はどのような人種的特徴があるのか、どのような顔を「いい顔」ととらえてきたのかについても述べる。 事前学修 2.0hr：人種による体形、顔だちの違いについて、簡単に述べられるようにしておく。 事後学修 2.0hr：人種による体形や顔だちの違い、特に北方アジア系、南方アジア系のそれらの違いを説明できるようにする。

9回	**授業テーマ：顔と人体の美(8)左右対称・非対称の美** 授業内容：顔の造りや表情、身体だけでなく、広く建築物、庭園、衣服をも例にとりあげながら、左右対称・非対称がどのような印象を見る者に与えるのかを考察する。 事前学修 2.0hr：身の周りにあるもの(建築物、工業製品、衣服 etc)で左右対称・非対称のものを見出す。 事後学修 2.0hr：左右対称・非対称の美点・マイナス点について説明できるようにする。
10回	**授業テーマ：顔と人体の美：まとめ(ディスカッション)** 授業内容：9 回までの講義とはまた別の観点から顔と人体の美についての考察を深めてくれるようなエッセイを選び、それを受講者全員で読み、各自疑問に思ったことを出しあう。その後、それらのいくつかについて全員でディスカッションを行う。 事前学修 2.5hr：あらかじめ指定されたエッセイを事前に読んでおく。 事後学修 2.0hr：人間にとって顔とは何なのか、他者との関係において顔はどのように機能するのかについて考察を深める。
11回	**授業テーマ：美の追求にひそむ危険(口頭発表、ディスカッション)** 授業内容：美に追求にひそむ危険に関する小論文を読み、その具体例を、実在の人物や小説、マンガ等の登場人物からさがし出し、受講者の前でそれについて各自口頭発表(5-10 分程度)してもらう。その後、受講者全員でディスカッションを行う。 事前学修 3.0hr：美の追求にひそむ危険に関する小論文を熟読し、それにあてはまる具体例をさがし、口頭発表にまとめる。 事後学修 2.0hr：美の追求において特に問題になりうる点とは何かについて理解を深める。
12回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(１)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、近代とそれ以前ではどのように変わったか、主に西洋美術を例に詳述する。 事前学修 2.0hr：キリスト教やギリシャ神話を題材にした西洋美術の古典的な傑作をいくつか紹介するので、そのテーマについて調べる。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
13回	**授業テーマ：個性とオリジナリティ(２)** 授業内容：芸術家や芸術作品における個性とオリジナリティについて、ポップアートを例に、それ以前とどのように変わったか、また現代にどのような影響を及ぼしたか詳述する。 事前学修 2.0hr：宮下規久朗「ウォーホルの芸術」の指定された箇所を読んでおく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
14回	**授業テーマ：美と精神分析** 授業内容：フロイトの夢と無意識についての理論を紹介し、それらがシュルレアリスムという芸術運動にどのような影響を与えたのかについて述べる。あわせて、現代におけるシュルレアリスムの影響についても考察する。 事前学修 2.0hr：鈴木晶「図説フロイト」の特に夢と無意識に関する箇所を読んでおく。ダリ、マグリット、キリコの画集に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：スライドで見た作品の中で、特に印象に残ったものについて感じたこと、思ったことを言語化する。
15回	**授業テーマ：まとめと試験対策** 授業内容：どのような問題が試験で問われるのか、またその意義は何かについて詳述する。そうすることであわせて、これまでの講義のおさらいとする。 事前学修 2.0hr：全講義のノートと配布物に目を通し、それらを持参して講義に臨むこと。 事後学修 4.0hr：試験対策授業でふれた箇所をいま一度重点的に復習して試験に備える。

記号と論理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

土屋　真一（つちや　しんいち）

▌授業の概要

本授業では接続表現の使い方、さまざまな論法を組み立てる方法、議論の構成の仕方などの事例を通して、論理学の基礎を養うことを目的としている。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：基礎的な論理の知識を身につけ、自分の思考を論理的に表現することを目標とする。

個別目標：・議論・論文の基本構成（接続表現・パラグラフ・アウトライン・論法・反論など）を理解し、説明することができる。

・記号論理の基礎的な知識を理解することができる。

▌履修条件

・遅刻や欠席をしないこと。（但し、やむを得ない場合は、事前に manaba で理由等を連絡すること。）

・期限までに課題の提出を行うこと。

・授業内の活動に積極的に参加すること。

・リーディングタスク等、授業の準備を怠らないこと。

・教科書を必ず購入すること。（毎回授業で使用するため。）

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

課題等提出物による評価 40%、授業への参加・協力度 20%、最終試験 40%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 或いは対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、授業内発表、コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba による資料参照、課題等提出（スマホでも対応可））

▌教科書

篠澤和久、松浦明宏、信太光郎、文景楠（2020）『はじめての論理学 – 伝わるロジカル・ライティング入門』有斐閣

▌参考書

参考書等については、必要に応じて適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスや配布資料をもとに、概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し、講義概要を把握する。 事後学修 2.0hr：シラバスとテキストの内容を照らし合わせ、今後の事前学修に備える。
2回	**授業テーマ：論理とはなにか** 授業内容：論理を言葉の作法の一種と捉え、人間にとって普遍的な知を求める姿勢が、論理につながることを考察する。 事前学修 2.0hr：①自分自身にとって、身近な作法やマナーとは何か考えておく。②リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
3回	**授業テーマ：日本語と論理** 授業内容：普段使っている日本語のなかで、どのような場面で論理という作法（マナー）が要求されるかを明らかにする。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
4回	**授業テーマ：文と文のつながり**⑴ 授業内容：議論における接続表現の重要性および、前提と結論の関係を示す接続表現（順接）について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
5回	**授業テーマ：文と文のつながり**⑵ 授業内容：与えられた内容を明瞭に理解する接続表現および、議論の構造を複雑化する接続表現について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
6回	**授業テーマ：パラグラフと論文のしくみ** 授業内容：パラグラフと論文の構成ならび、論文の仕組みについて。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
7回	**授業テーマ：アウトラインの活用** 授業内容：論文やレポートを作成する手順および、アウトラインの活用について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
8回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**⑴ 授業内容：論証の一般的な型（単純論証、合流論証、結合論証）および、三段論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
9回	**授業テーマ：論証の典型的パターン**⑵ 授業内容：説得のための論法および、条件文による論法について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
10回	**授業テーマ：反論の典型的パターン** 授業内容：論争の要素が含まれる議論のなかで、必要とされる反論の仕方について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。

11回	**授業テーマ：反論の実践**(1) 授業内容：適切に反論するための３つの視点について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
12回	**授業テーマ：反論の実践**(2) 授業内容：検証型反論をおこなう方法について。第 8 回から 11 回までの授業の総括。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。
13回	**授業テーマ：記号論理**(1) 授業内容：論証の型と論理語、論理語としての「ない」、「または」、「ならば」、「そして」について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
14回	**授業テーマ：記号論理**(2) 授業内容：論証の記号化について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、第 9 章の演習問題を解く。10 章の部分は授業の内容を振り返りつつ、テキストを見直しておく。
15回	**授業テーマ：記号論理**(3) 授業内容：三段論法による議論について。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク：テキストを読み、わからない箇所を調べておく。 事後学修 2.0hr：前回と今回の授業内容を振り返ったうえで、演習問題を解く。

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

コミュニケーション論(留学生クラス)では、コミュニケーションに対する理解を深めるため、自己理解、他者理解、社会スキル、異文化理解、議論の観点からコミュニケーションの基礎的知識について学ぶ。また、企業活動やエンターテイメント、災害などの分野を取り上げ、コミュニケーションが果たす役割について考えていく。そして、実際の会話データを用いて会話分析を行い、調査・研究の基本的な方法や姿勢を学ぶ。授業は、グループワークに取り組みながら進めていき、自らのコミュニケーション能力について客観的に捉えつつ、コミュニケーション技術を磨いていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ●/M2 ○/M3 ○）

一般目標：コミュニケーション学の基礎を理解し、現実社会ではどのように反映されているかを分析・考察する力を習得する。
自らのコミュニケーション能力向上のために必要な力を客観的に考察できるようになる。
コミュニケーションに必要な日本語力を向上させる。
授業活動を他者と協力して成しとげることの重要性を認識し、協働する力を身につける。

個別目標：コミュニケーション学に関する基本的な文章を日本語で理解し、その内容をまとめて説明できる。
コミュニケーション学の基礎を理解し、現実場面にどのように生かせるかを分析できる。
自らの日本語によるコミュニケーション能力を理論に照らし合わせて客観的に判断できる。
日本語によるコミュニケーション能力を高め、学び考えたことを的確に表現できる。
他者の意見を的確に理解し、異なる意見を認めることができる。

▌履修条件

留学生を対象とする科目である。
毎回出席し、指定された課題を行うこと。
授業では、積極的に発言し、活動に参加すること。

▌評価基準・方法

最終レポート 40 %、授業内課題 20 %、授業活動 20 %、振り返り 20 %で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価対象とする。

▌フィードバック方法

授業中、または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(ディスカッション、グループワーク)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『大学 1 年生からのコミュニケーション入門』ナカニシヤ出版

▌参考書

『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣
『会話データ分析の実際：身近な会話を分析してみる』ナカニシヤ出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　大学生の学びとコミュニケーション** 授業内容：自己紹介をする。自分のコミュニケーションについて考える 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、理解する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーションの基本概念 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
3回	**授業テーマ：自己理解を深める** 授業内容：自己とは何か。自分というものがどのように形成されるか 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
4回	**授業テーマ：自分の考えを整理し、伝える** 授業内容：自分の考えをわかりやすく伝えるために大切なこと。議論の必要性 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
5回	**授業テーマ：様々なコミュニケーション　①社会スキル ②アサーション** 授業内容：社会スキルについての基本的な知識とアサーションの考え方 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
6回	**授業テーマ：コミュニケーションと異文化理解** 授業内容：異文化間コミュニケーションについて考える 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
7回	**授業テーマ：議論の考え方** 授業内容：議論の基礎、情報収集、ディベートについて学ぶ 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
8回	**授業テーマ：他者の意見を聞き、評価する** 授業内容：反論の仕方について考え、反論されたときの対処方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読み、検討・議論したいことについて考える 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート

9回	**授業テーマ：マーケティング・コミュニケーション** 授業内容：マーケティング・コミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
10回	**授業テーマ：コーポレート・コミュニケーション** 授業内容：コーポレート・コミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
11回	**授業テーマ：バーチャル空間のコミュニケーション** 授業内容：バーチャル空間におけるコミュニケーションの特徴と内容を理解し、議論する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
12回	**授業テーマ：情報社会とコミュニケーション・ネットワーク** 授業内容：情報社会とコミュニケーション・ネットワークの特徴と内容を理解し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
13回	**授業テーマ：災害とコミュニケーション** 授業内容：災害時におけるコミュニケーションの特徴と内容を確認し、議論をする 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
14回	**授業テーマ：初対面会話(接触場面)の二者会話・三者会話の比較分析** 授業内容：接触場面における初対面会話の映像・会話スクリプトを見て、特徴を分析する 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、基本を理解し、議論ができるように準備する 事後学修 2.0hr：授業の振り返りレポート
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと総括** 授業内容：本授業の学びを総括する 事前学修 2.0hr：自分の学びについてまとめてくる 事後学修 2.0hr：期末レポート作成

コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

海谷　千波（かいや　ちなみ）

▌授業の概要

1．対象：「そもそもコミュニケーションとは何か」と疑問を持つ者、あるいは疑問を持ってみたい者。
2．目的：「コミュニケーション」に関する現象・言説を批判的に捉え、実践できる。
3．内容：(ア)「コミュニケーション」や諸問題に関する「常識」・「当然」・「当たり前」と、(イ)これらのこと「に／を」コミュニケートする可能性について学ぶ。
4．授業形式：(ア)概念・定義・構成要素・課題等を［再］整理し、(イ)グループやクラス全体で議論する。
ただし、履修登録者数や学生の学修状況に応じて、学修内容や活動に修正が加えられることもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ●/M2 ○/M3 ○）

一般目標：「コミュニケーション」現象からのメッセージや問いかけに向き合い、その意味を見出し、応答できるようになる。
個別目標：1．知識・技能：「コミュニケーション」に関連する基本的な考え方を知り、説明できる。
2．思考・判断・表現：「コミュニケーション」に関連する諸問題について自ら考え、判断し、表現したり行動したりできる。
3．主体性・多様性・協働性：他者と関わる(コミュニケートする)ことで、多様性を認め合い、人間性を高め合おうとする。

▌履修条件

1．初回授業へ参加する(※　班編成と座席表作成のため)
2．初回授業で交わされた約束を守る
3．ノート PC、又はタブレット(※　キーボードを準備)を持参する
4．科目担当者が開講する「異文化コミュニケーション概論 a・b」と内容の一部が重複することを理解する

▌評価基準・方法

評価基準・方法
1．講義・議論(60 %：授業外学修 30 %を含む)
2．グループ発表(40 %：実演だけでなく、準備や他グループ発表評価も含む)
以上、1及び2により総合的に評価する。
【※　単位修得の条件として、12 回以上の「出席」が必要。遅刻2回で欠席1回とする。】

▌フィードバック方法

必要に応じて、授業や manaba で課題を点検したり、コメントしたりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションとプレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 入力(レポート：授業の振り返り、発表の評価・コメント；プロジェクト：発表資料の作成)）

▌教科書

宮原哲(2006)．『入門コミュニケーション論』(新版)．松柏社.

▌参考書

板場良久・池田理知子編(2011)．『よくわかるコミュニケーション学』．ミネルヴァ書房.
池田理知子編(2010)．『よくわかる異文化コミュニケーション』．ミネルヴァ書房.
鈴木敏恵(2012)．『課題解決力と論理的思考力が身につくプロジェクト学習の基本と手順』．教育出版株式会社.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業方針と課題・評価等** 授業内容：(1)シラバスと補足資料にしたがい、授業方針・内容・方法・評価の要点について理解するとともに、授業外学修の具体的な方法を知るとともに、(2)「何のためにコミュニケーションを学びたいか」について考えたり、意見交換したりする。 事前学修 2.0hr：シラバス、とりわけ「授業の概要」、「履修条件」、「評価基準・方法」を熟読し、理解するとともに、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：シラバスとオリエンテーションを振り返り、「何のためにコミュニケーションを学びたいのか」についてまとめる。
2回	**授業テーマ：人間コミュニケーションの基本的な基本的な考え方** 授業内容：(1)そもそも「コミュニケーション」とはどのような現象なのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
3回	**授業テーマ：ことばとコミュニケーション** 授業内容：(1)コミュニケーションと言語メッセージがどのように関係し合っているのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
4回	**授業テーマ：ノンバーバル・コミュニケーション** 授業内容：(1)コミュニケーションと非言語メッセージがどのように関係し合っているのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
5回	**授業テーマ：認識コンピテンス** 授業内容：(1)自己内コミュニケーションがどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
6回	**授業テーマ：人を動かすコミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)説得がどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。

7回	**授業テーマ：対人コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)1対1の人間関係がどのように構築されるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
8回	**授業テーマ：小集団コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)グループにおける合意形成やリーダーシップがどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
9回	**授業テーマ：組織内コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)組織がどのように運営されるのか、その要点を理解するとともに、(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
10回	**授業テーマ：異文化間コミュニケーション・コンピテンス** 授業内容：(1)文化相互理解がどのように行われるのか、その要点を理解するとともに、(2)学生自ら提起する関連課題について話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義や議論の内容をまとめるとともに、グループ発表に向けて情報を収集する。
11回	**授業テーマ：グループ発表準備(1)：テーマ設定と文献調査** 授業内容：(1)グループ発表の方針、内容、方法等について理解し、(2)グループで解決すべきテーマを設定し、マインド・マップを使ってキーワードを考えながら、発表の全体像をつくる。 事前学修 2.0hr：トピックや関連情報について調べ、要点や自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：グループで検討した文献や情報を調べ、熟読し、要点・概要をまとめる。
12回	**授業テーマ：グループ発表準備(2)：現状把握と課題設定** 授業内容：(1)グループで持ち寄った情報を整理したあと、(2)テーマに関する現状を把握し、課題を設定し、(3)現状と課題に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：グループで決めたテーマについて、現状や課題に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
13回	**授業テーマ：グループ発表準備(3)：原因追及と改善案提示** 授業内容：(1)テーマに関する現状と課題を整理したあと、(2)原因・理由・背景を突き止め、改善案を考えて、(3)原因・理由・背景と改善案に関する発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：原因や改善案に関する情報を収集する。 事後学修 2.0hr：授業での議論に基づき、発表原稿を推敲する。
14回	**授業テーマ：グループ発表(1)：第1グループの発表と評価** 授業内容：第1グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。
15回	**授業テーマ：グループ発表(2)：第2グループの発表と評価** 授業内容：第2グループが発表を実演する。聴衆はメモをとりながら発表を聞いた後、評価シートに評価やコメントを書き込む。 事前学修 3.0hr：発表原稿を完成させ、リハーサルを行う。 事後学修 1.0hr：他のグループ発表について振り返り、今後、自分がどのように「コミュニケーション」を図るかをまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　一恵（なかしま　かずえ）

▌授業の概要

人の心は、知覚、記憶、思考、言語など、様々な機能を持っている。心の働きを科学的に解明する心理学は、それに応じて様々な専門分化した研究がなされている。

本講義では、心理学の成り立ち、人の心の仕組み及び働き、その概観について理解し、周囲の人との関わりの中で活用していくことができる力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：基礎的な心理学に関する諸理論を学ぶことにより、人の心や行動の基盤を理解する。また、心理学で学んだ内容を、日常生活で生かせる力を身につける。

個別目標：1)基礎的な心理学の理論や知識を習得し、人の心の動きを科学的に理解できる。
2)日常生活において起こる諸問題に対して、心理学の知識を応用できる。
3)自己・他者の多様性を理解し、穏やかで円滑な人間関係の形成に関与できる。

▌履修条件

1)第 1 回講義のガイダンスで説明する履修条件を理解し、順守できること(第 1 回講義の出席を必須とする)。
2)授業では個別指導とアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的・積極的に学ぶ意欲があること。
3)授業方法の特性上、第 1 回講義時に提出する履修動機を基に履修者を決定する(約 50 名程度)ため、第 1 回講義に必ず出席すること。
4)本講義では、多様な背景や特性を持つ履修者が共に学ぶことを前提としている。必要に応じて合理的配慮を行うため、合理的配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

※原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
1)授業内で提示する課題(50 %)
2)最終試験・レポート(50 %)
以上をもとに、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題、質問や意見共有などに対してのフィードバックは、翌週以降の授業内または学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba を使用しての意見共有）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba を使用した意見共有、フィードバック、レポート作成 など）

▌教科書

指定なし

▌参考書

丹野義彦他著　「初めて出会う心理学」　有斐閣 2020
ジョエル・レビー著　「心理学の基礎講座」　NEWTON PRESS 2022

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：本講座の目的、授業の進め方、課題の取組み方、評価基準についてガイダンスを行う。また、心理学の位置づけについて理解する。 事前学修 2.0hr：履修動機を明確にし、心理学についての関心があることをまとめる。 事後学修 2.0hr：心理学についての自分の考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学入門** 授業内容：心理学とは何か、人の心を研究する意味、歴史的背景などについて理解する。 事前学修 2.0hr：心理学の歴史について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心理学の概要について自分の考えをまとめる。
3回	**授業テーマ：遺伝的気質特性** 授業内容：遺伝的気質の特徴について理解する。また、遺伝的気質の特徴とこれまでの自分自身の行動やコミュニケーションの特徴などについて理解する。 事前学修 2.0hr：遺伝的気質について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の遺伝的特性をまとめる。
4回	**授業テーマ：心理的発達** 授業内容：遺伝と環境との関係、新生児や子どもの能力・発達について理解する。 事前学修 2.0hr：遺伝と環境の関係について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、遺伝と環境との関係、自身の特性と発達との関係をまとめる。
5回	**授業テーマ：感覚** 授業内容：心と関係の深い脳や感覚器官のはたらき、仕組みについて理解する。 事前学修 2.0hr：脳機能について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、心と脳の関係についてまとめる。
6回	**授業テーマ：感情** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的機能について理解する。 事前学修 2.0hr：感情について、関心をもっていることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り、自身の特性との関係についてまとめる。
7回	**授業テーマ：記憶** 授業内容：記憶研究についての流れや、記憶のメカニズムについて理解する。 事前学修 2.0hr：記憶について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
8回	**授業テーマ：心理的ストレス** 授業内容：心理的ストレスについて、ストレス状態のメカニズムについて理解する。 事前学修 2.0hr：ストレスについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。

9回	**授業テーマ：性格と遺伝的気質の違い** 授業内容：性格とは何か、構造や役割について理解する。また、遺伝的気質との違いを、前半の講義で習得した理論や知識と照らし合わせて理解する。 事前学修 2.0hr：性格について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の性格と特性についてまとめる。
10回	**授業テーマ：社会的認知①** 授業内容：コミュニケーションの入口としての印象形成の理論について理解する。 事前学修 2.0hr：印象形成の理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
11回	**授業テーマ：社会的認知②** 授業内容：コミュニケーションとは何かについて理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーションについて、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
12回	**授業テーマ：社会的認知③** 授業内容：コミュニティ形成における、自己・他者理解について理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニティ心理学について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
13回	**授業テーマ：社会的認知④** 授業内容：パーソナリティ理論について理解する。 事前学修 2.0hr：パーソナリティ理論について、関心のあることを調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自身の特性との関係についてまとめる。
14回	**授業テーマ：様々な心理学** 授業内容：各分野における心理学の特徴について理解する。 事前学修 2.0hr：関心のある心理学分野について調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、興味のある分野についてまとめる。
15回	**授業テーマ：復習とまとめ、試験・レポート** 授業内容：全講義内容を振り返り、心理学の知識と理論をまとめる。また、今後、自分の生活にどのように活かしていくのかを考える。 事前学修 2.0hr：本講義の内容を振り返り、疑問点などを明確にする。 事後学修 3.0hr：本講義の内容を振り返り、最終レポートにまとめる。

心理学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

林　哲也（はやし　てつや）

▌授業の概要

人間の歴史は多様性を知る歴史でもある。交通、通信の発達などにより、人間はより多様な価値観や社会現象との遭遇を繰り返してきた。現代社会はインターネットという技術を得て、その多様性との遭遇はさらに高速化、日常化している。そうした背景の中で、私たち一人ひとりの心も動揺させられやすく、健康との関連がより深まる時代となっている。一方人間は古くから「心とは何か」への探求を行ってきた。近年は心理学という学問領域が成立し、多くの知見から、複雑化する社会における私たちの心のあり方への応用も盛んに議論されている。

本講義では、心理学の理論を紹介しつつ、現代社会の捉え方や私たちの健康へいかに応用させていくかについての理解を深め、実践していける力を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：心理学の基礎的な理論を参照しながら、心と現代社会との関係、健康との関係について、生活実感をともなった理解をする。

個別目標：1) 自らの心理に影響を与えている身体の機能や社会との関係について理解を深め、説明することができる。
2) 日常生活における、自らの心理的特性や行動傾向についての理解を深め、説明することができる。
3) 健康で充実した生活を過ごすための、心理的なセルフケア行動を実践することができる。

▌履修条件

1）初回の授業に必ず出席し、履修上の諸注意を順守できること（特に不要な授業途中の入退室、私語は慎むこと）。2）授業ではアクティブラーニングの手法も取り入れていくため、自主的、積極的に学ぶ意欲があること。3）アクティブラーニングの実効性の観点から履修者が多数の場合は履修動機、履修意欲を記述するレポートをもとに履修者を選抜する可能性がある。

▌評価基準・方法

1) 授業への取り組みと、授業内で提示する質問や理解度チェックへの応答、授業ごとの小課題の作成（60 %）　2) 最終課題（レポート）（40 %）をもとに総合的に評価する。

※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とするが出席のみでの評価点は設けない。あくまで授業内での取り組み、提出された課題の内容を踏まえて評価をする。

▌フィードバック方法

毎回の小課題、授業中に行った respon による意見共有などに対するフィードバックを、学習支援システム manaba を通じて、あるいは翌週以降の授業内でのコメントによって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを中心に行う。受講人数、受講生の理解度も参考にしながらグループワーク、PBL（課題解決型学習）を用いることもある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学習支援システム manaba、respon を使用した意見共有、フィードバック、ディスカッションを行う。スマホ、タブレットでも可。）

▌教科書

授業内でレジュメを配布。

▌参考書

無藤隆（他著）「新版　心理学」有斐閣　2018

下山晴彦（編）「よくわかる臨床心理学［改訂新版］」ミネルヴァ書房 2009

宗像恒次（他著）「ＳＡＴ法を学ぶ」金子書房 2007

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・心理学とは―本講義の目的―** 授業内容：履修にあたっての諸注意と講義の進め方についてのガイダンスを行う。また心理学の学術的な位置づけについて概説を行い、自身がもつ心理学のイメージとの対比について考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と意欲、心理学について自分自身が持っている関心についてまとめる。 事後学修 2.0hr：自身がもつ心理学のイメージと学術的な心理学の位置づけについて、重なる点、異なる点についてまとめる。
2回	**授業テーマ：心理学の全体像―心理学の歴史とさまざまな分野―** 授業内容：心に対する探求は古代から哲学や宗教を中心に行われ、近年では実験、調査などの科学を中心とした心理学が発展している。その心理学の歴史と研究対象とするさまざまな分野の広さについて概説し、身近な問題との関連を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学の歴史的・社会的な位置づけと研究対象となるさまざまな分野などについてまとめる。
3回	**授業テーマ：感覚と知覚－脳・神経の働きと環境の認識―** 授業内容：心と不可分の関係にある脳や周囲の環境の安全や危険を認識する感覚器官のはたらき、仕組みについての概説を行い、身近な心理的問題を取り上げて、身体機能の視点も踏まえた多角的な解釈を試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心と脳の関係、環境を認識する感覚器官のはたらきについてまとめる。
4回	**授業テーマ：感情と社会―喜怒哀楽の機能と制御―** 授業内容：感情が生じるメカニズムや社会的な機能について概説を行い、身近な問題を取り上げて多角的に自己理解、他者理解を試みる。また自分の心のコントロール、他者との良好なコミュニケーションについても考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：感情の心理学的基礎理論と現代社会における感情の問題についてまとめる。
5回	**授業テーマ：心理的ストレスとは何か** 授業内容：思い通りに進まない事柄や突発的な出来事などから生じるストレス状態のメカニズムについて概説し、ストレス社会と言われる現代社会の構造から受ける影響、自身の健康を維持するための対処法について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理的ストレスの概念と、関連する社会問題についてまとめる。
6回	**授業テーマ：心理学と日常生活―身近な問題への応用―** 授業内容：第２回から第６回の内容を復習し、その理解をもとに日常生活で起こりがちな心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身の日常生活に応用して新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 6 回の授業を踏まえて、自身の日常生活場面について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。

7回	**授業テーマ：社会的認知ー印象形成の理論ー** 授業内容：コミュニケーションの入口ともいうべき他者に対する印象形成のメカニズム、行動から他者の特性を推論する帰属のバイアスなどについて概説を行い、その理解を踏まえて自身が経験してきた人間関係を振り返る。また今後の他者理解について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：印象形成、帰属バイアスについての理論を自身の経験と関連づけてまとめる。
8回	**授業テーマ：社会的影響①ー他者・集団との関係ー** 授業内容：人が個人として選択しているように思える思考、行動も、他者や文化といった社会的影響を受けており、また何らかの影響を他者や文化に与えてもいる。社会心理学の観点を踏まえた心の理解について概説し、身近な問題と関連させて自身の心の経験を考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら、他者、集団、組織、規範など、個人に及ぼす社会的影響についてまとめる。
9回	**授業テーマ：社会的影響②ー人間関係とコミュニケーションー** 授業内容：人生の豊かさや楽しみをもたらす一方で、葛藤や嫌悪が生じてしまうこともある人間関係。親密さや攻撃性を生み出すメカニズム、良好なコミュニケーションの構成要素について概説し、自身の人間関係やコミュニケーション傾向について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：心理学的理論を応用させながら身近な人間関係について考察し、現代社会の問題も踏まえてまとめる。
10回	**授業テーマ：ライフサイクルと心理的問題** 授業内容：人間は生まれてから死ぬまで常に変化している。その中で生じる一定の時期に応じた発達段階ごとの心理的課題について、特に青年期、高齢期を取り上げて概説する。その理解を踏まえて自身の現在の心理的な発達課題、将来的に直面するであろう発達課題について考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：生涯発達の視点から、各ライフステージにおける心理的問題についてまとめる。
11回	**授業テーマ：心理学と社会生活ー社会との関係への応用ー** 授業内容：第７回から第１０回の内容を復習し、その理解をもとに社会との関連で自身が抱える心理的問題を考える。教員から提示する事例、ケースに対してどのように思考し対処するか、セルフワークまたはグループワークを通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業の内容を踏まえ、自身が感じる社会との関係の問題に応用して、新たな理解を得られる場面があるか考える。 事後学修 2.0hr：第 11 回の授業を踏まえて、自身がもつ社会と関連した心理的課題について、さらに多角的な理解を試み、まとめる。
12回	**授業テーマ：自己と社会ー自分とは何かー** 授業内容：「自分のことなのによく分からない」といった現象のように、社会心理学の主要なテーマとして扱われる「自己」に関する理論について概説を行い、その理解を踏まえて自身の経験を重ね、自己理解の基礎づくりを試みる。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己に関する理論について整理し、自身を対象として「自己」についての新たな気づきについてまとめる。
13回	**授業テーマ：パーソナリティ理論** 授業内容：同じ人間であっても一人ひとりに無意識に行いがちな思考や行動の傾向がある。人格、性格を探究するパーソナリティ理論の概説と質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：パーソナリティ理論と自らのパーソナリティーについての気づきをまとめる。
14回	**授業テーマ：気質と本質的欲求** 授業内容：生まれもった遺伝的、生得的な要因である気質に基づく個性と、行動の基となる根源的な欲求についての理論を概説し、質問紙を使ったセルフワークを通して自己理解を深め、健康な生活に資する自分らしいセルフケアについて考える。 事前学修 2.0hr：事前資料を読み、関心をもった項目や疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質、本質的欲求についての理論と気質コーチングを通じた自身の特性の気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：心理学と学生生活ー復習とまとめー** 授業内容：学生生活における心理的課題の理論について概説を行うとともに、これまでの授業の復習を行う。シラバスの個別目標について、各自の到達度を自己評価する。 事前学修 2.0hr：第 14 回までの内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業の内容と自らの生活を重ねて総合的に振り返る。

からだと健康

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宮澤　慶（みやざわ　けい）

▌授業の概要

現代社会に生きる人間にとって健康は大切なものであり、かけがえのない財産である。自己実現のためにも、健康の保持・増進は重要である。本講義は、学生がからだの仕組みを理解し、健康に関する基本的知識を有する事を目的として、講義を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：学生が健康的な生活を送るための基本的な知識を持ち、自己の健康を管理でき、健康に関して科学的又は医学的な考え方ができるようになることを到達目標とする。

個別目標：(1) 各臓器の機能、役割について説明できる。
(2) 健康問題にかかわる要因について説明できる。
(3) 健康維持増進および病気の予防について説明でき、実践することができる。

▌履修条件

健康や栄養について興味をもつもの。

授業中の私語、入退室及び携帯電話の使用等の授業妨害行為、並びに不適切な行為を慎める者。問題のある行為が認められた受講停止を求める。原則遅刻・早退を認めない。

▌評価基準・方法

中間テスト(2 回)の成績、出席ペーパー(12 回)、学修態度に基づき総合的に評価する (おおよその目安：期末 60 %、中間テスト 15 %、出席ペーパー 20 %、出席 5 %程度)。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。(欠席事由等については『履修の手引』を参照すること。

▌フィードバック方法

出席ペーパーの回答が十分でない部分は講義時もしくは manaba 上で追加説明を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題(出席ペーパー)等を用いて実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイントを使用して講義を行なう。）

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

今村裕行ら他 8 名著　「健康増進科学概論 －運動・栄養・休養－」(東京教学社) 2015

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：人体・医学・倫理・健康科学** 授業内容：講義に臨む態度について。 医学の進歩と払われた犠牲について。 事前学修 2.0hr：現代生活の特徴と QOL(生活の質)について考察しておく。未来にむけた医療のあり方について考える。 事後学修 2.0hr：医学の進歩とその意義について理解する。受講ルールをよく理解して遵守できるようにする。
2 回	**授業テーマ：人体と健康(肺)** 授業内容：呼吸について。 呼吸運動について。 喫煙と関連疾患について。 COPD について。 肺がんについて。 禁煙方法について。 事前学修 2.0hr：COPD と肺の健康について調べる。 事後学修 2.0hr：エネルギーを引き出す呼吸の仕組みやその調節機構および肺の健康について復習する。
3 回	**授業テーマ：人体と健康(心臓)** 授業内容：心臓について。 血液循環について。 血液の成分と働きについて。 循環調節について。 血圧について。 事前学修 2.0hr：心臓の役割や血液の循環について復習する。 事後学修 2.0hr：全身に栄養や酸素をめぐらす心臓のポンプ作用や血管の構造について復習する。
4 回	**授業テーマ：人体と健康(脳)　栄養と健康** 授業内容：神経について。 脳の構造について。 自律神経について。 脳卒中について。 神経系の病気について。 アルツハイマー症について。 事前学修 2.0hr：脳卒中・脳出血・脳梗塞について調べる。認知症について調べる。 事後学修 2.0hr：情報をコントロールする脳・神経系の働きや記憶・学習の仕組みについて復習する。
5 回	**授業テーマ：中間テスト 1　　1 回から 4 回の講義内容確認** 授業内容：第 1 回から第 4 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 1 を行なうので第 1 回から第 4 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テストの内容を復習する。
6 回	**授業テーマ：応急手当と健康** 授業内容：心肺蘇生法について。 AED の使用法について。 RICE 処置などさまざまな救急法について。 歯の脱臼時の対応について。 バイタルサインについて。 事前学修 2.0hr：救急蘇生法と AED について調べる。 事後学修 2.0hr：心肺蘇生の方法や AED の使い方、および簡単な応急手当法について復習する。

7回	**授業テーマ：人体と健康(消化器)** 授業内容：消化器官について。 唾液について。 胃の構造と働きについて。 小腸について。 大腸について。 急性虫垂炎について。 大腸がんについて。 事前学修 2.0hr：食生活の飽食化・欧米化・簡便化について調べる。 事後学修 2.0hr：胃・腸の役割について復習する。
8回	**授業テーマ：人体と健康(肝臓)** 授業内容：栄養の消化について。 肝臓の構造と働きについて。 胆嚢の役割について。 膵臓の構造と働きについて。 肝炎とその種類について。 飲酒について。 事前学修 2.0hr：日本人の肝疾患のリスクファクターについて調べる。 事後学修 2.0hr：肝臓の役割、肝疾患について復習する。
9回	**授業テーマ：食事と健康** 授業内容：五大栄養素について。 ビタミンについて。 ビタミン欠乏症について。 食塩摂取と高血圧や脳血管疾患との関係について。 BMI について。 食事バランスガイドについて。 事前学修 2.0hr：五大栄養素について調べる。ビタミン欠乏症について調べる。食育について調べる。 事後学修 2.0hr：生命を維持するための栄養素がどのようにエネルギーや生体成分に変換されるかを復習する。
10回	**授業テーマ：中間テスト 2　 6 回から 9 回の講義内容** 授業内容：第 6 回から第 9 回までの授業内容をテストする。 事前学修 3.0hr：中間テスト 2 を行なうので第 6 回から第 9 回までの授業内容を復習する。 事後学修 3.0hr：テスト内容を復習する。
11回	**授業テーマ：人体と健康(腎臓)** 授業内容：腎臓の構造と働きについて。 泌尿器系にみられる疾患の種類について。 人工透析について。 糖尿病について。 事前学修 2.0hr：糖尿病の自覚症状と合併症について調べる。人工透析について調べる。 事後学修 2.0hr：腎臓の構造と尿を作る仕組みについて復習する。
12回	**授業テーマ：生活習慣病と健康** 授業内容：日本人の死因について。 メタボリックシンドロームについて。 特定健診について。 骨粗しょう症について。 痛風について。 事前学修 2.0hr：日本人の死亡原因について調べる。ヘルスプロモーションについて調べる。 事後学修 2.0hr：生活習慣病の種類や発症および予防対策について復習する。
13回	**授業テーマ：感染症予防と健康** 授業内容：感染について。 感染源と感染経路について。 ワクチンについて。 性感染症について。 動物や節足生物からの感染症について。 手洗いについて。 事前学修 2.0hr：新興感染症と再興感染症について調べる。STD について調べる。 事後学修 2.0hr：感染症対策について復習する。
14回	**授業テーマ：高齢化社会と健康** 授業内容：健康について。 生活習慣病予防について。 ヘルスプロモーションについて。 国際生活機能分類(ICF)について。 事前学修 2.0hr：日本の人口の問題点について調べる。 事後学修 2.0hr：ノーマライゼーションとバリアフリーについて復習する。
15回	**授業テーマ：テスト対策　歯科疾患と健康　まとめ** 授業内容：う蝕について。 歯周病について。 顎顔面領域の外傷について。 マウスガードについて。 期末テスト対策を行なうので第 1 回から第 14 回までの授業内容を復習する。 事前学修 3.0hr：第 1 回から第 14 回までの講義を復習する。 事後学修 3.0hr：全ての講義内容を復習し、期末テストに臨む。　からだの仕組みを理解し、自分の健康管理ができるようにする。

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中根　弘之（なかね　ひろゆき）

▌授業の概要

我々人間は、ほぼ意図することなく一定の世界観・価値観に従って日々の生活を送っている。この世界観・価値観は日常生活において顧みられることなく、広義の「世間知」として習得されてきたものである。本講義はカントの人間学的な観点から、さまざまな現代日本の生活にまつわる「世間知」についてより深く反省を加え、成熟した人間になるために必要なことは何かを考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：　現代日本を取り巻く社会問題を学び、自身の身の回りで起きていることを複数の視点で合理的に思考し、断片的にではなく全体の構図から自分の言葉で説明することができる。

個別目標：1）現代日本が直面している誕生と死にまつわる現状とその問題点について説明することができる
2）コミュニケーション能力の定義を理解し、日本のコミュニケーション空間の変質と現状について説明することができる
3）日本の宗教意識の特徴点を列挙し、説明することができる
4）価値の諸相について理解し、使用価値と交換価値の違いについて日本の現状から説明することができる

▌履修条件

新聞やニュースなどに関心を持ち、主体的に世の中の動きや自分自身のあり方について考える意志のある学生であること。

▌評価基準・方法

中間テスト点３０点
まとめテスト点７０点
このほか、自主学習のため manaba を用いて、課題を３回出すので、２回以上の提出を求める。

▌フィードバック方法

学期進行中に実施する中間テストの点数は、要望に従い学生に公開する。
同様に課題についても全体コメントを講義内で講評し、要望があれば学生個々に manaba の個人指導コレクションを用いて指導する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は指定しない。
資料は教室で配布する

▌参考書

ＮＨＫ放送文化研究所『現代日本人の意識構造』[第九版]、２０２０他、必要に応じて提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：導入　人間学と日本人の意識** 授業内容：単位取得の条件の確認、およびこの講義で扱う日本を取り巻く問題圏とカントの「人間学」の視点を紹介し検討する。 事前学修 2.0hr：自分の人生のあり方を死ぬ瞬間まで考えてみる 事後学修 2.0hr：身の回りの「世間知」について考えて列挙する
2回	**授業テーマ：誕生と死　誕生にまつわる現状と意識** 授業内容：少子化の現状を様々なデータから紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：人間の誕生に関してどのようなことが問題になるのか考える 事後学修 2.0hr：誕生にまつわる現状と課題を整理し、望ましい誕生のあり方をまとめる
3回	**授業テーマ：誕生と死　死にまつわる現状** 授業内容：高齢、長寿化の現状について様々なデータを紹介し、それにまつわる意識調査の情報を共有する。 事前学修 2.0hr：自身の経験したあるいは想像する死にまつわることがらについて列挙する 事後学修 2.0hr：死にまつわる現状と課題を整理し、望ましい死のありかたをまとめる
4回	**授業テーマ：誕生と死　死に向かうということ** 授業内容：尊厳死や安楽死といった新しい形の死についての紹介とそれにまつわる意識調査のデータを共有し、人間学的な視点から少子高齢化問題をまとめる。 事前学修 2.0hr：死に直面した時の状況について考えてみる 事後学修 2.0hr：死に直面した時の自身の心の動きと命の重みを重ね合わせ、人間の生について思うところをまとめてみる
5回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独と仲間をめぐる現状** 授業内容：コミュニケーションの現状とそれに伴う意識調査の内容を紹介し、情報を共有する。 事前学修 2.0hr：現代のコミュニケーション状況の特徴について自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション不調の場合にみられる諸特徴について列挙しておく
6回	**授業テーマ：孤独と仲間　コミュニケーション能力の定義とコミュニケーション空間の変質について** 授業内容：コミュニケーション能力についていくつか具体的な定義を紹介し、スマートフォンを用いた SNS の各種サービスの使用現状を概括する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション能力と呼ばれているものについて自分の考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：コミュニケーション能力の様々な定義についてまとめておく
7回	**授業テーマ：孤独と仲間　孤独病と承認要求について** 授業内容：片田珠美『孤独病』を軸に孤独感が強すぎてコミュニケーション不調について検討する。 事前学修 2.0hr：孤独感が強すぎることによって生じるコミュニケーション障害について列挙しておく 事後学修 2.0hr：孤独感と承認欲求の関係について自分なりにまとめておく
8回	**授業テーマ：孤独と仲間　仲間と呼べるものは誰か** 授業内容：鴻上尚志『世間と空気』を軸に日本的集団意識の問題点や特徴を取り上げ、検討する。 事前学修 2.0hr：仲間集団についてその必要条件について自分なりにまとめておく 事後学修 2.0hr：「世間」集団を形成する時に守られるべきルールを自分なりにまとめておく
9回	**授業テーマ：中間まとめとテスト** 授業内容：これまで講義で扱った「誕生と死」、「孤独と仲間」の内容をまとめ、習熟度の確認のために中間テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した内容のポイントを自分なりにまとめ、テストに備える。 事後学修 2.0hr：中間テストの出来を自分で思い出し、理解度の足りなかった部分を確認する

10回	**授業テーマ：神と仏　宗教をめぐる現状について** 授業内容：日本の宗教意識の現状について、各種の意識調査のデータを紹介し、共有する。 事前学修 2.0hr：日本の宗教の現状について自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：諸宗教のデータをまとめ、日本の宗教の動向をまとめておく
11回	**授業テーマ：神と仏　神道と仏教** 授業内容：日本の宗教において中心を占める神道と仏教について簡単に歴史をまとめ、自身の宗教理解を反省する。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りの宗教的儀礼や行為について考え、ノートに列挙する 事後学修 2.0hr：自身が行ってきた宗教儀礼、宗教的行為を分類し整理する
12回	**授業テーマ：神と仏　日本的宗教意識について** 授業内容：日本の宗教意識を特徴づける「神仏習合」、「現世利益」、「祖先崇拝」の 3 つを軸に日本的宗教意識のあり方について検討する。 事前学修 2.0hr：超越的な存在について自分の考えをノートにまとめておく 事後学修 2.0hr：現世利益、祖先崇拝、神仏習合などの大事な概念についてまとめておく
13回	**授業テーマ：お金と価値　交換価値と使用価値** 授業内容：使用価値と交換価値の違いを具体的に検討した後、日本の平均収入の変化や経済的な豊かさについての意識調査を紹介し、情報共有する。 事前学修 2.0hr：お金で買えるものと買ってはいけないものの違いについて考えておく 事後学修 2.0hr：講義内容をまとめ、お金の歴史について調べておく
14回	**授業テーマ：お金と価値　資本主義の精神と疎外 -S. ゲゼルの思想-** 授業内容：ヴェーバーの『プロテスタンティズムの倫理と資本主義』の末尾に見られる未来図と、ゲゼルの価値を減じる貨幣システムについて学び、人間学的にまとめる。 事前学修 2.0hr：ヴェーバーの主張と地域通貨について調べておく 事後学修 2.0hr：理想的な交換価値と使用価値のあり方について考えておく
15回	**授業テーマ：まとめのテストと振り返り** 授業内容：「人間的な生き方」を軸にこれまで扱ってきた諸問題をまとめ、まとめのテストと振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：テストに備え、１４回までの講義内容をまとめておく 事後学修 2.0hr：これまでの講義内容を踏まえ、人間学的に自分自身の生活の「世間知」について考える

日本人の生活意識

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

堀内　貴子（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

日本人の生活意識（留学生クラス）では、日常の会話でなにげなく使われる言葉について書かれた文章を読む。そして、その内容を、自分の経験や自国の文化と比較しながら、日本人の感じ方や考え方について理解する。
また、理解したことを言語化し、クラスメートと話し合ったり、文章にまとめたりする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本人の言動に内在する価値観を理解し、それに対し、自らの考えを述べることができる。
個別目標：・日本語の文章を読んで、内容を正確に読み取ることができる。
・日常の会話でなにげなく使われる言葉に内在する日本人の考えや価値観を捉えることができる。
・日本人の考えや価値観に対する自分の考えを論理的に説明したり、文章にまとめたりすることができる。
・他者と意見交換をしながら、さらに自分の考えを深めることができる。

▌履修条件

留学生対象のクラスである。
事前事後課題を必ず行い、授業活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

試験 40 %・授業内評価 (小テスト、授業課題、振り返り)50 %、態度（授業への参加姿勢及び発言等）10 %。

▌フィードバック方法

授業内または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森田六郎『改訂新版　日本人の心が分かる日本語』アスク出版　ISBN：9784866393773

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと事前テスト** 授業内容：オリエンテーション、事前テスト 事前学修 2.0hr：テキストを読む 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
2回	**授業テーマ：内と外を分ける：内と外、世間** 授業内容：「内と外」「世間」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
3回	**授業テーマ：内と外を分ける：しつけ、けじめ** 授業内容：「しつけ」「けじめ」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
4回	**授業テーマ：内と外を分ける：素直、甘える** 授業内容：「素直」「甘える」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
5回	**授業テーマ：他人の目を意識する：人目、恥、照れる** 授業内容：「人目」「恥」「照れる」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
6回	**授業テーマ：周囲に配慮する：遠慮、気をつかう** 授業内容：「遠慮」「気をつかう」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
7回	**授業テーマ：周囲に配慮する：人並み、空気を読む** 授業内容：「人並み」「空気を読む」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
8回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：つきあい、愛想、礼儀** 授業内容：「つきあい」「愛想」「礼儀」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
9回	**授業テーマ：人間関係を大切にする：本音と建て前、おかげさま** 授業内容：「本音と建て前」「おかげさま」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
10回	**授業テーマ：表現を押さえる：控えめ、ほのめかす、角を立てない** 授業内容：「控えめ」「ほのめかす」「角を立てない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

11回	**授業テーマ：精神主義を好む：がんばる、根性、無理** 授業内容：「がんばる」「根性」「無理」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
12回	**授業テーマ：精神主義を好む：修行、武士道** 授業内容：「修行」「武士道」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
13回	**授業テーマ：日本人の価値観：品、やまとなでしこ、派手・地味** 授業内容：「品」「やまとなでしこ」「派手・地味」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
14回	**授業テーマ：日本人の価値観：恩・義理、いさぎよい、もったいない** 授業内容：「恩・義理」「いさぎよい」「もったいない」について、事前学習で読んできたことをクラスで確認したあと、グループディスカッションを行い、理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の単語をチェックし、本文を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：今まで学んできたことについて、総復習を行う。 事前学修 2.0hr：今まで学んだことを確認する。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えをまとめ、記述する。

性格とは何か

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

性格(パーソナリティ)は、「人となり」や「その人らしさ」を指します。言動に現れるものから、内面に隠されたものまで、その人の人間性のすべてが、パーソナリティに含まれます。多くの人々は、自分自身のパーソナリティに関して悩んだり、自分と相手のパーソナリティの違いによって人間関係障害を体験したりします。本講義では、性格を固定的な特性として理解するのではなく、状況・関係・行動の中で立ち上がるプロセスとして捉えることを重視します。さらに、性格理論、自己効力感、気質、ニューロダイバーシティ、ストレス行動特性などの知見をもとに、対話とリフレクションを通じて、自身の考えを更新し続ける姿勢を養うことを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：パーソナリティに関する理論的理解を基盤として、自己理解・他者理解を深め、状況に応じた判断や行動選択、補完し合える人間関係を構築する力を涵養する。

個別目標：1）性格(パーソナリティ)に関する主要な概念や理論を、具体的な事例や文脈に即して解釈し、その有効性や限界を踏まえて説明できる。
2）ニューロダイバーシティ(脳多様性)の概念を理解し、特性を固定的なラベルとしてではなく、状況や環境との相互作用として捉え、他者との関係性を調整する視点を持つことができる。
3）自らの性格(パーソナリティ)について、一つの答えとしてではなく仮説として捉え、経験や対話を通して見直しながら、自己調整や意思決定に活かす視点を持つことができる。
4）自他の性格(パーソナリティ)の違いを把握し、一致や理解を急がず、違いが存在したまま対話を続ける姿勢を持ち、状況に応じた関わり方を選択できる。

▌履修条件

授業は、ピア・インストラクションやグループによるダイアローグなどのクリエイティブ・ラーニングの手法で行われる。
そのため、仲間と共に学習し合う雰囲気を心がけてほしい。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定する(最大受講人数 70 名程度)ため、第 1 回の講義に必ず出席すること。
また、本講義では、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提とする。必要に応じて、学修方法や参加の在り方について合理的配慮を行うため、配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

1)講義内での質問や応答(20%)と　学習の成果物①:講義ごとの小課題(60%)、学習の成果物②:最終課題(レポート)(20 %)によって総合的に評価します。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントで行います。
個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義形式に加えて、Think － Pair － Share、Think － Group － Share、ダイアローグ、リフレクティング・トーク等のアクティブ・ラーニング手法を用いて実施する。 理論の理解にとどまらず、自らの考えの変化や揺らぎを言語化する過程を重視する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

①性格とは何かワークブック(￥600)
　購入方法については、講義内や manaba で案内いたします。
②配布資料

▌参考書

岡田康伸・他：パーソナリティの心理学　有斐閣

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　　パーソナリティ心理学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．自分の性格や周りの人の性格の悩みなど、身近な問題を考える。 事前学修 2.0hr：履修動機と自分自身の性格について理解していることをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ視点から、自分自身の性格に関する気づきをまとめる。
2回	**授業テーマ：パーソナリティの把握(TAT)** 授業内容：TAT という投影法を用いた性格検査を実施して、自己分析を行う。 その結果を、Think-Pair-Share によって共有し、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック「TAT を使った自己イメージの理解」を読み、セルフチェックを実施し、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：自己イメージに関する気づきをまとめ、考察する。
3回	**授業テーマ：パーソナリティと自己効力感** 授業内容：行動と自己効力感について理解する。 自らの自己効力感について把握する。 自己効力感を高めること、成長型マインドセットについて話し合う。 安易に自己効力感を高めることのデメリットについて、話し合う。 事前学修 2.0hr：ワークブック「3．自己効力感」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：成長型マインドセットがパーソナリティ形成に与える影響についてまとめる。
4回	**授業テーマ：パーソナリティの諸理論(類型論と特性論)** 授業内容：パーソナリティの諸理論を理解する。 類型論タイプと特性論タイプのパーソナリティチェックを実施する。 Think-Pair － Share で気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：類型論と特性論、それぞれのパーソナリティのとらえ方についてまとめる。

5回	**授業テーマ：類型論①　遺伝的気質で知るあるがままの自分** 授業内容：類型論の一つである、遺伝的気質の自己チェックを行う。 人格気質とストレス気質の特徴やセルフケアについて理解する。 Think-Pair-Share で、人格気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質の特徴から自らの強みと弱点を理解し、自らの能力を生かすセルフケアをまとめる。
6回	**授業テーマ：類型論②　気質コーチング（あるがままの自分と相手を生かすためのマネジメント）** 授業内容：6 つの気質の組み合わせのパターン毎の重複気質について理解する。 気質コーチングチャートに従って、ペアワークで重複気質の特徴とセルフケアを説明し合う。 Think-Pair-Share で、気質の違いについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章「遺伝的気質　あるがままの自分を活かす」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：気質コーチングチャートを活用し、協力者を得てコーチングを実施する。
7回	**授業テーマ：ニューロダイバーシティー（脳多様性を尊重する）** 授業内容：ADHD 特性と自閉スペクトラム特性について理解する。 ２つの特性のチェックシートを実施し、自らの特性を振り返る。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 5 章 「ニューロダイバーシティ（脳多様性）を活かしあう」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：それぞれのニューロダイバーシティの活かされる環境とかかわりを考える。
8回	**授業テーマ：前半の内容についてのまとめ** 授業内容：コースの前半で実施した内容（自己効力感・気質・ストレス行動特性）について、総合的に振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 「それはなぜ重要と考えたのか」「今後どのように活用するのか」について、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：第 1～7 回までの講義内容を復習し、ポートフォリオのレポートを振り返る。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス①（ストレス行動特性）** 授業内容：ストレスを生み出しやすい特性と、ストレスを活用できる特性について理解する。 ストレス行動特性を実施し、自らの特性を理解する。 講義や Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 1.0hr：ワークブック 6 章「ストレス行動特性からレジリエンス型特性へ」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 3.0hr：自分自身のストレスパーソナリティの特徴をまとめ、考察する。理解が不十分であった内容を、再度復習する。
10回	**授業テーマ：パーソナリティとストレス②　（メンタルヘルスコーチング）** 授業内容：メンタルヘルスコーチングをガイドラインを参考に、相手のストレス行動特性について説明する。 相手に対し、どのようなストレス反応が生じやすく、それはどのようなストレス行動特性が関連しているのかについて説明する。 事前学修 2.0hr：ワークブック 8 章「メンタルヘルスティーチング＆コーチング」をよく読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：メンタルヘルスコーチングを協力者 2 名に実施し、その結果を考察する。
11回	**授業テーマ：ストレス反応とストレスコーピング** 授業内容：ストレス反応の種類、よいストレスと悪いストレス、ストレスコーピングについて理解する。 自分自身のストレスコーピングは、問題解決型か否か、情動コントロール型か否かについて振り返る。 ストレスコーピングの気づきを、Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 7 章 「ストレス反応とストレスコーピング」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.0hr：実行可能な積極的対処型のストレスコーピングを具体的に考えて、レポートにまとめる。
12回	**授業テーマ：タイムマネジメントによるストレスマネジメント** 授業内容：なりたい自分、ありたい自分について考えてみる。 有限な時間を、何を大事に生きるかに見通しを持つ。 ストレス関数によるストレスマネジメント理論を理解する。 具体的なストレスマネジメントを考え、Think-Pair-Share で気づきを深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック９章 「タイムマネジメントによるストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：レジリエンスを高める対処を復習し、実践する。
13回	**授業テーマ：Well-being のためのストレスマネジメント** 授業内容：気分が落ち込んだ時やストレスを抱えた時のセルフマネジメントの理論を理解する。 4 種類のストレスマネジメントシートを、セルフワークで実施する。 セルフワークでの気づきを、Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 10 章 「Well-being のためのストレスマネジメント」を読み、疑問点を明確にする。 事後学修 2.5hr：講義内で実施したワークを再度実施し、どのような気づきを得たのかをまとめる。
14回	**授業テーマ：Healthy Personality を育む** 授業内容：どのような要素が Healthy Personality につながるかを理解する。 自分自身のサヴァイヴァル型のパーソナリティ特性を振り返る。 なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性を考える。 気づきを Think-Group-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 11 章「Healthy Personality を育む」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.5hr：なりたい自分・ありたい自分に必要な共生型パーソナリティ特性に関する気づきをまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 3.0hr：前向きなライフキャリアにつながるパーソナリティの成長についての最終課題（レポート）を仕上げる。

生命と遺伝子

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

桑山　秀一（くわやま　ひでかず）

▌授業の概要

すべての生物には遺伝子が含まれています。遺伝子の構造は同じであることから、遺伝子の機能はすべての生物の存続にとって必須であることがわかります。本講義の前半では、まず生命の基本単位である細胞の構造や機能を学びます。さらに遺伝子の構造と機能について理解し、「遺伝子と生命」について学修します。中盤では、生命の誕生や進化の歴史を俯瞰しながら、単細胞からヒトのような高度な多細胞体の特徴に至るまでを順を追って学修します。終盤においては、「遺伝子と病気」や「遺伝子と地球環境」をテーマに遺伝子と社会の接点について学修します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：どのような学問においてもそれを行う主体が人間であるかぎり、生物に関する理解は必須です。本講義では、生命の営みに必須である遺伝子の構造や機能、その重要性について理解します。遺伝子を理解することにより、「生命とは何か？」という基本的かつ根源的な問いに対して自分なりの考察できるようになることを一般的な目標にします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

個別目標：授業を理解することにより、まず「生命とは何か？」という問いに興味を持つことを目標とします。本授業を履修することにより、「遺伝子と自分」との接点について考察し、今後自らの専攻する学問分野における諸問題を生物学的視点で考察できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

生物や生命現象に興味があることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

成績は、定期試験（70 %）とその他（出席、事後学修（レポート、授業態度）（30 %）の結果に基づき総合的に判断する。

単位取得の最低条件は、講義の 5 分の 4 以上（15 回の講義中 12 回）の出席（講義の出席と学習支援システム『manaba』によるレポートの提出により完結）と定期試験（『manaba』上で行う）の参加とする。

▌フィードバック方法

講師への質問や要望、欠席連絡等は、講師への電子メールや学習支援システム『manaba』の個別指導コレクションを通じて行うことができる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業中における講師から聴講生への質問や学生間における討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

Biology: A Global Approach、Global Edition、Molecular Biology of the Cell 第７版、ゲノム（Genomes）第４版等

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イダンス、および「生命」とは何か？ という問いに対する最初の考察** 授業内容：ガイダンス（本講義の目的と概要） 本講義の目的と概要についての説明。 「生命とはなにか？」について一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：自分が知っている生命現象をまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
2 回	**授業テーマ：細胞の構造** 授業内容：細胞の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞とは何かについて、自分の知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
3 回	**授業テーマ：細胞の機能** 授業内容：細胞の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：細胞内では一体何が起こっているのかを自分なりに考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
4 回	**授業テーマ：遺伝子とは何か？** 授業内容：遺伝子とは何か？ ついて一緒に考察する。 事前学修 2.0hr：現在の遺伝子に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
5 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の構造** 授業内容：遺伝子 DNA の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：自身の DNA に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
6 回	**授業テーマ：遺伝子 DNA の機能** 授業内容：遺伝子 DNA の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：DNA の働きに関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
7 回	**授業テーマ：タンパク質の構造** 授業内容：タンパク質の構造について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の構造に関する知識について整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
8 回	**授業テーマ：タンパク質の機能** 授業内容：タンパク質の機能について学修する。 事前学修 2.0hr：タンパク質の機能に関する知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解

9回	**授業テーマ：細胞が環境を感じるしくみ** 授業内容：細胞が環境を感じるしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が環境を感じるしくみについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
10回	**授業テーマ：細胞が動くしくみ** 授業内容：細胞が動くしくみについて学修する。 事前学修 2.0hr：細胞が運動するためには何が必要かを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
11回	**授業テーマ：がん細胞** 授業内容：がん細胞について学修する。 事前学修 2.0hr：がんとは何かを生物学的に考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
12回	**授業テーマ：幹細胞とは何か？** 授業内容：幹細胞や iPS 細胞とは何か？ とそれらの医学的、社会的意義について学修する。 また、これらの事を理解するために細胞分化についても学修する。 事前学修 2.0hr：幹細胞や iPS 細胞について事前に調べておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
13回	**授業テーマ：多細胞体生物の特徴と構造** 授業内容：多細胞体生物の特徴と構造について学修する。 また、単細胞から多細胞への生物進化に必要な細胞機能とその意義を学修する。 事前学修 2.0hr：単細胞と多細胞の違いをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
14回	**授業テーマ：遺伝子と地球環境** 授業内容：遺伝子と地球環境との関わりについて討論する。 事前学修 2.0hr：遺伝子と地球環境についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義内容の復習と理解
15回	**授業テーマ：「生命と遺伝子」についての討論** 授業内容：各人の専門分野と「生命と遺伝子」との関連についての討論 事前学修 2.0hr：自身の興味や専攻分野と生命あるいは遺伝子との関わりを考察しておく。 事後学修 2.0hr：講義前と講義後で自身の遺伝子に対する考え方の変化をまとめる。

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜アスリートの科学＞
世界で活躍するアスリートの心・技・体に焦点を当てる。実在するアスリートやその実話をもとに「競技スポーツ」の知られざる全貌に迫る。いまや、トップアスリートにとってスポーツ科学の導入は、必要不可欠である。試合の結果のみならず、そこに辿りつくまでのプロセスも実に興味深い。これを知れば、スポーツを「みる」ときの楽しさが倍増するだろう。授業では、動画、スライド、資料を存分に活用し、「アスリートの科学」を学ぶ。授業は、アカディミックアプローチによる interacitve な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：競技スポーツを「みる」ことで「人生を歩んでいくためのヒントを得る」ことができるようになる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度・アカディミックアプローチ (50%) および最終アカディミックアプローチ or 最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話(アカディミックアプローチ)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・6 章・7 章・8 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2 回	**授業テーマ：スポーツを考える** 授業内容：競技スポーツとは 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツの力」について、自分の意見や考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：スポーツとアスリート** 授業内容：競技スポーツにおける science and art 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「競技スポーツにおける science and art」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
4 回	**授業テーマ：スポーツリテラシー** 授業内容：体育とスポーツの連続体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「体育とスポーツの連続体」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
5 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの心を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの心を」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
6 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの技を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの技」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
7 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの体力・運動能力を探る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの体力・運動能力」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
8 回	**授業テーマ：アスリートの驚異の肉体** 授業内容：アスリートの才能を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「アスリートの才能」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
9 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：走高跳びのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「走高跳びのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
10 回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：水着のイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「水着のイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。

11回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「陸上競技アンダーハンドパスのイノベーション」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
12回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：ドーピングとアンチドーピング 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「ドーピングとアンチドーピング」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
13回	**授業テーマ：人類の進化と科学の進歩、その光と影** 授業内容：テクノロジーの発達と人間の真価 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「テクノロジーの発達と人間の真価」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツ文化を知る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「スポーツ文化」について、自分の意見や考え、想いをまとめる。
15回	**授業テーマ：スポーツ科学リテラシー** 授業内容：人生を歩くヒントを得る 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：スポーツ科学・アスリートから、人生を学ぶ

スポーツ科学講義 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶエンターテイメントの世界】～ステージとエンターテイメント産業～（前学期 月 1）
本講義は、ショービジネスやエンターテインメント産業の発展を、社会の変遷（歴史）とともに学んでいく授業です。 主な内容として、ダンスやミュージカルの発展、ウォルト・ディズニーの人生と偉業、ミュージックビデオの歴史、伝統芸能、そして巨大なエンタメイベント（グラディエーター、オリンピック等）について取り扱います。 映像資料を通じて、クラウド・ネット時代におけるこれからのエンタメ産業の将来を考えていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：エンターテインメントや舞台表現の発展史を学ぶことで、人間の「遊び」「欲望」「楽しさ」の本質について考察します。その上で「今後どのようなエンターテインメントが流行るのか？」という問いへの答えを探求していきます。多くの歴史的な映像資料や AI が持つ最新の知見を活用しながら、時代の先を読む力（将来を見つめる力）を養うことを目標とします。
個別目標：①歴史の把握：古代から現代までのエンタメ史の流れを理解し、その時代の背景を説明できる。
②偉業に学ぶ：ウォルト・ディズニーの生涯と、彼が生んだ革新的なビジネスモデルを解説できる。
③遊びの考察：「楽しさ」や「遊び」の視点から、エンタメが社会に果たす役割を自分の言葉で論じられる

▌履修条件

映像やステージを観るのが好きな方、エンタメの裏側を知りたいと思う方をお待ちしています。感性を豊かにしたいという意欲的な学生を歓迎します。

▌評価基準・方法

本講義は定期試験（テスト期間中の試験）を行わず、日々の取り組みを重視して評価します。
授業ごとの課題（60%）： 毎回の授業内で行う記述課題
事前・事後学習（40%）： manaba を利用した予習・復習課題
【重要：評価の条件】
全 15 回のうち、12 回以上（4/5）の出席が成績評価（D ～ S）の必須条件です。
定期テスト期間中にテストがない分、毎回の授業課題と manaba での学習にしっかりと取り組んでください。

▌フィードバック方法

本講義では、授業への感想や意見を manaba の「プロジェクト」欄に投稿してメンバー全員で共有し、お互いの投稿にコメントし合うことなどで、多角的な視点からフィードバックを行います。 教員サイドからも、皆さんの投稿やコメントに対して授業内で紹介したり、補足解説を行ったりすることで、全体の理解度を高めていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

特段にありません。

▌参考書

適宜、ご紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業の説明、エンタメ産業、そして映像の世界** 授業内容：エンターテイメント産業とは？ どんなジャンルがあるのか？ 授業の全体を概観します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
2 回	**授業テーマ：エンターテイメントを創る！　東京ディズニーランド開園とディズニー作品の成長の秘密** 授業内容：東京ディズニーランドがどのように浦安の地に存在するようになったのか？、ディズニーの作品の成長の秘密も考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：ディズニー作品がヒットする秘密を考えてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「ミッキーマウスの誕生」と 1920 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その１　ミッキーマウスが誕生する 1920 年代。 事前学修 2.0hr：1920 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「アニメーションのパイオニア」と 1930 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その２　ディズニーといえばアニメーション！「白雪姫」誕生。 事前学修 2.0hr：1930 年代　50 年代のアメリカ社会を理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5 回	**授業テーマ：授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「戦争と混乱の時代」と 1940・50 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その３　ウォルトも社会も戦争に影響され混とんとした年代。 事前学修 2.0hr：1940、50 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6 回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーの生涯を知る「“夢の国” ディズニーランド」と 1960 年代** 授業内容：ウォルト・ディズニー（1901-1966）の生涯を理解してまいりましょう。その４　夢の国の完成（1955）、そして、、、。 事前学修 2.0hr：1960 年代のアメリカを理解してくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
7 回	**授業テーマ：ディズニーの挑戦：ディズニーシーとディズニーファンタジースプリングス** 授業内容：世界唯一のコンセプトを持つ「東京ディズニーシー」の独創性と、最新エリア「ファンタジースプリングス」が提示する次世代の没入体験を分析します。ゲストの期待を超え続けるための絶え間ない革新とブランド戦略を考察します。 事前学修 2.0hr：ファンタジースプリングスの作品の世界観を予習してください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8 回	**授業テーマ：日本のアニメがなぜ世界中で愛されているのか。** 授業内容：アニメが「日本という国」のイメージをどう変え、世界を動かしているのかを考えます。 事前学修 2.0hr：現代に流行っているアニメの内容がどのようなものか調べてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

9回	**授業テーマ：エンターテイメント産業とアニメ：アメコミの世界と日本のアニメ** 授業内容：アメリカンコミックス、特にマーベルはどのように発展したのか？　社会状況の変化とともに理解していきます。 事前学修 2.0hr：世界におけるアニメの発展状況について調べてみる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10回	**授業テーマ：ヒップホップの発祥は、いつ、どこで？** 授業内容：アメリカの貧困街で生まれた音楽が、なぜ世界中の若者の「代弁者」になったのか。SNS 時代の新しい「声」の上げ方を学びます。 事前学修 2.0hr：ヒップホップ音楽、ラップは、何を言おうとしているのか触れてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
11回	**授業テーマ：アイドルってなんでしょう。** 授業内容：そもそもアイドルって何でしょう。日本のアイドル文化との違いや、国を挙げた「推し」ビジネスの凄さを分析します。 事前学修 2.0hr：世界のアイドル事情につてい予備知識を入れてきてください。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：ミュージックｖｉｄｅｏの登場：KING OF POP マイケル・ジャクソンと音楽の表現者たち** 授業内容：アーティスト(歌手・俳優等)の社会へのメッセージを読み解く：マイケル・ジャクソンは何を残したのか？ 事前学修 2.0hr：ご自身の好きなアーティスト(歌手・俳優等)の社会へのメッセージとは何か考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：ダンスの歴史を知る「ザッツ・ダンシング！」と映画産業** 授業内容：映像産業の歴史を理解する。ダンスはいつごろからはじまった？ ダンスの発展について理解します。 事前学修 2.0hr：今流行っているダンスはどんなダンス？ ダンスの発展について考えてくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：古典の伝承：歌舞伎　市川團十郎　そして新作歌舞伎** 授業内容：日本には、多くの古典芸能・伝統芸能があります。能(のう)・狂言(きょうげん)歌舞伎(かぶき)等々。特に日本の代表的な舞台作品として「歌舞伎」があります。近年では、アニメの題材を用いたり。変化する歌舞伎世界についても理解していきます。 事前学修 2.0hr：歌舞伎の映像を見てくる。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：将来に残したい記憶・記録・出来事　まとめのテスト** 授業内容：後世に残したい記憶・記録・映像・出来事ってどんなことでしょう。過去を理解し、そして未来を紡ぐ。エンタメ世界の視点からまとめてまいります。 事前学修 2.0hr：将来に残したい記憶・記録・出来事をあげてみましょう。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜健康スポーツの科学＞
スポーツの魅力は、「する」ことにあるといってよい。もともとスポーツには、遊び感覚で身体を動かすこと、それ自体に楽しさがある。また、体力年齢の低下を緩やかにしたり、生活習慣病も予防できる。実際にスポーツを実践している人たちは、心身共に健康な生活を送るために、日常生活の限られた時間の中で、真剣に楽しみ一所懸命に遊んでいる。授業ではスライド、資料を存分に活用し、「健康スポーツ科学」を学ぶ。なお、本授業は、社会の情勢を鑑み、学生対応(対面・遠隔)を機動的に行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：健康スポーツを「する」ことで、人生を歩んでいくときに欠かせない健康と体力をキープしていくことの重要性が理解できる。また、生涯を通じて実践するスポーツ種目の KNOW HOW と、身体とスポーツとの関係についても考えることができる。そして、「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、まとめられる。
個別目標：正解のない問いに挑む。

▌履修条件

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。
但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。
教科書の購入を必須とする。

▌評価基準・方法

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。
授業への参加姿勢・課題レポート・教科書の活用度 (50%) および最終レポート (50%) の結果に基づき、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

講義時の質疑応答、次回講義冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教科書・授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方と留意点 事前学修 2.0hr：講義概容を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：教科書　1 章・2 章・3 章・4 章・5 章・9 章を読み、授業内容の総論について、理解する。
2回	**授業テーマ：スポーツと健康・体力** 授業内容：運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解を深める。 事後学修 2.0hr：「運動不足と生活習慣病　健康と体力を考える」について、自分の意見や考え、思いをまとめる。
3回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：スタミナのある身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スタミナのある身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
4回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：力強い身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「力強い身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
5回	**授業テーマ：身体をつくる** 授業内容：しなやかな身体 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「しなやかな身体」について、自分の意見や考えをまとめる。
6回	**授業テーマ：身体を都整える** 授業内容：骨・筋肉　女性の「やせすぎ」にご用心 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「骨・筋肉　女性のやせすぎ」について、自分の意見や考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：脂肪　肥満を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「脂肪　肥満を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：身体を整える** 授業内容：水分　熱中症を予防する 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「水分　熱中症を予防する」について、自分の意見や考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：代表的な有酸素系・フィットネススポーツ 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「代表的な有酸素系・フィットネススポーツ」について、自分の意見や考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：身体を動かす** 授業内容：楽しくスポーツをする 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「楽しくスポーツをする」について、自分の意見や考えをまとめる。

11回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会　スポーツとまちづくり 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツは文化　スポーツと健康寿命社会」について、自分の意見や考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：フィジカル・リテラシー 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「フィジカル・リテラシー」について、自分の意見や考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる① 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる①」について、自分の意見や考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：スポーツの未来学** 授業内容：スポーツの未来を育てる② 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：「スポーツの未来を育てる②」について、自分の意見や考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：科学知を生活知へ** 授業内容：わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える 事前学修 2.0hr：教科書を読み、内容について、理解をする。 事後学修 2.0hr：「わたしの健康スポーツ(種目)の実践を考える」について、自分の意見や考えをまとめる。

スポーツ科学講義 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆講義授業◆【映像に学ぶメディアとしての身体】～社会とともに変化する身体～（後学期 月 1）
本講義では、医学の進歩や価値観の変化によって、私たちの「身体（からだ）」のあり方がどう変わってきたかを考察します。「ネット社会における身体」「整形やサイボーグ化する身体」「男らしさ・女らしさとジェンダー」「命の尊厳」など、現代を生きる私たちの体の「今」を、豊富なビデオ資料を通じて探ります。 身近なテーマから、自分という存在や社会のあり方を一緒に考えていきましょう。（※進行やクラスの状況により、内容を調整する場合があります）

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人生を豊かにする「身体への視点」と「思考力」を養う授業。
本講義では、自分の「身体（からだ）」を広く豊かに捉え直すための、しなやかな感性と考える力を身につけます。 映像資料を通じて感じたことや考えたことを言葉にし、他者の意見に触れることで、さらに自分の考えを深めていく「探求する力」を高めていくことを目標とします。
個別目標：①社会の課題に気づく：医療や人権など、ニュースになるような社会問題が「自分たちの体」にどう関わっているかを理解できる。
②身近な変化を見つける：自分の周りにある「体の悩み」や「価値観の変化」を、社会のルールや環境と結びつけて発見できる。
③自分の考えを言葉にする：正解のない複雑な問題に対して、自分なりに考えをまとめ、文章で表現できる。

▌履修条件

「なぜだろう？」と考えることが好きな方、自分の意見を大切にしたい方を歓迎します。正解を求めるのではなく、自分なりの答えを探しながら、前向きに授業に参加してくれる皆さんをお待ちしています。

▌評価基準・方法

成績評価の基準 定期試験（テスト期間中の試験）は行わず、毎回の積み重ねを評価します。
授業ごとの課題（60%）：毎回の授業内での記述課題
事前・事後学習（40%）：manaba を利用した予習・復習課題
【重要：評価の条件】
全 15 回のうち、12 回以上（4/5）の出席が成績評価（D～S）の必須条件です。定期テスト期間中のテストがない分、毎回の課題にコツコツ取り組むことが、良い成績への近道です。

▌フィードバック方法

授業内容への意見や感想を授業メンバーと manaba のプロジェクト欄を使って共有し、manaba の小テスト欄を有効に利用しながら互いにコメントすることによって、授業課題や授業のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業中に manaba を利用しますので、スマホ、タブレット、PC 等をご持参ください。）

▌教科書

適宜、提示いたします。

▌参考書

適宜、提示いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：授業の進め方　ネット時代　SNS　誹謗中傷** 授業内容：学習の進め方の説明。現代社会が抱える身体をめぐる課題の視点を説明し、授業全体を概観する授業です。身体は、科学技術の進歩によっていよいよ変化し、新しい生活スタイルが創造されていく可能性を持っています。さて、これからの身体と社会は？ 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：授業中に記入したメンバーの全記述を読み、意見、評価を行う。
2回	**授業テーマ：ネット社会１：性の欲望　デジタル技術 “解放” か “堕落” か** 授業内容：ネットの時代。AI の技術によっても “性欲のバーチャル化” が進み、新たな幸福感が生み出されつつあります。ネット社会と人間特有の「性の欲望」について考えてまいります。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェックする。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
3回	**授業テーマ：ネット社会２：オンラインカジノ 底知れぬ闇** 授業内容：オンラインカジノは、インターネットを通じて賭け事を楽しむことができる場所ですが、日本ではオンラインカジノは法律で禁止されています。無意識に巻き込まれてしまうネット社会の闇。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
4回	**授業テーマ：身体を知る１：テストステロン～謎多き男性ホルモン～** 授業内容：AI やデジタル化によって身体をめぐる環境はいよいよ変わってきています。しかしながら、生身の体は、そうは簡単にコントロールできません。特に男性の生活様式に大きな影響を与えている、男性ホルモンといわれるテストステロンについて、理解していきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
5回	**授業テーマ：身体を知る２：生殖レース：受精までの闘い** 授業内容：” 精子と卵子” の出会いは、意外に大変。現在、結婚希望年齢は「29.4 才」、出産希望年齢は「30.9 才」とのこと。最近では、妊娠を望んでいてもなかなか妊娠できず、不妊に悩んでいる話も多くなっています。受精という視点から人って何だろう？ と改めて考えてみます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
6回	**授業テーマ：身体を知る３：女性の生殖メカニズム** 授業内容：男性と女性の体の違い。一般的には、生殖のメカニズムが大きく異なります。今回は、女性の身体と生活について、理解してみましょう。同時に、「社会的な性」という視点でジェンダーという言葉があります。多様性についても考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

7回	**授業テーマ：生命の意味１：幸せのかたち　出生前診断の現場** 授業内容：出生前診断は、妊娠中におなかの赤ちゃんについて先天性の病気や形態の異常がないかを調べる検査です。最近は簡便に検査ができるようにもなってきました。女性の体に宿った命、赤ちゃんの命、命の選別への懸念。多面的に考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
8回	**授業テーマ：生命の意味２：性と人権：性加害、性的同意を考える** 授業内容：近年　社会の話題となっている性加害。事例を紐解きながら、互いの存在の尊厳について考えてまいりしょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
9回	**授業テーマ：生命の意味３：人の命を守る方法：こうのとりのゆりかご　アメリカの政治と中絶** 授業内容：望まれる妊娠、望まれない妊娠、生む女性の権利、赤ちゃんの人権。日本では、妊娠 21 週 6 日までは、医師の同意があれば中絶が合法的に行われていますが、中絶は多くの国で非常に議論の多い問題となっており、政治的な課題とも言えます。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
10回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって１：尊厳死　安楽死(日本の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その１。現在の日本では、安楽死は認められていませんが、安楽死(または医師補助自殺)が合法とされている国や地域にはいくつかあります。基本的な知識を身に着けてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
11回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって２：尊厳死　安楽死 (海外の場合)** 授業内容：人は自分の最後を決めることができるのか？ その２。 世界では、安楽死の合法化に関して大きな動きがあります。オランダ, ベルギー(2002 年), ルクセンブルク:(2009 年) に安楽死が合法化されました。スイスでは、安楽死は明確には認められていませんが、自殺幇助は広く行われそのため、終末期の医療を考慮する日本人がスイスでその選択を求めることがあるようです。考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
12回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって３：脳死　移植医療** 授業内容：日本では脳死に関する認識によって、臓器提供者が少ない現状があります。人の死の定義について考えてみましょう。海外では臓器移植は自国の自給自足に務め、移植ツーリズムを禁止するといった流れもあります。移植医療について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
13回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって４：死刑　生きること、生きる権利、そして法整備** 授業内容：人は人を裁くことができるのか？ 考えていきます。多くの諸外国が、死刑を実施しない傾向にあります。日本と世界の死刑制度とを比較しながら考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
14回	**授業テーマ：生きる価値観をめぐって５：サイボーグと人間、オーダーメイド・ベビー** 授業内容：ゲノム編集ってなにをすることでしょう。CRISPR-Cas 9(クリスパー・キャス・ナイン)とは？ どこまで人は人の身体を操作・改造してよいのでしょうか？ 考えてまいりましょう。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。
15回	**授業テーマ：まとめ－身体は 21 世紀に何が求められているのか？ 生きること、生きる権利　差別** 授業内容：人の命、生活、法律、、、多様性社会における人の存在について考えていきます。 事前学修 2.0hr：関連するニュース＆話題をチェック。 事後学修 2.0hr：メンバーのプロジェクト書き込みの意見に対してコメントを書く。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

＜ビギナーズ ゴルフ＞

10～20 歳代のプロゴルファーの活躍によって、ゴルフのイメージは大きく変わりつつある。ウェアーも華やかになり、ゴルフ場でプレーする女性も増えている。「紳士の社交場」としての景色も変わり、いまや性別・年齢を問わず、多くの人々が、健康スポーツとしてゴルフを楽しむようになった。ゴルフは基礎からきちんと習うと、意外にも短時間で上達する。まずはクラブを握り、振ってみることから、ゴルフの面白さ体験してみる。なお本授業は、社会情勢を鑑み、授業内容に対して機動的な対応を行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゴルフが教養や趣味として、あるいは将来のために、役立つようにする。これから経験するであろうさまざまな場面（余暇、仕事の一環 “つきあい・接待” としてなど）、ゴルフ場でプレーできる基本的なマナーや、技術などの初歩的な実践能力が身につく。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていくことができる。

個別目標：ゴルフを健康スポーツとし実践するために、個々のレベルに応じた楽しみ方およびコミュニケーション能力を習得する。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと（人数調整を行なうので必ず出席すること）。集合教室は、別途指示する。

履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員にコンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。

ゴルフに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の質疑応答、次回演習

冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料を配布する。

▌参考書

Lecture ゴルフの基礎

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方および留意点 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「ゴルフとのつきあい方」を考える。** 授業内容：健康・趣味。社交・仕事など 事前学修 2.0hr：「ゴルフ」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「ゴルフのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、学ぶ。** 授業内容：道具の特性について 事前学修 2.0hr：「ゴルフの用具」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「ドライバー・アイアン・パターの性能」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：クラブ（アイアン）を正しく握って、とりあえず振ってみる。** 授業内容：身体感性を高める 事前学修 2.0hr：クラブ（アイアン）を正しく握れるよう、調べる。 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
5回	**授業テーマ：スイング動作を学習する（正面・背後）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用① 事前学修 2.0hr：スイング動作における身体の動かし方を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
6回	**授業テーマ：スイング動作を学習する（正面・背後）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用② 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
7回	**授業テーマ：スイング動作を撮影する（正面・背後）** 授業内容：思考脳と作業脳の活用③ 事前学修 2.0hr：まちがいのないスイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
8回	**授業テーマ：スイング動作を分析する（エラーの発見および矯正）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用④ 事前学修 2.0hr：撮影された動画を繰り返し、再生する。 事後学修 2.0hr：スイング動作のエラーを理解する。
9回	**授業テーマ：スイング動作を完成する。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑤ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
10回	**授業テーマ：学内のグリーンで、 “パター動作” 経験する（パター）。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑥ 事前学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング

11回	**授業テーマ：ゴルフ練習場で、“打ち放し” を経験する(アイアン・ドライバー)。** 授業内容：思考脳と作業脳の活用⑦ 事前学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
12回	**授業テーマ：ゴルフ独特の「ルールやマナー」を学ぶ。** 授業内容：ルールとレギュレーション 事前学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、理解する。 事後学修 2.0hr：試合の進行に関するルールやマーナーについて、まとめる。
13回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う① 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
14回	**授業テーマ：宿泊形式で、ゴルフを実践する(ショート・コース)** 授業内容：コミュニケーション能力を養う② 事前学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング 事後学修 2.0hr：スイング/パター動作を模倣する。＊イメージ・トレーニング
15回	**授業テーマ：「ゴルフ・人とのつきあい方」** 授業内容：非認知能力の向上 事前学修 2.0hr：ゴルフに関する知識・技能の確認、コミニュケーション能力とは 事後学修 2.0hr：ゴルフ・人とのつきあい方をまとめる

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【コアトレーニング＆リズムタップダンス(動ける身体作り)ベーシック】前学期 火 4 ／水 3
動ける身体とリズム感を身につけたい人向けの講座です。授業では、〇ウォーミングアップとストレッチ　〇コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどの基礎ステップ習得　〇簡単なステップを組み合わせて、みんなで楽しんで踊るセッションを行います。授業の流れは「up&コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。ダンス未経験者も安心して参加できます。
●初回火曜 4（4/7）あるいは水曜 3（4/8）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：リズムの学習を基礎に、多様なダンスの身体の動かし方を習得し、コアトレーニングを通して、健康で美しく動ける身体づくりと意識の向上を目標とします。仲間とコミュニケーションを図り、クラス全体でスキルアップします。
個別目標：①基本的なリズムの取り方や、コア（体の中心軸）を意識した身体の動かし方ができる。
②身体の機能を理解し、自らのボディイメージを作り、活動に活かせる。
③クラスのメンバーと協力し、効果的な学習活動に参加できる。

▌履修条件

定員：10 名～15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、火曜 4（4/7）水曜 3（4/8）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容を確認し、明海クラブの収容人数に合わせて人数調整。名簿作成、タップシューズサイズ合わせ、リズムの取り方の基礎を実施。 ●中心課題：授業全体の流れを理解し、自分の目標課題を設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：自分の体と向かい合うエクササイズ理論を習得** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（タップダンス＋カスタネット）→ Down（クールダウン） ●中心課題：明海クラブの設備を利用し、実際に動きながら体の感覚をつかむ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：ストレッチの理論とストレッチポールの使い方を習得** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎を学び、チューブを用いたコアトレーニングを習得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方を習得** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：ジャズリズムの基礎と、ステップ台を使ったコアトレーニングを体感し、動きの精度を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習１（シャッフルステップとフラップ）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：カスタネットとタップダンスの基礎・応用を習得し、スライドボードを使ったコアトレも実践する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習２（連続ターン）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの基礎・応用を習得し、チューブを使ったコアトレーニングで体幹を鍛える。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：シンプルなリズムで、乗り方と踊り方を学習３（タイムステップ）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの基礎・応用を習得し、ステップ台を使って連動した動きを体得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する１（基本の動き）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの一連の動きを学び、チューブで体幹の動きを確認する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する２（連続した動き）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：一連の動きを学び、ステップ台で体の正確な動きを確認する。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する３（音楽に合わせる）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：基礎の動きを音楽に合わせて踊り、スライドボードで体幹を強化する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：ダンススキルを高める１（コンパクトに動く）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（応用技術）→ Down ●中心課題：カスタネット・タップダンスの一連の動きを学び、コンパクトに体を動かす技術を習得する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンススキルを高める２（動きの繋ぎに注意）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（プラスα技術）→ Down ●中心課題：ひとつひとつの動きを繋ぎ、流れのあるダンスを体現する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンススキルを高める３（全体の動きに抑揚をつける）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：一連の動きに抑揚をつけ、表現力を向上させる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習
14回	**授業テーマ：仲間と踊る１（息を合わせる）** 授業内容：Up →コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック→ Down ●中心課題：動きの完成度を高め、仲間と合わせる協調性を養う。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：仲間と踊る２（チームでお互いに見せ合う）** 授業内容：Up →コアトレ→発表会→ Down ●中心課題：チームごとにダンスを見せ合い、互いに評価し合い、自分の課題と今後の目標を明確にする。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【ストレッチ＆リズムタップダンス（身体感覚向上）ベーシック】前学期 水 4
柔軟でしなやかな身体を作りながら、リズムに乗って踊る楽しさを体験する講座です。授業では、〇身体を整えるストレッチとウォーミングアップ 〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどの基礎ステップ習得　〇簡単なステップを組み合わせて、みんなで楽しんで踊るセッションを行います。授業の流れは「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。ダンス未経験者も安心して参加できます。
●初回水曜 4（4/8）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名〜15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自分の身体のイメージを創り、しなやかで強い身体づくりの基礎を学びます。特にこのクラスでは、多様なダンスの基本的なテクニックを身につけることを重視します。仲間とコミュニケーションを図りながら、楽しみつつスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、リズムに乗ることができる（カスタネットを奏でながら踊るテクニック、タップダンスの基礎を含む）
②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践でき
③クラスのメンバーと協力し、効果的な学習活動に参加できる。

▌履修条件

定員：10 名〜15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は　水曜 4（4/8）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業の進め方を確認、明海クラブの収容人数に合わせて名簿作成、タップシューズサイズ合わせ、リズムの取り方の基礎を実施。 ●中心課題：授業への意欲を高め、自分の目標を設定する 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（1）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：正しい姿勢と足首・腰の柔軟性を意識しながら、明海クラブで実際に動いてみる。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（2）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎を学ぶ。バランスの良い体幹を感じながら動く 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（3）** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズのリズムの基礎を学ぶ。用具を使ったコアトレーニングの方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5回	**授業テーマ：ダンスムーブメント（1）リズムにのって踊る** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：音楽のリズムを感じ、軽やかに体を動かす楽しさを体感する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6回	**授業テーマ：ダンスムーブメント（2）ステップを覚える** 授業内容：Up（準備運動）→リズムバリエーション→ダンステクニック（タップダンス、カスタネット）→ Down ●中心課題：ステップを意識してリズムに合わせ、動きをつなげる。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：ダンスムーブメント(3)バランスをとる** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：バランスを意識して、安定した動きと体幹の感覚を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(1)音を出す** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：タップとカスタネットでリズム感を養い、音楽に合わせて軽やかに動く。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(2)音を出しながら動く** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップの基本をマスターし、体にリズムを刻む感覚を養う。 事前学修 2.0hr：ストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(3)動きを繋ぐ** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを組み合わせて、流れるような動きを意識する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：タップダンス＆カスタネットの技術(4)簡単な一連の動きで踊って** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：一連の動きをつなげ、全体の流れで踊る感覚を身につける。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽を通して、リズムや表現力を意識しながら動く。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：ペアやグループで息を合わせ、協調性と表現力を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう** 授業内容：Up（準備運動)→リズムバリエーション→ダンステクニック(タップダンス、カスタネット)→ Down ●中心課題：自分の踊りを披露し、仲間の演技を観察して学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：リズム感が良くなりましたか？ 表現力がつきましたか？** 授業内容：Up →発表会→ Down ●中心課題：ダンス作品を見せ合い、自己評価と他者評価を通じて成長を確認する。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を確認し、今後の目標をみつける。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

杉浦　雄策（すぎうら　ゆうさく）

▌授業の概要

（Sport in Life に挑戦）
健康管理の手段および生涯スポーツとしての身体活動について、考え実践する。身体活動（スポーツ）を、日常生活の中に採り入れる工夫を個々で行なう。「いかに楽しんで、身体を動かすか」によって、意外なほど簡単に身体活動（スポーツ）を実践できることを体得し、今後の健康・体力づくりに活かしていく。なお授業は、アカディミックアプローチによる interactive な対話形式で行なう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：健康・体力づくりのひとつの手段として、自分に合った運動種目を選定し、実践する。身体を動かすことの達成感や新しい自分とので出会いを経験する。また授業を通じて、相互の協働関係を築いていく。
個別目標：個々に応じた「運動習慣の確立」を目指す。

▌履修条件

ガイダンスに出席し、教員の指示に従うこと（人数調整を行なうので必ず出席すること）。集合教室は、別途指示する。
履修登録修正期間の登録は、原則認めない。但し、特段の事情のある者は、担当教員に直接コンタクトをとること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。
健康スポーツに関する基本的な知識や技能の習得とそれに基づく実践の完成度 (50%) およびコミュニケーション能力 (50%) を総合的に判断する。

▌フィードバック方法

演習時の課題に対する指導、次回演習冒頭での全体コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業資料を活用した対話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

杉浦 雄策 日常生活に活かすスポーツ科学リテラシー（ライフ出版社）

▌参考書

必要に応じて資料を配付する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の具体的な進め方 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、その内容について、理解する。 事後学修 2.0hr：授業計画について、確認する。
2回	**授業テーマ：「健康スポーツ」について考える。** 授業内容：健康体力 事前学修 2.0hr：「健康・体力」について、興味をもち、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツとのつきあい方」について、自分の目標を明確にする。
3回	**授業テーマ：「運動種目①」について、学ぶ。** 授業内容：一人で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「一人で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
4回	**授業テーマ：「運動種目②」ついて、学ぶ。** 授業内容：複数で実践するスポーツとは 事前学修 2.0hr：「複数で実践するスポーツ」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「運動種目の特性」について、理解し、まとめる。
5回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：身体活動とは 事前学修 2.0hr：「身体活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
6回	**授業テーマ：「日常における活動量」を知る。** 授業内容：生活活動とは 事前学修 2.0hr：「生活活動」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
7回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践①」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
8回	**授業テーマ：「健康スポーツ種目の実践②」を考える。** 授業内容：適切な強度・時間・頻度とは 事前学修 2.0hr：「スポーツ種目」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
9回	**授業テーマ：「積極的に、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
10回	**授業テーマ：「積極的に、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って個人の記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「スポーツ・運動」を実践する。
11回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く①」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる① 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。

12回	**授業テーマ：「アプリケーションソフトを使って、動く②」を考える。** 授業内容：アプリケーションソフトを使って、グループで記録をとる② 事前学修 2.0hr：「身体活動量」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「アプリケーションソフトを使って、スポーツ・運動」を実践する。
13回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー①」を考える。** 授業内容：体育とは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、調べる。 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
14回	**授業テーマ：「フィジカルリテラシー②」を考える** 授業内容：スポーツとは 事前学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」について、深める 事後学修 2.0hr：「フィジカルリテラシー」を実践する。
15回	**授業テーマ：「スポーツとのつきあい方」について学ぶ。** 授業内容：Sport in Life に挑戦 事前学修 2.0hr：「スポーツの意義」「健康・体力」について、再考する。 事後学修 2.0hr：スポーツと健康について、まとめる。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆【コアトレーニング＆リズムタップダンス（動ける身体作り）リズムセッション】後学期 火 4 ／水 3
動ける身体とリズム感を磨き、踊る楽しさを深める講座です。授業では、〇ウォーミングアップとストレッチ　〇コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどのステップ習得　〇学期の後半には、学んだ動きを組み合わせて、みんなで作品として踊るセッションを行います。授業の流れは「up&コアトレーニング」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。どなたでも安心して参加できます。
●初回火曜 4（9/15）あるいは水曜 3（9/16）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名～15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：リズム感を活かし、多様なダンスの身体表現を習得するとともに、コアトレーニングで体幹・姿勢・安定性を強化し、動ける身体と表現力をさらに高めます。学んだ動きを組み合わせて、作品として踊る楽しさを体験します。仲間と協力しながら、クラス全体でスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なリズムの取り方やコア（体の中心軸）を意識した動きができる。
②身体の機能を理解し、自らのボディイメージを作り、表現に活かせる。
③クラスのメンバーと協力し、作品として踊る活動を通して学習できる。

▌履修条件

定員：10 名～15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、火曜 4（9/15）水曜 3（9/16）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容の確認、明海クラブ収容人数に合わせた人数調整、名簿作成、タップシューズのサイズ確認、リズムの取り方の基礎確認する。 ●中心課題：後期の到達目標を明確にし、自分の課題を再設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	**授業テーマ：自分の体と向き合うエクササイズ理論の再確認** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：明海クラブの設備を活用し、身体の軸と重心を意識して動く。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	**授業テーマ：ストレッチ理論とリズム** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムの基礎と応用を理解し、チューブを使ったコア強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	**授業テーマ：リズムを身体で刻む方法や身体のパーツの動かし方をチェック** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズリズムの強弱を体で表現し、ステップ台を使ったコア連動を体得する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習 1（シャッフルステップとフラップ）** 授業内容：Up（準備運動）→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック（基礎タップ・カスタネット）→ Down ●中心課題：基礎動作を着実にできるように、スライドボードで下半身の安定性を高める。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

6回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習２(連続ターンと体幹の安定)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(基礎タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：連続ターンを安定させ、チューブを用いた体幹強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
7回	**授業テーマ：いろいろなリズムで、乗り方と踊り方を学習３(タイムステップの深化)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：リズムの正確性とスピードの安定を目指す。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する１(セビジャーナスを踊る)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：基礎から応用へ発展させ、音と動きを一致させる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する２(フレンド・ライク・ミーで踊る)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：カスタネットおよびタップダンスの一連の動きを学ぶ。用具を使ってコアトレーニング(ステップ台)。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する３(動きの繋がりをスムーズ)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽との一体感を高め、表現力を向上させる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する４(コンパクトに動く技術)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：無駄のない動きで音を明確に出す。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する５(作品のまとまり)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：動きの間を意識し、滑らかな構成に仕上げる。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：一連のダンスムーブメントを習得する６(抑揚と構成美)** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：作品全体に強弱・緩急をつける。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：仲間と作品を踊る** 授業内容：Up（準備運動)→コアトレ→リズムトレーニング→ダンステクニック(タップ・カスタネット)→ Down ●中心課題：チームでの完成度を高める。 事前学修 2.0hr：課題のストレッチを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：チーム発表・相互評価** 授業内容：Up →コアトレ→発表会→ Down ●中心課題：作品を発表し、相互評価を通して今後の課題を明確にする。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を整理し次の目標を設定する。

スポーツ科学演習 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆実技授業◆ 【ストレッチ＆リズムタップダンス（身体感覚向上）リズムセッション】後学期 水 4
柔軟でしなやかな身体を作りながら、リズムに乗って踊る楽しさをさらに深める講座です。授業では、〇身体を整えるストレッチとウォーミングアップ　〇タップダンスやカスタネットを用いたフラメンコなどのステップ習得　〇学期の後半には、学んだ動きを組み合わせて、みんなで作品として踊るセッションを行います。授業の流れは「ストレッチ」→「ダンスムーブメント」→「リラクゼーション」です。どなたでも安心して参加できます。
●初回水曜 4（9/16）に、指定の【教室】で人数調整し名簿を作成いたします（10 名〜15 名程度）。授業風景は manaba をご覧ください。初回時に、2 回目の持ち物や集合場所等をご案内します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自分の身体のイメージを創り、しなやかで強い身体づくりの基礎をさらに発展させます。多様なダンスの基本テクニックを活かし、学んだ動きを組み合わせて、作品として踊る楽しさを体験します。仲間と協力しながら、より表現力豊かにスキルアップを目指します。
個別目標：①基本的なダンスのリズムを理解し、リズムに乗って踊ることができる（カスタネットを奏でながらの演奏・タップダンスを含む）。
②体のストレッチやリラクゼーションの方法を理解し、実践できる。。
③クラスのメンバーと協力し、作品として踊る活動を通して学習できる。

▌履修条件

定員：10 名〜15 名程度
希望者は必ず初回授業に出席してください。初回は、水曜 4（9/16）に指定教室で行います。
初回に人数調整を行い、明海クラブの入館名簿を作成します。またタップシューズのサイズ合わせも行います。
本授業は、技術を習得する実技授業です。欠席せず、一歩一歩積み重ねながら学んでいきましょう。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢：70 %（毎回の授業に積極的に取り組むこと）
クラス仲間とのコミュニケーション：20 %（協力して学ぶ姿勢やチームワーク）
学習の達成度：10 %（技術の習得や学んだことを実践できるか）
※この比重を基本に、授業全体での取り組みを総合的に評価します。
※授業に前向きに参加し、仲間と一緒に楽しみながら学ぶことが大切です。

▌フィードバック方法

授業中の実技映像を manaba で共有し、振り返りやコメントを通して課題達成をサポートします。
学生同士のフィードバックや教員からのアドバイスを活用し、技術向上に役立てます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （スタジオで仲間同士支え合いながら、課題の身体技術を実際に体験・習得します。 協力しながら学ぶことで、技術だけでなくコミュニケーション能力や表現力も向上します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

適宜、資料配布いたします

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：教室でのガイダンス（人数調整）** 授業内容：授業内容の確認、明海クラブ収容人数に合わせた人数調整、名簿作成、タップシューズのサイズ確認、リズムの取り方の基礎確認。 ●中心課題：後期の到達目標を明確にし、自分の課題を再設定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する 事後学修 2.0hr：自分の目標課題を見つける。
2 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（1）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：明海クラブの設備を活用し、身体の軸と重心を意識して動く。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
3 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（2）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：ダンスのリズムを理解し、体幹の安定感を高める運動をする 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
4 回	**授業テーマ：身体のパーツとストレッチとリズム（3）** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：ジャズリズムの強弱を体で表現し、ステップ台を使ったコア連動を体得する。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
5 回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに（1）リズムにのって** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：基礎動作を応用へ発展させ、スライドボードで下半身の安定性を高める。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
6 回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに（2）ステップを使って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック（タップダンス・カスタネット）→ Down ●中心課題：連続ターンを安定させ、チューブを用いた体幹強化を行う。 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。

7回	**授業テーマ：ダンスムーブメントで軽やかに(3)バランスを使って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：バランスを意識し、安定した動きと体幹の感覚を向上させる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
8回	**授業テーマ：タップ&カスタネットで軽やかに(1)技術を正確に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：タップとカスタネットでリズム感を養い、音楽と体を一体化する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
9回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(2)ステップを体に** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップをマスターし、体にリズムを刻む感覚を身につける 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
10回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(3)動きをつないで** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ステップを連結し、滑らかで表現力のある動きをつくる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
11回	**授業テーマ：タップダンス&カスタネットで軽やかに(4)一連の動きで踊って** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：一連の動きを組み合わせ、全体の流れで踊る楽しさを体感する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
12回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(1)音楽を通して踊る** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：音楽に合わせ、リズム・表現力・体の動きを連動させる 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
13回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(2)友達と合わせて踊る** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：ペアやグループで息を合わせ、協調性と表現力を高める 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：習った動きのポイントを復習。
14回	**授業テーマ：ダンス・コンビネーション(3)演技を見せあう** 授業内容：Up（準備運動）→ダンスバリエーション→ダンステクニック(タップダンス・カスタネット)→ Down ●中心課題：自分の踊りを仲間に見せ、フィードバックを受けて表現力を磨く 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：できなかった動きのポイントを復習。
15回	**授業テーマ：チーム発表・相互評価** 授業内容：Up →発表会→ Down ●中心課題：ダンス作品を見せ合い、自己評価と他者評価を通じて成長を確認する 事前学修 2.0hr：課題のダンスムーブメントを日課に！ 事後学修 2.0hr：自分の課題を整理し次の目標を設定する。

ボランティア講義

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

ボランティアに興味はあるが、何をすればいいのかわからない、本当に意味があるのか不安、と感じたことはありませんか。本講義では、身近なボランティアから海外での活動までを題材に、ボランティアの意義を考えます。本講義は正解のボランティアを教える授業ではありません。グループワーク、プレゼンテーションを通じて、社会とどう関わるかを、自分で考え続けるための視点を身につける授業です。ボランティアとは誰のための行為なのか、善意は本当に相手のためになっているのか、という問いを持ち続けながら学びます。この講義は「国際貢献論」の内容と一部関連・重複する部分があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：ボランティアのあり方と意義、実際にボランティアをする際に自分が考えて行うべき知識・スキルを身につける。

個別目標：1．ボランティアの意義や役割、社会との関係を理解し、説明できる。

2．ボランティアは誰のために何をするのか、社会とどう向き合うべきかを考え、実践を想定しながらボランティアを行う視点を養うことができる。

グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1．国内外のボランティアや社会課題に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2．グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3．専門知識や経験は不要であり、初めて学ぶ学生も歓迎する。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。
原則として5分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：ボランティアとは何かについて** 授業内容：講義の目的、授業、到達目標、評価方法の説明とともに、ボランティアの定義、必要条件、どのような活動があるかについて解説し、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：ボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。課題レポート作成。
2回	**授業テーマ：ボランティアの歴史と社会との関わり** 授業内容：日本におけるボランティアの歴史とボランティアと社会の関わり、大学生としてできるボランティアの活動について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：ボランティアの歴史について関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：スーパーボランティアについて学ぶ** 授業内容：スーパーボランティア尾畠春夫さんの行動や生き方について解説した後、なぜ人は無償で他者を助けるのか、私たち自身にできる社会への関わり方とは何かについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：尾畠春夫さんについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：援助する前に考えよう** 授業内容：ワークショップを通して、開発途上国でものやお金を送る援助、援助が現地に与える影響等について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティア** 授業内容：阪神・淡路大震災と東日本大震災を契機とした日本におけるボランティア活動の広がりについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：阪神・淡路大震災と東日本大震災のボランティアについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：地方創成・地方活性化のボランティア** 授業内容：地域・地方の現状と課題、地方創生においてボランティアや外部人材が果たす役割について解説した後、支援する側／される側ではなく、地域と共に生きる関係性（共助）の重要性について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：地方創成・地方活性化のボランティアについて関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：国際協力とボランティア** 授業内容：国際協力やボランティアが、現地社会・参加者本人・国際社会にどのような影響を与えるかについて解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

8回	**授業テーマ：人の人生・尊厳とボランティア** 授業内容：海外で活動するボランティアの事例から、他者の人生・尊厳と向き合うことの意味を考える。授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：国際協力を行うボランティアの関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
9回	**授業テーマ：JICA 海外協力隊について** 授業内容：JICA 主催の JICA 海外協力隊セミナーを実施し、海外協力隊の事業概要、海外協力隊経験者体験談を聞き、海外協力隊がどのようなものかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：JICA 海外協力隊の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：ボランティア・コーディネーション** 授業内容：ワークショップを通してボランティア・コーディネーションの重要性と、「される側から見たボランティア」について考える。その後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：ボランティア・コーディネーションについての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：在日外国人を支援するボランティア** 授業内容：日本にいる外国人を支援するボランティアに関する課題及び支援の必要性と意義について解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：在日外国人の現状についての関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：開発途上国でボランティア活動をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 14 回、15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション①** 授業内容：プレゼンテーションは第 14 回と第 15 回の授業で分けて行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション②** 授業内容：第 14 回授業に続き、プレゼンテーションと意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

伊藤　直樹 (いとう　なおき)

▌授業の概要

本講義は、対話し、議論し、発表する授業です。映画や漫画や自分たちで決めたテーマを題材にして、それについてグループでディスカッションし、その結果をプレゼンテーションしたり、文章にしたりします。
受講生は最初は初対面ですが、他学部であっても、だんだんと知り合いになり、テーマをとおしての議論も深まります。
また、他人に向けて問いを発するさいに、水平的にのみ問うのではなく、垂直的に、つまり深掘りし哲学的に問うことにも注意を払います。機を見て哲学的な話題を取りあげます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：対話する力を養うことです。他人の話しを聞き、それに対して自分の考えを話す。そして自分の考え方を相対化し、深めてゆくことです。
そしてそれを文章にする。
個別目標：質問する力をつけることです。人の話を聞くときに、ただ聞くのではなく、質問するつもりで聞く。
そしてその質問を自分にも振り向けます。すると、考え方が深まります。そしてそれを文章にする。それが「考えること」になるのです。
この作業をあるテーマでおこなったり、「映画」でおこなったりします。

▌履修条件

ディスカッションし、対話し、プレゼンテーションすることが授業内容です。言語は日本語を用いますので、それに十分な日本語力があることが条件です。また人前で話すことになりますので、それができることも条件です。ただ、人前で話すのがあまり得意でない人は、この授業をとおして、それを身に付けるというふうに考えてもよいでしょう。

▌評価基準・方法

グループ討議報告レポート 60 %、授業貢献度 40 %です。
レポートは、課題として出されたものの 2 ／ 3 以上を提出しなければ、カウントされません。
「授業貢献度」とは、出席や授業での討論への自発的参加などです。「聞く」だけの受け身的態度では評価は下がってしまいます。
また、4／5以上の出席がないと単位は取れません。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌フィードバック方法

manaba を用いておこないます。
適宜、前回の授業を取り上げて、再び議論をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ討議・発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章は PC での作成を推奨しています。）

▌教科書

教科書として使用しませんが、次の書籍を参考にします。
梶谷真司『考えるとはどういうことか』幻冬舎新書
梶谷真司『書くとはどういうことか』飛鳥新社

▌参考書

関連する書籍、作品などは授業中に紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義内容の説明** 授業内容：講義内容について説明します。単位の取得の条件、授業の展開、心構えなどについての説明です。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：議論することなどについて、自分なりのイメージをつくる。
2回	**授業テーマ：自己紹介と質問ゲーム：自己紹介を質問ゲームを使って行います。** 授業内容：自己紹介を、質問ゲームで行います。紹介者に質問をしますが、よりよい質問のみが、紹介者によって答えられます。どのような質問をすれば、答えてもらえるかを考えながら質問します。 事前学修 2.0hr：自己紹介する内容を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを書く
3回	**授業テーマ：哲学対話についての説明：哲学対話とはどのようなものかを説明します。またレポートの書き方についても説明します。** 授業内容：哲学対話について、紹介ビデオを観ながら説明します。哲学対話のテーマを決めます。 残った時間で、レポートの書き方についても説明します。 事前学修 2.0hr：哲学対話について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：第 1 回「哲学対話」：設定されたテーマについて、みなで議論します。** 授業内容：前回決めた哲学対話のテーマを、問いのかたちにし、それについて議論します。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：議論したテーマについてエッセイ・レポートを書く
5回	**授業テーマ：前回の哲学対話の内容を文章にします。** 授業内容：文章を書くとはどういうことかを説明した上で、前回の哲学対話の内容を文章にする作業をします。 事前学修 2.0hr：テーマについて予め、自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げます。
6回	**授業テーマ：あるテーマについてレポートを作成する** 授業内容：課されたテーマについてレポートを作成します。 事前学修 2.0hr：テーマについてあらかじめ自分なりの考えをまとめておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを仕上げる
7回	**授業テーマ：映画を観て、議論する　第 1 回：議論の題材となる映画を観ます。** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 第 1 回目は、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画についての自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入

8回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第１回続き：映画の続きを観ます。** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：前回までの映画内容の確認 事後学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく
9回	**授業テーマ：映画を観て、議論する。第１回の続きです。：設定されたテーマについて議論します。** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 事前学修 2.0hr：議論するテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
10回	**授業テーマ：ディベート：議論をディベート形式で行います。** 授業内容：ディベートを行います。 ディベートは、予め、賛成／反対の立場を決めたうえで、その立場から議論するものです。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：議論内容についての報告レポート作成
11回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：映画鑑賞** 授業内容：映画を観て議論する作業をおこないます。 今回も、議論するテーマを示したうえで、映画鑑賞をおこないます。 事前学修 2.0hr：映画について自分なりのイメージをもっておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
12回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回続き：前回の映画の続きを観る** 授業内容：前回の映画鑑賞の続きです。 すこし時間が余りますので、映画の内容についておさらいします。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：感想シートの記入
13回	**授業テーマ：映画を観て、議論する第２回：設定されたテーマについて議論する** 授業内容：予め与えられていたテーマに沿って、映画について議論します。 すこし時間を残して、次回の哲学対話のテーマを決めます。 事前学修 2.0hr：設定されたテーマについて考えておく 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポート
14回	**授業テーマ：第２回「哲学対話」：設定されたテーマについてみなで議論します。** 授業内容：決めてあったテーマについて議論をします。 事前学修 2.0hr：あらかじめテーマについて考えておきます 事後学修 2.0hr：テーマについてのレポートを書く
15回	**授業テーマ：レポート講評会：前回書いたレポートを発表し、みなで講評します。** 授業内容：前回のテーマについてのレポートをみんなでもちより、講評会をします。 事前学修 2.0hr：前回書いたレポートを発表できるようにしておきます 事後学修 2.0hr：感想シートの提出

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

【対話で学ぶピアサポート】
このゼミナールでは、ピアサポーターに求められる基礎的な関わり方として、傾聴および省察に着目し、対人支援における基本姿勢を学ぶことを目的とします。ピアサポートとは、年齢や立場、経験などにおいて比較的近い立場にある人同士が、対等な関係のもとで互いに支え合う実践を指します。専門職による支援とは異なり、「援助する側／される側」という固定的な役割分担ではなく、相互性や共感、経験の共有を基盤とする点に特徴があります。具体的には、他者の語りを評価や解釈を加えずに受け止めること、自身および相手の感情や経験を振り返り言語化すること、助ける・助けられるという一方向的関係ではなく、相互性を基盤とした関係性として支援を捉えることを学びます。本ゼミでは、こうしたピアサポートの基礎的理解と実践的態度の形成を目指します。ここでは、専門的知識の習得そのものよりも、日常の中にあふれている支援場面における姿勢や関わり方、そして気づきのプロセスを重視します。対話を通して生まれる小さな変化や揺らぎを丁寧に振り返ることを通して、他者とともにある在り方を探究していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：対話的姿勢に基づくピアサポートの理論と実践を統合し、他者との相互性を尊重しながら、大学という場において支え合いを創出できる基礎的な実践力を身につける。
個別目標：・傾聴・リフレクティング・オープンダイアローグの基本姿勢を説明できる。
・感情・身体感覚・内的対話に気づき、それを言語化できる。
・「助ける／助けられる」という一方向的関係ではなく、相互的関係として支援を捉えることができる。
・困難場面においても、不確かさにとどまりながら対話を継続する態度を示せる。
・学内資源や合理的配慮の視点を踏まえ、必要に応じて「つなぐ」判断ができる。
・小規模なピアサポート企画を立案・実践し、そのプロセスを省察できる。

▌履修条件

他者と共に学習し合う雰囲気を工夫できること。不得意な場合は、必ず相談のこと(一緒に考えます)。
履修希望者が多数の場合は、履修動機をもとに受講者を決定します(最大受講人数 15 名程度)。受講を希望する者は、第 1 回の講義に必ず出席してください(初回に人数調整を行います)。なお、本ゼミでは時間外の課外活動への参加が必要となります。
また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

本科目では、学修の過程と省察を重視し、ラーニングポートフォリオを用いて評価を行う。
各回のリフレクションや最終回の講義での統合的振り返りをもとに、対話を通して形成された学びを総合的に評価する。
あわせて、自己評価および授業への参加状況を評価に含める。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体ダイアローグとコメントにより実施します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share　フィールドワーク　ダイアローグ　リフレクティング）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

なし

▌参考書

講義内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーションと学習環境づくり** 授業内容：・このゼミの目的・進め方の共有 ・安心して話すためのルール確認 ・ミニ・リスニング体験(導入) 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、印象に残った言葉を拾う。 事後学修 2.0hr：今日の授業で、安心して話せたもしくは話しにくかった場面を振り返り、感じたことを記述する。
2回	**授業テーマ：「聴く」とは何か** 授業内容：・傾聴の基本 ・「聞く」と「聴く」の違い ・リスニングワーク① 事前学修 2.0hr：「聴いてもらえた」と感じた経験を思い出し、良かった点を整理する。 事後学修 2.0hr：ワークで難しかった点・できた点を整理し、気づきを記述する。
3回	**授業テーマ：大学におけるピアサポート** 授業内容：・大学での実践例 ・専門職支援との違い ・ピアサポートの意義と限界 事前学修 2.0hr：学内で学生同士が支え合っている場面を想像し、知っている点・知らない点を書く。 事後学修 2.0hr：ピアサポートと専門職支援の違い、大学で行う意味を整理する。他大学のピアサポート事例を調べる。
4回	**授業テーマ：感情に注目して聴く** 授業内容：・事実と感情を区別する ・感情・身体感覚への気づき ・リスニングワーク②(感情から期待や要求を明確にする) 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。最近の出来事を一つ選び、事実と気持ちを分けて書いてみる。 事後学修 2.0hr：感情から期待や要求を明確にする聴き方を試し、レポートにまとめる。

5回	**授業テーマ：リフレクティング(会話に関する会話)** 授業内容：・内的会話と外的会話 ・話す・聴くを分ける ・リフレクティングワーク 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：リフレクティングの体験をまとめる。
6回	**授業テーマ：当事者性と対等性** 授業内容：・「同じ立場」とは何か ・分かったつもりの危うさとわからないを深める力 ・わかったつもりのダイアローグ 事前学修 2.0hr：「わかる」と言われ違和感の経験を振り返り、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：当事者性のメリット・難しさ、対等な関係について整理する。
7回	**授業テーマ：中間リフレクション** 授業内容：前半の学びを Think-Pair-Share で言語化する。 これまでの学びの整理／変化の振り返り／リフレクティング② リフレクティング・トークの気づきを、全体でシェアする。 事前学修 2.0hr：第 1 ～ 6 回の manaba のリフレクションを読み返し、自分の変化を見つける。 事後学修 2.0hr：ピアサポートの基本姿勢や聴き方・関わり方の変化と今後の課題をまとめる。
8回	**授業テーマ：困ったときの対応とつなぎ** 授業内容：・一人で抱え込まない ・相談と連携 ・学内資源の活用 事前学修 2.0hr：困ったとき誰に相談してきたかを振り返る。 事後学修 2.0hr：相談・連携についての気づきをまとめる。
9回	**授業テーマ：支援者のセルフケア** 授業内容：・感情労働とは ・こころのセルフケア(レジリエンスとストレスマネジメント)の理論と実践 ・セルフワークやペアワークで、ストレスマネジメントを体験する。 事前学修 1.5hr：これまでに、こころのセルフケアとして、自分なりにどのようなことをやってきたかを振り返る。 事後学修 2.5hr：こころのセルフケアを 1 週間続けてみる(トライアル)。その結果についてまとめる。
10回	**授業テーマ：２つの問題対処** 授業内容：・2 種類の問題対処力(ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティ)について理解する。 ・ポジティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、セルフワークを通して身に着ける。 ・ネガティヴ・ケイパビリティによる問題対処法について、ダイアローグを通して、考える。 事前学修 1.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティに関する資料を事前に読み、疑問点を明らかにしてくる。 事後学修 2.5hr：ポジティヴ・ケイパビリティとネガティヴ・ケイパビリティを日常の中で活用し、その事例についてまとめる。
11回	**授業テーマ：オープンダイアローグ** 授業内容：・オープンダイアローグの基本的考え方(概要) ・「答えを出さない」「不確かさにとどまる」姿勢 ・ミニ・ダイアローグ体験(話す人／聴く人／観察者) 事前学修 2.0hr：事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：今日の対話で印象に残った「沈黙」や「言葉」を振り返り、オープンダイアローグ的な聴き方についての気づきを記述する。
12回	**授業テーマ：障がいと合理的配慮** 授業内容：・公正な社会(差別や抑圧のない社会)と多様性尊重社会について考える。 ・新しい社会における障害支援やピア・サポートを考える。 事前学修 1.5hr：日本や世界の多様性尊重社会の取り組みや背景について調べてくる。 事後学修 2.5hr：新しい社会における障害支援やピア・サポートに関する考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：ピアサポートを実践する①** 授業内容：・これまでの学びを踏まえ、学内でのピアサポート企画を立案する。 ・目的・対象・方法・ルールを検討する。 ・合理的配慮の視点を含めた参加設計を考える。 ・グループ間でリフレクティングを行い、改善点を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの学びを振り返り、実践したいテーマを考えてくる。 事後学修 2.0hr：企画の強みと改善点を整理し、次回に向けた目標をまとめる。
14回	**授業テーマ：ピアサポートを実践する②** 授業内容：・ピアサポート企画を実践する。 ・実践後、リフレクティングを行う。 ・対話の中で起きたことを共有し、学びを統合する。 事前学修 2.0hr：自分の役割を確認し、想定される困難を整理する。 事後学修 2.0hr：実践を振り返り、気づきと今後の課題をまとめる。
15回	**授業テーマ：ピアサポート実践のまとめとリフレクション** 授業内容：・実践の中で生じた気づき、関係の変化、困難への対応を共有する。 ・対話的姿勢や相互性の観点から、自身の学びを整理する。 ・今後の学内でのピアサポートの可能性を検討する。 事前学修 1.5hr：実践時の記録やポートフォリオを読み返し、印象に残った場面を整理する。 事後学修 2.5hr：ピアサポート実践を通して得た学びと今後の課題をまとめ、最終レポートとして提出する。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【エンターテイメント文化研究ゼミ～ディズニーの経営学を中心に～】(前学期 月２　/後学期 月２)
このゼミでは、ディズニーの「おもてなし」や「組織のしくみ」に関するテキストを読み解きながら、これからのエンタメ産業や遊びの文化がどう変わっていくのか、テキストのプレゼンや仲間との対話を通じて自分の考えを深めていきます。
「ディズニーについて語りたい」「経営の基本を知りたい」「エンタメビジネスに興味がある」という方の参加をお待ちしています。
重要(人数調整)：初回に 12 名～ 15 名程度の人数調整を行いますので、履修希望者は必ず出席してください。
初回日程：【前学期】4 月 6 日(月 2)／【後学期】9 月 14 日(月 2)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、少人数の学生が集まり、教員の指導のもとで自ら調査・研究を行い、発表や討論を通して理解を深めていく授業形態です。
本ゼミでは、ディズニーを中心としたエンターテイメント文化と、その背景にある経営学およびマネジメントの考え方について学びます。トーク形式の議論を重ねることで、物事を多角的に分析する力を養い、エンターテイメントを社会・経済・文化の視点から捉える広い視野を身につけることを目標とします。
個別目標：① アミューズメント産業およびエンターテイメント産業の現状について、基礎的な知識をもとに説明することができる。
② 米国ディズニーの経営システムを理解し、その考え方を他の分野や事例に応用する視点をもつことができる。
③ 仲間と協働しながらテーマに沿って対話・ディスカッションを行い、その内容を整理してプレゼンテーションすることができる。

▌履修条件

履修者は 12 名～15 名程度。ディズニーが好きな方、エンターテイメント産業の経営に強い興味・関心をもつ方を歓迎します。
履修を希望する学生は、前期は 4 月 6 日(月 2)、後期は 9 月 14 日(月 2)の初回授業に必ず出席してください。
本ゼミは少人数のトークゼミであるため、原則として欠席を避け、継続的に参加しながら、一歩一歩学びを積み重ねていきましょう。

▌評価基準・方法

成績評価は、授業への参加姿勢(60 %)、クラス仲間とのコミュニケーション(30 %)、および学修内容の理解や到達度(10 %)を基準とし、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

個人またはグループでの発表を予定しているため、manaba のプロジェクト機能や小テスト機能を活用し、情報や意見の共有を行いながら、授業内容に対するフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法 (日経ビジネス人文庫) 」ディズニー・インスティチュート (著) を利用しますが、教員が用意します。

▌参考書

「どんな人も活躍できる ディズニーのしくみ大全」大住 力 (著)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション(人数調整)とミーティング** 授業内容：初回授業では、セレクション(人数調整)およびオリエンテーションを行い、授業内容について確認します。履修希望者が定員(12 名～15 名程度)を超えた場合は、志望動機等を確認したうえで、適正な人数に調整します。 メンバー決定後は、各自の興味・関心について情報交換を行い、今後の授業の進め方やゼミの展開について確認します。 事前学修 2.0hr：シラバスを理解してくる。 事後学修 2.0hr：自分の好きな分野の遊び文化の状況をリサーチする。
2回	**授業テーマ：遊びの文化とはなにか？ アミューズメント産業・エンターテイメント産業とはなにか？** 授業内容：「遊びの文化とは何か」「アミューズメント産業およびエンターテイメント産業とは何か」をテーマに、基礎的な概念についてディスカッションを行います。あわせて、テキスト『ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)』を用いた学修を開始します。 事前学修 2.0hr：遊び(Play) の定義について考えてくる。 事後学修 2.0hr：遊びの定義をまとめる。
3回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(1)―ミッキーマウスの誕生―** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、創業者であるウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年– 1966 年)について理解します。本回では、ウォルト・ディズニーの人物像と、ミッキーマウス誕生の背景を中心に取り上げます。あわせて、テキスト『ディズニーが教える お客様を感動させる最高の方法(日経ビジネス人文庫)』について、今後の発表分担を決定します。 事前学修 2.0hr：興味のある遊びネタ・話題を調べる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント産業・エンターテイメント産業の広がりをまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
4回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(2)―アニメーションの創造―** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、ディズニーにおけるアニメーション創造の卓越性と、その背景にある発想や価値観について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの実績(作品)について調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーの作品を観てくる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
5回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(3)ー混乱の社会における表現ー** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、戦争という時代背景のもとでの表現活動や、社会の混乱の中で示されたウォルト・ディズニーの生き方や思想について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ディズニー社の歴史的展開を調べてくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトが残した格言について調べておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。
6回	**授業テーマ：ウォルト・ディズニーを知る(4)ディズニーランドの建設** 授業内容：ディズニー研究の基礎として、引き続きウォルト・ディズニーについて理解を深めます。本回では、1955 年に開園したディズニーランドの建設過程と、「夢の国」が誕生するまでの構想や挑戦について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：ウォルトの人となりをまとめておく(発表担当はプレゼン資料を作成)。

7回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(1)ゲストロジーとゲストとの約束** 授業内容：テキストの内容をもとに、「ゲストロジー」および「ゲストとの約束」という概念について理解を深めます。また、ディズニーリゾートとユニバーサル・スタジオ・ジャパンの強みを比較し、エンターテイメント施設における顧客体験の特徴について考察します。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
8回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(2)第一印象** 授業内容：テキストの内容をもとに、「第一印象」の重要性について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察を深めます。あわせて、テキストの発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
9回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(3)サービスのカスタマイズ** 授業内容：テキストの内容をもとに、「サービスのカスタマイズ」という視点から、ディズニーにおける顧客対応の特徴について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについてメンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
10回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(4)セットとは** 授業内容：テキストの内容をもとに、「セット」という概念について理解を深め、ディズニーにおける空間演出や体験設計の特徴について考察します。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについてメンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して理解を深めます。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
11回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(5)効果と五感** 授業内容：テキストの内容をもとに、ディズニーの演出が生み出す「効果」と五感を通した顧客体験について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
12回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(6)ゲストの不満** 授業内容：テキストの内容をもとに、ゲストの不満やクレームへの対応の重要性について理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：担当するフィールドワーク研究対象の調査方法・段取りを考えてくる。
13回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(7)不満を解消する** 授業内容：テキストの内容をもとに、ゲストの不満をどのように解消し、感動体験に変えていくかについて理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
14回	**授業テーマ：「ディズニーが教えるお客様を感動させる最高の方法」を読み解く(8)クオリティ・サービス** 授業内容：テキストの内容をもとに、ディズニーが提供するクオリティの高いサービスについて理解を深めます。また、ディズニーに関する話題や関連イベントについて、メンバー同士で情報共有を行い、意見交換を通して考察します。あわせて、テキスト内容に関する発表およびディスカッションを行います。。 事前学修 2.0hr：本日の授業で取り扱うテキスト(章)を読んでくる。 事後学修 2.0hr：本日の部分をまとめる(発表担当はプレゼン資料を作成)。
15回	**授業テーマ：まとめ：ディズニー社はどこにいくのか？** 授業内容：全体を通じて学んだ内容をまとめます。本回では、ウォルト・ディズニー(Walt Disney、1901 年− 1966 年)の功績を振り返るとともに、ディズニー社が今後どのように発展していくのか、またエンターテイメント産業の将来像について考察し、ディスカッションを行います。 事前学修 2.0hr：ウォルト・ディズニーとディズニー社の歴史・功績についてまとめてくる。 事後学修 2.0hr：アミューズメント＆エンターテイメント産業についてまとめる。

人間形成ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

矢島　ますみ（やじま　ますみ）

▌授業の概要

◆少人数トークゼミ◆【劇場文化研究ゼミ】ミュージカルを見に行こう！（前学期 火3 /後学期 火3）
本ゼミでは、ミュージカルや 2.5 次元舞台、歌舞伎などの舞台表現を題材に、実際に舞台を鑑賞する体験を通して、東西の劇場文化の特徴や面白さを語り合うクラスです。鑑賞する舞台には、「美女と野獣」「アナと雪の女王」「アラジン」「ミュージカル『SPY × FAMILY』」などがあります。
また、テキスト『2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ』を用いて、順番にプレゼンテーションを行いながら、現代の舞台表現について考えていきます。演劇やミュージカル、舞台芸術・表現に関心のある方を歓迎します。
初回授業では、人数調整（12 名〜15 名程度）を行いますので、前期は 4 月 7 日（火 3）、後期は 9 月 15 日（火 3）に必ず出席してください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ゼミナール【Seminar】とは、大学で少人数の学生が集まり、教員の指導のもとで自ら研究し、発表や討論を通して理解を深めていく授業形態です。本ゼミでは、実際に舞台を鑑賞する体験を行い、その経験を踏まえながら、テキストやゼミ仲間との議論を通して舞台や表現について語り合います。これにより、西洋と日本の舞台の特徴を理解し、説明できる力を養います。
個別目標：①日本と西洋の舞台表現の歴史を理解し、その特徴を説明できるようにします。
②日本文化と西洋文化の発展の歴史を比較し、概略を整理して述べられるようにします。
③仲間と協力してフィールドワークを行い、その成果を有効にプレゼンテーションできる力を身につけます。

▌履修条件

定員は 12〜15 名程度です。舞台・芸能・ダンスに関心のある方や、経験のある方、そしておしゃべりが大好きな方を歓迎します。
履修を希望する方は、初回授業の人数調整に必ず出席してください。前期は 4 月 7 日（火 3）、後期は 9 月 15 日（火 3）です。本ゼミは少人数で運営するため、原則として欠席せず、一歩一歩学びを積み重ねてまいりましょう。
また、ゼミの中心であるフィールドワーク（観劇活動）には、チケット代などの費用がかかります。大学の活動助成金を申請予定ですが、ある程度の自己負担が必要になることをご承知おきください。

▌評価基準・方法

本ゼミの評価は、授業への参加姿勢（60 %）、クラス仲間とのコミュニケーション（30 %）、学習達成度（10 %）**を基本の比重として、総合的に行います。

▌フィードバック方法

授業のほか、授業外で観劇活動をしていただきますので、manaba のプロジェクトや小テスト機能を有効に利用しながら情報・意見交換や授業内容のフィードバックをしていきます。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回メンバー同士のディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （発表担当者はプレゼン資料を作成し、プレゼンしていただきます）

▌教科書

2.5 次元舞台へようこそ ミュージカル『テニスの王子様』から『刀剣乱舞』へ (星海社新書) （教員が用意します）

▌参考書

適宜、資料紹介いたします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：セレクション（人数調整）とガイダンス** 授業内容：授業の目的・進め方を確認します。履修希望者が多い場合は志望動機を確認し、ディスカッションに適正な人数への選抜を行います。メンバー決定後、自己紹介および鑑賞希望作品についての意見交換を行います。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読し、本授業の目的を理解しておく。 事後学修 2.0hr：今期鑑賞可能な舞台情報を収集し、候補を絞り込む。
2回	**授業テーマ：舞台の魅力の探求** 授業内容：舞台芸術にはどのような種類があるのか？ その魅力とは何かをディスカッションします。各自、鑑賞候補作品をリストアップし、スケジュールを確認します。 事前学修 2.0hr：興味のある舞台ジャンルについて、最新の上演スケジュールを調べる。 事後学修 2.0hr：鑑賞候補作品の上演期間・場所・チケット代金を具体的に確認する
3回	**授業テーマ：身体・思想・メッセージ：西洋と日本の比較** 授業内容：日本と西洋の舞台における表現技法や思想の違いについてディスカッションします。テキスト『2.5 次元舞台へようこそ』を配布し、今後の輪読計画を立てます。 事前学修 2.0hr：伝統芸能（歌舞伎等）と現代演劇（ミュージカル等）の表現の違いを調べておく。 事後学修 2.0hr：鑑賞作品を決定し、チケットの手配を開始する。
4回	**授業テーマ：ミュージカルと 2.5 次元舞台の表現構造** 授業内容：ミュージカルの三要素（歌・ダンス・演劇）の特徴と、2.5 次元舞台が何を表現しようとしているのかを考察します。テキストの発表担当を決定します。 事前学修 2.0hr：自身の鑑賞予定作品のあらすじを確認する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
5回	**授業テーマ：2.5 次元舞台の定義と現状** 授業内容：テキスト「第 1 章 2.5 次元舞台とは」の発表とディスカッション。現代のエンターテインメントにおける 2.5 次元の位置づけを考えます。※鑑賞済みの学生は随時報告を開始 事前学修 2.0hr：テキスト第 1 章を読み、疑問点を抽出する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
6回	**授業テーマ：テニスの王子様：ムーブメントの原点** 授業内容：テキスト「第 2 章 すべてはミュージカル『テニスの王子様』から始まった」の発表とディスカッション。鑑賞作品の具体的な見どころを整理します。 事前学修 2.0hr：第 2 章の精読、発表資料の作成。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
7回	**授業テーマ：宝塚歌劇と 2.5 次元のミッシングリンク** 授業内容：古典としての歌舞伎の要素を孕みつつ、少女漫画を舞台化した宝塚の影響を考察。テキスト「第 3 章 2.5 次元舞台誕生前夜」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：宝塚歌劇団の歴史について概要を調べておく。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。

8回	**授業テーマ：舞台表現の革命：弱虫ペダルの衝撃** 授業内容：自転車を使わずに自転車レースを表現した手法など、2.5 次元特有の演出を考察。テキスト「第 4 章 劇場から飛び出した舞台『弱虫ペダル』の誕生」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：歌舞伎や 2.5 次元舞台における「見立て」の技法を調べる。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
9回	**授業テーマ：舞台を支える役者たちの身体性** 授業内容：前半戦の振り返りと個人活動状況の確認。テキスト「第 5 章 2.5 次元舞台の可能性を信じる役者たち」の発表とディスカッション。 事前学修 2.0hr：注目の舞台俳優やそのトレーニング方法について調べる。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
10回	**授業テーマ：観客が作る舞台空間** 授業内容：舞台と観客の関係性について。テキスト「第 6 章 2.5 次元舞台を観てみませんか」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：舞台批評やファンの感想ブログなどを読み、観客の反応を分析する。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
11回	**授業テーマ：刀剣乱舞：メディアミックスの極致** 授業内容：ゲームから舞台、そして社会現象へ。テキスト「第 7 章 『刀剣乱舞』という全方位のコンテンツ」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：メディアミックス戦略の成功事例を調べておく。 事後学修 2.0hr：発表担当は発表資料を作成する。鑑賞活動がある人は実施する。
12回	**授業テーマ：受け手の視点と愛の形** 授業内容：舞台を愛するファンの心理と消費行動について。テキスト「第 8 章 2.5 次元舞台を愛する受け手の視点」の発表とディスカッション。鑑賞活動プレゼン。 事前学修 2.0hr：推し活やファンコミュニティのあり方について考える。 事後学修 2.0hr：最終レポートの完成度を高める。
13回	**授業テーマ：和魂洋才の舞台構造：西洋と日本の融合** 授業内容：鑑賞活動とテキストの学びを総括し、日本独自の舞台表現の構造についてディスカッションします。 事前学修 2.0hr：西洋演劇と日本演劇の構造的特徴を比較検討する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションの内容を反映し、レポートを最終化する。
14回	**授業テーマ：未来の舞台芸術：トレンドの予測** 授業内容：現代の観客が求めているテーマとは何か？ 今後の舞台芸術のトレンドについてメンバーで予測・討論します 事前学修 2.0hr：近年のヒット作に共通する要素を抽出しておく。 事後学修 2.0hr：自身の「理想の舞台」についての意見をまとめておく。
15回	**授業テーマ：デジタル社会と生のパフォーマンス** 授業内容：コロナ禍を経て進化したネット配信と、劇場での生の体験の価値。今後の舞台芸術の発展可能性についてまとめます。 事前学修 2.0hr：14 回までの学習内容全体を振り返る。 事後学修 2.0hr：本講義全体を通した自己評価を行う。

ボランティア活動 A

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国内における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 4 点の条件をすべて充たすこと。

1　ボランティア講習会（理論編・実践編）の受講
2　学外施設・団体等における 60 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ボランティア講習会(理論編)** 授業内容：ボランティアの理論を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアとは何かを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
2 回	**授業テーマ：ボランティア講習会(実践編)** 授業内容：ボランティアの実践を学ぶ 事前学修 2.0hr：ボランティアの心構えやマナーを調べる 事後学修 2.0hr：授業で学んだことを復習する
3 回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
4 回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5 回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6 回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7 回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8 回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9 回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10 回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
11 回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

ボランティア活動 B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

国外における社会貢献活動（ボランティア活動）の成果に対して単位を認定する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：自己実現に向け努力することができるよう、ボランティア活動という経験を通して、社会と向き合い、自分自身の今と将来を見極める能力を身につける。

個別目標：1　ボランティア活動を通じて、自ら考えて行動することができる。
2　ボランティア活動の経験から得た情報や意見を報告会等で積極的に交換し、自身の言葉で社会貢献活動の意義を説明できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

以下の 5 点の条件をすべて充たすこと。

1　国際ボランティア団体主催の事前オリエンテーション等への参加
2　事前・事後学修を含み総活動時間 90 時間以上の活動
3　活動日誌と終了レポートの作成
4　国際ボランティア団体が発行したプログラム修了証明書の提出
5　ボランティア活動報告会への参加

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （活動日誌及び終了レポートの作成、活動報告会等で使用する。）

▌教科書

適宜指示する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ボランティア活動①** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者と打合せを行う 事後学修 2.0hr：打合せで確認した活動内容等をまとめる
2回	**授業テーマ：ボランティア活動②** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
3回	**授業テーマ：ボランティア活動③** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
4回	**授業テーマ：ボランティア活動④** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
5回	**授業テーマ：ボランティア活動⑤** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
6回	**授業テーマ：ボランティア活動⑥** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
7回	**授業テーマ：ボランティア活動⑦** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
8回	**授業テーマ：ボランティア活動⑧** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
9回	**授業テーマ：ボランティア活動⑨** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
10回	**授業テーマ：ボランティア活動⑩** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる

11回	**授業テーマ：ボランティア活動⑪** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
12回	**授業テーマ：ボランティア活動⑫** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
13回	**授業テーマ：ボランティア活動⑬** 授業内容：受入れ施設においてボランティア活動を行う 事前学修 2.0hr：活動内容等について、担当者から指導を受ける 事後学修 2.0hr：活動内容を活動日誌にまとめる
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：活動内容をレポートにまとめる 事前学修 2.0hr：活動内容を振り返り、レポート作成の準備をする 事後学修 2.0hr：作成したレポートを確認し、活動内容や活動を通じて感じたこと等が簡潔にまとめられているか確認する
15回	**授業テーマ：ボランティア活動報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 2.0hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 2.0hr：これまでの活動のまとめを行う

日本の歴史

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野田　有紀子（のだ　ゆきこ）

▌授業の概要

高校まで「歴史」の授業を受けてきた皆さんは、「歴史」というと昔の年号や用語の “暗記” ばかりの学問という印象を持っているかもしれませんが、実は「歴史」という学問は、歴史上の出来事や人物や物品を通して、現代までの流れを “考える” ための学問です。また、日本の歴史を考えるためには、日本のことだけでなく、日本と海外との “交流” や “比較” という視点も重要です。この講義では日本の歴史、とくに古代 (飛鳥時代・奈良時代・平安時代) のなかで、皆さんが身近に感じられるようないくつかの具体的テーマをとりあげて、国内外の文献や絵画、地図や系図、遺跡や文化財の写真など、さまざまな歴史資料を用いて、多角的・視覚的に解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：日本の歴史に関するさまざまな資料を観察し、その背景を知ることにより、現代の日本の姿は、過去の歴史の流れの上に形成されてきたものであることを理解できるようにしましょう。また、海外との交流や、外国人からの視点、日本と海外との比較といった、国際的な観点からも日本を見る姿勢を養いましょう。

個別目標：①日本の歴史を理解するために、さまざまな歴史資料を観察して、その背景や価値を理解できるようになる。
②日本と海外との交流や比較といった国際的視野を身につけられる。

▌履修条件

特にありませんが、日本の歴史や文化に興味をもって授業にのぞんでください。

▌評価基準・方法

定期試験は実施しません。
毎回、授業中～後に manaba から事後課題(小テスト)を提出してもらうことによって、内容理解を確認します。
全 15 回分の事後課題(小テスト)の提出率・合計点、授業への参加姿勢を合わせて、総合的に評価します(100 %)。
＊原則として、5 分の 4 以上の出席を評価対象とします。
＊授業を欠席した場合でも、事後課題(小テスト)は必ず提出してください。
＊欠席した場合は、事後課題(小テスト)に加え、manaba から【欠席者★追加課題】を提出してください。出席扱いとします。(公欠の場合をのぞく)

▌フィードバック方法

事後課題(小テスト)のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。
＊質問などがあれば、manaba から連絡してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しません。
＊毎回の授業前に、manaba を通じて資料 pdf を配布しますので、各自ダウンロードして予習してください。

▌参考書

特に指定しません。
(ある場合は授業ごとに紹介します)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：《はじめに》文化財の基礎知識①文化財保護法～「保存」と「活用」** 授業内容：この講義では、「日本の歴史」を学習する上で「国宝」や「史跡」といった、文化財をたくさん紹介します。そこで第 1 回目の今回は、文化財の基礎知識として、①「文化財保護法」の目的、②文化財の分類のうち「有形文化財」(国宝など)について、③博物館の機能について学びます。 事前学修 2.0hr：興味のある文化財の内容について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
2回	**授業テーマ：文化財の基礎知識②「記念物」～飛鳥の「史跡」めぐり** 授業内容：前半は、「文化財保護法」での分類のうち「記念物」(史跡など)について説明します。後半では、飛鳥時代(592～710)に宮都が置かれた「飛鳥」(奈良県明日香村)の史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代のおもな舞台となった奈良県明日香村の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
3回	**授業テーマ：古代の遷都～大和朝廷から律令国家へ〔古墳時代～飛鳥時代〕** 授業内容：古墳時代の「歴代遷宮」から、飛鳥時代の藤原京(694 年遷都)まで、古代の都の史跡をたどりながら、律令国家が形成されていく過程について学びます。 事前学修 2.0hr：古墳時代から飛鳥時代までの遷都や歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
4回	**授業テーマ：平城京遷都～正倉院の世界〔奈良時代〕** 授業内容：日本古代の「遷都」は、「律令国家の形成」と深い関係があります。今回は奈良の都「平城京」(710 年遷都)の史跡めぐりと、遷都の理由、さらに今日まで伝わる正倉院宝物の歴史について学びます。 事前学修 2.0hr：平城京への遷都や律令・戸籍の施行など、奈良時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
5回	**授業テーマ：平安京遷都～千年の都〔平安時代〕** 授業内容：いよいよ平安京に到着です!!まず平安京へ遷都(794 年)した過程と理由について学習します。さらに、平安宮跡が現在どのように保存されているか確認しながら、史跡めぐりをしましょう。 事前学修 2.0hr：平安京への遷都や、京都の地理や史跡について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
6回	**授業テーマ：〈計画都市〉平安京～「かたち」と「くらし」〔平安時代〕** 授業内容：〈計画都市〉として建設された「平安京」が、遷都後しだいに、かたちを変えていった過程と理由について学びます。さらに、平安京での都市民のくらしをさぐりましょう。 事前学修 2.0hr：平安時代の歴史の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
7回	**授業テーマ：日本古代の風習と唐風化〔弥生時代～平安時代初期〕** 授業内容：『魏志倭人伝』や、人物埴輪に見える日本古代の風習が、律令国家の形成とともに、どのように「唐風化」していったかを学びます。 事前学修 2.0hr：魏志倭人伝の内容や、遣隋使・遣唐使の役割について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

8回	**授業テーマ：唐風文化から国風文化へ〜「ひらがな」と「十二単」の誕生〔平安時代中期〕** 授業内容：９世紀までの唐風文化が、１０世紀から国風文化(かな文字・かな文学、十二単などの衣装)に発展していった過程を学習します。 事前学修 2.0hr：かな文字・かな文学、十二単などの衣装に代表される、平安時代の国風文化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
9回	**授業テーマ：天皇と貴族「藤原氏」〜中臣鎌足から藤原道長まで〔飛鳥時代〜平安時代中期〕** 授業内容：今回と次回は、平安貴族社会における「天皇と貴族との関係」がテーマです。今回の前半は、「貴族」とは何かを説明します。後半では、貴族のなかで「藤原氏」(北家本流)が、天皇との関わりのなかで、どうやって貴族のトップを独占するようになったかを、中臣鎌足の「藤原氏の誕生」から、藤原道長の「全盛期」までの軌跡をたどって学びます。 事前学修 2.0hr：飛鳥時代から摂関期までの政治の流れについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
10回	**授業テーマ：古代の専門職〜貴族社会をどう生きるか〔平安時代中期〕** 授業内容：貴族社会において、藤原氏北家本流以外の氏族がどうやって生き残っていったかを、①地方に土着 (武士化・武士団) コース、②専門職を世襲コース、③権力者に奉仕コースに分けて学習します。 事前学修 2.0hr：陰陽師や武士など、平安時代のさまざまな職業について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
11回	**授業テーマ：日本古代の子ども〜誕生から成人まで〔平安時代中期〕** 授業内容：現代日本で行われている「誕生〜成人までの通過儀礼」は、平安時代(９世紀)から記録されています。今回は平安貴族家庭の、結婚儀礼と、誕生から成人までの通過儀礼を学習し、今日行われている結婚儀礼・通過儀礼とのつながりを学びましょう。 事前学修 2.0hr：子どもの誕生や成長に関する儀礼について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
12回	**授業テーマ：平安貴族女性の教育と仕事〜「女房」と「斎王」〔平安時代中期〕** 授業内容：まず平安貴族家庭の男子と女子の教育の違いについて説明します。つぎに、貴族女性の仕事をテーマに、皇族・貴族に仕える侍女「女房」と、伊勢神宮の巫女「斎王」について習びましょう。 事前学修 2.0hr：紫式部や清少納言といった平安時代の女性について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
13回	**授業テーマ：欧米から見た日本①日本情報の報告〔鎌倉時代〜江戸時代〕** 授業内容：今回と次回は、これまで学んできた古代の「唐風化」と比較するため、近代の「欧米化」について学習します。今回は中世〜近世の日本情報を、欧米人がどのように記録・報告したかを学びましょう。 事前学修 2.0hr：宣教師の来日や、江戸時代の鎖国と出島について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
14回	**授業テーマ：欧米から見た日本②文明開化と欧米化〔江戸時代末期〜明治時代初期〕** 授業内容：１９世紀後半(江戸時代末期〜明治時代初期)、訪日した欧米人が見た日本の風習と、明治政府による風習の欧米化政策を学びましょう。 事前学修 2.0hr：明治時代の文明開化について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。
15回	**授業テーマ：《おわりに》海外に流出した日本文化財〔明治時代〜現代〕** 授業内容：１９世紀後半以降、日本の文化財が軽視・廃棄され、海外に流出した背景と、それを防ぐための文化財保護の法律や政策について学習します。 事前学修 2.0hr：文化財保護の法律や制度について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、興味をもった点やわからない箇所があれば調べる。

国際関係論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

東　夢子（あずま　ゆめこ）

▌授業の概要

この授業の目的は多極化する世界に移行し、不確実性を増しつつある今日において、日本をめぐる国際関係を考え、日本の重要性を認識し、明日の国際関係を洞察する力を養うことにある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：今まで日本にとって、一番重要な国際関係ー日米関係、日英関係、日露関係、日韓関係、日中関係、日本と東南アジアの関係などを顧みることによって、先人の英知を学び、危機の状況下における物事の見方、考え方を身に付けることができる。

個別目標：未来の国際社会で活躍する時に必要な先見性、合理性、国際関係に対する分析力を身に付けるということを目標とする。

▌履修条件

学習する意欲のある者。自己学習の習慣を有する者。特に自分で調べることがレポート作成の上で重要なので、自己学習能力が是非とも必要である。

▌評価基準・方法

①期末テストの代わりに、毎回のレポート 50 %、レポートに必要な予備知識のアンケート 10 %と授業への参加 (DVD をきちんと見て、レスポンに感想を書く）40%等で総合的に評価する。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

②レポートの提出が 12 回以上でなければ、不合格となる。

③毎回のレポートに字数の規定(毎回、3 問の課題があり、1 問は大体 300 文字～400 文字)があり、極端に字数が少ない場合、評価不能とされることがあるので、ご注意ください。

④レポートの提出と質問へのフィードバックは manaba を経由する。

▌フィードバック方法

授業中で説明します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

岩下哲典著『近現代日本の国際関係』北樹出版 ISBN978-4-7793-0285-5 C3021

▌参考書

1、國史大辭典 /国史大辞典編集委員会編出版 東京：吉川弘文館 , 1979.3-1997.4

2、教科書の参考文献及び各授業中で流す DVD の内容に沿う学術論文と著作。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：江戸幕府の政治構造と授業スタイルについての説明。 事前学修 2.0hr：1820 年代から 1950 年までの日本をめぐる大事件について簡単に調べる。 事後学修 2.0hr：授業中で指示された歴史用語について調べる。
2回	**授業テーマ：日本とオランダの関係＝シーボルトと日本開国** 授業内容：シーボルトと日本開国 事前学修 2.0hr：シーボルトについて「國史大辭典」などで調べる。 事後学修 2.0hr：シーボルトの伝記を読む。
3回	**授業テーマ：日米関係(日米和親条約)** 授業内容：ペリー来航幕府が知っていた。 事前学修 2.0hr：ペリー来航前後の日本をめぐる世界情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：老中阿部正弘について調べる。
4回	**授業テーマ：日米関係** 授業内容：(日米修好通商条約)＝通商か亡国か 。ハリスと幕府交渉の過程。 事前学修 2.0hr：ハリスについて調べる。 事後学修 2.0hr：安政の五か国条約について調べる。
5回	**授業テーマ：慶喜大政奉還ー松平春嶽の構想** 授業内容：立憲思想の日本に芽生える過程。 事前学修 2.0hr：松平春嶽と徳川慶喜について調べる。 事後学修 2.0hr：日本立憲制度導入の思想的な基盤と過程について調べる。
6回	**授業テーマ：外交立国いまだ死なず** 授業内容：函館政権と国際関係法 事前学修 2.0hr：榎本武揚について調べる。 事後学修 2.0hr：明治新政府と列強との関係について調べる。
7回	**授業テーマ：大久保利通暗殺の悲劇** 授業内容：廃藩置県と武士の反乱とその背景。 事前学修 2.0hr：大久保利通と明治新政府の課題について調べる。 事後学修 2.0hr：征韓論について調べる。
8回	**授業テーマ：銀行は人々のために 。** 授業内容：日本における銀行誕生の経緯 事前学修 2.0hr：渋沢栄一について調べる。 事後学修 2.0hr：日本の近代経済について調べる。
9回	**授業テーマ：日露関係と日英関係** 授業内容：日清戦争と日露戦争の背景 事前学修 2.0hr：日清戦争について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の国際情勢と日韓関係について調べる。
10回	**授業テーマ：日中関係** 授業内容：満州事変及び日中戦争 事前学修 2.0hr：三国干渉について調べる。 事後学修 2.0hr：満州建国と日中戦争について調べる。

11回	**授業テーマ：日独関係** 授業内容：三国同盟の締結と当時の国際情勢 事前学修 2.0hr：松岡洋右と当時の国際情勢について調べる。 事後学修 2.0hr：当時の日独関係と日米関係について調べる。
12回	**授業テーマ：日米関係 ＝日米開戦を回避せよ** 授業内容：日米開戦前夜の国際情勢 事前学修 2.0hr：南進論について調べる。 事後学修 2.0hr：チャーチル及び蒋介石について調べる。
13回	**授業テーマ：日米関係＝ 現在日米関係の原点** 授業内容：マッカーサーと天皇との会見 事前学修 2.0hr：サンフランシスコ講和条約などについて調べる。 事後学修 2.0hr：戦後の占領政策とマッカーサーについて調べる。
14回	**授業テーマ：海上自衛隊はこうして生まれた。** 授業内容：海上自衛隊と戦前海軍 事前学修 2.0hr：日米安保条約の流れについて調べる。 事後学修 2.0hr：自衛隊の誕生と日本の軍事力について調べる。
15回	**授業テーマ：原爆の絵** 授業内容：原爆の投下について考える 事前学修 2.0hr：1 回目～14 回目のレポートを紙で再提出する。 事後学修 2.0hr：戦争と原爆についての感想を書く。

国際貢献論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川 正純（おがわ まさずみ）

▌授業の概要

国際貢献や国際協力について、日本が開発途上国を支援する政府開発援助 (ODA) や NGO、民間団体が行う支援、持続可能な開発目標 (SDGs) など様々な観点から考えます。国際貢献を知るだけでなく、支援を選び、考え、説明する力を身につけることを目指します。また、善意だけでなく、なぜその支援が必要かを論理的に考える視点を養います。本講義は、グループワーク、プレゼンテーションを通じて、国際貢献や国際協力についての理解を向上させます。なお、この授業は「ボランティア講義」の内容と一部関連・重複する部分があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：開発途上国をはじめとする地球規模の問題と国際貢献の意義を理解し、国際貢献を実際に行うための知識・スキルを身につける。

個別目標：1．国際社会がどのような国際貢献や国際協力を行っているか説明できる。
2．開発途上国の課題に対して 適切な支援方法を考えられる。
グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1. 国際貢献や国際協力に関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2. グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3. 将来、国際的な仕事に興味がある人はもちろん国際貢献を自分の言葉で考えられるようになりたい人にもおすすめです。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただし、プレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション:国際協力とは何かについて** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、国際貢献と国際協力について解説する。授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：日本の国際協力** 授業内容：日本が国際機関や他国から受けた援助と日本が行っている政府開発援助 (ODA) について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：世界の状況を知る** 授業内容：グループワークにより、世界がどのように変化しているか理解する。また、国際社会の取り組みと成果を知り「持続可能」の意味を考え、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：近年の国際会議と国際社会の取り組みについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：「地球にやさしい」とは？** 授業内容：グループワークにより、私たちが日常的に使っている製品が、世界のどこで・誰の暮らしとつながっているかを考え、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：国際貢献や国際協力について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：持続可能な開発目標 (SDGs) について** 授業内容：持続可能な開発目標 (SDGs) の内容、特徴、目標、企業の SDGs の取り組み等について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：SDGs について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：気候変動** 授業内容：グループワークにより、気候変動によって影響を受けている人々について知り、その立場を想像して自分事として捉える。私たちの生活とのつながりや自分に何ができるか考え、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：気候変動について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：人道援助** 授業内容：人道援助の人道・公平・中立・独立という原則の意味と国際緊急援助隊（JDR）と NGO の特徴を具体例から解説し、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：人道援助について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
8回	**授業テーマ：NGO** 授業内容：日本及び海外の国際 NGO がどのような活動を行っているか、また NGO がどのように国際社会に貢献しているか具体例を示して解説した後、授業テーマについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：NGO の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習、レポート作成。

9回	**授業テーマ：JICA 海外協力隊について** 授業内容：JICA 主催の JICA 海外協力隊セミナーを実施し、海外協力隊の事業概要、海外協力隊経験者体験談を聞き、海外協力隊がどのようなものかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：JICA 海外協力隊の関連情報に目を通す。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：フェアトレードについて** 授業内容：フェアトレードとはどのようなものかと意義、認証ラベル、普及状況、今後のフェアトレードの方向性について解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：フェアトレードについての関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：一村一品運動の世界への広がり** 授業内容：大分県発祥である一村一品運動に関する世界への広がりについて、キルギス一村一品プロジェクトについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：キルギスと一村一品運動について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：プロジェクト選定の視点/開発途上国と私たちのつながり** 授業内容：開発プロジェクトの種類や選定の手法を習得し、開発プロジェクトをどのような視点で選ぶべきかを整理する。また、開発途上国の子どもと私たちの生活のつながりについて意見交換し、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：開発プロジェクトについて関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：開発途上国で技術協力をする際の支援内容について学ぶ。グループワークにより支援内容と裨益効果を考え、第 15 回の授業で発表するプレゼンテーションの準備を行う。 事前学修 2.0hr：関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
14回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：プレゼンテーションと意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：授業全体のふりかえり。レポート作成。

民族と宗教

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岩田　成就（いわた　しげなり）

▌授業の概要

「我々はどこから来たか？　我々は何者か？　我々はどこへ行くのか？」　このような問いに、現代の科学は必ずしも答えてはくれません。しかし、科学的知識をどう用い、この世界でどう生きていくかは、この問いにどう答えるかにかかっています。もし、この問いに答える営みを「宗教」ないしは「宗教性」と呼ぶなら、どのような「宗教」「宗教性」をもつかによって、現代の世界で私たちが出会うさまざまな取り組みは、大きな影響をうけるのではないでしょうか。科学技術の革新が飛躍的に進むこれからの社会で、生きる意味を問い、深みを持った生活を送るために、「宗教」について知り、「宗教性」への感受性を身につけていきたいと思います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：自分の生まれ育った文化やその基盤となる宗教について意識し、自覚的にとらえなおすこと。以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、自分自身を理解すること。

個別目標：「宗教」についての偏見を取り除き、「宗教」がどんな人間にも関わりのある普遍的な営みであることを理解すること。世界の主要宗教（仏教、キリスト教、イスラム教など）や日本人の宗教性についての基本的な理解を持ち、信仰をもつ人の気持ちを理解できるようになること。今日の社会における宗教をめぐる様々な問題について理解し、自分の意見を述べることできるようになること。自分以外の民族の文化や考え方を知り、人間の多様性を受け入れ、他者を受容するとともに、人間の宗教性一般について理解し、自らの宗教性について自覚的になること。

▌履修条件

とくにありませんが、上記のような問いを考えたことがある人、宗教や宗教が関わる問題に関心がある人、世界の歴史や世界の現在の情勢に関心のある人に受講していただきたいと思います。

▌評価基準・方法

期授業への積極的な取り組み（リアペ、コメント、質問など）（40%）、および最終授業日に行う試験（60 %）により評価する。

▌フィードバック方法

授業内容へのコメント、質問などをリアクションペーパー、コメントとして提出してもらい次の授業で回答したり、必要に応じて簡単な課題を出したりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業で配布するプリントが教科書のかわりとなる。

▌参考書

授業で多くの文献を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：世界の文明と宗教** 授業内容：オリエンテーション／宗教復興説／宗教衰退説／宗教変容説 事前学修 2.0hr：[宗教」という言葉で自分が何を思い浮かべているか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえ
2回	**授業テーマ：日本人の宗教性** 授業内容：日本人は「無宗教」か／創唱宗教と自然宗教／神様と仏様（神仏習合） 事前学修 2.0hr：「初詣」に行ったことのある人は、それが「宗教」かどうかを考えておくといよい。行ったことのない人は、「墓参り」「お祭り」「クリスマス」などについてでもよい。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
3回	**授業テーマ：ヒンドゥー教** 授業内容：インド宗教史／ヒンドゥー教の神々／世界観と教え／生活規範／ショナリズム 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、古代インドの歴史を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
4回	**授業テーマ：仏教①** 授業内容：釈迦の生涯と教え 事前学修 2.0hr：自分の苦しみの原因は何か？ 考えておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
5回	**授業テーマ：仏教②** 授業内容：大乗仏教と密教 事前学修 2.0hr：「仏」と「菩薩」の違い、「成仏」と「往生」の違いについて調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
6回	**授業テーマ：仏教③** 授業内容：日本の仏教（国家仏教／鎌倉新仏教／江戸国家仏教） 事前学修 2.0hr：家の人に聞くなどして、自分の家の宗教が何かを調べ、自分がそれを受け継いでいくかどうかについて考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
7回	**授業テーマ：儒教と道教** 授業内容：中国人の死生観／儒教／道教／共産主義 事前学修 2.0hr：身の回りのもの、考え方、習慣などの中に、中国由来のものがないか考えておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
8回	**授業テーマ：神道** 授業内容：神道の原型／神話の原型／神道の教え／神仏習合／様々な神道 事前学修 2.0hr：近くにある神社にどんな神さが祀られており、どんな由来のある神社かを調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
9回	**授業テーマ：ユダヤ教** 授業内容：「ユダヤ人」の歴史／ユダヤ教の聖典（TNK）と「旧約聖書」／ユダヤ教の教え 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で古代オリエントや古代イスラエルの歴史について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる

10回	**授業テーマ：キリスト教①** 授業内容：イエスの教えとキリスト教信仰 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で古代ローマ帝国やキリスト教の発生などについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえる
11回	**授業テーマ：キリスト教②** 授業内容：キリスト教の歴史(カトリック、オーソドックス、プロテスタント) 事前学修 2.0hr：高校の歴史の教科書で「宗教改革」について確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
12回	**授業テーマ：イスラム教①** 授業内容：ムハンマドの生涯／「イスラム世界」の展開／「イスラム世界」の現状 事前学修 2.0hr：高校の世界史の教科書で、イスラム世界のはじまりついて確認しておく 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
13回	**授業テーマ：イスラム教②** 授業内容：イスラムの教えと規範 事前学修 2.0hr：ムスリム(イスラム教徒)の人たちの生活や習慣について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
14回	**授業テーマ：宗教過激主義と現代社会** 授業内容：「オウム真理教」と「イスラム過激主義」 事前学修 2.0hr：「地下鉄サリン事件」(1995 年)や「9.11 同時多発テロ事件」について調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントをふりかえっておく
15回	**授業テーマ：試験** 授業内容：授業内容への把握を問う試験を行う。 事前学修 2.0hr：プリントやノートを読み返し、授業内容を振り返っておく 事後学修 2.0hr：授業全体をふりかえる

異文化コミュニケーション論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

岡田　麻唯（おかだ　まい）

▌授業の概要

異文化コミュニケーションの概念や理論を学び、理解する。それらを用いて、日常の出来事から異文化コミュニケーションについて考え、異なる文化背景の人々と、より良いコミュニケーションをするにはどうしたらよいかを考える。本クラスでは、講義だけでなく、個人ワーク、ペアワーク、グループワークを通して、学びを深めていくため、積極的な参加が求められる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：異文化コミュニケーションの基礎概念を理解する
個別目標：①自己の価値観や考え方、コミュニケーションの取り方を理解し、異なる他者の世界を理解することができる
②社会的課題や身近な人間関係を振り返り、異文化コミュニケーションの理論を用いて分析できる

▌履修条件

①授業は毎回受講し、授業の終わりに振り返りシートを提出すること。
②授業中のペアワーク、グループワーク等に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

グループワークの貢献度(20%)、理解度チェッククイズ(20%)、グループプロジェクト課題(40%)、レポート(20 %)
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba、または授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （回によってペアワークおよびグループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループプロジェクト準備に利用。毎回の振り返りシートは、Google form 使用のため、PC もしくは携帯から記入、提出すること。）

▌教科書

特定の教科書はありません。必要資料は授業で配布します。

▌参考書

授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスの内容について説明する。学生同士の自己紹介と異文化コミュニケーションのケーススタディについて話し合う。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーションの定義と特徴について学ぶ。異文化コミュニケーションとは何か知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：文化とは何か** 授業内容：文化の定義と特徴について学び、日本文化の特徴について考える。文化とコミュニケーションの関係について知識を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：自己とアイデンティティ、理解度チェッククイズ①** 授業内容：自己の価値観や物の見方に影響を受けた文化について、ペアワークで振り返る。社会的アイデンティティとは何かを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション①** 授業内容：非言語コミュニケーションとは何か。表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：非言語コミュニケーション②** 授業内容：表情、アイコンタクト、ジェスチャー、空間と対人距離、時間の感覚など、文化によって捉え方にどのような違いがあるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル①　コンテクスト** 授業内容：ハイコンテクスト文化とローコンテクスト文化について知識を深め、コンテクストとコミュニケーションの関係性を理解する。中間課題を提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：コミュニケーション・スタイル②　３つのスタイル** 授業内容：アグレッシブ・パッシブ・アサーティブのコミュニケーション・スタイルの事例を学び、自己のコミュニケーション・スタイルの傾向を分析する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：カルチャーショックと異文化適応、理解度チェックのクイズ②** 授業内容：カルチャーショックとは何か、その特徴と対処法について知識を深める。異文化適応プロセスについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル①** 授業内容：異文化センシティビティモデルについて学ぶ。自文化優越主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：異文化センシティビティモデル②** 授業内容：異文化センシティビティモデルの文化相対主義ステージの特徴について知識を深め、ケーススタディを用いてグループで話し合いを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備①** 授業内容：グループに分かれて、プロジェクトの話しあいと資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備②** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：グループプロジェクトの準備③、プロジェクト提出** 授業内容：異文化コミュニケーション場面で誤解が起きた事例を紹介し、これまで学んだ異文化コミュニケーションの理論を使って分析したことを、パワーポイントを用いてまとめて、授業内に提出する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：グループプロジェクトの振り返りレポート提出、異文化コミュニケーション・スキル(まとめ)** 授業内容：グループプロジェクトの自己評価と他者評価のレポート提出を行う。これまでの学びから、異文化コミュニケーションに必要な能力とは何か、また日常の人間関係において、それをどのように活かせるのかについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語と日本文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

宮崎駿（ジブリ）のアニメーションは、日本の文学と日本文化の背景を学べる宝庫です。アニメーションに引用されている「ダイダラボッチ」「笠地蔵」「猿蟹合戦」などの神話伝説や昔話を、リスニングとリーディングの力を育てることも意識しながら、学んでいきます。また、昔話や神話を読み解くことが、明治時代の日本になぜ民俗学として必要とされたのか、その後の高度経済成長期には、民俗学はどのように消費されていくのか。古来の画像をもとに水木しげるが作り出した妖怪のビジュアルや、神々が零落したものが妖怪だとする柳田國男の理解を通して、日本文化のありようも学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：柳田國男という日本を代表する民俗学者の仕事を、ひとつの日本文化の生成のあり方として捉え、世界各国との交流が日本の伝統文化の再発見につながったことを知る。

個別目標：妖怪とは何か、幽霊との違いを、日本文化のありようとして説明できるようになる。
また、日本の文学・文化を学びつつ、日本の古典や昔話・神話を読むことができるようになる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。

同じ高度経済成長期の日本の文化を扱うので、「日本語と日本文化B（留）」とセットで受講することが望ましい。

▌評価基準・方法

授業内リアクションペーパー 40%と、期末テスト 60%で総合的に評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあればよい。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに（作業のためのガイダンス）** 授業内容：授業のガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の学習計画を立てる。
2回	**授業テーマ：高度経済成長期の妖怪** 授業内容：日本の高度経済成長期の文化を学ぶ、というのがこの授業の目的なので、高度経済成長とは何かの説明、そして、そこに妖怪がどうかかわるのかを学ぶ。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：授業をふまえて、プリントをもう一度読み直す。
3回	**授業テーマ：水木しげると日本の妖怪** 授業内容：日本の妖怪研究の第一人者であり、妖怪というものに、私たちがよくしっているビジュアルを与えたのが、水木しげるなので、DVD をもとに、日本にはどういう妖怪がいるのか学ぶ。自分の国にいる妖怪とくらべながら、学んでもらう。 事前学修 1.0hr：自国の妖怪についてピックアップしてくる。 事後学修 3.0hr：プリントで妖怪のなりたちと時代背景を復習する。
4回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(1)日本の高度経済成長で消えていく妖怪たち** 授業内容：日本の高度経済成長が、このアニメーションにどう反映しているのかを考えながら、高度経済成長で消えかかっている妖怪が、このアニメーションにでてくる意味について考える。 事前学修 1.0hr：妖怪とは何かを考えてくる。 事後学修 3.0hr：妖怪の民俗学的定義を踏まえて、トトロやマックロクロスケを理解する。
5回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(2)柳田國男の『妖怪談義』** 授業内容：柳田國男による妖怪の学術的定義と、アニメーションに描かれている妖怪を比べてみる。柳田が定義したことを、しっかり守って、アニメーションが作られていることがわかる。「妖怪」と「幽霊」の違いは何かについても考える。 事前学修 1.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 3.0hr：「妖怪」と「幽霊」の違いを理解し、柳田民俗学が映画にどう反映されているかまとめる。
6回	**授業テーマ：『となりのトトロ』と昔話(3)「笠地蔵」「猿蟹合戦」と、中尾佐助の照葉樹林文化論** 授業内容：『となりのトトロ』には「笠地蔵」「猿蟹合戦」の２つの昔話が引用されています。私自身の研究ももとにしながら、昔話をまず読んで学び、そのうえで、アニメーションにそれらがどう生かされているのかを考える。 事前学修 1.0hr：自国の昔話を思い出してくる。 事後学修 3.0hr：アジア文化（照葉樹林文化）の中で昔話の話型を理解する。
7回	**授業テーマ：柳田國男と民俗学、授業の中間まとめ** 授業内容：中間まとめ。manaba による理解テスト (練習問題) なども取り入れる。※テスト実施回は授業進度の都合で、ずれることがある。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を復習してくる。 事後学修 2.0hr：文明開化と民俗学の発展について、また、同じ話でも語り手によって異なる「語りの自由領域」について、理解する。
8回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(1)『古事記』** 授業内容：『もののけ姫』のなかに出てくる大和王権と蝦夷の関係について、『古事記』の漫画と現代語訳をプリントで読みながら、学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントで『古事記』の現代語訳を読んでくる。 事後学修 2.0hr：日本の昔話や神話のルーツを理解する。
9回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(2)「花咲爺さん」** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている昔話「花咲爺さん」を読む。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『もののけ姫』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：「花咲爺さん」の話が製鉄民の民話であることを理解する。

10回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(3)ダイダラボッチ** 授業内容：『もののけ姫』のなかで引用されている「ダイダラボッチ」の伝説について、プリントを読み、日本の土地のなりたちと、ダイダラボッチの関係、製鉄をおこなっている土地 (タタラ場) とダイダラボッチの関係について、考える。 事前学修 1.0hr：巨人伝説について調べてくる。 事後学修 3.0hr：日本各地でダイダラボッチの語られ方が違うことを理解する。
11回	**授業テーマ：『もののけ姫』と昔話・神話伝説(4)リスニングとまとめ** 授業内容：『もののけ姫』を民俗学から読み解くまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 1.0hr：リスニングの予習。 事後学修 3.0hr：リスニングの復習。
12回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(1)バブル崩壊** 授業内容：バブル崩壊について、アニメーションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：必要があれば各国語の『千と千尋の神隠し』を予習してくる。 事後学修 2.0hr：物語の背景となるバブル崩壊について理解する。
13回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(2)神々の零落と、日本の神話** 授業内容：テーマパーク建設のために埋め立てられたり、信仰されなくなったことで力を失った神々が、アニメーションにどのように描かれているのか読み解くとともに、日本の神話がどのように反映されているのかも読み解く。また、「妖怪」とは何なのかについて考える。 事前学修 2.0hr：プリントを読んでくる。 事後学修 2.0hr：神が零落して妖怪になっていくこと、日本神話の反映などを理解する。
14回	**授業テーマ：『千と千尋の神隠し』(3)リスニングとまとめ** 授業内容：リスニングとまとめ。※リスニングの実施回は授業進度やコロナの感染状況によって変更することがある。 事前学修 2.0hr：リスニングの予習。 事後学修 2.0hr：リスニングの復習。プリントを整理しておく。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ。 事前学修 3.0hr：試験に備えた学習。 事後学修 1.0hr：試験問題の不明点の復習。

日本語と日本文化Ｂ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生選択科目

川勝　麻里（かわかつ　まり）

▌授業の概要

前期の「日本語と日本文化Ａ」で、高度経済成長期の日本文化を学んだことを生かし、後期は、映画を通して、高度経済成長期の文化を学ぶ。推理小説『点と線』、直木賞受賞作『江分利満氏の優雅な生活』、ＳＦ小説『日本沈没』を通して、〈日本人〉がどのような国民として描かれてきたかにも注目していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：映像も参考にしながら、高度経済成長期の文学や、高度経済成長期に新しく作り出された言葉について学ぶ。それとともに、終戦からオイルショックまでの日本の歴史や文化を知ることができる。

個別目標：日本を研究したり、日本を訪れたりした外国人が見た「日本人らしさ」とは何なのかを考えることができる。

▌履修条件

※当該言語（日本語）を母語とする学生は、履修できません。

「日本語と日本文化Ａ（留）」とセットで受講することが望ましいが、Ａを受講していなくても問題ない。

▌評価基準・方法

授業内の作業 40%とテスト 60%で総合的に評価する。授業内の作業のなかには、リアクションペーパーも含まれる。

5 分の 4 以上の出席を評価の前提とする。

課題等のフィードバックは、教室内での質疑応答の形で行う。

▌フィードバック方法

manaba を使った課題の実施をおこない、その場で講評をおこなう。また、リアクションペーパーに対してのコメントや回答を授業内でフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パソコンはあれば便利だが、スマートフォンがあれば問題ない。）

▌教科書

毎回、プリントを配布する。

▌参考書

授業内で適宜、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：ガイダンス。 事前学修 1.0hr：シラバスをよく読み、授業目的を理解して参加。 事後学修 3.0hr：授業内で示したキーワードをもとに半期の授業計画を立てる。
2回	**授業テーマ：松本清張と芥川賞―『点と線』がブームを呼び起こすまでの軌跡** 授業内容：松本清張についての概説と、高度経済成長期より少し前の日本の文化が、『点と線』にどのようにかかわるのかを説明。 事前学修 1.0hr：新聞のドラマ欄で松本清張を探してみる。 事後学修 3.0hr：プリントで復習。
3回	**授業テーマ：1950 年代(1)松本清張『点と線』(昭和 32 年)―映画と単語ノート** 授業内容：分からない言葉を調べながら一緒にミステリー小説を読む。授業内で答え合わせする。小説に対応する場面の映画を見て、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読み、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：単語ノートの復習。
4回	**授業テーマ：1950 年代(2)『点と線』―映画とクイズ** 授業内容：犯人を推理しながら、manaba の機能を使いながら理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人は誰か推理してくる。 事後学修 2.0hr：東京駅「４分間の空白」のトリックを復習。
5回	**授業テーマ：1950 年代(3)『点と線』―まとめ** 授業内容：『点と線』では、犯人がなぜ犯罪を犯したのかという心理的な動機が描かれる。その動機を理解するとともに、そうした動機を描こうとすることじたいが、当時のミステリーでは新しく、松本清張によって新しい文学が作られたことを文学史的に理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：プリントを読み、犯人がなぜ犯罪をおかしたのか、動機を考えてくる。 事後学修 2.0hr：文学史のなかの清張の役割を復習。
6回	**授業テーマ：団地とマイホームの時代(附：ニュース映像ＤＶＤ)** 授業内容：ニュース映像 DVD を見ながら、高度経済成長期の日本文化を理解できるようにする。サラリーマン人口が増えて専業主婦が誕生すること、光化学スモッグなどの公害が車社会の到来によって始まり、核家族が多数となり、団地が郊外につくられ、海外旅行が自由化され、パンダブームが到来し、万博開催に合わせて新幹線が開通し、電化製品をそろえてマイホームを作ることが理想とされ、特に庭つきの住宅が憧れとなるといった時代背景を理解できるようにする。 事前学修 2.0hr：６０～７０年代日本で普及した電化製品を調べてくる。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の復習(サラリーマンと専業主婦誕生、公害、団地、核家族、交通戦争等)。
7回	**授業テーマ：山口瞳と直木賞―『江分利満氏の優雅な生活』が出来るまで** 授業内容：『江分利満氏の優雅な生活』の概説。エブリマン(everyman)という名前であり、平均的でどこにでもいるような日本人として描かれた主人公を通して、高度経済成長期の日本人の生活を学ぶ。電化製品の普及、サントリーという会社が海外旅行自由化に合わせて広告で発信していた情報や、文化的に果たした意義なども考える。 事前学修 2.0hr：直木賞について調べてくる。 事後学修 2.0hr：主人公(東西電機社員)と山口瞳の実際(サントリー社員)の違いを理解する。
8回	**授業テーマ：1960 年代(1)山口瞳『江分利満氏の優雅な生活』(昭和 37 年)―映画と単語ノート** 授業内容：映画「江分利満氏の優雅な生活」を見て理解を深めながら、サラリーマンと主婦、社宅、核家族として構成された小説のなかの家族像を、読み解いていく。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：サラリーマン＋主婦、社宅、核家族等の同時代的要素を理解する。

9回	**授業テーマ：1960 年代(2)『江分利満氏の優雅な生活』―映画とクイズ** 授業内容：プリントを読み映画で内容を確認。manaba の機能を利用して理解度クイズをおこなう。※クイズの実施回は進度などによって変更することがある。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：公害、交通戦争、団地生活の弊害がどのように描かれているか理解する。
10回	**授業テーマ：1960 年代(3)『江分利満氏の優雅な生活』―『菊と刀』の日本人論** 授業内容：アメリカ人による日本人理解として全世界で有名になった『菊と刀』を読みながら、日本人の平均的サラリーマンであり、なおかつ日本人論の典型的特徴をそなえた人物として江分利が描かれていることを理解する。キリスト教世界では人間の弱さを示す飲酒が日本では人間らしさとして許容されており、勤勉に生きる日本人の努力は、個人ではなく村や社会や国家のためのものであって、期待される人間であろうとするのが日本人だとするなど、『菊と刀』は鵜呑みに出来ない部分もあるが、小説にはそうした日本人論のステレオタイプがそっくり反映されていると思われるので、それを読み解いていくことで、当時の日本人の理想的な生活や憧れが何だったのかを考える。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：江分利満(everyman)が日本人の典型として描かれていることを日本人論から理解する。
11回	**授業テーマ：オイルショックと『日本沈没』** 授業内容：オイルショックについての説明をしたあと、オイルショックと『日本沈没』をめぐる世紀末ブームとの関係を考える。 事前学修 2.0hr：オイルショックについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：オイルショックと『日本沈没』ブームの関係を理解し、７０年代日本をキーワードで記憶する。
12回	**授業テーマ：1970 年代(1)小松左京『日本沈没』―小松左京の紹介** 授業内容：高度経済成長期になぜこの小説が書かれたのか、万国博覧会のテーマ企画との関係や、田中角栄の『日本列島改造論』との関係について説明する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んで、分からない単語をピックアップしてくる。 事後学修 2.0hr：小松左京の仕事の総体を理解する。単語ノートを復習。
13回	**授業テーマ：1970 年代(2)小松左京『日本沈没』―映画と原作** 授業内容：小説公開当時に作られた特撮映画「日本沈没」を DVD で補助として見ながら、『日本沈没』を読む。国土を失った日本人が、外交上、文化上、どのように生きていけるのか、地球人として生きていくために何が必要かを小説から考えるとともに、そうしたテーマが、東京オリンピックや万国博覧会で世界に活躍し始めた日本人の世界的地位に関係があることを読み解いていく。また、国土開発と自然破壊のテーマについても考察する。 事前学修 2.0hr：プリントで小説を読んでくる。 事後学修 2.0hr：『日本列島改造論』(国土開発)、万博の未来学、などのキーワードを理解して復習する。
14回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：50 年代、60 年代、70 年代、と 10 年ごとに授業を進めてきた。そのまとめと試験対策。 事前学修 2.0hr：これまでの授業をキーワードでまとめる復習作業をする。 事後学修 2.0hr：高度経済成長の様子が、授業で取り上げた小説にどのように描かれていたかをまとめておく。
15回	**授業テーマ：テストと振り返り** 授業内容：テストと振り返り。 事前学修 3.0hr：テストに備えた学習。 事後学修 1.0hr：テストの不明点の復習。

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

馬越　洋平（うまこし　ようへい）

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。フランス語については、発音や文法などの基礎的な学習から始めてゆきます。フランス語入門者のための授業です。グループワーク(アクティブラーニング)として、教科書を用いながら学生同士でフランス語の会話の練習なども実施します。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、いくつかのテーマに分けてフランス文化の講義も行います。フランス文化を様々なテーマから取り上げる予定です。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業の参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れていることが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、アルファベ** 授業内容：授業のガイダンスから始める。フランス語のアルファベの読み方を確認する。フランスの地理や、日本語のなかに溶け込んだフランス語を取り上げる。 事前学修 2.0hr：フランスについてイメージしておく 事後学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習
2回	**授業テーマ：母音の発音、子音の発音、リエゾン、アンシェヌマン** 授業内容：フランス語の発音の勉強をする。母音、子音をフランス語の単語を例に確認する。リエゾンやアンシェヌマンと言った発音上の現象を学ぶ。 事前学修 2.0hr：フランス語のアルファベの復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：発音のまとめ、「フランスのカフェ文化」** 授業内容：前回の授業で学んだ発音の規則を復習する。「フランスのカフェ文化」の講義を行う。フランス文化がカフェという場所を中心に育まれていった経緯を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第１課　自己紹介と挨拶、主語人称代名詞と動詞「です」** 授業内容：自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。そのために主語人称代名詞や動詞「～です」などの文法の確認から始める。具体的に会話文で練習する。 事前学修 2.0hr：発音の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第１課　国籍、数字、「フランスの年中行事」** 授業内容：引き続き、自己紹介と挨拶の表現を学ぶ。国籍や数字もフランス語で言えるようにする。「フランスの年中行事」を知ることで、フランス人の一年の営みを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習
6回	**授業テーマ：第２課　はいといいえ、職業・身分の表現、住んでいる場所を言う** 授業内容：フランス語で職業や身分を言えるようにする。はいといいえを用いた応答を学ぶ。「住む」という動詞を確認する。 事前学修 2.0hr：主語人称代名詞、動詞「です」の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「住む」の復習
7回	**授業テーマ：第２課　er 動詞、「フランスの美術」** 授業内容：er 動詞の活用を確認する。前回の授業で学んだ表現を用いて、学生同士で会話の練習をする。「フランスの美術」を、映像で主要美術館をめぐりながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：er 動詞の活用を覚える
8回	**授業テーマ：第３課　否定文、不定冠詞、注文する** 授業内容：名詞の性と数、否定文、不定冠詞などの文法の確認から始める。フランスのカフェで注文するのに必要な表現を学ぶ。学生同士で会話の練習をする。 事前学修 2.0hr：er 動詞の活用の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、否定文、不定冠詞の復習
9回	**授業テーマ：第３課　注文する、「フランスの小説」** 授業内容：注文の表現の練習を引き続き行う。「フランスの小説」の主要作品を紹介する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

10回	**授業テーマ：第４課　動詞「持っている」、否定の de、疑問文** 授業内容：動詞「持っている」の活用を確認する。否定の de を学ぶ。フランス語の疑問文を学ぶ。身の回り品に冠詞をつけてみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、動詞「持っている」の活用を覚える
11回	**授業テーマ：第４課　年齢やメールアドレスを聞く、「フランス映画」** 授業内容：例文を参考に、年齢やメールアドレスを聞けるようにする。フランス映画史をたどりながら、重要な「フランス映画」を紹介する。 事前学修 2.0hr：動詞「持っている」の活用復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
12回	**授業テーマ：第５課　所有形容詞、疑問詞、形容詞の性と数、人物を描写する** 授業内容：「私の」「君の」などの所有形容詞を覚える。「誰」、「どこ」などの疑問詞を学ぶ。形容詞を用いて人物を描写してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：所有形容詞、形容詞の性と数、疑問詞の復習
13回	**授業テーマ：第５課　人物を描写する、国名、「シャンソンを聴くⅠ」** 授業内容：前回の授業で学んだ文法を思い出しながら、人物を問い、人物を描写する練習をする。シャンソンの名曲を、フランス語で歌詞を読みながら聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
14回	**授業テーマ：前期のフランス語の復習、「シャンソンを聴くⅡ」** 授業内容：フランス語の練習問題を解いて、前期に習ったフランス語の復習を行う。授業時間内に答え合わせと解説を行う。フランス語の歌詞を読みながら、シャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

テクストのタイトル『 Ça sonne bien! 』は、音の響きがステキ！ という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒にフランス語の音やフレーズを何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、Alphabet（アルファベ)から。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：課題・小テスト 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

" Ça sonne bien! ", Atsuko Nakamura, 駿河台出版社, 2017.

▌参考書

ドラ・トーザン　『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』　ポプラ社

S. リキエル　『ソニア・リキエルのパリ散歩』　集英社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Alphabet** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語の簡単な挨拶　③アルファベ　La chanson de l'Alphabet 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
2 回	**授業テーマ：発音記号の読み方＆綴り字の読み方** 授業内容：①フランス語母音字の発音記号の読み方＆綴り字の読み方　②発音記号を見ながら正しい発音で　Alphabet を読む 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
3 回	**授業テーマ：C'est un musée.** 授業内容：①名詞の性と数　③不定冠詞と定冠詞　③提示表現 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
4 回	**授業テーマ：Je suis contente.** 授業内容：①動詞 être　②形容詞(国籍、性格、職業、色) 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
5 回	**授業テーマ：Nous n'avons plus de croissants.** 授業内容：①動詞 avoir　②部分冠詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
6 回	**授業テーマ：J'étudie le français.** 授業内容：① -er 動詞　②疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
7 回	**授業テーマ：Je finis mon travail à 18 heures.** 授業内容：① -ir 動詞　②指示形容詞　③所有形容詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
8 回	**授業テーマ：Bilan 1 自己紹介をしよう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
9 回	**授業テーマ：Qu'est-ce qu'il fait dans la vie ?** 授業内容：①疑問代名詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
10 回	**授業テーマ：Où est-ce que vous passez vos vacances?** 授業内容：①動詞 aller,partir ②前置詞と定冠詞の縮約　③近接未来　④疑問副詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題

11回	**授業テーマ：Je viens d'acheter une chemise rose.** 授業内容：①動詞 venir ②前置詞と前置詞の縮約　③近接過去　④指示代名詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
12回	**授業テーマ：Je vous vois dimanche.** 授業内容：①動詞 voir, descendre　②直接目的語・強勢形の人称代名詞　③命令法 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
13回	**授業テーマ：Dis-lui bonjour de ma part.** 授業内容：①動詞 écrire,dire　②間接目的語の人称代名詞　③非人称構文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
14回	**授業テーマ：Bilan 2　道を尋ねる** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
15回	**授業テーマ：Ça sonne bien !** 授業内容：総復習 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：総復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

馬越　洋平（うまこし　ようへい）

▌授業の概要

フランス語やフランス文化を学ぶ授業になります。前期に引き続き、文法を中心にフランス語の基礎を学んでゆきます。フランス語は入門レベルの授業です。グループワーク(アクティブ・ラーニング)として、教科書を用いて学生同士でフランス語の会話の練習なども行います。比較級など前期の授業よりもより発展した内容になります。この授業を受けることで、フランスを旅行するのに十分な語学力を身に着けることができるでしょう。また、様々なテーマから、フランス文化の講義も行います。半期で一区切りとなります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：・発音、文法などの初歩的なフランス語を身につけて、平易な表現を使えるようにする。
　　・文化、歴史、生活などの面から、フランスという国の特色を理解する。異文化への理解を育む。
個別目標：・フランス語の仕組みを理解し、あいさつ、自己紹介、尋ねる、注文など、簡単な日常会話ができる。
　　・フランスという国の特徴を、文化、歴史、生活などの面から理解し、説明できる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生、及びそれと同等の語学力(フランス語)を有する学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(６０%)、授業参加度(２０%)、課題提出(２０%)。これらを総合的に判断して成績が決まります。原則として５分の４以上の出席を前提条件とします。

▌フィードバック方法

授業や manaba を通して伝える。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

カフェ・フランセ<新装版>、ニコラ・ガイヤール (著), 加藤豊子 (著), 中川高行 (著), フロランス・容子・シュードル (著), 柳嶋周 (著)、朝日出版社、(初版２０１６年)

▌参考書

必須ではないが、フランス語の辞書を手に入れておくことが望ましい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、前期の内容の復習** 授業内容：授業についてのガイダンスを行う。教科書とプリントを用いて、前期に習ったフランス語の文法のおさらいをする。 事前学修 2.0hr：発音、動詞の活用などの復習 事後学修 2.0hr：確認した文法の復習
2回	**授業テーマ：第６課　これは何ですか？　物の位置を言う** 授業内容：定冠詞や場所を表す語句を学んで、物の位置を表せるようにする。「これは何ですか」というフレーズを使って会話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：「これは何ですか？」などの確認した表現の復習
3回	**授業テーマ：第６課　定冠詞、場所を表す語句、「フランスのことわざと名言」** 授業内容：前回に引き続き、場所の表現を応用して会話の練習を行う。場所の表現と定冠詞に親しむ。フランスの「ことわざ」と「名言」を取り上げて考察する。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
4回	**授業テーマ：第７課　好みを言う、形容詞の位置、～があります** 授業内容：「～が好きです」という表現を学ぶ。好きなこと、その程度も言えるようにする。「～があります」などの重要表現も学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習、確認した表現を覚える
5回	**授業テーマ：第７課　様々な好みを言う、「パリについて」** 授業内容：フランス語で好みを聞き、好みを言ってみる。文化講義として「パリ」について歴史や文化などの観点から学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：好みの表現や形容詞の位置について復習
6回	**授業テーマ：第８課　天気の表現、比較級、非人称構文** 授業内容：フランス語の天気を表す表現を学ぶ。非人称構文、比較級などの文法知識も習得する。学生同士で、フランス語で天気や洋服について話してみる。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
7回	**授業テーマ：第８課　色と洋服、「フランスの地方について」** 授業内容：洋服や色に関する表現に親しむ。実際に人・物を比較級で比べてみる。「フランス地方」の魅力を様々な都市を取り上げて学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：比較級の復習
8回	**授業テーマ：第９課　部分冠詞、中性代名詞、動詞「取る」と「する」** 授業内容：部分冠詞や中性代名詞を学ぶ。頻出動詞「取る」と「する」の活用を覚える。それらを会話文のなかで実際に使ってみる。 事前学修 2.0hr：比較級の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習
9回	**授業テーマ：第９課　～をします、朝食をとる、「フランスの世界遺産」** 授業内容：「朝食に～をとる」などをフランス語で言えるようにする。パリから地方まで「フランスの世界遺産」を映像などを用いて学ぶ。 事前学修 2.0hr：動詞「取る」、「する」の活用の復習 事後学修 2.0hr：朝食をとるなどの確認した表現の復習
10回	**授業テーマ：第１０課 ～に行く、中性代名詞 y** 授業内容：動詞「行く」を学ぶ。他の頻出動詞も学ぶ。動詞「行く」や中性代名詞 y を使って会話する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した会話の練習

11回	**授業テーマ：第１０課　乗り物、曜日や場所、招待する、「ワインについて」** 授業内容：乗り物を使った表現や、曜日、場所を組み合わせて文を作ってみる。フランス語で招待できるようにする。フランス文化における「ワイン」の重要性を講義する。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：動詞「行く」など確認した表現の復習
12回	**授業テーマ：第１１課　日常生活と時間の表現、代名動詞** 授業内容：フランス語の時間の表現について学ぶ。代名動詞を使えるようにする。日常生活を語るための表現を覚える。 事前学修 2.0hr：動詞「行く」などの確認した表現の復習 事後学修 2.0hr：時間・代名動詞などの確認した表現の復習
13回	**授業テーマ：第１１課　時間の言い方、代名動詞、「シャンソンを聴くⅢ」** 授業内容：前回覚えた時間の表現や代名動詞などを用いて、一日を描写してみる。「シャンソンを聴くⅢ」では前期と同様で、歌詞を確認しながらシャンソンの名曲を聴く。 事前学修 2.0hr：前回の文法の復習 事後学修 2.0hr：時間の表現、代名動詞の復習
14回	**授業テーマ：後期のフランス語の復習、「シャンソンを聴くⅣ」** 授業内容：後期のフランス語の内容をおさらいするために練習問題を解く。授業時間内に答え合わせと解説を行う。「シャンソンを聴くⅣ」では、フランス文化を学びながらシャンソンを聴く。 事前学修 2.0hr：前回の会話の復習 事後学修 2.0hr：確認した問題の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期の授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：前回確認した問題の復習 事後学修 2.0hr：全体の復習

フランス語とフランス文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

西村　美穂（にしむら　みほ）

▌授業の概要

フランス語とフランス文化Ａで使用したテクスト『 Ça sonne bien! 』を引き続き勉強します。この題名は、音の響きがステキ！ という意味です。フランス語会話、シャンソン(歌)、ポエム(詩)、映画などを鑑賞しながら、フランス語の音をたくさん聞き、みんなで一緒に、フランス語の音やフレーズを何度も声に出し、友達と協力しながら、使えるフランス語を身につけていきましょう。まずは、フランス文化Ａで学習したフランス語の読みから。

フランス語と英語の似ているところと違うところを考えながら、フランスの文化、そしてフランス語圏の文化についても理解を深めていきましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フランス語圏の人に、フランス語で簡単な自己紹介ができるようにする。

個別目標：①フランス語の母音を理解し、フランス語圏の人に理解してもらえる発音を目指す。
②綴り字の規則を覚え、フランス語が読めるようにする。
③友達と協力しながら、使えるフランス語を覚える。
④フランスやフランス語圏の文化に触れてみる。

▌履修条件

フランス語を母語とする学生は履修不可。

▌評価基準・方法

評価基準・方法：課題・小テスト 40 %、評価テスト 60 %

評価テスト：最終回 15 回目に行う。詳しくは授業中に指示する。

▌フィードバック方法

授業内、または学修支援システム manaba を使用。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

" Ça sonne bien! ", Atsuko Nakamura, 駿河台出版社, 2017.

▌参考書

ドラ・トーザン　『パリジェンヌのパリ 20 区散歩』　ポプラ社

S. リキエル　『ソニア・リキエルのパリ散歩』　集英社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：復習１** 授業内容：①ガイダンス　②フランス語母音字の発音記号の読み方＆綴り字の読み方　③アルファベ　④数字 1-20 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
2 回	**授業テーマ：復習２** 授業内容：①時刻、数詞 20-60 ②６文型 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
3 回	**授業テーマ：復習３** 授業内容：①月、曜日、数詞 70-100　③疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
4 回	**授業テーマ：復習４** 授業内容：①名詞　②冠詞　③形容詞　③疑問文 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
5 回	**授業テーマ：Dépêche-toi!** 授業内容：①題名動詞 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
6 回	**授業テーマ：Ma mère m'a téléphné.** 授業内容：①直接法複合過去 1　② puvoir, devoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
7 回	**授業テーマ：Nous sommes montés à la tour Eiffel.** 授業内容：①直接法複合過去 2　② croire, lire 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
8 回	**授業テーマ：Des citrons, j'en prends deux.** 授業内容：① 中性代名詞 ② vouloir, savoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
9 回	**授業テーマ：Quelle est la meilleure saison ?** 授業内容：①比較級　②最上級　③ connaitre, courir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
10 回	**授業テーマ：Bilan 1 日記を書こう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題

11回	**授業テーマ：L'été, j'allais à la mer.** 授業内容：①直接法半過去　②直接法大過去 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
12回	**授業テーマ：Quelle est la région que tu aimes le plus ?** 授業内容：①関係代名詞 ② offrir, recevoir 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
13回	**授業テーマ：Tu viendras avec nous.** 授業内容：①直接法単純未来　②受動態 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
14回	**授業テーマ：Bilan 2　グリーティングカード(誕生日カード、クリスマスカード、年賀状)を書こう！** 授業内容：Écouter et Parler 事前学修 2.0hr：アンケート 事後学修 2.0hr：課題
15回	**授業テーマ：Ça sonne bien !** 授業内容：総復習 事前学修 2.0hr：学習内容総復習 事後学修 2.0hr：課題

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

ドイツと聞いて初めに何を想像しますか？ まずは誰もがビールにソーセージ、自動車産業にサッカーなどを連想するでしょう。そして第二次世界大戦や冷戦期の東西ドイツの分断なども思い出すことでしょう。しかしそれだけではありません。日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツの歴史、社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。前期の授業では歴史を中心に学ぶ予定ですが、授業テーマは随時変更することがあります。各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換をする機会を定期的に作ります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、海外の状況と比較することが有効です。外国の制度とそれに至るまでの歴史的過程を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、日本の制度の特色や問題点に気づくことができます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. ドイツの歴史を中心に、社会制度や文化など、様々な特徴や問題について考え、日本との違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業中の課題（授業中の発言・意見交換、小テスト等）：30 %
期末試験：70%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム等）で課題提出を行う。成績に影響するため、メールの通知設定も含めて必ず事前準備しておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて意見交換やディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて課題等で使用する）

▌教科書

伊藤直子 /吉村暁子 /小野寺賢一『ひらめき、発見、ドイツ語文法 (Sei aktiv!)』朝日出版社
授業時間の約半分はドイツ語学習です。ドイツ語の文法説明と練習問題で毎週使用するため、必ず持参すること。
その他、担当者が作成したレジュメやパワーポイントなどの追加資料を併用して授業を進める。

▌参考書

特になし。必要に応じて参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：数ある外国の中でなぜドイツに興味を持ったのかを考える。ドイツの制度や文化について、何をどう学んでいきたいかを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	**授業テーマ：ドイツの宗教と祭り** 授業内容：ドイツのキリスト教文化と代表的な祭り（カーニバル、イースター、クリスマスマーケット）について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：ドイツの生活文化と価値観** 授業内容：ドイツにおける生活文化の違いや価値観について、動画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：歴史①ドイツの成り立ち（前編）** 授業内容：18 世紀頃までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：歴史②ドイツの成り立ち（後編）** 授業内容：19〜20 世紀初頭までのドイツの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：歴史③第二次世界大戦前〜戦後ドイツ** 授業内容：第二次世界大戦が始まるまで、そして戦後ドイツの状況を概観する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：EU とドイツ** 授業内容：EU ができるまでの歴史的発展を概説する。EU 組織の基礎知識と制度やシステムについて説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ドイツの移民について** 授業内容：ドイツの移民に関する歴史や政策、現在の課題について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ドイツとトルコ系移民(前編)** 授業内容：本テーマにまつわる映画を視聴して、ドイツにおけるトルコ系移民について知見を深める。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：ドイツとトルコ系移民(後編)** 授業内容：本テーマにまつわる映画を視聴して、ドイツにおけるトルコ系移民について知見を深める。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：ドイツの政治** 授業内容：ドイツの政治、選挙システム、政党について概説する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー①憲法の母たち** 授業内容：ドイツの歴史をジェンダー視点から振り返る。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツとジェンダー②選択的夫婦別姓と専業主婦** 授業内容：ドイツが選択的夫婦別姓制度を取り入れた経緯を概説する。また、専業主婦に対する考え方が日本と異なることを説明する。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツの観光** 授業内容：ドイツにおける有名な観光地・グルメについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習と今後の展望について説明する。この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、発音をしっかり身につけ、やさしい日常会話に必要な文法を習得してもらい、初歩的な日常会話を練習します。
文化については、履修者は文化的なトピックについて特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。主体的に課題に取り組み、自分にとって未知の問題でも、積極的に取り組もうという気持ちをもった学生に履修してほしい。

▌評価基準・方法

授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基づき、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。
尚、課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社　ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：アルファベット、発音(母音、子音)** 授業内容：ドイツ語ではどれだけの文字を使うのかを説明します(英語で使用する文字に、さらに 4 文字余計に使用します)。 それらの文字が、語のなかでどのように発音されるかが、発音の問題です。初回の授業では、発音について、説明・練習をします。 事前学修 2.0hr：シラバスをもう一度確認し、テキストの発音部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：ドイツ語の文字の確認と、母音や子音の発音の復習。
2 回	**授業テーマ：発音(母音, 子音)、動詞の現在人称変化** 授業内容：発音の説明・練習の続きです。発音を終らせます。動詞、動詞の現在人称変化を導入します。 ドイツ語では、主語の人称(1 人称単数(「私は」)・2 人称単数(「君は」)……)に応じて、動詞が変化するという現象があります。それを人称変化と言います。 事前学修 2.0hr：テキストの今回の発音の部分を眺めておく。 事後学修 2.0hr：英語と比較しての、ドイツ語の動詞の確認する。
3 回	**授業テーマ：定動詞の位置、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：規則動詞の現在人称変化を練習し、文中の動詞の位置に注意すること。口調上注意すべき動詞の現在人称を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：口調上注意すべき動詞の現在人称変化や文中の動詞の位置の部分の復習しておく。
4 回	**授業テーマ：sein (である) の現在人称変化、動詞の現在人称変化の練習** 授業内容：sein 動詞の不規則現在人称変化の練習・規則現在人称変化復習です。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの動詞の現在人称変化の部分を予習しておく。 事後学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の復習しておく。
5 回	**授業テーマ：名詞の性** 授業内容：名詞の性、男性名詞、女性名詞、中性名詞の特徴を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：テキストの第 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：男性名詞、女性名詞、中性名詞の復習しておく。
6 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化(1)** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 1,4 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは歴史です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 1,4 の復習しておく。
7 回	**授業テーマ：名詞の性、冠詞の格変化 (2)** 授業内容：名詞の性、冠詞の格変化の 2,3 格を導入すること。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：冠詞の格変化の 2,3 の復習しておく。

8回	**授業テーマ：不規則動詞 sein を復習、haben の導入** 授業内容：ドイツ語で圧倒的に使われる”sein”と、2 番目によく使われる”haben”という動詞の現在人称変化、および、発音の都合上、規則的な現在人称変化と若干変化が異なる動詞を扱います。 「ドイツ文化」のテーマは旧東西ドイツです。 事前学修 2.0hr：テキストの 2 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞 sein や haben の現在人称変化の復習しておく。
9回	**授業テーマ：複数形** 授業内容：複数形の形が紹介されています。どのような語尾がありますか。 「ドイツ文化」のテーマはベルリンの壁崩壊です。 事前学修 2.0hr：複数形を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の復習しておく。
10回	**授業テーマ：複数形の格変化** 授業内容：複数形の格変化の導入 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (1) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：複数形の格変化の復習しておく。
11回	**授業テーマ：男性弱変化名詞** 授業内容：複数形の使い方と特殊な形を紹介します。。 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (2) です。 事前学修 2.0hr：3 課の文法事項を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：教科書の第 1、第 2、第 3 課の復習** 授業内容：動詞の現在人称変化、名詞の 1,2,3,4 格 「ドイツ文化」のテーマは連邦州 (3) です。 事前学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を予習しておく。 事後学修 2.0hr：テキストで第 1、第 2、第 3 課を復習しておく。
13回	**授業テーマ：定冠詞の格変化の復習** 授業内容：定冠詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：不定冠詞の格変化の復習** 授業内容：不定冠詞のの練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：不定冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第 1 課から第 3 課までの繰り返し** 授業内容：前期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：これまでにやったことを確実に身につけておく。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

日本では明治時代以降、ドイツの様々な文化や社会制度を手本として取り入れて来ました。この授業では、ドイツ社会や文化、法律、そしてドイツ語の基礎を学ぶことを通じて、同時に私たちが住んでいる日本という国についての理解も深めていきます。履修者には各テーマについて積極的に考えてもらうため、授業中の発言や意見交換をする機会を定期的に作ります。なお、この科目は、前期「ドイツ語とドイツ文化 A」の後半部分です。歴史にまつわるテーマが中心だった前期に比べて、後期はドイツの社会制度や文化に関する割合が多くなっています。※授業内容は随時変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会システムや問題点について理解するためには、外国の状況と比較することが有効です。外国の制度を知ることで、日本とは異なった視点があることを知ることができ、さらに日本の制度・文化の特色・問題点に気づくこともできます。日本の価値観や考え方だけにとらわれず、多面的でバランスのとれた見方ができるようになることがこの授業の到達目標です。また、ドイツ語の基礎知識を織り交ぜることで、新たな言語に対する理解を深めます。

個別目標：1. 日本とドイツの社会制度や文化・考え方など、様々な特徴や問題点を指摘し、相互を比較して違いを説明できるようになる。
2. ドイツ語という言語の基礎知識を知って知的視野を広げる。

▌履修条件

ドイツという国およびドイツ語への興味関心、日本と異なる文化や考え方を学ぶ探求心、そして主体的に課題に取り組める方をお待ちしています。
※当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
※ドイツ語の文法は前期からの継続となります。後期から履修される方は事前に教科書の前半を読んで、ある程度キャッチアップしておいて下さい。

▌評価基準・方法

授業中の課題（授業中の発言・意見交換、小テスト等）：30 %
期末試験：70%
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム等）で課題提出を行う。成績に影響するため、メールの通知設定も含めて必ず事前準備しておくこと

▌フィードバック方法

質問がある場合、授業後に担当者に直接聞いて下さい。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて意見交換やディスカッションを行う）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて課題等で使用する）

▌教科書

伊藤直子 /吉村暁子 /小野寺賢一『ひらめき、発見、ドイツ語文法 (Sei aktiv!)』朝日出版社
授業時間の約半分はドイツ語学習です。ドイツ語の文法説明と練習問題で毎週使用するため、必ず持参すること。
その他、担当者が作成したレジュメやパワーポイントなどの追加資料を併用して授業を進める。

▌参考書

特になし。必要に応じて参考書を履修者に提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに：ドイツについて** 授業内容：前期の授業を振り返りながら、ドイツという国とその制度や文化について、どのように知識を深めていきたいかを改めて考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
2 回	**授業テーマ：ドイツの教育制度** 授業内容：ドイツの教育システムを学びながら、日本の教育システムとの違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：ドイツの大学制度** 授業内容：ドイツの大学制度を学びながら、日本の大学制度との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：旧東ドイツ①社会状況と日常生活** 授業内容：旧東ドイツ（DDR）時代の人々の日常生活について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：旧東ドイツ②オスタルギーとは（前編）** 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について、映画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：旧東ドイツ③オスタルギーとは（後編）** 授業内容：東西ドイツ再統一とその後の旧東ドイツの状況について、映画を視聴しながら学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：ドイツの職業訓練と仕事観** 授業内容：ドイツ人の職業に対する意識と仕事観について学びながら、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ドイツの産業と企業** 授業内容：ドイツを代表する企業やドイツの産業について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ドイツと貧困** 授業内容：ドイツにおける人々の経済事情や貧困について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：ドイツ人の働き方** 授業内容：ドイツ国内の仕事事情について学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：ドイツの税金と社会保険** 授業内容：ドイツの税金制度や社会保険システムを学び、日本との違いを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう①各地域の特色** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、選ぶべき地域の特色について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう②食文化や生活習慣** 授業内容：ドイツ留学を検討する際に考えるべき、ドイツ人の食文化や生活習慣について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：ドイツに留学しよう③外国人として生活する** 授業内容：ドイツ留学を検討する際、自身が外国人として生活することについて考えてみる。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ：総復習** 授業内容：全体の復習を行う。この授業を通じて何を学んだか、そしてこれから何をどう学んでいくかを考える。 事前学修 2.0hr：事前に提示する課題について検討し、自分の考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

ドイツ語とドイツ文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

リースナー　フランク　ペーター

▌授業の概要

ドイツ語については、『ドイツ語とドイツ文化 A』に引き続き、やさしい日常会話に慣れ親しんでもらうことを目指します。
文化については、履修者は文化的なトピックについての特別な課題に取り組み、先生からフィードバックを受けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本の社会の仕組みやそこに生起する問題について深く理解するための 1 つの方法は、外国の状況と比較することである。外国の制度や問題解決を参照することにより、日本におけるのとは異なった方法があることを知ることができる。また、外国の状況を知ることによりはじめて、日本の制度や文化のもつ際立った特色や問題点について気づくこともできる。こうした比較のためにドイツはきわめて適している。履修者がこうした、多面的でバランスのとれた見方ができるようになるための一助とすることを授業の到達目標としたい。

個別目標：日本とドイツのそれぞれの社会制度や文化、言語について、それぞれの特色や問題点を指摘し、相互に比較しながらそれぞれの利害得失について説明できるようになること、である。この授業を通して履修者が、ドイツ語という言語と、その言語が使われているドイツ社会に大いに関心をもち、知的視野を広げてくれることを願っている。
「ドイツ語検定 5 級」に合格できる。

▌履修条件

当該言語（ドイツ語）を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません。
尚、ドイツ語に関しては、『ドイツ語とドイツ文化 A』のレベルの内容（具体的には、ドイツ語の発音、現在人称変化、名詞の性・格の知識）を前提とすることを、承知しておいてください。

▌評価基準・方法

・授業への参加度（授業への参加姿勢＋課題の提出の有無・出来具合）50 %、期末試験 50 %の結果に基き、総合的に評価します。期末試験の具体的内容については、試験の 1,2 週間前に、説明します。

▌フィードバック方法

課題および定期試験のフィードバックは、授業中行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （必要に応じて、プレゼンテーションを課したり、ディベートを行ってもらう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

森公正・Frank Riesner『ドイツ語の泉』、同学社 ISBN 978-4-8102-0977-8

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ドイツとドイツ語の基本情報** 授業内容：ドイツ語については、「ドイツ語とドイツ文化 A」で勉強した内容の復習 事前学修 2.0hr：これまでに学習したことを予習しておく。 事後学修 2.0hr：初回の授業の内容を復習しておく。
2 回	**授業テーマ：動詞の現在人称変化(不規則)** 授業内容：不規則動詞の現在人称変化の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (1) です。 事前学修 2.0hr：動詞の現在人称変化の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：不規則動詞の現在人称変化の復習をしておく。
3 回	**授業テーマ：命令形** 授業内容：命令形の導入。 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (2) です。 事前学修 2.0hr：命令形の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
4 回	**授業テーマ：nicht の位置** 授業内容：否定文の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (3) です。 事前学修 2.0hr：否定文の予習をしておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
5 回	**授業テーマ：定冠詞類** 授業内容：定冠詞類の導入 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (4) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
6 回	**授業テーマ：不定冠詞類** 授業内容：不定冠詞類んの導入、所有代名詞の使い方 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (5) です。 事前学修 2.0hr：不冠詞の格変化を予習しておく。(１格、２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
7 回	**授業テーマ：人称代名詞　１格、３格、４格** 授業内容：人称代名詞の導入、定冠詞類や不定冠詞類の練習 「ドイツ文化」のテーマは政治体制 (6) です。 事前学修 2.0hr：テキストの第５課を予習しておく。(２９ページ) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

8回	**授業テーマ：文法的否定形 nicht , kein** 授業内容：nicht, kein の使い分け 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (1) です。 事前学修 2.0hr：nicht, kein を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
9回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞** 授業内容：２、３，４格支配の前置詞の導入。 「ドイツ文化」のテーマは 法制度 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。(２格、３格、４格) 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
10回	**授業テーマ：２、３，４格支配の前置詞の復習** 授業内容：３格、４格、スイッチ型前置詞のを復習しておく。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (1) です。 事前学修 2.0hr：３格、４格の前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
11回	**授業テーマ：前置詞の融合形** 授業内容：前置詞と冠詞の組み合わせ方 「ドイツ文化」のテーマは経済 (2) です。 事前学修 2.0hr：冠詞の格変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
12回	**授業テーマ：縦続接続詞と副文** 授業内容：主文と副文の特徴の説明、副文の構造の導入。 「ドイツ文化」のテーマは経済 (３) です。 事前学修 2.0hr：動詞の位置を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
13回	**授業テーマ：第 4 の復習** 授業内容：第 4 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (1) です。 事前学修 2.0hr：命令形と動詞の現在人称不規則変化を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
14回	**授業テーマ：第 5、第 6 の復習** 授業内容：第 5、第 6 の復習 「ドイツ文化」のテーマは教育 (2) です。 事前学修 2.0hr：前置詞と冠詞類を予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。
15回	**授業テーマ：第課 4 から第 6 課までの繰り返し** 授業内容：後期にやったことのまとめ 事前学修 2.0hr：これまでにやったことを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業で完了した課題をさらに数回繰り返しておく。

スペイン語とスペイン文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：スペイン語のアルファベット** 授業内容：授業の進め方について　2と3ページスペイン語のアルファベット、発音について 事前学修 2.0hr：2と3ページを読む 事後学修 2.0hr：スペイン語のアルファベット、発音について
2回	**授業テーマ：スペイン語の国際言葉** 授業内容：ユニットすでに知っているスペイン語の言葉4－7ページ. Preliminar: Tú ya sabes cosas 事前学修 2.0hr：4－7ページを読む 事後学修 2.0hr：固有名詞、教室で役に立つ表現、数字(0－10)
3回	**授業テーマ：スポーツ I** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　8－10ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：8－10ページを読む 事後学修 2.0hr：名詞の性、名詞の数、定冠詞、主語代名詞を勉強する
4回	**授業テーマ：スポーツ　II** 授業内容：ユニット1スポーツとわたし　11-13ページ　Unidad 1: Los deportes y yo 事前学修 2.0hr：11-13ページを読む 事後学修 2.0hr：「ser」動詞の現在形、疑問文、否定文を勉強する
5回	**授業テーマ：食べ物と料理　I** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし14-16ページ 事前学修 2.0hr：14-16ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(名詞、定冠詞、主語)を勉強する
6回	**授業テーマ：食べ物と料理　II** 授業内容：ユニット2食べ物とわたし17-19ページ.　Unidad 2: Las comidas y yo 事前学修 2.0hr：17-19ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「ser」動詞、疑問文、否定文)を勉強する
7回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット1、2の中の小テストトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット1と2を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストトレーニングの振り返りをする
8回	**授業テーマ：旅行 I** 授業内容：ユニット旅行とわたし20-22ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：20-22ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(数字) を勉強する
9回	**授業テーマ：旅行 II** 授業内容：ユニット旅行とわたし23-25ページ. Unidad 3: Los viajes y yo 事前学修 2.0hr：23-25ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(職業、国籍) を勉強する

10回	**授業テーマ：音楽 I** 授業内容：ユニット音楽とわたし２６- ２８ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２６-２８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(不定冠詞、品質形容詞)を勉強する
11回	**授業テーマ：音楽 II** 授業内容：ユニット音楽とわたし２９- ３１ページ. Unidad 4: La música y yo 事前学修 2.0hr：２９-３１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(所有詞前置形)を勉強する
12回	**授業テーマ：趣味と仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３２- ３３ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３２-３３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「tener」動詞、疑問詞)を勉強する
13回	**授業テーマ：仕事** 授業内容：ユニット趣味対仕事３４-３５ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３４-３５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(指示の形容詞と代名詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：趣味** 授業内容：ユニット趣味対仕事３６-３７ページ. Unidad 5: Aficiones vs. trabajo 事前学修 2.0hr：３６-３７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(「estar」動詞、「haber」動詞)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット３、４と５の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット３、４と５を勉強トレーニングする 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する

スペイン語とスペイン文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ゴンサレス　ガブリエル

▌授業の概要

スペイン語は、使用人口が世界で 3 番目に多く、20 を超える国々で話されています。
本講座の中心目標は、スペイン語の基本を習得することです。それを通じて、スペイン語文化圏の理解にも努めます。
スペイン語圏を紹介するビデオも数回見ます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：スペイン語の基本を身に付けること。
　　スペイン語で最低限の会話のやり取りができるようになること。
個別目標：スペインとスペイン語圏の国の文化や習慣など理解できること。
　　スペイン語圏、スペイン語圏のビジネス界を理解する。

▌履修条件

1 年次からの開講科目。
スペイン語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

授業への参加度と宿題: 20%
学期中の小テスト: 20%
期末試験又は小テスト: 60%

▌フィードバック方法

Manaba の個別指導。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で積極的な参加）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Manaba）

▌教科書

スペイン語とわたし
－日本とスペイン語圏、くらべてコミュニケーション！ －
El español y yo. スペイン語教材研究会編者、2025 年 (改訂版)、朝日出版社

▌参考書

「本気で学ぶスペイン語」菅原昭江著、2011 年、同学社
「スペイン語ワークブック」小川雅美編著、2007 年、同学社
「先生と学ぶスペイン語」山下好孝、森淳子共著、2009 年、同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業の進め方について 事前学修 2.0hr：前期の復習 事後学修 2.0hr：前期の復習を勉強する
2 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント I** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし３８-４０ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：３８-４０ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(GUSTAR 動詞)を勉強す
3 回	**授業テーマ：ショーとエンターテイメント II** 授業内容：ユニット６ユニット映画　演劇等とわたし４１-４３ページ Unidad 6: Los espectáculos y yo 事前学修 2.0hr：４１-４３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(GUSTAR と同じように用いられる動詞、比較表現 II)を勉強する
4 回	**授業テーマ：伝統 I** 授業内容：ユニット７色々な習慣４４-４５ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４４-４５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(語幹母音変化動詞)を勉強する
5 回	**授業テーマ：伝統 II** 授業内容：ユニット７色々な習慣４６-４７ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４６-４７ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(再帰動詞)を勉強する
6 回	**授業テーマ：伝統 III** 授業内容：ユニット７色々な習慣４８- ４９ページ Unidad 7: Costumbres diferentes 事前学修 2.0hr：４８-４９ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(居間、天候表現)を勉強する
7 回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：ユニット６と７の中の小テスト 事前学修 2.0hr：ユニット６と７を小テストトレーニングする 事後学修 2.0hr：小テストの振り返りをする
8 回	**授業テーマ：買い物に行く I** 授業内容：ユニット８買い物に行く５０-５１ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５０-５１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(食べ物と飲み物)を勉強する
9 回	**授業テーマ：買い物に行く II** 授業内容：ユニット８買い物に行く５２-５３ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５２-５３ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(レシピ)を勉強する

10回	**授業テーマ：買い物に行く III** 授業内容：ユニット８買い物に行く５４-５５ページ Unidad 8: Ir de compras 事前学修 2.0hr：５４-５５ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(衣服とアクセサリー、品質形容詞、色)を勉強する
11回	**授業テーマ：家族と友達 I** 授業内容：ユニット９家族と友人５６-５８ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５６-５８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(体の部分の名称)を勉強する
12回	**授業テーマ：家族と友達 II** 授業内容：ユニット９家族と友人５９-６１ページ Unidad 9: Familia y amigos 事前学修 2.0hr：５９-６１ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(状態、体調・感情表現)を勉強する
13回	**授業テーマ：祭り I** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６２-６４ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６２-６４ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(日常生活を表す動詞)を勉強する
14回	**授業テーマ：祭り II** 授業内容：ユニット１０行事　お祭り等とわたし６５-６８ページ Unidad 10: Las fiestas y yo 事前学修 2.0hr：６５-６８ページを読む 事後学修 2.0hr：授業で習った内容(曜日、頻度を表す副詞表現)を勉強する
15回	**授業テーマ：レビュー** 授業内容：まとめ　ユニット８、９と１０の試験のトレーニング 事前学修 2.0hr：ユニット８、９と１０を勉強する 事後学修 2.0hr：後期の復習を勉強する

韓国語と韓国文化 A

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

全　イジョング（じょん　いじょんぐ）

▌授業の概要

韓国の言葉と文化に対する理解を深め、音声や文字、語彙、表現、文構造などについて、日本語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読み書きに慣れ親しみ、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる基礎的な技能を身につけていく授業です。また、ハングルキーボード使用法の習熟なども行われます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：(1) 自然なイントネーションや正確な発音を身につける。
(2) 綴り字と発音の違いについて習得し、単語やフレーズを正しく発音できる。
(3) 積極的なコミュニケーション能力の素地を養う。
(4) ハングルキーボード使用法の習熟を図り、ハングルワードの作成やネット検索ができる。

個別目標：(1) 正しく発音できて、音声を聴き正しく書き取れる。
(2) 発話練習を繰り返し、簡単な挨拶、自己紹介ができる。
(3) パソコンを使った検索やハングルワードの作成ができる。

▌履修条件

・韓国語や朝鮮語を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修できない。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・教科書は必ず購入すること。
・履修者の抽選を行うので第 1 回目の授業に出席しないと履修ができない。

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊学期末テストの再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題をはじめ「小テスト」、授業後の質疑応答などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

ジョン・イジョング著 『一人でできる韓国語発音トレーニング』(ask 出版)

▌参考書

適宜資料を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション、「ハングルとは何か」** 授業内容：ハングルができる前の朝鮮半島の文字生活に身て、それからハングルの制字原理や制字思想など、ハングル誕生に関わるいくつかの事柄について触れて行く。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業の概要を理解する。 事後学修 2.0hr：配布された資料を読み直し「確認問題」に取り組む。講義動画を閲覧する。
2 回	**授業テーマ：「短母音、半母音Ⅰ」** 授業内容：短母音 8 つと半母音 (ヤ系) 6つの習得する (書き方、発音方法などをしっかり覚える)。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しハングル母音について学修する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：「半母音Ⅱ、二重母音、基本子音字」/小テスト** 授業内容：半母音 (ワ系) 6つと二重母音 1 つの書き方、発音方法を覚え、発音の練習を行う。また、14 個の基本子音字の書き方、発音方法などを覚え、母音と組み合わせて読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：「二重子音字、ハングル字母表の読み練習」** 授業内容：基本子音字と二重子音字の音の違いを理解し発音練習に取り組む。ハングル字母表をつくり、読みの練習をする。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：「パッチム、聞き取り小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムの仕組み、読み方などの説明。パッチムのついた単語の聞き分け、言い分けの練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧しバッチムについて予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：「バッチムの読み練習、ハングルキーボード使用法」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。パッチムがついた単語を読む練習。書き取りテスト実施。ハングルキーボード使用法を習熟に取り組む。ワード入力練習やハングルでネット検索を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧する。読みながら書く練習をする。 事後学修 2.0hr：バッチムを繰り返し音読する。ワードの打ち方を習熟させる。
7 回	**授業テーマ：「読み書き練習、仮名のハングル表記/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。単語を聴き正確に書き取る練習を繰り返し行う。日本語の仮名をハングル表記法を覚え、人名や地名を使い書き方の練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を声に出して数回読み予習する。 事後学修 2.0hr：声の上がり下がりの調子や息の出し方に注意し発話練習をする。

8回	**授業テーマ：「発音のルール」(連音化、弱音化)/小テスト」** 授業内容：綴りと発音について把握し発音のルールを覚える。歌の歌詞を使い、連音化と弱音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：「発音のルール」(濃音化、激音化、流音化)/小テスト」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、濃音化、激音化、流音化を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：「発音のルール」(鼻音化、口蓋音化 、添加)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。歌の歌詞、簡単な語彙を使い、鼻音化、口蓋音化 、添加を身につける。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：「韓国語の文法の仕組み、品詞について」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。日本語と韓国語の文章を比較しながら共通点と違いを把握する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
12回	**授業テーマ：「日常の挨拶の言葉」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。簡単な挨拶言葉の発音をチェックし、発話の練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：音声教材を聴き何度も音読する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：「体言の叙述」** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。体言の叙述表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、「確認問題」に取り組む。
14回	**授業テーマ：「体言の否定形、自己紹介発表/小テスト」** 授業内容：フィードバックを行う。体言の否定形表現について習得する。作文に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読む。講義動画を閲覧し予習する。自己紹介文を作成しておく。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ、各自発表 (品物や人物、場所などを紹介する)** 授業内容：前回の課題と動画のフィードバックを行う。学習してきた内容をおさらいする。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：試験に備えてまとめをする。 事後学修 2.0hr：学習した内容を読み直し、課題に取り組む。

韓国語と韓国文化 B

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

全 イジョング（じょん いじょんぐ）

▌授業の概要

TOPIK2 級レベルのの実用的な表現やよりネイティブに近い言い回しを覚え、韓国語で発信するための準備運動(作文作り、内容をコンパクトにまとめる) をし、話すステップへ移行していきます。誰かに説明する時に求められる語彙力や要約力を高め、上手に話せる力をしっかり磨きます。また、K-POP や韓国ドラマ等にも触れ、自然で伝わりやすい表現方法を丁寧に説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：基礎文法を固めながら語彙力や要約力を高め、読解力を養うとともにプレゼンテーションに役立つ能力を身に付ける。

個別目標：・文章を読む上で必要な読解力を高めていく。
・文章の要点を掴んで簡潔にまとめる力を養う。
・韓国語の TOPIK2-３級の合格を目指す。

▌履修条件

・「韓国語と韓国文化 A」を履修ずみであることが望ましい。(履修済みでない場合は担当教員へご相談ください)。
・授業は毎回必ず受講し、内容をしっかり理解すること。
・グループワークを行うことが多いので遅刻や欠席をしないこと。
・履修者の抽選を行いますので必ず第１回目の授業にご出席ください。

▌評価基準・方法

・学期末試験 (40%)、授業時の小テスト及び「振り返りシート」(30%)、課題・学習態度 (30%) によって総合的に評価する。
・5 分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
・課題などのフィードバックは学修支援システム manaba を通して行う。
＊再試験は行わない。

▌フィードバック方法

課題のフィドバックをはじめ「レポート提出」、「小テスト」、「授業後の質疑応答」などは大学の学修支援システム (manaba) を利用し行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ワードソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

テキストは学修支援システム manaba に掲載する。

▌参考書

Never 検索辞書
ジョンイジョング著『一人でできる韓国語トレーニング』(ask 出版)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：用言の叙述表現** 授業内容：用言の叙述表現につて学習する。作文づくりあり。発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義概要を理解する。講義動画を閲覧する。 事後学修 2.0hr：講義動画を閲覧し学習した内容を復習し、課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：不規則用言について/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。不規則用言活用をする用例を確認し、作文づくりに取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：指示詞と疑問詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。指示詞と疑問詞を学習する。グループ別に発表する。 事前学修 2.0hr：疑問詞と指示詞の講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習したものを復習し、課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：動詞・形容詞の否定形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。用言の否定形について学習する。文章作りに取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：漢数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。漢数字を学習しテキストの「練習問題」に取り組む。会話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：存在詞/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。存在詞の言い回しをまとめる。日本語の文章を韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：固有数字/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。固有数字について学習。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：過去形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。過去形を学習した後、テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：文の接続 (状態・動作の羅列)** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。文の接続表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：仮定・条件表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。仮定・条件表現叙述表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：許可・不許可表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。許可・不許可表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：勧誘形表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。勧誘表現について学習する。テキストの「練習問題」に取り組む。発話練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：連体形/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。連体形について学習する。連体形を使った文章作りをし発話練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：可能・不可能表現/小テスト** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。可能・不可能表現について学習する。日本語の文章から韓国語に替えて話す練習を行う。 事前学修 2.0hr：講義動画を閲覧し、理解できなかったところをチエックしメモしてくる。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習し、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：基本文法のまとめ。振り返りシート完成** 授業内容：課題や講義動画のフィードバックを行う。前期の授業で学習された内容を確認し、「振り返りシート」を完成する。 事前学修 2.0hr：基礎文法のまとめ、振り返りシートを作成する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を復習する。

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

于　明明 (う　めいめい)

▌授業の概要

初心者を対象に、中国語を学ぶ楽しさを知り、文化として中国語を学ぶ意味を主眼に置きながら、初級中国語を習得する。具体的に、発音の表記記号ピンインから始まり、初級文法(入門編)を系統的に学び、簡単な会話を習得していく。また、中国の生活、社会、歴史など文化的な要素に触れ、中国語を学ぶ意味を深めていく。中国語学習をメインとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国語の発音については、仕組みの特徴を理解し、読み書きできる。中国語の文字については、日本語漢字との違いを区別することができ、書けるようになる。独力で基礎的な中国語を学習していく能力を身につける。中国の文化については、中国の生活、社会などに関することを概略的に言える。

個別目標：初級文法を学習し、簡単な会話で使えるようになる。
日常挨拶、買い物、レストランでの注文、道尋ね、家族構成の紹介、旅行や留学など日常生活についての表現ができる。

▌履修条件

初学者を対象とする。
当該言語 (中国語) を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

▌評価基準・方法

①試験 60 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。
②受講状況 40 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。
原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba 実施

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （対話練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書：『しゃべっていいとも中国語 トータル版』
著者：陳淑梅 劉光赤
朝日出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：「中国語」の仕組みと発音の慣らし** 授業内容：授業の進め方、予習の方法、評価方法などについて説明する。今後中国語学習していく上での目標を定めましょう。 「中国語」の仕組みと発音記号ピンインの構造についての説明及び数字の発音の慣らし。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、授業概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日学習した内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：声調、単母音、複母音、声調記号のつけ方の学習。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：子音 (1)、子音 (2) の学習。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
4 回	**授業テーマ：「発音編」第 1 課～第 4 課、基本挨拶の学習** 授業内容：鼻母音 (-n,-ng を伴う母音)、軽声、声調変化、声調の組み合わせ。日常の挨拶の学習。 事前学修 2.0hr：中国語を学ぶ意味について考え、テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：「発音編」第 1 課～第 4 課の内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：第 5 課　〈迎接〉 出迎える** 授業内容：姓の言い方、名前(フルネーム)の言い方の学習。人称代名詞、名前の尋ね方の学習。 事前学修 2.0hr：ピンイン、数字と基本の挨拶の暗唱、テキストの予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 5 課 初対面挨拶の仕方の確認。 第 5 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6 回	**授業テーマ：第 6 課　〈歓迎会〉 歓迎パーティー** 授業内容：①動詞「是 shì」、助詞「的 de」、疑問詞の学習。②肯定文、否定文、疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第 5 課 人称代名詞の復習、第 6 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 6 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 6 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
7 回	**授業テーマ：第 7 課　〈打的〉 タクシーに乗る** 授業内容：基本語順(S+V+O)と二つ以上の動詞からなる文―連動文の学習。 事前学修 2.0hr：第 5 課～第 6 課の内容の復習、第 7 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 7 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 7 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
8 回	**授業テーマ：第 8 課　〈住宿〉 宿泊する** 授業内容：①希望や願望を表す助動詞「想 xi ǎ ng」の学習。②所有と存在を表す動詞、指示代名詞の学習。指示代名詞の導入。 事前学修 2.0hr：第 7 課の内容の復習、第 8 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 8 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 8 課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルでチェックインする時の言い方を覚える。
9 回	**授業テーマ：第 9 課　〈問路〉 道を尋ねる** 授業内容：所在を表す動詞、方位詞、前置詞の学習。動詞「在 zài」、方向位置を表すことば―方位詞、前置詞「从 cóng」、「往 w ǎ ng」など。 事前学修 2.0hr：第 8 課の内容の復習、第 9 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 9 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 9 課の単語を覚え、会話文を熟読し、道の尋ね方を確認すること。

10回	**授業テーマ：第 10 課　〈買東西〉 ショッピングをする** 授業内容：①数の言い方、中国語のお金の言い方、値段の尋ね方の学習。②形容詞、副詞、形容詞述語文の学習。 事前学修 2.0hr：第 9 課の内容の復習、第 10 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 10 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 10 課の単語を覚え、会話文を熟読し、買い物の場面の会話確認。
11回	**授業テーマ：第 11 課　〈聊天儿〉 おしゃべりをする** 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方、年齢の尋ね方の学習。 事前学修 2.0hr：第 10 課の内容の復習、第 11 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 11 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 11 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
12回	**授業テーマ：第 12 課　〈点菜〉 料理を注文する** 授業内容：①量詞、動詞の重ね型の学習。②料理の名前、注文の仕方の学習。 事前学修 2.0hr：第 11 課の内容の復習、第 12 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 12 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 12 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13回	**授業テーマ：第 13 課　〈買足球票〉 サッカーのチケットを買う** 授業内容：時間の長さの言い方、動作行為の完了を表す助詞「了 le」の学習。 事前学修 2.0hr：第 12 課の内容の復習、第 13 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 13 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 13 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
14回	**授業テーマ：第 1 課～第 13 課を復習** 授業内容：①前期授業内容を復習。②これまでの内容を復習し、既出の単語（意味とピンイン、簡体字）、文法などを覚える。また、日本語から中国語訳ができるようにする。 事前学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：総括及び学習到達度確認、今学期学んだ事を中心として確認テストなどを行う。 事前学修 2.0hr：第 1 課～第 13 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特になし

中国語と中国文化 A

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

初学者を対象に中国語「普通話」の基礎を学ぶ科目である。中国および中国語の概要に始まり、発音、文法、表現などについて、講義および演習を通じて理解を促す。さらに中国文化についても紹介する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国の現状を知るとともに、中国語で簡単な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について知る。
2. ピンインを読むことができる。
3. 基本文型を用いて表現できる。

▌履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国語ポイント 55』本間史・孟広学著、白水社

▌参考書

授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国と中国語の概要** 授業内容：中国がどのような国であり、中国語がどのような言語であるか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2回	**授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字** 授業内容：普通話がどのようなものであるか説明し、普通話と不可分のピンインや簡体字を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3回	**授業テーマ：文の構造** 授業内容：中国語の文を構成するには主語、述語、目的語などを適切な語順で配列する必要があることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4回	**授業テーマ：人称代名詞、是** 授業内容：一人称、二人称、三人称、単数、複数などの人称代名詞を紹介し、動詞「是」を用いた文の構成方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5回	**授業テーマ：疑問文、名前** 授業内容：疑問文の作り方、および氏名の名乗り方を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6回	**授業テーマ：動詞述語文、指示代名詞** 授業内容：近称や遠照の指示代名詞を紹介し、それらを用いて動詞述語文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7回	**授業テーマ：疑問詞、的** 授業内容：疑問詞を用いた疑問文のつくり方、および「的」を用いた定語の用法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文、有** 授業内容：形容詞述語文のつくり方、および動詞「有」の用法について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9回	**授業テーマ：反復疑問文、也、都** 授業内容：反復疑問文を紹介するとともに、状語として副詞を用いる方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10回	**授業テーマ：場所代名詞、在** 授業内容：場所を指示する代名詞を紹介し、さらに動詞「在」を用いて文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11回	**授業テーマ：動詞の重ね型、省略疑問文** 授業内容：動詞の重ね型について説明し、さらに語気助詞を用いた省略疑問文を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12回	**授業テーマ：数詞、量詞** 授業内容：数の発音を練習し、1 個のりんご、3 冊の本などをどう表現するか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：幾と多少、語気助詞** 授業内容：疑問詞を用いて数量を尋ねる方法を紹介し、さらに語気助詞について詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：存在、連動文** 授業内容：動詞「有」を用いて存在を表現する方法を説明し、さらに連動文という型を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：月日、時刻** 授業内容：月日、曜日、時刻などの表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

于　明明（う　めいめい）

▌授業の概要

後期の授業では、前期で学んだ発音や基本的な文法をさらに発展させ、簡単な日常会話に必要な表現や語彙を習得していく。前期で学んだピンインに基づく発音をさらに磨き、音の変化や声調の使い分けを実践的に学び、発音力を高めることを目指す。初級文法(ステップアップ編)をしっかりと学習し、基本的な文の構造や表現を理解し、簡単な会話で使えるようになる。また、簡単な日常会話で使うフレーズを繰り返し練習する。中国の習慣、社会、歴史的背景を学ぶことで、言語が持つ意味や背景を理解し、中国語を使う楽しさと重要性を実感する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：後期の授業では、中国語の発音と基本文法をマスターして、発音、会話、文法、文化の理解を深めることを目標にしている。中国語の発音に関して、前期で学んだピンインや声調の理解を深め、正確に発音できるようになる。中国語の文字について、日本語漢字との違いをより詳細に理解し、実際に書けるようになる。

個別目標：学生は日常的なシチュエーションで使われるフレーズや表現を習得し、簡単な会話をスムーズにこなせるようになる。
中国語検定試験 4 級に合格できるレベルの文法、語彙、会話スキルを習得する。

▌履修条件

初学者を対象とする。
当該言語 (中国語) を母語とする学生及びそれと同等に堪能な学生は履修不可。

▌評価基準・方法

①試験 60 %：学習到達度を測定するため、授業内で小テストを実施する。テストの成績によって、以降の授業の進み方を見直し、改善していくことができる。
②受講状況 40 %：授業内容によって、課題提出や口頭発表等のこともある。また、しっかり出席することも重要。
原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

manaba 実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （対話練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書：『しゃべっていいとも中国語　トータル版』
著者：陳淑梅　劉光赤
朝日出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、第 14 課の予習** 授業内容：前期の内容を復習する。前期の皆さんの中国語学習の状況について確認する。後期の授業の進め方、予習の方法、評価方法などについて説明する。第 14 課を予習する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、後期授業概要を理解する。第 14 課の内容を復習する。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：学習した内容の復習。
2回	**授業テーマ：第 14 課　〈做足底按摩〉 足裏マッサージ** 授業内容：①時間の長さの言い方の学習。②動作行為の完了を表す助詞「了 le」の学習。 事前学修 2.0hr：第 13 課の内容の復習、第 14 課の予習。テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 14 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 14 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
3回	**授業テーマ：第 15 課　〈在前台〉 フロントで** 授業内容：前置詞「給 g ě i」、助動詞「可以 k ě yǐ 」、「能 néng」の学習。 事前学修 2.0hr：第 14 課の内容の復習、第 15 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 15 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 15 課の単語を覚え、会話文を熟読し、ホテルフロントでの様々な頼みことができるかの確認。
4回	**授業テーマ：第 16 課　〈打電話〉 電話をかける** 授業内容：動詞の現在進行形、助動詞「会 huì」の学習。 事前学修 2.0hr：第 15 課の内容の復習、第 16 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 16 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 16 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
5回	**授業テーマ：第 17 課　〈打工〉 アルバイトする** 授業内容：前置詞「在 zài」 、二重目的語をとる動詞の学習。 事前学修 2.0hr：第 16 課の内容の復習、第 17 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 17 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 17 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
6回	**授業テーマ：第 18 課　〈在飯店〉 レストランで** 授業内容：経験を表す助詞「過 guo」、選択疑問文の学習。 事前学修 2.0hr：第 17 課の内容の復習、第 18 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 18 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 18 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
7回	**授業テーマ：第 19 課　〈去唱卡拉 OK〉 カラオケに行く** 授業内容：助動詞「得 d ě i」、「一～就 y ī ～jiù」構文の学習。 事前学修 2.0hr：第 18 課の内容の復習、第 19 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 19 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 19 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
8回	**授業テーマ：第 20 課　〈你唱得真好〉 あなたは歌がうまい** 授業内容：結果補語、様態補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 19 課の内容の復習、第 20 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 20 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 20 課の単語を覚え、会話文を熟読する。

9回	**授業テーマ：第 21 課　〈全家福〉 家族写真** 授業内容：「是～的 shì～de」構文、比較表現―前置詞「比 b ǐ 」の学習。 事前学修 2.0hr：第 20 課の内容の復習、第 21 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 21 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 21 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
10回	**授業テーマ：第 22 課　〈買襯衫〉 シャツを買う** 授業内容：方向補語①単純方向補語、「有点儿 y ǒ udi ǎ nr」と「一点儿 yìdi ǎ nr」の学習。 事前学修 2.0hr：第 21 課の内容の復習、第 22 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 22 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 22 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
11回	**授業テーマ：第 23 課　〈生日晚会〉 誕生パーティー** 授業内容：「把 b ǎ 」構文の学習、方向補語(2)複合方向補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 22 課の内容の復習、第 23 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 23 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 23 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
12回	**授業テーマ：第 24 課　〈看 DVD〉 DVD を見る** 授業内容：程度補語、可能補語の学習。 事前学修 2.0hr：第 23 課の内容の復習、第 24 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 24 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 24 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
13回	**授業テーマ：第 25 課　〈看病〉 診察を受ける** 授業内容：主述述語文、受け身表現の学習。 事前学修 2.0hr：第 24 課の内容の復習、第 25 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 25 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 25 課の単語を覚え、会話文を熟読する。
14回	**授業テーマ：第 26 課　〈回国之前〉 帰国前** 授業内容：「就要～了 jiùyào～le」、使役日表現の学習。 事前学修 2.0hr：第 25 課の内容の復習、第 26 課の予習。 テキストの音源を聞きながら、発音の練習をする。 事後学修 2.0hr：第 26 課の「文法要点」について理解できているかの確認。 第 26 課の単語を覚え、会話文を熟読する。 第 13 課～第 26 課の内容の復習。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：総括及び学習到達度確認、今学期学んだ事を中心として確認テストなどを行う。 事前学修 2.0hr：第 13 課～第 26 課の内容の復習。 事後学修 2.0hr：特に無し

中国語と中国文化 B

開講学科等：日英経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

前学期に引き続き、中国語「普通話」の基礎を学ぶための授業である。発音について復習した後に、より進んだ内容の講義と演習を行い、中国語の基礎を確かなものにする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：中国の現状を広く理解するとともに、中国語で様々な文章を理解し、聴き取り、話し、読み、書くことができる。

個別目標：1. 中国と中国文化について広く知る。
2. 定語、状語、補語を加えた文を理解することができる。
3. 基本文型を応用して表現できる。

▌履修条件

中国語を母語とする学生は履修できない。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国語ポイント 55』本間史・孟広学著、白水社

▌参考書

授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：中国語と中国文化** 授業内容：中国とはどのような国か、中国語とはどのような言語か、中国文化圏がどのように広がっているか説明する。 事前学修 2.0hr：中国について文献等の資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、さらに自ら資料を精読して理解を深める。
2 回	**授業テーマ：普通話、ピンイン、簡体字** 授業内容：普通話において用いられる簡体字とピンインについて説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
3 回	**授業テーマ：文の構造** 授業内容：主語、述語、目的語、状語などを用いて中国語の文を構成する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
4 回	**授業テーマ：要、想、在、従** 授業内容：助動詞を用いて願望を表現する方法を紹介し、さらに前置詞を状語として用いることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
5 回	**授業テーマ：完了** 授業内容：助詞「了」について、語気助詞としての用法と動態助詞としての用法を紹介し、完了の概念を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
6 回	**授業テーマ：能、会、可以** 授業内容：助動詞を用いて可能を表現する方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
7 回	**授業テーマ：経験、動量詞** 授業内容：動態助詞を用いて経験を表現する方法、および動量詞を補語として用いる方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
8 回	**授業テーマ：給、対、正在** 授業内容：前置詞「給」「対」の用法と、副詞を用いて進行を表現する方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
9 回	**授業テーマ：着、要、快** 授業内容：動態助詞を用いて持続を表現する方法と、近未来の表現方法を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
10 回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：結果補語の用法と語義について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
11 回	**授業テーマ：様態補語、還是** 授業内容：様態補語の用法を説明し、さらに選択疑問文の構成方法を詳説する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

12回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：方向補語の用法と語義を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
13回	**授業テーマ：把、比** 授業内容：前置詞「把」「比」を紹介し、それらが状語として用いられることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
14回	**授業テーマ：可能補語、二重目的語** 授業内容：可能補語の用法と、例外的な二重目的語について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。
15回	**授業テーマ：是と的** 授業内容：強調構文を構成し、動作の時間、場所、方法を強調する方法を紹介する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み、音声教材を聴いて予習する。 事後学修 2.0hr：教科書の当該部分を読み直し、音声教材を併用して復習する。

英語文化研究 A

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

英語圏と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるのはアメリカとイギリスだと思います。しかし他にもたくさんの国々があります。例えばカナダやオーストラリア、ニュージーランドはもちろん、アイルランド、インド、シンガポール、フィリピンなども英語圏です。この授業では、英語圏の様々な国々の社会や文化を学び、異文化の知見を深めます。また、英語圏の国々の社会や文化を知ることで、日本の社会や文化について考える姿勢も養います。
同時に英語力の向上にも力を入れます。教科書は全て英語で書かれているため、英文や問題集を通して読解力や語彙の強化に取り組みます。グループワークや会話練習では話す力を、トピックに関連した英語の動画を視聴して聴く力を養います。授業前は、教科書の指定箇所の内容を事前学習していることが求められます。
なお、こちらはオーリングリッシュの授業ではありません。しかし履修人数や履修者の英語レベルに応じて、短い発表練習を行ったり、ごく簡単な英語を授業中に取り入れて、日常会話を英語で受け答えする練習も行います。会話練習はあくまで声出しが目的なので、成績には一切影響しません。イングリッシュカフェのような、英会話道場のような感覚ですので、単語の羅列だったり日本語が混じっていても全然 OK です。発音も一切考慮しなくて良いです。片言でも間違っていても通じれば良いので安心してください。完全な文章で話す必要はありません。英語をチャンク（ひとかたまりのブロック）として気軽に発言できるようになることを目標に楽しく学びましょう。
※この授業は、前期は「英語文化研究 A」で後期は「英語文化研究 B」となります。1 年間を通して継続的に学ぶことが可能な科目です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：1. 英語圏の国々の文化・社会を知ることで、他国について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
2. 長めの英文を読んだり、自分の考えを書いたりすることで、読解力と語彙力を強化する。
3. 会話練習を行うことで、英会話に対する瞬発力、表現力を高める。
4. 英語で配信された動画を視聴することでトピックに関する視野を広げ、リスニング力を向上させる。

個別目標：1. 教科書で紹介されたトピックについて、内容を一通り理解して説明できる。
2. 教科書で紹介されたトピックについて、自分の考えを述べることができる。
3. 英語圏の国々の社会や文化を知り、日本の状況と比較できる。
4. 英語のチャンク（ひとかたまりのブロック）を用いて簡単な日常会話ができる。

▌履修条件

1. 英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません
2. 教科書を購入して毎回持参すること（常に授業で使うため、教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません）
3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと（内容を知っている前提で授業が進みます）
4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席＆期末試験だけで単位取得はできません

▌評価基準・方法

授業への積極的参加（授業中の発言・意見交換、グループワーク、小テスト、授業外の課題提出等）：60 %
期末試験：40%（期末試験を受けないと単位の認定はできません）
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム）等で課題提出を行う。成績に影響するため、必ず事前準備しておくこと
※履修人数によって評価割合に変更が生じる可能性がある。変更がある場合は授業中に速やかに周知する。

▌フィードバック方法

授業時間内は口頭でフィードバックする。授業時間外は manaba または Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （会話練習や教科書のトピックについてグループワークや意見交換をする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon（ルーム等）または Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストなどに取り組む）

▌教科書

著者：Jesse Elam/Dawn Grimes-MacLellan/JA Kusaka/Dax Thomas
書名：Intercultural Pathways to the English-speaking World（グローバル・マインドでひろがる異文化の世界）
出版社：松柏社
※常に授業で使用するため、必ず購入して持参してください

▌参考書

英和/和英辞書（紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構いません）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：この授業の概要を説明する。なぜこの授業に興味を持ったのかを共有する。英語圏の国々の社会や文化について、何をどう学んでいきたいかを考える。毎回の授業の流れや評価方法、出席登録や respon 等のシステム操作方法など重要なことを説明するため、可能な限り出席すること。※この日に教科書の紹介も行います 事前学修 2.0hr：シラバスを確認して、書店で教科書を手に取って試し読みする。履修が確定している場合は必ず購入しておくこと。 事後学修 2.0hr：教科書を購入したら目次を読んで、各チャプターがどのような内容であるか確認しておく。
2 回	**授業テーマ：Chapter 1: Introduction (1)** 授業内容：教科書の使い方の説明、および各チャプターの内容を紹介する。教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
3 回	**授業テーマ：Chapter 1: Introduction (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4 回	**授業テーマ：Chapter 2: The UK (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

5回	**授業テーマ：Chapter 2: The UK (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 3: Ireland (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
7回	**授業テーマ：Chapter 3: Ireland (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 6: New Zealand (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 6: New Zealand (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 7: Australia (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 7: Australia (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：Chapter 9: Singapore (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：Chapter 9: Singapore (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：前期の総復習** 授業内容：これまでの授業の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認して、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：前期の授業全体を復習して試験に備える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：前期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

英語文化研究 B

開講学科等：日中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

英語圏と聞いて、皆さんがまず思い浮かべるのはアメリカとイギリスだと思います。しかし他にもたくさんの国々があります。例えばカナダやオーストラリア、ニュージーランドはもちろん、アイルランド、インド、シンガポール、フィリピンなども英語圏です。この授業では、英語圏の様々な国々の社会や文化を学び、異文化の知見を深めます。また、英語圏の国々の社会や文化を知ることで、日本の社会や文化について考える姿勢も養います。
同時に英語力の向上にも力を入れます。教科書は全て英語で書かれているため、英文や問題集を通して読解力や語彙の強化に取り組みます。グループワークや会話練習では話す力を、トピックに関連した英語の動画を視聴して聴く力を養います。授業前は、教科書の指定箇所の内容を事前学習していることが求められます。
なお、こちらはオーリングリッシュの授業ではありません。しかし履修人数や履修者の英語レベルに応じて、短い発表練習を行ったり、ごく簡単な英語を授業中に取り入れて、日常会話を英語で受け答えする練習も行います。会話練習はあくまで声出しが目的なので、成績には一切影響しません。イングリッシュカフェのような、英会話道場のような感覚ですので、単語の羅列だったり日本語が混じっていても全然 OK です。発音も一切考慮しなくて良いです。片言でも間違っていても通じれば良いので安心してください。完全な文章で話す必要はありません。英語をチャンク（ひとかたまりのブロック）として気軽に発言できるようになることを目標に楽しく学びましょう。
※この授業は、前期は「英語文化研究 A」で後期は「英語文化研究 B」となります。1 年間を通して継続的に学ぶことが可能な科目です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：1. 英語圏の国々の文化・社会を知ることで、他国について自ら興味を持って学んでいく姿勢を身につける。
2. 長めの英文を読んだり、自分の考えを書いたりすることで、読解力と語彙力を強化する。
3. 会話練習を行うことで、英会話に対する瞬発力、表現力を高める。
4. 英語で配信された動画を視聴することでトピックに関する視野を広げ、リスニング力を向上させる。

個別目標：1. 教科書で紹介されたトピックについて、内容を一通り理解して説明できる。
2. 教科書で紹介されたトピックについて、自分の考えを述べることができる。
3. 英語圏の国々の社会や文化を知り、日本の状況と比較できる。
4. 英語のチャンク（ひとかたまりのブロック）を用いて簡単な日常会話ができる。

▌履修条件

1. 英語を母語とする学生及び母語同等に堪能な学生は履修できません
2. 教科書を購入して毎回持参すること（常に授業で使うため、教科書を購入しない場合は単位の取得は出来ません）
3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと（内容を知っている前提で授業が進みます）
4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席＆期末試験だけで単位取得はできません

▌評価基準・方法

授業への積極的参加（授業中の発言・意見交換、グループワーク、小テスト、授業外の課題提出等）：60 %
期末試験：40%（期末試験を受けないと単位の認定はできません）
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上（15 回授業の場合は 12 回以上）出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ（ルーム）等で課題提出を行う。成績に影響するため、必ず事前準備しておくこと
※履修人数によって評価割合に変更が生じる可能性がある。変更がある場合は授業中に速やかに周知する。

▌フィードバック方法

授業時間内は口頭でフィードバックする。授業時間外は manaba または Google Classroom を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （会話練習や教科書のトピックについてグループワークや意見交換をする）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon（ルーム等）または Google Classroom を用いて授業時間内で課題・小テストなどに取り組む）

▌教科書

著者：Jesse Elam/Dawn Grimes-MacLellan/JA Kusaka/Dax Thomas
書名：Intercultural Pathways to the English-speaking World（グローバル・マインドでひろがる異文化の世界）
出版社：松柏社
※前期/後期で共通です。常に授業で使用するので、後期からの新規履修生は必ず購入して持参して下さい

▌参考書

英和/和英辞書（紙の辞書・電子辞書共に可。大学入学までに使用してきたもので構いません）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：はじめに** 授業内容：新規履修生に向けて、この授業の概要を改めて説明する。なぜこの授業に興味を持ったのかを共有して、英語圏の国々の社会や文化について何をどう学んでいきたいかを考える。毎回の授業の流れや評価方法、出席登録や respon 等のシステム操作方法など重要なことを説明するため、可能な限り出席すること。※新規履修生がいない場合は前期の復習を行う。 事前学修 2.0hr：新規履修生は、書店で教科書を手に取って試し読みする。履修が確定している場合は必ず購入しておくこと。 事後学修 2.0hr：新規履修生は、教科書を購入したら目次を読んでおく。継続履修生は、前期で学んだことを振り返っておくこと。
2 回	**授業テーマ：Chapter 8: World Englishes (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
3 回	**授業テーマ：Chapter 8: World Englishes (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4 回	**授業テーマ：Chapter 10: India (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。

5回	**授業テーマ：Chapter 10: India (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Chapter 11: The Philippines (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
7回	**授業テーマ：Chapter 11: The Philippines (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Chapter 13: The USA (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Chapter 13: The USA (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Chapter 14: Canada (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Chapter 14: Canada (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：Chapter 15: The Commonwealth (1)** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたりアクティビティを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識をまとめておく。
13回	**授業テーマ：Chapter 15: The Commonwealth (2)** 授業内容：前回に引き続き、教科書の問題に答えたりグループワークやディスカッションをしながらトピックについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、練習問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：後期の総復習** 授業内容：これまでの授業の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返って疑問点を確認して、試験の準備をする。 事後学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

国際理解ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

小川　正純（おがわ　まさずみ）

▌授業の概要

世界で起きている戦争、差別、難民問題は、決して「遠い世界の話」ではありません。このゼミでは、世界で起きている出来事を、事実や背景から読み解く力を身につけます。話し合いを通して、「世界と自分とのつながり」を自分の言葉で考えていきます。人種や民族、多様性、多文化共生、難民問題、宗教が世界情勢に及ぼす影響などについて学び、国際問題を「感情」ではなく「背景」から考えられるようになります。グループワーク、プレゼンテーションを通じて、異なる価値観を持つ人と話すことへの抵抗が少なくなります。正解を覚えるのではなく、考え、話し合いながら理解を深めていくゼミです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：世界情勢や宗教、人種問題などの多様性と多文化共生などについて理解し、世界を正しく読み解く知識・スキルを身につける。

個別目標：1. 世界の情勢とその背景、多様性や多文化共生、宗教が世界に及ぼす影響などについて自分の言葉で話せる。

2. 国際問題を遠い話ではなく、自分とつながる話として捉えることができる。

グループワークで他者と協力して課題に取り組み、気づきを得るとともに、自分の考えを説明できる。最終プレゼンテーションでは、社会課題を整理し、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。

▌履修条件

1．世界情勢や宗教、人種問題などの多様性と多文化共生など異文化、人種・性などの多様性などに関心を持ち、学ぶ意欲があること。
2．グループワークや発表に、積極的に挑戦する意欲があること。
3．専門知識や経験は不要であり、初めて学ぶ学生も歓迎する。

▌評価基準・方法

グループワーク、プレゼンテーションへの関与度合い 45 %、毎回のレポート 45 %、授業における参加姿勢 10 %を基に総合的に評価する。考えようとする姿勢を重視し、グループ内での役割分担や協力姿勢も評価する。原則として５分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業時間内での総評及び manaba の個別指導（コレクション）などでフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （ただしプレゼンテーション資料の作成及び発表は PC の利用が好ましい。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、国際理解とは何か、経済と人間の尊厳** 授業内容：講義の目的、授業、グループワーク、プレゼンテーションの進め方、到達目標、評価方法とともに、資源・経済の価値と、人間の尊厳・未来の価値を対比して考えるグループディスカッションを行い、考えを言語化する。 事前学修 2.0hr：開発途上国の状況について関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
2回	**授業テーマ：日本を取り巻く世界情勢** 授業内容：日本を取り巻く領土問題、日米同盟、日本の外交の取り組みなどについて解説した後、グループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：日本を取り巻く世界情勢などについてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
3回	**授業テーマ：世界を正しく読み解く** 授業内容：クイズとグループワークにより、先入観や思い込みでなく、事実やデータに基づき正しく世界を読み解く視点を身につける。授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：世界情勢についての関連情報を見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
4回	**授業テーマ：世界情勢①　アメリカ、ヨーロッパの動向** 授業内容：アメリカ、ヨーロッパの動向、ウクライナ情勢について解説した後、国際情勢は、同じ出来事でも立場によって見え方が大きく異なることについて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：欧米の状況についてのニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
5回	**授業テーマ：世界情勢②　アジアの動向** 授業内容：中国を軸にしたアジア情勢と台湾、朝鮮半島、インドが、なぜ重要な場所になっているのかについて解説した後、国際問題を善悪や感情ではなく、国家の立場から考えて意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：アジアの情勢について関連のニュースを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
6回	**授業テーマ：グローバルサウスの動向** 授業内容：グローバルサウスは、世界に大きな影響力を持つ存在で、国際秩序を左右する主体であることを解説した後、国際問題を国の立場と利害から考えられる視点について意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：グローバルサウスについて関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
7回	**授業テーマ：多文化共生について** 授業内容：多文化共生とは何か、なぜ差別が起きるのか、その背景にある不安や制度の問題について解説した後、私たちはどう向き合うべきかについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：多文化共生の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
8回	**授業テーマ：ダイバーシティ(多様性)について** 授業内容：ダイバーシティ(多様性)とは何か、人種、民族、性の多様性について解説した後、授業テーマについて、自分の立場や日常生活と結びつけてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：ダイバーシティ(多様性)について関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

9回	**授業テーマ：難民問題について** 授業内容：難民問題に関するワークショップを実施し、難民問題に対する基礎的な事実を把握するとともに、日本の難民受け入れをめぐる状況について考える。その後、グループディスカッションを行い、自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：難民問題の関連の情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
10回	**授業テーマ：宗教が世界に及ぼす影響** 授業内容：イスラム教、キリスト教、ユダヤ教が世界に及ぼす影響について解説した後、宗教が政治・社会問題に影響する理由ついてグループディスカッションを行い、多様な意見に触れる。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
11回	**授業テーマ：宗教紛争の本質** 授業内容：宗教紛争の多くは、宗教そのものが直接の原因ではなく、対立を正当化する論理として使われていることについて解説した後、授業テーマについてグループディスカッションを行い、他者の視点と比較する。 事前学修 2.0hr：世界情勢と宗教の関連情報を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
12回	**授業テーマ：「世界がもし 100 人の村だったら」ワークショップ** 授業内容：世界には、多様な言語や文化を持つ人びとが住んでおり、そこには大きな貧富の差があることを、シミュレーション(疑似体験)のワークショップで体験し、私たちが暮らす日本は世界のどこに位置するのか考える。 事前学修 2.0hr：世界情勢についてのニュースなどを見ておく。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。
13回	**授業テーマ：グループワーク：プレゼンテーションの準備** 授業内容：各グループで関心がある国際問題を選定し、テーマとプレゼンテーションをする内容について話し合う。ディスカッションを基に第 15 回に発表するプレゼンテーションの資料作成の準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションを行う国際問題のテーマを考えておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション作成の準備。講義の復習。レポート作成。
14回	**授業テーマ：グループワーク:プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：グループワークによりプレゼンテーション資料を作成する。発表資料は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。発表資料の作成により、自分の意見を表現する力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。 事後学修 2.0hr：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。
15回	**授業テーマ：それぞれが自分の担当するプレゼンテーション資料の案を考えておく。** 授業内容：プレゼンテーションを行い、全員で意見交換を行う。発表は PC を利用し、パワーポイントなどで行うのが好ましい。自分の意見を発表することにより、他者に分かりやすく伝える力を身につけることができる。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション資料の作成、発表の準備。 事後学修 2.0hr：講義の復習。レポート作成。

異文化実地研修 A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

本学と協定を締結している海外の大学等において、特定の分野について集中的な研修を行うとともに、異なる文化社会の側面に触れることにより、より高度な知識や技能を備えた国際社会に活躍する人材を育成することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。
個別目標：学部・学科、派遣先によって異なる。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌履修条件

GPA 及び修得単位等による出願資格を設ける。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌評価基準・方法

学部・学科、派遣先によって異なり、国内における事前・事後研修への参加及び派遣先での研修期間を修了することにより単位認定する。
詳細については、当該年度の募集要項及びオリエンテーション等で確認すること。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （報告書の作成）

▌教科書

派遣大学等で別途指示する。

▌参考書

派遣大学等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

異文化実地研修

授業内容

60 時間相当分の研修内容とする。
派遣先、研修時期・期間及び認定される単位数等詳細については、履修の手引を参照すること。

事前学修

15 時間相当分の事前学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

事後学修

15 時間相当分の事後学修とする。
事前のオリエンテーション等で指示する。

法学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

社会のルールの一つである法は、私たちの生活の様々な場面で関わっている。そのため、法律に関する基礎的な知識や考え方を学ぶことは、社会生活を送るうえでも有用である。
この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解するし、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討することを目的とする。
また、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることを意識し、自分自身で考えてみるための基礎となる力を涵養する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を身に着けられるよう、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。
個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト)と期末試験の結果の合計(90 %)、授業内における参加姿勢等(10 %)、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(1)** 授業内容：憲法の役割と構造、人権(人権の種類、人権の制約、精神的自由、経済的自由、社会権) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：国の仕組みに関する法(2)** 授業内容：統治(三権分立、立法権(国会)の役割、行政権と議院内閣制、司法権の役割) 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(２)** 授業内容：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、消費者保護のための特別法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(３)** 授業内容：契約の意義、契約成立後の法律関係、履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：取引社会と法(４)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、製造物責任法による消費者の保護 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：家族にかかわる法(１)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：家族にかかわる法(２)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：犯罪にかかわる法** 授業内容：刑法とは、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：責任と裁判制度** 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

日本国憲法

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

吉田　成利 (よしだ　なるとし)

▌授業の概要

日本国憲法に関する身近な事例を素材とし、日本国民の権利義務や国家統治について学ぶ。
毎回の講義後、小レポートを条件に従い Manaba へ期限内に提出することが求められる。体育会の活動や就活、インターンなどで講義に出席できない場合や、履修修正などで遅れて履修を開始した場合には、必ず Manaba かメールで担当教員に連絡すること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本国憲法に関する知識を習得し、客観的で公正な法的思考を会得する。
個別目標：(1) 日本国憲法が日本の国益を守り、国際未来社会における「この国のかたち」を描けていけるのか、各人が合理的な意見を創造する。
(2) 偏りのある意見や報道に惑わされることなく、日本の現実に即した憲法のあるべき姿について、各人が説明できる。
(3) 日々のニュースを憲法の観点からとらえ、自分なりの説明ができる。

▌履修条件

(1) 必ず指定された教科書を購入すること。教科書がないと、レポートが作成できません。
(2) 毎回の小レポートを、期限までに条件を守って本講義の Manaba の指定された提出先へ提出すること。

▌評価基準・方法

各自が所有する指定された教科書のみ持込可能である期末試験(60 %)、
毎回の講義終了後に提出する小レポート(30%)、
授業内の発言・姿勢(10%。講義内で教員により指名された際に真摯に回答しないと加点されない。)
毎回の講義冒頭に、前回の講義内容および小レポートについてフィードバックがなされる。

▌フィードバック方法

毎回の小レポート提出後に講義内でフィードバックを行います。必ず期限までに小レポートを提出してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回または 2 回に一度、教員にあてられ自分の意見を求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の講義資料を Manaba にアップし、レポート作成も PC で行う。）

▌教科書

吉田 成利著『大学生のための日本国憲法入門』(慶應義塾大学出版会、2020 年)

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：法学における憲法の位置づけ** 授業内容：序論とオリエンテーション。 事前学修 2.0hr：憲法改正のニュースについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
2回	**授業テーマ：日本国憲法の基本原理と基本構造** 授業内容：日本国憲法の核となる原理と構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
3回	**授業テーマ：天皇と譲位** 授業内容：我が国の象徴である天皇について、憲法はどのように規定しているのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
4回	**授業テーマ：人権保障とその限界** 授業内容：人権や自由は人としての当然の権利である一方、絶対ではないことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
5回	**授業テーマ：信教の自由と靖国神社参拝** 授業内容：宗教を信じる自由と信じなくても良い自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
6回	**授業テーマ：表現の自由とプライヴァシー侵害** 授業内容：言いたいことを言う自由について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
7回	**授業テーマ：婚姻の自由と同性婚** 授業内容：結婚とは男女の合意に基づくものであると日本国憲法が規定していることについて、LGBTQ の問題について、憲法が果たすべき役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
8回	**授業テーマ：学問の自由と教育無償化** 授業内容：教育について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
9回	**授業テーマ：社会権と勤労の義務** 授業内容：我々が労働するという行為について憲法はどのように規定しているのか学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
10回	**授業テーマ：国会と参政権** 授業内容：立法府こそが国家権力の最高機関であることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

11回	**授業テーマ：内閣と行政機構** 授業内容：内閣総理大臣は日本で最強の権力者なのか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
12回	**授業テーマ：司法府と裁判員制度** 授業内容：裁判所と国民の司法参加について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
13回	**授業テーマ：地方自治と地方創生** 授業内容：地方分権を進めれば日本はより活性化するのだろうか？ 学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
14回	**授業テーマ：憲法９条と集団的自衛権** 授業内容：憲法 9 条と平和主義、自衛隊、そして日米安保条約の存在意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。
15回	**授業テーマ：憲法改正とその必然性** 授業内容：憲法改正の歴史的・社会的必然性について学び、結論付ける。 事前学修 2.0hr：前回の授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習する。

経済のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

野口　尚洋 (のぐち　なおひろ)

▌授業の概要

本講義では、経済の仕組みについて理論と現実の両面から説明していきます。経済学の理論はミクロ経済学とマクロ経済学に大きく分けることが出来ます。前半はミクロ経済学の分野で市場の話を中心に説明していきます。後半はマクロ経済学の分野で日本の国全体の経済について説明していきます。「経済のしくみ」という講義名にあるように、経済学の理論だけでなく、経済学の理論を使って現実の経済のしくみを理解することを主眼に置き、なるべく身近な例を用いて説明していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：身の回りに起こっている経済の問題について、自分で考えを持てるようにことができるようになります。経済の話は、アルバイトなど普段の生活から、就職活動や就職後も常に関係するものです。そのときの判断の基礎となるものだと考えています。また、現実のデータやグラフを多く紹介する予定です。一般常識としての知識も得ることができます。

個別目標：身の回りに現実に起きている経済問に興味をもち，その理由を自分で考え，行動判断の基礎とできる。

▌履修条件

80 %以上出席することが履修条件です。また、経済学はグラフを多用しますので、自分で手を動かしながら自分で頭で考えることが重要です。したがって、主体的に授業に参加できる学生の履修を望みます。また、授業中に静粛を保てない学生の履修は遠慮下さい。

▌評価基準・方法

小テスト (30%)、期末試験 (70%) で評価します。学生の履修状況、講義の進度によっては中間試験を課すこともあります。また、原則 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件としますが、成績評価の対象にはしません。

▌フィードバック方法

小テストと期末試験のフィードバックは学習支援システム manaba を通して行いますので、必ず確認してください。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。プリントにより授業を行います。授業で使用したプリントは manaba のコースコンテンツにもアップロードいたしますので、欠席した回の授業に関するプリントは、各自ダウンロードし、プリント・アウトして下さい。

▌参考書

参考書は適宜指定します。代表的な参考書として以下を挙げておきます。

前半のミクロ経済学分野：安藤至大『ミクロ経済学の第１歩』有斐閣 2013 年

後半のマクロ経済学分野：柴田章久・宇南山卓『マクロ経済学の第一歩』有斐閣　2013 年

全体の参考書：伊藤元重 『入門　経済学　第４版』日本評論社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・履修に当たっての諸注意と授業内容全体の説明・経済学独特の考え方(インセンティブ)** 授業内容：授業内容の全体と注意事項等、履修にあたり必要と思われる内容を説明します。その後に授業を行います。また、授業中に DVD を視聴します。 事前学修 1.0hr：繰り返し，シラバスをよく読んでくること 事後学修 3.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認すること．経済学独特の考え方に触れる。manaba のアンケートの答える。
2回	**授業テーマ：経済学独特の考え方(トレード・オフ、交換の利益、機会費用)** 授業内容：貿易の比較優位の理論を例に、トレード・オフ、交換の利益、機会費用について説明していきます。具体的な数値例を用いて説明していきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントを読み、インセンティブについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：トレード・オフ、機会費用について現実の実例を考える。期限までに、manaba の小テストを受験する。
3回	**授業テーマ：企業の諸費用費用と利潤最大化** 授業内容：企業の費用についてグラフを描きながら解説していきます。特に「限界」の概念は経済学で必須の概念ですので丁寧に説明していきます。その後に企業の利潤最大化行動を考えます。最後にオリエンタルランドを例にとり損益分岐点における入場者数を求めていきます。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：各費用の図を自分で導出し、自分で描いてみる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
4回	**授業テーマ：市場の均衡と価格調整** 授業内容：市場についてみていきます。財の種類と需要曲線、供給曲線の変化の関係を分析していきます。また、次回の導入として、余剰の基本的な概念まで説明します。 事前学修 2.0hr：前回配布のプリントにある問題を解き、間違えた問題は考え方をまとめておく。 事後学修 2.0hr：非常に大事な「余剰」の概念を復習する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
5回	**授業テーマ：余剰分析** 授業内容：余剰の概念について説明し、その後に課税の効果について説明します。内容的には「経済のしくみ」の中で最も難しい内容だと思いますが、経済学の独特の考え方につながりますので、しっかり授業を聞いてください。 事前学修 2.0hr：供給曲線と需要曲線の導出をもう１度確認する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題に関して、余剰の図を自分で描き、消費者余剰・生産者余剰・総余剰について確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
6回	**授業テーマ：保険のしくみ** 授業内容：消費者の効用最大について簡単に触れ、その後、保険のしくみと情報の非対称性について説明していきます。 事前学修 2.0hr：限界の概念をもう一度復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。情報の非対称性があるときの対策をまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
7回	**授業テーマ：ゲーム理論について理解する** 授業内容：色々な例を交えながらゲーム理論について説明していきます。具体的にはナッシュ均衡をメインに説明していきます。 事前学修 2.0hr：第４回の配布プリントの問題を解きながら、企業の利潤最大化をもう１度確認する 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。

8回	**授業テーマ：経済をマクロからとらえる** 授業内容：この回からはマクロ経済学の分野に入ります。GDP など一般常識として知っておくべき言葉の説明と戦後の日本経済の歩みについて説明していきます。 事前学修 2.0hr：配布プリントの GDP 成長率の図の指定の年に何があったか調べておく。 事後学修 2.0hr：戦後、日本の GDP の動きと、GDE と GDI の各構成要素のデータを調べる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
9回	**授業テーマ：財市場の分析** 授業内容：財市場を分析し、GDP の大きさがどのように決まるのかを説明する。その後、財政政策の効果について説明する。 事前学修 2.0hr：公共事業の具体例や減税についての近年の各党の主張を調べておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、財政政策の有効性を確認する。期限までに、manaba の小テストを受験する。
10回	**授業テーマ：貨幣市場の分析** 授業内容：貨幣とは何かから始まり、貨幣市場の説明をしていきます。実際に日本銀行のホームページを見ながら貨幣の歴史も振り返ります。 事前学修 2.0hr：日本銀行のホームページから貨幣博物館のサイトへいき、貨幣の歴史について調べる。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題をとき、貨幣の需要と供給、金融政策についてまとめる。期限までに、manaba の小テストを受験する。
11回	**授業テーマ：物価の変動と失業を理解する** 授業内容：物価とインフレについて実際のデータを見ながら解説していきます。また、労働市場についても説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 8 回のプリントから物価の上昇した時期と低下した時期にどのような経済的出来事があったかを調べておく。 事後学修 2.0hr：インフレとデフレの仕組みと影響，労働市場について復習しておく。期限までに、manaba の小テストを受験する。
12回	**授業テーマ：利子、債券、株についての理解する。** 授業内容：複利計算を説明していきます。また、債権と株の違いを説明し債券価格と株価の決まり方を説明していきます。 事前学修 2.0hr：第 6 回講義の余剰を復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
13回	**授業テーマ：為替レートの決定と貿易の関係を理解する。** 授業内容：為替レートの決定を短期と長期に分けて説明します。また、為替レートの変動が貿易に与える影響についてもみていきます。さらに、国際収支統計を確認し、現在に日本の貿易状況を説明します。 事前学修 2.0hr：第 2 回のプリントから、絶対優位・比較優位の理論を復習する。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
14回	**授業テーマ：日本の財政と社会保障制度** 授業内容：現実の日本財政を予算、税、国債、プライマリー・バランスに分けて解説していきます。また、年金を中心に社会保障制度についても触れていきます。 事前学修 2.0hr：第 7 回講義の保険のしくみを復習しておく。 事後学修 2.0hr：配布プリントの問題を解く。期限までに、manaba の小テストを受験する。
15回	**授業テーマ：これまでの復習と授業内試験** 授業内容：これまでの復習を行い、授業内試験を実施後その解説を行う。 事前学修 3.0hr：manaba で受験した小テストをもう一度復習する。manaba で配布する昨年度の問題を解いて答え合わせを行う。 事後学修 2.0hr：授業内試験で間違えた問題をもう一度解き直し、理解を深める。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

櫻井　博子 (さくらい　ひろこ)

▌授業の概要

私たちが生活している社会の仕組みは、そのほとんどが「法律」によって作られている。この授業では、私たちの生活に身近な法制度に関する基礎的知識を理解し、現実の社会の具体的問題を「法的」に検討する。履修者が社会生活を送るなかでかかわる法律の仕組みを正確に、またより深く理解することができるようになるという「社会人基礎力」と、法を学ぶことを通じ、法律の規定にも様々な解釈の仕方があること、物事の解決に「唯一の正解」は存在しないことを知り、物事を多面的にとらえることができるようになる「論理力」を身に着けることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：将来社会人となった際、直面し得る問題を、自身で処理できる能力を涵養するために、法の論理的なものの考え方の重要性を理解した上で、基礎的な法律の知識を身につける。

個別目標：(1) 社会のなかで法が果たす役割や法の意義を、具体的な事例とともに説明できる。
(2) 具体的な法制度の機能を、その制度の成り立ちや社会での現実的な意義等を踏まえて評価できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

各回の講義内容を復習する確認問題(小テスト、40 %)と期末試験の結果の合計(80 %)、授業内における参加姿勢等(10 %)、
到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。
なお、講義ごとの課題は、学修支援システム manaba を通して行い、次回の授業で解説を行う。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの入力(スマートフォンで可能)）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

初回講義と講義中に適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション、私たちの生活にかかわる法の種類とその分類** 授業内容：法とは何か、法の種類、法の分類 事前学修 1.5hr：ニュースや新聞等で、「法」に関わるものがどれくらいあるのか確認してみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
2回	**授業テーマ：ルールとその「適用」** 授業内容：法の適用による紛争の解決、解釈の必要性、条文の構造、法の解釈、解釈の技術 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
3回	**授業テーマ：取引社会と法(1)** 授業内容：日常生活を取り巻く契約と民法、契約と債権の発生、自由で健全な意思が結ぶ契約関係 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
4回	**授業テーマ：取引社会と法(2)** 授業内容：契約の成立をめぐる問題：意思表示の構造、意思表示の瑕疵と意思の不存在、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
5回	**授業テーマ：取引社会と法(3)** 授業内容：消費者を保護するための法、制限行為能力者制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
6回	**授業テーマ：取引社会と法(4)** 授業内容：契約成立後の法律関係：履行遅滞、履行不能、その他の債務不履行、損害賠償 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
7回	**授業テーマ：取引社会と法(5)** 授業内容：住まいをめぐる法律関係、不法行為に基づく責任 (契約によらない債権債務の発生)、 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
8回	**授業テーマ：取引社会と法(5)** 授業内容：金銭の貸借に関する制度：人的担保、物的担保、割賦販売法 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
9回	**授業テーマ：家族にかかわる法 (1)** 授業内容：夫婦間の法律関係、親子関係、離婚 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
10回	**授業テーマ：家族にかかわる法(2)** 授業内容：相続、法定相続人と法定相続分、相続の承認と放棄、遺産分割 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。

11回	**授業テーマ：犯罪にかかわる法** 授業内容：刑法の役割、犯罪の成立と構成要件、犯罪の成立を阻却する事由 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
12回	**授業テーマ：裁判の役割** 授業内容：裁判と裁判手続の種類、裁判所と審級、民事裁判、刑事裁判 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
13回	**授業テーマ：企業に関する法** 授業内容：法人制度、法人に関する法律、法人の活動、会社 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：雇用と労働関係、社会保障に関する法** 授業内容：労働契約、労働者を保護する様々な制度、派遣労働における労働形態、社会保障制度 事前学修 1.5hr：配布した事前学習プリントを解いてみる。 事後学修 2.5hr：配布したレジュメをもとに、講義内容を復習する。
15回	**授業テーマ：講義のまとめ** 授業内容：これまでの授業内容の総括 事前学修 1.5hr：これまでの講義内容を復習する。 事後学修 2.5hr：これまで学んできた内容を復習し、課題に解答する。

社会と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

絶えず変化し複雑化する日本社会の特徴を多角的に捉えることを目的とし、その背景や要因、今後のあり方について考察する。毎回、特定の社会領域に焦点を当て、資料の読解を通して理解を深めるとともに、日本語で自分の意見を整理し、クラスメートと意見交換を行う。コース前半では基礎的な語彙や表現の定着を確認する小テストを実施し、後半ではグループまたは個人による学習成果の発表と質疑応答を通して、学びを深化させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本の現代社会におけるさまざまな問題について正しく理解し、適切な判断、提言ができる。

個別目標：(1) 現代社会における問題を取り上げた資料を正確に読み取ることができる。
(2) 現代社会における問題について資料を集め、因果関係、取り組みなどを体系的に整理できる。
(3) 集めた資料をもとに、倫理性に配慮しながら他者に向けて自分の言葉で説明したり自分の立場でできることを提言したりできる。
(4) 他者との意見交換を通じて自分とは異なる価値観や考え方について比較対照し、一定の理解ができる。

▌履修条件

留学生である。
manaba の情報を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
積極的に発言する。

▌評価基準・方法

テスト 40%、課題の内容 30%、発表 20 %、授業参加度 10%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業および manaba から行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表準備の回で利用する。また、manaba、respon を使用する。）

▌教科書

開講時に提示する。

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、テスト** 授業内容：授業目標、授業の進め方を伝える。現在の社会の中で自分はどのような立場でどのような役割を担っているのか考え、考察する。 事前学修 2.0hr：日本の新聞を読んで現代社会の問題をみつける。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：深夜営業** 授業内容：現代社会における深夜営業の役割を取り上げ、利便性や経済効果と、労働環境・地域社会への影響の両面から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：家族関係** 授業内容：社会集団としての家族の定義や範囲の多様性を踏まえ、核家族化が進む日本における家族関係の特徴や背景、家族に求められる役割を資料から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：若者言葉** 授業内容：若者言葉を社会集団の言語使用の一例として取り上げ、その特徴や生まれる背景、世代間の認識の違いを資料から考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：学校** 授業内容：日本の学校制度と世界の学校制度を比較して日本の学校の特徴を明らかにし、あわせて日本の学校が抱える課題とその背景を資料をもとに考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：ジェンダー** 授業内容：性別による社会的格差を取り上げ、その背景を複数の概念やデータから読み解き、社会において平等や公平性が十分に保たれていない場面について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：人間関係** 授業内容：大人にとっての「友達」の数や偏りを踏まえて検討し、「友達」に限らない多様な人間関係に着目しながら、日本社会における人間関係の特性や課題について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：情報通信インフラ整備と社会** 授業内容：情報通信インフラ整備を取り上げ、社会における利便性や公共性と、地域住民の不安や対立の関係を資料から読み解き、考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：格差社会** 授業内容：日本人の階層意識が「一億総中流」から格差社会へと変化してきた経緯を学習したうえで、格差拡大の現状や背景について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

10回	**授業テーマ：経済・働き方** 授業内容：日本の経済的活力の長期的推移を示す資料を読み、働くことへの考え方を他国と比較して分析し、日本の働き方の特徴を整理したうえで、将来の働き方について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：政治・社会参加** 授業内容：「民主主義」とはどのようなものかいくつかの議論を参照する。日本の若者の政治意識を検討し、なぜ若者の政治意識が低調になっているのかいくつかの仮説を読んで、意見をまとめる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：発表準備①データ収集** 授業内容：これまで学習してきたテーマの中から関心のある課題を選び、問題意識を明確にしたうえで問いを立て、関連する資料を収集・整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：発表準備②資料作成** 授業内容：集めた資料を整理し、発表原稿を書く。その後、ポスターとしてまとめる。原稿、ポスターをもとに話し方の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：発表** 授業内容：質問の種類や目的、適切なタイミングとマナーについて学んだうえでポスター発表会を実施する。発表では質疑応答を通して相互理解を深め、建設的な議論を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：学習のまとめと振り返り** 授業内容：第 1 回から第 14 回までの学習内容を総合的に振り返り、ノートを整理しながら理解の定着を確認する。あわせてテストを実施し、知識や思考の変化を振り返ることで、自らの学習の成果や成長を実感する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

政治のしくみ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

河野　武司 (こうの　たけし)

▌授業の概要

本講義では、政治のしくみ(制度と過程)について、理論と現実の両面から説明します。具体的には、日本政治を前提に、選挙制度など代議制民主主義を支える様々な制度や、政・官・財の「鉄の三角関係」、メディア、インターネットなどが政策決定に及ぼす影響を中心に、政策決定における現実について紹介していく予定です。その際、必要に応じて、政治に関する専門用語や理論を解説します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：日本政治の現実を理解し、他者に対してどうしてそうなのかを理論的に説明できる力を身に付けていただければと思っています。
個別目標：選挙において、主体的に選び、投票することができる情報を持った有権者となることを目指していただければと思っています。

▌履修条件

私が話したこと、板書したことを要領よくまとめ、自らの手でこの講義を受講したことの証としてのノートを作成して、持込可を予定している期末試験に臨んでください。ノートを充実させるにあたっては、授業中や予習・復習での生成 AI の活用を推奨します。そのため、授業中のスマフォや PC の利用を認めます。

▌評価基準・方法

期末試験 (80 %)、平常点(20 %：私からの質問に対する回答や疑問点に対する問題の提起といった普段の受講態度、場合によっては小テストも実施し、その結果も含める場合があります)で評価します。

▌フィードバック方法

定期試験等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特に指定しません。

▌参考書

授業中に適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(インセンティブ)** 授業内容：・履修に当たっての諸注意と授業内容の説明。 事前学修 2.0hr：シラバスを繰り返し読んでおいてください。 事後学修 2.0hr：この授業の履修に当たっての約束事項と授業の全般的内容を確認してください。
2回	**授業テーマ：政治とは何か** 授業内容：・政治と国家→政治概念論争、様々な政治の定義の紹介 事前学修 2.0hr：アリストテレスによる「ポリスを必要としない者は、神か野獣に違いない」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：自らの政治に関する定義について考えてください。
3回	**授業テーマ：民主主義とは何か** 授業内容：・プラトンが理想とした哲人王による政治は民主主義か、直接民主制と間接民主制の長短 事前学修 2.0hr：民主主義とは何かについて考えておいてください。 事後学修 2.0hr：民主主義に関する説明を整理してください。
4回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ①** 授業内容：・立憲主義、三権分立、様々な政治システム(大統領制、半大統領制、議院内閣制)、議会における一院制と二院制 事前学修 2.0hr：「絶対的権力は絶対的に腐敗する」という言葉を調べましょう。 事後学修 2.0hr：日本に首相公選制が相応しいか否か考えてみましょう。
5回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ②　様々な選挙制度** 授業内容：・代表の意味(国民代表、地域代表、職能代表)、様々な選挙制度(小選挙区制、大選挙区制、比例代表制、混合システム) 事前学修 2.0hr：日本の衆議院の選挙制度(小選挙区比例代表並立制)について調べておいてください。 事後学修 2.0hr：日本の衆議院に相応しい選挙制度について、自身の考えをまとめましょう。
6回	**授業テーマ：日本の選挙の諸問題** 授業内容：・政治的景気循環と政治的波乗り(7 条解散の是非)、一強多弱、重複立候補の是非 事前学修 2.0hr：自身が特に感じる日本政治における問題点を一つ挙げてみましょう。 事後学修 2.0hr：自身が挙げた日本政治の問題点の解決策について考えましょう。
7回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ③　政党** 授業内容：・政党システム論とデュヴェルジェの法則、日本の政党システムとしての 55 年体制 事前学修 2.0hr：55 年体制について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：日本の政党システムにおける問題点についてまとめましょう。
8回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ④　民主的選挙の 5 原則** 授業内容：・普通選挙、平等選挙、直接選挙、秘密選挙、投票の自由 事前学修 2.0hr：間接投票を採用しているアメリカの大統領選挙のしくみについて調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：義務投票制の是非について考察してみましょう。
9回	**授業テーマ：民主主義を支えるしくみ⑤　投票参加** 授業内容：・投票参加の計算式(期待効用モデル)、投票率の向上策 事前学修 2.0hr：投票参加の計算式について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：自身のオリジナルな投票率の向上策について考えましょう。
10回	**授業テーマ：民主主義を支える仕組み⑥　投票方向の決定** 授業内容：・選挙における選択の基準(支持政党、争点、業績評価、選挙区に利益をもたらす政治家か否か) 事前学修 2.0hr：自身の過去の選挙における投票を振り返っておいてください。 事後学修 2.0hr：どのような基準で投票を行うのがよいかについて考えてみましょう。
11回	**授業テーマ：政策決定における諸問題①　メディアの役割** 授業内容：・メディアは政府の活動を監視する番犬か、政府の飼い犬か、選挙におけるアナウンスメント効果 事前学修 2.0hr：メディアの報道によって自身の考えや行動が変わったことがあるか否かについて思い出してください。 事後学修 2.0hr：メディアの政治的役割について自身の考えをまとめましょう。

12回	**授業テーマ：政策決定における諸問題②　選挙政治と利益団体政治** 授業内容：・圧力団体政治と鉄の三角形、利益団体自由主義（多元主義と労働抜きのコーポラティズム） 事前学修 2.0hr：アメリカで最大の利益団体として知られる全米ライフル協会について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政策を巡る自由市場が機能するか否かについて考えましょう。
13回	**授業テーマ：政策決定における諸問題③　利益の集中とコストの分散** 授業内容：・市民における合理的無知と政策決定における反消費者生産者支持の偏向、利益の組織化と政治的企業家 事前学修 2.0hr：孔子の「民は之に由らしむべし、知らしむべからず」という言葉を調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：政治現象を合理的選択という観点から説明することの妥当性について考えましょう。
14回	**授業テーマ：インターネットと民主主義** 授業内容：・インターネットは民主主義の敵か、インターネットが可能とする新しい民主主義の形（陪審制デモクラシー、カウンターデモクラシー） 事前学修 2.0hr：キャス・サンスティーンが書いた『民主主義はインターネットの敵か』の内容について調べておきましょう。 事後学修 2.0hr：インターネットを利用した 21 世紀にふさわしい新たな民主主義のしくみについて自身で考えてみましょう。
15回	**授業テーマ：授業の総括と質疑応答** 授業内容：まとめとして、これまでの授業内容を振り返るとともに、受講生からの質問に答えます。 事前学修 3.0hr：自らがまとめたノートを確認し、疑問点を抽出しておいてください。 事後学修 3.0hr：自らがまとめたノートを試験に備えて完成させ、繰り返し確認してください。

社会思想史

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

上野　大樹（うえの　ひろき）

▌授業の概要

経済学をはじめとする社会科学を学ぶ上で必須となるのが、近代社会についての思想・理論についての理解である。本講義では、社会思想・社会理論・経済思想・政治思想について歴史的な視点から学んでいく。今日われわれが生きている複雑な社会をトータルに理解するためには、表層的な現象面だけでなく、その背景にある構造を把握する必要がある。しかし、経済学を含む社会科学は専門分化が著しく、個々の専門科目を修めていくだけでは社会の全体像をつかみ取ることは容易ではない。本講義では、社会について総合的・学際的な視点から分析を重ねた思想家たちの考えを、その歴史的背景とも関連づけながら詳しく紹介していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：(1) 社会を総合的な視点から理解するための思想・理論について理解を深める。
(2) 人類社会の歴史的・段階的な発展について、俯瞰的な視座から把握することができる。
(3) 経済や政治など機能分化した諸領域と全体社会との関係について、歴史的な観点から説明することができる。

個別目標：(1) 古代ギリシア・ローマ世界の思想・文化がその後の世界にどのような影響を与えたのかを理解し、説明できる。
(2) ヨーロッパで出現した近代社会の基本的な特徴について、歴史的な観点から把握し説明することができる。
(3) 近代社会の経済面での大きな特徴である資本主義・産業化について、アダム・スミスやカール・マルクスといった社会思想家がどのように分析を行ったのかを理解し、説明できる。
(4) 20 世紀以降の人類社会・地球社会が直面するさまざまな課題について、本授業で学ぶ社会思想家の考え方や理論を用いて自分なりの見解を提示することができる。

▌履修条件

高校世界史(あるいは歴史総合)の教科書を復習しておくことが望ましい。特に 15・16 世紀から現代史まで。

▌評価基準・方法

期末試験 60 %、授業内容を振り返るための小レポート(3 回程度) 30%、授業時の積極的な参加や質問 10 %

▌フィードバック方法

小レポートの内容や授業後に受けた質問について各回の授業冒頭等で全体と(匿名で)共有して答えるとともに、以降の授業内容にも適宜フィードバックを行っていく。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

【前期】大澤真幸『社会学史』(講談社現代新書、2019 年)
【後期】木村俊道『西洋政治思想の文脈』(放送大学教育振興会、2025 年)

▌参考書

山脇直司『ヨーロッパ社会思想史　新版』(東京大学出版会、2024 年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：社会思想史・概論** 授業内容：社会思想史とはなにか？　なぜ社会思想史を学ぶのか？ 事前学修 2.0hr：【前期】インターネットの検索エンジンなどを使って、「社会思想史」についての事典上の定義を複数(3 つ以上)調べてきてください。／【後期】第 1 章「西洋政治思想の探究」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：教科書を入手し、まずは序と目次を熟読する。本書序文の内容と授業で説明したこととがどのように関連するか、あるいは異なる部分があるとすればどこか、考えてくること。
2 回	**授業テーマ：現代の社会問題と社会思想の視点** 授業内容：現代社会における医療・福祉に関する諸問題を取り上げ、社会思想の歴史からみたときに何が言えるのかを考える。それを通じて、社会思想史を学ぶことのアクチュアリティを理解する。 事前学修 2.0hr：【前期】現代日本の医療・福祉や社会政策について昨今どのようなことが問題となっているか、調べてくる。／【後期】第 2 章「デモクラシーの系譜」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、あらためて現代日本の医療福祉の課題や将来像について考えてみる。
3 回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの政治思想** 授業内容：政治や国家の語源ともなったポリス(都市国家)で展開された民主主義・共和主義とその思想的基盤について学ぶ。 事前学修 2.0hr：【前期】『社会学史』第 1 部・1「古代の社会理論　アリストテレス」を読んでくる。理解できた点と分からなかった点を腑分けしておく。／【後期】第 3 章「政治と教養」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
4 回	**授業テーマ：古代ギリシア・ローマの経済思想と社会思想** 授業内容：公的領域で展開された政治に比して、大家族を中心とした私的領域で営まれた経済活動への評価は低かったが、現代の家政学や経営学にも通じる理論を展開した古代の思想家を概観する。 事前学修 2.0hr：【前期】前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。／【後期】第 4 章「ポリスの政治学」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：配布資料を読む。
5 回	**授業テーマ：中世の社会思想** 授業内容：宗教(特にキリスト教)と世俗社会の関係について学ぶとともに、キリスト教世界のもとでの政治と経済の位置づけについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：【前期】前回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。／【後期】第 5 章「レス・プブリカ」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：今回登場したキーワードについて事典類で調べてくる。
6 回	**授業テーマ：社会契約論 (1)：ホッブズ・ロック** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第 1 部 2「社会契約の思想」を読んでくる。／【後期】第 6 章「帝国とキリスト教」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえてもう一度教科書の該当箇所を読み、理解の進展を確認する。
7 回	**授業テーマ：社会契約論 (2)：ルソーとフランス革命** 授業内容：近代社会の理論的・思想的基礎を構築した社会契約説について学ぶ。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第 1 部 2「社会契約の思想」を再読してくる。／【後期】第 7 章「キリスト教共同体」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：高校世界史の教科書をもとに市民革命(英米仏の諸革命)と産業革命について復習する。

8回	**授業テーマ：社会契約説批判と歴史社会学の誕生** 授業内容：スコットランド啓蒙について学ぶ。 事前学修 2.0hr：【前期】配布資料を読む。／【後期】第 8 章「ルネサンスと人文主義」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
9回	**授業テーマ：アダム・スミスと経済学の生誕** 授業内容：ヒュームとアダム・スミスの社会思想・歴史叙述・政治経済学について概観する。 事前学修 2.0hr：【前期】配布資料を読む。／【後期】第 9 章「統治のアート」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習。
10回	**授業テーマ：社会科学の誕生と初期社会主義の潮流** 授業内容：フランス革命以降の産業社会・労働社会をめぐる思想と実践について概観する。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第１部３「社会科学の誕生」を読んでくる。／【後期】第 10 章「『リヴァイアサン』と『ビヒモス』」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を踏まえて、もう一度教科書の該当箇所を再読する。
11回	**授業テーマ：スミスからマルクスへ** 授業内容：労働価値説と古典派経済学に対する 19 世紀産業革命以降の批判的展開について、ドイツを中心に理解する。 事前学修 2.5hr：【前期】『社会学史』第１部４「マルクス」を読んでくる。／【後期】第 11 章「統治と寛容」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
12回	**授業テーマ：ヴェーバーとジンメルにおける社会学の誕生** 授業内容：18 世紀の啓蒙思想や 19 世紀前半の社会主義・産業主義の思想を踏まえて、近代知としての社会学がどのように出現してきたかを 19 世紀後半以降のドイツに焦点を当てて理解する。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第２部３「ジンメル」、４「ヴェーバー」を読んでくる。／【後期】第 12 章「アンシャン・レジームと啓蒙」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
13回	**授業テーマ：ヴェーバー、フロイト、デュルケーム** 授業内容：社会学と精神分析の関係について、世紀末の時代背景を把握しつつ理解を深める。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第２部１「フロイト」、２「デュルケーム」を読んでくる。／【後期】第 13 章「文明社会」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
14回	**授業テーマ：社会システム論の誕生** 授業内容：20 世紀の社会学、特にパーソンズの構造機能主義と、現象学を基盤とするミクロ社会学の展開について学ぶ。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第３部１「パーソンズ」、２「〈意味〉の社会学」を読んでくる。／【後期】第 14 章「独立・建国・革命」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。
15回	**授業テーマ：社会システム論の発展** 授業内容：フランス現代思想の基礎を学び、さらにルーマンによる社会システム論の「転回」についてポストモダンの時代状況と関連づけながら理解を深める。 事前学修 3.0hr：【前期】『社会学史』第３部３「意味構成的なシステムの理論」、４「社会学の未来に向けて」を読んでくる。／【後期】第 15 章「西洋近代の風景」を読んでくる。 事後学修 2.0hr：従業内容の復習。

日本企業論

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

粟沢　尚志（あわさわ　たかし）

▌授業の概要

本科目は教育目標「人間力形成」達成のための科目です。日本企業の過去・現在・未来に関心をもつ学生を対象に、経済学と経営学の二つの分析視点から、日本企業の組織・行動・成果を体系的に理解するために必要な幅広い教養的知識・技能のほかに、主体的に学ぶ能力の養成を目指しています。授業で探究する主な課題は、日本企業の特徴、グローバル市場での外国企業との競争と協調、組織と戦略の独自性がもたらすイノベーションという日本企業が直面する課題です。特に、「日本資本主義の父」と呼ばれる渋沢栄一の経営哲学「論語と算盤」を学ぶことから、日本型経営の特徴やその強みを理解できるようにします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：(1) 日本企業の活動を理解するために必要となる経済学と経営学の基本的な考え方を身につけることができる。
(2) 日本の企業・取引システムの歴史と現代日本企業の課題を理解するために必要な基礎的な知識と技能を修得することができる。
(3) 渋沢栄一の経営哲学「論語と算盤」を学ぶことから、日本型経営の特徴やその強みを理解できる。
(4) 競争戦略論やマーケティングの基礎を、日本企業というケーススタディから修得することができる。

個別目標：(1) 日本企業に特徴的な雇用や生産などを理解するのに必要となる経済学的及び経営学的要素を説明できる。
(2) 日本企業の組織と戦略とイノベーションの相互関係を解明する複数の理論モデルを説明できる。
(3) 日本に強く見られる経営倫理観（渋沢栄一の道徳経済合一説）を理解し、その今日的な実践（たとえば SDGs）を卒業後に実践可能にする。

▌履修条件

履修に必要な予備的知識として、日本経済新聞などを通じて日本企業に関する現実の動きをフォローすることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎週の課題 60 %、最終試験 40 %の合計点から評価する。ともに出題も採点も manaba を用いる。

▌フィードバック方法

manaba を通じて採点結果や必要に応じてコメントをフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

指定なし。

▌参考書

加護野忠雄・山田幸三編『日本のビジネスシステム』有斐閣、2016 年.
丸山雅祥『経営の経済学　第 3 版』有斐閣、2017 年.
加藤健太・大石直樹『ケースに学ぶ日本の企業』有斐閣、2013 年.
橘川武郎・平野創・板垣暁編『日本の産業と企業』有斐閣、2014 年.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ダイキンエアコン** 授業内容：ダイキンエアコンが「人」を中心とした経営と競争戦略で成功したことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
2 回	**授業テーマ：小松製作所** 授業内容：小松製作所が強みの「組み合わせ」で強力な差別化に成功したことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
3 回	**授業テーマ：ヤマト運輸** 授業内容：ヤマト運輸の源流となるビジネスモデルが、渋沢栄一の経営哲学の特徴である「先義後利」と同じであることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
4 回	**授業テーマ：伊那食品工業** 授業内容：伊那食品工業の「年輪経営」から（渋沢栄一の経営哲学に基づく）長期的な利益の大切さを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
5 回	**授業テーマ：村田製作所** 授業内容：企業という組織内に人の持つ「知」を蓄積することで、企業に強さ（競争優位）を生み出すことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
6 回	**授業テーマ：公文（くもん）** 授業内容：教育サービスにおける公文のビジネスモデルの独自性について経営学から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
7 回	**授業テーマ：ルミネ** 授業内容：ルミネの強さをコーペティション戦略（協調と競争の組み合わせによって競争優位を高めるような戦略）から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
8 回	**授業テーマ：ベネッセ** 授業内容：ベネッセが出版、模試、通信教育、介護へと多角化に成功してきた理由やメカニズムを経済学と経営学から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）
9 回	**授業テーマ：トヨタ** 授業内容：トヨタの経営の特徴を同社の「パーパス」「ヴィジョン」「ミッション」から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出（manaba を通じて）

10回	**授業テーマ：サイゼリヤ** 授業内容：サイゼリヤの経営の特徴(＝強さの理由)を競争戦略論から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
11回	**授業テーマ：スバル自動車** 授業内容：スバル自動車の経営の特徴(＝強さの理由)を「共通善」の追求という経営戦略から学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
12回	**授業テーマ：アサヒビール** 授業内容：アサヒビールが業界第 1 位に登りつめた戦略(＝ポジショニングアプローチ)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
13回	**授業テーマ：『ビジョナリーカンパニー』を読む** 授業内容：全世界でベストセラーとなったビジネス書である『ビジョナリーカンパニー』を読んで日本型経営の特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：プリントを用いた予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
14回	**授業テーマ：銚子電鉄** 授業内容：銚子電鉄の経営戦略を渋沢栄一の経営哲学から読み解くことで、地域に根差すローカル鉄道の生き残り戦略を学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)
15回	**授業テーマ：企業とは「社会の公器」：明治の偉人たちから学ぶ** 授業内容：明治時代の研究者(北里柴三郎と高峰譲吉)と実業家(渋沢栄一)から企業経営における長期的利益の重要性を学ぶ。 事前学修 2.0hr：日経新聞記事を教材とした予習 事後学修 2.0hr：授業の理解を深めるための課題提出(manaba を通じて)

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

池田　和子（いけだ　かずこ）

▌授業の概要

本講義は、人文地理学のなかでも環境と人との相互作用に焦点を当てる。本講義での「環境」は、自然環境にとどまらずそれまでに蓄積された地域の資源や既存の産業、人々の行動様式などを含む。

講義は 2 つの柱からなり、1 つは事例研究を通じて変化の具体的なプロセスとその背景にある地理的な考え方を学習する。もう 1 つは地図の技能に関わるもので、地域の特徴やその変化を地図からよみとる。また作図から、効果的な図とは何かを学んでいく。

なお、2026 年度は前期のみの開講となる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：地域を観察し、地域の個性が多様な要素の絡み合いから生じ、変化し続けている様子を捉えられるようになる。地域をよみとくための基礎知識を習得する。
地図、特に地形図を読むための基礎知識を習得する。また主題図の作図に関する基礎知識を習得し、効果的な作図について工夫できるようになる。

個別目標：・地理的スケールを意識しながら地域を観察することができる。
・地図や統計などの資料を読みとることができる。
・書かれた内容を適切に理解し、自分の考えを述べることができる。
・与えられたテーマについてグループディスカッションができる。

▌履修条件

高校で地理を履修していなくても構いませんが、積極的に学ぶ姿勢を求めます。

▌評価基準・方法

平常評価（講義中の課題）40%、最終試験（教場）60%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

講義での課題に対するフィードバックは翌週の講義中に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、地図の作図・読図）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計検索、ウェブ GIS の活用）

▌教科書

なし。配付資料にて行う。

▌参考書

適宜指示する。

高校生向けの地図帳や参考書があれば理解を助ける。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：(大学の)地理学とは、本講義の内容や評価方法について理解する。 事前学修 2.0hr：これまでに学校で学んだ「地理」のイメージや印象を考えてみる。 事後学修 2.0hr：「地理」のイメージが変化したかや、授業の内容から考えたことを文章にまとめてみる。
2 回	**授業テーマ：地形図の基本と山地の地形** 授業内容：地形図の基礎を学び、紙の地形図で尾根や谷を見分ける。また地理院地図も使ってみる。 事前学修 2.0hr：「地形図」とは何かを確認する。 事後学修 2.0hr：地理院地図で関心のある場所を見てみる。
3 回	**授業テーマ：浦安を知る①／地理院地図と低地の地形** 授業内容：地形図の基礎を学び、実際に浦安の地形図を読みとる。また低地の土地利用について学ぶ。 事前学修 2.0hr：地理院地図で山と平野の図を見比べて、印象の違いや使用される地図記号の違いを検討する。 事後学修 2.0hr：地理院地図で機能のいくつかを利用してみる。
4 回	**授業テーマ：浦安を知る②／「地図感覚」をやしなう** 授業内容：時期の異なる浦安の地形図を比較し、浦安がどのように変化してきたかを読みとる。また、感覚的に地形図を理解することについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：地形図に関する課題に取組む。
5 回	**授業テーマ：浦安を知る③多面的に理解する** 授業内容：浦安の変化を資料から読みとり、地形図の変化にどのように表現されるのかを理解する。 事前学修 2.0hr：浦安市内を歩いて、地図と実際の景観の対応を確認したり、まだ行ったことのない場所を観察する。 事後学修 2.0hr：自分に身近な別の場所を例に調べ、授業の内容があてはまることがあるかを考える。
6 回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域①／統計データの利用** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。論文で扱われている統計にはどのようなものがあるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心のある事柄について、統計情報を探してみる。
7 回	**授業テーマ：製造業の盛んな地域②／統計データの分析** 授業内容：工業立地の基礎と、事例となる産業の特徴、戦後日本の工業発展について学ぶ。これを踏まえて改めて論文の内容を理解する。また論文で扱われている統計データを実際に分析してみる。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：6〜7 回目を通して、考えたことをまとめておく。
8 回	**授業テーマ：主題図と GIS（地理情報システム）の利用** 授業内容：主題図および、GIS による作図と分析について学ぶとともに、実際にウェブ GIS を使うなどして主題図を作成する。 事前学修 2.0hr：主題図とは何か調べてみる。 事後学修 3.0hr：主題図作成の課題に取り組む。
9 回	**授業テーマ：よい主題図について検討する** 授業内容：地図の表現にこだわり、適切でわかりやすい主題図にする工夫を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の事後学修で感じたことや考えたことをまとめる。 事後学修 3.0hr：主題図作成の課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域①** 授業内容：実証研究論文を用いて、事例地域の特徴とその変化を読みとる。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：身近なサービス業の場について、授業の内容があてはまるか異なるかを考える。
11回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域②** 授業内容：事例となる産業の、立地の基礎や産業史、近年の動向について理解する。これを踏まえて論文を精読する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：これまで学んだ事例の、産業としての違いを考える。
12回	**授業テーマ：第三次産業の盛んな地域③** 授業内容：扱う実証研究論文に関係する、発展的な知識について学ぶ。環境と人間との関わりとその変化について、より抽象的に理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：10～12 回目を通して、考えたことをまとめておく。
13回	**授業テーマ：時計の歴史①と地図・緯度・経度** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地図や特に緯度・経度との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
14回	**授業テーマ：時計の歴史②と地球・標準時・暦** 授業内容：時計の歴史をたどりながら、地球を知ることや標準時・暦との関わりについて理解する。 事前学修 2.0hr：指示された文献を読んでおく。 事後学修 2.0hr：関心を持った事柄について調べる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：全体のまとめ、試験について 事前学修 3.0hr：これまでの復習をしておく。 事後学修 3.0hr：これまでに学んだことへの理解を深める。

地理と環境

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

地理と環境(留学生クラス)では、文章、図版、データ、写真など様々な情報を統合し、様々な現代的なテーマのシステム的な理解をすることで、現実世界の諸事象の観察や洞察を行う力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：自然と人文環境の両者を理解できるような複眼的な思考ができる。

個別目標：(1) 様々なスケールごとに人と環境の関わりについて、情報を深く読み取り、課題の解決方法を理論的に表現できる。
(2) 文章、地図、図表、写真、統計データなどの資料を集め、倫理性に配慮し、活用できる。
(3) 地図、統計データ等の情報を処理し文章と統合して、内容を正確に理解する。
(4) 課題達成のために他者との協働作業を行うことができる。
(5) 地理と環境に対するシステム的な思考力を適切に評価し、計画をたて、能動的に学習し、正しく振り返ることができる。

▌履修条件

毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
manaba のコースニュースでの連絡を読む。
課題等の提出期限を守る。
使えるリソースを適切に利用する。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）50%、最終試験 50%の割合で評価する。
詳細は第 1 回授業で説明をする。

▌フィードバック方法

毎回、コメントシートで質問等を受け付ける。
課題及び試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コンセプトテスト・ピアインストラクション・コメントシート・ジグソー活動）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （地図、データなどの検索に利用する。）

▌教科書

高橋伸夫ほか　『改定新版ジオグラフィー入門』古今書院

▌参考書

授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：科目の概要、目標、評価基準、授業および課題提出などについての説明を行い、事前テストを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク・アンケート 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
2回	**授業テーマ：人間環境と人間社会** 授業内容：地形、気候などの自然環境と政治、経済活動などの社会環境との関わりを複眼的に分析する、という地理学の本質的な考え方を理解する。高知県を例にとって日本の産業構造の変化を自然条件、社会条件から分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：日本を縮める新幹線** 授業内容：日本の新幹線の延伸を年代別の地図から読み解く。時間距離という概念を理解し、新幹線の延伸の背景にある、日本の人口分布の変化、鉄道を用いた物流システムの変化などから日本経済の発展を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：分布図で見るオーストラリア** 授業内容：オーストラリアの人口分布と耕地の分布を比較する。鉱業、畜産業などの分布図と地域ごとの産業構造を比較した表を対照させてオーストラリアの自然条件と産業構造を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：選挙にみる地理学** 授業内容：衆議院総選挙結果と人口指標の推移、地域別投票率、政党別獲得議席数などから日本の政治の地域性を理解する。一票の格差、ゲリマンダー選挙区など選挙制度上の問題について考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：人々の行動を分析する** 授業内容：社会生活基本調査による生活時間の増減と男女有業者の週平均活動時間から日本人の生活活動の分析を時間の側面から把握する。それにパーソントリップ調査を加えて、子どもを持つ夫婦の生活を時間移動から分析し、日本の少子化問題を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・レポート・コンセプトマップを作成する。
7回	**授業テーマ：頭のなかの地図** 授業内容：人間が頭の中に持つ認知地図の要素、構造を理解し、いかに形成されるか、どのような要因で認知地図の歪みが生じるかを事例から理解する。認知地図がサーベイマップなのかルートマップなのかという議論を学ぶ。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
8回	**授業テーマ：地図は語る** 授業内容：縮尺、地図記号など地形図の見方の基本を学ぶ。1961 年、1970 年、1994 年の浦安市の地形図を比較し、漁師町から住宅・文教・レジャー施設を持つ海浜ニュータウン地域へと変容した浦安の都市化を理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。

9回	**授業テーマ：地形図の読み取り** 授業内容：同じ地域の年代の異なる地形図を読み取り、その地域における産業の変遷などを推測する。ジグソー活動によって、他の学習者と協力してタスクシートを完成させる。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
10回	**授業テーマ：人はいかに分布するか** 授業内容：人が居住する範囲であるエクメーネにおける人の分布を表す方法として、人口密度、一人あたり面積、人口接近度などの用語を学び、各国のデータを用いて実態を分析する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：人は移動する** 授業内容：移動者数の推移や地域ごとの人口変動のタイプから、地方の中心県が周辺県からの流入と東京への転出を行うという都市システムを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト
12回	**授業テーマ：都市の内部に構造をみる** 授業内容：都市地理学における古典的内部構造モデル、同心円地帯モデル、セクターモデル、多核心モデルを理解し、都市の内部構造が形成される要因とプロセスを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
13回	**授業テーマ：東京一極集中は進む** 授業内容：日本の地域別人口の歴史的変化から東京一極集中の背景を理解する。主要都市の経済的中枢管理機能を比較し東京にある行政的中枢管理機能の集中と首都機能移転を巡る議論を考える。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：レポート・コンセプトマップを作成する。
14回	**授業テーマ：都市は気候を変える** 授業内容：環八雲やヒートアイランドなどの現象を通して都市気候が発生する仕組みを学ぶ。人口集中によって地表面の特性が変わり、代謝熱によるエアロゾルの発生が都市気候の背景にあることを理解する。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：小テスト・コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験を行いフィードバックを行う。コース全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：リーディングタスク　テキストを読み、わからない単語を調べる。 事後学修 2.0hr：アンケート

自然環境論

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

磯田　尚子（いそだ　しょうこ）

▌授業の概要

現代社会における最も重要な課題のひとつである環境問題について、その原因や発生のメカニズムは何か、何が問題となっているか、そして解決のためにどのようなしくみを構築すべきかを学ぶ。環境法政策学をに中心として、自然保護に関する環境倫理学・環境哲学の知見をも取り入れながら、法的なしくみの現状と課題について学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：環境問題に関する法的なしくみについて、基本的な知識を習得するとともに、持続可能な社会、自然と人間の共生に向けて何が必要かを理解する。

個別目標：環境問題に関する法的な制度やしくみについて、専門用語とその内容を、自分の言葉できちんと説明し、他人に伝えることができるようになる。

▌履修条件

学問に対する誠実な姿勢を有し、自主的、積極的に学ぶ学生を歓迎する。

▌評価基準・方法

筆記試験９０%、レポートまたは授業中の発表・発言１０%を総合して成績評価を行う。
原則として、授業回数１５回のうち５分の４以上の出席を評価の前提基準とする。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、授業内で行い、筆記試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

柳憲一郎・森永由紀・磯田尚子(編著)『多元的環境問題論(増補改訂版)』(ぎょうせい)
ISBN978-4-324-08009-2

▌参考書

講義において適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、環境問題の歴史１(公害問題)** 授業内容：初めに、授業の概要・進め方と評価方法、留意事項などについて説明する。続いて、日本の公害の歴史を概観した後、戦前の公害問題の典型例である足尾鉱毒事件を取り上げ、この時代の公害問題の原因や背景を考える。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：足尾鉱毒事件について調べる。
2回	**授業テーマ：環境問題の歴史２(四大公害訴訟)** 授業内容：戦後高度経済成長期に起こった四大公害事件から学びを得るとともに、四大公害訴訟を通じて形成された法理論の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．２～２．１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：四大公害訴訟を通して形成された法理論を４つ挙げて、それぞれについて説明する。
3回	**授業テーマ：環境問題の歴史３(公害の未然防止)** 授業内容：高度経済成長後の公害裁判において課題となった公害の未然防止に関し、差止訴訟の事例を紹介しながら、裁判で用いられた論理を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．５を熟読する。 事後学修 2.0hr：受忍限度論について説明する。
4回	**授業テーマ：環境基本法の制定と環境基本計画** 授業内容：公害問題と環境問題の根本的な違いを知るとともに、環境基本法と環境基本計画の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．１．６および２．２．１を熟読する。 事後学修 2.0hr：環境基本法の特徴を述べる。
5回	**授業テーマ：環境保全手法** 授業内容：公害問題の時代から有効であった規制的手法と、環境問題の解決のために新たに導入されてきている経済的手法の２つを中心に、協定的手法、情報的・教育的手法その他を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第２章２．２．３～２．２．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：規制的手法と経済的手法を比較する。
6回	**授業テーマ：環境保全のための理念と基本原則** 授業内容：環境問題の解決のために採用されている理念や基本原則のうち、持続可能な開発/発展(SD)、汚染者負担原則(PPP)、予防原則について学ぶ。 事前学修 2.0hr：持続可能な開発/発展について調べる。 事後学修 2.0hr：環境と経済の同時達成について具体例を調べる。
7回	**授業テーマ：大気環境１(大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊)** 授業内容：大気汚染、国境を越えて被害が生ずる酸性雨、さらに地球規模で影響があるオゾン層破壊について、その発生メカニズムと影響と法的な対策を学ぶ。 事前学修 2.0hr：酸性雨とオゾン層破壊のそれぞれについて、発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：大気汚染、酸性雨、オゾン層破壊のそれぞれについて、どんな対策が取られているか説明する。
8回	**授業テーマ：大気環境２(気候変動)** 授業内容：今世紀最大の環境問題である気候変動について、その発生メカニズム、影響、法的な対策の歴史と現状(気候変動枠組条約、京都議定書、パリ協定)を学ぶ。 事前学修 2.0hr：気候変動(地球温暖化)の発生メカニズムと影響について説明する。 事後学修 2.0hr：京都議定書とパリ協定の内容を説明する。
9回	**授業テーマ：土壌環境(土壌汚染)** 授業内容：土壌汚染の特徴を理解するとともに、土壌汚染問題のタイプと対策の歴史、土壌汚染対策法の内容を意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．４を熟読する。 事後学修 2.0hr：土壌汚染対策法の内容について説明する。

10回	**授業テーマ：廃棄物１（廃棄物法制度の概要）** 授業内容：廃棄物関連の法律の全体像をつかんだ後、廃棄物処理法、資源有効利用促進法、リサイクル関連の法律の内容と意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：廃棄物処理法、リサイクル関連の法律、グリーン購入法の内容について説明する。
11回	**授業テーマ：廃棄物２（循環型社会形成に向けて）** 授業内容：リサイクル関連の法律の進展を知るとともに、循環型社会形成推進基本法で定める理念や原則を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．６を熟読する。 事後学修 2.0hr：循環型社会形成推進基本法の内容について説明する。
12回	**授業テーマ：生物環境１（自然の権利）** 授業内容：自然を原告として提訴する自然の権利訴訟について、日本の訴訟とそのモデルとなったアメリカの訴訟を通して、ある地域の開発について地域住民以外の者が法的に意見を述べることについて考えるとともに、自然に権利を付与する法政策的な意義を論じる。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．５．４及び第４章４．２．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然の権利を主張する意義について論じる。
13回	**授業テーマ：生物環境２（自然環境保全制度）** 授業内容：日本の自然環境保全のための法律４つ（自然公園法、自然環境保全法、種の保存法、鳥獣保護法）の内容を理解し、国法レベルでの自然保護手法の特徴について考える。 事前学修 2.0hr：教科書第１章１．５．３を熟読する。 事後学修 2.0hr：自然環境保全のための４つの法律に共通する考え方を論じる。
14回	**授業テーマ：生物環境３（里山の保全）** 授業内容：近年の里山保全についての政策転換と、里山保全に関する地方自治体の条例の内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：関心のある自然の保護について具体例を調べる。 事後学修 2.0hr：調べた自然保護の具体例において、どのような制度やしくみが用いられているかを調べる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：授業で関心を持った事項について、その内容と示唆をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業で関心をもった事項について、さらに調べる。

都市と生活

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中嶋　久人 (なかじま　ひさと)

▌授業の概要

20 世紀後半以降の世界は、都市化が進展し、都市的な生活が村落地域でも浸透しているようになっている。それでも、大都市の中心地域は、他地域とは違った様相を示している。本授業では、大都市の中心地域の一例として東京中心部を把握し、微視的に住民それぞれによる都市における生活の様相をとらえ、さらに巨視的に都市全体を俯瞰して経営の対象としての都市を歴史的に考察し、生活と都市という二つの契機が結びついている状況を検討したい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：それぞれの住民にとって大都市において生活することのあり方を把握し、その上で、そのような住民の生活をもとに都市全体を経営することを歴史的に検討する。このことは、学問的課題であるとと同時に、それぞれにとっての生活的課題であり、さらには都市全体の社会的課題である。この授業で学習したことをもとに、新たな学問的課題に取り組むとともに、都市で生活することの基礎知識を習得し、都市全体を経営する視点を展望することができる。

個別目標：①東京北部を主要な対象としている吉見俊哉『東京裏返し』を教科書にして、講師が「街歩き」＝フィールドワークにおいて撮影した写真や講師自身の生活体験などを交えて、都心部で生活するということについて、地理的環境や前近代の伝統などの影響もふまえて、イメージを形成することができる。

②「破壊と復興が築いた都市」「帝都・首都圏とインフラの拡大」「近代都市を生きる民衆」など七つのテーマで東京全体の近現代都市を考察した源川真希『東京史』を教科書にして、都市全体を俯瞰した都市経営を構想することができる。

③コメントペーパー作成、討論、教場レポート提出、論述試験などを通じて、論理的に自己の考え方を表現することに習熟することができる。

▌履修条件

履修条件は特にない。他用の折でもよいので「街歩き」＝フィールドワークを行い、さらに、教科書や講師の提示した参考文献に目を通すという積極的な姿勢が望まれる。

▌評価基準・方法

評価基準は、試験 60 %平常点 40 %とする。定期試験については五分の四以上の出席を条件とする。平常点は、授業中に教場にてコメントペーパーを提出してもらい、それぞれ採点し、それを中心として、授業態度なども総合して評価する。

▌フィードバック方法

授業でコメントペーパーをもとに討論を行い、それによってフィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （コメントペーパーを配布し授業中にそれをもとに討論する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

吉見俊哉『東京裏返し一社会学的街歩きガイド』(集英社新書 1033B 2020 年　980 円＋税)

源川真希『東京史一七つのテーマで巨大都市を読み解く』(ちくま新書 1727 2023 年　900 円＋税)

▌参考書

東京の地理に詳しくないものは東京の地図を持参することが望ましい。その他、教科書に挙げられている文献を中心に授業の進行に合わせて必要に応じ適宜指定する予定である。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：本授業の運営方法、講師・学生の自己紹介、教科書の概要説明** 授業内容：本授業の運営についてガイダンスを行う。講師の自己紹介の後、学生が自身の自己紹介と本授業に期待することを述べる。その後、本授業の到達目標・運営方法などを説明し、吉見『東京裏返し』と源川『東京史』について、序章にあたる部分を中心にそれぞれの概要を述べる。 事前学修 2.0hr：『東京裏返し』の「はじめに」と『東京史』の「プロローグ」を中心に目を通すこと。本授業に期待することを検討しておくこと。 事後学修 2.0hr：本日の講義内容を把握しておくこと。教科書の序章部分で挙げられた文献に目を通すこと。
2 回	**授業テーマ：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)** 授業内容：「都電荒川線に乗って東京を旅する」(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
3 回	**授業テーマ：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)** 授業内容：「秋葉原ー上野ー浅草間に路面電車を復活させる」(『東京裏返し』第二日)(『東京裏返し』第一日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
4 回	**授業テーマ：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)** 授業内容：「動物園を開放し、公園を夜のミュージアムパークに」(『東京裏返し』第三日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
5 回	**授業テーマ：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)** 授業内容：「都市にメリハリをつけながら、古い街並みを守る」(『東京裏返し』第四日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
6 回	**授業テーマ：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)** 授業内容：「都心北部で大学街としての東京を再生させる」(『東京裏返し』第五日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
7 回	**授業テーマ：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)** 授業内容：「武蔵野台地東端で世界の多様な宗教が連帯する」(『東京裏返し』第六日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。

8回	**授業テーマ：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)** 授業内容：「未来都市東京を江戸にする」(『東京裏返し』第七日)について、当該地域の写真をもとに、当該地域で生活していた講師の生活経験も交えて説明し、都市生活のイメージを形成する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること(事後でも可)。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら当該箇所をフィールドワークすること。
9回	**授業テーマ：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)** 授業内容：「破壊と復興が築いた都市」(『東京史』第１章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
10回	**授業テーマ：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)** 授業内容：「帝都・首都圏とインフラの拡大」(『東京史』第２章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
11回	**授業テーマ：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)** 授業内容：「近代都市を生きる民衆」(『東京史』第３章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
12回	**授業テーマ：「自治と政治」(『東京史』第４章)** 授業内容：「自治と政治」(『東京史』第４章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
13回	**授業テーマ：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)** 授業内容：「工業化と脱工業化のなかで」(『東京史』第５章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
14回	**授業テーマ：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)** 授業内容：「繁華街・娯楽と都市社会」(『東京史』第６章)について、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。
15回	**授業テーマ：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)** 授業内容：「高いところ低いところ」(『東京史』第７章)について、「エピローグ　東京を通して見た近現代」も含めて、『東京裏返し』の知見や講師・学生の生活経験もふまえて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書の参考文献に目を通すこと。 事後学修 2.0hr：教科書の当該箇所や、可能なら教科書・講師の提示した参考文献に目を通すこと。可能なら関係箇所をフィールドワークすること。

生活と安全

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫（かさしま　よしお）

▌授業の概要

人間が生活をしていく上で、「安全」は最も重要な要素である。しかし、その範囲はあまりに広いので、本講義では、「地球温暖化とエネルギー問題」「食糧問題」「水問題」「廃棄物問題」に焦点をあてる。国連が SDG ｓを提唱してから、世界的に注目され、最も重要でかつ解決しなければならない分野と位置づけされている問題ばかりである。これらの問題から、現代における人間社会の「安全」とは何かを考えてみる。なお、社会情勢と密接に関係している科目のため、社会情勢の変化により、講義の進行順序を入れ替えたり、内容を変更することがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人間が「生活」していくうえで、避けることのできない問題である、「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」のかかえている重要な要素を理解する。

個別目標：(1)「地球温暖化とエネルギー問題」、「食糧問題」、「水問題」、「廃棄物問題」それぞれについて、概略を説明できる。
(2)これらの問題について、どのように対応すべきか、個別に説明できる。
(3)これらの問題が身近に差し迫ったとき、どのように、人間が「安全に」生活していけるのか、その道筋を判断できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

4 回の大きなレポート(講義の振り返りを含む)で 64 点満点(16 点満点× 4 回)、講義の振り返りシート(前述の「大きなレポート」以外)が 36 点満点(4 点満点× 9 回)で、合計 100 点満点とします。レポートは、提出したからといって、「満点」が与えられるのではありませんので、くれぐれも注意のこと。レポートは、ほぼ毎回出ることになります。出席は、８０%以上が単位取得の条件となりますので、注意のこと(公欠は除く)。レポート提出は、スクリーンショットや画像ファイルでの提出は認めないので、注意のこと。

▌フィードバック方法

レポートのフィードバックは、講義または manaba で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポートは、ワードファイルで提出してもらいます。）

▌教科書

「新版(第３版)　環境の科学」中田昌宏・笠嶋義夫　著　(三共出版)

あと、必要に応じてプリントを pdf または jpeg、パワーポイントで manaba にアップします。manaba を見れるものを持参してください(講義でプリントは配布しません)。

▌参考書

「森が消えれば海も死ぬ」第 2 版　松永勝彦　著　(講談社)

「地球の限界」オーウェン・ガフニー/ヨハン・ロックストローム　著　戸田早紀　訳　(河出書房新社)

「もうコメは食えなくなるのか」鈴木宣弘　著　(講談社)

「牡蠣養殖 100 年　汽水の匂いに包まれて」畠山重篤著(株式会社マガジンランド)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと本講義の概略** 授業内容：ガイダンスで講義内容・学習方法・評価方法について解説する。その後、本講義の概略を解説し、現代社会の抱えている問題を提起する。 事前学修 2.0hr：インターネットなどで、地球上の環境問題でどんなことが起きているかをしらべてみてください。 事後学修 2.0hr：事前学修と講義を聴いたうえで、自分なりに再度環境問題について考えてみてください。
2回	**授業テーマ：地球温暖化の現況** 授業内容：地球の成り立ちから振り返り、IPCC 報告書をもとに、地球温暖化とはどのような状態であるかを説明する。 事前学修 1.5hr：地球温暖化によって、どのようなことが地球上で起こっているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
3回	**授業テーマ：パリ協定** 授業内容：温暖化対策の世界的な取り組みである「パリ協定」について、その成り立ちと中身について解説する。 事前学修 1.5hr：「京都議定書」と「パリ協定」について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
4回	**授業テーマ：原子力発電** 授業内容：地球温暖化対策の一番手といわれる「原子力発電」。その利点と欠点を探る。あわせて、福島原発の事故についてと、現況についても触れる。 事前学修 1.5hr：原子力発電のしくみと、福島原発の事故と現況について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
5回	**授業テーマ：再生可能エネルギー** 授業内容：再生可能エネルギーについて、風力発電と、太陽光発電を中心に、その原理と、先進事例について学ぶ。 事前学修 1.5hr：再生可能エネルギー導入事例として、ヨーロッパではどのようなことが行われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
6回	**授業テーマ：世界の森林問題** 授業内容：世界の森林のあり方について、アマゾンを中心に考える。あわせて、世界各地の森林保護運動にも触れる。 事前学修 1.5hr：世界各地の森林保護運動について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
7回	**授業テーマ：日本の森林問題** 授業内容：日本の森林のあり方について考える。森林が荒廃している現況、森林がどのように人類の営みに影響を与えているかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の森林は、なぜ荒廃しているのか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
8回	**授業テーマ：森永ヒ素ミルク事件** 授業内容：森永ヒ素ミルク事件が、現代社会に与えた影響を考察する。 事前学修 1.5hr：森永ヒ素ミルク事件について自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。

9回	**授業テーマ：世界の食糧問題** 授業内容：途上国では深刻な食糧問題が、世界で見ると見方が大きく変わる。その点を解説する。 事前学修 1.5hr：現在の世界の食糧事情について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
10回	**授業テーマ：日本の食糧問題** 授業内容：食料自給率が、先進国の中では最も低い日本。その食糧事情と、食品ロスについて考える。 事前学修 1.5hr：日本の食品ロスについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：水問題** 授業内容：人間が生きていくうえで最も必要なもの。日本でも世界でも、水を得るためにどのような問題点があるかを考える。 事前学修 1.5hr：日本の食料事情で、どのような問題が起こっているか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：オゾン層と紫外線** 授業内容：オゾン層がどのように「有害紫外線」から、地球上の生き物を守っているか、またオゾンホールを中心にオゾン層破壊の問題について考える。 事前学修 1.5hr：オゾン層破壊のメカニズムを、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：代替フロンの問題** 授業内容：オゾン層を破壊しないで、フロンの性質を持つ「代替フロン」。その問題点と、解決方法を探る。 事前学修 1.5hr：代替フロンについて、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
14回	**授業テーマ：廃棄物問題** 授業内容：国土が狭いゆえに抱える日本のアキレス腱。その実態と、世界と日本の新しい取り組みについて説明する。あわせて、「海洋プラスチックゴミ(マイクロプラスチック)」の問題にも触れる。 事前学修 1.5hr：日本と世界の「廃棄物」の処理方法と、有効活用について、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：日本はどうあるべきか** 授業内容：今までの講義を振り返りながら、「日本はどうあるべきか」について考える。 事前学修 1.5hr：今までの講義(１４回分)の内容を見返してみてください。 事後学修 3.0hr：講義振り返りシートの作成。

行動科学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

行動科学は、人間の行動を心理学・社会学・教育学などの学際的視点から捉え、行動の理解や変容について実証的に検討する学問です。ビジネス領域における動機づけやパフォーマンス向上、保健医療領域における健康行動の形成と維持など、日常生活や専門実践の中で幅広く応用されています。近年、AI をはじめとする情報技術の発展により、人間の行動に関する知識や説明が、あたかも容易に理解できるかのように提示される状況が生じています。理論や情報をどのように解釈し、状況や関係性の中で意味づけ、Well-being を支える行動として選択・調整していく判断は、人に求められる重要な力です。本講義では、Well-being につながる行動科学の諸理論を学び、対話や省察を通して、日常生活に活かす視点を養うことを目的とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：人間の行動にかかわる諸理論を理解し、その理論を基盤とした「人と共に、こころ豊かに生きる」ために何ができるかを考える力を涵養する。社会において、互いの多様性を尊重しあい Well-being を実現する態度とコミュニケーション（社会性・合理性・創造性）を身につける。

個別目標：1）人間の行動にかかわる諸理論を、具体的な場面や経験に即して解釈し、その有効性や限界を踏まえて説明できる。
2）様々な場面における人間の行動を、多角的な理論的視点から捉え、行動の選択や調整について考えることができる。
3）ヒューマン・スキルを、固定的な技法としてではなく、状況に応じて選択・調整する視点として理解し、日常生活に活かすことができる。
4）前向きな自己成長行動をとりながら、価値観の異なる他者と、理解や一致を急がずに関わり続けるコミュニケーションの姿勢を持つことができる。

▌履修条件

授業は、対話的にピア・エデュケーション、クリエーティブ・ラーニングの手法で行われます。
そのため、仲間と共に学習し合う姿勢が求められます。
履修者多数の場合、履修動機を基に履修者を決定しますので（最大受講人数 60 名程度）、第 1 回の講義に必ず出席してください。
また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談すること。

▌評価基準・方法

4/5 以上の出席を評価の前提条件とする。質問や発言による講義への参加度（25 %）と、学習の成果物①講義ごとの小課題（50 %）、学習の成果物②最終レポート課題（25 %）により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題に対するフィードバックは、翌週以降の講義冒頭および学修支援システム manaba を通じて全体に対して行う。理解が不十分な場合には補習を実施する。個別指導は、ワークブックへのコメントを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Thik-Group-Share　Dialogue　Reflecting-Talk）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

1）Well-being の行動科学ワークブック（￥600）
※登校日にワークブックを購入してください。購入方法は、講義内や manaba で案内します。
2）配布資料

▌参考書

授業内で、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：行動科学入門** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。 2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．人々の行動に関する多様な考え方を、身近な事例から考える。 事前学修 2.5hr：行動科学を履修する目的を 400 文字程度でまとめる（manaba で提出を求めます）。 事後学修 1.5hr：タイプ A 行動特性のチェックから、自分の行動のパターンを分析、考察する。
2回	**授業テーマ：Well-being と自己理解（エゴグラムを活用した自己理解）** 授業内容：エゴグラムのワークシートを活用し、自己理解を深める。 エゴグラム特徴と行動パターンをセルフワークで考察する。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「Well-being と自己理解」を読み、エゴグラムのチェックを実施する。 事後学修 2.0hr：エゴグラムから、自分の行動のパターンや人間関係を分析、考察する。
3回	**授業テーマ：Well-being と自己理解②（エゴグラムを活用した他者理解）** 授業内容：エゴグラム特徴と、人間関係の特徴をセルフワークで考察する。 人間関係の改善のために、どの領域を高める必要があるかを考える。 Think-Pair-Share により、自己理解・他者理解を深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第２章「Well-being のコミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、日常の非言語コミュニケーションの改善について考察する。
4回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる①　非言語コミュニケーション・アクティブ・リスニング** 授業内容：気持ちの交流に不可欠な非言語領域（表情、声、視線、姿勢と動作）について理解する。 人間関係に効果的に働く非言語について考える。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 2 章「Well-being の非言語コミュニケーション」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、非言語コミュニケーションの改善について考察する。
5回	**授業テーマ：安心できる人間関係をつくる②　沈黙と傾聴** 授業内容：「話す」と「きく」からなるコミュニケーションの半分を占めている「きく」について考える。 沈黙のゲームを通して、「きく」ことの影響力を確かめる。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック３章 「Well-being とリスニング」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：効果的な沈黙姿勢とブロッキングリストをまとめ、これまでの自分の聴き方を分析し、改善策を検討する。

6回	**授業テーマ：自己イメージとグループダイナミクス** 授業内容：自己抑制型行動特性と対人依存型行動特性の視点から、自らのコミュニケーションを振り返る。 価値交流のグループワークを体験する。 体験学習から得たコミュニケーションの気づきを、Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 1 章「1.5 パーソナリティチェック」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：ワークブックに体験から得た気づきをまとめ、自他の能力を引き出すコミュニケーションを考察する。
7回	**授業テーマ：共感の時代の Well-being** 授業内容：なぜ共感の時代なのかを考える。 共感的な聴き方を、ペアで体験する。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック第 3 章「Well-being のリスニングスキル」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：協力者を得て、共感的な聴き方を再度行ってみる。その結果や気づきをまとめる。
8回	**授業テーマ：コース前半のまとめ** 授業内容：コース前半の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。 事後学修 2.0hr：ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコース前半で学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、レポートをまとめる。
9回	**授業テーマ：Well-being のアサーション①　アサーション入門** 授業内容：自他を尊重したコミュニケーションとしてのアサーションについて知る。 自らの表現型(アサーティヴ、ノンアサーティヴ、アグレッシヴ)を、セルフチェックを通して振り返る。 アサーティヴに、「謝る」「励ます」を、ペアで体験学習し、Think-Pair-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：共感のワークを、2 名の協力者を得て復習する。
10回	**授業テーマ：Well-being のアサーション②　アサーティヴにお願いする・断る** 授業内容：アサーティヴに「お願いする・断る」ための伝え方を理解する。 アサーティヴに「お願いする・断る」をグループで体験学習し、Think-Group-Share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ワークブック 4 章 Well-being のアサーションを読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：アサーションを日常会話に取り入れ、自己観察した結果を、分析及び考察する。
11回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル①　基本姿勢とコーチング法** 授業内容：援助者コンピテンシー・セルフアセスメントを実施する。 援助の基本姿勢と行動段階ごとの支援法について理解する。 コーチングの理論を理解する。 コーチングのガイドラインを活用し、ペアで体験学習する。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てコーチングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
12回	**授業テーマ：Well-being を実現する支援スキル②　―カウンセリング法** 授業内容：カウンセリングの理論を理解する。 カウンセリングのガイドラインを活用し、ペアでカウンセリング体験をする。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 6 章 「Well-being の対人援助」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：協力者を得てカウンセリングを実施し、そのプロセスを記録し考察する。
13回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ①　対話姿勢と外在化の姿勢** 授業内容：対話と会話の違いについて理解する。 オープンダイアローグの理論と実践について理解する。 オープンダイアローグの動画をみて、モデル学習する。 気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 1.5hr：ワークブック 5 章 「Well-being のダイアローグ」を読み、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.5hr：身近な人との会話の中で、対話(ダイアローグ)の基本姿勢を試し、その結果をまとめる。
14回	**授業テーマ：Well-being のダイアローグ②　リフレクティング・トーク** 授業内容：リフレクティング・トークの理論と実践を理解する。 ガイドラインを活用し、グループでリフレクティング・トークを体験する。 体験からの気づきを Think-Pair-Share によって深める。 事前学修 2.0hr：5 章の 5.2 オープンダイアローグの講を読んで、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：リフレクティング・トークの体験を振り返り、今後どのように生かせるかを考えてまとめる。
15回	**授業テーマ：コース全体のまとめ** 授業内容：コース全体の内容を振り返る。 ポートフォリオを参照しながら、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択する。それはなぜ重要と考えたのか、今後どのように活用するのかについて、Think-group-share によって、気づきを深める。 事前学修 2.0hr：ポートフォリオに目を通し、自らがこのコースで学んだ重要なことを３つ選択し、まとめてくる。 事後学修 2.0hr：このコースでの学びの活用に関する最終課題に取り組む。

データのまとめ方

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要

各学部に設置されている統計関連の専門科目の基礎となる統計学の基礎的な考え方を学ぶ授業です。2018 年ころから GAFA による個人情報の利用が世界的に問題になっており、データの分析技術以前にデータを収集する前の段階において個人情報保護法を理解しなければならない世界になりました。そこでこの授業でも個人情報保護法の基礎的な考え方も説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：平均や標準偏差などの統計学の基礎的な知識と個人情報保護法の基礎的な考え方とプライバシー権を理解できること。
個別目標：プライバシー権と個人情報保護法の基礎的な考え方を理解できる。

▌履修条件

統計学に関心があること。

▌評価基準・方法

毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(50 %)

▌フィードバック方法

小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba は利用）

▌教科書

新井啓『プロ野球と経済　２０１８』開成出版。

▌参考書

特に指定しない。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：統計とは？** 授業内容：統計と経済の関係。統計に法律の知識が必要なのはなぜ？ 事前学修 2.0hr：教科書の 1 から 3 ページをよく読むこと。 事後学修 2.0hr：授業ノートの復習
2 回	**授業テーマ：標本と母集団** 授業内容：標本とは？　母集団とは？ 事前学修 2.0hr：教科書の 4 から 6 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 2 回目の授業ノートの復習
3 回	**授業テーマ：個人のデータと個人情報保護法。** 授業内容：個人の情報はなぜ重要なのか？　個人情報の保護はなぜ必要なのか？　フェイスブックと個人情報の経済問題。バックアップデータはどんなデータになるのか？ 事前学修 2.0hr：教科書の 7 から 8 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 3 回目の授業ノートの復習
4 回	**授業テーマ：データをどうまとめるのか？** 授業内容：データの中心の尺度とばらつきの尺度。ヒストグラム。標準偏差の意味。 事前学修 2.0hr：教科書の 9 から 11 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 4 回目の授業ノートの復習
5 回	**授業テーマ：著作権と肖像権** 授業内容：著作権とは？　YouTube を利用する際の注意点　プロスポーツ選手の肖像権 事前学修 2.0hr：教科書の 65 から 68 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 5 回目の授業ノートの復習
6 回	**授業テーマ：インターネットの利用で損害を被った場合** 授業内容：民事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 69 ページから 71 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 6 回目の授業ノートの復習
7 回	**授業テーマ：インターネットの利用で犯罪に巻き込まれてしまったら** 授業内容：刑事訴訟法の基礎 事前学修 2.0hr：教科書 67 ページから 72 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 7 回目の授業ノートの復習
8 回	**授業テーマ：個人情報保護法と憲法の基礎。** 授業内容：憲法におけるプライバシー権とは？　SNS を利用する上での表現の自由(憲法 21 条)。三権分立はなぜ必要なのか。 事前学修 2.0hr：教科書 99 ページから 100 ページ読むこと 事後学修 2.0hr：第 8 回目の授業ノートの復習
9 回	**授業テーマ：企業法の基礎** 授業内容：商法と会社法。内部統制制度と企業の情報の管理。 事前学修 2.0hr：教科書 101 ページから 103 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 9 回目の授業ノートの復習
10 回	**授業テーマ：情報法の基礎** 授業内容：モノとしての放映権の経済問題。匿名加工データと深層学習。 事前学修 2.0hr：教科書 115 ページから 118 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 10 回目の授業ノートの復習
11 回	**授業テーマ：情報刑法の基礎** 授業内容：刑法とは？　アメリカの経済とヨーロッパの経済の違い。 事前学修 2.0hr：教科書 110 ページから 113 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 11 回目の授業ノートの復習
12 回	**授業テーマ：SPI の基礎的問題** 授業内容：数学を中心にして、国語・英語・地理歴史。 事前学修 2.0hr：教科書 145 ページから 148 ページを読むこと 事後学修 2.0hr：第 12 回目の授業ノートの復習

13回	**授業テーマ：個人情報保護法と民法の基礎。** 授業内容：民法とは？　契約とは？　学籍番号は個人情報？　オプトアウトとオプトインの違い 事前学修 2.0hr：教科書 119, 135 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 13 回目の授業ノートの復習
14回	**授業テーマ：個人情報保護法と行政法の基礎。** 授業内容：行政法とは？　行政法と憲法の関係。行政機関が保有する個人情報とは？　仮名加工データ。社会福祉国家とは。 事前学修 2.0hr：教科書 86 ページから 90 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 14 回目の授業ノートの復習
15回	**授業テーマ：セイバーメトリックス** 授業内容：プロ野球と統計学の関係。日本のプロ野球のドラフト制度。収益分配制度。 事前学修 2.0hr：教科書 136, 144 ページを読むこと。 事後学修 2.0hr：第 15 回目の授業ノートの復習

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

◆数学オムニバス◆【前学期 火 3 /後学期 水 2】本授業は、数学が苦手な学生を主な対象として、数式や計算に重点を置かず、「数理的なものの見方」を学ぶことを目的とします。指数や確率、暗号、ゲーム、数の並びなど、身近で具体的な題材を用いながら、数量的に考えることや、規則性・構造を捉えることの重要性を紹介します。日常生活や社会の中で数理がどのように用いられているかを知ることで、数学が単なる計算技術ではなく、世界を理解し判断するための思考の道具であることを実感できるようにします。オムニバス形式の講義を通じて、文系学生にも数理の面白さと意義が伝わることを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：数理的な視点から物事を捉える重要性を理解し、日常生活や社会における数量的情報を適切に解釈・判断できる力を身につける。
個別目標：① 数や確率、指数的変化などの基本的な考え方を説明できる。
② グラフや数値情報の意味を読み取り、その妥当性を判断できる。
③ 簡単なルールから全体の構造を考える数理的思考を実践できる。

▌履修条件

特に前提となる知識はありませんが、原則として第 1 回から参加することを求めます。履修修正期間中であっても、授業に参加しなかった回は欠席として扱います。数学に苦手意識をもつ学生の受講を想定しています。

▌評価基準・方法

授業内で実施する課題(思考課題・小テスト・ワークシート等)を 100 %として評価します。各回の課題を通して、数理的な考え方を理解し、自分の言葉で説明しようとする姿勢および到達目標の達成度を総合的に評価します。

▌フィードバック方法

授業内課題に対するフィードバックは、授業内での解説および学修支援システム(manaba)を通じて行います。代表的な考え方や解答例を共有し、数理的な視点の整理を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数やゲーム、具体的事例を題材とした個人・グループでの思考活動、簡単なディスカッション、授業内課題への取り組みを通じて、学生の主体的な参加を促します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり（授業資料の閲覧や課題への回答に加え、ローンや複利を扱う回では、表計算ソフト(Excel)を用いて数値の変化を簡単に確認します。また、manaba を用いた小テストや課題提出にも PC を利用します。）

▌教科書

使用しません。必要な資料は授業内で配布、または manaba に掲載します。

▌参考書

特にありません。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：導入―数学と数理の違い** 授業内容：本講義の目的を説明し、数学と数理の違い、数理的に考えるとはどういうことかを概観する。評価方法や注意事項についてのガイダンスも行なう。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
2 回	**授業テーマ：指数と対数（Ⅰ）―増え方を考える** 授業内容：指数的増加の特徴を例に、直線的な変化との違いを理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
3 回	**授業テーマ：指数と対数（Ⅱ）―時間と逆算の数理** 授業内容：対数的な考え方を用いて、増加に要する時間や元に戻る過程を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
4 回	**授業テーマ：ローンと複利の数理** 授業内容：ローンを題材に、時間とお金の関係を指数的変化として捉える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
5 回	**授業テーマ：確率と直感（Ⅰ）** 授業内容：確率に関する直感的判断がどのように誤るかを具体例で考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
6 回	**授業テーマ：確率と直感（Ⅱ）―ベイズの定理** 授業内容：情報によって判断を更新する考え方を、身近な事例を通して理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
7 回	**授業テーマ：石取りゲームの数理** 授業内容：単純なゲームを通して、必勝法と数理的構造の関係を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
8 回	**授業テーマ：Conway – Coxeter frieze（Ⅰ）―数の並びの遊び** 授業内容：数を埋める規則的な遊びを体験し、数の並びの特徴を観察する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
9 回	**授業テーマ：Conway – Coxeter frieze（Ⅱ）―局所ルールと構造** 授業内容：局所的な規則から全体の構造が決まる仕組みを考察する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。

10回	**授業テーマ：暗号と数学** 授業内容：RSA 暗号を例に、解けないことが安全性を生む理由を理解する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
11回	**授業テーマ：無限という概念** 授業内容：無限の性質を例に、直感と数理の違いを考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
12回	**授業テーマ：数理モデルと予測** 授業内容：天気予報を例に、数理モデルの役割と限界を考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
13回	**授業テーマ：方程式と解の限界** 授業内容：代数方程式の歴史を通して、解ける問題と解けない問題の違いを考える。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
14回	**授業テーマ：数理と社会** 授業内容：お金、情報、リスク判断における数理の役割を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。
15回	**授業テーマ：総括―数理的に考えるとは** 授業内容：講義全体を振り返り、数理的思考の特徴と意義を整理する。 事前学修 2.0hr：授業内容に関連する問いを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返りと簡単な課題への取り組み。

数理の世界

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

◆ AI の数学◆【前学期 水 3 /後学期 木 1】
本講義は、AI・機械学習を支える最小限の数学（平均・分散・相関、回帰の考え方、確率・ロジスティック回帰の直感、ベクトル・行列の入門、微分と勾配降下の直感）を、数式を最小限に、図・比喩・軽い計算ワークで理解することを目的とします。Excel などを用いた小規模データの集計・可視化、2 × 2 行列演算、差分近似による “傾き（微分）” の体験などを通して、「AI は何をどのように計算しているか」を自分の言葉で説明できる力を養います。授業はグループワークやペア演習を取り入れ、学びのプロセスを重視していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：AI の基本的な数理発想を直感と簡単な計算で理解し、身の回りのデータや事例に適用して説明できる力を身につける。
個別目標：① 平均・分散・相関を算出し、散布図で関係性を説明できる。
② 回帰（残差・二乗和）やロジスティックの直感を言語化できる。
③ 2 × 2 行列×ベクトルの演算を行い、“変換” の意味を説明できる。
④ 差分近似を用いて “傾き” を求め、勾配降下の 1 ステップ更新を計算できる。
⑤計算結果を自分の言葉で解釈し、レポートとしてまとめられる。

▌履修条件

特に前提となる知識はありませんが、原則として第 1 回から参加することを求めます。履修修正期間中であっても、授業に参加しなかった回は欠席として扱います。中学数学の復習から始めますし、数式操作は最小限に留めるので、数学が苦手な学生でも履修可能な内容になっています。

▌評価基準・方法

平常点（ワーク提出・参加）40 %、小テスト 20 %、期末レポート 40 %。授業内課題・小テストで基礎計算と理解を確認し、レポートで概念説明と結果の解釈力を評価。出席そのものは評価対象に含めず、課題提出・発表等で学修状況を反映する。

▌フィードバック方法

小テスト・課題は学修支援システム manaba を通じて個別コメントを返却し、授業内で代表例を解説します。レポートはルーブリックに基づき評価観点（正確さ・説明の明瞭さ・解釈）を明示して返却します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回のペア/小グループ演習、ディスカッション、小規模データ分析（Excel）、簡易プレゼンテーションを実施。第 15 回はミニ発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （学生は各自 PC を持参すること。Microsoft365 と manaba を利用し、データ集計・可視化、演習提出、スライド作成を行います。授業内の小テストやアンケートでも manaba を利用します。）

▌教科書

特になし（希望者向けに易しい入門書・解説サイトを授業内で随時案内）。

▌参考書

特になし（希望者向けに易しい入門書・解説サイトを授業内で随時案内）。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス／ AI は何を “計算” しているのか** 授業内容：AI と機械学習の全体像、講義方針、評価。ミニ演習「人間が AI のふりをして分類してみる」。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、AI に関して知っていることを 100 字でメモ。 事後学修 2.0hr：身近なサービスで AI が使われていそうな例を 2 つ収集し、200 字で説明。
2 回	**授業テーマ：データの基礎：平均・中央値・分散** 授業内容：小データで平均・中央値・分散を手計算→ Excel で検算・可視化。 事前学修 2.0hr：配布データを眺め、値の範囲を確認。Excel の基本操作チュートリアル。 事後学修 2.0hr：自分の小データ（10 件）を作成し、平均・分散を算出して短い解釈を書く。
3 回	**授業テーマ：相関と散布図：関係の強さを掴む** 授業内容：共分散・相関係数の直感。散布図と相関のサイン（±）。 事前学修 2.0hr：第 2 回の自作データに第 2 変数を追加。相関の読み取り資料を読む。 事後学修 2.0hr：Excel で散布図と相関を作成し、関係を 150 字で記述。
4 回	**授業テーマ：回帰のアイデア：残差と二乗和** 授業内容：2 本の候補直線に対して残差と二乗和を比較。最小二乗の直感。 事前学修 2.0hr：回帰直線の意味の配布資料を読む。例題の散布図に手書きで線を引く。 事後学修 2.0hr：Excel で 2 本の線の残差二乗和を比較し、より良い線を説明。
5 回	**授業テーマ：分類の基本：境界線とスコア** 授業内容：2 特徴の重み付きスコア a × x1+b × x2 の計算で正負分類を体験。 事前学修 2.0hr：メール分類の例を読み、特徴を 2 つ考えてくる。 事後学修 2.0hr：配布データでしきい値を変えたときの誤判定例を記述。
6 回	**授業テーマ：ロジスティックの直感：S 字で “確率” を表す** 授業内容：0 ～ 1 の確率解釈。S 字カーブを Excel で描き、閾値と確率の関係を確認。 事前学修 2.0hr：確率の基礎メモ（0 ～ 1 の意味）を作成（1.0h）。テンプレ Excel に数値入力。 事後学修 2.0hr：2 つのしきい値の違いを図と 100 字で説明。
7 回	**授業テーマ：ベクトルと行列：2 × 2 の変換を体験** 授業内容：ベクトルは “並んだ数”、行列は “変換の装置”。2 × 2 × (2 × 1) の手計算、拡大・回転の直感化。 事前学修 2.0hr：配布の行列入門を読む（1.0h）。例題の計算を 1 問試す。 事後学修 2.0hr：与えられた 2 × 2 行列 2 種をデータ点に適用し、変換前後を散布図で比較。
8 回	**授業テーマ：ニューラルネット①：ニューロンの計算** 授業内容：$z=w\cdot x+b$ と ReLU の手計算。小さなネットの入出力を追う。 事前学修 2.0hr：記号の意味（w,b,x,z）を 30 字ずつ要約。例題の前半を手計算。 事後学修 2.0hr：同型の別パラメータで出力を再計算し、違いを説明。
9 回	**授業テーマ：ニューラルネット②：重みが変わると何が起こるか** 授業内容：重み更新のイメージ。活性化後の影響を可視化し、出力変化を議論。 事前学修 2.0hr：第 8 回のネットに小さな変更を加えて出力を予想。確認用計算。 事後学修 2.0hr：出力変化と “意味” を図と文章で報告。

10回	**授業テーマ：微分の直感：差分で “傾き” を読む** 授業内容：$f(x)=x^2$ の差分近似で傾きを求める。傾きの符号と “進む向き”。 事前学修 2.0hr：差分近似の例を読んで $\Delta y/\Delta x$ を 2 点で計算。 事後学修 2.0hr：別関数 x^2+3x の 2 点で傾きを試算。
11回	**授業テーマ：最適化：勾配降下の 1 ステップ** 授業内容：$E(x)=x^2+3x$、η を指定して $x \to x-\eta\cdot(\Delta E/\Delta x)$ を 1 ～ 2 ステップ。Excel で軌跡を可視化。 事前学修 2.0hr：テンプレ Excel のセル式を確認。$E(x)$ のグラフを概形でスケッチ。 事後学修 2.0hr：初期値・η を変えて比較グラフを作り、200 字で解釈。
12回	**授業テーマ：類似度の数学：コサイン類似度(2 次元で手計算)** 授業内容：内積・長さの直感。2 次元ベクトルで cos θ を算出し、似ている／違うを説明。 事前学修 2.0hr：2 組の 2 次元ベクトルを自作。内積と長さの復習。 事後学修 2.0hr：文書ベクトルの簡易例で “似ている度” を説明。
13回	**授業テーマ：モデルを読み解く：特徴量重要度の基礎** 授業内容：簡易決定木の分岐を手で辿り、効いている特徴を解釈。 事前学修 2.0hr：配布の分岐図を追って結果を予想。用語確認。 事後学修 2.0hr：別ケースで “どの特徴が効いたか” を 100 字で説明。
14回	**授業テーマ：AI と社会：指標で考える公平性** 授業内容：適合率・再現率・誤判定率などを小データで計算し、社会的影響を議論。 事前学修 2.0hr：指標の定義表をまとめる。例題の予測結果表を読む。 事後学修 2.0hr：指標のトレードオフを 150 字で記述。
15回	**授業テーマ：まとめ・ミニ発表会** 授業内容：各自 3 ～ 5 分発表(例：コサイン類似度／勾配降下の比較結果など)、総括。 事前学修 2.0hr：スライド作成(PowerPoint)(2.0h)。原稿練習。 事後学修 2.0hr：学修振り返りシートの提出。返却と講評は学修支援システムで実施。

身近な物理

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では、私たちの身のまわりで起こっているさまざまな現象を題材にして、物理学が自然をどのように理解しているのかを学びます。力学、熱、波、電気・磁気といった古典物理学の基本的な分野を取り上げ、日常生活や身近な技術と結び付けながら説明します。数式の計算を目的とした授業ではありませんが（計算はほとんどしません）、物理学が自然現象を数式という簡潔な言語で表現する学問であることを大切にします。数式を現象どうしの関係を表す表現として読み取り、物理学ならではのものの見方に親しむことを目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：身近な物理現象について物理学の基本的な考え方を用いて理解し、自然現象が数式によってどのように表現・整理されているかを説明できるようになる。

個別目標：① 日常生活で経験する運動、熱、音や光、電気に関する現象について、物理学的な視点から説明できる。
② 力学、熱力学、波動、電磁気学における基本的な数式が、どのような現象の関係を表しているかを言葉で説明できる。
③ 数式による表現が、曖昧な理解を整理し、異なる現象を統一的に捉えるために用いられていることを理解する。
④ 物理学の考え方を通して、身近な出来事や技術に対する見方がどのように変化したかを、自身の言葉で振り返ることができる。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに行う小テスト（計算はしません）および記述課題の合計得点のみで評価します。定期試験は実施しません。
評価にあたっては、物理現象に対する理解度や、数式が表している関係を言葉で説明できているかといった観点を重視します。

▌フィードバック方法

課題や小テストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行います。必要に応じて授業内で代表的な回答を取り上げ、考え方の整理や補足説明を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （身近な物理現象に関する問いについて個人で考え、簡単な記述や意見共有を行う活動を取り入れます。また、数式が表している現象の関係を日本語で説明する課題を通じて、主体的な理解を促します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、簡単な小テストやアンケートへの回答、記述課題の作成および提出に PC を使用します。）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

朝永振一郎「物理学とは何だろうか 上下」（岩波新書）
西成活裕「東大の先生！　文系の私に超わかりやすく物理を教えてください！」（かんき出版）
鎌田浩毅・米田誠「一生モノの物理学―文系でもわかるビジネスに効く教養」（祥伝社）
松尾泰監修「東京大学の先生伝授　文系のためのめっちゃやさしい物理」（株式会社ニュートンプレス）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：物理学は何をしている学問か** 授業内容：講義全体の構成と評価方法を説明し、物理学が自然現象を数式で表現する学問であることを身近な例を用いて紹介する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、身のまわりの不思議な現象を一つ考えておく。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された現象や人物について調べる。
2 回	**授業テーマ：力学① 位置・時間・速さ** 授業内容：運動を表す基本量を整理し、速さを表す数式の意味を日本語で読み取る。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、日常の移動の例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、数式が何を表しているか整理する。
3 回	**授業テーマ：力学② 速さが変わる運動** 授業内容：速さが変化する運動を題材に、加速度の概念を整理した上で、運動方程式を紹介する。数式を計算に用いるのではなく、力・質量・運動の変化の関係を表す自然界の基本的なルールとして理解する。 事前学修 2.0hr：身近な「だんだん速くなる」例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内課題の復習を行う。
4 回	**授業テーマ：力学③ 円運動と見かけの力** 授業内容：円運動を例に、力を用いた運動の記述と遠心力の考え方を整理する。 事前学修 2.0hr：回転する遊具や乗り物の例を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を言葉でまとめる。
5 回	**授業テーマ：力学④ エネルギーの考え方** 授業内容：仕事とエネルギー、保存則の考え方を導入し、数式が果たす役割を理解する。 事前学修 2.0hr：エネルギーという言葉の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：保存則の意味を整理する。
6 回	**授業テーマ：熱力学① 熱と温度** 授業内容：雲の発生やエアコンを例に、熱と温度の違いを整理し、熱力学の対象を理解する。 事前学修 2.0hr：身近な温度変化の例を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容の要点をまとめる。
7 回	**授業テーマ：熱力学② 熱とエネルギー保存** 授業内容：熱力学第一法則を通して、熱も含めたエネルギーが保存されることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：エネルギー保存の例を調べる。 事後学修 2.0hr：数式が示す関係を言葉で説明する。
8 回	**授業テーマ：熱力学③ 熱力学第二法則と時間の向き** 授業内容：エアコンが万能でない理由を手がかりに、熱現象の不可逆性を考える。 事前学修 2.0hr：関連する身近な現象を調べる。 事後学修 2.0hr：仕組みを文章で説明する。

9回	**授業テーマ：波① 波を表す量** 授業内容：波を特徴づける量と、それらを結び付ける数式の意味を理解する。 事前学修 2.0hr：音や水面波の例を考える。 事後学修 2.0hr：数式の読み取りを整理する。
10回	**授業テーマ：波② 重ね合わせの原理** 授業内容：ノイズキャンセリングを例に、波の重ね合わせを説明する。 事前学修 2.0hr：音に関する技術を調べる。 事後学修 2.0hr：現象を言葉でまとめる。
11回	**授業テーマ：波③ 媒質と観測条件による見え方の違い** 授業内容：媒質によって波の伝わり方が変わる屈折・散乱と、観測者の運動で聞こえ方が変わるドップラー効果を比較する。 事前学修 2.0hr：身近な光の現象やドップラー効果を探してみる。 事後学修 2.0hr：授業内容を整理する。
12回	**授業テーマ：電磁気① 電気の歴史** 授業内容：電気と磁気の発見の歴史を通して、法則が数式化される過程を学ぶ。 事前学修 2.0hr：電気に関する歴史的出来事を調べる。 事後学修 2.0hr：数式化の意義を考える。
13回	**授業テーマ：電磁気② 電場と磁場** 授業内容：電場・磁場の考え方を導入し、見えない量を表す数式の役割を理解する。 事前学修 2.0hr：磁石や電気製品の例を調べる。 事後学修 2.0hr：概念を言葉で整理する。
14回	**授業テーマ：電磁気③ 電磁気の応用** 授業内容：モーターや発電機などの応用を通して、法則と技術の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：身近な電気機器を調べる。 事後学修 2.0hr：仕組みを文章で説明する。
15回	**授業テーマ：身近な物理の総まとめ** 授業内容：これまでの内容を振り返り、共通する考え方や数式の役割を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの資料を読み返す。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを作成する。

現代物理のはなし

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

この講義では、相対性理論と量子力学を中心に、私たちの日常的な感覚や直感とは大きく異なる自然の姿について学びます。時間や空間が絶対的ではないことや、物理量が確定した値ではなく確率として扱われることなど、古典物理学では想定されていなかった考え方を、具体例や歴史的背景とともに紹介します。数式の計算は行いませんが、現代物理学が自然を数式で厳密に記述している学問であることを重視し、数式を世界のルールを表す表現として理解することを目標とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：相対性理論および量子力学の基本的な考え方を理解し、私たちの直感とは異なる自然のルールが、数式によってどのように表現されているかを説明できるようになる。

個別目標：① 相対性理論に基づき、時間や空間が観測者や状況によって異なる振る舞いを示すことを説明できる。
② 双子のパラドックスや膨張宇宙論などの具体例を通して、相対論的世界観の特徴を言葉で説明できる。
③ 量子力学において、物理量が確定値ではなく確率として扱われる理由を説明できる。
④ 数式が現代物理において、直感に反する世界のルールを明確に表現する役割を果たしていることを理解する。
⑤ 現代物理学が、現代社会の科学技術や私たちの世界観に与えている影響を振り返り、自身の言葉で表現できる。

▌履修条件

1 回目の授業から参加すること。なお、履修変更（補正）で 1，2 回目の授業に出ていない場合の調整はしません（単純に欠席になります）。

▌評価基準・方法

授業ごとに行う小テスト（計算はしません) および記述課題の合計得点のみで評価します。定期試験は実施しません。
評価にあたっては、相対性理論や量子力学の概念を理解し、数式が表している物理的意味を言葉で説明できているかを重視します。

▌フィードバック方法

課題や小テストのフィードバックは、学修支援システム manaba を通じて行います。必要に応じて授業内で代表的な回答を取り上げ、考え方の整理や補足説明を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （直感に反する物理現象について個人で考え、簡単な記述や意見共有を行う活動を取り入れます。また、数式が示す物理的意味を日本語で説明する課題を通じて、主体的な理解を促していきます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業資料の閲覧、簡単な小テストやアンケートへの回答、記述課題の作成および提出に PC を使用します。）

▌教科書

特定の教科書は使いません。

▌参考書

ウォルター・ルーウィン「これが物理学だ！」（文藝春秋）
松尾泰（監修）「文系のためのめっちゃやさしい量子論」（ニュートンプレス）
ヨビノリたくみ「難しい数式はまったくわかりませんが、相対性理論を教えてください! 」（SB クリエイティブ）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：現代物理はなぜ必要か** 授業内容：古典物理学の成功と限界を概観し、現代物理学が必要になった背景を説明する。合わせて、受講に際しての注意事項や成績評価方法の説明もする。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおく。相対性理論や量子力学について、ネット等で調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、疑問点を整理する。
2 回	**授業テーマ：光速という特別な速さ** 授業内容：光速測定の歴史を通して、光速が特別な意味を持つ理由を解説する。 事前学修 2.0hr：光に関する身近な例を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を文章でまとめる。
3 回	**授業テーマ：同時性の崩壊** 授業内容：「同じ瞬間」が観測者によって異なることを説明し、時間の相対性を理解する。 事前学修 2.0hr：同時という言葉の意味を考える。 事後学修 2.0hr：相対論的な時間観を整理する。
4 回	**授業テーマ：時間の遅れ・空間の収縮** 授業内容：双子のパラドックスを題材に、時間と空間が切り離せないことを説明し、時空という考えを導入する。 事前学修 2.0hr：双子のパラドックスについて調べる。 事後学修 2.0hr：相対論的世界観をまとめる。
5 回	**授業テーマ：質量とエネルギーの等価性** 授業内容：$E=mc^2$ という数式を通して、質量とエネルギーが等価であるという考え方を説明する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
6 回	**授業テーマ：重力とは何か？** 授業内容：一般相対性理論の基本的な考え方を紹介し、重力が力ではなく時空の幾何として理解されることを説明する。重力による時間の遅れなどの例を通して世界観の変化を確認する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
7 回	**授業テーマ：ブラックホールと膨張する宇宙** 授業内容：一般相対性理論から導かれる現象である、ブラックホール、膨張宇宙論、重力波観測について解説する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題（小テスト・レポート）を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
8 回	**授業テーマ：量子の誕生** 授業内容：黒体輻射や光電効果を通して、量子概念の誕生を説明する。 事前学修 2.0hr：量子という言葉の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：古典物理学との違いを整理する。

9回	**授業テーマ：粒子でもあり波でもある何か** 授業内容：二重スリット実験を通して、波動粒子二重性を解説する。 事前学修 2.0hr：干渉現象の例を探す。 事後学修 2.0hr：結果の意味を文章でまとめる。
10回	**授業テーマ：状態という考え方** 授業内容：量子力学における「状態」の考え方を導入し、物理量が確定値ではなく可能性として扱われることを説明する。 事前学修 2.0hr：manaba の授業資料ページに掲載されたプリントを使って、授業内容を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で実施した理解確認のための課題(小テスト・レポート)を復習し、次回の授業前実施の「復習テスト」に備える。
11回	**授業テーマ：確率が基本になる世界** 授業内容：量子力学における確率の扱いを取り上げる。確率が基本原理として組み込まれている点を強調する。 事前学修 2.0hr：確率の使われ方を調べる。 事後学修 2.0hr：量子力学的確率を整理する。
12回	**授業テーマ：不確定性原理** 授業内容：測定と物理量の関係を通して、不確定性原理を理解する。 事前学修 2.0hr：測定とは何かを考える。 事後学修 2.0hr：決定論との違いを整理する。
13回	**授業テーマ：重ね合わせと観測問題** 授業内容：重ね合わせの概念と観測問題を紹介し、量子論の解釈に触れる。 事前学修 2.0hr：観測という行為について考える。 事後学修 2.0hr：解釈の違いを整理する。
14回	**授業テーマ：量子力学が作る現代社会** 授業内容：半導体やレーザー、量子コンピューターなどの例を通して、量子力学の応用を解説する。 事前学修 2.0hr：量子技術の例を調べる。 事後学修 2.0hr：理論と技術の関係をまとめる。
15回	**授業テーマ：現代物理が示す世界像** 授業内容：相対性理論と量子力学を総括し、直感とは異なる世界像を整理する。 事前学修 2.0hr：これまでの資料を読み返す。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを作成する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

藤井　大輔（ふじい　だいすけ）

▌授業の概要

私たちの身の回りには、自然界で産出された物質や、人工的につくられた物質が数多く存在し私たちの生活と密接に結びついています。
本講義は、身の回りにある物質の性質に着目し様々な現象が発現する原理を物理的化学的に捉えるなど、現代を生きるために大切な科学知識を習得し、自らの生活において課題発見・解決を行う力を高めることを目的とします。
日常に着目するなかで様々な科学の法則や構造にも簡単に触れますが高校での化学の履修の有無は問いません。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：化学の面白さや重要性を知り、化学と現代社会の関係を理解するとともに、日常を科学的に見る目を養うなど科学リテラシーを身につける。
個別目標：①様々な物質の性質を理解しこれまでの技術の進歩とこれからの発展について大観できることができる。
②身の回りの現象について科学的に説明することができる。
③科学事象を自らの言葉で表現できるようになるなど、実社会の様々な場面で多面的なものの見方ができるようになり課題解決に必要な基礎力を身に付けることができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

manaba を活用したアンケート、小テスト（５０%）やレポート（５０%）授業への参加度（授業中に使用する教材ペーパーの完成提出　割合は小テストに含む）等を総合評価する。

▌フィードバック方法

アンケート、小テスト、レポート等のフィードバックは、学修支援システム manabu を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク、講義の度に行う小テストの提出）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （個人所要のスマートフォンや PC（小テストや教材ペーパー等はワードで提出））

▌教科書

使用しない（毎回パワーポイントファイルを用意します。）

▌参考書

特になし　ただし高校で使用した理科・専門（化学関係）の教科書がある場合は適宜参考にしてください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、科学技術の進歩について考えてみよう** 授業内容：講義の内容、評価方法について解説する。 科学と人間生活をテーマに科学技術全般について、その始まりから今後の活用について概説する。 事前学修 2.0hr：興味がある身の回りの化学現象について調べる。 事後学修 2.0hr：興味を持った化学現象が発現する原因を予測する。
2回	**授業テーマ：水について考えてみよう** 授業内容：水は人体を構成する主な成分です。水の構造や性質を知り、水がもたらす様々な現象の要因について理解する。 キーワード　分子構造、電気陰性度、水素結合、状態変化、浸透圧　超臨界流体、過熱水蒸気、硬水・軟水 事前学修 1.5hr：水について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
3回	**授業テーマ：発酵について考えてみよう** 授業内容：微生物の力を借りて製造する発酵食品について理解する。 キーワード 微生物の役割　アルコール発酵　酒の種類、味噌や醤油の製造 事前学修 1.5hr：発酵について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
4回	**授業テーマ：色と光の科学** 授業内容：色の見え方や化学反応における発色について理解する。 キーワード　光の 3 原則、波長、炎色反応、生物発光 事前学修 1.5hr：色について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
5回	**授業テーマ：栄養の化学について考えてみよう** 授業内容：私たちの体を作り健康を維持するために必要な５代栄養素が体の中でどのような役割を果たしているか理解する。 キーワード　炭水化物、タンパク質　必須アミノ酸　クエン酸回路　酵素 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
6回	**授業テーマ：薬と毒について考えてみよう** 授業内容：薬の効能と作用の仕方を理解する。また毒の特性を理解し日常生活における安全にむけた態度を養う。 キーワード　薬剤、ペニシリン、抗生物質、ウイルス、自然毒 事前学修 1.5hr：栄養素について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
7回	**授業テーマ：衣類で使われている様々な繊維の性質について考えてみよう** 授業内容：繊維には天然繊維と化学繊維がある。それぞれの特性を理解し繊維製品の上手な利用方法や管理方法について理解する。 キーワード　天然繊維　合成繊維　炭素繊維　機能性繊維 事前学修 1.5hr：衣類に使われている繊維について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
8回	**授業テーマ：衣類の汚れはどのように落とすのか考えてみよう** 授業内容：洗剤の分子構造や汚れが落ちるメカニズムを知り効率的に汚れを取り除く方法を理解する。 キーワード　石鹸　界面活性剤　疎水性　親水性　ミセル　漂白剤　コロナ　消せるボールペン 事前学修 1.5hr：汚れについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。

9回	**授業テーマ：日用品に使われている化学のしくみをについて考えてみよう** 授業内容：普段何気なく使用している電化製品に着目してどのような原理が応用されているのか理解する。 キーワード　カイロ　冷蔵庫　ヒートポンプ　調湿　液晶　電子レンジ　オーブン 事前学修 1.5hr：日用品に使われている化学の仕組みについて知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
10回	**授業テーマ：金属の特徴を知り、産業における利用状況を考えてみよう** 授業内容：鉄や銅の性質を知り使用に係る時代変遷を理解する。 キーワード　鉄　銅　さび　合金　めっき 事前学修 1.5hr：金属について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
11回	**授業テーマ：石油からつくられる物質について考えてみよう** 授業内容：プラスチック製品は人間の生活を豊かにしてきたが、昨今は環境汚染問題にも言及されている。プラスチックの製法や種類、リサイクルについて理解する。 キーワード　石油　分留　熱可塑性樹脂　熱硬化性樹脂　マイクロプラスチック　接着剤 事前学修 1.5hr：石油から作られる物質について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
12回	**授業テーマ：生活に必要なエネルギー源の変遷について考えてみよう** 授業内容：人間が生きていくために必要なエネルギーの活用の変遷とその性質について理解し、今後の望ましいエネルギー利用について考える。 キーワード　石炭　石油　天然ガス　原子力発電　太陽光発電　電気　電池 事前学修 1.5hr：エネルギー源の変遷について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
13回	**授業テーマ：地球環境について考えてみよう** 授業内容：大気成分の変化と人間生活に着目し地球環境について考える。 キーワード　大気成分　二酸化炭素　フロン　オゾン層　酸性雨 事前学修 1.5hr：地球環境について知っていることをまとめる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートを作成する。
14回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**① 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：他の人の発表を聞き自分の発表にいかす。
15回	**授業テーマ：興味を持った身近な科学現象やそれが発現する原理について調べレポートする。**② 授業内容：４月から７月において話題になったことや、今後、発展が予想される技術等について自ら調べた内容をレポートする。 事前学修 3.0hr：題材を決める。 事後学修 1.0hr：授業全体の振り返りシートを作成する。

身近な化学

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

笠嶋　義夫（かさしま　よしお）

▌授業の概要

本講義は、身近にある化学物質を通して、化学の成り立ち、化学の基礎知識、化学物質の応用例を学ぶとともに、「科学」の発展がいかなるものであったかを、「化学」を通して理解することを目的とする。文系の学生のみなさんにも、わかりやすいように、そこは意識して解説するつもりです。この講義では、化学の基本的な原理や、技術が生まれた背景、歴史的流れなどを中心に扱いますので、「元素記号を覚える」「化学反応式をつくる」というようなことはやりません。なお、講義の進行や社会情勢により、講義の順番を入れ替えることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：「化学」を通して、社会の発展や現代の生活において、「科学」がどのような役割を担ってきたかを理解する。
個別目標：(1)「化学」が身近な生活にとって必要不可欠なものであることを、実例を挙げて説明することができる。
(2)「化学」の発展が、人間生活と密接につながってきたことを、実例により説明することができる。
(3) 「化学」を通して、「科学」と「人間生活」とのかかわりを説明することが出来る。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

2 回の大きなレポート(20 点満点レポート 1 回、10 点満点レポート 1 回)と、毎回課す講義の振り返りシート(5 点× 14 回＝ 70 点満点)で、合計 100 点満点として評価を行います。なお、すべてのレポートは、評価をつけます。提出したからといって、「満点」とは限りませんので、くれぐれも注意すること。この講義は、８０%以上の出席がないと、単位は出ませんので注意のこと(公欠は除く)。また、レポートの提出は、スクリーンショットや画像ファイルでの提出は認めませんので、注意のこと。

▌フィードバック方法

フィードバックは、manaba の評価欄または講義で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （講義の振り返りシートの提出とそのフィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （講義の振り返りシートは、ワードで提出してもらいます。）

▌教科書

初回以外は、jpeg または pdf、パワーポイントファイルを用意します。manaba にアップしますので、manaba が見れるものを用意してください(講義でプリントは配布しませんので、注意のこと)。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：この講義の内容、進め方、評価方法について解説する。あわせて、「化学」の持つイメージを確認する。 事前学修 3.0hr：「化学」が身近に使われている事例を自分なりに調べてみてください。 事後学修 1.0hr：講義を聴いて、事前学修で調べた内容が正しかったか、検証してみてください。
2 回	**授業テーマ：プルシアンブルー** 授業内容：プルシアンブルーは、「世界で最初に開発された顔料」であるが、これがどのような変遷を経て現代にあるか、また現代での利用法などについて解説する。 事前学修 1.5hr：「プルシアンブルー」とは何かを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
3 回	**授業テーマ：色** 授業内容：色の見え方には発光と補色の 2 通りがある。まず、この違いと、仕組みを学習し、ヒト以外の動物の色の認識、植物の色の認識を学習し、あわせて前回の講義とのつながりを考える。 事前学修 1.5hr：「色」の見え方を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
4 回	**授業テーマ：花火** 授業内容：化学の技術の「粋」といわれる花火。その原理と構造、歴史的流れについて解説する。 事前学修 1.5hr：打ち上げ花火の構造を自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
5 回	**授業テーマ：古伊万里** 授業内容：日本における窯業の大きな変遷期の一つが、江戸時代の古伊万里の誕生である。窯業のそれまでの流れをみるとともに、古伊万里の製法と化学の関係について探る。 事前学修 1.5hr：「磁器」はどのようにつくられるかを自分なりに調べてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
6 回	**授業テーマ：ファインセラミックス** 授業内容：現代の最先端で使われているセラミックとはどのようなものか、その製法と、前回の講義の古伊万里の製法との関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：「ファインセラミックス」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
7 回	**授業テーマ：イベルメクチン** 授業内容：抗寄生虫薬である、イベルメクチンの開発の流れと、現代社会に与えたインパクトについて解説する。 事前学修 1.5hr：「イベルメクチン」とはどういう薬か、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
8 回	**授業テーマ：接着剤** 授業内容：現代社会では、もはや必須のものとなった接着剤。「ものがくっつく原理」と、接着剤の用途、接着剤がもたらした技術革新について解説する。 事前学修 1.5hr：「でんぷん」とはどのようなものか、自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
9 回	**授業テーマ：カロザース** 授業内容：ナイロンと、合成ゴムを開発した、ウォーレス・カロザースの偉業について考えてみる。 事前学修 1.5hr：「ナイロン」はどのように発明されたかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

10回	**授業テーマ：ダイヤモンド** 授業内容：天然から人工まで、宝飾用から産業用まで、発見の過程と意外な用途まで探る。 事前学修 1.5hr：「ダイヤモンド」はなぜきらきら光るのかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
11回	**授業テーマ：ルビーとサファイア** 授業内容：ルビーとサファイアは、どこが同じで、どこが違うのか、を探るとともに、工業用用途についても考えてみる。 事前学修 1.5hr：サファイアとルビーの違いを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
12回	**授業テーマ：炭素繊維** 授業内容：炭素繊維の開発過程について学ぶとともに、炭素繊維が現代社会にどのような影響を及ぼしたかを考えてみる。 事前学修 1.5hr：炭素繊維はどこに使われているかを自分なりに調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
13回	**授業テーマ：でんぷん(1)でんぷんの種類** 授業内容：でんぷんの種類と、その用途(食品用から、他の用途まで)について解説する。 事前学修 1.5hr：でんぷんの種類について、自分なりに調べてみる。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成
14回	**授業テーマ：でんぷん(2)「コメとでんぷん」** 授業内容：「コメ」を炊く過程でどのようにでんぷんが変化するか、でんぷんの種類の違いでコメの食味にどのような変化を与えるか、など、コメとでんぷんの関係について、考察する。 事前学修 1.5hr：コメの中に含まれているでんぷんについて調べておくこと。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。
15回	**授業テーマ：リチウムイオン電池** 授業内容：現代において、最も必要とされている 2 次電池の代表格。その原理と応用、そして問題点について考えてみる。 事前学修 1.5hr：リチウムイオン電池がどのようなところに使われているかを調べてみてください。 事後学修 2.5hr：講義の振り返りシートの作成。

科学技術と社会

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

遠藤　信一（えんどう　しんいち）

▌授業の概要

本科目は，科学技術と社会との関わりをテーマとするが，様々な社会課題の解決に立ち向かえるようにするために，解決すべき目標を設定できること，必要な情報を収集し，加工できることなどを目指す。問題解決にあたっては，建学の精神を問題解決学習の柱と捉え，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びを前提としながら，加重平均法の手法を採り入れ，他人を説得できるレベルに到達してもらいたい。それゆえ「プレゼンテーションスキルを高めたい」，「どうやって情報収集すれば良いのかわからない」といった悩みを持つ学生諸君のニーズに応えたいと思う。自分のプレゼン力，問題解決力をつけたい諸君を歓迎する。プレゼンは場数を踏むことが重要なので，3 回の制作・発表を必須とする。なお，例年月曜日の履修者が少なく火曜日に集中している（1：5）。月曜日に受講可能な場合は月曜日を選んで欲しい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：社会課題をどの側面から斬っていくのか，建学の精神を道しるべとして，問題解決の方法や手順を身につける。中でも，学修の基礎Ⅰ やⅢ b での学びに基づくデータの利活用は必須と考えている。
また，この授業では，科学技術と社会との関わりに注目し，プレゼンテーションスライドを作成し，発表できるようにする。各自が作成，発表の双方を行うことを必須とする (合理的配慮申請がある場合を除く)。

個別目標：①建学の精神を問題解決学習の柱とすることができる
②課題を自ら発見し，情報を分析し，解決の道筋を考えることができる
③主権者に必要な情報活用能力を身につける
④情報モラル，技術者倫理，企業倫理などについて理解している
⑤他人を説得するために必要なプレゼンテーション作成や発表ができる

▌履修条件

建学の精神に基づいて，プレゼンテーションスキルや問題解決能力を高めたいと考えていること
授業に出席し，発表，ファイルの提出などが出来ること
出席確認は，スマートフォンによる出席確認と授業後半での点呼の 2 回を予定している。

▌評価基準・方法

【評価基準】
1，授業内で指示する「Worksheet」(提出および内容)：5 点× 6 回
2，協働学習によるプレゼンテーションスライドの作成および提出：30 %
3，プレゼンテーションの発表(発表態度など)：40 %
※プレゼンテーションスライドのファイル提出を最終課題の提出とします
※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。

▌フィードバック方法

課題に対し全体に対する講評，発表など協働学習に対する授業時間内での講評，manaba のコンテンツへの掲載など

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （協働学習による発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンスライドの作成などに PC を使用）

▌教科書

指定しない
授業ごとに資料を提示

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　本授業の進め方** 授業内容：この授業の目的，授業方法・課題・評価について説明する。 建学の精神に基づいた明海大学独自の問題解決の手順について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み，授業全体の流れを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
2 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(１)心理学的アプローチ** 授業内容：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」などのジレンマ問題について考える。 事前学修 2.0hr：「ハインツのジレンマ」や「カルディアネスの板」について検索する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
3 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(2)功利主義からのアプローチ** 授業内容：功利主義の考え方について学び，得をすることが人間にとって最も大切なことなのか，考える。 事前学修 2.0hr：功利主義について予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。
4 回	**授業テーマ：脳に汗をかく(3)データを読む　情報を利用しない弁当屋が潰れる理由** 授業内容：平均 150 個売れる弁当屋が「今日は晴れて行楽日和だから 200 個作る」ということを繰り返していたら潰れてしまった。「間口を広げたら味が落ちた」とはどういうことなのか，その仕組みについてデータ解析の観点から考える。 事前学修 2.0hr：平均と何がわかれば売れる数を予測出来るのか，考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
5 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(1)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：プレゼンテーションの基礎を学び，自分たちが薦めるものの順位を合理的につける。そのための手法を示した上で協働学習を行う。 また，加重平均法について学び，学修の基礎よりワンランク上の比較方法を身につける。 事前学修 2.0hr：グループを作っておく。また，ランキングをつけたいことを選んでおく。 事後学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させる。
6 回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(2)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドで使用するデータを収集。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドを完成させる。

7回	**授業テーマ：プレゼンテーションの基礎(3)明海大学独自の問題解決方法** 授業内容：(1)のスライドに基づき，発表する。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ送信する。ファイルを提出する。
8回	**授業テーマ：企業人として必要な説得力　説明の理解と説得の違い** 授業内容：他人を説得することについて考える。どのような説得方法があるのか，データを示す必要はないのか，『今日の昼ご飯に何を食べるべきか』を説得出来る材料を用意し，受講者を説得する。 事前学修 2.0hr：他人を説得し，賛同してもらうには何が必要か，考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントをまとめる。
9回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(1)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：国際交流では，エネルギー環境分野を交流テーマとする場合が多い。そのために必要なわが国の電力事情や東南アジアの電力事情について学ぶ。 事前学修 2.0hr：わが国の電力事情について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，学修ポイントを復習する。
10回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(2)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：東南アジアの学校との交流を念頭に，お勧めする発電方法について提案するため，プレゼンテーションスライドの作成に着手する。 事前学修 3.0hr：プレゼンのテーマを考えておく。グループを作っておく。 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションスライドの作成。
11回	**授業テーマ：科学技術からの国際交流(3)明海大学独自の問題解決方法の実践** 授業内容：(2)について，発表を行う。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：発表のためのプレゼンテーションスライドを完成させ，発表練習する。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。
12回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(1)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：大学生であっても社会人であっても魅力ある人はいるものである。必ずしも容姿の問題ではなく，どのような人が魅力あると考えられるのか，プレゼンテーションスライドの作成を開始する。 事前学修 2.0hr：グループを作り，提案内容を考えてくる。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドの作成に着手する。
13回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(2)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)のスライドを作成し，提出する。 事前学修 3.0hr：チームの仲間と十分話し合いをしておく。 事後学修 3.0hr：発表するためのプレゼンテーションスライドを作成し，班員と合成する
14回	**授業テーマ：魅力ある人とは？(3)明海大学独自の問題解決方法の応用** 授業内容：(1)の発表を行い，各チームの内容を検討する。それに基づきスライドを修正し提出する。 (※ただし，人前での発表が精神的負担になる場合は，授業者のみにプレゼンをすることで良いこととする。) 事前学修 3.0hr：プレゼンスライドを完成させ，発表練習をする。 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。修正したプレゼンのファイルを提出する。
15回	**授業テーマ：授業全体のまとめ　明海大学独自の問題解決方法のまとめ** 授業内容：これまでの学修内容をまとめ，他人を説得するためにはどのような説得方法があるのか，どのようなデータを示すことが効果的なのかまとめ，レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：いままでのプレゼンスライドなどを振り返る。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り，Worksheet を完成させ，送信する。

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

新井　啓（あらい　けい）

▌授業の概要
有名な文学作品を読むみ、その感想を書く。なお授業の理解力向上のため、SPI に対応するための基礎的問題を解くことを毎回行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）
一般目標：社会人として最低限読んでおくべき、名作のあらすじを理解できること
個別目標：最も関心を持っている文学作品の良さをみんなの前で発表できること

▌履修条件
文学に関心があること

▌評価基準・方法
毎回の授業時に行う manaba の小テスト(50%)、事前・事後学修(30 %)、授業に取り組む姿勢 (20%)。

▌フィードバック方法
小テストや定期試験などの結果は学習支援システムの manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし （manaba は利用）

▌教科書
特になし

▌参考書
特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：夏目漱石** 授業内容：「吾輩は猫である」「坊ちゃん」「こころ」 事前学修 2.0hr：第 1 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 1 回の事後学習の小テスト
2回	**授業テーマ：芥川龍之介** 授業内容：「羅生門」「杜子春」 事前学修 2.0hr：第 2 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 2 回の事後学習の小テスト
3回	**授業テーマ：森鴎外** 授業内容：「舞姫」 事前学修 2.0hr：第 3 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 3 回の事後学習の小テスト
4回	**授業テーマ：太宰治** 授業内容：「走れメロス」「人間失格」 事前学修 2.0hr：第 4 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 4 回の事後学習の小テスト
5回	**授業テーマ：福沢諭吉** 授業内容：「学問のすすめ」 事前学修 2.0hr：第 5 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 5 回の事後学習の小テスト
6回	**授業テーマ：吉川英治** 授業内容：「宮本武蔵」 事前学修 2.0hr：第 6 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 6 回の事後学習の小テスト
7回	**授業テーマ：柳田國男** 授業内容：「遠野物語」 事前学修 2.0hr：第 7 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 7 回の事後学習の小テスト
8回	**授業テーマ：谷崎潤一郎** 授業内容：「細雪」 事前学修 2.0hr：第 8 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 8 回の事後学習の小テスト
9回	**授業テーマ：SPI の一般教養問題** 授業内容：数学、国語(読めそうで読めない漢字が中心)、英語、地理・歴史。 事前学修 2.0hr：第 9 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 9 回の事後学習の小テスト
10回	**授業テーマ：中島敦** 授業内容：「山月記」 事前学修 2.0hr：第 10 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 10 回の事後学習の小テスト
11回	**授業テーマ：梶井基次郎** 授業内容：「檸檬」 事前学修 2.0hr：第 11 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 11 回の事後学習の小テスト
12回	**授業テーマ：小林多喜二** 授業内容：「蟹工船」 事前学修 2.0hr：第 12 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 12 回の事後学習の小テスト

13回	**授業テーマ：中勘助** 授業内容：「銀の匙」 事前学修 2.0hr：第 13 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 13 回の事後学習の小テスト
14回	**授業テーマ：ドストエフスキー** 授業内容：「カラマーゾフの兄弟」 事前学修 2.0hr：第 14 回の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 14 回の事後学習の小テスト
15回	**授業テーマ：宮沢賢治** 授業内容：「銀河鉄道の夜」 事前学修 2.0hr：第 15 回目の事前学習の小テスト 事後学修 2.0hr：第 15 回目の事後学習の小テスト

社会生活ゼミナール

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中島　達洋（なかじま　たつひろ）

▌授業の概要

SPI3 は、多くの企業で実施されている採用適性検査です。本授業ではそのうち非言語分野を扱います。数学が得意でない学生を主な対象とし、問題を「解法の型」に整理して学ぶことで、基本問題を安定して解ける力を養います。割合、速さ、場合の数、推論などを分野別に扱うのではなく、思考の型ごとに反復演習を行います。授業内では演習と確認小テストを実施し、学修支援システム manaba も活用して理解の定着を図ります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：SPI3 非言語問題の基本問題を安定して正答できる力を身につけるとともに、問題を解法の「型」に分類し、適切なアプローチを選択できる能力を修得する。

個別目標：① 割合・損益・濃度・平均などの問題を分数構造に基づいて処理できる。
② 出会い・追いつき・区間分割を含む速さの問題を図示し、式を立てて解くことができる。
③ 条件を表に整理し、内訳問題を処理できる。
④ 基本的な順列・組合せ・確率の問題を解くことができる。
⑤ 与えられた条件を整理し、論理的に推論できる。

▌履修条件

特にありません。ただし、高校までの基礎的な計算力(分数計算、一次方程式程度)は前提とします。第 1 回からの出席を前提とします(履修修正による 1、2 回目の不在は欠席となります)。

▌評価基準・方法

型別到達チェック 40 %、中間・期末の到達度テスト 40 %、授業内小テスト 20 %の割合で総合的に評価します。型別到達チェックは各解法の型ごとに実施し、再挑戦の機会を設けます。授業内小テストは manaba の自動採点機能を用いて実施する予定です。

▌フィードバック方法

型別到達チェックおよび到達度テストの解説は授業内で行います。解答例や補足資料は manaba を通して提示します。授業内小テストは manaba 上で自動採点結果を確認できるようにし、理解状況をその都度把握できるようにします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内での個別演習、ペアでの解法確認、型分類活動、manaba を用いた小テストなどを実施します。問題解決型の学修を取り入れ、学生が主体的に考える時間を確保します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を用いた小テスト、資料の閲覧、課題の提出などに PC を利用します。BYOD 環境を活用し、各自の端末で確認問題に取り組みます。）

▌教科書

教科書は使用しません。配布プリントおよび manaba 掲載資料を使用します。

▌参考書

市販の SPI3 対策書を、必要に応じて授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・SPI3 と「解法の型」** 授業内容：SPI3 の概要と評価方法を説明し、問題を「型」に分類する考え方を導入する。簡単な例題で型分類演習を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業の目的を確認する。 事後学修 2.0hr：配布資料を復習し、型の一覧を整理する。
2 回	**授業テーマ：比例・割合型① 基礎** 授業内容：損益算、濃度、平均を分数構造に統一して扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
3 回	**授業テーマ：比例・割合型② 損益・濃度・平均** 授業内容：損益算、濃度、平均を分数構造に統一して扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
4 回	**授業テーマ：比例・割合型③ 総合演習** 授業内容：基本問題の反復演習を行い、型①到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの問題を復習する。 事後学修 2.0hr：間違えた問題を解き直す。
5 回	**授業テーマ：速さ型① 基本と単位変換** 授業内容：距離＝速さ×時間の関係を確認し、図示を徹底する。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：単位換算を復習する。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
6 回	**授業テーマ：速さ型② 出会い・追いつき** 授業内容：相対速度(和・差)の考え方を学ぶ。図を必ず描く練習を行う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容の復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。
7 回	**授業テーマ：速さ型③ 区間分割** 授業内容：途中で速度が変わる問題や往復問題を扱う。型②到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：速さの基本公式の確認。 事後学修 2.0hr：解き直し。
8 回	**授業テーマ：到達度確認(前半内容)** 授業内容：比例・速さ型の総合問題に取り組み、理解度を確認する。 事前学修 2.0hr：第 2～7 回の復習。 事後学修 2.0hr：事後学修： 間違えた問題の再確認。
9 回	**授業テーマ：表作成型① 基本** 授業内容：集合や清算問題を表で整理する方法を学ぶ。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回までの復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。

10回	**授業テーマ：表作成型② 内訳整理** 授業内容：条件整理と内訳問題の演習を行い、型③到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習。 事後学修 2.0hr：間違えた問題の整理。
11回	**授業テーマ：場合の数① 順列・組合せ** 授業内容：書き出しと基本公式を扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：基本的な数え上げを確認。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
12回	**授業テーマ：場合の数② 確率** 授業内容：基本確率を扱い、型④到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：前回内容を復習。 事後学修 2.0hr：問題の解き直し。
13回	**授業テーマ：推論型① 命題と並び順** 授業内容：条件整理と真偽判定の基本を扱う。授業内小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：条件整理の練習。 事後学修 2.0hr：演習問題の復習。
14回	**授業テーマ：推論型② 複数条件と構造的把握** 授業内容：推論の総合演習を行い、型⑤到達チェックを実施する。 事前学修 2.0hr：推論問題の復習。 事後学修 2.0hr：間違えた問題の整理。
15回	**授業テーマ：総合到達度確認** 授業内容：全範囲の基本問題を解き、学修の成果を確認する。 事前学修 2.0hr：全範囲の復習。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返り。

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、キャリア観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、就業観の醸成やジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：**M1 ◎/M2 ◎/M3 ○**）

一般目標：① **Well-being を実現**するために、「なりたいじぶん」について言語化する。
②**ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会人インタビュー】①目的を理解し自分の将来像を意識してインタビューに取り組むことができる②他者のレポートと比較し自分のレポートの改善点を言語化することができる③将来を見据え大学生活で取り組む活動を探り実践できる【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:30%, 学修内容振り返り:25%, グアム研修への参加やこれまでの経験に基づく課題への取り組みと振り返り：25%, 自己ＰＲ:10%,MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10% ※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標、MEIKAI SPI の目的と使い方について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り (じぶん編)** 授業内容：グアム研修やこれまでの経験で気づいたこと等を文章や図で可視化する。 事前学修 2.0hr：グアム研修やこれまでの経験について振り返りメモしておく 事後学修 3.0hr：授業で取り組んだ内容をさらに改善させる
3回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り (社会編)** 授業内容：グアム研修に参加して実感した社会あるいはこれまでの経験で実感した社会について言語化する。 事前学修 2.0hr：グアム研修やこれまでの経験で社会に触れて気づいたことをメモしておく 事後学修 3.0hr：授業で取り組んだ内容をさらに改善させる
4回	**授業テーマ：グアム研修等の振り返り共有** 授業内容：グアム研修あるいはこれまでの経験の振り返りを共有し他者の気づきからも学ぶ。 事前学修 2.0hr：グアム研修あるいはこれまでの経験を共有する準備をしておく 事後学修 2.0hr：ここまでの学修を踏まえ、学生生活における目標を設定する
5回	**授業テーマ：なりたいじぶんと建学の精神** 授業内容：建学の精神について確認し、自分の将来や学びの方向性などを考える。 事前学修 2.0hr：明海大学の「建学の精神」を再確認し、現時点での自分と照らし合わせる 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんを言語化しそれに向かう活動について調べる
6回	**授業テーマ：共生・協働** 授業内容：「共生・協働」をテーマにパネルディスカッションを行い、多様な視点から共に生き・働くための考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：「共生・協働」について調べた上で、自分の考えを言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修を踏まえ「共生・協働」について情報収集し自分の考えを整理する
7回	**授業テーマ：「働くこと」について考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8回	**授業テーマ：今後のキャリアを考える** 授業内容：キャリア体感ゲームを通じて大学生活が社会人生活に活きることを知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を見直しジェネリックスキルについて復習しておく 事後学修 2.0hr：授業の学修に基づき、自分の学生生活について計画立案する
9回	**授業テーマ：ディスカッションの流れとポイント** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを学び、グループでディスカッションを体験する。 事前学修 2.0hr：参考にできるグループディスカッションの動画を探す 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する

10回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：ディスカッションの流れとポイントを意識し、合意形成できるようディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて自分の意見を考えておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの動画を視聴し自分の課題を整理する
11回	**授業テーマ：自己理解 (価値観探索編)** 授業内容：自分が大切にしたい価値観やその理由について深く考える。 事前学修 2.0hr：自分が大切にしたい価値観を列挙しておく 事後学修 2.0hr：自分が大切にしたい価値観とその理由を文章化する
12回	**授業テーマ：自己理解 (強み探索編)** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考え、これまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にする
13回	**授業テーマ：PREP 法で文章作成** 授業内容：自分の強みについて PREP 法を用いて伝わる文章を作成する。 事前学修 2.0hr：PREP 法について調べた上で理解しておく 事後学修 2.0hr：授業で作成した文章を改善し完成させる
14回	**授業テーマ：授業の振り返りと公務員クラスガイダンス** 授業内容：ここまでの学修を振り返り、学んだ内容と自分の気づきや考えについて言語化する。また、公務員クラスについての説明を行う。 事前学修 2.0hr：ここまでの授業内容や記録を見直しておく 事後学修 2.0hr：なりたいじぶんと行動計画について振り返りをする
15回	**授業テーマ：社会人インタビューの共有となりたいじぶん** 授業内容：自分の「社会人インタビュー」を伝え、他者の社会人インタビューを聞き、働くことについて考察する。 事前学修 2.5hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直す 事後学修 2.5hr：社会人インタビューの気づきを踏まえあらためて「なりたいじぶん」への道筋を検討する

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラムクラス

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、就業観の醸成に焦点をあて①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①**日本における就職および就職活動**について情報を収集・整理しながら理解を深める。
②**ジェネリックスキル (対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)** の中身や重要性を理解しその力を伸ばす。

個別目標：【社会環境理解】①日本における就職の知識を習得し、準備に必要な活動について理解する。【自己理解】①自分の強みを文章で伝えることができる②ジェネリックスキルを理解し自己評価できる。【プレゼンテーション】自分の将来についての考えなどをプレゼンテーション形式で伝えることができるようになる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:35%, 学修内容振り返り:30%, 国内研修への参加と振り返り：25%,MEIKAI SPI 模擬試験 (マークシート):10%※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に授業ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：自己紹介と MEIKAI SPI の活用** 授業内容：自己紹介ワークでクラスメンバーと交流する。MEIKAI SPI の目的と活用方法を理解し操作する。 事前学修 2.0hr：受講ルールやマニュアルを読み返し理解しておく 事後学修 2.0hr：MEIKAI SPI の練習問題を解く
3回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (知識編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について解説を聞き理解する。 事前学修 2.0hr：日本の就職について、関連サイトで探索しておく 事後学修 2.0hr：今後の目標や行動計画について考えを整理する
4回	**授業テーマ：日本の就職と就職活動 (キャリア形成編)** 授業内容：日本における新卒採用の現状や採用環境について理解した上で、自分の日本でのキャリアを考える。 事前学修 2.0hr：第 3 回授業の内容を振り返る 事後学修 2.0hr：日本でのキャリアをどう形成するか検討する
5回	**授業テーマ：MGO 探索とビジネスメール** 授業内容：MGO プログラムを理解し学内で情報収集できる場所を確認する。また、ビジネスメールの書き方を理解する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールについて関連資料を読む 事後学修 2.0hr：授業で確認した情報収集について振り返る
6回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：卒業時点での目標を考え、1 年・半年・1 ヶ月単位で、具体的な行動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：将来のキャリアに向かうための目標や具体的な行動について考えておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
7回	**授業テーマ：「働く」ことについて考える** 授業内容：プロのライターが取材し作成した社会人のインタビュー記事を読み、仕事との向き合い方について考察する。 事前学修 2.0hr：就職ジャーナルやスタディサプリの記事を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就職ジャーナルなどの記事を読む
8回	**授業テーマ：自己分析** 授業内容：大切にしたい価値観を言葉を選びその理由を考え言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの自分を振り返って年代ごとに出来事をメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で実施したワークを基に自分について言語化しておく
9回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：強み探索ワークを通じて、自分の強みを探索する。また、強みに関係する過去の出来事を言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の強みを考えこれまでの出来事を思い出し書き出しておく 事後学修 2.0hr：自分の強みと裏付けるエピソードを文章にする
10回	**授業テーマ：ここまでの学修を振り返る** 授業内容：ここまでに学修した内容を振り返り、今後必要な活動を整理する。 事前学修 2.0hr：前回までの授業を振り返っておく 事後学修 2.5hr：今後必要な活動について具体的に計画立案する

11回	**授業テーマ：プレゼンテーション理解** 授業内容：プレゼンテーションに必要な要素について学ぶ。 事前学修 2.0hr：インターネット等でプレゼンテーションに必要なことを調べておく 事後学修 3.0hr：授業の内容を基に、プレゼンテーションの内容を検討する
12回	**授業テーマ：プレゼンテーション作成** 授業内容：前回授業で学修したことを踏まえて、自分がプレゼンテーションする内容を決め、スライドを作成する。 事前学修 2.0hr：自分がプレゼンテーションしたい内容を決め情報収集しておく 事後学修 3.0hr：プレゼンテーションで使用するスライドを完成させる
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション実践** 授業内容：準備してきた内容を、スライドを使用してプレゼンテーションする。 事前学修 3.0hr：本番での発表を意識しプレゼンテーションの練習をする 事後学修 2.0hr：自分のプレゼンテーションの改善点を明確にしておく
14回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの振り返り** 授業内容：START を活用し、なりたいじぶんとアクションプランを見直し、今後の活動計画を考える。 事前学修 2.0hr：START の記録を確認し、自分活動状況を整理しておく 事後学修 2.0hr：見直した内容と今後の活動計画を完成させ START に記録しておく
15回	**授業テーマ：授業の振り返りと夏季休暇のアクションプラン作成** 授業内容：第 14 回までの学びを振り返り、進級した後の姿を想像しながら、夏季休暇の行動計画を作成する。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に春季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：留学生クラス

小野寺　樹璃 (おのでら　じゅり)・**行田　悦子** (こうだ　えつこ)・**髙橋　亜里沙** (たかはし　ありさ)・**林　苗** (りん　みょう)・**範　弘宇** (はん　こうう)

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニング I では、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修課題がある。ほぼ毎回授業内に小テストを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解し、適切な表現や文体を産出できる。自分の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 日本文化に関わる文章を読ん正確に理解できる。
(2) 論説、評論などに出てくる語彙・表現が正確に使うことができる。
(3) 論説、評論などの内容を要約し、他者と意見を交換することができる。
(4) 自分の日本語能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、能動的に学習を実行することができる。
(5) 学習成果を正しくふりかえることができる。

▌履修条件

(1) 留学生を対象とするクラスである。
(2) 日本語能力を測る資格試験を受験する。
(3) 毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
(4) 課題の提出日を守る。
(5) 自らの日本語能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。
(6) 授業外の講座に参加する。

▌評価基準・方法

課題提出 30 %、テスト 30%、資格試験 15 %、国内研修への参加とふり返り 25%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を利用する。）

▌教科書

目黒真実『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界①** 授業内容：授業概要や到達目標、履修条件等についてのガイダンスを行う。「日本語の世界①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本語の世界②** 授業内容：「日本語の世界②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：「日本の文化」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：「日本人の行動様式」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：「言語とコミュニケーション」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：「異文化理解」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：「環境と人間」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：「IT と情報社会」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：「生物と自然」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：人生と生き方** 授業内容：「人生と生き方」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：子どもと教育** 授業内容：「子どもと教育」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：「報道とマスコミ」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：「科学と技術」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：生命と倫理①** 授業内容：「生命と倫理①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：生命と倫理②、まとめとコース全体の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：「生命と倫理②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。これまで学修した内容を振り返り、学んだことや気付いたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニング I

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：再履修クラス／留学生

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニング I では、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修課題がある。ほぼ毎回授業内に小テストを行う。

▌到達目標

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解し、適切な表現や文体を産出できる。自分の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。
個別目標：(1) 日本文化に関わる文章を読ん正確に理解できる。
(2) 論説、評論などに出てくる語彙・表現が正確に使うことができる。
(3) 論説、評論などの内容を要約し、他者と意見を交換することができる。
(4) 自分の日本語能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、能動的に学習を実行することができる。
(5) 学習成果を正しくふりかえることができる。

▌履修条件

(1) 留学生を対象とする再履修クラスである。
(2) 日本語能力を測る資格試験を受験する。
(3) 毎回出席し、授業活動に積極的に参加する。
(4) 課題の提出日を守る。
(5) 自らの日本語能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。
(6) 授業外の講座に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30 %、テスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を利用する。）

▌教科書

目黒真実『中上級学習者のための日本語読解ワークブック』アルク

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界①** 授業内容：授業概要や到達目標、履修条件等についてのガイダンスを行う。「日本語の世界①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本語の世界②** 授業内容：「日本語の世界②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：「日本の文化」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：「日本人の行動様式」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：「言語とコミュニケーション」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：「異文化理解」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：「環境と人間」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：「IT と情報社会」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：「生物と自然」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：人生と生き方** 授業内容：「人生と生き方」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：子どもと教育** 授業内容：「子どもと教育」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：「報道とマスコミ」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：「科学と技術」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：生命と倫理①** 授業内容：「生命と倫理①」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：生命と倫理②、まとめとコース全体の振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：「生命と倫理②」について、語彙、文法、意味を確認し内容を理解する。その際、グループワークにて自国の文化と比較、討論し、相互に理解をする。これまで学修した内容を振り返り、学んだことや気付いたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、課題発見と解決に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、アクティビティによる体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を活用する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、企業や仕事を研究する観点を理解し、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①**身近な課題発見**から社会と自分を理解し、進路選択において主体的に活用できるようになる。
②**ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力)** を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。

個別目標：【社会理解】①必要な情報を理解しその情報源を探索することができる②学修するフレームを活用することができる②自分の興味・関心と照らし合わせて考えることができる【自己理解】自分の強みと裏付ける出来事を文章で伝えることができる【目標設定】1 年次の「なりたい自分とアクションプラン」を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる。

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (Web テスティング):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み授業の概要や評価について理解しておく 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：キャリアの理論** 授業内容：進路の選択肢をイメージし、キャリア形成について考える。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで考えた自分のキャリアについての資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：授業で得たアドバイスやヒントを参考に自分の将来について考える
3回	**授業テーマ：これまでの自分を振り返る** 授業内容：モチベーショングラフを作成し、これまでの自分を振り返る。 事前学修 2.0hr：モチベーショングラフについて検索し情報収集しておく 事後学修 2.0hr：モチベーショングラフで気づいた自分の価値観を整理する
4回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプランの作成** 授業内容：キャリアプランニングⅠで考えた「なりたいじぶんとアクションプラン」を基に、あらためて検討し作成してみる。 事前学修 2.0hr：1 年次に受験した PROG の結果報告書と強化書を読み返しておく 事後学修 2.0hr：アクションプランを実行できるようにスケジューリングする
5回	**授業テーマ：社会人に学ぶ** 授業内容：社会人の経験や知識を参考にし、今後の大学生活で取り組む活動を考える。 事前学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動をリストアップしておく 事後学修 2.0hr：大学在学中に取り組む活動を検討しスケジューリングする
6回	**授業テーマ：ディスカッションの復習** 授業内容：キャリアプランニングⅠで学修したディスカッションを復習し、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠのディスカッション関連の授業を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションの手本となる動画を探して視聴する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：前回授業で実施したグループディスカッションを振り返り、改善を目指し実践する。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で実践したグループディスカッションを振り返る
8回	**授業テーマ：課題発見 (社会理解編)** 授業内容：課題発見の方法を理解し、課題と社会における事業等のつながりを知る。 事前学修 2.0hr：自分の身の回りで課題に感じることを列挙しメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で学修したことを復習する

9回	**授業テーマ：課題発見 (自己理解編)** 授業内容：「課題発見を整理していくと自分の価値観が影響している」ことを理解する。 事前学修 2.0hr：課題発見で挙げたものに対する自分の興味・関心を確認しメモしておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、具体的に解決したい課題を列挙しメモしておく
10回	**授業テーマ：課題解決 (社会編)** 授業内容：解決したい課題を 1 つ挙げ、実際にどのように解決されているかを調べる。 事前学修 2.0hr：第 8 回、第 9 回授業の内容を復習し取り上げる課題を吟味する 事後学修 3.0hr：授業で学修した内容をさらに改善し完成させる
11回	**授業テーマ：課題解決 (自分編)** 授業内容：解決したい課題について、自分の価値観や興味・関心がどのようにつながっているか考える。 事前学修 2.0hr：第 8 回～第 10 回授業の内容を復習し自分とのつながりを考えておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容をさらに改善し完成させる
12回	**授業テーマ：自己理解** 授業内容：キャリアプランニングⅠで探索したストレングス、キャリアプランニングⅡで作成したモチベーショングラフを踏まえて、自分について発見したことや再確認したことを言葉にして伝える。 事前学修 2.0hr：ストレングスとモチベーショングラフを見直しておく 事後学修 2.0hr：自己理解した内容を文章にしてまとめておく
13回	**授業テーマ：自己 PR 作成** 授業内容：前回授業の学修を活用し、自分らしさを伝える自己 PR を作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングⅠで返却された添削データを確認しておく 事後学修 2.0hr：自己 PR を完成させ提出する
14回	**授業テーマ：Well-being を考える** 授業内容：就職活動だけでない「キャリア」について理解する。 事前学修 2.0hr：5 つの Well-being について調べておく 事後学修 2.0hr：Wel-being につながる「なりたいじぶん」をあらためて考える
15回	**授業テーマ：授業の振り返り** 授業内容：授業で学んだことを振り返り、今後の活用を想像し、夏季休暇の過ごし方を考える。 事前学修 2.0hr：第 1 回～第 14 回授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今回の振り返りを基に夏季休暇に取り組むことをより具体的にしておく

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。教養科目と言われている 5 科目(数的処理・文章理解・社会科学・人文科学・自然科学)と SPI、面接・論文の対策も行う。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①公務員試験の試験科目は一般知識・一般知能に分けられ、多岐にわたるが、教養科目には何があるのか、その対策として何をすればよいのかを身につける。
②試験問題には、出題頻度・難易度が様々であるが、基礎的問題を解答出来る能力を身につける。
個別目標：①一般知識は、中学・高校で学んだ知識が問われているので、各科目について高校までの知識を身につける。
②一般知能は公務員試験独自の問題であるが、パターンがあるので、そのパターンの対応能力を身につける。

▌履修条件

必修科目である。
2025 年度キャリアプランニング I の授業内アンケートで本クラスの履修を希望した者およびキャリアサポートセンター窓口で指定の期間に所定の手続きをした者。本授業の他に実施する講座(全 15 回)も必ず受講すること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥7,400(自己負担) を回収する。
管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥7,400 の証紙を購入し、第 1 回授業で教員に提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス①公務員試験の概要(職種・試験科目・試験日程)②2年次の授業の目的・到達目標 人文科学　人文科学の各科目の概要(世界史・日本史・地理・思想・文学芸術)、世界史(基礎)：古代、中世、近世 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：公務員試験の概要について復習し授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：SPI・数的処理 1 回目** 授業内容：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算 事前学修 2.0hr：四則逆算、つるかめ算、n 進法、年齢算について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：SPI・数的処理 2 回目** 授業内容：濃度算、命題 事前学修 2.0hr：濃度算、命題について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
4回	**授業テーマ：SPI・数的処理 3 回目** 授業内容：場合の数、確率 事前学修 2.0hr：場合の数、確率について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
5回	**授業テーマ：SPI・数的処理 4 回目** 授業内容：旅人算、流水算、通過算 事前学修 2.0hr：旅人算、流水算、通過算 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
6回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：社会科学のガイダンスと社会保障 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：市場の仕組み・経済循環、国民所得と経済理論 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：世界史(基礎)：近現代、中国史、日本史(基礎)：古代、中世 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：日本史(基礎)：近世、近現代 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

10回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：景気循環、財政・金融政策、国際経済、法律概論、日本国憲法で保障されている人権 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：政治制度、補足・まとめ、問題演習／社会科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
12回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：地理(基礎)：自然地理、地誌／人文科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
13回	**授業テーマ：SPI・数的処理 5 回目** 授業内容：仕事算、推論(うそつき、席順、順序) 事前学修 2.0hr：仕事算、推論(うそつき、席順、順序)について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：SPI・数的処理 6 回目** 授業内容：損益算、暗号 事前学修 2.0hr：損益算、暗号 について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：SPI・数的処理 7 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図／数的処理前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする

キャリアプランニングⅡ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングでは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅡでは、日本社会で触れる話題を正確に理解し、自らの主張を表現するための日本語能力を身につける。授業外に事前学修、事後学修、課題を行う。ほぼ毎回、小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会に関わる論理的でやや複雑な文章や抽象度の高い文章の内容を理解することを目指す。
　　自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育成する。
個別目標：(1) 幅広い分野に渡る抽象度の高い日本語の文章を読んで正確に理解できる。
　　(2) 正しい文法知識と語彙を増やし、正確に産出できる。
　　(3) 日本社会に関わる背景知識を増やす。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題提出の期限を守る。
積極的に授業に参加する。
授業外の講座、模擬試験に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40 %、テスト 20%、課題提出 20 %、講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークをする。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を利用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業時に随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の世界** 授業内容：教科書の「日本語の世界」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本語についての考えをあげ、グループワークを行い、意見交換をする。 事前学修 2.0hr：自身の日本語能力を適切に評価し、能動的に弱点を補うために必要な学習計画を立てる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：日本の文化** 授業内容：教科書の「日本の文化」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本の文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：日本人の行動様式** 授業内容：教科書の「日本人の行動様式」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、日本人の行動様式について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：言語とコミュニケーション** 授業内容：教科書の「言語とコミュニケーション」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、言語とコミュニケーションについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：教科書の「異文化理解」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、異文化について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：環境と人間** 授業内容：教科書の「環境と人間」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、環境と人間について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：IT と情報社会** 授業内容：教科書の「IT と情報社会」の文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、IT と情報社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：生物と自然** 授業内容：教科書の「生物と自然」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、生物と自然について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

9回	**授業テーマ：心理と哲学** 授業内容：教科書の「心理と哲学」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、心理と哲学について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：教育と学び** 授業内容：教科書の「教育と学び」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、教育と学びについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：報道とマスコミ** 授業内容：教科書の「報道とマスコミ」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、報道とマスコミについて意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：科学と技術** 授業内容：教科書の「科学と技術」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、科学と技術について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：現代の社会** 授業内容：教科書の「現代の社会」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、現代の社会について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：余暇と娯楽** 授業内容：教科書の「余暇と娯楽」に関する文章を読んで、内容を正確に理解する。それらの文章に使われる語彙・文法を学習する。さらに、余暇と娯楽について意見交換をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：総まとめと振り返り、テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習した内容を振り返り、学んだことや気づいたことについてまとめ、グループで意見交換を行う。テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**大黒　章子**（おおくろ　あきこ）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

社会で活躍する人材となるため、ジェネリックスキルの伸長を目指す授業である。一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし主体的な学修に導く。この授業では、自分史の作成に取り組み①自分を知る②社会を知る③自分と社会の接点を考えるという過程を、体験と気付きで学ぶ。また、基礎学力向上と就職活動における筆記試験に備えるため、MEIKAI SPI を使用する。
【授業方法】講義
【実務家教員と当該授業科目との関連性】
一般企業での就業経験がありキャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験とカウンセリングスキルを活かし、相手視点で課題解決に取り組み、ジェネリックスキル(対人基礎力、対自己基礎力、対課題基礎力)の伸長を目的として、グループワーク及びディスカッションによる主体的な学習を実践している。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①自分史の作成を通じて、これまでの経験・価値観・学びを整理し、現在の自分の関心や強みを再確認することができる。
②ジェネリックスキル (対人・対自己・対課題基礎力) を伸ばすための具体的な行動計画を立て実行することができる。
個別目標：【自分史作成】①自身のこれまでの経験・価値観・行動を整理し言語化できる②過去の経験から現在の関心・強み・学びの傾向を分析できる③自己理解に基づいてキャリア形成の方向性を検討できる④自分史を他者に共有し、フィードバックを踏まえて内容を改善できる【自己理解】完成度の高い (採用選考通過を見据えた) 自己 PR を作成できる【目標設定】キャリアプランニングⅡの目標と行動計画を振り返り改善した上で、実行できる行動計画を立案することができる

▌履修条件

必修科目である。キャリア形成科目は、授業の目的上「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

▌評価基準・方法

重要課題:40%、学修内容振り返り:40%、自己ＰＲ:10%、MEIKAI SPI 模擬試験 (テストセンター):10%とする。※原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。※成績評価の詳細は、初回授業で説明予定。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や PowerPoint,Word ソフトによる課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。自己 PR の添削にかかる費用として￥3,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (授業の目的・受講ルール・評価方法の理解、社会で求められる力の理解)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバス (特に受講ルールについて) を読んで理解し授業に取り組むイメージをする 事後学修 2.0hr：受講ルールや評価方法を読み直し間違いのないように理解する
2回	**授業テーマ：なりたいじぶんと Well-being** 授業内容：well-being と「なりたいじぶん」について見直し、今後の活動について検討する。 事前学修 2.0hr：学修ポートフォリオ「START」を見直し自分の Well-being を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を踏まえ、今後の活動を検討し決定する
3回	**授業テーマ：自分史とは** 授業内容：自分史の目的と作成の手順を理解する。 事前学修 2.0hr：自分史について情報収集しておく 事後学修 3.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
4回	**授業テーマ：これまでの自分** 授業内容：過去の経験から得た自分の強みや価値観、成長のきっかけを言語化する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで実施した自己理解ワークを復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
5回	**授業テーマ：これからの自分** 授業内容：過去からつながる今の自分を踏まえ、これからの自分を言語化する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで考えた「なりたいじぶん」について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習しワークシートを改善する
6回	**授業テーマ：ディスカッションの振り返り** 授業内容：キャリアプランニングⅠ・Ⅱで実施したグループディスカッションを振り返る。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションについて復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションのテーマについて情報収集する
7回	**授業テーマ：ディスカッション実践** 授業内容：キャリアプランニングの集大成としてグループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：グループディスカッションにおける自分の課題を整理しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションにおける課題が解決できたか振り返る
8回	**授業テーマ：社会に触れる** 授業内容：社会人の経験や知識から、自分のキャリアについて可能性を広げて考える。 事前学修 2.0hr：これまで記録してきたなりたいじぶんについて確認しておく 事後学修 2.0hr：今後のキャリアについて言語化し記録しておく

9回	**授業テーマ：業界・企業理解** 授業内容：業界・企業理解において必要なことを学ぶ。 事前学修 2.0hr：業界地図を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業で学修した内容を復習する
10回	**授業テーマ：企業研究** 授業内容：事業内容、商品・サービス、理念ビジョンなど、企業研究で調べる項目について、同業２社で情報を整理し比較する。 事前学修 2.0hr：業界地図を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業で取り上げた業界や企業について情報収集する
11回	**授業テーマ：職種理解** 授業内容：職種においても、企業によって扱うものや関わる組織や人など、違いがあることを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げた企業の職種について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：自分が興味を持った業界や企業、職種についてさらに情報収集する
12回	**授業テーマ：自分史ポスターの作成** 授業内容：第 6 回～第 11 回授業の学修を基に、社会にどう接続していくかを言語化しポスターに集約する。 事前学修 3.0hr：第 6 回～第 11 回授業の学修を振り返る 事後学修 2.0hr：自分史ワークシートに社会との接点を追加して改善する
13回	**授業テーマ：自分史ポスターの完成** 授業内容：自分史ポスターを完成させる (発表できるように準備する)。 事前学修 3.0hr：第 6 回～第 12 回授業の学修を振り返る 事後学修 3.0hr：自分史ポスターを発表できるように準備する
14回	**授業テーマ：授業となりたいじぶんの振り返り** 授業内容：キャリアプランニングⅠ～Ⅲまでを振り返り、何を学び、気づき、今後のキャリア選択に対する準備ができたのかを言語化し伝える。 事前学修 2.0hr：これまでの授業の資料を見直しておく 事後学修 2.0hr：今後の自分のキャリアを考え言語化し記録しておく
15回	**授業テーマ：自分史ポスターの共有と振り返り** 授業内容：作成した自分史をグループとクラスで共有し相互に学び合う。 事前学修 3.0hr：作成した自分史を確認しておく 事後学修 2.0hr：これまでの学修内容と記録を確認し、今後のキャリアに向けた活動を具体的に考え記録する

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、公務員試験対策に特化した科目の知識を身につける事を目的とする。
公務員は全体の奉仕者として、国民の生活に密着した不可欠なサービスを提供する業務を執行するが、そのために必要な基礎的な知識を修得する事を支援する。後学期では、数的処理・社会科学・人文科学は演習問題を使用し解き方を身につけていく。文章理解は基礎から学習していく。オムニバス形式の授業である。
※授業の他、全 15 回の講座を実施する。講座の詳細内容は別途指示する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：前学期で修得した知識を基にして、新たな問題についても自分の力で正解にたどり着ける能力を身につける。
個別目標：前学期に学習した問題は確実に解くことができ、新たな問題についても自分の力で解くことができるように、予習復習を繰り返す習慣を身につける。

▌履修条件

必修科目である。
2026 年度前学期開講のキャリアプランニングⅡ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

対面授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として￥4,700 円(自己負担)を回収する。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で￥4,700 の証紙を購入し、第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：世界史(実践)：世界史問題演習(古代、中世、近世、近現代、中国史) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比 事前学修 2.0hr：n 進法、濃度算、命題の復習、及び約数と倍数、比について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：文章理解解き方のポイント 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：消費者と生産者の行動、市場と経済厚生 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：憲法；統治機構、日本国憲法の特徴 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史(実践)：日本史問題演習(古代、中世、近世、近現代) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：選挙制度、国際政治 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
8回	**授業テーマ：社会科学 4 回目** 授業内容：社会：環境・医療問題、科学技術、文化等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
9回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理(実践)：地理問題演習(自然地理、地誌) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
10回	**授業テーマ：社会科学 5 回目** 授業内容：補足、まとめ、問題演習①、問題演習②／社会科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

11回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗 事前学修 2.0hr：場合の数、確率の復習、及び集合、試合の勝敗について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
12回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書き 事前学修 2.0hr：速さ、仕事算の復習、及び軌跡、一筆書きについて予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面 事前学修 2.0hr：推論、損益算、暗号の復習、及び積み木、切断面について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 5 回目** 授業内容：サイコロ、図形、展開図の復習、及び資料解釈／数的処理後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：サイコロ、図形、展開図、資料解釈について予習をする 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする。
15回	**授業テーマ：人文科学 4 回目** 授業内容：人文科学(総まとめ)：世界史、日本史、地理のポイントチェック／人文科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

キャリアプランニングⅢ

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアプランニングは仕事など社会生活を営むうえで必要な「ジェネリックスキル」の一つであるコミュニケーション能力を育成する。
キャリアプランニングⅢでは、日本社会で成果をあげるためにビジネス日本語について学習する。授業外に事前学修、事後学修、課題がある。小テストはほぼ毎回、授業内に行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日本社会、文化的な背景、心理的な状況を理解したうえで、ビジネス上の課題に対して適切に対応する力を育成する。限られたビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーションができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で話されれば、社内で行われる議論等で担当領域の議論の流れを理解することができる。
(2) 担当領域の文書や記事、メールを読み解くことができる。
(3) 担当領域に関連するテーマについて、多様な選択肢の利点や不利な点を示しながら主張することができる。
(4) 担当領域に関する事柄を詳細に書くことができる。
(5) 自身の考えの根拠を示しながら説明する文章を書くことができる。

▌履修条件

留学生クラスである。
日本語能力を測る資格試験、ビジネス日本語能力を測る資格試験を受験する。
授業活動に積極的に参加する。
課題の提出日を守る。
授業外の講座、模擬試験等に積極的に参加する。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 20%、テスト 20%、講座 10%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動では選考の材料となる提出書類の作成や面接試験など重要なことがある。その中で、エントリーシートなどの書類の書き方、面接時の話し方を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後、新入社員は初対面の人とコミュニケーションをとる機会が多い。その一つとして自己紹介があり、話を聞いた人が記憶に残る一言が言えるよう練習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて、承認を受けることで一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司や先輩、同僚への報告を取り上げる。仕事は同じ目標を持つ人々とうまく連携できるよう、わかりやすく伝えられるよう学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪について取り上げる。仕事でミスがあったときに早い段階で上司に正確に事実を報告し、素直に謝罪できるよう学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場になって自社を紹介し、業務や職種を理解してもらうとともに、さまざまなリスク管理について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備においては、会場の予約、機器の設置、会議議題の決定、前回の議事録の作成など、様々な資料を作成、配布する、欠席者への対応など一連の業務を学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議では、各種の報告と意志決定をおこなう審議が行われる。議長の指示に従い、発言したり反対意見を述べたりする。意見の述べ方、議事録の作成など一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良い関係を築くコミュニケーションを基本とし、正確な情報のやり取りを行う。不明な点がないように、お互いの話を引用した形で質問するなどの工夫も学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情の対応を誤ると大きな問題に発展することもあり、より良いコミュニケーションが求められるためその対応方法を学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた時の対応の仕方、不明慮な点があるときの聞き返しなどを学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について学ぶ。社会貢献としてさまざまな活動を行うときに必要なコミュニケーションについて学習する。また、関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまで学習した内容が身に付いたかどうか実力判定テストで測る。テストの結果より得られた強み、弱みをもとに学習を振り返る。また教師からもフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：コース全体をふりかえり、改善点をみつける** 授業内容：コースの目標とこれまでの活動を照らし合わせて学習を振り返り、自身のビジネス日本語能力を的確に分析する。就職に向けて活動計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

阿方　由紀枝（あがた　ゆきえ）・**稲田　環菜**（いなだ　かんな）・**高野　紀子**（たかの　のりこ）・**濱﨑　あゆみ**（はまさき　あゆみ）

▌授業の概要

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし就職活動において主体的に行動できることを目的として支援する。受講生が納得のいく進路を決定するために就職活動の準備をする。事前準備（企業・仕事研究、自己 PR・志望動機作成）と実践及び振り返りにより改善を重ね就活力を伸ばす。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

一般企業での就業経験があり、キャリアコンサルタントの資格を有する教員が、実務経験を活かし、就職活動において主体的に行動できることを目的として、情報の収集や分析、計画立案及び振り返り等、就職活動に活用できる知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：この授業の目的は、就職活動を乗り越え社会で活躍する人材となるために必要な力とスキルを伸ばすことである。キャリアデザインでは、就職活動準備を就職スキルの向上に焦点をあてる。また、日頃から意識できるよう「社会」を基準とした授業ルールを採用している。

個別目標：【企業・仕事研究】キャリアプランニングの学修を活用し就職活動における企業選択に十分な情報収集・分析をする【自己 PR】自分の強みと裏付けるエピソードを選考通過レベルで準備する【志望動機】企業・仕事研究で得た情報と自己 PR をつなげ入社後どう貢献できるかを伝えられる【グループディスカッション・面接】選考通過レベルのスキルを身に付ける【インターンシップ】インターンシップに参加し早期選考につなげる

▌履修条件

2 年生修了時に、60 単位以上取得していること（就職活動にある程度の時間が割ける状態）が望ましい。

留学生については、日本語能力試験で N1 を取得しており、MGO 留学生プログラムの要件を満たしていること。

▌評価基準・方法

重要課題:30%、学修内容振り返り:30%、インターンシップ参加：30%、MEIKAI SPI の模擬試験 (テストセンター):10% ※それ以外に、就活コーチとの面談実施・OBOG セミナー参加・学内業界研究セミナー参加を単位認定要件とする。また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。詳細については第 2 回授業で説明する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業で実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークおよびディスカッション・毎回実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネットを活用した情報収集や課題の作成・指定授業回）

▌教科書

オリジナル教材を使用。適職診断テスト受検の費用として￥6,000(自己負担) を回収する。提出方法や期限については、授業での案内を確認すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(履修登録のルールを理解し正しく手続きする)** 授業内容：この授業の目的・ルール・内容・到達目標について解説し、授業評価と受講ルールについて説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み理解しておく 事後学修 2.0hr：資料を読み返し正しく履修登録の手続きをする	16回	**授業テーマ：インターンシップを振り返る** 授業内容：参加したインターンシップを振り返り経験について言語化する。 事前学修 2.0hr：インターンシップを振り返る準備をしておく 事後学修 2.0hr：授業の内容を踏まえ、選考を受ける企業を検討する
2回	**授業テーマ：就活スケジュールと準備確認** 授業内容：就活スケジュールを確認し必要な準備を確認する。 事前学修 2.0hr：就職活動の流れについて調べておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を見ておく	17回	**授業テーマ：PROG 受験** 授業内容：目的を理解し正しく PROG を受験する。 事前学修 2.0hr：1 年生で受験した PROG の結果を見直しておく 事後学修 2.0hr：ジェネリックスキルについて再確認する
3回	**授業テーマ：就活サイトの使い方** 授業内容：就職活動において情報源となる就活サイトの使い方を説明し活用してみる。 事前学修 2.0hr：就活サイトで企業検索をしておく 事後学修 2.0hr：就活サイトで企業情報を検索し、イベント等の予約をする	18回	**授業テーマ：コーチ支援に関する授業** 授業内容：就活コーチの支援を受ける手続き (求人 NAVI) を理解し実践する。 事前学修 2.0hr：求人 NAVI で就活に関する情報を確認する 事後学修 2.0hr：就活コーチの面談予約を確認しスケジュールに入れる
4回	**授業テーマ：なりたいじぶんとアクションプラン** 授業内容：就職活動におけるアクションプランを作成する。 事前学修 2.0hr：記録したなりたいじぶんとアクションプランを確認しておく 事後学修 2.0hr：就職活動におけるアクションプランをスケジューリングする	19回	**授業テーマ：就活の軸を言語化する** 授業内容：これまでの就職活動で得た経験を振り返り就活の軸を再検討する。 事前学修 2.0hr：就職活動の状況を共有できるよう準備しておく 事後学修 2.0hr：就活の軸を使い就活サイト等で選考を受ける企業を選ぶ
5回	**授業テーマ：応募準備：ガクチカ作成** 授業内容：キャリアプランニングで作成と改善を重ねてきた自己 PR を確認しガクチカを作成する。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで作成した自己 PR をすべて見直しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて自己 PR とガクチカを完成させる	20回	**授業テーマ：PROG 結果活用** 授業内容：PROG の結果を参考に自分の強みを確認し、企業選択につなげる。また、1 年次より伸びた力やその要因について考える。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を確認しジェネリックスキルを再確認しておく 事後学修 2.0hr：PROG の結果から自分の強みを確認し、紐づく経験を記録する
6回	**授業テーマ：応募準備：志望動機作成** 授業内容：自己 PR・ガクチカとつながりを意識して志望動機を書いてみる。 事前学修 2.0hr：志望動機の書き方について情報収集しておく 事後学修 2.0hr：明海大学の履歴書に合わせて志望動機を作成する	21回	**授業テーマ：就活スキル選考準備 (グループディスカッション)** 授業内容：本選考を見据え、グループディスカッションに取り組む。 事前学修 2.0hr：これまでに取り組んだグループディスカッションを振り返っておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り改善点を明確にする
7回	**授業テーマ：R-CAP 結果解説** 授業内容：R-CAP の結果を正しく理解し就職活動への活用法を知る。 事前学修 2.0hr：PROG の結果を読み直し自己理解を深めておく 事後学修 2.0hr：R-CAP の結果をあらためて読み自分について言語化する	22回	**授業テーマ：就活スキル選考準備 (面接)** 授業内容：本選考を見据え、面接練習に取り組む。 事前学修 2.0hr：自己 PR やガクチカ、志望動機を伝えられるようにしておく 事後学修 2.0hr：授業で実践した面接練習を振り返り、改善点を整理する
8回	**授業テーマ：フセンゲーム** 授業内容：ジョブカタログの言葉と KJ 法を使い、自分の就活の軸を言語化する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り就活の軸を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業のワークを参考に就活の軸を再検討する	23回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加準備** 授業内容：OBOG セミナーの目的や概要、必要な事前準備について理解する。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナー参加予定企業について調べておく 事後学修 2.0hr：OBOG セミナー当日の動き方を検討する

9回	**授業テーマ：インターンシップの選び方** 授業内容：インターンシップの選択基準を考え実践する。 事前学修 2.0hr：就活サイトや企業のホームページで企業情報を収集する 事後学修 2.0hr：授業の学修を活用しインターンシップの情報を探し企業研究する	24回	**授業テーマ：OBOG セミナー参加** 授業内容：OBOG が参加する企業の説明を聞き、企業や仕事の理解を深める。 事前学修 2.0hr：身だしなみを整え OBOG セミナーに参加する企業について調べる 事後学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る
10回	**授業テーマ：グループディスカッション実践** 授業内容：グループディスカッションの練習をする。 事前学修 2.0hr：キャリアプランニングで学修した内容を復習しておく 事後学修 2.0hr：グループディスカッションを振り返り課題を明確にしておく	25回	**授業テーマ：OBOG セミナーの振り返り** 授業内容：OBOG セミナーで得たことを言語化し、事前準備が妥当であったかを振り返る。 事前学修 2.0hr：OBOG セミナーで得た情報や気づきを振り返る 事後学修 2.0hr：企業や仕事について知りたいことを整理する
11回	**授業テーマ：面接対策 (非言語編)** 授業内容：デリバリーのプロに、発生や言葉・表現などについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：面接について就活サイトで情報収集しておく 事後学修 2.0hr：就活サイト等でインターンシップの情報を収集しエントリーする	26回	**授業テーマ：面接練習 (1) 会話のキャッチボール** 授業内容：採用選考に向けて企業の意図を理解し、会話のキャッチボールを意識して面接練習する。 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習で改善が必要な点を明確にする
12回	**授業テーマ：先輩(内定した４年生)に学ぶ** 授業内容：パネルディスカッション形式で先輩の体験談を聞き就職活動の参考にする。 事前学修 2.0hr：これまでの就職活動を振り返り悩みや疑問を言語化しておく 事後学修 2.0hr：授業での学修をヒントにし今後の行動計画を立てる	27回	**授業テーマ：面接練習 (2) 自己 PR と志望動機** 授業内容：前回の面接練習を踏まえ改善すべき点を意識しながら、自己 PR と志望動機を伝える練習をする 事前学修 2.0hr：自己 PR・ガクチカ・志望動機など、応募書類の内容を確認しておく 事後学修 2.0hr：面接練習を振り返り、改善点を解決する
13回	**授業テーマ：仕事研究セミナー振り返り** 授業内容：仕事研究セミナーで収集した情報と自分の強みを照らし合わせ、マッチングポイントを考える。 事前学修 2.0hr：仕事研究セミナーを振り返り、情報を整理しておく 事後学修 2.0hr：仕事研究セミナーで経験を踏まえ、今後の就職活動を検討する	28回	**授業テーマ：面接練習 (3) 同窓生と模擬面接** 授業内容：社会人の代表として同窓生をゲストとして迎え、模擬面接を実践する。 事前学修 2.0hr：前回の面接練習で見つけた自分の改善点を意識しておく 事後学修 2.0hr：面接で伝える内容を準備し、自主的に伝える練習をする
14回	**授業テーマ：面接対策 (言語編)** 授業内容：面接において必要なことを復習し模擬面接などの実践から学ぶ。 事前学修 2.0hr：ここまでの就職活動を整理しておく 事後学修 2.0hr：夏季インターンシップを探索しエントリーする	29回	**授業テーマ：就活進度別選考準備 (課題別編)** 授業内容：グループディスカッション、面接、応募書類など、採用選考において準備が必要な面をトレーニングする。 事前学修 2.0hr：自分の選考における課題を確認しておく 事後学修 2.0hr：授業での練習を踏まえ、さらに選考準備を進める
15回	**授業テーマ：夏季休暇の活動計画立案** 授業内容：夏季休暇中に取り組む、就職活動について具体的にしておく 事前学修 2.0hr：夏季休暇中の就職活動計画を整理しておく 事後学修 2.0hr：授業で検討した内容を夏季休暇中の就職活動計画に反映させる	30回	**授業テーマ：就職活動振り返りと今後の行動計画立案** 授業内容：今後の就活において、改善点や具体的な行動について言語化し伝え合う。 事前学修 2.0hr：就職活動の進捗を整理し伝えられるように準備する 事後学修 2.0hr：授業で明確になった現状を見直し今後の計画を再確認する

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：公務員クラス

大道　和夫（おおみち　かずお）

▌授業の概要

本授業では、2 年次に学習した知識をもとに、公務員試験の多くの過去問を解くことにより、実戦力を身につけることを目的とする。
公務員試験においては、過去に出題した問題を、視点を少し変えて再度出題することが多いので、形式に惑わされないように過去問を丁寧に検討することにより、柔軟な対応力を修得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：2 年次に身につけた知識をもとにして、様々な問題について、正誤を正しく判断できる能力を獲得する。
個別目標：①不得意科目を克服する。
②新しく加わる科目の自然科学・論文・面接の知識を身につける。論文は、過去に出題された課題で出来るだけたくさん書く。

▌履修条件

選択科目である。2025 年度キャリアプランニングⅡ・Ⅲ (公務員クラス) の単位を取得していること。

▌評価基準・方法

全授業の 4/5 の出席を成績評価の前提とする。本授業だけでなく継続時限で実施する講座も出席することで「授業に出席した」とみなされる。【評価】
授業内で学んだ科目の確認テスト：50 %、指定課題の期限内提出と内容：20 %、定期試験：30 %

▌フィードバック方法

授業内と学習支援システム manaba で実施。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナル教材を使用。教材費として前学期￥6,900・後学期￥8,700・計￥15,600 を自己負担として回収する。それぞれ第 1 回授業で担当教員に証紙を提出すること。管理・研究棟 2 階の証紙券売機で購入すること。

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人文科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス(試験内容の確認、合格に向けて取り組むべきこと)、人文科学：世界史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	16回	**授業テーマ：社会科学_後学期 1 回目** 授業内容：民主政治の基本原則・選挙制度、費用曲線と供給曲線の導出・余剰分析 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
2回	**授業テーマ：数的処理 1 回目** 授業内容：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方 事前学修 2.0hr：整数の性質、濃度計算・割合、速さの考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	17回	**授業テーマ：数的処理_後学期 1 回目** 授業内容：整数問題、不定方程式・場合の数、経路計算、速度計算 1 事前学修 2.0hr：整数、自然数、無理数、場合の数、速度の計算について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
3回	**授業テーマ：社会科学 1 回目** 授業内容：行政国家に対する統制・選挙制度、市場全体の需要供給曲線と資源配分の最適化・不完全競争市場 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	18回	**授業テーマ：自然科学_後学期 1 回** 授業内容：自然科学(生物)(数学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
4回	**授業テーマ：文章理解 1 回目** 授業内容：現代文・英文それぞれの解き方やより実践的な問題の解き方等 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	19回	**授業テーマ：自然科学_後学期 2 回目** 授業内容：自然科学(生物)(化学)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする／自然科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
5回	**授業テーマ：自然科学 1 回目** 授業内容：ガイダンス・自然科学(地学) 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	20回	**授業テーマ：社会科学_後学期 2 回目** 授業内容：主要国の政治制度・国際法と国際機関、国際貿易の基礎理論・財政政策と金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
6回	**授業テーマ：自然科学 2 回目** 授業内容：自然科学(数学)(生物)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	21回	**授業テーマ：社会科学_後学期 3 回目** 授業内容：日本国憲法が保障する人権・日本の統治制度、国際経済協力・戦後日本経済史／社会科学後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
7回	**授業テーマ：自然科学 3 回目** 授業内容：自然科学(化学)(物理)配布教材を使用して必要単元の演習と解説講義をする／自然科学前期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	22回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 1 回目** 授業内容：前学期の授業内容を踏まえ、取り組みやすい課題を取り上げ、本試験に向けて論文作成を行う。また、公務員試験の面接について最新の情報をもとに、模擬面接(個人)を実施する。 事前学修 2.0hr：面接・論文試験について調べておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
8回	**授業テーマ：人文科学 2 回目** 授業内容：日本史の問題演習と解説講義 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	23回	**授業テーマ：面接・論文_後学期 2 回目** 授業内容：論文：より発展的な課題を取り上げ、本試験に向けて実践的な授業を行う。面接：１回目の授業を基に、模擬面接(個人及び集団)を行う。 事前学修 2.0hr：前回の面接・論文の授業で学んだ内容について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業で習ったことをまとめて活用できるように整理しておく
9回	**授業テーマ：社会科学 2 回目** 授業内容：日本の戦後政治史・国際法と国際関係、財政・金融政策 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	24回	**授業テーマ：時事_後学期 1 回目** 授業内容：社会で起こった出来事について学習する 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく

10回	**授業テーマ：人文科学 3 回目** 授業内容：地理の問題演習と解説講義／人文科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	25回	**授業テーマ：時事_後学期 2 回目** 授業内容：時事試験対策テキストに沿って解説授業を行う／時事確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく
11回	**授業テーマ：社会科学 3 回目** 授業内容：日本国憲法の仕組み、戦後の日本の経済事情／社会科学前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	26回	**授業テーマ：数的処理_後学期 2 回目** 授業内容：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図など 事前学修 2.0hr：速度計算 2、ニュートン算、濃度計算、論理、ベン図の作成、線分図について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
12回	**授業テーマ：面接・論文 1 回目** 授業内容：論文 1 回目(基礎編)公務員試験の論文と最近の試験傾向などの説明 面接 1 回目(基礎編)公務員試験の面接と最近の試験傾向などの説明 事前学修 2.0hr：テキストの該当箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業で扱った内容部分の教科書・ノートを読み復習しておく	27回	**授業テーマ：数的処理_後学期 3 回目** 授業内容：対応、試合、順序、位置関係の問題など 事前学修 2.0hr：対応、試合、順序、位置関係の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
13回	**授業テーマ：数的処理 2 回目** 授業内容：速度計算、場合の数・確率、図形の性質 事前学修 2.0hr：速度計算、場合の数・確率、図形の性質について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	28回	**授業テーマ：数的処理_後学期 4 回目** 授業内容：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方など 事前学修 2.0hr：図形、求積の問題、空間把握のパズル、回転体の考え方について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
14回	**授業テーマ：数的処理 3 回目** 授業内容：順序、論理、対応、試合の問題など 事前学修 2.0hr：順序、論理、対応、試合の問題について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	29回	**授業テーマ：数的処理_後学期 5 回目** 授業内容：立体構成、展開図の問題、資料解釈など／数的処理後学期確認テスト 事前学修 2.0hr：立体構成、展開図、資料解釈について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする
15回	**授業テーマ：数的処理 4 回目** 授業内容：真偽、位置関係の問題、空間把握の問題／数的処理前学期確認テスト 事前学修 2.0hr：真偽、位置関係、空間把握について予習する 事後学修 2.0hr：講義で解いた問題を解きなおし、自らの力で解けるようにする	30回	**授業テーマ：模擬試験** 授業内容：本番を意識した模擬試験を行う。 事前学修 2.0hr：各科目のまとめをしておく 事後学修 2.0hr：自己採点をもとに試験に向けて学習計画を立てておく

キャリアデザイン

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

キャリアデザインでは、就職活動及び就職後に必要なビジネス日本語能力を総合的に育成することを目的とする。前学期は「聞く」「話す」技能に重点を置き、ビジネス場面での会話理解、適切な応答、報告・連絡・相談などのコミュニケーション能力を高める。後学期は「読む」「書く」技能に重点を置き、ビジネス文書の読解や、メール・報告書などの作成力を高める。さらに、日本の企業文化や職場における考え方への理解を深めるとともに、ビジネス場面で求められる日本語表現、ビジネスマナー、日本の習慣などを実践的に学び、実際の職場で適切に行動し、円滑なコミュニケーションができるようになることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：就職活動を円滑に進め、就職後においても社会で活躍できる人材となるために必要なビジネス日本語能力およびコミュニケーション能力を習得する。

個別目標：(1) 日本の企業文化やビジネスマナー、職場におけるコミュニケーションの基本を理解し、状況や相手に応じた適切な語彙・表現を用いて、円滑にやり取りすることができる。

(2) 相手の発言に言葉どおりではない意図や配慮が含まれている場合でも、その意味を的確に読み取り、場面にふさわしい対応をとることができる。

(3) 一般的な社内文書、ビジネス文書、手紙・メールなどを、それぞれの目的や形式に則って、正確かつ適切に書くことができる。

(4) ビジネス場面における報告・連絡・相談などについて、必要な情報を取捨選択し、論理的な構成で、かつ簡潔で分かりやすい文章としてまとめることができる。

▌履修条件

・留学生を対象とするクラスである。
・課題の提出期限を守る。
・資格試験を積極的に受験する。

▌評価基準・方法

課題提出 40%、テスト 30%、資格取得 30%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 及び対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、ロールプレイ、ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

村野節子、山辺真理子、向山陽子『上級レベル ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
村野節子、向山陽子、山辺真理子『タスクで学ぶ日本語ビジネスメール・ビジネス文書』スリーエーネットワーク

▌参考書

白崎佐夜子『8 の基本ルールで学ぶ外国人のための仕事のメールの書き方』スリーエーネットワーク
ビジネス総合研究会『しっかり役立つビジネス文書実例集』法研
羽鳥美由紀『日本で働くための本　就活生から社会人まで』アスク出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う（社内）** 授業内容：授業の概要・目的・評価方法を理解する。事前テストを受ける。社内における自己紹介の流れや内容、必要なマナーを理解し、自己紹介時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、自己紹介の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１に取り組む。	16回	**授業テーマ：前学期の復習、ビジネスメールの基本** 授業内容：前学期に学習した日本の企業文化、ビジネスマナー・表現などの復習テストとフィードバックを受ける。社内メールと社外メールの違いを理解する。ビジネスメールの構成、基本マナー、よく使う表現を学び、状況に応じたメールを作成する。 事前学修 2.0hr：ビジネスメールで役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１に取り組む。。
2回	**授業テーマ：自己紹介を行う（社外）** 授業内容：社外における自己紹介の場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。自己紹介時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、自己紹介の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題２に取り組む。	17回	**授業テーマ：ビジネス文書の基本** 授業内容：社内文章と社外文章の違い、それぞれの種類と特徴を理解する。様々な種類のビジネス文書を読み、構成、書式、表現の共通点と相違点を学ぶ。ビジネス文書の目的、対象者、内容に応じた適切な構成、基本マナー、よく使う表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビジネス文書で役に立つ表現の意味と使い方を調べておく。 事後学修 2.0hr：読解練習問題２に取り組む。
3回	**授業テーマ：電話を受ける** 授業内容：電話を受ける際、担当者に取り次ぐ場面と伝言を受ける場面を想定し、それぞれの話の流れや内容、必要なマナーを理解する。電話対応時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、電話対応の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題３に取り組む。	18回	**授業テーマ：お知らせ（社内）** 授業内容：社内お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社内お知らせメールの構成、書式、表現を学び、新入社員歓迎会のお知らせメールを作成する。届いたお知らせメールの返信を作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題３に取り組む。
4回	**授業テーマ：アポイントを取る** 授業内容：アポイントを取る場面とアポイントを変更する場面を想定し、それぞれの話の流れや内容、必要なマナーを理解する。アポイントを取る際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、アポイントを取る事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題４に取り組む。	19回	**授業テーマ：お知らせ（社外）** 授業内容：社外お知らせメールの作成のポイント、お知らせへの返信メールのポイントを理解する。社外お知らせメールの構成、書式、表現を学び、展示会のお知らせメールを作成する。展示会のお知らせへの返信・転送メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題４に取り組む。

5回	**授業テーマ：会議に参加する** 授業内容：他部門が主催する会議に参加する場面を想定し、会議の流れや内容、必要なマナーを理解する。自分の意見を述べる際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、会議の会話事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題５に取り組む。	20回	**授業テーマ：お礼(社外)、日報(社内)** 授業内容：お礼メールの作成のポイントを理解し、展示会への来訪のお礼メールを作成する。日報の構成、書式、表現を学び、営業日報を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した営業日報をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題５に取り組む。
6回	**授業テーマ：クレームを受ける** 授業内容：取引先からクレームの電話を受ける場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。クレーム対応時に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、クレーム対応の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題６に取り組む。	21回	**授業テーマ：送付依頼** 授業内容：送付依頼メールの作成のポイント、送付依頼への返信メールのポイントを理解し、送付依頼メールと返信メールを作成する。発注と受注の違い、それぞれのポイントを理解し、発注メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題６に取り組む。
7回	**授業テーマ：クレームを報告する** 授業内容：取引先から受けたクレームを上司に報告する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。上司に報告する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、報告の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題７に取り組む。	22回	**授業テーマ：納期延長依頼** 授業内容：納期延長依頼メールの作成のポイント、納期延長依頼への返信メールのポイントを理解し、納期延長依頼メールと返信メールを作成する。代金振込通知メールの作成のポイントを理解し、通知メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題７に取り組む。
8回	**授業テーマ：クレームを処理する** 授業内容：取引先から受けたクレームを処理する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。クレームを処理する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、クレーム処理の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題８に取り組む。	23回	**授業テーマ：照会(在庫)** 授業内容：在庫照会メールの作成のポイント、在庫照会への回答メールのポイントを理解する。在庫照会メールと回答メールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題８に取り組む。
9回	**授業テーマ：会議で提案する** 授業内容：課内の営業会議で提案する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。提案する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、会議での提案事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題９に取り組む。	24回	**授業テーマ：照会(商品未着・数量不足)** 授業内容：問い合わせメールとお詫びメールの作成のポイントを理解する。商品未着についての問い合わせメールと商品未着のお詫びメールを作成する。納品と納入の違いを理解し、納品数量の照会メールと数量不足のお詫びメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題９に取り組む。
10回	**授業テーマ：新規顧客を開拓する** 授業内容：新規顧客を開拓するため、既存の取引先に紹介を依頼する場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。依頼する際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、依頼の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１０に取り組む。	25回	**授業テーマ：社内会議１(クレームを受ける)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を学び、議事録を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した議事録をチェックし合い、修正する。議事録の送付メールを作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１０に取り組む。
11回	**授業テーマ：新規顧客とアポイントを取る** 授業内容：新規顧客とアポイントを取る場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。アポイントを取る際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、ビジネス会話の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１１に取り組む。	26回	**授業テーマ：依頼(セミナーの講師)** 授業内容：依頼メールのポイント、依頼に対する断るメールのポイントを理解する。講師依頼メールと断るメールを作成する。ペアワークで作成したメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１１に取り組む。
12回	**授業テーマ：商品を売り込む** 授業内容：取引先を訪問して商品を売り込む場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。初対面の表現や営業用語を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、ビジネス会話の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１２に取り組む。	27回	**授業テーマ：稟議書(伺い書)** 授業内容：稟議書の構成、書式、表現を学び、セミナー関連の稟議書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した稟議書をチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１２に取り組む。
13回	**授業テーマ：催促の電話をかける** 授業内容：取引先に返事を促す電話場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。催促電話をかける際に用いる語彙・表現を学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、催促の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１３に取り組む。	28回	**授業テーマ：社内会議２(新規顧客を開拓する)** 授業内容：議事録の構成、書式、表現を復習し、議事録を具体的な内容で作成する。注意するメールのポイントを理解し、後輩に議事録について注意するメールを作成する。ペアワークで作成した議事録とメールをチェックし合い、修正する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１３に取り組む。
14回	**授業テーマ：交渉を進める** 授業内容：取引開始に向けた交渉場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。交渉する際に用いる語彙・表現などを学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。その後、交渉の事例から問題点と修正案を考える。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１４に取り組む。	29回	**授業テーマ：出張報告** 授業内容：出張報告書の構成、書式、表現を学び、出張報告書を作成する。ペアワークで作成した報告書をチェックし合い、修正する。催促メールの作成のポイント、催促に対する返信メールの作成のポイントを理解する。出張経費精算書提出の催促メールと催促メールに対する返信を作成する。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１４に取り組む。
15回	**授業テーマ：受注に成功する、まとめ・総合練習、中間テストとフィードバック** 授業内容：取引の具体的内容について話を詰める場面を想定し、話の流れや内容、必要なマナーを理解する。話を詰める際に用いる語彙・表現などを学んだうえで、ロールプレイによる応用練習を行う。これまで学習した日本の企業文化、ビジネスマナー・表現を整理する。 事前学修 2.0hr：モデル会話を聞き、内容と構成を理解しておく。 事後学修 2.0hr：聴解練習問題１５に取り組む。	30回	**授業テーマ：始末書、まとめ・総合練習、最終テストとフィードバック** 授業内容：始末書の構成、書式、表現を学び、始末書を具体的な内容で作成する。ペアワークで作成した始末書をチェックし合い、修正する。これまで学習したビジネスメールとビジネス文書の構成や書き方を整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：「役に立つ表現」を読み、練習問題を解く。 事後学修 2.0hr：読解練習問題１５に取り組む。

インターンシップ A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

本学が定める企業等における実習・研修的な就業体験(インターンシップ)の成果に対して単位を認定する科目である。
この単位認定制度は、学生が自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、学習意欲を喚起し、さらに、高い就業意識の涵養や自分の適性にあった職業について考える機会を提供することを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：将来のキャリア形成のために、働くこととは何かを理解する。
個別目標：①業種及び職種形態に対するイメージのギャップを解消し、進路の方向性を判断することができる。
②社会人のマナーを理解し、身につけることができる。
③自己の強みや弱みを見つけ、学修における個々の目標を明確にできる。

▌履修条件

目的意識を持って就業体験に臨める学生。
詳細については、当該年度の実施要項及びガイダンス等で確認すること。

▌評価基準・方法

各 5 日以上 40 時間以上の研修時間を要する。
本人レポート、派遣先からの報告書、事前研修会の出席及び報告内容等よって単位を認定する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （フィールドワーク、プレゼンテーション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （研修機関における資料、レポートの作成及び事後学修におけるレポートの作成等）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：エントリーシート、面接** 授業内容：エントリーシートの書き方、面接の受け方を学ぶ 事前学修 0.5hr：エントリーシートとは何かを調べる 事後学修 0.5hr：面接指導を受ける	16回	**授業テーマ：就業体験⑬** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
2回	**授業テーマ：履歴書** 授業内容：履歴書の書き方を学ぶ 事前学修 0.5hr：履歴書とは何かを調べる 事後学修 0.5hr：履歴書を実際に書く	17回	**授業テーマ：就業体験⑭** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
3回	**授業テーマ：ビジネスマナー** 授業内容：ビジネスマナー等を学ぶ 事前学修 0.5hr：事前研修資料を読み理解する 事後学修 0.5hr：事前研修で学んだことを復習する	18回	**授業テーマ：就業体験⑮** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
4回	**授業テーマ：就業体験①** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：業界・企業等研究を行う 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	19回	**授業テーマ：就業体験⑯** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
5回	**授業テーマ：就業体験②** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	20回	**授業テーマ：就業体験⑰** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
6回	**授業テーマ：就業体験③** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	21回	**授業テーマ：就業体験⑱** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
7回	**授業テーマ：就業体験④** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	22回	**授業テーマ：就業体験⑲** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
8回	**授業テーマ：就業体験⑤** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	23回	**授業テーマ：就業体験⑳** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
9回	**授業テーマ：就業体験⑥** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	24回	**授業テーマ：就業体験㉑** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
10回	**授業テーマ：就業体験⑦** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	25回	**授業テーマ：就業体験㉒** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
11回	**授業テーマ：就業体験⑧** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	26回	**授業テーマ：就業体験㉓** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する

12回	**授業テーマ：就業体験⑨** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	27回	**授業テーマ：就業体験㉔** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
13回	**授業テーマ：就業体験⑩** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	28回	**授業テーマ：就業体験㉕** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
14回	**授業テーマ：就業体験⑪** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	29回	**授業テーマ：就業体験㉖** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する
15回	**授業テーマ：就業体験⑫** 授業内容：研修機関において就業体験を行う 事前学修 0.5hr：研修に向けて情報等を整理する 事後学修 0.5hr：研修で学んだことを復習する	30回	**授業テーマ：報告会** 授業内容：これまでの活動成果についてプレゼンテーションする 事前学修 0.5hr：報告会に向けて発表の準備をする 事後学修 0.5hr：これまでの研修のまとめを行う

特別聴講科目 A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

【①千葉県私立大学(短期大学を含む。)及び放送大学間の単位互換制度】
　専門領域にとらわれない幅広く深い教養を身につけ、豊かな人間性を養うことを目的とし、協定を締結している他の大学等において履修した授業科目について修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する。
【②学内において実施する語学研修】
　学内において実施する語学研修の成果に対して単位を認定する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
　　②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。
個別目標：①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
　　②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌履修条件

①「派遣学生出願要項(本学)」及び協定大学等における募集要項で確認すること。
　なお、協定大学等については「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌評価基準・方法

①協定大学等における開放授業科目の単位を修得した場合、所定の手続きを行うことにより本科目に置き換えて単位の認定をする。
　なお、単位認定方法(手続)等については、「履修の手引」又は「派遣学生出願要項(本学)」を参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌参考書

①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

特別聴講科目 A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。
①協定大学等における開放授業科目に準ずる。詳細については、協定大学等のシラバスを参照すること。
②募集要項、オリエンテーション及び掲示等で別途指示する。

ビジネススキル A・B・C・D

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 各 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

TOEFL iBT、TOEIC Listening &Reading Test、実用英語技能検定などの技能審査や、各種資格取得等の成果を本大学における授業科目の履修により修得したものとみなし、単位を認定する科目である。この単位認定制度は、より実践的な技術・技能を身につけることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ○/M3 ●）

一般目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件を満たす。
個別目標：技能審査及び各種資格取得等の合格要件に準ずる。

▌履修条件

単位認定科目のため特になし。

▌評価基準・方法

単位の認定には、申請手続きが必要となる。

▌フィードバック方法

必要に応じて適宜指示する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。

▌参考書

特になし。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

ビジネススキル A・B・C・D

授業内容

30 時間相当分の講義内容とする。
単位認定制度及び単位認定を受けることのできる技能審査・各種資格等の詳細については、履修の手引等を参照すること。

事前学修

30 時間相当分の事前学修とする。

事後学修

30 時間相当分の事後学修とする。

ツーリズム概論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

松山　豊浩（まつやま　とよひろ）

▌授業の概要

人口減少社会の到来とともに日本のツーリズム (観光) は大きな転換期を迎え、産業全体もその裾野が益々広がっている。近年は訪日外国人旅行者 (インバウンド) が急増し、その大きな経済効果に期待が集まる一方で、日本人の国内・海外旅行需要の底上げ、オーバーツーリズム等の新たな課題、また地域創生や新しい社会システム構築等の様々な動きも注目されている。

本講座では「概論」の主旨に基づき、ニュース記事や VTR 等も活用しながらツーリズム全般を身近にわかりやすく学ぶとともに、”after Corona”の時代にあらためて日本が目指す「観光立国」「観光先進国」への諸課題や将来の姿について多面的に考察する。

なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

【授業方法】講義

【実務家教員と当該授業科目との関連性】

自身の職業選択や就職活動に活かすことができるよう、ANA 総合研究所の企業人講師が、日本のツーリズム（観光）全般、関連産業に関する基本知識及びその現状に関する知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・日本のツーリズム (観光) 全般および関連産業に関する基本知識、その現状と課題を理解し、経済的・社会的な観点から自身の考えとともに説明する能力を修得する。

個別目標：・「観光立国」への道を進む日本社会において自身が担う役割を明確にイメージでき、今後の職業や日常生活をとおして社会に貢献することができる。

・ツーリズム関連産業を志望する学生は、学修した知識を自身の職業選択や就職活動に活かすことができる。

▌履修条件

・日本のツーリズム (観光) 全般、ツーリズムにかかわる社会動向や関連産業に関心がある学生

・ツーリズム関連産業への就業に興味がある、志望業界として考慮している学生

ほか、学部・学科を問わず、「観光」そのものや「観光業界」に少しでも興味・関心がある学生の受講を歓迎する。

▌評価基準・方法

・期末試験もしくは期末レポート：50%

・課題の取組：グループワーク (2 回)、小レポート 30%

・授業の取組：出欠状況 (5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする)、早退/遅刻の状況、授業参画姿勢、TOPIC 発表、コメントシートの記述 等 20%

以上、合計 100%にて総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、各回の授業もしくは学修システム上にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク/ディスカッション/プレゼンテーション 等を予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、事前/事後学修では観光関連情報やデータ等の閲覧、学修システムへのアクセス 等が必要）

▌教科書

使用しない。適宜、教材資料等を配付する。

▌参考書

適宜、参考書籍等を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　講座計画と授業の進め方** 授業内容：講座概要 (論点、進捗手法、到達目標等) の説明および講座構成要素 (履修者、講師、配布教材等) の相互確認を行う。講座概要の説明においては、今なぜ日本は「観光立国」を目指すのかについて、日常社会の現象面を紹介するとともに、15 回の授業計画の流れや各回のテーマ等と関連づけて理解することをとおして、講座全般への関心と学修意欲を高める。 事前学修 2.0hr：ツーリズム (観光) への関心を高め、自らのイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：講座の目的や到達目標を理解するとともに、授業計画を把握する。
2 回	**授業テーマ：観光の定義と意義** 授業内容：古典に由来する「観光」の語源をはじめ関連する語句の起源や意味を知り、その歴史的背景を理解する。その上で、基本となる観光の定義、構造、意義や観光資源の位置づけについて理解を深めることと併せ、「観光」が社会に与える様々な影響や効果を踏まえつつ、現在また将来の日本において「観光」に期待される役割を考える。 事前学修 2.0hr：ツーリズム (観光) への関心を高め、自らのイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：日本の旅行・観光に関する全体把握 Ⅰ　「観光立国」への道と政策ビジョン** 授業内容：現代社会において「観光」をどのように捉えるべきか、「観光立国」の意味とともに、その実現を支える観光政策とツーリズム産業が持つ意義と特徴を把握する。また、日本の観光政策の歴史を辿りながら、近年の観光政策と観光立国推進に向けた出来事や取組、日本の経済・社会動向との関連について流れを追って触れることで、現在の訪日外国人急増や全国の観光地域活性化が持つ意味を理解するなど、国の重要戦略を社会における身近な課題として捉え、考察する。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：日本の旅行・観光に関する全体把握 Ⅱ　国内旅行・海外旅行・訪日外国人旅行等の動向** 授業内容：資料に集約した日本の旅行・観光の現状を具体的に示す各種図表やデータに幅広く触れ、それをもとに履修者自らが推察する演習等も行うことで、図表に関する読解力と内容の理解力を深めるとともに、各図表や数字から読み取ることができる「日本における旅行・観光の実態」を概括的に把握し、履修者自身の理解・考察につなげる。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。

5回	**授業テーマ：グループワーク Ⅰ　日本の旅行・観光の現状と課題を考える** 授業内容：第 4 回までの講義で得た知識を踏まえながら「日本の旅行の現状」にかかわる身近なテーマ (課題) について考える。グループワークとして出題内容に応じてディスカッションを行ったうえでグループの考えや意見を取りまとめ、ワークシートに記述・提出また発表することにより、テーマ (課題) に関する考察力をはじめ課題探究力や明確なアウトプットを見出す力を高める。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を参考に、ワークに向けて自身の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：他者の意見も含めワークでの考察をまとめ、理解の幅を広げる。
6回	**授業テーマ：観光の歴史とツーリズムの広がり** 授業内容：日本と西洋の旅行の起源から現代に至る歴史をひもとき、各時代の社会背景や人々の生活、文化との関連性の違いや共通点を広い視野で理解するとともに、現代および今後の旅行・観光のあり方につながる経緯やトレンドを掴み、ツーリズム全般に関連する「観光立国実現」に向けた課題認識と考察力を高める。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅰ　分類と特徴** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅱ　世界遺産と観光資源の保全①** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：観光資源と観光地 Ⅲ　世界遺産と観光資源の保全②** 授業内容：日本・世界の具体的な観光地や観光資源を取り上げ、それらの区分、特徴、価値等について理解を深めるとともに、観光資源保護の重要性に焦点を当て、魅力ある観光地は開発や集客のみでは成り立たず、観光地を構成する自然、文化、景観等の適切な維持や保全が求められることを理解する。また、その前提となる日本の法制度や国際的な条約等の知識を得るとともに、特に世界遺産について具体例をあげながらその種別、登録、意義等に関して考察する。 事前学修 2.0hr：社会と観光のかかわりについて考え、興味ある観光関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：グループワーク Ⅱ　これからの観光立国推進を考える** 授業内容：第 9 回までの講義で得た知識を踏まえながら、日本が目指す観光先進国化に向けたテーマ (課題) について考える。グループワークとして自身の新しい感覚と自由な発想を基にディスカッションを行ったうえでグループの考えや意見を取りまとめ、ワークシートに記述・提出また発表することにより、テーマ (課題) に関する考察力をはじめ課題探究力や明確なアウトプットを見出す力を高める。 事前学修 2.0hr：前回までの授業内容を参考に、ワークに向けて自身の考えを整理する。 事後学修 2.0hr：他者の意見も含めワークでの考察をまとめ、理解の幅を広げる。
11回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅰ　エアライン①** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(エアライン) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
12回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅱ　エアライン②** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(エアライン) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
13回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅲ　旅行・宿泊・テーマパーク** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(旅行業/宿泊業/テーマパーク 等) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
14回	**授業テーマ：ツーリズム業界研究 Ⅳ　旅行・宿泊・テーマパーク** 授業内容：旅行・観光を取り巻く環境は急速に変化を遂げつつあり、ICT 技術の進展や地方創生の役割も重視される中、社会全体に裾野が広がるツーリズム関連産業は各業界とも大きな変革期を迎えている。その中でも代表的な業界を取り上げ、その発展の歴史、特徴、実態、今後に向けて直面する課題等について幅広く触れることにより、各業界に関する理解とともに自身のキャリア形成や職業としての関心につなげる。(旅行業/宿泊業/テーマパーク 等) 事前学修 2.0hr：各産業の役割やしくみについて考え、興味ある業界関連記事等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容から新たに得た知識を踏まえ、実体験等から自主考察を行う。
15回	**授業テーマ：講座レビュー　/　まとめ** 授業内容：講座全体を振り返り、各回のテーマやキーワードに関するポイントをレビューするとともに、日本の経済・社会全体の変革を意味する「観光立国実現」に向けた重要課題、ツーリズム関連各業界の位置づけと今後の展望に関する理解を確認する。また、本講座をとおして履修者各人が「観光立国」への積極的なかかわりや社会的役割を意識し、ツーリズム関連分野への関心やキャリア形成意欲の向上が図られたか、もしくは、自己成長に向けた目標や指針を得られたか、講座の総括としてあらためて考え、明確化する。 事前学修 2.0hr：各回授業テーマについて資料等をもとに振り返り、理解度を確認する。 事後学修 2.0hr：講座全体の流れを追ってあらためて復習し、自身のまとめを作成する。

エアライン概論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

松山　豊浩（まつやま　とよひろ）

▌授業の概要

本講義では、国際社会において国境を越える人々の交流や物流を支える交通インフラであり、世界各国の異文化交流やその発展に貢献する産業であり、また今後の日本の新しい姿を実現するツーリズム (観光) 分野の主要産業でもある「航空」をグローバルな視点から取り上げ、ニュース記事や VTR 等も活用しながら「エアラインビジネス」の全体像をわかりやすく学び、またその過程をとおしてビジネス全般にも通用する企業マネジメント戦略の具現化のヒントや実践的なビジネス知識 等の理解も深めていく。
なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。
【授業方法】講義
【実務家教員と当該授業科目との関連性】
自身の職業選択や就職活動に活かすことができるよう、ANA 総合研究所の企業人講師が、航空業 (エアライン) 全般に関する基本知識及びその現状に関する知識を与える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・民間航空の発展や航空自由化の経緯等をとおして、その展開や歴史的な流れ、社会・経済への影響などを理解する。
・エアラインビジネスの特性や経営戦略・動向等について、自身の考えと言葉で説明できる能力を修得する。
個別目標：・航空関連産業やツーリズム (観光) 産業への就業を志望する学生は、学修した知識を自身の職業選択や就職活動に活かすことができる。

▌履修条件

・「航空 (エアライン) 」全般、「エアラインビジネス」の基本や戦略等に関心がある学生
・「航空関連産業」や「ツーリズム (観光) 産業」への就業に興味がある、志望業界として考慮している学生
ほか、学部・学科を問わず、「航空」「観光」そのものや「航空関連産業」「ツーリズム (観光) 産業」に少しでも興味・関心がある学生の受講を歓迎する。

▌評価基準・方法

・期末試験もしくは期末レポート：50%
・課題の取組：中間レポート 30%
・授業の取組：出欠状況 (5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする)、早退/遅刻の状況、授業参画姿勢、TOPIC 発表、
コメントシートの記述 等 20%
以上、合計 100%にて総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、各回の授業もしくは学修システム上にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （TOPIC 調査に関する発表/小レポート作成 等を予定）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、事前/事後学修では航空関連情報やデータ等の閲覧、学修システムへのアクセス 等が必要）

▌教科書

使用しない。適宜、教材資料等を配付する。

▌参考書

・(株)ANA 総合研究所 『航空産業入門(第 2 版)』 東洋経済新報社 (2017)
・(株)ANA 総合研究所 『エアラインオペレーション入門(改訂新版)』 イカロス出版 (2022)
ほか、適宜参考書籍等を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス　講座計画と授業の進め方** 授業内容：講座概要 (論点、進捗手法、到達目標等) の説明および講座構成要素 (履修者、講師、配布教材等) の相互確認を行う。講座概要の説明においては、「航空 (エアライン) 」のあらましを紹介するとともに、15 回の授業計画の流れや各回のテーマ等と関連づけて理解することをとおして、講座全般への関心と学修意欲を高める。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：講座の目的や到達目標を理解するとともに、授業計画を把握する。
2 回	**授業テーマ：エアラインの基本** 授業内容：航空機の基本知識、航空管制の概要、新しい航空交通管理の考え方 等について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
3 回	**授業テーマ：エアラインの特性** 授業内容：エアラインビジネス全般の特性、経営・経済面の特徴、イベントリスク 等について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
4 回	**授業テーマ：エアラインの業務** 授業内容：運航乗務員・CA・空港スタッフ (グランドスタッフ/グランドハンドリング)・整備士 等のエアラインを支える各職種の役割について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
5 回	**授業テーマ：民間航空の歴史** 授業内容：動力飛行機の発明から現在までの世界と日本の民間航空発展の歴史について。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
6 回	**授業テーマ：航空自由化の流れ** 授業内容：航空保護政策から世界的な航空政策の規制緩和への変革の流れについて。 事前学修 2.0hr：航空 (エアライン) への関心を高め、自らの正確なイメージを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
7 回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅰ　ネットワーク** 授業内容：航空ネットワーク構築の重要性、ハブ&スポークの考え方と効果、乗り継ぎ需要 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。

8回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅱ　アライアンス** 授業内容：グローバルアライアンス結成の背景と歴史、アライアンスの意義と効果 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
9回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅲ　ブランド/プロダクト&サービス** 授業内容：エアラインのブランド向上と新規プロダクト開発の重要性 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
10回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅳ　CS とホスピタリティ** 授業内容：CS(顧客満足)・CX(顧客体験価値)、ホスピタリティの考え方、ES(従業員満足) 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
11回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅴ　LCC(ローコストキャリア)** 授業内容：LCC(ローコストキャリア) の登場と発展、新たなビジネスモデルの仕組みと特徴 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
12回	**授業テーマ：エアラインビジネスの概要Ⅵ　航空とツーリズム** 授業内容：航空がツーリズムや観光活性化に果たす役割、「観光立国」とインバウンドへの貢献 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
13回	**授業テーマ：航空貨物　/　エアラインビジネスの動向と展望** 授業内容：世界の物流を担う航空貨物、航空業界の最近の動向、エアラインビジネスの将来 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
14回	**授業テーマ：航空の安全** 授業内容：全てに優先する「航空安全」の考え方、安全運航を堅持するための実践的な対応や取組 等について。 事前学修 2.0hr：授業テーマへの関心を高め、興味ある航空関連記事 等を調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容をレビューし、新たに得た知識と自身の考えをまとめる。
15回	**授業テーマ：講座レビュー　/　まとめ** 授業内容：講座全体を振り返り、各回のテーマやポイントをレビューするとともに、本講座をとおして学修した「航空 (エアライン) 」および「エアラインビジネス」全般に関する各自の理解を確認する。また、航空関連分野への関心やキャリア形成意欲の向上が図られたかについてあらためて考え、明確化する。 事前学修 2.0hr：各回授業テーマについて資料等をもとに振り返り、理解度を確認する。 事後学修 2.0hr：講座全体の流れを追ってあらためて復習し、自身のまとめを作成する。

航空サービス論

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

大嵜　史眞子（おおさき　しまこ）

▌授業の概要

本授業では、航空会社および空港における各種業務について、ANA グループの実務事例を交えながら体系的に学ぶ。航空機の運航や空港業務に関わる具体的な仕事内容を理解するとともに、現場で働く人々の役割や価値に着目し、航空業界にとどまらない将来のキャリア形成につながる視点を養うことを目的とする。

また、ANA グループが重視する「安全」「品質」「お客様視点」を基盤としたサービスを多角的に考察することで、ホスピタリティマインドやチームワークの重要性、仕事に対するやりがいについて理解を深める。

授業は、ANA 総合研究所の知見を活かした事例研究、ディスカッション、プレゼンテーションなどの実践的な手法を取り入れ、主体的な学修を促す形式で進める。

なお、本講義は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・ANA グループの事例を通して、航空運送事業の基礎知識および航空業界における業務・サービスの多様性が理解できる。
・航空会社が提供するサービスと顧客ニーズについて、安全・品質・ホスピタリティの観点から考察することができる。
・実務において重視されるチームワークおよびコミュニケーションの重要性を理解できる。

個別目標：・航空業界の中から関心のある業務や職種を取り上げ、その内容や特徴について自分なりの見解を述べることができる。
・自身の考えを整理し、相手に分かりやすく伝える力を身につけ、発言や発表を行うことができる。
・プレゼンテーションやディスカッションに必要な情報を適切に収集・整理し、論理的にまとめることができる。

▌履修条件

・航空運送事業、航空関連企業、空港業務に関心を持つ学生
・航空業界への就職を視野に入れている学生
・将来のキャリア形成を見据え、企業視点での学びを就職活動に活かしたい学生

▌評価基準・方法

・各回の課題（小テスト、レポート、振り返りシート、ワークシート、プレゼンテーション等）40 %
・後期試験（プレゼンテーション）50 %
・参加姿勢（積極的な取り組み、発言等）：10 %

以上を総合的に判断し、成績評価を行う。

なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題に対するフィードバックは、各回の授業内、または学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、振り返りシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 上の資料閲覧、レスポンス入力、小テストおよび各種課題の実施のため）

▌教科書

使用しない。必要に応じてレジュメを配布する。

▌参考書

・ANA 総合研究所編『エアラインオペレーション入門 改訂新版』イカロス社（2022 年）
・ANA 総合研究所著『航空産業入門』東洋経済新報社（2017 年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、学修の目的、課題および評価方法について説明する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容を確認し、授業全体の構成を把握する。 事後学修 2.0hr：授業テーマと学修範囲を整理し、授業への取り組み方を考える。
2回	**授業テーマ：航空運送事業の特性（旅客輸送と貨物輸送）** 授業内容：航空運送事業に関わる基本的な知識と事業特性を学び、現在の業界の状況について学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空運送事業の特性について調べる。 事後学修 2.0hr：航空運送事業の特性について整理する。
3回	**授業テーマ：エアラインの提供するサービスⅠ「安全と保安」** 授業内容：航空業界の事例を踏まえ、安全運航および保安体制を支える考え方や仕組みを学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空会社の安全対策について調べる。 事後学修 2.0hr：安全と保安の重要性について振り返る。
4回	**授業テーマ：エアラインの提供するサービスⅡ「定時性・利便性・快適性」** 授業内容：ANA が重視する品質をもとに、定時性・利便性・快適性と顧客満足の関係を考察する。 事前学修 2.0hr：航空会社の定時出発率について調べる。 事後学修 2.0hr：安全性を基盤としたサービス提供について考える。
5回	**授業テーマ：エアラインを取り巻く環境変化「SDGs・CSR・ ESG 経営」** 授業内容：環境問題や人権課題への対応を通じて、航空企業の社会的責任について学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空業界を取り巻く環境変化に関するトピックスを確認する。 事後学修 2.0hr：外部環境の変化が航空事業に与える影響を整理する。
6回	**授業テーマ：エアラインの人財戦略　「Society5.0 に対応するための人財戦略」** 授業内容：ANA グループの考え方を参考に、人財マネジメントの目的と求められる人財像を考える。 事前学修 2.0hr：Society5.0 の意味について調べる。 事後学修 2.0hr：人材マネジメントの重要性について振り返る。
7回	**授業テーマ：エアライン研究Ⅰ　「プレゼンテーション①」** 授業内容：航空業界の課題について調査研究し、ANA の取り組みを参考に個人の見解を発表する。 事前学修 2.0hr：関心のある業界トピックスを調査・研究する。 事後学修 2.0hr：他者の発表を通じて得た学びを整理する。

8回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅰ　「予約・販売部門」** 授業内容：ANA の事例をもとに、予約・販売部門の業務内容と対人サービスの役割を考察する。 事前学修 2.0hr：航空券の販売や予約方法について調べる。 事後学修 2.0hr：求められるサービスの質について振り返る。
9回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅱ　「グランドスタッフ」** 授業内容：グランドスタッフの業務内容と必要なスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：グランドスタッフの業務について調べる。 事後学修 2.0hr：業務の役割と重要性を整理する。
10回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅲ　「グランドハンドリング」** 授業内容：グランドハンドリング業務の内容と、定時性・安全性を支える役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：グランドハンドリング業務について調べる。 事後学修 2.0hr：業務の重要性について振り返る。
11回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅳ　「航空機の運航をサポートする業務」** 授業内容：機内食や機内清掃など、航空機の運航を支える周辺業務について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ケータリング事業および機内清掃業務について調べる。 事後学修 2.0hr：各業務の役割を整理する。
12回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅴ　「航空オペレーションと運航管理者」** 授業内容：航空機のオペレーション業務および運航管理者の役割と責任について学ぶ。 事前学修 2.0hr：航空オペレーション業務について調べる。 事後学修 2.0hr：運航管理者の役割について振り返る。
13回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅵ　「客室乗務員(キャビンアテンダント)」** 授業内容：ANA のサービス理念を踏まえ、客室乗務員の業務内容と求められるスキルについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：客室乗務員の業務について調べる。 事後学修 2.0hr：業務の役割について整理する。
14回	**授業テーマ：エアラインの業務Ⅶ　「運航乗務員と航空整備士」** 授業内容：運航乗務員および航空整備士の業務と、安全運航を支える役割について学ぶ。 事前学修 2.0hr：両職種の業務内容について調べる。 事後学修 2.0hr：それぞれの役割について振り返る。
15回	**授業テーマ：エアライン研究Ⅱ　「プレゼンテーション②」　(後期試験)** 授業内容：航空業界の現状や将来について調査研究し、個人の見解を発表する。 事前学修 2.0hr：関心のある分野について発表準備を行う。 事後学修 2.0hr：他者の発表を通じて得た学びを整理する。

フライトアテンダント・グランドスタッフ研究

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

青地　香里（あおち　かおり）

▌授業の概要

空のスペシャリスト、フライトアテンダントとグランドスタッフの業務内容を理解するとともに、事例や取り組みをあげて、求められる人材像、必要とされる能力などを理解する。また、変革と改革が進む航空業界で顧客戦略等の業界研究を行い求められる「おもてなし」について考え、研究する。
授業では、表現力向上を目指し、演習やディスカッション、1 分間スピーチ等アウトプットする機会を多く設ける。
なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：フライトアテンダント・グランドスタッフの職種研究と基本的な接客スキルの習得を通し、「社会に出る」ことを見据えたコミュニケーション力を高める。
個別目標：・相手のために、と考えられる「おもてなし」力を養う。
・グループワークや意見交換を通じて、発信力を身に着ける。
・ビジネスシーンでのヒューマンスキル（接遇力、マナーなど）を習得する。

▌履修条件

・航空業界をはじめとするホスピタリティ業界に興味・関心を持つ学生
・ホスピタリティマインドを持ち合わせた社会人として活躍したい学生
・「受け身」ではなく「自ら学び、考え、表現する」というコミュニケーション力を発揮したい学生

▌評価基準・方法

・スピーチの準備、取り組み 35%
・振り返りシートの提出 30%
・グループプレゼンテーション 20%
・授業への参加姿勢及び授業内での発言など 15 %
以上を総合的に判断し評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （体験学習・グループワーク・グループディスカッション・プレゼンテーション・振り返りシート・フィードバック）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションの作成）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメを配布する。
また DVD などの映像を使用する。

▌参考書

『仕事も人間関係もうまくいく ANA の気づかい』ANA ビジネスソリューション (2015)
『さすが！ といわせる大人のマナー講座』日本マナー・プロトコール協会（2018）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の流れと学ぶ目的、課題の取り組み方、評価について確認する。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し自分なりの授業のゴールを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
2回	**授業テーマ：航空業界で求められる人材像** 授業内容：自己分析シート、グループでの他己分析などを通し自分のことを言語化する。 事前学修 2.0hr：自分の長所、短所について考え自己紹介文を考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
3回	**授業テーマ：業界・企業研究** 授業内容：業界の知識と航空業界の企業群についてグループワークで学ぶ。 事前学修 2.0hr：日本の航空会社について HP を参照し情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
4回	**授業テーマ：フライトアテンダント職種研究** 授業内容：客室乗務員の業務について学び、対応事例などをグループで検討する。 事前学修 2.0hr：フライトアテンダントの業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
5回	**授業テーマ：グランドスタッフ職種研究** 授業内容：グランドスタッフの業務について学び、対応事例などをグループで検討する。 事前学修 2.0hr：グランドスタッフの業務について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
6回	**授業テーマ：お客様対応事例研究** 授業内容：動画視聴を行い客室乗務員・グランドスタッフのお客様対応についてグループ検討を行う。 事前学修 2.0hr：フライトアテンダントの業務について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
7回	**授業テーマ：ホスピタリティ業界から学ぶ好印象を与える【第一印象と活舌】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの印象について学び、自分の印象について考える。また機内アナウンスを事例にあげ活舌の実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：自分の第一印象を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、表情のトレーニングを行う。振り返りシートの作成。
8回	**授業テーマ：フライトアテンダントの振る舞いから学ぶ【美しい立居振舞い】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの振る舞いについて学び、実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：お辞儀について意味や歴史を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、立居振舞いのトレーニングを行う。振り返りシートの作成。

9回	**授業テーマ：接遇用語を学ぶ【美しい日本語】** 授業内容：フロントラインに立つスタッフの接遇用語について学び、実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：接遇とは何か、言葉の意味を調べ自分の見解をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、敬語のトレーニングを行う。振り返りシートの作成。
10回	**授業テーマ：お客様に安心、共感を与えるための【コミュニケーション力：聴く力】** 授業内容：ペアワークを通してホスピタリティ業界で必要とされる【傾聴】とは何か、を体感する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション力はどのような場面で必要とされるか考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
11回	**授業テーマ：お客様と対等に会話をするための【コミュニケーション力：伝える力】** 授業内容：ペアワークを通して社会人として必要とされる説明力を学ぶ。 事前学修 2.0hr：自身のミスコミュニケーションの経験をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
12回	**授業テーマ：茶の湯からおもてなしを学ぶ【日本文化理解】** 授業内容：千利休の事例より、日本のおもてなし文化を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ニュースなどから興味のあるおもてなしについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
13回	**授業テーマ：国際的に活躍するための【異文化コミュニケーション】** 授業内容：マナー・プロトコールの観点から、国際社会で求められるマナーとルールがあることを学ぶ。 事前学修 2.0hr：これまでの異文化経験をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションスキル** 授業内容：グループプレゼンテーションの実施に向けて、準備を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容についてまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、振り返りシートを作成する。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：グループでプレゼンテーションの発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容作成と自己練習。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの振り返り。

ホスピタリティ論Ⅰ (ホスピタリティ基礎・マナー演習)

開講学科等：日英中経不 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

大嵜　史眞子（おおさき　しまこ）

▌授業の概要

本授業は、ANA 総合研究所が航空事業をはじめとする実務の中で培ってきた「ホスピタリティ」に関する知見を基盤とし、ホスピタリティの概念について多角的な視点から考察することを目的とする。サービス産業にとどまらず、日常生活や将来の職業生活において必要とされる対人コミュニケーション能力および相互理解力の向上を目指す。

また、就職活動および社会人生活を見据え、「ホスピタリティの概念」を基礎に据えたマナー演習を通じて、社会人として求められる基礎的な能力の育成を図る。授業はエアライン業界のみならず、ホスピタリティ業界全般の事例を用いて、ディスカッション、グループワーク等の実践的な手法で進める。

なお、本講座は ANA 総合研究所の企業人講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎）

一般目標：・ホスピタリティの意味とその役割を理解することができる。
・ホスピタリティが生み出す価値の重要性を理解することができる。
・ホスピタリティの発揮に必要なスキルを身につけることができる。
・ホスピタリティに関する自らの見解を形成することができる。

個別目標：・ホスピタリティの価値を理解した上で、「ホスピタリティとは何か」について自分の言葉で表現することができる。
・ホスピタリティの発揮に向けて具体的な行動を示すことができる。

▌履修条件

・ホスピタリティに興味・関心を持つ学生。
・ホスピタリティ産業への就職を希望する学生。
・ホスピタリティマインドを持ち合わせた社会人として活躍したい学生。

▌評価基準・方法

・各回の課題(小テスト・レポート・プレゼンテーションなど）40 %
・前期試験 50%
・参加姿勢及び授業内での発言内容など 10 %

以上を総合的に判断し評価する。

また、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、各回の授業内において、あるいは学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・グループワーク・振り返りシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 上の資料閲覧、レスポンス入力、小テストおよび各種課題の実施のため）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメを配布する。

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本授業の目的、全体構成、学修方法、課題の取り組み方および成績評価方法について説明する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容を確認し、航空業界およびホスピタリティ産業に対する関心を高める。 事後学修 2.0hr：本授業を通じて身につける姿勢や能力について考える。
2回	**授業テーマ：ホスピタリティの原義** 授業内容：ホスピタリティの原義を確認し、「サービス」との違いからホスピタリティの本質を理解する。 事前学修 2.0hr：「ホスピタリティ」という言葉の意味や由来について調べる。 事後学修 2.0hr：学修した概念を日常生活や身近なサービス体験と結び付けて振り返る。
3回	**授業テーマ：ホスピタリティと文化Ⅰ(ホスピタリティの表出)** 授業内容：文化の違いによるホスピタリティの表れ方について、参考事例をもとに考察する。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティやサービスに関連する文化的差異の事例を調べる。 事後学修 2.0hr：学修内容を多文化環境でのコミュニケーションの視点から整理する。
4回	**授業テーマ：ホスピタリティと文化 Ⅱ(日本のホスピタリティの源泉)** 授業内容：「茶の湯」に見られる日本のホスピタリティの精神性から、「相手を思う心」の源泉を考察する。 事前学修 2.0hr：「茶道の心得」について調べ、日本文化の特徴を整理する。 事後学修 2.0hr：日本的ホスピタリティが現代のサービスにどのように活かされているかを考える。
5回	**授業テーマ：ホスピタリティと産業Ⅰ(産業構造の変化とホスピタリティ)** 授業内容：日本の産業構造の変化を踏まえ、ホスピタリティ産業が果たす役割と社会的意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：「日本標準産業分類」におけるホスピタリティ関連業種を確認する。 事後学修 2.0hr：航空・観光産業と自身の将来像との関係について考える。
6回	**授業テーマ：ホスピタリティと産業 Ⅱ(ホスピタリティ企業の研究)** 授業内容：ホスピタリティ企業で実践されているホスピタリティの取り組みを調査研究し、発表する。 事前学修 2.0hr：企業が実践するホスピタリティの具体的事例について調べる。 事後学修 2.0hr：発表内容を振り返り、ANA のサービス理念との共通点や特徴を整理する。
7回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅠ(コミュニケーション能力とは)** 授業内容：コミュニケーション能力の重要性を理解し、実践的なワークを行う。 事前学修 2.0hr：自身のコミュニケーションの特徴について振り返る。 事後学修 2.0hr：相手視点を意識した伝え方を日常生活で実践する。
8回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅡ(コンテクストとは)** 授業内容：航空業界の現場で見られる事例を参考に、コンテクストの重要性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：コンテクストの意味を調べる。 事後学修 2.0hr：場面に応じた対応の在り方について具体例とともに整理する。

9回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅢ（チームワークを発揮する）** 授業内容：組織の中でホスピタリティを発揮するための協働のあり方について、ワークを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：チームワークを発揮した自身の経験を整理する。 事後学修 2.0hr：組織の一員としての役割意識について考える。
10回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅣ（マナー①　挨拶・身だしなみ・敬語）** 授業内容：航空業界で求められる接遇を参考に、社会人として必要な基本的マナーについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：マナーや敬語についての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
11回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅤ（マナー②　ビジネスメールの基本）** 授業内容：一般企業における実務を想定し、適切なビジネスメールの書き方とマナーを学ぶ。 事前学修 2.0hr：ビジネスマナーについての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
12回	**授業テーマ：ホスピタリティとコミュニケーションⅥ（マナー③　電話応対）** 授業内容：航空業界の顧客対応を例に、電話応対の基本とホスピタリティを意識した対応について学ぶ。 事前学修 2.0hr：電話応対や電話マナーについての疑問点や不明な点をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
13回	**授業テーマ：ユニバーサルサービスⅠ（ユニバーサルサービスの概要と意義）** 授業内容：ユニバーサルサービスの概要と取り組む意義、サービスを必要とする人々について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ユニバーサルサービスという言葉の意味を調べる。 事後学修 2.0hr：多様な利用者の視点からサービスを考える。
14回	**授業テーマ：ユニバーサルサービスⅡ（ユニバーサルサービス実践のための考え方）** 授業内容：ユニバーサルサービス実践のための具体的な行動と考え方についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：ユニバーサルサービスの具体的な実践方法について見解をまとめる。 事後学修 2.0hr：学修した内容について日常生活の中で実践し、理解を深める。
15回	**授業テーマ：これまでのまとめ（前期試験）** 授業内容：前期授業全体を振り返り、学修したホスピタリティの考え方を踏まえた上で試験を実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を総合的に復習する。 事後学修 2.0hr：学修したホスピタリティマインドを将来どのように活かすかについて整理する。

ホスピタリティ論Ⅱ (ホスピタリティと産業)

開講学科等：日英中経不 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：ＡＮＡツーリズム・ホスピタリティプログラム

井元　千穂 (いのもと　ちほ)

▌授業の概要

取り巻く環境の変化が激しい現代において、企業によるホスピタリティの発揮は顧客満足度向上にとどまらず、組織内の信頼関係構築や自身のやりがいにも直結することが認識されつつある。
本講義では、「産業や企業のホスピタリティに焦点を当て、ホスピタリティが生み出す価値と影響について理解する」と「企業は組織体として何を捉まえて、消費者にどう伝えるのかを考察する」をテーマに、エアライン、ホテル、テーマパーク、デパート等、認知度の高いホスピタリティ産業を取り上げ、ケーススタディ、グループワーク、ディスカッションを通じて、ホスピタリティとは何かを自分自身で定義する。
なお、本講座は ＡＮＡ 総合研究所の企業講師が担当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ○/M2 ◎/M3 ◎）

一般目標：・ホスピタリティの意味を理解できる。
・各企業がホスピタリティをどのように捉え、発揮しているかを知る。
・企業活動で求められるホスピタリティを理解し、考え、立案できる。
個別目標：・ホスピタリティ産業について自ら意見を発信することができる。
・ホスピタリティ産業について、グループディスカッションができる。
・集めた情報を精査した上で、自身の考えと併せて発言できる

▌履修条件

・ホスピタリティに興味・関心を持つ学生
・ホスピタリティ産業への就職を希望する学生
・グループワークやディスカッションに積極的に参加できる学生

▌評価基準・方法

・授業、グループワークへの参加姿勢 30%
・最終プレゼンテーション　30%
・事前課題の提出　20%
・レポート　20%
以上を総合的に判断し評価する。5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、各回の授業において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション・プレゼンテーション・レポート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーションの作成）

▌教科書

使用しない。必要に応じレジュメ、ワークシートを配布する。
DVD などの映像を使用する。

▌参考書

必要に応じ、適宜授業の中で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の流れと学ぶ目的、課題の取り組み方、評価について確認する。 事前学修 2.0hr：全 15 回の授業内容について確認する。 事後学修 2.0hr：授業で学ぶ内容、自身の興味のある業界・企業について考える。
2回	**授業テーマ：ホスピタリティ産業とは** 授業内容：ホスピタリティとサービスの違いを理解し、ホスピタリティ産業について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティとは何か、自分の見解をまとめておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティのあり方について実社会の中で実践、理解する。
3回	**授業テーマ：ホスピタリティ産業における商品価値** 授業内容：ホスピタリティ産業の特徴を学び、ホスピタリティ産業における商品価値を考える。 事前学修 2.0hr：商品価値、付加価値について、調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自分の意見をまとめる。
4回	**授業テーマ：企業における顧客満足度と従業員満足度** 授業内容：ホスピタリティ産業における顧客満足度と従業員満足度について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ＣＳ、ＥＳとは何か、調べておく。 事後学修 2.0hr：ＣＳ、ＥＳについて自分の体験や経験から考える。
5回	**授業テーマ：ホスピタリティを発揮する組織とは** 授業内容：ホスピタリティ産業で活躍するために必要なことは何か、自分の学生生活を例に考える。 事前学修 2.0hr：ホスピタリティが高いと思う企業を調べておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティを発揮するために学生生活の中で取り組むことを考える。
6回	**授業テーマ：1 杯のコーヒーから考える～ホスピタリティの比較①～** 授業内容：目に見えないホスピタリティは比較できるのか、グループワークで意見交換する。 事前学修 2.0hr：普段自分が利用するカフェについてまとめておく。 事後学修 2.0hr：ホスピタリティの比較について、自分の考えをまとめる。
7回	**授業テーマ：1 杯のコーヒーから考える～ホスピタリティの比較②～** 授業内容：事例をもとにグループでホスピタリティの比較検討を行う。 事前学修 2.0hr：グループワークに向けて情報を収集する。 事後学修 2.0hr：グループワークを振り返り、自分の考えをまとめる。
8回	**授業テーマ：ホスピタリティが評価される企業とは** 授業内容：ホスピタリティ産業における企業価値について、学ぶ。 事前学修 2.0hr：興味のある企業が取り組んでいる SDGs について調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、自分の意見をまとめる。

9回	**授業テーマ：中間プレゼンテーション** 授業内容：これまで学んだ内容を踏まえて、興味のある企業のホスピタリティについて発表する。 事前学修 2.0hr：興味のある企業が発揮するホスピタリティについて調べる。 事後学修 2.0hr：中間プレゼンテーションの振り返りを行う。
10回	**授業テーマ：事例研究【ホテル】** 授業内容：ホテルの事例を挙げて、顧客満足度についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本のホテル業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の顧客満足度について自分の意見をまとめる。
11回	**授業テーマ：事例研究【レストラン】** 授業内容：レストランの事例を挙げて、商品価値についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：興味のある飲食店について気になるホスピタリティ関連のトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の付加価値について自分の意見をまとめる。
12回	**授業テーマ：事例研究【旅行】** 授業内容：旅行業界の事例を挙げて、顧客満足度についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本の旅行業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例の顧客満足度の比較について自分意見をまとめる。
13回	**授業テーマ：事例研究【百貨店】** 授業内容：百貨店の事例を挙げて、ホスピタリティの発揮についてグループディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：日本の百貨店業界について気になるトピックスを調べてくる。 事後学修 2.0hr：事例のホスピタリティの発揮について自分の意見をまとめる。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：中間プレゼンテーションのフィードバックを活かし、最終プレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：興味のある企業のホスピタリティについて調査、プレゼンテーション資料作成を行う。グループで意見をまとめておく。 事後学修 2.0hr：これまでの授業内容について振り返る。
15回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：中間プレゼンテーションのフィードバックを活かし、最終プレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する、最終プレゼンテーション作成。 事後学修 2.0hr：グループワーク、発表について振り返る。

ビジネスコミュニケーション A・B

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：集中 ｜ 備考：ビジネスコミュニケーションプログラム

豊田　順子（とよだ　じゅんこ）

▌授業の概要

社会人に求められる資質として、コミュニケーション能力はどんな場面においても、人間関係を構築する必要不可欠な能力です。とりわけビジネスにおいては、自身の持つ積極性・責任感を相手に理解してもらい、職場に合った対応力を発揮することで未来を切り拓くことにつながります。この集中プログラムでは、コミュニケーションを理論と実践の面から学び、将来ビジネスで活かしていく基礎力を身につけます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：今まで意識してこなかったコミュニケーションの様々な意味を多角的視点から理解し、個々の能力を改善することによって、就職活動で実践できる力を身につける。

個別目標：ビジネスにおける良いマナーを認識し、自らの課題を客観的に受けとめ、相手に好印象を与える自分自身の表現力を身につける。

▌履修条件

学事課（教務担当）で各自履修申請を行う。学事課（教務担当）の指示に従ってください。
また、1 クラス 10 名以内とし、受講生は先着順とします。

▌評価基準・方法

評価は S・A・B・C の評価ではなく N（認定）の判定とし、担当教員が下記の基準で判断します。
無遅刻、無欠席で受講した場合のみ単位を認定します。

▌フィードバック方法

各授業・最終講義内でコメントを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （他の学生の前で、自己紹介などのスピーチを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （但し、スマートフォンでの録画を行う。）

▌教科書

使用しません。

▌参考書

必要に応じ、授業内で案内します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

第 1 回：コミュニケーション・リテラシー（1）自己紹介
第 2 回：コミュニケーション・リテラシー（2）自己分析
第 3 回：ビジネス・スピーチの基本（1）呼吸法・発声
第 4 回：ビジネス・スピーチの基本（2）発音・滑舌
第 5 回：ビジネス・コミュニケーション（1）正しい敬語表現
第 6 回：ビジネス・コミュニケーション（2）メールの書き方・電話対応の基本
第 7 回：プレゼンテーション演習（1）総合演習
第 8 回：プレゼンテーション演習（2）総合演習

授業内容

第 1 回：現状の自己紹介を客観的に観察し、心理学的理論から第一印象に影響する改善点を発見する。
第 2 回：就職活動・ビジネスシーンにおける自己表現の取り組みを考える。「ガクチカ」と「自己 PR」をいかに表現して、社会人としての自分の可能性をアピールしていくかなどの方法を理解する。
第 3 回：他者とのコミュニケーションにおいて、自分の身体を意識的かつ有効に使うことの重要性を学ぶ。
第 4 回：他者とのコミュニケーションにおいて、身体的な「伝え方」を認識し、意識改革を図る。
第 5 回：日本語の正しい敬語表現を理論的に理解する。
第 6 回：ビジネスにおけるメールのやり取りや、電話での話し方の基本を学ぶ。
第 7 回：模擬面接を実施し（ビデオ撮影）、自分の印象を客観的に確認し、将来の自分の面接に活かすための改善点を認識する。
第 8 回：模擬面接を実施し（ビデオ撮影）、自分の印象を客観的に確認し、将来の自分の面接に活かすための改善点を認識する。

事前学修

第 1・2 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自己紹介」で口頭表現できるよう準備しておく。
第 3・4 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自己 PR」を口頭表現できるよう準備しておく。
第 5・6 回事前学習　2.0hr：1 分間の「自分が将来なりたい姿」を口頭表現できるよう準備しておく。
第 7・8 回事前学習　2.0hr：模擬面接でどんな質問を投げかけられるかを予想し、自分自身の意見を自らの言葉で表現できるよう準備しておく。

事後学修

第 1 回・第 2 回事後学習　2.0hr：自分の強みを言語化し、常に様々なアピールポイントを表現する応用力を身につける。
第 3 回・第 4 回事後学習　2.0hr：日常生活における自分の話し方を客観的に意識し続ける。
第 5 回・第 6 回事後学習　2.0hr：自分より立場が上の人との言葉遣いを意識し、積極的に学習した内容を実践していく。
第 7 回・第 8 回事後学習　2.0hr：自分自身のプレゼンテーション能力について反省点を整理し、実際の就職活動開始までに、何度もシミュレーションを重ねる。

資本市場の役割と証券投資

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）

廣部　恒忠（ひろべ　つねただ）

▌授業の概要

野村證券株式会社派遣講師が本授業を通じ、資本市場と証券投資に関する知識を与えている。
少子高齢化や人口減少などの人口動態の変化、「金利のある世界」への移行、成年年齢の引き下げなど我々の日常生活を取り巻く環境が著しく変化している中、自己責任の原則の下、一般生活者・消費者或いは貯蓄・投資者として賢くふるまうためには、ファイナンスに関する実践的な知識が必要不可欠となってきている。このような社会情勢等を鑑み、明海大学と野村證券株式会社が、活力ある社会と経済を形成していくための人材を育成する社会的使命を共有しつつ、広く人類・社会のより豊かな発展に寄与するため、「野村證券ファイナンスプログラム（寄附講座）」を開設し、資本市場と証券投資に関して実践的に学んでいくものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ○/M3 ◎）

一般目標：・経済ニュースがわかるようになる。
・自分で投資できる力が身につく。
・社会人基礎力が身につく。
個別目標：・リスクとリターンの関係がわかる。　・証券投資におけるリスクを理解できる。
・債券と株式における違いを理解できる。　・投資信託の種類がわかる。

▌履修条件

金融業界に興味のある者。1 クラス 50 名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前の産学連携教育プログラムガイダンスに出席し、履修すること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み（40 %）及び参加態度（60 %）に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業中に適宜、或いは manaba を通じて実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

「新・入門証券論」榊原茂樹、城下賢吾、岡村秀夫、山口聖、月岡靖智、北島孝博著／有斐閣コンパクト

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ガイダンス 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでおくこと 事後学修 2.0hr：第 1 回目授業の復習
2 回	**授業テーマ：経済情報の捉え方** 授業内容：様々な経済情報を通じて、どのように「経済」というものが成り立っているのかを理解していく。企業、家計、国、海外と各項目に分けることによってその関連性を確認し、経済情報の捉え方を学習する。 事前学修 2.0hr：経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 2 回目授業の復習
3 回	**授業テーマ：金融資本市場の役割とその変化** 授業内容：金融市場への理解を深める意味で、金融の仕組み、我が国の資金循環の状況、経済と関連した最近の構造的変化などを解説し、今後の展望を交えながら金融市場の役割を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 3 回目授業の復習
4 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：債券の基本、債券と株式の違い、債券と預金の違い、債券の種類について学習する。また、債券投資のリスク、利率と利回りの違い、利回り計算の具体例を示し、計算問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 4 回目授業の復習
5 回	**授業テーマ：債券市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：債券価格（＝金利）の変動と景気・政策・需給などとの関連について理解を深める。また、債券投資に伴う投資リスクについても学習し、グローバルな債券投資についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 5 回目授業の復習
6 回	**授業テーマ：外国為替相場とその変動要因** 授業内容：外国為替に関する基本的な用語、メカニズムを学び、経済の動きとの関連に関し学習することにより、日本経済と世界経済との連動に対する理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 6 回目授業の復習
7 回	**授業テーマ：リスク・リターンとポートフォリオ分析」** 授業内容：「投資とは」、「リスクとは」、「リターンとは」という基礎知識について学習した後、リスクコントロールの基本的な考え方とその具体的な手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 7 回目授業の復習
8 回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (基礎編)** 授業内容：株式の誕生からその意義、原則などの基礎知識と、株式投資の魅力や株式市場について学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 8 回目授業の復習

9回	**授業テーマ：株式市場の役割と投資の考え方 (応用編)** 授業内容：株価の分析、評価方法を踏まえた銘柄選択の考え方などについて理解を深める。また、投資情報として投資に関するレポートなどを紹介する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 9 回目授業の復習
10回	**授業テーマ：投資信託の役割とその仕組み** 授業内容：「投資信託」という言葉の意味から、特徴、仕組みなどについて学習する。また、投資信託の選び方や最近注目されている投資信託についても、具体的に学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 10 回目授業の復習
11回	**授業テーマ：行動ファイナンス～投資家心理について** 授業内容：証券投資を行なう際の心構えとして、私たちの投資判断に影響を与える様々な心理的バイアスについて理解するとともに、その具体例を通して対処法と投資行動への応用法や「行動ファイナンス」の基本を学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 11 回目授業の復習
12回	**授業テーマ：ライフプランと資産形成** 授業内容：なぜライフプランが必要なのか、充実した将来のために必要な「ライフプラン」についての考え方を学習する。将来に予想される環境の理解と、私たちの暮らしに影響を与える年金制度改革の概要についても学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 12 回目授業の復習
13回	**授業テーマ：公的年金制度について** 授業内容：公的年金制度の仕組みや制度を詳しく学ぶ。年金制度を取り巻く変化や、改正への動きも把握し、自助努力の必要性を理解する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 13 回目授業の復習
14回	**授業テーマ：確定拠出年金について** 授業内容：確定拠出年金の仕組み、企業型と個人型の違いや税制のメリットとその効果等を具体的な運用商品の例も含めて学習する。 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 14 回目授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：前回授業の復習と経済のニュースをみること 事後学修 2.0hr：第 1～15 回目授業の復習

はじめての起業講座（Start up Basics）

開講学科等：日英中経不 HT ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：浦安商工会議所起業プログラム（寄附講座）

飯田　信一（いいだ　のぶかず）

▌授業の概要

本授業は、「起業は楽しい、ハードルが低い」というコンセプトのもと、起業を特別な人だけのものではなく、身近な選択肢の一つとして捉え直すことを目的とする。講義だけでなく、創業者の実体験に基づく講演、ワークショップ、グループワーク、プレゼンテーションを中心に構成し、学生自身が社会課題や身近な違和感を出発点としてビジネスアイデアを考え、事業計画として形にすることを目指す。講師陣は浦安商工会議所推薦の、起業に精通した、税理士、中小企業診断士、コンサルタント、起業家、金融機関担当者等の実務家であり、それぞれの実務経験を活かした実践的な内容を学ぶことができる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：①起業・創業の基本的な考え方と心構えを理解する
②社会課題や自身の経験をもとにビジネスアイデアを構想できる
③マーケティング（3C・SWOT・STP 等）の基礎を実践的に使える
④資金調達や収支計画の基本構造を理解する

個別目標：学生が自ら考案したビジネスアイデアについて、事業計画書を作成し、発表できるレベルに到達することをゴールとする。

▌履修条件

２年生以上、起業に関心がある者。履修生は２４名以内とし、これを超える場合は成績等を勘案し選抜する。事前の産学連携教育プログラムガイダンスに出席すること。

▌評価基準・方法

グループワークでの取組み・参加姿勢（３０%）、授業課題の提出（３０%）、事業計画作成・発表（４０%）に基づき総合的に評価する。
なお、原則無欠席者のみ評価対象とする。

▌フィードバック方法

授業中に適宜実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼン資料作成、事業計画書作成など）

▌教科書

特になし

▌参考書

授業中適宜指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：起業とは何か** 授業内容：起業の定義、日本における起業の現状を整理。「起業＝特別な才能が必要」という固定観念を問い直し、小さく始める起業など多様なスタイルを紹介する。 事前学修 2.0hr：起業に対する自らの思い、志の整理 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
2回	**授業テーマ：起業者講演会①** 授業内容：地元・浦安で実際に起業した経営者 2 名による講演。起業のきっかけ、初期の苦労、失敗談、現在に至るまでのプロセスを通じて、リアルな起業像を学ぶ。 事前学修 2.0hr：起業者の事業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
3回	**授業テーマ：起業者講演会②** 授業内容：地元・浦安で実際に起業した経営者 2 名による講演。起業のきっかけ、初期の苦労、失敗談、現在に至るまでのプロセスを通じて、リアルな起業像を学ぶ。 事前学修 2.0hr：起業者の事業内容の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
4回	**授業テーマ：社会課題をテーマとした起業** 授業内容：社会課題解決型ビジネス（ソーシャルビジネス）の考え方を学ぶ。地域活性化（千葉県内）など身近な社会課題をビジネスに結びつける視点を具体的事例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
5回	**授業テーマ：自己分析とビジネスアイデアの整理** 授業内容：自身の経験・強み・関心を棚卸し整理し、ビジネスアイデアの種を洗い出す。 事前学修 2.0hr：自己分析、ビジネスアイデア整理の準備作業 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
6回	**授業テーマ：ビジネスアイデアの整理、深堀り** 授業内容：前回で抽出したアイデアをもとに、誰のどんな課題を解決するのかを明確化する。グループワークを通じてアイデアのブラッシュアップを行う。 事前学修 2.0hr：ビジネスアイデアの整理、精査 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
7回	**授業テーマ：マーケティング基礎（戦略・3C・SWOT）** 授業内容：マーケティングの基本的な考え方を学ぶ。戦略概念、3C 分析、SWOT 分析を用いてビジネスアイデアを分析する演習を行う。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
8回	**授業テーマ：マーケティング（STP）** 授業内容：STP（セグメンテーション・ターゲティング・ポジショニング）の考え方を学び、演習を行う。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習

9回	**授業テーマ：マーケティング(集客・愛顧化)** 授業内容：集客方法や顧客との関係構築(リピート・愛顧化)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
10回	**授業テーマ：マーケティング分析** 授業内容：履修生が自身のビジネスアイデアについてマーケティング分析を行い、発表する(グループワーク)。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
11回	**授業テーマ：資金調達(クラウドファンディング)** 授業内容：資金調達の基礎と、クラウドファンディングの仕組みを具体的事例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
12回	**授業テーマ：資金調達・収支計画の立て方** 授業内容：事業の「お金の流れ」を理解し、収益・費用構造、簡単な収支計画の立て方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の予習、課題準備 事後学修 2.0hr：授業内容の振り返り、復習
13回	**授業テーマ：事業計画書の作成** 授業内容：実現可能性や一貫性を意識しながら、学習内容を整理・統合し、事業計画書を作成する。 事前学修 2.0hr：事業計画書案の作成 事後学修 2.0hr：事業計画書案の見直し、精査
14回	**授業テーマ：事業計画書プレゼンテーション①** 授業内容：履修生によるグループ毎の事業計画書の最終プレゼンテーション(前半)。外部講師からの講評を通じて、実践的な視点を得る。 事前学修 2.0hr：事業計画書の作成、精査 事後学修 2.0hr：講評に基づいた事業計画書の修正、精査
15回	**授業テーマ：事業計画書プレゼンテーション②、まとめ** 授業内容：履修生によるグループ毎の事業計画書の最終プレゼンテーション(後半)。外部講師からの講評を通じて、実践的な視点を得る。授業全体の振り返りを行い、起業を「将来の選択肢」として捉え直す。 事前学修 2.0hr：事業計画書の作成、精査 事後学修 2.0hr：講評に基づいた事業計画書の修正、精査

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

富樫　里真（とがし　りま）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

福島佐知、友松悦子、中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの (は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態、前学期の復習** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 5 を練習する。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 20 を練習する。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 22 を練習する。

8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 10 を練習する。	25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 25 を練習する。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～てはいられない」「～べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け、文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：比較対照、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 15 を練習する。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容を最終テストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：語彙文法事後ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語 I

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

高柳　奈月（たかやなぎ　なつき）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語 I の内容は「文法」である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。授業外には事前学修、事後学修、課題に取り組み、授業内では毎回小テストがある。

▌到達目標

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
　　自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
　　(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
　　(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
　　(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

『文法 Buddy JLPT 日本語能力試験 N2 一文法からひろげる日本語トレーニングー』The Japan Times

▌参考書

『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、第１課①～④** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：これまで学習した文法知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	16回	**授業テーマ：第８課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
2回	**授業テーマ：第１課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	17回	**授業テーマ：第 9 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
3回	**授業テーマ：第２課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	18回	**授業テーマ：第 9 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
4回	**授業テーマ：第２課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	19回	**授業テーマ：第 10 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
5回	**授業テーマ：第３課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 10 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
6回	**授業テーマ：第３課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	21回	**授業テーマ：第 11 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
7回	**授業テーマ：第４課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	22回	**授業テーマ：第 11 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
8回	**授業テーマ：第４課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	23回	**授業テーマ：第 12 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。

9回	**授業テーマ：第５課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	24回	**授業テーマ：第 12 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
10回	**授業テーマ：第５課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 13 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
11回	**授業テーマ：第６課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	26回	**授業テーマ：第 13 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
12回	**授業テーマ：第６課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	27回	**授業テーマ：第 14 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
13回	**授業テーマ：第７課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	28回	**授業テーマ：第 14 課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
14回	**授業テーマ：第７課⑤～⑧** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	29回	**授業テーマ：第 15 課①～④** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。
15回	**授業テーマ：第８課①～④、中間テストとフィードバック** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。第１回～第１４回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。	30回	**授業テーマ：第 15 課⑤～⑧、まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：授業テーマに即した文法項目を取り上げ、読む・聞く・話す・書くの四技能を組み合わせた実践的な練習を行う。第 1 回～第 29 回の内容をテストで復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された事後学修課題を行う。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス（留 H）

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。「アカデミックⅠ」は日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：背景の異なるさまざまな人と一緒に働くことを想定し、社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について、流暢に、正確に、そして効果的に言葉を用いて、言いたいことを概ね表現できる。その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 日本語話者を相手に一般的な事柄についてストレスを感じさせることなく流暢に会話することができる。
(2) 日本のビジネスマナー、コミュニケーションスタイルに関する基本的な知識があり、状況に応じた表現を使い分けることができる。
(3) 相手の発言に言葉の内容とは異なる意図が含まれている場合、その意図を概ね理解して的確に対応することができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N1 を取得している。
日本語のコミュニケーション能力を客観的に測る資格試験を受験する。
授業への主体的な参加を求める。
課題提出の期限を守る。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba および対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアおよびグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

村野節子・山辺真理子・向山陽子『上級レベル　ロールプレイで学ぶビジネス日本語』スリーエーネットワーク
牧野成一 (監)『PJC 実践日本語コミュニケーション検定ガイドブック』ウィネット出版

▌参考書

JAL アカデミー株式会社『改訂新版 ビジネス日本語用例辞典』アスク
公益財団法人日本電信電話ユーザー協会編『もしもし検定電話対応技能検定３・４級公式問題集』日本経済新聞出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、自己紹介を行う（社内）** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価方法について理解する。そのあと、社内で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習し、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。 事前学修 2.0hr：ビジネスにおける日本語コミュニケーションにおいて必要な知識をまとめる。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、目標を立てる。	16回	**授業テーマ：私の言い分「私は能力のある人間です」異文化ロールプレイ「自慢話と自己アピール」、前学期の復習** 授業内容：私の言い分「私は能力のある人間です」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「自慢話と自己アピール」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。前学期の復習をする。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。前学期の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
2回	**授業テーマ：自己紹介を行う（社外）** 授業内容：社外で自己紹介を行う場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開、表現を学習する。PJC の概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。PJC について調べる。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	17回	**授業テーマ：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」異文化ロールプレイ「仕事の範囲」、会議・打ち合わせ、面接** 授業内容：私の言い分「お茶くみは誰の仕事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「仕事の範囲」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。「会議・打ち合わせ、面接」について学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
3回	**授業テーマ：電話を受ける、社会人としての心構え** 授業内容：電話を受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。社会人としての心構えを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	18回	**授業テーマ：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」異文化ロールプレイ「休暇の申請」** 授業内容：私の言い分「家庭と仕事、どっちが大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「休暇の申請」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
4回	**授業テーマ：アポイントを取る、人間関係の作り方①コミュニケーションを取る際の留意点、敬語** 授業内容：アポイントを取る場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。コミュニケーションを取る際の留意点、敬語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	19回	**授業テーマ：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」異文化ロールプレイ「指示の仕方」** 授業内容：私の言い分「会議で使う資料はいつまでに作ればいい？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「指示の仕方」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
5回	**授業テーマ：会議に参加する、人間関係の作り方②効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方** 授業内容：会議に参加する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。効果的な伝え方、話の組み立て方、ビジネスにおける指示の受け方、確認の仕方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	20回	**授業テーマ：私の言い分「沈黙は金？」異文化ロールプレイ「ミーティングでの発言」** 授業内容：私の言い分「沈黙は金？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「ミーティングでの発言」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。

6回	**授業テーマ：クレームを受ける、人間関係の作り方③あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーション** 授業内容：クレームを受ける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。あいづちの打ち方、依頼の断り方、日本文化特有のコミュニケーションを学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	21回	**授業テーマ：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」異文化ロールプレイ「謝罪」** 授業内容：私の言い分「どうして謝らなきゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「謝罪」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
7回	**授業テーマ：クレームを報告する、効率的な仕事の進め方①報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位** 授業内容：クレームを報告する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。報告連絡相談、PDCA、仕事の優先順位を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	22回	**授業テーマ：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」異文化ロールプレイ「報告ー解決済みの小さなトラブル」** 授業内容：私の言い分「もう解決したんじゃないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告ー解決済みの小さなトラブル」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
8回	**授業テーマ：クレームを処理する、効率的な仕事の進め方②来客対応** 授業内容：クレームを処理する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。来客対応を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	23回	**授業テーマ：私の言い分「報連相は大事？」異文化ロールプレイ「報告・連絡・相談」** 授業内容：私の言い分「報連相は大事？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「報告・連絡・相談」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
9回	**授業テーマ：会議で提案する、効率的な仕事の進め方③電話応対** 授業内容：会議で提案する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。電話応対を学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	24回	**授業テーマ：私の言い分「情報の共有って？」異文化ロールプレイ「メールでの情報の共有」** 授業内容：私の言い分「情報の共有って？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メールでの情報の共有」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
10回	**授業テーマ：新規顧客を開拓する、効率的な仕事の進め方④アポイントメント** 授業内容：新規顧客を開拓する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。アポイントメントについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	25回	**授業テーマ：私の言い分「人前で怒るなんて！」異文化ロールプレイ「メンツー人前での叱責」** 授業内容：私の言い分「人前で怒るなんて！」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「メンツー人前での叱責」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
11回	**授業テーマ：新規顧客とアポイントをとる、効率的な仕事の進め方④名刺交換、E メール** 授業内容：新規顧客とアポイントをとる場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。名刺交換、E メールの活用方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	26回	**授業テーマ：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」異文化ロールプレイ「目標設定と評価」** 授業内容：私の言い分「目標は高いほうがいいに決まっているじゃない？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「目標設定と評価」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
12回	**授業テーマ：商品を売り込む、模擬問題①基礎知識編とフィードバック** 授業内容：商品を売り込む場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。基礎知識の習得を模擬問題で確認する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	27回	**授業テーマ：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」異文化ロールプレイ「同僚の昇進と不満」** 授業内容：私の言い分「能力だけじゃいけないの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「同僚の昇進と不満」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
13回	**授業テーマ：催促の電話をかける、他社訪問、接遇・接客、クレーム対応** 授業内容：催促の電話をかける場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。他社訪問、接遇・接客、クレーム対応を学習する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	28回	**授業テーマ：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」異文化ロールプレイ「コネ縁故採用」** 授業内容：私の言い分「縁故採用のどこが問題？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「コネ縁故採用」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
14回	**授業テーマ：交渉を進める、模擬問題②事例編とフィードバック** 授業内容：交渉を進める場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。模擬問題②事例編を行い、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	29回	**授業テーマ：私の言い分「残業は当たり前？」異文化ロールプレイ「残業」** 授業内容：私の言い分「残業は当たり前？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。「残業」をテーマとした異文化ロールプレイを行ない、問題点について話し合う。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。
15回	**授業テーマ：受注に成功する、中間テストとフィードバック** 授業内容：受注に成功する場面の会話を聞いて語彙と表現を学習したあとで、ロールカードの状況で会話の練習を行う。会話を発表し、より適切で自然な展開を学習する。中間テストとフィードバックを受け、学習内容を整理する。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：学習の振り返りを行ない知識を整理する。	30回	**授業テーマ：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」、最終テストとフィードバック** 授業内容：私の言い分「最高の接待はお腹がすくもの？」で提示された問題点を把握し、問題を解決するためにはどのように行動すべきかを考える。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：新出語彙、表現の意味を調べ、事前タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：自身の日本語ビジネス日本語コミュニケーション能力について客観的に分析し、１年間の成長をまとめる。

アカデミック日本語Ⅰ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

荷見　美有（はすみ　みゆう）・**範　弘宇**（はん　こうう）・**堀内　貴子**（ほりうち　たかこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅰの内容は文法である。専門分野の技術的な議論も含めて、具体的な話題でも抽象的な話題でも複雑なテクストの主要な内容を理解するために重要な文法・表現を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う文法的表現の意味・機能・文法などの規則を、正しく理解して、適切な場面で正しく使うことができる。
文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
自分の文法能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習能力を育てる。

個別目標：(1) 一文レベル、談話レベルで文法的表現を正しく理解できる。
(2) それぞれの文法的表現がどのような場面で使われているかを理解し、一文レベル、および談話レベルで正しく使うことができる。
(3) オンラインリソースを活用し、それぞれの文法的表現がどのような場面でよく使われているか説明することができる。
(4) 自分の文法能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、講座 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

福島佐知・友松悦子・中村かおり『新完全マスター文法 N1』スリーエーネットワーク

▌参考書

友松悦子・和栗 雅子・宮本 淳『新装版 どんなときどう使う 日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、時間関係** 授業内容：授業の概要、目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、理解する。その後、事前テストを受ける。時間関係を表す文法表現「～が早いか」「～や否や」「～なり」「そばから」「てからというもの(は)」「～にあって」を練習する。 事前学修 2.0hr：これまで学習した文法知識を整理しておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：結末・最終の状態** 授業内容：結末・最終の状態を表す表現「～に至って」「～に至っては」「～始末だ」「～っぱなしだ」を練習する。第１回から第１５回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：範囲の始まり・限度** 授業内容：範囲の始まり・限度を表す文法表現「～を皮切りに(して)」「～に至るまで」「～を限りに」「～をもって」「～といったところだ」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：強調** 授業内容：強調を表す表現「～たりとも～ない」「～すら」「～だに」「～にして」「～あっての」「～からある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：限定・非限定・付加** 授業内容：限定・非限定・付加を表す文法表現「～をおいて」「～ならでは」「～にとどまらず」「～はおろか」「～もさることながら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：主張・断定** 授業内容：主張・断定を表す表現「～までもない」「～までだ」「～ばそれまでだ」「～には当たらない」「～でなくてなんだろう(か)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：例示** 授業内容：例示を表す文法表現「～なり～なり」「～であれ～であれ」「～といい～といい」「～といわず～といわず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：評価・感想** 授業内容：評価・感想を表す表現「～に足る」「～に堪える」「～といったらない」「～かぎりだ」「～極まる／極まりない」「～とは」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：関連・無関係** 授業内容：関連・無関係を表す文法表現「～いかんだ」「～いかんにかかわらず」「～をものともせず(に)」「～をよそに」「～ならいざしらず」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：心情・強制的思い** 授業内容：心情・強制的思いを表す表現「～てやまない」「～に堪えない」「～ないではすまない」「～ないではおかない」「～禁じ得ない」「～余儀なくされる」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
6回	**授業テーマ：様子** 授業内容：様子を表す文法表現「～ばかりだ」「～ばかり(に)」「～ともなく」「～ながらに(して)」「～きらいがある」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：文の組み立て** 授業内容：文の組み立てルール「後に否定の言い方が来るもの」「疑問詞につくもの」「数字につくもの」、名詞を説明「後に名詞が来るもの」「名詞を説明する形式」「名詞につくもの」「名詞・動詞辞書形につながるもの」「動詞辞書形につながるもの」を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

7回	**授業テーマ：付随行動** 授業内容：付随行動を表す文法表現「～がてら」「～かたがた」「～かたわら」を練習する。第１回から第４回の復習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22回	**授業テーマ：時制** 授業内容：時制を表す用法「現在の文の特別な用法」「過去形の文の特別な用法」「動詞のている形の特別な用法」「名詞を説明する文の時制」を整理し、文章の中で使えるよう練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：逆接** 授業内容：逆接を表す文法表現「～ところを」「～ものを」「～とはいえ」「～といえども」「～と思いきや」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23回	**授業テーマ：条件を表す文** 授業内容：仮定か確定かの判断、反実仮想、前置き表現など条件を表す文法形式を整理し、文章の中で使えるよう練習する。第１回から第２０回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件を表す文法表現「～とあれば」「～たら最後」「～ようでは」「～なしに(は)」「～くらいなら」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 1,2** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「動詞の使い方」「自他動詞の使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：逆接条件** 授業内容：逆接表現「～(よ)うと(も)」「～(よ)うと～まいと」「～であれ」「～たところで」「～ば～で」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25回	**授業テーマ：視点を動かさない手段 3,4** 授業内容：文章にまとまりをもたせ、視点を動かさないようにするための表現「受け身・使役・使役受け身の使い分け」「～てあげる・～てもらう・～てくれるの使い分け」を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：目的・手段** 授業内容：目的・手段を表す文法表現「～べく」「～んがため(に)」「～をもって」を練習する。第１回～第８回の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26回	**授業テーマ：模擬試験とフィードバック** 授業内容：これまで学習した文法をどの程度理解しているか測定するテストを実施する。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由を表す表現「～ばこそ」「～とあって」「～ではあるまいし」「～手前」「～ゆえ(に)」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27回	**授業テーマ：指示表現「こ・そ・あ」の使い分け、「は・が」の使い分け** 授業内容：文章中に出てくる指示表現「こ・そ・あ」の使い分けと「は・が」の使い分けを整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：可能・不可能・禁止** 授業内容：可能・不可能・禁止を表す表現「～にかたくない」「～に～ない」「～て(は)いられない」「べくもない」「～べからず」「～まじき」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28回	**授業テーマ：接続表現** 授業内容：文章の展開を助け文章のまとまりをもたせる役割をもつ接続表現を整理し、練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：話題・評価の基準** 授業内容：話題・評価の基準を表す表現「～ときたら」「～ともなると」「～ともあろう」「～たるもの(は)」「～なりに」を練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29回	**授業テーマ：省略・繰り返し・言い換え、文体の一貫性、話の流れを考える** 授業内容：文章中の省略、繰り返し、言い換えを理解する。文体の一貫性を保つための表現「硬い表現」「会話で使う表現」を整理し、練習する。話しの進め方にかかわる表現を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：比較対照、総合練習、中間テストとフィードバック** 授業内容：比較対照を表す表現「～にひきかえ」「～にもまして」「～ないまでも」を練習する。第１回～第１４回の内容を復習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：第１回から第２９回までに学習した内容をテストする。その後、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
　　要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
　　自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
　　(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
　　(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
　　(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
　　(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
　　(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 を取得している。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理−比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理−比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを “つくって” もいいですか** 授業内容：文章「いのちを “つくって” もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

富樫　里真（とがし　りま）

▌授業の概要

「アカデミック日本語」では大学での授業の理解および課題を行うために必要な日本語能力を育成する。「アカデミック日本語Ⅱ」の内容は読解である。さまざまな目的で書かれた文章の中身を理解し、多角的に考察できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
多様なテーマについて自ら考え、判断し、表現する力を育成する。
自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
(2) 文章の論理的な構造（主張と根拠、事実と考察など）を正しく理解できる。
(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
各学期に日本語能力を測る資格試験を受験する。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

西隈俊哉（編）『読む聞く考える日本語トレーニング』アスク
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N2』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、待ち合わせをする** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。「待ち合わせをする」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：日本語で書かれたニュース、小説等を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：心理学を学ぶ、芸術を学ぶ** 授業内容：「心理学を学ぶ」「芸術を学ぶ」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：本を選ぶ、荷物を受け取る** 授業内容：「本を選ぶ」「荷物を受け取る」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：旅の話、仕事の話** 授業内容：「旅の話」「仕事の話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：外食をする、料理を作る** 授業内容：「外食をする」「料理を作る」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：進路の話、大切な人** 授業内容：「進路の話」「大切な人」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：電車を利用する、薬の使い方を確認する** 授業内容：「電車を利用する」「薬の使い方を確認する」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：お悩み相談、開発秘話** 授業内容：「お悩み相談」「開発秘話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：生活のルールを確認する、イベント** 授業内容：「生活のルールを確認する」「イベント」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 1 回を練習する。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：街角インタビュー、評論** 授業内容：「街角インタビュー」「評論」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：事故、地域** 授業内容：「事故」「地域」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：動物の気持ち、童話** 授業内容：「動物の気持ち」「童話」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：災害、トレンド** 授業内容：「災害」「トレンド」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：タイムスリップ** 授業内容：「タイムスリップ」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：ラブストーリー** 授業内容：「ラブストーリー」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：トラブル、政治** 授業内容：「トラブル」「政治」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：国際、仕事の連絡** 授業内容：「国際」「仕事の連絡」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：未来の世界** 授業内容：「未来の世界」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N2 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N2』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：夢の中** 授業内容：「夢の中」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：業務の説明、アンケート結果の分析** 授業内容：「業務の説明」「アンケート結果の分析」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：時代劇** 授業内容：「時代劇」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：企画会議、調べたことの発表** 授業内容：「企画会議」「調べたことの発表」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：怪談** 授業内容：「怪談」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：実験結果の発表、中間テストとフィードバック** 授業内容：「実験結果の発表」を用い、読解および聴解を通して内容を理解し、テーマに関する課題について多角的に考察する。これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。ビジネスにかかわる新聞記事によく見られる語彙・表現の習得、未知語への対応のしかたなどの練習を通じて正確な理解を身に付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日常的なビジネス文書、ビジネスに関する新聞の資料を読み、内容を正確に理解できる。
個別目標：(1)日本語で新聞記事を正確に読むことができる。
(2)ビジネスにかかわる資料を読んで、企画を提案するプレゼンテーションができる。
(3)他者と意見を交換し、さまざまな価値観、考え方について比較し、対照できる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
各学期にビジネス日本語能力を客観的に測る資格試験を受験する。
自分のビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、テスト 30%、課題提出 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

澁川晶・高橋紗弥子・庵功雄『留学生のためのジャーナリズムの日本語―新聞・雑誌で学ぶ重要語彙と表現―』スリーエーネットワーク
近藤彩・品田潤子・金孝卿・内海美也子『課題達成のプロセスで学ぶビジネスコミュニケーション〈改訂新版〉』ココ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：授業の内容、進め方について説明を聞き、これからどんなことを学習するのかイメージし、目的意識を持って学習を進められるよう動機づけを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んでコースの内容を把握する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：企業の求める人材** 授業内容：仕事で成果を上げるためのスキルについて日本と自国の共通点を見出す。自分の専門分野や関心の範囲で企業ガイダンスや説明会資料を読み、企業の求める人材を理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現** 授業内容：体に関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：企業ガイダンス** 授業内容：企業ガイダンスを聞いて、重要事項を漏らさずノートをとる練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：体に関連のある語彙・表現が含まれた読解** 授業内容：体に関連のある語彙・表現の知識を整理する。体に関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：会社概要の調査** 授業内容：企業のパンフレット、企業のホームページ等ある程度長い文章にざっと目を通して読み、ポイントを理解する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(1)身近なものに関連のある語彙・表現** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：就職のための提出書類** 授業内容：長所や短所をはじめ簡単な自己 PR 文を就職のための提出資料に書き、クラスメートと評価しあう。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：身近なものに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：身近なものに関連のある語彙・表現の知識を整理する。身近なものに関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：会議の内容** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加者から出たいろいろな情報や議論をまとめて議事録に書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(2)戦いに関連のある語彙・表現** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：図表の理解** 授業内容：社内会議などで企業の販売実績や市場の動向を示すグラフを見ながら、現状を理解する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：戦いに関連のある語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：戦いに関連のある語彙・表現語彙・表現の知識を整理する。戦いに関連のある語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：会議内容の整理と報告** 授業内容：参加した会議の内容を理解して、参加していない人に明瞭で簡潔なメールを書いて報告する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：背景知識が必要な語彙・表現(３)社会的背景を持つ語彙・表現** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：SWOT 分析(１)手順** 授業内容：マーケティングにおける SWOT 分析の方法を学習し、ビジネスに関する記事を特定の視点から分析する練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：社会的背景を持つ語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：社会的背景を持つ語彙・表現の知識を整理する。社会的背景を持つ語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：SWOT 分析(２)資料の収集と分析** 授業内容：自らの関心に従って企業を一つ決め、新聞記事、雑誌記事、企業のホームページの情報を集める。そのうえで、ＳＷＯＴ分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現が含まれた文章を読み、学習項目を確認する。表記、意味、使い方を学習したあと、新聞記事を読んで実例に触れながら意味を推測する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：戦略** 授業内容：ＳＷＯＴ分析の結果から、問題解決のための戦略を考える。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：もとの形から変化している語彙・表現を含んだ読解** 授業内容：もとの形から変化している語彙・表現の知識を整理する。もとの形から変化している語彙・表現の知識、意味推測のストラテジーを生かして、長めの新聞記事を読む練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：戦略の根拠** 授業内容：戦略の根拠を説明するための資料を集める。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：今後の学習にむけて** 授業内容：これまで学習したことを振り返りながら長文を読み、「慣用表現」「時間を表す表現」「カギ括弧のついたことば」「筆者の価値観を表す表現」などにも注目して読む練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーションで受け手に与える影響を考えイメージしながら、伝えること、その表現方法について準備する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：総合練習** 授業内容：これまで学習してきたストラテジーを用いて比較的長い新聞記事を読む練習を行う。内容理解を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：プレゼンテーション資料の作成** 授業内容：集めた情報や企画のアイデアを整理し、わかりやすいプレゼンテーションの資料を作る。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：現代社会ニュースの紹介** 授業内容：特別な立場や視点から取り上げた現代社会に関する複数の新聞記事を読む。共通点を見抜き、含意された意見や立場を比較しながら詳細に内容を報告する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：発表と他者評価** 授業内容：用意したプレゼンテーションをはっきりとした声でわかりやすく伝える。プレゼンテーションで話し手の発話を正しく理解したかどうか確認するための質問をしたり説明が曖昧だった部分に対して指摘をする。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テスト・フィードバック** 授業内容：これまで学習したことをある程度長く複雑な文章の中でも理解できるかどうか中間テストを行う。その後、解答と解説等フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：コース全体のふりかえり・最終テストとフィードバック** 授業内容：コース全体を振り返り、自らの成長を実感する。これまで学習してきたことが定着しているかどうか最終テストで確かめたあと、解説を聞きフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅱ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**荷見　美有**（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅱの内容は読解である。さまざまな目的で書かれた長くて複雑な文章の中身を詳細に理解できるようになることを目指す。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の授業で使う教科書や専門書、授業の課題を取り組むために必要な資料等を読んで、正しく内容を理解できる。
要点の把握を含め、理解のために多様な読解ストラテジーを駆使でき、文脈上の手がかりから理解の当否を確かめることができる。
自分の読解能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の構造を理解して、要旨を把握できる。
(2) 文章の論理的な構造(主張と根拠、事実と考察など)を正しく理解できる。
(3) 事実と意見を分けるなど文脈上の手がかりを見落とすことなく読むことができる。
(4) 読む目的に応じて適切な読解ストラテジーを選択し、使い分けることができる。
(5) 書き手の意図を読み取り、正確に別の言葉で言い換えることができる。
(6) 自分の読解能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N2 を取得している。
各学期に日本語能力を測定する資格試験を受験する。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分の読解能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

資格試験 40%、課題提出 30%とテスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアワークもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

奥山貴之、宇津木奈津子、東会娟『考える人の上級日本語読解』凡人社
上田暢美、内田嘉美、桑島卓男、糠野永未子、吉田歌織、若林佐恵里、安達万里江『とりあえず日本語能力試験対策 読解 N1』ココ出版

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解し、事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：新聞等日本語の文章を読む。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：貿易の基本原理−比較優位** 授業内容：文章「貿易の基本原理−比較優位」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：ゲームの今と将来** 授業内容：文章「ゲームの今と将来」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：グローバル化とどう向き合うか** 授業内容：文章「グローバル化とどう向き合うか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：ゲームは悪影響を及ぼすのか？** 授業内容：文章「ゲームは悪影響を及ぼすのか？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：ある熟年夫婦の関係性** 授業内容：文章「ある熟年夫婦の関係性」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：私の名は。** 授業内容：文章「私の名は。」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：女性の働き方** 授業内容：文章「女性の働き方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：多言語状況を考える** 授業内容：文章「多言語状況を考える」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：第 4 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 4 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：第 1 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 1 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：いのちの『終わり』は誰が決めるのか** 授業内容：文章「いのちの『終わり』は誰が決めるのか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：幸福度の低い日本の子ども** 授業内容：文章「幸福度の低い日本の子ども」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：いのちを “つくって” もいいですか** 授業内容：文章「いのちを “つくって” もいいですか」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：『自尊感情を高めよう』を再考** 授業内容：文章「『自尊感情を高めよう』を再考」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：科学は魔法？** 授業内容：文章「科学は魔法？」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 2 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 2 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：科学と社会の関係が変わるとき** 授業内容：文章「科学と社会の関係が変わるとき」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：高度経済成長期の日本** 授業内容：文章「高度経済成長期の日本」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：第 5 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 5 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：高持続可能な社会** 授業内容：文章「高持続可能な社会」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：研究とは―研究は勉強とまったく違う** 授業内容：文章「研究とは―研究は勉強とまったく違う」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 3 回 N1 読解** 授業内容：『とりあえず日本語能力試験対策読解 N1』の第 3 回を行う。間違えた問題や分からなかった語彙や文法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：フィールドワーク研究の意義** 授業内容：文章「フィールドワーク研究の意義」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：人生の先輩が教えるキャリアのつくり方** 授業内容：文章「人生の先輩が教えるキャリアのつくり方」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：レジュメ作成** 授業内容：レジュメ作成例を参考にしながらレジュメを作成する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは** 授業内容：文章「変化するキャリア観―自分らしいキャリアとは」を精読し、内容を理解する。語彙、文法表現を確認し、情報を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：レジュメ発表** 授業内容：作成したレジュメの発表を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための中間テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとコース全体の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた内容を確認するための最終テストに取り組み、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

範　弘宇（はん　こうう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(4)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(5)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N 2を取得している。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。経済・金融１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きにかかわる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：社会・生活１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。シャドーイング練習をする。
2回	**授業テーマ：経済・金融２(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：経済・金融２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードに関する漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイング練習をする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：社会・生活２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：経済・金融３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：社会・生活３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：経済・金融４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：社会・生活４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：経済・金融５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅰに関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：社会・生活５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。
6回	**授業テーマ：経済・金融６(聴解)、就職活動Ⅱ(漢字)** 授業内容：経済・金融６のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅱに関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活６(聴解)、社会・産業(漢字)** 授業内容：社会・生活６のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。

7回	**授業テーマ：経済・金融7（聴解）、地名（漢字）** 授業内容：経済・金融7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル7を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活7（聴解）、芸術（漢字）** 授業内容：社会・生活7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融8（聴解）、歴史（漢字）** 授業内容：経済・金融8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。歴史に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活8（聴解）、農業（漢字）** 授業内容：社会・生活8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融9（聴解）、日本文化（漢字）** 授業内容：経済・金融9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活9（聴解）、生物学Ⅰ（漢字）** 授業内容：社会・生活9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10（聴解）、世界遺産（漢字）** 授業内容：経済・金融 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を練習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10（聴解）、生物学Ⅱ（漢字）** 授業内容：社会・生活 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅱに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 11（聴解）、日常語彙Ⅰ（漢字）** 授業内容：経済・金融 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11（聴解）、漢語の語構成（漢字）** 授業内容：社会・生活 11 ニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12（聴解）、日常語彙Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅱに関わる漢字を練習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12（聴解）、熟語の読み方（漢字）** 授業内容：社会・生活 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方にかかわる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13（聴解）、旅行（漢字）** 授業内容：経済・金融 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。シャドーイング練習をする。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13（聴解）、様子・態度（漢字）** 授業内容：社会・生活 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度に関わる漢字を学習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14（聴解）、人間の体（漢字）** 授業内容：経済・金融 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14（聴解）、心情（漢字）** 授業内容：社会・生活 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15（聴解）、医療（漢字）、中間テストとフィードバック** 授業内容：経済・金融 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15（聴解）、状態（漢字）、最終テストとフィードバック** 授業内容：社会・生活 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

林　苗（りん　みょう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストがある。

▌到達目標

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：（1）一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
（2）聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
（3）講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
（4）自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で、N2 相当を対象とする。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

岡まゆみ(監)『上級へのとびら　きたえよう漢字力　上級へつなげる基礎漢字 800』くろしお出版
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 中級からはじめるニュースの日本語聴解 40』 スリーエーネットワーク
棚橋明美・杉山ますよ・野原ゆかり『N2 聴解スピードマスター』J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、第１課読み(漢字)、ニュース１(聴解)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明を聞いて理解する。第１課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。 事前学修 2.0hr：これまで学習してきた漢字の知識を整理し、読み方と書き方を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：第８課書き(漢字)、ニュース２６(聴解)** 授業内容：第８課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の課題理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：第１課書き(漢字)、ニュース２(聴解)** 授業内容：第１課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：第９課読み(漢字)、ニュース２７(聴解)** 授業内容：第９課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース２７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の課題理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
3回	**授業テーマ：第２課読み(漢字)、ニュース３(聴解)** 授業内容：第２課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	18回	**授業テーマ：第９課書き(漢字)、ニュース２８(聴解)** 授業内容：第９課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース２８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
4回	**授業テーマ：第２課書き(漢字)、ニュース４(聴解)** 授業内容：第２課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	19回	**授業テーマ：第１０課読み(漢字)、ニュース２９(聴解)** 授業内容：第１０課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース２９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT のポイント理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
5回	**授業テーマ：第３課読み(漢字)、ニュース５(聴解)** 授業内容：第３課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース５を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。JLPT ポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	20回	**授業テーマ：第１０課書き(漢字)、ニュース３０(聴解)** 授業内容：第１０課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT のポイント理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
6回	**授業テーマ：第３課書き(漢字)、ニュース６(聴解)** 授業内容：第３課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	21回	**授業テーマ：第１１課読み(漢字)、ニュース３１(聴解)** 授業内容：第１１課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPT の概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。

7回	**授業テーマ：第４課読み(漢字)、ニュース７(聴解)** 授業内容：第４課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの概要理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	22回	**授業テーマ：第１１課書き(漢字)、ニュース３２(聴解)** 授業内容：第１１課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。聴解能力を測りフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
8回	**授業テーマ：第４課書き(漢字)、ニュース８(聴解)** 授業内容：第４課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	23回	**授業テーマ：第１２課読み(漢字)、ニュース３３(聴解)** 授業内容：第１２課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
9回	**授業テーマ：第５課読み(漢字)** 授業内容：第５課の漢字について「読み」を中心に学習する。小テスト、ディクテーションをする。聴解能力を測りフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	24回	**授業テーマ：第１２課書き(漢字)、ニュース３４(聴解)** 授業内容：第１２課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
10回	**授業テーマ：第５課書き(漢字)、ニュース９(聴解)** 授業内容：第５課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの即時応答の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	25回	**授業テーマ：第１３課読み(漢字)、ニュース３５(聴解)** 授業内容：第１３課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３５を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
11回	**授業テーマ：第６課読み(漢字)、ニュース１０(聴解)** 授業内容：第６課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	26回	**授業テーマ：第１３課書き(漢字)、ニュース３６(聴解)** 授業内容：第１３課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３６を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
12回	**授業テーマ：第６課書き(漢字)、ニュース１１(聴解)** 授業内容：第６課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース１１を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。JLPTの統合理解の練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	27回	**授業テーマ：第１４課読み(漢字)、ニュース３７(聴解)** 授業内容：第１４課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３７を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
13回	**授業テーマ：第７課読み(漢字)、ニュース１２(聴解)** 授業内容：第７課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１２を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	28回	**授業テーマ：第１４課書き(漢字)、ニュース３８(聴解)** 授業内容：第１４課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース３８を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
14回	**授業テーマ：第７課書き(漢字)、ニュース１３(聴解)** 授業内容：第７課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース１３を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。	29回	**授業テーマ：第１５課読み(漢字)、ニュース３９(聴解)** 授業内容：第１５課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース３９を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。シャドーイングをする。
15回	**授業テーマ：第８課読み(漢字)、ニュース１４(聴解)、中間テストとフィードバック** 授業内容：第８課の漢字について「読み」を中心に学習する。ニュース１４を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。中間テストとフィードバックを受けて、前学期の学習を振り返る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：第１５課書き(漢字)、ニュース４０(聴解)、最終テストとフィードバック** 授業内容：第１５課の漢字について「書き」を中心に学習する。ニュース４０を聞いて構成と内容を理解し、タスク練習をする。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

沈　伽迪（ちん　かてき）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は聴解、聴読解である。スピーチ、講演会、顧客による説明などを理解したり、聞きながら資料を見て要求された課題を達成することを目指す。また、社内外の人との担当領域および一般的な話題について自然なコミュニケーションをとることを目指す。毎回、事前学修、事後学修がある。授業では小テストをほぼ毎回、実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：就労場面でのやりとり、独話を正確に聞き取ることができ、聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えて説明することができる。社内外の人とその場にふさわしい丁寧さで円滑にコミュニケーションをとることができる。

個別目標：(1) 標準的な日本語で特殊な慣用表現などが使われていなければ、講演会、スピーチ、顧客による説明などを理解することができる。
(2) 自社や競合他社のニュースを聞いて理解することができる。
(3) 社内外の人と担当領域から一般的なものまで幅広い話題について流暢かつ正確に、言いたいことを表現できる。
(4) その場にふさわしい丁寧さで自然なコミュニケーションをとることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分のビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%によって評価する。

▌フィードバック方法

対面授業および manaba でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回ペアもしくはグループワークがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

木山三佳・田川麻央『学生・留学生のためのキャリアプランニング』実教出版
小野塚 若菜・篠﨑 佳子・島 恭子・吉沢 由香里『改訂版ビジネス日本語 オール・イン・ワン問題集』ジャパンタイムズ

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：ビジネスで必要な日本語能力とはどのようなものかを確認する。そのうえで、現時点でどの程度のビジネス日本語能力があるのか事前テストで測る。テストの成績をもとに、どのように能力を伸ばしていくか計画を立てる。 事前学修 2.0hr：BJT ビジネス日本語能力テストについて調べる。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：社内一斉メール、会議準備** 授業内容：メールを読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。会議準備に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：就職活動** 授業内容：就職活動において選考資料となる提出書類および面接試験を取り上げ、エントリーシート等の書類作成方法や面接時の話し方について学ぶ。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：電話とお詫び** 授業内容：お詫びに関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。電話でのやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：入社** 授業内容：入社後の業務場面を想定し、初対面の相手との自己紹介において、聞き手の記憶に残る一言を伝える練習を行う。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：お知らせ文書** 授業内容：お知らせ文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：基本的な業務** 授業内容：基本的な業務の一つとして伝言を取り上げる。また、稟議についても学ぶ。稟議は、社内で物品を購入するときなどに説明を書類に書いて承認を得るまでの一連の流れを学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：キャッチコピー、同僚との雑談** 授業内容：同僚との雑談を聞き取り、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞き取って、要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：報告** 授業内容：上司・先輩・同僚への報告を取り上げる。共通の目標に向けて円滑に連携できるよう、分かりやすく伝える方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：値下げ交渉** 授業内容：値下げ交渉のやりとりを聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：謝罪** 授業内容：謝罪を取り上げる。業務上のミスが生じた際に、早い段階で上司に事実を正確に報告し、適切に謝罪する方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：営業** 授業内容：営業のやりとりを聞き、公的場面での話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

7回	**授業テーマ：インターンシップの受け入れ** 授業内容：インターンシップの受け入れ側の仕事について取り上げる。会社側の立場に立って自社を紹介し、業務内容や職種への理解を促すとともに、企業活動におけるリスク管理について学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：売り上げ** 授業内容：売り上げに関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。売上に関わる文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：会議の準備** 授業内容：会議の準備について取り上げる。会場予約、機器の設置、会議議題の決定、議事録の作成、資料の作成・配布、欠席者への対応など、会議運営に関わる一連の業務を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：個人情報** 授業内容：個人情報に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。個人情報に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会議** 授業内容：会議における報告および意思決定のための審議を取り上げる。議長の指示に従って発言や反対意見を述べる方法、ならびに議事録作成を含む一連のやりとりを学習する。これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：顧客満足調査** 授業内容：顧客満足調査に関する話を聞き取り、公的場面での話し方、親しい同僚との話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：取引** 授業内容：取引について取り上げる。良好な関係構築を基盤としたコミュニケーションを重視し、正確な情報のやり取りを行う方法を学ぶとともに、不明点を残さないために相手の発言を引用して確認・質問する工夫を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：出張** 授業内容：出張に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。出張に関する話の聞き取り、話し方を学ぶ。書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：苦情** 授業内容：苦情について取り上げる。苦情対応を誤ると大きな問題に発展する可能性があることを踏まえ、より良いコミュニケーションに基づく適切な対応方法を学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：販売員増員の提案、パッケージ案** 授業内容：販売員増員の提案に関する話を聞き取り、話し方を学ぶ。パッケージ案に関する書類を見ながら話を聞きとり要求された課題を処理する練習も行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：商談** 授業内容：商談について取り上げる。相手に必要な情報を正確に伝えるとともに、相談や注文を受けた際の対応方法や不明点がある場合の聞き返し方について学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：インタビュー** 授業内容：インタビューを依頼する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。インタビューを題材として話を聞き取り、公的場面で求められる話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：社会貢献** 授業内容：企業が果たすべき社会的責任について取り上げる。社会貢献の目的を理解するとともに、さまざまな活動を行う際に求められるコミュニケーションについて学習する。また、これらに関連する語と表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：日程調整、衣料品業界** 授業内容：日程調整に関する文書を読んで、基本的な様式や独特の表現、言い回しを学習する。日程調整、衣料品業界に関するやりとりを聞き取り、公的場面で求められる話し方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：実力判定テスト、フィードバック** 授業内容：これまでに学習した内容の定着状況を実力判定テストによって確認し、その結果から得られた強み・弱みをもとに学習を振り返るとともに、教員からのフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：展示会、業界フローチャート** 授業内容：展示会に関わる資料、業界フローチャートを見ながら話を聞きとる練習、要求された課題を処理する練習を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：中間テストとフィードバック** 授業内容：中間テストとフィードバックを受け、現時点のビジネス能力を把握する。今後の学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：学習内容の理解度を確認し、フィードバックを踏まえてコース全体を振り返り、社会生活への応用を検討する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅲ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**髙橋　亜里沙**（たかはし　ありさ）・**田川　麻央**（たがわ　まお）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅲの内容は「聴解」と「漢字」である。「聴解」はニュースを中心に学習する。「漢字」は大学生活、社会における言語活動で必要な文字を学習する。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に取り組み、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：ニュースを正確に聞き取り、内容を正しく理解することができる。
聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換え説明することができる。
大学生活で必要な日本語を理解するために必要な漢字を読んだり書いたりすることができる。

個別目標：(1)一般的なニュースを聞き、内容を正しく理解できる。
(2)聞いた内容をまとめて別の言葉で言い換えることができる。
(3)講義に必要な漢字を正しく読んだり書いたりすることができる。
(4)自分の聴解能力、漢字能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習を実行し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済で、N2 を取得している。
課題の提出日を守る。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 40%、授業外模擬試験 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する。）

▌教科書

佐藤尚子、佐々木仁子『留学生のための漢字の教科書 上級 1000[改訂版] 』 国書刊行会
瀬川由美・紙谷幸子『改訂版 ニュースの日本語聴解 50 中級後半ー上級レベル 』 スリーエーネットワーク
藤田朋世、塩川絵里子、青木幸子『スピードマスター聴解 N1』 J リサーチ出版

▌参考書

授業の中で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、経済・金融１(聴解)、入国手続き(漢字)** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価について説明する。経済・金融１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習をする。入国手続きに関わる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：初級・中級で学習した漢字の上級での読み方を確認する。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１を練習する。	16回	**授業テーマ：社会・生活１(聴解)、自然と災害(漢字)** 授業内容：社会・生活１のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。自然と災害に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１６を練習する。
2回	**授業テーマ：経済・金融２(聴解)、在留カード(漢字)** 授業内容：経済・金融２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。在留カードに関わる漢字を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２を練習する。シャドーイングをする。	17回	**授業テーマ：社会・生活２(聴解)(聴解)、事件(漢字)** 授業内容：社会・生活２のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事件に関わる漢字を学習する。JLPT の課題理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１７を練習する。シャドーイング練習をする。
3回	**授業テーマ：経済・金融３(聴解)、大学(漢字)** 授業内容：経済・金融３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。JLPT の課題理解の練習をする。大学に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３を練習する。シャドーイング練習をする。	18回	**授業テーマ：社会・生活３(聴解)、事故・裁判(漢字)** 授業内容：社会・生活３のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。事故・裁判に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１８を練習する。シャドーイング練習をする。
4回	**授業テーマ：経済・金融４(聴解)、学生生活(漢字)** 授業内容：経済・金融４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。学生生活に関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル４を練習する。シャドーイング練習をする。	19回	**授業テーマ：社会・生活４(聴解)、政治・経済(漢字)** 授業内容：社会・生活４のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。政治・経済に関わる漢字を学習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１９を練習する。シャドーイング練習をする。
5回	**授業テーマ：経済・金融５(聴解)、就職活動Ⅰ(漢字)** 授業内容：経済・金融５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅰに関わる漢字を練習する。JLPT のポイント理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル５を練習する。シャドーイング練習をする。	20回	**授業テーマ：社会・生活５(聴解)、国際・スポーツ(漢字)** 授業内容：社会・生活５のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。国際・スポーツに関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２０を練習する。シャドーイング練習をする。

6回	**授業テーマ：経済・金融6（聴解）、就職活動Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。就職活動Ⅱに関する漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル６を練習する。シャドーイング練習をする。	21回	**授業テーマ：社会・生活6（聴解）、社会・産業（漢字）** 授業内容：社会・生活6のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。社会・産業にかかわる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２１を練習する。シャドーイング練習をする。
7回	**授業テーマ：経済・金融7（聴解）、地名（漢字）** 授業内容：経済・金融7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。地名に関わる漢字を学習する。JLPT の概要理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：漢字ドリル７を練習する。シャドーイング練習をする。	22回	**授業テーマ：社会・生活7（聴解）、芸術（漢字）** 授業内容：社会・生活7のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。芸術に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２２を練習する。シャドーイング練習をする。
8回	**授業テーマ：経済・金融8（聴解）、歴史（漢字）** 授業内容：経済・金融8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。歴史に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル８を練習する。シャドーイング練習をする。	23回	**授業テーマ：社会・生活8（聴解）、農業（漢字）** 授業内容：社会・生活8のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。農業に関わる漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２３を練習する。シャドーイング練習をする。
9回	**授業テーマ：経済・金融9（聴解）、日本文化（漢字）** 授業内容：経済・金融9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日本文化に関する漢字を学習する。JLPT の即時応答の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル９を練習する。シャドーイング練習をする。	24回	**授業テーマ：社会・生活9（聴解）、生物学Ⅰ（漢字）** 授業内容：社会・生活9のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２４を練習する。シャドーイング練習をする。
10回	**授業テーマ：経済・金融 10（聴解）、世界遺産（漢字）** 授業内容：経済・金融 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。世界遺産に関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１０を練習する。シャドーイング練習をする。	25回	**授業テーマ：社会・生活 10（聴解）、生物学Ⅱ（漢字）** 授業内容：社会・生活 10 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。生物学Ⅱに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２５を練習する。シャドーイング練習をする。
11回	**授業テーマ：経済・金融 11（聴解）、日常語彙Ⅰ（漢字）** 授業内容：経済・金融 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅰに関わる漢字を学習する。JLPT の統合理解の練習をする。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１１を練習する。シャドーイング練習をする。	26回	**授業テーマ：社会・生活 11（聴解）、漢語の語構成（漢字）** 授業内容：社会・生活 11 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。漢語の語構成に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２６を練習する。シャドーイング練習をする。
12回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、経済・金融 12（聴解）、日常語彙Ⅱ（漢字）** 授業内容：経済・金融 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。日常語彙Ⅱに関わる漢字を学習する。聴解能力がどのくらいあるか測るためのテストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１２を練習する。シャドーイング練習をする。	27回	**授業テーマ：社会・生活 12（聴解）、熟語の読み方（漢字）** 授業内容：社会・生活 12 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。熟語の読み方に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２７を練習する。シャドーイング練習をする。
13回	**授業テーマ：経済・金融 13（聴解）、旅行（漢字）** 授業内容：経済・金融 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。旅行に関する漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１３を練習する。	28回	**授業テーマ：聴解の模擬試験とフィードバック、社会・生活 13（聴解）、様子・態度（漢字）** 授業内容：社会・生活 13 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。様子・態度にかかわる漢字を学習する聴解能力がどのくらいあるか測るためにテストを行ったあと、フィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２８を練習する。シャドーイング練習をする。
14回	**授業テーマ：経済・金融 14（聴解）、人間の体（漢字）** 授業内容：経済・金融 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。人間の体に関わる漢字を練習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１４を練習する。シャドーイング練習をする。	29回	**授業テーマ：社会・生活 14（聴解）、心情（漢字）** 授業内容：社会・生活 14 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。心情に関わる漢字を学習する。小テスト、ディクテーションをする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル２９を練習する。
15回	**授業テーマ：経済・金融 15（聴解）、医療（漢字）、中間テストとフィードバック** 授業内容：経済・金融 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。医療に関わる漢字を練習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理し、中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル１５を練習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、社会・生活 15（聴解）、状態（漢字）、最終テストとフィードバック** 授業内容：社会・生活 15 のニュースを聞き、構成と内容を理解し、タスク練習と語彙学習をする。状態に関わる漢字を学習する。これまで学習した聴解の知識とスキルを整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：漢字ドリル３０を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス

荷見　美有（はすみ　みゆう）

▌授業の概要

アカデミック日本語では、大学での授業や課題を行うために必要な日本語能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確でしっかりとした構成の詳細なテクストを作る。自己の視点から意見を述べたり説明したりできるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を学習する。毎回事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。
重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回、manaba、respon を使用する。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』 凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』 DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 1 を練習する。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 16 を練習する。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 2 を練習する。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 17 を練習する。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 3 を練習する。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 18 を練習する。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 4 を練習する。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 19 を練習する。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 5 を復習する。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 20 を復習する。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 6 を練習する。	21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 21 を練習する。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 7 を練習する。	22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 22 を練習する。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 8 を練習する。	23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 23 を練習する。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 9 を練習する。	24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 24 を練習する。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 10 を復習する。	25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 25 を復習する。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 11 を練習する。	26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 26 を練習する。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 12 を練習する。	27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 27 を練習する。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 13 を練習する。	28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 28 を練習する。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 14 を練習する。	29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 29 を練習する。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 15 を復習する。	30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：単語ドリル 30 を練習する。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：留学生クラス 2

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は読解と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くために必要な読解能力を身に付ける。
重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わるレポートを作成することができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。
(5) 資料を読み取るための読解能力を育成する。

▌履修条件

留学生で N2 相当を対象とする。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回 manaba、respon を使用する）

▌教科書

松浦真理子・宮谷敦美・鈴木健司『日本語パワードリル N2 読解』ask
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、第１回** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。第 1 回の読解問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまで学んだ語彙を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：第 29 回、まずやってみよう** 授業内容：第 29 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：第２回、第３回** 授業内容：第２回、第３回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：第 30 回、書き言葉** 授業内容：第 30 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：第４回、第５回** 授業内容：第４回、第５回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：集中トレーニング①、第６回** 授業内容：集中トレーニング①、第６回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：第７回、第８回** 授業内容：第７回、第８回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
6回	**授業テーマ：第９回、第 10 回** 授業内容：第９回、第 10 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	21回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

7回	**授業テーマ：集中トレーニング②、第 11 回** 授業内容：集中トレーニング②、第 11 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	22回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：第 12 回、第 13 回、集中トレーニング③** 授業内容：第 12 回、第 13 回、集中トレーニング③の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	23回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：第 14 回、第 15 回** 授業内容：第 14 回、第 15 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	24回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：第 16 回、第 17 回** 授業内容：第 16 回、第 17 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	25回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：第 18 回、第 19 回** 授業内容：第 18 回、第 19 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	26回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：第 20 回、集中トレーニング④** 授業内容：第 20 回、集中トレーニング④の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	27回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：第 21 回から第 25 回** 授業内容：第 21 回から第 25 回の読解問題を JLPT の模擬試験のつもりで練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	28回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：第 26 回、第 27 回** 授業内容：第 26 回、第 27 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	29回	**授業テーマ：課題レポートの改善と振り返り** 授業内容：クラスメートや教員から受けた評価をもとにレポートを修正し、最終版を作成する。レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：第 28 回、中間テストとフィードバック** 授業内容：第 28 回の問題を練習し、読解力の定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	30回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 H)

藤本　陽子（ふじもと　ようこ）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容はビジネス文書の書き方、作成である。実務に役立つ文書作成技能について知識と技能の基本を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどを自然な言い回し、表現を使って、読み手に負担のないよう書くスキルを身に付ける。

個別目標：(1) 日常的な社内文書、ビジネス文書、および手紙やメールなどの文章を形式を整えて書くことができる。
(2) ビジネス場面での日常的な文書による報告を簡潔に書くことができる。
(3) ビジネス場面での文書にかかわる慣習、マナーなどの知識を獲得する。
(4) 自らのビジネス日本語能力を客観的に把握し、弱点を強化する。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで N1 を取得している。
manaba からの連絡を漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
自分のビジネス文書作成能力を客観的に把握し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、テスト 50%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは manaba と対面授業で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。）

▌教科書

『ビジネス文書検定第７１回～７５回実問題集３級』早稲田教育出版
『ビジネス文書検定第７１回～７５回実問題集１，２級』早稲田教育出版

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価についての説明を理解する。その後、ビジネス文章の作成能力がどの程度あるか事前テストを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	16回	**授業テーマ：3 級第 71 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：3 級第 75 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	17回	**授業テーマ：2 級第 75 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：3 級第 75 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	18回	**授業テーマ：2 級第 75 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：3 級第 75 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	19回	**授業テーマ：2 級第 75 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：3 級第 74 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	20回	**授業テーマ：2 級第 74 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：3 級第 74 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	21回	**授業テーマ：2 級第 74 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：3 級第 74 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	22回	**授業テーマ：2 級第 74 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

8回	**授業テーマ：3 級第 73 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	23回	**授業テーマ：2 級第 73 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：3 級第 73 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	24回	**授業テーマ：2 級第 73 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：3 級第 73 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	25回	**授業テーマ：2 級第 73 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：3 級第 72 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	26回	**授業テーマ：2 級第 72 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：3 級第 72 回表現技能** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	27回	**授業テーマ：2 級第 72 回表現技能** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：3 級第 72 回実務技能** 授業内容：簡単な社内文書の書き方、簡単な業務用社外文書の書き方、ビジネス文書の取り扱い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	28回	**授業テーマ：2 級第 72 回実務技能** 授業内容：一般の社内文書の書き方、社外文書や社交文書を書く練習をする。日本の受発信事務等文書の取り扱いを学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：3 級第 71 回表記技能** 授業内容：文章の書き換えなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、横書き通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	29回	**授業テーマ：2 級第 71 回表記技能** 授業内容：漢字や文字の正確さなどの総合、漢字や仮名遣いなどの用字、同音異義語や異字同訓語の使い分けなどの用語、通信文の構成などの書式に関する表記技能を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：3 級第 71 回表現技能、中間テストとフィードバック** 授業内容：正確でわかりやすい文章の書き方、礼儀正しい文章の書き方を学習する。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。	30回	**授業テーマ：2 級第 71 回表現技能、最終テストとフィードバック** 授業内容：やや長い文を正確でわかりやすく書く練習、敬称、敬語、丁寧な言い回しなど礼儀正しい文章の書き方を学習する。テストとフィードバックを受ける。コース全体を振り返り、整理する。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

アカデミック日本語Ⅳ

開講学科等：日英中経不 HT 保 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通 ｜ 備考：MGO 留学生サポートプログラム用クラス(留 S)

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）・**行田　悦子**（こうだ　えつこ）・**範　弘宇**（はん　こうう）

▌授業の概要

留学生の社会的自立、職業的自立を促すため日本語能力に応じた日本語教育およびキャリア教育を行う「MGO 留学生サポートプログラム」の一環として実施する科目である。日本で仕事をするうえで必要なジェネリックスキルの一つである日本語コミュニケーション能力を育成する。アカデミック日本語Ⅳの内容は語彙と作文である。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細なテクストを作り、自己の視点から説明できるようになることを目指して、テクストを構成する字句、結束表現、文法表現等を身に付ける。毎回、事前学修、事後学修、課題を授業外に行い、授業では小テストを実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：M1 ◎/M2 ◎/M3 ○）

一般目標：大学の学修に必要なレポートおよび文章を明瞭かつ論理的に書くことができる。重要点を強調し、補助的事項、理由、関連する事例を付け加え、論点を展開し、適切な結論で終わることができる。
自分の語彙・文法表現能力を適切に評価し、能動的に弱点を補う自己学習力を育てる。

個別目標：(1) 文章の種類によって適切な構造を持つ文章を書ける。
(2) 文章を書くための準備で、倫理的な行動を選択し、レポートに必要な資料を集められる。
(3) 文章を書くための準備で、資料を読んで正しく理解できる。文章を書く過程で他者との意見交換を通じて他者の視点を取り入れ、文章に反映させられる。
(4) 自分の作文能力、語彙能力を適切に評価し、弱点を補うための計画を立て、補習等を利用して能動的に学習し、正しくふりかえることができる。

▌履修条件

MGO 留学生サポートプログラムに登録済みで、N2 を取得している。
課題の提出期限を守る。
manaba による連絡を確認する。
自分の能力を客観的に評価し、弱点を補う努力をする。

▌評価基準・方法

テスト 50%、課題提出 50%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 manaba、respon を使用する(スマートフォン対応可)。）

▌教科書

田中祐輔(編)『《書き込み式》表現するための語彙文法練習ノート〈上〉―語/コロケーション/慣用句/表現文型』凡人社
田川麻央・德田恵『プロセス重視で学ぶ日本語ライティング』DTP 出版

▌参考書

友松悦子・宮本淳・和栗雅子『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レッスン 1 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。事前テストを受ける。レッスン 1 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ単語を復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	16回	**授業テーマ：レッスン 8 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 8 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題演習を行なう。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
2回	**授業テーマ：レッスン 1 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 1 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	17回	**授業テーマ：まずやってみよう** 授業内容：レポートを書くのに必要な知識は何か、どのようなレポートが求められているかを知り、学習意欲を高める。コース終了後のできるようになった自分をイメージする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
3回	**授業テーマ：レッスン 2 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 2 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	18回	**授業テーマ：書き言葉** 授業内容：レポートに必要な「書き言葉」を学習する。話し言葉と書き言葉の使い分けについて学び、書き換え練習を通じてレポートに必要な表現、言い回しを身に付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
4回	**授業テーマ：レッスン 2 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 2 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	19回	**授業テーマ：段落** 授業内容：段落とは何か、段落内はどのような構成にするかを学習する。中心文と支持文を区別する練習や、中心文に対して支持文でどう具体的に書くかを練習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
5回	**授業テーマ：レッスン 3 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 3 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。	20回	**授業テーマ：三段構成法** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

6回	**授業テーマ：レッスン 3 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 3 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
7回	**授業テーマ：レッスン 4 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 4 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
8回	**授業テーマ：レッスン 4 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 4 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
9回	**授業テーマ：レッスン 5 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 5 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
10回	**授業テーマ：レッスン 5 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 5 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
11回	**授業テーマ：レッスン 6 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 6 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
12回	**授業テーマ：レッスン 6 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 6 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
13回	**授業テーマ：レッスン 7 文字・語彙・コロケーション** 授業内容：レッスン 7 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
14回	**授業テーマ：レッスン 7 文型・文法・類義表現** 授業内容：レッスン 7 の慣用的に使われる表現、類義表現の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
15回	**授業テーマ：レッスン 8 文字・語彙・コロケーション、中間テストとフィードバック** 授業内容：レッスン 8 の漢字、複合動詞の表記と意味、例文、使い方を学習し、十分に理解する。そのうえで使いこなせるように問題を演習する。その際、教員やクラスメートとのやりとりを通して定着を図る。中間テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
21回	**授業テーマ：アイデアの抽出** 授業内容：レポートのテーマを考える。ブレーンストーミングの方法を学習し、アイデアを書き出す。そのうえで自分のレポートのテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
22回	**授業テーマ：資料検索** 授業内容：図書館や新聞記事のデータベースなど資料の探し方、注意点を学習する。自分のテーマに関わる資料を探して読み、基礎知識を身に付ける。集めた資料を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
23回	**授業テーマ：論理的つながりの検討** 授業内容：論理的なつながりのある文章とはどのようなものかを学習する。クラスメートにレポートの構成について説明し、論理的につながっているかどうか評価してもらう。必要があれば、資料を増やしたり減らしたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
24回	**授業テーマ：資料の引用** 授業内容：資料の引用方法、注意点を学習する。集めた資料をもとに引用文を書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
25回	**授業テーマ：参考文献リストの書き方** 授業内容：参考文献の書き方、注意点を学習する。集めた資料をもとに参考文献リストを書く練習をして、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
26回	**授業テーマ：図表の説明** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
27回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：これまで学習したレポートの書き方を思い出し、適切な表現を用いて、論理的で説得力のある原稿を執筆する。必要があれば資料を追加したり省いたりする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
28回	**授業テーマ：題名の決定** 授業内容：読み手に内容が伝わり読みたいと思わせるような題名の付け方を学習する。そのうえで、自分のレポートにふさわしい題名を付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
29回	**授業テーマ：課題レポートの評価** 授業内容：書き上げたレポートをクラスメートと交換して読み、質疑応答をする。互いに評価をする。必要があれば、レポートを修正し、最終版を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。
30回	**授業テーマ：まとめ・コース全体のふりかえり、最終テストとフィードバック** 授業内容：レポートを完成するまでのプロセスを思い出し、コンセプトマップを作成する。クラスメートに作成したコンセプトマップを披露し、不足していることがあれば書き足す。最終テストとフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事後課題を行う。

［専門科目］

○ 専門基礎

○ ILP

フレッシュパーソンセミナーⅠ

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）・・**中村　佑衣**（なかむら　ゆい）・**西川　寛之**（にしかわ　ひろゆき）

▌授業の概要

日本語学科の学生として学生生活を始めるにあたって、高校までの基礎学力と知識を整理し、これから大学で学ぶための学習方法を身につける。大学の初年次教育は重要な位置づけにあり、大学で学ぶべきものをきちんと習得し、基礎的な学習習慣と広い教養及び思考能力を身につけなければならない。本学科では、進級要件として日本語検定３級に合格しなければならない。日本人学生は日本語検定３級以上の合格、留学生は日本語能力試験１級、および日本語検定３級の合格を目標に実力を養成していく。毎回、日本語検定に関する宿題は必ず課す。
なお、進級要件を満たすための試験は、必ず受検することを義務とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：高校までの基礎的な知識を整理し、各種試験を受験することによって、その基礎力の充実をはかり、各種の検定試験に合格できる。
個別目標：高校までに学んだ文法事項などを説明できる。語彙について語の関係性を説明できる。現代の敬語システムを理解し、それぞれの場面での適切な使い分けができる。それぞれの言語事象を言語学的なコンテクストに基づいてその項目を説明できる。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

宿題および毎回の課題・テストを 40 %とし、期末試験を 60 %とする。出席は 5 分の 4 以上を前提条件とし、欠席時の授業点および当該授業にかかる課題点を減点とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(反転授業、ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文献調査、レポート作成）

▌教科書

プリントおよびテキストを配布する。

▌参考書

とくに定めた参考書はない。 その都度、紹介し指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：日本語学科で学ぶべきことを確認しつつ、大学生活を円滑におくるためのさまざまを確認する。シラバスや科目履修表を確認し、基礎科目と基礎専門科目のカリキュラムについて理解し、4 年間の見通しを立て、1 年の学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：履修の手引きをよみ、大学で何を学ぶか、どのように勉強していくかを考えておく。 事後学修 2.0hr：科目の進め方、大学生活の進め方を確認する。
2 回	**授業テーマ：文法・敬語・語彙・表記・意味・漢字の分野で目指すこと** 授業内容：進級要件である日本語検定について、その勉強の範囲と内容を理解する。 事前学修 2.0hr：日本語検定のホームページをみておく 事後学修 2.0hr：現在の自分の日本語力について分析する
3 回	**授業テーマ：品詞と動詞の活用** 授業内容：品詞のおおまかな復習をおこない、動詞の活用の種類と見分け方・音便を理解する。 事前学修 2.0hr：それぞれの文法構造には、品詞がある。その品詞について考えておく。(活用等も含める) 事後学修 2.0hr：文法的な特徴をまとめる。
4 回	**授業テーマ：ら抜き・さ入れ** 授業内容：ら抜きとさ入れについて、日本語学的観点からその構造を理解する。 事前学修 2.0hr：ら抜きとさ入れについての問題を解く。 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う。
5 回	**授業テーマ：形容詞と形容動詞** 授業内容：日本語教育と国語教育の違いと、形容動詞の扱いについての諸説をふまえた上で、それぞれの区別と活用を理解する。 事前学修 2.0hr：形容詞と形容動詞の特徴について調べておく。 事後学修 2.0hr：形容詞と形容動詞の特徴を文法的な概念から理解し、まとめる。
6 回	**授業テーマ：文の成分** 授業内容：主語・述語・修飾語を確認し、文のねじれの現象の構造を理解する 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業の内容を踏まえながら問題を解き直す
7 回	**授業テーマ：敬語の枠組み** 授業内容：敬語と敬語行為を古語の枠組みと比較しながら、現代日本語の敬語の枠組みとその意義を考える。 事前学修 2.0hr：敬語の概念についてしらべておく 事後学修 2.0hr：授業の復習をする
8 回	**授業テーマ：尊敬語** 授業内容：尊敬語の枠組みと具体的語彙と運用法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業をふまえて復習する
9 回	**授業テーマ：謙譲語** 授業内容：謙譲語の枠組みと具体的語彙と運用法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業をふまえて復習する
10 回	**授業テーマ：謙譲語の変化と現在** 授業内容：謙譲語の二分法について文化庁の「現代の敬語」を読んで理解する 事前学修 2.0hr：「現代の敬語」のページを確認しておく 事後学修 2.0hr：問題を解いて復習する

11回	**授業テーマ：丁寧語** 授業内容：丁寧語の枠組みと具体的語彙と運用法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて復習する
12回	**授業テーマ：敬語の応用（1）** 授業内容：第三者を交えた敬語について、話題の人物に着目してその構造を理解し、運用の方法をまなぶ 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて復習する
13回	**授業テーマ：敬語の応用（2）** 授業内容：電話や書簡文における敬語についてまなぶ 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて復習する
14回	**授業テーマ：語の構造** 授業内容：類義・対義の意味構造および上位概念・下位概念等の基本的な語彙構造の捉え方をまなび、実際の運用ができるようになる。 事前学修 2.0hr：問題を解く 事後学修 2.0hr：授業を踏まえて復習する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：文法・敬語・語彙について振り返りを行い、復習テストを行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を復習しておく 事後学修 2.0hr：十五回授業での復習テストをふりかえり、フィードバックを通して誤りを確認する。

フレッシュパーソンセミナーⅡ

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）・・**中村　佑衣**（なかむら　ゆい）・**西川　寛之**（にしかわ　ひろゆき）

▌授業の概要

前期には日本語学科の学生として、高校までの日本語に関するまなびをふりかえった上で、日本語の構造を理解した、後期では日本語学および日本語教育の広範的な基礎知識を習得していく。日本語教育文法の概念と日本語の構造を理解し、言語学的な知識をも備え、日本語の本質を理解することをめざす。引き続き日本人学生は日本語検定３級または２級に合格するための実力を養成し、留学生は日本語能力試験１級及び日本語検定３級に合格するための準備を続ける。日本語検定に関する宿題は毎週課される。後学期にもこれらの試験を必ず受験することを義務とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語教育文法の知識を習得し、日本語の構造面をも理解することができる。またそれに関連して、日本語の音声や発音の仕方についても同時に理解できるようになる。言語としての日本語の構造を、客観的に説明できるようになる。そして各種検定試験についても、継続的に勉強を続け、合格することができる。

個別目標：前期に学習した文法的なレベルを、より深く理解することができ、その項目の説明ができる。また学校文法と日本語教育文法との差異などを説明できる。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

毎回のテストを 40 %とし、期末試験を 60 %とする。出席は 5 分の 4 以上を前提条件とし、欠席時の授業点および当該授業にかかる課題点を減点とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （(反転授業、ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション)）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文献調査・データ調査・レポート記述）

▌教科書

プリント・テキストを配布する。

▌参考書

参考書はその都度、授業時に指示する。
クラスで配布されたテキスト類を準備すること。
『考えて、解いて、学ぶ日本語教育の文法』原沢伊都夫　スリーエーネットワーク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：日本語学・日本語教育学の観点** 授業内容：言語研究としての日本語探究の視点を、研究分野や変遷、最近の研究の動向などから大枠を理解する 事前学修 2.0hr：日本語を一言語としてのカテゴリーから、どのように研究していくかを調べておく。 事後学修 2.0hr：日本語の研究方法を言語の構造という視点からまとめる。
2 回	**授業テーマ：日本語の構造** 授業内容：前期に学んだ日本語の文法・敬語・語彙・表記・意味について振り返り、検定の模擬試験を行い、現在の自分の実力について客観的に把握できるようにする。 事前学修 2.0hr：前期の復習を行う 事後学修 2.0hr：模擬試験の復習を行う
3 回	**授業テーマ：漢字表記** 授業内容：現代日本語の漢字について、現代漢字の運用の根拠について学ぶ。当用漢字・常用漢字表、そして教育漢字について理解する。 事前学修 2.0hr：常用漢字表のホームページをチェックしておく 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う。
4 回	**授業テーマ：比喩表現と慣用句** 授業内容：比喩表現の基本的分類をおさえた上で、慣用句を理解する 事前学修 2.0hr：検定に出てくる慣用句を調べる 事後学修 2.0hr：授業でとりあつかったもの以外の慣用句について分類し、分析をする
5 回	**授業テーマ：漢字文化圏における四字熟語** 授業内容：中国古典から日本語に受容された語彙の中での四字熟語の日本での文化的受容を理解する 事前学修 2.0hr：検定に出てくる四字熟語を調べる 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う
6 回	**授業テーマ：日本語の誤用の調査** 授業内容：文化庁の「国語に関する世論調査」の資料について、誤用が実際どのように行われているかを図表とコメントから読み取る 事前学修 2.0hr：各自三つの調査をピックアップしておく 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う。一つを選び、基礎文献を探す。
7 回	**授業テーマ：日本語の誤用の背景** 授業内容：ら抜きの誤用の背景を理解した上で、各自が調査項目を資料から選び、それらの項目の基礎文献の探し方をおさえる 事前学修 2.0hr：前期のら抜きについて復習しておく。 事後学修 2.0hr：基礎文献の中の一つを入手しておく
8 回	**授業テーマ：日本語の誤用の分析** 授業内容：基礎文献について、辞典等を手がかりに大枠を理解し、各自コメントをまとめ、発表を行う。 事前学修 3.0hr：基礎文献について目を通しておく 事後学修 2.0hr：発表に関する振り返りシートを書く。
9 回	**授業テーマ：文法　主題化** 授業内容：日本語における主題化の意味と 4 つの主題化のパターンを理解する。格成分の主題化と格成分以外の主題化を理解する 事前学修 1.0hr：主題化について指摘された辞書で調べておく 事後学修 2.0hr：格成分の主題化と格成分以外の主題化について、そのプロセスをまとめる。

10回	**授業テーマ：文法　自動詞と他動詞** 授業内容：自動詞、他動詞の区別とその対応による分類を理解する。 事前学修 1.0hr：自動詞・他動詞について指定された辞書で調べておく 事後学修 2.0hr：自動詞、他動詞の区別のポイントを例文を通してまとめる。
11回	**授業テーマ：文法　ヴォイス** 授業内容：ヴォイスの枠組みと、その中でも受身文と使役文の種類を例文を通して理解する。 事前学修 1.0hr：ヴォイスについて指定された辞書で調べておく。 事後学修 2.0hr：受身文と使役文の例文を列挙し、具体的な用法と意味をまとめる。
12回	**授業テーマ：文法　テンス** 授業内容：動詞の種類と、絶対テンスと相対テンスについて理解する 事前学修 1.0hr：テンスについて指定された辞書で調べておく。 事後学修 2.0hr：テンスの特徴として、時間的関係を示す文法カテゴリーをまとめる。
13回	**授業テーマ：文法　アスペクト** 授業内容：テイルとテアルを中心に、述語の分類とその用法を例文を通して理解する。 事前学修 1.0hr：アスペクトについて指定された辞書で調べておく。 事後学修 2.0hr：「～ている」と「～てある」の例文を列挙し、その意味と用法をまとめる。
14回	**授業テーマ：文法　モダリティ** 授業内容：対事的と対人的な用法の違い、断定と意志の文法的用法について理解する。 事前学修 1.0hr：モダリティについて指定された辞書で調べておく。 事後学修 2.0hr：モダリティの種類のそれぞれを例文と通して解釈し、その意味用法をまとめる。
15回	**授業テーマ：授業の振り返り** 授業内容：これまでの授業の復習を行う 事前学修 2.0hr：これまでの授業の資料をみなおしておく 事後学修 2.0hr：授業内での小試験についてフィードバックを通して復習を行う。

課題探求セミナーⅠ（日本語専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

日本語教育における初級文法項目を日本語教室の実践場面で生じやすい課題と関連づけながら学ぶ。学習者が誤りやすい点や指導上の留意点について、誤用分析や例文作成を通して検討し、わかりやすい説明の方法を探究する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：日本語教育文法の基礎を理解し、的確に運用できる。
個別目標：(1) 日本語教師に必要な文法的基礎知識を自分の言葉で説明できる。
(2) 教育実践に必要な技能を身に付け、限定的な範囲で学習支援を行うことができる。

▌履修条件

manaba への連絡は漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
留学生で日本語能力試験 N1 をもっていない場合は合格するよう努力すること。
主体的に参加する。

▌評価基準・方法

テスト 40%、課題提出 40%、発表・授業への参加態度 20%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業および manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回グループワークを実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料の参照、課題の作成でＰＣを利用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

市川保子『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の目的と目標、進め方をする学習する。 事前学修 1.0hr：日本語教育を学ぶ意義や自身の学修目的について整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
2回	**授業テーマ：名詞・名詞文** 授業内容：名詞文（「Ｎ１はＮ２です」）の基本構造と用法を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
3回	**授業テーマ：形容詞・形容詞文** 授業内容：形容詞文の基本構造と用法を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.5hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
4回	**授業テーマ：動詞の分類** 授業内容：活用の型による分類や活用形の呼称を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
5回	**授業テーマ：辞書形** 授業内容：辞書形を用いた文型を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
6回	**授業テーマ：ます形** 授業内容：ます形を用いた文型を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
7回	**授業テーマ：て形** 授業内容：て形を用いた文型を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
8回	**授業テーマ：た形** 授業内容：た形を用いた文型を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
9回	**授業テーマ：自動詞・他動詞** 授業内容：自動詞・他動詞の基本的な違いを整理し、対応関係にある動詞のペアを取り上げながら指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
10回	**授業テーマ：テンス** 授業内容：テンスに関する基本的な知識を整理し、指導上の留意点を検討する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
11回	**授業テーマ：アスペクト** 授業内容：アスペクトに関する基本的な知識を整理し、指導上の留意点を検討する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。

12回	**授業テーマ：モダリティ** 授業内容：モダリティに関する基本的な知識を整理し、指導上の留意点を検討する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
13回	**授業テーマ：ヴォイス** 授業内容：ヴォイスに関する基本的な知識を整理し、指導上の留意点を検討する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
14回	**授業テーマ：授受表現** 授業内容：授受表現に関する基本的な知識を整理し、指導上の留意点を検討する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
15回	**授業テーマ：学習のまとめとふり返り** 授業内容：これまで学習してきた内容について基礎知識を整理をする。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。

課題探求セミナーⅠ（日本語専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

この授業では日本語力及び日本語学の基礎的なことがらを修得していくことを目的とする。とくに国語教員を目指す学生の基礎学力の向上に力点をおき、テキストをよみこなす日本語力の培養と同時に、言語学及び日本語学に関わる基礎的な知識を身につけ、その背景となる諸分野の学問にも言及する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：言語学及び日本語学の問いを読み説くことによって、基本的な知識を身につけ、問いを解決する視座をもつ。
　　言語学・日本語学を主軸とした知識に加え、背景となる文学、歴史などの基礎教養の広がりとその繋がりを理解できる。
個別目標：言語の特徴および構造やさまざまな言語の学説について、概要を説明でき、やさしい専門書を構造的に読める。
　　日本語の古典の敬語を理解し、古典の解釈に活かせる。
　　近代文学と日本語学のつながりについて理解している。

▌履修条件

国語教員を目指すことを目的としているため、つねに勉強するという姿勢を崩さないこと。各種検定試験（日本語検定 3 級を含む）などに積極的に取り組むと同時に日常から読書をする習慣をつける。検定についてはその問題の解き方やその技法をも学び、日常から読書をする習慣もクラスで涵養していく。

▌評価基準・方法

毎回の授業時での課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。（またテストを課題提出や小論文にすることもある）出席は 5 分の 4 以上とする。欠席時の授業点および課題点は減点とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

対面授業時、または学修支援システム manaba を通して行うこととする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修及び小論文、課題作成においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに指定はしない。（毎回プリントを配布する。）

▌参考書

とくに参考書はないが、その都度紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：課題探求セミナーⅠの振り返りとガイダンス** 授業内容：国語と国語力について、現在の知識部分についての実力を把握する 事前学修 2.0hr：前期の内容および高校までの知識部分について復習しておく 事後学修 2.0hr：現状の国語力について自己分析を行う
2 回	**授業テーマ：論理的文章を理解する** 授業内容：第一回の結果をもとに論理的に文章を読み解く 事前学修 2.0hr：事前に読解プリントを行っておく。 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
3 回	**授業テーマ：論理的文章を構造化する** 授業内容：論理的文章（言語・社会に関するテキスト）について全体の論理構造を接続詞を用いて読み解く 事前学修 2.0hr：接続詞を考える課題を行う 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
4 回	**授業テーマ：論理的文章の構造を説明する** 授業内容：論理的文章（言語・社会に関するテキスト）について前回の課題を修正し、構造を説明する 事前学修 2.0hr：前回の課題を見直しておく 事後学修 2.0hr：文章を精読し、その解釈がどのようになされているのかをまとめる。
5 回	**授業テーマ：言語の学説および文章理解（1）** 授業内容：言語相対論についてのテキストを構造化して、ソシュールの説について概要を理解する 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：文章を精読し、その解釈がどのようになされているのかをまとめる。
6 回	**授業テーマ：言語の学説および文章理解（2）** 授業内容：言語生得説についてのテキストを構造化した上で、サピア・ウォーフの論について概要を理解する 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：文章を精読し、その解釈がどのようになされているのかをまとめる。
7 回	**授業テーマ：言語の学説および文章理解（3）** 授業内容：日本語の比喩についてのテキストを構造化した上で、上の（1）と（2）に基づいた意味論について概要を理解する 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：文章を精読し、その解釈がどのようになされているのかをまとめる。
8 回	**授業テーマ：近代言語学の広がり、および文章理解（4）** 授業内容：文化人類学についてのテキストを構造化した上で、近代の言語学がどのように哲学、文学、文化人類学等に影響を及ぼしたかを理解する 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：文章を精読し、その解釈がどのようになされているのかをまとめる。
9 回	**授業テーマ：古典文学とことば（1）** 授業内容：日本の古典における敬語体系のあらましを理解する 事前学修 2.0hr：グーグル問題を解いておく 事後学修 2.0hr：復習ワークを行う
10 回	**授業テーマ：古典文学とことば（2）** 授業内容：古典の尊敬語の体系と変化を理解する 事前学修 2.0hr：グーグル問題を解いておく 事後学修 2.0hr：復習ワークを行う
11 回	**授業テーマ：古典文学とことば（3）** 授業内容：古典の謙譲語の体系と変化を理解する 事前学修 2.0hr：グーグル問題を解いておく 事後学修 2.0hr：復習ワークを行う

12回	**授業テーマ：古典文学とことば（4）** 授業内容：『大鏡』『源氏物語』『紫式部日記』について敬語の観点から文体の違いを理解する 事前学修 2.0hr：担当のテキストについて、文学史的背景をまとめ、単語調べをしておく 事後学修 2.0hr：復習ワークを行う
13回	**授業テーマ：近代文学とことば（1）** 授業内容：言文一致運動について、文学史、芸能史を概観しながら近代の文学と文体を理解する 事前学修 2.0hr：担当の作家について調べておく 事後学修 2.0hr：講義の内容をまとめる
14回	**授業テーマ：近代文学とことば（2）** 授業内容：言文一致運動について、教育史、教科書史、メディア史を概観しながら近代の文学と文体を理解する 事前学修 2.0hr：担当の人物・団体について調べておく 事後学修 2.0hr：講義の内容をまとめる
15回	**授業テーマ：近代文学とことば（3）** 授業内容：森鷗外の文学における文体の変化と鷗外の仮名遣論から近代の国語とことばについて考える 事前学修 2.0hr：森鷗外について調べておく 事後学修 2.0hr：臨時假名遣調査委員会における鷗外と大槻の論争をよみ、国語についての自分の意見をまとめる

課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

この授業では、重要な社会的行為としてのコミュニケーションの概念を学習した上で、多様な価値観を持つ人々と様々な手段で円滑な交流が図れるよう、コミュニケーションの理論や論理的文章作成のための基本を学ぶ。
論文、報告文や意見文、書簡文作成、推敲等の実践的な演習を通して、コミュニケーション力や文章力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GSM G ③）

一般目標：1 基本的なコミュニケーションの理論と意義を理解し、その具体的実践として、情報を正確に把握し、論理的に思考し表現する能力を身につける。
2 多様な文化と価値観が存在することを知り、他者視点の重要性を理解した上で、適切なコミュニケーションを取れる態度を身につける。
3 社会生活において重要な、文章作成の基本的ルールを習得する。

個別目標：(1) 基本的なコミュニケーションの概念と社会的意義について説明できる。
(2) 報告文や意見文において、論理的で分かりやすい文章を作成することができる。
(3) 正しい書式に則った、日本語の書簡文を作成することができる。

▌履修条件

授業課題に、積極的に取り組む意欲を備えていること。

▌評価基準・方法

発表・課題提出 50 %、期末試験 50 %により、総合的に評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （意見発表や作成した文章の相互評価を実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スマートフォンではなく PC 推奨）

▌教科書

使用しない。授業内でプリントを配布する。

▌参考書

必要に応じて、授業中に紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：グローバル社会とコミュニケーション** 授業内容：現代のグローバル社会におけるコミュニケーションの重要性について理解する。基本的なコミュニケーションの概念と社会的意義について学び、文化や社会的慣習によって、コミュニケーションの取り方が異なることを確認する。 事前学修 2.0hr：日本とそれ以外の国(地域)におけるコミュニケーションの特徴について考える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、様々な価値観を持つ人々と円滑なコミュニケーションをとるために何が必要か考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：コミュニケーションの理論とモデル** 授業内容：コミュニケーションの理論とモデルについて学ぶ。さまざまな場面や状況に応じたよりよいコミュニケーションとは何かを考え、円滑なコミュニケーションをとるために注意すべき点をまとめる。 事前学修 2.0hr：社会生活の場面や状況に応じて、コミュニケーションの取り方にどのような違いがあるか考えておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、コミュニケーション理論とよりよいコミュニケーションに関する課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：コミュニケーション能力とは何か** 授業内容：コミュニケーション能力(communicative competence)の内容について学ぶ。具体的なコミュニケーション能力について理解し、より適切なコミュニケーションスキルの使用について考える。 事前学修 2.0hr：「コミュニケーション能力が高い」とはどういうことかについて自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自身のコミュニケーションについて、「話し手」と「聞き手」のそれぞれの観点から注意点をまとめる。
4回	**授業テーマ：非言語的コミュニケーションの特徴** 授業内容：言語的コミュニケーションと比較しながら、非言語的コミュニケーションの特徴を理解し、その重要性について考える。また文化による違いも確認し、円滑なコミュニケーションの取り方について考える。 事前学修 2.0hr：自身の日常生活での非言語的コミュニケーションの実例について考えておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、非言語的コミュニケーションの特徴について考えをまとめる。
5回	**授業テーマ：説得のコミュニケーション** 授業内容：コミュニケーションスキルの効果的な実例として、説得のコミュニケーションについて学ぶ。説得コミュニケーションの主要理論や方法について理解し、文化による前提や価値観の違いについても考える。 事前学修 2.0hr：これまで自分が説得された・説得されなかったケースを振り返り、その理由について考えておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、効果的な説得の方法と注意点について考えをまとめる。
6回	**授業テーマ：書簡文の書き方 (1)：基本的なルール** 授業内容：文章によるコミュニケーションの実例として、縦書き書簡文の基本的なルールを学ぶ。日本の書簡文の構成や用語、注意点等、さまざまなルールを正しく理解する。 事前学修 2.0hr：資料プリントで書簡文の構成や用語について確認しておく。 事後学修 2.0hr：資料プリントで書簡文のルールや用語について再確認する。
7回	**授業テーマ：書簡文の書き方(2)：書簡文の作成と推敲** 授業内容：正しいルールで目的に沿った書簡文が書けるように、演習を行う。テーマに従って書簡文を作成し、書簡文の書式に正しくのっとっているか、用語は適切かなどの観点から推敲を加えた後、相互批評を行う。 事前学修 2.0hr：指示されたテーマで書簡文の構成を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業中の批評をもとに、自身の書簡文を推敲する。
8回	**授業テーマ：論理的文章の書き方(1)：論理的文章の基本要素と構成**① 授業内容：文章によるコミュニケーションの実例として、論理的文章の書き方を学修する。論理的な思考力・表現力とは何かを確認した上で、おおまかな基本要素と構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料プリントで、文章の論理的な構成について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、資料プリントで論理的文章の基本要素に関する復習を行う。

9回	**授業テーマ：論理的文章の書き方(2)：論理的文章の基本要素と構成②** 授業内容：論理的文章の構成をより詳細に確認していく。論文のモデルを使って、序論、本論、結論の役割と必要な要素について学び、課題テーマに関する簡単な構成を作成してみる。 事前学修 2.0hr：資料プリントで、書かれている文章がそれぞれ構成上どのような役割を果たしているか考えておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、選択したテーマから簡単な構成を考える。
10回	**授業テーマ：論理的文章の書き方(3)：報告文(レポート)作成の手順と構成** 授業内容：報告文(レポート)の書き方について、作成の手順や構成、注意点等を学ぶ。レポート課題の目的の確認や、基本資料の集め方、構成と文章化の仕方や、参考文献の引用方法などについて確認していく。 事前学修 2.0hr：資料プリントでレポート作成の手順について確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題テーマの構成を考え、参考文献を検索してみる。
11回	**授業テーマ：論理的文章の書き方(4)：テーマ設定と論証方法** 授業内容：レポートや論文におけるテーマ設定の方法と論証の方法について学ぶ。評価される具体的なテーマ設定の仕方や基本資料の集め方を確認し、論証に必要なデータは何か、それをどのように展開していくかについて考える。 事前学修 2.0hr：課題プリントを読んで、自分なりの仮テーマを設定し、構成を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の選択したテーマについて、論証方法を考え、使用するデータを検索してみる。
12回	**授業テーマ：文章の推敲方法** 授業内容：課題プリントを使用しながら、全体的な構成の修正の仕方を学び、その後、用語や語彙、文法の誤り等の細かいチェックについて演習を行う。 事前学修 2.0hr：課題プリントを読んで、自分なりに構成の修正を行っておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、語彙や文法をチェックする課題プリントに取り組む。
13回	**授業テーマ：意見文の作成(1)：構成の組み立てと意見文演習** 授業内容：課題文について、分かりやすく効果的な意見文を作成するための構成を考え、実際に意見文を作成する。その後、推敲を行った後、構成や文章についての自己評価を行う。 事前学修 2.0hr：課題プリントを読み、作成する意見文の大まかな構成を考えておく。 事後学修 2.0hr：自身の意見文について、もう一度文章を見直しておく。
14回	**授業テーマ：意見文の作成(2)：文章の推敲と相互批評** 授業内容：意見文についての相互評価を行う。他の受講者 3 名以上の意見文について、文章の構成や日本語力、説得力等の評価やコメントを記入した後、自分の文章についての評価を確認し、改めて推敲を行う。 事前学修 2.0hr：資料プリントを読み、推敲のポイントについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：他者の評価を読み、自分の意見文を修正して完成させる。
15回	**授業テーマ：コミュニケーションに関するまとめと小論文作成** 授業内容：多様な価値観や背景を持つ他者と適切なコミュニケーションをとるために重要だと考える点をまとめた上で、提示された課題についての小論文を作成する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、自身のコミュニケーションで改善できた点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：多様な文化や価値観を持つ人々と適切なコミュニケーションをとるために、必要な態度とスキルについて考えをまとめる。

課題探求セミナーⅡ（日本語専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

日本語教育における初級文法項目を、日本語教室の実践場面で生じやすい課題と関連づけながら扱う。学習者が誤りやすい点および指導上の留意点について、誤用分析や例文作成を通して検討し、理解を促す説明方法のあり方を探究する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：日本語教育文法の基礎を理解し、的確に運用できる。
個別目標：(1) 日本語教師に必要な文法的基礎知識を自分の言葉で説明できる。
(2) 教育実践に必要な技能を身に付け、限定的な範囲で学習支援を行うことができる。

▌履修条件

manaba への連絡は漏らさず確認し、課題の提出期限を守る。
留学生で日本語能力試験 N1 をもっていない場合は合格するよう努力すること。
主体的に参加する。

▌評価基準・方法

テスト 40%、課題提出 40%、発表・授業への参加態度 20%で評価する。

▌フィードバック方法

対面授業および manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワークで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料の参照、課題の作成でＰＣを利用する。）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

市川保子『初級日本語文法と教え方のポイント』スリーエーネットワーク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、助詞** 授業内容：助詞「は・が」の用法と使い分け、助詞「で・に・を」の用法と使い分けを確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
2回	**授業テーマ：終助詞** 授業内容：終助詞の形式と用法を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
3回	**授業テーマ：副詞** 授業内容：副詞の分類と用法を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
4回	**授業テーマ：接続詞** 授業内容：接続詞の分類と用法を整理し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
5回	**授業テーマ：敬語** 授業内容：敬語の五分類を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
6回	**授業テーマ：条件** 授業内容：条件の形式と用法、慣用的表現を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
7回	**授業テーマ：原因・理由** 授業内容：原因・理由の表現を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
8回	**授業テーマ：依頼・命令** 授業内容：依頼・命令の表現を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
9回	**授業テーマ：誘い** 授業内容：誘いの表現を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
10回	**授業テーマ：許可・義務** 授業内容：許可・義務の表現を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
11回	**授業テーマ：意見・提案** 授業内容：意見・提案の表現を確認し、指導上の留意点を整理する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。

12回	**授業テーマ：授業計画** 授業内容：第 1 回から第 11 回までに学習した文法事項の中から 1 項目を選択し、マイクロティーチングに向けた授業計画を作成する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
13回	**授業テーマ：教案・教材作成** 授業内容：第 12 回で作成した計画をもとに教案と教材を作成する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
14回	**授業テーマ：マイクロティーチングの実践、自己点検、相互評価** 授業内容：第 13 回で作成した教案および教材をもとにマイクロティーチングを実施し、クラスメートとの相互評価を通して改善点を検討する。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。
15回	**授業テーマ：まとめとふり返り** 授業内容：これまで学習してきた内容について基礎知識を整理をする。 事前学修 1.0hr：授業テーマに関する既有知識を整理する。 事後学修 1.0hr：学習内容を整理し、重要事項を覚える。

課題探求セミナーⅡ（日本語専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

この授業では日本語力及び日本語学の基礎的なことがらを修得していくことを目的とする。とくに国語教員を目指す学生の基礎学力の向上に力点をおき、テキストをよみこなす日本語力の培養と同時に、言語学及び日本語学に関わる基礎的な知識を身につけ、その背景となる諸分野の学問にも言及する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：日本語学の基本的な知識を身につけ、問いを立てる視座をもつ。
　　日本語学を主軸とした基礎知識に加え、それらが書かれた専門的な読み物を構造的に理解できる。
個別目標：さまざまな日本語の事象について日本語学の観点から切り取ることができる。
　　日本語の専門的なテキストを構造化できる。
　　語種については身の回りの現象から具体的な問いを立てて調査することができる。

▌履修条件

国語教員を目指すことを目的としているため、つねに勉強するという姿勢を崩さないこと。各種検定試験（日本語検定 3 級を含む）などに積極的に取り組むと同時に日常から読書をする習慣をつける。検定についてはその問題の解き方やその技法をも学び、日常から読書をする習慣もクラスで涵養していく。

▌評価基準・方法

毎回の授業時での課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。（またテストを課題提出や小論文にすることもある）出席は 5 分の 4 以上とする。欠席時の授業課題点は減点とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

対面授業時、または学修支援システム manaba を通して行うこととする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修及び小論文、課題作成においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに指定はしない。（毎回プリントを配布する。）

▌参考書

とくに参考書はないが、その都度紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：課題探求セミナーⅠの振り返りとガイダンス** 授業内容：国語と国語力について、課題探求セミナーⅠの振り返りの後に、現在の知識部分についての実力を把握する 事前学修 2.0hr：前期の内容および高校までの知識部分について復習しておく 事後学修 2.0hr：現状の国語力について自己分析を行う
2 回	**授業テーマ：世界の言語と日本語（1）** 授業内容：系統論についてその学問背景を学び、専門的文章を構造化し、日本語についての特徴を理解する 事前学修 2.0hr：事前に配布される読解プリントを読んでおく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
3 回	**授業テーマ：世界の言語と日本語（2）** 授業内容：類型論についてその学問背景を学び、専門的文章を構造化し、日本語についての特徴を理解する 事前学修 2.0hr：事前に配布される読解プリントを読んでおく 事後学修 2.0hr：ワークシートを行う
4 回	**授業テーマ：日本語と国語** 授業内容：国語という言葉の成立と展開を学び、日本語学という学問と国語という教科について書かれたレポートを読解する 事前学修 2.0hr：事前に配布される読解プリントを読んでおく 事後学修 2.0hr：文章を精読し、その解釈がどのようになされているのかをまとめる。
5 回	**授業テーマ：日本語の音声・音韻（1）** 授業内容：言語の音声の概念と音声器官、音韻の概念について学んだあとに、音声についての専門的教養書を読解する 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：文章を精読し、その解釈がどのようになされているのかをまとめる。
6 回	**授業テーマ：日本語の音声・音韻（2）** 授業内容：日本語の母音の構造、および調音点、調音法について学んだ後に、音声についての専門的論文を読解を行う。 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：文章を精読し、その解釈がどのようになされているのかをまとめる。
7 回	**授業テーマ：日本語の音声・音韻（3）** 授業内容：音節とモーラについて概念を学んだ後にワークを行い、音声についての新書を読み応用課題を行う。 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：文章を精読し、その解釈がどのようになされているのかをまとめる。
8 回	**授業テーマ：日本語の表記について** 授業内容：漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字の四種を概観したのちに、日本語の表記の問題点についての記事を読み、論点をまとめる 事前学修 2.0hr：担当の課題文について下調べをしておく 事後学修 2.0hr：文章を精読し、その解釈がどのようになされているのかをまとめる。
9 回	**授業テーマ：日本語の語種について（1）** 授業内容：日本語の語種について概観し、グループで調査を行う、 事前学修 2.0hr：語種についてのグーグル問題を解いておく 事後学修 2.0hr：調査を完成させる
10 回	**授業テーマ：日本語の語種について（2）** 授業内容：日本語の語種についてディスカッションし、レポートのフォーマットに従って、調査結果をまとめる 事前学修 2.0hr：サンプルレポートに目をとおしておく 事後学修 2.0hr：調査結果を完成させる
11 回	**授業テーマ：日本語の語種について（3）** 授業内容：他グループの人とミニ発表会を行う。 事前学修 2.0hr：まとめたグループレポートを説明できるようにしておく 事後学修 2.0hr：まとめシートを書く

12回	**授業テーマ：日本語の語彙について（1）** 授業内容：量的語彙について概観したあと、語彙の論文を読む 事前学修 2.0hr：事前に論文に目をとおしておく 事後学修 2.0hr：キーワードを抜き出しておく
13回	**授業テーマ：日本語の語彙について（2）** 授業内容：やさしい日本語についての論文を読む 事前学修 2.0hr：事前に論文に目をとおしておく 事後学修 2.0hr：講義の内容をまとめる
14回	**授業テーマ：日本語の語彙について（3）** 授業内容：コーパス類を使って調査を行う 事前学修 2.0hr：コーパスについての動画をみておく 事後学修 2.0hr：講義の内容をまとめる
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまで読解した論文や調査についてふりかえり、三年のゼミに向けて、興味を持てた分野について二つ以上の仮説を立てる。 事前学修 2.0hr：これまでの読解論文、新書類を集めて見直しておく 事後学修 2.0hr：テストおよびまとめシートを提出する

課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

この授業では、まず、日本社会でのビジネスおいて情報伝達を円滑に進めるために必要な、ビジネス文書の基本的知識を学び、実務の様々なケースに応じた文書の書き方を習得する。

次に、プレゼンテーションの練習を行うことで、効果的に相手を説得する技術を身に付ける。グローバル化する社会において、様々な文化的背景や価値観を持つ人々と交流することを念頭に置き、相手を尊重しながら意見を述べることを学修する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：GSM G ③）

一般目標：1 日本社会でのビジネスを円滑に進めるため、ビジネス文書の役割と基本的マナーを理解し、文書作成に必要な基本的知識と技能を修得する。
　　2 グローバル社会において必要とされる、相手を尊重しながら意見を述べる姿勢を身に付け、論理的で効果的な情報発信力を獲得する。

個別目標：(1) ビジネス実務でよく使われる漢字を書くことができ、ビジネス用語を正しく使うことができる。
　　(2) ビジネス文書の書式を理解し、正確で分かりやすい文書を作成することができる。
　　(3) プレゼンテーションにおいて、分かりやすく効果的で、説得力のある情報発信をすることができる。

▌履修条件

授業課題に、積極的に取り組む意欲を備えていること。

▌評価基準・方法

授業内課題 40 %、プレゼンテーション 20 %、期末試験 40 %により、総合的に評価する。

なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （意見発表や、プレゼンテーション、相互評価等を実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション資料の作成。）

▌教科書

使用しない。授業内でプリントを配布する。

▌参考書

必要に応じて、授業中に紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ビジネス文書の役割と目的** 授業内容：現代社会におけるビジネス文書の在り方と役割について学ぶ。一般的な書簡文との違いや、ビジネス文書の特徴を確認するとともに、ビジネス文書の正しい書き方を身につけることの必要性を理解する。 事前学修 2.0hr：一般的な書簡文とビジネス文書の違いについて考える。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、ビジネス文書の特徴を確認する。
2 回	**授業テーマ：ビジネスメールの書き方** 授業内容：ビジネスメールの基本的事項を学ぶ。メールの文書と書簡文の書式との違いを確認したのち、メール文書で注意する点をいくつかのポイントから確認し、実際に作成してみる。 事前学修 2.0hr：メール文書と書簡文の書式の違いについて確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、課題のメール文書を作成する。
3 回	**授業テーマ：ビジネス文書の基本書式** 授業内容：ビジネスメールとビジネス文書の違いについて理解したのち、ビジネス文書の基本的な書式を学ぶ。社外文書（取引・儀礼）と社内文書の種類や書き方について確認し、目的に合った文書を正しい書式で作成する重要性を理解する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、ビジネス文書の大まかな書式を確認しておく。 事後学修 2.0hr：課題プリントでビジネス文書の種類と基本的な書式について復習を行う。
4 回	**授業テーマ：ビジネス実務の用語と表現** 授業内容：ビジネス文書で使用する用語や表現は、一般的な敬語表現と異なるものがあることを理解する。「自称と他称」「話し言葉と書き言葉」の観点から、ビジネス文書独特の用語や表現をピックアップし、学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、ビジネスで使用する特徴的な用語や表現について確認しておく。 事後学修 2.0hr：課題プリントでビジネス文書の用語・表現に関する演習問題を解く。
5 回	**授業テーマ：社外文書の書き方 (1)：取引文書①** 授業内容：社外文書の中で、取引文書を取り上げ、正しい書き方を学ぶ。取引文書の構成と注意点を確認した後、通知状、照会状、依頼状、督促状、注文状、抗議状、断り状等の目的別の種類があることを理解し、その特徴を文例で学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、取引文書の種類について確認しておく。 事後学修 2.0hr：課題プリントで、取り上げた取引文書の特徴を再確認する。
6 回	**授業テーマ：社外文書の書き方 (2)：取引文書②** 授業内容：前回に続き、社外文書の中で、取引文書の正しい書き方を学ぶ。文書の種類の後半を取り上げ、目的に応じて必要とされる内容や表現について、文例を確認しながら書き方を習得する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、目的に応じた取引文書の書き方を確認しておく。 事後学修 2.0hr：実務を想定した、通知状を作成する。
7 回	**授業テーマ：社外文書の書き方 (3)：社交文書①** 授業内容：社外文書の中で、社交文書を取り上げ、正しい書き方を学ぶ。社交文書の目的と注意点を確認を確認した後、挨拶状、招待状、祝賀状、見舞状、礼状等の種類があることを理解し、その特徴を文例で学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、社交文書の種類や書式、特徴的な用語を確認しておく。 事後学修 2.0hr：課題プリントで社交文書の書式や用語を再確認する。
8 回	**授業テーマ：社外文書の書き方(4)：社交文書②** 授業内容：前回に続き、社外文書の中で、社交文書の正しい書き方を学ぶ。文書の種類の後半を取り上げ、目的に応じて必要とされる内容や表現について、文例を確認しながら書き方を習得する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、目的に応じた社交文書の書き方を確認しておく。 事後学修 2.0hr：実務を想定した、挨拶状を作成する。

9回	**授業テーマ：社内文書の書き方 (1)：社内文書の種類と書式** 授業内容：社内文書の正しい書き方を学ぶ。社内文書と社外文書の違いや、社内文書の構成と注意点を確認する。報告書、議事録、企画書、稟議書、届け出書類等の目的別の種類があることを理解し、その特徴を文例で学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、社内文書の種類と書式を確認しておく。 事後学修 2.0hr：課題プリントで、取り上げた社内文書の書式を再確認する。
10回	**授業テーマ：社内文書の書き方 (2)：社内文書の作成** 授業内容：前回に続き、社内文書の正しい書き方を学ぶ。文書の種類の後半を取り上げ、目的に応じて必要とされる内容や表現について、文例を確認しながら書き方を習得する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、目的に応じた社内文書の書き方を確認しておく。 事後学修 2.0hr：実務を想定した、報告書を作成する。
11回	**授業テーマ：プレゼンテーションの目的と方法** 授業内容：社会生活でプレゼンテーションが行われる場面を確認し、プレゼンテーション能力を磨くことの重要性を理解する。分かりやすく効果的なプレゼンテーションの構成や方法について学び、テーマを考える。 事前学修 2.0hr：身近な場面でプレゼンテーションが行われている例を探す。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、プレゼンテーションのポイントを確認するとともに、テーマを決定する。
12回	**授業テーマ：プレゼンテーションの発表資料作成：構成の立て方、情報収集と整理** 授業内容：プレゼンテーションの構成を考え、発表資料を作成する。自身が選んだテーマについて、どのような構成にすれば効果的にわかりやすく伝わるかを考え、情報を収集し、発表資料の作成に着手する。 事前学修 2.0hr：自身のプレゼンテーションに使用する資料を探しておく。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの内容・構成を精査し、授業中に作成した発表原稿を手直しする。
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション演習(1)** 授業内容：各自が発表資料に基づいてプレゼンテーションを行う。構成や情報の提示の仕方に注意するとともに、相手にわかりやすく説明する意識で話しているかどうかの振り返りを行う。相互評価をもとに、各自で改善点を確認する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの発表資料を確認する。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを振り返り、改善点を確認する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション演習 (2)** 授業内容：各自が発表資料に基づいてプレゼンテーションを行う。構成や情報の提示の仕方に注意するとともに、相手にわかりやすく説明する意識で話しているかどうかの振り返りを行う。相互評価をもとに、各自で改善点を確認する。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの発表資料を確認する。前回の終了者は質問事項を準備する。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションを振り返り、改善点を確認する。
15回	**授業テーマ：コミュニケーションに関するまとめと総合問題演習** 授業内容：文章表現と口頭表現の両面からコミュニケーションについて学修してきたことを振り返り、分かりやすく正確かつ効果的に伝える方法についてまとめる。最後に総合問題演習を行う。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、相手に分かりやすい情報伝達の仕方について考えておく。 事後学修 2.0hr：効果的で説得力のあるコミュニケーションに必要な心構えとスキルについて考えをまとめる。

日本語基礎演習

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）・**田鍋　桂子**（たなべ　けいこ）・**中村　佑衣**（なかむら　ゆい）

▌授業の概要

日本語学科の３年次進級要件である「日本語検定」に取り組み、資格を取得することを目的とする授業である。「日本語検定」とは、日本語の総合的な運用能力を測るため検定試験であり、「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」の６つの領域から出題される。
日本語検定３級程度の実力を身につけることを目標とし、各領域の知識を習得するためのトレーニングを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語の総合的な運用能力を身につける
個別目標：①日本語検定 3 級程度の能力を身につける
　　②日本語の敬語・文法・意味等について、十分な知識に基づいて分析的に説明することができる

▌履修条件

授業は毎回受講し、課題を提出すること。

▌評価基準・方法

①日本語検定の成績８０％
②授業内の「小テスト」および課題提出状況、出席状況２０％
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

小テストの返却、manaba によるフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によってペアワーク、ディスカッション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて PC で情報検索、課題提出）

▌教科書

別途指示します

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語検定とは** 授業内容：日本語検定は「漢字」「表記」「敬語」「言葉の意味」「語彙」「文法」の6分野にわたって日本語運用能力が身についているかを測定するテストである。6 月と 11 月に実施される試験に向けて学修計画を確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	16回	**授業テーマ：敬語４** 授業内容：日本語検定の敬語問題の特徴をまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：敬語１** 授業内容：敬語の基本的知識について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	17回	**授業テーマ：文法４** 授業内容：巷間で行われている「文法的に正しくない表現」を確認し、日本語検定の示す「正しい文法」について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：敬語２** 授業内容：間違えやすい敬語について整理し、問題演習を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	18回	**授業テーマ：語彙３** 授業内容：慣用句・四字熟語の知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：文法１** 授業内容：文法の基本的知識について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	19回	**授業テーマ：言葉の意味３** 授業内容：日本語のコロケーションについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：文法２** 授業内容：間違えやすい文法事項について整理し、問題演習を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	20回	**授業テーマ：表記３** 授業内容：表記のミスをチェックする練習を通じて、間違いやすい表記について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：語彙１** 授業内容：日本語検定の語彙問題の傾向を知る。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	21回	**授業テーマ：漢字３** 授業内容：字形の似た漢字、書き間違えやすい漢字について整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：言葉の意味１** 授業内容：類義語・対義語について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	22回	**授業テーマ：総合問題１** 授業内容：グラフや図に関連づけながら文章を読み取る方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：表記１** 授業内容：漢字の変換ミスについて、どのような例があるかを確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	23回	**授業テーマ：総合問題２** 授業内容：グラフや図に関連づけながら文章を読み取る方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：漢字１** 授業内容：同音異義語を中心に、漢字の知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	24回	**授業テーマ：総合問題３** 授業内容：総合問題で問われる語彙・漢字の知識について整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：敬語３** 授業内容：文化庁の「敬語の指針」を読み、問題点を考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	25回	**授業テーマ：総合問題４** 授業内容：接続詞に注目しながら文と文の関係について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：文法３** 授業内容：ら抜き言葉についての知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	26回	**授業テーマ：総合問題５** 授業内容：前後の文脈に注意しながら文章を読解する方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：語彙２** 授業内容：語構成、外来語について知識を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	27回	**授業テーマ：総合問題６** 授業内容：前後の文脈に注意しながら文章を読解する方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：言葉の意味２** 授業内容：意味を取り違えやすい語について知識を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	28回	**授業テーマ：総合問題７** 授業内容：文章の要旨を把握する方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：表記２** 授業内容：送り仮名の原則について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	29回	**授業テーマ：総合問題８** 授業内容：文章の要旨を把握する方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：漢字２　前期のまとめ** 授業内容：同訓異義語を中心に、漢字の知識を整理する。 前期の学修を振り返り、夏休みの学修計画を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：日本語検定における「正しい日本語」と実際に書いたり話したりされている日本語との違いについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語基礎演習

開講学科等：日 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：前 2 ｜ 備考：9 月進級予定者のみ履修可能

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

日本語学科の３年次進級要件である「日本語検定」に取り組み、資格を取得することを目的とする授業である。「日本語検定」とは、日本語の総合的な運用能力を測るため検定試験であり、「敬語」「文法」「語彙」「言葉の意味」「表記」「漢字」の６つの領域から出題される。
日本語検定３級程度の実力を身につけることを目標とし、各領域の知識を習得するためのトレーニングを行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語の総合的な運用能力を身につける
個別目標：①日本語検定 3 級程度の能力を身につける
②日本語の敬語・文法・意味等について、十分な知識に基づいて分析的に説明することができる

▌履修条件

授業は毎回受講し、課題を提出すること。

▌評価基準・方法

①日本語検定の成績８０％
②授業内の「小テスト」および課題提出状況、出席状況２０％
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

小テストの返却、manaba によるフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業回によってペアワーク、ディスカッション等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて PC で情報検索、課題提出）

▌教科書

別途指示します

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語検定とは** 授業内容：日本語検定は「漢字」「表記」「敬語」「言葉の意味」「語彙」「文法」の6分野にわたって日本語運用能力が身についているかを測定するテストである。6 月と 11 月に実施される試験に向けて学修計画を確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	16回	**授業テーマ：敬語４** 授業内容：日本語検定の敬語問題の特徴をまとめる。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：敬語１** 授業内容：敬語の基本的知識について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	17回	**授業テーマ：文法４** 授業内容：巷間で行われている「文法的に正しくない表現」を確認し、日本語検定の示す「正しい文法」について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：敬語２** 授業内容：間違えやすい敬語について整理し、問題演習を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	18回	**授業テーマ：語彙３** 授業内容：慣用句・四字熟語の知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：文法１** 授業内容：文法の基本的知識について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	19回	**授業テーマ：言葉の意味３** 授業内容：日本語のコロケーションについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：文法２** 授業内容：間違えやすい文法事項について整理し、問題演習を行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	20回	**授業テーマ：表記３** 授業内容：表記のミスをチェックする練習を通じて、間違いやすい表記について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：語彙１** 授業内容：日本語検定の語彙問題の傾向を知る。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	21回	**授業テーマ：漢字３** 授業内容：字形の似た漢字、書き間違えやすい漢字について整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：言葉の意味１** 授業内容：類義語・対義語について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	22回	**授業テーマ：総合問題１** 授業内容：グラフや図に関連づけながら文章を読み取る方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：表記１** 授業内容：漢字の変換ミスについて、どのような例があるかを確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	23回	**授業テーマ：総合問題２** 授業内容：グラフや図に関連づけながら文章を読み取る方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：漢字１** 授業内容：同音異義語を中心に、漢字の知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	24回	**授業テーマ：総合問題３** 授業内容：総合問題で問われる語彙・漢字の知識について整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：敬語３** 授業内容：文化庁の「敬語の指針」を読み、問題点を考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	25回	**授業テーマ：総合問題４** 授業内容：接続詞に注目しながら文と文の関係について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

11回	**授業テーマ：文法３** 授業内容：ら抜き言葉についての知識を整理する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	26回	**授業テーマ：総合問題５** 授業内容：前後の文脈に注意しながら文章を読解する方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
12回	**授業テーマ：語彙２** 授業内容：語構成、外来語について知識を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	27回	**授業テーマ：総合問題６** 授業内容：前後の文脈に注意しながら文章を読解する方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：言葉の意味２** 授業内容：意味を取り違えやすい語について知識を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	28回	**授業テーマ：総合問題７** 授業内容：文章の要旨を把握する方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：表記２** 授業内容：送り仮名の原則について確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	29回	**授業テーマ：総合問題８** 授業内容：文章の要旨を把握する方法について考える(続き)。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：漢字２　前期のまとめ** 授業内容：同訓異義語を中心に、漢字の知識を整理する。 前期の学修を振り返り、夏休みの学修計画を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：日本語検定における「正しい日本語」と実際に書いたり話したりされている日本語との違いについて考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

英語Ⅲ-a

開講学科等：日 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

キーネン　ディナ　クリスチャンセン・ジェラルド　ライト・ダニエル　ブロガン・ティモシー　オピツ・デビッド　マグヌソン・ピエール　アレック

▌授業の概要

English III-a builds on both English I and English II by expanding on the concepts and language previously learned. As English III is built on the skills learned in their first year, students will be expected to demonstrate a basic proficiency in English for the workplace. Active learning and interaction will be emphasized throughout the course as students develop their linguistic abilities further with attention to fluency, discussion, and presentation skills.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①）

一般目標：The goal of English III-a is to foster in students the practical communicative skills and confidence necessary to enter and excel in an increasingly globalized workplace and to engage in meaningful communication with success and enthusiasm. This is to be achieved through interesting language learning activities that promote the integration of the four skills of speaking, listening, reading, and writing, as well as through independent study.

個別目標：By the end of this course, students will be able to: socialize with confidence; discuss hobbies and other activities; make and receive a phone call, describe personality traits, write job applications, and take a job interview in English.

▌履修条件

It is recommended that students take English I and English II before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%), and Tests (30%)

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Shearn, R., Ferris, A., &Tackett, G. (2012). English at work 1. Taipei: Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English III-a** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. 事前学修 1.0hr：Purchase the textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Module I Socializing with Confidence: Unit 2 Hobbies and Activities** 授業内容：Students take about hobbies and activities. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice writing a postcard. Students personalize a conversation. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Module I Socializing with Confidence: Unit 2 Adverbs of Frequency** 授業内容：Students study adverbs of frequency. Students interview a partner and make sentences about their partner. Students talk about how often they like to do things. Students read a blog post. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Module I Socializing with Confidence Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair and group work. Students perform the task for assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Module II Communicating on the Phone: Unit 3 Receiving Calls** 授業内容：Students learn how to communicate on the phone. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice taking messages. Students personalize a conversation. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Module II Communicating on the Phone: Unit 3 Polite Requests and Responses** 授業内容：Students learn how to make polite requests and give responses on the phone. Students personalize a dialogue and practice leaving messages to a partner. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Module II Communicating on the Phone Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task for assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 2 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Module III Job Hunting: Unit 9 Getting Information** 授業内容：Students learn new vocabulary about describing people and practice a dialogue. Students perform the task for assessment using vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Module III Job Hunting: Unit 9 Contractions** 授業内容：Students learn about contractions and practice making sentences. Students practice writing questions about job skills. Students practice listening to an announcement. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Module IV Job Interviews: Unit 1 Introductions** 授業内容：Students learn about different jobs in a company and related vocabulary. Students practice a dialogue. Students practice writing an application form. Students personalize a conversation. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Module IV Job Interview: Unit 1 Wh- Questions** 授業内容：Students study how to make wh- questions. Students interview a partner and take notes about their partner. Students read an example CV and answer questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Final Examination Review** 授業内容：Students review the vocabulary, grammar and speaking skills studied in units one, two, three and nine. Students prepare for the final examination. 事前学修 1.0hr：Prepare for task 3 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
13回	**授業テーマ：Final Examination: Individual Interviews** 授業内容：Students prepare information based on a task provided by their instructor. Students present this information either orally or in writing to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
14回	**授業テーマ：Final Examination: Group Interviews** 授業内容：Students interact with one another asking questions and collecting information. Students fill out answers on a task worksheet that must be submitted to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for the summer and next term. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.5hr：Write one paragraph to describe what you did in summer vacation

英語Ⅲ-b

開講学科等：日 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

キーネン　ディナ　クリスチャンセン・ジェラルド　ライト・ダニエル　ブロガン・ティモシー　オピツ・デビッド　マグヌソン・ピエール　アレック

▌授業の概要

A continuation of the skills and abilities learned in English III-a, English III-b builds on both English I and English II by expanding on the concepts and language previously learned. As English III is built on the skills learned in their first year, students will be expected to demonstrate a basic proficiency in English for the workplace. Active learning and interaction will be emphasized throughout the course as students develop their linguistic abilities further with attention to fluency, discussion, and presentation skills. This course will alternate between on-demand and face-to-face classes. Please see Manaba for details.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①）

一般目標：The goal of English III-b is to foster in students the practical communicative skills and confidence necessary to enter and excel in a globalized workplace and to engage in meaningful communication with success. This is to be achieved through language learning activities that promote the integration of the four skills of speaking, listening, reading, and writing, as well as through independent study.

個別目標：By the end of this course, students will be able to: solve problems; make complaints; introduce companies and products in detail; describe various technologies; and, make well-organized presentations on professional topics.

▌履修条件

It is recommended that students take English I and English II before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%) and Tests (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Shearn, R., Ferris, A., &Tackett, G. (2012). English at work 1. Taipei: Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English III-b** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in a group and pair communication activities and discuss what they did during the summer. 事前学修 1.0hr：Purchase the textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Module V Solving Problems: Unit 8 Making Statements** 授業内容：Students talk about everyday items and learn how to make complaints. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice reading a troubleshooting guide. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Module V Solving Problems: Unit 8 Possessive Forms** 授業内容：Students study how to use the possessive form. Students work with a partner to make sentences. Students write a letter of complaint and practice a role play. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Module V Solving Problems Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Module VI Introducing Companies and Products Unit 4 Descriptions I** 授業内容：Students talk about their favorite products and describe them using adjectives. Students learn new vocabulary and practice a dialogue. Students practice using the comparative. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Module VI Introducing Companies and Products Unit 4 Questions with the Be Verb** 授業内容：Students study how to make questions with the verb ”to be.” Students compare countries. Students use adjectives to describe the companies they know. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Module VI Introducing Companies and Products Task** 授業内容：Students complete an integrated task through pair work and group work. Students perform the task assessment using the vocabulary and grammar studied in the unit. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 2 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Module VII Technology Unit 7 Descriptions II** 授業内容：Students learn how to describe various technology items. Students learn new vocabulary and practice making sentences. Students read/listen about a new product. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Module VII Technology Unit 7 Superlatives** 授業内容：Students study how to use and make superlatives. Students practice making sentences. Students write a product description. Students practice agreeing and disagreeing. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Module VIII Powerful Presentations Unit 11 Organizational Structures** 授業内容：Students learn how to live powerful presentations. Students learn the language of presentations and how to effectively make them. Students learn about a company's organizational chart. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Module VIII Powerful Presentations Unit 11 Coordinating Conjunctions** 授業内容：Students study how to use coordinating conjunctions. Students practice making sentences and learn useful phrases. Students outline their presentations. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Final Examination Review** 授業内容：Students review the vocabulary, grammar and speaking skills studied in units four, seven, eight, and eleven. Students prepare for the final examination. 事前学修 1.0hr：Prepare for task 3 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
13回	**授業テーマ：Final Examination: Individual Interviews** 授業内容：Students prepare information based on a task provided by their instructor. Students present the information either orally or in writing to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
14回	**授業テーマ：Final Examination: Group Interviews** 授業内容：Students interact with one another asking questions and collecting information. Students fill out answers on a task worksheet that must be submitted to the instructor for assessment. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English III-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete.
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for future study. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.5hr：Develop independent English study plan

フレッシュパーソンセミナーⅠ

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

鍛治　広真（かじ　ひろみ）・**小谷　哲男**（こたに　てつお）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**横山　竜一郎**（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

この科目は、大学で学ぶために必要とされるアカデミック・スキルズを身に着けることを目的とします。大学での学びは高校までとは大きく異なります。例えば、高校までの課題は、習ったことを理解して問題を解くことが多かったでしょう。しかし大学では、与えられた問題を解くだけでなく、問題そのものを自分で発見する力が求められます。このような力の基礎となるのが学術的技法（アカデミック・スキルズ）です。

前期は、まず大学での学びを理解した上で、情報収集と情報整理の方法や、批判的に資料を読む方法について学びます。そして実際に文章を読んで理解するとともに、自分の意見をまとめてもらいます。アカデミック・スキルズは一朝一夕には身につきませんが、少しずつ努力することで必ず身につきます。焦らずに取り組んでください。生成 AI をどのように学修に活用するかについても学びます。

この科目では英語に関する勉強法についても扱います。また授業時間内で英検 IBA を実施します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎）

一般目標：大学の学びの基礎となる客観的・論理的思考を身につける。

個別目標：（1）大学での学びの特徴を理解する。
（2）情報収集の方法を理解し、実際に用いることができる。
（3）批判的読解の方法を理解し、実践することができる。
（4）生成 AI を正しく使うことができる。
（5）英語の勉強法を身につける。

▌履修条件

指定されたクラスで受講してください。

▌評価基準・方法

・提出物を含む授業への積極的な貢献（50 %）、期末レポート（50 %）で評価します。
・5 分の 4 以上の出席を評価対象の前提とします。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業内および manaba で行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼン等を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料の収集、リスニング試験の実施、プレゼン等で使います。）

▌教科書

佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦編（2025）『アカデミック・スキルズ――大学生のための知的技法入門（第 4 版）』（慶應義塾大学出版会）

▌参考書

・大出敦（2015）『クリティカル・リーディング入門――人文系のための読書レッスン』（慶應義塾大学出版会）。
・河野哲也（2018）『レポート・論文の書き方入門（第 4 版）』（慶應義塾大学出版会）。
・慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員（2014）『学生による学生のためのダメレポート脱出法』（慶應義塾大学出版会）。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方と評価方法を説明します。 事前学修 0.5hr：シラバスを確認し、授業の内容と計画を確認しておく。 事後学修 1.5hr：科目の進め方などを確認する。
2 回	**授業テーマ：アカデミック・スキルズとはなにか** 授業内容：客観的・論理的思考とは何かを学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
3 回	**授業テーマ：AI 時代のアカデミックスキルズ** 授業内容：主に生成 AI をどのように、そして正しく学修に活用するかを学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
4 回	**授業テーマ：講義の受け方** 授業内容：主にノートの作成方法を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
5 回	**授業テーマ：英検 IBA　LR** 授業内容：英検 IBA のリーディングとリスニングを行います。 事前学修 1.5hr：指定された課題の実施 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
6 回	**授業テーマ：情報収集の基礎** 授業内容：主に資料の収集方法について学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
7 回	**授業テーマ：図書館ツアー** 授業内容：図書館で資料の収集を実践します。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：図書館の使い方の復習をする。
8 回	**授業テーマ：情報収集の実践** 授業内容：図書館で学んだ情報収集方法を実践します。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
9 回	**授業テーマ：本を読む** 授業内容：批判的な読解方法を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。

10回	**授業テーマ：本を読む** 授業内容：文章の全体像の把握を練習します。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
11回	**授業テーマ：本を読む** 授業内容：文章の要約の仕方を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
12回	**授業テーマ：英検 IBA　WS** 授業内容：英検 IBA のライティングとスピーキングを行います。 事前学修 1.5hr：指示された課題の実施。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
13回	**授業テーマ：英検 IBA　LR** 授業内容：英検 IBA のリーディングとリスニングを実施します。 事前学修 1.5hr：指示された課題の実施。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
14回	**授業テーマ：レポートの発表** 授業内容：期末レポートの内容を発表します。 事前学修 1.5hr：発表の準備 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：前回のとりまとめを行います。 事前学修 1.5hr：指示された課題の実施。 事後学修 1.5hr：自分の課題を発見し、その解決方法を検討する。

フレッシュパーソンセミナーⅡ

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

鍛治　広真（かじ　ひろみ）・**小谷　哲男**（こたに　てつお）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**横山　竜一郎**（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

前期に引き続き、アカデミック・スキルズの習得を目指します。後期は、研究発表の意味を理解した後で、口頭発表やレポート執筆に取り組みます。実際に、自分で決めたテーマで研究し、それを発表するとともに、レポートを執筆することになります。アカデミック・スキルズは一朝一夕には身につきませんが、少しずつ努力することで必ず身につきます。焦らずに取り組んでください。引き続き、生成 AI の使い方も学びます。

この科目では英語に関する勉強法についても扱います。また授業時間内で英検 IBA を実施します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎）

一般目標：大学の学びの基礎となる客観的・論理的思考を、研究発表を中心に身につける。

個別目標：(1)研究発表の意義を理解する。
(2)研究発表の方法を学び、その方法を実践する。
(3)生成 AI を正しく活用する。
(4)日本語だけでなく英語も用いながら、学びを実践する。

▌履修条件

指定されたクラスで受講してください。

▌評価基準・方法

・提出物を含む授業への積極的な貢献(50 %)、期末レポート(50 %)で評価します。
・5 分の 4 以上の出席を評価対象の前提とします。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは授業時内および manaba で実施します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼン等を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料の収集やプレゼンで使います。）

▌教科書

佐藤望・湯川武・横山千晶・近藤明彦編(2025)『アカデミック・スキルズ――大学生のための知的技法入門(第 4 版)』(慶應義塾大学出版会)

▌参考書

・大出敦(2015)『クリティカル・リーディング入門――人文系のための読書レッスン』(慶應義塾大学出版会)。
・河野哲也(2018)『レポート・論文の書き方入門(第 4 版)』(慶應義塾大学出版会)。
・慶應義塾大学日吉キャンパス学習相談員(2014)『学生による学生のためのダメレポート脱出法』(慶應義塾大学出版会)。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期の授業の進め方と評価方法について説明します。 事前学修 1.5hr：シラバスを確認し、授業の内容と計画を確認しておく。 事後学修 1.5hr：科目の進め方などを確認する。
2回	**授業テーマ：情報の整理** 授業内容：情報の整理方法について学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
3回	**授業テーマ：英検 IBA　WS** 授業内容：英検 IBA のライティングとスピーキングを実施します。 事前学修 1.5hr：指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
4回	**授業テーマ：英検 IBA　RL** 授業内容：英検 IBA のリーディングとリスニングを行います。 事前学修 1.5hr：指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
5回	**授業テーマ：研究発表の方法** 授業内容：プレゼンとは何かについて学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
6回	**授業テーマ：研究課題の決め方** 授業内容：レポート課題の決め方を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
7回	**授業テーマ：プレゼンテーションの方法** 授業内容：プレゼンのやり方について学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
8回	**授業テーマ：生成 AI の活用法** 授業内容：プレゼンに生成 AI を活用する方法を学ぶ。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
9回	**授業テーマ：口頭発表①** 授業内容：プレゼンを順番に行います。 事前学修 1.5hr：プレゼンの準備を行う。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
10回	**授業テーマ：口頭発表②** 授業内容：プレゼンを順番に行います。 事前学修 1.5hr：プレゼンの準備を行う。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。

11回	**授業テーマ：英検 IBA　WS** 授業内容：英検 IBA のライティングとスピーキングを行います。 事前学修 1.5hr：指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
12回	**授業テーマ：英検 IBA　LR** 授業内容：英検 IBA のリーディングとリスニングを行います。 事前学修 1.5hr：指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
13回	**授業テーマ：レポートをまとめる①基礎** 授業内容：レポートの書き方の基礎を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
14回	**授業テーマ：レポートをまとめる②発展** 授業内容：優れたレポートの書き方を学びます。 事前学修 1.5hr：教科書の該当箇所を読み、指示された課題に取り組む。 事後学修 1.5hr：授業の復習をする。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：これまでの復習を行います。 事前学修 1.5hr：これまでの授業内容全体をまとめる。 事後学修 1.5hr：自分の課題を発見し、その解決方法を検討する。

課題探求セミナーⅠ（英米語専攻）

開講学科等：英 ｜ 2年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

鍛治　広真（かじ　ひろみ）・**嶋田　珠巳**（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

英語で自由に話せるようになりたい、ふつうに英語が読めるようになりたいというのは英米語学科の多くの学生の思いである。どうすればそうなるのか。その思いと、語学に必要なある程度の努力、そこに、英語学あるいは言語学の知識が、英語技能の向上を根底から支える。本授業においては、英語の発想法を探求しながら、英米語専攻の学生が専門性を身につける過程で必要となる基礎力を養成する。

［英米語学科の英米語専攻（ELM）学生のための2年次前学期必修科目。３・４年次に、自らの専門として何を本格的に学ぶのかを深く考え、その方向性を探るための科目。特に「日英語を対象として言語や文化に関する本や文献を読むこと」を重視する］

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎）

一般目標：(1) 英米語専攻に相応しい知識を身につけ、思考法・概念・文章スタイルなどに慣れ親しむ。
(2) 読んだ本や文献の内容について、自分の意見を構築し論理的に表明することができる。
(3) 自らの研究課題を見つける。

個別目標：・英語と日本語のさまざまな言語現象の違いや発想法について考察することができる
・テクストで述べられている例文に加えて、自らの読解で類例を見つけ、検討することができる

▌履修条件

受講クラス（担当者）が指定される。指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

・学期末試験の成績 50 %、平常成績（小テストの成績、課題の提出状況、授業に対する貢献等）50 %を原則として、総合的に評価する。
・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba または面談により行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『英語の発想』安西徹雄　ちくま学芸文庫

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（履修上の注意、授業方針の説明）／テキストの「はじめに」** 授業内容：この授業で学ぶことの概説。英語を訳読するときにみなさんはどうしていますか。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、授業内容・授業方針を把握する。テキストの「はじめに」を読んでおく。 事後学修 2.0hr：各自の到達目標を具体的に設定する、テキストを全体的に目をとおしておく
2回	**授業テーマ：第１章　実例の研究＝二題（前半）** 授業内容：英文解釈の直訳と意訳について、テクストの文例とともに検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第１章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
3回	**授業テーマ：第１章　実例の研究＝二題（後半）** 授業内容：和文から英語に訳すときに工夫するポイントとは。日本語の特性、英語の特性を考えてみよう。 事前学修 2.0hr：テキスト第１章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
4回	**授業テーマ：第２章　「もの」と見るか、「こと」と取るか（前半）** 授業内容：名詞中心と動詞中心というテクストで示された考えをもとに、日本語と英語の文例を検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第２章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
5回	**授業テーマ：第２章　「もの」と見るか、「こと」と取るか（後半）** 授業内容：関係代名詞を訳すにはどのようにするのがいいだろうか。文例をもとに検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第２章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
6回	**授業テーマ：実例ディスカッションⅠ** 授業内容：受講生によるグループワークと発表。第１～２章で扱った文例の類例をさがし、その分析を紹介する。 事前学修 2.0hr：第３～５章を読み直す 事後学修 2.0hr：授業での考察を整理し、疑問点を解決する
7回	**授業テーマ：第３章　行動論理と情況論理（「無生物主語」の構文）** 授業内容：「無生物主語」の構文はどのように訳されるのか。文例とともに検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第３章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
8回	**授業テーマ：第３章　行動論理と情況論理（動作主としての人間・感受する人間）** 授業内容：動作主と環境の関わりの言語表現について、日本語と英語の違いを検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第３章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に課される課題に取り組む
9回	**授業テーマ：第３章　行動論理と情況論理（日本語に主語はいらない）** 授業内容：日本語の文法、とくに主語・主題について、考察を深める。 事前学修 2.0hr：テキスト第３章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に課される課題に取り組む
10回	**授業テーマ：第４章　客観話法か共感話法か（日本語では間接話法は不可能である）** 授業内容：話法をめぐる日本語と英語の違いについて考察する。 事前学修 2.0hr：テキスト第４章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む

11回	**授業テーマ：第４章　客観話法か共感話法か(代名詞と時制の問題)** 授業内容：日本語と英語の代名詞、時制をめぐる問題について考察する。 事前学修 2.0hr：テキスト第４章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
12回	**授業テーマ：第４章　客観話法か共感話法か(夢とうつつの合間を縫う)** 授業内容：「時制の移動」とよばれる現象について日英の相違を考察する。 事前学修 2.0hr：テキスト第４章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
13回	**授業テーマ：第５章　受動態と受身(前半)** 授業内容：英語の受動態はどう訳されるのか。文例を見ながら検討する。 事前学修 2.0hr：テキスト第５章を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
14回	**授業テーマ：第５章　受動態と受身(後半)** 授業内容：受動態の背景となるものの見方を中心として、日本語と英語の表現形態について考察する。 事前学修 2.0hr：テキスト第５章の指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
15回	**授業テーマ：実例ディスカッション Ⅱ** 授業内容：受講生によるグループワークと発表。第３章～第５章で扱った文例の類例をさがし、その分析を紹介する。 事前学修 2.0hr：第３～５章を読み直す 事後学修 2.0hr：授業での考察を整理し、疑問点を解決する

課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

小谷　哲男 (こたに　てつお)・ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

「世界の今」を知り、自らで考察を加えることを学ぶ、英米語学科学生のための 2 年次前学期必修科目。グローバル・スタディーズ専攻学生のためのこの授業では、グローバル社会で活躍できる有為な人材に成長することを目指し、自ら考える力、判断する力、そして表現する力を身に付けていく。現在、世界が共通に抱える「貧困と経済格差」「紛争と平和」「教育の機会均等」「健康と公衆衛生」「貿易と開発」「環境の持続可能性」などのグローバルな課題について学修を深め、長期的視野に立った自らの興味分野を探していく。下記の「授業内容」は、標準的な授業展開の例である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎）

一般目標：(1) グローバル人材に相応しい思考法・概念・文章スタイルなどを身につける。
(2) 読んだ本や文献の内容について、自分の意見を論理的に表明することができるようになる。
(3) 自らの興味分野を見つけ、専門領域研究講座の選択や就職活動への手がかりとすることができる。
(4) アクティブラーニングの結果として自らの意見を積極的に述べ、意見交換の場に寄与することができる。

個別目標：グローバル化に対応するための外国語能力とともに、課題を発見し解決する能力や論理的思考力、コミュニケーション能力、さらに日本の近現代史に関する知識を含む幅広い教養を育む（日本経済団体連合会）という要請に応えることができるグローバル人材へと成長する。

▌履修条件

専攻に応じて受講クラス（担当者）が指定される。指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはレポートの成績 60 %、平常成績（小テストの成績、課題の提出状況、授業に対する貢献等）40 %を原則として、総合的に評価する。五分の四以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回のトピックについて積極的に意見交換をする、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内に様々な情報を検索、課題を manaba に提出）

▌教科書

毎週読む記事等を指定する。

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション(履修上の注意、授業方針の説明)** 授業内容：前期に学ぶ内容全体を見通す。各トピックについて世界の現状を概観する。トピックがどのような問題を取り上げているのか推論を立てる。 事前学修 1.0hr：講義概要をよく読み、授業内容・授業方針を把握する。 事後学修 1.0hr：指定テキストがある場合は、直ちに購入し、全体に目を通す。
2 回	**授業テーマ：グローバル・スタディーズとは何か 1 (全体像を把握する)** 授業内容：「国際」と「グローバル」との違いについて考える。「国際」の前提となっている国境の概念や「グローバル」の概念では前提としないことを想定していた国境の概念がかえって協調されている現状などについて考えてみる。 事前学修 1.0hr：グローバルスタディーズについて、自分なりに調べておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：グローバル・スタディーズとは何か 2 (関連諸分野について理解する)** 授業内容：第二次世界大戦とはどのような戦争であったのかをグローバリズムの大前提として理解するために、ＮＨＫ制作の映像の 20 世紀シリーズの映像作品を視聴する。日本が第二次世界大戦でどのような存在として世界から認識されていたのかその現実を冷静にとらえてみる。 事前学修 1.0hr：国際関係論、地域研究などについて調べておく 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：基本文献を読む 1** 授業内容：トピック 1 Poverty and hunger を学修します。タイトルからどのような事について取り扱っているのかを推論し、世界が抱える問題について自分の知識の範囲内で考えてみる。積極的に発言する。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：基本文献を読む 2** 授業内容：トピック 1　Poverty and hunger の続き。丁寧に学修していきます。掲載されている写真の一枚一枚が重要な意味を持っています。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：基本文献を読む 3** 授業内容：トピック 1　Poverty and hunger の続き。貧困国の共通の問題点として政府の国家予算の配分に問題があるのではないかとの仮説のもと、考察を進めています。国家予算はどのように使われるべきなのか皆さんに考えてもらいます。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：基本文献を読む 4** 授業内容：トピック 1　Poverty and hunger の続き。Ripple Effect について考察を深めます。何気ない行動が徐々に重大な結果を生じ、取り返しのつかない現実を生み出すことについて考察を深めます。地雷についても考えます。最も安価な兵器と言われる地雷が世界中に埋められ、現在では撤去に 1000 年以上かかると言われている現状について考察を深めます。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
8 回	**授業テーマ：基本文献を読む 5** 授業内容：トピック 1　Poverty and hunger の続き。それぞれの国家は様々の異なる事情を抱えています。紛争国に囲まれている国の場合、長い間干ばつに見舞われ農業が困難になっている国家、長い間女性への教育が制限されており女性の活躍が期待できない国家などなど。それぞれの国家がどのような分野に予算を使ったらよいのでしょうか。事情に合わせた予算の使い方を皆さんに考えて頂きます。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：基本文献を読む ６** 授業内容：トピック１　Poverty and hunger の総まとめ。この日本においてはどのように国家予算が使われているのでしょうか。予算の使途を変化させるべきでしょうか。あなたならどのように日本の国家予算が使われるべきであると考えますか。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：基本文献を読む ７** 授業内容：トピック２　Conflict and peace を学修します。国連の子供の権利憲章について学びます。なぜこのような憲章が生まれたのでしょうか。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：基本文献を読む ８** 授業内容：トピック２　Conflict and peace を学修します。少年兵問題は重大問題です。現在でも戦争が起き、成人男性の人数が不足すると 15 歳程度の子供が戦争に駆り出されます。これは他人ごとではなく、過去には日本でも同じことが行われ多くの若い命が失われています。日本でどのような戦争があったのか、特に第二次世界大戦の末期におきた沖縄戦について DVD を視聴します。 事前学修 1.0hr：与えられた文献もしくはテキストに目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：基本文献を読む ９** 授業内容：トピック２　Conflict and peace を学修します。どのような状態で少年兵が戦場に駆り出されていくのかそのメカニズムについて学修します。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：基本文献を読む １０** 授業内容：トピック２　Conflict and peace を学修します。 事前学修 1.0hr：与えられた文献もしくはテキストに目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：基本文献を読む １１** 授業内容：トピック２　Conflict and peace を学修します。元少年兵がどのように自我を取り戻し一般社会に戻っていくのかを実例をもとに学修します。どのようなサポートが必要なのか考えてみましょう。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ　前期に焦点を当てた問題について総復習を行う** 授業内容：トピック１およびトピック２の復習をします。キーワードを使いながら前学期に学んだ内容を自分の言葉でまとめましょう。 事前学修 2.0hr：前学期中に学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：担当者の解説・指示に従い、試験の準備をする。

課題探求セミナーⅡ（英米語専攻）

開講学科等：英　｜　2 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

鍛治　広真（かじ　ひろみ）・**嶋田　珠巳**（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

英米語学科の英米語専攻（ELM）学生のための 2 年次後学期必修科目。３・４年次に、自らの専門として何を本格的に学ぶのかを深く考え、その方向性を探るための科目。特に「日英語を対象として言語や文化に関する本や文献を読むこと」を重視する。受講生は、専攻に相応しい言語や文化に関する基本的な知識を得るとともに、基礎的な思考法、概念、文章スタイルなどを学ぶ。また、読んだ内容について、自分の意見を構築し、その意見の根拠を論理的に述べたり書き表したりする訓練も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎）

一般目標：(1) 英米語専攻に相応しい専門知識・思考法・概念・文章スタイルなどに慣れ親しむ。
(2) 読んだ本や文献の内容について、自分の意見を構築し論理的に表明することができる。
(3) 自らの研究課題を見つける。

個別目標：・世界の英語（World Englishes) の諸相を知り、その国々の言語・文化・社会・教育・歴史等について幅広く理解する
・母語話者の英語とその国々の文化と社会を学ぶ
・公用語または第２言語話者の英語とその国々の文化と社会を学ぶ
・国際語または外国語としての英語とその諸相を学ぶ

▌履修条件

受講クラス（担当者）が指定される。指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

・学期末試験の成績 50 %、平常成績（小テストの成績、課題の提出状況、授業に対する貢献等）50 %を原則として、総合的に評価する。
・5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba または面談により行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『World Englishes 入門ーグローバルな英語世界への招待』大石晴美編　昭和堂

▌参考書

『応用言語学事典』小池生夫他編　研究社
『世界の英語ができるまで』唐澤一友　亜紀書房
『英語という選択ーアイルランドの今』嶋田珠巳　岩波書店
その他適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（履修上の注意、授業方針の説明など）／ “World Englishes” とは何か** 授業内容：後期のテーマは、“World Englishes”。世界のさまざまな英語について学んでいこう。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、授業内容・授業方針を把握する。テキストの「序章」を読んでおく 事後学修 2.0hr：各自の到達目標を具体的に設定する、テキストを全体的に目をとおしておく
2回	**授業テーマ：英語の歴史を知る** 授業内容：そもそも英語とはどのような言語なのか。英語の歴史を少し見ておこう。 事前学修 2.0hr：事前配布の資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む授業
3回	**授業テーマ：母語としての英語（イギリスとケルトの英語（１））** 授業内容：大ブリテン島での主要な言語接触を、紀元前から歴史的変遷をたどる。イギリス英語の標準変種と諸方言の音声的特徴と社会的評価について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
4回	**授業テーマ：母語としての英語（イギリスとケルトの英語（２））** 授業内容：スコットランド・ウェールズ・アイルランドの英語について、歴史と現状、言語的特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
5回	**授業テーマ：母語としての英語（アメリカとカナダの英語）** 授業内容：アメリカ英語とカナダ英語の歴史的変遷と背景、言語的特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
6回	**授業テーマ：母語としての英語（オーストラリアとニュージーランドの英語）** 授業内容：オーストラリア英語とニュージーランド英語の歴史的変遷と特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
7回	**授業テーマ：公用語・第 2 言語としての英語（インドの英語）** 授業内容：インドが英語と接触した歴史的背景、英語教育の始まり、言語政策を概観し、英語使用の現状と言語的特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
8回	**授業テーマ：公用語・第 2 言語としての英語（東南アジアの英語）** 授業内容：シンガポールとマレーシアの英語について学ぶ。「新英語」（New English) の誕生とその特徴を見る。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
9回	**授業テーマ：公用語・第 2 言語としての英語（アフリカの英語）** 授業内容：アフリカ大陸の西部・東部・南部の３つの地域におけるアフリカの英語の共通点と相違点を知る。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む

10回	**授業テーマ：公用語・第 2 言語としての英語(カリブ海の英語)** 授業内容：カリブ海域の地図を確認しその複雑な地理と、英語の変種について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
11回	**授業テーマ：国際語・外国語としての英語(ヨーロッパと中東の英語)** 授業内容：ヨーロッパと中東における英語の使用実態について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
12回	**授業テーマ：国際語・外国語としての英語(日本の英語)** 授業内容：日本の英語教育の歴史的変遷、日本人英語の特徴、そして日本の英語の現状と課題についてみていく。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
13回	**授業テーマ：国際語・外国語としての英語(韓国と中華世界の英語)** 授業内容：韓国、中国・香港・台湾の言語事情と外国語としての英語の学校教育における現状について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
14回	**授業テーマ：国際語・外国語としての英語(モンゴルとミャンマーの英語)** 授業内容：モンゴルとミャンマーの歴史と教育事情、使われている英語の特徴を知る。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読んでおく 事後学修 2.0hr：授業内に提示される課題に取り組む
15回	**授業テーマ：総括と考察** 授業内容：「3 つの英語圏」の国々における英語の実態、歴史的背景、言語政策、言語的特徴について、復習し、日本における英語をめぐる問題などについて考察する。 事前学修 2.0hr：学んだ内容を振り返っておく 事後学修 2.0hr：最終課題に取りくみ、試験の準備をする

課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

小谷　哲男 (こたに　てつお)・ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

グローバル・スタディーズ専攻のこの授業では、グローバル社会で活躍できる有為な人材に成長することを目指し、自ら考える力、判断する力、そして表現する力を深めます。世界が共通に抱える「貧困と経済格差」「紛争と平和」「教育の機会均等」「健康と公衆衛生」「貿易と開発」「環境の持続可能性」などのグローバルな課題について学修を深め、長期的視野に立った自らの興味分野を探していきます。下記の「授業内容」は、標準的な授業展開の例です。インターアクティブで積極的な発言を歓迎します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3 ◎）

一般目標：(1) グローバル人材に相応しい思考法・概念・文章スタイルなどに慣れ親しむ。(2) 読んだ本や文献の内容について、自分の意見を論理的に表明することができる。(3) 自らの興味分野を見つけ、専門領域研究講座の選択や就職活動への手がかりとなる。(4) 実社会で通用する能力を自ら積極的に修得しようとするセルフスタディーマインドが身につく。(5) 社会の変化に柔軟に自ら対応する力が養われる。(6) 英語で書かれた文献を通し、多面的な価値観を学ぶことができる。

個別目標：グローバル化に対応する外国語運用能力とともに、課題を発見し解決する能力や論理的思考力、コミュニケーション能力、さらに日本の近現代史に関する知識を含む幅広い教養を育む（日本経済団体連合会）、という要請に応えるグローバル人材への成長を目指します。

▌履修条件

専攻に応じて受講クラス（担当者）が指定される。指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはレポートの成績 60 %、平常成績（小テストの成績、課題の提出状況、授業に対する貢献等）40 %を原則として、総合的に評価します。五分の四以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （積極的に意見交換をしながら世界の実像を学ぶ、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内に様々な情報を検索、課題を manaba に提出）

▌教科書

毎週読む記事等を指定する。

▌参考書

担当者が必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（履修上の注意、授業方針の説明）** 授業内容：前学期の振り返り。前学期に学んだこと。提出物に関する総評。 事前学修 1.0hr：講義概要をよく読み、授業内容・授業方針を把握する。 事後学修 1.0hr：指定テキストがある場合は、直ちに購入し、全体に目を通す。
2回	**授業テーマ：グローバリズムがかかえる問題とはなにか (全体像を把握する)** 授業内容：夏休み中に関心を持った世界の出来事について、各自簡単に発表する。相互に行った発表についてメモを取りながら他の学生のコメントを書き留めて、自分の知らなかった情報を取り入れる練習を行う。それぞれが持つ様々な関心事の違いに気づくことが重要だることを知る。 事前学修 1.0hr：グローバリズムについて、自分なりに調べておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：グローバルな問題にはどのようなものがあるだろうか。** 授業内容：世界の食の問題について扱った DVD を視聴する。我々の生活の背景にある深い問題点を探る。少数企業が様々な分野で寡占状態であることを認識する。 事前学修 1.0hr：国際関係論、地域研究などについて調べておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：基本文献を読む 1** 授業内容：トピック３　Education for all を学修する。デジタル化が進む世界の現状とデジタル化が進まない発展途上国の現状を分析する。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：基本文献を読む 2** 授業内容：トピック３　Education for all を学修する。デジタル化が進んでいる地域とほとんど進んでいない地域の現状を把握し、根底にある問題点をさぐる。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。関連文献を自ら探す。
6回	**授業テーマ：基本文献を読む 3** 授業内容：トピック３　Education for all を学修する。デジタル化がもたらす優れた点、そしてデジタル化が生んだマイナスの側面があるのならばその問題点について考えてみよう。例えば、教科書のデジタル化、遠隔授業などはどのような影響を及ぼすと考えることができるだろうか。場合に分けて考えてみよう。(例えば離島、紛争地域) 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。関連文献・記事を自ら探す。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：基本文献を読む 4** 授業内容：トピック４　Health and disease を学修する　世界的な大企業とはどのような分野なのだろうか。どのような分野の企業が巨大な利益をあげているのだろう。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：基本文献を読む 5** 授業内容：トピック４　Health and disease を学修する　　世界でベストセラーとなっている薬にはどのような特色があるのだろうか。先進国と発展途上国が抱える健康上の問題は何か違いがあるのだろうか。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。ニュースなどから関連分野の動向を調べておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：基本文献を読む ６** 授業内容：トピック４　Health and disease を学修する　　発展途上国が長年抱える保険医療上の問題とはどのようなものだろうか。先進国は積極的に発展途上国を支援しているのであろうか。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。関連ニュースを調べておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：基本文献を読む ７** 授業内容：トピック４　Health and disease を学修する。巨大な世界的な製薬企業に対する賛否両論についてどのような反対意見賛成意見を考えることができるだろうか。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。関連文献を探して読む。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：基本文献を読む ８** 授業内容：トピック５ Global trade and development の学修。How can you make a mountain out of a molehill?の意味について各自考えてみる。このセンテンスが象徴しているものが何だろう。自分はどのように解釈するのか書いてみよう。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：基本文献を読む ９** 授業内容：トピック５ Global trade and development の学修。ノーベル平和賞を受賞したムハンマド　ヤヌス氏の行動について学んでみよう。GIve a man a fish and you feed him for a day. Teach a man to fish and you feed him for a lifetime　の意味についてじっくり考えてみよう。経済的側面だけではなく、トピック３で学んだ教育の重要性とあわせて考えてみよう 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：基本文献を読む １０** 授業内容：トピック５ Global trade and development の学修。世界の多くの人々の貧困問題を解決するためには何が必要なのであろうか。【募金をする】という単純な発想にとどまらず、継続性・持続性がある多くの人が自立できる仕組みを考えてみよう。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。興味分野に沿った資料を集めて読む。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：基本文献を読む １１** 授業内容：トピック６　Environment and sustainability の学修。環境破壊、地球温暖化が進行する起点となった産業革命からこれまでの人類の産業構造の変化について考えてみよう。 事前学修 1.0hr：与えられた文献に目を通しておく。 事後学修 1.0hr：授業終了時に課される課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：環境問題に関して私達に求められる根本的な解決方法はあるのだろうか。与えられたキーワードを使って後学期の総まとめのレポートを書きます。教育問題、貧困問題、経済格差、巨大企業の寡占問題など多くのことを学びました。深く考察して纏めます。 事前学修 2.0hr：後学期の学修の全体をふりかえる。どの様な分野に最も興味が持てたのか再確認する。 事後学修 2.0hr：担当者の解説・指示に従い、試験の準備をする。

英米語基礎演習

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

河原　伸一（かわはら　しんいち）・**嶋田　珠巳**（しまだ　たまみ）・**ケイコ　ナカムラ・辰己　雄太**（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

英米語学科では、CEFR B レベルと見做しうる英語力を身につけることが「英語力に関する進級要件」になっている。そのため、この科目では、主として英検の試験問題形式に慣れながら、英検 2 級を越えて英検準 1 級に迫るような英語力を身につけることを主要な目標とする。授業の効果を高めるため、予習・復習は必須である。なお、この科目の合否により「英語力に関する進級要件」を満たしたか否かの判定を行うので、この科目の単位を取得することなしに 3 年次へ進級することはできない。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1 ◎）

一般目標：CEFR の B レベル以上と判断できる英語力を身につける。

個別目標：・短文空所補充問題の特徴を理解する。
・長文空所補充問題の特徴を理解する。
・長文の内容一致問題の特徴を理解する。
・英文要約・英作文問題の特徴を理解する。
・リスニング問題の特徴を理解する。
・スピーキング問題の特徴を理解する。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

成績評価を受けるためには、実授業回数の 5 分の 4 以上の出席が必要である。成績評価を受ける資格のある学生の場合、その評価は、(i) 最終週に予定されている「理解度確認テスト」の結果、(ii) 英米語学科が主催するテストの結果、(iii) 授業への取り組み・課題提出状況などを考慮に入れ、決定される。CEFR B レベルの英語力を持っていることが、合格評価(S,A,B,C)を得るための必須条件である。

▌フィードバック方法

なお、課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、協調学習など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『DAILY25 日間 英検準 1 級集中ゼミ』(7 訂版)(旺文社、2024 年 7 月発行)

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、授業方針説明** 授業内容：オリエンテーション：授業方針説明、進級要件に関する重要説明、英検 IBA の問題形式の振り返り；英検 IBA の練習問題 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：指定テキストを購入し、与えられた課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：オリエンテーション、授業方針説明** 授業内容：オリエンテーション：授業方針説明、進級要件に関する重要説明の復習、英検 IBA の問題形式の振り返り；英検 IBA の練習問題 事前学修 2.0hr：テキストの後半部に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、与えられた課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：英検準 1 級の問題形式について理解する** 授業内容：英検準 1 級の問題形式について理解する(英検準 1 級と英検 IBA の違いについて)；英検 IBA の練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定されたページを読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修のポイントを復習する。	17回	**授業テーマ：１2日目：　応用、筆記1** 授業内容：１2日目：　応用、筆記１(pp.88-95)短文の語句空所補充問題③ 代表的なコロケーションの説明、過去に出題されたコロケーションの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
3回	**授業テーマ：１日目：　筆記１** 授業内容：1日目：　筆記1短文の語句空所補充問題①(pp.12-17)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	18回	**授業テーマ：１3日目：　応用、筆記　&１4日目：　応用、筆記 2** 授業内容：１3日目：　応用、筆記１　短文の語句空所補充問題④(pp.96-103)句動詞の意味の推測方法、過去に出題された句動詞の説明、練習問題、単語テスト; １4日目：　応用、筆記 2　長文の語句空所補充問題②(pp.104-109)つなぎ言葉の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
4回	**授業テーマ：２日目：　筆記２(pp.18-23)** 授業内容：2日目：　筆記2　長文の語句空所補充問題①(pp.18-23)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	19回	**授業テーマ：EIKEN IBA W/S (#2)** 授業内容：EIKEN IBA W/S (#2) 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
5回	**授業テーマ：EIKEN IBA R/L (#1)；３日目：筆記３(pp.24-29)** 授業内容：EIKEN IBA R/L (#1); 3日目：筆記3　長文の内容一致選択問題①(pp.24-29)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	20回	**授業テーマ：EIKEN IBA R/L (#3); １５日目：　応用、筆記３** 授業内容：EIKEN IBA R/L (#3); １５日目：　応用、筆記 3　長文の内容一致選択問題③(pp.110-115)パラグラフ・リーディングの説明、トピック・センテンスの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
6回	**授業テーマ：EIKEN IBA S/W)(#1); ４日目：　筆記３** 授業内容：EIKEN IBA S/W (#1); ４日目：　筆記3 長文の内容一致選択問題②(pp.30-35)設問のパターンと問われる内容、パラフレーズ(言い換え)の説明、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	21回	**授業テーマ：１6日目　&　１7日目：　応用、筆記３** 授業内容：英検 IBA（10 月)の結果報告と解説; １6日目：　応用、筆記３　長文の内容一致選択問題④(pp.116-121)フレーズ・リーディングの説明、練習問題、単語テスト&１7日目：　応用、筆記３　長文の内容一致選択問題⑤(pp.122-127)スキャニングの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。

7回	**授業テーマ：５日目：　筆記４** 授業内容：５日目：　筆記４ 英文要約問題①(pp.36-43)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	22回	**授業テーマ：１８日目：　応用、筆記４** 授業内容：応用、筆記 4　英文要約問題② (pp.128-135)段落間の論理展開、パラフレーズを効果的に、練習問題、単語てすと 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
8回	**授業テーマ：６日目：　筆記 5** 授業内容：６日目：　筆記 5 英作文問題①(pp.44-49)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	23回	**授業テーマ：１９日目　＆　２０日目：筆記⑤** 授業内容：１９日目＆２０日目：英作文問題を攻略③④(pp.136-147)つなぎ言葉の効果的な使い方の説明、知っている表現で工夫する説明、書きやすい立場・ポイント、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
9回	**授業テーマ：７日目：　筆記５** 授業内容：７日目：　筆記 5 英作文問題②(pp.50-55)採点の観点、全体の校構成の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	24回	**授業テーマ：２１日目　＆　２２日目：　リスニング Part 1** 授業内容：２１日目＆２２日目：リスニング　Part I　会話の内容一致選択問題②③　(pp. 148-163) 選択肢、パラフレーズ(言い換え)の説明、キーワードを聞き取る、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
10回	**授業テーマ：８日目：　リスニング Part 1** 授業内容：８日目：　リスニング Part 1　会話の内容一致選択問題(pp.56-63)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	25回	**授業テーマ：２３日目　＆　２４日：　リスニング Part 2** 授業内容：２３日目 &２４日目：　リスニング Part 2　文の内容一致選択問題②③(pp.164-179)質問文、選択肢の先読みの説明、パッセージの構成の説明、つなぎ言葉の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
11回	**授業テーマ：９日目：リスニング Part 2 &１０日目：リスニング Part 3** 授業内容：９日目：　リスニング Part 2　文の内容一致選択問題(pp.64-71)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト; １０日目：　リスニング Part 3 Real-Life 形式の内容一致選択問題(pp.72-77)出題形式、回答のポイントの説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	26回	**授業テーマ：EIKEN IBA W/S (#3); ２５日目：リスニング Part 3** 授業内容：EIKEN IBA W/S (#3); ２５日目：リスニング Part 2　Real-Life 形式の内容一致選択問題②(pp.180-187)状況・質問文・選択肢の特徴の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
12回	**授業テーマ：EIKEN IBA W/S (#1)** 授業内容：EIKEN IBA W/S (#1) 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する	27回	**授業テーマ：EIKEN IBA R/L (#4)** 授業内容：EIKEN IBA R/L (#4) 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
13回	**授業テーマ：EIKEN IBA R/L (#2)** 授業内容：英検 IBA R/L (#2) 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。	28回	**授業テーマ：２６日目：　リスニング Part 3; 英検 IBA（12 月)の結果報告と解説** 授業内容：英検 IBA（12 月)の結果報告と解説、単語テスト; ２６日目：　リスニング Part 3 Real-Life 形式の内容一致選択問題③(pp.188-194)パラフレーズ(言い換え)の特徴の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：それまでの自分の英検 IBA の成績を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：１１日目：　応用、筆記１** 授業内容：１１日目：　応用、筆記１　短文の語句空所補充問題②(pp.80-87)英単語の構成の説明、代表的な接頭辞・接尾辞の説明、練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。	29回	**授業テーマ：実力完成模擬テスト** 授業内容：実力完成模擬テスト(pp.195-247)、単語テスト 事前学修 2.0hr：テキストの指定範囲を読み、予習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する。
15回	**授業テーマ：理解度確認テスト** 授業内容：理解度確認テスト、前学期のまとめと振り返り、夏季休業の過ごし方指導、単語テスト 事前学修 2.0hr：前学期に学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：担当教員による総復習を参考に、自分の弱点を補強する。夏休みの課題に取り組む。	30回	**授業テーマ：後学期の振り返り** 授業内容：後学期の振り返りと復習、試験範囲の説明・練習問題、単語テスト 事前学修 2.0hr：後学期で学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：担当教員による試験範囲の説明を参考に、自分の弱点を補強する。

Integrated English Ⅰ

開講学科等：英 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前2

アブデルワヘド　ベンジリル・キーネン　ディナ　クリスチャンセン・タイソン　ロード・ティモシー　オピツ・バルブド　プルメル　エスティオコ・マーク　ロイ　グッドヒュー・リカルド　バルム・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A compulsory first-semester course in the first year of the Intensive Language Program (ILP). This is an integrated four-skills English communication course with a focus on speaking and listening skills. English fluency is raised through extensive oral practice in which students are taught effective language-learning strategies and students are encouraged to become active and independent learners. Intensive discussion skills are developed through scaffolded, learner-centered materials. Class sizes are generally kept small.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：In this course, students will develop, expand, and strengthen skills that focus on general academic language, narrative and descriptive language, and opinion-stating/discussion language. Through a variety of integrated activities and topics, students will be encouraged to demonstrate their proficiency in these skills.

個別目標：By the end of this course, students will have achieved a solid foundation in their English communication skills that can be applied to academic and business settings. Students will be able to demonstrate the skills and abilities necessary to narrate events and participate in meaningful discussions on a variety of issues.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via a final speaking test (30%), mid-term speaking assessment (20%), and coursework and active participation [pair/group work, interactive discussion, English Zone visits, and workbook] (50%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will be given oral and written feedback both in class and on manaba. Rubrics will be used to give feedback on performance assessments. Learner-centered self-assessment will also be emphasized throughout this course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: What Does Everyone Think?, 4th ed., Asahi Press, 2024.

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introductions** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students visit the English Zone. 事前学修 0.5hr：Prepare information on yourself 事後学修 2.0hr：Review course materials and complete on demand active listening	16回	**授業テーマ：Mid-Term Speaking Assessment (2)** 授業内容：Students will be assessed on the discussion skills studied so far in relation to the themes/topics covered. 事前学修 1.5hr：Review Discussion Skills 1-8 Preview Discussion Skill 9 Reflect on speaking performance; Preview next lesson 事後学修 2.0hr：Reflect on speaking performance; Preview next lessonReview Discussion Skill 9 and complete assigned work
2回	**授業テーマ：Progress Check 1** 授業内容：Students will be given a progress check to measure their starting point for the four skills of speaking, listening, reading and writing. 事前学修 1.0hr：Preview textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	17回	**授業テーマ：Lesson 5: Living Abroad A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review all skills and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-8 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work
3回	**授業テーマ：Communication Orientation &Introductions** 授業内容：Students will take part in various guided fluency activities to build the communicative skills needed for the Integrated English course. Students are introduced to discussion skill 1. 事前学修 1.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	18回	**授業テーマ：Lesson 6: Living Abroad B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review all skills and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review all discussion skills 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Lesson 1: Communication Skills A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 2 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 1 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 1 and 2 and complete assigned work	19回	**授業テーマ：Lesson 7: The Globalization of Japanese Culture A** 授業内容：Students are introduced to Discussion Skill 9 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking Students warm up with a fluency activity. Students warm up with a fluency activity. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 9 事後学修 2.0hr：Review all Discussion skills and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Lesson 1: Communication Skills B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 3 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1 and 2 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 3 and complete assigned aork	20回	**授業テーマ：Lesson 7: The Globalization of Japanese Culture B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 9 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 9 事後学修 2.0hr：Review all Discussion Skills and complete assigned work
6回	**授業テーマ：Lesson 2: Entering University A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 4 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-3 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 4 and complete assigned work	21回	**授業テーマ：Lesson 8: Japanese and Foreign Customs A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 10 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises 事前学修 2.0hr：Preview Discussion Skill 10 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 15 and complete assigned work

7回	**授業テーマ：Lesson 2: Entering University B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 5 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review discussion skill 1-4 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-5 and complete assigned work	22回	**授業テーマ：Lesson 8: Japanese and Foreign Customs B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skills 9 and 10 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 9-10 事後学修 2.0hr：Review all Discussion Skills and complete assigned work
8回	**授業テーマ：Merge Lesson 1** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the first set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-5 and review vocabulary 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-5, vocabulary and content, and complete assigned work	23回	**授業テーマ：Merge Lesson 3** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the first set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review all discussion skills 事後学修 1.5hr：Review Discussion Skills 1-10, vocabulary and content; Complete assigned work
9回	**授業テーマ：Lesson 3: Life at University A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 6 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 1-5 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 6 and complete assigned work	24回	**授業テーマ：Lesson 9: Food** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review all skills and practice through communication activities, along with vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review all discussion skills 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-10, vocabulary and content; Complete assigned work
10回	**授業テーマ：Lesson 3: Life at University B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 7 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-6 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skill 7 and complete assigned work	25回	**授業テーマ：Lesson 10: Travel A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review all skills and practice through communication activities, along with vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-10 事後学修 2.0hr：Review all discussions skills studied and course contents
11回	**授業テーマ：Lesson 4: Becoming Independent A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 8 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-7 事後学修 2.0hr：Review Discussions Skills 1-8, review vocabulary and course content	26回	**授業テーマ：Lesson 10: Travel B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review all skills and practice through communication activities, along with vocabulary and speaking exercises. 事前学修 3.0hr：Review Discussion Skills 1-10 事後学修 4.0hr：Review all discussions skills studied and prepare for final speaking test
12回	**授業テーマ：EIKEN Speaking Practice** 授業内容：Students review skills for passage reading and opinion giving. 事前学修 1.0hr：Review opinion giving skills 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-8; Complete assigned work	27回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice giving opinions with reasons. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Review all discussion skills, vocabulary, and content for Speaking Test 1
13回	**授業テーマ：Lesson 4:Becoming Independent B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skills 1-8 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-8 and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-8, vocabulary and content.	28回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (1)** 授業内容：In pairs or groups of 3, students give opinions supported by reasons about topics related to the units studied in the first term. The test is administered by two course instructors. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Prepare and practice for final Speaking Test 2
14回	**授業テーマ：Merge Lesson 2** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the second set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills and vocabulary 事後学修 2.0hr：Prepare for mid-term speaking assessment.	29回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (2)** 授業内容：In pairs or groups of 3, students must rank and discuss solutions about a topic related to the units studied in the first term. The test is administered by two course instructors. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 2.0hr：Complete self-reflection and goal worksheet
15回	**授業テーマ：Mid-Term Speaking Assessment (1)** 授業内容：Students will be assessed on the discussion skills studied so far in relation to the themes/topics covered.Students warm up with a fluency activity. exercises. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills and vocabulary 事後学修 2.0hr：Reflect on speaking performance; Preview next lesson	30回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students receive individual feedback from the instructor on their performance in the course. Students are expected to reflect on their performance and set goals for the next term. 事前学修 2.0hr：Make sure all assignments are complete 事後学修 4.0hr：Complete assigned summer homework

Integrated English Ⅱ

開講学科等：英 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後2

アブデルワヘド　ベンジリル・キーネン　ディナ　クリスチャンセン・タイソン　ロード・ティモシー　オピツ・バルブド　プルメル　エスティオコ・マーク　ロイ　グッドヒュー・リカルド　バルム・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A compulsory second-semester course in the first year of the Intensive Language Program (ILP). This is an integrated four-skills English communication course with a focus on speaking and listening skills. English fluency is raised through extensive oral practice in which students are taught effective language-learning strategies and students are encouraged to become active and independent learners. Intensive discussion skills are developed through scaffolded, learner-centered materials. Class sizes are generally kept small.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：In this course, students will develop, expand, and strengthen skills that focus on general academic language, narrative and descriptive language, and opinion-stating/discussion language. Through a variety of integrated activities and global topics, students will be encouraged to demonstrate their proficiency in these skills.

個別目標：By the end of this course, students will have achieved a solid foundation in their English communicative skills that can be applied to academic and business settings. Students will be able to demonstrate the skills and abilities necessary to narrate events and participate in meaningful discussions on global issues.

▌履修条件

It is recommended that students take Integrated English I before taking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via a final speaking test (30%), a mid-term speaking assessment (20%), and active participation [pair/group work, interactive discussion, English Zone visits, and workbook] (50%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will be given oral and written feedback both in class and on manaba. Rubrics will be used to give feedback on performance assessments. Learner-centered self-assessment will also be emphasized throughout this course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: What Does Everyone Think?, 4th edition. (2024). Asahi Press.

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introductions** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students visit the English Zone. 事前学修 0.5hr：Prepare information on yourself 事後学修 2.0hr：Review course materials and complete on demand active listening	16回	**授業テーマ：Lesson 13: Social Issues B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 6 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review discussion skills 6-12 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work
2回	**授業テーマ：Lesson 9: Learning a Foreign Language A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 11 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work.	17回	**授業テーマ：Music** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 13 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 13 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work
3回	**授業テーマ：Lesson 9: Learning a Foreign Language B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 11 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	18回	**授業テーマ：Art** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 14 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 14 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Lesson 10: Entering the Workforce A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to Discussion Skill 12 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skill 11 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work	19回	**授業テーマ：Merge Lesson 3** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the third set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review discussion skills 1-14 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Lesson 10: Entering the Workforce B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 12 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skill 12 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work	20回	**授業テーマ：Where do you want to live?** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review discussion skills and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review discussion skills 1-14 事後学修 3.0hr：Review all discussions skills and complete assigned work
6回	**授業テーマ：Merge Lesson 1** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the first set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review discussion skills 1-12 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work	21回	**授業テーマ：Job Skills A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review discussion skills and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 2.0hr：Review discussion skills 1-14 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work

7回	**授業テーマ：Lesson 11: Social Media A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 10 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review discussion skills 1-12 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work	22回	**授業テーマ：Job Skills B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review discussion skills and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-14 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work
8回	**授業テーマ：EIKEN Speaking Practice** 授業内容：Students practice reading and opinion-stating skills 事前学修 1.0hr：Review opinion-stating skills 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work	23回	**授業テーマ：Merge Lesson 4** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the fourth set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-14 事後学修 1.5hr：Review all discussion skills and complete assigned work
9回	**授業テーマ：Lesson 11: Social Media B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 10 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-12 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work	24回	**授業テーマ：Final Speaking Test Preparation** 授業内容：Students review and practice all discussion skills in preparation for the final assessment 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-14, content and vocabulary 事後学修 3.0hr：Review all discussion skills, content and vocabulary. Prepare for final speaking assessment.
10回	**授業テーマ：Lesson 12: Public Behavior A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students combine all discussion skills and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview Discussion Skills 1-12 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work	25回	**授業テーマ：Final Speaking Assessment 1** 授業内容：Students will be assessed on all discussion skills studied in the course in relation to the themes/topics covered. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Reflect on test performance and prepare for next class
11回	**授業テーマ：Lesson 12: Public Behavior B** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students combine all discussion skills and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review discussion skills 1-12 事後学修 3.0hr：Review all discussions skills studied and prepare for speaking assessment 1	26回	**授業テーマ：Final Speaking Assessment 2** 授業内容：Students will be assessed on all discussion skills studied in the course in relation to the themes/topics covered. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Reflect on test performance and prepare for next class
12回	**授業テーマ：Merge Lesson 2** 授業内容：Instructors and students combine classes to practice the second set of discussions, applying the learned material actively in communicative discussions and activities. 事前学修 2.0hr：Review all discussion skills 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills, content and vocabulary. Prepare for midterm speaking test.	27回	**授業テーマ：Culture and Communication Activity i** 授業内容：Students participated in a culture and communicative activity. 事前学修 1.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete self-reflection worksheet
13回	**授業テーマ：Mid-term Speaking Assessment 1** 授業内容：Students will be assessed on the discussion skills studied so far in relation to the themes/topics covered. 事前学修 2.0hr：Review all discussion skills, content and vocabulary 事後学修 2.0hr：Reflect on performance; preview next lesson	28回	**授業テーマ：Culture and Communication Activity 2** 授業内容：Students participated in a culture and communicative activity. 事前学修 1.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete self-reflection worksheet
14回	**授業テーマ：Mid-term Speaking Assessment 2** 授業内容：Students will be assessed on the discussion skills studied so far in relation to the themes/topics covered. 事前学修 1.0hr：Review all discussion skills, content and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work	29回	**授業テーマ：Progress Check 2** 授業内容：Students will be given a progress check to measure their end-of-term point for the four skills of speaking, listening, reading and writing. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 2.0hr：Complete goal worksheet
15回	**授業テーマ：Lesson 13: Social Issues A** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review Discussion Skill 6 and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Review Discussion Skills 1-12 事後学修 2.0hr：Review all discussion skills and complete assigned work	30回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students receive individual feedback from the instructor on their performance in the course. Students are expected to reflect on their performance and set goals for the next term. 事前学修 2.0hr：Make sure all assignments are complete 事後学修 4.0hr：Make a plan for study over the spring break

Integrated English Ⅲ

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

アブデルワヘド　ベンジリル・キーネン　ディナ　クリスチャンセン・クリストファ　マタズスキー・コマンドュリ　シリーシャ・タイソン　ロード・ティモシー　オピツ・バルブド　プルメル　エスティオコ・ピエール　アレック・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A compulsory first-semester course in the second year of the ILP. This integrated English course aims to further improve and expand students' speaking and listening skills in order to use English as an effective communication tool. Students will be expected to express opinions on a range of topics with clearly supported examples and reasons as well as demonstrate active listening skills. Greater emphasis will be placed on critical reasoning and the use of evidence to support opinions. Class sizes are generally kept small.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：In this course, students will develop, expand, and strengthen skills that focus on general academic language, narrative and descriptive language, and opinion-stating/discussion language. Through a variety of integrated tasks, students will be encouraged to demonstrate their proficiency in these skills through logical reasoning and the use of evidence from outside sources.

個別目標：By the end of this course, students will have achieved a solid foundation in their English communicative skills that can be applied to academic and business settings. Students will be able to demonstrate the skills and abilities necessary to narrate events and participate in meaningful discussions on global issues.

▌履修条件

It is recommended that students take Integrated English Ⅰ and Ⅱ prior to taking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via a speaking test (30%), coursework (30%) and active participation [interactive discussions, English Zone visits, workbook] (40%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will be given oral and written feedback both in class and on manaba. Rubrics will be used to give feedback on performance assessments. Learner-centered self-assessment will also be emphasized throughout this course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Materials will be provided by the instructor.

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introductions** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students visit the English Zone. 事前学修 0.5hr：Prepare information on yourself 事後学修 2.0hr：Review course materials and complete on demand active listening	16回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 6** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
2回	**授業テーマ：Communication Orientation** 授業内容：Students will take part in various guided fluency activities to build the communicative skills needed for the Integrated English course. 事前学修 1.0hr：Preview textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work.	17回	**授業テーマ：Integrated Task 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students perform the assigned task. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for task activity 事後学修 2.0hr：Reflect on performance and complete assigned work
3回	**授業テーマ：Progress Check 1** 授業内容：Students will be given a progress check to measure their starting point for the four skills of speaking, listening, reading and writing. 事前学修 1.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	18回	**授業テーマ：Module 3: Lesson 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students watch a video on the unit topic and discuss the topic in groups and pairs. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Module 1: Lesson 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	19回	**授業テーマ：Module 3: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students continue to deepen knowledge of the topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Module 1: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students deepen knowledge of the topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	20回	**授業テーマ：Module 3: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task
6回	**授業テーマ：Module 1: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students watch a video on the unit topic and discuss the topic in groups and pairs. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	21回	**授業テーマ：Module 3: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 2.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Complete assigned work

7回	**授業テーマ：Module 1: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students continue to deepen knowledge of the topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	22回	**授業テーマ：Module 3: Lesson 5** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 2.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
8回	**授業テーマ：Module 1: Lesson 5** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task	23回	**授業テーマ：Module 3: Lesson 6** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 2.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
9回	**授業テーマ：Module 1: Lesson 6** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 2.0hr：Prepare for integrated task 1 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	24回	**授業テーマ：Integrated Task 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students perform the assigned task. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 2.0hr：Review Module 3 materials and content 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
10回	**授業テーマ：Integrated Task 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students perform the assigned task. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Reflect on performance and complete assigned work	25回	**授業テーマ：EIKEN Speaking Practice** 授業内容：Students practice reading and opinion-stating skills 事前学修 3.0hr：Review opinion-stating skills 事後学修 3.0hr：Complete assigned work
11回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students deepen knowledge of the topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	26回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review (1)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice giving opinions with reasons. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Prepare and practice for final speaking test
12回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students watch a video on the unit topic and discuss the topic in groups and pairs. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	27回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review (2)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice giving opinions with reasons. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Prepare and practice for final speaking test
13回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students continue to deepen knowledge of the topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	28回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (1)** 授業内容：In pairs, students give opinions supported by reasons about topics related to the units studied in the first term. The test is administered by another course instructor. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 4.0hr：Complete self-reflection worksheet
14回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task	29回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (2)** 授業内容：In pairs, students must rank and discuss solutions about a topic related to the units studied in the first term. The test is administered by another course instructor. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 2.0hr：Complete goal worksheet
15回	**授業テーマ：Module 2: Lesson 5** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 2.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	30回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students receive individual feedback from the instructor on their performance in the course. Students are expected to reflect on their performance and set goals for the next term. 事前学修 2.0hr：Make sure all assignments are complete 事後学修 4.0hr：Complete assigned summer homework

Integrated English Ⅳ

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

アブデルワヘド　ベンジリル・キーネン　ディナ　クリスチャンセン・クリストファ　マタズスキー・コマンドュリ　シリーシャ・タイソン　ロード・ティモシー　オピツ・バルブド　プルメル　エスティオコ・ピエール　アレック・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

Building on the integrated language skills and abilities learned in Integrated English I-III, students will be able to actively express themselves through a broad spectrum of communicative forms. As this is the final course in a two-year program, students will be expected to complete a Capstone project in which they research an issue in depth, present their findings with logical reasoning and supporting evidence, and then discuss what they learned by articulating their viewpoints. Class sizes are generally kept small.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：In this course, students will develop, expand, and strengthen skills that focus on general academic language, narrative and descriptive language, and opinion-stating/discussion language. Through a variety of integrated tasks, students will be encouraged to demonstrate their proficiency in these skills.

個別目標：By the end of this course, students will have achieved a solid foundation in their English communicative skills that can be applied to academic and business settings. Students will be able to demonstrate the skills and abilities necessary to narrate events and participate in meaningful discussions on global issues.

▌履修条件

It is recommended that students take Integrated English Ⅰ and Ⅱ prior to taking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via a speaking test (30%), coursework (30%) and active participation [interactive discussions, English Zone visits, workbook] (40%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will be given oral and written feedback both in class and on manaba. Rubrics will be used to give feedback on performance assessments. Learner-centered self-assessment will also be emphasized throughout this course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Materials will be provided by the instructor.

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introductions** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. 事前学修 0.5hr：Prepare summer homework 事後学修 2.0hr：Review course materials and complete on demand active listening	16回	**授業テーマ：Module 5: Lesson 6** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
2回	**授業テーマ：Communication Orientation** 授業内容：Students will take part in various guided fluency activities to build the communicative skills needed for the Integrated English course. 事前学修 1.0hr：Preview textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work.	17回	**授業テーマ：Integrated Task 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students perform the assigned task. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for task activity 事後学修 2.0hr：Reflect on performance and complete assigned work
3回	**授業テーマ：EIKEN Speaking Practice** 授業内容：Students practice reading and opinion-stating skills. 事前学修 1.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	18回	**授業テーマ：Module 6: Lesson 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students watch a video on the unit topic and discuss the topic in groups and pairs. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Module 4: Lesson 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students are introduced to topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	19回	**授業テーマ：Module 6: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students continue to deepen knowledge of the topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Module 4: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students deepen knowledge of the topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	20回	**授業テーマ：Module 6: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task
6回	**授業テーマ：Module 4: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students watch a video on the unit topic and discuss the topic in groups and pairs. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	21回	**授業テーマ：Module 6: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 2.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Complete assigned work

7回	**授業テーマ：Module 4: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students continue to deepen knowledge of the topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	22回	**授業テーマ：Module 6: Lesson 5** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 2.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
8回	**授業テーマ：Module 4: Lesson 5** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task	23回	**授業テーマ：Module 6: Lesson 6** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 2.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
9回	**授業テーマ：Module 4: Lesson 6** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 2.0hr：Prepare for integrated task 1 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	24回	**授業テーマ：Integrated Task 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students perform the assigned task. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 2.0hr：Review Module 3 materials and content 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
10回	**授業テーマ：Integrated Task 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students perform the assigned task. Students receive oral and/or written feedback on their performance. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Reflect on performance and complete assigned work	25回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review (1)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice giving opinions with reasons. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 3.0hr：Prepare and practice for final speaking test
11回	**授業テーマ：Module 5: Lesson 1** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students deepen knowledge of the topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	26回	**授業テーマ：Integrated English Speaking Test Review (2)** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students review the discussion skills and practice the test format with their partner. Students practice giving opinions with reasons. 事前学修 3.0hr：Review all course materials 事後学修 4.0hr：Prepare and practice for final speaking test
12回	**授業テーマ：Module 5: Lesson 2** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students watch a video on the unit topic and discuss the topic in groups and pairs. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	27回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (1)** 授業内容：In pairs, students give opinions supported by reasons about topics related to the units studied in the first term. The test is administered by another course instructor. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 4.0hr：Complete self-reflection worksheet
13回	**授業テーマ：Module 5: Lesson 3** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students continue to deepen knowledge of the topic and work through textbook activities, including vocabulary and speaking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review lesson and complete assigned work	28回	**授業テーマ：I.E. Speaking Test (2)** 授業内容：In pairs, students must rank and discuss solutions about a topic related to the units studied in the first term. The test is administered by another course instructor. 事前学修 3.0hr：Review vocabulary, discussion skills and course content 事後学修 4.0hr：Complete goal worksheet
14回	**授業テーマ：Module 5: Lesson 4** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 1.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Review unit content and prepare for task	29回	**授業テーマ：Progress Check 2** 授業内容：Students demonstrate oral proficiency. 事前学修 3.0hr：Review oral discussion skills 事後学修 2.0hr：Reflect on performance and set goals
15回	**授業テーマ：Module 5: Lesson 5** 授業内容：Students warm up with a fluency activity. Students engage in activities that apply discussion skills, vocabulary and content for active discussion and that raise critical thinking. 事前学修 2.0hr：Preview lesson and prepare for fluency activity 事後学修 2.0hr：Complete assigned work	30回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students receive individual feedback from the instructor on their performance in the course. Students are expected to reflect on their performance and set goals for the next term. 事前学修 2.0hr：Make sure all assignments are complete 事後学修 4.0hr：Complete independent study plan.

Grammar a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

河原 伸一（かわはら しんいち）・**篠塚 勝正**（しのづか かつまさ）・**辰己 雄太**（たつみ ゆうた）・**長谷川 奈緒美**（はせがわ なおみ）

▌授業の概要

Intensive Language Program (ILP) を構成する 1 年次前学期必修科目の一つ。学生の文法知識を、コミュニケーション力の向上を目指す作業や課題を通して活性化または強化することによって、静的知識ではなく実際に使うことができる能動的技能に高めることを目的とする。そのため、一方的な知識の伝授とせず、学生たちの積極的な取り組みを重視する。進級要件の早期達成とともに、次の達成目標実現のため徹底的な問題演習を行い、4 技能の根幹をなす文法知識を涵養する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中・高で学んだ基本的な英文法の項目を英語で理解することができる。
　　学んだ文法知識を、実際のコミュニケーションの場で活用することができる。
個別目標：・現在形、現在進行形等について理解する
　　・完了形について理解する
　　・未来表現について理解する
　　・仮定法について理解する

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。評点の内訳は、授業に対する貢献・小テストの成績・課題の提出状況等の総合評価 40 %、学期末定期試験の結果 60 %とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、対面授業時、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

渡辺雅仁(翻訳) 2021.『マーフィーのケンブリッジ英文法(中級編)第 4 版』(ケンブリッジ大学出版局)

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(受講上の注意など)、English Grammar Self-Check Test 1 の実施** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。また、現段階での文法知識を確認するためにテストを実施する。 事前学修 1.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針を把握する。 事後学修 2.0hr：指定テキストを購入し、全体に目を通す。English Grammar Self-Check Test 1 の正解を確認する。
2回	**授業テーマ：Units 1-3（現在形、過去形、現在進行形、過去進行形１）** 授業内容：英語の時制について、現在形とそれに関連する文法項目を学習する。学習した内容を踏まえ、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：Units 4-6（現在形、過去形、現在進行形、過去進行形２）** 授業内容：英語の時制について、過去形とそれに関連する文法項目を学習する。また、進行形と組み合わせて、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：Units 7-9（現在完了形など）** 授業内容：英語の完了形について、現在時制の文法と組み合わせながら、文法項目を学習する。学習した内容を踏まえ、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：Units 10-13（現在完了進行形など）** 授業内容：英語の完了形を、進行形などの文法と組み合わせながら学習する。学習した内容を踏まえ、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：Units 14-17（過去完了形など）** 授業内容：英語の完了形を、過去形などの文法と組み合わせながら学習する。学習した内容を踏まえ、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：Units 18-21（未来表現１）** 授業内容：英語の未来表現についての文法を理解する。特に、will と be going to の文法的な違いを学習する。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：Units 22-24（未来表現２）** 授業内容：これまでに学習してきた時制に関する文法項目と関係づけながら、英語の未来表現について学習する。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：Units 25-27（法助動詞１）** 授業内容：can/could などを中心に、英語の法助動詞の文法を理解する。学習した内容を踏まえ、自身で適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：Units 28-35（法助動詞2）、English Grammar Self-Check Test 1（中間）実施** 授業内容：may/might などを中心に、英語の法助動詞の文法を理解する。また、これまで学習してきた文法項目の理解度を確認するために、テストを実施する。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：Units 36-37（仮定法過去など）** 授業内容：英語の仮定法についての文法を学習する。特に、仮定法で使用される時制や法助動詞に注目して、英文のより正確な文法的理解を目指す。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：Units 38(仮定法過去完了), Unit 32(仮定法現在), Unit 115(D)（as if と仮定法）** 授業内容：英語の仮定法に関して、時制の違いに注目しながら文法を学習する。学習した文法知識を使い、それぞれの英文の細かな意味の違いを理解できるようになる。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：仮定法の総まとめ（Units 32, 36, 37, 38, 115 (D) を中心に）** 授業内容：仮定法について、演習問題に取り組みながら、これまで学んだ文法項目の総合的な理解を深める。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：前学期授業の振り返り** 授業内容：これまで学習してきた文法項目を復習し、体系的な知識として理解を深める。また、学習した文法項目が身についているかを、演習を通して確認する。 事前学修 1.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：English Grammar Self-Check Test 1（学期末）実施、総括** 授業内容：これまで学習してきた文法の知識が身についているかを確認するために、テストを実施する。またその結果を踏まえて、自身の弱点などを見直す。 事前学修 2.0hr：前学期に学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：English Grammar Self-Check Test 1 の正解を確認する。担当教員による総復習を踏まえ、自分の弱点を補強する。

Grammar b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

河原　伸一（かわはら　しんいち）・**篠塚　勝正**（しのづか　かつまさ）・**辰己　雄太**（たつみ　ゆうた）・**長谷川　奈緒美**（はせがわ　なおみ）

▌授業の概要

Intensive Language Program (ILP) を構成する 1 年次後学期必修科目の一つ。学生の文法知識を、コミュニケーション力の向上を目指す作業や課題を通して活性化または強化することによって、静的知識ではなく実際に使うことができる能動的技能に高めることを目的とする。そのため、一方的な知識の伝授とせず、学生たちの積極的な取り組みを重視する。進級要件の早期達成とともに、次の達成目標実現のため徹底的な問題演習を行い、4 技能の根幹をなす文法知識を涵養する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中・高で学んだ基本的な英文法の項目を英語で理解することができる。
　　学んだ文法知識を、実際のコミュニケーションの場で活用することができる。
個別目標：・受動態を理解する
　　・動名詞を理解する
　　・to 不定詞を理解する
　　・関係節を理解する

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業に対する貢献・小テストの成績・課題の提出状況等の総合評価 40 %、学期末定期試験の結果 60 %とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、対面授業時、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

渡辺雅仁(翻訳) 2021.『マーフィーのケンブリッジ英文法(中級編)第 4 版』(ケンブリッジ大学出版局)

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(受講上の注意など)、English Grammar Self-Check Test 2 の実施** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。また、現段階での文法知識を確認するためにテストを実施する。 事前学修 1.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針を把握する。 事後学修 2.0hr：指定テキストの後半部に目を通しておく。English Grammar Self-Check Test 2 の正解を確認する。
2回	**授業テーマ：Units 40-41（受動態１）** 授業内容：英語の受動態について、文法項目を学習する。学習した内容を踏まえて、能動態と受動態を適切に使い分けられるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：Units 42-44（受動態２）** 授業内容：英語の受動文について文法知識を学習し、関連する英語表現を適切に使いこなせるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：Units 45-46（間接話法）** 授業内容：英語の間接話法について文法を学習する。特に、直接話法との違いを正確に理解し、自身で使いこなせるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：Units 47-50（疑問文、間接疑問文、付加疑問など）** 授業内容：英語の疑問文について文法を学習する。特に、間接話法についての文法知識を踏まえて、適切な英文を作れるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：Units 51-53（動名詞と to 不定詞１）** 授業内容：英語の動名詞と to 不定詞についての文法知識を学ぶ。動詞によって適切な動名詞と to 不定詞を選択できるように、演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：Units 54-56（動名詞と to 不定詞２）** 授業内容：英語の動名詞と to 不定詞についての文法知識を学ぶ。特に、その意味の違いについて理解を深められるように、演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：Units 67-69（冠詞と名詞１）** 授業内容：英語の冠詞と名詞の組み合わせについての文法項目を学習する。名詞の種類、単数・複数の区別に注意しながら、適切な冠詞が使えるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：Units 70-73（冠詞と名詞２(a/an と the の用法)）** 授業内容：英語の冠詞と名詞に関連する文法項目を学習する。特に、定冠詞と不定冠詞の使い分けをきちんと身につけられるように、演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：Units 90-92（関係詞節１）、English Grammar Self-Check Test 2（中間）実施** 授業内容：英語の関係詞節についての文法を学習する。また、これまで学習してきた文法項目の理解度を確認するために、テストを実施する。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：Units 93-94（関係詞節２）** 授業内容：英語の関係詞節に関する文法知識を学習する。特に、関係詞節の意味の違いが判断できるように、演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：Units 95,96, 66（現在分詞と分詞構文）** 授業内容：英語の現在分詞と分詞を使った構文について、文法的な性質を学習する。特に名詞とどのような修飾関係になっているのかを正確に判断できるように、演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：Units 97-99（形容詞と副詞）** 授業内容：英語の形容詞と副詞について、文法的な性質を学習する。それぞれの品詞の文法的な特徴を理解し、適切に使い分けられるように演習問題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：Units 118-125（様々な前置詞）** 授業内容：英語の前置詞について、文法的な性質を学習する。前置詞だけではなく、前置詞を含む熟語表現なども理解し、適切に使いこなせるようになることを目指す。 事前学修 2.0hr：テキストの対応範囲を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：English Grammar Self-Check Test 2（学期末）実施、後学期の総括** 授業内容：これまで学習してきた文法の知識が身についているかを確認するために、テストを実施する。また、その結果を踏まえて、自身の弱点などを見直す。 事前学修 3.0hr：後学期に学んだ内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当教員による総復習をふまえ、自分の弱点を補強する。

Reading Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 1年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

海谷　千波（かいや　ちなみ）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**長谷川　奈緒美**（はせがわ　なおみ）・**松堂　啓子**（まつどう　ひろこ）・**ロバート モリアーティ**

▌授業の概要

This course is a required course in the first semester of the first year of the Intensive Language Program (ILP). Of the four proficiencies, it focuses mainly on reading by developing basic reading skills and strengthening vocabulary and grammar skills. Through the selection of reading materials which cover a variety of topics (e.g., animals, music, space, city life) and stimulate intellectual curiosity, the course aims to enable students to acquire the reading skills necessary for intensive reading.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To be able to use various reading strategies to understand various types of texts.

個別目標：The specific goals of the course are:

1. to learn multiple reading strategies (e.g., skimming, scanning, identifying main ideas and supporting details/reasons, summarizing).
2. to be able to infer meaning from context.
3. to be able to discuss and share one's ideas and opinions with others, based on the text.
4. to attain a CEFR A2-B1 reading level.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation and Class Activities (30%), Quizzes (40%), and a Final Examination (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A, B, C, &D Classes: Douglas, N. &Bohlke, D. (2020). Reading Explorer I (3rd edition). Cengage Learning.
Repeaters Class: Uemura, A. &Yamashina, M. (2011). Mystery Tour with Sherlock Holmes. Cengage Learning.

▌参考書

To be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Orientation &EIKEN Reading** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. Students complete an EIKEN reading. 事前学修 1.0hr：Preview Unit Course Syllabus 事後学修 1.0hr：Complete assigned work. Create a study plan.
2回	**授業テーマ：Chapter 1: Amazing Animals** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：テキストの予習(新出単語の意味を調べる、音読、構文の確認、文章全体の要約等) 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
3回	**授業テーマ：Chapter 1: Amazing Animals** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
4回	**授業テーマ：Chapter 2: Travel &Adventure** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
5回	**授業テーマ：Chapter 2: Travel &Adventure** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
6回	**授業テーマ：Chapter 3: The Power of Music** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
7回	**授業テーマ：Chapter 3: The Power of Music** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.

8回	**授業テーマ：Chapter 4: Into Space** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
9回	**授業テーマ：Chapter 4: Into Space** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
10回	**授業テーマ：Chapter 5: City Life** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
11回	**授業テーマ：Chapter 5: City Life** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
12回	**授業テーマ：Chapter 6: Backyard Discoveries** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
13回	**授業テーマ：Chapter 6: Backyard Discoveries** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
14回	**授業テーマ：Eiken Reading** 授業内容：Students complete another EIKEN reading passage and answer comprehension questions about the passage. Students should review and use all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
15回	**授業テーマ：Review &Reflection** 授業内容：Students should review all of the passages in Chapter 1 to Chapter 6 of the textbook and review the accompanying exercises using all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 1.0hr：Review Chapters 1-6 事後学修 1.0hr：Review the course material

Reading Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

海谷　千波（かいや　ちなみ）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**長谷川　奈緒美**（はせがわ　なおみ）・**松堂　啓子**（まつどう　ひろこ）・**ロバート モリアーティ**

▌授業の概要

This course is a required course in the second semester of the first year of the Intensive Language Program (ILP). The overview of the course is the same as that of Reading I-a. Additional reading skills will be learned, such as annotating, understanding quotations, inferring meaning from context, and summarizing). (Note: Reading I-a and Reading I-b are independent one-semester courses. Therefore, students who have not completed Reading I-a can take I-b.)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To be able to use various reading strategies to understand various types of texts.

個別目標：The specific goals of the course are:

1. to learn multiple reading strategies (e.g., skimming, scanning, identifying main ideas and supporting details/reasons, summarizing).
2. to be able to infer meaning from context.
3. to be able to discuss and share one's ideas and opinions with others, based on the text.
4. to attain a CEFR A2-B1 reading level.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation and Class Activities (30%), Quizzes (40%), and a Final Examination (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A, B, C, &D classes: Douglas, N. &Bohlke, D. (2020). Reading Explorer I (3rd edition). Cengage Learning.
Repeaters Class: Uemura, A. &Yamashina, M. (2011). Mystery Tour with Sherlock Holmes. Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Orientation &EIKEN Reading** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. Students complete an EIKEN reading. 事前学修 1.0hr：Preview Unit Course Syllabus 事後学修 1.0hr：Complete assigned work and create a study plan.
2回	**授業テーマ：Chapter 7: When Dinosaurs Ruled** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
3回	**授業テーマ：Chapter 7: When Dinosaurs Ruled** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
4回	**授業テーマ：Chapter 8: Stories &Storytellers** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
5回	**授業テーマ：Chapter 8: Stories &Storytellers** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
6回	**授業テーマ：Chapter 9: Unusual Jobs** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
7回	**授業テーマ：Chapter 9: Unusual Jobs** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.

8回	**授業テーマ：Chapter 10: Uncovering the Past** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
9回	**授業テーマ：Chapter 10: Uncovering the Past** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
10回	**授業テーマ：Chapter 11: Plastic Planet** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
11回	**授業テーマ：Chapter 11: Plastic Planet** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
12回	**授業テーマ：Chapter 12: Vanished!** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer the reading comprehension questions and reading skills exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
13回	**授業テーマ：Chapter 12: Vanished!** 授業内容：Students review the reading passage for fluency. They complete the vocabulary exercises in the textbook. Then they watch the video and complete the video exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
14回	**授業テーマ：EIKEN Reading** 授業内容：Students complete another EIKEN reading passage and answer comprehension questions about the passage. Students should review and use all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for comprehensive exercises.
15回	**授業テーマ：Comprehensive Exercises** 授業内容：Students should review all of the passages in Chapter 7 to Chapter 12 of the textbook and review the accompanying exercises using all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 1.0hr：Review Chapters 7-12 事後学修 1.0hr：Review the course material

Reading Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

クリストファ　マタズスキー・ジェラルド　ライト・ティモシー　オピツ・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A required course in the first semester of the second year of the Intensive Language Program (ILP), this course aims to develop critical and reflective thinking skills through readings and authentic materials. It builds upon the reading skills obtained in the first year program and strengthens vocabulary and grammar skills. This course uses a content and language integrated learning (CLIL) approach from which students will explore current issues around the world, gain insight into various countries and cultures, and develop a global outlook.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To gain knowledge about countries and current events around the world by reading a variety of texts, synthesizing and summarizing information, and formulating well-reasoned opinions.

個別目標：The specific goal of the course is to attain a CEFR B1 reading level as well as

1. develop critical and reflective thinking about global issues and perspectives;
2. demonstrate cultural awareness and content knowledge;
3. obtain digital literacy skills necessary to navigate various sources using English;
4. be able to read sources and summarize the contents concisely and effectively.

▌履修条件

Students should understand that this is an English-only class. Active participation is encouraged (e.g., in class activities such as discussions, debates, group projects). Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Active Participation &Other Coursework (30%), Global Modules and Country Report Records (45%), and Global Studies Project (25%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will be given in each lesson. Rubrics incorporated into each module clearly define the expectations of the instructor and course to the students.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Course materials to be distributed by the instructor.

▌参考書

To be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive class atmosphere. 事前学修 0.5hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review course materials
2回	**授業テーマ：Module 1: Europe - Introduction** 授業内容：Students brainstorm knowledge of Europe. Students read and answer questions about a European country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a European country
3回	**授業テーマ：Module 1: Europe - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of a European country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events
4回	**授業テーマ：Module 1: Europe - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of a European country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
5回	**授業テーマ：Module 1: Europe - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, as aspect of the culture and current events of a European country. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Prepare country report 事後学修 2.0hr：Complete Module 1 and submit; complete quiz
6回	**授業テーマ：Module 2: Asia - Introduction** 授業内容：Students brainstorm knowledge of Asia. Students read and answer questions about an Asian country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research an Asian country
7回	**授業テーマ：Module 2: Asia - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of an Asian country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events

8回	**授業テーマ：Module 2: Asia - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of an Asian country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
9回	**授業テーマ：Module 2: Asia - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, as aspect of the culture and current events of an Asian country. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete Module 2 and submit; complete quiz
10回	**授業テーマ：Module 3: Australia/Oceania - Introduction** 授業内容：Students brainstorm. Students read and answer questions about a country in Australia/Oceania. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country
11回	**授業テーマ：Module 3: Australia/Oceania - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of a country in Oceania. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events
12回	**授業テーマ：Module 3: Australia/Oceania - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of a country in Oceania. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
13回	**授業テーマ：Module 3: Australia/Oceania - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, as aspect of the culture and current events of a country in Oceania. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete Module 3 and submit; complete quiz
14回	**授業テーマ：Global Studies Project Presentations I** 授業内容：In groups, students research a location in one of the world areas studied to open an international campus. Students must appeal with statistics and facts. Students create a poster. 事前学修 2.0hr：Prepare presentation project 事後学修 2.0hr：Complete all modules; Prepare for project presentation
15回	**授業テーマ：Global Studies Project Presentations II** 授業内容：In groups, students present their recommended location to open an international campus. Students must appeal with statistics and facts. Students use a poster to support their speech. 事前学修 2.0hr：Prepare presentation project 事後学修 4.0hr：Submit all modules; Complete end-of-term survey and reflection

Reading Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

クリストファ　マタズスキー・ジェラルド　ライト・ティモシー　オピツ・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

This course is a required course in the second semester of the second year. The purpose of this course is to develop critical and reflective thinking skills through readings and authentic materials. It focuses mainly on building upon the reading skills obtained in the first year program and strengthening vocabulary and grammar skills. This course uses a content and language integrated learning (CLIL) approach from which students will explore current issues around the world, gain insight into various countries and cultures, and develop a global outlook.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To gain knowledge about countries and current events around the world by reading a variety of texts, synthesizing and summarizing information, and formulating well-reasoned opinions.

個別目標：The specific goal of the course is to attain a CEFR B1 reading level as well as

1. develop critical and reflective thinking about global issues and perspectives;
2. demonstrate cultural awareness and content knowledge;
3. obtain digital literacy skills necessary to navigate various sources using English;
4. be able to read sources and summarize the contents concisely and effectively.

▌履修条件

Students should understand that this is an English-only class. Active participation is encouraged (e.g., in class activities such as assignments and projects). It is recommended that students take Reading II-a. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Active Participation &Other Coursework (30%), Global Modules and Country Report Records (45%), and Global Studies Project (25%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will be given in each lesson. Rubrics are incorporated into the modules defining the expectations of the instructor and the course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Materials will be distributed by the instructor

▌参考書

To be announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in activities to generate interest in second semester subject areas. 事前学修 0.5hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review course materials
2回	**授業テーマ：Module 4: Africa - Introduction** 授業内容：Students brainstorm knowledge of Africa. Students read and answer questions about an African country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research an African country
3回	**授業テーマ：Module 4: Africa - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of an African country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events
4回	**授業テーマ：Module 4: Africa - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of an African country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
5回	**授業テーマ：Module 4: Africa - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, an aspect of the culture and current events of an African country. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Prepare country report 事後学修 2.0hr：Complete Module 1 and submit; Complete vocabulary quiz
6回	**授業テーマ：Module 5: South America - Introduction** 授業内容：Students brainstorm. Students read and answer questions about a South American country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a South/Central American country
7回	**授業テーマ：Module 5: South America - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of a South American country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events

8回	**授業テーマ：Module 5: South America - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of a South American country. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
9回	**授業テーマ：Module 5: South America - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, an aspect of the culture and current events of a South American country. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete Module 2 and submit; Complete vocabulary quiz
10回	**授業テーマ：Module 6: North America - Introduction** 授業内容：Students brainstorm. Students read and answer questions about a North American territory. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a North American country
11回	**授業テーマ：Module 6: North America - Current Events** 授業内容：Students read about and answer questions on current events of a North American territory. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material. 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research a country's culture
12回	**授業テーマ：Module 6: North America - Culture** 授業内容：Students read about and answer questions on a cultural aspect of a North American territory. Students complete vocabulary exercises and discuss questions related to the topic. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned work; Research current events
13回	**授業テーマ：Module 6: North America - Synthesize, Summarize and Reflect** 授業内容：Students present their country report, in which they have researched basic facts, an aspect of the culture and current events of a North American territory. Students complete a vocabulary quiz. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete Module 3 and submit; Complete vocabulary quiz
14回	**授業テーマ：Global Studies Project Presentations I** 授業内容：In pairs or small groups students a theme and research the topic in relation to the areas studied in the term. Students will prepare a short presentation on their theme. 事前学修 2.0hr：Prepare Project Presentation 事後学修 2.0hr：Complete all modules; Prepare for project presentation
15回	**授業テーマ：Global Studies Project Presentations II** 授業内容：Students give a short presentation on a theme that relates to the various areas of the world studied during the term. Listeners take notes and ask questions. 事前学修 2.0hr：Prepare Project Presentation 事後学修 4.0hr：Submit all modules; Complete end-of-term survey and reflection

Reading Ⅲ-a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

河原　伸一（かわはら　しんいち）・ジェラルド　ライト・長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）・ピエール　アレック

▌授業の概要

This course is a required course in the first semester of the second year of the Intensive Language Program (ILP). Of the four proficiencies, it focuses mainly on reading by further developing the basic reading skills acquired in Reading I-a/I-b through the use of more challenging reading materials. Through the selection of reading materials which cover a variety of topics (e.g., business, society, environment) and stimulate intellectual curiosity, the course aims to enable students to master the reading skills necessary for intensive reading.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To be able to use various reading strategies to understand various types of texts.

個別目標：The specific goals of the course are:

1. to learn multiple reading strategies (e.g., skimming, scanning, identifying main ideas and supporting details/reasons, annotating text, summarizing).
2. to be able to infer meaning from context.
3. to be able to discuss and share one's ideas and opinions with others, based on the text.
4. to attain a CEFR B1 reading level.

▌履修条件

It is highly recommended that students take Reading I-a/b before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation and Class Activities (30%), Quizzes (40%), and a Final Examination (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A, B, C, D, and Repeaters classes: Ackert, P., Lee, L., Haynes, H., &Kostarelis, S. (2020). Reading and Vocabulary Development 3: Cause and Effect (4th Ed.). National Geographic Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Orientation &EIKEN Reading** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. Students complete an EIKEN reading. 事前学修 1.0hr：Preview Unit Course Syllabus 事後学修 1.0hr：Complete assigned work and create a study plan.
2回	**授業テーマ：Unit 1 Explorers: Lesson 1 A Deep Dive with Archana Anand (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
3回	**授業テーマ：Unit 1 Explorers: Lesson 1 A Deep Dive with Archana Anand (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review the passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
4回	**授業テーマ：Unit 1 Explorers: Lesson 2 Robert Scott: A Race to the South Pole (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assignments and prepare for quiz.
5回	**授業テーマ：Unit 1 Explorers: Lesson 2 Robert Scott: A Race to the South Pole (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #1 on Unit 1. 事前学修 1.0hr：Review passages and vocabulary 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
6回	**授業テーマ：Unit 2 Business and Finance: Lesson 1 Tulip Mania and Bubble Economies (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
7回	**授業テーマ：Unit 2 Business and Finance: Lesson 1 Tulip Mania and Bubble Economies (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
8回	**授業テーマ：Unit 2 Business and Finance: Lesson 2 Prices Must Go Up! (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assigned work and prepare for quiz.

9回	**授業テーマ：Unit 2 Business and Finance: Lesson 2 Prices Must Go Up! (B) &Quiz** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #2 on Unit 2. 事前学修 1.0hr：Review passages and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
10回	**授業テーマ：Unit 3 Society: Lesson 1 World Population Growth (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete the assignments.
11回	**授業テーマ：Unit 3 Society: Lesson 1 World Population Growth (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
12回	**授業テーマ：Unit 3 Society: Lesson 2 The Golden Age (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assigned work and prepare for the quiz.
13回	**授業テーマ：Unit 3 Society: Lesson 2 The Golden Age (B) &Quiz #3** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #3 on Unit 3. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete the assignment.
14回	**授業テーマ：Final Review and EIKEN Reading** 授業内容：Students complete another EIKEN reading passage and answer comprehension questions about the passage. Students should review passages, vocabulary and use all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 2.0hr：Solve the reading comprehension questions in the designated Eiken past papers. 事後学修 3.0hr：Preparation for the comprehensive assessment.
15回	**授業テーマ：Comprehensive Final Reading Assessment** 授業内容：Students should review all of the passages covered in Units 1 to Units 4 of the textbook and review the accompanying exercises using all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 3.0hr：Read aloud the text from Unit 1 to Unit 4, paying attention to the phrases and words in context. 事後学修 2.0hr：Review course material and choose reading material for the summer break.

Reading Ⅲ-b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

河原　伸一（かわはら　しんいち）・ジェラルド　ライト・長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）・ピエール　アレック

▌授業の概要

This course is a required course in the second semester of the second year of the Intensive Language Program (ILP). The overview of the course is the same as that of Reading III-a. (Note: Reading III-a and Reading III-b are independent one-semester courses. Therefore, students who have not completed Reading III-a can take III-b.)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：To be able to use various reading strategies to understand various types of texts.

個別目標：The specific goals of the course are:

1. to learn multiple reading strategies (e.g., skimming, scanning, identifying main ideas and supporting details/reasons, annotating text, summarizing).
2. to be able to infer meaning from context.
3. to be able to discuss and share one's ideas and opinions with others, based on the text.
4. to attain a CEFR B1 reading level.

▌履修条件

It is highly recommended that students take Reading I-a/b before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Course Work and Active Participation (40%), Quizzes (30%), and a Final Examination (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A, B, C, D, and Repeaters classes: Ackert, P., Lee, L., Haynes, H., &Kostarelis, S. (2020). Reading and Vocabulary Development 3: Cause and Effect (4th Ed.). National Geographic Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Orientation &EIKEN Reading** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. Students complete an EIKEN reading. 事前学修 1.0hr：Preview Unit Course Syllabus 事後学修 1.0hr：Complete assigned work and create a study plan.
2回	**授業テーマ：Unit 5 Human Beings: Lesson 1 Languages and Language Diversity (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
3回	**授業テーマ：Unit 5 Human Beings: Lesson 1 Languages and Language Diversity (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review the passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete the assignments and prepare for the quiz.
4回	**授業テーマ：Unit 5 Explorers: Lesson 2 A Good Sign (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assignments and prepare for quiz.
5回	**授業テーマ：Unit 5 Explorers: Lesson 2 A Good Sign (B) &Quiz** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #1 on Unit 5. 事前学修 1.0hr：Review passages and vocabulary 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
6回	**授業テーマ：Unit 6 Urban Planning: Lesson 1 Green Buildings for a Better Future (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
7回	**授業テーマ：Unit 6 Urban Planning: Lesson 1 Green Buildings for a Better Future (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
8回	**授業テーマ：Unit 6 Urban Planning: Lesson 2 Cities in the Clouds (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assigned work and prepare for quiz.

9回	**授業テーマ：Unit 6 Urban Planning: Lesson 2 Cities in the Clouds (B) &Quiz** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #2 on Unit 6. 事前学修 1.0hr：Review passages and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
10回	**授業テーマ：Unit 7 Science: Lesson 1 Surviving Earthquakes (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete the assignments.
11回	**授業テーマ：Unit 7 Science: Lesson 1 Surviving Earthquakes (B)** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. 事前学修 1.0hr：Review passage and vocabulary. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete assigned work.
12回	**授業テーマ：Unit 7 Science: Lesson 2 You're One in a Million (A)** 授業内容：Students read the passage silently and look up words they do not know. They practice reading the passage aloud and answer reading comprehension questions in the textbook. Students also complete the vocabulary, grammar, and critical thinking exercises. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text, complete assigned work and prepare for the quiz.
13回	**授業テーマ：Unit 7 Science: Lesson 2 You're One in a Million (B) &Quiz** 授業内容：Students complete any remaining reading exercises as guided by their instructor. Students take Quiz #3 on Unit 7. 事前学修 1.0hr：Preview text: look up new words, read aloud, check grammar, etc. 事後学修 1.0hr：Review the text and complete the assignment.
14回	**授業テーマ：Final Review and EIKEN Reading** 授業内容：Students complete another EIKEN reading passage and answer comprehension questions about the passage. Students should review passages, vocabulary and use all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 2.0hr：Solve the reading comprehension questions in the designated Eiken past papers. 事後学修 3.0hr：Preparation for the comprehensive assessment.
15回	**授業テーマ：Comprehensive Final Reading Assessment** 授業内容：Students should review all of the passages covered in Units 1 to Units 4 of the textbook and review the accompanying exercises using all of the reading strategies learned this semester. 事前学修 3.0hr：Read aloud the text from Unit 1 to Unit 4, paying attention to the phrases and words in context. 事後学修 2.0hr：Review course material and choose reading material for the summer break.

Writing Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

河原　伸一（かわはら　しんいち）・バルブド　プルメル　エスティオコ・マーク　ロイ　グッドヒュー

▌授業の概要

This course will focus on the writing of sentences and paragraphs, reviewing the structure of sentences and learning how to write a wide variety of paragraphs. Students will also become familiar with the writing process of prewriting, writing, revising and editing in academic writing.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：The main objective of this course is for students to acquire and master fundamental writing skills, so that they can express themselves in well-written sentences and paragraphs. Students will learn, step-by-step, the organizational principles that will help them express themselves effectively in writing in English while applying these principles to a variety of types of writing.

個別目標：The specific objectives of this course are for students: To learn fundamental writing skills, using basic vocabulary and grammar. To learn how to organize paragraphs (e.g., topic sentences, supporting sentences, concluding sentences). To learn how to write different types of paragraphs (e.g., EIKEN, informational, opinion). To learn about the process of writing (e.g., prewriting-> writing -> revising). To improve writing fluency through timed written assessments.

▌履修条件

This course is a compulsory first-semester course in the first year of the Intensive Language Program (ILP). Students will be expected to participate actively in classroom activities.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Coursework and Active Participation (40%) and Timed Written Assessments (60%). Plagiarism will not be tolerated. Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Folse, K.S., Muchmore-Vokoun, A., &Vestri, E.(2020). Great Writing 2: Great Paragraphs (5th edition). National Geographic Learning.

▌参考書

Supplementary materials will be provided as necessary. Students should bring an electronic dictionary (J/E, E/J, E/E) to class.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation + EIKEN Paragraph 1** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students engage in writing activities designed to enable them to get to know one another. Students begin training for the EIKEN exam. 事前学修 1.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review course materials &complete assigned work
2回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 1** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their EIKEN paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
3回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 2** 授業内容：Students learn more about how to structure an EIKEN paragraph and write another EIKEN paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignments
4回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 2** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their EIKEN paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s)in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
5回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 3** 授業内容：Students will write a well-organized EIKEN paragraph which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
6回	**授業テーマ：Informational Paragraph** 授業内容：Students will learn about topic sentences and practice writing an informational paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
7回	**授業テーマ：Informational Paragraph** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their informational paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
8回	**授業テーマ：Informational Paragraph** 授業内容：Students will learn about supporting sentences and practice writing an informational paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
9回	**授業テーマ：Informational Paragraph** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their informational paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work

10回	**授業テーマ：Informational Paragraph** 授業内容：Students will learn about concluding sentences and then write a well-organized informational paragraph which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
11回	**授業テーマ：Opinion Paragraph** 授業内容：Students will learn how to structure an opinion paragraph with logical order. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
12回	**授業テーマ：Opinion Paragraph** 授業内容：Students will practice writing an opinion paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
13回	**授業テーマ：Opinion Paragraph** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their opinion paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
14回	**授業テーマ：Opinion Paragraph** 授業内容：Students will write a well-organized opinion paragraph which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
15回	**授業テーマ：Student Consultations and Feedback** 授業内容：Students receive general feedback from the instructor. Students should reflect on their performance and set goals for the summer and next term. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete summer homework assignment

Writing Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 1年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：後

河原　伸一（かわはら　しんいち）・バルブド　ブルメル　エスティオコ・マーク　ロイ　グッドヒュー

▌授業の概要

In Writing I-b, students will continue to build upon the skills developed in Writing I-a. By the end of the second semester, students will be familiar with the writing of various types of paragraphs, such as EIKEN, process, and narrative, leading to more advanced writing in the form of longer written compositions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：The main objective of this course is for students to acquire and master fundamental writing skills, so that they can express themselves in well-written paragraphs and longer written compositions. Students will learn, step-by-step, the organizational principles that will help them express themselves effectively in writing in English while applying these principles to different types of writing.

個別目標：The specific objectives of this course are for students: To learn fundamental writing skills, using basic vocabulary and grammar. To learn how to organize paragraphs (e.g., topic sentences, supporting sentences, concluding sentences). To learn how to write different types of paragraphs (e.g., EIKEN, process, narrative) leading to longer written compositions. To learn about the process of writing (e.g., prewriting-> writing -> revising). To improve writing fluency through timed written assessments.

▌履修条件

This course is a compulsory second-semester course in the first year of the ILP. Writing I-a and Writing I-b are two independent half-year courses (i.e., Writing I-b is available to students who have not completed Writing I-a).

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Coursework and Active Participation (40%) and Timed Written Assessments (60%). Plagiarism will not be tolerated. Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Folse, K.S., Muchmore-Vokoun, A., &Vestri, E.(2020). Great Writing 2: Great Paragraphs (5th edition). National Geographic Learning.

▌参考書

Supplementary materials will be provided as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation + EIKEN Paragraph 1** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students engage in writing activities designed to enable them to get to know one another. Students begin training for the EIKEN exam. 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
2回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 1** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their EIKEN paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
3回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 2** 授業内容：Students learn more about how to structure an EIKEN paragraph and write another EIKEN paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
4回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 2** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their EIKEN paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
5回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 3** 授業内容：Students will write a well-organized EIKEN paragraph which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
6回	**授業テーマ：Process Paragraph** 授業内容：Students practice writing a process paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
7回	**授業テーマ：Process Paragraph** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their process paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
8回	**授業テーマ：Process Paragraph** 授業内容：Students will practice writing a process paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
9回	**授業テーマ：Process Paragraph** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their informational paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work

10回	**授業テーマ：Process Paragraph** 授業内容：Students will write a well-organized process paragraph which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
11回	**授業テーマ：Narrative Paragraph** 授業内容：Students will learn how to structure an narrative paragraph with logical order. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
12回	**授業テーマ：Narrative Paragraph** 授業内容：Students will practice writing an narrative paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignments
13回	**授業テーマ：Narrative Paragraph** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their narrative paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
14回	**授業テーマ：Narrative Paragraph** 授業内容：Students will write a well-organized narrative paragraph which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
15回	**授業テーマ：Student Consultations and Feedback** 授業内容：Students receive general feedback from the instructor. Students should reflect on their performance and set goals for the next semester. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete writing reflection assignment

Writing Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

アブデルワヘド　ベンジリル・コマンドュリ　シリーシャ・バルブド　プルメル　エスティオコ・ピエール　アレック・マーク　ロイ　グッドヒュー・リカルド　バルム・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A compulsory first-semester course in the second year of the Intensive Language Program (ILP). Building upon the basic writing skills acquired during Writing I-a and I-b (i.e., at the sentence and paragraph level), students will further develop their writing skills by learning how to write well-organized essays. Students will be taught the fundamental basics of essay writing, such as introductory paragraphs, thesis statements, body paragraphs, and concluding paragraphs.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：Based on the skills learned in Writing I, students will develop the ability to write well-organized paragraphs, which include topic, supporting, and concluding sentences. Students will learn how to engage with the process of writing, working on prewriting, writing, and rewriting (editing), resulting in a body of longer written work by the end of the semester.

個別目標：By the end of this course, students will be able to: write well-organized paragraphs with topic, supporting, and concluding sentences; properly format essays with basic elements such as a creative title, paragraph indentation, and double-spacing; and, compose short essays with an introduction, body, and conclusion.

▌履修条件

It is recommended that students take Writing I-a/b before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Coursework and Active Participation (40%) and Timed Written Assessments (60%). Plagiarism will not be tolerated. Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word processing software skills）

▌教科書

Folse, K.S., Muchmore-Vokoun, A., &Vestri, E.(2020). Great Writing 4: Great Essays (5th edition). National Geographic Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation + EIKEN Paragraph 1** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students engage in writing activities designed to enable them to get to know one another. Students begin training for the EIKEN exam. 事前学修 1.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review course materials &complete assigned work
2回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 1** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their EIKEN paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
3回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 2** 授業内容：Students learn more about how to structure an EIKEN paragraph and write another EIKEN paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
4回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 2** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their EIKEN paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s)in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
5回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 3** 授業内容：Students will write a well-organized EIKEN paragraph which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
6回	**授業テーマ：Argument Essay** 授業内容：Students will learn how to structure an argument essay with logical order. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
7回	**授業テーマ：Argument Essay** 授業内容：Students will practice writing an argument essay. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
8回	**授業テーマ：Argument Essay** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their argument essays. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
9回	**授業テーマ：Argument Essay** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their argument essays. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work

10回	**授業テーマ：Argument Essay** 授業内容：Students will write a well-organized argument essay which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
11回	**授業テーマ：Cause-Effect Essay** 授業内容：Students will learn how to structure a cause-effect essay with logical order. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
12回	**授業テーマ：Cause-Effect Essay** 授業内容：Students will practice writing a cause-effect essay. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
13回	**授業テーマ：Cause-Effect Essay** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their cause-effect essays. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
14回	**授業テーマ：Cause-Effect Essay** 授業内容：Students will write a well-organized cause-effect essay which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
15回	**授業テーマ：Student Consultations and Feedback** 授業内容：Students receive general feedback from the instructor. Students should reflect on their performance and set goals for the summer and next term. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete summer homework assignment

Writing Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

アブデルワヘド　ベンジリル・コマンドュリ　シリーシャ・バルブド　プルメル　エスティオコ・ピエール　アレック・マーク　ロイ　グッドヒュー・リカルド　バルム・ロバート　モリアーティ

▌授業の概要

A compulsory second-semester course in the second year of the Intensive Language Program (ILP). Students will continue to build upon the skills developed in Writing II-a. By the end of the second semester, students will be able to write a well-organized essay with a minimum of 5 paragraphs. (Note: Writing II-a and Writing II-b are two independent half-year courses. Writing II-b therefore is available to students who have not completed Writing II-a.)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：Based on the skills learned in Writing II-a, students will work on writing longer three to five paragraph essays. Students will be able to write essays of various genres (i.e, comparison, problem-solution etc.) and to organize them with a clear introductory paragraph, thesis statement, body paragraphs, concluding paragraph and references, etc. Students will learn how to engage with the process of writing, working on prewriting, writing, and rewriting (editing), resulting in a body of longer written work at the end of the semester.

個別目標：In addition to the goals of Writing II-a, by the end of this course students will be able to recognize the stylistic elements of various essay genres and structure their own essays accordingly.

▌履修条件

It is recommended that students take Writing I-a/b before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Coursework and Active Participation (40%) and Timed Written Assessments (60%) Plagiarism will not be tolerated. Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （Word processing software skills）

▌教科書

Folse, K.S., Muchmore-Vokoun, A., &Vestri, E.(2020). Great Writing 4: Great Essays (5th edition). National Geographic Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation + EIKEN Paragraph 1** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students engage in writing activities designed to enable them to get to know one another. Students begin training for the EIKEN exam. 事前学修 1.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review course materials &complete assigned work
2回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 1** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their EIKEN paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
3回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 2** 授業内容：Students learn more about how to structure an EIKEN paragraph and write another EIKEN paragraph. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
4回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 2** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their EIKEN paragraphs. 事前学修 2.0hr：Read text(s)in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
5回	**授業テーマ：EIKEN Paragraph 3** 授業内容：Students will write a well-organized EIKEN paragraph which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
6回	**授業テーマ：Problem-Solution Essay** 授業内容：Students will learn how to structure a problem-solution essay with logical order. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
7回	**授業テーマ：Problem-Solution Essay** 授業内容：Students will practice writing a problem-solution essay. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
8回	**授業テーマ：Problem-Solution Essay** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their problem-solution essays. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
9回	**授業テーマ：Problem-Solution Essay** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their problem-solution essays. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work

10回	**授業テーマ：Problem-Solution Essay** 授業内容：Students will write a well-organized problem-solution essay which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
11回	**授業テーマ：Comparison Essay** 授業内容：Students will learn how to structure a comparison essay with logical order. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
12回	**授業テーマ：Comparison Essay** 授業内容：Students will practice writing a comparison essay. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
13回	**授業テーマ：Comparison Essay** 授業内容：Students work on editing, revising, and re-writing their comparison essays. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
14回	**授業テーマ：Comparison Essay** 授業内容：Students will write a well-organized comparison essay which will be assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
15回	**授業テーマ：Student Consultations and Feedback** 授業内容：Students receive general feedback from the instructor. Students should reflect on their performance and set goals for future study. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review material from Writing II-b

Listening Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 1年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

梶浦　恭平（かじうら　きょうへい）**・クリストファ　マタズスキー・ティモシー　クレイシンガー・リカルド　バルム**

▌授業の概要

Listening I-a is a compulsory first-semester course in the first year of the Intensive Language Program (ILP). This course is designed to strengthen and expand students' listening skills and their scope of language. The main goal of the first semester is to build students' bottom-up listening skills through a variety of listening exercises and tasks that encourage active learning in the classroom and independent study.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills, including pronunciation and rhythm. Pre-task and post-task activities will be an essential part of the lessons. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them in targeted tasks.

個別目標：By the end of the first semester, students will be able to listen for main ideas, take notes on details, and predict content from visuals.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation and class activities (30%), homework (10%), and unit tests (60%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will occur during the lessons and via manaba. Three unit tests and other course work will be evaluated to check student understanding of main ideas, inference, and listening for details.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: Dimond-Bayir, S., &Russell, K. (2025). Unlock 2 (3rd. 3d.), Listening, Speaking and Critical Thinking. Cambridge University Press.

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students will learn about the syllabus and course schedule. Students will take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students will complete Elllo 1a. 事前学修 1.0hr：Prepare information on yourself 事後学修 1.5hr：Review course materials; Preview the first unit
2回	**授業テーマ：Unit 1 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 1b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
3回	**授業テーマ：Unit 1 Part II** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 16a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
4回	**授業テーマ：Unit 1 Review** 授業内容：Students warm up with Elllo 16b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students review all unit work. 事前学修 2.0hr：Review Unit 1 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
5回	**授業テーマ：Unit 1 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 2.5hr：Review Unit 1 事後学修 2.0hr：Prepare assigned work
6回	**授業テーマ：Practical Listening Activities** 授業内容：Students warm up with Elllo 13a. Based on authentic audio/video material, students complete task sheets individually and in pairs. Students present their findings in class. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Complete practical listening worksheet; complete assigned textbook work
7回	**授業テーマ：Unit 2 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 13b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review Unit 1 listening strategies 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
8回	**授業テーマ：Unit 2 Part II** 授業内容：Students warm up with Elllo 17a. Students complete the selected textbook listening activities. 事前学修 2.0hr：Preview the language; review the previous class notes 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
9回	**授業テーマ：Unit 2 Review** 授業内容：Students warm up with Elllo 17b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students review all unit work. 事前学修 2.0hr：Review Units 1 &2 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work

10回	**授業テーマ：Unit 2 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 2.0hr：Review Unit 2 material 事後学修 2.0hr：Preview the next unit and complete assigned material
11回	**授業テーマ：Unit 3 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 2a. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review Unit 2 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary
12回	**授業テーマ：Unit 3 Part 2** 授業内容：Students warm up with Elllo 2b. Students complete the selected textbook listening activities. 事前学修 2.0hr：Review Units 1-2 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
13回	**授業テーマ：Unit 3 Review** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 18a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students review all unit work. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
14回	**授業テーマ：Unit 3 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 3.0hr：Review Units 1-3 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review all course materials; complete assigned work
15回	**授業テーマ：Listening Log Activities** 授業内容：Students warm up with Elllo 18b. Based on the audio/video material chosen by student groups, students prepare a 3 question quiz. Students listen and actively take notes. 事前学修 1.5hr：Check that all task materials have been completed and submitted; review units 事後学修 4.0hr：End-of-term survey; Submit all work; Complete summer homework

Listening Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

梶浦　恭平 (かじうら　きょうへい)**・クリストファ　マタズスキー・ティモシー　クレイシンガー・リカルド　バルム**

▌授業の概要

Listening I-b is a compulsory second-semester course in the first year of the Intensive Language Program (ILP). Building upon the skills learned in the first semester, students will further expand and strengthen their listening skills and scope of language. The main goal of the second semester is the development of students' top-down processing though the practice of applying various listening skills and strategies that encourage active learning in the classroom and independent study.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills, including pronunciation and rhythm. Pre-task and post-task activities will be an essential part of the lessons. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them in targeted tasks.

個別目標：By the end of the second semester, students will have acquired the skills and strategies to understand main ideas, make inferences, synthesize information, and be able to apply these skills to various situations.

▌履修条件

It is recommended that students take Listening I-a before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation and class activities (30%), homework (10%), unit tests (60%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will occur during the lessons and via manaba. Three unit tests and other course work will be evaluated to check student understanding of main ideas, inference, and listening for details.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: Dimond-Bayir, S., &Russell, K. (2025). Unlock 2, Listening, Speaking and Critical Thinking. Cambridge University Press.

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students will learn about the syllabus and course schedule. Students will take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students will complete Elllo 20a. 事前学修 1.0hr：Prepare information on yourself 事後学修 1.5hr：Review course materials; Preview the first unit
2回	**授業テーマ：Unit 5 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 20b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
3回	**授業テーマ：Unit 5 Part II** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 10a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
4回	**授業テーマ：Unit 5 Review** 授業内容：Students warm up with Elllo 10b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students review all unit work. 事前学修 2.0hr：Review Unit 5 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
5回	**授業テーマ：Unit 5 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 2.5hr：Review Unit 5 事後学修 2.0hr：Prepare assigned work
6回	**授業テーマ：Practical Listening Activities** 授業内容：Students warm up with Elllo 15a. Based on the audio/video material chosen, students complete task worksheets individually and in pairs. Students present their findings in class. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Complete practical listening worksheet; complete assigned textbook work
7回	**授業テーマ：Unit 7 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 6a. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review Unit 5 listening strategies 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
8回	**授業テーマ：Unit 7 Part II** 授業内容：Students warm up with Elllo 6b. Students complete the selected textbook listening activities. 事前学修 2.0hr：Preview the language; review the previous class notes 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
9回	**授業テーマ：Unit 7 Review** 授業内容：Students warm up with Elllo 15b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students review all unit work. 事前学修 2.0hr：Review Units 5 &7 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work

10回	**授業テーマ：Unit 7 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 2.0hr：Review Unit 7 material 事後学修 2.0hr：Preview the next unit and complete assigned work
11回	**授業テーマ：Unit 8 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 14a. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review Unit 5 &7 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary
12回	**授業テーマ：Unit 8 Part II** 授業内容：Students warm up with Elllo 14b. Students complete the selected textbook listening activities. 事前学修 2.0hr：Review Units 5,7 &8 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
13回	**授業テーマ：Unit 8 Review** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 9a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students review all unit work. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
14回	**授業テーマ：Unit 8 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 3.0hr：Review Units 5,7 &8 listening strategies 事後学修 2.0hr：Review all course materials; Complete Unit Task 3; Prepare Listening Log
15回	**授業テーマ：Listening Log 2** 授業内容：Students warm up with Elllo 9b. Based on the audio/video material chosen by student groups, students prepare a 3 question quiz. Students listen and actively take notes. 事前学修 1.5hr：Check that all task materials have been completed and submitted; review all units 事後学修 4.0hr：End-of-term survey; Submit all work; review units studied to prepare for second year

Listening Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

ティモシー　クレイシンガー・ピエール　アレック・マーク　ロイ　グッドヒュー・マット　ピーターセン

▌授業の概要

A compulsory first-semester course in the second year of the Intensive Language Program (ILP). Building on the skills learned in Listening I-a/b, Listening II-a requires students to listen to and comprehend more challenging academic listening formats. In Listening II-a, it is essential that listening activities be integrated with other language skills (e.g., spoken production and interaction, reading, vocabulary learning) and important academic skills (e.g., critical thinking, note-taking strategies, summarizing key information etc.).

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills; however, vocabulary acquisition and critical thinking will be particularly emphasized. Pre-task and post-task activities will be an essential part of the lessons. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them in targeted listening tasks.

個別目標：By the end of the first semester, students will be able to listen to and comprehend a variety of current topics.

▌履修条件

It is recommended that students take Listening I-a/b before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation and class activities (30%), homework (10%), and unit tests (60%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will occur during the lessons and via manaba. Three unit tests, and other course work are evaluated to check students' understanding of main ideas, inference, and listening for details.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: Archer, G., Jordan, N., Ostrowska, S., with Sowton, C. (2025). Unlock 3 (3rd ed.), Listening, Speaking and Critical Thinking. Cambridge University Press

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere. Students complete listening activity Elllo 3a. 事前学修 1.0hr：Prepare a self-introduction 事後学修 2.0hr：Review course materials and preview first unit
2回	**授業テーマ：Unit 1 Part 1** 授業内容：Students warm up with Elllo 3b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
3回	**授業テーマ：Unit 1 Part II** 授業内容：Students warm up with Elllo 36a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. 事前学修 2.0hr：Preview language and pronunciation; Preview listening 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
4回	**授業テーマ：Unit 1 Review** 授業内容：Students warm up with Elllo 36b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students review all unit work. 事前学修 2.0hr：Review Unit 1 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; Complete assigned textbook work
5回	**授業テーマ：Unit 1 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 2.0hr：Review Unit 1 事後学修 2.0hr：Review unit; complete assigned work
6回	**授業テーマ：Practical Listening Activities** 授業内容：Students warm up with ELLLO 30a. Based on authentic audio/video material, students complete task sheets individually and in pairs. Students present their findings in class. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Complete practical listening worksheet; complete assigned textbook work
7回	**授業テーマ：Unit 2 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 30b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review Unit listening strategies; Preview listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening; complete assigned textbook work
8回	**授業テーマ：Unit 2 Part II** 授業内容：Students warm up with Elllo 35a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. 事前学修 2.0hr：Preview language development, listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening strategies; complete assigned textbook work
9回	**授業テーマ：Unit 2 Review** 授業内容：Students warm up with Elllo 35b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students review all unit work. 事前学修 2.0hr：Review 1 &2 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work

10回	**授業テーマ：Unit 2 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 2.0hr：Review unit 2 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review unit; Complete assigned textbook work.
11回	**授業テーマ：Unit 3 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 28a. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review units 1-2 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
12回	**授業テーマ：Unit 3 Part II** 授業内容：Students warm up with Elllo 28b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. 事前学修 2.0hr：Preview language development, listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
13回	**授業テーマ：Unit 3 Review** 授業内容：Students warm up with Elllo 38a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening strategies. Students review all unit work. 事前学修 2.0hr：Review units 1-3 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
14回	**授業テーマ：Unit 3 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 2.0hr：Review all units covered in the term 事後学修 2.0hr：Review all course materials; Complete any remaining work
15回	**授業テーマ：Listening Log Activities** 授業内容：Students warm up with Elllo 38b. Based on the audio/video material chosen by student groups, students prepare a 3 question quiz. Students listen and actively take notes. 事前学修 2.0hr：Check that all task materials have been completed and submitted 事後学修 4.0hr：End-of-term-survey; Submit all work; Complete summer homework

Listening Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

ティモシー　クレイシンガー・ピエール　アレック・マーク　ロイ　グッドヒュー・マット　ピーターセン

▌授業の概要

A compulsory second-semester course in the second year of the ILP. Students will continue to expand and strengthen their listening and academic skills. Through listening to a range of current topics, students will be expected to think critically about various social issues and conditions, utilizing the vocabulary and language learned through listening excerpts, vocabulary exercises and speaking tasks.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills; however, vocabulary acquisition and critical thinking will be particularly emphasized. Pre-task and post-task activities will be an essential part of the lessons. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them to targeted listening tasks.

個別目標：By the end of the second semester, students will have acquired the skills and strategies to understand main ideas, make inferences, listen for details, and be able to apply these skills to in order to think critically about the topics under discussion.

▌履修条件

It is recommended that students take Listening I-a/b and Listening II-a before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation and class activities (30%), homework (10%), and unit tests (60%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback will occur during the lessons and via manaba. Three unit tests and other course work are evaluated to check students' understanding of main ideas, inference, and listening for details.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

A-D classes: Ostrowska, S., &Jordan, N. (2017). Prism, Listening and Speaking 2, Singapore: Cambridge University Press

▌参考書

Supplementary materials will be handed out by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students warm up with listening activity Elllo 25a. Students present their summer homework in pairs or a group. 事前学修 3.0hr：Review first term; Check that all summer homework is ready 事後学修 2.0hr：Preview first unit
2回	**授業テーマ：Unit 5 Part I** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 25b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review first term; Preview topic questions 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
3回	**授業テーマ：Unit 5 Part II** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 21a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar and listening strategies. 事前学修 2.0hr：Preview listening and vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
4回	**授業テーマ：Unit 5 Review** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 21b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening. Students review the unit work. 事前学修 2.0hr：Review Unit 5 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
5回	**授業テーマ：Unit 5 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 2.0hr：Review Unit 5 事後学修 2.0hr：Preview next unit; complete assigned work
6回	**授業テーマ：Practical Listening Activities** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 37a. Based on authentic audio/video material, students complete task sheets individually and in pairs or small groups. Students present their findings in class. 事前学修 2.0hr：Preview topic questions and listening 事後学修 2.0hr：Complete practical listening worksheet; complete assigned textbook work
7回	**授業テーマ：Unit 6 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 37b. Students complete Activate Your Knowledge, and do all the Listening video activities. 事前学修 2.0hr：Review unit 5 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work
8回	**授業テーマ：Unit 6 Part II** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 22a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar and listening strategies. 事前学修 2.0hr：Preview language and review previous class' notes 事後学修 2.0hr：Review listening; Complete assigned textbook work

9回	**授業テーマ：Unit 6 Review** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 22b. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening. Students review the unit work. 事前学修 2.0hr：Preview Preparation for Speaking 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
10回	**授業テーマ：Unit 6 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 2.0hr：Review Unit 6 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Preview the next unit and complete assigned material
11回	**授業テーマ：Unit 7 Part I** 授業内容：Students warm up with Elllo 24a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar and listening strategies. 事前学修 2.0hr：Review Units 5 and 6 listening skills and strategies 事後学修 2.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
12回	**授業テーマ：Unit 7 Part II** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 24b. Students complete all Listening 2 activities. Students complete a quiz based on the content covered in the class. 事前学修 2.0hr：Preview language and review previous class' notes 事後学修 2.0hr：Review listening; complete assigned textbook work
13回	**授業テーマ：Unit 7 Review** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 23a. Students complete textbook exercises related to vocabulary, grammar, and listening. Students review the unit work. 事前学修 2.0hr：Review units 5-7 listening skills and strategies 事後学修 3.0hr：Review listening and vocabulary; complete assigned textbook work
14回	**授業テーマ：Unit 7 Test** 授業内容：Students will take a unit test related to the listening skills and strategies learned. Students answer questions via audio material. 事前学修 2.0hr：Review all units covered in the term 事後学修 4.0hr：Review all course materials; complete assigned work
15回	**授業テーマ：Listening Log Activities** 授業内容：Students warm up with listening activity Elllo 23b. Based on the audio/visual material chosen by student groups, students prepare a 3 question quiz. Students listen and actively take notes. 事前学修 2.0hr：Check that all task materials have been completed and submitted 事後学修 4.0hr：End-of-term survey; Create a plan of independent listening study and implement it

フレッシュパーソンセミナーⅠ

開講学科等：中 ｜ 1年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

小川 唯（おがわ ゆい）・**河村 昌子**（かわむら しょうこ）・**神崎 龍志**（かんざき たつし）・**中嶋 諒**（なかじま りょう）

▌授業の概要

中国語学科１年生を対象に、初年度教育をおこないます。中国語学科の学生として大学生活を送る上で必要な情報を確認し、落ち着いて授業に臨む心構えを養います。講義内容には、図書館の利用方法、中国語学習アプリの活用方法、留学生との交流会、中国語の検定試験の概説などが含まれます。また、グループ活動を通じて、学生間ならびに教員と学生間の親睦を深めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：学生間および教員と学生間の信頼関係を構築し、中国語学科の学生として４年間学んでいくための心構えを形成する。さらに、中国語や中国文化を学ぶ意義やその学び方等についても理解を深める。

個別目標：①本学の中国語学科で中国語や中国に関して学ぶ意義を説明できる。
②適切にコミュニケーションし、良好な人間関係を築くことができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

①授業への取り組み（７０%）
②レポートの内容に対する評価（３０%）
なお、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （留学生との交流等の授業において実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用する。）

▌教科書

『中国から考える合理性　中国を深く知るための８の論考』（河村昌子／中嶋諒編著、東方書店、２０２４年）

▌参考書

必要に応じて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（履修上の注意点など）** 授業内容：授業の概要を説明する。 事前学修 1.5hr：シラバスを事前に読んでおく 事後学修 1.5hr：授業の概要を確認し、今後の見通しを立てる
2回	**授業テーマ：チームビルディング（１）** 授業内容：チームを作り、関係を構築する。 事前学修 1.5hr：グループ活動の意義を考える 事後学修 1.5hr：今後のグループ活動に期待することを考える
3回	**授業テーマ：チームビルディング（２）** 授業内容：チームごとの課題を決める。 事前学修 1.5hr：課題の案を考える 事後学修 1.5hr：課題の意義について考える
4回	**授業テーマ：チームビルディング（３）** 授業内容：チームごとに課題を完成させる。 事前学修 1.5hr：課題の進め方をイメージする 事後学修 1.5hr：課題の内容とチームの取り組み方を振り返る
5回	**授業テーマ：中国語学習アプリの活用方法** 授業内容：各自のスマホなどを使いながら、中国語学科中国語学習アプリの利用方法を学ぶ。 事前学修 1.5hr：中国語学習アプリについて事前に調べておく 事後学修 1.5hr：中国語学科中国語学習アプリを実際に使って、利用可能なツールとする
6回	**授業テーマ：多言語コミュニケーションセンターの活用方法を学ぶ　※第１回レポート課題指示** 授業内容：多言語コミュニケーションセンター MLACC、MLACC 中国語ゾーンを訪れ、実地でその活用方法を学ぶ。 事前学修 1.5hr：多言語コミュニケーションセンターについて事前に調べておく 事後学修 1.5hr：MLACC 及び MLACC 中国語ゾーンの利用方法を確認し、実際に利用する
7回	**授業テーマ：図書館の活用方法を学ぶ** 授業内容：本学図書館を訪れ、実地でその活用方法を学ぶ。 事前学修 1.5hr：図書館の概況と利用の手順について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：図書館の活用方法について確認し、実際に利用する
8回	**授業テーマ：検定試験について** 授業内容：中国語検定試験、HSK について概説する。 事前学修 1.5hr：中国語の検定試験について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：中国語検定試験受験に向けてスケジュールを整理する
9回	**授業テーマ：前半の振り返り　※第１回レポート提出** 授業内容：第 8 回までに学んだことを振り返る。 事前学修 1.5hr：第 8 回までに学んだことを確認する 事後学修 1.5hr：中国語学科での学びについて考える
10回	**授業テーマ：専門講義～中国語の文法について** 授業内容：中国語の介詞について 事前学修 1.5hr：これまでに学んだ中国語の文法事項を復習しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
11回	**授業テーマ：専門講義～中国の古典文学について** 授業内容：中国の古典文学の世界を紹介する。 事前学修 1.5hr：漢詩について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる

12回	**授業テーマ：専門講義～中国の近現代文学について** 授業内容：中国の作家巴金について紹介する。 事前学修 1.5hr：現代中国の文学者について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
13回	**授業テーマ：専門講義～中国経済について** 授業内容：高度成長から安定成長へと転換する中国経済。 事前学修 1.5hr：中国経済について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
14回	**授業テーマ：留学生との交流　※第２回レポート課題指示** 授業内容：中国人留学生とともに与えられたテーマに沿って交流をおこなう。 事前学修 1.5hr：留学生と中国語で交流する際に必要な用語、会話文や内容について事前に調べる 事後学修 1.5hr：留学生との交流を通じて得られた知見および感想をまとめる
15回	**授業テーマ：第２回レポートの提出および授業の全体総括** 授業内容：これまでの授業内容について総括し、レポートを提出する。 事前学修 1.5hr：レポート作成 事後学修 1.5hr：フレッシュパーソンセミナーⅠで学んだことについてまとめる

フレッシュパーソンセミナーⅡ

開講学科等：中　｜　1年次　｜　1単位　｜　開講期：後

小川　唯（おがわ　ゆい）・**河村　昌子**（かわむら　しょうこ）・**神崎　龍志**（かんざき　たつし）・**中嶋　諒**（なかじま　りょう）

▌授業の概要

フレッシュパーソンセミナーⅠに引き続き、初年度教育をおこないます。言語、文学、歴史、思想、経済、コミュニケーションなどの角度から、中国語と中国文化に関する専門講義を行います。「知へのステップ」と題した連続講義、また学科内の留学経験者による報告会も実施します。中国語と中国文化への興味を養い、中国語学科でさらに学びを深めていくための基礎を固めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国語学習へのモチベーションを高め、中国に関する知識を身につけ、今後の学びのための基盤を築く。中国語学科の学生として４年間学んでいくための心構えを形成する。さらに、中国語や中国文化を学ぶ意義やその学び方等についても理解を深める。

個別目標：①本学の中国語学科で中国語や中国に関して学ぶ意義を説明できる。
②講義から得られた知見を説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

①講義への取り組み（５０%）
②ガイダンス、講演等への取り組み（２０%）
③レポート２本（３０%）
なお、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

レポート課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （質疑応答、通訳体験等。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『中国から考える合理性　中国を深く知るための８の論考』（河村昌子／中嶋諒編著、東方書店、２０２４年）

▌参考書

特になし。必要な場合は、担当教員が適宜、指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（履修、中検等）** 授業内容：授業の概要と中国語検定試験受験について説明する。 事前学修 1.5hr：事前にシラバスを読み、疑問点等を整理しておく 事後学修 1.5hr：授業の概要を確認し、今後の見通しを立てる
2回	**授業テーマ：健やかな大学生活を送るために** 授業内容：外部講師による講演をおこなう。 事前学修 1.5hr：健康について考える 事後学修 1.5hr：講演で得られた知見についてまとめる
3回	**授業テーマ：留学経験者報告会** 授業内容：留学体験をした本学科学生に、現地での学修、文化体験プログラムについて報告してもらう。質疑応答も併せておこなう。 事前学修 1.5hr：留学について事前に知りうる情報を調べておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
4回	**授業テーマ：専攻について** 授業内容：中国語学科の専攻（グローバルスタディーズ専攻と中国語専攻）について説明する。 事前学修 1.5hr：専攻について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：専攻選択に向けて、自分の学びたいことについて考える
5回	**授業テーマ：「知へのステップ①～リーディングと要約作成のスキル」** 授業内容：よい読解とはなにか、要約作成にはどんなコツが必要か、そのスキルを学ぶ。 事前学修 1.5hr：リーディングと要約作成について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業内容を確認し、定着を図る。
6回	**授業テーマ：「知へのステップ②～アカデミック・ライティング」** 授業内容：授業レポートや卒業研究で必要となる学術的文章とはどのようなものか、その基本的ルールを学ぶ。 事前学修 1.5hr：アカデミック・ライティングについて事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業内容を確認し、定着を図る。
7回	**授業テーマ：論文講義「中国における合理性と経済発展」　※第１回レポート課題提示** 授業内容：『中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「中国における合理性と経済発展」に関する講義。 事前学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
8回	**授業テーマ：論文講義「武漢は新型コロナウイするとどう遭遇したか」　※第１回レポート課題提出** 授業内容：『中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「武漢は新型コロナウイするとどう遭遇したか」に関する講義。 事前学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
9回	**授業テーマ：論文講義「医三世ならざれば、其の薬を服さず」** 授業内容：『中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「医三世ならざれば、其の薬を服さず」に関する講義。 事前学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
10回	**授業テーマ：論文講義「中国の教育近代化における外国モデルから見る合理性」** 授業内容：『中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「中国の教育近代化における外国モデルから見る合理性」に関する講義。 事前学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる

11回	**授業テーマ：論文講義「汎用化された “老師” の使用をめぐって」** 授業内容：中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「汎用化された “老師” の使用をめぐって」に関する講義。 事前学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
12回	**授業テーマ：論文講義「中国を学ぶための合理的な方法」** 授業内容：中国から考える合理性 中国を深く知るための８の論考』掲載の「中国を学ぶための合理的な方法」に関する講義。 事前学修 1.5hr：中国の近現代文学について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：事前に論文に目を通しておく
13回	**授業テーマ：日中通訳について** 授業内容：日中通訳の体験的パフォーマンスを通じて、「通訳するとはどういう行為なのか」について理解を深める。 事前学修 1.5hr：中国語通訳について事前に調べておく 事後学修 1.5hr：授業で得られた知見についてまとめる
14回	**授業テーマ：就職、進路について　※第２回レポート課題指示** 授業内容：進路の決め方、就職活動の進め方について説明する。 事前学修 1.5hr：進路について考える 事後学修 1.5hr：講義内容を踏まえて、進路について考える
15回	**授業テーマ：総括　※第２回レポート課題提出** 授業内容：これまでの授業における成果と課題についてまとめる。レポートを提出する。 事前学修 1.5hr：レポート作成 事後学修 1.5hr：フレッシュパーソン・セミナーⅡで学んだことを整理する

課題探求セミナーⅠ（中国語専攻）

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

王　丹（おう　たん）・**曹　泰和**（そう　たいわ）・**余　瀾**（よ　らん）

▌授業の概要

中国語によるプレゼンテーションを通して、中国語能力の向上とコミュニケーション能力の強化をはかります。中国語の文章の効果的な読み方、伝達方法について学び、その後中国語でプレゼンテーションを行います。多人数の前で話すときの注意点や抑揚の付け方などを総合的に学んでいきます。プレゼンテーション用の中国語原稿は専攻を踏まえて作成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語を用いて、多人数の前で、効果的なプレゼンテーションができるようになることを目標とします。
個別目標：プレゼンテーションの短期目標を設定し、問題解決能力を磨きます。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

受講時の積極性、プレゼンテーションの実施とその完成度によって評価。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （履修生の前で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜プリントを配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(授業の進め方について)** 授業内容：スピーチコンテスト及びそれに向けた授業運営の説明。 事前学修 1.0hr：カリキュラムを確認する。 事後学修 1.0hr：授業スケジュールを確認する。
2回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの訓練** 授業内容：音声のチェック、確認、練習。 事前学修 1.0hr：発音の練習を事前に行う。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
3回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方や間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
4回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能を学ぶ** 授業内容：アイコンタクト、プレゼン時のボディーランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回講義の復習をしておく。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーション技能のまとめと復習をする。
5回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
6回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーション用の原稿を整える。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音のチェック、声調の確認など。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
8回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
9回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクト、プレゼン時のボディーランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
10回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
11回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーション用の原稿を整える。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音のチェック、声調の確認など。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。

13回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクト、プレゼン時のボディーランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
15回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。

課題探求セミナーⅠ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

高田　誠（たかだ　まこと）**・張　先煜**（ちょう　せんいく）

▌授業の概要
中国語によるプレゼンテーションを通して、中国語能力の向上とコミュニケーション能力の強化をはかります。中国語の文章の効果的な読み方、伝達方法について学び、その後中国語でプレゼンテーションを行います。多人数の前で話すときの注意点や抑揚の付け方などを総合的に学んでいきます。プレゼンテーション用の中国語原稿は専攻を踏まえて作成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）
一般目標：中国語を用いて、多人数の前で、効果的なプレゼンテーションができるようになることを目標とします。
個別目標：プレゼンテーションの短期目標を設定し、問題解決能力を磨きます。

▌履修条件
特になし。

▌評価基準・方法
受講時の積極性、プレゼンテーションの実施とその完成度によって評価。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （履修生の前で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
使用しない。

▌参考書
適宜プリントを配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(授業の進め方について)** 授業内容：スピーチコンテスト及びそれに向けた授業運営の説明。 事前学修 1.0hr：カリキュラムを確認する。 事後学修 1.0hr：授業スケジュールを確認する。
2回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの訓練** 授業内容：音声のチェック、確認、練習。 事前学修 1.0hr：発音の練習を事前に行う。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
3回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方や間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
4回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能を学ぶ** 授業内容：アイコンタクト、プレゼン時のボディーランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回講義の復習をしておく。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーション技能のまとめと復習をする。
5回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
6回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーション用の原稿を整える。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音のチェック、声調の確認など。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
8回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
9回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクト、プレゼン時のボディーランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
10回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
11回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：プレゼンテーション用の原稿を整える。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音のチェック、声調の確認など。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。

13回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクト、プレゼン時のボディーランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
15回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。

課題探求セミナーⅡ（中国語専攻）

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：後

王　丹（おう　たん）・**曹　泰和**（そう　たいわ）・**余　瀾**（よ　らん）

▌授業の概要

中国語による作文およびプレゼンテーションを通して、中国語能力の向上とコミュニケーション能力の強化をはかります。中国語の文章の効果的な読み方、伝達方法について学び、その後中国語でプレゼンテーションを行います。多人数の前で話すときの注意点や抑揚の付け方などを総合的に学んでいきます。
プレゼンテーション用の中国語原稿は各自自分の専攻を踏まえて自分で作成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語を用いて、自分の考えをまとめ、多人数の前で効果的なプレゼンテーションができるようになることを目標とします。
個別目標：プレゼンテーションの短期目標を設定し、問題解決能力を磨きます。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

受講時の積極性、プレゼンテーションの実施とその完成度によって評価。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （履修生の前で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜プリントを配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(授業の進め方について)** 授業内容：授業の進め方について説明。 事前学修 1.0hr：カリキュラムを確認する。 事後学修 1.0hr：授業スケジュールを確認する。
2回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの訓練** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音の練習を事前に行う。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
3回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
4回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能を学ぶ** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回講義の復習をしておく。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーション技能のまとめと復習をする。
5回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
6回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：中国語原稿の作成、修正。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
8回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
9回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
10回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
11回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：中国語原稿の作成、修正。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。

12回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
13回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
15回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。

課題探求セミナーⅡ（グローバル・スタディーズ専攻）

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：後

高田　誠（たかだ　まこと）・**張　先煜**（ちょう　せんいく）

▌授業の概要

中国語による作文およびプレゼンテーションを通して、中国語能力の向上とコミュニケーション能力の強化をはかります。中国語の文章の効果的な読み方、伝達方法について学び、その後中国語でプレゼンテーションを行います。多人数の前で話すときの注意点や抑揚の付け方などを総合的に学んでいきます。
プレゼンテーション用の中国語原稿は各自自分の専攻を踏まえて自分で作成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語を用いて、自分の考えをまとめ、多人数の前で効果的なプレゼンテーションができるようになることを目標とします。
個別目標：プレゼンテーションの短期目標を設定し、問題解決能力を磨きます。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

受講時の積極性、プレゼンテーションの実施とその完成度によって評価。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （履修生の前で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜プリントを配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス(授業の進め方について)** 授業内容：授業の進め方について説明。 事前学修 1.0hr：カリキュラムを確認する。 事後学修 1.0hr：授業スケジュールを確認する。
2回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの訓練** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音の練習を事前に行う。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
3回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
4回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能を学ぶ** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回講義の復習をしておく。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーション技能のまとめと復習をする。
5回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
6回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：中国語原稿の作成、修正。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
8回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
9回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
10回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。
11回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション原稿の作成** 授業内容：中国語原稿の作成、修正。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーション原稿の内容を予習する。 事後学修 1.0hr：原稿のチェック、内容の復習をする。

12回	**授業テーマ：中国語の発音、イントネーションの演習** 授業内容：発音の練習、声調、イントネーションの訓練。 事前学修 1.0hr：発音、イントネーションを予習する。 事後学修 1.0hr：明確な発音、イントネーションの復習をする。
13回	**授業テーマ：効果的に相手に情報を伝えるための演習** 授業内容：抑揚の付け方、間の取り方など。 事前学修 1.0hr：発声の強弱や表情、動作について予習する。 事後学修 1.0hr：効果的に情報を伝えられるよう復習する。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーションに必要な技能演習** 授業内容：アイコンタクトやボディランゲージなど。 事前学修 1.0hr：前回学んだ内容を復習しておく。 事後学修 1.0hr：本番に備えたプレゼンテーション練習をする。
15回	**授業テーマ：中国語によるプレゼンテーション** 授業内容：中国語を暗記し、プレゼンテーションを行う。 事前学修 1.0hr：プレゼンテーションの内容を十分に把握する。 事後学修 1.0hr：プレゼンテーションの結果をまとめ、今後の課題を整理する。

中国語基礎演習A

開講学科等：中 ｜ 2年次 ｜ 4単位 ｜ 開講期：通

河村　昌子（かわむら　しょうこ）

▌授業の概要

中国語検定 3 級/HSK5 級程度の中国語力が身につくように、検定試験の過去問題を用いて学習する。解説を踏まえて過去問題の内容に習熟し、応用できるようにする。CLM 学生は、中国語基礎演習 A の単位を修得しないと、3 年生に進級できないことに注意を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語検定 3 級および HSK5 級程度の中国語力が身につく。
個別目標：①検定合格に必要な語彙力が身につく。
②検定合格に必要な作文力が身につく。
③検定合格に必要な読解力が身につく。
④検定合格に必要なリスニング力が身につく。

▌履修条件

中国語専攻であること。

▌評価基準・方法

中国語検定試験もしくは HSK の成績を参照して評価する。

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時もしくは manaba を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリ、manaba ドリル）

▌教科書

『中検 3 級試験問題 2024［第 108・109・110 回］解答と解説』白帝社
『中検 3 級試験問題 2025［第 111・112・113 回］解答と解説』白帝社

▌参考書

〔音声 DL 版〕『改訂版 合格奪取! 中国語検定 3 級 トレーニングブック リスニング問題編』アスク出版
『改訂版 合格奪取! 中国語検定 3 級トレーニングブック 筆記問題編』アスク出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと実力確認テスト** 授業内容：授業の概要と中国語検定試験の対策について説明する。実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。	16回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：中国語検定試験の対策について説明する。実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前期の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。
2回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	17回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
3回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	18回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
4回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	19回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
5回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	20回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
6回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	21回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
7回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	22回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。

8回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	23回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
9回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	24回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
10回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	25回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
11回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	26回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
12回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	27回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
13回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	28回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
14回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	29回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
15回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。	30回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。

中国語基礎演習B

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）

▌授業の概要

中国語検定 4 級/HSK4 級程度の中国語力が身につくように、検定試験の過去問題を用いて学習する。解説を踏まえて過去問題の内容に習熟し、応用できるようにする。GSM 学生は、この科目もしくは中国語基礎演習 A の単位を修得しないと、3 年生に進級できないことに注意を要する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：グローバル・スタディーズ専攻　1）

一般目標：中国語検定 4 級および HSK4 級程度の中国語力が身につく。
個別目標：①検定合格に必要な語彙力が身につく。
②検定合格に必要な作文力が身につく。
③検定合格に必要な読解力が身につく。
④検定合格に必要なリスニング力が身につく。

▌履修条件

グローバルスタディーズ専攻であること。

▌評価基準・方法

中国語検定試験もしくは HSK の成績を参照して評価する。

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時もしくは manaba を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリ、manaba ドリル）

▌教科書

『中検 4 級試験問題 2024 年版［第 108・109・110 回］解答と解説』白帝社
『中検 4 級試験問題 2025［第 111・112・113 回］解答と解説』白帝社

▌参考書

『改訂版　合格奪取! 中国語検定 4 級 トレーニングブック』アスク出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンスと実力確認テスト** 授業内容：授業の概要と中国語検定試験の対策について説明する。実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。	16回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：中国語検定試験の対策について説明する。実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前期の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。
2回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	17回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
3回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	18回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
4回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	19回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
5回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	20回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
6回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	21回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
7回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	22回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
8回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	23回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。

9回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業の過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	24回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
10回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	25回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
11回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	26回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
12回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	27回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
13回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	28回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
14回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。	29回	**授業テーマ：前回の復習と過去問題の解答** 授業内容：過去問題に解答する。正答を確認し、受講者が間違えた箇所を詳しく説明する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ過去問題を復習し、習熟していない単語を覚える。
15回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。	30回	**授業テーマ：実力確認テスト** 授業内容：実力確認テストを実施する。 事前学修 2.0hr：前回の授業で学んだ過去問題を復習し、確実に解答できるようにする。 事後学修 2.0hr：実力確認テストを復習し、習熟していない単語を覚える。

漢語基礎Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前2

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**小川　唯**（おがわ　ゆい）・**河村　昌子**（かわむら　しょうこ）・**曹　泰和**（そう　たいわ）・**中嶋　諒**（なかじま　りょう）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎Ⅰ」で行い、発音練習は「漢語会話Ⅰ」、実践的な応用練習を「漢語実践Ⅰ」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文Ⅰ」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語の基礎を身につけることを目標にします。
個別目標：①基礎的な文法が理解できる。
②基本構文を使った文を理解できる。
③ピンインを読むことができる。
④基礎的な語彙が身につく。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習すること。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を利用したドリルを解答する。また中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語基礎(上)』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：発音の基礎(単母音、声調、二重母音、子音)** 授業内容：教科書の発音編 1 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：介詞構造／状語(介詞構造)** 授業内容：教科書の第 12 課を学び、介詞構造の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻母、子音、三重母音)** 授業内容：教科書の発音編 2 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：目的語(動・動目)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 13 課を学び、「～するのが好き」などの表現や疑問代詞のある文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻尾、そり舌母音、ｒ化音)** 授業内容：教科書の発音編 3 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：助動詞** 授業内容：教科書の第 14 課を学び、助動詞の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：発音の基礎(ピンイン綴りのルール)** 授業内容：教科書の発音編 4 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：二重目的語／ 100 ～の数／金銭** 授業内容：教科書の第 15 課を学び、二重目的語を取る動詞や金銭などの数の表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：是／不／是不是** 授業内容：教科書の第 1 課を学び、「是」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：動態助詞の了** 授業内容：教科書の第 16 課を学び、動態助詞の「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：有／没有／有没有** 授業内容：教科書の第 2 課を学び、「有」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：語気助詞の了** 授業内容：教科書の第 17 課を学び、語気助詞の「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：動詞述語文** 授業内容：教科書の第 3 課を学び、動詞述語文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：経験／動作量／時間量** 授業内容：教科書の第 18 課を学び、経験の表現や動作量・時間量について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文／程度副詞／主述述語文** 授業内容：教科書の第 4 課を学び、形容詞述語文・程度副詞・主述述語文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：動作の進行** 授業内容：教科書の第 19 課を学び、動作の進行を表す文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
9回	**授業テーマ：目的語／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 5 課を学び、目的語のある文、疑問代詞のある文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：着** 授業内容：教科書の第 20 課を学び、動作・状態の持続を表す「着」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。

10回	**授業テーマ：定語(形容詞)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 6 課を学び、定語のある文、疑問代詞のある文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：快要～了** 授業内容：教科書の第 21 課を学び、変化を表す「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
11回	**授業テーマ：状語(副詞)／主語(動目)** 授業内容：教科書の第 7 課を学び、状語のある文、動詞＋目的語が主語となる文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：早口言葉** 授業内容：教科書の第 22 課を学び、早口言葉を通して発音や文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
12回	**授業テーマ：10 ～ 99 の数／名詞述語文／日付・曜日／年齢** 授業内容：教科書の第 8 課を学び、数字・日付・曜日・年齢の言い方や名詞述語文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：前期の復習(第 1 課～第 7 課)** 授業内容：教科書第 1 課から第 7 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 1 課～第 7 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：時間を表すことば／序数／状語(時点)** 授業内容：教科書の第 9 課を学び、時間や序数の表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：前期の復習(第 8 課～第 14 課)** 授業内容：教科書第 8 課から第 14 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 8 課～第 14 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：連動文／疑問代詞／選択疑問** 授業内容：教科書の第 10 課を学び、連動文・選択疑問文・疑問代詞のある文の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：前期の復習(第 15 課～第 21 課)** 授業内容：教科書第 15 課から第 21 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 15 課～第 21 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：場所を表すことば／存在** 授業内容：教科書の第 11 課を学び、場所や存在を表す文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した文法や語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語基礎Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後2

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**小川　唯**（おがわ　ゆい）・**河村　昌子**（かわむら　しょうこ）・**曹　泰和**（そう　たいわ）・**中嶋　諒**（なかじま　りょう）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎Ⅱ」で行い、発音練習は「漢語会話Ⅱ」、実践的な応用練習を「漢語実践Ⅱ」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文Ⅱ」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語の基礎的な文法、基本構文に習熟することを目標にします。
個別目標：①基礎的な文法が理解できる。
②基本構文を使った文の意味を理解できる。
③基礎的な語彙が身につく。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習すること。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点（70％）と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験（30％）の結果によります。
原則として5回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を利用したドリルを解答する。また中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語基礎（下）』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：定語（動詞句＋的）／定語（主述＋的）** 授業内容：教科書第 23 課を学び、「的」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：越A越B／越来越～** 授業内容：教科書第 38 課を学び、「越 A 越 B」構文について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：是～的／程度補語** 授業内容：教科書第 24 課を学び、「是～的」構文や程度補語について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：受身** 授業内容：教科書第 39 課を学び、受身表現の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：動詞の重ね型** 授業内容：教科書第 25 課を学び、動詞の重ね型の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：使役** 授業内容：教科書第 40 課を学び、使役表現の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：状語（形容詞）／形容詞の重ね型／地** 授業内容：教科書第 26 課を学び、形容詞の重ね型の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：概数／分数と％／倍数／小数** 授業内容：教科書第 41 課を学び、数の表現について理解を深める。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：結果補語／方向補語** 授業内容：教科書第 27 課を学び、補語の概要を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：反語** 授業内容：教科書第 42 課を学び、反語文について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：教科書第 28 課を学び、結果補語について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：総合的内容（短文）** 授業内容：短文読解を通じて総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：教科書第 29 課を学び、方向補語について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：総合的内容（短文続き）** 授業内容：短文読解を通じて総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：可能補語** 授業内容：教科書第 30 課を学び、可能補語について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：後期の復習（第 23 課～第 25 課）** 授業内容：教科書第 23 課から第 25 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 23 課～第 25 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9回	**授業テーマ：把（述語部分が動補構造のもの）** 授業内容：教科書第 31 課を学び、把構文について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：後期の復習（第 26 課～第 28 課）** 授業内容：教科書第 26 課から第 28 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 26 課～第 28 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10回	**授業テーマ：把（述語部分が状語・動作量・時間量を持つもの）** 授業内容：教科書第 32 課を学び、把構文について理解を深める。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：後期の復習（第 29 課～第 30 課）** 授業内容：教科書第 29 課から第 30 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 29 課～第 30 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

11回	**授業テーマ：状態補語** 授業内容：教科書第 33 課を学び、状態補語について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：後期の復習(第 31 課～第 33 課)** 授業内容：教科書第 31 課から第 33 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 31 課～第 33 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
12回	**授業テーマ：存現文(存在)** 授業内容：教科書第 34 課を学び、存現文(存在)について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：後期の復習(第 34 課～第 36 課)** 授業内容：教科書第 34 課から第 36 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 34 課～第 36 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：存現文(出現・消失)** 授業内容：教科書第 35 課を学び、存現文(出現・消失)について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：後期の復習(第 37 課～第 39 課)** 授業内容：教科書第 37 課から第 39 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 37 課～第 39 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：比較(比)／分量** 授業内容：教科書第 36 課を学び、「比」を用いた比較表現の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：後期の復習(第 40 課～第 42 課)** 授業内容：教科書第 40 課から第 42 課の文法・語彙を復習する。 事前学修 1.0hr：第 40 課～第 42 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：比較(有・没有)** 授業内容：教科書第 37 課を学び、「有」を用いた比較表現の文法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習，授業内テスト** 授業内容：後期に習得した文法や語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語基礎Ⅲ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**曹　泰和**（そう　たいわ）・**段　威**（だん　い）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎Ⅲ」「漢語会話Ⅲ」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎Ⅲ」では文法説明、解釈を、「漢語会話Ⅲ」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践Ⅲ」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：複文関連語句をはじめとする重要な構文、文法、語句の用法を学習し、実用的な中国語運用能力を習得するための基礎を固めます。
個別目標：①複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句の用法を理解する。
②複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使った文を理解できる。
③ステップアップ時期に習熟すべき語彙を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

受講クラスでの授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学中国語学科編『漢語楽園―漢語基礎Ⅲ・漢語会話Ⅲ―』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 1 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 12 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 12 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 2 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 2 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課の復習** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 3 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 3 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課のまとめ** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 4 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 4 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 13 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 13 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課の復習** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 14 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 14 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課のまとめ** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 15 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 15 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 5 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 5 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 16 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 16 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 6 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 6 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課の復習** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 7 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 7 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課のまとめ** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 8 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 8 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 17 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 17 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課の復習** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 18 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 18 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 5 課〜第 8 課のまとめ** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：第 19 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 19 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 9 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 9 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：第 20 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 20 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 10 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 10 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：第 17 課〜第 20 課の復習** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 11 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 11 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：第 17 課〜第 20 課のまとめ** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語基礎Ⅳ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**曹　泰和**（そう　たいわ）・**段　威**（だん　い）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎Ⅳ」「漢語会話Ⅳ」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎Ⅳ」では文法説明、解釈を、「漢語会話Ⅳ」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践Ⅳ」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：複文関連語句をはじめとする重要な構文、文法、語句の用法を学習し、実用的な中国語運用能力を習得するための基礎を固めます。
個別目標：①複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句の用法を理解する。
②複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使った文を理解できる。
③ステップアップ時期に習熟すべき語彙を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

受講クラスでの授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学中国語学科編『漢語楽園―漢語基礎Ⅳ・漢語会話Ⅳ―』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 1 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 12 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 12 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 2 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 2 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課の復習** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 3 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 3 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課のまとめ** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 4 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 4 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 13 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 13 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課の復習** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 14 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 14 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課のまとめ** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 15 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 15 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 5 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 5 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 16 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 16 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 6 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 6 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課の復習** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 7 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 7 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課のまとめ** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 8 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 8 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 17 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 17 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課の復習** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 18 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 18 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 5 課〜第 8 課のまとめ** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：第 19 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 19 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 9 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 9 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：第 20 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 20 課を学び、内容および語彙を理解する。 事前学修 1.0hr：辞書をひいて単語の意味を調べる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 10 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 10 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：第 17 課〜第 20 課の復習** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 11 課(語彙説明、本文解釈)** 授業内容：教科書第 11 課を学び、内容および学習のポイントを理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：第 17 課〜第 20 課のまとめ** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語会話Ⅰ

開講学科等：中　｜　1年次　｜　2単位　｜　開講期：前2

周　威兵（しゅう　いへい）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎Ⅰ」で行い、発音練習は「漢語会話Ⅰ」、実践的な応用練習を「漢語実践Ⅰ」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文Ⅰ」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語の基礎を身につけることを目標にします。
個別目標：①中国語を正しく発音できる。
　　②中国語で簡単なやりとりができる。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語会話』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：発音の基礎(単母音、声調、二重母音、子音)** 授業内容：教科書の発音編 1 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：介詞構造／状語(介詞構造)** 授業内容：教科書の第 12 課を学び、中国語会話を通じて介詞構造の文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻母、子音、三重母音)** 授業内容：教科書の発音編 2 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：目的語(動・動目)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 13 課を学び、中国語会話を通じて「～するのが好き」などの表現や疑問代詞のある文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻尾、そり舌母音、 r 化音)** 授業内容：教科書の発音編 3 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：助動詞** 授業内容：教科書の第 14 課を学び、中国語会話を通じて助動詞の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：発音の基礎(ピンイン綴りのルール)** 授業内容：教科書の発音編 4 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：二重目的語／100 ～の数／金銭** 授業内容：教科書の第 15 課を学び、中国語会話を通じて二重目的語を取る動詞や金銭などの数の表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：是／不／是不是** 授業内容：教科書の第 1 課を学び、中国語会話を通じて「是」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：動態助詞の了** 授業内容：教科書の第 16 課を学び、中国語会話を通じて動態助詞の「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：有／没有／有没有** 授業内容：教科書の第 2 課を学び、中国語会話を通じて「有」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：語気助詞の了** 授業内容：教科書の第 17 課を学び、中国語会話を通じて語気助詞の「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：動詞述語文** 授業内容：教科書の第 3 課を学び、中国語会話を通じて動詞述語文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：経験／動作量／時間量** 授業内容：教科書の第 18 課を学び、中国語会話を通じて経験の表現や動作量・時間量について理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文／程度副詞／主述述語文** 授業内容：教科書の第 4 課を学び、中国語会話を通じて形容詞述語文・程度副詞・主述述語文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：動作の進行** 授業内容：教科書の第 19 課を学び、中国語会話を通じて動作の進行を表す文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
9回	**授業テーマ：目的語／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 5 課を学び、中国語会話を通じて目的語のある文、疑問代詞のある文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：着** 授業内容：教科書の第 20 課を学び、中国語会話を通じて動作・状態の持続を表す「着」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。

10回	**授業テーマ：定語(形容詞)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 6 課を学び、中国語会話を通じて定語のある文、疑問代詞のある文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：快要～了** 授業内容：教科書の第 21 課を学び、中国語会話を通じて変化を表す「了」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
11回	**授業テーマ：状語(副詞)／主語(動目)** 授業内容：教科書の第 7 課を学び、中国語会話を通じて状語のある文、動詞＋目的語が主語となる文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：早口言葉** 授業内容：教科書の第 22 課を学び、早口言葉を通して発音や文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
12回	**授業テーマ：10 ～ 99 の数／名詞述語文／日付・曜日／年齢** 授業内容：教科書の第 8 課を学び、中国語会話を通じて数字・日付・曜日・年齢の言い方や名詞述語文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：前期の復習(第 1 課～第 7 課)** 授業内容：教科書第 1 課から第 7 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 1 課～第 7 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：時間を表すことば／序数／状語(時点)** 授業内容：教科書の第 9 課を学び、中国語会話を通じて時間や序数の表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：前期の復習(第 8 課～第 14 課)** 授業内容：教科書第 8 課から第 14 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 8 課～第 14 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：連動文／疑問代詞／選択疑問** 授業内容：教科書の第 10 課を学び、中国語会話を通じて連動文・選択疑問文・疑問代詞のある文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：前期の復習(第 15 課～第 21 課)** 授業内容：教科書第 15 課から第 21 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 15 課～第 21 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：場所を表すことば／存在** 授業内容：教科書の第 11 課を学び、中国語会話を通じて場所や存在を表す文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した発音・文法・語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語会話Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

周　威兵（しゅう いへい）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎Ⅱ」で行い、発音練習は「漢語会話Ⅱ」、実践的な応用練習を「漢語実践Ⅱ」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文Ⅱ」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語で簡単な会話を行う能力を身につけることを目標にします。
個別目標：①中国語を正しく発音できる。
②簡単な中国語を聞いて理解できる。
③中国語で簡単な会話ができる。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語会話』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：定語(動詞句＋的)／定語(主述＋的)** 授業内容：教科書の第 23 課を学び、中国語会話を通じて「的」の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：越A越B／越来越～** 授業内容：教科書の第 38 課を学び、中国語会話を通じて「越 A 越 B」構文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：是～的／程度補語** 授業内容：教科書の第 24 課を学び、中国語会話を通じて「是～的」構文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：受身** 授業内容：教科書の第 39 課を学び、中国語会話を通じて受身表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：動詞の重ね型** 授業内容：教科書の第 25 課を学び、中国語会話を通じて動詞の重ね型の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：使役** 授業内容：教科書の第 40 課を学び、中国語会話を通じて使役表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：状語(形容詞)／形容詞の重ね型／地** 授業内容：教科書の第 26 課を学び、中国語会話を通じて形容詞の重ね型の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：概数／分数と%／倍数／小数** 授業内容：教科書の第 41 課を学び、中国語会話を通じて数の表現について理解を深める。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：結果補語／方向補語** 授業内容：教科書の第 27 課を学び、中国語会話を通じて補語の概要を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：反語** 授業内容：教科書の第 42 課を学び、中国語会話を通じて反語表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：教科書の第 28 課を学び、中国語会話を通じて結果補語の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：総合的内容(短文)** 授業内容：短文音読を通じて総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：教科書の第 29 課を学び、中国語会話を通じて方向補語の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：総合的内容(短文続き)** 授業内容：短文音読を通じて総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：可能補語** 授業内容：教科書の第 30 課を学び、中国語会話を通じて可能補語の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：後期の復習(第 23 課～第 25 課)** 授業内容：第 23 課から第 25 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 23 課～第 25 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9回	**授業テーマ：把(述語部分が動補構造のもの)** 授業内容：教科書の第 31 課を学び、中国語会話を通じて把構文を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：後期の復習(第 26 課～第 28 課)** 授業内容：第 26 課から第 28 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 26 課～第 28 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10回	**授業テーマ：把(述語部分が状語・動作量・時間量を持つもの)** 授業内容：教科書の第 32 課を学び、中国語会話を通じて把構文について理解を深める。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：後期の復習(第 29 課～第 30 課)** 授業内容：第 29 課から第 30 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 29 課～第 30 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

11回	**授業テーマ：状態補語** 授業内容：教科書の第 33 課を学び、中国語会話を通じて状態補語の用法を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：後期の復習(第 31 課～第 33 課)** 授業内容：第 31 課から第 33 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 31 課～第 33 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
12回	**授業テーマ：存現文(存在)** 授業内容：教科書の第 34 課を学び、中国語会話を通じて存現文(存在)を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：後期の復習(第 34 課～第 36 課)** 授業内容：第 34 課から第 36 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 34 課～第 36 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：存現文(出現・消失)** 授業内容：教科書の第 35 課を学び、中国語会話を通じて存現文(出現・消失)を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：後期の復習(第 37 課～第 39 課)** 授業内容：第 37 課から第 39 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：第 37 課～第 39 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：比較(比)／分量** 授業内容：教科書の第 36 課を学び、中国語会話を通じて「比」を用いた比較表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：後期の復習(第 40 課～第 42 課)** 授業内容：第 40 課から第 42 課の発音・会話を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：比較(有・没有)** 授業内容：教科書の第 37 課を学び、中国語会話を通じて「有」を用いた比較表現を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：後期に習得した発音・文法・語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語会話Ⅲ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

翁　璟（おう　けい）・段　威（だん　い）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎Ⅲ」「漢語会話Ⅲ」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎Ⅲ」では文法説明、解釈を、「漢語会話Ⅲ」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践Ⅲ」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：複文関連語句をはじめとする重要な構文、文法、語句の用法を学習し、実用的な中国語運用能力を習得するための基礎を固めます。
個別目標：①複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使った文を、聴いて理解できる。
②複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使って、センテンスが話せるようになる。
③ステップアップ時期に習熟すべき語彙を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

受講クラスでの授業内テスト、平常点（70 %）と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験（30 %）の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学中国語学科編『漢語楽園―漢語基礎Ⅲ・漢語会話Ⅲ―』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 1 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 12 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 12 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 2 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 2 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課の復習** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 3 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 3 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課のまとめ** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 4 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 4 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 13 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 13 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課の復習** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 14 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 14 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課のまとめ** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 15 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 15 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 5 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 5 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 16 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 16 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 6 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 6 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課の復習** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 7 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 7 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課のまとめ** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 8 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 8 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 17 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 17 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課の復習** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 18 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 18 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課のまとめ** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みのテキストを音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：第 19 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 19 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 9 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 9 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：第 20 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 20 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 10 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 10 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：第 17 課～第 20 課の復習** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 11 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 11 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：第 17 課～第 20 課のまとめ** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語会話Ⅳ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

翁　璟（おう　けい）・段　威（だん　い）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎Ⅳ」「漢語会話Ⅳ」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎Ⅳ」では文法説明、解釈を、「漢語会話Ⅳ」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践Ⅳ」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：複文関連語句をはじめとする重要な構文、文法、語句の用法を学習し、実用的な中国語運用能力を習得するための基礎を固めます。
個別目標：①複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使った文を、聴いて理解できる。
②複文関連語句をはじめとする、ステップアップ時期に習熟すべき構文、文法、語句を使って、センテンスが話せるようになる。
③ステップアップ時期に習熟すべき語彙を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

受講クラスでの授業内テスト、平常点（70 %）と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験（30 %）の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学中国語学科編『漢語楽園―漢語基礎Ⅳ・漢語会話Ⅳ―』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 1 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 12 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 12 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 2 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 2 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課の復習** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 3 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 3 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課～第 12 課のまとめ** 授業内容：教科書第 9 課から第 12 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 4 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 4 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 13 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 13 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課の復習** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 14 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 14 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 1 課～第 4 課のまとめ** 授業内容：教科書第 1 課から第 4 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 15 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 15 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 5 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 5 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 16 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 16 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 6 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 6 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課の復習** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 7 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 7 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 13 課～第 16 課のまとめ** 授業内容：教科書第 13 課から第 16 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 8 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 8 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 17 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 17 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課の復習** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 18 課（本文音読、会話練習）** 授業内容：教科書第 18 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 5 課～第 8 課のまとめ** 授業内容：教科書第 5 課から第 8 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：第 19 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 19 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 9 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 9 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：第 20 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 20 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 10 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 10 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：第 17 課～第 20 課の復習** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の発音・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 11 課(本文音読、会話練習)** 授業内容：教科書第 11 課の本文音読および会話練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：第 17 課～第 20 課のまとめ** 授業内容：教科書第 17 課から第 20 課の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

中級漢語 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

張　先煜（ちょう　せんいく）・**中島　祝**（なかじま　はじめ）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）・**余　瀾**（よ　らん）

▌授業の概要

1、2 年次における中国語学習の成果をもとに、もう一段高い中国語運用能力の習得を目指します。
授業は週に 2 回あります。各課の 1 回目の授業では、テキスト本文を用いた語彙・文法の説明とパターンプラクティスを行います。第 2 回目は、徹底した対話練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：実社会における話題にも対応できる中国語運用能力を身につける。
個別目標：①特定の話題についての、ある程度長い文を聴いて理解できる。
②特定の話題について、中国語である程度詳しく説明することができる。
③特定の話題に関わる、応用的な語彙力を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学習した内容を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点によります。原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報演習室で PC を利用して授業を行う場合がある。また中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『中級漢語 I 』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 1 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 8 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 8 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 8 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 1 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 1 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 1 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 9 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 2 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 2 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 9 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 9 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 2 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 2 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 2 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 10 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 10 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 3 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 3 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 10 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 10 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 10 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 3 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 3 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 3 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 11 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 11 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 4 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 4 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 11 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 11 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 11 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 4 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 4 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 4 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 12 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 12 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 5 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 5 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 12 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 12 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 12 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 5 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 5 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 5 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 13 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 13 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 6 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 6 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 13 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 13 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 13 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 6 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 6 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 6 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 1 課から第 5 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 1-5 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 7 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 7 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 6 課から第 9 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 6-9 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 7 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 7 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 7 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 10 課から第 13 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 10-13 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 8 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 8 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した中国語運用能力の到達度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

中級漢語Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

張　先煜（ちょう　せんいく）・**中島　祝**（なかじま　はじめ）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）・**余　瀾**（よ　らん）

▌授業の概要

1、2 年次における中国語学習の成果をもとに、もう一段高い中国語能力の習得を目指します。
授業は週に 2 回あります。各課の 1 回目の授業では、テキスト本文を用いた語彙・文法の説明とパターンプラクティスを行います。第 2 回目は、徹底した対話練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：実社会における話題にも対応できる中国語運用能力を身につける。
個別目標：①特定の話題についての、ある程度長い文を聴いて理解できる。
②特定の話題について、中国語である程度詳しく説明することができる。
③特定の話題に関わる、応用的な語彙力を身につける。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学習した内容を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点によります。原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （情報演習室で PC を利用して授業を行う場合がある。また中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『中級漢語Ⅱ』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 1 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 8 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 8 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 8 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 1 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 1 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 1 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 9 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 2 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 2 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 9 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 9 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 2 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 2 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 2 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 10 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 10 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 3 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 3 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 10 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 10 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 10 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 3 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 3 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 3 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 11 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 11 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 4 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 4 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 11 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 11 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 11 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 4 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 4 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 4 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 12 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 12 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 5 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 5 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 12 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 12 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 12 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 5 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 5 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 5 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 13 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 13 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11 回	**授業テーマ：第 6 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 6 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26 回	**授業テーマ：第 13 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 13 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 13 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：第 6 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 6 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 6 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 1 課から第 5 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 1-5 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 7 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 7 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 6 課から第 9 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 6-9 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 7 課（音読、対話練習）** 授業内容：教科書第 7 課の音読、対話練習を行う。 事前学修 1.0hr：第 7 課の単語と本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：復習(音読、対話練習)** 授業内容：教科書第 10 課から第 13 課の音読、対話練習を行い、重要表現を復習する。 事前学修 1.0hr：第 10-13 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 8 課（語彙説明、本文解釈）** 授業内容：教科書第 8 課を学び、語彙、内容を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：復習、授業内テスト** 授業内容：後期に習得した中国語運用能力の到達度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語実践Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前2

王　丹（おう　たん）・神崎　龍志（かんざき　たつし）・小川　唯（おがわ　ゆい）・高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎Ⅰ」で行い、発音練習は「漢語会話Ⅰ」、実践的な応用練習を「漢語実践Ⅰ」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文Ⅰ」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語の基礎を身につけることを目標にします。
個別目標：①基本構文を使って話すことができる。
　　②場面に応じた語彙力を身につける。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を利用したドリルを解答する。また中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語実践　第 2 版』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：発音の基礎(単母音、声調、二重母音、子音)** 授業内容：教科書の発音編 1 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：介詞構造／状語(介詞構造)** 授業内容：教科書の第 12 課を学び、場面設定の下で介詞構造の文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻母、子音、三重母音)** 授業内容：教科書の発音編 2 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：目的語(動・動目)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 13 課を学び、場面設定の下で「～するのが好き」などの表現や疑問代詞のある文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻尾、そり舌母音、 r 化音)** 授業内容：教科書の発音編 3 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：助動詞** 授業内容：教科書の第 14 課を学び、場面設定の下で助動詞の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：発音の基礎(挨拶を用いた総復習)** 授業内容：教科書の発音編 4 を学び、発音の基礎を身につける。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：二重目的語／100 ～の数／金銭** 授業内容：教科書の第 15 課を学び、場面設定の下で二重目的語を取る動詞や金銭などの数の表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：是／不／是不是** 授業内容：教科書の第 1 課を学び、場面設定の下で「是」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：動態助詞の了** 授業内容：教科書の第 16 課を学び、場面設定の下で動態助詞の「了」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：有／没有／有没有** 授業内容：教科書の第 2 課を学び、場面設定の下で「有」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：語気助詞の了** 授業内容：教科書の第 17 課を学び、場面設定の下で語気助詞の「了」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：動詞述語文** 授業内容：教科書の第 3 課を学び、場面設定の下で動詞述語文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：経験／動作量／時間量** 授業内容：教科書の第 18 課を学び、場面設定の下で経験の表現や動作量・時間量について練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文／程度副詞／主述述語文** 授業内容：教科書の第 4 課を学び、場面設定の下で形容詞述語文・程度副詞・主述述語文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：動作の進行** 授業内容：教科書の第 19 課を学び、場面設定の下で動作の進行を表す文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
9回	**授業テーマ：目的語／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 5 課を学び、場面設定の下で目的語のある文、疑問代詞のある文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：着** 授業内容：教科書の第 20 課を学び、場面設定の下で動作・状態の持続を表す「着」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。

10回	**授業テーマ：定語(形容詞)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 6 課を学び、場面設定の下で定語のある文、疑問代詞のある文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：快要～了** 授業内容：教科書の第 21 課を学び、場面設定の下で変化を表す「了」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
11回	**授業テーマ：状語(副詞)／主語(動目)** 授業内容：教科書の第 7 課を学び、場面設定の下で状語のある文、動詞＋目的語が主語となる文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：語彙の拡充(地名、時間、方位詞)** 授業内容：教科書の第 22 課を学び、場面設定の下で語彙を拡充する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
12回	**授業テーマ：10 ～ 99 の数／名詞述語文／日付・曜日／年齢** 授業内容：教科書の第 8 課を学び、場面設定の下で数字・日付・曜日・年齢の言い方や名詞述語文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：前期の復習(第 1 課～第 7 課)** 授業内容：教科書第 1 課から第 7 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：時間を表すことば／序数／状語(時点)** 授業内容：教科書の第 9 課を学び、場面設定の下で時間や序数の表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：前期の復習(第 8 課～第 14 課)** 授業内容：教科書第 8 課から第 14 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：連動文／疑問代詞／選択疑問** 授業内容：教科書の第 10 課を学び、場面設定の下で連動文・選択疑問文・疑問代詞のある文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：前期の復習(第 15 課～第 22 課)** 授業内容：教科書第 15 課から第 22 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：場所を表すことば／存在** 授業内容：教科書の第 11 課を学び、場面設定の下で場所や存在を表す文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した文法や語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語実践Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

王　丹（おう　たん）・**神崎　龍志**（かんざき　たつし）・**小川　唯**（おがわ　ゆい）・**高田　誠**（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎Ⅱ」で行い、発音練習は「漢語会話Ⅱ」、実践的な応用練習を「漢語実践Ⅱ」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文Ⅱ」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：与えられた場面に応じて、簡単な会話ができる能力を身につけることを目標にします。
個別目標：①場面に応じて基本構文を使って話すことができる。
②場面に応じた発展的な語彙力を身につける。
③場面に応じて中国語で簡単な会話ができる。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba を利用したドリルを解答する。また中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語実践　第 2 版』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：定語(動詞句＋的)／定語(主述＋的)** 授業内容：教科書第 23 課を学び、場面設定の下で「的」の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：越A越B／越来越～** 授業内容：教科書第 38 課を学び、場面設定の下で「越 A 越 B」構文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：是～的／程度補語** 授業内容：教科書第 24 課を学び、場面設定の下で「是～的」構文や程度補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：受身** 授業内容：教科書第 39 課を学び、場面設定の下で受身表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：動詞の重ね型** 授業内容：教科書第 25 課を学び、場面設定の下で動詞の重ね型を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：使役** 授業内容：教科書第 40 課を学び、場面設定の下で使役表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：状語(形容詞)／形容詞の重ね型／地** 授業内容：教科書第 26 課を学び、場面設定の下で形容詞の重ね型を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：概数／分数と%／倍数／小数** 授業内容：教科書第 41 課を学び、場面設定の下で数の表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：結果補語／方向補語** 授業内容：教科書第 27 課を学び、場面設定の下で補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：反語** 授業内容：教科書第 42 課を学び、場面設定の下で反語表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：教科書第 28 課を学び、場面設定の下で結果補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：量詞** 授業内容：教科書第 43 課を学び、場面設定の下で量詞の用法を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：教科書第 29 課を学び、場面設定の下で方向補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：副詞、複文** 授業内容：教科書第 44 課を学び、場面設定の下で複文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：可能補語** 授業内容：教科書第 30 課を学び、場面設定の下で可能補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：後期の復習(第 23 課～第 25 課)** 授業内容：教科書第 23 課から第 25 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 23 課～第 25 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9回	**授業テーマ：把(述語部分が動補構造のもの)** 授業内容：教科書第 31 課を学び、場面設定の下で把構文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：後期の復習(第 26 課～第 28 課)** 授業内容：教科書第 26 課から第 28 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 26 課～第 28 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10回	**授業テーマ：把(述語部分が状語・動作量・時間量を持つもの)** 授業内容：教科書第 32 課を学び、場面設定の下で把構文を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：後期の復習(第 29 課～第 31 課)** 授業内容：教科書第 29 課から第 31 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 29 課～第 31 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

11回	**授業テーマ：状態補語** 授業内容：教科書第 33 課を学び、場面設定の下で状態補語を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：後期の復習(第 32 課～第 34 課)** 授業内容：教科書第 32 課から第 34 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 32 課～第 34 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
12回	**授業テーマ：存現文(存在)** 授業内容：教科書第 34 課を学び、場面設定の下で存現文(存在)を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：後期の復習(第 35 課～第 37 課)** 授業内容：教科書第 35 課から第 37 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 35 課～第 37 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：存現文(出現・消失)** 授業内容：教科書第 35 課を学び、場面設定の下で存現文(出現・消失)を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：後期の復習(第 38 課～第 40 課)** 授業内容：教科書第 38 課から第 40 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 38 課～第 40 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：比較(比)／分量** 授業内容：教科書第 36 課を学び、場面設定の下で「比」を用いた比較表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：後期の復習(第 41 課～第 44 課)** 授業内容：教科書第 41 課から第 44 課を総合的に復習する。 事前学修 1.0hr：第 41 課～第 44 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：比較(有・没有)** 授業内容：教科書 37 課を学び、場面設定の下で「有」を用いた比較表現を練習する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：後期に習得した文法や語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語実践Ⅲ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 2

神崎　龍志（かんざき　たつし）・**高田　誠**（たかだ　まこと）・**南　勇**（なん　ゆう）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎Ⅲ」「漢語会話Ⅲ」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎Ⅲ」では文法説明、解釈を、「漢語会話Ⅲ」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践Ⅲ」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：平易な日常会話からビジネス現場での表現まで、作文を導入として、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行い、実用的な中国語運用能力を習得することを目指します。
個別目標：①平易な文を、一定のスピードで作文できるようになる。
②平易な文をシャドウイングで話せるようになる。
③ビジネス現場で用いる表現を組み立てることができる。
④ビジネス現場で用いる表現をシャドウイングで話せるようになる。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

受講クラスでの授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （口頭発表等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『漢語自在 大学生のためのシャドウイング　漢語実践Ⅲ・漢語実践Ⅳ』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 1 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 1 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 8 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 8 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 1 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 1 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 9 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 9 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 2 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 2 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 9 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 9 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 2 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 2 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 10 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 10 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 3 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 3 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 10 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 10 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 3 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 3 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 11 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 11 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 4 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 4 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 11 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 11 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 4 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 4 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 12 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 12 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 5 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 5 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 12 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 12 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 5 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 5 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 13 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 13 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

11回	**授業テーマ：第 6 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 6 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26回	**授業テーマ：第 13 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 13 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
12回	**授業テーマ：第 6 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 6 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 1 課から第 5 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 1-5 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 7 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 7 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 6 課から第 9 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 6-9 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 7 課（シャドウイング）** 授業内容：教科書第 7 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 10 課から第 13 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 10-13 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 8 課（作文、音読）** 授業内容：教科書第 8 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した中国語運用能力の到達度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語実践Ⅳ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

神崎　龍志（かんざき　たつし）・**高田　誠**（たかだ　まこと）・**南　勇**（なん　ゆう）・**馬場　将三**（ばば　しょうぞう）

▌授業の概要

1 年次において習得した基礎的な文法、基本構文や語彙の知識を前提に、さらに語彙を拡充し、より高度な文法、構文、語句の用法を学びます。
「漢語基礎Ⅳ」「漢語会話Ⅳ」では、会話体の文、記述式の文章を使い、「漢語基礎Ⅳ」では文法説明、解釈を、「漢語会話Ⅳ」では発音および口頭による練習を行います。「漢語実践Ⅳ」では、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：平易な日常会話からビジネス現場での表現まで、作文を導入として、シャドウイングを中心に、実践的な応用練習を行い、実用的な中国語運用能力を習得することを目指します。

個別目標：①平易な文を、一定のスピードで作文できるようになる。
②平易な文をシャドウイングで話せるようになる。
③ビジネス現場で用いる表現を組み立てることができる。
④ビジネス現場で用いる表現をシャドウイングで話せるようになる。

▌履修条件

無断欠席をしないこと。
授業で学んだことを繰り返し復習すること。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （口頭発表等）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『漢語自在 大学生のためのシャドウイング　漢語実践Ⅲ・漢語実践Ⅳ』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：第 14 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 14 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	16 回	**授業テーマ：第 21 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 21 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
2 回	**授業テーマ：第 14 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 14 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	17 回	**授業テーマ：第 22 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 22 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
3 回	**授業テーマ：第 15 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 15 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	18 回	**授業テーマ：第 22 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 22 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
4 回	**授業テーマ：第 15 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 15 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	19 回	**授業テーマ：第 23 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 23 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
5 回	**授業テーマ：第 16 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 16 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	20 回	**授業テーマ：第 23 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 23 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
6 回	**授業テーマ：第 16 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 16 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	21 回	**授業テーマ：第 24 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 24 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
7 回	**授業テーマ：第 17 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 17 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	22 回	**授業テーマ：第 24 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 24 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
8 回	**授業テーマ：第 17 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 17 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	23 回	**授業テーマ：第 25 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 25 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9 回	**授業テーマ：第 18 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 18 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	24 回	**授業テーマ：第 25 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 25 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10 回	**授業テーマ：第 18 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 18 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	25 回	**授業テーマ：第 26 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 26 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

11回	**授業テーマ：第 19 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 19 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	26回	**授業テーマ：第 26 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 26 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
12回	**授業テーマ：第 19 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 19 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	27回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 14 課から第 18 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 14-18 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：第 20 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 20 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	28回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 19 課から第 22 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 19-22 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：第 20 課(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 20 課のシャドウイングと応用練習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの本文を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	29回	**授業テーマ：復習(シャドウイング)** 授業内容：教科書第 23 課から第 26 課のシャドウイングと復習を行う。 事前学修 1.0hr：第 23-26 課を音読してくる。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：第 21 課(作文、音読)** 授業内容：教科書第 21 課の作文、音読により文法事項を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。	30回	**授業テーマ：復習、授業内テスト** 授業内容：後期に習得した中国語運用能力の到達度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語作文Ⅰ

開講学科等：中　｜　1年次　｜　2単位　｜　開講期：前2

張　先煜（ちょう　せんいく）・**中桐　典子**（なかぎり　のりこ）・**劉　磊**（りゅう　らい）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎Ⅰ」で行い、発音練習は「漢語会話Ⅰ」、実践的な応用練習を「漢語実践Ⅰ」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文Ⅰ」で行います。なお、Kクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：中国語の基礎を身につけることを目標にします。
個別目標：①簡体字を正しく書くことができる。
②ピンインを正しく書くことができる。
③基本構文を使った文を書くことができる。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語作文』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：発音の基礎(単母音、声調、二重母音、子音)** 授業内容：教科書の発音編 1 を学び、発音表記を理解する。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：介詞構造／状語(介詞構造)** 授業内容：教科書の第 12 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻母、子音、三重母音)** 授業内容：教科書の発音編 2 を学び、発音表記を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：目的語(動・動目)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 13 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：発音の基礎(鼻韻尾、そり舌母音、ｒ化音)** 授業内容：教科書の発音編 3 を学び、発音表記を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：助動詞** 授業内容：教科書の第 14 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：発音の基礎(ピンイン綴りのルール)** 授業内容：教科書の発音編 4 を学び、発音表記を理解する。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：二重目的語／100 ～の数／金銭** 授業内容：教科書の第 15 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：是／不／是不是** 授業内容：教科書の第 1 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：動態助詞の了** 授業内容：教科書の第 16 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：有／没有／有没有** 授業内容：教科書の第 2 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：語気助詞の了** 授業内容：教科書の第 17 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：動詞述語文** 授業内容：教科書の第 3 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：経験／動作量／時間量** 授業内容：教科書の第 18 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：形容詞述語文／程度副詞／主述述語文** 授業内容：教科書の第 4 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：動作の進行** 授業内容：教科書の第 19 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
9回	**授業テーマ：目的語／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 5 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：着** 授業内容：教科書の第 20 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
10回	**授業テーマ：定語(形容詞)／疑問代詞** 授業内容：教科書の第 6 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：快要～了** 授業内容：教科書第 21 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
11回	**授業テーマ：状語(副詞)／主語(動目)** 授業内容：教科書の第 7 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：前期の復習(発音編)** 授業内容：発音表記の総復習を行う。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。

12回	**授業テーマ：10 ～ 99 の数／名詞述語文／日付・曜日／年齢** 授業内容：教科書の第 8 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：前期の復習（第 1 課～第 7 課）** 授業内容：教科書第 1 課から第 7 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 1 課～第 7 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：時間を表すことば／序数／状語（時点）** 授業内容：教科書の第 9 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：前期の復習（第 8 課～第 14 課）** 授業内容：教科書第 8 課から第 14 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 8 課～第 14 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：連動文／疑問代詞／選択疑問** 授業内容：教科書の第 10 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：前期の復習（第 15 課～第 21 課）** 授業内容：教科書第 15 課から第 21 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 15 課～第 21 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：場所を表すことば／存在** 授業内容：教科書の第 11 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：前期に習得した表記・語彙・文法の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：前期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：前期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

漢語作文Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 2

張　先煜（ちょう　せんいく）・**中桐　典子**（なかぎり　のりこ）・**劉　磊**（りゅう　らい）

▌授業の概要

中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習します。文法説明、本文解釈は「漢語基礎Ⅱ」で行い、発音練習は「漢語会話Ⅱ」、実践的な応用練習を「漢語実践Ⅱ」で行います。また、同じ進度で、文章作成力の養成を「漢語作文Ⅱ」で行います。なお、Ｋクラスの教材、講義内容については、履修者の状況に応じて変更されることがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：ピンインを習得し、中国語で簡単な文を作る能力を身につけることを目標にします。
個別目標：①簡体字を正しく書くことができる。
②ピンインを正しく書くことができる。
③基本構文を使った文を書くことができる。

▌履修条件

授業に必ず出席すること。
学習した課を復習しておくこと。

▌評価基準・方法

授業内テスト、平常点(70 %)と、定期試験期間中に行われる中国語統一試験(30 %)の結果によります。
原則として 5 回以上欠席の者は、試験の受験を認めません。

▌フィードバック方法

授業における解説およびテスト返却によりフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書

明海大学外国語学部中国語学科編『シリーズで学ぶ中国語　漢語作文』東方書店

▌参考書

『中日辞典』小学館、『講談社中日辞典』講談社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：定語(動詞句＋的)／定語(主述＋的)** 授業内容：教科書の第 23 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	16回	**授業テーマ：越Ａ越Ｂ／越来越～** 授業内容：教科書の第 38 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
2回	**授業テーマ：是～的／程度補語** 授業内容：教科書の第 24 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	17回	**授業テーマ：受身** 授業内容：教科書の第 39 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
3回	**授業テーマ：動詞の重ね型** 授業内容：教科書の第 25 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	18回	**授業テーマ：使役** 授業内容：教科書の第 40 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
4回	**授業テーマ：状語(形容詞)／形容詞の重ね型／地** 授業内容：教科書の第 26 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	19回	**授業テーマ：概数／分数と%／倍数／小数** 授業内容：教科書の第 41 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
5回	**授業テーマ：結果補語／方向補語** 授業内容：教科書の第 27 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	20回	**授業テーマ：反語** 授業内容：教科書の第 42 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
6回	**授業テーマ：結果補語** 授業内容：教科書の第 28 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	21回	**授業テーマ：総合的内容(短文)** 授業内容：短文読解を通じて総復習を行います。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
7回	**授業テーマ：方向補語** 授業内容：教科書の第 29 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	22回	**授業テーマ：総合的内容(短文続き)** 授業内容：短文読解を通じて総復習を行います。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。
8回	**授業テーマ：可能補語** 授業内容：教科書の第 30 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	23回	**授業テーマ：後期の復習(第 23 課～第 25 課)** 授業内容：教科書第 23 課から第 25 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 23 課～第 25 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
9回	**授業テーマ：把(述語部分が動補構造のもの)** 授業内容：教科書の第 31 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	24回	**授業テーマ：後期の復習(第 26 課～第 28 課)** 授業内容：教科書第 26 課から第 28 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 26 課～第 28 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
10回	**授業テーマ：把(述語部分が状語・動作量・時間量を持つもの)** 授業内容：教科書の第 32 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	25回	**授業テーマ：後期の復習(第 29 課～第 30 課)** 授業内容：教科書第 29 課から第 30 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 29 課～第 30 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
11回	**授業テーマ：状態補語** 授業内容：教科書の第 33 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	26回	**授業テーマ：後期の復習(第 31 課～第 33 課)** 授業内容：教科書第 31 課から第 33 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 31 課～第 33 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。

12回	**授業テーマ：存現文(存在)** 授業内容：教科書の第 34 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	27回	**授業テーマ：後期の復習(第 34 課～第 36 課)** 授業内容：教科書第 34 課から第 36 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 34 課～第 36 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
13回	**授業テーマ：存現文(出現・消失)** 授業内容：教科書の第 35 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	28回	**授業テーマ：後期の復習(第 37 課～第 39 課)** 授業内容：教科書第 37 課から第 39 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 37 課～第 39 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
14回	**授業テーマ：比較(比)／分量** 授業内容：教科書の第 36 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	29回	**授業テーマ：後期の復習(第 40 課～第 42 課)** 授業内容：教科書第 40 課から第 42 課の表記・語彙・文法を復習する。 事前学修 1.0hr：第 40 課～第 42 課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した内容を確認し、音読する。
15回	**授業テーマ：比較(有・没有)** 授業内容：教科書の第 37 課を学び、筆記を通じて語彙・文法を定着させる。 事前学修 1.0hr：学習済みの課を音読する。 事後学修 1.0hr：学習した課を音読する。	30回	**授業テーマ：全体の復習、授業内テスト** 授業内容：後期に習得した表記・文法・語彙の理解度を確認する。 事前学修 1.0hr：後期の内容を復習する。 事後学修 1.0hr：後期を振り返り、今後の学修計画を立てる。

中国語Ⅰ-a

開講学科等：日英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

于　明明（う　めいめい）・中島　祝（なかじま　はじめ）・馬場　将三（ばば　しょうぞう）・劉　磊（りゅう　らい）

▌授業の概要

明海大学のディプロマ・ポリシーにあるように、社会性を養い合理的な精神で課題を解決していくためには、言語によるコミュニケーションが欠かせない。本学外国語学部における複言語・複文化の考え方に基づき、中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習し、はじめて学ぶ学生でも日常会話による意思疎通ができるよう、実践的な練習を通して初級中国語を学ぶ。中国語Ⅱ-a と連携して講義を進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3）

一般目標：基礎的な単語を修得し、基本となる日常会話ができ、簡単な文章を読み書きできることを目標とする。
個別目標：基礎となる単語を習得し、基本文型を理解し使えるようになることを目標とする。HSK2 級程度を目標とする。

▌履修条件

指定された教科書を必ず購入すること。中国語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験 80 %、授業内における参加姿勢及び発言等 20 %に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

相原茂・朱怡穎著『ニーハオ！ ニッポンーふりむけば、中国語』朝日出版社。

▌参考書

講義中に適宜指摘する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国語の特徴について** 授業内容：中国語の特徴や共通語について。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語の復習。
2回	**授業テーマ：テキスト発音第１課の学習。** 授業内容：声調、単母音、複母音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語を再度予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第１課の復習。
3回	**授業テーマ：テキスト発音第２課の学習。** 授業内容：無気音と有気音、そり舌音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第２課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第２課の復習。
4回	**授業テーマ：テキスト発音第３課の学習。** 授業内容：鼻音を伴う母音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第３課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第３課の復習。
5回	**授業テーマ：テキスト発音第４課の学習。** 授業内容：声調変化、軽声等。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第４課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第４課の復習。
6回	**授業テーマ：テキスト第５課の学習(文法)。** 授業内容：人称代名詞、動詞述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第５課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第５課の文法復習。
7回	**授業テーマ：テキスト第５課の学習(課文)。** 授業内容：空港での会話練習。 事前学修 0.5hr：テキスト第５課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第５課の復習。
8回	**授業テーマ：テキスト第６課の学習(文法)。** 授業内容：助動詞、指示代名詞など。 事前学修 0.5hr：テキスト第６課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第６課の文法復習。
9回	**授業テーマ：テキスト第６課の学習(課文)。** 授業内容：ホテルチェックインでの会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第６課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第６課の復習。
10回	**授業テーマ：テキスト第７課の学習(文法)。** 授業内容：疑問詞、形容詞述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第７課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第７課の文法復習。
11回	**授業テーマ：テキスト第７課の学習(課文)。** 授業内容：夜景に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第７課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第７課の復習。
12回	**授業テーマ：テキスト第８課の学習(文法)。** 授業内容：連動文、時間量の言い方について。 事前学修 0.5hr：テキスト第８課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第８課の文法復習。

13回	**授業テーマ：テキスト第８課の学習(課文)。** 授業内容：交通機関における会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第８課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第８課の復習。
14回	**授業テーマ：テキスト第９課の学習(文法)。** 授業内容：疑問詞、通貨の単位。 事前学修 0.5hr：テキスト第９課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第９課の文法復習。
15回	**授業テーマ：テキスト第９課の学習(課文)。** 授業内容：店舗での会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第９課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第９課の復習。

中国語Ⅰ-b

開講学科等：日英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

于　明明（う　めいめい）・中島　祝（なかじま　はじめ）・馬場　将三（ばば　しょうぞう）・劉　磊（りゅう　らい）

▌授業の概要

明海大学のディプロマ・ポリシーにあるように、社会性を養い合理的な精神で課題を解決していくためには、言語によるコミュニケーションが欠かせない。本学外国語学部における複文化・複言語の考え方に基づき、中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習し、はじめて学ぶ学生でも日常会話による意思疎通ができるよう、初級中国語を学ぶ。中国語Ⅱ-b と連携して講義を進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3）

一般目標：基礎的な単語を修得し、基本となる日常会話ができ、簡単な文章を読み書きできることを目標とする。
個別目標：基礎となる単語を習得し、基本文型を理解し使えるようになることを目標とする。HSK3 級程度を目標とする。

▌履修条件

指定された教科書を必ず購入すること。中国語Ⅰ-a を履修していることが望ましい。中国語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(小テストを含む)などにより 80 %、課題への積極性等 20 %に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

相原茂・朱怡穎著『ニーハオ！ ニッポンーふりむけば、中国語』朝日出版社。

▌参考書

講義中に適宜指摘する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テキスト第１０課の学習(文法)。** 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方。 事前学修 0.5hr：テキスト第１０課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１０課の文法復習。
2回	**授業テーマ：テキスト第１０課の学習(課文)。** 授業内容：花火大会における会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１０課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１０課の復習。
3回	**授業テーマ：テキスト第１１課の学習(文法)。** 授業内容：副詞および一部の前置詞。 事前学修 0.5hr：テキスト第１１課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１１課の文法復習。
4回	**授業テーマ：テキスト第１１課の学習(課文)。** 授業内容：日本の雑貨に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１１課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１１課の復習。
5回	**授業テーマ：テキスト第１２課の学習(文法)。** 授業内容：時刻の言い方、反復疑問文、動詞の重ね型。 事前学修 0.5hr：テキスト第１２課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１２課の文法復習。
6回	**授業テーマ：テキスト第１２課の学習(課文)。** 授業内容：食事に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１２課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１２課の復習。
7回	**授業テーマ：テキスト第１３課の学習(文法)。** 授業内容：進行形、選択疑問文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１３課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１３課の文法復習。
8回	**授業テーマ：テキスト第１３課の学習(課文)。** 授業内容：デザートに関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１３課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１３課の復習。
9回	**授業テーマ：テキスト第１４課の学習。** 授業内容：持続を表す言い方、能願動詞。 事前学修 0.5hr：テキスト第１４課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１４課の復習。
10回	**授業テーマ：テキスト第１５課の学習。** 授業内容：結果補語、方向補語。 事前学修 0.5hr：テキスト第１５課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１５課の復習。
11回	**授業テーマ：テキスト第１６課の学習。** 授業内容：様態補語。 事前学修 0.5hr：テキスト第１６課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１６課の復習。
12回	**授業テーマ：テキスト第１７課の学習。** 授業内容：可能補語、主述述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１７課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１７課の復習。

13回	**授業テーマ：テキスト第１８課の学習。** 授業内容：強調構文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１８課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第１８課の復習。
14回	**授業テーマ：テキスト第１９課の学習。** 授業内容：反語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１９課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第１９課の復習。
15回	**授業テーマ：テキスト第２０課の学習。** 授業内容：近い未来、受け身の言い方など。 事前学修 0.5hr：テキスト第２０課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第２０課の復習。

中国語Ⅱ-a

開講学科等：日英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

王　丹（おう　たん）・高田　誠（たかだ　まこと）・南　勇（なん　ゆう）・劉　磊（りゅう　らい）

▌授業の概要

明海大学のディプロマ・ポリシーにあるように、社会性を養い合理的な精神で課題を解決していくためには、言語によるコミュニケーションが欠かせない。本学外国語学部における複言語・複文化の考え方に基づき、中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習し、はじめて学ぶ学生でも日常会話による意思疎通ができるよう、実践的な練習を通して初級中国語を学ぶ。中国語Ⅰ-a と連携して講義を進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3）

一般目標：基礎的な単語を修得し、基本となる日常会話ができ、簡単な文章を読み書きできることを目標とする。
個別目標：基礎となる単語を習得し、基本文型を理解し使えるようになることを目標とする。HSK2 級程度を目標とする。

▌履修条件

指定された教科書を必ず購入すること。中国語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験 80 %、授業内における参加姿勢及び発言等 20 %に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

相原茂・朱怡穎著『ニーハオ！ ニッポンーふりむけば、中国語』朝日出版社。

▌参考書

講義中に適宜指摘する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国語の特徴について** 授業内容：中国語の特徴、共通語について。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語の復習。
2回	**授業テーマ：テキスト発音第１課の学習。** 授業内容：声調、単母音、複母音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第１課の単語を再度予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第１課の復習。
3回	**授業テーマ：テキスト発音第２課の学習。** 授業内容：無気音と有気音、そり舌音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第２課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第２課の復習。
4回	**授業テーマ：テキスト発音第３課の学習。** 授業内容：鼻音を伴う母音など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第３課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第３課の復習。
5回	**授業テーマ：テキスト発音第４課の学習。** 授業内容：声調変化、軽声など。 事前学修 0.5hr：テキスト発音第４課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト発音第４課の復習。
6回	**授業テーマ：テキスト第５課の学習(文法)。** 授業内容：人称代名詞、動詞述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第５課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第５課の文法復習。
7回	**授業テーマ：テキスト第５課の学習(課文)。** 授業内容：空港での会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第５課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第５課の復習。
8回	**授業テーマ：テキスト第６課の学習(文法)。** 授業内容：助動詞、指示代名詞など。 事前学修 0.5hr：テキスト第６課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第６課の文法復習。
9回	**授業テーマ：テキスト第６課の学習(課文)。** 授業内容：ホテルチェックインでの会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第６課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第６課の復習。
10回	**授業テーマ：テキスト第７課の学習(文法)。** 授業内容：疑問詞、形容詞述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第７課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第７課の文法復習。
11回	**授業テーマ：テキスト第７課の学習(課文)。** 授業内容：夜景に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第７課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第７課の復習。
12回	**授業テーマ：テキスト第８課の学習(文法)。** 授業内容：連動文、量詞、時間量の言い方。 事前学修 0.5hr：テキスト第８課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第８課の文法復習。

13回	**授業テーマ：テキスト第８課の学習(課文)。** 授業内容：交通機関における会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第８課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第８課の復習。
14回	**授業テーマ：テキスト第９課の学習(文法)。** 授業内容：疑問詞、通貨の単位。 事前学修 0.5hr：テキスト第９課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第９課の文法復習。
15回	**授業テーマ：テキスト第９課の学習(課文)。** 授業内容：店舗での会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第９課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第９課の復習。

中国語Ⅱ-b

開講学科等：日英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

王　丹（おう　たん）・高田　誠（たかだ　まこと）・南　勇（なん　ゆう）・劉　磊（りゅう　らい）

▌授業の概要

明海大学のディプロマ・ポリシーにあるように、社会性を養い合理的な精神で課題を解決していくためには、言語によるコミュニケーションが欠かせない。本学外国語学部における複文化・複言語の考え方に基づき、中国語の発音、基礎的文法、基礎語彙を学習し、はじめて学ぶ学生でも日常会話による意思疎通ができるよう、初級中国語を学ぶ。中国語Ⅰ-b と連携して講義を進める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3）

一般目標：基礎的な単語を修得し、基本となる日常会話ができ、簡単な文章を読み書きできることを目標とする。
個別目標：基礎となる単語を習得し、基本文型を理解し使えるようになることを目標とする。HSK3 級程度を目標とする。

▌履修条件

指定された教科書を必ず購入すること。中国語Ⅱ-a を履修していることが望ましい。中国語を母語とする学生は履修できません。

▌評価基準・方法

試験(小テストを含む)などにより 80 %、課題への積極性等 20 %に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

相原茂・朱怡穎著『ニーハオ！ ニッポンーふりむけば、中国語』朝日出版社。

▌参考書

講義中に適宜指摘する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テキスト第１０課の学習(文法)。** 授業内容：年月日、曜日、年齢の言い方。 事前学修 0.5hr：テキスト第１０課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１０課の文法復習。
2回	**授業テーマ：テキスト第１０課の学習(課文)。** 授業内容：花火大会に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１０課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１０課の復習。
3回	**授業テーマ：テキスト第１１課の学習(文法)。** 授業内容：副詞、場所を表す前置詞など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１１課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１１課の文法復習。
4回	**授業テーマ：テキスト第１１課の学習(課文)。** 授業内容：日本の雑貨に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１１課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１１課の復習。
5回	**授業テーマ：テキスト第１２課の学習(文法)。** 授業内容：時刻表現、反復疑問文、動詞の重ね型。 事前学修 0.5hr：テキスト第１２課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１２課の文法復習。
6回	**授業テーマ：テキスト第１２課の学習(課文)。** 授業内容：食事に関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１２課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１２課の復習。
7回	**授業テーマ：テキスト第１３課の学習(文法)。** 授業内容：進行表現、選択疑問文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１３課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１３課の文法復習。
8回	**授業テーマ：テキスト第１３課の学習(課文)。** 授業内容：デザートに関する会話。 事前学修 0.5hr：テキスト第１３課の課文を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１３課の復習。
9回	**授業テーマ：テキスト第１４課の学習。** 授業内容：持続の表現、能願動詞など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１４課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１４課の復習。
10回	**授業テーマ：テキスト第１５課の学習。** 授業内容：結果補語、方向補語。 事前学修 0.5hr：テキスト第１５課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１５課の復習。
11回	**授業テーマ：テキスト第１６課の学習。** 授業内容：様態補語、比較文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１６課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１６課の復習。
12回	**授業テーマ：テキスト第１７課の学習。** 授業内容：可能補語、主述述語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１７課の単語を予習する。 事後学修 0.5hr：テキスト第１７課の復習。

13回	**授業テーマ：テキスト第１８課の学習。** 授業内容：強調構文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１８課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第１８課の復習。
14回	**授業テーマ：テキスト第１９課の学習。** 授業内容：反語文など。 事前学修 0.5hr：テキスト第１９課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第１９課の復習。
15回	**授業テーマ：テキスト第２０課の学習。** 授業内容：近い未来、受け身の表現。 事前学修 0.5hr：テキスト第２０課の単語の予習。 事後学修 0.5hr：テキスト第２０課の復習。

外国語研究概論

開講学科等：日英中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）・**辰己　雄太**（たつみ　ゆうた）・**中川　仁**（なかがわ　ひとし）

▌授業の概要

外国語を学ぶ目的は何であろうか。また外国語を学ぶことで、どのような世界が広がっていくのか。本講義では、これから本格的に外国語を学ぶ学生を対象とし、外国語の修得を通して広がるさまざまな可能性を、本学部の教員及び外部の講師の方々から、お話しをうかがい、ともに考えていくことに力点をおく。そして外国語学部として、SDGs への取り組みなども視野に入れた講義もおこなっていく。(尚、下記の「授業内容」は、スケジュールとして提示するものであり、先生方の都合により、日程が変更されることもある。(詳細は第一回目の講義時に配布する。)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：外国語を修得することの意義を明確に意識し、自らが進んで学ぶこと、積極性をもつことを目標とする。
個別目標：外国語に関わるそれぞれの分野や題材に対して、その周辺にある領域をも理解し、自らの見解と意見を述べることができるようになる。

▌履修条件

外国語学部において、1 年生の必修科目であるため、それにふさわしい授業態度で、尚且つ、講義を聞く姿勢を要求するものである。

▌評価基準・方法

レポート 40 %、学修内容の振り返りシート 40%、授業内における参加姿勢、そして発言なども 20 %として含める。到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修、課題作成などにおいてパソコンを使用する。）

▌教科書

教科書は使用しない。

▌参考書

講義中において、適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：講義及び講義進行に関する説明。** 授業内容：本講義の意図と全体の進行に関わる説明をする。 事前学修 2.0hr：外国語を学ぶ意義について自分なりに考えておく。 事後学修 2.0hr：講義スケジュールを確認し、各テーマについての自分の意見をまとめる。
2 回	**授業テーマ：語学学習の魅力と意義①(複言語・複文化の視点から)** 授業内容：語学を専門とする先生による講義。(「ことば」の研究や方策、どのように「ことば」が生成されてきたのか。) 事前学修 2.0hr：「ことば」とは、どのようなものか、自分なりの意見を考えておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考として、「ことば」に関わる自分の意見をまとめる。
3 回	**授業テーマ：語学学習の魅力と意義②(複言語・複文化の視点から)** 授業内容：語学を専門とする先生による講義。(言語教育の方策などを理解する。) 事前学修 2.0hr：言語教育の意義と課題について自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に言語教育の持つ可能性と意義について自分の意見をまとめる。
4 回	**授業テーマ：語学学習の魅力と意義③(複言語・複文化の視点から)** 授業内容：語学を専門とする先生による講義。(文学と語学との接点を考えていく。) 事前学修 2.0hr：文学と言語の関係について、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に文学と言語のもつ相関性について自分の意見をまとめる。
5 回	**授業テーマ：言語と国際経済** 授業内容：語学を専門とする先生による講義。(海外で仕事をする方策などを考えていく。また語学と経済の関連性を紐解いていく。) 事前学修 2.0hr：海外で仕事をするときの課題について考えておく。(経済の動向についても考えておく) 事後学修 2.0hr：講義を参考に海外で仕事をすることの意味をまとめる。(語学と経済との関連性もまとめる)
6 回	**授業テーマ：グローバル社会における言語①** 授業内容：語学とグローバル社会に関わる専門講義。(国際化・グローバル化・グローカル化についてを考えていく。) 事前学修 2.0hr：講義にもとづき、そのことがらを整理する。 事後学修 2.0hr：講義を参考にグローバル社会、グローバル化などに対応する方策をまとめる。
7 回	**授業テーマ：グローバル社会における言語②** 授業内容：語学とグローバル社会に関わる専門講義。(国際化・グローバル化・グローカル化についてを考えていく。) 事前学修 2.0hr：講義にもとづき、そのことがらを整理する。 事後学修 2.0hr：講義を参考にグローバル社会、グローバル化などに対応する方策をまとめる。
8 回	**授業テーマ：言語と国際関係** 授業内容：語学を中心として、その地域社会の政治、文化、歴史なども含め、その動向を理解していく。 事前学修 2.0hr：地域社会の動向がどう変容しているのかを整理しておく。 事後学修 2.0hr：地域社会の変容を自分なりにまとめてみる。
9 回	**授業テーマ：言語とフィールドワーク** 授業内容：言語をフィールドワークする視点を講義を通して、研究の実態を解説する。 事前学修 2.0hr：フィールドワークがどのようなものかを整理しておく。 事後学修 2.0hr：調査の内容など、具体的なことがらを整理していく。
10 回	**授業テーマ：言語とその周辺の学問領域** 授業内容：言葉を中心として、その周辺にある分野を解説する。 事前学修 2.0hr：言葉との関連性のある分野をまとめてみる。 事後学修 2.0hr：人間の主張としての言葉の意味を講義の内容も含めまとめる。
11 回	**授業テーマ：漢字音について　―音読み・訓読みとは？ その根拠は？** 授業内容：漢字音がどのように生成されてきたのか、講義を通して、解説していく。 事前学修 2.0hr：「漢字音」の研究とはどのようなものか、その捉え方なども含め、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を参考として、その考え方、捉え方などを自分の考え方としてまとめる。

12回	**授業テーマ：文学研究という視点** 授業内容：「文学」研究をどのような視点で、捉えてみていくのか、その方法論などを紹介していく。 事前学修 2.0hr：「文学」の研究とはどのようなものか、その捉え方なども含め、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義の内容を参考として、その考え方、捉え方などを自分の考え方としてまとめる。
13回	**授業テーマ：企業における社会貢献** 授業内容：グローバルな社会やグローカルな社会における企業の取り組みについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：企業が関わる社会貢献へのことがらは、どのようなことなのか、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に自分自身、何ができるのかをまとめる。
14回	**授業テーマ：企業における社会貢献** 授業内容：グローバルな社会やグローカルな社会における企業の取り組みについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：企業が関わる社会貢献へのことがらは、どのようなことなのか、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に自分自身、何ができるのかをまとめる。
15回	**授業テーマ：企業における社会貢献** 授業内容：グローバルな社会やグローカルな社会における企業の取り組みについての理解を深める。 事前学修 2.0hr：企業が関わる社会貢献へのことがらは、どのようなことなのか、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：講義を参考に自分自身、何ができるのかをまとめる。

現代社会事情

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

宮崎　礼二（みやざき　れいじ）

▌授業の概要

本講義は、私たちを取り巻く社会で起こっている多岐に渡る諸問題（政治・経済を含む）をテーマに、問題理解と考察を通じて社会現象や社会事情の本質把握の能力を高め、社会に対する問題意識の醸成を目的とする。

講義では、日本だけでなく世界で起こっている社会事象を取り上げ、まず映像、新聞・雑誌記事を素材にして問題認識から始める。次に、各自が最初に抱いた問題認識や印象を、他の受講生と議論・共有し、自分の認識を相対化する。さらに、その相対化した認識を、理論的・論理的、歴史的な側面から検証を加えることによって、問題の背後にある本質を把握することを目指す。

授業テーマについてはあくまもで現時点での予定であり、実際のテーマについては受講者の関心や進行状況に応じて変更・調整する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③〕、英米語学科 2/3、中国語学科 3）

一般目標：1. 現代社会の諸問題を多角的に洞察する能力を身につける。
2．相対的に思考することできる。
3．社会事情や事象に対して、自分の意見を論理的に表明することができる。
4．現代社会で「透明化」されている矛盾や問題を可視化することができる。

個別目標：1．ノートテーキング能力を向上させる。
2．ディスカッションおよびプレゼンテーション・スキルを向上させる。
3．個別的・具体的な事象を理論的・論理的に構成する能力を獲得する。

▌履修条件

必修であるため、履修者に選択の余地はないが、人間は社会的動物であり、社会からは逃れては生きていけないことを自覚して、身の回りで起こっている社会事象を自らの問題として認識しようとの意識をもって講義に挑むことが条件である。

▌評価基準・方法

授業内でのテーマ課題（50 %）、期末課題（40 %）、Peer Assessement （10 %）で評価する。
また、グループワークや授業に対する貢献度に応じて、エクストラ・ポイントの付与もある。

▌フィードバック方法

manaba を通じてフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba の利用）

▌教科書

とくに指定しない。

▌参考書

講義内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス&イントロダクション** 授業内容：講義の進行方針の説明。 事前学修 2.0hr：新聞や雑誌などメディアを利用して今何が起こっているのかを知る 事後学修 2.0hr：講義で触れた社会問題をさらにリサーチして、次回講義での議論の準備をする。
2回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（Nike ”Just Do It”）** 授業内容：課題の共有。 「メッセージを読みとくため」の指導。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
3回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（Nike ”Just Do It”のメッセージとは？）** 授業内容：課題の共有。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
4回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（アメリカで何が起こっている BLM とは何か？　Pt. 1）** 授業内容：人権としての差別問題。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
5回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（アメリカで何が起こっている BLM とは何か？　Pt.2）** 授業内容：人権としての差別問題。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
6回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（”Just Do It” の学びから日本社会を見る　Pt. 1）** 授業内容：日本社会からアメリカでの出来事を捉えなおす。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
7回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（”Just Do It” の学びから日本社会を見る　Pt. 2）** 授業内容：日本社会からアメリカでの出来事を捉えなおす。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
8回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（日本における外国人の位置づけを考える　Pt. 1）** 授業内容：日本における差別と人権。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
9回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証（日本における外国人の位置づけを考える　Pt. 2）** 授業内容：日本における差別と人権。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題

10回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証(格差拡大・貧困化　Pt. 1)** 授業内容：日本の社会問題・格差と貧困 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
11回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証(格差拡大・貧困化　Pt. 2)** 授業内容：課題の共有。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
12回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証(格差拡大・貧困化　Pt. 3)** 授業内容：課題の共有。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
13回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証(今、世界と日本で起こっていること Pt. 1)** 授業内容：リアルタイムの報道から現代社会の問題をピックアップし、共有する。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
14回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証(今、世界と日本で起こっていること Pt. 2)** 授業内容：リアルタイムの報道から現代社会の問題をピックアップし、共有する。 事前学修 2.0hr：課題の準備 事後学修 2.0hr：宿題
15回	**授業テーマ：前回提示のテーマの議論・共有・検証** 授業内容：課題の共有。 総括。 事前学修 2.0hr：総括のディスカッションのための準備 事後学修 3.0hr：期末レポート作成

日本語Ⅰ-a

開講学科等：日英中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

範　弘宇 (はん　こうう)

▌授業の概要

日本語 1-a では、大学でのレポート・論文作成に必要な日本語の「書く」能力の育成を目的とする。アカデミック・ライティングにふさわしい言語表現を学び、論理的で明確な文章を作成できるようになることを目指す。授業では、与えられたテーマについて文章設計図を作成し、それに基づいて約 400 字の文章を執筆する。さらに、チェックシートを用いたセルフチェックおよび相互評価を通して文章を推敲し、表現力の向上を図る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：大学でレポート・論文を作成するための基礎的な日本語能力を習得する。

個別目標：・与えられたテーマについて、まとまりのある文章を日本語で書くことができる。
・読み手に配慮した構成で、レポートを作成することができる。
・自分の考えを、論理的かつ的確に伝えることができる。

▌履修条件

・留学生を対象とするクラスである。
・毎回出席する。
・課題の提出期限を守る。
・授業内活動に積極的かつ主体的に参加する。

▌評価基準・方法

作文課題 40%、授業内活動 30%、期末レポート 30%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 及び対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、ペアワーク、グループワーク、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

坂東実子『大学生のための文章表現練習帳 第 2 版』国書刊行会

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、ことばのドリル①文体・表現** 授業内容：授業の概要・目的・評価方法を理解する。文体の様式を学び、「です・ます体」を「だ・である体」に書き換える練習を行う。話し言葉と書き言葉の違いを理解し、くだけた表現を整った文章表現に直す練習をする。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、この授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
2回	**授業テーマ：敬語のドリル** 授業内容：敬語の分類と使い分けを理解する。誤った敬語(バイト敬語)を正しい表現に直す練習を行う。教員宛てメールの構造と表現を学び、メール文を作成する。セルフチェックと相互評価を通して文章を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
3回	**授業テーマ：ことばのドリル②表記、原稿用紙の使い方** 授業内容：文章表記の基本的なマナーを理解し、誤用に気づいて正確な表記ができるようになるための練習をする。原稿用紙の使い方を学び、文章の書き写しの練習を行う。ペアワークで相互評価を行う。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
4回	**授業テーマ：紹介文１：個人的な物事** 授業内容：三段構成法を理解する。「私の好きなもの(こと)」を題材に文章設計図を作成し、それに基づいて原稿用紙に文章を書く。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
5回	**授業テーマ：紹介文２：社会的な物事** 授業内容：特徴や魅力を伝える方法を学ぶ。「私の故郷」を題材に文章設計図を作成し、それに基づいて原稿用紙に文章を書く。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
6回	**授業テーマ：紹介文のまとめ、応用練習** 授業内容：グループで清書した文章を共有し、相互にコメントする。「大学・サークルの紹介」を題材に文章設計図を作成し、それに基づいて原稿用紙に文章を書く。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
7回	**授業テーマ：対立項のある文章１：身近な問題** 授業内容：賛否が分かれる事柄について、自分の立場を明確し、論理的に意見を展開する方法を学ぶ。「留学生のアルバイト」を題材に文章設計図を作成し、それに基づいて原稿用紙に文章を書く。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
8回	**授業テーマ：対立項のある文章２：社会的な問題** 授業内容：異なる意見の根拠に理解を示しながら、自分の考えを論理的に展開する方法を学ぶ。「子どものスマートフォン所持」を題材に文章設計図を作成し、それに基づいて原稿用紙に文章を書く。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。

9回	**授業テーマ：対立項のある文章のまとめ、応用練習** 授業内容：グループで清書した文章を共有し、相互にコメントする。「飲酒・喫煙の解禁年齢を 18 歳に引き下げ」を題材に文章設計図を作成し、それに基づいて原稿用紙に文章を書く。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
10回	**授業テーマ：時間軸のある文章１：自分の変化** 授業内容：出来事の前後を比較し、自分の変化を立体的に説明する方法を学ぶ。「大学生になる前と後」を題材に文章設計図を作成し、それに基づいて原稿用紙に文章を書く。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
11回	**授業テーマ：時間軸のある文章２：社会的な変化** 授業内容：大きな変化のきっかけとなる出来事を中心に、その前後を考察する方法を学ぶ。「ペットボトルができる前と後」を題材に文章設計図を作成し、それに基づいて原稿用紙に文章を書く。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
12回	**授業テーマ：時間軸のある文章のまとめ、応用練習** 授業内容：グループで清書した文章を共有し、相互にコメントする。社会的な変化を 1 つ選び、文章設計図を作成し、それに基づいて原稿用紙に文章を書く。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
13回	**授業テーマ：調査報告書１：統計資料のまとめ** 授業内容：対立項と時間軸を用いて、調査報告書を書く練習を行う。報告書で使用する統計資料を整理・比較し、時間軸で数値の変化から社会の変化を考察して文章をまとめる。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
14回	**授業テーマ：調査報告書２：考察の検討** 授業内容：前回整理した統計資料をもとに、自分の立場や着目点を明確にし、異なる意見の根拠にも配慮しながら考察を文章にまとめる。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。
15回	**授業テーマ：調査報告書のまとめ、応用練習** 授業内容：グループで清書した文章を共有し、相互にコメントする。統計調査のさまざまな資料を読み取り、社会的な変化を題材に文章設計図を作成し、それに基づいて原稿用紙に文章を書く。ペアワークで相互評価を行い、コメントをもとに作文を推敲・修正する。 事前学修 2.0hr：文章例を読んで、内容および構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：推敲・修正後の作文を清書する。

日本語Ⅰ-b

開講学科等：日英中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

範　弘宇 (はん　こうう)

▌授業の概要

日本語 1-b では、大学でのレポート・論文作成に必要な日本語の「読む」「要約する」「書く」能力の育成を目的とする。文章の内容関係を整理する視点を学び、文・短文・長文の順に段階的に要約練習を行う。さらに、新聞記事、説明文、論説文など多様な文章を題材に要約力を高めるとともに、アカデミック・ライティングにふさわしい表現を学び、レポート・論文の引用部分の作成方法を習得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：大学でレポート・論文を作成するための基礎的な日本語能力を習得する。

個別目標：・レポート・論文における引用方法を理解し、適切な日本語で作成できる。
・多様な分野の文章を正確に読み取り、目的や文脈に応じた表現で要約できる。
・読み手を意識した日本語表現で文章を書くことができる。

▌履修条件

・留学生を対象とするクラスである。
・毎回出席する。
・課題の提出期限を守る。
・授業内活動に積極的かつ主体的に参加する。

▌評価基準・方法

課題提出 40%、授業内活動 30%、テスト 30%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba 及び対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内でプリントを配布する。

▌参考書

福嶋隆史『全教科の成績アップに直結! ふくしま式「本当の要約力」が身につく問題集』大和出版
石澤徹、藤本陽子『要約が鍵 情報を整理し伝える力をみがくワークブック』国書刊行会

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト、レポートとは** 授業内容：授業の概要・目的・評価方法を理解する。事前テストを受ける。レポートと感想文の違いを理解し、大学で求められるレポートの種類と特徴が分かる。レポートにふさわしい表現・表記を学び、応用練習を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、この授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
2回	**授業テーマ：要約とは、主題と述部で要約** 授業内容：要約の目的と意義を理解する。主語、述語、主題の引き出す方法、文のパターンを意識しながら主題＋述部で要約する方法を学び、具体的な文で要約の応用練習をする。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
3回	**授業テーマ：具体を言い換えて要約** 授業内容：具体的表現と抽象的表現の違いを理解する。具体例、セリフ調の表現、比喩的表現を抽象化する方法を学び、様々な種類の具体的な文で要約の応用練習をする。やや長めの文の要約を通して、文字数感覚をトレーニングする。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
4回	**授業テーマ：文と文の関係を維持して要約** 授業内容：対比関係、因果関係の基本的な型を理解する。文と文の関係を崩さずに短くする方法を学び、様々な種類の短文で要約の応用練習をする。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
5回	**授業テーマ：複数の文で要約** 授業内容：文章の骨組みをとらえて整理する方法、逆説的な主張の型を活用する方法、字数に応じて内容を調整する方法を学び、様々な種類の短文で要約の応用練習をする。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
6回	**授業テーマ：部分要約** 授業内容：要約の範囲を的確に見定める方法、具体と抽象のバランスをとってまとめる方法を学び、様々な種類の短文で要約の応用練習をする。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
7回	**授業テーマ：主張の具体例の要約** 授業内容：文章の構造と論理展開を理解する。対比を構造的に整理し、論理的な主張と理由を見抜く方法を学び、様々な長文を題材に、主張を支える具体例部分を的確に要約する練習を行う。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
8回	**授業テーマ：逆説の文章の要約** 授業内容：逆説的な文章の構造を理解する。具体例の中から抽象的メッセージを引き出す方法を学び、複雑な構造を持つ長い逆説の文章で要約練習をする。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。

9回	**授業テーマ：政治や法律に関する新聞記事の要約** 授業内容：政治や法律に関する新聞記事の構成と内容を正確に理解し、記事の要約を作成する。グループで作成した要約文を相互に確認し、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
10回	**授業テーマ：経済に関する新聞記事の要約** 授業内容：経済に関する新聞記事の構成と内容を正確に理解し、記事の要約を作成する。グループで作成した要約文を相互に確認し、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
11回	**授業テーマ：社会生活に関する新聞記事の要約** 授業内容：社会生活に関する新聞記事の構成と内容を正確に理解し、記事の要約を作成する。グループで作成した要約文を相互に確認し、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
12回	**授業テーマ：科学に関する新聞記事の要約** 授業内容：科学に関する新聞記事の構成と内容を正確に理解し、記事の要約を作成する。グループで作成した要約文を相互に確認し、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
13回	**授業テーマ：定義・説明的文章の要約** 授業内容：定義・説明的文章の構成と内容を正確に理解し、文章の要約を作成する。グループで作成した要約文を相互に確認し、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
14回	**授業テーマ：論説的文章の要約** 授業内容：論説的文章の構成と内容を正確に理解し、文章の要約を作成する。グループで作成した要約文を相互に確認し、改善点を洗い出し修正する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。
15回	**授業テーマ：まとめ・総合練習、最終テストとフィードバック** 授業内容：これまで学習した要約および引用の仕方を整理する。最終テストを受け、フィードバックを通して自分の到達度と課題を確認する。 事前学修 2.0hr：配布したプリントを読み、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：問題と解答例を見て、語彙・表現を理解し、覚える。

日本語Ⅱ-a

開講学科等：日英中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

髙橋　亜里沙（たかはし　ありさ）

▌授業の概要

本授業では、日本語の読解力を伸ばし、専門分野の論文を独力で読める基礎的な力を身につけることを目的とする。前半は、論文読解の基礎となる文章構成や文法を学びながら、①大意の把握、②筆者の意見の正確な理解、③批判的読解の練習を行う。後半は実際の論文を読み、「序論・本論・結論」の内容・構成・表現を分析し、論文を深く理解する力を養う。授業全体を通してグループ活動を頻繁に取り入れながら読解及び分析を進めることで、理解の深化を図るとともに、「コミュニケーション能力」「協調性」「批判的思考力」を養成する。また、本授業で培う読解力が、今後のレポート作成や論文執筆の土台となることも目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：各自の専門分野のレポートや論文を独力で読むために、「論説文」や「論文」読解に必要な「構成」「文法」に関する知識を身に着けるとともに、批判的読解力を習得すること。

個別目標：・報告書や論説文から大意や必要な情報を読み取り、説明することができる
・報告書や論説文から筆者の主張や考察を正確に読み取り、説明することができる
・報告書や論説文の内容を批判的に検討し、自らの考えを説明することができる
・論文の序論・本論・結論について内容を要約することができる
・論文の分析結果、考察を批判的に検討したうえで、自らの考えを述べることができる
・他者と協働して課題を達成することができる

▌履修条件

留学生対象のクラスです。事前事後課題を行い、授業活動に積極的に取り組む必要があります。
グループワークやディスカッションを行いますので、休まないようにしてください。

▌評価基準・方法

小テスト 20 %・まとめテスト 20 %・期末課題(書評) 20 %・授業内課題 20 %・授業活動 20 %
出席が 5 分の 4 以上の学生を評価対象とする

▌フィードバック方法

※課題等のフィードバックは、授業、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （(グループワークの書き込み、共有で使用します)）

▌教科書

『改訂版大学・大学院留学生の日本語③論文読解編』アカデミックジャパニーズ研究会

▌参考書

授業内でお知らせします

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション／ L1 異文化適応** 授業内容：オリエンテーション L1：①異文化適応に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②段落内の構造／書き言葉の特徴について学ぶ 事前学修 1.5hr：L1「読むための文法」を読み内容を理解してくる 事後学修 1.5hr：L1「言葉の練習」をやる／ L1 文章整理ノートを作成する
2 回	**授業テーマ：L2 いじめ** 授業内容：L2：①いじめに関する論説文にの速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②話題とメインアイデア／助詞相当語について学ぶ 事前学修 1.5hr：L2「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L2「言葉の練習」をやる／ L2 文章整理ノートを作成する
3 回	**授業テーマ：L 3衝動買いを誘導する** 授業内容：L3：①衝動買いに関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②アウトライン／複文について学ぶ 事前学修 1.5hr：L3「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L3「言葉の練習」をやる／ L3 文章整理ノートを作成する
4 回	**授業テーマ：L4 おいしい食感の理由** 授業内容：L4：①食に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②文章構成／指示表現について学ぶ 事前学修 1.5hr：L4「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L4「言葉の練習」をやる／ L4 文章整理ノートを作成する
5 回	**授業テーマ：L5 日本人の意識―結婚と家庭に関する 40 年の変容** 授業内容：L5：①結婚と家庭に対する日本人の意識の変容に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②論の展開Ⅰ事実と筆者の考察／文の構造分析について学ぶ 事前学修 1.5hr：L5「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L5「言葉の練習」をやる／ L5 文章整理ノートを作成する
6 回	**授業テーマ：L6 フリーター問題** 授業内容：L6：①フリーター問題に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②論の方向を示す表現・論の構造／文末表現Ⅰについて学ぶ 事前学修 1.5hr：L6「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L6「言葉の練習」をやる／ L6 文章整理ノートを作成する
7 回	**授業テーマ：L7 安全でおいしい水を飲むために** 授業内容：L7：①水の安全性に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②論の展開②反論と主張／文末表現②について学ぶ 事前学修 1.5hr：L7「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L7「言葉の練習」をやる／ L7 文章整理ノートを作成する

8回	**授業テーマ：L8「まじめ」という言葉** 授業内容：L8：①「まじめ」という言葉に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②引用／文末表現について学ぶ 事前学修 1.5hr：L8「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L8「言葉の練習」をやる／ L8 文章整理ノートを作成する
9回	**授業テーマ：L9 がん告知** 授業内容：L9：①がん告知に関する論説文の速読／精読、グループ活動を通して、内容を理解する ②要約について学ぶ 事前学修 1.5hr：L9「読むための文法」を読み内容を理解してくる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L9「言葉の練習」をやる／ L9 文章整理ノートを作成する
10回	**授業テーマ：L10 論文を読む①序論の分析** 授業内容：L10:「企業内研修にみる文化摩擦」という論文の序論を読み「内容」「構成」「表現」の分析を行う 事前学修 1.5hr：L10「言葉の練習」をやる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L10 文章整理ノートを作成する
11回	**授業テーマ：L11 論文を読む②本論の分析Ⅰ** 授業内容：L11：「企業内研修にみる文化摩擦」という論文の本論を読み、先行研究の整理／理論の提示／調査方法の記述について「内容」「構成」「表現」の分析を行う 事前学修 1.5hr：L11「言葉の練習」をやる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L11 文章整理ノートを作成する
12回	**授業テーマ：L12 論文を読む③本論の分析Ⅱ** 授業内容：l12：企業内研修にみる文化摩擦」という論文の本論を読み、結果／考察の記述について「内容」「構成」「表現」の分析を行う 事前学修 1.5hr：L12「言葉の練習」をやる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L12 文章整理ノートを作成する
13回	**授業テーマ：L13 論文を読む④結論の分析** 授業内容：L10:「企業内研修にみる文化摩擦」という論文の結論を読み「内容」「構成」「表現」の分析を行う 事前学修 1.5hr：L13「言葉の練習」をやる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L13 文章整理ノートを作成する
14回	**授業テーマ：L14 論文を読む⑤総合練習Ⅰ** 授業内容：L14：「なぜ人は道に迷うのか」という論文の序論／本論／結論を通して読み「内容」「構成」「表現」の分析を行う 事前学修 1.5hr：L14「言葉の練習」をやる(授業内で確認小テストを実施します) 事後学修 1.5hr：L14 文章整理ノートを作成する
15回	**授業テーマ：L14 論文を読む⑤総合練習Ⅱ／まとめテスト／期末課題の説明** 授業内容：L14：「なぜ人は道に迷うのか」の「内容・構成」分析、及び文章整理ノートを参考にして、「書評」を作成す まとめテストの実施 事前学修 1.5hr：まとめテストに向けての準備 事後学修 1.5hr：期末課題(書評)の完成

日本語Ⅱ-b

開講学科等：日英中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

小野寺　樹璃（おのでら　じゅり）

▌授業の概要

日本語Ⅱ-b では、大学で接する文章がしっかりと理解できるように、日本語の読む力を育成することを目的とし活動を行う。活動では文章を読み、全体把握、言語タスク、認知タスクの３種類のタスクを行い、その後、クリティカル・リーディングに取り組む。課題は、ディスカッションやグループワークも入れながら進めていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、英米語学科 3、中国語学科 3）

一般目標：抽象的な内容の文章や専門分野の入門書、教養書などの様々な文章を読み、問題提起や論点、筆者の主張を把握できるようになる。また、問題意識を持って文章が読めるようになる。

個別目標：(1) 大学で必要とされるアカデミックな読み方ができる。
(2) 根拠をあげて自分の意見や考えを述べることができる。
(3) 異なる考え方も受け入れ、より深く豊かにテキストを読むことができる。

▌履修条件

留学生を対象とするクラスである。
毎回出席し、授業内活動に積極的に参加する。
事前・事後課題に取り組み、提出日を守る。

▌評価基準・方法

期末試験 40 %、授業内課題 20%、毎回の小テスト 20%、授業活動 10 %、授業の振り返り 10%で評価する。
また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価対象とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業中、または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （課題学修、グループワーク、ペアワーク、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

奥田純子、竹田悦子、九次優子、丸山友子、八塚祥江、尾上正紀、矢田まり子『読む力 中上級』くろしお出版

▌参考書

授業内で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・プロローグ** 授業内容：授業概要や履修条件、評価基準等についてのガイダンスを行う。さらに、クリティカル・リーディングについて理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、この授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：指定された文章を読み、その記事について問いを立て自分の意見をまとめる。
2回	**授業テーマ：第 1 課「私のニュースの読み方」** 授業内容：「私のニュースの読み方」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 1 課のクリティカル・リーディングをする。
3回	**授業テーマ：第 2 課「価値の一様性」** 授業内容：「価値の一様性」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 2 課のクリティカル・リーディングをする。
4回	**授業テーマ：第 3 課「言葉の起源をもとめて」** 授業内容：「言葉の起源をもとめて」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 3 課のクリティカル・リーディングをする。
5回	**授業テーマ：第 4 課「経済学とは何か」** 授業内容：「経済学とは何か」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 4 課のクリティカル・リーディングをする。
6回	**授業テーマ：第 5 課「思いやり」** 授業内容：「思いやり」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 5 課のクリティカル・リーディングをする。
7回	**授業テーマ：第 6 課「住まい方の思想」** 授業内容：「住まい方の思想」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 6 課のクリティカル・リーディングをする。
8回	**授業テーマ：第 7 課「決まった道はない。ただ行き先があるのみだ」** 授業内容：「決まった道はない。ただ行き先があるのみだ」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 7 課のクリティカル・リーディングをする。
9回	**授業テーマ：第 8 課「メディアがもたらす環境変容に関する意識調査」** 授業内容：「メディアがもたらす環境変容に関する意識調査」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 8 課のクリティカル・リーディングをする。
10回	**授業テーマ：第 9 課「改訂 介護概論」** 授業内容：「改訂 介護概論」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 9 課のクリティカル・リーディングをする。

11回	**授業テーマ：第 10 課「ことばの構造、文化の構造」** 授業内容：「ことばの構造、文化の構造」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 10 課のクリティカル・リーディングをする。
12回	**授業テーマ：第 11 課「観光で行きたい国はどこ」** 授業内容：「観光で行きたい国はどこ」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 11 課のクリティカル・リーディングをする。
13回	**授業テーマ：第 12 課「化粧する脳」** 授業内容：「化粧する脳」を読んで全体把握をし、言語タスク、認知タスク、クリティカル・リーディングを行う。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、第 12 課のクリティカル・リーディングをする。
14回	**授業テーマ：クリティカル・リーディングを磨こう！** 授業内容：取り上げた文章を、問題意識を持ちながら読み、立てた問いやそれに対する意見をグループで共有する。 事前学修 2.0hr：該当箇所を読み、全体把握問題、言語タスクに取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で学習した内容を復習し、新聞記事のクリティカル・リーディングをする。
15回	**授業テーマ：まとめと振り返り** 授業内容：本授業で学んだことを振り返り、試験を行う。 事前学修 2.0hr：授業で行った課題を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：今後の学修計画を立てる。

英語Ⅰ-a

開講学科等：日中 ｜ 1年次 ｜ 1単位 ｜ 開講期：前

アブデルワヘド　ベンジリル・クリストファ　マタズスキー・コマンドュリ　シリーシャ・バルブド　プルメル　エスティオコ

▌授業の概要

English I-a is a foundational language course which focuses on giving students the language needed to interact with the world around them in English. By the end of this course students will be able to initiate, sustain, and end spoken conversation on a variety of topics for practical use in daily life.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：In English I-a, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more confident in and develop positive attitudes towards communicating in English. These competencies include, but are not limited to: socializing; asking and answering a variety of conversation questions; and, participating in basic discussions.

個別目標：By the end of this course, students will be able to give greetings in formal and casual situations; introduce themselves and others; ask for, give, and spell names; describe work and school; ask for and give basic opinions; describe daily schedules; talk about prices; discuss preferences; make comparisons; buy and sell things; talk about preferences; make invitations and excuses; talk about families and family members; exchange information about the present; describe family life; ask about and describe routines and exercise; talk about frequency; discuss sports and athletes; talk about abilities; talk about past events; and talk about vacations.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%) and Tests (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Richards, J.C., Hull, J., &Proctor, S.(2021). Interchange Students's Book 1 (5th ed.). Cambridge: Cambridge University Press &Assessment.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English I-a** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students participate in group and pair activities to build a positive communicative class atmosphere. 事前学修 1.0hr：Purchase textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 1: Where are you from?** 授業内容：Students learn to introduce oneself and others. They learn the language necessary to talk about themselves and learn about others. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 2: What do you do?** 授業内容：Students learn language to ask and answer questions about jobs. They also learn how to describe routines and daily schedules. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Task 1** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 1 and 2. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Unit 3: How much are these?** 授業内容：Students learn language to ask about and describe prices. They also learn how to discuss preferences. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Unit 4: Do you play the guitar?** 授業内容：Students learn language to discuss their likes and dislikes related to entertainment. They also learn how to make, accept, and decline invitations. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Task 2** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 3 and 4. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 2 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Unit 5: What an interesting family** 授業内容：Students learn language to describe families. They also learn how to talk about habitual and current activities. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
9回	**授業テーマ：Unit 6: How often do you run?** 授業内容：Students learn language to discuss sports and exercise habits. They also learn to ask and answer questions about frequency of free-time activities. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal

10回	**授業テーマ：Task 3** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 5 and 6. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 3 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
11回	**授業テーマ：Unit 7: We went dancing!** 授業内容：Students learn language to describe past daily and free-time activities. They also learn how to describe past vacations. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Speaking Test Review** 授業内容：Students review the vocabulary and grammar studied in the first seven units. Students begin preparation for the speaking test. 事前学修 1.0hr：Review units 1, 2, 3, 4, 5, 6, and 7 事後学修 1.0hr：Prepare for the Speaking Test
13回	**授業テーマ：Speaking Test Part A** 授業内容：Students participate in a speaking test conducted and assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
14回	**授業テーマ：Speaking Test Part B** 授業内容：Students participate in a speaking test conducted and assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-a 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for the summer and next term. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Prepare a 2 minute speech to describe what you did in summer vacation

英語Ⅰ-b

開講学科等：日中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

アブデルワヘド　ベンジリル・クリストファ　マタズスキー・コマンドュリ　シリーシャ・バルブド　プルメル　エスティオコ

▌授業の概要

A continuation of the skills and abilities learned in English I-a, English I-b is a foundational language course which focuses on giving students the language needed to interact with the world around them in daily life situations through the medium of the English language. The language skills learned in English I-a and I-b form the basis of the rest of the Non-English Majors program, and therefore, these skills will be recycled continuously throughout English II and English III as well. Please see Manaba for details.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：Similar to the goals of English I-a, in English I-b, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more confident in and develop positive attitudes towards communicating in English.

個別目標：By the end of this course, students will be able to ask about and describe people's appearance; identify people; describe past experiences; exchange information about past experiences and events; ask about and describe cities; ask for and give suggestions; talk about travel; talk about health problems; ask for and give advice; make requests; ask for and give suggestions; express likes and dislikes; agree and disagree; order a meal; describe countries; make comparisons; talk about distances and measurements; talk about plans; make invitations; accept and refuse invitations; give reasons; and, take and leave messages.

▌履修条件

It is recommended that students take English I-a before undertaking this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Coursework Tasks (30%) and Tests (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba. Feedback will also be given in the form of rubrics for performance assessments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Richards, J.C., Hull, J., &Proctor, S.(2021). Interchange Students' s Book 1 (5th ed.). Cambridge: Cambridge University Press &Assessment.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to English I-b** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in group and pair communication activities and discuss what they did during the summer. 事前学修 1.0hr：Prepare summer homework 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 9: What does she look like?** 授業内容：Students learn language to describe people's physical appearance. They also learn how to identify people by describing how they look and what they're doing. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 10: Have you ever been there?** 授業内容：Students learn language to describe recent activities. They also learn how to describe experiences from the recent and distant past. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Task 1** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 9 and 10. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 1 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
5回	**授業テーマ：Unit 11: It's a really nice city.** 授業内容：Students learn language to describe hometowns, cities, and countries. They also learn how to make recommendations about place to visit. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Unit 12: It's important to get rest.** 授業内容：Students learn language to state health problems and give advice. They also learn how to ask for advice and give suggestions about health products. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
7回	**授業テーマ：Task 2** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 11 and 12. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 2 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
8回	**授業テーマ：Unit 13: What would you like?** 授業内容：Students learn language to agree and disagree about food preferences. They also learn how to order food in a restaurant. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal

9回	**授業テーマ：Unit 14: It's the coldest city!** 授業内容：Students learn language to describe and compare different places in the world. They also learn to describe temperatures, distances, and measurements. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Task 3** 授業内容：Students participate in a communication performance task that reflects the goals of Units 13 and 14. 事前学修 1.0hr：Prepare for Task 3 事後学修 1.0hr：Complete self-assessment worksheet
11回	**授業テーマ：Unit 15: What are you doing later?** 授業内容：Students learn language to discuss future activities and plans. They also learn how to give messages. 事前学修 1.0hr：Preview unit: look up new words, check grammar etc. 事後学修 1.0hr：Complete extra practice exercises in student book and record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Speaking Test Review** 授業内容：Students review the vocabulary and grammar studied in the seven units covered this semester. Students begin preparation for the speaking test. 事前学修 1.0hr：Review units 9, 10, 11, 12, 13, 14, and 15 事後学修 1.0hr：Prepare for the Speaking Test
13回	**授業テーマ：Speaking Test Part A** 授業内容：Students participate in a speaking test conducted and assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
14回	**授業テーマ：Speaking Test Part B** 授業内容：Students participate in a speaking test conducted and assessed by their instructor. 事前学修 2.0hr：Prepare for a comprehensive speaking test by reviewing all of the materials covered in English I-b 事後学修 1.0hr：Make sure all of the entries in the English journal are complete
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for future study. 事前学修 0.5hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Create a plan for independent English study

英語Ⅱ-a

開講学科等：日中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

小山田　幸永（おやまだ　ゆきひさ）・キーネン　ディナ　クリスチャンセン・ティモシー　クレイシンガー・デビッド　マグヌソン・マット　ピーターセン・松堂　啓子（まつどう　ひろこ）

▌授業の概要

Whereas English I-a and I-b focus on students' daily lives and English III-a and III-b concentrate on English for the global workplace, English II-a and II-b seek to complement and build on the practical English covered throughout English I-a and I-b. By focusing primarily on reading and vocabulary development skills with a secondary focus on discussion, students will be provided with ample opportunities to engage in both language practice and language use through meaningful and contextualized content delivered thematically.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：In English II-a, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more towards analyzing a variety of text types and communicating their ideas in spoken English in preparation for their future careers.

個別目標：By the end of this course, students will be able to demonstrate the ability to read, comprehend, and analyze a variety of text types and to increase their knowledge of English vocabulary, idioms, pronunciation, intonation, and rhythm.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Midterm Test(30%), and Final Examination (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Malarcher, C. (2011). Reading Advantage 1 (3rd ed.). Singapore. Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction to English II-a** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in group and pair activities to help build a good class atmosphere. 事前学修 1.0hr：Purchase textbook 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 1: Lions** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 2: Ramen** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Unit 3: The Leaning Tower** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
5回	**授業テーマ：Unit 4: A Smart Dog** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Unit 5: Twenty-First Century Books and Mid-Term Test Review** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Prepare for the Midterm test by reviewing all readings and vocabulary in Units 1-5
7回	**授業テーマ：Midterm Test** 授業内容：Students complete a Midterm Test on the readings and vocabulary in Units 1-5. 事前学修 2.0hr：Prepare for the Midterm test by reviewing all readings and vocabulary in Units 1-5. 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

8回	**授業テーマ：Unit 6: Valentine's Day** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
9回	**授業テーマ：Unit 7: The Taj Mahal** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Unit 8: A Computer Problem** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Unit 9: The Mobius Band** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Unit 10: A Long Weekend** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English Journal
13回	**授業テーマ：Original Reading and Final Exam Review** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 6-10 事後学修 1.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 6-10
14回	**授業テーマ：Final Examination** 授業内容：Students complete a Final Examination on the readings and vocabulary in Units 6-10. 事前学修 2.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 6-10 事後学修 1.0hr：Be ready to submit English journal
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for next term. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Prepare a plan for independent English study

英語Ⅱ-b

開講学科等：日中 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

小山田　幸永（おやまだ　ゆきひさ）・キーネン　ディナ　クリスチャンセン・ティモシー　クレイシンガー・デビッド　マグヌソン・マット　ピーターセン・松堂　啓子（まつどう　ひろこ）

▌授業の概要

Whereas English I-a and I-b focus on students' daily lives and English III-a and III-b concentrate on English for the global workplace, English II-a and II-b seek to complement and build on the practical English covered throughout English I-a and I-b. By focusing primarily on reading and vocabulary development skills with a secondary focus on discussion, students will be provided with ample opportunities to engage in both language practice and language use through meaningful and contextualized content delivered thematically.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：Continuing from English II-a, in English II-b, practical language competencies (skills and abilities) are fostered in students so that students become more towards analyzing a variety of text types and communicating their ideas in spoken English in preparation for their future careers.

個別目標：By the end of this course, students will be able to demonstrate the ability to read, comprehend, and analyze a variety of text types and to increase their knowledge of English vocabulary, idioms, pronunciation, intonation, and rhythm.

▌履修条件

There are no prerequisites for this course.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated via Active Participation (30%), Homework (10%), Midterm Test(30%), and Final Examination (30%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on Manaba.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Malarcher, C. (2011). Reading Advantage 1 (3rd ed.). Singapore. Cengage Learning.

▌参考書

To Be Announced

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction to English II-b** 授業内容：Students review the syllabus and go over the course schedule. Students participate in group and pair activities to help build a good class atmosphere. 事前学修 1.0hr：Preview the textbook chapters to be covered this semester 事後学修 1.0hr：Write your goals for this semester
2回	**授業テーマ：Unit 11: Women's Sumo** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
3回	**授業テーマ：Unit 12: Studying Abroad** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
4回	**授業テーマ：Unit 13: The Salt Palace** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
5回	**授業テーマ：Unit 14: Lizards** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
6回	**授業テーマ：Unit 15: The Mona Lisa and Mid-Term Test Review** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Prepare for the Midterm test by reviewing all readings and vocabulary in Units 11-15
7回	**授業テーマ：Midterm Test** 授業内容：Students complete a Midterm Test on the readings and vocabulary in Units 11-15. 事前学修 2.0hr：Prepare for the Midterm test by reviewing all readings and vocabulary in Units 11-15 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal

8回	**授業テーマ：Unit 16: Breakfast** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
9回	**授業テーマ：Unit 17: The World Cup** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
10回	**授業テーマ：Unit 18: Blood Types** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
11回	**授業テーマ：Unit 19: Reality TV** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English journal
12回	**授業テーマ：Unit 20: Rodeos** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Complete answers to discussion questions in English journal 事後学修 1.0hr：Record vocabulary in English Journal
13回	**授業テーマ：Original Reading and Final Examination Review** 授業内容：Students engage in pre-reading discussions and review the target vocabulary. Students then read the text aloud several times working on their reading comprehension and fluency. During the post-reading activities students answer reading comprehension questions, learn idioms, do vocabulary practice, and then participate in pair or group work to answer discussion questions. 事前学修 1.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 16-20 事後学修 1.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 16-20
14回	**授業テーマ：Final Examination** 授業内容：Students complete a Final Examination on the readings and vocabulary in Units 16-20. 事前学修 2.0hr：Prepare for the Final Examination by reviewing all readings and vocabulary in Units 16-20 事後学修 1.0hr：Be ready to submit English journal
15回	**授業テーマ：Final Class: Feedback and Reflection Session /Student Consultations** 授業内容：Students receive general feedback on their performance from the instructor. Students reflect on their performance and set goals for next term. 事前学修 1.0hr：Be ready to submit English journal 事後学修 1.0hr：Prepare a plan for independent English study

［専門科目］

○日本語学科

日本語学概論

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

近年日本語への関心の高まりとともに、ことばの問題がマスメディア等で取り上げられるのを多く目にするようになった。しかし、一方で日本語の基本的な性質を体系的に概観する機会は少ないと思われる。それらの問題は日本語を体系として見た場合、どのような現象として捉えられるだろうか。この講義では＜言語とは＞＜類型・系統＞＜音韻＞＜文字・表記＞＜語彙＞＜意味＞というテーマを中心に、日本語のもっとも基本的な面について、言語理論や歴史的変遷、他言語との比較といった視点も交えながら日本語を観察・分析し、日本語教育・国語教育に生かすための知見についても解説する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語学の基本的な考え方を習得し、身の回りの日本語を観察し、事象を知識に繋げて基礎的な事柄に関する日本語の例を自分で分析説明することができる。

個別目標：1 日本語の特色を言語の系統論および類型論、音声、文字、語種、語彙、意味の分野から説明できる。
2 日本語そのものに関する知識を学習者に正確に伝えるために、日本語の形態論と語構成を理解し、語彙指導に必要となる知識を理解している。〈42〉
3 日本語そのものに関する知識を学習者に正確に伝えるために、日本語教育のための意味体系に関する知識を体系的に学び、指導上必要となる分析方法について理解している。〈44〉

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

授業時の取り組みおよび小テスト及び小レポート(50%)、期末試験(50%)及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。欠席時の授業点および課題点は減点とする。出席不良(5 分の 4 に満たない場合)は E 評価とし、単位修得不可とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、対話、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （コーパス、語彙調査を閲覧する、レポート記述）

▌教科書

沖森卓也ほか『図解日本語』三省堂

▌参考書

授業時にプリントにて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業の目的、到達目標、成績評価の方法等の説明及び日本語学と教育学との関係と位置付け** 授業内容：日本語学という学問とその位置付け、本学科で、日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育・国語教育に関する知識と能力を身につけるためにこの授業でまなぶ事柄について理解する 事前学修 2.0hr：シラバスを読む 事後学修 2.0hr：配布資料・指定された文献を読んでおく
2 回	**授業テーマ：言語学と日本語学** 授業内容：言語の捉え方としてソシュールと彼の理論をとりあげ、恣意性その他の近代の言語学の言語の概念を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
3 回	**授業テーマ：世界の言語** 授業内容：世界の言語の現状を見渡した上で、系統論と類型論についてまなぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
4 回	**授業テーマ：世界の言語と日本語** 授業内容：系統論と類型論からみた日本語の特徴と他類型の言語と日本語の違いについて理解する 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
5 回	**授業テーマ：日本語の音声・音韻(1)** 授業内容：言語の音声の概念と音声器官、音韻の概念について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
6 回	**授業テーマ：日本語の音声・音韻(2)** 授業内容：日本語の母音の構造、および調音点、調音法をおさえた上で子音の構造について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
7 回	**授業テーマ：日本語の音声・音韻(3)** 授業内容：音節とモーラについてその概念の違いと実際の区切り方、その問題点について理解する 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
8 回	**授業テーマ：日本語の文字・表記　日本語表記としての漢字** 授業内容：日本語の表記法について、漢字、ひらがな、カタカナ、ローマ字の 4 種類の特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
9 回	**授業テーマ：日本語の語種** 授業内容：日本語の語種について、和語・字音語・外来語・混種語の区別と、その区別の歴史的由来および、現代日本語における表現効果について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入

10回	**授業テーマ：日本語の語構成** 授業内容：意味の最小単位としての語と日本語の語構成および造語法について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
11回	**授業テーマ：日本語の語彙(1)** 授業内容：日本語の語彙という概念と、日本語における語彙の量的側面について、理解語彙、使用語彙、延べ語と異なり語等について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
12回	**授業テーマ：日本語の語彙(2)** 授業内容：語彙調査の方法を学んだ上で、コーパス、語彙調査を使用して、日本語の語彙の特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
13回	**授業テーマ：日本語の語彙(3)** 授業内容：基本語彙・基礎語彙の概念および、「やさしい日本語」を学んだ上で、日本語教育・国語教育における語彙の問題について考える 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
14回	**授業テーマ：日本語の意味** 授業内容：日本語の意味記述について、意義素や前提的意味、本来的意味などを理解し、国語辞書の意味記述を検討し、日本語の意味記述の問題点を理解する 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入
15回	**授業テーマ：日本語の意味構造** 授業内容：類義語、対義語等の意味構造にかかわる概念を理解し、用例を比較して類義語の分析を行えるようにする 事前学修 2.0hr：教科書の当該セクションを読む 事後学修 2.0hr：まとめシートの記入

日本語表現研究 I

開講学科等：日 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中村　佑衣 (なかむら　ゆい)

▌授業の概要

言葉によるコミュニケーションのためには、自分の考えをきちんとまとめて伝える能力や、言葉のやりとりを通して他人と理解し合う能力が必要となる。コミュニケーションの基幹をなすのは「話す」ことと「書く」ことであるが、ここでは「書く」ことを中心に講義を進める。本講義では、まず学生の「書く力」を把握し、講義、読解、作文演習、添削、小テスト等を通じて大学生や社会人に求められる文章表現力を身につけることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：1　簡潔でわかりやすい文章で伝えることができる。
　　2　資料を正しく読解・分析し、自分の意見を論理的な文章で表現することができる。
　　3　論理的な文章を書くために、適切な語彙・表記・表現を用いることができる。
個別目標：1　日本語の運用能力及び専門的知識に関する知識と能力を身につけることができるようになる。
　　2　日本語を媒介のツールとして、情報を適切に集約・分析・表現することができるようになる。
　　3　コミュニケーションを通じて、自己の主張を的確に表現し、他者の思考を理解できるようになる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

授業課題 50 %、レポート 30 % 、小テスト 20 %

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションやピア活動）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （課題文の作成など）

▌教科書

なし

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション　講義の概要と進め方** 授業内容：本講義で何を学ぶかを確認する。アカデミック・ライティングの概要について確認し、高校までと異なる点を把握する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで本講義の概要をつかむ 事後学修 2.0hr：アカデミック・ライティングの概要についてまとめる。
2回	**授業テーマ：アカデミック・ライティングの基本的なルール** 授業内容：大学生や社会人に求められる文体とは何か、どのようなルールに基づくのか、確認する。 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：伝わりやすい文章(1)：表記・文法上** 授業内容：伝わりやすい文章を目指すために、表記や文法の観点からよくある間違いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：伝わりやすい文章(2)：悪文** 授業内容：文法としては間違ってはいないものの、二通りの読み方ができるなどの「読みにくい」文章は多く存在する。本時ではそのような「悪文」の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：パラグラフライティング** 授業内容：パラグラフを構成する要素について学び、論理的文章に必要な思考プロセスを把握する。また、事実と意見の違いについて理解する。 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：文章の構成** 授業内容：序論・本論・結論から成り立つ、一般的な文章の構成について学ぶ。パラグラフ間や文と文をつなぐ、接続語の重要性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された課題を検討し、小テストのための準備をする 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：文章の要約** 授業内容：比較的短い文章を用いて、文章の要約をする。他者性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された課題について検討する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：意見の構築の仕方(1)：概念の見直し** 授業内容：あるテーマについて書かれた資料を読み、グループで意見を交換する。「～とは何か」型の問いに対する意見の構築の仕方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読み通す。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：意見の構築の仕方(2)：賛否** 授業内容：あるテーマについて書かれた資料を読み、グループで意見を交換する。賛否型の問いに対する意見の構築の仕方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読み通す。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：意見の構築の仕方(3)：優先順位** 授業内容：あるテーマについて書かれた資料を読み、グループで意見を交換する。優先順位型の問いに対する意見の構築の仕方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み通す。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。

11回	**授業テーマ：意見の構築の仕方(4)：自己 PR 文・志望動機** 授業内容：インターンシップへの応募を想定した、自己 PR 文と志望動機の書き方について学ぶ。読み手と目的を意識した文章の書き方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：自己 PR や志望動機のアイデアを準備する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：意見の構築の仕方(5)：手紙文・メール・電話** 授業内容：手紙文・メール・電話の基本的なルールについて学ぶ。敬語を使いながら、相手とのコミュニケーションを重視した意見の述べ方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に示されたテーマについて例文を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：書評レポートを執筆する(1)書誌情報をまとめる** 授業内容：興味がある本を 1 冊、図書館から借り、それについてのブックレポートを書く。まずは、対象となる本の基本事項について調べ、内容を適切に要約する。 事前学修 2.0hr：興味のある本を 1 冊用意し、読み通す。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：書評レポートを執筆する(1)書誌情報をまとめる** 授業内容：興味がある本を 1 冊、図書館から借り、それについてのブックレポートを書く。読んだ本についての自分なりの考察を本論に据えたアウトラインを考える。 事前学修 2.0hr：アウトラインを考える。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：書評レポートを執筆する(3)推敲** 授業内容：ブックレポートの下書きを互いに交換し、推敲する。挙がった意見をもとに自身のレポートを改善する。 事前学修 2.0hr：下書きを完成させる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。

日本語表現研究Ⅱ

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

中村　佑衣（なかむら　ゆい）

▌授業の概要

1　この授業では、コミュニケーション能力の向上に必要な知識を能動的に学修するとともに、実際にさまざまなスタイルのコミュニケーションを経験することで、コミュニケーションの基礎力をつける。
2　グループによるプレゼンテーションを中心として、ディスカッションやグループワークなど、主体的・対話的な学びを多用して受講学生の質を向上させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：1　「話す・聞く」能力について、大学生および社会人として求められる基準として、相手・目的・場面を意識した対応ができるようになる。
　　2　将来、社会に出た時に通用できるようにアカデミックな表現技法をコミュニケーション能力の基礎としてを身につける。
個別目標：1　日本語の運用能力および専門的知識に関する知識と能力を身につけることができるようになる。
　　2　日本語を媒介のツールとして、情報を適切に集約・分析・表現ができるようになる。
　　3　コミュニケーションを通じて、自己の主張を的確に表現し、他者の思考を理解できるようになる。
　　4　対話を通じて他者と協力して目標実現の方向性を示すことができるようになる。

▌履修条件

コミュニケーション活動を重視するため、グループ活動などにおいて積極的な参加が必要となる。

▌評価基準・方法

授業内課題 50 %、プレゼンテーション 40 %、話し合いなどでの積極的な発言 10 %として評価の対象とする。５分の４以上の出席者のみを評価の対象とする。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表資料の作成など）

▌教科書

特になし。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(授業の概要と進め方)** 授業内容：オリエンテーションを通じて授業の概要と進め方を理解する。グループによるプレゼンテーションの在り方、実施する上での留意事項等について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで本授業の概要をつかむ。 事後学修 2.0hr：次回以降のプレゼンテーションの計画・準備について見通しを立てる。
2回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする意見の表明(1)：準備** 授業内容：話し合いを通じて、プレゼンテーションを実施するグループ分けを行い、班長を決定する。指定された社会的な課題について、グループ内でアイデアを出し合う。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
3回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする意見の表明(1)：発表** 授業内容：指定された社会的な課題について、グループ内で意見を出し合う。グループごとに意見を発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
4回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする意見の表明(2)：準備** 授業内容：指定された社会的な課題について、グループ内でアイデアを出し合う。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
5回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする意見の表明(2)：発表** 授業内容：指定された社会的な課題について、グループ内で意見を出し合う。グループごとに意見を発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
6回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする意見の表明(3)：準備** 授業内容：指定された社会的な課題について、グループ内でアイデアを出し合う。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
7回	**授業テーマ：社会的な課題をテーマとする意見の表明(3)：発表** 授業内容：指定された社会的な課題について、グループ内で意見を出し合う。グループごとに意見を発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
8回	**授業テーマ：わかりやすいプレゼンテーションのスライド** 授業内容：わかりやすいレジュメ資料とはどのようなものか、実例を見ながら要点を確認する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
9回	**授業テーマ：テーマの設定・アウトラインの作成** 授業内容：グループごとにテーマを設定する。発表テーマにあわせて、アウトラインを作成する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
10回	**授業テーマ：中間報告** 授業内容：グループごとに進捗について口頭で報告する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。

11回	**授業テーマ：本番発表(1)** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
12回	**授業テーマ：本番発表(2)** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
13回	**授業テーマ：本番発表(3)** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
14回	**授業テーマ：本番発表(4)** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。
15回	**授業テーマ：本番発表(5)・まとめ** 授業内容：自らが選んだテーマについて、グループによるプレゼンテーションを実施する。 プレゼンテーションについて相互評価を行うとともに、内容について各グループで協議し、その結果を全体に発表する。 これまでの授業を振り返り、自己評価をする。 事前学修 2.0hr：先の授業内容を振り返り、学修を深める。次回以降のプレゼンテーションの計画・準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修を深める。

日本語学基礎演習

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

「国語辞典を読む」ということをテーマに、日本語学を学ぶための基礎的能力を身につける。
辞書の記述では説明しきれない言葉の細かい意味や用法について考える作業を通して、言葉をあつかう際の基礎的な考え方を身につけていく。 具体的には、
1)各自言葉を一つ選び、その辞書記述を吟味する 2)問題点を発見し、それについて調べたり考えたことを全員の前で発表する 3)発表の段階で明らかになった課題について再調査し、レポートにまとめて提出するという課題を課す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：言葉の用例を採集し、分析し、整理することができる
　　発表・質疑応答を参考にして自身の分析・考察に活かすことができる
個別目標：自分が選んだ言葉の用例を採集し、用法を的確に分析し、分析結果を明確に説明できる
　　授業の発表時における質疑応答を参考にして調査を追加し、レポートとしてまとめることができる

▌履修条件

インターネットを利用して用例検索をするので、インターネット検索、エクセル・ワードの基本的技能が必要である。苦手な学生は開講時に相談すること。

▌評価基準・方法

発表：40 % レポート：40 % 質疑応答への参加：20 %
５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （エクセルを使った用例分析・パワーポイントを使ったプレゼンテーション）

▌教科書

なし

▌参考書

授業時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス 1：言葉の意味・辞書の記述について** 授業内容：言葉の意味をどうやって説明するのか。辞書の記述を参考にしながら、言葉の意味を必要十分に説明する方法について考える。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読して言葉の意味記述について知識を整理し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：言葉の意味について実例を元に考察し、ノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：ガイダンス 2：発表の仕方** 授業内容：どのような手順で発表をするのかを確認し、この授業の各自のゴールを設定する。 各自が発表する言葉を選び、その語の意味・用法を説明するのにどのような課題があるかを確認する。 事前学修 2.0hr：発表する言葉を選ぶ。 事後学修 2.0hr：自分の選んだ言葉について、問題点を整理し、ノートにまとめる。
3回	**授業テーマ：ガイダンス 3：言葉の選び方・調べ方** 授業内容：前回の授業で選んだ語について、どのような問題があるかを整理し、用例を観察する。 KOTONOHA「少納言」の使い方を確認する。 事前学修 2.0hr：インターネット検索で言葉について下調べをし、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：インターネット検索で用例を採集して分析し、ノートにまとめる。
4回	**授業テーマ：発表・討議 1 例：「うれしい」と「たのしい」** 授業内容：「うれしい」と「たのしい」はどのように意味が異なるのか、発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：発表・討議 2 例：「鑑定」の意味** 授業内容：「鑑定」とは、どのようなものについてどのようなことをすることを指すのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
6回	**授業テーマ：発表・討議 3 例：「温存」の意味** 授業内容：「温存」とは、どのようなものについてどのようなことをすることを指すのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
7回	**授業テーマ：発表・討議 4 例：「わざと」の意味** 授業内容：「わざと」とは、どのような意図に基づいてどのような行動をすることを指すのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
8回	**授業テーマ：発表・討議 5 例：「強いて」の意味** 授業内容：「強いて」とは、どのような意図に基づいてどのような行動をすることを指すのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
9回	**授業テーマ：発表・討議 6 例：「あえて」の意味** 授業内容：「あえて」とは、どのような意図に基づいてどのような行動をすることを指すのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
10回	**授業テーマ：発表・討議 7 例：「守護神」の意味** 授業内容：「守護神」の比喩的な意味は、どのような広がりを持っているのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察する。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をする。

11回	**授業テーマ：発表・討議 8 例：「震源地」の意味** 授業内容：「震源地」の比喩的な意味は、どのような広がりを持っているのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：発表・討議 9 例：「難航」の意味** 授業内容：「難航」の比喩的な意味は、どのような広がりを持っているのか、用例観察をもとに発表し、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
13回	**授業テーマ：レポートの作成について** 授業内容：各自が発表した内容に基づいてレポートを作成する。作成にあたっての留意点を確認する。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.5hr：レポート作成
14回	**授業テーマ：まとめ　レポート提出** 授業内容：各自が発表した内容をレポートにまとめて提出する。 事前学修 2.0hr：レポート作成 事後学修 2.0hr：レポートのフィードバックを元に修正。
15回	**授業テーマ：レポート内容についての振り返り** 授業内容：レポートについてのフィードバックを参考にしながら、言葉の意味・用法の記述について考えたことについてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：レポート修正。 事後学修 2.0hr：授業の成果についてノートにまとめる。

日本語学講義Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

普段何気なく使っている言葉なのに、日本語には考えてみるとよくわからないことが多い。「今さら人に聞けない日本語のなぜ」を考えることによって、日本語というものをさらに深く知るのがこの授業の目的である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語についての深い知識を身につけ、日本語に関する問題を解決することができる
個別目標：①日本語について問題提起をし、解決することができる
②日本語の問題とその解決方法について、わかりやすく説明することができる

▌履修条件

①授業は毎回受講し、課題を提出すること。
②欠席や遅刻をしないこと。

▌評価基準・方法

①期末レポート８０%
②提出物および授業への参加状況２０%
※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （回によってペアワークおよびディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用しての課題提出）

▌教科書

別途指示します。

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：今さら人に聞けない日本語のなぜ１　日本語に関する疑問点をピックアップする** 授業内容：「なぜ方言があるのか？」「ニホン・ニッポン、どちらが正しい？」など、日本語には謎が多い、各自が思いつく「なぜ？」を書き出して、どのような問題があるのかを確認する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：今さら人に聞けない日本語のなぜ２　疑問点を分類する** 授業内容：前回の授業で出された「なぜ？」を情報共有して分類し、日本語学の各分野がどのような問題を扱っているかを考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：今さら人に聞けない日本語のなぜ３　疑問点の解決の仕方を考える** 授業内容：前回までの考察をもとに、それぞれの疑問をどうやって解決するか、その方法について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：なぜ５０音図には音が５０の仮名がないのか？** 授業内容：５０音図において欠けている文字が何かを確認し、なぜ欠けているのかを考え、「文字」「音韻」についての知識を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：なぜコンニチハと書いてコンニチワと読むのか？** 授業内容：文字表記と音韻との関係について理解を深める。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：なぜ日本語には漢字とひらがなとカタカナがあるのか？** 授業内容：言語と表記の関係について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：なぜ言葉は変化するのか？** 授業内容：言葉の意味・用法について考え、なぜそれが変化するのかを用例観察を通して考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：なぜ漢字には読み方が複数あるのか？** 授業内容：漢字と意味との関係について深く考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：なぜ外来語をたくさん使うのか？** 授業内容：日本語の語彙について考察し、外来語の必要性についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：なぜ日本語には敬語があるのか？** 授業内容：日本語に敬語は必要か。もしなかったらどうなるか。グループワークでディスカッションする。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
11回	**授業テーマ：なぜ言葉にはたくさんの意味があるのか？** 授業内容：多義語を集めて観察し、なぜ多義なのか、考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

12回	**授業テーマ：英語に訳せない日本語の謎１** 授業内容：英語に訳せない日本語の語彙をピックアップし、語彙の特徴を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：英語に訳せない日本語の謎２** 授業内容：前回の授業でピックアップした日本語がなぜ英語に訳せないのか、グループでディスカッションする。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：なぜ日本語には縦書きと横書きがあるのか？** 授業内容：縦書きと横書きの特徴について考察し、歴史的な変遷を確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：この授業で考えたことをまとめ、日本語について問題提起して解決する方法について考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語学講義Ⅱ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

国語辞典の記述について考えることを通じて、言葉の意味、言葉の変化について深く考えることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：辞書についての知識を深め、日本語の意味記述について説明することが出来る

個別目標：①日本語の辞書について、タイプと特徴を説明することができる
②日本語の意味記述についてわかりやすく説明することができる
③辞書を通じて日本語の問題をわかりやすく説明することができる

▌履修条件

授業は毎回受講し、課題を提出すること

▌評価基準・方法

①期末の提出物８０%

②提出物および授業の参加状況２０%

※なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク・ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用しての情報収集、課題提出）

▌教科書

なし

▌参考書

必要に応じて紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語の辞書のタイプ１** 授業内容：国語辞典、漢和辞典、英和辞典、和英辞典など、日本語に関わる辞書のタイプと用途について考える。 事前学修 1.0hr：講義概要を読み、授業全体の流れを確認しておく 事後学修 3.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
2回	**授業テーマ：日本語の辞書のタイプ２** 授業内容：国語辞典について、どのような種類の辞書が出版されているのか確認し、それぞれの特徴について考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
3回	**授業テーマ：辞書の記述とは** 授業内容：辞書の記述はその語の意味を十分に説明しているか、用例を観察しながら考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
4回	**授業テーマ：多義語か同音異義語か** 授業内容：「打つ」という動詞は「心を打つ」「頭を打つ」「脈を打つ」のように多義的であり、ひとつの語が多くの意味を持っていると言えるが、「(手を)挙げる」と「(天ぷらを)揚げる」は多義語だろうか、それともたまたま同じ「あげる」という音を持った同音異義語だろうか？ 考えてみよう。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
5回	**授業テーマ：なぜ辞書によって記述が異なるのか** 授業内容：辞書の記述を比較して違いについて考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
6回	**授業テーマ：類義語の違いをどう記述し分けるか１** 授業内容：類義語の意味・用法を用例観察を通じて考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
7回	**授業テーマ：類義語の違いをどう記述し分けるか２** 授業内容：前回の考察をもとにディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
8回	**授業テーマ：同義語とは？** 授業内容：「母」「ママ」「おかあさん」などは同義語と呼ばれるが、本当に「同義」と言って良いのかを考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
9回	**授業テーマ：語源１** 授業内容：民間語源説について考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
10回	**授業テーマ：語源２** 授業内容：語源説の信憑性をどう判断するか考える。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
11回	**授業テーマ：語誌１** 授業内容：ある言葉がいつ頃から使われるようになり、どのように変化したのかを考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

12回	**授業テーマ：語誌２** 授業内容：外来語の語彙について、いつ頃から日本で使われるようになったのか、原語の意味とどのように違うのかを考察する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
13回	**授業テーマ：言語変化と辞書１** 授業内容：言葉の意味・用法がどのように変化しているのかを考察し、辞書の記述がどのように変化しているかを確認する。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
14回	**授業テーマ：言語変化と辞書２** 授業内容：辞書の記述は言語変化にどのように対応すべきなのか、問題点を整理してディスカッションする。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：日本語研究における辞書の役割について考察を深め、各自がこの授業において学んだことに基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：前回授業時に指示された事項について確認しておく 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、学修ポイントを復習する

日本語方言学

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

この授業では、日本語の方言について、方言研究の各分野を概観しながら、基礎的な事項を学ぶことを目的とする。まず、伝統的な方言学と方言の理論について扱い、次に、各地の伝統的方言の様相を理解する。また、歴史的、社会的観点から方言を探る。最後に現代方言の様相や方言に対する意識について、文化的な観点から現代の用いられ方と受け止められ方を考察する。
現代人にとっての方言とは何かを見つめ直し、方言の文化的意味について考えられることを目的とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：多角的な視点で方言を見ることにより、自己の方言に関する興味を学問的な観点から深め、方言学の分野に位置づけることができる。
個別目標：現代方言の特徴を説明できる。
　　方言の歴史的位置付けを説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

毎回の授業課題と小テスト (30 %)、発表とまとめ(30 %)、レポート類(40 %)。
欠席時の授業点および課題点は減点とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料検索、資料閲覧、プレゼンテーション）

▌教科書

プリントを使用する。

▌参考書

授業時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：方言と方言学** 授業内容：方言とはなにかについて、言語の違いと方言の違い、社会言語学としての方言の位置付け、俚言と方言の違いを学ぶ 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、これまでの学習や経験から「方言」についてまとめてくる。 事後学修 2.0hr：与えられた課題に取り組み、結果をプリントにまとめる。
2 回	**授業テーマ：方言の研究方法** 授業内容：言語地理学が発展させてきた日本の方言研究と東西方言の区分についてその歴史的経緯や様相を理解する。 事前学修 2.0hr：東西方言の区分について調べてくる。 事後学修 2.0hr：東西方言の区分についてまとめる
3 回	**授業テーマ：方言の分布と形成 (1)** 授業内容：方言周圏論と、その歴史的経緯や様相を理解する。 事前学修 2.0hr：方言周圏論を調べる。 事後学修 2.0hr：方言周圏論についてまとめる。
4 回	**授業テーマ：方言の分布と形成 (2)** 授業内容：音韻、文法それぞれの分野からの方言の区画を理解する。周圏論および区画論から、類型論的方言研究と通時的方言研究の違いと、方言圏等の方言形成についての理論を理解する。 事前学修 2.0hr：方言区画論を調べてくる。 事後学修 2.0hr：資料について要約しレポートをまとめる。
5 回	**授業テーマ：各地の方言①** 授業内容：各地域の方言について、総論、音韻、文法の観点から基本資料を読み込み、構成をつくる 事前学修 2.0hr：資料に目を通して、希望の地域と事項を選んでおく 事後学修 2.0hr：不明な用語、解説を洗い出しておく。
6 回	**授業テーマ：各地の方言②** 授業内容：各地域の方言について、総論、音韻、文法の観点からポスターを作成する 事前学修 2.0hr：不明な用語、解説について辞典で解決しておく 事後学修 2.0hr：ポスター資料について完成させる
7 回	**授業テーマ：各地の方言③** 授業内容：総論、音韻、文法の観点から適切な資料を探し、プレゼン資料に加える 事前学修 2.0hr：図書館、国立国語研究所のホームページなど紹介した中から適切な資料をさがしてくる 事後学修 2.0hr：プレゼン資料を修正する
8 回	**授業テーマ：各地の方言のプレゼンテーション第一回　概論・音韻** 授業内容：各地域の方言について、概論と音韻についてプレゼンテーションを行う（1） 事前学修 2.0hr：プレゼンの練習を行う 事後学修 2.0hr：プレゼン資料についてふりかえりを行う
9 回	**授業テーマ：各地の方言のプレゼンテーション第二回　文法・その他** 授業内容：各地域の方言について、文法とその他の項目についてプレゼンテーションを行う（2） 事前学修 2.0hr：プレゼン資料についてふりかえりを行う 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う
10 回	**授業テーマ：各地の音韻のまとめとフィードバック** 授業内容：プレゼン資料に基づき、日本の方言としての観点から、日本語の音韻的特徴を理解する 事前学修 2.0hr：クラスの別の地域のプレゼン資料から自己の担当の地域と共通している現象をチェックしてくる 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う
11 回	**授業テーマ：各地の文法のまとめとフィードバック** 授業内容：プレゼン資料に基づき、日本の方言としての観点から、日本語の文法的特徴を理解する 事前学修 2.0hr：クラスの別の地域のプレゼン資料から自己の担当の地域と共通している現象をチェックしてくる 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う

12回	**授業テーマ：東京方言と標準語** 授業内容：標準語の概念の形成と展開を江戸語・東京語の形成と関連づけて理解する 事前学修 2.0hr：配布資料を読む 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う
13回	**授業テーマ：共通語と現代の方言** 授業内容：共通語の概念と標準語との概念の相違、方言の共通語化を理解する。 事前学修 3.0hr：共通語についてノートに調べてくる。 事後学修 3.0hr：授業の復習を行う。
14回	**授業テーマ：方言と標準語についての小論文を仕上げる** 授業内容：標準語の形成についての論文を教育と文学とマスコミの観点から論文の形式を使ってまとめる。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、メモを作成する 事後学修 2.0hr：授業の復習を行う。
15回	**授業テーマ：現代の方言の社会的様相** 授業内容：役割語について理解した上で、方言ステレオタイプとヴァーチャル方言による方言のツール化について理解する。メディア、娯楽の中でのさまざまな方言利用およびステレオタイプの形成を、方言コンプレックスの消滅と関連づけて理解する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む 事後学修 4.0hr：レポートを提出する

日本語学演習 I

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

日本語の諸問題を研究する能力を身につける。
日本語の「文字」「表記」「語彙」「文法」「敬語」「方言」「言語変化」等、さまざまな分野から課題を発見し、解決するための方法を検討する。
1)各自課題を一つ設定し、問題点を整理する 2)問題を解決するための方法を検討し、それについて調べたり考えたことを全員の前で発表する 3)発表の段階で明らかになった課題について再調査し、レポートにまとめて提出する

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語の諸問題について課題を発見し、解決する能力を身につける
個別目標：①日本語について問題提起し、課題を明確に説明することができる
②自分が選んだ問題を解決するための方法を整理して説明することができる
③課題解決のための調査をし、分析した結果を口頭で発表し、レポートとしてまとめることができる

▌履修条件

①原則として毎回 PC を使用するので、PC 持参で出席すること。
②インターネットを利用して用例検索をするので、インターネット検索、エクセル・ワードの基本的技能が必要である。苦手な学生は開講時に相談すること。

▌評価基準・方法

発表：40 %　レポート：40 %　質疑応答への参加：20 %
５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表とディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用したデータ収集と分析、プレゼンテーション）

▌教科書

なし

▌参考書

授業時に指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス 1：日本語の諸問題** 授業内容：日本語について疑問に思うことを書き出し、各自が取り組む課題を選ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読して言葉の意味記述について知識を整理し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：どの分野について問題提起するかまとめ、manaba で提出する
2回	**授業テーマ：ガイダンス 2：発表の仕方** 授業内容：発表の方法について確認し、各自の研究のゴール設定をする。 事前学修 2.0hr：問題提起の準備をする 事後学修 2.0hr：自分の選んだ問題について、問題点を整理し、manaba で提出する
3回	**授業テーマ：ガイダンス 3：問題解決の方法・調べ方** 授業内容：各自の課題をどのように解決したら良いか、調査方法を検討する。 事前学修 2.0hr：インターネット検索で下調べをし、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：インターネット検索で用例や諸説を検索してまとめ、manaba で提出する
4回	**授業テーマ：発表準備１　各自の問題について課題を設定し、調査し、整理する** 授業内容：各自の問題提起について具体的な課題を設定し、絞り込んだ課題に基づいてデータを収集し、整理する。 事前学修 2.0hr：自分の選んだ問題について考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：調査結果を整理し、manaba で提出する
5回	**授業テーマ：発表準備２　各自の問題について調査を進め、発表のための資料を作成する** 授業内容：前回整理した調査をまとめ、発表するためにスライド等の資料を作成する。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
6回	**授業テーマ：発表・討議１ 例：日本語の語彙について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
7回	**授業テーマ：発表・討議２ 例：日本語の語順について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
8回	**授業テーマ：発表・討議３　例：日本語の敬語について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
9回	**授業テーマ：発表・討議４　例：日本語の方言について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
10回	**授業テーマ：発表・討議５　例：「は」と「が」について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察する 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をする

11回	**授業テーマ：発表・討議6　例：日本語の主語について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
12回	**授業テーマ：発表・討議7　例：二重敬語について** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる
13回	**授業テーマ：レポートの作成について** 授業内容：前回までの発表とディスカッションをもとにレポート作成を開始する。 事前学修 2.0hr：問題について考察し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：レポート作成
14回	**授業テーマ：まとめ　レポート提出** 授業内容：レポートを完成させ、提出する。 事前学修 2.0hr：レポート作成 事後学修 2.0hr：レポートのフィードバックを元に修正する
15回	**授業テーマ：レポート内容についての振り返り** 授業内容：提出したレポートへのフィードバックを参考に修正し、この授業で学んだことをまとめ、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：レポート修正。 事後学修 2.0hr：授業の成果についてまとめ、manaba で提出する

日本語学演習Ⅱ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

「現代日本語の意味・用法」をテーマに、日本語を研究する能力を身につける。
辞書の記述では説明しきれない言葉の細かい意味や用法について考える作業を通して、言葉をあつかう際の基礎的な考え方を身につけていく。 具体的には、
1)各自言葉を一つ選び、その辞書記述を吟味する 2)問題点を発見し、それについて調べたり考えたことを全員の前で発表する 3)発表の段階で明らかになった課題について再調査し、レポートにまとめて提出するという課題を課す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：現代日本語の意味・用法について問題を発見し、課題を解決することができる
個別目標：自分が選んだ言葉の用例を採集し、用法を的確に分析し、分析結果を明確に説明できる
　　授業の発表時における質疑応答を参考にして調査を追加し、レポートとしてまとめることができる

▌履修条件

①原則として毎回 PC を使用するので、PC 持参で出席すること。
②インターネットを利用して用例検索をするので、インターネット検索、エクセル・ワードの基本的技能が必要である。苦手な学生は開講時に相談すること。

▌評価基準・方法

発表：40 % レポート：40 % 質疑応答への参加：20 %
５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表とディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用したデータ収集と分析、プレゼンテーション）

▌教科書

なし

▌参考書

授業時に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス 1：言葉の意味・辞書の記述について** 授業内容：言葉の意味記述について考察し、用例を観察することによって辞書の記述の妥当性を検討する。 事前学修 2.0hr：シラバスを熟読して言葉の意味記述について知識を整理し、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：言葉の意味について実例を元に考察し、ノートにまとめる
2回	**授業テーマ：ガイダンス 2：発表の仕方** 授業内容：発表の方法を確認し、各自の研究のゴール設定をする。 事前学修 2.0hr：発表する言葉を選ぶ。 事後学修 2.0hr：自分の選んだ言葉について、問題点を整理し、ノートにまとめる
3回	**授業テーマ：ガイダンス 3：言葉の選び方・調べ方** 授業内容：言葉を具体的に選び、用例を観察してみることによって、調べ方を確認する。 事前学修 2.0hr：インターネット検索で言葉について下調べをし、ノートにまとめる 事後学修 2.0hr：インターネット検索で用例を採集して分析し、ノートにまとめる
4回	**授業テーマ：発表・討議 1 例：「せっかく」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：発表・討議 2 例：「よほど」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
6回	**授業テーマ：発表・討議 3 例：「強いて」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
7回	**授業テーマ：発表・討議 4 例：「わざと」の意味** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
8回	**授業テーマ：発表・討議 5 例：「全然」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
9回	**授業テーマ：発表・討議 6 例：「あえて」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
10回	**授業テーマ：発表・討議 7 例：「動じる」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察する。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をする。

11回	**授業テーマ：発表・討議 8 例：「痛い」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：発表・討議 9 例：「普通」の意味・用法** 授業内容：各自が調べてわかったたことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
13回	**授業テーマ：レポートの作成について** 授業内容：発表とディスカッションを通じてわかったことをレポートとしてまとめる準備を始める。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：レポート作成
14回	**授業テーマ：まとめ　レポート提出** 授業内容：レポートを完成させて提出する。 事前学修 2.0hr：レポート作成 事後学修 2.0hr：レポートのフィードバックを元に修正。
15回	**授業テーマ：レポート内容についての振り返り** 授業内容：レポートへのフィードバックをもとに修正し、この授業を通じて学んだこと、考えたことについてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：レポート修正。 事後学修 2.0hr：授業の成果についてノートにまとめる。

日本語講読Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

菊地　明範（きくち　あきのり）

▌授業の概要

日本の新聞を用いて日本語・日本文化について理解を深める。
新聞記事に扱われた内容について日本語で考察し、日本語で意見を開陳する。
語彙カードの作成、確認ドリルの作成。
日本語のアクセントに留意して本文を朗読する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：新聞記事を正しく音読し、正確に内容を把握できる。
　　記事内容に関わる語彙を正しく認識できる。
　　日本文化について理解を深め諸外国との差異について考察できる。
　　記事内容について日本語で説明を加え、感想・意見を開陳できる。
　　日本語のアクセントに留意して音読することができる。
個別目標：新聞記事内の日本語の語彙を適切に用いることができる。
　　トピックについて説明をすることができる。
　　自己の意見を述べることができる。

▌履修条件

日本語教育・日本語に興味があること。
自己の文章が添削例として授業中に取り上げられることを諒とすること。
授業内に指名されたら必ず自分の意見を述べること。

▌評価基準・方法

提出物 60 %(1)毎週提出されるコメント(ふりかえり)シート・朗読音源(2)課題として提示された新聞記事に対するレポート(3)その他のレポート
平常点 40 %(授業中に発言を求めることがあるので積極的に発言すること)
課題等のフィードバックは、基本的に学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

manaba を通して、それぞれの成果について確認し、改善点などを指摘する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを行うことがあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （授業中に用いることはありませんが、朗読などの音源作成にｐｃかスマホが必要です。）

▌教科書

定めない。

▌参考書

授業内にその都度指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：言語を学ぶことについて考える。日本の新聞について解説する。** 授業内容：「言語を学ぶこと」の意味についてそれぞれで考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：日本の新聞記事を一つ取り上げ、どのような内容か紹介できるようにしてくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
2回	**授業テーマ：日本の伝統的な文化について理解を深める。自国の文化との比較を試みる。** 授業内容：日本の伝統文化についてのイメージを開陳してもらいます。 そのうえで現在まで続く伝統文化について解説します。 事前学修 2.0hr：日本の新聞記事を一つ取り上げ、どのような内容か紹介できるようにしてくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
3回	**授業テーマ：日本の伝統的な文化について、それぞれの発表を参考に考察する。** 授業内容：伝統文化について解説し、質疑応答を試みます。 事前学修 2.0hr：日本の新聞から伝統文化に関する記事を一つ取り上げ、自国の文化と比較しながら説明できるようにしてくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
4回	**授業テーマ：同一事件がどのような記事として報道されているか、各紙を比較する。** 授業内容：新聞を比較しながら、指摘できることを確認しあいましょう。 事前学修 2.0hr：語彙カードの確認。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
5回	**授業テーマ：同一事件がどのような記事として報道されているか、各紙を比較する。** 授業内容：前回と同様に新聞記事を比較し、自己の考えを述べあいましょう。 事前学修 2.0hr：新聞によって伝え方が異なる点について説明できるようにしてくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
6回	**授業テーマ：受講者の母国の記事を取り上げ、質疑応答を交え、その国と日本との関係、そして日本語の理解を深める。** 授業内容：留学生の母国がどのように新聞で取り上げられているか眺めてみましょう。 事前学修 2.0hr：自国のことを扱った新聞記事を取り上げ、コメントできるように準備する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
7回	**授業テーマ：受講者の母国の記事を取り上げ、質疑応答を交え、その国と日本との関係、そして日本語の理解を深める。** 授業内容：留学生の母国がどのように新聞で取り上げられているか眺めてみましょう。 事前学修 2.0hr：自国のことを扱った新聞記事を取り上げ、コメントできるように準備する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
8回	**授業テーマ：受講者の母国の記事を取り上げ、質疑応答を交え、その国と日本との関係、そして日本語の理解を深める。** 授業内容：留学生の母国がどのように新聞で取り上げられているか眺めてみましょう。 事前学修 2.0hr：自国のことを扱った新聞記事を取り上げ、コメントできるように準備する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。

9回	**授業テーマ：日本の教育に関する新聞記事を取り上げ、日本の教育の在り方について考察する。** 授業内容：現在の日本の「教育」に関する問題点を共有しましょう。 事前学修 2.0hr：日本の教育事情について理解してくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
10回	**授業テーマ：日本の教育について自国の教育と比較し、質疑応答を交え、日本の教育についての理解を深める。** 授業内容：留学生に母国の教育について説明してもらい、日本の教育と比較しつつ「教育」について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：自国の教育と日本の教育との差異について説明できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
11回	**授業テーマ：現代の「若者文化」について報道されている記事を取り上げ、日本事情について理解を深める。** 授業内容：若者文化について新聞ではどのように紹介されているか眺めてみましょう。 事前学修 2.0hr：興味のある「若者文化」について理解し、発言できるように準備する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
12回	**授業テーマ：現代の「若者文化」について報道されている記事を取り上げ、日本事情について理解を深める。** 授業内容：若者文化について新聞ではどのように紹介されているか眺めてみましょう。 事前学修 2.0hr：興味のある「若者文化」について理解し、発言できるように準備する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
13回	**授業テーマ：日本の詩歌について学ぶ。日本語の韻律について意識しながら音読する。** 授業内容：日本の代表的な詩歌について理解を深めます。 事前学修 2.0hr：任意の新聞記事を取り上げ、レポートしてくる。 事後学修 2.0hr：授業で取り上げたしいかについて韻律を意識しながら音読する。朗読音源の作成。
14回	**授業テーマ：提出されたレポートを用い、日本事情・日本文化・日本語についての理解を深める。** 授業内容：それぞれが持つ問題意識を確認し合う予定です。 事前学修 2.0hr：語彙カードの確認。朗読音源の作成。 事後学修 2.0hr：レポート作成の準備。
15回	**授業テーマ：授業内容の総括。** 授業内容：授業内容をまとめてみます。 事前学修 2.0hr：語彙カードの確認。レポートの見直し。 事後学修 3.0hr：レポート作成。

日本語講読Ⅱ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

菊地　明範（きくち　あきのり）

▌授業の概要

言語を学ぶことの意義について考察する。
日本の新聞などを用いて、日本語の種種相をながめ、日本語の理解を深める。
日本語で自分の意見を開陳しあう。
日本語のアクセントに留意して本文を朗読する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：現在日本で起こっているできごとについて、日本語で説明し、自分の意見を日本語で開陳できる。
　　和文脈と漢文脈について理解し、使い分けることができる。
　　日本文化に対しての理解を深め、日本語で説明し、自分の意見を日本語で開陳できる。
　　日本語のアクセントに留意し本文を朗読することができる。
個別目標：トピック内の語彙を適切に用いることができる。
　　トピックについて説明をすることができる。
　　口語体と文語体を使い分け、自己の意見を開陳することができる。

▌履修条件

日本語教育・日本語に強い興味があること。
自己の文章が添削例として授業中に取り上げられることを諒とすること。
自己の意見をはっきり開陳すること。

▌評価基準・方法

提出物 60 %(1)毎週提出されるコメントシート(2)課題として提示された新聞記事に対するレポート・音読課題(3)その他のレポート（4）語彙カード
平常点 40 %(授業中に発言を求めることがある、積極的に発言すること)
課題等のフィードバックは、基本的に学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

manaba を利用し学習内容を確認し、改善点の指摘などを行う予定。レポートのみならず、音読データなどの提出についてもどうように扱う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションをしてもらうことがあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

定めない。

▌参考書

授業内でその都度指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：言語学習と自己。授業展開についての説明。** 授業内容：母語以外の言語を習得する意義について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：日本語を学ぶ理由を発表できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
2回	**授業テーマ：和文脈と漢文脈。** 授業内容：和文脈と漢文脈について、歴史をたどりながら解説します。 事前学修 2.0hr：提示された資料を何度も音読してくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
3回	**授業テーマ：和漢混淆文。漢字仮名交じり文。** 授業内容：漢字仮名交じり文の成立について理解を深めます。 事前学修 2.0hr：文体について理解してくる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。課題文の作成。朗読音源の作成。
4回	**授業テーマ：環境問題に関する記事を取り上げ考察する。** 授業内容：新聞記事を読んで、自分の意見を述べてもらいます。 事前学修 2.0hr：環境問題について考察し、意見をまとめておく。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
5回	**授業テーマ：自然災害に関する記事を取り上げ考察する。** 授業内容：新聞記事を読んで、自分の意見を述べてもらいます。 事前学修 2.0hr：自然災害について理解を深めておく。課題文の読解。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
6回	**授業テーマ：東日本大震災に関する記事を取り上げ考察する。** 授業内容：新聞記事を読んで、自分の意見を述べてもらいます。 防災について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：東日本大震災について調べ、コメントシートを作成する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。
7回	**授業テーマ：防災・減災・復興について考察する。** 授業内容：新聞記事を読んで、自分の意見を述べてもらいます。 防災について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：防災について理解を深めておく。課題文の読解。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
8回	**授業テーマ：家電製品にみる日本的な思考について考察する。** 授業内容：家電製品に注目し、日本的なるものについて考察します。 事前学修 2.0hr：日本独特の家電製品について理解し、コメントシートにまとめる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。

9回	**授業テーマ：交通事情にみられる日本的な部分について考察する。** 授業内容：交通事情にみる日本的な部分について考察します。 事前学修 2.0hr：交通事情について理解し、コメントシートにまとめる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
10回	**授業テーマ：鉄道と日本。** 授業内容：鉄道について日本的な部分を考察します。 事前学修 2.0hr：鉄道について理解を深め、コメントシートにまとめる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
11回	**授業テーマ：擬態語・擬音語** 授業内容：日本語の表現から擬態語・擬音語について収取し、意見を交わします。 事前学修 2.0hr：新聞記事の中から擬態語・擬音語をみつけ、報告する。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
12回	**授業テーマ：ひらがなの変遷。** 授業内容：文字について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：日本の文字について疑問点をコメントシートにまとめる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
13回	**授業テーマ：美意識の変遷** 授業内容：美意識について歴史をたどり考察します。 事前学修 2.0hr：日本的なるものを一つあげ、コメントシートにまとめる。 事後学修 2.0hr：語彙カードの作成。コメントシートの作成。朗読音源の作成。
14回	**授業テーマ：提出されたシートをもとに日本的なるものについて考察する。** 授業内容：それぞれの意見を交えて日本的なるものについて考察します。 事前学修 2.0hr：レポート作成準備 事後学修 2.0hr：レポート作成準備
15回	**授業テーマ：授業の総括。言葉と自己。** 授業内容：まとめ 事前学修 2.0hr：レポート作成準備 事後学修 2.0hr：レポート作成

日本語史Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

現在私たちが使用している日本語の歴史的変遷に関する知識と分析方法を身につける３年次以上の専門科目である。現代語は近代語と密接な関係があり、歴史的変遷を理解することは日本語そのものの理解のほか、現代の日本語の構造を理解・分析する上でも重要である。この講義では、主に中古末から近代までの日本語を対象とし、現代語の成立と展開について考える。それぞれの時代について、音韻、文字、文法、語彙、文体等の面から解説する。また、基本的な方法論や対象となる資料についても概観する。なお総合的でよりよい理解のために、必要に応じて中古以前の言語変化、現代語にも触れる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：現代日本語の成立までのみちすじを学び、現代日本語に見られる特徴について、歴史的に理解し、分析することができる。

個別目標：１共時的・通史的な日本語研究の方法論を区別し通史的な日本語の研究を身につける。
２音韻変化と仮名遣いについての知識と二つの関係性を理解する。
３語法の変遷を巨視的な観点から分析的に説明できる。
４日本語そのものに関する知識を学習者に正確に伝えるために、日本語を分析的に捉える方法を理解している。

▌履修条件

特になし。提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。

▌評価基準・方法

授業時の課題への取り組み(10%)、小テスト及びレポート(40%)、期末試験の成績(50%)で評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

対面の授業およびマナバで行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文献検索・レポート作成）

▌教科書

山口明穂『日本語の歴史』東京大学出版会

▌参考書

授業時にプリントにて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：通時的研究と共時的研究の違いについて学んだあと、この授業で行うことを理解する 事前学修 2.0hr：教科書の目次を読む 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
2回	**授業テーマ：日本語史の時代区分** 授業内容：日本語の歴史の資料性と時代区分について、日本語の歴史の始まりと、現代語の萌芽をどうみるかを学ぶ。また歴史的事柄と相関させながら理解する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
3回	**授業テーマ：現代までの日本語の母音の変化** 授業内容：上代、中古を参考として押さえながら、現代までの日本語の音韻変化について、母音を対象として理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
4回	**授業テーマ：現代までの日本語の子音の変化** 授業内容：上代、中古を参考として押さえながら、現代までの日本語の音韻変化について、子音を対象として理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
5回	**授業テーマ：近世までの日本語の音韻変化(その他の変化)** 授業内容：四つ仮名、開合を中心に近代語への音韻の変化を仮名遣いと関連させながら理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
6回	**授業テーマ：中世までの日本語の音韻変化(資料読解)** 授業内容：中古の『源氏物語』の音読資料と、文字資料の『醒睡笑』をそれぞれとりあげ、音韻の変遷がどのように反映しているかについて理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
7回	**授業テーマ：現代までの日本語の音韻変化(資料読解)** 授業内容：明治期の教科書資料を取り上げ、音韻の変遷の仮名遣いへの反映を読み取り、仮名遣いの変遷を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
8回	**授業テーマ：日本語の文法変化　動詞の活用体系** 授業内容：動詞の活用の変遷について、中古までの活用の体系と現代の活用の体系を復習し、その相違点をおさえたあと、変遷の流れを理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
9回	**授業テーマ：中世までの日本語の文法変化の背景　係り結びの消滅と連体形終止の出現** 授業内容：係り結びの消滅と、連体形終止がどのように出現して定着していったかを理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
10回	**授業テーマ：中世以降の日本語の文法変化の背景　二段活用の一段化** 授業内容：連体形終止の定着のあとの二段活用の一段化の現象を、近代語から現代語にいたる明晰化の現象と関連づけて学習する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入

11回	**授業テーマ：現代までの日本語の文法変化について　レポート制作（1）** 授業内容：それぞれの観点から、日本語の動詞の変遷とその背景にある日本語の変化について授業内で論文作成の雛形に沿ってフローシートをまとめる。 事前学修 2.0hr：課題作成準備 事後学修 2.0hr：フローシート提出
12回	**授業テーマ：現代までの日本語の文法変化について　レポート制作（2）** 授業内容：作成したフローシートに沿って、全体をまとめる。 事前学修 2.0hr：課題作成準備 事後学修 2.0hr：レポート提出
13回	**授業テーマ：現代までの日本語の文法変化について　講評** 授業内容：レポートについて講評を行い、近代語について接続表現等をとりあげ、近代語の明晰化についてさらに理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：レポートについてコメントシート提出
14回	**授業テーマ：近世から現代の日本語について** 授業内容：語彙の変遷について、特に漢語について学ぶ 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
15回	**授業テーマ：現代語の成立** 授業内容：これまでの授業から現代語の成立を日本語の歴史の中で文法、語彙、音韻の観点からどのように捉えるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入

日本語史Ⅱ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

現代私たちが使っている日本語は、どのような歴史的変遷を経てきたのだろうか。現代語の中にはこれらの言葉遣いの跡が多く残っている。また、いわゆる「文語」と呼ばれる語法は、平安時代の語法をベースとしている。これらの語法はどのように成立したのか。この講義では、主に平安時代から中世までの資料を用いて、歴史的文化的背景・文学的観点をふまえた物語の全体の内容をおさえつつ読解をした上で、音韻、文字、文法、語彙、文体の面から、日本語の歴史を解き明かそうとするものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：古典語の成立までのみちすじを理解し、古典語を現代語から見て理解できるようになる。主に近世までの各時代の資料を読み、内容を理解し、特徴的な語法について説明できる。

個別目標：歴史的文化的文学的背景を十分にふまえた上で、各資料の内容と言語的特徴を自分で説明できる。
係り結びと五十音図について、巨視的通史的な観点からまとめることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

授業の課題 (60%)、小テスト及びレポート (40%) で評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席時の授業課題点は減点とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポート作成、資料検索）

▌教科書

山口明穂『日本語の歴史』東京大学出版会

▌参考書

授業時にプリントにて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：日本語史とは** 授業内容：日本語の歴史を学ぶということと、この授業でどのようなことを行うかについて理解する 事前学修 2.0hr：シラバスの内容を把握する。教科書の目次を読んでくる。 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
2 回	**授業テーマ：いろは歌** 授業内容：いろは歌の起源とその研究について学ぶ 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
3 回	**授業テーマ：五十音図** 授業内容：五十音図の起源とその研究および現代の日本語の研究にあたえた影響について学ぶ 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
4 回	**授業テーマ：近世の作品とことば** 授業内容：近松門左衛門の『冥土の飛脚』をとりあげ、時代背景をふまえながら読解する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
5 回	**授業テーマ：近世の作品とことば** 授業内容：近松門左衛門の『冥土の飛脚』の語法をとりあげる。特に口語と文語との違いに着目する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
6 回	**授業テーマ：近世の作品とことば** 授業内容：近松門左衛門の『冥土の飛脚』の文体をとりあげる。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
7 回	**授業テーマ：中世から近世のことば　平家物語（1）** 授業内容：平家物語について、時代背景と軍記物に関する前提知識を学ぶ。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
8 回	**授業テーマ：中世から近世のことば　平家物語（2）** 授業内容：平家物語について覚一本を用いて、読解する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
9 回	**授業テーマ：中世から近世のことば　平家物語（3）** 授業内容：平家物語について覚一本を用いて、読解する。文学史的位置付けおよび諸本研究もとりあげる。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
10 回	**授業テーマ：中世から近世のことば　平家物語（4）** 授業内容：キリシタン版の平家物語を対象に、音韻に着目して百二十句本と比較しながら理解する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
11 回	**授業テーマ：中世から近世のことば　平家物語（5）** 授業内容：キリシタン版の平家物語を対象に、語法、語彙に着目して百二十句本と比較しながら理解する。 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入

12回	**授業テーマ：中古から中世のことば　とりかへばや物語（１）** 授業内容：「古とりかへばや」と「今とりかへばや」での物語の成立と時代背景を理解する 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
13回	**授業テーマ：中古から中世のことば　とりかへばや物語（２）** 授業内容：語りの語法に注目しながら物語の読解をおこなう 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
14回	**授業テーマ：中古から中世のことば　とりかへばや物語（３）人物描写の語彙と「とりかへばや」** 授業内容：美的感覚をあらわす語彙と人物描写に注目しながら物語の読解をおこなう 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入
15回	**授業テーマ：中古から中世のことば　とりかへばや物語（4）源氏物語と「とりかへばや」** 授業内容：中古文学である『源氏物語』の影響と、物語における中古の語法を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題作成 事後学修 2.0hr：まとめシート記入

音声学概論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要
日本語の音声現象について通時的・共時的に学ぶ。
さらに、日本語教育能力検定試験における音声に関する出題について、適宜考察を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）
一般目標：さまざまな日本語の音声の特質と矛盾について明示的な説明ができる。
個別目標：日本語音に敏感になることで、諸外国語の音についての理解も深める。

▌履修条件
音声とその周辺事項に関心があること。

▌評価基準・方法
中間テスト、期末テストを実施し評価する。

▌フィードバック方法
対面、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （ピア・ラーニングを行う。各自の音声特徴を把握する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （口腔断面図の確認等において使用する。）

▌教科書
毎回プリントを配布する。

▌参考書
適宜指示する。
松崎寛・河野俊之(1998)『よくわかる音声』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：導入** 授業内容：導入として、日本語母語話者と日本語非母語話者の誤用を取り上げ、その原因を探る。 日本語教育能力検定試験の音声に関する出題を紹介する。 事前学修 2.0hr：講義要綱を読む。 事後学修 2.0hr：音声とその周辺事項についてまとめる。
2 回	**授業テーマ：音声言語の特質** 授業内容：話しことばの語形、母語の干渉について論じる。第 2 回 事前学修 2.0hr：ガ行鼻濁音について調べる。 事後学修 2.0hr：美しい日本語の発音とは何かについてまとめる。
3 回	**授業テーマ：清音 濁音 半濁音** 授業内容：対照言語学的視点に立ち、その音に違いを考察する。 事前学修 2.0hr：擬声語、擬音語、擬態語について調べる。 事後学修 2.0hr：オノマトペについてまとめる。
4 回	**授業テーマ：音声と音韻** 授業内容：日本語学と日本語教育学の立場の違いについて論じる。 尚、第 2 回で扱った事項の復習となる。 事前学修 2.0hr：日本語非母語話者が習得しにくい音声について調べる。 事後学修 2.0hr：日本語非母語話者への音声指導法をまとめる。
5 回	**授業テーマ：現代日本語音韻体系** 授業内容：五十音図とその拡大表を使い、行と段、清濁、現代的仮名遣い、特殊拍について論じる。 事前学修 2.0hr：五十音図表を分析する。 事後学修 2.0hr：五十音図表を音声と音韻の両面からまとめる。
6 回	**授業テーマ：外来語の表記と発音** 授業内容：日本語母語話者が接する外来語について整理し、その指導法について論じる。 事前学修 2.0hr：ベートーベンとベートーヴェン、バイオリンとヴァイオリンの表記の違いについて調べる。 事後学修 2.0hr：外来語表記の法則についいてまとめる。
7 回	**授業テーマ：キリシタン資料のローマ字** 授業内容：歴史的原因により、音と表記が合わない現状を考察する。 事前学修 2.0hr：キリシタン宣教師たちが聞いた日本語の音を調べる。 事後学修 2.0hr：キリシタン資料の歴史的価値についてまとめる。
8 回	**授業テーマ：漢字の読みと中国語・日本音・訓** 授業内容：呉音、唐音、漢音について論じ、日本語学習者が漢字を学習する際の問題点を論じる。 事前学修 2.0hr：さまざまな「明」の読み方を調べてくる。 事後学修 2.0hr：なぜさまざまな読みが併存しているのかをまとめる。
9 回	**授業テーマ：万葉仮名と古代日本語の母音、ハ行音の歴史的変遷** 授業内容：第 8 回で学んだ知識をもとに、ハ行音の変遷を論じる。 事前学修 2.0hr：古代日本語における文字とその音について調べる。 事後学修 2.0hr：ハ行音にまとめる。
10 回	**授業テーマ：アクセントの弁別機能** 授業内容：ハ行音の変遷のほかに、音声教育の現状、学習者の誤りの傾向、拍の指導について論じる。 事前学修 2.0hr：意味の区別におけるアクセントの機能について調べる。 事後学修 2.0hr：アクセントの弁別機能についてまとめる。
11 回	**授業テーマ：特殊拍と音節** 授業内容：聴解力を高めるための指導方法を論じる。 「ケタキ」とは何か。 事前学修 2.0hr：「コーシ」「コウシ」「コオシ」の発音の違いを調べる。 事後学修 2.0hr：「ケタキ」の表記上の誤りについてまとめる

12回	**授業テーマ：アクセントの統語機能** 授業内容：音素と異音、対立、声帯振動、気息の有無について論じる。 尚、 事前学修 2.0hr：複雑な文章の読みの種類を考える。 事後学修 2.0hr：「ニワニハニワトリガイル」の複数の読み方をまとめる。
13回	**授業テーマ：プロソディ(韻律)** 授業内容：総復習１ 事前学修 2.0hr：日本語の「文末」について調べる。 事後学修 2.0hr：「文末」が省略される原因について、文化的側面からまとめる。
14回	**授業テーマ：音響音声学** 授業内容：総復習２ 事前学修 2.0hr：機械による音声の分析について調べる。 事後学修 2.0hr：機械音と実際の音声についてまとめる。
15回	**授業テーマ：総復習、試験** 授業内容：総復習及び筆記試験を行う。 事前学修 2.0hr：質問事項を１０点準備する。 事後学修 2.0hr：質問事項の答えをまとめる。

日本語音声学

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要
対照言語学の視点で日本語の音声を考察する。その上で各自が学ぶ外国語の音声との違いを明確にし、それを言語化する能力を身に付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）
一般目標：客観的な音声分析能力を身に付ける。
個別目標：自らの外国語学習の音声と母語の音声を比較することにより、音声上の明示的な説明能力を可能にする。

▌履修条件
内容は非常に専門的で覚えることも多い点を考慮すること。

▌評価基準・方法
中間テスト、期末テストを実施し評価する。

▌フィードバック方法
対面、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （各自の話し方を客観的に捉えるためにピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （NHK 放送文化研究所等の資料閲覧時に使用する。）

▌教科書
添付資料を教材とする。
NHK 放送文化研究所が公表した資料。

▌参考書
適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：導入** 授業内容：日頃から日本語の音をどの程度意識しているかを明らかにする。 事前学修 2.0hr：講義概要を読む。 事後学修 2.0hr：対照言語学の視点で日本語を考察しまとめる。
2 回	**授業テーマ：発声、調音器官の名称、調音点** 授業内容：日本語母語話者の誤用から日本語の曖昧性を論じる。 事前学修 2.0hr：調音器官の名称を覚える。 事後学修 2.0hr：発声と調音の関係を把握する。
3 回	**授業テーマ：調音法、摩擦音、破擦音** 授業内容：省略語の認識を問う。 事前学修 2.0hr：摩擦音と破擦音にはどのようなものがあるか調べる。 事後学修 2.0hr：摩擦音と破擦音の微妙な違いについて明らかにする。
4 回	**授業テーマ：弾き音、震え音、側面音、半母音** 授業内容：日本語非母語話者が戸惑う省略語について 事前学修 2.0hr：各用語とその特徴についてまとめる。 事後学修 2.0hr：各音声用語の特徴と問題点についてまとめる。
5 回	**授業テーマ：鼻音、破裂音** 授業内容：日本語母語話者が無意識に発話する音について論じる。 事前学修 2.0hr：現代語における鼻音の状況について調べる。 事後学修 2.0hr：社会言語学としての見地から鼻音を考察する。
6 回	**授業テーマ：摩擦音** 授業内容：日本語音声の特殊性についてまとめる。 事前学修 2.0hr：摩擦音の指導方法について考える。 事後学修 2.0hr：摩擦音についてまとめる。
7 回	**授業テーマ：破擦音、流音、側面音** 授業内容：6 回までに学んだ項目をもとに、各自の疑問をまとめる。 事前学修 2.0hr：各用語の意味を調べる。 事後学修 2.0hr：各音の特徴と発声上の問題点についてまとめる。
8 回	**授業テーマ：半母音、母音の調音、基本母音** 授業内容：NHK 放送文化研究所の見解をもとに「考える基準」を考察する。 事前学修 2.0hr：各用語と日本語教育上の問題点について考える。 事後学修 2.0hr：日本語における母音の特徴をまとめる。
9 回	**授業テーマ：日本語の母音、音声記号表** 授業内容：開音節、閉音節についてその特徴についてまとめる。 事前学修 2.0hr：日本語の母音の特徴について考える。 事後学修 2.0hr：日本語の母音の特徴をまとめ説明できるようにする。
10 回	**授業テーマ：音素・異音、相補分布、日本語の音素** 授業内容：日本語教科書をもとに日本語音を考察する。 事前学修 2.0hr：各用語の特徴をまとめる。 事後学修 2.0hr：各用語について説明できるようにする。
11 回	**授業テーマ：五十音図とその発音　ア行からナ行** 授業内容：初級日本語教科書をもとに五十音表の重要性について論じる 1 五十音図表と日本語学習者の関わりについて論じる。 事前学修 2.0hr：なぜ音声記号が必要なのかを考えてくる。 事後学修 2.0hr：ローマ字学習と音声記号の違いについて理解する。
12 回	**授業テーマ：五十音図とその発音　ハ行からワ行** 授業内容：初級日本語教科書をもとに五十音表の重要性について論じる２ 五十音図表の歴史についての知識を明確にする。 事前学修 2.0hr：各行の特徴を学んでくる。 事後学修 2.0hr：音声記号を書けるようにする。

13回	**授業テーマ：環境による音声変化　無声化　鼻濁音　中舌化** 授業内容：社会言語学的知識を用い音声教育を考察する。 部分的に「方言学」の領域も扱う。 事前学修 2.0hr：各用語の意味を調べてくる。 事後学修 2.0hr：各用語を具体的に説明できるようにする。
14回	**授業テーマ：音節・拍** 授業内容：総復習 1 各自の疑問点を求める。 事前学修 2.0hr：日本語の音節と拍の特徴を考える。 事後学修 2.0hr：日本語教育における音節と拍の重要性をまとめる。
15回	**授業テーマ：アクセント** 授業内容：総復習２ 各自の疑問点について検討する。 事前学修 2.0hr：4 つのアクセントの特徴をまとめる。 事後学修 2.0hr：初級日本語教科書におけるアクセント指導を考える。

日本語文法論 I

開講学科等：日 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

文法とは本来、与えられたものを受動的に覚えるだけのものではなく、自らが能動的に考え生み出していくものである。私たちが日常話したり書いたりしている身近な言葉づかいの中から、ふだん気づかないような法則性を探り出すという創造的な作業を通して、文法は暗記するものという固定観念の変革を図り、自己の言葉に対する内省を深め、日本語に対する感性を養うことを目的とする。

国語教育の観点から、語論、品詞論、活用を中心に授業を進めるが、日本語教育の観点からも、文型論的な視点も取り入れ、こそあど、ヴォイス、テンス、アスペクト、モダリティ、「は」と「が」などの格の問題を適宜取り上げることとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：現代語文法を習得・再確認し、具体的な日本語文に接した際の文法的解釈などができる。
個別目標：学校文法の品詞論の概要と問題点を文法学説と比較しながら、説明することができる。
　　日本語教育的視点から、文法的問題を取り上げ、説明することができる。

▌履修条件

なし。ただし、提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。

▌評価基準・方法

授業時の小テスト・小レポート 50 %。最終テスト 50 %。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席時の授業点及び課題点はカウントしない。

▌フィードバック方法

対面授業時かマナバにて行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転授業、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （miro を使った活動で用いることがある。）

▌教科書

プリントを配布する。

▌参考書

『日本語文法練習帳』(山田敏弘著、くろしお出版)
『日本人のための日本語文法入門』 (原沢伊都夫著、講談社現代新書)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：文法と文法論の違いを理解し、この授業での学ぶ見通しをたてる 事前学修 2.0hr：シラバスと教科書の内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
2 回	**授業テーマ：語論** 授業内容：語の単位について学ぶ。語以下の単位も取り上げる。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
3 回	**授業テーマ：品詞論** 授業内容：橋本、時枝を中心に山田、松下の品詞論を概観する。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
4 回	**授業テーマ：文の成分** 授業内容：橋本文法の文節論をとりあげ、それに基づいた文の成分とその問題点を理解する 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
5 回	**授業テーマ：名詞・代名詞** 授業内容：こそあど体系について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
6 回	**授業テーマ：動詞　活用論** 授業内容：国語教育での動詞の活用論を復習したのち、日本語教育での動詞の活用形の捉え方と比較して、それぞれの目的とメリットデメリットを理解する。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
7 回	**授業テーマ：形容詞・形容動詞** 授業内容：形容詞と形容動詞をとりあげ、英語との違いや、人称との関係、時代による変化、新語と形容詞などの現象を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
8 回	**授業テーマ：副詞** 授業内容：副詞の種類と文の中での役割、および、文法的観点からの意味記述の方法等を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
9 回	**授業テーマ：接続詞** 授業内容：接続詞の種類と文の中での役割を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
10 回	**授業テーマ：自動詞・他動詞** 授業内容：動詞の形態論的な違いをふまえて、自動詞他動詞の分類と、その意味用法の違いを学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。

11回	**授業テーマ：ヴォイス** 授業内容：主に受身を取り上げ、形態論、助詞との関係、直接受身文・間接受身文、持ち主の受身文を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
12回	**授業テーマ：アスペクト** 授業内容：テイル・テアルを特にとりあげ、動詞との関連、意味用法を理解する。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
13回	**授業テーマ：モダリティ** 授業内容：日本語の階層構造を特に助動詞に着目して理解する。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
14回	**授業テーマ：再　品詞論** 授業内容：これまでの議論を踏まえて、日本語の品詞という概念を再度整理する。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。
15回	**授業テーマ：文型** 授業内容：日本語教育での文型の概念と、その意味用法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前プリントの内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中の内容を踏まえて、日本語生活の中で類例を挙げ、まとめる。

日本語文法論Ⅱ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

日本の古典資料に内在する文法規則について講義を行う。本講義ではいわゆる学校文法と称される橋本文法の枠組みで進めるが、近年の日本語学の成果も適宜紹介していく。講義の中の基礎的な事項については、最低条件として毎週の小テストで到達度を確認する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：古典文法を再確認し、現代語文法との違いを理解し、説明できる。
個別目標：具体的な古典の原文について文法上留意する点を指摘、解説でき、適切な現代語で意味が説明できる。

▌履修条件

・初回の文法テストを受講しないものは履修を認めない。理由があって受講できなかった場合はその旨 2 回目の授業の最初に申し出ること。再度の機会を一度のみもうける。
・受講に際して、受講当初に古典文法の基本が身についていることは求めないが、予習、復習を毎回課す。
・レベルによって授業の進度に支障がでる場合は対象者には補習も行うことがある。
積み上げ式の知識が特に必要な内容のため、授業外、授業内で細かく筆記、口頭のテストを行い定着をはかる。テストをきちんと継続的に受験し、復習を繰り返す根気がない場合、習得は難しい。

▌評価基準・方法

課題への取り組みと提出物 50%、小テスト及び小レポート 50 %。欠席時の授業点および課題点は減点とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『標準古典文法』(監修　市川孝、第一学習社)。

▌参考書

授業時に指示するが、『日本語の歴史』(山口明穂ほか著、東京大学出版会)、『日本語文法』(岩淵匡、白帝社)、『日本語文法練習帳』(山田敏弘、くろしお出版)など概説書を参照して、関連知識をいつでも確認が出来るようにしておくこと。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、古典文法と現代語文法** 授業内容：この授業で行うことを理解した上で、現代語文法との違いを概観する。古典文法の実力テストを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスと教科書の内容把握を進めておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
2回	**授業テーマ：文法上の単位、文節(補　古典仮名遣い)** 授業内容：古典仮名遣いについて簡単に復習した上で、自立語と付属語・用言と体言について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
3回	**授業テーマ：文法上の分類、品詞および活用と活用形の概念** 授業内容：古典文法における品詞と活用および活用形について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
4回	**授業テーマ：動詞 1** 授業内容：古典動詞の活用を理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
5回	**授業テーマ：動詞 2** 授業内容：古典動詞の活用形を理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
6回	**授業テーマ：動詞 3** 授業内容：古典動詞の活用の種類を理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
7回	**授業テーマ：動詞４** 授業内容：音便の種類と時代、作品によるあらわれかた、および自動詞と他動詞、活用の種類による動詞の意味の違いがある一部の留意すべき語について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
8回	**授業テーマ：形容詞** 授業内容：形容詞の活用と活用形、その用法を理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
9回	**授業テーマ：形容動詞** 授業内容：形容動詞の形態と用法を理解する。学校文法の捉え方について再度、確認する。 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
10回	**授業テーマ：助動詞 1** 授業内容：助動詞の文における役割と、助動詞の分類について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施

11回	**授業テーマ：助動詞2** 授業内容：助動詞の接続について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
12回	**授業テーマ：助動詞3** 授業内容：助動詞の活用と活用形について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
13回	**授業テーマ：助動詞4** 授業内容：否定の助動詞・時の助動詞について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
14回	**授業テーマ：助動詞5** 授業内容：受身・尊敬・可能・自発／使役の助動詞について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施
15回	**授業テーマ：助動詞6** 授業内容：推量の助動詞について理解する 事前学修 2.0hr：予備知識及び既習内容の google form テストで満点を取っておくこと。 事後学修 2.0hr：まとめプリントの作成と問題の実施

敬語表現法

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

髙橋　眞人（たかはし　まさと）

▌授業の概要

日本語の敬語と待遇表現、コミュニケーション・ストラテジーを理解し、それらの運用を学ぶ。
・日本語教師養成における「言語と社会」区分のうち、⑤言語使用と社会の< 10 >コミュニケーション・ストラテジーと<１１>待遇・敬意表現を中心に習得する。
・言語学・社会言語学の理論的枠組みを利用して、待遇表現の使い方についての知識を学習する。
・コミュニケーション・ストラテジーの理論と知見を習得する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：敬語や待遇表現に関する理論と実践を通じて、状況や相手に応じた適切な言語使用ができるようになる。
・多様な人々との相互尊重を大切にし、場面や相手に応じて適切な表現の選択ができることを目指す。
・現代日本の敬語を含めた待遇表現と、その適切な使用法について理解する。

個別目標：1. 敬語の種類とその働きを説明できる。
2. 敬語の使用における基本的な考え方を理解し、適切に運用できる。
3. 敬語以外の待遇表現を理解し、活用できる。
4. 誤りやすい敬語表現や不自然な言い回しを避ける能力を身につけている。
5. ポライトネス理論に基づき、対人配慮の背景を理解し表現に活かせる。
6. 敬語に対する社会的意識や変化を理解し、柔軟に対応できる。
7. 書き言葉における敬語表現の特徴を理解し、適切な文書が作成できる。
8. 面接場面で、敬語を用いた実践的コミュニケーションができる。
9. コミュニケーションが困難な場面において、適切なストラテジーを用いて対応できる。

▌履修条件

グループワークやペアワークに積極的に参加できること、パソコンを使った文章作成の課題に参加できること、教師授業に積極的にが求められる。

▌評価基準・方法

授業で指定する提出物や課題や小テスト 40 %、授業の振り返りレポート 20 %、定期試験 40 %で評価する。90 %以上の成績が S 評価、89 %から 80 %が A 評価、79 %から 70 %が B 評価、69 %から 60 %が C 評価で単位習得とする。59 %以下は D 評価、出席不良 (5 分の 1 に満たない場合) は E 評価とし、単位習得不可とする。

▌フィードバック方法

小テストや課題のフィードバックは、授業中の返却または manaba にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、ペアワーク、グループ発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （電子メールの作成などに使用する。）

▌教科書

なし

▌参考書

佐竹英雄・西尾玲美『敬語の教科書』(ペレ出版)、杉本祐子『敬語力がつく！ 文章＆文書の超基本』(主婦の友社)、滝浦真人『ポライトネス入門』(研究者)、石川慎一郎『ベーシック応用言語学』(ひつじ書房)、衣畑智英『基礎日本語学』(ひつじ書房)、文化庁「敬語の指針」(インターネットでダウンロード可)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、敬語を学ぶ意義、敬語の種類と形式** 授業内容：シラバスを用いて授業の目的、到達目標、成績評価の方法を説明する。文化庁(2007)「敬語の指針」に基づく敬語の 5 分類と待遇表現について学ぶ。ロールプレイを行って敬語使用の感覚をつかむ。自分自身を含め、場面や相手に応じた言葉遣いをしている現状を確認し、敬語・待遇表現の必要性について考え、それらを学ぶことの意義を理解する。 事前学修 2.0hr：講義のシラバスを読み、不明な言葉を調べる。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
2 回	**授業テーマ：尊敬語** 授業内容：他者を尊重する表現の中に「尊敬語」があることを認識し、その働きや効果について学習する。 事前学修 2.0hr：尊敬語が何かについて調べて理解しておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
3 回	**授業テーマ：謙譲語Ⅰ・Ⅱ** 授業内容：他者を尊重する表現の中に「尊敬語」があることを認識し、その働きや効果について学習する。また、尊敬語との用法の違いについて理解する。 事前学修 2.0hr：謙譲語Ⅰと謙譲語Ⅱが何かを調べて理解しておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
4 回	**授業テーマ：美化語、丁寧語** 授業内容：敬語の中に「美化語」「丁寧語」があることを認識し、その働きや効果について学習する。また、尊敬語、謙譲語との使い分けを習得する。 事前学修 2.0hr：美化語と丁寧語が何かを調べて理解しておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
5 回	**授業テーマ：敬語使用の基本的な考え方** 授業内容：敬語使用の基本的な考え方(上下関係、親疎関係、「内」と「外」の考え方、所有物)と敬意の程度について理解する。 事前学修 2.0hr：敬語の親疎関係、「内」と「外」の考え方が何かを調べて理解しておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
6 回	**授業テーマ：待遇表現** 授業内容：待遇表現とは何か、そして敬語以外の待遇表現(呼称、クッション言葉、非言語表現など)についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：待遇表現が何かを調べて理解しておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
7 回	**授業テーマ：具体的な場面での敬語の使い方** 授業内容：敬語の具体的場面での使い方や、誤りやすい敬語について学習する。 事前学修 2.0hr：誤りやすい敬語について下調べしておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。

8回	**授業テーマ：敬語とポライトネス** 授業内容：敬語とポライトネス理論について学習ことで、スムーズなコミュニケーションを図る仕組みを押さえる。 事前学修 2.0hr：ポライトネス理論について下調べしておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
9回	**授業テーマ：敬語に対する意識と敬語の変化** 授業内容：敬語に対する意識及び敬語の変化について学習する。また、敬語の地域差について学習する。 事前学修 2.0hr：敬語に対する意識と敬語の変化、敬語の地域差について下調べしておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
10回	**授業テーマ：書き言葉の待遇表現** 授業内容：ビジネス文書など書き言葉の敬語の使い方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：書き言葉の敬語について下調べをしておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
11回	**授業テーマ：電子メールの待遇コミュニケーション(実践)** 授業内容：就職活動を想定した電子メールのやり取りを行って、実践に備えたスキルを学習する。 事前学修 2.0hr：電子メールにおける言葉遣いについて調べておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックや注意点を復習し、整理しておく。
12回	**授業テーマ：面接時の待遇コミュニケーション(実践)** 授業内容：就職活動を想定した面接のシミュレーションを行い、フィードバックを得て、実践に備えたスキルを学ぶ。 事前学修 2.0hr：就職面接における言葉遣いについて調べておく。 事後学修 2.0hr：フィードバックや注意点を復習し、整理しておく。
13回	**授業テーマ：コミュニケーション・ストラテジー** 授業内容：コミュニケーションがうまく取れない場合に使用するコミュニケーションストラテジーについて学習し、スムーズなコミュニケーションを図る仕組みを理解する。 事前学修 2.0hr：コミュニケーション・ストラテジーが何かを調べて理解しておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
14回	**授業テーマ：談話のストラテジー** 授業内容：談話のストラテジーの一種である依頼、謝罪、断り、感謝のストラテジーについて学習する。また、これまでの授業のまとめを行う。 事前学修 2.0hr：談話のストラテジーが何かを調べて理解しておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理する。不明な点や関心を持った点を調べて追記する。
15回	**授業テーマ：最終試験** 授業内容：最終試験及びフィードバックとしての解説を行い、授業全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：最終試験の準備 事後学修 2.0hr：試験で間違った箇所を中心に振り返っておく。

表記法概論

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

日本語は漢字・ひらがな・カタカナ・ローマ字という複雑な表記方法がみられる。本講義では、それぞれの文字が成立した歴史をひもときながら、日本語の表記・文字のもつ特徴を講義するとともに、現代の表記の規範と、その規範の生まれるにあたった国語・国字問題を解説する。
授業の中では、講義の中で適宜、表記の歴史や使用法を調査する個人活動、およびそれぞれの表記の資料及び国語・国字問題の資料を読み解くことをグループ活動を取り入れて行う。なお、この科目は日本語教師【養成】における教育内容の 14 日本語の構造の(41)日本語教育のための文字と表記に該当する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語表記の歴史的変遷と、日本語表記の規則・特徴・問題点に関する知識、及び国語国字問題の歴史を理解する。
個別目標：「漢字」「平仮名」「片仮名」「ローマ字」「振り仮名」について基本的な特徴を理解し、現行の規則とその範囲と拠り所を説明でき、日本語の表記法の問題点を客観的に論じることができる。また、特に日本語の漢字表記の用い方について、仮説をたて適切な資料を用いて調べることができる。

▌履修条件

提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。

▌評価基準・方法

授業時の課題 40 %、 小テスト、レポートを 60 %の割合で評価する。
欠席時の授業点および課題点は減点とする。

▌フィードバック方法

課題、テストのフィードバックはマナバおよび対面授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク　小さなプレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料検索）

▌教科書

特に定めない。プリントを配布する。

▌参考書

沖森卓也他 2011『図解　日本の文字』三省堂
北原保雄監修 2005『朝倉日本語講座２　文字・書記』朝倉書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の見通し、および文字の機能と特徴の概略を理解する 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで本講義の目的と内容を理解する。 事後学修 2.0hr：参考資料を探し、目を通しておく。
2回	**授業テーマ：日本語の文字と表記** 授業内容：世界の文字の種類と起源と歴史を理解した上で、日本語の文字と表記についてまなぶ。 事前学修 2.0hr：プリント「日本語における文字」に目を通し、質問事項をノートに整理しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
3回	**授業テーマ：ローマ字** 授業内容：日本語のローマ字の発生とその変遷について学ぶ 事前学修 2.0hr：ローマ字について指定された辞書で調べておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
4回	**授業テーマ：ローマ字資料を読む** 授業内容：キリシタン資料でのローマ字の日本語表記と、ヘボンの辞書のローマ字表記法を読解する。 事前学修 2.0hr：キリシタン資料について指定された資料で調べておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
5回	**授業テーマ：万葉仮名の発生** 授業内容：古典漢文から日本語化された漢文へ、そして万葉仮名への流れを理解する。 事前学修 2.0hr：プリント「万葉仮名」に目を通し、質問事項をノートに整理しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
6回	**授業テーマ：万葉仮名から仮名へ** 授業内容：かな文字の発生について理解する。 事前学修 2.0hr：平仮名・片仮名について資料に目を通しておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
7回	**授業テーマ：かな資料** 授業内容：かな資料の読解を行い、日本語表現の中のかなのもつ役割について歴史的に理解する 事前学修 2.0hr：平仮名についての資料に目を通しておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
8回	**授業テーマ：片仮名について** 授業内容：片仮名の発生を漢文との関わりから学び、平仮名との相違と現代語での役割について学ぶ 事前学修 2.0hr：片仮名についての資料に目を通しておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
9回	**授業テーマ：漢字** 授業内容：漢字の起源と展開、漢字文化圏について学ぶ 事前学修 2.0hr：漢字についての資料に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
10回	**授業テーマ：漢字と辞書** 授業内容：漢字の辞書の歴史と、漢和辞書における漢字の字源、意味用法の捉え方のさまざまな説の違いを理解する。 事前学修 2.0hr：漢字の辞書についての資料に目を通しておく 事後学修 2.0hr：調べ方の資料を見て、調査候補を決めおく

11回	**授業テーマ：漢字と漢和辞書２** 授業内容：漢和辞書を実際に複数利用し、意味用法をまとめる 事前学修 2.0hr：辞書の引き方について確認しておく 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、ピックアップされた質問に答える
12回	**授業テーマ：漢字と漢和辞書３** 授業内容：漢和辞書の意味用法の違いに留意しながらレポートをまとめる 事前学修 3.0hr：授業で指示された辞書について、授業内で調べきれなかった辞書を調べる 事後学修 3.0hr：授業内のフィードバックをもとに修正しレポートを提出する
13回	**授業テーマ：日本の国字問題** 授業内容：明治以降、および第二次世界大戦後の日本語の漢字政策について理解し、現代の漢字表記施策とその問題点を理解する。 事前学修 2.0hr：漢字政策について資料に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入の上、調査をまとめておく
14回	**授業テーマ：表記の探求（１）** 授業内容：近代の資料を用いて、漢字表記とふりがなの関係を理解する。 事前学修 2.0hr：クラウド上のクラスの調査結果について目をとおしておく。 事後学修 2.0hr：授業のフィードバックおよび動画をみて、調査方法について考えたこと、反省点、今後の課題についてまとめる
15回	**授業テーマ：表記の探求（２）** 授業内容：近代の漢字表記とその振り仮名についてルーツを、辞書及びコーパス等の資料から探り、近代日本語において漢字表記が果たした役割を理解する 事前学修 2.0hr：前回授業で配布されたプリントに目を通し、質問事項を考えておく。 事後学修 2.0hr：まとめレポートを作成する

言語学概論

開講学科等：日 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中川 仁 (なかがわ ひとし)

▌授業の概要

この講義では、言語学の基本をわかり易く学んでいくものである。言語をただ単に、「ことば」＝言葉という概念だけで捉えるのではなく、その周辺にある歴史的な背景や社会的要因、そして民族やイデオロギーについても考え、言語が生成されていく諸要因をも認識する。一般言語学(言語の本質)としての音声学・音韻論、形態論、統語論という基礎的なことがらを把握し、先人たちの言語理論とその研究方法(学説)にも触れ、言語の構造を理解し、世界の諸言語についても触れ、言語の特殊性を理解する。(必須の教育内容の⑬言語の構造一般、⑮言語研究、(37) 一般言語学を網羅する内容と科目である。)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：言語と人間社会の生成を理解し、その周辺にある言語環境をも理解することができるようになる。また言葉本来の構造である音声、音韻、語彙、文法(文法の活用なども含める)などについても理解を深め、言語を体系的に考えていくことができるようになる。

個別目標：一般言語学(言語の本質)としての音声学、音韻論、形態論、統語論の各分野について説明ができる。また世界の諸言語についても、言葉は音のレベル、形のレベル、表現のレベルであり、その特殊性と特徴的な視点をもって理解を深め説明できる。

▌履修条件

言語学は、日本語学や日本語教育を学ぶものにとって、主軸となる専門科目であり、言語の知識はもちろんのこと、周辺にある諸要因である学問的な分野にも興味をもち、それらについても、きちんと考えられる思考能力をもちあわせることを望む。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題(授業内容の振り返り及び課題への取り組み)を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。(欠席については事前に連絡をする。)

▌フィードバック方法

課題及び小テスト、定期試験に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに教科書は指定しない。manaba において、資料の提示をする。(またプリントを配布することもある。)

▌参考書

参考書などは、その都度紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：人間社会と言語との解明を理解する.** 授業内容：人間にとっての言葉の存在と社会における言葉の存在などを考えていく。ここでは人間社会における言葉の存在意義の外観を提示し、神話にも触れながら、言葉を理解していく。 事前学修 2.0hr：人間社会における言語の存在を、神話などからの引用を通して考える。 事後学修 2.0hr：人間社会と言語の存在を通時的にみていき、言葉の意味と生成についてまとめる。
2回	**授業テーマ：言語とその周辺にある環境(歴史的な経緯、社会的な要因、民族、イデオロギーから理解する)** 授業内容：言葉とその周辺にある相関的な関連性のある分野を考えていく。とくに歴史、社会、民族、イデオロギーの関連性などを概観し、その周辺的な分野を理解する。 事前学修 2.0hr：言語とその周辺にあることがらについて、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：言語の周辺にある環境を図解してまとめる。
3回	**授業テーマ：言語の構造一般(記号としての言葉を理解する)** 授業内容：言葉の第一次的なことがらと第二次的なことがらを提示し、音声言語、表記形態など理解していく。言葉の記号性の概念を理解していく。 事前学修 2.0hr：言葉の能記と所記、恣意性について目を通しておく。 事後学修 2.0hr：言葉の能記と所記、恣意性を理解し、言葉の線条性と文節についてまとめる。
4回	**授業テーマ：ソシュールによる理論の展開(ラングとパロールについての概念を理解する)** 授業内容：ソシュールによるラング、パロールの概念及びランガージュの概念、そして言葉の恣意性などを理解していく、言葉の本質的な部分を理解し、言葉の構造を捉えていく。 事前学修 2.0hr：言葉の抽象的な概念を理解し、先人たちの研究について目を通しておく。 事後学修 2.0hr：とくにソシュールの理論展開について図解してノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：言語の類型(言語の祖語、比較言語学、対照言語学、言語類型論の分析方法を理解する)** 授業内容：言葉の類型論を理解していく。それぞれの個別言語(日本語、英語、中国語、朝鮮語など)における音声・音韻、形態論、統語論の特徴を理解していく。 事前学修 2.0hr：言語の類型について、祖語とそれ以外の言語研究について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：言語の分類と言語研究の方法論について、詳しく図解してまとめる。
6回	**授業テーマ：言語の系統(語族と語派を理解する)** 授業内容：言葉における語族及び語派を理解していく。とくに音韻対応の法則による言葉の姻戚関係にあたる部分の理解を深めていく。(具体的にはグリムの法則なども含め説明を加えていく) 事前学修 2.0hr：言語の系統について、音韻研究から明らかにされたことを調べておく。 事後学修 2.0hr：音韻研究から祖語が明らかにされたことと、音声、音韻の関係についてもまとめる。
7回	**授業テーマ：対照言語学(日本語、英語、朝鮮語、中国語からの分析を理解する)** 授業内容：言語を共時的にみていき、それぞれの個別言語(日本語、英語、朝鮮語、中国語)を音声学、形態論、統語論のレベルで分析し、言葉の異なり方を理解していく。 事前学修 2.0hr：個々の言語について、言語学的なレベルでの研究方法に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：個々の言語を言語学的なレベルで分析し、その研究方法をまとめる。
8回	**授業テーマ：構造主義言語学(その成り立ちと研究方法を理解する)** 授業内容：ソシュールのいうところの構造主義の考え方とアメリカの構造主義について、言葉の研究方法の異なりを見出していく。それぞれ文献研究とフィールド研究の方法論を理解していく。 事前学修 2.0hr：構造主義言語学がどのような理論過程を経ているのかについて調べる。 事後学修 2.0hr：記述理論の構築と、その理論が言語教育にどのような影響を与えたかをまとめる。

9回	**授業テーマ：生成文法理論(その成り立ちと研究方法)** 授業内容：チョムスキーのいうところの言葉の研究方法を理解し、人間が言葉をどのように習得していくのかを考え、音、単語、文構造など頭に浮かぶ、思い浮かぶ、メカニズムを同時に理解していく。 事前学修 2.0hr：生成文法理論がどのような構築過程を経ているのかについて考えてみる。 事後学修 2.0hr：生成文法理論の具体的理論を例文を通して分析しまとめてみる。
10回	**授業テーマ：認知言語学(プロトタイプ的なカテゴリー観と新たな意味の捉え方を理解する)** 授業内容：言葉と脳の関係性を説明し、言葉の根幹的意味の認識とそれに伴う言葉の意味拡張などの概要を理解し、その言葉についての意味の捉え方を理解していく。 事前学修 2.0hr：言語研究の一部分として、意味の生成を調べる。 事後学修 2.0hr：言語研究としての意味生成の分析を細かくまとめる。
11回	**授業テーマ：音韻と形態体系(音韻論と形態素、異形態の捉え方を理解する)** 授業内容：言葉の音素及び形態素などを言葉の基礎として捉え、音のレベルと形の形成を理解していく。そしてこれらの仕組みが構造的なシステムによって構築されているのかを概観する。 事前学修 2.0hr：音韻の生成と形態素について調べる。 事後学修 2.0hr：音韻体系と形態体系について、それぞれの特徴をまとめる。
12回	**授業テーマ：言語音を作る仕組み(音声の概念と音声の調音法を理解する)** 授業内容：言葉を作る音節構造、アクセント、プロミネンスを捉え、音のレベルの形成を理解していく。これらの仕組みが構造的なシステムの構築であることを捉えていく。 事前学修 2.0hr：音声の概念を理解し、音の作られ方について目を通しておく。 事後学修 2.0hr：音声の概念を理解し、その音の調音法と調音点を図解してまとめる。
13回	**授業テーマ：語彙・意味(それぞれの分類と分析方法を理解する)** 授業内容：単語を形態論の基礎として理解し、単語における意味素と意義素とに分け、その単語の成り立ちと意味の変遷を捉えていく。 事前学修 2.0hr：語彙、意味のそれぞれの概念と分析について調べておく。 事後学修 2.0hr：それぞれのカテゴリーに分類し、その意味解釈を分析してまとめる。
14回	**授業テーマ：文字と表記(記号から文字への変遷を理解する)** 授業内容：表記形態としての文字の成り立ちを概観し、記号論としての捉え方を理解していく。そこには人間と文字、そして表記形態がどのように生成されてきたのかを捉えていく。 事前学修 2.0hr：記号が文字となっていく、その生成過程について調べておく。 事後学修 2.0hr：それぞれの言語の文字について分類し表にしてまとめる。
15回	**授業テーマ：言語史の観点から(日本語、英語、朝鮮語、中国語の生成を理解する)** 授業内容：言葉の生成過程を、それぞれの個別言語の様相として理解していく。またそれぞれの個別言語が、どのように成り立っていったのか、その内容を理解していく。 事前学修 2.0hr：日本語、英語、朝鮮語、中国語の生成過程を調べる。 事後学修 2.0hr：それぞれの言語的な立場を理解し、史的要素についてまとめる。

応用言語学

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中川 仁 (なかがわ ひとし)

▌授業の概要

この講義では基礎言語学(音声学、音韻論、形態論、統語論等)を主軸として、言葉という概念だけに捉われるのではなく、その周辺にある関連諸分野(歴史、文学、社会、風俗史、民俗誌)といった視点においても理解を深めていく。言語と歴史、言語と文学、言語と社会、言語と風俗史、言語と民俗誌などの文献や論文をみていくことによって、その関係を紐解いていく。そしてその研究方法がどのように理論展開され、発展したのか、またそのことがらが、どのような形で論理的な思考を構築させたのかを考え、言語及び関連諸分野の理解を深めていく。またカルチュラルスタディーズの観点やポストコロニアルの視点から、言語政策や日本語教育史、近代化と植民地主義、近代文学とジャーナリズムなど、あらゆる観点を包摂し、言語学との関係性を理解していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：言語学的な知識が習得できることは、もちろんのことではあるが、それに関係のある諸分野(歴史、文学、社会、風俗史、民俗誌、植民地主義、ジャーナリズムの視点)についても同時に理解することができる。そして言語とその諸分野がなぜ、その分野と関わりをもっているのかを思考していく能力をも身につけることができる。

個別目標：基礎言語学という視点を理解し説明ができる。また言語学の周辺にある言語と歴史、言語と文学、言語と社会、言語と風俗史、言語と民俗誌、戦前の言語政策と日本語教育史、近代化と植民地主義、近代文学とジャーナリズムなどとの関係性について説明ができる。

▌履修条件

2 年次の「言語学概論」の授業を履修していた学生であることが望ましい。日本語学や日本語教育を専門とするものにとって、主軸となる言語学的な知識とその周辺にある関連諸分野に興味をもち、そのことがらについて、きちんと考えられる思考能力をもちあわせることを望む。

▌評価基準・方法

毎回の授業時での課題(授業内容の振り返り及び課題への取り組み)を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。(欠席については事前に連絡をする。)

▌フィードバック方法

課題及び小テスト、定期試験に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修、課題作成などにおいてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに教科書は指定しない。manaba において、学修内容を提示する。(プリントを配布することもある。)

▌参考書

参考書などは、その都度、授業において紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：言葉と周辺の学問分野、その関連性を知る。** 授業内容：言葉の周辺にある学問的な分野である歴史、文学、社会、風俗史、民俗誌といった関連分野に対して説明し、言葉との接点と関連性を考えていく。またこれらの分野が平行線上にあることを理解し、その概観を把握する。 事前学修 2.0hr：言語学と関係性のある諸分野について調べる。(関連の諸分野を整理する) 事後学修 2.0hr：言語学と関係性のある諸分野について学んだことをまとめる。
2 回	**授業テーマ：基礎言語学という考え方Ⅰ(音声学及び音韻論・第一次言語としての音)** 授業内容：言葉の第一次的な現象である「声の文化」を把握し、「音」に対する成立状況と言葉の恣意的な状況、ランガージュ、ラング、パロールなどの概念を捉えていき、その概観を説明していく。(音素、音節構造を説明する) 事前学修 2.0hr：基礎言語学とはどのようなものかを考える。(音声学・音韻論) 事後学修 2.0hr：基礎言語学としての音声学・音韻論のところをまとめる。
3 回	**授業テーマ：基礎言語学という考え方Ⅱ(形態論・語彙、単語、接辞の関係)** 授業内容：「形」としての言葉の成り立ちを把握し、「単語」に対する成立状況と言葉の意義素的な要素と意味的な要素の概念を捉えていき、その概観を説明していく。(単語の構造を説明する) 事前学修 2.0hr：基礎言語学はどのようなものかを考える。(形態論) 事後学修 2.0hr：基礎言語学としての形態論の部分をまとめる。
4 回	**授業テーマ：基礎言語学という考え方Ⅲ(統語論・文の構造としくみ)** 授業内容：「表現」としての文の成り立ちを把握し、「文」に対する構造と類型的な視点の概念を捉えていき、その概観的な要素を説明していく。(文構造を説明する) 事前学修 2.0hr：基礎言語学はどのようなものかを考える。(統語論) 事後学修 2.0hr：基礎言語学としての統語論のところをまとめる。
5 回	**授業テーマ：基礎言語学という考え方Ⅳ(文字・表記について考える)** 授業内容：言葉の第二次的な現象である「文字・表記」を把握し、「文字・表記」に対する成立状況と表記形態の概念を捉えていき、その概観を説明していく。(表現形態と記号の関係性を説明する) 事前学修 2.0hr：基礎言語学がどのようなものかを考える。(文字・表記) 事後学修 2.0hr：基礎言語学としての文字・表記のところをまとめる。
6 回	**授業テーマ：言語学と文学との関連性Ⅰ(ことばの書写方法と文学との関連性)** 授業内容：言葉と文学作品との関連性を概観し、その作品に表れている文体、表現形態に着目し、時代的な変遷を考慮に入れた表現について説明していく。(ここでは文学史的視点と文章解釈も同時に理解していく。また近代文学とジャーナリズムについての関係性も述べていく。) 事前学修 2.0hr：文学作品に出てくる言葉について調べる。 事後学修 2.0hr：文学作品に出てきた言葉を調べて、それについてまとめる。
7 回	**授業テーマ：言語学と文学との関連性Ⅱ(時代変遷と語彙との関連性)** 授業内容：時代的な区分と言葉の変遷に着目し、とくに表記形態と表現に対する言い回しの変化、単語の使い方の変化などを説明していく。(ここでは近世の言葉遊びと文化についても理解していく) 事前学修 2.0hr：時代区分と言葉の変遷について調べる。 事後学修 2.0hr：時代区分と言葉の変遷について、どのようなものであるのかをまとめる。
8 回	**授業テーマ：言語学と歴史との関連性Ⅰ(通時的研究の方法と歴史との関連性)** 授業内容：言葉と歴史との関係性がどのように関わっているのか、また言葉の変容がどのようにおこなわれていくのか、その様相を概要的に説明していく。(ここでは時代の流動的な流れから言葉の変遷を理解していく) 事前学修 2.0hr：言葉と歴史的影響について考える。(言語変化という立場での整理) 事後学修 2.0hr：言葉と歴史的影響についてまとめる。(言語変化という立場において出てきた言葉についてまとめる)

9回	**授業テーマ：言語学と歴史との関連性Ⅱ（ことばの変化と時代との関連性）** 授業内容：時代的な特徴として、言葉を捉えていくために日本語の単語、言い回しを理解していく。その時代に関わる言語生活の実態とその背景などを含め変遷状況をみていく。そして現状の言葉の成り立ちを理解していく。 事前学修 2.0hr：歴史的影響をうけた言葉の変遷を考える。（言語の段階的な変遷を考える） 事後学修 2.0hr：歴史的影響をうけた言葉の変遷をまとめる。（言語の段階的な変遷を整理する）
10回	**授業テーマ：言語学と社会との関連性Ⅰ（ことばと位相との関連性）** 授業内容：言葉と社会との関わりのなかで、とくに位相に着目し、その言葉がどのような形で、表現形態を変えていくのか、その実態を理解していく。そして方言との接点も理解していく。 事前学修 2.0hr：地域と社会階層における言葉のバリエーションを考える。（社会言語学の実践という立場でみていく） 事後学修 2.0hr：地域と社会階層における言葉のバリエーションをまとめる。（社会言語学の地域性と位相との関連についてまとめる）
11回	**授業テーマ：言語学と社会との関連性Ⅱ（民族と言葉、アイデンティティとの関連性）** 授業内容：言葉と民族的な視点との関わりを含め、アイデンティティ及び少数派言語への言語権などを包括して、その概観を説明し、理解をしていく。 事前学修 2.0hr：民族と言葉について考える。（植民地主義と言語の関係を考える） 事後学修 2.0hr：民族と言葉についてまとめる。（植民地主義と言語の関係について理解する）
12回	**授業テーマ：言語学と風俗史Ⅰ（時代的なことばの特徴と表記との関連性）** 授業内容：各地域社会における「言葉遊び」の視点に着眼点をおき、言葉と人々の言語生活との接点を概観し、その様相を理解していく。 事前学修 2.0hr：言葉と風俗史との関係を考える。（明治期の風刺絵や書写方法をみていく） 事後学修 2.0hr：言葉と風俗史との関係をまとめる。（明治期の風刺絵と書写方法との関連性をまとめる）
13回	**授業テーマ：言語学と風俗史Ⅱ（ことばの特徴とことばの流動性との関連性）** 授業内容：その地域性としての言葉の特徴、そしてその地域社会における言葉の特徴などを理解していく。とくに「サンカ」の人々の固有の文字、固有の考えなどにも触れ、その言語生活の実態を理解していく。 事前学修 2.0hr：社会における言葉の風俗史を考える。（明治期の風刺絵及びはがき、広告宣伝などの書写方法をみていく） 事後学修 2.0hr：社会における言葉の風俗史をまとめる。（明治期の書写方法を言語接触の状況から整理する）
14回	**授業テーマ：言語学と民俗誌Ⅰ（三郷巷談などの文献から言葉と民俗史的な概念を理解する）** 授業内容：民俗学及び文化人類学的な研究分野に視点をおき、その概要を説明し、言葉との接点を見出していく。とくに『三郷巷談』を例として、生活と言葉の実態を理解していく。 事前学修 2.0hr：民俗誌のなかの言葉について考える。（言葉と民俗学という視点との関連性をみていく） 事後学修 2.0hr：民俗誌のなかの言葉についてまとめる。（言葉と民俗誌という視点からその関連性をまとめてみる）
15回	**授業テーマ：言語学と民俗誌Ⅱ（文献からそのことばの原形＝プロトタイプを考える）** 授業内容：民俗学の視点による言葉の研究が、どのようにおこなわれてきたのかを概観し、とくに折口信夫の考えにも触れながら、言葉への理解を深めていく。（人間と言葉との関係を紐解いていく。） 事前学修 2.0hr：民俗誌の書写方法を考える。（具体的な例を挙げて説明する） 事後学修 2.0hr：民俗誌の書写方法をまとめる。（具体的な例について、その関連性をまとめる）

社会言語学

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

「社会」「文化」「政策」と言語との関係について学ぶ。同時に社会的な行動を支えるために必要な社会的・文化的習慣について考察する。

特に言語行動では「基本的な考え方、コミュニケーションとの関係、言語行動を成立させる物事」について学ぶ。そして、「あいさつ、お礼、年齢、性、場面と多様性との関係」を考え、これらの知識を基に、対人関係と言語行動（言葉以外のもの、対人的な気配り、規範、日本人特有の言語行動）についての知識を獲得し、レポートを書けるようにする。

尚、日本語教師【養成】における教育内容では、④言語と社会の関係、（8）社会言語学、言語政策とことば、に対応する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：さまざまな話者、さまざまな言語上の政策について把握することができる。

個別目標：社会におけるさまざまな言語上の諸問題について自らの意見が言える。

▌履修条件

社会と言語の関係に深く関心のある者。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピアリーディングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計資料等の閲覧時に使用する。）

▌教科書

毎回プリントを配布する。

▌参考書

岩田祐子、重光由加、村田泰美『概説 社会言語学』（ひつじ書房）

井出祥子『社会言語学』（アルク）

東照二『社会言語学入門』（研究社）

杉戸清樹 水谷信子『日本人の言語行動』（アルク）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：社会言語学とは、言語政策とことばとは** 授業内容：社会言語学という分野は言語研究の中では新しい分野で、20 世紀も半ばを過ぎてのアメリカに端を発する。簡単に言えば、社会言語学とは、データを拠り所として、それまでの狭義の言語学とは異なる分析的パラダイムを用いて人間集団と言語の使用を探る学問分野である。収集されたデータを使うという点と、ある集団においてことばがどのように使われるかという言語使用を解明しようとする 2 つに特徴がある。授業では社会言語学が台頭した背景を考えながら論じていく。 事前学修 2.0hr：社会言語学と聞いてイメージするものを 5 つ挙げて来る。 事後学修 2.0hr：自らが考えていた社会言語学と授業で紹介された社会言語学の違いについてまとめる。
2 回	**授業テーマ：言語と地域　言語政策と絡めて考える** 授業内容：世界にはいくつの言語があるかを考えたことはあるだろうか。国の数がおよそ 200 であるとすると、言語の数はおよそいくつだろうか。毎年この問いをすると、200 より少ない数をあげる学生が少なくない。英語のようにいろいろな地域で使われる言語もあるというのがその理由である。また、一国で複数の言語が使用されている場合もあることから、300、500 などと答える学生もいる。授業では、このような素朴な疑問から生じる問題を取り上げ、言語と地域についての関わりを論じていく。 事前学修 2.0hr：日本とそれ以外の国、地域における言語の状況について調べて来る。 事後学修 2.0hr：教員が示す国、地域の言語状況についてまとめる。
3 回	**授業テーマ：言語と社会階層　言語政策と絡めて考える** 授業内容：社会階層と言語はどのような関係にあるのかについて考察していく。一口に社会階層と言っても多くの学生にとってその概念ははっきりしないのではないだろうか。現在の日本社会には格差があると言われて久しいが、実際に日本に社会に階層があるのかどうか、また社会階層が日本語に影響を及ぼしているかどうかについてはあまり考えられてこなかったのではないだろうか。授業では、言語と社会階層についての研究が数多くなされている英米の例を見ながら論じていく。 事前学修 2.0hr：日本における社会階層について調べて来る。 事後学修 2.0hr：授業で示された言語と社会階層の特徴についてまとめる。
4 回	**授業テーマ：言語と民族　言語政策と絡めて考える** 授業内容：日本で暮らしているとあまり意識されないが、同じ言語を話す人たちの中に、地域、社会階層とは関係なく、同一民族固有の特徴が見られ、その特徴が何世代にもわたって続いていることがある。授業では民族の違いによる言語変種とはどのようなものであり、なぜそのような現象が起きるのかを英語圏の例を挙げながら論じていく。尚、具体的には、民俗の違いによる「変種」がどのようなものかをホームズ（2008）の研究を取り上げ説明する。 事前学修 2.0hr：民族という用語が日本社会でどのように捉えられているか、自分の意見をまとめて来る。 事後学修 2.0hr：授業で行った英語圏の例をまとめる。
5 回	**授業テーマ：言語とジェンダー** 授業内容：言語とジェンダーと聞いて、何を思い起こすであるだろうか。「男らしい話し方」「女らしい話し方」であろうか。また「看護婦、保母」と言わず、「看護師、保育士」という表現を思い浮かべるだろうか。ジェンダーが、私たちの思考や価値観形成に影響を与えているかを理解するのは難しいが、普段無意識にあることに敢えて意味を与え研究していくことは重要である。授業では、言語とジェンダーがどのように関わりを持っているかを論じていく。 事前学修 2.0hr：日本語におけるジェンダーについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：日本における言語とジェンダーの問題についてまとめる。
6 回	**授業テーマ：言語と年齢** 授業内容：「言語と年齢」という主題のもと、年齢による言語差を扱う。履修者の多くが「今どきの若者の日本語はなっていない」、「敬語さえろくに使えない」などと年長者の批判をよく聞くことだろう。日本語の乱れを懸念する年長者は多く、「言語観」の違いが話題に挙げられることは少なくない。それでは、若者と年長者の日本語の違いは何であろうか。またその違いにはどのような特徴があるのだろうか。授業では「若者ことば」を取り上げ論じていく。 事前学修 2.0hr：自分でも感心しない若者言葉を 10 挙げて来る。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された世代間の言語の問題をまとめる。

7回	**授業テーマ：言語の選択　言語政策と絡めて考える** 授業内容：多言語社会に住む人々が日常の生活で複数の言語を使っている現象を例に、多様な世界の言語状況を学ぶ。具体的には、シンガポール在住の中国系女性(大学生／ 20 歳)の例から多言語社会に住む人々が日常生活で複数の言語を操る状況を考察する。特にこの状況で起こるコード・スイッチングを場面や話題が変わるごとにより起こる機能であると捉えるか、または話し手が談話の意味を選び取ろうとするから起こると考えるかという 2 つのアプローチも見ていく。 事前学修 2.0hr：シンガポールにおける言語状況を調べて来る。 事後学修 2.0hr：授業中に示された多言語社会における言語の状況をまとめる。
8回	**授業テーマ：言語の状況差、適切さ(スタイルとレジスター)　言語政策と絡めて考える** 授業内容：人は言語を使用するとき、状況や相手やトピックによって最もふさわしい言語を選択する。この場合の状況とは、フォーマルかインフォーマルか、オフィシャルかプライベートか、シリアスかユーモラスか、丁寧度が高いか親しさが強いかなどの区別である。またこの場合の相手とは、自分より地位が高いか低いか、親しいか親しくないか、年齢が上か下か、同姓か異性かなどの区別である。我々はこれらの状況・相手の特性・トピックなどを素早く的確に把握し言語を使用している。このような現象を数多くの例を通して見ていく。 事前学修 2.0hr：スタイルとレジスターについて調べて来る。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
9回	**授業テーマ：ポライトネス** 授業内容：一般に、ポライトネスはポライト(丁寧な、礼儀正しい)の名詞形であると理解されている。しかし、現在の社会言語学ではカタカナで「ポライトネス」としている。ポライトネスは人の言語行動を説明するためのさらに大きい理論的枠組みを指している。人はどのように会話をするのかという「会話の仕組み」を理解し、聞き手に対して我々が行っている「配慮」というポライトネスの観点からコミュニケーションを考えていく。それまでの「敬語」における待遇表現だけでは扱えなかった事項も、この新たな概念で可能となる。 事前学修 2.0hr：待遇表現とは何かを調べて来る。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
10回	**授業テーマ：会話の仕組み** 授業内容：ことばのやりとりで繰り返し見られるパターンから構造を考えていく。その際、会話はどのように行われているだろうか。「流れで行われている」「自然にやっている」「普通に行っている」などと普段はあまり気に留めていないのではないだろうか。しかしながら、人々が交替しながら一度に一人しか話さないということは、よく考えると不思議な現象である。ここでは、どのように交替するのか、前の人が話し終わることはどのようにして「予測」できるのか、次に話す人はどのように決まるのかといった「当然と思われる」行動の秩序を考察する。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
11回	**授業テーマ：コミュニケーションの民族誌** 授業内容：言語共同体でのコミュニケーションを対象とした「言語と文化の関わり」の研究を学ぶ。この研究分野は、言語人類学の流れを汲み、言語行動は文化・社会などの幅広いコンテクストで見る必要があるという立場を取りながら、社会言語学の枠組みの中の一つの柱となっていった。授業では、アメリカのハイムズが示したコミュニケーションを捉えるための枠組みを基に、分析に必要な要素を紹介していく。この場合の要素はコンポーネントである。 事前学修 2.0hr：ハイムズの研究論文にはどのようなものがあるのかを調べて来る。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
12回	**授業テーマ：社会言語学と異文化コミュニケーション** 授業内容：異文化コミュニケーションは、異文化コミュニケーション・異文化心理学をはじめとするさまざまな分野で研究がなされている。そこでこの授業では、社会言語学の立場から言語に焦点を当てることにより、異文化コミュニケーションの問題を考察する。同じ言語を話していてもコミュニケーションがうまくいかないことはめずらしいことではない。このような事例を挙げながら、言語を分析することでコミュニケーションの問題を考えていく。 事前学修 2.0hr：母語におけるコミュニケーションギャップを考えて来る。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
13回	**授業テーマ：さまざまな会話のスタイル** 授業内容：会話のスタイルにはターン・テイキングの方法、談話の組み立ての方法、同意・不同意の方法、各文化・社会の価値観などが反映されている。この授業では、エスノメソドロジーで業績のあるサックス、シェグロフ、ジェファーソンが、彼らの母語であるアメリカ英語の会話を分析して得た会話の基本的な仕組みを基に学んでいく。実際の会話はうまくいく場合もうまくいかない場合もある。このようなことを踏まえた上で、様々な会話のスタイルを概観していく。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
14回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：第 1 回から 13 回までのテーマのうち、各自が関心を持った事項を 1 つ選び、レポートにまとめる。そして授業の後半では各自がまとめたものを、「ピアリーディング」の手法を用いてペアの相手に読み聞かせ、論拠の甘さなどを指摘し合い、再度レポートを「修正」し提出する。「書く」という行為と「読む」という行為、また人を意識した「持論の展開の仕方」を経験することにより、緊張感のある受講態度を認識することを第一の目的とする。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
15回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：第 1 回から第 13 回までの授業内容で論じられなかった事項を整理して講義する。具体的には「世界の共通語としての英語」「過剰矯正」「キング牧師の演説」「性差別的言語」「古風なことば」「マルティリンガル」「ダイバージェンス」「コンバージェンス」「投射と共話」「ナラティブ研究」「各言語における英語の影響」「文化モデル」「女ことばの CDA」「裁判の場における社会言語学からの貢献」のうち、履修者から希望を募り、3 点の解説を行う。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。

対照言語学

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

土屋　真一（つちや　しんいち）

▌授業の概要

対照言語学とは、言語と他の言語を比較する言語学の一分野で目標言語を基本言語と対照すること、すなわち対照分析（contrastive analysis）によって、その目標言語（target language）の特徴を捉えようとする学問である。本授業では、対照言語学を理解するために必要な周縁の言語学知識を学修したうえで、日本語を中国語と対照を行い、相違点・共通点を分析する力を養う。なお当該科目は、日本語教師養成における必須の教育内容（38）対照言語学を含む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本語を他の言語（中国語）の比較対照をおこない、相違点・共通点を分析する力を培うことを目標とする。

個別目標：(1) 専門用語を正しく理解することができる。

(2) 語彙、語順、文構造等より比較対照を行い、分析することができる。

▌履修条件

・毎回出席すること。（欠席の場合は、事前に manaba で担当講師へ連絡をすること）

・期限までに課題の提出を行うこと。

・授業内の活動に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

課題（通常週の課題提出による評価）45%、期末レポート 35%、授業への貢献度 20%に基づき総合的に評価する。

5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは、授業内或いは学習支援システム manaba にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、授業内発表、コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内課題を学修支援システム manaba にアクセスし掲示資料を参照する。Word ファイルにて授業内課題を作成する。）

▌教科書

特に指定はしない。授業毎にプリント等を配布する。

▌参考書

高見沢孟他『新・はじめての日本語教育 基本用語事典』アスク出版、この他の参考書については、授業時に適宜紹介を行う。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要、授業の進め方、履修上の注意点、課題提出の方法、評価基準などについての説明をおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスに目を通し、講義概要を把握する。 事後学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなど自身でノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：言語記号の特徴について** 授業内容：ソシュールの考えを中心に、言語の二面性、能記と書記、恣意性、共時態と通時態、ラングとパロールについて概観していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
3回	**授業テーマ：対照言語学とは何か** 授業内容：「比較」と「対照」の2語に着目し、「歴史的に同系であることが前提」、「歴史的に同系であるかを問わない」の違いについて明らかにしていく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
4回	**授業テーマ：中国語とはどのような言語であるか** 授業内容：本科目で、目標言語として取り扱う中国語（北京官話）の概要を把握していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
5回	**授業テーマ：日本語と中国語の品詞について（1）** 授業内容：代名詞、動詞、形容詞の基本的な性質を捉えたうえで、日中両言語にどのような違いがあるか、いくつかの側面から理解していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
6回	**授業テーマ：日本語と中国語の品詞について（2）** 授業内容：副詞、数量詞について、それぞれいくつかの項目に分類し、概観していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
7回	**授業テーマ：試験対策** 授業内容：登録日本語教員試験および、日本語教育能力検定試験における対照言語学分野の範囲を理解し、問題演習をおこなう。 事前学修 2.0hr：試験関連問題集を検索し、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：授業でおこなった問題を見直し、どのような準備が必要か考えておく。
8回	**授業テーマ：日中両言語の主語と述語** 授業内容：中国語における主語と述語を文法成分とみなし概観したうえで、日本語との違いを説明していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
9回	**授業テーマ：テンスとアスペクト** 授業内容：日本語のテンスとアスペクトに関する理解を確認したうえで、中国語のテンスとアスペクトをいくつかの側面から概観し特徴を把握していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
10回	**授業テーマ：態＜ヴォイス＞** 授業内容：受動表現、使役表現、授受表現から日本語と中国語のヴォイス（態）を概観していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。

11回	**授業テーマ：モダリティ** 授業内容：中国語のモダリティを対事的モダリティと対人的モダリティーに分類し、その特徴を説明していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
12回	**授業テーマ：漢字と日中同形語について** 授業内容：新字体と簡体字をそれぞれ類型化し、日中の漢字の特徴を捉えていく。別途、新体字、簡体字の違いはあるものの、日中両言語ともに同じ漢字で表記する語彙に焦点をあて、類型化し概観していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
13回	**授業テーマ：敬語表現と親族語彙について** 授業内容：日本語の敬語表現の理解を確認したうえで、中国語の敬語表現の特徴を把握し、両者の違いを理解していく。あわせて、親族表現について、日中両言語が対応していないことについても、文化的側面、社会的側面などから説明していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
14回	**授業テーマ：共起について** 授業内容：共起(collocation) を語彙的・文法的な側面から概観し、日中両言語の違いを説明していく。 事前学修 2.0hr：リーディングタスクより、わかったこと、調べたことなどをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業を通して、学んだことを整理しておく。
15回	**授業テーマ：本科目のまとめ** 授業内容：設定されたテーマをもとに、レポートを書き、これまで授業の振り返りをおこなう。 事前学修 2.0hr：今まで配布した資料や、自身で整理したノートを読み返し、整理しておく。 事後学修 2.0hr：本科目を通して、どのような学びを得たか、今後どのような場面で生かせるか、考えをまとめる。

言語研究法／コンピュータ言語学 I

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

本コースでは、言語研究とはどのような研究分野であるのかを、実践を通して経験的に学んでいく。まず、研究を行ううえで必要となる倫理的配慮について理解したうえで、簡単なデータ収集および分析を行い、基礎的な調査方法を身に付ける。
さらに、学んだ調査方法を用いてプレゼンテーションを行い、他者との意見交換を通して考察を深めるとともに、レポートとしてまとめ、報告する。なお、調査対象言語は日本語とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：言葉を対象とした定量的研究において、調査方法の選択、データの収集・分析、結果の整理と考察といった研究の進め方を理解し、基礎的な調査方法を実践できるようになる。
個別目標：(1) 論文作成の手順を説明できる。
(2) 収集したいデータに合った調査方法を選択できる。
(3) 倫理的配慮を行ったうえでデータを収集できる。
(4) 論理的かつ筋の通った調査報告レポートが書ける。

▌履修条件

課題提出の期限を守る。
積極的に授業に参加する。
PC ルームの収容人数を超えて履修希望者がいた場合は抽選とするので必ず第 1 回は出席する。

▌評価基準・方法

課題の内容 50%、発表 20%、レポート 20%、学習のふりかえり 10%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業、および manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、発表や相互点検など他者と協働する機会がある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ほぼ毎回 Microsoft Excel、Microsoft Word を利用する。manaba も使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　言語研究とは** 授業内容：授業の概要と目標、進め方、評価方法、履修者に期待されることを理解する。そのうえで、研究と勉強の違い、学術研究の位置づけ、言語研究とはどのような分野なのか学習 する。 事前学修 2.0hr：Microsoft Word と Excel の基本操作を確認する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：研究論文の構成** 授業内容：実証研究を一例として研究論文を読んで、どのような構成で成り立っているのかを分析する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：先行研究の収集** 授業内容：図書館の検索サイトを使って研究論文の調べ方、先行研究の活用方法を学ぶ。関心のあるテーマにもとづいて先行研究を集めたリストを作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：倫理的配慮** 授業内容：研究に携わる人間としてモラルと責任を自覚したうえで、研究協力者に対して対象者になることについて確認すべき事項を学習する。文書で同意を得る場合を想定し、研究同意書を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：アンケート調査の方法** 授業内容：アンケート調査の目的と方法等を学習し、クラス内で調査を実施する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：アンケート調査データの分析** 授業内容：収集したデータを整理し、Microsoft Excel を使って集計する。グラフを読み取り、結果を解釈する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：インタビュー調査の目的と方法** 授業内容：インタビュー調査の目的、種類、方法を学習し、サンプリングの仕方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：会話分析の目的と方法** 授業内容：会話分析の目的、方法、種類を学習し、サンプリングの仕方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：会話分析の方法** 授業内容：第８回で収集したサンプルをもとに、分析方法を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

10回	**授業テーマ：会話データの収集** 授業内容：先行研究を集め、研究計画を立案する。自分の研究に必要な調査を準備する。クラスメートに研究の同意を得て、調査を実施する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：収集したデータの整理と分析** 授業内容：収集したデータを Microsoft Excel を使って整理し、分析する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：レポートへのまとめ方** 授業内容：調査報告を目的とするレポートの作成方法を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：レポートの執筆** 授業内容：データの収集・分析を通して得られた結果を整理し、研究の目的や方法を踏まえて、その内容を分かりやすく報告するレポートを書く。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：レポートの共有と相互点検** 授業内容：作成したレポートを共有して相互に点検を行なう。互いにレポートを評価し、改善点をみつける。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：まとめとふり返り** 授業内容：このコースで学習したことをふりかえり、身に付けたスキルを確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

コンピュータ言語学

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

田川　麻央 (たがわ　まお)

▌授業の概要

コンピュータの既存ツール、オンライン上のコーパスを使って言語データの収集、整理、分析を行ない、まとめていく過程を経験的に学ぶ科目である。本コースを通じて学んだスキルを使って、発表および調査レポートをまとめる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：言語データを収集、整理、分析し、わかりやすくまとめることで、客観的に情報を分析する力を身につける。

個別目標：(1) 言語データの収集、整理、まとめていく手順が説明できる。
(2) コンピュータの既存ツールを用いた基本的なデータ処理ができる。
(3) 言語データを根拠資料として自分の意見を文章でわかりやすく伝えることができる。

▌履修条件

(1)「言語研究法(旧：コンピュータ言語学Ⅰ)」を履修済みか、同等の知識を持っている。
(2) 課題提出の締め切りを守る。
(3) 毎回、積極的に参加する。
(4)PC ルームの収容人数を超えて履修希望者がいた場合は抽選とするので必ず第 1 回は出席する。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、発表 30%、テスト 20%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは学修支援システム manaba もしくは対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （数回、発表がある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （毎回の授業で PC を利用する。manaba も使用する。）

▌教科書

毎回、資料を配布する。

▌参考書

授業の際に随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、事前テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価、最終到達点を理解する。そのうえで、パソコンスキルのテストに取り組み、不足している基礎知識に気づく。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：Excel の基本操作** 授業内容：Excel の基本操作を復習する。ワークシートやブック、セルのデータ、テーブル、グラフなどの管理を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：テキスト関数** 授業内容：文字列を結合したり特定の文字列を切り取ったりするなど文字データを処理するために用意されているテキスト関数を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：言語コーパス** 授業内容：言語コーパスとはどのようなものか、どのように作られているのか、日本語研究や日本語教育研究等で使われるコーパスのタイプと特徴を学習する。また、インターネットの検索エンジンとの違いを確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：類義語の使い分けに関する調査** 授業内容：現代書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)で類義語の頻度調査の方法を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：表記の使い分けに関する調査** 授業内容：現代書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)で表記の使い分けについて頻度調査、メディアジャンル別、期間別の調査方法を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：コーパスを使ったデータ収集** 授業内容：第 5 回、第 6 回で学習した調査方法を使ってデータを収集し、整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：発表資料作り** 授業内容：クラスメートに向けてわかりやすく発表できるよう、発表資料を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：発表と他者評価** 授業内容：クラスメートの前で発表して、互いに評価を行う。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
10回	**授業テーマ：コロケーション調査** 授業内容：NINJAL-LWP for BCCWJ を使ってコロケーション調査の方法を学習する。動詞、名詞、形容詞、副詞のコロケーション、文法的振る舞いを調査し、特徴を探る。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

11回	**授業テーマ：形態素解析** 授業内容：オンラインツールを使って形態素解析の方法を学習し、表計算ソフトを使ってデータを整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：形態素解析データの収集と分析** 授業内容：第 10 回で学習した形態素解析を使って、データを収集し整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：資料作成** 授業内容：第 12 回で整理した形態素解析データをレポートにまとめる。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：レポートの他者評価** 授業内容：第 13 回で作成したレポートをクラスメートに読んでもらい他者評価を行う。その後、よりわかりやすいレポートに修正する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：まとめとフィードバック** 授業内容：これまで学習してきたことを振り返り、知識やスキルが身に付いているかどうか確認する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

日本文学概論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

中村　佑衣（なかむら　ゆい）

▌授業の概要

日本の上古から近代まで、それぞれの時代を代表する文学作品を取り上げ、読解していく。
各時代の諸相に目を配りつつ、そこから生み出された文学作品の特徴を理解し、日本文学の大きな流れについて考察する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：1 上古から近代に至る日本文学の基本的な流れを理解する。
　　2 各時代の主要作品の特徴を把握し、時代や社会との関わりを理解する。
個別目標：(1) 上古から近代まで、基本的な日本文学の流れや、主要作品と作家について説明できる。
　　(2) 主要作品の内容を正確に読み取り、表現の特徴を説明できる。
　　(3) 文学作品を通して、時代や社会に関わるテーマを主体的に発見し、意見を形成することができる。

▌履修条件

この授業では日本の古典文学から近代文学までを広く扱うため、毎回指示された古文のテキスト（現代語訳付き）や、明治の漢文訓読体、擬古文体テキスト（現代語訳なし）を読む必要がある。また記述課題も多い。それらの文章を積極的に読み、課題を提出する意欲があることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

提出課題 60 %、レポート 30 %、授業への参加姿勢等 10 %により、総合的に評価する。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （各回の授業内容に関して予め課題に取り組み、主体的に日本文学に関する興味関心の幅を広げていく。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （検索や参考資料の確認など）

▌教科書

使用しない。適宜紹介する。

▌参考書

必要に応じて、紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス・日本文学入門** 授業内容：上代から近代という時代区分に基づき、日本史と日本文学の大まかな流れを確認する。また『古事記』『風土記』『日本書紀』の特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、日本文学の大まかな流れを確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
2 回	**授業テーマ：上古の日本文学：『万葉集』の歌人と表現** 授業内容：口承文学の誕生から平安京遷都までの、上代の日本文学について学ぶ。漢字の伝来と万葉仮名という表記法、上代の日本語の特徴について理解し、日本最古の和歌集である『万葉集』の歌人と表現について学修する。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：中古の日本文学(1)：和歌** 授業内容：平安時代の社会と文化の特徴と、平安文学の流れを確認する。中古時代における和歌および和歌集について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：中古の日本文学(2)：源氏物語以前の物語** 授業内容：平安時代の物語文学の流れを確認した後、源氏物語以前の作品として『竹取物語』や『伊勢物語』を取り上げる。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：中古の日本文学(3)：源氏物語** 授業内容：『源氏物語』および『源氏物語』以後に生まれた物語について概要を学ぶ。特に『源氏物語』では正編と続編の違いに着目し、描かれるテーマの幅広さを理解する。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：中古の日本文学(4)：日記文学** 授業内容：仮名文字の普及から和歌が発達し、仮名散文が多様な形で展開するようになった流れを理解し、特に日記文学の特徴について学修する。『枕草子』の他、『土佐日記』や『蜻蛉日記』などの代表作について概要を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：中世の日本文学(1)：物語** 授業内容：日本中世の社会と文学の流れを確認し、中古からの文学の担い手の変化について学修する。また、軍記物語・歴史物語について学び、『平家物語』の内容や構成、表現の特徴を確認する。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
8 回	**授業テーマ：中世の日本文学(2)：随筆** 授業内容：中世の随筆の代表作について学ぶ。特に、授業では『徒然草』を取り上げ、本文を見ていく。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
9 回	**授業テーマ：近世の日本文学(1)：連歌と俳諧** 授業内容：日本江戸期の社会と文化の概要を理解した上で、中世における連歌の成立と近世における俳諧の誕生について学ぶ。特に芭蕉に注目し、中世とは異なる感性について理解を深める。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：近世の日本文学(2)：散文** 授業内容：近世において派生した様々な散文文芸について把握する。特に、西鶴と上田秋成について取り上げる。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：近代の日本文学(1)：近代文学の出発－小説の誕生－** 授業内容：日本の近世から近代への移行期について確認し、近代文学の大まかな流れを理解する。その上で、近代小説の向かうべき方向を明らかにした最初の小説論である坪内逍遥の『小説神髄』の他、当時における文体の改革について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：近代の日本文学(2)：明治 20 年代と樋口一葉** 授業内容：明治 20～30 年代における日本文学の変化を整理し、代表的な作家と作品を把握していく。また、日本で最初の女性職業作家といえる樋口一葉とその作品について理解を深める。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：近代の日本文学(3)：翻訳文学** 授業内容：明治期における小説の誕生と切り離せないのが翻訳文学の存在である。ここでは、明治における新劇の流れも取り上げながら、西洋の文学を取り入れ、新たな日本文学を形作ろうとする作家達の模索を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：近代の日本文学(4)：森鷗外** 授業内容：近代文学において特に大きな役割を担ったとされる森鷗外。授業では、鷗外の業績とともに彼の作品について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：近代の日本文学(5)：夏目漱石** 授業内容：鷗外と肩を並べる存在として、近代文学史における大きな功績を果たした夏目漱石。授業では、漱石の作品について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。

日本文学史

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

長谷川　哲夫 (はせがわ　てつお)

▌授業の概要

『万葉集』や『源氏物語』『徒然草』など日本の代表的な古典文学作品を読むことにより、古代(奈良時代以前)から近世(江戸時代)までの文学の歴史を概観する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：日本文学の大まかな流れを理解する。作者名や作品名をただ暗記するというのではなく、実際に作品を読むことで、その作品の実態を具体的に知り、作者の世界観や表現力、さらにはその作品が生まれた社会背景などにまで理解を広げていく。

個別目標：代表的な日本の古典文学作品について基本的な知識を身につけることができる。また、それぞれの作品の特徴が理解でき、自分の言葉でそれを説明できる。授業で取り扱わなかった作品にも興味を持ち、学ぶ力を養うことができる。時代によって変わるものと変わらないものがあることを知り、過去の人々と現在の自分とのつながりを知ることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

小テストと課題 50 %、期末試験 50 %の割合で評価する。なお、原則 5 分の 4 以上の出席を前提とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。小テストについては、答案の返還によって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

秋山虔・桑名靖治・鈴木日出男編『日本古典読本』(筑摩書房)

▌参考書

適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を知る。日本の歴史区分と文学史を重ねて、それらがどのように対応するかを理解する。 事前学修 2.0hr：教科書を入手して目を通す。 事後学修 2.0hr：授業で解説した内容を教科書を読んで確認する。
2回	**授業テーマ：古代前期の文学(１)万葉集** 授業内容：『万葉集』の成立時期、規模、内容、表記、修辞表現、歌風などを知る。 事前学修 2.0hr：教科書の万葉集の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、歌を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
3回	**授業テーマ：古代前期の文学(２)古事記** 授業内容：『古事記』の成立時期や、特にその神話が作られた背景などを知る。 事前学修 2.0hr：教科書の古事記の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
4回	**授業テーマ：古代後期の文学(１)古今和歌集** 授業内容：『古今和歌集』の成立時期や背景を知る。そして、その文学史的意義を理解する。和歌の内容、修辞表現、歌風などを理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の古今和歌集の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、歌を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
5回	**授業テーマ：古代後期の文学(２)竹取物語** 授業内容：『竹取物語』の成立時期や内容を理解する。『竹取物語』の後世への影響を知る。 事前学修 2.0hr：教科書の竹取物語の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
6回	**授業テーマ：古代後期の文学(３)伊勢物語** 授業内容：『伊勢物語』を通じて、和歌と物語の関係を理解し、文学史的意義を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の伊勢物語の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
7回	**授業テーマ：古代後期の文学(４)源氏物語** 授業内容：『源氏物語』の成立や社会的背景について理解する。物語の内容を概観する。作者の紫式部について知る。後世に及ぼした影響についても考えてみる。 事前学修 2.0hr：教科書の源氏物語の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
8回	**授業テーマ：古代後期の文学(５)枕草子** 授業内容：『枕草子』の成立や社会的背景について理解する。作者の清少納言についても知る。 事前学修 2.0hr：教科書の枕草子の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
9回	**授業テーマ：中世の文学(１)新古今和歌集** 授業内容：『新古今和歌集』の成立時期について、社会的背景も含めて知る。表現技法や歌風についても理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の新古今和歌集の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、歌を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
10回	**授業テーマ：中世の文学(２)宇治拾遺物語・十訓抄** 授業内容：説話文学の中から、『宇治拾遺物語』と『十訓抄』を取り上げ、説話文学の魅力に触れる。 事前学修 2.0hr：教科書の宇治拾遺物語・十訓抄の解説を読み、わからない箇所をチェックする。本文を読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
11回	**授業テーマ：中世の文学(３)平家物語** 授業内容：『平家物語』を取り上げ、中世文学の中心をなす思想である「無常」の概念を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の平家物語の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。

12回	**授業テーマ：中世の文学(４)徒然草** 授業内容：『徒然草』を取り上げ、作者兼好の考え方、価値観、美意識などを理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の徒然草の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
13回	**授業テーマ：近世の文学(１)俳諧(芭蕉・蕪村・一茶)・奥の細道** 授業内容：中世の連歌から近世の俳諧へという流れを理解し、俳諧のもつ魅力を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の俳諧の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
14回	**授業テーマ：近世の文学(２)雨月物語** 授業内容：近世の小説を知る。西鶴・近松・秋成・馬琴を取り上げる。作品としては、秋成の『雨月物語』を読み、その文章に親しむ。 事前学修 2.0hr：教科書の雨月物語の解説を読み、わからない箇所をチェックする。また、本文を一通り読んで、わからない語句をチェックする。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習するとともに、事前にチェックした不明な点が解決したかを確認する。
15回	**授業テーマ：日本文学史のまとめ** 授業内容：授業で取り上げた文学作品を振り返り、それらを文学史の大きな流れの中に位置づける。 事前学修 2.0hr：教科書の巻末の年表を見て、授業でこれまで取り上げてきた作品がいつごろ書かれたのかをあらためて確認する。 事後学修 2.0hr：授業で取り上げた作品の周辺には、どのような作品があるのか、などの確認をする。

近現代文学

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

中村　佑衣（なかむら　ゆい）

▌授業の概要

本科目では明治以降の日本の近代および現代文学を中心に、詩や戯曲等も含めた広義の文学作品を扱う。特に〈作者―作品―読者（作品享受者）〉の関係性を重視しつつ、物語論をふまえた多角的な文学作品の読み方の基礎を身につけていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：1 近現代の社会的背景や文化・思想をふまえた近現代文学の流れを理解する。
　　2「詩」や「小説」などの作品形式の違いを理解し、それらを読解する力を身につける。
個別目標：(1)基本的な物語論や小説ならではの技巧について理解し、作品の内容を正確に読み取ることができる。
　　(2)〈作者―作品―読者（作品享受者）〉の関係性を理解した上で、文学の多様な読みが生まれる理由を説明できる。
　　(3)社会的背景や文化・思想をふまえて文学作品を読解し、自身の考えを示すことができる。

▌履修条件

授業では、物語論の知識を学ぶ他、主に明治期～昭和期の小説を読解する。予習または授業後課題として指示された小説作品を読む必要があり、記述課題も多い。したがって、積極的に小説作品を読み、課題に取り組む意欲があることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

授業課題 60 %、レポート 30 %、授業時の話し合いなどへの参加姿勢及び発言等 10 %。
なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業で取り上げる作品について、各自の考えについて意見交換を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。毎回、翌週扱う作品のプリントを配付するか、「青空文庫」などのテキストを指示する。

▌参考書

必要に応じて授業内で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、書き出し・人物の名前** 授業内容：本科目の概要を説明し、文学理論について説明する。その後、書き出し・人物の名前について、学ぶ。 事前学修 2.0hr：文学理論とは何か調べる。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：視点と語り手の選択** 授業内容：物語論およびジェラール・ジュネットについて学ぶ。物語論における視点と語り手について把握し、作品分析を試みる。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：物語の三つの相と様々な語り** 授業内容：物語論に基づき、物語の三つの相と様々な語りの種類について学ぶ。実際に作品を読みながら、理論に基づいた分析と考察を試みる。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：ストーリーとプロット、時間** 授業内容：物語論に基づき、ストーリーとプロットについて学ぶ。また、物語における時間という概念についての理解を深める。実際に作品を読みながら、理論に基づいた分析と考察を試みる。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：詩的言語、コノテーションとデノテーション** 授業内容：詩的言語、コノテーションとデノテーションについて実例を眺めながら学ぶ。実際に作品を読み、理論に基づいた分析と考察を試みる。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：作品享受の３者関係〈作者―作品―読者(作品享受者)〉とメタフィクション** 授業内容：作品享受の３者関係〈作者―作品―読者(作品享受者)〉について学ぶ。また、そうした関係性を逆手に取ったメタフィクションについて、理解を深める。メタフィクションに関する作品を読み、理論に基づいた分析と考察を試みる。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：間テクスト性** 授業内容：間テクスト性について学ぶ。また、それに関する作品を読み、理論に基づいた分析と考察を試みる。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：明治期の文学①：近世との境界としての「小説」の模索** 授業内容：近世との違いをふまえ、明治期における「小説」の誕生について学ぶ。近世あるいは現代の文学作品との相違点を確認し、明治期の始まりにおける文学作品の特徴をまとめる。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：明治期の文学②：「近代」と「自我(私)」** 授業内容：明治期における重要な概念としての「近代」と「自我(私)」について学ぶ。これらの概念と関係の深い作品を読み、通説について学びを深める。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：大正：様々な流派の確立と文学の商業化** 授業内容：明治の終りから大正期にかけて発生した様々な流派と代表的な作品について学ぶ。また、大正期における文学の商業化について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。

11回	**授業テーマ：昭和①(戦前～戦中)：戦争と文学** 授業内容：昭和期の特に戦前・戦中における時代背景をふまえ、代表的な作品について学ぶ。また、戦争と文学の関係性について、学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：昭和②(戦後)：敗戦経験と「私」の再定義** 授業内容：敗戦以後の社会の変化について把握した上で、当時の人々における「私」の在り方にどのような変化があったのか学んでいく。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：昭和③(植民地文学)：様々な立場からの語り** 授業内容：様々な立場とはどのような立場か、資料に基づきながら学ぶ。様々な立場から語られる作品を通じて植民地文学への理解を深める。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：音声と映像の時代：舞台の設定と商業、小説の限界** 授業内容：昭和期のメディアの発達について概観する。映画やラジオドラマ、テレビドラマなどの登場によって変化した小説の立ち位置について理解を深める。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：戯曲とメタバース：肉体と主体** 授業内容：近代の戯曲についての概要を学ぶ。また、現代におけるメタバースについて学んだ上で、近代以降において肉体と主体という概念がどのように扱われてきたのか把握する。 事前学修 2.0hr：事前に指示されたテキストを通読する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。

古典概説

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

長谷川　哲夫（はせがわ　てつお）

▌授業の概要

もっとも親しまれている古典の一つである『百人一首』を取り上げて読んでいく。古典についての理解を深めることを目的とする。正月のカルタ取りでなじみ深い『百人一首』ではあるが、この作品を取り上げる理由は、単になじみ深いということだけではない。和歌という形式の文学が、日本の古典文学の核をなしており、その和歌の粋を集めたものが『百人一首』だからである。すなわち、『百人一首』を読めば古典文学の一番重要なところが見えてくるということである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①）

一般目標：『百人一首』の和歌の内容を知る。作者のエピソードから当時の社会や人々の生活を知り、その中で人々がどのように感じ、また考えていたのかを知る。そして、現代に生きる我々との相違点や共通点を認識し、昔の人々とのつながりを認識する。和歌の解釈を通じて、様々な視点から物を考えることの重要性を知る。

個別目標：『百人一首』および日本の古典文学の基礎的な知識を得ることができる。昔の人々の言葉による表現の豊かさを知ることができる。現在の自分の考え方や物の見方が絶対的なものではないことが理解できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

小テストと課題 50 %と期末試験 50 %の結果により評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を前提とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。小テストは、答案の返還によって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

有吉保ほか『百人一首（兼載筆）』新典社 影印校注古典叢書 2

▌参考書

長谷川哲夫『百人一首私注』（風間書房）。その他、適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業内容の概要。『百人一首』についての概説。 事前学修 2.0hr：講義概要とテキストの解題をよく読む。自分で分からない点をチェックし、テキストに傍線を引く。 事後学修 2.0hr：各自で課題を考え、調査を進め、ノートにまとめる。
2 回	**授業テーマ：奈良時代以前の和歌（1）** 授業内容：天智天皇・持統天皇の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：1 番・2 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
3 回	**授業テーマ：奈良時代以前の和歌（2）** 授業内容：人麿・赤人・猿丸大夫の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：3 番・4 番・5 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
4 回	**授業テーマ：奈良時代の和歌** 授業内容：家持・仲麿の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：6 番・7 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
5 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（1）** 授業内容：喜撰・小野小町・蝉丸の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：8 番・9 番・10 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェック、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
6 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（2）** 授業内容：篁・遍昭の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：11 番・12 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
7 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（3）** 授業内容：陽成院・河原左大臣・光孝天皇の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：13 番・14 番・15 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
8 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（4）** 授業内容：行平・業平・敏行の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：16 番・17 番・18 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
9 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（5）** 授業内容：伊勢・元良親王・素性の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：19 番・20 番・21 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
10 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（6）** 授業内容：康秀・千里・菅家の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：22 番・23 番・24 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
11 回	**授業テーマ：平安時代の和歌（7）** 授業内容：三条右大臣・貞信公・兼輔の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：25 番・26 番・27 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。

12回	**授業テーマ：平安時代の和歌(8)** 授業内容：宗于・躬恒・忠岑の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：28 番・29 番・30 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
13回	**授業テーマ：平安時代の和歌(9)** 授業内容：是則・列樹・友則の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：31 番・32 番・33 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
14回	**授業テーマ：平安時代の和歌(10)** 授業内容：興風・貫之・深養父の歌を取り上げ、作者や歌の内容について解説する。 事前学修 2.0hr：34 番・35 番・36 番の歌の作者・出典・参考の項を読み、分からない点をチェックし、その箇所に傍線を引く。 事後学修 2.0hr：板書ノートやプリントをもう一度読みなおして、重要な箇所に印を付ける。各自の課題の調査とノート整理。
15回	**授業テーマ：『百人一首』についてのまとめ** 授業内容：これまで取り上げてきた和歌の特徴をまとめ、撰者の藤原定家の美意識を探る。それと同時に、長い年月を経てもその魅力を失わない理由を掘り下げて考えてみる。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容の不明な点をまとめ、ノートに箇条書きに書き出しておく。 事後学修 3.0hr：板書内容をノートにまとめる。各自の課題内容をノートに書いてまとめる。

古典演習

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

長谷川　哲夫（はせがわ　てつお）

▌授業の概要

日本の古典に関する知識を、自分の力で調べ、またさらに考えることで、深め、確実なものとすることを目的とする。作品は『百人一首』を取り上げる。本授業では、受講者に『百人一首』の歌や作者について詳しく調べてもらい、それを発表してもらう。自分で調査することにより、また質疑応答を通じて、作品についての理解も深まり、問題点や不明な点も見えてくる。その問題点や不明な点について、どのように対処していくかが肝腎だと考える。それを本授業で学んでほしいと思う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：『百人一首』の和歌の内容や作者について、自分の力で調査し、整理した上で、調査結果を資料としてまとめ、それを人に伝える。

個別目標：書籍やインターネットを使いながら、課題を調査することができる。調査内容を整理してまとめることができる。その過程で問題点を見つけ、解決方法を考え、解決できる。発表資料を作成し、自分の考えを発表という形で人に伝えることができる。質問や意見に的確に対応できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

発表内容（資料のまとめ方、問題点の見つけ方やそれへの対処の仕方、人に自分の考えをうまく伝えられているか、質問にうまく対応できているか等）80 %。レポート（発表後の取り組み方を中心に見る）10 %。その他、自分の発表以外での授業への取り組み方 10 %。5 分の 4 以上の出席を前提とする。

▌フィードバック方法

発表については、必ず発表後に重要なポイントを指摘する。再調査してもらう場合もある。課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （『百人一首』の和歌について調査し、まとめ、発表する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

有吉保ほか『百人一首（兼載筆）』新典社 影印校注古典叢書 2

▌参考書

長谷川哲夫『百人一首私注』（風間書房）。その他、適宜紹介していく。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

『百人一首』の和歌について理解を深め、その魅力を人に伝える。

授業内容

最初に、授業の説明（評価方法・受講上の注意等）。次に、発表の分担の決定。以下、順番に発表。一回の授業で、3 人から 4 人の発表になるかと思う。活発な質疑応答を期待している。そして、その発表を踏まえた上で、最後に自分の分担箇所をレポートとしてまとめ、提出してもらう。

事前学修

調査や資料の作成は、発表時までに準備してくる。また、自分の発表以外でも積極的に授業に参加できるように、テキストや授業時に紹介する参考書をよく読んで予習する。

事後学修

授業で配布されたプリントをもう一度読み、不明な点はないかチェックする。不明な点があれば、遠慮なく、教員に質問する。一つでも分かることを増やしていくことが、内容への興味に結びつく。

漢文学概論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

橘　和久（たちばな　かずひさ）

▌授業の概要

国語科教員を目指す学生を対象に、教員採用試験で出題される漢文の問題を解いたり、実際に教壇に立って漢文を教えたりするのに必要な知識を身につけることを目的とする。近年、漢文を専門とする国語科教員の数が減少傾向にあり、高校時代に漢文の授業をほとんど受けられなかった者も多くいることが予想される都合上、本講座では漢文訓読法の復習から始め、その後に漢文を読むにあたって必要な重要句法を学んでいく。

毎回の講義では、重要句法の解説をするとともに、その句法についての問題演習や読解演習を行う。更に、復習の為の小テストを課すことで、学習事項の定着を図っていく。本講義を受講する学生諸君には、講義内容の復習に十分な時間をかけてもらいたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①）

一般目標：漢文の読解に必要な基礎知識を身につけるとともに、短めの漢文の文章を読解できるようになる。その上で、中国の文章が日本においてどのように受容され、読み継がれてきたかについて学ぶ。

個別目標：①漢文を読解する上で必要な重要句法についての知識を身につける。
②句法の知識を用いて、訓点の付された文を正確に書き下せるようになる。
③句法の知識を用いて、訓点の付された文を正確に口語訳できるようになる。
④辞書や口語訳などを参照しつつ、自力で短めの漢文の文章を読解できるようになる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

期末試験 70%、小テスト 20%、授業態度・参加姿勢 10%の割合で判断する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、それに満たない場合は減点とする。

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内でプリントを配布する。

▌参考書

毎回漢和辞典を持参のこと。紙の辞書であることが望ましいが、電子辞書やアプリ版のものでも構わない。インターネット上で見られる無料の辞書については、信頼性に欠ける面があるので推奨しない。また、高校時代に使っていた漢文句法の解説書がまだ家にあれば、持ってくることをお勧めする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス（漢文訓読の方法の確認）** 授業内容：訓点に従って漢文を読み、書き下す方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業の概要を押さえておく。 事後学修 2.0hr：ガイダンスの内容を確認しておく。
2 回	**授業テーマ：再読文字** 授業内容：再読文字は特殊な読み方をするので、まずはどう読めばよいかを確認する。その上で、再読文字の書き下し及び口語訳の仕方を学び、再読文字を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
3 回	**授業テーマ：否定** 授業内容：否定を表す字や特殊な否定の表現について確認し、書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。その上で、否定表現を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
4 回	**授業テーマ：使役** 授業内容：使役について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、使役表現を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
5 回	**授業テーマ：受身** 授業内容：受身について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、受身表現を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
6 回	**授業テーマ：疑問①** 授業内容：疑問について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、疑問表現を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
7 回	**授業テーマ：疑問②** 授業内容：6 回では扱いきれなかった疑問の表現について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
8 回	**授業テーマ：反語①** 授業内容：反語について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、反語表現を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
9 回	**授業テーマ：反語②** 授業内容：8 回では扱いきれなかった反語の表現について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。

10回	**授業テーマ：詠嘆(疑問・反語まとめ)** 授業内容：反語について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。また、疑問と反語についてもあわせて確認する。さらに、文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
11回	**授業テーマ：その他の句法①** 授業内容：10 回までに扱いきれなかった句法について、その概要と書き下し及び口語訳の仕方を学ぶ。さらに、それらの句法を含む文章を読んでみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：その他の句法②** 授業内容：11 回の続き。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
13回	**授業テーマ：句法のまとめ①** 授業内容：今まで習ってきた句法について再確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
14回	**授業テーマ：句法のまとめ②** 授業内容：今まで習ってきた句法について再確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
15回	**授業テーマ：句法のまとめ③** 授業内容：句法の総まとめを行う。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を総復習する。

漢文学講義

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

橘　和久（たちばな　かずひさ）

▌授業の概要

国語科教員を目指す学生を対象に、教員採用試験で出題される漢文の問題を解いたり、実際に教壇に立って漢文を教えたりするのに必要な知識を身につけることを目的とする。本講座では、「漢文学概論」で扱った重要句法のより一層の定着を図るとともに、将来漢文を教える際に覚えておくと便利な知識についても適宜紹介していく。

毎回の講義では、重要句法の確認をするとともに、その句法が用いられた文章の読解を行う。更に、復習の為の小テストを課すことで、学習事項の定着を図っていく。本講義を受講する学生諸君には、講義内容の復習に十分な時間をかけてもらいたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ①）

一般目標：漢文の読解に必要な基礎知識を身につけるとともに、短めの漢文の文章を読解できるようになる。その上で、中国の文章が日本にどれほどの影響を与えたかを学ぶ。

個別目標：①漢文を読解する上で必要な重要句法やその他の知識を身につける。
②句法の知識を用いて、訓点の付された文を正確に書き下せるようになる。
③句法の知識を用いて、訓点の付された文を正確に口語訳できるようになる。
④辞書などを参照しつつ、自力で短めの漢文の文章を読解できるようになる。

▌履修条件

重要な句法はある程度理解していることを前提に講義をする都合上、「漢文学概論」を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

期末試験 70%、小テスト 20%、授業態度・参加姿勢 10%の割合で判断する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、それに満たない場合は減点とする。

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内でプリントを配布する。

▌参考書

毎回漢和辞典を持参のこと。紙の辞書であることが望ましいが、電子辞書やアプリ版のものでも構わない。インターネット上で見られる無料の辞書については、信頼性に欠ける面があるので推奨しない。また、高校時代に使っていた漢文句法の解説書がまだ家にあれば、持ってくることをお勧めする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：重要句法の確認①（置き字）** 授業内容：置き字の概要について確認する。また、置き字を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：授業の概要を押さえておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
2 回	**授業テーマ：重要句法の確認②（再読文字）** 授業内容：再読文字の概要について確認する。また、再読文字を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
3 回	**授業テーマ：重要句法の確認③（部分否定）** 授業内容：部分否定の概要について確認する。また、部分否定を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
4 回	**授業テーマ：重要句法の確認④（二重否定）** 授業内容：二重否定の概要について確認する。また、二重否定を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
5 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑤（疑問その 1）** 授業内容：疑問の概要について確認する。また、疑問表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
6 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑥（疑問その 2）** 授業内容：6 回で扱いきれなかった疑問表現について確認し、さらに文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
7 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑦（反語その 1）** 授業内容：反語の概要について確認する。また、反語表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
8 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑧（反語その 2）** 授業内容：7 回で扱いきれなかった反語表現について確認し、さらに文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
9 回	**授業テーマ：重要句法の確認⑨（使役）** 授業内容：使役の概要について確認する。また、使役表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。

10回	**授業テーマ：重要句法の確認⑩(受身)** 授業内容：受身の概要について確認する。また、受身表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
11回	**授業テーマ：重要句法の確認⑪(仮定・比較・比況)** 授業内容：仮定・比較・比況の概要について確認する。また、それらの表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：重要句法の確認⑫(限定・累加・抑揚)** 授業内容：限定・累加・抑揚の概要について確認する。また、それらの表現を含む文章を読む。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
13回	**授業テーマ：句法の知識を活かして文章を読む①** 授業内容：今まで習った句法の知識を生かして文章を読んでいく。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
14回	**授業テーマ：句法の知識を活かして文章を読む②** 授業内容：14 回と同様、今まで習った句法の知識を生かして文章を読んでいく 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：今までの学修の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を総復習する。

漢文学演習Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

橘　和久（たちばな　かずひさ）

▌授業の概要

国語科教員を目指す学生を対象に、教員採用試験で出題される漢文の問題を解いたり、実際に教壇に立って漢文を教えたりするのに必要な知識や読解力を身につけることを目的とする。本講座では、「漢文学概論」や「漢文学講義」で扱った句法の知識を復習するとともに、教科書などによく出てくる文章や詩を読み解いていく。また、漢文を教える上で役に立つ知識についても適宜紹介する。

毎回の講義では、句法の確認をしつつ、教科書によく出てくる文章を分野ごとに読み進めていく。更に、復習の為の小テストを課すことで、学習事項の定着を図る。学生諸君には復習に十分な時間をかけてもらいたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：今までに学んだ句法の知識を用いて、高校の教科書に掲載されることの多い教材（有名な文章や詩など）を読み解けるようになる。また、ただ内容を現代語訳したり書き下したりできるようになるだけでなく、その教材にまつわる背景知識や後世への影響なども学び、見識を広げる。

個別目標：①漢文を読解する上で必要な重要句法を復習するとともに、漢文を教える上で必要な知識を身につける。
②訓点の付された文を素早くかつ正確に書き下せるようになる。
③訓点の付された文を素早くかつ正確に口語訳できるようになる。
④辞書などを用いつつ、習った知識を活かして文章を読解することができるようになる。

▌履修条件

「漢文学概論」及び「漢文学講義」を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

期末試験 70%、小テスト 20%、授業態度・参加姿勢 10%の割合で判断する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、それに満たない場合は減点とする。

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内でプリントを配布する。

▌参考書

毎回漢和辞典を持参のこと。紙の辞書であることが望ましいが、電子辞書やアプリ版のものでも構わない。インターネット上で見られる無料の辞書については、信頼性に欠ける面があるので推奨しない。また、高校時代に使っていた漢文句法の解説書がまだ家にあれば、持ってくることをお勧めする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：故事成語①** 授業内容：「先ず隗より始めよ」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：授業の概要を把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
2回	**授業テーマ：故事成語②** 授業内容：「塞翁が馬」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
3回	**授業テーマ：故事成語③** 授業内容：「鶏鳴狗盗」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
4回	**授業テーマ：思想(儒家)①** 授業内容：『論語』のいくつかの箇所を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
5回	**授業テーマ：思想(儒家)②** 授業内容：前回同様、『論語』のいくつかの箇所を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
6回	**授業テーマ：思想(道家)** 授業内容：『荘子』の「尾を塗中に曳く」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：思想(法家)** 授業内容：『韓非子』の「侵官の害」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
8回	**授業テーマ：史話・逸話①** 授業内容：『春秋左氏伝』の「病膏肓に入る」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
9回	**授業テーマ：史話・逸話②** 授業内容：『先哲叢談』の一節を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。

10回	**授業テーマ：史話・逸話③** 授業内容：『十八史略』の「死せる孔明生ける仲達を走らす」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
11回	**授業テーマ：史話・逸話④** 授業内容：『後漢書』の「糟糠の妻」を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：漢詩①** 授業内容：漢詩の概要と読み方について確認し、実際に読解する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
13回	**授業テーマ：漢詩②** 授業内容：12 回と同様、漢詩の概要と読み方について確認し、実際に読解する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
14回	**授業テーマ：中国史の概要（三国時代まで）** 授業内容：中国史の大まかな流れについて確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：総まとめを行う。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた復習をする。 事後学修 2.5hr：授業内容の総復習をする。

漢文学演習Ⅱ

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

橘　和久（たちばな　かずひさ）

▌授業の概要

漢文をただ正確に訳すだけであれば、句法や漢字についての知識があれば何とかなる。しかし、国語科教員を目指す者は、より深い読解ができるようになる必要があるだろう。そして、そうなる為には、漢文についての背景知識が必要不可欠である。

本講義では漢文をより深く正確に読み解くことができるようになることを目標に、問題演習及び解説を行う。それと並行して、背景知識の確認をしていく。教材については、「漢文学演習Ⅰ」と同じように、高校の教科書などによく採用される文章を中心に扱う。最終的には、易しめのセンター試験過去問も教材にする予定である。また、適宜句法の復習を行うとともに、小テストなども課していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：国語科教員としてふさわしい力量をつけるために、漢文の内容を深くかつ正確に読み解くことができるようになる。

個別目標：①漢文を読解する上で必要な背景知識を身につける。
②訓点の付された文を素早くかつ正確に書き下せるようになる。 また、ヒントをもとに白文を書き下せるようになる。
③訓点の付された文を素早くかつ正確に口語訳できるようになる。 また、ヒントをもとに白文を口語訳できるようになる。
④習った知識を活かして、難しめの文章を深くかつ正確に読み解くことができるようになる。

▌履修条件

「漢文学演習Ⅰ」を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

期末試験 70%、小テスト・授業態度・参加姿勢など 30%の割合で判断する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、それに満たない場合は減点とする。

▌フィードバック方法

小テストのフィードバックは、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内でプリントを配布する。

▌参考書

毎回漢和辞典を持参のこと。紙の辞書であることが望ましいが、電子辞書やアプリ版のものでも構わない。インターネット上で見られる無料の辞書については、信頼性に欠ける面があるので推奨しない。また、高校時代に使っていた漢文句法の解説書がまだ家にあれば、持ってくることをお勧めする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（教員採用試験の問題を解いてみよう）** 授業内容：東京都の教員採用試験で出題された文章を読み、問題を解いてみる（なお、問題については実際の試験で出たものを一部更してある）。 事前学修 2.0hr：授業の概要を把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
2回	**授業テーマ：漢文読解演習①（「完璧」）** 授業内容：「完璧」という言葉のもとになった文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
3回	**授業テーマ：漢文読解演習②（「渾池之会」）** 授業内容：「渾池之会」という文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
4回	**授業テーマ：漢文読解演習③（「刎頸之交」その 1）** 授業内容：「刎頸の交わり」という言葉のもとになった文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
5回	**授業テーマ：漢文読解演習④（「刎頸之交」その 2）** 授業内容：第 4 回の続きを読み、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
6回	**授業テーマ：漢文読解演習⑤（「三横」その 1）** 授業内容：『世説新語』の中の「三横」という文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：漢文読解演習⑥（「三横」その 2）** 授業内容：第 6 回の続きを読み、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
8回	**授業テーマ：漢文読解演習⑦（「不顧後患」）** 授業内容：『説苑』の中の「不顧後患」という文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
9回	**授業テーマ：漢文読解演習⑧（「賢母辞拾遺」その 1）** 授業内容：陶宗儀の「賢母辞拾遺」という文章を読解し、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
10回	**授業テーマ：漢文読解演習⑨（「賢母辞拾遺」その 2）** 授業内容：第 9 回の続きを読み、そこで使われている句法を確認する。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。

11回	**授業テーマ：漢文問題演習①** 授業内容：今まで学修した知識を生かして、漢文の問題を解いてみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：漢文問題演習②** 授業内容：今まで学修した知識を生かして、漢文の問題を解いてみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
13回	**授業テーマ：漢文問題演習③** 授業内容：今まで学修した知識を生かして、漢文の問題を解いてみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
14回	**授業テーマ：漢文問題演習④** 授業内容：今まで学修した知識を生かして、漢文の問題を解いてみる。 事前学修 2.0hr：小テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習をする。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：総まとめを行う。 事前学修 2.0hr：テストに向けた学習をする。 事後学修 2.0hr：授業内容を総復習する。

日本語教育概論

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

木山　三佳（きやま　みか）

▌授業の概要

ほぼ初めて日本語教育について学ぶであろう 1 年生に対して日本語教育の概略を紹介する。日本語教育の参照枠、日本語教師【養成】に求められる資質・能力、などを読むことで日本語教育の言語教育観や身につけるべき知識・技能・態度を理解する。また、日本語教育で教える領域にはどんなものがあるか、教え方の基礎、背景にある理論など、具体例に触れて考えることで探究的に学ぶ。扱う領域は、コースデザイン、音声、文字・語彙、文法、聴解、会話、読解、作文、文法指導、日本事情、評価、授業改善である。それぞれの項目について、発展的に学習できる科目を紹介する。事前学修として、用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。事後学修として授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
【含む必須の教育内容 7,14,16,20,21,23,26,30,34,39,40,41,42,44,46,47】

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：【本授業のテーマ】日本語教育を初めて学ぶ人に向けた入門的な学習をする。さらに、各領域を詳しく学ぶ科目への興味・関心を醸成する。
【一般目標】日本語教育の言語観、日本語教育人材の持つべき資質・能力、日本語教育プログラムについての基本的な枠組みの基礎知識を身に付ける。

個別目標：【個別目標】

1. 国内外の日本語教育の現状を踏まえたうえで、日本語教育の言語教育観を説明できる。
2. 日本語教育人材に求められる資質・能力、役割、活動分野、専門性について説明できる。
3. 目的・対象によって必要となる日本語教育プログラムの構成要素を選択できる。
4. 他者と協同してタスクを達成することができる。
5. 必要な学習の計画実行、自己の学びの振り返りを繰り返すことで自立的に学習することができる。

▌履修条件

（1）課題提出の期限を守る。
（2）積極的に授業に参加する。

▌評価基準・方法

毎回の授業内で指定する提出物・課題 50 %、15 回の振り返りレポート 10%、定期試験 40 %で評価する。90%以上の成績が S 評価、89 %から 80 %が A 評価、79 %から 70 %が B 評価、69%から 60 %が C 評価で単位修得とする。59 %以下は D 評価、出席不良（5 分の 4 に満たない場合）は E 評価とし、単位修得不可とする。

▌フィードバック方法

対面及び manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レジュメを共有する）

▌教科書

レジュメを manaba のコースコンテンツ及び教室で配布する。

▌参考書

国際交流基金（2011）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 3　文字・語彙を教える』ひつじ書房
国際交流基金（2010）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 4　文法を教える』ひつじ書房
国際交流基金（2008）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 5　聞くことを教える』ひつじ書房
国際交流基金（2007）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 6　話すことを教える』ひつじ書房
国際交流基金（2006）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 7　読むことを教える』ひつじ書房
国際交流基金（2010）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 8　書くことを教える』ひつじ書房
国際交流基金（2007）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 9　初級を教える』ひつじ書房
国際交流基金（2011）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 10　中・上級を教える』ひつじ書房
国際交流基金（2010）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 11　日本事情・日本文化を教える』ひつじ書房
国際交流基金（2011）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 12　学習を評価する』ひつじ書房
国際交流基金（2010）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 13　教え方を改善する』ひつじ書房
国際交流基金（2008）『国際交流基金日本語教授法シリーズ 14　教材開発』ひつじ書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、登録日本語教員養成課程コアカリキュラム、国内の日本語教育の実態、日本語教育の参照枠** 授業内容：授業の目的、到達目標、成績評価の方法等の説明及び登録日本語教員養成課程コアカリキュラム、日本語教育の参照枠 p.1 ― 21 についての学習をする。日本語教育プログラムの中での本科目の位置づけの確認を行う。【含む必須の教育内容番号 20，21】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
2 回	**授業テーマ：コースデザイン** 授業内容：学習者の状況や生活で求められる技能などを知り、学習者がより深く社会に参加できるように、学習者の状況を把握し、目標を定め、適切な教え方を選べるように、コースデザインの方法やシラバスの種類について講義で学ぶ。【含む必須の教育内容番号 21，23】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
3 回	**授業テーマ：音声教育** 授業内容：日本語教育の参照枠 p.59 を読み、音声能力の can-do を講義を通して学習する。日本語の音声の特徴について学び、ミニマルペアによる単音を聞き取る練習などの基礎的な体験し実践する。【含む必須の教育内容番号 40】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。

4回	**授業テーマ：文字・語彙・意味教育** 授業内容：1〜3 回目の内容の小テストを行う。日本語の表記・文字の特徴、語彙・意味体系について、基礎的な知識を講義を通して学習する。日本語教育の参照枠 p.57・p.60 を読み、語彙・正書法・読字能力の can-do を講義を通して学習する。日本語教育の参照枠 p.66 ー 70 を読み、学習者の生活で文字、特に漢字に関する知識や技能は必要となるが、学習者によって必要となる範囲は異なることを理解した上で、基本的な文字・語彙指導の方法を体験を通して学習する。【含む必須の教育内容番号 41,42，44】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
5回	**授業テーマ：学習者の熟達レベルと文型** 授業内容：日本語教育の参照枠 p.11 ー 23、p.58 を読み、言語活動別の熟達度、文法能力の can-do について講義を通して学習する。習熟度が異なる日本語学習者の産出した文を文法の観点から分析し、文法能力の can-do を使って、学習者の習熟度の推測をする。【含む必須の教育内容番号 23，39】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
6回	**授業テーマ：聴解教育** 授業内容：日本語教育の参照枠 p.24 - 27、p.51 を読み、聴解能力の can-do を講義を通して学習する。聴解の指導法を体験し、聴解プロセスの基本について講義を通して学習し、聴解活動のタスクを体験し、実生活で行う聴解活動には場面や目的があり、授業活動でも場面や目的をもって聞かせる事が大切であることを学ぶ。【含む必須の教育内容番号 46】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
7回	**授業テーマ：会話教育** 授業内容：4〜6 回目の内容の小テストを行う。日本語教育の参照枠 p.31 - 44、p.49-50、p.52-53 を読み、話す力の can-do を講義を通して学習する。コミュニケーション能力の基本について学習する。会話のタスクを体験し、実生活で行う話す活動には場面や目的・情報差・応答があり、授業活動でも場面や目的・情報差・応答を取り入れる事が大切であることを学ぶ。【含む必須の教育内容番号 34，47】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
8回	**授業テーマ：読解教育** 授業内容：読解は読み手が推論やストラテジーを用いて能動的に表象を作りあげるプロセスであることを講義を通して学習する。日本語教育の参照枠 p.28 - 30、p.51 を読み、読む力の can-do を講義を通して学習する。読解のタスクを体験し、読む目的を明らかにすることや、ストラテジーを使うことを学ぶ。【含む必須の教育内容番号 14，46】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
9回	**授業テーマ：作文教育** 授業内容：文章産出モデルの基本について講義を通して学習する。日本語教育の参照枠 p.45 - 50、p.54 を読み、学習者の実生活で必要となる書く力と書く力の can-do を講義を通して学習する。作文のタスクを体験し、実生活に近づけるために、読み手を想定し場面に合わせたテキストタイプを選択させることが重要であること、ピアライティングのように技能統合型の授業ができることを学ぶ。【含む必須の教育内容番号 47】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
10回	**授業テーマ：文法教育１　文法指導の基本** 授業内容：7〜9 回目の内容の小テストを行う。日本語教育の参照枠 p.22、p.58 を読み、文型の記述がないことを確認し、文型積み上げ式の教育ではないことを学ぶ。また、日本語教育の参照枠 p.75 を読み、多様な言語背景を持つ学習者を社会的存在として捉える行動中心アプローチにおける言語教育の目標を講義をとおして学習する。第二言語習得のメカニズムから、文法習得には、場面情報や意味を巡るやり取りができる機会があることが重要であることを講義を通して学習する。【含む必須の教育内容番号 16】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
11回	**授業テーマ：文法指導２　B1〜C2 レベルの文法指導** 授業内容：学習者の熟達レベル B1〜C2 レベルにおいては、幅広い内容について扱い、細やかな意図を汲み取ったり伝達したりすることを目指すことを講義を通して理解する。日本語教育の参照枠 p.61 - 65 を読み、より深く社会に参加するために必要となる事柄を教えることを学ぶ。さらに、受容・理解能力、言語運用能力、社会言語能力、言語運用能力、機能的能力などを同時に発揮する技能統合型授業の展開を学習する。【含む必須の教育内容番号 21,46,47】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
12回	**授業テーマ：日本事情** 授業内容：学習者が深く日本社会に参加するために必要な知識の内容と指導の実例を講義を通して学習する。日本語学習動機を知るために世界での日本語教育の状況、特に、日本および日本文化についてどのように紹介されているかを資料から学ぶ。日本文化の紹介に当たって多様な文化を尊重する態度が必要であることを理解する。【含む必須の教育内容番号 7,20】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
13回	**授業テーマ：学習の評価** 授業内容：10〜12 回目の内容の小テストを行う。日本語教育の参照枠 p.72 - 89 を読み、評価の 3 つの理念を学び、「日本語教師【養成】に求められる資質・能力」で挙げられている学習者の学ぶ力を促進する技能としての学習者の能力を適切に評価し指導する能力について講義を通して学習する。学習の評価を通して教授活動改善を行う方法について学習する。【含む必須の教育内容番号 20,26】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
14回	**授業テーマ：授業改善** 授業内容：自律的に成長するために、客観的に授業を分析する視点と授業分析の方法について講義を通して学習する。また、日本語教育プログラムで行われる授業改善の方法や教師の自己点検能力について講義を通して学習する。【含む必須の教育内容番号 21,30】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。
15回	**授業テーマ：授業全体の振り返り** 授業内容：13〜14 回目の内容の小テストを行う。授業全体の振り返りをする。【含む必須の教育内容番号 7,14,16，20,21,23,26,30,34,39,40,41,42,44,46,47】 事前学修 2.0hr：用語調べのワークシートを記入し manaba で提出する。 事後学修 2.0hr：授業の内容を A4 1 枚以内にまとめて manaba で提出する。

日本語教育演習

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

日本語教育に関する基礎的な知識を身につけると共に、実際に教壇に立つことを想定した活動の練習も行う。
日本語を一言語として(外国語として)捉え、観察し、そこに見えるルールをより簡潔に学習者に提示するために、基礎的な知識を身につけ、日本語教育に求められる知識の基礎的な活動へ応用できる素養を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：日本語教育を概観し、日本語教育とはどのようなものかが理解できる。
　　日本語学校で行われる授業で求められる知識が身につく。
　　日本語教育がこれから社会でどのような役割を担うことができるかについて考えられるようになる。
個別目標：①　日本語教育の学習者の多様性について具体例を挙げ説明することができる。
　　②　日本語教育における教室活動の実例を具体的に挙げることができる。
　　③　日本語教育が果たす役割を、学習者のタイプ別に説明することができる。

▌履修条件

教室活動の練習などの活動への参加も必要とする。
教材作成の活動および作成した教材の提出を必須とする。

▌評価基準・方法

教室活動、発表、理解度確認テスト(50%)
試験(50%)

▌フィードバック方法

活動については活動後に、各自の活動に関する記録として報告レポートを作成する。
レポートへのコメント、解説をもってフィードバックを行なう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表時にパワーポイントなどを利用する）

▌教科書

なし。適宜最新情報を含めたプリントを用いる。

▌参考書

『言語教育プログラムを可視化する』松下達彦、札野寛子　くろしお出版　ISBN　978-4-86746-027-6
『日本語教育機関におけるコースデザイン』日本語教育学会編　凡人社
『日本語教師のためのテスト作成マニュアル』伊東祐郎　ISBN　9784757414716
『日本語教育能力検定試験に合格するための教授法 37』 小林ミナ　アルク 他、授業の進度に合わせ紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語教育のいろいろ** 授業内容：日本語教育は、義務教育の科目とは異なり、学習者が多様である。年齢、母語などが異なるだけでなく、学習の目的も多様である。さらに、世界各地で教育が行われており、学習環境も条件も定まったものがない。 外国語、第二言語という言葉をキーワードにして日本語教育を概観する 事前学修 2.0hr：履修スタと考えられる科目、FPS 等で学んだ用語を用いるので必要ならば　その授業で使ったノートなどを用意すること。 事後学修 2.0hr：学習者の多様性についてレポートにまとめること。
2回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(1)品詞** 授業内容：品詞の定義に関して、名称とは異なり品詞の区分わけが正確に理解できることを目指す 活用形については、用法による分類ではなく形態による分類があることを理解する 事前学修 2.0hr：日本語能力試験が何を問うているかを分析すること。 事後学修 2.0hr：品詞と学習者の誤用について、論文等を資料として例を集め復習をすること。
3回	**授業テーマ：外国語教育の変遷** 授業内容：外国語教育は文字を中心にした読み書きの教育から音声を中心にした話す聴くを加えた四技能へと変化しているように見える部分があるが、この変化が社会の変化と密接に結びついていることを理解する 事前学修 2.0hr：「ラテン語」とはどのような使い方をされた言語か調べること。 事後学修 2.0hr：外国語教育に影響を与えたと考えられる社会変化について具体例をまとめ、書き留めておくこと。
4回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(2)活用のルール** 授業内容：活用のある語について、その活用を形態的な視点から説明する 活用のある品詞を理解し、さらに日本語教育と国語教育における説明の視点の違いを理解する 事前学修 2.0hr：英語の動詞の過去形、形容詞で過去の事実を述べる文についてルールをまとめること。 事後学修 2.0hr：日本語の動詞を活用を基に３つのグループに分け、まとめること。
5回	**授業テーマ：教室活動(1)活用の変換練習** 授業内容：教室活動として、活用の理解から実際に文を生成する際の適切な活用形の適応ができるよう促す練習として、 パターンプラクティスを紹介する 事前学修 2.0hr：学習者に示すための活用ルールを図示して持参すること。 事後学修 2.0hr：オーディオ・リンガルメソッドについてノートにまとめること。
6回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(3)肯定と否定** 授業内容：日本語の音の役割について理解する。「行かない」という表現を音声化する際に、否定としての意味を表す場合とそうでない場合の違いについて観察する 否定の射程についても考察する 事前学修 2.0hr：パターン・プラクティスについて具体例を発表できるようノート等にまとめること。 事後学修 2.0hr：国語教育と日本語教育、それぞれの用語について発表できるようノート等にまとめること。
7回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(4)テンス・アスペクト** 授業内容：テンス、アスペクトという用語の理解と、「さあ、買った買った」「あ、あったあった」「窓が開いている」「窓を開けている」などの表現があらわす意味の理解に関する分析を行う。 事前学修 2.0hr：「髪を結んでいる」が持つ複数の意味を分析し、ノート等にまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：同一の形態素が示す異なるアスペクトを、表現ごとにまとめ分析的に図示すること。

8回	**授業テーマ：教室活動(2)会話例づくり** 授業内容：学習目的を示すための会話例、類似した表現の違いを理解するための会話例の 2 つに絞り、教材に用いられている会話例を分析する 分析結果を踏まえて、例文づくりを行う 事前学修 2.0hr：初級教材の会話例を集め、音声教材として使える形のものを作成すること。 事後学修 2.0hr：「正確さ」を求める会話例と「自然さ」を求める会話例の違いをまとめること。
9回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(5)ヴォイス** 授業内容：ヴォイスという用語の理解と、文中の視点、中国語の「流水文」などの考え方を取り上げながら、視点の統一について考える 日本語におけるヴォイスの用法について知る 事前学修 2.0hr：「受け身」が用いられているスクリプト等の例を集めること。 事後学修 2.0hr：受け身文の形態的な分類をレポートとして提出すること。
10回	**授業テーマ：教室活動(3)完成ドリル** 授業内容：パターンプラクティスの一つではあるが、「唯一の正解」以外に、自由度の高い活動となり得る完成ドリルについて紹介し、理解をしたうえで、その活用方法を考える 事前学修 2.0hr：受け身文の練習問題として教材に掲載されているものをまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：「完成練習」の使い方についてまとめておくこと。
11回	**授業テーマ：日本語を客観的に見つめる(6)場面と機能** 授業内容：「いまから●●に行きます」が、「いまから子供を迎えに行きます」と言う場面が帰り際のあいさつの中では単なる予定を伝えただけになるのに対し、残業を頼まれた際に言えば断りの意味になることもある。このように場面と結びついた際の表現の意味機能について考える 事前学修 2.0hr：「すみません」がどのような機能を持つのかを取り上げた論文名を調べてリストを作成すること。 事後学修 2.0hr：機能シラバスをベースにした教材名のリストを作成すること。
12回	**授業テーマ：教室活動(4)ロールプレイ** 授業内容：教室活動としてロールプレイを紹介する。ロールプレイは、相手の発言が予測できないことを活用した練習であることを理解する インフォメーションギャップを活用した練習であることについて、シナリオプレイとの違いを用いて紹介する 事前学修 2.0hr：「依頼」という機能で用いられる表現の具体例をノート等にまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：教材で「依頼」を取り上げる場面としてどのようなものが多いかまとめること。
13回	**授業テーマ：語彙コントロールの功罪** 授業内容：語彙コントロールの役割の他、フォリナートーク、ティーチャートークなどをキーワードに、そこに内包される問題点についても理解する 機能を中心とした学習での語彙コントロールの難しさを理解する 事前学修 2.0hr：「依頼」でまとめた場面の会話例を自作し持参すること。 事後学修 2.0hr：自作した会話例を、初級レベルの教材修了と設定し、語彙を書き改めること。
14回	**授業テーマ：教室活動(5)テストの必要性** 授業内容：完成練習の問題作成と、解答(正答)の可能性を考える 答えが 1 つではなく複数ある問題の作成を行う 日本語教育におけるテストの役割について考え、テストづくりの必要性について理解する 事前学修 2.0hr：語彙コントロールの功罪について考えをまとめること。 事後学修 2.0hr：テストの役割についてレポートを作成すること。
15回	**授業テーマ：日本語教育ができることについて考える。** 授業内容：日本語教育は、海外においては日本語力の向上が目的とされることが多いが、日本国内においては日本語力の向上は手段で目的ではないこともある 日本語教育が果たす役割について考える 事前学修 2.0hr：外国語教育の社会的な活用について CEF-R について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：CEFR の社会的役割を考えながら、今後の日本語教育の活用方法に関するレポートを作成すること。

日本語教授法

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2026 年度入学生のみ履修可能

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

日本語教師の資質・能力と学習者を理解したうえで、日本語教育の分野で必要とされる教授法の知識を身につける基礎科目で、1 年生で履修する。適切な学習環境を設定し、学習目的、対象別の日本語教育を行うための指導方法を学び、コースデザイン、授業の組み立てを学ぶ。タスク作成を通じて実践的な指導内容を構築し、相互評価を通じて行動中心アプローチによる日本語教育への理解を深める。【必須の教育内容⑥⑳㉒㉓㉔㉕㉗㉙】
授業形式は講義とグループ活動を交える。
。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：【授業のテーマ】日本語教育の分野で必要とされる教授法の基礎知識を多角的に学びながら日本語教育の参照枠に基づいて、学習者のニーズに応じた授業設計の方法を身につける。初級学習者を想定し、教材選定やタスク作成を通して実践的な指導力を育成する。
日本語教育の分野で必要とされる教授法の基礎知識を身に付ける。

個別目標：1. 言語教育の目的と背景を比較し、日本語教育の特性と日本語教員に求められる資質・能力を説明できる。
2. 日本語教育の参照枠に基づき、Can-do 記述を活用した学習目標の設定とコースデザインの方法を説明できる。
3. 初級学習者の特性に応じた教材・教具の選定と教授法の特徴を理解し、適切な指導計画を判断することができる。
4. 言語活動を中心とした授業展開やタスクベースのアプローチを学び、実践的なタスクを作成することができる。
5. 中間言語、インターアクション、ティーチャートークなど教室内のやりとりに注目し、学習者に寄り添った対応力を説明できる。

▌履修条件

（1）課題提出の期限を守る。
（2）積極的に授業に参加する。

▌評価基準・方法

毎回の授業内で指定する提出課題 40%、定期試験 30%、クイズ 20%で評価する。15 回授業における学習の振り返り 10 %により評価する。

▌フィードバック方法

manaba と対面でフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （協働で学習する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料の閲覧、課題の提出等で PC を利用する。）

▌教科書

毎回資料を配布する。

▌参考書

国際交流基金(2006)『日本語教授法シリーズ１　日本語教師の役割・コースデザイン』
国際交流基金(2007)『日本語教授法シリーズ９　初級を教える』
近藤安月子・小森和子(編)(2012)『日本語教育事典』
来嶋洋美・八田直美・二瓶知子(2024)『Can - do で教える 課題遂行型の日本語教育』
森篤嗣(編)(2025)『改訂版超基礎・日本語教育』
文化庁文化審議会国語分科会「日本語教育の参照枠　報告」

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語教員の資質と能力** 授業内容：これまで受けてきた言語教育(国語教育、英語教育)の目的と内容をグループ活動で比較しながら、日本語を母語としない人に対して日本語を教えるとはどのようなことなのかを考察する。その過程を通して多様な背景をもつ学習者への配慮など日本語教員に求められる知識、技能、態度といった資質・能力について学習する。【必須の教育内容⑳】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
2回	**授業テーマ：日本語の試験と熟達度** 授業内容：第 1 回で学習した知識を確認するクイズを行う。日本語の試験に関する知識と、日本語能力を行動中心の視点で捉え、実生活での目的達成を基準に言語活動の熟達度を判断する方法をグループ活動を交えて学習する。【必須の教育内容⑥】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
3回	**授業テーマ：コースデザイン** 授業内容：第 2 回で学習した知識を確認するクイズを行う。学習者のニーズとレディネスを分析する調査方法を学んだうえで、初級学習者を想定して日本語教育の参照枠の言語能力記述文をベースとしたコース目標と評価方法を決め、何をどのような順番でどのように教えるのかを考えるバックワードデザインについてグループ活動を交えて学習する。【必須の教育内容㉓】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
4回	**授業テーマ：教材と教具** 授業内容：第 3 回で学習した知識を確認するクイズを行う。初級の授業で使われる教材・教具の特徴をグループ活動を通して理解したうえで、教科書の役割とコースの目標との関係において適切性を評価する。【必須の教育内容㉕】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
5回	**授業テーマ：外国語の教授法・指導法** 授業内容：第 4 回で学習した知識を確認するクイズを行う。これまで提唱されてきた外国語の教え方を概観する。さまざまな教授法の長所と短所をグループ活動を通して検討し、その背景にある言語学習観について学習する。【必須の教育内容㉔】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
6回	**授業テーマ：外国語の教授法・指導法の進展** 授業内容：第 5 回で学習した知識を確認するクイズを行う。日本語をどうやって教えるのかを考えるために、実社会の目的達成を意識したタスクを通して言語を使用する中で、学習者が自然に文法や語彙に注意を向けるよう促す指導法をグループ活動を交えて学習する。【必須の教育内容㉔】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。

7回	**授業テーマ：日本語学習に効果的な教室・言語習得環境** 授業内容：第 6 回で学習した知識を確認するクイズを行う。学習者の学習スタイルや学習に対するビリーフには個人差があることを理解し、学習者中心の教室づくりについて学ぶ。特に協働学習に注目し、その効果や実践方法をグループ活動を交えて学習する。【必須の教育内容㉒】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
8回	**授業テーマ：中間言語** 授業内容：第 7 回で学習した知識を確認するクイズを行う。学習者の発話をグループ活動で分析することを通して学習する。中間言語について誤りをどう捉えどう指導に活かすかを考える。【必須の教育内容㉙】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
9回	**授業テーマ：教室談話の特徴と教師の言語使用** 授業内容：第 8 回で学習した知識を確認するクイズを行う。日本語教員と学習者の教室内談話をグループ活動で比較したうえで、初級学習者を想定したティーチャートークについて学習する。【必須の教育内容㉔】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
10回	**授業テーマ：フィードバック** 授業内容：第 9 回で学習した知識を確認するクイズを行う。学習者の発話等を評価し、適切に対応する方法を考えられるようになるためにインターアクションや意味交渉など授業における教師のフィードバックについてグループ活動を交えて学習する。【必須の教育内容㉔】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
11回	**授業テーマ：文型ベースの授業の組み立て** 授業内容：第 10 回で学習した知識を確認するクイズを行う。文型をベースに積み上げていく授業展開と問題点についてグループ活動を交えて学習する。【必須の教育内容㉗】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
12回	**授業テーマ：タスクベースの授業の組み立て** 授業内容：第 11 回で学習した知識を確認するクイズを行う。行動中心アプローチをもとに、実際のコミュニケーションを重視したタスクベースの授業の組み立てについてグループ活動で文型ベースの授業目的、授業の展開と比較しながら学習する。【必須の教育内容㉗】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
13回	**授業テーマ：タスクの作成** 授業内容：第 12 回で学習した知識を確認するクイズを行う。タスク作成の手順を学習し、実際に作成する。【必須の教育内容㉕】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
14回	**授業テーマ：タスクの実践と相互評価** 授業内容：第 13 回で作成したタスクをルーブリックを使って相互に点検する。【必須の教育内容㉕】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。
15回	**授業テーマ：学習の振り返りとフィードバック** 授業内容：当該科目で学習した知識の振り返りを実施したあとフィードバックを受け、成長する教師について学習する。【必須の教育内容⑥⑳㉒㉓㉔㉕㉗㉙】 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる指定の用語の意味を調べて記述し、manaba から提出する。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り自分で考えたことを記述し、manaba から提出する。

日本語教材論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

日本語教育の教材・教具にかかわる基礎知識を理解し、教材分析、作成、開発に必要な能力を習得する。実在の教材を詳細に分析して学習者の特徴に適した教材を選定する。著作権に関する知識を学んだあと、想定する学習者のための教材を開発をする。近年、ICT を使った教育も広まっていることから ICT 教材の作成にも着手する。これらを通じて情報を集約して問題を整理し対応する力、自己省察力、他者と協働する力を身につける。当該科目は「日本語教員養成課程修了証明書」の交付条件の一科目である。日本語教師【養成】における必須の教育内容㉕教材分析・作成・開発、㉟日本語教育と ICT, ㊱著作権を含む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：日本語教員に必要な教材の知識を獲得するとともに、多様な学習者に適した教材を選択することができる。
著作権について十分に理解したうえで、自ら教材を開発することができる。
ICT 教育の知識を身に付け、学習者を取り巻く環境を考えた ICT 教材を開発することができる。

個別目標：(1) 多様な学習目的、学習効果を十分に引き出す教材を選択できる。
(2) 多様な学習者の特性、および学習目的を考え、言語運用能力を向上させるために必要な教材を開発することができる。
(3) 倫理的に配慮した教材を作成できる。
(4) 自分とは異なる背景をもつ履修者と協力し、目標実現に向かって協働して取り組むことができる。

▌履修条件

毎回、積極的に参加する。
教材開発・評価の授業回は必ず PC を持参する。
課題の締め切りを守る。
manaba からの連絡をきちんと確認する。
「日本語教授法」を履修済み、もしくは同等の知識を持っている。
「日本語教員養成課程修了証明書」の取得を目指している。

▌評価基準・方法

課題の完成度 50%、発表 20%、テスト 30%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワーク、ディスカッションがある。他にもマイクロティーチングなどで他者と協働する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （教材の検討・作成は、主として PC 環境下で実施する。manaba、respon も使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

近藤安月子小森和子(編)『研究社日本語教育事典』研究社
鈴木克明『教材設計マニュアル』北大路書房
深澤のぞみ・本田弘之『日本語を教えるための教材研究入門』くろしお出版
宮武 久佳・大塚 大『著作権ハンドブック :先生、勝手にコピーしちゃダメ』東京書籍
山内祐平編『デジタル教材の教育学』東京大学出版会

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の教科書** 授業内容：授業の概要と目的、学習の進め方、評価に関する説明を聞き、最終到達点を理解する。その後、日本語の教科書と他の科目の教科書の違いを学習する。 事前学修 2.0hr：これまでの外国語学習で使った教材をふりかえり 400 字程度にまとめる。 事後学修 2.0hr：本コース終了時に目標に到達した自分の姿を 400 字で記述する。
2 回	**授業テーマ：コースデザイン** 授業内容：コースデザインの中で教科書を位置付ける。教師と学習者のそれぞれの立場から教科書の役割を学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：教科書分析** 授業内容：教科書の分析方法を学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：教材分析の解釈、日本語教材の変遷と学習観** 授業内容：分析した教材を発表・比較しながら、日本語教材が前提としてきた学習観とその移り変わりを整理する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：著作権の基礎知識** 授業内容：教育現場における著作権に関する基本的な知識を学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：著作物の教育的利用** 授業内容：著作権侵害となる具体的事例を検討し、適切な教育的利用方法について学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：教材の企画** 授業内容：設定されたレベル、クラス状況に適した教材を作成するために、企画を立てる。作成した企画書を共有し、相互に点検する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

8回	**授業テーマ：教材の開発** 授業内容：企画書に沿って教材を作成する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
9回	**授業テーマ：作成教材に基づく授業設計** 授業内容：作成した教材を活用し、学習目標に即した授業の構成・展開を検討する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：作成教材の点検** 授業内容：作成した教材を用いてマイクロティーチングを行い、相互点検を行う。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：リライト教材** 授業内容：生教材を学習者に合わせてリライトする目的とその方法を学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：ICT を使った教材** 授業内容：ICT の教育的利用の変遷とそれに伴う学習観の変化を整理し、教材作成における ICT 活用について学習する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：ICT を使った教材の企画と開発** 授業内容：ICT を活用した教材の企画・開発に取り組む。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
14回	**授業テーマ：ICT を使った教材の共有と相互点検** 授業内容：作成した ICT 教材について相互点検を行い、印刷物教材との違いを整理する。 事前学修 2.0hr：事前資料を読んで専門用語を調べる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
15回	**授業テーマ：学習のまとめ** 授業内容：これまでに学習してきた教材に関する知識を確認する 事前学修 2.0hr：第 1 回目と今の自分を比較して 400 字程度で記述する。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

検定対策Ⅰ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

日本語教師【養成】における教育内容のうち、5 区分の「言語」⑭日本語の構造、(40) 日本語教育のための音韻・音声体系、(41)日本語教育のための文字と表記等を含む、日本語教育に必要な言語に関する知識を学ぶ。実際の現場にて活用できる力を獲得することを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：日本語そのものに関する知識を学習者に正確に伝えるために日本語を分析的に捉える視点・方法を理解し身につける。
　　日本語の音声や文字・表記等に関する知識を学習者に正確に伝えるために、日本語教育者として必要な知識を身につける。
個別目標：専門用語や日本語教育の基礎を理解し説明することができる。
　　日本語の言語の構造、音韻的特徴、文字体系について理解し説明ができる
　　日本語と他の言語(英語、韓国語、中国語)と比較しながら言語の構造、音韻的特徴、文字体系について違いが説明できる

▌履修条件

毎週課題にしっかり取り組むこと。

▌評価基準・方法

小テストおよび課題による評価）60%、学期試験 40%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題および試験のフィードバックは授業または manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （振り返りシート、反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計資料の確認等に使用。(エクセル、ワードが操作できるもの)）

▌教科書

初回授業で指示する。
適宜レジュメを配布する。

▌参考書

『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド　第 5 版』ヒューマンアカデミー著　翔栄社　ISBN978 － 4 － 7981 － 6719 － 0
『日本語教育よくわかる語彙』秋元美晴・押尾和美・丸山岳彦著　アルク　ISBN コード 978-4 － 7574-3338-0
『日本語教育よくわかる文法』藤原雅憲著　アルク　ISBN コード 978-４－ 7574-3094-5
『国語教師が知っておきたい日本語文法』山田敏弘著　くろしお出版　ISBN コード 978-4-87424-310-7

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語の文の構造** 授業内容：当該授業に関するガイダンスを行う。 日本語の文の構造、成り立ち、構文論等について学び、日本語を分析する視点をもつための準備を整える。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
2回	**授業テーマ：日本語教育のための日本語分析①** 授業内容：日本語教育における品詞の捉え方を確認したうえで、特に、用言について多角的な視点からその働きを分析する。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
3回	**授業テーマ：日本語教育のための日本語分析②** 授業内容：副詞や格助詞等について、多角的な視点からその働きを分析する。格関係について把握し、他者に説明ができるようにする。 取り立て助詞および取り立て文に関して文の構成を理解するとともに、使用の意味・意義やコミュニケーションにおける働きについて考える。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
4回	**授業テーマ：日本語教育のための文型** 授業内容：日本語教育において文型として扱われるものについて確認し、日本語に関する客観的な分析視点を獲得する。 自動詞文、他動詞文、授受を表す文等について分析し、他者に説明ができるようにする。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
5回	**授業テーマ：日本語教育のための文法体系** 授業内容：テンス、アスペクト等を中心に、文の構成を理解するとともに使用の意味・意義や談話内での働きについて考える。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
6回	**授業テーマ：日本語教育のためのコミュニケーション能力** 授業内容：情報を伝達する際の視点の置き方について分析し、コミュニケーション上の意味を考える。 例えばヴォイス(受身文、使役、使役受身文、可能構文等)に関して、文の構成を確認したうえで使用の意味・意義、その働きについて分析する。 学習者に使い方の説明ができるようになるとともに、自身の言語使用への意識も高める。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
7回	**授業テーマ：日本語教育のための談話分析** 授業内容：コミュニケーション上大きな役割をもつ言葉自体ややりとり等について考える。 対話の中でのモダリティの働きに関して、その使用の意味・意義及び働きについて考える。 また、談話の構成や談話標識、結束性・照応・推論等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
8回	**授業テーマ：日本語教育のための統語構成** 授業内容：名詞修飾節(内の関係、外の関係、限定用法、非限定用法等)、さまざまな副詞節(条件、原因・理由、時間、目的等)や並列節等に関して、文の構成を理解するとともに使用の意味・意義について考える。また、複文における従属度について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う

9回	**授業テーマ：日本語教育のための音声・音韻体系** 授業内容：言語記号の特徴(能記・所記、言語の恣意性、二重分節性)について学ぶとともに、音素と異音、日本語の音声の特徴等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を辞典で調べる 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
10回	**授業テーマ：日本語教育のための形態・語彙体系** 授業内容：形態素、異形態、自由形態素、語基、接辞等について学ぶ。 また、語種(漢語・和語・外来語)や語構成等について、歴史的な観点から学んだうえで、成り立ち及び現在の使用状況等について観察し分析する。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
11回	**授業テーマ：日本語教育のための意味体系** 授業内容：一般意味論(成分分析、上位語と下位語、類義語、同義語、対義語、多義語、メタファー、メトニミー、シネクドキー等)について学ぶ。 また、言葉の意味が変化する条件等についても考える。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
12回	**授業テーマ：言語類型と世界の諸言語** 授業内容：対照言語学、言語類型論(形態的類型、統語的類型)等について学ぶ。 また、日本語、韓国語、中国語、ベトナム語、英語の対照(音声・音韻的相違、形態的相違、統語的相違、意味的相違等)、言語の系統等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
13回	**授業テーマ：日本語教育のための文字と表記** 授業内容：漢字の歴史、漢字の構成、音と訓、漢字表、仮名遣い、片仮名、外来語の表記、送り仮名、ローマ字等について学ぶ。 文化庁等から出されている指針や方針を読んだうえで、実際の使用状況等についても客観的に捉え分析する視点を得る。 事前学修 2.0hr：教材の該当部分を読み授業に備える　専門用語を確認する 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
14回	**授業テーマ：日本語教育のための日本語史、まとめ** 授業内容：日本語史、日本語研究史について学ぶ。 これまで学んだことを確認する。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを見直し、疑問点を明らかにしておく 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験を通して、自らの弱点を確認し、次なる学習へ向かう。 事前学修 2.0hr：総復習をし、最終試験に備える。 事後学修 2.0hr：レポート　振り返り

検定対策Ⅱ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

髙橋　眞人（たかはし　まさと）

▌授業の概要

【「世界と日本」「在留外国人施策」について学ぶ】
・日本語教師養成課程における教育内容のうち、「社会・文化・地域」に関わる領域の＜ 1 ＞世界日本の社会と文化、＜ 2 ＞日本の在留外国人施策――を中心に学ぶ。
・グローバル化が進む中での他国と日本との関係や、日本社会における外国人の実態をつかみ、社会を担う者としてできることを考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：・国際社会の実情と日本との関係、学習者と日本との関係、日本社会や文化について理解する。
・日本語教育が行われる社会的背景を考えることの重要性を認識する。
・学習者と日本語及び日本社会との接触状況等を理解する。
個別目標：・日本の社会や文化について客観的な視野をもつことができる。
・日本語学習者の立場を考慮した日本語教育の方法を考えることができる。
・在留外国人施策に関する諸問題について認識する。

▌履修条件

本授業はアクティブラーニング形式で行う。受講者にはディスカッションやグループワークに積極的に参加し、自らの考えを述べ、他者の意見を尊重しながら議論に加わる態度が求められる。

▌評価基準・方法

小テスト・課題提出物・発表 40 %、振り返りレポート 20 %、最終試験 40 %で評価する。90 %以上の成績が S 評価、89 %から 80 %が A 評価、79 %から 70 %が B 評価、69 %から 60 %が C 評価で単位習得とする。59 %以下は D 評価、出席不良 (5 分の 1 に満たない場合)は評価対象外とし、単位習得不可とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、教室および manaba にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、ペアワーク、発表、振り返り）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （manaba への入力のためスマホ(または PC) が必要。）

▌教科書

なし。適宜レジュメを配布する。

▌参考書

『多文化共生社会に生きる』李修京編著　明石書店
『多文化共生　人が変わる、社会を変える、』松尾慎編著　凡人社
『グローバルな時代を生きるための異文化理解入門』原沢伊都夫　研究者
『世界と日本』春原憲一郎・神吉宇一　アルク
『移民政策と国民』江口隆裕　神奈川大学出版会
『ここまでは知っておきたい在留資格』辻大輔　webjapanese.com
『移民国家としての日本』宮島喬　岩波書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：世界と日本の社会と文化【日本語教員試験＜１＞】** 授業内容：人口と都市化、世界経済と人の流れ、世界の環境と食糧問題、世界の社会・文化地図 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、不明な用語の確認をしておく。また、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
2 回	**授業テーマ：明治維新から第二次世界大戦までの日本語教育【日本語教員試験＜４＞】** 授業内容：労働力送り出しの時代、国内外の同化・植民地政策、アジアの植民地化と日本語教育、戦争と日本語教育、反植民地闘争と国内における差別問題 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
3 回	**授業テーマ：東西冷戦から高度経済成長にかけての日本語教育【日本語教員試験応＜４＞】** 授業内容：東西冷戦期の日本経済と日本語教育、分断の時代の日本語教育、高度経済成長と日本の海外進出、国際社会への参加と日本語教育 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
4 回	**授業テーマ：1980 年代から現在にかけての日本語教育【日本語教員試験＜４＞】** 授業内容：東アジアと東南アジアの成長、市場のグローバル化に伴う日本語教育の国際化・地域化、東西冷戦の終結と地域紛争 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
5 回	**授業テーマ：日本語教育とグローバリゼーション【日本語教員試験＜１＞＜２＞】** 授業内容：グローバリゼーションとは何か、インターネット社会と消費化、戦争と難民、国境を越えた人の移動と日本における外国人受け入れ、マイノリティーのエンパワーメント、これからの社会と日本語教育 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
6 回	**授業テーマ：外国人の在留資格【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：在留資格とは、在留資格の審査、在留資格の種類、在留資格と日本語能力、外国人との共生と日本語教師 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
7 回	**授業テーマ：外国人労働者をめぐる環境【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：外国人労働者の受け入れ状況、技能実習生の実態、出稼ぎ就労から定住へ、移民受け入れの経済的・社会的・文化的影響 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。

8回	**授業テーマ：外国人労働者受け入れの歴史【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：移民受け入れの歴史、高度人材としての移民、単純労働者としての移民、福祉国家の担い手としての移民、難民 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
9回	**授業テーマ：自文化中心主義と多文化共生主義【日本語教員試験＜３＞】** 授業内容：自文化中心と多文化共生、異文化トレーニング、多文化共生の社会への条件、あるべき統合像の模索 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
10回	**授業テーマ：日本が外国人労働者を受け入れる理由【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：・グローバリゼーションと移民の時代、構造的ニーズと人の移動、「移民国家」日本へ ・ディスカッションに関する説明 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
11回	**授業テーマ：外国人受け入れに伴う諸問題【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：労働条件の悪化、偏見と差別、文化摩擦と非同化の問題、外国ルーツの子どもたちの教育、社会保障への影響 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
12回	**授業テーマ：移民受け入れに関する世界の動向【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：欧米の難民危機と移民受け入れ政策の変遷、欧米における議論 事前学修 2.0hr：授業内容について自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。分からない点や関心を持った点を調べておく。
13回	**授業テーマ：外国人への支援と日本語教育【日本語教員試験＜２＞＜６＞】** 授業内容：・日本語教育関連機関(文化庁、国立国語研究所、日本語教育学会、国際交流基金、日本学生支援機構、日本国際教育支援協会)等の役割や活動等、日本語・日本語教育関連の試験について学ぶ。 ・これまでの学修内容のまとめ 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：次回のグループ発表の準備
14回	**授業テーマ：グループ発表【日本語教員試験＜２＞】** 授業内容：外国人受け入れ政策に関してのグループ発表を行うことを通じて、この問題への認識を深める。 事前学修 2.0hr：グループ発表の準備 事後学修 2.0hr：これまでの学修内容を整理し、最終試験の準備をする。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終試験(筆記試験)とそのフィードバックを通して、自らの弱点を確認し、次なる学習へ向かう。 事前学修 2.0hr：総復習をし、最終試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験を振り返り、弱点を補強する。

検定対策Ⅲ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

本科目は平成 31 年の文化審議会国語分科会の報告「日本語教育人材の養成・研修の在り方について (報告)改定版」で示された日本語教師【養成】における必須の教育内容のうち、⑦言語理解の過程、⑧言語習得発達、⑨異文化理解と心理、⑱異文化受容・適応、⑲日本語の学習・教育の情意的側面、㉜異文化間教育、㉝異文化コミュニケーション、㉞コミュニケーション教育を扱う。日本語教育に関する基礎的な知識を得て、どのように日本語教育の現場で応用されるのかについて説明ができるレベルを目指す。日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育に関する知識と能力を身につける。日本語教育能力検定試験(試験Ⅰ問題 8〜10、14〜15、試験Ⅲ問題 9〜11)対策を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：日本語教育の基礎的な知識を持ち、個々の学習者に合わせた日本語教育を考えるために言語の習得過程や学習者要因又学習効果を高める方略について説明できる。
日本語教育能力検定試験の出題形式による設問に解答することができる。

個別目標：(1) 効果的な日本語教育を考えるために学習者の言語情報の処理過程や学習の仕組み、学習の方法について説明できる。
(2) 言語習得に関わる動機や不安などの心的側面の心理的プロセスについて説明できる。
(3) 自文化とは異なる環境にある学習者に配慮した指導を考えるために、異文化接触によって生じる問題やその解決を考えることができる。
(4) 学習者に適切に接する態度や学習者の背景および将来を考えるために日本語教育の歴史や現状、制度を説明できる。

▌履修条件

毎回出席すること。欠席する場合は事前に Manaba で連絡を入れること。提出物は期限遵守すること。
日本語教育能力検定試験を受験する者を想定して行う授業である。
知らない用語がある場合、必ず辞典で調べておく。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題(授業内容の振り返り及び課題への取り組み)を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。(欠席については事前に連絡をする。)

▌フィードバック方法

課題および試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （試験内容の確認や統計資料の閲覧時に使用する。）

▌教科書

レジュメを配布する。

▌参考書

用語集を携行することが望ましい。
日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド　第５版　著者ヒューマンアカデミー　発行所株式会社翔栄社　ISBN978-4-7981-4894-6
その他、授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション・事前テスト** 授業内容：本授業の概要、目標、評価方法についての説明を行う。日本語教育能力検定試験についての説明を行う。事前テストを実施する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。事前テストに備える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
2回	**授業テーマ：記憶** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語知識獲得のための記憶のメカニズムを学ぶ。二重貯蔵モデル、ワーキングメモリー、リハーサルなどを扱う。記憶に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。レジュメを読んで基本用語タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：認知心理学** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語情報処理の仕組みを理解する。スキーマ、ボトムアップ処理、トップダウン処理、カクテルパーティ効果、外国語副作用などを扱う。認知心理学に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：対照分析、誤用分析、中間言語分析** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。対照分析、誤用分析、中間言語分析などの習得理論について学び、学習者の習得プロセスの特徴を学ぶ。対照分析、誤用分析、中間言語分析に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：モニターモデル** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。モニターモデルの 5 つの仮説、習得学習仮説、習得順序、インプット仮説、モニター仮説、情意フィルター仮説を理解する。モニターモデルに関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：インターアクション仮説、アウトプット仮説** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。アウトプット仮説、インターアクション仮説など、何が習得を促進するかについての仮説と指導法を理解する。インターアクション仮説、アウトプット仮説に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
7回	**授業テーマ：フォーカス・オン・フォーム** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。フォーカス・オン・フォーム、フォーカス・オン・フォームズ、フォーカス・オン・ミーニングなどの指導法について学ぶ。フォーカス・オン・フォームに関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。

8回	**授業テーマ：ストラテジー** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。学習ストラテジー・コミュニケーションストラテジーについて学ぶ。学習ストラテジー、会話ストラテジーなどに関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
9回	**授業テーマ：話す、聞く、読む、書くの心理プロセス** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語理解、談話理解の過程を理解し、四技能の上達を目指す指導法について理解する。4 技能の学修に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
10回	**授業テーマ：統計・評価法** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。成績処理やアクションリサーチなどに使う基本的な統計手法を理解する。統計、評価法に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：個人差要因** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。動機付け、年齢差、ビリーフ、言語学習適性、学習スタイル、知能、正確、性差、不安度などが習得に及ぼす影響を理解する。個人差要因に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
12回	**授業テーマ：子どもの第二言語習得** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。バイリンガリズムの理論、バイリンガル教育について学ぶ。日本語指導が必要な児童生徒に対する施策について理解する。子どもの第二言語習得に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
13回	**授業テーマ：異文化理解** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。異文化理解における人の認知の仕組みにみられる特徴について学ぶ。ステレオタイプ、カテゴリー化などを含む。異文化理解に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
14回	**授業テーマ：異文化適応** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。異文化適応プロセスについて学ぶ。カルチャーショック、ソーシャルサポート、異文化トレーニングなどを扱う。異文化適応に関わる過去の試験問題を解く。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスクを行う。コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：振り返り、最終テスト、フィードバック** 授業内容：最終試験を行いフィードバックを行う。コース全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。　確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：コンセプトマップを作成する。

検定対策Ⅳ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

日本語教師【養成】における教育内容のうち、言語に関わる領域、「言語」、⑭日本語の構造(45)日本語教育のための語用論的規範、⑯コミュニケーション能力(46)受容・理解能力(47)言語運用能力(48)社会文化能力(49)対人関係能力(50)異文化調整能力　等を中心に学ぶ。さらに、上記項目を捉えたうえで、日本語教育の実践にどう結びつけるかを考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：日本語教育にかかわる「言語」に関する知識を身に付ける。
　　日本語を例として、言語を分析的に捉える方法を理解する。
　　日本語教育を実践する上で必要となるコミュニケーション能力を身につける。
個別目標：日本語を語用論的視点からも説明することができる。
　　コミュニケーション能力の必要性や方法を理解することができる。
　　非日本語母語話者に、日本語のコミュニケーション力を高めるための学習項目の説明ができる。
　　日本語教育の実践において円滑にコミュニケーションができる。

▌履修条件

小テスト、課題にしっかり取り組むこと。

▌評価基準・方法

小テストおよび課題提出等による評価　60 %、総復習テスト(40 %)

▌フィードバック方法

フィードバックは、教室および manaba において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （振り返りシート、反転授業）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （統計資料等の確認に使用する。）

▌教科書

初回授業で指示する。
適宜プリントを配布する。

▌参考書

『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド　第 5 版』ヒューマンアカデミー著　翔栄社　ISBN978 － 4 － 7981 － 6719 － 0

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語教育とは** 授業内容：日本語教育の社会的意義、日本語教育人材、日本語教師の役割、学習観の変遷等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、疑問点を整理しておく。 事後学修 2.0hr：配布された問題に解答する。
2回	**授業テーマ：外国語教授法①** 授業内容：文法訳読法、ナチュラル・メソッド、直接法、ASTP、オーディオ・リンガル・メソッド等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
3回	**授業テーマ：外国語教授法②** 授業内容：サイレント・ウェイ、CLL、TPR、サジェストペディア、コミュニカティブ・アプローチ、タスク中心の教授法、ナチュラル・アプローチ等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
4回	**授業テーマ：コース・デザイン** 授業内容：レディネス調査／分析、ニーズ調査／分析、シラバス、シラバス・デザイン、カリキュラム・デザイン等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
5回	**授業テーマ：教材分析・教材開発** 授業内容：教材・教具・副教材、レアリア、生教材等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
6回	**授業テーマ：授業の実施** 授業内容：授業の計画と準備、授業の構成、教案作成とシュミレーション、授業の振り返り、教師の成長等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
7回	**授業テーマ：指導法** 授業内容：対象・目的別の指導、初級・中級・上級の違い、各レベルの特徴、レベル別言語技能の指導、技能別言語運用の指導等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
8回	**授業テーマ：訂正フィードバック、学習者オートノミー** 授業内容：誤用についての考え方の変遷、訂正フィードバック、フィードバック時の注意事項、学習者オートノミー、自律学習について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
9回	**授業テーマ：評価** 授業内容：評価の分類と方法、テストの種類、テストによる評価、よいテストの条件、テストによらない評価、テスト理論、テストの分析等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
10回	**授業テーマ：異文化コミュニケーション、異文化トレーニング** 授業内容：異文化コミュニケーション、異文化受容、異文化トレーニングの方法、コミュニケーションストラテジー等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：母語喪失、母文化保持の問題についてまとめる。

11回	**授業テーマ：日本語教育と ICT、著作権** 授業内容：ICT、教育・学習リソース、日本語コーパス、情報リテラシー、著作権等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
12回	**授業テーマ：授業の実際１　レベル別** 授業内容：初級・初中級・中級・上級授業の計画と準備、授業の構成、教案作成、授業の実施、授業の振り返り等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
13回	**授業テーマ：授業の実際２　技能別** 授業内容：ディスカッション・プレゼンテーション・ロールプレイ・作文・漢字学習・聴解授業等の計画と準備、授業の構成、教案作成、授業の実施、授業の振り返り等について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材の該当箇所を読み、授業に備える。専門用語の確認をする。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
14回	**授業テーマ：総復習** 授業内容：総復習をして弱点を発見するとともに、弱点を克服すべく理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを振り返り、疑問点を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめ、その知見を活用して課題に答える。
15回	**授業テーマ：最終テストとフィードバック** 授業内容：最終テストを行う。自らの弱点を認識し、次の学習へつなげる。 事前学修 2.0hr：これまでの学習内容を再度振り返り、最終テストに備える。 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、レポートにまとめる。

音声指導法研究

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

日本語教育のための音韻・音声体系を学ぶ。具体的には音声上の諸問題を考察しその特徴を実践を通して把握する。また、「言葉の習得、発音の問題、聴取の問題、外国語との比較、学習者中心の発音指導、教師の日本語」を取り上げ、より客観的な音声の捉え方を学んでいく。また、日本語教育能力検定試験の「試Ⅱ」に対応する能力を養う科目である。そして「指導法」を学ぶ科目でもあるため、日本語教員志望の学生向きに構成されていることを理解されたい。

尚、日本語教師【養成】における教育内容では、⑭日本語の構造、（４０）日本語教育のための音韻・音声体系、に対応する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：日本語学習者に合理的な音声指導ができる。
　　日本語教育能力検定試験における「試験Ⅱ」で 7 割の解答ができる。
個別目標：母語と目標言語の音声上の対照を明らかにすることができる。

▌履修条件

日本語音声学、または音声学概論を履修済みであること。日本語の音声記号を把握していること。日本語教員志望者であること。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

課題および試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （音声における図の参照時に使用する。）

▌教科書

毎回、プリントを配布するが、欠席した場合はクラスメートのプリントをコピーし授業に臨むこと。

▌参考書

高見澤孟／監修『はじめての日本語教育』（アスク）
猪塚元「演習 聴解問題」『平成２７年度合格するための本』（アルク）
窪園晴夫監修『日本語の発音教室 理論と練習』（くろしお出版）
公益財団法人日本国際教育支援協会『日本語教育能力検定試験 試験問題』（凡人社）　・過去 10 年の試Ⅱを参考

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題 1 対応 1** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題 1 に対応するための能力を養う。この問題 1 は問題用紙に書いてある 5 拍から 9 拍の（学習者の）発音における「アクセントを聞き取る問い 6 題」により構成されている。日本語の高低をつかめない履修者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。「学習者が発話する日本語のアクセントの高低」を聞き、これを修正する能力を養成する。 事前学修 2.0hr：日本語の高低アクセントの特徴を調べておく。 事後学修 2.0hr：問題用紙にある日本語の高低を読んでくる。
2回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題 1 対応２** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題 1 に対応するための能力を養う。この問題 1 は問題用紙に書いてある 5 拍から 9 拍の（学習者の）発音における「アクセントを聞き取る問い」6 題により構成されている。日本語の高低をつかめない履修者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。学習者が発話する「日本語のアクセントの高低」を聞き、これを修正する能力を養成する。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：問題用紙にある日本語の高低を読んでくる。
3回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題 1 対応３** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題 1 に対応するための能力を養う。この問題 1 は問題用紙に書いてある 5 拍から 9 拍の（学習者の）発音における「アクセントを聞き取る」問い 6 題により構成されている。日本語の高低をつかめない履修者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。学習者が発話する「日本語のアクセントの高低」を聞き、これを修正する能力を養成する。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：問題用紙にある日本語の高低を読んでくる。
4回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題２対応１** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題２に対応するための能力を養う。この問題２は日本語母語話者の発話に答える「学習者の発話」を、「文末イントネーション」「拍の長さ」「プロミネンス」「アクセントの下がり目」などの文を単位とした「読み方の問題を指摘する問い」6 題により構成されている。これらの日本語の特徴を把握できない履修者は少なくなく、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。 事前学修 2.0hr：問題 2 のキーワードを調べてくる。 事後学修 2.0hr：特殊音節についてまとめる。
5回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題２対応２** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題２に対応するための能力を養う。この問題２は日本語母語話者の発話に答える「学習者の発話」を、「文末イントネーション」「拍の長さ」「プロミネンス」「アクセントの下がり目」などの文を単位とした「読み方の問題を指摘する問い」6 題により構成されている。これらの日本語の特徴を把握できない履修者は少なくなく、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：文末イントネーションに留意し復習する。
6回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験（試Ⅱ）問題２対応３** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題２に対応するための能力を養う。この問題２は日本語母語話者の発話に答える「学習者の発話」を、「文末イントネーション」「拍の長さ」「プロミネンス」「アクセントの下がり目」などの文を単位とした「読み方の問題を指摘する問い」6 題により構成されている。これらの日本語の特徴を把握できない履修者は少なくなく、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：会話文を聞き、プロミネンスを聞き取れるようにする。

7回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題３対応１** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題３に対応するための能力を養う。この問題３は、学習者の誤った発音の特徴を「口腔断面図」や「声帯振動の有無」「調音点」「調音法」などの「調音の特徴を示す選択肢で指摘する問い」8 題で構成されている。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。 事前学修 2.0hr：口腔断面図を確認しておく。 事後学修 2.0hr：問題中の口腔断面図を復習する。
8回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題３対応２** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題３に対応するための能力を養う。この問題３は、学習者の誤った発音の特徴を「口腔断面図」や「声帯振動の有無」「調音点」「調音法」などの「調音の特徴を示す選択肢で指摘する問い」8 題で構成されている。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。早めの対策が必要である。 事前学修 2.0hr：声帯振動の有無について確認しておく。 事後学修 2.0hr：問題にあった声帯振動の有無について復習する。
9回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題３対応３** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題３に対応するための能力を養う。この問題３は、学習者の誤った発音の特徴を「口腔断面図」や「声帯振動の有無」「調音点」「調音法」などの「調音の特徴を示す選択肢で指摘する問い」8 題で構成されている。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。早めの対策が必要である。 事前学修 2.0hr：調音法について確認しておく。 事後学修 2.0hr：問題にあった調音法を復習する。
10回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題４対応１** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題４に対応するための能力を養う。この問題４は、日本語を母語話者と日本語非母語話者」の会話などを聞き、非母語話者の会話の特徴、ディスコミュニケーションの原因、音声的特徴や文法的な問題点、教師の質問における特徴、学習者の音声的パターンを聞き取り答える問題である。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。早めの対策が必要である。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：問題文にある用語を復習する。
11回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題４対応２** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題４に対応するための能力を養う。この問題４は、日本語を母語話者と日本語非母語話者」の会話などを聞き、非母語話者の会話の特徴、ディスコミュニケーションの原因、音声的特徴や文法的な問題点、教師の質問における特徴、学習者の音声的パターンを聞き取り答える問題である。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。早めの対策が必要である。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：問題文にある用語を復習する。
12回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題４対応３** 授業内容：日本語教育能力検定試験における「試Ⅱ」の問題４に対応するための能力を養う。この問題４は、日本語を母語話者と日本語非母語話者」の会話などを聞き、非母語話者の会話の特徴、ディスコミュニケーションの原因、音声的特徴や文法的な問題点、教師の質問における特徴、学習者の音声的パターンを聞き取り答える問題である。この分野を苦手とする学習者は多く、これは日本語母語話者、日本語非母語話者を問わずの問題である。早めの対策が必要である。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：問題文にある用語を復習する。
13回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題５対応１** 授業内容：学習者の聴解素材や問題を聞き、その特徴や問題点について答える問題が問題 5 である。聴解は言語知識を活用し、文脈や場面、背景知識を手掛かりに音声情報を頭の中で再構築し、意味を理解していく過程である。重要なことは、良い聴解教材や問題がどのようなものであるかということを理解しておくことである。聴解問題としての問題の「妥当性」や「信頼性」については特に注意すべきであり、この授業の中でその能力を身に付ける練習をしていく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：問題の信頼性と妥当性について復習する。
14回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題５対応２** 授業内容：学習者の聴解素材や問題を聞き、その特徴や問題点について答える問題が問題 5 である。聴解は言語知識を活用し、文脈や場面、背景知識を手掛かりに音声情報を頭の中で再構築し、意味を理解していく過程である。重要なことは、良い聴解教材や問題がどのようなものであるかということを理解しておくことである。聴解問題としての問題の「妥当性」や「信頼性」については特に注意すべきであり、この授業の中でその能力を身に付ける練習をしていく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：自分の音声を客観的に見つめ、他者との違いを確認する。
15回	**授業テーマ：日本語教育能力検定試験(試Ⅱ)問題５対応３** 授業内容：学習者の聴解素材や問題を聞き、その特徴や問題点について答える問題が問題 5 である。聴解は言語知識を活用し、文脈や場面、背景知識を手掛かりに音声情報を頭の中で再構築し、意味を理解していく過程である。重要なことは、良い聴解教材や問題がどのようなものであるかということを理解しておくことである。聴解問題としての問題の「妥当性」や「信頼性」については特に注意すべきであり、この授業の中でその能力を身に付ける練習をしていく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布された資料を読み質問に答える。 事後学修 2.0hr：自分の得意な指導、不得意な指導を認識しまとめる。

文型指導法研究

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

日本語初・中級教材における文型指導に必要な知識と技術・方法を学び、日本語教育のための文法体系を把握する。
助詞では「複合格助詞、取り立て助詞」、文末表現では「テンス・アスペクト的なもの、複合動詞」、ムード(モダリティ)、従属節では、学習者が学びにくいとされる項目を取り上げ、その具体的な指導方法を考え、伝達能力を養った上で「模擬的な実習」を行う。これらの学びにより、養成講座などであまり取り上げられない中級指導法に自信を持てるようにする。
尚、日本語教師【養成】における教育内容では、⑩言語と教育法・実習、(２３)コースデザイン、(２４)教授法、(２５)教材分析・作成・開発、(２６)評価法、に対応する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：初・中級で学ぶ文法・文型事項の説明・指導ができる。
個別目標：日本語教育のための文法体系を把握し、初級・中級レベルの日本語の指導力をつけることができる。

▌履修条件

日本語教員志望者であることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題(授業内容の振り返り及び課題への取り組み)を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。(欠席については事前に連絡をする。)

▌フィードバック方法

課題および試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （類義語、誤用分析、漢字についての説明時において使用する。）

▌教科書

添付資料を教材とする。

▌参考書

名柄迪監修 井口厚夫、井口裕子著『日本語文法整理読本』(バベルプレス)
市川保子『初級日本語文法と教え方のポイント』(スリーエーネットワーク)
市川保子『中級日本語文法と教え方のポイント』(スリーエーネットワーク)
市川保子編著『日本語誤用辞典』(スリーエーネット一ワーク)
山内博之『日本語の文法－基礎』(アルク)
小林ミナ『日本語の文法－応用』(アルク)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：品詞１(品詞分類、動詞、イ／ナ形容詞、名詞)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、品詞分類、動詞、イ／ナ形容詞、名詞について学んでいく。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んでわからない点をまとめる。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
2回	**授業テーマ：品詞２(数詞・助数詞、副詞、オノマトペ、指示詞(コソアド詞、助動詞、助詞、語構成、活用)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、数詞・助数詞、副詞、オノマトペ、指示詞について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
3回	**授業テーマ：文の特徴と種類１(日本語文の特徴、文の種類)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、日本語文の特徴、文の種類について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
4回	**授業テーマ：文の特徴と種類２(特殊な構文、複文と従属節)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、特殊な構文、複文と従属節について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
5回	**授業テーマ：文の成分　語と語の関係１(述語と名詞句の関係)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、述語と名詞句の関係について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。

6回	**授業テーマ：文の成分　語と語の関係２（語句と語句の関係）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、語句と語句の関係について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
7回	**授業テーマ：テンス・アスペクト(「ている」を含む)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、テンス・アスペクト(「ている」を含む)について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
8回	**授業テーマ：ムード(推量、確信、説明)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、ムード(推量、確信、説明)について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
9回	**授業テーマ：ヴォイス(受身、可能・自発、使役、使役受け身)** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、ヴォイス(受身、可能・自発、使役、使役受け身)について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
10回	**授業テーマ：連体修飾節１（連体修飾節の特性、内の関係の連体修飾節）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、連体修飾節の特性、内の関係の連体修飾節について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
11回	**授業テーマ：連体修飾節２（制限用法・非制限用法、補足節）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、制限用法・非制限用法、補足節について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
12回	**授業テーマ：接続１（並列接続／テ形・連用接続など）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、並列接続／テ形・連用接続などについて学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
13回	**授業テーマ：接続２（従属節の関係、従属の程度）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、従属節の関係、従属の程度について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
14回	**授業テーマ：談話１（文脈指示コソア、省略、主題）** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、文脈指示コソア、省略、主題について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。
15回	**授業テーマ：談話２（旧情報・新情報、「は」と「が」の使い分け、視点 行く・来る、授受動詞** 授業内容：文型指導を行う上で「知識として必要となる初級の文法」を学ぶ。ここで学ぶのは、日本語非母語話者を対象とする「文法」であり、その知識を活用した「文型」である点に留意されたい。日本語母語話者は暗示的知識から明示的知識への転換が必要であり、日本語非母語話者は自ら学ぶことから学習者への配慮を通した学びへの転換が必要である。一見、それほど難しいこととは思えないかもしれないが、学びのスタイルを変えることは時間がかかるものである。その点を考慮して、旧情報・新情報、「は」と「が」の使い分け、視点 行く・来る、授受動詞について学んでいく。 事前学修 2.0hr：あらかじめ配布されたプリントを読む。 事後学修 2.0hr：Ｎ５とＮ４レベルの文型を確認する。

評価法研究

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

外国語教育の中で用いられる評価法を中心に、「測定」と「評価」を明確に区別しながら、様々なテスト形式の概観を行う。
授業外の学習時間にレポートを課す。また、評価を行うためのテストの作成も行う。
遠隔授業での活動も視野に入れたテスト作成を実施する予定である。本科目は日本語教師【養成】における必須の教育内容㉖評価法を扱う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：言語テストの評価の持つ意味を理解し説明できること。
　　評価と測定の違いを理解し、得たい情報を得るためのテストづくりができること。
個別目標：「評価」と「測定」の関係について理解し、説明することができる。
　　数値化されたデータを分析し、相対的な評価を与えることができる。
　　複数の「評価」の方法を理解し、その違いについて述べることができる。
　　テストの結果を Excel 等により分析し、グラフ化することができる。

▌履修条件

特になし
Excel 等の基本的な処理作業を行う知識があることが望ましい。

▌評価基準・方法

授業内の成果物 40%、理解度確認の小テストによる評価 10 %、
期末試験による評価 50%
これらの結果に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

授業内及び manaba にてフィードバックを行なう。
manaba による成果物(小テスト等)の一部については採点結果と解説を用いてフィードバックを行なう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （課題において分析作業に用いる(エクセル、ワード)）

▌教科書

なし。
適宜授業内のスライドにて授業を進める。資料については、授業内で適宜指示を行う。

▌参考書

『言語教育プログラムを可視化する』松下達彦、札野寛子　ISBN　978-4-86746-027-6
『人と社会をつなぐ評価』南浦涼介、石井英真、中川祐治、佐藤慎司　東信堂、ISBN：9784798919492
『日本語教育　よくわかる評価法』伊東祐郎、出版社名：アルク、ISBN：9784757439580
『「評価」を持って街に出よう - 「教えたこと・学んだことの評価」という発想を超えて』宇佐美洋、くろしお出版、ISBN　9784874246863

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：日本語学習者が受ける試験について外観を学ぶ。その他、授業の進め方について。** 授業内容：日本語能力試験(JLPT)や日本留学試験(EJU)を概観する その他の言語、英語や中国語の資格試験について紹介する 事前学修 2.0hr：日本語学習者が受ける試験について調べておくこと。 事後学修 2.0hr：日本語教育以外の語学試験について調べノート等にまとめること。
2 回	**授業テーマ：試験の結果として用いられる評価について。評価と測定の違いについて。** 授業内容：「評価」「評定」「測定」などの言葉について授業内の定義を行う 生活の中にある評価、評定、測定について考える 事前学修 2.0hr：外国語以外にどのような試験があるか調べておくこと。 事後学修 2.0hr：仕事をする上で必要となる資格試験等について調べること。
3 回	**授業テーマ：テストの目的による分類(プレースメントテストなど)** 授業内容：教育機関におけるテストの目的と、 目的にそったテストの形式、結果の評価の違いについて学ぶ 事前学修 2.0hr：仕事上必要な資格とそれ以外の資格について違いをまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：試験の結果の利用について、自身の経験からどのような形で評価を受けたかまとめること。
4 回	**授業テーマ：教室活動と問題作成について。** 授業内容：学習成果を見るための試験と、現在の能力を見極めるための試験の違いについて学び、 具体的な試験作成を体験する 事前学修 2.0hr：健康診断等を含め、自身が受けた評価が使われた場面をまとめること。 事後学修 2.0hr：語学教育を行う上で、どのような測定、評価を用いることがあるのかを考えてまとめる。
5 回	**授業テーマ：試験結果と得点、評価の目的と集計方法について。** 授業内容：各自が作成した試験を教室内で相互に解答する。 解答を採点し、結果を S-P 表にまとめる(S-P 表の作成については授業内で指示する) 事前学修 2.0hr：S-P 表について調べてノート等にまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する「評価」のための問題を作ること。
6 回	**授業テーマ：集計結果をもとにした評価方法。** 授業内容：S-P 表の分析方法について学ぶ 教育現場における試験の結果は、教師側の教育を測る指標でもある。 試験の結果から分かること、推測できることについて学ぶ 事前学修 2.0hr：授業中に指示する「評価」のための問題を 5 名以上に試し結果を持参すること。 事後学修 2.0hr：授業中にまとめた「問題」を分析してくること。

7回	**授業テーマ：信頼性と妥当性について。** 授業内容：試験の結果は、試験自体の評価にも用いられる 試験としての質を確認する際に必要な視点について学ぶ 事前学修 2.0hr：授業中にまとめた問題の難易度について予想をしまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：難易度を調べるために、授業中の指示の通り、データを集める。
8回	**授業テーマ：テストの出題形式について。** 授業内容：試験の出題形式と、妥当性、信頼性、結果の値の読み方について考える ベルカーブ、チャンスレベルといった用語の理解とともに、試験自体の評価についても学ぶ 事前学修 2.0hr：難易度を調べるために、授業中の指示の通り、データの集計をすること。 事後学修 2.0hr：予想と結果の比較をレポートとしてまとめること。
9回	**授業テーマ：読解能力を評価するテストについて。** 授業内容：読解能力を例にとり、信頼性、妥当性の観点から試験について分析を行う 読解能力の評価を目的とした出題を概観しながら、各出題の目的について考察する 事前学修 2.0hr：日本語能力試験の過去の分析報告書が読めるようにしておくこと。 事後学修 2.0hr：読解力の評価について、『報告書』を基にしたレポートを作成すること。
10回	**授業テーマ：産出能力を計るテストについて学ぶ。** 授業内容：産出能力の評価について考える 書く、話すという技能についての理解を深める 産出能力を評価する際に考えられる指標について学ぶ 事前学修 2.0hr：OPI について調べてノート等にまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：「妥当性」を高めるためのポイントについてまとめること。
11回	**授業テーマ：テストの作成準備活動。** 授業内容：目的に応じた試験の問題作成作業を行う 各自が評価項目を設定し、プロフィシェンシーテストとして問題を作成する 作成した問題は回答を得た上で回答を分析し、問題として適切であったかどうか評価を行う資料とする 事前学修 2.0hr：授業中の指示に従い、テスト作成の準備をしておくこと。 事後学修 2.0hr：作成したテストについて、どのような工夫を施したのかレポートにまとめること。
12回	**授業テーマ：グループでのテストの作成活動。** 授業内容：各自が評価項目を設定し、プロフィシェンシーテストとして問題を作成する 問題をピアレビューし、ディスカッションの上各自で修正を行う 事前学修 2.0hr：作成したテストを見直し、清書し持参すること。 事後学修 2.0hr：作成したテストをグループで統一した書式にまとめる。
13回	**授業テーマ：作成したテストを用いた評価の実践。** 授業内容：自身が作成した試験を実施し、その解答結果を分析する 解答者の評価に加え、自身が作成した試験問題の評価も行う 事前学修 2.0hr：グループで作成したテストを授業で指示された人数に実施すること。 事後学修 2.0hr：実施したテスト結果を統合し、分析レポートを作成すること。(試験結果)
14回	**授業テーマ：自身が作成した試験とその評価の妥当性について。** 授業内容：自身が作成した試験問題に対して得た解答を集計する 集計結果を基に、試験自体が妥当なものであったか評価を行う 事前学修 2.0hr：実施したテストの結果を基に、どのような評価が可能かまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：グループで作成したテストの強みと欠点について分析しまとめること。(試験の評価)
15回	**授業テーマ：まとめ：評価の目的と使用例等についての理解。** 授業内容：評価とその目的について、ステイクホルダーという言葉をキーワードとして分析する 具体的な試験結果の使用例(合否、級、スコア)を事例として集める 事前学修 2.0hr：「評価」を行う上で気をつける点をまとめる。 事後学修 2.0hr：「評価」の難しい点がどのようなものか、レポート作成をすること。

教案作成研究

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

日本語教師養成における教育内容のうち、「言語と教育」⑩言語教育法・実習分野区分に位置づけられる（23）コースデザインに関わる内容を扱う。初級日本語教育のシラバス作成に関する基礎的知識を身につけ、日本語教育の対象者の多様化を理解した上で、基本的な初級授業の構成と実施方法を習得する。あわせて、聴解授業、読解授業および作文授業の教案作成にも取り組み、技能別授業デザインについての実践的能力の育成を目指す。
理論的枠組みの理解を踏まえつつ、授業設計の演習および発表を行い、相互の検討を通して理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：初級日本語教育におけるコースデザインの基本的考え方を理解し、日本語教育の対象者の多様化を踏まえながら、聴解・読解・作文を含む技能別授業の構成と教案作成ができるようになる。
個別目標：（1）コースデザインの位置づけと目的、初級日本語教育のシラバス構成要素（目標・内容・評価・教材等）を整理して示すことができる。
（2）初級授業における基本的な授業構成（導入・展開・まとめ等）を設計した教案を作成できる。
（3）聴解・読解・作文の学習目標と活動が対応した教案を作成できる。
（4）理論的枠組みに基づいて自身の教案を説明し、改善点を述べることができる。
（5）発表や相互検討を通して、他者の授業案を批判的に検討し、建設的なコメントを行うことができる。

▌履修条件

・初回授業に必ず出席すること。
・課題提出期限を守ること。
・主体的に取り組むこと。

▌評価基準・方法

課題提出と内容（40 %）、教案作成（30%）、発表（30 %）

▌フィードバック方法

フィードバックは、教室内および manaba において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、発表や相互点検など他者と協働する機会が多数ある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料の参照、教案作成など毎回使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

国際交流基金『国際交流基金日本語教授法シリーズ④⑤⑥⑦⑧⑨』

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・日本語教師 (養成)に求められる資質・能力** 授業内容：授業の進め方について説明し、授業に参加する際の注意事項、取り組み姿勢について伝える。日本語教師 (養成)に求められる資質・能力を理解する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで本講義の概要をつかむ。 事後学修 2.0hr：教科書を見てどのような文型があるかを書きだす。
2回	**授業テーマ：教案作成の前提事項** 授業内容：教案作成の意義について考え、その目的を明確にする。教案の書き方の概要をつかむ。 事前学修 2.0hr：これまでに学んだ日本語教育に関する用語を復習する。 事後学修 2.0hr：教室活動に関する基礎知識を自分なりにまとめる。
3回	**授業テーマ：初級日本語授業の導入の考案と検討** 授業内容：初級日本語授業の全体構成について必要事項をおさえる。また、初級の授業を進めるに際しての注意点を確認する。 事前学修 2.0hr：指定された課題について考える。 事後学修 2.0hr：教案作成のポイントについてまとめメモを作る。
4回	**授業テーマ：初級日本語授業の教案作成** 授業内容：初級日本語の総合教科書を参考にしながら教案を作成する。 事前学修 2.0hr：指定された課題について考える。 事後学修 2.0hr：教案作成のポイントについてまとめメモを作る。
5回	**授業テーマ：初級日本語授業の教案の自己点検と相互評価** 授業内容：第４回で作成した教案をもとに、自己点検と相互評価を通して改善点を整理し、理論に基づく授業設計への理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
6回	**授業テーマ：聴解授業の設計** 授業内容：聴解授業の全体構成について必要事項をおさえる。また、聴解授業を進めるに際しての注意点を確認する。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
7回	**授業テーマ：聴解授業の教案作成** 授業内容：聴解の教科書を参考にしながら教案を作成する。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
8回	**授業テーマ：聴解授業の教案の自己点検と相互評価** 授業内容：第７回で作成した教案をもとに、自己点検と相互評価を通して改善点を整理し、理論に基づく授業設計への理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
9回	**授業テーマ：読解授業の設計** 授業内容：読解授業の全体構成について必要事項をおさえる。また、読解授業を進めるに際しての注意点を確認する。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。

10回	**授業テーマ：読解授業の教案作成** 授業内容：読解の教科書を参考にしながら教案を作成する。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
11回	**授業テーマ：読解授業の教案の自己点検と相互評価** 授業内容：第 10 回で作成した教案をもとに、自己点検と相互評価を通して改善点を整理し、理論に基づく授業設計への理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
12回	**授業テーマ：作文授業の設計** 授業内容：作文授業の全体構成について必要事項をおさえる。また、作文授業を進めるに際しての注意点を確認する。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
13回	**授業テーマ：作文授業の教案作成** 授業内容：作文の教科書を参考にしながら教案を作成する。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
14回	**授業テーマ：作文授業の教案の自己点検と相互評価** 授業内容：第 13 回で作成した教案をもとに、自己点検と相互評価を通して改善点を整理し、理論に基づく授業設計への理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された課題をする。 事後学修 2.0hr：授業で指摘された注意点について振り返り、教案を訂正する。
15回	**授業テーマ：総括と振り返り** 授業内容：初級授業、聴解授業、読解授業および作文授業する際に注意すべき点、教案作成のポイント、授業実施の留意点等を振り返り、まとめる。 事前学修 2.0hr：これまでに教案作成で指摘された注意点をまとめる。 事後学修 2.0hr：担当した教案について訂正して完成版を作成する。

日本語教育事情

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

近年、重要性が増している「日本語教育事情」について詳しく論じていく。具体的には、「地域日本語教育」「多文化共生社会」「日本語指導が必要な児童生徒」「留学生受け入れ 10 万人計画」「やさしい日本語」「CEFR」「夜間中学」「特別の教育課程による日本語指導」「日本語に関する試験」「EPA」「中国帰国者」「難民」「特定技能」について、最新の情報を提示していく。また、日本語教育史について、3 つの区分に分けて論じる。具体的にはキリシタン宣教師の来日から幕末開国期まで、明治期から第二次世界大戦の終結まで、戦後直後の区分である。

尚、日本語教師【養成】における教育内容では、③日本語教育の歴史と現状、（4）日本語教育史、（5）言語政策、（6）日本語の試験、（7）世界と日本の日本語教育事情に対応する科目である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：語学が学ばれる事情について、歴史的考察を踏まえ説明することができる。

個別目標：語学教育事情の特徴を把握することができる。

▌履修条件

語学教員志望者であることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

課題および試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピアリーディングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （時事問題などの提示において使用する。）

▌教科書

添付資料を教材とする。

▌参考書

縫部義憲監修、水島裕雅編集『講座・日本語教育学』第 1 巻 文化の理解と言語の教育（スリーエーネットワーク）

森篤嗣遍『日本語教育への応用（コーパスで学ぶ日本語学）』（朝倉書店）

田中祐輔編著『日本がわかる、日本語がわかる』（凡人社）

田中祐輔「社会・文化・地域」『2020 年合格するための本』（アルク）

宮地裕他編集『講座日本語と日本語教育 第１５巻日本語教育の歴史』（明治書院）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：地域日本語教育** 授業内容：日本各地に在住する外国人に対し、地域住民が中心となって日本語支援や生活情報提供をボランタリーに行う活動を「地域日本語教育」という。1980 年代以降に来日し長期滞在するニューカマーが 1990 年の「出入国管理及び難民認定法」改正施行を機に急増し、全国各地でボランティアによる対応がなされてきた。在住外国人の増加・多様化に伴い地域日本語教育の役割が高まる一方で、地域日本語教育の在り方や担う人々・機関への支援などのあり方に対する議論が高まってきている。これらの状況について、具体的な例を挙げ論じる。 事前学修 2.0hr：自らの考える日本語教育をまとめてくること。 事後学修 2.0hr：自らの考えた日本語教育との相違について認識しまとめる。
2 回	**授業テーマ：多文化共生社会** 授業内容：国籍や民族などの属性にかかわらず、人々が互いの文化的な違いを認め尊重し合い、対等な関係を築き共に生きていく社会の事を「多文化共生社会」という。日本語教育の役割としては、元々日本社会を構成してきた多数派に当たる日本人と、新しく社会に入ってくる人々との仲介役を担い、相互の関係を調整し支援することが期待されているが、この状況は果たしてうまく機能していくだろうか。現代社会はグローバル化を標榜しながらも様々な問題を抱えている。現実に起きている事象を事例とし考えていく。 事前学修 2.0hr：身の回りで感じる多文化についてまとめてくる。 事後学修 2.0hr：日本語教育（日本語教師）の役割についてまとめる。
3 回	**授業テーマ：日本語指導が必要な児童生徒** 授業内容：海外からの帰国児童生徒や外国人児童生徒のうち、JSL（日本語を第二言語とする）児童生徒が「日本語指導が必要な児童生徒」である。273 万人に達する在留外国人は、年齢構成では 20 代・30 代が全体の半数を占め、日本でキャリア構築や子育てをする世代が急増している。政府も少子高齢化対策や成長戦略の一環として積極的な外国人の受け入れを進める方針で、外国人成人のみでなく、子どものための豊かな学びの環境構築が、わが国の発展に欠かすことができない要素となっている。しかし実際は取り出し授業、入り込み授業、日本語ボランティアに頼りがちである。こういった現状を見ていく。 事前学修 2.0hr：外国人児童生徒の問題を考えてくる。 事後学修 2.0hr：公立校に在籍する児童生徒の問題をまとめる。
4 回	**授業テーマ：やさしい日本語** 授業内容：通常使用されている日本語より簡易で、外国人にもわかりやすい日本語のことを「やさしい日本語」という。1995 年に発生した阪神・淡路大震災において、日本語も英語も十分に理解することのできない外国人の困難さが浮き彫りとなり、対策として提案されたことに端を発する。現在では、災害時にとどまらず平時における外国人への情報提供手段としても検討が進んでおり、行政府による情報発信や自治体による生活関連情報の配信、ニュース番組の放送などでも活用されている。授業では「やさしい日本語」のさらなる可能性を考えていく。 事前学修 2.0hr：やさしい日本語が開発された背景を調べて来る。 事後学修 2.0hr：やさしい日本語の今後の在り方をまとめる。
5 回	**授業テーマ：夜間中学** 授業内容：義務教育を十分受けられなかった人々のために中学校に設置されている夜間部のことを「夜間中学」という。現在、全生徒約 1700 人のうち 8 割を外国人が占め、日本語教育機関としての役割も担っている。2018 年に第 3 期教育振興基本計画が閣議決定され、全ての都道府県に少なくとも 1 校は夜間中学が設置されるよう教育機会確保などに関する施策を総合的に推進することになり、夜間中学の設置・充実に関する取り組みが進められている。このような状況で生じる問題点を論じる。 事前学修 2.0hr：夜間中学とはどういうものかをまとめて来る。 事後学修 2.0hr：夜間中学のさらなる役割について考え整理する。

6回	**授業テーマ：日本語に関する試験** 授業内容：日本語学習者の日本語能力を測定する試験には、日本語能力試験（N1～N5 の 5 段階）、BJT ビジネス日本語能力テスト（J5～J1 ＋の 6 段階）、そして大学で必要とされる基礎学力も含めた評価を日本語・理科、総合科目及び数学で行う日本留学試験（記述は作文式で行う）などがある。授業では各試験の問題を解き、それぞれの試験が求めているものを把握し、また日本語教育機関でどのような指導が行われているのかを紹介しながら、試験に対する理解を深める。 事前学修 2.0hr：どのような英語の試験があるかを調べてくる。 事後学修 2.0hr：日本語の試験を解いた感想をまとめる。
7回	**授業テーマ：EPA と日本語教育** 授業内容：経済連携協定（EPA）と日本語教育の関係について学ぶ。締約国間での経済取引の円滑化、経済制度の調和およびサービス・投資・電子商取引・人材移動などさまざまな領域での連携強化・協力の促進などを目的とするのが EPA である。日本語教育との関係では、日本の国家試験合格を目指すインドネシア・フィリピン・ベトナム人看護師・介護福祉士候補者への日本語教育が行われている。この分野のパイオニアである三橋麻子（日本語学科卒業生）が作成したテキストを通して、多様な日本語教育の実際を学ぶ。 事前学修 2.0hr：EPA について調べて来る。 事後学修 2.0hr：EPA と日本語教育の関わりについてまとめる。
8回	**授業テーマ：中国帰国者** 授業内容：第二次世界大戦後日本へ帰国する機会を失い中国で生活してきた日本人で「帰国を果たした人々」のことを「中国帰国者」という。1950 年代に民間団体を窓口に引き揚げが開始されたが、1972 年に日中国交正常化が実現したことを契機に大規模な引き揚げが進められた。中国での長期生活により日本語が不自由な人々も多く、1984 年に中国帰国孤児定着促進センターが開発され、来日直後の 4 カ月間に日本語教育や生活指導などの研修が行われた。その「歴史」を学ぶ。 事前学修 2.0hr：中国帰国者について調べて来る。 事後学修 2.0hr：TPR（全身反応法）という教授法が採用された理由についてまとめる。
9回	**授業テーマ：CEFR** 授業内容：欧州評議会により開発された外国語の熟達度を測る基準を CEFR という。国際的に最も普及している基準の一つで、A1～C2 の 6 つの等級で表される。日本では「セフアール」と読まれ、日本語では「ヨーロッパ言語共通参照枠」と訳される。国際交流基金が開発した JF 日本語教育スタンダードも CEFR に基づいている。CEFR は、Common Europian Framework of Reference for Languages の略である。この基準により、教育機関間の評価の異なりが少なくなるということで評価されている。この基準の概要について紹介する。 事前学修 2.0hr：CEFR について調べてくる。 事後学修 2.0hr：JF 日本語教育スタンダードについてまとめる。
10回	**授業テーマ：特定技能と日本語教育** 授業内容：2018 年の臨時国会において「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律」が可決・成立し、2019 年 4 月 1 日より人手不足が深刻な介護や建設、宿泊など産業 14 分野において、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人を新在留資格「特定技能」で受け入れ可能とした。「特定技能 1 号」と「特定技能 2 号」に分けられ、前者は家族帯同が基本的に認められず在留期間が上限 5 年とされている一方で、後者は要件を満たせば家族帯同が可能で在留期間の上限はなく、永住申請の可能である。この制度と日本語教育の連動について学ぶ。 事前学修 2.0hr：特定技能について調べてくる。 事後学修 2.0hr：特定技能と日本語教育はどのようにつながっているかをまとめる。
11回	**授業テーマ：難民と日本語** 授業内容：内戦などによる被害を避けるために母国を脱出し逃れてきた人々を「難民」という。1975 年にインドシナ 3 国（ベトナム・ラオス・カンボジア）が社会主義体制に移行したことで難民が大量発生し、日本にも到着した（海路で到着した人々をボートピープルと呼ぶ）。日本では当初一時的な滞在のみ認められたが、その数が増える中で定住受け入れの議論が活発化し、1978 年に閣議了解により定住を認める方針が打ち出された。受け入れ組織が設立され、日本語教育や職業訓練をはじめとする支援が行われた。この状況を説明する。 事前学修 2.0hr：難民と日本の関係 事後学修 2.0hr：難民受け入れまでにどのようなことがあったかをまとめる。
12回	**授業テーマ：日本語教育史１（16 世紀から幕末開国期までの日本語研究と日本語教育）** 授業内容：ここでは、「キリシタンの日本語教育」（初期の日本語学習、ヴァリニャーノの改革、日本語学習書、ロドリゲスの日本語教育論、帝政ロシアの日本語教育、ヨーロッパの日本語研究、幕末開国期の在日外国人による日本語研究）について説明する。また、明治期の日本に多大な影響を与えたチェンバレンについて論じる。彼は合計 2488 の漢字を挙げ、それを学習の目的は何であれ、一般の日本語学習者が基本的に学習すべきものとしている。この論拠について解説する。 事前学修 2.0hr：キリシタンの日本語教育の功績について調べてくる。 事後学修 2.0hr：チェンバレンと日本語学についてまとめる。
13回	**授業テーマ：日本語教育史２（戦前日本国内の日本語教育）** 授業内容：ここでは、「戦前の日本国内の日本語教育」について、弘文学院、大同学校、特約五校、東亜学校、日本語教育振興会、松本亀次郎、松宮弥平、長沼直兄をキーワードに論じていく。東アジアにおける近代は、西欧覇権主義という衝撃をいかに受け止めるかという過程であり、日本の場合、それはまず「近世から幕末に至る西欧との出会いの時期」に始まり、明治期という「西欧化に邁進した時期」、それに「一応の成功をみ、自らも覇権主義に陥っていく時期」の三段階からなる。この時期における日本語教育、日本語学について学ぶ。 事前学修 2.0hr：日朝修好条約と下関条約について調べてくる。 事後学修 2.0hr：戦前の日本語教育を考えるフレームについて示し、それぞれの特徴をまとめる。
14回	**授業テーマ：日本語教育史３（一般成人のための日本語教育）** 授業内容：まず授業では、「一般成人」ということばについて説明を行う。多様化した日本語教育では、「留学生」「技術研修員」「外交官」「宣教師」「小・中・高校生」「難民定住者」「帰国残留孤児」など、それぞれ特定の学習者を対象として設立された日本語教育機関がある。それに対して、対象を特定しない、だれでも入学できる日本語学校があり、このような日本語学校で学習する人々を職業、身分にかかわらず「一般成人」と呼ぶこととし、ここでの日本語教育について説明する。 事前学修 2.0hr：終戦直後の日本語教育がどのようなものであったかを調べてくる。 事後学修 2.0hr：「一般成人の日本語教育」のうち 1 つを選びまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 1 回から 14 回までのテーマのうち、各自が関心を持った事項を 1 つ選び、レポートにまとめる。そして授業の後半では各自がまとめたものを、「ピアリーディング」の手法を用いてペアの相手に読み聞かせ、論拠の甘さなどを指摘し合い、再度レポートを「修正」し提出する。「書く」という行為と「読む」という行為、また人を意識した「持論の展開の仕方」を経験することにより、緊張感のある受講態度を認識することを第一の目的とする。 事前学修 2.0hr：各自が最も関心のあったテーマを 1 つ選び、まとめたものを発表する。 事後学修 2.0hr：指摘を受けた部分を修正しまとめる。

第二言語習得論

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

木山　三佳 (きやま　みか)

▌授業の概要

本科目は、平成 31 年文化審議会国語分科会「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改訂版」で示された日本語教師【養成】の(14)談話理解、(15)言語学習、(16)習得過程(第一言語・第二言語)、(17)学習ストラテジーを含む。効果的な日本語教育を考えるために、学習者の言語情報の処理過程や学習の仕組み、学習の方法について理解する。個々の学習者に合わせた日本語教育を考えるために、言語の習得過程や学習者要因、また学習効果を高める方略について理解する。言語習得のメカニズムをふまえた指導方法についての知識を得る。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：言語理解、談話理解、言語学習の心理、第一言語、第二言語の習得過程、学習ストラテジー、日本語の学習・教育の情意的側面などについて説明できる。それらの知識を、実際の指導場面で応用して、よりよい授業を行うための工夫を考えることができる。日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育に関する知識と能力を身につける。

個別目標：(1) 第二言語習得論に関わる基本的な専門用語を正しく使用することができる。
(2) 言語習得に関わる先行研究の知見を理解して説明することができる。
(3) 言語習得の理論を活かした指導を考えることができる。
(4) 課題達成のために他者との協働作業を行うことができる。
(5) 第二言語習得のプロセスに関わる要素を適切に評価し、授業活動を考え、実践し、正しく振り返ることができる

▌履修条件

毎回出席し、コメントシートを提出する。反転授業なので教科書を読んでくること。
欠席時には必ず Manaba で事前に理由等を連絡すること。
学習者言語の分析、授業教材の作成などの活動では協力して取り組むこと。
提出物の期限を厳守すること。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）60%、最終試験 40%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

毎回コメントシートで質問を受け付ける。
課題および試験のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピアインストラクション・コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （第 2 回学習者言語の分析。スマホでも対応可能。）

▌教科書

日本語を教えるための第二言語習得論入門　著者 大関浩美　発行くろしお出版

▌参考書

研究社日本語教育辞典　著者近藤安月子、小森和子編　ISBN コード 978-4-7674-9109-7
そのほか、授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：科目の概要、目的、履修条件、評価、授業の進め方について説明を行う。第二言語習得論とは何かをテーマにした講義。主なキーワードは、対照分析仮説・行動主義心理学・誤用分析・エラー・ミステイク・言語間の誤り・言語内の誤り・グローバルエラー・ローカルエラーである。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。事前アンケートに回答する。 事後学修 2.0hr：授業内容・配布資料を基に自分の体験に照らし合わせて意見をまとめる。
2回	**授業テーマ：中間言語分析：学習者独自の言語体系** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。中間言語分析：学習者独自の言語体系をテーマにした講義。主なキーワードは、第二言語学習者の特性・習得の不完全性の説明・誤用分析の限界・中間言語の概念の誕生・創造的構築仮説の提唱・可変性・学習者の U 字型発達曲線である。グループワークで学習者言語の分析を行う。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：学習者の母語は第二言語習得にどう影響するか** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。学習者の母語は第二言語習得にどう影響するかをテーマにした講義。主なキーワードは、母語習得・喃語・共同注意・母語の転移・対照分析による学習難易度階層・有標性・有標性弁別仮説・中間言語語用論・言語間の距離である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：習得には決まった順序があるのか** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。習得には決まった順序があるのかをテーマにした講義。主なキーワードは、習得順序・自然な習得順序・発達順序・多次元モデル・処理可能性理論・発達段階である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：習得に必要なのはインプットか** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。習得に必要なのはインプットかをテーマにした講義。主なキーワードは、モニターモデル・ナチュラルアプローチである。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：習得に必要なのはアウトプットか** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。習得に必要なのはアウトプットかをテーマにした講義。主なキーワードは、インターアクション仮説・アウトプット仮説・言語習得の認知プロセス・気づき・インテイク・否定証拠・肯定証拠・自動化である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。

7回	**授業テーマ：様々な教室活動１** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。様々な教室活動をテーマにした講義。主なキーワードは、インプット重視の指導・スキャニング・オーラルイントロダクション・音読・コンセプトマップである。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
8回	**授業テーマ：様々な教室活動２** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。様々な教室活動をテーマにした講義。主なキーワードは、指示質問・提示質問グループワーク・インフォメーションギャップタスク・ジグソーリーディングである。グループワークで教材を作成する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
9回	**授業テーマ：言語知識の実態** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語知識の実態をテーマにした講義。主なキーワードは、処理指導・アウトプット重視の指導法・ディクトグロス・インプット強化・意識高揚・ガーデンパスである。グループワークで教材を作成する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
10回	**授業テーマ：形式に焦点を当てた指導** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。形式に焦点を当てた指導をテーマにした講義。主なキーワードは、形式に焦点をあてた指導・FonF・FonF・FonM・フィードバック・リキャスト・プロンプトである。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：外国語は早くから始めたほうがいいのか** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。外国語は早くから始めたほうがいいのかをテーマにした講義。主なキーワードは、臨界期仮説・バイリンガリズム・イマージョンプログラム・BICS と CALP・二言語分離仮説・相互依存仮説・敷居理論である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。最終レポート課題の内容、条件等を確認し、準備を行う。
12回	**授業テーマ：言語適性** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語適性をテーマにした講義。主なキーワードは、言語適性の 4 つの要素・ワーキングメモリー・外国語効果である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。最終レポートの執筆、提出を行う。
13回	**授業テーマ：学習スタイル** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。学習スタイルをテーマにした講義。主なキーワードは、認知スタイル・学習スタイル・場独立・場依存である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
14回	**授業テーマ：言語習得に及ぼす個人差の影響・学習者要因** 授業内容：コンセプトクエスチョンに答える。ピアインストラクションを行う。言語習得に及ぼす個人差の影響・学習者要因をテーマにした講義。主なキーワードは、動機づけ・統合的動機付け・道具的動機付け・内発的動機付け・外発的動機付け・性格差・曖昧さに対する寛容性・学習ストラテジー・不安である。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。確認チェックをする。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク・コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：最終試験とフィードバック** 授業内容：最終レポートの講評。最終試験を行いフィードバックを行う。コース全体の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読む。 事後学修 2.0hr：レポート　振り返り

日本語教育実習

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

木山　三佳（きやま　みか）

▌授業の概要

本科目は平成 31 年の文化審議会国語分科会の報告「日本語教育人材の養成・研修の在り方について (報告)改定版」で示された日本語教師【養成】における教育内容に基づく(28)教育実習である。学習者の日本語能力と求められる日本語教育プログラムの目的や目標を踏まえた日本語教育を考えるために、コースを設計する方法、学習項目に合わせた教授法や教材の選択、授業を組み立てるための準備、学習の成果を測る観点と方法、教授能力を高めるための自他の授業分析に必要となる知識および日本語教育を実践する力を身につける。①オリエンテーション、②授業見学、③授業準備(教案・教材作成等)、④模擬授業、⑤教壇実習、⑥教育実習全体の振り返り、を含む。さらに学習者に対する評価、テストや課題(宿題)等の作成、多様な実践を取り入れる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③）

一般目標：学習者に合わせたコースを設計することができる。具体的には、バックワードデザインで目的に合わせて、教授法や教材を選び、授業を組み立て、学習成果を測る観点と方法を選ぶことができる。形成的アセスメントを行い授業を実践できる。日本語教育の問題解決に寄与できる。

個別目標：1 実践研修全体の目的・目標を理解し、日本語教師として求められる資質・能力と実践研修がどのように関わるか説明できる。

2 授業の流れ及び学習者や教師の様子を観察し、授業を分析することができる。

3 教壇実習の場となるプログラムやコースのカリキュラムを踏まえて、授業で扱う内容を理解し、学習者の学びを計画するとともに、その実施のために必要な教材・教具等を準備することができる。

4. 授業計画や教材・指導方法などの妥当性を検討するために、模擬授業を実施し、振り返りや改善を行うことができる。

5 単独で教壇に立ってクラス指導を行うとともに、授業を客観的に分析し、改善を図ることができる。

6 日本語教師として自律的に成長していくために、実践研修全体を振り返り、内省することができる。

▌履修条件

日本語教員養成課程修了証明書取得に必要な科目を全て習得済み、もしくは習得見込みであること。1 回目のオリエンテーションを受講することが必須課題となっているため、第一回に必ず出席する。授業概要に書いた①～⑥および他の課題、を完遂し、報告書を作成できなければ単位の修得ができない。授業見学や教壇実習などで外部機関にお世話になるので、責任ある振る舞いが求められる。提出期限の遵守、速やかな報告・連絡等はもちろん、自分の授業準備では学習者のために十分な準備を行い、他者の授業を見る際には建設的なコメントを行うこと。日本語非母語話者が本科目を履修する場合、高い日本語運用能力が必要となる。日本語能力試験 N1 を取得済みであることが望ましい。N1 未取得の場合、事前に履修を相談すること。N1 不合格 90 点以上、あるいは、BJT420 点以上を基準とする。

▌評価基準・方法

個別目標１はレポート 10%、個別目標２はレポート 10 %、個別目標３は課題・テスト 20%、個別目標４は模擬実習ルーブリック 25 %、個別目標５は教壇実習ルーブリック 25 %、個別目標６はレポート 10 %、で評価する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、課題返却、対面、manaba などを通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （協働学習・フィールド学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （教案作成、教材作成、模擬授業での資料投影に使用する。）

▌教科書

レジュメを配布する。適宜、必要な情報を manaba、共有ドライブにあげる。

▌参考書

学習の本質 -研究の活用から実践へ　OECD 教育研究革新センター　明石書店　ISBN 978-4750337852

形成的アセスメントと学力 人格形成のための対話型学習をめざして OECD 教育研究革新センター 明石書店　ISBN　978-4750327402

アクティブラーニングのための学習評価法　形成的アセスメントの実践的方法　著者名シャーリー・クラーク関西大学出版部　ISBN コード 978-4-87354-629-2

教師教育学:理論と実践をつなぐリアリスティック・アプローチ、 F. コルトハーヘン著　学文社　ISBN コード　978-4762020445

他、多数。資料で紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：日本語教師の資質・能力** 授業内容：本科目の概要の説明を行う。平成 31 年 3 月文化審議会国語分科会「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改訂版」等を読み、法務省告示日本語教育機関における日本語教員の要件、日本語教師【養成】における教育内容、いわゆる必須の 50 項目、日本語教育実習の要件、「日本語教育の参照枠」について、理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。「日本語教育の参照枠」の 3 つの理念、5 つの言語活動、6 つの日本語能力レベルを理解する。 事後学修 2.0hr：日本語教育機関認定法に関わるについて文部科学省、文化庁などの HP を調べ、レポート作成、提出する。	16 回	**授業テーマ：授業準備　聴解の指導　初級・中上級** 授業内容：聴解の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：聴解の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：聴解の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。
2 回	**授業テーマ：日本語教育の授業見学、日本語教育のアセスメント、教案・授業のルーブリック** 授業内容：日本語教育現場の動画を見て、ルーブリックを参照して評価を行う。授業見学をする。 事前学修 2.0hr：バックワードデザイン、アセスメントについてのレジュメを読む。日本語教育現場の動画を見て、授業見学の観点を考えて来る。 事後学修 2.0hr：別科等で授業見学を行い、見学レポートを作成する。	17 回	**授業テーマ：模擬授業　初級聴解の授業** 授業内容：初級の聴解の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。

3回	**授業テーマ：授業準備　語彙の指導　初級・中上級** 授業内容：語彙の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：語彙の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：語彙の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。	18回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級聴解の授業** 授業内容：中・上級の聴解の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。
4回	**授業テーマ：模擬授業　初級語彙の授業** 授業内容：初級の語彙の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を 2 日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。	19回	**授業テーマ：授業準備　読解の指導　初級・中上級** 授業内容：読解の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：読解の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：読解の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。
5回	**授業テーマ：模擬授業　中・上級語彙の授業** 授業内容：中・上級の語彙の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。	20回	**授業テーマ：模擬授業　初級読解の授業** 授業内容：初級の読解の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。
6回	**授業テーマ：問題作成　JLPT 言語知識の形式での語彙・文法の多肢選択問題の作成** 授業内容：言語能力を評価する方法の一つとして JLPT 言語知識の問題を分析し、語彙・文法の各種の問題を分析する。作問の要諦を理解し、語彙・文法の多肢選択問題の作成をする。 事前学修 2.0hr：JLPT　言語知識の例題と解法の説明を JLPT の HP で読む。 事後学修 2.0hr：問題を完成し Manaba に提出する。他の人の問題を解いて気づいた点をコメントする。	21回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級読解の授業** 授業内容：中・上級の読解の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。
7回	**授業テーマ：授業準備　文法の指導　初級・中上級** 授業内容：文法の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：文法の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：文法の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。	22回	**授業テーマ：問題作成　読解問題** 授業内容：JLPT の読解問題を分析し、読解の各種の問題を分析する。作問の要諦を理解し、読解の多肢選択問題の作成をする。 事前学修 2.0hr：JLPT　読解問題を読み、例題と解法の説明を JLPT の HP で読む。 事後学修 2.0hr：問題を完成し Manaba に提出する。他の人の問題を解いて気づいた点をコメントする。
8回	**授業テーマ：模擬授業　初級文法の授業** 授業内容：初級の文法の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。	23回	**授業テーマ：授業準備　作文の指導　初級・中上級** 授業内容：作文の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：作文の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：作文の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。
9回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級文法の授業** 授業内容：中・上級の文法の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。	24回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級作文の授業** 授業内容：中・上級の作文の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：実習を行ったものは、教案を修正し、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。そのほかの学生はコメントシートを作成する。
10回	**授業テーマ：授業準備　会話(やりとり・発表)の指導　初級・中上級** 授業内容：会話(やりとり・発表)の指導方法、授業の作り方について学ぶ。教科書分析から授業の目標について、意見交換をする。また、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：会話(やりとり・発表)の教科書を読む。教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：会話(やりとり・発表)の授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。	25回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級作文の授業** 授業内容：中・上級の作文の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。
11回	**授業テーマ：ルーブリックの作成　会話(やりとり・発表)の評価** 授業内容：パフォーマンス評価の方法について学ぶ。会話(やりとり・発表)のルーブリックを作成する。 事前学修 2.0hr：ルーブリックとは何か、ルーブリックの構成要素は何かを調べる。 事後学修 2.0hr：会話(やりとり・発表)のルーブリックを完成させ、manaba に提出する。	26回	**授業テーマ：授業準備　多様な学習者に対する指導** 授業内容：就労者、児童・生徒の日本語指導、授業の作り方について学ぶ。日本語教育の参照枠、および、参考文献をもとに、それぞれの目標を考え、目標の達成をどのように評価するか、評価方法を考える。 事前学修 2.0hr：就労者・児童・生徒の授業の様子を動画で見る。それぞれの学習者用の日本語教材を読み、教科書分析を行う。授業の目標を考える。 事後学修 2.0hr：それぞれの授業活動を考え、授業の流れをレポートとして提出する。
12回	**授業テーマ：模擬授業　初級会話の授業** 授業内容：初級の会話の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。	27回	**授業テーマ：模擬実習　就労者の日本語指導** 授業内容：就労者に向けた日本語指導の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：模擬実習担当者は、フィードバックを踏まえて教案を修正、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。学習者役の学生はコメントシートを作成する。
13回	**授業テーマ：模擬実習　中・上級会話の授業** 授業内容：中・上級の会話の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：実習を行ったものは、教案を修正し、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。そのほかの学生はコメントシートを作成する。	28回	**授業テーマ：模擬授業　児童・生徒の日本語指導** 授業内容：児童・生徒の日本語指導の模擬授業を行う。他の学生、TA、教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：模擬実習担当者は最終教案・教材を２日前朝 7 時までに manaba に提出する。学習者役の学生は、教案を事前に読み、ルーブリック評価を行う。 事後学修 2.0hr：実習を行ったものは、教案を修正し、自己評価のルーブリックと、振り返りシートを記入する。そのほかの学生はコメントシートを作成する。

14回	**授業テーマ：教壇実習** 授業内容：別科等で教壇実習を行う。別科指導教員・科目担当教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：3 週前までに別科指導教員と事前打ち合わせを行う。教材研究・教案作成・教材作成を行い、科目担当教員及び別科指導教員の指導を受ける。 事後学修 2.0hr：フィードバックを踏まえて、教壇実習のルーブリック、振り返りを作成する。	29回	**授業テーマ：教壇実習** 授業内容：別科等で教壇実習を行う。別科指導教員・科目担当教員による検討およびフィードバックを行う。 事前学修 2.0hr：3 週前までに別科指導教員と事前打ち合わせを行う。教材研究・教案作成・教材作成を行い、科目担当教員及び別科指導教員の指導を受ける。 事後学修 2.0hr：フィードバックを踏まえて、教壇実習のルーブリック、振り返りを作成する。
15回	**授業テーマ：前学期振り返り** 授業内容：授業見学・模擬授業・教壇実習の振り返りの発表会を行う。 事前学修 2.0hr：前学期の振り返りに必要な書式を整える。 事後学修 2.0hr：前学期の報告書を完成させ、提出する。コメントシートを完成させて、manaba に提出する。	30回	**授業テーマ：後学期の振り返り** 授業内容：授業見学・模擬授業・教壇実習の振り返りの発表会を行う。 事前学修 2.0hr：後学期の振り返りに必要な書式を整える。 事後学修 2.0hr：後学期の報告書を完成させ、提出する。コメントシートを完成させて、manaba に提出する。

年少者日本語教育概説

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

木山　三佳 (きやま　みか)

▌授業の概要

本科目は、平成 31 年文化審議会国語分科会「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)改訂版」で示された日本語教師【養成】の(27)授業計画を含む。日本語を第二言語とする子どもの言語教育、学校教育の問題を考える。子どもの日本語教育の分野の中でも「言語」についてのトピックを中心に扱う。日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育に関する知識と能力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：外国につながる子どもの言語力や教育方法について説明ができる。
　　日本語の運用能力及び専門的知識、日本語教育に関する知識と能力を身につける。
個別目標：バイリンガルの言語能力、教育について説明をすることができる。
　　日本にいる外国につながる子どもの教育の実態を説明することができる。
　　外国につながる子どもの背景や目的を考慮して、適切な教育方法を選択することができる。
　　外国につながる子どもに対する授業計画を考えることができる。
　　外国につながる子どもに対する教材を作成することができる。

▌履修条件

毎回出席し、欠席の際は必ず manaba で理由等を連絡すること。
反転授業なので教科書を読んでくること。
話し合い学習では協力して取り組むこと。
提出物の期限を厳守すること。

▌評価基準・方法

平常評価(通常週の課題提出による評価) 50%、教材作成・授業計画　20%、学期末試験 30%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題・試験のフィードバックは manaba を通して行う。
毎回コメントシートで質問等を受け付ける。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピアインストラクション・コメントシート・話し合い学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （教材作成・授業計画の際にパソコンが必要。）

▌教科書

『外国につながる子どもの日本語教育』西川朋美編著　くろしお出版

▌参考書

『文化的・言語的に多様な子ども(CLD 児)支援のためのガイドブック：日本語教育と特別支援教育の統合をめざして』鈴木ゆみ著風間書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスに書かれている内容についての理解を確認する。事前のアンケートを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク
2回	**授業テーマ：日本語教育の対象としての子ども** 授業内容：日本語教育における年少者の位置づけについて話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメ　事前読み物を読む。　コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
3回	**授業テーマ：子どもの第二言語習得について知る　7 章** 授業内容：成人との違いや、子どもの第二言語習得の成否を決める要因について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキスト 7 章を読む。確認チェックをする 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
4回	**授業テーマ：バイリンガリズム** 授業内容：二言語話者の認知システムや二言語の発達過程について、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
5回	**授業テーマ：教科学習に必要な言語能力　6 章** 授業内容：学齢期の子どもにとって必要な学習言語能力について、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
6回	**授業テーマ：海外におけるバイリンガル教育** 授業内容：バイリンガル教育を題材に、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする・中島和子「マルチリンガル教育への招待」ひつじ書房を読む。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
7回	**授業テーマ：バイリンガル育成のための理論** 授業内容：バイリンガル育成のための理論について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
8回	**授業テーマ：教科学習と日本語学習をつなぐ　5 章** 授業内容：教科学習と日本語学習をつなぐ方法についての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。授業計画を立てる。
9回	**授業テーマ：日本語という言語を外から見る　8章** 授業内容：外から見る日本語、という点についての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。

10回	**授業テーマ：公立小学校での子どもの日本語教育　1 章** 授業内容：公立小学校での外国につながる子どもの実態について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
11回	**授業テーマ：日本社会の中の「子どもの日本語教育」を知る　2 章** 授業内容：日本における子どもの日本語教育の実態について、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
12回	**授業テーマ：子どもの日本語力を評価する　3 章** 授業内容：子どもの日本語力を評価する難しさについて、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
13回	**授業テーマ：子どものための日本語教材を使う・作る　4 章** 授業内容：子どものための日本語教材について、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。子どものための日本語教材を作る
14回	**授業テーマ：母語・継承語も育てる　9 章** 授業内容：子どもの言語能力にとっての母語の役割について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：事後確認タスク。コンセプトマップを作成する。
15回	**授業テーマ：最終試験・振り返り** 授業内容：授業計画、教材のフィードバックを行う。最終試験を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。確認チェックをする。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コース全体を振り返り、振り返りレポートを作成する。

児童生徒のための日本語教育論

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後　｜　備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

授業の概要日本語教師【養成】における教育内容のうち、教育に関わる領域、「言語と教育」⑩言語教育法・実習(27)授業計画にかかわることを中心に学ぶ。授業計画をたてるために、日本語指導が必要な児童生徒の背景や現状を知り、問題点について考える。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：多文化共生社会の担い手となるべく大学生として、外国につながりのある児童生徒の背景や課題等について知る。
児童生徒に対する日本語教育の施策や制度について現状を確認したうえで、問題点を認識する。
すべての人が参加し尊重しあえる社会を作り上げるために、外国につながりのある児童生徒に対してなされるべきことを考え、各々が実践に結びつけることの重要性を認識する。

個別目標：多文化共生社会の担い手として「複言語複文化」という概念について理解し説明することができる。
外国につながりのある児童生徒をとりまく問題を認識するとともに自らのことばで他者に対して説明ができる。
言語教育において対象が成人である場合と児童生徒等年少者である場合の違いについて説明することができる。
外国につながりのある児童生徒をめぐる問題に関して、何が必要で何ができるかを考え、具体的な行動を計画することができる。。

▌履修条件

日本語支援が必要な児童生徒に対する教育施策などの情報収集を行なうこと

▌評価基準・方法

平常評価(小テスト及び課題) 60 %、
期末試験(まとめのテスト) 40 %

▌フィードバック方法

フィードバックは、教室および manaba において行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （インターネット上にある統計資料等を読む。）

▌教科書

授業内において指示する。

▌参考書

『外国人の子どもへの学習支援』斎藤ひろみ編著　金子書房　ISBN978-4-7608-9559-5
『外国人の子ども白書―権利・貧困・教育・文化・国籍と共生の視点から―　第 2 版』明石書店　ISBN978-4-7503-5332-6
『外国人児童生徒のための支援ガイドブック―子どもたちのライフコースによりそって』凡人社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、授業の進め方** 授業内容：当該授業の目的の確認、授業および課題への取り組み姿勢の確認 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで本講義の概要をつかむ。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
2回	**授業テーマ：日本語教育の対象となる児童について** 授業内容：在留外国人の状況について確認するとともに、子どもたちの多様性についても認識する。また、外国人の子どもの学ぶ権利について考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
3回	**授業テーマ：児童生徒に向き合う姿勢** 授業内容：多文化共生社会を目指す中で、日本語支援を必要とする児童生徒に向き合う姿勢、つまり、受け入れる姿勢について考える。子どもたちにとっての「日本語」の意味を考えるとともに、子どもたちの言語的文化的な豊かさを認識し、彼らの母語母文化を尊重すること、さらに彼ら自身が母語母文化に誇りをもつことの大切さも学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
4回	**授業テーマ：支援の実際①　就学前の子ども** 授業内容：就学前の子どもたちに対しての支援についての学びを深める。なぜ必要なのか、また、どのように行う可能性があるのか等を、実践例を知ったうえで、自ら深く考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
5回	**授業テーマ：支援の実際②　小学生低学年中学年** 授業内容：小学生低学年と中学年に対しての支援について、実践例を知ることによって気をつけるべきポイントや支援の可能性等について考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
6回	**授業テーマ：支援の実際③　小学生高学年** 授業内容：小学生高学年に対しての支援について、実践例を知ることによって気をつけるべきポイントや支援の可能性等について考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
7回	**授業テーマ：教材分析①　小学生対象** 授業内容：小学生対象の教材について分析する。インターネットでアクセスできる教材、市販の教材等、複数の教材に触れる。自分が教材を使う場合の使用方法、工夫点についても考え、グループ内もしくはクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
8回	**授業テーマ：支援の実際④　中学生** 授業内容：中学生に対しての支援について、実践例を知ることによって気をつけるべきポイントや支援の可能性等について考える。高校受験を控えている中学生に対する支援としておさえるべき点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。

9回	**授業テーマ：支援の実際⑤　高校生** 授業内容：高校生に対しての支援について、実践例を知ることによって気をつけるべきポイントや支援の可能性等について考える。就職あるいは大学進学を希望する高校生に対する支援としておさえるべき点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
10回	**授業テーマ：教材分析②　中学生・高校生** 授業内容：中学生・高校生対象の教材について分析する。インターネットでアクセスできる教材、市販の教材等、複数の教材に触れる。自分が教材を使う場合の使用方法、工夫点についても考え、グループ内もしくはクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
11回	**授業テーマ：新しい教材** 授業内容：デジタル教科書、インターネットを使った教材等、新しい時代の教材についてその実態を知る。子どもたちの学びに役立つ機能等を知り、実際に支援に当たる際のヒントを得る。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
12回	**授業テーマ：地域ごとの支援の実態** 授業内容：集住地域と散在地域について確認し、それぞれの特徴、問題点等を確認する。さらに、どのような支援方法が有効であるか等について考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
13回	**授業テーマ：多文化共生を目指した支援** 授業内容：連携の力について考える。大学と地域や企業等との連携の例を知ることによって、連携することによる新たな関係づくりやその意義を考える。多文化共生社会を目指す中で、子どもたちの支援にどう取り組むか、また、どのような可能性があるか等についても議論し、認識を深める。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
14回	**授業テーマ：ライフコース** 授業内容：進学、就職、そして 10 年後、20 年後について、目先のことだけではなく長いスパンで子どもたちを見ることの必要性について考える。未来への希望をもって現在の課題に取り組むことの大切さを議論し、考えを深める。キャリア教育についても実例を見るとともに、よりよい方法について考え、グループ内もしくはクラス内で発表する。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業で気づいたことや考えたことについて自分の言葉でまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：児童生徒の抱える問題、児童生徒への日本語教育に関する注意事項等を確認する。さらに、自分には何ができるか、どのような取り組みの可能性があるかについて考える。 事前学修 2.0hr：教科書／資料の指定箇所に関する課題に取り組み授業に備える。 事後学修 2.0hr：授業を通して得た新たな気づき、深く考えたこと、また自らの取り組みの可能性等についてレポートを書く。

日本語学習支援・実地研究

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

多文化共生をめざす社会において必要な日本語教育について理解を深め、考察する力を育成する科目である。生活者、就労者の現状を学び、彼らに対してどのような日本語学習支援が求められているのか必要な支援を検討する。実際の教育現場の事例をもとに、それぞれの目的に沿った教育プログラム・活動を考案する。授業ではディスカッションやマイクロ・ティーチングなどクラスメートと協働する機会が多数ある。当該科目は「日本語教員養成課程修了証明書」の対象科目の一つである。また、日本語教師【養成】における必須の教育内容(31)目的・対照別日本語教育法を含む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②）

一般目標：学習者の目的に適した日本語学習プログラムの設計、活動を行うために必要な知識とスキルを身に付ける。

個別目標：(1) 多文化共生社会における生活者、就労者に関する背景知識を整理する。
(2) 生活者、就労者が日本で遭遇する言語活動を達成できるようにプログラムのデザインができる。
(3) 生活者、就労者が日本で遭遇する言語活動を達成できるように適切な授業を展開できる。

▌履修条件

(1)「日本語教育実習」を履修中または履修済み、もしくは同等のスキルを持っている。
(2) 毎回積極的に授業に参加し、発言する。
(3) 課題提出の期限を守る。
(4)「日本語教員養成課程修了証明書」の取得を目指している。

▌評価基準・方法

課題提出 40%、模擬授業 30%、テスト 20%、学習の振り返り 10%で評価を行う。

▌フィードバック方法

フィードバックは対面授業と manaba から行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回、グループワークがある。マイクロティーチングがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料の閲覧、課題の作成時に PC を利用する。manaba も使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：多文化社会の日本の現状** 授業内容：グローバル化の急速な進展に伴い、人々の国際移動はますます活発化している。こうした状況を踏まえ、日本社会の一員として外国人受け入れの現状を具体的なデータをもとに把握し、日本の現状について基礎的な知識を学習する。 事前学修 2.0hr：日本語教育の知識を整理する。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
2回	**授業テーマ：地域日本語教育１全体像** 授業内容：地域日本語教育を支えるさまざまな担い手とその活動について学び、地方公共団体、国際交流協会、NPO、ボランティアなど、それぞれの役割や業務内容の違いと特徴について学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
3回	**授業テーマ：地域日本語教育２日本語教室** 授業内容：地域の日本語教室がどのような場であるのかを理解するとともに、どのような場であることが望ましいのかについて、被支援者と支援者の両方の立場から学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
4回	**授業テーマ：地域日本語教育３生活の中で必要な日本コミュニケーション** 授業内容：生活者が日常生活で直面する具体的な場面を取り上げ、そこで求められる行為や、それを支える言語能力について理解を深め、学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
5回	**授業テーマ：地域日本語教育４日本語教室における学習支援** 授業内容：実際の事例をもとに、地域の日本語教室における具体的な取り組みや役割について理解を深め、生活者への日本語支援のあり方について学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
6回	**授業テーマ：地域日本語教育５授業計画** 授業内容：地域の日本語教室を想定し、学習者の背景や生活場面を考慮しながら、生活者に日本語を支援するための授業を計画する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
7回	**授業テーマ：地域日本語教育６教材作成** 授業内容：生活者に日本語を指導するために、学習者の状況や課題を考え、必要な情報や資料を収集し、それらを基に教材を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
8回	**授業テーマ：地域日本語教育７マイクロ・ティーチング** 授業内容：地域の日本語教室を想定したマイクロ・ティーチングを行い、その実践を通して、クラスメートと相互に意見を交換しながら授業の工夫や課題について考察する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
9回	**授業テーマ：外国人受け入れ政策と就労者** 授業内容：就労者の位置づけを理解し、技能実習制度や特定技能、高度外国人材などの外国人受け入れの仕組みと、その背景にある日本社会の状況について学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

10回	**授業テーマ：就労者に対する日本語教育１背景と問題** 授業内容：就労者に対して日本語指導者がどのような場づくりを目指すべきか、またどのような日本語指導が求められるのかについて考え、日本語教育関係者としての役割について学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
11回	**授業テーマ：就労者に対する日本語教育２コースデザインと評価** 授業内容：就労者や利害関係者のニーズを踏まえたコースをデザインする。就労者に対する評価の目的、評価方法を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
12回	**授業テーマ：就労者に対する日本語教育３授業計画** 授業内容：就労場面を想定し、授業目標の設定、内容構成、教材の検討を行い、マイクロティーチングに向けた授業計画を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
13回	**授業テーマ：就労者に対する日本語教育４教材作成** 授業内容：授業計画に基づき資料や素材を収集したうえで、就労者に日本語を指導するための教材を作成する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
14回	**授業テーマ：就労者に対する日本語教育５模擬授業と相互点検** 授業内容：就労者を対象とした日本語指導を想定したマイクロティーチングを行い、その実践についてクラスメートと相互に点検しながら、指導内容や進め方について検討する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。
15回	**授業テーマ：総括とフィードバック** 授業内容：コース全体を振り返り、目的および対象別に必要な日本語教育を整理する。 事前学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で提示された課題を行う。

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

日本語教育の知識を基に、日本語学、日本語教育学、社会言語学の研究領域を考察・研究する。
特に日本語学では「文法」「語彙」「音韻」「表記」を、日本語教育学では「教授法」及び「言語習得に関わる心理的・社会的要因」を、また社会言語学では言語の多様性とそれに関連する言語問題を「文化」と絡めて考えていく。
また必要に応じて「日本語教育能力決定試験」との関わりを紹介する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：日本語教育を行う上での研究手法の手順・方法を知り、自らの研究を行うことができる。
　　学んだ項目がどのような文化と関わりを持つかが理解できる。
個別目標：特に言語文化化に関する基礎項目を把握することができる。

▌履修条件

人に頼らず言語研究に熱心に取り組む姿勢を保持していること。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

対面及び manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜、語彙調査などにおいて使用する。）

▌教科書

添付資料を教材とする。

▌参考書

適宜、指示する。
鈴木孝夫（1973）『ことばと文化』岩波新書
鈴木孝夫（1990）『日本語と外国語』岩波新書
金田一春彦（1988）『日本語　新版』（上）（下）岩波新書

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：社会・文化・地域 国際関係論・文化論・比較文化論な視点** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１（ことばの構造、文化の構造） 共時的展開と通時的展開 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	16回	**授業テーマ：言語と心理　15 回の応用** 授業内容：授業テーマ以外に「総復習２」を行う。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
2回	**授業テーマ：社会・文化・地域　１回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２（ことばの構造、文化の構造）２ 文化の項目と普遍的価値 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	17回	**授業テーマ：言語と心理　異文化理解、異文化接触、異文化コミュニケーション** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１５（ことばの意味、ことばの定義） 音と意味 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
3回	**授業テーマ：社会・文化・地域　政治的・経済的・社会的・地政学的な視点** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く３ ことばの構造性と辞典の記述 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	18回	**授業テーマ：言語と心理　17 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１６（ことばの意味、ことばの定義） 辞典は言葉の意味を説明しない 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
4回	**授業テーマ：社会・文化・地域　３回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く４ あらわな文化、かくれた文化 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	19回	**授業テーマ：言語と教育　学習者に対するミクロ的、マクロ的視点** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１７（ことばの意味、ことばの定義） 音と結合した個人の知識体験の総体 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
5回	**授業テーマ：社会・文化・地域　宗教的・民族的・歴史的な視点** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く５（ものとことば） ものとことばの対応関係 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	20回	**授業テーマ：言語と教育　19 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１８（ことばの意味、ことばの定義） ことばの意味はことばで伝達不可能かという問題 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
6回	**授業テーマ：社会・文化・地域　５回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く６（ものとことば） ことばがものをあらしめる 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	21回	**授業テーマ：言語と教育　学習活動の客観的分析** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１９（事実に価値を与える価値について） 日本人は残酷か、日本の犬と西洋の犬（日本と西洋の動物観から視野を広める） 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
7回	**授業テーマ：言語と社会　言語教育・言語習得と国際・地域社会の動向** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く７（ものとことば） ことばの文節性と虚構性 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	22回	**授業テーマ：言語と教育　21 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２０（事実に価値を与える価値について） 価値体系を無視した概念の輸入（矛盾を強制していないかの検証） 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。

8回	**授業テーマ：言語と社会　7回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く８(ものとことば) 言語的相対主義 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	23回	**授業テーマ：言語と教育　学習者の問題と教授・評価に関する知識** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２１(事実に価値を与える価値について) 日本語を測る尺度 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
9回	**授業テーマ：言語と社会　言語教育・言語習得と政治的・経済的・文化的構造との関係** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く９(ものとことば) 指示対象の曖昧性 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	24回	**授業テーマ：言語と教育　23 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く 22 (人を表すことば) 日本語の人称代名詞の歴史的背景 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
10回	**授業テーマ：言語と社会　9回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１０(ものとことば) 指示対象の領域のくいちがい 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	25回	**授業テーマ：言語一般　現代日本語の音声・音韻・語彙・文法・意味とその運用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２３(人を表すことば) 日本語の自称詞と対称詞の構造 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
11回	**授業テーマ：言語と社会　社会文化状況における個々人の言語使用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１１(かくれた基準) 形容詞の内容の相違 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	26回	**授業テーマ：言語一般　25 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２４(人を表すことば) 親族名称の虚構的用法 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
12回	**授業テーマ：言語と社会　11 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１２(かくれた基準) 相対的形容詞と絶対的形容詞 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	27回	**授業テーマ：言語一般　一般言語学・対照言語学の基礎知識** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２５(人を表すことば) ことばと行動様式 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
13回	**授業テーマ：言語と心理　学習過程、スタイル** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く１３(かくれた基準) 潜在的比較文と明示的比較文 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	28回	**授業テーマ：言語一般　27 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２６(人を表すことば) 教育とことば、文化 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
14回	**授業テーマ：言語と心理　13 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解１４(かくれた基準) 種の基準、規律基準、適格基準、人形(ひとがた)の基準 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	29回	**授業テーマ：言語一般　コミュニケーションにおける知識・能力** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２７ 授業テーマ以外に「総復習１」を行う。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。
15回	**授業テーマ：言語と心理　言語教育に必要な学習理論** 授業内容：授業テーマ以外に「総復習１」を行う。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。	30回	**授業テーマ：言語一般　29 回の応用** 授業内容：鈴木孝夫の『ことばと文化』を読み解く２８ 授業テーマ以外に「総復習１」を行う。 事前学修 2.0hr：予習シートを読んでくる。 事後学修 2.0hr：提出用復習プリントの課題を行う。

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

木山　三佳（きやま　みか）

▌授業の概要

学術的な文章や研究論文を書くために必要な基礎的な知識や技能を身につける。
ゼミ論を執筆し、自分の研究テーマを探し、卒業研究に向けて、論文として育てる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：日本語もしくは日本語教育に関する問いを探究し、学術的な文章で書くことができる。
個別目標：学術的な文章の書き方を説明できる。
　　問いをたて、それを明らかにする方法を考えることができる。
　　問い、方法、結果、考察に一貫性のある文章を書くことができる。
　　建設的なピアレビューを行うことができる。

▌履修条件

毎回出席する。欠席時には manaba で理由等を連絡する。提出物を期限内に提出する。

▌評価基準・方法

平常評価（通常週の課題提出による評価）70%、発表 30%の割合で評価する。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・話し合い学習法・コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成、コメントシートの作成等に利用する。）

▌教科書

『これから研究を書くひとのためのガイドブック』佐渡島紗織・吉野亜矢子　著　ひつじ書房

▌参考書

授業で指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：シラバスについての説明。学術的な文章を書けることの意義。事前テスト（制限時間内で意見文を書く） 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。テキストを読む。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。	16 回	**授業テーマ：外来語と専門用語を扱う** 授業内容：外来語と専門用語をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正を行う。
2 回	**授業テーマ：学術的文章とはどのような文章か** 授業内容：学術的文章の持つ特性をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	17 回	**授業テーマ：推敲・構成をする** 授業内容：推敲・構成をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正を行う。
3 回	**授業テーマ：一文一義で書く** 授業内容：一文一義をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	18 回	**授業テーマ：学術論文とは何か** 授業内容：学術論文をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正を行う。
4 回	**授業テーマ：語句を明確に使う** 授業内容：語句を明確に使うをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	19 回	**授業テーマ：文献研究と実証研究の性質と選択、論文の構成** 授業内容：文献研究と実証研究をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正を行う。
5 回	**授業テーマ：マップを作って書く** 授業内容：マップをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。マップを作成する。	20 回	**授業テーマ：テーマの選択** 授業内容：テーマの選択をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。自分のテーマを決める。
6 回	**授業テーマ：パラグラフを作る** 授業内容：パラグラフをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	21 回	**授業テーマ：領域の下調べをする** 授業内容：領域の下調べをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。領域の下調べをする。
7 回	**授業テーマ：主張を根拠で支える** 授業内容：主張を根拠で支えるをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	22 回	**授業テーマ：領域の先行文献をまとめる** 授業内容：領域の先行文献のまとめをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。領域の先行文献をまとめる。
8 回	**授業テーマ：論点を整理する** 授業内容：論点を整理するをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	23 回	**授業テーマ：アウトラインを考える** 授業内容：アウトラインをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。アウトラインを書く。
9 回	**授業テーマ：抽象度の調節をする** 授業内容：抽象度の調節をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正をする。	24 回	**授業テーマ：1 回目の序論を書く** 授業内容：1 回目の序論をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。自分の序論を書く。
10 回	**授業テーマ：参考文献を示す** 授業内容：参考文献をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。参考文献リストを作成する。	25 回	**授業テーマ：一次資料と二次資料** 授業内容：一次資料と二次資料をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。資料を作成する。
11 回	**授業テーマ：ブロック引用をする** 授業内容：ブロック引用をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。参考文献のブロック引用を行う。	26 回	**授業テーマ：情報を整理する** 授業内容：情報の整理することをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。情報を整理する。

12回	**授業テーマ：要約引用をする** 授業内容：要約引用をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。参考文献の要約引用を行う。	27回	**授業テーマ：画像を読む** 授業内容：画像を読むことをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。
13回	**授業テーマ：図や表を作る** 授業内容：図表をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。図表を作成する。	28回	**授業テーマ：データを読む** 授業内容：データを読むことをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。データを引用する。
14回	**授業テーマ：「私語り」から脱出する** 授業内容：「私語り」からの脱出をテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。課題文の修正を行う。	29回	**授業テーマ：結論を書く** 授業内容：結論を書くことをテーマに話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：コメントシートを作成する。最終課題の提出をする。
15回	**授業テーマ：前学期のふりかえり** 授業内容：前学期の学びを振り返る。お互いの文章を読みあう。 事前学修 2.0hr：テキストを読む。コンセプトクエスチョンに答える。 事後学修 2.0hr：前学期の振り返りを作成する。	30回	**授業テーマ：最終発表・振り返り** 授業内容：最終課題を発表する。1 年の学びを振り返る。 事前学修 2.0hr：発表の準備を行う。 事後学修 2.0hr：振り返りを作成する。

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

日本語・日本文化を中心テーマとし、さまざまな言語事象や社会現象を注意深く観察し、比較言語の立場、日本語教育の立場からも考察し、４年次の卒業研究に向けての準備をする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：卒業研究に向けて、日本語や日本文化に対する問題意識を持ち、問題解決の方策を定めることができる
個別目標：①日本語・日本文化について問題提起し、その解決方法についてわかりやすくプレゼンテーションをすることができる
②卒業研究のテーマについて研究計画書をまとめることができる

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

発表：40 % レポート：40 % 質疑応答への参加：20 %
５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表およびディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用しての情報検索と課題提出）

▌教科書

なし

▌参考書

各学生のテーマに応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テーマの決定(1)興味ある語および分野の確認** 授業内容：４年次に執筆する卒業論文の準備を開始する。各自が研究する分野について確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	16回	**授業テーマ：発表・討議 1 例：「わざと」の意味・用法の変化** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：テーマの決定(2)問題点の発見** 授業内容：各自が興味をもつ分野について、どのような問題があるのか考察する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	17回	**授業テーマ：発表・討議2例：「をかし」の意味・用法の変化** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
3回	**授業テーマ：テーマの決定(3)問題解決の方法** 授業内容：各自の問題提起をどのような方法で解決したらよいか。解決方法について考察する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	18回	**授業テーマ：発表・討議3例：「目標」と「目的」の意味・用法の違い** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
4回	**授業テーマ：研究方法の検討(1)既知のことと未知のこと** 授業内容：各自の問題について、既に知られていることと未だ知られていないことを確認し、整理する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	19回	**授業テーマ：発表・討議4 例：「やうやう」の意味・用法の変化** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：研究方法の検討(2)調査方法の整理** 授業内容：各自の問題について、どのような方法で調査して情報を得るのか、整理する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	20回	**授業テーマ：発表・討議5例：「あはれ」の意味・用法の変化** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
6回	**授業テーマ：研究方法の検討(3)データ集めの方法** 授業内容：各自の問題について、どのようなデータがあるのか、どうやってアクセスするか、方法を確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	21回	**授業テーマ：発表・討議6 例：「気持ち」と「気分」の意味・用法の　違い** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
7回	**授業テーマ：データ集めと整理(1)データの収集** 授業内容：各自の問題について、データを集めて整理し、わかったことをまとめる。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	22回	**授業テーマ：発表・討議7 例：「最高」と「最上」の意味・用法の中国語との異同** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
8回	**授業テーマ：データ集めと整理(2)データ収集結果の報告** 授業内容：データを観察してわかったことを報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。データ収集結果をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	23回	**授業テーマ：発表・討議8 例：「かわいい」の意味・用法とベトナム語への翻訳** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
9回	**授業テーマ：データ集めと整理(3)データ分析の方法** 授業内容：集めたデータをどのように分析したら良いか、方法を考察する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	24回	**授業テーマ：発表・討議9例：「ゴロゴロ」の意味・用法とタイ語への翻訳** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。

10回	**授業テーマ：データ集めと整理(4)分析結果と課題** 授業内容：データを分析した結果をまとめ、解決した課題と未解決の課題を確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。分析結果と疑問点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	25回	**授業テーマ：発表・討議１０ 例：オノマトペの他言語への翻訳** 授業内容：各自の研究成果を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：問題とする語について辞書および用例を元に考察し、ノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：発表内容の振り返りと追加の調査をし、ノートにまとめる。
11回	**授業テーマ：データ集めと整理(5)新しい課題とその解決法** 授業内容：未解決の課題を解決するために、新たな問題提起を試みる。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	26回	**授業テーマ：まとめ(１)発表討議のまとめと課題の整理** 授業内容：前回までに行ったディスカッションを踏まえて、各自の課題について明らかになったことと未解決の課題を整理する。 事前学修 2.0hr：発表に対する討議の内容と課題を確認してノートに整理しておく。 事後学修 2.0hr：自分のテーマ・課題をより明確にしてノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(1)課題設定のチェック** 授業内容：各自の研究を進めるために「問題提起」「研究目的」が適切であるかどうかをチェックする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	27回	**授業テーマ：まとめ(２)卒業研究の課題を設定する** 授業内容：前回までの研究成果に基づいて、卒業論文の課題を設定する。 事前学修 2.0hr：研究課題をノートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業時に指摘された問題を整理し、課題を明確にする。
13回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(2)データ収集の方法** 授業内容：課題解決をするためにデータ収集の方法が適切であるかどうかをチェックする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	28回	**授業テーマ：まとめ(２)卒業研究の課題設定に対してどのような方法で取り組むか検討する** 授業内容：卒業論文の研究計画書の執筆準備をする。「研究の背景」「研究目的」「先行研究」「研究方法」「参考文献」を書き出す。 事前学修 2.0hr：課題と研究方法をノートにまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題と研究方法をノートに整理する。
14回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(3)データ分析の方法** 授業内容：課題解決をするためにデータ分析の方法が適切であるかどうかをチェックする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	29回	**授業テーマ：まとめ(３)卒業研究の研究計画の確定** 授業内容：前回の作業をまとめて研究計画書を執筆し、発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：研究計画書の草稿をまとめておく。 事後学修 2.0hr：研究計画書を整理しまとめる。
15回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(4)今後の課題と解決の方針** 授業内容：夏休みに向けてどのように研究を進めていくか方針を定める。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。決まった方針に基づいて研究を進める (夏期休業中)。	30回	**授業テーマ：まとめ(４)確定した研究計画に基づく予備調査報告** 授業内容：確定した研究計画に基づいて簡単な予備調査をし、報告してディスカッションする。 春休みの学修計画を立てる。 事前学修 2.0hr：予備調査を行い、気づいた点などをノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：本授業についての感想をまとめる。

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

母語、および第二言語での読み書きの認知プロセスと教育を理解したうえで、指導者の立場として、また自身の読み書き能力に対して問題を整理し、解決策を考える。具体的には「読んで理解する」ときに頭の中ではどういうことが起こっているのかという仕組みと、母語で読むときと外国語で読むときでの共通点、相違点を分析したうえで「読解」がどうやったら学べるのかについて考える。また、読むことの技術を書くことにも応用しつつ実用的な文章を書くために必要なスキルを整理し、指導と評価を検討する。論文の書き方も学習する。これらを通じて、問題を分析し対応する力、自己省察力、他者と協働する力を身に付ける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：読み書きの教育に関する知識をもとに指導者の立場として、また今の自分の読み書き能力に対して問題を分析して解決策を提案したり改善したりできる。論文の書き方を身に付ける。

個別目標：(1) 現在の認知的な読解過程、作文過程に関する理論を体系的に整理できる。
(2) 読むことと書くことの教育について具体的に分析したり、教材を作成したりできる。
(3) 自分自身が母語および外国語でどのように読んだり書いたりしているかを理論と結びつけて振り返り、熟達者の特徴を自分にも取り入れることができる。
(4) 言語学習観の異なる他者に一定の理解を示し、協働して目標を実現できる。
(5) 論文とはどのようなものか説明することができる。

▌履修条件

毎回、積極的に参加する。
課題の締め切りを守る。
日本語能力試験 N1 を持っていない留学生は合格する。

▌評価基準・方法

課題提出 50%、発表 40%、学習の振り返りと授業参加度 10%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎回グループワーク等があります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用し情報検索、資料作成を行う。manaba、respon を使用する。）

▌教科書

資料を配布して進める。

▌参考書

近藤安月子・小森和子編『日本語教育事典』研究社
国際交流基金『読むことを教える』ひつじ書房
国際交流基金『書くことを教える』ひつじ書房
犬塚美輪・椿本弥生『論理的読み書きの理論と実践』北大路書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・「読む」テスト** 授業内容：コースの概要と目的、学習の進め方、評価について理解する。「読む」テストを受けてフィードバックを受ける。 事前学修 2.0hr：自分の読解力、読解に対する考え方を 400 字程度にまとめる 事後学修 2.0hr：コース終了時の目標を実現した自分について 400 字程度にまとめる	16回	**授業テーマ：課題の提示** 授業内容：論文の構成要素を学習する。そのうえで課題の提示、問題解決の必要条件の提示、研究行動の提示など序論の構成要素を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
2回	**授業テーマ：「読んでわかる」とは何か** 授業内容：文章に接したときにわかりやすい、わかりにくいと感じることがある。そのような読みやすさの背景に何があるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	17回	**授業テーマ：目的の提示** 授業内容：研究テーマの説明の仕方、先行研究の問題点の指摘、研究目的の提示など序論の構成要素を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
3回	**授業テーマ：「読んでわかる」ために必要なこと** 授業内容：より理解が深まるためにどのように読めばよいか、熟達した読み手の特徴、どのような点に気を付けながら読んでいくかなどの読解への具体策を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	18回	**授業テーマ：定義と分類** 授業内容：定義、分類、選択など本論の構成要素を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
4回	**授業テーマ：「読んでわかる」ことの仕組み** 授業内容：文章を理解するとき心の中では何が起こっているのか、記憶とどう関わっているのかについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	19回	**授業テーマ：図表の提示** 授業内容：調査の結果を示すときの使う図表の説明の仕方を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
5回	**授業テーマ：母語で読むことと外国語で読むこと** 授業内容：母語で読むことと外国語で読むことの違いを明らかにする。外国語で読むときの特徴を挙げ、外国語で読むときにどのようなことに力を入れればよいをを検討する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	20回	**授業テーマ：変化の形容** 授業内容：収集したデータからわかることをどう説明すればよいか学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
6回	**授業テーマ：読解能力** 授業内容：高次リテラシーの一つとして読解能力がどのように位置づけられているのかを学習し、読解能力をいかに育てていくかを検討する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	21回	**授業テーマ：対比と比較** 授業内容：調査結果の書き方、本論の考察の仕方を学習する。ここでは二つの物事を対比する書き方と比較の仕方の展開パターン、よく使われる表現を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる

7回	**授業テーマ：「書く」ときに考えていること** 授業内容：「書く」とはどのようなことなのか、今まで日常生活で書いた経験とテストで書く経験を振り返り、問題点を検討する。「書く」ときにどのようなことを考えているか振り返り、どのようなプロセスで書いているのか認識する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	22回	**授業テーマ：原因の考察** 授業内容：本論の考察の仕方を学ぶ。調査結果やさまざまな事実について、その原因を考察したり、将来を予測したりする場合の書き方を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
8回	**授業テーマ：「書く」ことの指導** 授業内容：作文教材を一つとりあげ、どのように学習していくか分析する。教科書を応用してどのような新たな学習が実現できるかを考える。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	23回	**授業テーマ：列挙** 授業内容：本論の考察の仕方を学ぶ。存在の指摘、列挙などの展開パターンと表現方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
9回	**授業テーマ：「書く」ための教材** 授業内容：学習者に必要な「書く場面」とはどのような場面か、ライティング教材にはどのようなものがあるのか調査し、分析する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	24回	**授業テーマ：引用** 授業内容：他の人が述べたことを借りて書く方法(引用)を中心に学習する。原文をそのまま使った詳しい引用、原文を要約して述べる引用などいくつかの種類を紹介し、練習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
10回	**授業テーマ：教材の開発：企画** 授業内容：開発する教材について、クラスメートと学習目標、学習内容、構成等の企画を立てる。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	25回	**授業テーマ：同意と反論** 授業内容：本論の考察の仕方を学ぶ。引用した他者の意見に対して賛否を述べる書き方を練習する。参考文献リストの作成方法も学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
11回	**授業テーマ：教材の開発：前書きと目次** 授業内容：グループのメンバーと前書き、目次等を協力して考える。そのうえで、各自が作成する課を決定する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	26回	**授業テーマ：帰結** 授業内容：論文の結論部分の書き方を学習する。序論と本論で述べたことを確認したうえで、結論を簡潔に記し、今後の課題を述べる展開をパターンを学び、練習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
12回	**授業テーマ：教材の開発：作成** 授業内容：企画書をもとに担当する課の教材を作成する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	27回	**授業テーマ：結論の提示** 授業内容：結論の構成要素を学習する。研究行動の確認、結論の提示、研究の評価、今後の課題の指摘などの展開パターンと表現方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
13回	**授業テーマ：教材の開発：モニター調査と改善** 授業内容：モニター調査を実施し、モニターから得られたコメントをもとに教材を改善したり調整したりする。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	28回	**授業テーマ：ブレーンストーミング** 授業内容：卒業研究でどのような論文を作成したいか、ブレーンストーミングをしてテーマを考える。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
14回	**授業テーマ：発表と他者評価** 授業内容：作成した教材をクラスメートに披露し、学習目標、教材の特徴、作成プロセスについて発表する。クラスメートと意見交換をする。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	29回	**授業テーマ：文献の収集** 授業内容：文献収集の方法を復習し、卒業論文のテーマの沿って先行研究を集めて読む。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる
15回	**授業テーマ：まとめとふり返り** 授業内容：これまで学習したことを整理し、どのように生かせるかを考える。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる	30回	**授業テーマ：問いの立て方、まとめとコース全体のふりかえり** 授業内容：研究課題の立て方を学習し、卒業論文のテーマに沿って研究課題を立てる。コース全体を振り返る。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを記入する 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる

専門領域研究講座

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

この授業では、前期においては、言語(国語)専攻の学生、及び国語教員を目指す学生に必要な論理的思考と根拠のある調査を行うための方法を学ぶ。後期においては日本語学を中心に基礎的知識について論文を探し、問いを立てながら読む力と日本語学の論文の組み立て方を学ぶ。最後にグループ発表を行い、卒論にむけて、日本語を研究する方法を小さなテーマで実践する。
教員採用試験の準備学習も時間外の課題として行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：論理の力と主に言葉を調べるための辞書をはじめとした参考書、インターネットを適切に使いこなす力を養い、適切に問いをたて、論理の筋道を追い、専門分野のテキストについて高度な読解ができるようになった上で、構造を把握できるようになる。

個別目標：1　文を読み書くための論理を使いこなす
2　目的にあわせて根拠あるインターネット資料や辞書・事典類をみつけだし、つかう力をつける
3　問いをたてながら文章を読んでいく力をつける
4　専門分野のテキストについて構造を把握し、自分の言葉でまとめることができる

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

小テスト及びレポート 50 %、プレゼンテーション 50 %。

▌フィードバック方法

対面授業およびマナバで行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポート作成、資料閲覧および検索）

▌教科書

プリントを使用する。

▌参考書

授業にて指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：辞書の特徴と使い方(1)** 授業内容：各種古語辞典の特徴と使い方を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	16回	**授業テーマ：国語について** 授業内容：国語と標準語について学び、上田万年「標準語に就きて」の概略をつかむ。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：論文の残りを各自が読み、要約してくる
2回	**授業テーマ：辞書の特徴と使い方(2)** 授業内容：各種国語辞典の特徴と使い方を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	17回	**授業テーマ：国語について(2)** 授業内容：上田万年「標準語に就きて」の要約をお互い講評し、近代日本と標準語について考える 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
3回	**授業テーマ：辞書の特徴と使い方(3)** 授業内容：各種漢和辞典の特徴と使い方を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	18回	**授業テーマ：言文一致、共通語について** 授業内容：近代日本における言文一致運動について学び、森岡健二「汎共通語」の冒頭を読む 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：論文の残りを各自が読み、要約してくる
4回	**授業テーマ：図書館、資料館等を使った文献、資料調査** 授業内容：本学の図書館及び、各地の公共図書館、国立国会図書館、私立の特色ある図書館を知り、また、テーマに応じた資料館、文書館、博物館の特色や使い方を知る 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	19回	**授業テーマ：語彙について** 授業内容：語彙についてのワークを行い、発展項目について仮説をたててみる。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：参考文献の実物を探してくる
5回	**授業テーマ：インターネットでの調査1** 授業内容：語学・文学・教育の各分野において、提起されたトピックについてインターネットのみで根拠ある資料をグループで調査し探し出す 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	20回	**授業テーマ：語彙について(2)** 授業内容：参考文献を持ち寄り、方法と調査と分析をまとめる 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
6回	**授業テーマ：インターネットでの調査1** 授業内容：第 5 回で調べた根拠資料について、その真偽と適切さ、信用性を討議する。また、インターネットでの適切な論文検索を学ぶ 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	21回	**授業テーマ：表記について** 授業内容：表記のワークを行い、発展項目について仮説をたててみる 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：参考文献の実物を探してくる
7回	**授業テーマ：論理1** 授業内容：厳密な意味での接続詞と一部副詞によって支えられる日本語の中の論理構造について、論理学に基づいて論理の大枠を理解する。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	22回	**授業テーマ：表記について(2)** 授業内容：参考文献を持ち寄り、方法と調査と分析をまとめる 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成
8回	**授業テーマ：論理2** 授業内容：第 7 回での接続の論理の大枠を用いて、論理学のワークを実施し、討議しながら理解する。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	23回	**授業テーマ：文法について** 授業内容：文法のワークを行い、発展項目について仮説をたててみる 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：参考文献の実物を探してくる
9回	**授業テーマ：論理3** 授業内容：論理的な正しさについて学び、帰納と演繹を理解する。 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	24回	**授業テーマ：文法について2** 授業内容：参考文献を持ち寄り、方法と調査と分析をまとめる 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの完成

10回	**授業テーマ：論理４** 授業内容：高校の評論文を取り上げ、論理と構造を読み解く 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	25回	**授業テーマ：談話研究について** 授業内容：談話研究のワークを行い、発展項目について仮説をたててみる 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：参考文献の実物を探してくる
11回	**授業テーマ：論理５** 授業内容：日本語学に関する新書の一章を取り上げ、論理と構造を読み解く 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	26回	**授業テーマ：談話研究について（２）** 授業内容：参考文献を持ち寄り、方法と調査と分析をまとめる 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの完成
12回	**授業テーマ：論理と購読１** 授業内容：『日本の言語学』から一本論文を取り上げ、論理と構造を読み解く 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	27回	**授業テーマ：テーマを決めて演習活動を行う（１）** 授業内容：各グループ別にトピックを決め、仮説を立てる 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：仮説と方法の提出
13回	**授業テーマ：論理と購読２** 授業内容：第 12 回の論文について、必要な知識を辞書、事典、インターネットで調べた上で、論文の内容を読み解く 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	28回	**授業テーマ：テーマを決めて演習活動を行う（２）** 授業内容：各グループ別に調査を行う。 事前学修 2.0hr：調査の方法と見通し、具体的方法を考えておく 事後学修 2.0hr：調査方法と調査対象を提出し、手分けしてデータを作る。
14回	**授業テーマ：要約** 授業内容：内容について討議を重ねた上で、内容を 1000 字で要約し、お互い講評する 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：別の論文を選び要約する	29回	**授業テーマ：テーマを決めて演習活発表を行う（１）** 授業内容：論の流れを作成する。 事前学修 2.0hr：データ作成 事後学修 2.0hr：各班ごとにポスターを完成させる
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：文献での調査方法、論理、要約を振り返り、後期の内容を見通す 事前学修 2.0hr：課題を行う 事後学修 2.0hr：まとめシートの作成	30回	**授業テーマ：テーマを決めて演習活発表を行う（２）** 授業内容：それぞれのポスターについてグループ発表を行う。 事前学修 2.0hr：ポスター発表準備 事後学修 2.0hr：ポスターについて 4000 字で各自まとめる。

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

中川　仁（なかがわ　ひとし）

▌授業の概要

この授業では言語学及び日本語学の基礎的な知識を整理し、文章理解（平易な論文の理解も含める）と文章解釈（論文の解釈も含める）として、日本語を客観的に捉えようとする力を培養し、それに伴う関連分野においても言及するものである。また単なる暗記的な知識にとどまらず、その知識を人にどのように伝えていくのかも同時に訓練していく。そして「論理的な思考」を培養し、ものごとを細分化し、自らがその思考により、ものごとを構築していく力を養う。（言語学を主軸とする分野とその他の相関関係にある学問分野を網羅する形で知識を培養し、その力を養うことに力点をおき、学修を進めていく。）

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：日本語の客観的な構造を理解し、それを人に伝えることができるようになる。また基礎的な言語運用能力の培養にも力を注ぎ、「論理的な思考」を身につける。そして素養としての教養（言語学及び文学的知識、そしてその他の関連学問分野）について身につけることができる。

個別目標：言語学的な知識と文学的な解釈について、新たな視座にたって説明ができる。またものごとを細分化し、「論理的な思考」を基に、学問的な構築とその方法論を認識し、そのことがらを説明することができる。

▌履修条件

専門的な知識の獲得に努力すること。国語の知識と国語教員養成の立場に立ったゼミであることから、言葉遣いはもちろんのこと、礼儀正しくすることに注意を注いでいく。また身なりもきちんと整えることに留意することも心がけていく。（授業以外の勉強会や補習にも積極的に参加することを心がけていただきたい。）

▌評価基準・方法

毎回の課題を 70 %とし、テストの替わりに小論文をまとめる。その他、授業への取り組み、討論、発言などを 30 %とし、出席は 5 分の 4 以上を前提条件とする。（欠席については、事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

課題に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。また個別による指導も含め、そのフィードバックを進める。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修及び小論文、課題作成においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに指定はしない。毎回の資料は manaba において提示する。（プリントを配布することもある。）

▌参考書

とくに参考書はなく、その都度、必要な文献を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：自分が理想とする学問を目指す。（知を探究し、専門性を学ぶ）** 授業内容：研究という視点を着眼点として、研究の意義とそれが社会にとって、どのような影響を及ぼしていくのか、言語学及び文学の立場から先人たちの考えやその方策を学び、理解していく。 事前学修 2.0hr：先人たちが勉強してきたものをまとめる。（言語学の分野及び文学の分野を再構築する。） 事後学修 2.0hr：言語学の分野及び文学の分野を再構築したものをまとめる。	16 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか。（構造主義を考える。Ⅰ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。ソシュールの考え方を理解し、ヨーロッパにおける文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。 事前学修 2.0hr：構造主義について調べておく。 事後学修 2.0hr：構造主義についてまとめておく。
2 回	**授業テーマ：言語学としての音の構造（音声と音韻）** 授業内容：言語学の「音」の概念を通して、声の文化や音声・音韻の構造を再度理解していく。ここでは言霊の概念なども同時に触れることにより、「音」に対する概観を理解していく。 事前学修 2.0hr：基礎的な音声、音韻について調べておく。 事後学修 2.0hr：音声、音韻がどのような形で文の構造を作るのかをまとめる。	17 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか（構造主義を考える。Ⅱ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。ガーベレンツの考え方を理解し、文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。（継続的な文献研究の基本を捉え、理解していく。） 事前学修 2.0hr：どのような分野で学問として、機能してきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：どのような分野で学問として、機能してきたかをまとめる。
3 回	**授業テーマ：言語学としての形の構造（形態素の特徴）** 授業内容：言語学の「形」の概念を通して、「音」の構造から単語が成り立つことを再度理解していく。ここでは型霊の概念なども同時に触れることにより、「単語」及び「文字」に対する概観に言及する。 事前学修 2.0hr：形態素の概念について、目を通しておく。 事後学修 2.0hr：拘束形態素と自由形態素をそれぞれをまとめる。	18 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか（構造主義を考える。Ⅲ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。カールグレンの考え方を理解し、文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。（継続的な文献研究の基本を捉え、理解していく。） 事前学修 2.0hr：どのような分野で学問として、機能してきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：どのような分野で学問として、機能してきたかをまとめる。
4 回	**授業テーマ：言語学としての表現の構造（品詞と構文の基礎）** 授業内容：言葉における品詞や構文の構造を考えていき、品詞の分け方、構文（文）の構造を先人たちの文献から見出していく。ここでは概観を学び理解していく。 事前学修 2.0hr：日本語の品詞、構文について調べておく。 事後学修 2.0hr：それぞれの品詞、構文についての用法をまとめる。	19 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか（構造主義を考える。Ⅳ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。レヴィ=ストロースの考え方を理解し、文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。（継続的な文献研究の基本を捉え、理解していく。） 事前学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかを調べる。 事後学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかをまとめる。
5 回	**授業テーマ：日本語の構造（アスペクト、テンス、ムード）** 授業内容：日本語の構造という視点から文の規則性を見出し、時間、場所、その状況により、文がどのような形で成立していくのか、細かくその構造的な観点を理解していく。 事前学修 2.0hr：アスペクト、テンス、ムードについて調べておく。 事後学修 2.0hr：アスペクト、テンス、ムードのそれぞれの例文をまとめる。	20 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか（構造主義を考える。Ⅴ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。レヴィ=ストロースの考え方を理解し、文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。（とくにフィールド調査の実態などを理解していく。） 事前学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかを調べる。 事後学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかをまとめる。
6 回	**授業テーマ：日本語の構造（敬語について）** 授業内容：日本語の敬語については、相対敬語としてみていくものであるが、古い時代から存在する概念を理解し、その様相を同時に理解していく。（とくに古文を参考として、その語の使い方を理解していく。） 事前学修 2.0hr：敬語について調べておく。 事後学修 2.0hr：敬語についてのそれぞれの用法をまとめる。	21 回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか（構造主義を考える。Ⅵ）** 授業内容：構造主義における論文及び解説書を読んでいく。レヴィ=ストロースの考え方を理解し、文献研究の基本的な考え方を概観し、それを理解していく。（とくにフィールド調査と民族誌の関係性を理解していく。） 事前学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかを調べる。 事後学修 2.0hr：文化人類学の分野でどのように発展したかをまとめる。

7回	**授業テーマ：文学作品の整理(上代、中古、中世の文学と言語の変遷)** 授業内容：それぞれの時代における文学作品に触れ、言葉の特徴を見出していく。品詞の扱いを中心に、言葉遣いの成り立ちと単語の意味などをそれぞれ考え、その使い方などを理解をしていく。 事前学修 2.0hr：上代、中古、中世の文学作品の理解し、言語の変遷について調べておく。 事後学修 2.0hr：上代、中古、中世の文学作品の理解し、通時的な部分をまとめる。	22回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか(構造主義を考える。Ⅶ)** 授業内容：レヴィ=ストロースの考え方が歴史的な立場から、どのように理解されているのか、民俗誌とそれぞれの調査から得たことがらからの概観を理解し、歴史との接点に言及する。 事前学修 2.0hr：歴史の分野でどのように捉えられてきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：歴史の分野でどのように捉えられてきたかをまとめる。
8回	**授業テーマ：文学作品の整理(近世の文学と日本語研究史)** 授業内容：近世における時代の文学作品に触れ、言葉の特徴を見出していく。この時代の識字率と言葉の文化としての捉え方、流通する言葉の概念の考え方を理解し、言葉の芸術性をも理解していく。 事前学修 2.0hr：近世の文学作品を理解し、日本語の研究史についても調べておく。 事後学修 2.0hr：近世の文学作品を理解し、日本語研究史の変遷についてまとめる。	23回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか(構造主義を考える。Ⅷ)** 授業内容：ブルームフィールドの考え方として、言葉のフィールド調査を仕方を理解し、アメリカの構造主義言語学の基本的な概念を概観していく。(ここでは少数民族のフィールド調査の方法論を理解していく。) 事前学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかをまとめる。
9回	**授業テーマ：文学作品の整理(日本の近代化と近代の言語研究)** 授業内容：近代における時代の文学作品に触れ、言葉の特徴を見出していく。この時代の言葉の概念の考え方を「言文一致」として捉え、言葉の大衆性と芸術性(近代との歴史的な経緯との関連を含む)を理解していく。 事前学修 2.0hr：日本の近代化と近代の言語研究の視点から、その周辺の諸分野について調べておく。 事後学修 2.0hr：日本の近代化と近代の言語研究の視座から、周辺の学問分野をまとめる。	24回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか(構造主義を考える。Ⅸ)** 授業内容：ブルームフィールドの考え方として、アメリカの構造主義言語学の基本的な概念を概観していく。(ここではアルゴンキン語族の調査の実例などを挙げて理解していく。) 事前学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかをまとめる。
10回	**授業テーマ：言葉と歴史、文学との相関性** 授業内容：近世から近代にかけての言葉遊びの芸術性を歴史的な観点から紐解いていく。とくに「言文一致」の概念は、落語からの言葉遊びからきていることなどを芸能という立場から理解していく。(表現形態の確立を理解する。) 事前学修 2.0hr：言葉の表現形態と歴史、文学との相関性を調べておく。 事後学修 2.0hr：言葉の表現形態と周辺にある諸分野をまとめる。	25回	**授業テーマ：論理的思考がどのようなものか(構造主義を考える。Ⅹ)** 授業内容：ブルームフィールドの考え方として、アメリカの構造主義言語学の基本的な概念を概観していく。(ここでは調査した内容をどのように反映してきたのかを理解していく。) 事前学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかを調べる。 事後学修 2.0hr：言語学の分野でどのように捉えられてきたかをまとめる。
11回	**授業テーマ：言葉と民俗学との相関性** 授業内容：言葉を民俗学の視点から紐解いていく。とくに折口信夫の考える言語的なことがらを理解し、人々が生活のなかで使ってきた言語観を言語生活のなかで、その習慣性や祭事とどう関わってきたのかを理解する。 事前学修 2.0hr：民俗学の基礎的な事柄を調べておく。 事後学修 2.0hr：言葉と民俗学との関係をまとめる。	26回	**授業テーマ：『悲しき熱帯』を読み、それについて解釈する。** 授業内容：レヴィ=ストロースの構造主義に関わる考え方を理解し、『悲しき熱帯』を読んでいく。(ここでは第一部及び第二部について読み、グループディスカッションを行い、理解していく。) 事前学修 2.0hr：『悲しき熱帯』について調べる。(第一部、第二部を調べる。) 事後学修 2.0hr：『悲しき熱帯』についてまとめる。(第一部、第二部をまとめる。)
12回	**授業テーマ：資料と文献Ⅰ(上代、中古、中世の資料と文献)** 授業内容：それぞれの時代の資料や文献をもとに、それを解釈し、どのような観点で、その資料と文献を読み込んでいくのか、各自、辞書や字典を使用しながら、その方法論を理解していく。 事前学修 2.0hr：資料と文献の調べ方を学んでおく。 事後学修 2.0hr：資料と文献を調べて、それをまとめる。	27回	**授業テーマ：『悲しき熱帯』を読み、それについて解釈する。** 授業内容：レヴィ=ストロースの構造主義に関わる考え方を理解し、『悲しき熱帯』を読んでいく。(ここでは第三部及び第四部について読み、グループディスカッションを行い、理解していく。) 事前学修 2.0hr：『悲しき熱帯』について調べる。(第三部、第四部を調べる。) 事後学修 2.0hr：『悲しき熱帯』についてまとめる。(第三部、第四部をまとめる。)
13回	**授業テーマ：資料と文献Ⅱ(近世の資料と文献)** 授業内容：近世における時代の資料や文献を、どのような観点で読み込んでいくのか、各自、辞書や字典を使用しながら、その方法論を理解していく。(ここでは継続的に調べ方を理解していく。) 事前学修 2.0hr：資料と文献の調べ方を学んでおく。 事後学修 2.0hr：資料と文献を調べて、それをまとめる。	28回	**授業テーマ：『悲しき熱帯』を読み、それについて解釈する。** 授業内容：レヴィ=ストロースの構造主義に関わる考え方を理解し、『悲しき熱帯』を読んでいく。(ここでは第五部及び第六部について読み、グループディスカッションを行い、理解していく。) 事前学修 2.0hr：『悲しき熱帯』について調べる。(第五部、第六部を調べる。) 事後学修 2.0hr：『悲しき熱帯』についてまとめる。(第五部、第六部をまとめる。)
14回	**授業テーマ：辞書の調べ方(古辞書の研究Ⅰ)** 授業内容：それぞれの時代の資料や文献を解釈するため、各自、辞書や字典を使用しながら、その方法論を理解していく。(辞書類の紹介も含め、ここでは継続的な調べ方の方法論を学んでいく。) 事前学修 2.0hr：さまざまな辞書の種類を調べておく。 事後学修 2.0hr：どの分野でどの辞書ガ使用されるかを調べて、それをまとめる。	29回	**授業テーマ：『悲しき熱帯』を読み、それについて解釈する。** 授業内容：レヴィ=ストロースの構造主義に関わる考え方を理解し、『悲しき熱帯』を読んでいく。(ここでは第七部及び第八部について読み、グループディスカッションを行い、理解していく。) 事前学修 2.0hr：『悲しき熱帯』について調べる。(第七部、第八部を調べる。) 事後学修 2.0hr：『悲しき熱帯』についてまとめる。(第七部、第八部をまとめる。)
15回	**授業テーマ：辞書の調べ方(古辞書の研究Ⅱ)** 授業内容：資料や文献を解釈するため、各自、辞書や字典を使用しながら、その方法論を理解していく。(辞書類の紹介も含め、ここでは継続的な調べ方の方法論を学んでいく。) 事前学修 2.0hr：さまざまな辞書の種類を調べておく。 事後学修 2.0hr：どの分野でどの辞書ガ使用されるかを調べて、それをまとめる。	30回	**授業テーマ：『悲しき熱帯』を読み、それについて解釈する。** 授業内容：レヴィ=ストロースの構造主義に関わる考え方を理解し、『悲しき熱帯』を読んでいく。(ここでは第九部について読み、グループディスカッションを行い、理解していく。) 事前学修 2.0hr：『悲しき熱帯』について調べる。(第九部を調べる。) 事後学修 2.0hr：『悲しき熱帯』についてまとめる。(第九部をまとめる。)

専門領域研究講座

開講学科等：日 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

日本語学科での学びと社会との接点について考える講座である。
授業の主たる活動として、卒業年度の卒業研究を見据えながら、論文講読を行う。
論文講読を通じて、各研究の成果を知るだけではなく、批判的な視点を加えながら各自が自分なりの視点を持って考える力を涵養する。さらに、読み手としてだけではなく、論文執筆をする書き手として、第三者に情報を伝える、説得力を持って説明をするという目標を立て、講読で取り上げる論文の書き方について学ぶ。
方法探求力(処理型課題解決力)と目的探求力(企画力，開発力)を身に付けるために，論文とは別に、企業研究や 面接について演習形式で指導する。
新聞やニュースで取り上げられる話題についても批判的な視点を加えて自身の見解を述べる活動も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：社会的な課題を理解し，さらなる課題を考えることができる。
　　社会的な問題や課題について、その原因について考え、その社会的な課題の解決策として、現状どのような策が講じられているかを理解し、そのメリットとデメリットについて考えること、さらに、その自身の考えを第三者に適切に伝えることができることを目標とする。
　　第三者に伝える際に必要な場面状況に応じた対応ができるようマナーを身に付ける。
個別目標：① 同じ話題の新聞やニュースを読み比べて、それぞれの情報発信者の視点の違いを説明することができる。
　　② 研究論文を読んで、研究テーマについて理解し、そのテーマに関連する他の論文を見つけることができる。
　　③ 研究論文の構成を理解し、批判的に読むことができる。

▌履修条件

新聞やニュースの読み比べや、論文講読など、最低でも週に 2 時間程度授業時間外の活動があることを理解して履修すること。

▌評価基準・方法

評価は、それぞれ授業での小テスト及び発表が 60 %，宿題を含む教室外活動が 40 %とする。

▌フィードバック方法

発表へのフィードバックは当日もしくはよく授業内で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （論文検索など）

▌教科書

なし。(卒業研究テーマごとに一部個別指導を行う。)
社会課題に関する情報(新聞記事など)と研究論文の講読を行なうため。

▌参考書

適宜，個別にあるいはクラス全体に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：専門領域研究講座として、日本語学科での学び、4 年時の卒業論文執筆などに加え、各自の卒業後の進路に向けた これからのプランを確認する。就職活動に向けた希望党についても確認を行う。 事前学修 2.0hr：調査票への記入(回答) 事後学修 2.0hr：課題の提出	16 回	**授業テーマ：自身の研究について説明する(2)** 授業内容：自身が興味を持つ論文等を集め、紹介する。 先行研究をあつめ、紹介する。 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：他者の発表について要約したものを提出すること
2 回	**授業テーマ：資料の精査について** 授業内容：研究テーマ、企業研究など、書籍をはじめインターネットなどで情報を集めることが可能である。 自身が集めた資料の出店を確認することの重要性について、確認する。 論文の参考文献にある資料の探し方について確認する。 事前学修 2.0hr：研究テーマとしたいことについてまとめておくこと 事後学修 2.0hr：参考文献に記載された書籍、論文を検索し入手するための情報を集めること	17 回	**授業テーマ：自身の研究について説明する(3)** 授業内容：自身が興味を持つ論文等を集め、紹介する。 先行研究をあつめ、紹介する。 事前学修 2.0hr：発表の準備をしておくこと 事後学修 2.0hr：他者の発表について要約したものを提出すること
3 回	**授業テーマ：論文講読準備** 授業内容：授業で紹介する論文をよみ、その調査研究の手法について読み解く。 自身が論文の研究を再検証するためにどのような手順をとればよいのかを考える。 事前学修 2.0hr：指示された論文を読んで概要をまとめておくこと 事後学修 2.0hr：研究論文の研究手順についてまとめておくこと	18 回	**授業テーマ：先行研究の紹介(1)** 授業内容：自身の研究テーマとそれに沿った先行研究を紹介する。 各自、2 つずつ紹介すること 事前学修 2.0hr：先行研究を手元において概要をまとめておくこと 事後学修 2.0hr：先行研究の研究手法をまとめておくこと
4 回	**授業テーマ：論文講読** 授業内容：授業で紹介する論文をよみ、その調査研究の手法について読み解く。 自身が論文の研究を再検証するためにどのような手順を具体的に考える。アンケートの調査項目について推測する。 事前学修 2.0hr：指示された論文を読んで概要をまとめておくこと 事後学修 2.0hr：アンケートを作成する。	19 回	**授業テーマ：先行研究の紹介(2)** 授業内容：自身の研究テーマとそれに沿った先行研究を紹介する。 各自、2 つずつ紹介すること 事前学修 2.0hr：先行研究を手元において概要をまとめておくこと 事後学修 2.0hr：先行研究の研究手法をまとめておくこと
5 回	**授業テーマ：論文講読　再検証** 授業内容：取り上げた論文に用いられたアンケートの調査項目を考える。 具体的にアンケートを作成し、教室内でアンケートの項目について確認する。 事前学修 2.0hr：アンケートの作成(GoogleForm の利用)の方法について調べておく 事後学修 2.0hr：アンケートを GoogleForm で作成するための下書きを作成しておくこと。	20 回	**授業テーマ：論文講読　(1)** 授業内容：紹介された先行研究から選定した論文を輪読する 論文のテーマ、研究手法、結果を読み解く 事前学修 2.0hr：論文を読んでおくこと(音読の準備をしておくこと) 事後学修 2.0hr：研究手法について、その研究を再現できるようにまとめておくこと
6 回	**授業テーマ：アンケート作成ツールの使い方** 授業内容：アンケート作成ツールとして、GoogleForm の使い方を確認する。 使用方法の確認と集計方法について確認する。 事前学修 2.0hr：アンケートの回答の集計方法について考えておくこと 事後学修 2.0hr：他の人のアンケートに回答をすること	21 回	**授業テーマ：論文講読　(2)** 授業内容：紹介された先行研究から選定した論文を輪読する 論文のテーマ、研究手法、結果を読み解く 事前学修 2.0hr：論文を読んでおくこと(音読の準備をしておくこと) 事後学修 2.0hr：研究手法について、その研究を再現できるようにまとめておくこと

7回	**授業テーマ：クロス集計の方法** 授業内容：アンケートの集計方法について学びます。 集計データの処理について学びます。 事前学修 2.0hr：エクセルの使用について確認をしておくこと 事後学修 2.0hr：授業での指示を基に、データ処理の練習をしておくこと	22回	**授業テーマ：論文講読　（3）** 授業内容：紹介された先行研究から選定した論文を輪読する 論文のテーマ、研究手法、結果を読み解く 事前学修 2.0hr：論文を読んでおくこと（音読の準備をしておくこと） 事後学修 2.0hr：研究手法について、その研究を再現できるようにまとめておくこと
8回	**授業テーマ：集計結果の読み方** 授業内容：データの値が示す意味について確認する。 クロス集計の結果を中心に集計方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：集計及び統計の用語について調べておくこと 事後学修 2.0hr：データが持つ意味について確認しておくこと	23回	**授業テーマ：論文講読　（4）** 授業内容：紹介された先行研究から選定した論文を輪読する 論文のテーマ、研究手法、結果を読み解く 事前学修 2.0hr：論文を読んでおくこと（音読の準備をしておくこと） 事後学修 2.0hr：研究手法について、その研究を再現できるようにまとめておくこと
9回	**授業テーマ：自己 PR を考える** 授業内容：自身が大学で学んできた中でどのようなことに興味を持っているのかをまとめる。 自己 PR を考える。 事前学修 2.0hr：履歴書を作成し持参すること 事後学修 2.0hr：授業の中で考えたことを基に修正すること	24回	**授業テーマ：論文講読　（5）** 授業内容：紹介された先行研究から選定した論文を輪読する 論文のテーマ、研究手法、結果を読み解く 事前学修 2.0hr：論文を読んでおくこと（音読の準備をしておくこと） 事後学修 2.0hr：研究手法について、その研究を再現できるようにまとめておくこと
10回	**授業テーマ：企業のデータの読み方** 授業内容：企業が出している従業員数や資本金などの各値が持つ意味を理解する。 説明会やインターンシップについて日程などを調べる。 事前学修 2.0hr：学内の就職サポート、セミナーなどをリスト化しておくこと 事後学修 2.0hr：3 つ以上の企業を具体的に調べてその企業の強みについてまとめること	25回	**授業テーマ：面接・インターンシップについて　1** 授業内容：夏休みに経験したインターンシップについて振り返り、クラス内で共有する 面接に関するマナーについて学ぶ 事前学修 2.0hr：インターンシップの経験を発表できるようにまとめておくこと 事後学修 2.0hr：他者の経験を聞いて、その活動でどのような学びが得られるかを考えまとめておくこと
11回	**授業テーマ：進路について考える** 授業内容：自身の進路について明確にする。 目標設定を行う。 事前学修 2.0hr：キャリアサポートで、日本語学科の学生の進路に関する動向を調査しておくこと 事後学修 2.0hr：自身のよう見関心について振り返り、これまでの大学生活についてまとめておくこと	26回	**授業テーマ：面接・インターンシップについて　2** 授業内容：説明会、インターンシップの情報を集め、共有する 情報収集の方法について学ぶ 事前学修 2.0hr：就職に関する登録状況を確認しておく 事後学修 2.0hr：自身がこれから参加できる説明会やインターンシップがあれば模試込みをすること
12回	**授業テーマ：ディスカッション** 授業内容：資料とする企業のデータを読み、その企業の強みについて読み解く。 企業の求人から、どのような人材が求められているのかを考え、ディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：資料を読み込んでおくこと 事後学修 2.0hr：他者の視点を加えて、資料を読み返しておくこと	27回	**授業テーマ：論文講読　（6）** 授業内容：先行論文として取り上げた論文について、一人ずつ発表する 発表後の質疑応答のマナーを学ぶ 事前学修 2.0hr：発表の資料を作成しておくこと 事後学修 2.0hr：自身に対する質問の回答をまとめておくこと
13回	**授業テーマ：卒業論文に向けたテーマの選定** 授業内容：自身の興味関心について述べる。 他者の興味関心について聞き、自分なりのアドバイスを考える 事前学修 2.0hr：自身の興味関心について発表する準備をしておくこと 事後学修 2.0hr：他者の発表についてまとめること	28回	**授業テーマ：論文講読　（7）** 授業内容：先行論文として取り上げた論文について、一人ずつ発表する 発表後の質疑応答のマナーを学ぶ 事前学修 2.0hr：発表の資料を作成しておくこと 事後学修 2.0hr：自身に対する質問の回答をまとめておくこと
14回	**授業テーマ：卒業論文に向けたテーマの選定2** 授業内容：自身の興味関心について述べる。（前回発表できなかった者） 他者の興味関心について聞き、自分なりのアドバイスを考える 事前学修 2.0hr：論文のテーマについて考えておく・先行研究を集めておくこと 事後学修 2.0hr：他者の発表についてまとめておくこと	29回	**授業テーマ：論文講読　（8）** 授業内容：先行論文として取り上げた論文について、一人ずつ発表する 発表後の質疑応答のマナーを学ぶ 事前学修 2.0hr：発表の資料を作成しておくこと 事後学修 2.0hr：自身に対する質問の回答をまとめておくこと
15回	**授業テーマ：自身の研究について説明する（1）** 授業内容：自身が興味を持つ論文等を集め、紹介する。 先行研究をあつめ、紹介する。 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：他者の発表について要約したものを提出すること	30回	**授業テーマ：卒業論文執筆に向けて** 授業内容：各自の研究の手法についてプランを述べる プランに無理がないか、授業内で取り上げ検討する 事前学修 2.0hr：卒業論文のテーマと研究の手法について考えておくこと 事後学修 2.0hr：研究手法を明確にしてプランを立てておくこと

専門領域研究講座

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

中村　佑衣（なかむら　ゆい）

▌授業の概要

日本の近現代文学を中心に様々な研究手法について学ぶ。また、アカデミック・ライティングスキルの向上を目指し、その上で、4 年次の卒業研究に繋がるテーマの選定や、調査・分析方法の確認等の準備を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：1 日本近代文学の主要作家の問題意識や作品の特徴を把握し、社会や文化、思想との関係を理解する。
2 日本語の分析や、文学作品の読解を通して、自らテーマを発見して主体的に考察する姿勢を身につける。
3 アカデミック・ライティングに関する知識を身につける。

個別目標：(1) 日本の小説の内容を正確に読み取り、文章の特徴や主題について説明できる。
(2) 日本語の分析や、文学作品の読解を通じて、時代や社会、文化に関わるテーマを主体的に発見し、意見を形成することができる。
(3) 文献調査型のレポートの書き方を理解し、研究動向を探ることができる。

▌履修条件

課題に積極的に取り組み、自ら調査、分析、考察する意欲を備えていること。

▌評価基準・方法

課題提出 50 %、話し合いなどへの積極的な参加 10 %、最終課題 40 %。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （検索や参考資料の確認など）

▌教科書

特になし。

▌参考書

授業内で適宜案内する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス：レポートの型** 授業内容：本科目の概要について説明する。作文・レポート・論文の違いについて学んび、レポートに複数の型があることを理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、この授業について理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	16 回	**授業テーマ：三島由紀夫の作品分析：戯曲の作品** 授業内容：三島の戯曲作品を取り上げ、作品分析を行う。 事前学修 2.0hr：夏季休業中の調査進行状況をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
2 回	**授業テーマ：研究の手法(1)：小説の作品分析** 授業内容：文学理論などを用いて作品分析を行う手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	17 回	**授業テーマ：グループ発表(1)** 授業内容：担当する作品について分析結果を発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：研究の手法(2)：小説の文化研究** 授業内容：作品分析のなかでも文化研究について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	18 回	**授業テーマ：グループ発表(2)** 授業内容：担当する作品について分析結果を発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：研究の手法(3)：比較文学・教科書分析** 授業内容：比較文学や教科書分析の手法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	19 回	**授業テーマ：グループ発表(3)** 授業内容：担当する作品について分析結果を発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：研究の手法(4)：詩歌** 授業内容：詩歌やポップスを対象とした研究について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	20 回	**授業テーマ：グループ発表(4)** 授業内容：担当する作品について分析結果を発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：研究の手法(5)：演劇** 授業内容：戯曲作品や舞台芸術を対象とした研究について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	21 回	**授業テーマ：グループ発表(5)** 授業内容：担当する作品について分析結果を発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：研究の手法(6)：その他** 授業内容：漫画・アニメなどのサブカルチャーや映画を対象とした研究について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	22 回	**授業テーマ：グループ発表(6)** 授業内容：担当する作品について分析結果を発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
8 回	**授業テーマ：論文の読み方** 授業内容：実際の研究論文を読み、論文の基本的な構成について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	23 回	**授業テーマ：グループ発表(7)** 授業内容：担当する作品について分析結果を発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
9 回	**授業テーマ：著作権について** 授業内容：著作権や生成 AI の扱いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	24 回	**授業テーマ：グループ発表(8)** 授業内容：担当する作品について分析結果を発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
10 回	**授業テーマ：三島由紀夫について** 授業内容：三島由紀夫の生涯と業績について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	25 回	**授業テーマ：グループ発表(9)** 授業内容：担当する作品について分析結果を発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。
11 回	**授業テーマ：三島由紀夫の作品分析：10 代の作品** 授業内容：三島が 10 代の頃に書いた短編を取り上げ、作品分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	26 回	**授業テーマ：グループ発表(10)** 授業内容：担当する作品について分析結果を発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：三島由紀夫の作品分析：20 代の作品** 授業内容：三島が 20 代の頃に書いた短編～中編を取り上げ、作品分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	27回	**授業テーマ：テーマ設定の仕方と先行研究の調べ方(1)** 授業内容：意義のあるテーマ設定の仕方について理解し、自分の関心ある分野について検索し、テーマ候補を絞る。先行研究や基本資料の情報収集の仕方を確認し、いくつかのテーマ候補について集めてみる。 事前学修 2.0hr：先行研究の調べ方について、プリントを確認する。 事後学修 2.0hr：興味のあるテーマについて、先行研究文献を探してみる。
13回	**授業テーマ：三島由紀夫の作品分析：30 代の作品** 授業内容：三島が 30 代の頃に書いた小説を取り上げ、作品分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	28回	**授業テーマ：テーマ設定の仕方と先行研究の調べ方(3)** 授業内容：前回に続き、自分の関心のあるテーマについて、情報収集を行う。有力なテーマ候補について、先行研究を複数リストアップし、これまで明らかになっている部分を確認し、自分が問題提起できる可能性について考える。 事前学修 2.0hr：先行研究文献を読み、論文の構成を確認しておく。 事後学修 2.0hr：自身の研究テーマを絞りながら、先行研究を探してみる。
14回	**授業テーマ：三島由紀夫の作品分析：40 代の作品** 授業内容：三島が 40 代の頃に書いた小説を取り上げ、作品分析を行う。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返り、課題に取り組む。	29回	**授業テーマ：テーマ設定の仕方と先行研究の調べ方(3)** 授業内容：自分の取り組む論文テーマを絞った後、さらに多くの情報収集を行う。自分の問題提起を念頭に置きつつ、先行研究論文や参考資料の調査範囲を広げ、自分が新たに調査分析するべき対象について確認する。 事前学修 2.0hr：先行研究文献を読み、自分が取り組むべき具体的なテーマと調査対象について考えておく。 事後学修 2.0hr：これから読むべき参考資料や、調査対象を整理する。
15回	**授業テーマ：発表テーマの確定** 授業内容：グループで分かれて、三島由紀夫の小説作品の中から 1 つ選ぶ。 事前学修 2.0hr：授業で指示された事前課題を行う 事後学修 2.0hr：夏季休業中に課題図書を読み進める。	30回	**授業テーマ：研究テーマの設定と作成プラン** 授業内容：4 年次の本格的な卒業論文執筆に向け、テーマを設定し、大まかな作成プランを立てる。テーマ候補について、簡単な構成メモを作成し、論文の目的や調査対象や方法について、報告を行う。 事前学修 2.0hr：自身の研究テーマの大まかな概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：自身の卒業研究作成のプランを立てる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

片桐　史尚（かたぎり　ふみたか）

▌授業の概要

授業の前半では、予習してきた項目の確認と、講義形式によりその日のメインテーマを学ぶ。
後半は、各自が調べてきたものと講義で学んだ項目の比較検討を行い、それぞれの論について議論形式で意見を述べ合う。
このように、体系的に教材論の領域全体を捉えられるよう「理論」と「実践」の方法を学ぶ。
また、修士課程 1 年ということもあり、学部時代に学んだことを「総復習」する必要があり、各自において欠落している項目の整理と補強も行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：さまざまな教科書の分析ができるようになる。
　　学習者のニーズに合った教科書の選定ができるようになる。
個別目標：各院生の専門に留意しつつ、講義を行う。

▌履修条件

日本語教員志望者であること。
外国語教育に強く関心のある者。

▌評価基準・方法

毎回の授業時における課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

対面、manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ピア・ラーニングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜、統計、歴史的事実の確認等において使用する。）

▌教科書

特になし

▌参考書

岡崎敏雄『日本語教育の教材分析・使用・作成（アルク）
日本語教育学会編『新版日本語教育事典』（大修館書店）
小林ミナ『よくわかる教授法』（アルク）
三牧陽子『日本語教授法を理解する本 実践編 解説と演習』（バベル・プレス）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　講義内容の説明** 授業内容：コース・デザインの基本的な流れを知ることにより、日本語教師として必要とされる知識や技術の範囲、内容を理解する。また、コース・デザインとニーズの分析の重要性を再認識する。大切なことは、まずコース・デザインについての理解を深め、その重要性について把握することである。また、「ニーズ分析」「目標言語調査」「言語資料分析」「シラバス・デザイン」「カリキュラム・デザイン」を実際の例から学び、各自の受けた授業を思い起こし比較対照する。 事前学修 2.0hr：異なるタイプの日本語の教科書を閲覧しておく。 事後学修 2.0hr：さまざまな日本語学習の動機をまとめる。	16回	**授業テーマ：読解教育 A 1　成績不振の学習者に見られる読解ストラテジーから学ぶこと。** 授業内容：1読解の種類　2読解ストラテジー　3読解指導1／授業形態 以上3点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
2回	**授業テーマ：教材論を体系的に把握する（1）さまざまな学習者への対応** 授業内容：コース・デザインの応用的な流れを知ることにより、日本語教師として必要な知識や技術の範囲、内容を確認する。また、コース・デザインとニーズの分析の重要性について各自発表する。具体的な項目としては、まずコース・デザインについての理解を深め、その重要性について把握した上で、「ニーズ分析」「目標言語調査」「言語資料分析」「シラバス・デザイン」「カリキュラム・デザイン」を実際の例から学び、各自の受けた授業と比較対照しまとめる。 事前学修 2.0hr：自らの外国語学習の動機をまとめてくる。 事後学修 2.0hr：教材論の体系的把握の方法を再考すること。	17回	**授業テーマ：読解教育 A 2　成績優秀者の読解ストラテジーのタイプを提示する。** 授業内容：1読解の種類　2読解ストラテジー　3読解指導1／授業形態 以上3点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
3回	**授業テーマ：教材論を体系的に把握する（2）コースデザインを中心に** 授業内容：日本語学習者と日本語教育の多様化について論じる。 事前学修 2.0hr：コースデザインについて調べてくる。 事後学修 2.0hr：コースデザインを中心にした場合の方法を再考すること。	18回	**授業テーマ：読解教育 B1　特に、統合的読解指導の重要性について論じる。** 授業内容：1読解の指導2／統合的アプローチ　2読解指導3／統合的読解指導のプロセス　3読解の指導4／読解スキルの指導 4タスクと評価 以上4点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
4回	**授業テーマ：言語技能の扱い方** 授業内容：1総合的・統合的扱い　2総合的学習活動　3技能（スキル）別扱いと学習活動 以上3点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：個別的教材について調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	19回	**授業テーマ：読解教育 B2　タスクと評価はいかにあるべきかを論じる。** 授業内容：1読解の指導2／統合的アプローチ　2読解指導3／統合的読解指導のプロセス　3読解の指導4／読解スキルの指導 4タスクと評価 以上4点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
5回	**授業テーマ：授業活動1　自らの教授活動を振り返りながら考察する。** 授業内容：1授業の環境　2授業活動の流れ　3初級クラスの授業活動　4活動中のインターアクション　5教師の授業技術 以上5点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	20回	**授業テーマ：作文教育1　作文の苦手な学習者の発話に注意する。** 授業内容：1目的指導法1／総合力の養成　2目的別指導法2／ライティング・スキルの養成 以上2点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。

6回	**授業テーマ：授業活動２　自らの教授活動で欠落しているものを見出す。** 授業内容：１授業の環境　２授業活動の流れ　３初級クラスの授業活動　４活動中のインターアクション　５教師の授業技術 以上５点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	21回	**授業テーマ：作文教育２　作文が得意な学習者の発話からみえてくるものをまとめる。** 授業内容：３レベル別指導法１／初級の作文指導　４レベル別指導法２／中級の作文指導 以上７２点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
7回	**授業テーマ：授業活動３　今後の教授活動に向けて「指針」を示す。** 授業内容：１授業の環境　２授業活動の流れ　３初級クラスの授業活動　４活動中のインターアクション　５教師の授業技術 以上５点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	22回	**授業テーマ：作文教育３　作文が得意な学習者同士、苦手な学習者同士でピアライティングを行うとどのようなことが起きるか。** 授業内容：５レベル別指導法３／上級の作文指導　６添削と評価 以上２点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
8回	**授業テーマ：教材・教具１** 授業内容：１教材・教具・教育機器の種類と特徴　２シラバス、カリキュラムと教材・教具 以上２点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	23回	**授業テーマ：語彙教育１　学習者の語彙力と発話力の関係を考察する。** 授業内容：１語彙教育の目的　２指導法１／指導の前提として 以上２点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
9回	**授業テーマ：会話・スピーチ教育１　発話を嫌がる学習者の扱い方** 授業内容：１正確さの練習　２流暢さの練習　３スピーチ・スキルの指導　４フィードバックと評価 以上４点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	24回	**授業テーマ：語彙教育２　自らの語彙力と発話力の関係を内省する。** 授業内容：３指導法２／語句の提出法　４指導法３／意味の把握と練習　５評価 以上３点を学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
10回	**授業テーマ：会話・スピーチ教育２　「話す」能力の陰になりがちが「聞く」の重要性を認識させる。** 授業内容：１正確さの練習　２流暢さの練習　３スピーチ・スキルの指導　４フィードバックと評価 以上４点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	25回	**授業テーマ：評価１** 授業内容：評価のタイプについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
11回	**授業テーマ：会話・スピーチ教育３　「発話」に終わらず、「傾聴」を学ばせる方法を加味する。** 授業内容：１正確さの練習　２流暢さの練習　３スピーチ・スキルの指導　４フィードバックと評価 以上４点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	26回	**授業テーマ：評価２** 授業内容：評価の方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
12回	**授業テーマ：聴解教育１　ディクテーションをとり入れた聴解教育を考える。** 授業内容：１インプットと聴解能力　２聴解の指導　３タスクと評価 以上３点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	27回	**授業テーマ：評価３** 授業内容：テストの種類について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
13回	**授業テーマ：聴解教育２　メモをとり入れた聴解教育を考える。** 授業内容：１インプットと聴解能力　２聴解の指導　３タスクと評価 以上３点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	28回	**授業テーマ：評価４** 授業内容：学力テストの形式について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
14回	**授業テーマ：聴解教育３　「聞く」と「書く」の同時作業を授業内で行うための試案を提示する。** 授業内容：１インプットと聴解能力　２聴解の指導　３タスクと評価 以上３点について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。	29回	**授業テーマ：評価５** 授業内容：学力テストの形式について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：各自がそれまで学んだ項目から2点を選び、まとめたものを発表する。発表は教師のチェックを受けた上で行う。 事前学修 2.0hr：発表原稿を準備してくる。 事後学修 2.0hr：ピア・ラーニングで指摘されたことをもとに発表原稿を修正する。	30回	**授業テーマ：評価６** 授業内容：コース・デザインの評価について学ぶ。 事前学修 2.0hr：授業内容について不明な点を調べてくる。 事後学修 2.0hr：学んだことをまとめる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

木山　三佳（きやま　みか）

▌授業の概要

それまでの大学での学修を活かし、研究テーマを決める。
研究手法を学び、調査分析や考察を行う。
論理的な文章の書き方を学び、卒業論文を作成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：日本語の分析、日本語教育から、研究テーマを探求することができる。
　　研究テーマにふさわしい様々な研究手法を選択することができる。
　　論理的な文章を書くことができる。
個別目標：①研究意義のあるテーマを見出し、探究を続けることができる。
　　②研究の方法を理解したうえで、適切な方法で調査、分析を行うことができる。
　　②先行研究、目的、研究課題、方法、結果、考察、に一貫性を持たせて、論理的な論文を書くことができる。

▌履修条件

提出期限を遵守する。計画的に執筆を行う。

▌評価基準・方法

卒業論文の執筆・卒論発表会の参加は単位修得の前提となる。
卒業論文への取り組み(平常点) 20 %、卒業論文 60 %、中間発表 10 %、最終発表 10 %

▌フィードバック方法

発表の際はディスカッションを十分に行う。
毎回コメントシートで質問を受け付ける。
課題のフィードバックは manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・話し合い学習法・コメントシート）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成、コメントシートの作成等に利用する。）

▌教科書

レジュメを使う

▌参考書

授業で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の概要等の説明を行う。テーマについて話し合う。 事前学修 2.0hr：どんなテーマにするかを考えるために参考とする本を読む。 事後学修 2.0hr：卒論作成の計画書を作成する。	16回	**授業テーマ：進行状況の確認** 授業内容：夏季休業中の進行状況を確認する。 事前学修 2.0hr：夏季休業中の進行状況を報告する。 事後学修 2.0hr：論文の構成を考える。
2回	**授業テーマ：文章作成の基礎 1** 授業内容：主張と根拠、論点の整理について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：自分のテーマに沿った本や論文を探して読む。 事後学修 2.0hr：自分のテーマに沿って論点を整理し、一貫性のある主張と根拠を作る。	17回	**授業テーマ：論文執筆：アウトラインの決定** 授業内容：アウトラインについて話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：論文のアウトラインを考える。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、アウトラインを決定する。
3回	**授業テーマ：文章作成の基礎2** 授業内容：論文の構成についての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：自分のテーマに沿った参考文献を 5 冊を選択し、まとめる。 事後学修 2.0hr：論文の構成を考え、アウトラインを作成する。	18回	**授業テーマ：論文執筆：はじめに** 授業内容：「はじめに」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：研究動機、定義、テーマにおける現代的問題について考える 事後学修 2.0hr：コメントに基づき「はじめに」を執筆する。
4回	**授業テーマ：引用** 授業内容：参考文献の引用方法についての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：自分のテーマに沿った論文を探して読む。 事後学修 2.0hr：論文から引用を行うためのメモを作成する。	19回	**授業テーマ：論文執筆：先行研究** 授業内容：「先行研究」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：参考文献として読んだ先行研究をまとめる 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、先行研究を執筆する。
5回	**授業テーマ：研究テーマを絞る** 授業内容：様々な切り口から、研究テーマを絞り込む方法について話し合い学修を行う。 事前学修 2.0hr：卒業論文のテーマを絞り込み、複数の案を考える。 事後学修 2.0hr：絞り込んだ範囲の先行研究のまとめを行う。	20回	**授業テーマ：論文執筆：研究目的** 授業内容：「研究目的」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：研究テーマにおける意義のある研究目的を考える。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、研究目的を執筆する。
6回	**授業テーマ：研究テーマを具体的に考える** 授業内容：具体的な研究テーマについての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：自分の卒業論文の研究テーマを具体化する。 事後学修 2.0hr：まとめた先行研究を考えて自分の研究課題を絞り込む。	21回	**授業テーマ：論文執筆：研究方法** 授業内容：「研究方法」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：研究方法を考える。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、研究方法を執筆する。
7回	**授業テーマ：意義を考えて研究テーマを決める** 授業内容：研究テーマの意義について、話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：具体的な研究テーマとその意義についてまとめる 事後学修 2.0hr：授業でのコメントを参考に、研究テーマの修正を行う。	22回	**授業テーマ：論文執筆：結果** 授業内容：「結果」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：結果をまとめる。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、結果を執筆する
8回	**授業テーマ：データ収集の方法** 授業内容：研究テーマに沿ったデータ収集方法について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：自分の研究における調査対象を考えておく。 事後学修 2.0hr：調査対象を修正し、データ収集に取り掛かる。	23回	**授業テーマ：論文執筆：調査分析** 授業内容：「調査分析」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：調査分析をまとめる。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、調査分析を執筆する。
9回	**授業テーマ：データを整理する** 授業内容：データの整理の仕方について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：データを収集する。 事後学修 2.0hr：集めたデータを整理して文章にする。	24回	**授業テーマ：論文執筆：考察** 授業内容：「考察」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：考察をまとめる。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、考察を書く。

10回	**授業テーマ：データを分析する** 授業内容：データの分析方法について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：データを分析する。 事後学修 2.0hr：データ分析から分かったことを書く。	25回	**授業テーマ：論文執筆：終わりに** 授業内容：「おわりに」について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：今回の調査の考察と課題を考える。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、終わりにを執筆する。
11回	**授業テーマ：調査結果** 授業内容：結果のまとめについて話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：調査結果をまとめる。 事後学修 2.0hr：コメントに基づいて、調査を修正したり、新たに行う。	26回	**授業テーマ：論文執筆：参考文献リスト** 授業内容：参考文献リストについての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：論文中の引用箇所を確認し、参考文献リストを作成する。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、参考文献リストを執筆する。
12回	**授業テーマ：中間発表準備：テーマ・先行研究・目的・方法・結果** 授業内容：テーマ・先行研究・目的・方法結果について話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：調査で分かったことを整理する。 事後学修 2.0hr：先行研究から、目的、方法、結果までのアウトラインを考える。	27回	**授業テーマ：最終チェック：卒業論文全体のチェック** 授業内容：卒業論文全体についての話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：論文を読み直し、再確認を行う。 事後学修 2.0hr：論文発表会に向けた準備を行う
13回	**授業テーマ：中間発表準備：レジュメ作成** 授業内容：中間発表におけるレジュメについて話し合い学習を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表のためのレジュメを作成する。 事後学修 2.0hr：中間発表のためのレジュメを完成させる。	28回	**授業テーマ：論文発表会1** 授業内容：論文発表会を行う 事前学修 2.0hr：レジュメを作成し、発表の練習をする。 事後学修 2.0hr：レジュメを作成し、発表に向けた準備をおこなう。
14回	**授業テーマ：中間発表1** 授業内容：中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表の練習を行う。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、自分の課題を考える。	29回	**授業テーマ：論文発表会2** 授業内容：論文発表会を行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを作成し、発表の練習をする。 事後学修 2.0hr：自分の論文作成をふりかえり、問題点を書きだす。
15回	**授業テーマ：中間発表2** 授業内容：中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：中間発表の練習を行う。 事後学修 2.0hr：コメントに基づき、自分の課題を考える。	30回	**授業テーマ：振り返り** 授業内容：振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：研究ノートの書式を整える。 事後学修 2.0hr：全体の感想を 1000 字程度にまとめる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

佐々木　文彦（ささき　ふみひこ）

▌授業の概要

大学 4 年間で学んだことの集大成として、各自の選んだテーマに基づいて研究を進め、卒業論文を作成する。テーマの選択から、研究方法の策定等、すべて自分の責任において行ってもらうが、同じゼミの学生相互の意見交換や指導教員のアドバイスを参考にしながら、よりよい研究ができるように努めてほしい。

※詳細は manaba にて連絡する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：日本語日本文化について問題意識を持ち、深く考察することができる。

個別目標：卒業論文を作成し、提出する。

▌履修条件

卒業研究でこのクラスに振り分けられた学生（クラス変更を希望する場合は事前に相談すること）

▌評価基準・方法

研究テーマへの取り組み（30 %）と、提出された卒業論文（70 %）により評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用してのデータ収集と分析）

▌教科書

なし

▌参考書

各学生のテーマに応じて紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：テーマの決定(1)興味ある分野の確認** 授業内容：３年次の専門領域研究で作成した研究計画書をもとに、今後の研究の方向性を確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	16 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(1)問題提起の再点検** 授業内容：論文執筆を進めるにあたり、問題提起の妥当性を再点検する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。研究成果を整理する。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。
2 回	**授業テーマ：テーマの決定(2)研究目的の確認** 授業内容：研究計画書の研究目的が具体的であるかを確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	17 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(2)要旨の確認** 授業内容：論文執筆を進めるにあたり、要旨を確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：論文の執筆
3 回	**授業テーマ：テーマの決定(3)問題解決の方法** 授業内容：確認した研究目的を達成するために、具体的な研究方法を検討する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	18 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(3)論旨展開について** 授業内容：論文執筆を進めるにあたり、論旨の展開の妥当性について確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
4 回	**授業テーマ：研究方法の検討(1)既知のことと未知のこと** 授業内容：研究課題に対して何が既知で何が未知であるかを整理し、取り組むべき課題を明確にする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	19 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(4)データと論旨の整合性** 授業内容：論文執筆を進めるにあたり、データと論旨の整合性について確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
5 回	**授業テーマ：研究方法の検討(2)調査方法の整理** 授業内容：研究課題に対して調査方法が妥当であるかを検討し、整理する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	20 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(5)論理展開のチェック** 授業内容：論文執筆を進めるにあたり、論理展開の妥当性について確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
6 回	**授業テーマ：研究方法の検討(3)データ集めの方法** 授業内容：具体的にどのようなデータ集めをするのか確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	21 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(6)文章表現のチェック** 授業内容：論文執筆を進め、文章表現の妥当性を確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
7 回	**授業テーマ：データ集めと整理(1)データの収集** 授業内容：前回までに確認した方法に基づいてデータを収集する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	22 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(7)全体の構成** 授業内容：論文執筆を進め、全体の構成を確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
8 回	**授業テーマ：データ集めと整理(2)データ収集結果の報告** 授業内容：集めたデータについて結果を報告し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。データ収集結果をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	23 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(8)引用について** 授業内容：論文の執筆にあたり、引用の妥当性・正確性について確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
9 回	**授業テーマ：データ集めと整理(3)データ分析の方法** 授業内容：集めたデータをどのように分析するか、その方法についてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	24 回	**授業テーマ：データ整理と論文の執筆(9)論旨の明晰性** 授業内容：論文の執筆にあたり、論旨の明晰性について確認する。 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：論文の執筆
10 回	**授業テーマ：データ集めと整理(4)分析結果と課題** 授業内容：データ分析の結果を報告してディスカッションし、解決した課題と未解決の課題を確認する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。分析結果と疑問点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	25 回	**授業テーマ：まとめ(1)論文内容の最終チェック** 授業内容：論文内容をチェックする 事前学修 2.0hr：論文の執筆 事後学修 2.0hr：修正点のチェック。
11 回	**授業テーマ：データ集めと整理(5)新しい課題とその解決法** 授業内容：未解決の課題について、その解決方法をディスカッションする。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	26 回	**授業テーマ：まとめ(2)表記の最終チェック** 授業内容：論文の表記をチェックする。 事前学修 2.0hr：修正点のチェック 事後学修 2.0hr：修正点のチェック

12回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(1)問題設定のチェック** 授業内容：研究経過を報告し、ディスカッションによりフィードバックをする。問題設定が適切であるかを再検討する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	27回	**授業テーマ：まとめ(3)形式のチェック** 授業内容：論文が形式上の要件を満たしているか確認する。 事前学修 2.0hr：修正点のチェック 事後学修 2.0hr：修正点のチェック
13回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(2)データ収集の方法** 授業内容：研究経過を報告し、ディスカッションによりフィードバックをする。データ収集の方法が適切であるかを再検討する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	28回	**授業テーマ：論文の提出** 授業内容：要旨を執筆し、論文を提出する。 事前学修 2.0hr：修正点のチェック。 事後学修 2.0hr：論文内容の振り返り。必要に応じてメモを作成。
14回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(3)データ分析の方法** 授業内容：研究経過を報告し、ディスカッションによりフィードバックをする。データ分析の方法が適切であるかを再検討する。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。	29回	**授業テーマ：卒業論文発表会の準備** 授業内容：提出した卒業論文について発表するための資料を作成する。 事前学修 2.0hr：論文についての自己評価 事後学修 2.0hr：他の学生の論文についての評価
15回	**授業テーマ：経過報告とフィードバック(4)今後の課題と解決の方針** 授業内容：研究経過を報告し、ディスカッションによりフィードバックをする。今後の課題と解決の方針を定める。 事前学修 2.0hr：調査と分析。要点をノートにまとめる。 事後学修 2.0hr：調査と分析。決まった方針に基づいて研究を進める (夏期休業中)。	30回	**授業テーマ：卒業論文発表会** 授業内容：卒業論文についてスライドを用いて発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：研究成果をまとめる。 事後学修 2.0hr：研究についての感想をまとめる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

各自が研究テーマを設定し、研究計画を立案し、研究の実施、論文の執筆、発表に至るまでのスキルを習得する。これらのスキルを積み上げて、最終的に卒業論文を作成をさせる。当科目を通じて学術上の問題を発見し、問題を分析し解決する力、自己省察力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：自ら関心のある研究テーマから問いを立て、論理的な卒業論文が書ける。
　　卒業論文についてわかりやすく他者に説明できる。
個別目標：(1) 卒業研究についての知識と論文作成スキルを獲得し、説得力のある論文が書ける。
　　(2) 卒業論文の内容を要約して説明できる。
　　(3) 他者と卒業論文について議論ができる。

▌履修条件

関心のあるテーマについて追求する姿勢を必要とする。
課題の締め切りを守る。
他者の意見を真摯に受け止める姿勢を必要とする。

▌評価基準・方法

卒業論文の内容 50%、取り組む姿勢 10%、課題提出 20%、発表 20%で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは学習支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、発表を実施する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （発表資料作成、調査データの整理と分析、卒業論文作成において PC を使用する。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

二通 信子、佐藤 勢紀子、 因 京子、山本 富美子、大島 弥生『留学生と日本人学生のためのレポート・論文表現ハンドブック』東京大学出版会
佐渡島 紗織、坂本 麻裕子、大野 真澄『レポート・論文をさらに良くする書き直しガイド』大修館書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・卒業研究とは何か** 授業内容：なぜ卒業論文を書くのか、卒業研究と調べ学習は何が違うのかを考え、卒業研究で育成する能力について理解を深める。これまで受けてきた授業を振り返り最も関心のある内容を思い出す。卒業研究で扱うテーマを決定する。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマを考える。 事後学修 2.0hr：目標に到達した自分の姿を 400 字程度で記述する。	16回	**授業テーマ：論文執筆の概要説明・進捗状況の報告をする** 授業内容：夏季休業期間中に進めた論文執筆活動についてクラスメートに報告する。 事前学修 2.0hr：進捗状況をまとめる 事後学修 2.0hr：授業でもらったコメントをまとめる。
2回	**授業テーマ：文献調査の方法を確認する** 授業内容：文献調査の方法を確認し、テーマに関連する文献を探す。集めた文献を読む順番を決定し、先行研究をレビューするための計画を立てる。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	17回	**授業テーマ：アウトラインを立てる** 授業内容：卒業論文のアウトラインを検討する。取り組む問題、取り組む理由、着眼点、データ、論理展開、結論で何を書くのかを決める。各段落で何を書くかも決めてリストにする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：先行研究のアウトラインを分析する。
3回	**授業テーマ：構想を練る** 授業内容：どのような卒業論文にするか構想を練る。取り組む問題と取り組む理由を考える。どのような事実(データ)が必要か、予想される結果はどのようなものか具体的に検討する。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	18回	**授業テーマ：問いの立て方、先行研究を見直す** 授業内容：収集したデータから言えることに合わせて、問いの立て方、集めた先行研究の論理展開を調整する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う 事後学修 2.0hr：授業で学んだことをふまえてアウトラインを立てる。
4回	**授業テーマ：論文の構成を確認する** 授業内容：序論本論結論の三段構成法を学習する。序論、本論、結論の見分け方、それぞれどのようなことを書くのかを知ったうえで、書く練習をする。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる	19回	**授業テーマ：タイトルを考える** 授業内容：良いタイトルと悪いタイトルの違いについて学習し、タイトルに入れるべき情報を考える。読者の興味を惹くタイトルを付けてクラスメートに発表する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる
5回	**授業テーマ：先行研究をまとめる** 授業内容：先行研究を引用する意味を学習したあと、先行研究を読んでまとめる。問題点、不足を挙げる。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	20回	**授業テーマ：研究方法を書く** 授業内容：卒業論文を読めば読者が研究を再現できるようにするために、調査対象、調査方法、分析方法についての情報を漏らさず書く。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6回	**授業テーマ：問いを立てる** 授業内容：卒業研究のアイデアから問いを立てる。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	21回	**授業テーマ：図表を説明する** 授業内容：図や表の説明のしかた、注意点を学習する。集めた資料にある図や表を説明する文章を書き、クラスメートに正しく書けているかどうかチェックしてもらう。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7回	**授業テーマ：研究デザインを考える** 授業内容：どのような着眼点、調査方法、分析の観点から研究するのかを考える。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：卒業論文の問いを立てる。	22回	**授業テーマ：研究結果を書く** 授業内容：問いに答えるために必要なデータをわかりやすい形で提示し、データが持つ情報を文章にまとめて説明する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことをふまえて研究結果を書く
8回	**授業テーマ：パラグラフライティングの作法を確認する** 授業内容：パラグラフライティングの注意点を確認し、読み手に負担を与えない文章を書く練習をする。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	23回	**授業テーマ：考察を書く** 授業内容：結果と分析で示されたデータの意味を解釈し、そのような結果が得られたのはなぜか、その理由を説明し、裏付ける。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことをふまえて考察を書く。

9回	**授業テーマ：先行研究をまとめて発表する** 授業内容：着眼点に沿って先行研究をまとめ、クラスメートに向けて発表する。質疑応答を行ない、研究の方向性について検討する。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	24回	**授業テーマ：序論を書く** 授業内容：序論で取り組む問題、取り組む理由(問題意識)、着眼点と着眼する理由を書く。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で学んだことをふまえて序論を書く。
10回	**授業テーマ：研究承諾書を作る** 授業内容：研究協力者に対してインフォームドコンセントを行い、プライバシー、個人情報を保護して調査が行えるよう、注意点を学習する。研究承諾のための説明文書を書く練習をする。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	25回	**授業テーマ：結論を書く** 授業内容：序論で提起した問題に対する解答を書く。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。
11回	**授業テーマ：データ収集の準備をする** 授業内容：データを収集するために必要な調査用紙を作成したり、機器の使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	26回	**授業テーマ：論文全体をまとめる** 授業内容：部分的に書いてきた文章を一つの論文としてまとめ上げる。 事前学修 2.0hr：これまで書いた論文の各部分をまとめる 事後学修 2.0hr：卒業論文として体裁を整える
12回	**授業テーマ：パイロット調査を行う** 授業内容：準備した調査票を使って適切にデータが収集できるかどうか確かめるために、試験的に調査を行ってみる。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：先行研究を読んで内容をまとめる。	27回	**授業テーマ：推敲する** 授業内容：原稿を書き上げたあと、誤字脱字、表記の統一、参考文献と引用の照合、紙面の見やすさ、通し番号、文のねじれなどの最終確認を行ない、必要があれば修正する。 事前学修 2.0hr：卒業論文の内容を自己評価する 事後学修 2.0hr：卒業論文を推敲する
13回	**授業テーマ：本調査を行う** 授業内容：倫理的配慮を行ったうえで本調査を行い、必要なデータを収集する。 事前学修 2.0hr：授業で指示する事前課題を行う。 事後学修 2.0hr：データを収集する。	28回	**授業テーマ：発表用資料を作成する** 授業内容：卒業論文の内容を発表用にまとめ直して資料を作成する。 事前学修 2.0hr：卒業論文を読み直す 事後学修 2.0hr：発表の準備をする
14回	**授業テーマ：データを整理する** 授業内容：収集したデータを Microsoft Excel を使って整理する。データからどのような傾向がみられるのか分析する。 事前学修 2.0hr：卒業論文で取り上げたいテーマに関連する論文を探す。 事後学修 2.0hr：データを整理する。	29回	**授業テーマ：自己評価、他者評価をする** 授業内容：卒業論文の内容を発表し、質疑応答をしたうえで、他者から評価を受ける。 事前学修 2.0hr：発表の練習をする 事後学修 2.0hr：発表をふりかえる
15回	**授業テーマ：中間発表をする** 授業内容：クラスメートに研究の進捗状況をわかりやすく発表する。クラスメートと質疑応答を行ない、研究をより良い方向へ進めていくためのヒントとする。夏休み中の計画を立てる。 事前学修 2.0hr：中間発表の準備をする 事後学修 2.0hr：中間発表でもらったコメントをまとめる。	30回	**授業テーマ：まとめとふりかえり** 授業内容：コース全体をふりかえり、卒業論文を作成するプロセスで身に付けたこと、ここで得た学びを今後どのように生かしていくべきかを検討する。 事前学修 2.0hr：卒業論文執筆の過程をふりかえる。 事後学修 2.0hr：コース開始時と今の自分を比べて 400 字にまとめる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

テーマを設定し、必要な知識を身につけるため文献を読み込み、調査を行い、論文としてまとめる。中間発表および、卒論提出後のゼミ発表がある。
なお、事前事後学修の時間は目安として一回あたり合計８時間としているが、個々人の卒業論文を完成させることがゴールであるため、画一的に時間は決められない。各自の努力を求める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：これまで学んだ専門の知識を活かし、さらなる思考力、論理力を身につけ、テーマにあった適切な調査と分析を行い、自分の論をまとめることができる。
個別目標：自分で仮説をたてて、専門文献を読み込み適切な正しい情報を取捨選択、判断し、必要なデータを集めて分析して、自分の思考過程を文章で適切に組み立てることにより、卒業研究論文を完成する。

▌履修条件

自らデータを集め、自ら思考分析し、自ら文章を磨きながら書いていくことが必須条件。
提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。
広く AI に限らず、思考の代替、文章の代替は認めない。

▌評価基準・方法

自ら考える過程と文章の創造の過程について４割(前期定期テスト・中間発表含む)の評価を行う。
提出した論文および口頭および筆記試問に自らの力で適切に答えること(後期定期テストを含む)について４割の評価をおこなう。
最終発表とまとめに対して２割で点数をつける。
なお、毎週教室において、下書きをはじめ、マナバ・その場での記述等に何かしら提出を求める。突然卒論は出来上がらない。未提出未出席の場合は減点する。

▌フィードバック方法

毎回の対面授業およびマナバで行う。
AI については使い方について授業で条件を提示する。
アイデア、思考を作る段階、文章を書かせることについての AI への丸投げについて、大学での最後の学ぶ機会になる卒業研究においての学生の思考力・創造力の成長を妨げる観点から強く禁止する。仮にゼミでの提示条件に従って、ルールを守って AI を使用した場合でもプロンプトおよびその結果の前後を提出できるようにすること。軽々に使用しないこと。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ゼミでのお互いの卒論についての論理、文章の話し合い）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文献調査・データ調査・レポート記述）

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

研究のテーマによって個別に指導する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：レポートや小論文と卒論の違いをまなび、参考論文や論文題目などから卒論とはなにかを理解する 事前学修 4.0hr：テーマを三つ以上考えてメモする 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	16回	**授業テーマ：夏期休暇中の成果報告** 授業内容：夏休み期間中の調査、分析結果を発表する 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
2回	**授業テーマ：テーマ探求（１）　興味を具体化する** 授業内容：仮説をたてることと検証することについて学ぶ。自分で興味がある分野をアカデミックに落とし込むとどのようなトピックになるかを考える 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	17回	**授業テーマ：研究指導（１）データを完成する** 授業内容：発表のフィードバックをもとにデータを整理し、完成させる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
3回	**授業テーマ：テーマ探求（２）　先行研究をリストアップする** 授業内容：それぞれの分野について、基礎概念と基礎文献をリストアップする。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	18回	**授業テーマ：研究指導（２）目次をつくる** 授業内容：これまでの見通しをもとに目次を作成する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
4回	**授業テーマ：研究方法の検討（１）先行研究を読み解く** 授業内容：先行研究を入手し、必要な事柄をまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	19回	**授業テーマ：研究指導（３）アブストラクトをつくる** 授業内容：目的と仮説と結論を簡単に書いてみる。書けない場合は何がなくて書けないのかを再度検討する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
5回	**授業テーマ：研究方法の検討（２）質的研究と量的研究** 授業内容：研究には質的研究と量的研究がある。自分の研究がどちらに属するのか、仮説を明らかにするためにはどのようなステップが必要なのかを考える。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	20回	**授業テーマ：研究指導（４）「はじめに」を書く** 授業内容：研究のきっかけをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
6回	**授業テーマ：研究計画書を作る** 授業内容：前回の授業で考えたステップを目次として作成し、目的、方法、見通しを書いてみる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	21回	**授業テーマ：研究指導（５）「先行研究」を書く** 授業内容：引用の方法を守って、必要な事柄をまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
7回	**授業テーマ：データ作成（１）準備** 授業内容：自分の研究に必要な調査項目をピックアップし、手順を決める。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	22回	**授業テーマ：研究指導（６）「研究の目的」を書く** 授業内容：仮説と研究の目的をまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える

8回	**授業テーマ：データ作成(2)見通しをたてながらデータを採取する** 授業内容：要な調査項目について予備調査を行ってみる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	23回	**授業テーマ：研究指導(7)「研究の方法」を書く** 授業内容：方法についてまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
9回	**授業テーマ：データ作成(3)データをまとめる** 授業内容：予備調査からわかることをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	24回	**授業テーマ：研究指導(8)「調査結果」を書く** 授業内容：調査の結果をまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
10回	**授業テーマ：研究指導(1)データを分析する** 授業内容：仮説に対してどのような見解が述べられるかをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	25回	**授業テーマ：研究指導(9)「分析」を書く** 授業内容：調査からわかったことをまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
11回	**授業テーマ：研究指導(2)レジュメを作成する** 授業内容：研究計画書にしたがって、レジュメ形式でまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	26回	**授業テーマ：研究指導(10)「まとめ」を書く** 授業内容：仮説を検証し、今後の研究の展開を書く 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
12回	**授業テーマ：研究指導(3)問題点を整理する** 授業内容：仮説が証明できるのか、仮説の修正が必要なのかを検討し、修正が必要な場合は修正する。 修正が必要ない場合は、さらに分析を深めるために必要なことを考える。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	27回	**授業テーマ：課題提出** 授業内容：卒論提出のフォーマットとチェックリストをつかって、卒論を見直す。 事前学修 4.0hr：論文提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
13回	**授業テーマ：中間発表準備** 授業内容：レジュメをもとに中間発表の資料を作成する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	28回	**授業テーマ：ゼミ発表会(1)** 授業内容：卒論をレジュメにして発表をおこなう 事前学修 4.0hr：ブリーフを作成する 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
14回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：中間発表を行う。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	29回	**授業テーマ：ゼミ発表会(2)** 授業内容：発表し討議をする 事前学修 4.0hr：ブリーフを作成する 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
15回	**授業テーマ：計画修正案の作成** 授業内容：意見をもとに計画の修正を行う。夏休み期間はそれぞれの課題にしたがって、調査、分析をすすめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	30回	**授業テーマ：まとめと今後の課題** 授業内容：個々の研究の関連を討議したあと、卒論で学んだこと、今後の課題を話し合う。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

中川　仁（なかがわ　ひとし）

▌授業の概要

卒業研究は日本語学科の必修科目であり、学生各自の研究課題にしたがって担当教員（指導教員）が直接指導をする。また個別の指導や中間発表（ゼミクラス）もおこなう。 研究課題については、言語研究を中心にその相関関係にあることがらを選定すること。また留学生については、地域社会と日本語教育との関わりや自国の言語と日本語との対照言語研究などを課題にすることが望ましい。卒業研究を通して、「論理的な思考」の培養を進めるものである。（そして卒業研究を通して、論文を執筆することにより、小さな研究課題への取り組みを同時に把握する。）

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：論文作成に必要な知識を理解し、綿密な先行研究を調査し、各自の課題にあった研究を進めていけるだけの能力を養う。広い教養を身につけ、思考能力を高められるようになる。論文題目については、長期的な疑問をもち、それを研究するという姿勢を身につけられる。

個別目標：卒業論文の作成にあたり、先行研究の整理と文献調査などの説明ができる。また先行研究における論文の解釈を通して、その論文の問題点やその論文の主軸について説明できる。

▌履修条件

4 年生の必修科目として、必ず履修すること。学生は自分の論文題目にそって先行研究を調べ、それを整理すること。事前に図書館で参考文献を探しておくこと。

▌評価基準・方法

毎回の発表及び報告により、討論、発言を積極的に重視する。評価については、執筆した論文及び研究の姿勢による独創的な観点と客観的な観点を考慮し判断する。

▌フィードバック方法

課題に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。また個別による指導も含め、そのフィードバックを進める。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修及びレポート、課題作成においてパソコンを使用する。）

▌教科書

テキストは各学生に対して、卒業研究にそったものを準備する。またその都度指示する。

▌参考書

とくに参考書はないが、研究の論題及びテーマにより、各学生に対して、必要図書や論文などを紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：卒業論文の作成（卒業論文の意義）** 授業内容：卒業論文執筆にあたり、その準備と心構えを中心に、論文の種類なども含め説明を進めていく。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、研究の意味を知るための準備をする。 事後学修 2.0hr：興味のある研究について調べる。	16回	**授業テーマ：具体的に指摘を受けた部分を整理する** 授業内容：自分なりにまとめものを、まずはどのような論で、論を展開し、進めていくのか、公表で指摘を受けたところなどを含め、それを考えていく。 事前学修 2.0hr：指摘を受けた部分に手直しを入れる。 事後学修 2.0hr：手直しした部分に再度目を通していく。
2回	**授業テーマ：論文の種類（日本語学関係の論文を読む）** 授業内容：論文の種類として、語学関係の論説資料を説明していく。そしてさまざまな論文の研究分野があることを理解していく。 事前学修 2.0hr：日本語学論説資料を読み、先行研究の種類を調べる。 事後学修 2.0hr：先行研究について整理し、カードにまとめる。	17回	**授業テーマ：データの修正と整理** 授業内容：先行研究及び研究方法論の見直し、データなどを整理していく。（作業的な捉え方になってしまうが、ここでは、再度、見直しをし、理解していく。） 事前学修 2.0hr：データについてチェックし、修正の準備をする。 事後学修 2.0hr：手直ししたデータについて、再度目を通しておく。
3回	**授業テーマ：論文の種類（日本語教育関係の論文を読む）** 授業内容：論文の種類として、日本語教育関係の論説資料を説明していく。そしてさまざまな論文の研究分野があることを理解していく。 事前学修 2.0hr：学会発行の（論文集）の目録を読み、先行研究の種類を調べる。 事後学修 2.0hr：先行研究について整理し、カードにまとめる。	18回	**授業テーマ：研究テーマの最終チェック** 授業内容：研究テーマについて、最終的に選定をしていく。自分の研究分野にきちんとそったものであるのかを、再度確認し理解していく。 事前学修 2.0hr：テーマについて準備する。 事後学修 2.0hr：テーマに整合性があるかを考える。
4回	**授業テーマ：テーマの選定** 授業内容：研究分野についての理解を深めるために、他者の論文などを参考として、自分なりの研究分野と論文の題目を選定していく。 事前学修 2.0hr：それぞれのテーマの選定を準備する。 事後学修 2.0hr：テーマにそった図書と関連論文について整理する。	19回	**授業テーマ：執筆指導（序論の執筆）** 授業内容：研究についての執筆の動機、研究範囲、研究の方法及び目的などを提示し、序論の部分を考えていく。 事前学修 2.0hr：序論について、執筆の準備をはじめる。 事後学修 2.0hr：序論執筆としての動機、目的を整理する。
5回	**授業テーマ：先行研究の種類** 授業内容：研究分野についての理解を深め、他者の論文を通して、自分にそった研究の主軸を明らかにし、先行研究を理解していく。 事前学修 2.0hr：テーマにそった関連論文の種類を調べる。 事後学修 2.0hr：先行研究をしぼりこみ、それについて、種別する。	20回	**授業テーマ：執筆指導（先行研究について）** 授業内容：執筆にあたり、先行研究の重要性を提示し、論証をおこなっていくためのプロセス的なことがらを考えていく。 事前学修 2.0hr：執筆にあたり、先行研究としてある論文に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：論文の文体と表現に気を配る。
6回	**授業テーマ：研究の方法** 授業内容：研究分野についての理解を深め、自分なりに興味がある論文を選定し、その分野の研究方法論を学んでいく。 事前学修 2.0hr：研究の種類と方法論について準備する。 事後学修 2.0hr：研究方法論を綿密にチェックする。	21回	**授業テーマ：執筆指導（研究方法・目的等の執筆）** 授業内容：執筆にあたり、研究方法とその目的を明確化し、論の展開を自分なりに考えていく。（シナリオ的な考えとオリジナリティーを見出すための方策を学んでいく。） 事前学修 2.0hr：執筆の研究方法とその目的について、事前に準備する。 事後学修 2.0hr：研究の方法論を打ち立てて、執筆する。
7回	**授業テーマ：データの集め方** 授業内容：データを扱う論文の参考書からヒントを得て、その研究方法とデータについての取り扱い方を考えていき、その蒐集の仕方を学んでいく。 事前学修 2.0hr：データの集め方を準備する。 事後学修 2.0hr：データの集め方を整理する。	22回	**授業テーマ：執筆指導（研究の展開を執筆）** 授業内容：執筆にあたり、研究方法とその展開を明確化し、論の展開に対して、オリジナリティーを見出すための方策を考えていく。 事前学修 2.0hr：研究の方法論としての展開を考えていく。 事後学修 2.0hr：研究の展開を執筆する。
8回	**授業テーマ：データ蒐集と整理の仕方** 授業内容：データを扱う論文から、その研究方法とデータについての取り扱い方を考えていき、その蒐集した整理の仕方と管理的な意義を学んでいく。 事前学修 2.0hr：データの蒐集とその整理について準備する。 事後学修 2.0hr：データの蒐集と整理の仕方をカードにまとめる。	23回	**授業テーマ：執筆指導（調査した展開を執筆）** 授業内容：執筆にあたり、調査した内容を明確化し、その論の展開に対して、オリジナリティーがあるのか、先行研究にそった論になっているのか、論証しながら進めていく。 事前学修 2.0hr：調査したことをまとめておく。 事後学修 2.0hr：調査した内容を執筆する。

9回	**授業テーマ：資料の集め方** 授業内容：論文を執筆していく過程において、関連分野の論文を蒐集していく。参考となる資料を集めるということに主軸をおき、研究分野と資料の関係性を見出していく。 事前学修 2.0hr：資料をあらかじめ探しておく。 事後学修 2.0hr：めぼしい資料について目を通しておく。	24回	**授業テーマ：執筆指導（展開と考察の執筆）** 授業内容：執筆にあたり、内容を明確化し、その論の展開に対して、オリジナリティーがあるのか、先行研究にそった論になっているのか、論証しながら進め、考察の方法論を再度、確認していく。 事前学修 2.0hr：研究の展開と客観性を持った独自の見解を考える。 事後学修 2.0hr：研究の展開と客観性を持った独自の見解について執筆する。
10回	**授業テーマ：資料の蒐集と整理** 授業内容：論文を執筆していく過程において、関連分野の論文を蒐集し、参考となる資料を先行研究として、整理していくことを理解していく。 事前学修 2.0hr：先行研究としての資料を蒐集し、準備する。 事後学修 2.0hr：資料及び重要な事柄についてまとめる。	25回	**授業テーマ：執筆指導（結論の執筆）** 授業内容：執筆にあたり、内容を明確化し、その論の展開に対して、オリジナリティーがあるのか、先行研究にそった論になっているのか、論証しながら進め、考察を進めていき、結果を導き出していく。 事前学修 2.0hr：客観的考察をした結論を考える。 事後学修 2.0hr：考察した内容について結論付けて、執筆する。
11回	**授業テーマ：アンケート調査の進め方** 授業内容：アンケート調査に必要な知識を培養し、その方法論とその研究がどのような形で反映していくのかを理解していく。 事前学修 2.0hr：アンケート調査について、その方法論を準備する。 事後学修 2.0hr：調査項目のアウトラインをたてる。	26回	**授業テーマ：執筆指導（注の付け方）** 授業内容：執筆にあたり、さまざまな資料やデータから得たものに対して、注を付けていく。その特質を学んでいく。 事前学修 2.0hr：注について、考えておく。 事後学修 2.0hr：注について、まとめて書いておく。
12回	**授業テーマ：アンケート調査と整理** 授業内容：アンケート調査に必要な知識とその方法論を学び、その研究がどのような形で行われているのか、そしてどのように反映していくのか、その分析などを含め、整理の方法を理解していく。 事前学修 2.0hr：調査項目について綿密に準備する。 事後学修 2.0hr：データについての処理を行い、カードにまとめる。	27回	**授業テーマ：執筆指導（引用の仕方）** 授業内容：執筆にあたり、さまざまな資料やデータを引用したものに対して、その引用が客観的で、尚且つ、特質すべき内容なのかを考え、その引用が適切であるのかを学んでいく。 事前学修 2.0hr：引用部分を整理する。 事後学修 2.0hr：引用部分として列挙する。
13回	**授業テーマ：中間発表のデータをまとめる** 授業内容：今までの先行研究及び研究方法論を自分なりにまとめていき、まずはどのように論を進めていくのかを、客観的な考察なども含め、中間発表のデータをして概観していく。 事前学修 2.0hr：テーマとそのアウトライン及び調査方法について準備する。 事後学修 2.0hr：テーマとアウトラインが合致しているかをチェックする。	28回	**授業テーマ：執筆指導（参考文献の列挙）** 授業内容：執筆にあたり、さまざまな文献やデータを参考としてきたものに対して、その文献とデータが客観的で、尚且つ、特質すべき文献であり、適切であるのかを学んでいく。 事前学修 2.0hr：参考文献を考える。 事後学修 2.0hr：参考文献を列挙する。
14回	**授業テーマ：中間発表のレポートの作成** 授業内容：先行研究及び研究方法論を自分なりにまとめ、まずはどのような論で、論を展開していくのかをまとめていき、その概観を提示し、内容をまとめていく。 事前学修 2.0hr：具体的に文章化し、それについて準備する。 事後学修 2.0hr：文章化したものを再度チェックする。	29回	**授業テーマ：執筆指導（各自論文の発表）** 授業内容：執筆した論文について、再度、検証していく。それぞれの論文についての着眼点とその特質を述べていき、客観的であるかを論証していく。 事前学修 2.0hr：各自論文を準備する。 事後学修 2.0hr：各自論文を執筆する。
15回	**授業テーマ：中間発表及びレポートの発表　（課題について詳細に説明することを含む。）** 授業内容：先行研究及び研究方法論を自分なりにまとめ、まずはどのような論で、論を展開していくのかを自分の発表を通して、その研究の実態などを公表してみる。 事前学修 2.0hr：レジメを準備する。 事後学修 2.0hr：指摘を受けた部分を再度チェックする。	30回	**授業テーマ：論文の完成** 授業内容：執筆した論文を完成させる。 事前学修 2.0hr：論文を執筆する。 事後学修 2.0hr：論文を完成させる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

卒業研究として、卒業論文の作成を行います。
これまで学んだことの中から興味を持ったテーマを選び、調査・考察を行いその結果をまとめていきます。
原則として、進捗状況の報告と研究に関する相談の為に授業を行う。
卒業に向け、これまで学んだものから、各自興味を持ったテーマを深く研究することを目標とします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：大学で学んだことのうち、興味を持ったテーマに沿って論文を書き上げる。
　　仮説を第三者にも理解されるよう説明する力を身につける。
　　論証の仕方について学ぶ。
個別目標：自身が大学の学びで興味を持ったことをテーマとして、仮説を立て論文を書き上げる。
　　自身がテーマとした事柄に関してこれまでどのような研究がおこなわれてきているのかを調べ、理解する。
　　これまでの研究において検証されていない事柄を指摘し、その検証方法を考える。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

提出された論文を用いて評価を行う（１００%）
ルーブリックによる評価を行う。ルーブリックについては第二回の授業で説明する。

▌フィードバック方法

ルーブリックの説明と、各回の論文指導内でルーブリックを用いた評価に関する説明を実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データ収集、検索、分析作業に用いる）

▌教科書

なし

▌参考書

適宜指示する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テーマの確認** 授業内容：各自が立てたテーマについて説明する 他者のテーマについて後日自身が説明を行うことになるので、必要に応じてディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：テーマを決め、先行研究となる論文名をリスト化しておくこと 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	16回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 4.0hr：夏休み中の成果を報告する準備をしておくこと 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
2回	**授業テーマ：論文の構成を考える** 授業内容：ルーブリックについて説明を行う 研究の手法と構成について学ぶ 事前学修 2.0hr：ルーブリックの資料を読んでおくこと 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	17回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
3回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて（1）** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	18回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
4回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて（2）** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	19回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
5回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて（3）** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	20回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
6回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて（4）** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	21回	**授業テーマ：発表会（1）** 授業内容：執筆している論文について発表する　1 人 15 分 質疑応答を行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 4.0hr：他の発表者へのフィードバック資料作成。

7回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて(5)** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	22回	**授業テーマ：発表会(2)** 授業内容：執筆している論文について発表する　1 人 15 分 質疑応答を行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
8回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて(6)** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：発表後のディスカッションの結果を反映させた研究プランをたてること	23回	**授業テーマ：発表会(3)** 授業内容：執筆している論文について発表する　1 人 15 分 質疑応答を行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
9回	**授業テーマ：テーマと実験・アンケートなどについて(7)** 授業内容：研究の手法について、自身のテーマ、仮説とを照らし合わせ、適切な方法について考える 1 人ずつ順に発表し、発表後にはディスカッションを行う 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	24回	**授業テーマ：個別指導** 授業内容：論文執筆の指導 提出に向けた確認 ルーブリックに照らし合わせた確認作業 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
10回	**授業テーマ：中間発表会** 授業内容：各自の研究プランおよび進捗について発表する 事前学修 2.0hr：自身のテーマ、仮説を発表用にまとめておくこと 事後学修 2.0hr：他の発表を聞いた感想、フィードバックを行う。	25回	**授業テーマ：個別指導** 授業内容：論文執筆の指導 提出に向けた確認 ルーブリックに照らし合わせた確認作業 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
11回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	26回	**授業テーマ：個別指導** 授業内容：論文執筆の指導 提出に向けた確認 ルーブリックに照らし合わせた確認作業 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
12回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	27回	**授業テーマ：個別指導** 授業内容：論文執筆の指導 提出に向けた確認 ルーブリックに照らし合わせた確認作業 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
13回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	28回	**授業テーマ：研究の社会的な役割** 授業内容：言語の研究の社会への応用の事例の紹介 教育への応用について 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。
14回	**授業テーマ：発表・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する ディスカッションおよび質疑応答も行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 2.0hr：個別に指示を与える。	29回	**授業テーマ：研究の社会的な役割** 授業内容：言語の研究の社会への応用の事例の紹介 広告やビジネスへの応用について 事前学修 0.5hr：個別に指示を与える。 事後学修 0.5hr：個別に指示を与える。
15回	**授業テーマ：報告会** 授業内容：各自の論文の概要についてまとめ発表する 質疑応答を行う 事前学修 2.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 4.0hr：夏期休暇中の課題を指示する。	30回	**授業テーマ：発表** 授業内容：卒業までに学んだ事柄を振り返り、時系列に沿って学びについて各自発表する 事前学修 0.5hr：発表の資料を作成しておくこと 事後学修 0.5hr：個別に指示を与える。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：通

中村　佑衣（なかむら　ゆい）

▌授業の概要

各自の問題意識に基づき、研究テーマを設定し、データの収集や調査・分析、考察を進め、卒業論文を作成する。
その過程で、研究テーマの絞り方や、先行文献の読み方、データの集め方、分析の方法等を学び、論理的な文章を作成できるようにする。
途中で中間発表を行い、他者への伝わりやすさを重視した論文の完成を目指す。
卒業論文完成後は発表資料を作成し、卒業論文発表を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：1 主に近代以降の日本文学の読解を通して、自らテーマを発見して主体的に考察する姿勢を身につける。
　　2 課題解決に向けた資料の収集、分析方法、論理的な構成の立て方、文章の書き方を習得する。
　　3 目標に向けた計画を立て、卒業論文を完成する。
個別目標：(1) 日本の近現代文学を主軸に様々な問題意識を持ち、具体的な研究テーマを設定することができる。
　　(2) 課題に沿った資料収集や調査を行い、分析・考察することができる。
　　(3) 論理的思考の重要性を理解し、説得力のある論を展開することができる。

▌履修条件

主体的にテーマに取り組み、調査を行う意欲を持っていることを履修条件とする。

▌評価基準・方法

卒業論文の内容 50 %、授業内課題 40 %、最終発表 10 %により、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （自身の選択した研究テーマに取り組み、調査・分析・考察・記述を行う。また、卒業論文発表を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC を利用して参考資料の確認、データ収集、記述を行う。）

▌教科書

なし

▌参考書

適宜授業内で紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス　卒業論文執筆に向けての準備および資料の種別について** 授業内容：卒業論文がこれまでのレポートと異なる点を確認し、論文完成までの流れや本科目の取り組み方を大まかに説明する。資料の種類について学び、自身の研究にテーマにあわせて幅広く資料を渉猟する準備をする。 事前学修 4.0hr：卒業論文で取り上げたい作品・テーマについて考える。 事後学修 4.0hr：卒業論文で取り上げたい作品・テーマの基本事項にまつわる資料を渉猟する	16回	**授業テーマ：調査・分析進行状況と修正点の確認** 授業内容：中間発表での指摘をもとに、各自の論文の修正点を確認する。とくに調査の方法、分析のしかた、調査内容の整理の仕方について確認する。修正をもとに再度構成を考え、今後の論文作成スケジュールを修正する。 事前学修 4.0hr：夏季休業中の調査進行状況をまとめておく。 事後学修 4.0hr：論文執筆に向け、内容を整理し、構成を考える。
2回	**授業テーマ：先行研究の調べ方について** 授業内容：序論に書くべき研究動向について学び、自分が研究する分野の参考文献、先行研究論文を読むことの必要性を確認する。インターネットの文献検索サイトで研究論文などを探す方法を学ぶ。さらに参考文献を引用する際の注意点について理解する。 事前学修 4.0hr：前回収集した資料をもとにキーワードや重要人物などをピックアップする。 事後学修 4.0hr：研究論文を含む専門的な資料を収集し、読み込み、わからない言葉などをピックアップし、調べる。	17回	**授業テーマ：論文執筆 (1)：全体構成の確認** 授業内容：卒業論文の構成について確認する。「はじめに」「本論」「おわりに」の三部構成になっていることを理解し、それぞれの部分に書くべき内容を確認する。先行研究も参考にしながら構成のありかたについて考え、各自の論文構成を修正する。 事前学修 4.0hr：章立てを確認する。 事後学修 4.0hr：授業中のアドバイスを受け、構成を修正する。
3回	**授業テーマ：クリティカルリーディングと引用の仕方** 授業内容：研究の独自性の肝となるクリティカルリーディングについて学ぶ。また、論文における引用の仕方・書式を学ぶ。 事前学修 4.0hr：関心のある作品・テーマについて研究動向を整理する 事後学修 4.0hr：これまで収集した資料のなかでわからない言葉について調べる。先行研究の論者の主張の背景を調べる。	18回	**授業テーマ：論文執筆 (2)：基本事項と研究動向** 授業内容：序論に書くべき内容を整理し、テーマに関する基本事項と研究動向のまとめを文章化する。 事前学修 4.0hr：自身の研究の対象と先行研究の成果と課題を整理する。 事後学修 4.0hr：研究動向と自身の研究の関連性をふまえ、研究意義を再検討する。
4回	**授業テーマ：アカデミック・ライティングにおける論理的文章の構成** 授業内容：卒業論文の構成の立て方について、先行研究を参考にし、具体例を提示しながら確認する。はじめに論文の目的と対象、方法を明示し、データに基づいて分析し、考察を加え、最終的な結論を導くという手順を学ぶ。 事前学修 4.0hr：関心のある作品・テーマの研究論文を 5 本以上探し出す 事後学修 4.0hr：先行研究をもとに序論に書くべき内容を整理する。	19回	**授業テーマ：論文執筆 (3)：研究の目的と方法** 授業内容：卒業研究で明らかにしたい目的および調査方法・調査内容について、一貫性があるか確認し、文章化する。 事前学修 4.0hr：研究の目的と方法を確認する。 事後学修 4.0hr：アドバイスをもとに、研究の目的と方法の記述を再検討する。
5回	**授業テーマ：テーマの絞り込み** 授業内容：論文における問いの立て方について学ぶ。また、各自が取り組むべきテーマについて考え、研究の目的、対象、研究方法について、大まかな見通しと計画を考える。 事前学修 4.0hr：卒業論文で取り上げるテーマの範囲を絞り込む。 事後学修 4.0hr：研究対象を定め、テーマを絞り込みつつ、研究目的、対象、研究方法を具体的に選定する。	20回	**授業テーマ：論文執筆(4)：本論の構成** 授業内容：自身の本論の要点・要約を作成し、自身が立てた問いに対する答えに至る論理的構成になっているかを確認する。 事前学修 4.0hr：本論の要点・要約を確認する。 事後学修 4.0hr：アドバイスをもとに、本論の構成を検討する。
6回	**授業テーマ：研究テーマの検討** 授業内容：各自が調査した先行研究の内容を発表し、そのテーマの研究の概要を確認する。そのうえで、各自が選んだテーマについて、研究の目的、対象、研究方法について発表を行い、卒業論文のテーマにふさわしいかどうかを、質疑応答を通じて確認する。 事前学修 4.0hr：研究対象・テーマ・研究動向と目的・研究方法についての発表準備をする。 事後学修 4.0hr：質疑応答により明らかになった自身の課題に取り組む。研究テーマの再検討を行う。	21回	**授業テーマ：論文執筆(5)：本論の執筆** 授業内容：前回の作業をふまえ、本論を文章化する。論文で明らかにしたかったことと照らし合わせ、調査の分析・考察がその内容に合致していることを確認する。読み手に的確に伝わることを意識してわかりやすい文章でまとめる。 事前学修 4.0hr：本論の執筆作業を進める。 事後学修 4.0hr：アドバイスをもとに、本論の文章化を進める。

7回	**授業テーマ：文献リストの作成と引用** 授業内容：引用・参考・参照の違いをふまえ、文献リストの意味と作成方法について学ぶ。注や引用について、実例を見ながら、実践練習を試みる。 事前学修 4.0hr：これまでに収集した資料を整理する。 事後学修 4.0hr：手持ちの資料で文献リストを作成する。	22回	**授業テーマ：論文執筆(6)：本論の執筆** 授業内容：前回の作業をふまえ、本論を文章化する。論文で明らかにしたかったことと照らし合わせ、調査の分析・考察がその内容に合致していることを確認する。読み手に的確に伝わることを意識してわかりやすい文章でまとめる。 事前学修 4.0hr：本論の執筆作業を進める。 事後学修 4.0hr：アドバイスをもとに、本論の文章化を進める。
8回	**授業テーマ：具体的な研究テーマの決定** 授業内容：調査した先行研究の内容の発表・質疑応答を通じて、自分が取り組むべき研究テーマの意義を確認する。そのうえで、各自が選んだテーマについて、研究の目的、対象、研究方法について発表し、卒業論文のテーマにふさわしいかどうかを再度確認する。 事前学修 4.0hr：自身が取り組む具体的な研究テーマとその意義についてまとめる。 事後学修 4.0hr：授業中のアドバイスを受け、研究テーマの修正を行う。	23回	**授業テーマ：「おわりに」の執筆と「はじめに」の修正** 授業内容：卒業論文で明らかにできたこと、明らかにできなかったこと、論文の反省点、今後明らかにできそうなことなどについて考え、それらを文章化する。読み手に的確に伝わることを意識してわかりやすい文章でまとめる。 事前学修 4.0hr：「おわりに」をまとめ、論を見直して「はじめに」を修正する。 事後学修 4.0hr：授業中のアドバイスを受け、「おわりに」を完成させる。
9回	**授業テーマ：分析方法の検討・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する。 ディスカッションおよび質疑応答も行う。 事前学修 4.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 4.0hr：個別に指示を与える。	24回	**授業テーマ：ピア活動(1)** 授業内容：文章化した論文を互いに読み合い、修正・改善点を挙げていく。 事前学修 4.0hr：草稿としての完成を目指す。 事後学修 4.0hr：他者のコメントを参考にし、推敲する。
10回	**授業テーマ：分析方法の検討・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する。 ディスカッションおよび質疑応答も行う。 事前学修 4.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 4.0hr：個別に指示を与える。	25回	**授業テーマ：ピア活動(2)** 授業内容：文章化した論文を互いに読み合い、修正・改善点を挙げていく。 事前学修 4.0hr：草稿としての完成を目指す。 事後学修 4.0hr：他者のコメントを参考にし、推敲する。
11回	**授業テーマ：分析方法の検討・個別指導** 授業内容：先行研究および現在行っている研究の進捗について発表する。 ディスカッションおよび質疑応答も行う。 事前学修 4.0hr：個別に指示を与える。 事後学修 4.0hr：個別に指示を与える。	26回	**授業テーマ：卒業論文の最終チェック (1) 文献リストをまとめる** 授業内容：卒業論文作成にあたって参考にした文献のリストを見返す。先行研究となる書籍や雑誌論文、データを得た省庁などのサイト等、参考にした文献によって書き方が異なることを理解し、正確な情報を「参考文献」としてまとめる。 事前学修 4.0hr：論文中の引用箇所を確認し、参考文献リストを作成する。 事後学修 4.0hr：参考文献リストの最終チェックを行う。
12回	**授業テーマ：中間報告の準備：章立て** 授業内容：論文の章立てについて学び。中間報告で報告すべき事項を把握した上で、自身の章立てを作成する。 事前学修 4.0hr：自身の論文における問いと答えを定める。 事後学修 4.0hr：章立てを作成する。	27回	**授業テーマ：卒業論文の最終チェック (2)：卒業論文全体の確認** 授業内容：完成した卒業論文を見直し、正確な記述になっているかを確認する。内容については、全体の構成や、目的と結論が呼応しているかなど、論旨の流れを確認する。文章表現については、誤字・脱字、文の呼応、助詞の使い方など、表記や文法の面から確認する。 事前学修 4.0hr：論文を読み直し、字句のチェックや論旨の流れの再確認を行う。 事後学修 4.0hr：卒業論文要旨の作成に向けた準備を行う。
13回	**授業テーマ：中間報告の準備：資料の作成** 授業内容：中間発表に向けて、発表原稿のポイントを整理する。研究の目的と対象、方法の書き方、これまでの調査の示し方、これまでの分析の示し方を確認し、聞き手にとってわかりやすい発表原稿の構成を考える。 事前学修 4.0hr：これまでの調査・分析で明らかになった内容を整理する。 事後学修 4.0hr：中間報告に向けて資料準備をする。	28回	**授業テーマ：卒業論文要旨の作成** 授業内容：各自の卒業論文の要旨を作成する。論文に必要な事項(目的、対象、方法、調査の分析、結論など)を確認し、それらをバランスよく整理して文章化する。さらに、論文発表会に向けた資料作成も行う。 事前学修 4.0hr：卒業論文のポイントをまとめておく。 事後学修 4.0hr：卒業論文発表会に向けた準備を行う。
14回	**授業テーマ：卒業論文中間発表 (1)** 授業内容：レジュメに従って、卒業論文の中間発表を行う。発表に際して、わかりやすい話し方を目指すようにする。話す速度、声の大きさ、抑揚のつけ方など、レジュメを読むのではなく「話す」「説明する」意識で発表する。 事前学修 4.0hr：レジュメを確認し、発表内容を整理しておく。 事後学修 4.0hr：発表後のアドバイスを受け、今後の課題を確認する。	29回	**授業テーマ：卒業論文発表会 (1)** 授業内容：卒業論文について、資料をもとに発表する。発表に際しては、話す速度、声の大きさ、抑揚のつけ方などに留意し、わかりやすい話し方を目指すようにする。また、発表の聞き手として、内容のポイントを注意深く聞き取り、的確な質問をし、意見を述べる。 事前学修 4.0hr：発表資料を作成する。 事後学修 4.0hr：発表に対する指摘や評価をまとめる。
15回	**授業テーマ：卒業論文中間発表 (2)** 授業内容：レジュメに従って、卒業論文の中間発表を行う。発表に際して、わかりやすい話し方を目指すようにする。話す速度、声の大きさ、抑揚のつけ方など、レジュメを読むのではなく「話す」「説明する」意識で発表する。 事前学修 4.0hr：レジュメを確認し、発表内容を整理しておく。 事後学修 4.0hr：発表後のアドバイスを受け、今後の課題を確認する。	30回	**授業テーマ：卒業論文発表会(2)** 授業内容：卒業論文について、資料をもとに発表する。発表に際しては、話す速度、声の大きさ、抑揚のつけ方などに留意し、わかりやすい話し方を目指すようにする。また、発表の聞き手として、内容のポイントを注意深く聞き取り、的確な質問をし、意見を述べる。 事前学修 4.0hr：発表資料を作成する。 事後学修 4.0hr：発表に対する指摘や評価をまとめる。

卒業研究

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　4 単位　｜　開講期：後 2

田鍋　桂子（たなべ　けいこ）

▌授業の概要

テーマを設定し、必要な知識を身につけるため文献を読み込み、調査を行い、論文としてまとめる。中間発表および、卒論提出後のゼミ発表がある。なお、事前事後学修の時間は目安として一回あたり合計８時間としているが、個々人の卒業論文を完成させることがゴールであるため、画一的に時間は決められない。各自の努力を求める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ③、GSM G ②）

一般目標：これまで学んだ専門の知識を活かし、さらなる思考力、論理力を身につけ、テーマにあった適切な調査と分析を行い、自分の論をまとめることができる。

個別目標：自分で仮説をたてて、専門文献を読み込み適切な正しい情報を取捨選択、判断し、必要なデータを集めて分析して、自分の思考過程を文章で適切に組み立てることにより、卒業研究論文を完成する。

▌履修条件

自らデータを集め、自ら思考分析し、自ら文章を磨きながら書いていくことが必須条件。
提出物について、根拠が薄いインターネット記事、生成 AI を明示なくそのまま使用した場合はその時点で評価対象外とする。
広く AI に限らず、思考の代替、文章の代替は認めない。

▌評価基準・方法

自ら考える過程と文章の創造の過程について４割(前期定期テスト・中間発表含む)の評価を行う。
提出した論文および口頭および筆記試問に自らの力で適切に答えること(後期定期テストを含む)について４割の評価をおこなう。
最終発表とまとめに対して２割で点数をつける。
なお、毎週教室において、下書きをはじめ、マナバ・その場での記述等に何かしら提出を求める。突然卒論は出来上がらない。未提出未出席の場合は減点する。

▌フィードバック方法

毎回の対面授業およびマナバで行う。
AI については使い方について授業で条件を提示する。
アイデア、思考を作る段階、文章を書かせることについての AI への丸投げについて、大学での最後の学ぶ機会になる卒業研究においての学生の思考力・創造力の成長を妨げる観点から強く禁止する。仮にゼミでの提示条件に従って、ルールを守って AI を使用した場合でもプロンプトおよびその結果の前後を提出できるようにすること。軽々に使用しないこと。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ゼミでのお互いの卒論についての論理、文章の話し合い）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文献調査・データ調査・レポート記述）

▌教科書

特になし。プリントを配布する。

▌参考書

研究のテーマによって個別に指導する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：レポートや小論文と卒論の違いをまなび、参考論文や論文題目などから卒論とはなにかを理解する 事前学修 4.0hr：テーマを三つ以上考えてメモする 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	16回	**授業テーマ：夏期休暇中の成果報告** 授業内容：夏休み期間中の調査、分析結果を発表する 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
2回	**授業テーマ：テーマ探求（１）　興味を具体化する** 授業内容：仮説をたてることと検証することについて学ぶ。自分で興味がある分野をアカデミックに落とし込むとどのようなトピックになるかを考える 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	17回	**授業テーマ：研究指導（１）データを完成する** 授業内容：発表のフィードバックをもとにデータを整理し、完成させる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
3回	**授業テーマ：テーマ探求（２）　先行研究をリストアップする** 授業内容：それぞれの分野について、基礎概念と基礎文献をリストアップする。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	18回	**授業テーマ：研究指導（２）目次をつくる** 授業内容：これまでの見通しをもとに目次を作成する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
4回	**授業テーマ：研究方法の検討（１）先行研究を読み解く** 授業内容：先行研究を入手し、必要な事柄をまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	19回	**授業テーマ：研究指導（３）アブストラクトをつくる** 授業内容：目的と仮説と結論を簡単に書いてみる。書けない場合は何がなくて書けないのかを再度検討する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
5回	**授業テーマ：研究方法の検討（２）質的研究と量的研究** 授業内容：研究には質的研究と量的研究がある。自分の研究がどちらに属するのか、仮説を明らかにするためにはどのようなステップが必要なのかを考える。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	20回	**授業テーマ：研究指導（４）「はじめに」を書く** 授業内容：研究のきっかけをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
6回	**授業テーマ：研究計画書を作る** 授業内容：前回の授業で考えたステップを目次として作成し、目的、方法、見通しを書いてみる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	21回	**授業テーマ：研究指導（５）「先行研究」を書く** 授業内容：引用の方法を守って、必要な事柄をまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
7回	**授業テーマ：データ作成（１）準備** 授業内容：自分の研究に必要な調査項目をピックアップし、手順を決める。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	22回	**授業テーマ：研究指導（６）「研究の目的」を書く** 授業内容：仮説と研究の目的をまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える

8回	**授業テーマ：データ作成(2)見通しをたてながらデータを採取する** 授業内容：要な調査項目について予備調査を行ってみる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	23回	**授業テーマ：研究指導(7)「研究の方法」を書く** 授業内容：方法についてまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
9回	**授業テーマ：データ作成(3)データをまとめる** 授業内容：予備調査からわかることをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	24回	**授業テーマ：研究指導(8)「調査結果」を書く** 授業内容：調査の結果をまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
10回	**授業テーマ：研究指導(1)データを分析する** 授業内容：仮説に対してどのような見解が述べられるかをまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	25回	**授業テーマ：研究指導(9)「分析」を書く** 授業内容：調査からわかったことをまとめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
11回	**授業テーマ：研究指導(2)レジュメを作成する** 授業内容：研究計画書にしたがって、レジュメ形式でまとめる。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	26回	**授業テーマ：研究指導(10)「まとめ」を書く** 授業内容：仮説を検証し、今後の研究の展開を書く 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
12回	**授業テーマ：研究指導(3)問題点を整理する** 授業内容：仮説が証明できるのか、仮説の修正が必要なのかを検討し、修正が必要な場合は修正する。 修正が必要ない場合は、さらに分析を深めるために必要なことを考える。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	27回	**授業テーマ：課題提出** 授業内容：卒論提出のフォーマットとチェックリストをつかって、卒論を見直す。 事前学修 4.0hr：論文提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
13回	**授業テーマ：中間発表準備** 授業内容：レジュメをもとに中間発表の資料を作成する。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	28回	**授業テーマ：ゼミ発表会(1)** 授業内容：卒論をレジュメにして発表をおこなう 事前学修 4.0hr：ブリーフを作成する 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
14回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：中間発表を行う。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	29回	**授業テーマ：ゼミ発表会(2)** 授業内容：発表し討議をする 事前学修 4.0hr：ブリーフを作成する 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える
15回	**授業テーマ：計画修正案の作成** 授業内容：意見をもとに計画の修正を行う。夏休み期間はそれぞれの課題にしたがって、調査、分析をすすめる 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える	30回	**授業テーマ：まとめと今後の課題** 授業内容：個々の研究の関連を討議したあと、卒論で学んだこと、今後の課題を話し合う。 事前学修 4.0hr：課題提出 事後学修 4.0hr：個々に課題を与える

日本語教授法

開講学科等：日 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2025 年度以前入学生のみ履修可能

田川　麻央（たがわ　まお）

▌授業の概要

日本語教師の資質・能力を理解し、さまざまな教育方法と実践についての知識を身につける科目である。適切な学習環境を設定し、学習目的、対象別の日本語教育を行うための指導方法を学び、コースデザイン、マイクロティーチング、授業分析、振り返りをする。これらを通じて、日本語教育を取り巻く環境に関心をもち、洞察する力、自己点検能力、他者と協働する力を育成する。当該科目は日本語学科 1 年必須科目で「日本語教員養成課程修了証明書」の交付条件の一科目である。日本語教師【養成】における必須の教育内容 (22) 教室・言語環境の設定、(24) 教授法、(29) 中間言語分析、(30) 授業分析・自己点検能力を含む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 J ②、GSM J ①/J ②/J ③）

一般目標：外国語学習としての日本語教育の現状を把握し、日本語教員が理解しておくべき基礎的な知識を獲得する。
　　身近にある日本語教育の問題に対応できるようになることを目指す。
個別目標：(1) 日本語教員が知っておくべき基礎知識をふまえて日本語学習者の特性、学習目的等を理解し、コースデザインができる。
　　(2) 日本語の授業の流れを理解し、授業計画を立ててマイクロティーチングを実施し、自己を点検することができる。
　　(3) 自分とは異なる学習背景、言語学習観をもつ履修者を認め、協力して目標実現に向かって取り組むことができる。

▌履修条件

課題の提出期限を守る。
主体的に授業に参加する。

▌評価基準・方法

提出課題 40%、テスト 40%、発表 10%、学習の振り返り 10%で評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba および対面授業を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎回の授業でグループワークがあり、他者と協働する。クラスメートに向かってマイクロティーチングを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba、respon を使用する。教材を作成する際に Microsoft Word を使用する。）

▌教科書

資料を配布する。

▌参考書

近藤安月子・小森和子(編)『日本語教育事典』研究社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、日本語教育と日本語教員** 授業内容：これまで受けてきた言語教育(国語教育、英語教育)の目的と内容を比較しながら、日本語を母語としない人に対して日本語を教えるとはどのようなことなのかを考える。また、日本語教師に求められる資質や能力がどのようなものか学習する。 事前学修 2.0hr：これまでの外国語学習経験をふりかえり 400 字程度にまとめる。 事後学修 2.0hr：コース終了時に目標を実現した自分について 400 字程度で記述する。
2 回	**授業テーマ：日本語学習者** 授業内容：日本語を学習している人々がどのような目的をもって、またどういった国や機関で日本語を学んでいるのか、その多様性を学習する。学習者が求めている日本語教育とはどのようなものかを考える。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
3 回	**授業テーマ：日本語能力の測定と試験** 授業内容：日本語能力を測定するとはどういうことなのかを考え、受験者データが公開されている代表的な試験を分析することを通じて日本語が上達するとはどのようなことなのかを学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
4 回	**授業テーマ：コースデザインの流れ** 授業内容：学習者のニーズやレディネスを分析する調査方法を説明したうえで、学習者に適したコース目標を立て、何をどのような順番でどのように教えるのか、またどのように評価するのかコース全体の設計の仕方を学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
5 回	**授業テーマ：外国語の教授法** 授業内容：実際に日本語をどうやって教えるのかを考えていくために、これまで提唱されてきた外国語の教え方を概観する。さまざまな教授法の長所と短所を検討し、その背景にある言語学習観について学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
6 回	**授業テーマ：教材・教具** 授業内容：日本語学習の教材、教具について調べ、どのように教材を選択していくのかを学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
7 回	**授業テーマ：中間言語の分析** 授業内容：学習者の中間言語を分析することで、日本語非母語話者にとって日本語の語彙、文法とはどのようなものか、学習者が間違いやすい項目を検討し、日本語の難しさを探る。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
8 回	**授業テーマ：ティーチャートークの特徴** 授業内容：日本語教師と学習者は教室内でどのようなやりとりを行っているのか教室外の談話と比較しながら、日本語教師の発話の工夫であるティーチャートークの特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

9回	**授業テーマ：ティーチャートークの実践** 授業内容：ティーチャートークを使って初級学習者に説明したり指示したりする練習をする。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
10回	**授業テーマ：フィードバックの方法と特徴** 授業内容：効果的に日本語を習得できるように目の前にいる学習者にどう対応すればよいのかを考え、インターアクション、意味交渉など授業における教師のパフォーマンスについて学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
11回	**授業テーマ：文型ベースの授業の組み立て** 授業内容：日本語の授業はどのような流れで進めればよいのか、教案の作成方法や授業の展開を考える。特に、初級の文型導入、正確に使えるようにするための練習、コミュニケーション活動といった文型ベースの授業方法について学習する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
12回	**授業テーマ：タスクベースの授業の組み立て** 授業内容：タスクを遂行することを目的としたタスクベースの授業の流れを学習する。文型ベースの授業の目的、授業の展開と比較し、どのような学習者に適しているかを考える。また、学習者を想定してタスクを作成する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
13回	**授業テーマ：マイクロティーチングの準備** 授業内容：実際に初級学習者に教えることを想定して授業を設計し、教案と教具を作成する。作成した教案をもとに日本語を教える授業をイメージし、マイクロティーチングの準備をする。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
14回	**授業テーマ：マイクロティーチングの実践、自己点検、他者評価** 授業内容：これまで準備してきたことをマイクロティーチングとして実践に移す。クラスメートの実践に学習者役として参加する。クラスメートとともにさまざまな角度からマイクロティーチングを分析し、よい授業とはどのようなものかを考え、自己を点検する。 事前学修 2.0hr：事前タスクシートを完成させる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。
15回	**授業テーマ：学習の振り返りとこれからの日本語教育** 授業内容：これまで学習してきたことを振り返り、これからの日本語教育について考える。指導技術だけでは対応できない問題に遭遇したとき何を指針にどう対応していくのか話し合う。 事前学修 2.0hr：第 1 回目の自分と今を比較して成長を 400 字でまとめる。 事後学修 2.0hr：事後課題を完成させる。

［専門科目］

○英米語学科

異文化コミュニケーション概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

海谷　千波（かいや　ちなみ）

▌授業の概要

1．対象：「そもそも異文化コミュニケーションとは何か」と疑問を持つ者、あるいは疑問を持ってみたい者。
2．目的：「異文化理解」と「コミュニケーション」の基礎・基本を知り、実践できる。
3．内容：「文化」、「コミュニケーション」、「言語・非言語」、「人間関係」、「社会関係」及び、「教育」の視点から、異文化コミュニケーションについて学ぶ。
4．授業形式：(ア)概念・定義・構成要素・課題等を［再］整理し、(イ)グループやクラス全体で議論する。
ただし、履修登録者数や学生の学修状況に応じて、学修内容や活動に修正が加えられることもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：平和な多文化共生社会構築に向けて、「多様な文化」や「文化の多様性」を／に「コミュニケート」したり、積極的に「コミュニケーション」を図ろうとする「文化」を創ったりする。
個別目標：1．知識・技能：「異文化コミュニケーション」に関連する基本的な考え方を知り、説明できる。
2．思考・判断・表現：「異文化コミュニケーション」に関連する諸問題について自ら考え、判断し、表現したり行動したりできる。
3．主体性・多様性・協働性：多様な他者と関わる(コミュニケートする)ことで、より良い多文化共生社会を構築しようとする。

▌履修条件

1．初回授業へ参加する(※　班編成と座席表作成のため)
2．初回授業で交わされた約束を守る
3．ノート PC、又はタブレット(※　キーボードを準備)を持参する
4．科目担当者が後学期に開講する「異文化コミュニケーション概論 b」を続けて受講することが望ましい
5．授業担当者が開講する「コミュニケーション論」と内容の一部が重複することを理解する

▌評価基準・方法

1．講義・議論(60 %：授業外学修 30 %を含む)
2．ケーススタディ(40 %)
以上、1及び2により総合的に評価する。
【※　単位修得の条件として、12 回以上の「出席」が必要。遅刻2回で欠席1回とする。】

▌フィードバック方法

必要に応じて、授業や manaba で課題を点検したり、コメントしたりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 入力(レポート：授業の振り返り)）

▌教科書

古田暁他(2001)．『異文化コミュニケーションキーワード』(新版)．有斐閣.

▌参考書

板場良久・池田理知子編 (2011).『よくわかるコミュニケーション学』. ミネルヴァ書房.
池田理知子編 (2010).『よくわかる異文化コミュニケーション』. ミネルヴァ書房.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業方針と課題・評価等** 授業内容：シラバスと補足資料にしたがって、授業方針・内容・評価の要点について理解するとともに、授業外学習やケーススタディの具体的な方法を理解する。 事前学修 2.0hr：シラバス、とりわけ「授業の概要」、「履修条件」、「評価基準・方法」を熟読し、理解するとともに、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：シラバスとオリエンテーションを振り返り、「異文化コミュニケーションを学ぶ目的」の見通しを立てる。
2回	**授業テーマ：文化(1)：文化、世界観、価値観、文化相対論、共文化** 授業内容：(1)異文化コミュニケーションで学ぶ「文化」について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
3回	**授業テーマ：文化(2)・文化の差異(1)：第三の文化、多文化主義、文化帝国主義、時間、空間** 授業内容：(1)多様な文化と文化の多様性について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
4回	**授業テーマ：文化の差異(2)：宗教、人間観、儀礼、倫理観、法意識** 授業内容：(1)多様な文化と文化の多様性について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
5回	**授業テーマ：文化の差異(3)：イエ、生死観、個人主義と集団主義、達成と生得、偏見** 授業内容：(1)多様な文化と文化の多様性について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
6回	**授業テーマ：文化の差異(4)・コミュニケーションとは(1)：自民族優越主義、ステレオタイプ、タブー、コミュニケーション、コード** 授業内容：(1)多様な文化と文化の多様性及び、コミュニケーション現象について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
7回	**授業テーマ：コミュニケーションとは(2)：意味づけ、フィードバック、知覚・認知、理解と誤解、感情移入・共感** 授業内容：(1)コミュニケーション現象について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。

8回	**授業テーマ：ケーススタディ(1)：事例に関する問題解決提案** 授業内容：(1)課題資料を熟読、理解し、(2)疑問点を調べたり、話し合ったりして、(3)自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：第2回から第7回までの授業内容をまとめ、総合演習に必要な情報を講義ノートに加筆する。 事後学修 2.0hr：総合演習の内容を振り返り、日常生活においてどのように実践可能か考察する。
9回	**授業テーマ：コミュニケーションとは(3)：自己概念、コンテキスト、コミュニケーション・レベル、コミュニケーション・パターン、国際コミュニケーション** 授業内容：(1)コミュニケーション現象について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
10回	**授業テーマ：コミュニケーションとは(4)・ことばとコミュニケーション(1)：コミュニケーション倫理、IT 革命、言語政策、言語と文化、言語と思考** 授業内容：(1)コミュニケーション現象及び、言語メッセージについて要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
11回	**授業テーマ：ことばとコミュニケーション(2)：言語相対説、言語メッセージ、レトリック、アポロギア、ロゴス・パトス・エトス** 授業内容：(1)言語メッセージについて要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
12回	**授業テーマ：ことばとコミュニケーション(3)：メタファー、スモール・トーク、ユーモア、敬語、婉曲表現** 授業内容：(1)言語メッセージについて要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
13回	**授業テーマ：ことばをこえたコミュニケーション(1)：非言語メッセージ、身振り言語、視線、近接学、身体接触行動** 授業内容：(1)非言語メッセージについて要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
14回	**授業テーマ：ことばをこえたコミュニケーション(2)：周辺言語、間、沈黙、ハラ、以心伝心** 授業内容：(1)非言語メッセージについて要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
15回	**授業テーマ：ケーススタディ(2)：事例に関する問題解決提案** 授業内容：(1)課題資料を熟読、理解し、(2)疑問点を調べたり、話し合ったりして、(3)自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：第9回から第 14 回までの授業内容を振り返り、総合演習に必要な情報を講義ノートに加筆する。 事後学修 2.0hr：総合演習の内容を振り返り、日常生活においてどのように実践可能か考察する。

異文化コミュニケーション概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

鍛治　広真 (かじ　ひろみ)

▌授業の概要

言語を用いたコミュニケーションに注目し、言語と社会、言語と文化の関係という観点から異文化コミュニケーションについて学び、考えます。この授業ではコミュニケーションの定義を確認した後に、コミュニケーションにおける言語の要素と非言語の要素を学びます。またカテゴリー化、状況把握、比喩などの観点から英語と日本語を対照し特徴を学びます。履修者に各言語の例を報告してもらうこともあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：コミュニケーションについての基本的な概念を理解し、言語間の表現方法の違いを理解する。
個別目標：(1) コミュニケーションの基本的な概念を理解する
(2) 視点や捉え方、カテゴリー化の方法などが言語の表現形式に関係することを理解する
(3) 日英語における表現方法の特徴の違いを理解する

▌履修条件

履修の条件は設けない。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 50%(小課題、発表など)、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （問題演習など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

多々良 直弘/松井 真人/八木橋 宏勇『実例で学ぶ英語学入門―異文化コミュニケーションのための日英対照研究』朝倉書店

▌参考書

辻 大介/是永 論/関谷 直也『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：受講上の注意を説明する。コミュニケーション論の導入を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
2回	**授業テーマ：コミュニケーションとは何か** 授業内容：コミュニケーション論の基本的な概念について学び、コミュニケーションとはどのような行為かを考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：英語学の歴史と対照研究** 授業内容：複数の言語を対照する言語研究の枠組みについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：カテゴリー化(1)** 授業内容：言語によって世界の事物を分類する「カテゴリー化」についての理論を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：カテゴリー化(2)** 授業内容：英語と日本語の間でのカテゴリー化の違いについて考える。 事前学修 2.0hr：日英語の例を収集する 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：状況の捉え方と言語表現(1)** 授業内容：対象を捉える視点の違いが言語表現の違いとして現れることについて、例を通じて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：状況の捉え方と言語表現(2)** 授業内容：言語間で視点の取り方にどのような違いがあるかを考える。 事前学修 2.0hr：日英語の例を収集する 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：ことばとコミュニケーション(1)** 授業内容：言語によるコミュニケーションの特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：ことばとコミュニケーション(2)** 授業内容：言語によるコミュニケーションにおいて、言語以外の知識も必要であることの例を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：ことば以前のコミュニケーション(1)** 授業内容：動物のコミュニケーションと人間の言語の違いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：ことば以前のコミュニケーション(2)** 授業内容：人間の言葉を用いないコミュニケーションにどのようなものがあるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

12回	**授業テーマ：身体とコミュニケーション** 授業内容：発話者の距離やジェスチャーなどコミュニケーションにおける言語以外の要素について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：メタファー、メトニミー、シネクドキ(1)** 授業内容：言語コミュニケーションに含まれる比喩の種類と意味を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：メタファー、メトニミー、シネクドキ(2)** 授業内容：言語間における比喩表現の共通点と相違点を考える。 事前学修 2.0hr：日英語の例を収集する 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：今学期の内容を振り返り、補足をする。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

異文化コミュニケーション概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

海谷　千波（かいや　ちなみ）

▌授業の概要

1．対象：「そもそも異文化コミュニケーションとは何か」と疑問を持つ者、あるいは疑問を持ってみたい者。
2．目的：「異文化理解」と「コミュニケーション」の基礎・基本を知り、実践できる。
3．内容：「文化」、「コミュニケーション」、「言語・非言語」、「人間関係」、「社会関係」及び、「教育」の視点から、異文化コミュニケーションについて学ぶ。
4．授業形式：(ア)概念・定義・構成要素・課題等を［再］整理し、(イ)グループやクラス全体で議論する。
ただし、履修登録者数や学生の学修状況に応じて、学修内容や活動に修正が加えられることもある。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：平和な多文化共生社会構築に向けて、「多様な文化」や「文化の多様性」を／に「コミュニケート」したり、積極的に「コミュニケーション」を図ろうとする「文化」を創ったりする。
個別目標：1．知識・技能：「異文化コミュニケーション」に関連する基本的な考え方を知り、説明できる。
2．思考・判断・表現：「異文化コミュニケーション」に関連する諸問題について自ら考え、判断し、表現したり行動したりできる。
3．主体性・多様性・協働性：多様な他者と関わる(コミュニケートする)ことで、より良い多文化共生社会を構築しようとする。

▌履修条件

1．初回授業へ参加する(※　班編成と座席表作成のため)
2．初回授業で交わされた約束を守る
3．ノート PC、又はタブレット(※　キーボードを準備)を持参する
4．科目担当者が前学期に開講する「異文化コミュニケーション概論 a」の単位を修得済みであることが望ましい
5．授業担当者が開講する「コミュニケーション論」と内容の一部が重複することを理解する

▌評価基準・方法

1．講義・議論(60 %：授業外学修 30 %を含む)
2．ケーススタディ(40 %)
以上、1及び2により総合的に評価する。
【※　単位修得の条件として、12 回以上の「出席」が必要。遅刻2回で欠席1回とする。】

▌フィードバック方法

必要に応じて、授業や manaba で課題を点検したり、コメントしたりする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （manaba 入力(レポート：授業の振り返り)）

▌教科書

古田暁他(2001)．『異文化コミュニケーションキーワード』(新版)．有斐閣.

▌参考書

板場良久・池田理知子編 (2011).『よくわかるコミュニケーション学』. ミネルヴァ書房.
池田理知子編 (2010).『よくわかる異文化コミュニケーション』. ミネルヴァ書房.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業方針と課題・評価等** 授業内容：シラバスと補足資料にしたがって、授業方針・内容・評価の要点について理解するとともに、授業外学習やケーススタディの具体的な方法を理解する。 事前学修 2.0hr：シラバス、とりわけ「授業の概要」、「履修条件」、「評価基準・方法」を熟読し、理解するとともに、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：シラバスとオリエンテーションを振り返り、「異文化コミュニケーションを学ぶ目的」の見通しを立てる。
2回	**授業テーマ：ことばをこえたコミュニケーション(3)・異文化と人間関係(1)：P タイム・M タイム、対人関係、文化的アイデンティティ、ガイジン、カルチャー・ショック** 授業内容：(1)非言語メッセージ及び、対人関係について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
3回	**授業テーマ：異文化と人間関係(2)：縁、和、家族、公と私、タテとヨコ** 授業内容：(1)対人関係について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
4回	**授業テーマ：異文化と人間関係(3)：ウチとソト、世間体、仲介者、贈答、礼儀** 授業内容：(1)対人関係について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
5回	**授業テーマ：異文化と人間関係(4)：ホンネとタテマエ、義理と人情、なじみ、甘え、補完と対称** 授業内容：(1)対人関係について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
6回	**授業テーマ：異文化と人間関係(5)・異文化と社会関係(1)：異性間コミュニケーション、共生、グローカリゼーション、民族紛争、国際協力** 授業内容：(1)対人関係と社会問題について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
7回	**授業テーマ：異文化と社会関係(2)：派閥、イノベーション、労使関係、交渉、稟議と根回し** 授業内容：(1)社会問題について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。

8回	**授業テーマ：ケーススタディ(3)：事例に関する問題解決提案** 授業内容：(1)課題資料を熟読、理解し、(2)疑問点を調べたり、話し合ったりして、(3)自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：第2回から第7回までの授業内容をまとめ、総合演習に必要な情報を講義ノートに加筆する。 事後学修 2.0hr：総合演習の内容を振り返り、日常生活においてどのように実践可能か考察する。
9回	**授業テーマ：異文化と社会関係(3)：意思決定、葛藤、多文化経営、現地主義、国際報道** 授業内容：(1)社会問題について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
10回	**授業テーマ：異文化と社会関係(4)：プロパガンダ、コマーシャル、リーダーシップ、マイノリティ、国籍** 授業内容：(1)社会問題について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
11回	**授業テーマ：異文化と社会関係(5)・異文化理解とコミュニケーション技能：国際結婚、外国人就労者、エスニック・ネットワーク、異文化理解教育、コミュニケーション能力** 授業内容：(1)社会問題及び、コミュニケーション実践について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
12回	**授業テーマ：異文化理解とコミュニケーション技能(2)・異文化コミュにケーション教育の課題と展望(1)：外国語教育、日本語教育、バイリンガリズム、通訳・翻訳、民族教育** 授業内容：(1)コミュニケーション実践及び、教育問題について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
13回	**授業テーマ：異文化コミュニケーション教育の課題と展望(2)：環境コミュニケーション教育、海外子女教育、帰国子女教育、海外留学、滞日外国人留学生** 授業内容：(1)教育問題について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
14回	**授業テーマ：異文化コミュニケーション教育の課題と展望(3)：国際学校、異文化カウンセリング、異文化コミュニケーション訓練、派遣前教育、異文化交流** 授業内容：(1)教育問題について要点を理解するとともに、(2)関連課題についてグループで話し合ったり、発表したりする。 事前学修 2.0hr：教科書の指定箇所を熟読して、内容を理解するとともに、議論の準備として要点や意見及び、疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：総合演習の準備として、講義や議論の内容をまとめるとともに、調べ学習をする。
15回	**授業テーマ：ケーススタディ(4)：事例に関する問題解決提案** 授業内容：(1)課題資料を熟読、理解し、(2)疑問点を調べたり、話し合ったりして、(3)自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：第9回から第 14 回までの授業内容を振り返り、総合演習に必要な情報を講義ノートに加筆する。 事後学修 2.0hr：総合演習の内容を振り返り、日常生活においてどのように実践可能か考察する。

異文化コミュニケーション概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

鍛治　広真 (かじ　ひろみ)

▌授業の概要

言語を用いたコミュニケーションに注目し、言語と社会、言語と文化の関係という観点から異文化コミュニケーションについて学び、考えます。この授業では特に、社会や文化が言語にどのように関わるかを学び、英語と日本語のコミュニケーションスタイルの違いを考えます。履修者に各言語の例を報告してもらうこともあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：文化とコミュニケーション様式の関係ついて、言語的な特徴を手がかりに考え、異文化コミュニケーションについての基本的な概念を知る
個別目標：(1) 言語の意味と形式の結びつきや変化を理解し説明できる
(2) 社会と言語の関係について理解し説明できる。
(3) 日本語と英語のコミュニケーション特徴の違いを理解し説明できる

▌履修条件

履修条件は設けないが、前学期の内容が前提となるため、同教員の「異文化コミュニケーション概論 a」を受講済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 50%(小課題、ディスカッションなど)、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （問題演習など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

多々良 直弘/松井 真人/八木橋 宏勇『実例で学ぶ英語学入門―異文化コミュニケーションのための日英対照研究』朝倉書店

▌参考書

辻 大介/是永 論/関谷 直也『コミュニケーション論をつかむ』有斐閣

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：受講上の注意を説明する。日本語と英語の言語表現の違いについて導入を行う。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
2回	**授業テーマ：文法化(1)** 授業内容：内容語が機能語に変化する「文法化」のプロセスを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：文法化(2)** 授業内容：日本語と英語の文法化の例を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：構文(1)** 授業内容：言語における構成性の原理と、意味の透明性が不十分な所謂イディオムの特徴を学ぶ 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：構文(2)** 授業内容：英語の構文の実例と意味を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：メンタルコーパス** 授業内容：母語話者が文の正しさを判断するためにはどのような知識が必要なのか、それが社会とどう関係するのか、を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：イメージスキーマと意味拡張** 授業内容：例えば英語の前置詞のような多義的な語の意味と、意味の広がり方のメカニズムを学ぶ。日英語における意味拡張の共通点、相違点を考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：英語のバリエーション** 授業内容：イギリス英語、アメリカ英語をはじめとした世界各地の諸英語の特徴を概観する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：言語変種の選択** 授業内容：状況や相手に合わせて使う言語変種を選択することがある。選択の特徴や影響を受ける社会的な要素について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：談話・文章を理解するメカニズム(1)** 授業内容：コミュニケーションにおける協調原則を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：談話・文章を理解するメカニズム(2)** 授業内容：談話の構造化について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

12回	**授業テーマ：ポライトネス** 授業内容：コミュニケーションにおける相手への配慮が、言語ではどのように表されるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：文化とコミュニケーション(1)** 授業内容：文化によりコミュニケーションスタイルが異なることについて、どのような要素が関わるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：文化とコミュニケーション(2)** 授業内容：日本語と英語のコミュニケーション特徴の違いと、その背景を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：今学期の内容を振り返り、補足する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語学概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中井　延美（なかい　のぶみ）

▌授業の概要

本授業では、英語を科学的に分析する学問としての英語学の基礎を学ぶ。音声・音韻論、形態論、統語論、意味論、語用論など主要分野の基本概念と理論枠組みを概説し、英語および日本語の具体的な言語データを用いた比較・分析を通して理解を深める。両言語の共通点と相違点を考察することで、英語の構造的特徴や言語普遍性への理解を促す。演習や分析課題を通じて、客観的根拠に基づき説明する基礎的分析力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語学の基礎的な理論と分析方法を体系的に学び、音声・音韻、語彙、形態、統語、意味、語用などの各分野の基本概念を理解することを目標とする。あわせて、英語の構造や仕組みを客観的・科学的に捉える視点を養い、具体的な言語データをもとに考察・説明できる基礎的能力を身につける。

個別目標：(1) 英語学の主要分野である音韻論、形態論、統語論の基本用語と概念を正確に理解し、説明できる。
(2) 国際音声記号（IPA）などを用いて英語の音声・音韻現象を記述できる。
(3) 語や文の構造を分析し、形態的・統語的特徴を図示・説明できる。
(4) 英語および必要に応じて日本語の言語データを比較し、客観的根拠に基づいて分析結果を示すことができる。
(5) 言語現象を感覚的にではなく、科学的視点から捉え、簡潔かつ論理的に記述・報告できる。

▌履修条件

“ことば” の探究に興味をもっていること以外に特になし。

▌評価基準・方法

授業への取組み（ディスカッション、グループ活動など）：30 %
課題の提出：30 %
期末試験：40%

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライドの提示など）

▌教科書

三原健一・高見健一〔編〕(2013)『日英対照　英語学の基礎』くろしお出版.

▌参考書

今井邦彦・西山佑司(2012)『ことばの意味とはなんだろう―意味論と語用論の役割』岩波書店.
中井延美(2018)『必携！ 日本語ボランティアの基礎知識』大修館書店.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：音韻論①** 授業内容：母音と母音体系、子音と子音体系、形態音素交替について概観する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：音韻論②** 授業内容：音節とモーラ、アクセントについて、構造や仕組みを知る 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
4回	**授業テーマ：音韻論③** 授業内容：文アクセントとイントネーション、リズムを観察する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
5回	**授業テーマ：形態論①** 授業内容：形態論と研究内容、屈折形態論と派生形態論、単語の構造を学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
6回	**授業テーマ：形態論②** 授業内容：派生形態論の主な仕組みを知る 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
7回	**授業テーマ：形態論③** 授業内容：派生形態論のその他の仕組みを知る 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
8回	**授業テーマ：形態論④** 授業内容：派生と複合に課される一般的な条件について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
9回	**授業テーマ：形態論⑤** 授業内容：複合名詞の意味について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

10回	**授業テーマ：統語論　生成文法①** 授業内容：句構造の概念を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
11回	**授業テーマ：統語論　生成文法②** 授業内容：名詞句を多面的に理解する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
12回	**授業テーマ：統語論　生成文法③** 授業内容：文法の枠組みを概観したのち、「移動」という現象を観察する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
13回	**授業テーマ：統語論　機能的構文論①** 授業内容：文の情報構造について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
14回	**授業テーマ：統語論　機能的構文論②** 授業内容：話し手の視点から文構造を観察する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
15回	**授業テーマ：音韻論、形態論、統語論のまとめ** 授業内容：英語の音や語句、文などにどのような仕組みや規則があったか振り返る 事前学修 2.0hr：教科書の該当範囲を復習する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

英語学概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

この科目では、英語を言語学の立場から分析し、人間が持つ言語能力について理解を深める。また理論言語学が明らかにしてきた言語データを考察し、理論や仮説の科学的妥当性を検証する手法についても学んでいく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語を言語学の立場から観察することで、人間言語の基本的な性質を理解する。
個別目標：・英語の言語データを、言語学の観点から分析できるようになる。
　　・理論言語学の基本概念を理解し、自分で説明できるようになる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 30 %、期末レポート 50 %、提出物・授業内課題 20 %(小テスト・グループワークなどを含む)とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

三原健一・高見健一(編著)『日英対照 英語学の基礎』くろしお出版
西光義弘(編)『日英語対照による英語学概論』くろしお出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：英語から言語学へ** 授業内容：英語の言語データを取り上げながら、言語学の各分野について概観する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語から見る音の構造 (1)：音素の性質** 授業内容：英語の実例を使いながら、音素の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：英語から見る音の構造 (2)：音素の心的表象** 授業内容：英語の実例を使いながら、音素の心的表象について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：英語から見る語の構造 (1)：形態素** 授業内容：英語の実例を使いながら、形態素の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：英語から見る語の構造 (2)：形態素分析** 授業内容：英語の実例を使いながら、形態素の分析方法を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：英語から見る文の構造 (1)：構造の曖昧性** 授業内容：英語の実例を使いながら、文法の構造に関する性質を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：英語から見る文の構造 (2)：文の構成素** 授業内容：英語の実例を使いながら、文の構成素の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：英語から見る言語と獲得 (1)：言語獲得の問題** 授業内容：英語の実例を使いながら、言語獲得の問題を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：英語から見る言語と獲得 (2)：臨界期仮説** 授業内容：英語の実例を使いながら、言語獲得の研究トピックを概観し、臨界期仮説について理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：英語から見る言語と脳 (1)：言語障害** 授業内容：英語の実例を使いながら、言語障害の特徴や症状について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：英語から見る言語と脳 (2)：動物のコミュニケーション** 授業内容：ヒトの言語と比較しながら、動物のコミュニケーションについて学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：英語から見る言語と社会 (1)：言語消滅と言語発生** 授業内容：英語の実例を使いながら、言語と社会のつながりについて学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：英語から見る言語と社会 (2)：言語の多様性と言語についての偏見** 授業内容：英語の実例を使いながら、社会における言語の多様性などの問題ついて学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：前期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容を復習し、レポート作成に向けて重要な点などを説明する。 事前学修 3.0hr：前期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の知識を補強する。

英語学概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中井　延美（なかい　のぶみ）

▌授業の概要

本授業では、英語を科学的に分析する学問としての英語学の基礎を学ぶ。意味論、語用論など主要分野の基本概念と理論枠組みを概説し、英語および日本語の具体的な言語データを用いた比較・分析を通して理解を深める。両言語の共通点と相違点を考察することで、英語の構造的特徴や言語普遍性への理解を促す。演習や分析課題を通じて、客観的根拠に基づき説明する基礎的分析力を養う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語学の基礎的な理論と分析方法を体系的に学び、意味論、語用論などの各分野の基本概念を理解することを目標とする。あわせて、英語の構造や仕組みを客観的・科学的に捉える視点を養い、具体的な言語データをもとに考察・説明できる基礎的能力を身につける。

個別目標：(1) 英語学の主要分野である意味論と語用論の基本用語と概念を正確に理解し、説明できる。
(2) 意味論・語用論的な言語現象について、具体例を挙げて論理的に考察できる。
(3) 英語および必要に応じて日本語の言語データを比較し、客観的根拠に基づいて分析結果を示すことができる。
(4) 言語現象を感覚的にではなく、科学的視点から捉え、簡潔かつ論理的に記述・報告できる。

▌履修条件

“ことば” の探究に興味をもっていること以外に特になし。

▌評価基準・方法

授業への取組み（ディスカッション、グループ活動など）：30 %
課題の提出：30 %
期末試験：40%

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライドの提示など）

▌教科書

三原健一・高見健一〔編〕(2013)『日英対照　英語学の基礎』くろしお出版.

▌参考書

今井邦彦・西山佑司(2012)『ことばの意味とはなんだろう―意味論と語用論の役割』岩波書店.
中井延美(2018)『必携！ 日本語ボランティアの基礎知識』大修館書店.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：語彙意味論①** 授業内容：語の意味、意味関係(上下関係、部分・全体関係、反意関係、同義関係)について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：語彙意味論②** 授業内容：同音異義と多義、意味の自律性について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
4回	**授業テーマ：語彙意味論③** 授業内容：名詞の意味について可算と不可算の視点から考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
5回	**授業テーマ：語彙意味論④** 授業内容：動詞の意味について意味役割、語彙概念構造、アスペクトの視点から考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
6回	**授業テーマ：認知意味論①** 授業内容：認知言語学について概観したのち、カテゴリー化とプロトタイプについて考える。また、メトニミーについて、身近な例を観察する。さらに、語の意味について、プロファイル、ベース、ICM から考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
7回	**授業テーマ：認知意味論②** 授業内容：抽象概念とメタファーについて多面的に考察する。また、事態の解釈や概念融合について学ぶ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
8回	**授業テーマ：語用論①** 授業内容：語用論という領域を概観する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
9回	**授業テーマ：語用論②** 授業内容：発話の論理形式について学ぶ。表意のうち、曖昧性除去と飽和という語用論操作について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

10回	**授業テーマ：語用論③** 授業内容：表意のうち、自由拡充、アドホック概念形成について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
11回	**授業テーマ：語用論④** 授業内容：基本表意と高次表意について考える。また、文副詞と高次表意についても観察する 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
12回	**授業テーマ：語用論⑤** 授業内容：推意について学んだのち、概念的情報をもつ表現、手続き的情報をもつ表現について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
13回	**授業テーマ：語用論⑥** 授業内容：ことばの記述的使用と帰属的使用について考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
14回	**授業テーマ：語用論⑦** 授業内容：様々な例文を通して日英比較をする 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
15回	**授業テーマ：意味論と語用論のまとめ** 授業内容：意味論と語用論を通して、ことばの意味、発話の解釈にような仕組みや規則があったか振り返る 事前学修 2.0hr：教科書の該当範囲を復習する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

英語学概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

この科目では、英語を言語学の立場から分析し、人間が持つ言語能力について理解を深める。また理論言語学が明らかにしてきた言語データを考察し、理論や仮説の科学的妥当性を検証する手法についても学んでいく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語を言語学の立場から観察することで、人間言語の性質について理解を深める。
個別目標：・英語の言語データを、言語学の観点から分析できるようになる。
　　・理論言語学の基本概念を理解し、自分で説明できるようになる。

▌履修条件

特にないが、前学期開講の英語学概論 a を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 30 %、期末レポート 50 %、提出物・授業内課題 20 %(小テスト・グループワークなどを含む)とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

三原健一・高見健一(編著)『日英対照 英語学の基礎』くろしお出版
西光義弘(編)『日英語対照による英語学概論』くろしお出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：英語から言語学へ：言語研究の目的** 授業内容：英語の言語データを取り上げながら、言語学の各分野について、その研究目的を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語から見る音の特性 (1)：弁別素性、音韻規則** 授業内容：英語の実例を使いながら、音素に関する弁別素性と音韻規則について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：英語から見る音の特性 (2) ：音韻変化、音韻規則の順序** 授業内容：英語の実例を使いながら、音韻変化と音韻規則の順序について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：英語から見る音の特性 (3)：同化、連濁** 授業内容：英語の実例を使いながら、同化や連濁などの音韻変化の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：英語から見る語の特性 (1)：屈折と派生** 授業内容：英語の実例を使いながら、形態論における屈折接辞と派生接辞について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：英語から見る語の特性 (2)：様々な語形成** 授業内容：英語の実例を使いながら、様々な語形成について、その性質を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：英語から見る語の特性 (3)：右側主要部の規則** 授業内容：英語の実例を使いながら、形態論における右側主要部の規則について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：英語から見る文の特性 (1)：句構造規則** 授業内容：英語の実例を使いながら、統語論における句構造規則について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：英語から見る文の特性 (2)：変形規則** 授業内容：英語の実例を使いながら、統語論における変形規則について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：英語から見る文の特性 (3)：原理変数理論** 授業内容：英語の実例を使いながら、統語論における原理変数理論の概略を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：英語から見る意味の特性 (1)：構成性原理と集合論** 授業内容：英語の実例を使いながら、意味論における構成性原理と集合論の基礎知識を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：英語から見る意味の特性 (2)：前提と含意** 授業内容：英語の実例を使いながら、前提と含意の性質を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：英語から見る意味の特性 (3)：協調の原理** 授業内容：英語の実例を使いながら、会話における強調の原理について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：後期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容を復習し、レポート作成に向けて重要な点などを説明する。 事前学修 3.0hr：後期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の知識を補強する。

英米文学概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

この授業では、英米文学のうちイギリス文学の基礎的な知識を身につけることを目指す。そのために、16 世紀から 20 世紀までのイギリスの詩を概観し、代表的な作品については精読をおこなう。また、自身で選んだ詩を暗唱し、英語の韻文を感覚的にも理解する。とはいえ、堅苦しいことは抜きに、まずは遠くて近い詩の世界に触れることに重点を置きたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：イギリス文学、特に詩の基礎的な知識を身につける。
個別目標：1. イギリス文学の歴史と特徴を大まかに説明できる。
2. イギリスの詩の「らしさ」を感じることができる。
3. 代表的なイギリスの詩を最低ひとつは暗唱できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

平常点（予習の出来やディスカッションでの授業参加）50%、確認テスト（暗唱 and/or 筆記）50%の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

川本皓嗣『新編　イギリス名詩選』（岩波書店、2025）
上記の教科書は各自で購入すること。旧版とは内容が違うので間違えないように。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。
2 回	**授業テーマ：ルネサンス(1)：エドマンド・スペンサー他** 授業内容：エドマンド・スペンサーなど、ルネサンスの詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
3 回	**授業テーマ：ルネサンス(2)：ウィリアム・シェイクスピア他** 授業内容：ウィリアム・シェイクスピアなど、ルネサンスの詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
4 回	**授業テーマ：ルネサンス(3)：ジョン・ダン他** 授業内容：ジョン・ダンなど、ルネサンスの詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
5 回	**授業テーマ：ルネサンス(4)：ジョン・ミルトン他** 授業内容：ジョン・ミルトンなど、ルネサンスの詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
6 回	**授業テーマ：王政復古・18 世紀(1)：ジョン・ドライデン他** 授業内容：ジョン・ドライデンなど、王政復古・18 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
7 回	**授業テーマ：王政復古・18 世紀(2)：アレグザンダー・ポープ他** 授業内容：アレグザンダー・ポープなど、王政復古・18 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
8 回	**授業テーマ：ロマン派(1)：ウィリアム・ブレイク他** 授業内容：ウィリアム・ブレイクなど、ロマン派の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
9 回	**授業テーマ：ロマン派(2)：ウィリアム・ワーズワス他** 授業内容：ウィリアム・ワーズワスなど、ロマン派の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
10 回	**授業テーマ：ロマン派(3)：パーシー・ビッシュ・シェリー他** 授業内容：パーシー・ビッシュ・シェリーなど、ロマン派の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
11 回	**授業テーマ：ヴィクトリア朝(1)：アルフレッド・テニスン他** 授業内容：アルフレッド・テニスンなど、ヴィクトリア朝の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。

12回	**授業テーマ：ヴィクトリア朝(2)：トマス・ハーディ他** 授業内容：トマス・ハーディなど、ヴィクトリア朝の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
13回	**授業テーマ：モダニズム以降(1)：W・B・イェイツ他** 授業内容：W・B・イェイツなど、モダニズム以降の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
14回	**授業テーマ：モダニズム以降(2)：W・H・オーデン他** 授業内容：W・H・オーデンなど、モダニズム以降の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：授業全体のまとめをおこなう。 事前学修 2.0hr：まとめの準備をする。 事後学修 2.0hr：授業全体の内容を振り返る。

英米文学概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

この授業では、英米文学のうちアメリカ文学の基礎的な知識を身につけることを目指す。そのために、17 世紀から 20 世紀までのアメリカの詩を概観し、代表的な作品については精読をおこなう。また、自身で選んだ詩を暗唱し、英語の韻文を感覚的にも理解する。。同じ英語の詩でも、イギリスとアメリカでまた違った味わいがあることを感じてもらいたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：アメリカ文学、特に詩の基礎的な知識を身につける。
個別目標：1. アメリカ文学の歴史と特徴を大まかに説明できる。
2. アメリカの詩の「らしさ」を感じることができる。
3. 代表的なアメリカの詩を最低ひとつは暗唱できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

平常点（予習の出来やディスカッションでの授業参加）50%、確認テスト（暗唱 and/or 筆記）50%の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

川本皓嗣『アメリカ名詩選』（岩波書店、1993）
上記の教科書は各自で購入すること。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。
2 回	**授業テーマ：植民地時代と独立後：アン・ブラッドストリート他** 授業内容：アン・ブラッドストリートなど、植民地時代と独立後の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
3 回	**授業テーマ：19 世紀(1)：エドガー・アラン・ポー他** 授業内容：エドガー・アラン・ポーなど、19 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
4 回	**授業テーマ：19 世紀(2)：ウォルト・ホイットマン他** 授業内容：ウォルト・ホイットマンなど、19 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
5 回	**授業テーマ：19 世紀(3)：エミリー・ディキンソン他** 授業内容：エミリー・ディキンソンなど、19 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
6 回	**授業テーマ：20 世紀(1)：ロバート・フロスト他** 授業内容：ロバート・フロストなど、20 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
7 回	**授業テーマ：20 世紀(2)：ウォレス・スティーヴンズ他** 授業内容：ウォレス・スティーヴンズなど、20 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
8 回	**授業テーマ：20 世紀(3)：ウィリアム・カーロス・ウィリアムズ他** 授業内容：ウィリアム・カーロス・ウィリアムズなど、20 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
9 回	**授業テーマ：20 世紀(4)：エズラ・パウンド他** 授業内容：エズラ・パウンドなど、20 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
10 回	**授業テーマ：20 世紀(5)：T・S・エリオット他** 授業内容：T・S・エリオットなど、20 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
11 回	**授業テーマ：20 世紀(6)：e・e・カミングス他** 授業内容：e・e・カミングスなど、20 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。

12回	**授業テーマ：20 世紀(7)：エリザベス・ビショップ他** 授業内容：エリザベス・ビショップなど、20 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
13回	**授業テーマ：20 世紀(8)：ロバート・ローウェル他** 授業内容：ロバート・ローウェルなど、20 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
14回	**授業テーマ：20 世紀(9)：シルヴィア・プラス他** 授業内容：シルヴィア・プラスなど、20 世紀の詩人の作品を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容を振り返り、詩を音読する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：授業全体のまとめをおこなう。 事前学修 2.0hr：まとめの準備をする。 事後学修 2.0hr：授業全体の内容を振り返る。

英語教育学概論 a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

小・中・高で一貫した英語教育を行うために必要な理論を学び、それを授業活動に反映させた実践事例映像資料を通して、さらに深く理解する。授業前に提示された課題について考え、用語を調べて授業に参加し、授業後に省察するという反転学習を採り入れる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：小・中・高で一貫した英語教育を行うために必要な理論を理解する。
　　学んだ理論を実践と結びつけて、さらに深く理解する。
個別目標：小・中・高の学習指導要領の目標および内容の要点を理解する。
　　第二言語習得論の基礎的な知識を理解する。
　　受容技能の指導理論を理解する。

▌履修条件

英語教育に興味があること。
本科目を修得したのち、続けて英語教育学概論 b を履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

毎週の課題 50%, 期末テスト 50% の結果に基づき総合的に評価する。なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、遅刻・欠席は減点する。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

奥野由紀子編著(2021)『超基礎　第二言語習得研究』　くろしお出版

▌参考書

パッツィ・M. ライトバウン　ニーナ・スパーダ　白井恭弘/岡田雅子訳(2014)『言語はどのように学ばれるのか』岩波書店
Shawn Loewen 著　佐野富士子・斎藤英敏ら訳(2022)『学びの場での第二言語習得論』
白井恭弘 (2012)『英語教師のための第二言語習得論入門』大修館
Johnson, K. &Johnson, H. (1998). Encyclopedic dictionary of applied linguistics. Blackwell Publishing.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：小・中・高の英語教育の現状と課題** 授業内容：小・中・高の英語教育の現状と課題について自分の体験を通して学んだことをグループディスカッションを通して分かち合い考察する。 事前学修 2.0hr：シラバス、教科書のはしがき、目次を読む。 事後学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べる。
2回	**授業テーマ：幼児期の言語学習** 授業内容：第一言語習得について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：配布資料を読む。
3回	**授業テーマ：主要な第一言語習得理論** 授業内容：行動主義の見方と生得主義の見方について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の小学校学習指導要領を読む。 事後学修 2.0hr：教科書巻末の小学校学習指導要領英語版を読む。
4回	**授業テーマ：臨界期説** 授業内容：第一言語習得の臨界期説について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の中学校学習指導要領を読む。 事後学修 2.0hr：教科書巻末の中学校学習指導要領英語版を読む。
5回	**授業テーマ：第二言語習得における臨界期説** 授業内容：第二言語習得における臨界期説について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の高等学校学習指導要領を読む。 事後学修 2.0hr：教科書巻末の高等学校学習指導要領英語版を読む。
6回	**授業テーマ：言語転移** 授業内容：第一言語の第二言語習得における働きについて考察する。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。
7回	**授業テーマ：第二言語習得における行動主義の見方** 授業内容：第二言語習得における行動主義の見方について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションから学んだことをノートに整理する。
8回	**授業テーマ：第二言語習得における生得主義の見方** 授業内容：第二言語習得における生得主義の見方について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。
9回	**授業テーマ：第二言語習得における認知主義の見方** 授業内容：第二言語習得における認知主義の見方について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションから学んだことをノートに整理する。
10回	**授業テーマ：第二言語習得における認知プロセス** 授業内容：第二言語習得における認知プロセスについて考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。

11回	**授業テーマ：第二言語習得理論に基づいたさまざまな教授法①** 授業内容：第二言語習得理論に基づいた様々な教授法について担当グループが発表する。 事前学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションから学んだことをノートに整理する。
12回	**授業テーマ：第二言語習得理論に基づいたさまざまな教授法②** 授業内容：第二言語習得理論に基づいた様々な教授法について担当グループが発表する。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。
13回	**授業テーマ：第二言語習得理論に基づいたさまざまな教授法③** 授業内容：第二言語習得理論に基づいた様々な教授法について担当グループが発表する。 事前学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションから学んだことをノートに整理する。
14回	**授業テーマ：第二言語習得理論に基づいた文法指導** 授業内容：フォーカス・オン・フォームやフォーカス・オン・フォームズ、フォーカス・オン・ミーニングについて考察する。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：前期の授業内容について改めて全体をレビューして、重要ポイントについて振り返る。 事前学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書き、次の授業でディスカッションできるよう準備する。 事後学修 2.0hr：ディスカッションから学んだことをノートに整理する。

英語教育学概論 b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

小・中・高で一貫した行う英語教育のために必要な指導理論を学び、授業実践映像資料を通して指導の実際を理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：小・中・高で一貫した英語教育を行うために必要な理論を理解する。
　　小・中・高の英語の授業展開を学び、指導技術を理解する。
個別目標：発表技能の指導理論を理解する。
　　小・中・高の英語の授業展開および指導技術を理解する。

▌履修条件

英語教育に興味があること。
英語教育学概論 a を習得していることが望ましい。

▌評価基準・方法

毎週の課題 50%, 期末テスト 50% の結果に基づき総合的に評価する。なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、遅刻・欠席は減点する。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表（模擬授業）に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

奥野由紀子編著（2021）『超基礎　第二言語習得研究』　くろしお出版

▌参考書

Shawn Loewen 著　佐野富士子・斎藤英敏ら訳（2022）『学びの場での第二言語習得論』
高等学校学習指導要領解説　外国語編（平成 30 年 7 月　文部科学省）
中学校学習指導要領解説　外国語編（平成 29 年 7 月　文部科学省）
小学校学習指導要領　外国語（平成 29 年 3 月　文部科学省）
白畑知彦　他 (2009)『英語教育用語辞典』大修館

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：タスクベース指導法①** 授業内容：タスクの特徴やさまざまなタスクについて考察する。特に、インフォメーション・ギャップを利用した絵描写タスクをペアになって体験する。 事前学修 2.0hr：教員の提示資料を読んでタスクベース指導法について理解を深める。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、CEFR の教育理念を理解する。
2 回	**授業テーマ：タスクベース指導法②** 授業内容：問題解決タスクと意思決定タスクをペア及びグループで体験する。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
3 回	**授業テーマ：タスクベース指導法③** 授業内容：さらに、問題解決タスクと意思決定タスクをペア及びグループで体験し、タスクを教室に導入する際の利点と注意点についてグループで発表する。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。
4 回	**授業テーマ：訂正フィードバック①** 授業内容：訂正フィードバックの特徴と種類、それらの用途について考察する。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
5 回	**授業テーマ：訂正フィードバック②** 授業内容：前回に引き続き、訂正フィードバックの特徴と種類、それらの用途について考察する。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。
6 回	**授業テーマ：第二言語習得における動機づけ①** 授業内容：社会心理学的視点から第二言語習得における動機づけについて考察する。特に、統合的動機付けと道具的動機付け、国際的志向性について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
7 回	**授業テーマ：第二言語習得における動機づけ②** 授業内容：教育心理学的視点から第二言語習得における動機づけについて考察する。特に、自己決定理論について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。
8 回	**授業テーマ：第二言語習得における動機づけ③** 授業内容：第二言語動機づけセルフシステムや未来の自己ガイドについて考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
9 回	**授業テーマ：第二言語習得における動機づけ④** 授業内容：自己効力感理論や期待価値理論、達成動機理論について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。

10回	**授業テーマ：内容言語統合型学習(CLIL)①** 授業内容：新しい教授法としての内容言語統合型学習について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。。
11回	**授業テーマ：内容言語統合型学習(CLIL)②** 授業内容：CLIL の具体的な事例について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。
12回	**授業テーマ：児童の関心・意欲を高めるプロジェクト型指導法** 授業内容：絵本や ICT を活用したプロジェクトの実例について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
13回	**授業テーマ：中学校における課題解決型言語活動** 授業内容：中学校における課題解決型言語活動の実例について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。
14回	**授業テーマ：高等学校における課題解決型プロジェクト** 授業内容：高等学校における課題解決型プロジェクトの実例について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：Pre-Learning に提示された用語を調べ、課題について考えたことをノートに書く。 事後学修 2.0hr：授業で学んだ内容をまとめる。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：後期の授業内容についてレビューして、特に重要ポイントについて振り返る。 事前学修 2.0hr：先回の授業を復習する。 事後学修 2.0hr：Post-Learning に提示された課題について考えたことをノートに書く。

TOEFL 対策講座

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

バルブド　プルメル　エスティオコ

▌授業の概要

This course prepares students for the TOEFL iBT through a practice-centered Test-Lab approach. Each class follows a cycle of strategy explanation, timed practice, error analysis, and re-testing. Students focus on reading, listening, speaking, and writing tasks. Emphasis is placed on measurable improvement between the diagnostic and the final mock test. The course is conducted mainly in English and requires active participation in timed drills and performance tasks.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：Students will understand the structure of the TOEFL iBT and improve core academic skills through repeated practice and guided feedback. The course develops reading accuracy, listening comprehension, structured speaking, and clear email writing. Students will also learn to identify their error patterns and apply test strategies effectively under time limits.

個別目標：By the end of the semester, students will:

- Improve reading accuracy under time limits.
- Identify main ideas and details in short conversations.
- Produce organized 30 to 45 second interview responses.
- Write clear and task-focused emails within 10 to 12 minutes.
- Recognize personal error patterns and apply corrective strategies.
- Demonstrate score improvement from diagnostic to final mock test.

▌履修条件

No prerequisites are required. This course is designed for beginner to lower-intermediate students who plan to take the TOEFL iBT in the future.

▌評価基準・方法

Students will be evaluated based on the following criteria:

- Coursework(30%)
- Tests &Quizzes (30%)
- Active participation (15%)
- Final Exam (25%)

▌フィードバック方法

Students receive feedback through in-class score review, error analysis sessions, peer practice, and instructor comments. Diagnostic and final mock results are compared to measure improvement.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Timed drills, pair speaking practice, mock tests, error diagnosis activities）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Online listening practice, speaking recording, timed email writing, mock testing）

▌教科書

Primary course materials will be provided by the instructor and available online.

▌参考書

1. Supplementary materials will be provided by the instructor.
2. Recommended reference: ETS Official Guide to the TOEFL iBT
3. Recommended reference: TOEFL Skills 3. Abax Publishers. ISBN: 978-1-78547-039-4.
4. Supplementary resource: Selected online TOEFL practice resources.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction and Diagnostic Test** 授業内容：Students complete a baseline mini-test (reading, listening, speaking, email writing) and learn the Error Code system.Introduction to TOEFL 2026 format. 事前学修 2.0hr：Read syllabus, explore LMS 事後学修 2.0hr：Reflection on strengths and weaknesses
2回	**授業テーマ：Sentence Structure &Grammar Control** 授業内容：Students practice sentence-building tasks and review basic English word order. Timed re-test included. 事前学修 2.0hr：Review basic grammar notes 事後学修 2.0hr：Complete sentence correction worksheet
3回	**授業テーマ：Daily Life Reading － Detail Questions** 授業内容：Students learn scanning strategies and practice answering detail-based questions. Error diagnosis session included. 事前学修 2.0hr：Review vocabulary list 事後学修 2.0hr：Short reading practice
4回	**授業テーマ：Daily Life Reading － Vocabulary in Context** 授業内容：Students practice identifying word meaning from context and recognizing reference words. Timed reading drills. 事前学修 2.0hr：Study prefix/suffix list 事後学修 2.0hr：Complete Vocabulary log update
5回	**授業テーマ：Mini Reading Test &Review** 授業内容：Students take a timed-reading mini-test. Score analysis and strategy reinforcement. 事前学修 2.0hr：Review past reading errors 事後学修 2.0hr：Complete reflection report
6回	**授業テーマ：Conversation Listening － Main Ideas** 授業内容：Students practice identifying main ideas in short conversations and improve keyword note-taking. 事前学修 2.0hr：Preview listening questions 事後学修 2.0hr：Complete listening practice worksheet
7回	**授業テーマ：Conversation Listening － Details &Purpose** 授業内容：Students practice recognizing speaker intention and supporting details. Timed drills included. 事前学修 2.0hr：Review signal words 事後学修 2.0hr：Do Error Journal update

8回	**授業テーマ：Mini Listening Test &Review** 授業内容：Students take a timed listening test. Immediate scoring and diagnosis discussion. 事前学修 2.0hr：Review listening notes 事後学修 2.0hr：Do the weakness action plan
9回	**授業テーマ：Interview Speaking – Organization** 授業内容：Students learn a structured speaking template and practice 30-second responses. 事前学修 2.0hr：Review sample speaking responses 事後学修 2.0hr：Record one speaking response
10回	**授業テーマ：Interview Speaking – Development &Fluency** 授業内容：Students expand answers with examples and practice under time pressure. 事前学修 2.0hr：Review transition phrases 事後学修 2.0hr：Record improved response
11回	**授業テーマ：Email Writing – Structure &Tone** 授業内容：Students learn professional email format and practice timed writing (10 – 12 minutes). 事前学修 2.0hr：Review email model 事後学修 2.0hr：Revise in-class email
12回	**授業テーマ：Email Writing – Clarity &Task Completion** 授業内容：Students practice responding clearly to all task requirements and improve organization. 事前学修 2.0hr：Review correction notes 事後学修 2.0hr：Practice email draft
13回	**授業テーマ：Speaking &Writing Mini Performance Test** 授業内容：Students do timed speaking and email writing assessment. Performance review session. 事前学修 2.0hr：Review speaking template 事後学修 2.0hr：Prepare for mock test
14回	**授業テーマ：Full Mock TOEFL Test** 授業内容：Students complete a simulated TOEFL (reading, listening, speaking, writing). Score comparison with Week 1 diagnostic. 事前学修 2.0hr：Review personal weak areas 事後学修 2.0hr：Self-analysis report
15回	**授業テーマ：Feedback &Future Study Plan** 授業内容：Students review progress from Week 1 to Week 14 and create a personal TOEFL improvement plan. Individual conferences. 事前学修 2.0hr：Prepare questions for consultation 事後学修 2.0hr：Engage in independent study activities

英語音声学 a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

鍛治　広真（かじ　ひろみ）

▌授業の概要

この授業では英語の音声学的特徴を学ぶ。英語の音声を「正しく」発音・聞き取りができるようになることはもちろん目標に含まれるが、どのように音声が生み出されるかを説明できるようになることも同様に重要である。そのために、音声学の基本的な概念や音声器官の構造と働きを理解し発音の原理を知識として身につけることを重視する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語の単音の音声学的特徴を学び、発音、聞き取りを実践する。

個別目標：(1) 調音音声学の基本的な概念を理解する
(2) 英語の単音の発音原理を説明できる
(3) 英語の音声を発音記号で記述できる
(4) 英語の単音の聞き取り・発音を正確にすることができる

▌履修条件

履修の条件は設けない

▌評価基準・方法

到達目標の 1〜4 ができているか、あるいはその到達度。授業への取り組み 50%（小課題、小テスト）、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発音・聞き取り練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

竹林滋/清水あつ子/斎藤弘子『初級英語音声学 改訂新版』大修館書店

▌参考書

深澤俊昭『英語の発音パーフェクト学習事典（新装版）』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション(現代英語の標準発音)** 授業内容：文献を読み、現代英語の標準発音について学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
2回	**授業テーマ：綴り字と発音記号** 授業内容：文献を読み、英語の綴り字と発音の関係、発音記号と発音の対応について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：音声器官** 授業内容：文献を読み、音声器官について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：子音の分類基準** 授業内容：調音の位置、調音方法、発声について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：英語の子音：破裂音** 授業内容：破裂音の発音原理について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
6回	**授業テーマ：英語の子音：摩擦音** 授業内容：摩擦音の発音原理について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
7回	**授業テーマ：英語の子音：破擦音** 授業内容：破擦の発音原理について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
8回	**授業テーマ：英語の子音：鼻音** 授業内容：鼻音の発音原理について学び、発音・聞き取りをする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
9回	**授業テーマ：英語の子音：側面音、接近音** 授業内容：側面音、接近音の発音原理について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
10回	**授業テーマ：母音の分類基準** 授業内容：開口度、舌の位置、円唇性について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
11回	**授業テーマ：英語の母音：短母音** 授業内容：英語の短母音の種類について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習

12回	**授業テーマ：英語の母音：英語の長母音** 授業内容：英語の長母音の種類について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
13回	**授業テーマ：英語の母音：英語の二重母音** 授業内容：英語の二重母音の種類について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
14回	**授業テーマ：英語の母音：英語の弱母音** 授業内容：英語の弱母音について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：授業の内容を振り返り補足をする。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語音声学 a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

タイソン　ロード

▌授業の概要

In Phonetics a, students will learn about phonetics. Phonetics is the scientific study of speech. The central focus of phonetics is the discovery of how speech sounds are produced, how they are used in spoken language, and how to hear and recognize different sounds. In Phonetics a, students will study a systematic overview of the English pronunciation mainly at the segment and word levels. The objective of this course is to learn about American English sounds and how to recognize /pronounce these sounds when listening to /speaking English. Students will also become familiar with phonetic transcription and learn to transcribe English words into International Phonetic Alphabet (IPA) notation. This class will be conducted in English and will utilize active learning.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：The main objective of this course is for students to acquire and master phonetics skills, so that they can confidently understand and produce English sounds and words.

個別目標：The specific objectives of this course are outlined below. By the end of this course students will be able to:

1. Demonstrate an understanding of the phonetic inventory of American English and where possible other forms of the English language.
2. Transcribe English words into International Phonetic Alphabet (IPA) notation.
3. Recognize and produce the sounds of the American English phonetic inventory.

▌履修条件

This course is a first-semester required-elective course. Phonetics a and Phonetics b are two independent half-year courses (i.e., Phonetics b is available to students who have not completed Phonetics a).

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Coursework and Active Participation (30%), a Midterm Test (20%), a Phonetic Transcription Project (30%), and a Final Examination (20%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Takebayashi, S., Shimizu, A., &Saito, H. (2013). Kaiteishinban Shokyuu Eigo Onseigaku. Japan: Taishukan (required textbook).

▌参考書

Supplementary materials will be provided as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Course Introduction to Phonetics a** 授業内容：Students will learn about Phonetics a and will be introduced to the International Phonetic Alphabet (IPA). 事前学修 2.0hr：Purchase textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
2 回	**授業テーマ：Chapter 1: Modern English Standard Pronunciations** 授業内容：Students will learn about the many kinds of English that exist in the world today. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
3 回	**授業テーマ：Chapter 2: Spelling and Pronunciation** 授業内容：Students will learn about English Spelling and Pronunciation and 12 useful rules. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
4 回	**授業テーマ：Chapter 2: Spelling and Pronunciation** 授業内容：Students will learn about English Spelling and Pronunciation and 12 useful rules. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
5 回	**授業テーマ：Chapter 3: Phonemes** 授業内容：Students will learn about English phonemes. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
6 回	**授業テーマ：Chapter 4: Consonants** 授業内容：Students will learn about English consonants and their voicing, manners of articulation, and places of articulation. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
7 回	**授業テーマ：Chapter 4: Consonants** 授業内容：Students will learn about English consonants and their voicing, manners of articulation, and places of articulation. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
8 回	**授業テーマ：Chapter 4: Consonants** 授業内容：Students will learn about English consonants and their voicing, manners of articulation, and places of articulation. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
9 回	**授業テーマ：Midterm Test** 授業内容：Students will complete a midterm test on Chapters 1-4. 事前学修 2.0hr：Prepare for Midterm Test 事後学修 2.0hr：Complete assigned work

10回	**授業テーマ：Chapter 5: Vowels** 授業内容：Students will learn about English vowels. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
11回	**授業テーマ：Chapter 5: Vowels** 授業内容：Students will learn about English vowels. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
12回	**授業テーマ：Chapter 5: Vowels** 授業内容：Students will learn about English vowels. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
13回	**授業テーマ：Final Project Preparation** 授業内容：Students will prepare their final projects. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete final project
14回	**授業テーマ：Final Project Presentations** 授業内容：Students will present their final projects. 事前学修 2.0hr：Complete final project 事後学修 2.0hr：Prepare for Final Examination
15回	**授業テーマ：Final Examination** 授業内容：Students will complete a final examination on Chapters 1-5. 事前学修 2.0hr：Prepare for Final Examination 事後学修 2.0hr：Complete the course survey

英語音声学 b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

鍛治　広真（かじ　ひろみ）

▌授業の概要

この授業では英語の音声学的特徴を学ぶ。特に英語の音声の超分節的特徴を理解し、日本語との違いを考える。主にアクセント、イントネーションの特徴についての文献購読を通じて学ぶとともに、発音・聞き取りの練習を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語の音声の超分節的特徴を学び、発音・聞き取りの実践をする。

個別目標：(1) 英語の音節の特徴を理解し説明できる
(2) 英語のアクセントの特徴を理解し説明できる
(3) 英語のイントネーションの特徴を理解し説明できる
(4) 英語と日本語の音声的な特徴の違いを理解し説明できる

▌履修条件

履修条件は設けないが、前学期の英語音声学 a を履修済みであることが望ましい

▌評価基準・方法

到達目標の 1〜4 ができているか、あるいはその到達度。授業への取り組み 50%（聞き取り・発音練習など）、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発音・聞き取り練習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

竹林滋/清水あつ子/斎藤弘子『初級英語音声学 改訂新版』大修館書店

▌参考書

今井邦彦『ファンダメンタル音声学』ひつじ書房
深澤 俊昭『英語の発音パーフェクト学習事典（新装版）』アルク

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：英語の音声の超分節的特徴についての導入を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
2 回	**授業テーマ：英語の音節構造** 授業内容：文献を読み英語の音節構造について学び、日本語との違いを考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3 回	**授業テーマ：英語の音連続** 授業内容：文献を読み英語の音連続について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
4 回	**授業テーマ：音の脱落** 授業内容：文献を読み英語の音の脱落について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
5 回	**授業テーマ：音の同化** 授業内容：文献を読み英語の音の同化について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
6 回	**授業テーマ：英語のアクセント：日本語のアクセントとの違い** 授業内容：文献を読み英語のアクセントについて学び、日本語との違いを考える 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7 回	**授業テーマ：英語のアクセント：第 1 強勢と第 2 強勢** 授業内容：文献を読み英語の第 1 強勢と第 2 強勢について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
8 回	**授業テーマ：英語のアクセント：複合語アクセント** 授業内容：文献を読み英語の複合語アクセントについて学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
9 回	**授業テーマ：英語のアクセント：文のアクセント** 授業内容：文献を読み英語の文のアクセントについて学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
10 回	**授業テーマ：英語のアクセント：強形と弱形** 授業内容：文献を読み英語の単語の弱形と強形について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
11 回	**授業テーマ：英語のリズムと日本語のリズム** 授業内容：文献を読み英語のリズムについて学び、発音・聞き取り練習をする。日本語との違いを考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習

12回	**授業テーマ：英語のイントネーションの構造** 授業内容：文献を読み英語のイントネーションの構造について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：イントネーションと意味** 授業内容：文献を読み英語のイントネーションと意味の関係について学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
14回	**授業テーマ：特殊なイントネーション** 授業内容：文献を読み英特殊なイントネーションについて学び、発音・聞き取り練習をする。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理、発音練習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：今学期の内容を振り返り、補足をする。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語音声学 b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

タイソン　ロード

▌授業の概要

In Phonetics b, students will study the suprasegmental or prosodic features of American English. The prosodic features of English are important to convey meaning when speaking. In this course, students will learn about important prosodic features such as accent, rhythm, and intonation. Students will participate in a final project that will enable them to practice using these features in a communicative situation. This class will be conducted in English and will utilize active learning.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：The main objective of this course is for students to acquire a working knowledge of the prosodic features of English, so that they can confidently understand and produce English sentences.

個別目標：The specific objectives of this course are outlined below. By the end of this course students will be able to:

1. Demonstrate an understanding of English accent (word-level stress).
2. Recognize and produce English sentences with natural rhythm (sentence-level stress).
3. Recognize and produce English sentences with a variety of intonation patterns.
4. Demonstrate an understanding of other English language phenomena (e.g., reductions in casual speech etc.)

▌履修条件

This course is a second-semester required-elective course. Phonetics a and Phonetics b are two independent half-year courses (i.e., Phonetics b is available to students who have not completed Phonetics a).

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Coursework and Active Participation (25%), Quizzes (25%), and a Final Project (50%).

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Takebayashi, S., Shimizu, A., &Saito, H. (2013). Kaiteishinban Shokyu Eigo Onseigaku. Japan: Taishukan (required textbook).

▌参考書

Supplementary materials will be provided as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Course Introduction to Phonetics b** 授業内容：Students will learn about Phonetics b and will be introduced to the prosodic features of English. 事前学修 2.0hr：Purchase the textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
2 回	**授業テーマ：Chapter 6: Sound Sequences and Syllables** 授業内容：Students will learn about syllable types and features. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
3 回	**授業テーマ：Chapter 6: Sound Sequences and Syllables** 授業内容：Students will learn about syllable types and features. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
4 回	**授業テーマ：Chapter 7: Accent** 授業内容：Students will learn about accent (word-level stress) in English. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
5 回	**授業テーマ：Chapter 7: Accent** 授業内容：Students will learn about accent (word-level stress) in English. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
6 回	**授業テーマ：Chapter 7: Accent** 授業内容：Students will learn about accent (word-level stress) in English. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
7 回	**授業テーマ：Chapter 8: Rhythm** 授業内容：Students will learn about English rhythm (sentence-level stress). 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
8 回	**授業テーマ：Chapter 8: Rhythm** 授業内容：Students will learn about English rhythm (sentence-level stress). 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
9 回	**授業テーマ：Chapter 8: Rhythm** 授業内容：Students will learn about English rhythm (sentence-level stress). 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
10 回	**授業テーマ：Chapter 9: Intonation** 授業内容：Students will learn about the various intonation patterns in English. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work

11回	**授業テーマ：Chapter 9: Intonation** 授業内容：Students will learn about the various intonation patterns in English. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
12回	**授業テーマ：Chapter 9: Intonation** 授業内容：Students will learn about the various intonation patterns in English. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
13回	**授業テーマ：Final Project Preparation** 授業内容：Students will prepare their final projects. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete final project
14回	**授業テーマ：Final Project Presentations** 授業内容：Students will present their final projects. 事前学修 2.0hr：Complete final project 事後学修 2.0hr：Prepare for Final Examination
15回	**授業テーマ：Final Examination** 授業内容：Students will complete a final examination on Chapters 6-9 and other materials. 事前学修 2.0hr：Prepare for Final Examination 事後学修 2.0hr：Complete the course survey

英語史

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

青木　輝（あおき　ひかる）

▌授業の概要

なぜ name は「ナメ」ではなく「ネイム」と発音され、なぜ doubt の〈b〉や knight の〈k〉〈gh〉のように、英語の綴りには発音しない文字が含まれるのでしょうか？ なぜ英語には三単現の-s という面倒なルールが存在するのでしょうか？ そもそもなぜこんな言語が世界の共通語として君臨するようになったのでしょうか？

こうしたさまざまな「なぜ？」の背景には、英語の成り立ちに関わる歴史的事情が存在します。本授業は、この「なぜ？」に 1 つの答えを提示してくれる「英語史」という分野について学習を進めます。具体的には、英語の起源から現在に至るまでの通史を概観したうえで、綴り・文法の変化など、個別の事象について学習していきます。そして、今ある英語がなぜ・どのように生み出されてきたのかを理解し、英語がこれまでに学校で学んできたような固定化された規則の集合ではなく、絶対的なルールなど存在しない、変わり続けている言語であることを学んでいきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語の歴史について、基礎的な知識を身につける。

個別目標：1. 英語が学校で習ってきたような単なるルールの塊ではないこと、「学校の英語 =正義」ではないということを知る。

2. 英語を語学的な視点以外から分析できるようになる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

・平常点（リアクションペーパーの提出）: 50%

・期末課題: 50%

▌フィードバック方法

主に manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料の共有・閲覧など）

▌教科書

堀田隆一『英語史で解きほぐす英語の誤解: 納得して英語を学ぶために』中央大学出版会、2011 年。

*必要に応じて資料を配布するため、購入を推奨するが必須とはしない。

▌参考書

寺澤盾『英語の歴史』中公新書、2008 年。

中尾俊夫・寺島廸子『図説英語史入門』大修館書店、1988 年。

家入葉子『ベーシック英語史』ひつじ書房、2007 年。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業の概要説明を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：授業内容や目標を整理し、理解する。
2回	**授業テーマ：教科書第 1・2・3 章 英語史導入** 授業内容：教科書 1-3 章を通じて、話者数や多様性から現在英語が置かれている状況を理解する。また時代区分など、英語史を学ぶうえで必要になる知識や、何を意識して学習すべきかを把握する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
3回	**授業テーマ：通史① インド・ヨーロッパ祖語～古英語（BC5000 – 1100 年）** 授業内容：英語の起源であるインド・ヨーロッパ祖語から古英語期に至るまでを学習する。また古英語の文法や発音などを学習し、さらにその時代背景や特徴についても理解する。 事前学修 2.0hr：参考書の関連する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
4回	**授業テーマ：通史② 中英語（1100 – 1500 年）** 授業内容：中英語の文法や発音などを学習し、さらにその時代背景や特徴についても理解する。 事前学修 2.0hr：参考書の関連する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
5回	**授業テーマ：通史③ 近代英語（1500 – 1900 年）** 授業内容：近代英語の文法や発音などを学習し、さらにその時代背景や特徴についても理解する。 事前学修 2.0hr：参考書の関連する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
6回	**授業テーマ：通史④ 現代英語・国際英語（1900 年– 現在）** 授業内容：現代英語はどのように生み出されてきたのか、その存在や特徴を歴史的な文脈から捉え直す。また世界各地の英語の誕生についても学ぶ。 事前学修 2.0hr：参考書の関連する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
7回	**授業テーマ：教科書第 4 章 「英語は純粋な言語である」** 授業内容：教科書第 4 章を通じて、英語の語彙の多様性とその由来について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
8回	**授業テーマ：教科書第 5 章 「英語は易しい言語である」** 授業内容：教科書第 5 章を通じて、英語がいかに全く性質の異なる言語へと変容したか理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
9回	**授業テーマ：教科書第 6 章 「英語は日本語と比べて文字体系が単純である」** 授業内容：教科書第 6 章を通じて、英語の綴りと発音の対応関係について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。

10回	**授業テーマ：教科書第 7 章 「英文法は固定している」** 授業内容：教科書第 7 章を通じて、いかに学校で学ぶような英語の「ルール」が生まれてきたのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
11回	**授業テーマ：教科書第 8 章 「イギリス英語とアメリカ英語は大きく異なっている」** 授業内容：教科書第 8 章を通じて、アメリカ英語の誕生や、イギリス英語とアメリカ英語の違いについて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
12回	**授業テーマ：教科書第 9 章 「英語は簡単だから世界共通語になった」** 授業内容：教科書第 9 章を通じて、世界各地の英語がどのように誕生したのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
13回	**授業テーマ：教科書第 10 章 「英語はもはや変化しない」** 授業内容：教科書第 10 章を通じて、英語は今どのような現状に置かれており、今後どのようになっていくのか、その未来について考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当する章に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
14回	**授業テーマ：個別の事例分析** 授業内容：これまでに扱いきれなかった様々な個別の現象について紹介し、英語史の観点からその理由を説明する。 事前学修 2.0hr：事前に配られた講義資料に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。
15回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：これまでの総まとめを行う。 事前学修 2.0hr：これまでの講義資料に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義資料を見直して、内容の復習をする。

対照言語研究 a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

青木　輝（あおき　ひかる）

▌授業の概要

何かを購入する際、複数の商品を比較すると、それぞれの商品の特徴がより明確になり、十分に理解したうえで選択・購入することができるでしょう。同様に、言語についても複数の言語を比較することで、それぞれの特徴が明確になり、個々の言語に対する理解をより深めることができます。

本科目では、このようにことばを比較する「対照言語学」の観点から、主に英語と日本語を取り上げ、それぞれの言語の特徴を明らかにしていきます。そしてこの比較から英語や日本語について深く広範な理解を得るとともに、今後の英語学習により効果的に取り組めるようにするなど、ことばに対する多面的かつ科学的な視点を養っていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語と日本語を比較しながら、それぞれの言語の特徴を明らかにする。英語や日本語に対して科学的な理解を得る。

個別目標：・英語と日本語を、言語学的な観点から比較・分析できるようになる。
・英語に対して深い理解を得て、今後の英語力の向上につなげるヒントを得る。
・言語学の基本概念を理解し、自分で説明できるようになる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

平常点(リアクションペーパーの提出など): 30 %
提出物・授業内課題(グループワーク・プレゼンテーションなどを含む): 20 %
期末レポート: 50 %

▌フィードバック方法

主に manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などを搭載した PC を持参すること）

▌教科書

必要に応じて資料を配付する。

▌参考書

三原健一・高見健一(編著)『日英対照 英語学の基礎』くろしお出版、2013 年。
西光義弘(編)『日英語対照による英語学概論』くろしお出版、1999 年。
井上逸兵(編)『社会言語学』朝倉書店、2017 年。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後の発表のためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：対照研究の対象・目的・手法** 授業内容：言語学の基本分野について整理をしたうえで、それぞれの分野でどのように対照研究を行うか、何を対象として分析することができるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語と日本語の音声学** 授業内容：音声学の基本的な知識を確認しつつ、英語と日本語における音声の性質を比較しながら検討する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：英語と日本語の音韻論** 授業内容：英語と日本語における音韻の性質を言語学的な観点から比較し、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：英語と日本語の形態論** 授業内容：英語と日本語における語の形態的な性質を比較しながら検討する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：英語と日本語の意味論 ①** 授業内容：語の意味についての言語学的な分析を学び、そのうえで英語と日本語の語の意味の比較分析を行う。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：英語と日本語の意味論 ②** 授業内容：語の意味についての言語学的な分析を学び、そのうえで英語と日本語の語の意味の比較分析を行う。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 ①** 授業内容：自身で調査したことを発表し、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 ②** 授業内容：自身で調査したことを発表し、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：英語と日本語の統語論** 授業内容：英語と日本語の文法の共通点と相違点について比較を行う。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：分析事例の紹介 ①** 授業内容：これまでに学習してきたテーマ以外の分析事例について、実際の研究を通じて学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：分析事例の紹介 ②** 授業内容：これまでに学習してきたテーマ以外の分析事例について、実際の研究を通じて学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 ③** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容をスライドやハンドアウトなどの資料にまとめる。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 ④** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容について発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：前期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、期末レポートの内容などを全体としてまとめる。 事前学修 2.0hr：前期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の知識を補強する。

対照言語研究 b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

青木　輝（あおき　ひかる）

▌授業の概要

何かを購入する際、複数の商品を比較すると、それぞれの商品の特徴がより明確になり、十分に理解したうえで選択・購入することができるでしょう。同様に、言語についても複数の言語を比較することで、それぞれの特徴が明確になり、個々の言語に対する理解をより深めることができます。

本科目では、このようにことばを比較する「対照言語学」の観点から、主に英語と日本語を取り上げ、それぞれの言語の特徴を明らかにしていきます。そしてこの比較から英語や日本語について深く広範な理解を得るとともに、今後の英語学習により効果的に取り組めるようにするなど、ことばに対する多面的かつ科学的な視点を養っていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語と日本語を比較しながら、それぞれの言語の特徴を明らかにする。英語や日本語に対して科学的な理解を得る。

個別目標：・英語と日本語を、言語学的な観点から比較・分析できるようになる。
・英語に対して深い理解を得て、今後の英語力の向上につなげるヒントを得る。
・言語学の基本概念を理解し、自分で説明できるようになる。

▌履修条件

特になし。

ただし前期科目「対照言語研究 a」を履修していることが望ましい。

▌評価基準・方法

平常点（リアクションペーパーの提出など）: 30 %

提出物・授業内課題（グループワーク・プレゼンテーションなどを含む）: 20 %

期末レポート: 50 %

▌フィードバック方法

主に manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などを搭載した PC を持参すること）

▌教科書

必要に応じて資料を配付する。

▌参考書

三原健一・高見健一（編著）『日英対照 英語学の基礎』くろしお出版、2013 年。

西光義弘（編）『日英語対照による英語学概論』くろしお出版、1999 年。

井上逸兵（編）『社会言語学』朝倉書店、2017 年。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後の発表のためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：前期の内容の振り返り** 授業内容：前期に学習した言語学の基本分野について整理をしたうえで、それぞれの分野でどのように対照研究を行うか、何を対照として分析することができるかを復習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語と日本語の言語習得** 授業内容：用法基盤モデルに基づく言語習得のプロセスを学習し、この観点で見たときに英語と日本語がどのように異なりうるのかを検討する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：英語と日本語の語用論 ①** 授業内容：英語と日本語におけるコミュニケーションの性質を言語学的な観点から比較し、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：英語と日本語の語用論 ②** 授業内容：英語と日本語におけるコミュニケーションの性質を言語学的な観点から比較し、さらに理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：英語と日本語の社会言語学** 授業内容：言葉が社会的な文脈にどのように影響を受けるかを学び、日本語と英語での違いを検討する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：英語と日本語の歴史言語学** 授業内容：英語と日本語の歴史的発達を学び、それらの類似点や異なる点を検討する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 ①** 授業内容：自身で調査したことを発表し、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 ②** 授業内容：自身で調査したことを発表し、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：英語と日本語のコミュニケーション** 授業内容：英語と日本語のコミュニケーションやその文化的背景について比較を行う。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：分析事例の紹介 ①** 授業内容：これまでに学習してきたテーマ以外の分析事例について、実際の研究を通じて学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：分析事例の紹介 ②** 授業内容：これまでに学習してきたテーマ以外の分析事例について、実際の研究を通じて学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 ③** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容をスライドやハンドアウトなどの資料にまとめる。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 ④** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容について発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：前期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、期末レポートの内容などを全体としてまとめる。 事前学修 2.0hr：前期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の知識を補強する。

英文法研究 a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

この授業では、これまでに習った英文法を言語学的に捉え直し、理解を深めることを目標とする。また、英語で書かれた文学作品など、生活の中の実例を踏まえ、英語の文法を専門的に理解することのおもしろさについて、考えられようになることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：英文法を言語学的に捉え直し、英文法に対しての理解を深める。
個別目標：英語の文法を記述する際の様々な用語の意味を理解し、自分で使えるようになる。
　　英文法で最低限知っておくべきことを理解して、実際に使えるようになる。
　　日本語と英語の言語学的な違いに気づけるようになる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 30 %、期末レポート 50 %、提出物・授業内課題 20 %(小テスト・グループワークなどを含む)とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などのソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

Huddleston, R. &Pullum, G.K. 著 (高橋邦年監訳)『ケンブリッジ現代英語文法 入門』(ケンブリッジ英語文法入門)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後の発表のためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：英文法の基礎知識** 授業内容：英文法についての研究を理解するために、基礎知識を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：品詞** 授業内容：英語における品詞について学習をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：句の構造** 授業内容：英語における句の構造と性質について理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：動詞の語形変化** 授業内容：英語における動詞の語形変化のパターンを学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：助動詞** 授業内容：英語における助動詞の性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (1)** 授業内容：これまでの学習内容を踏まえて、自身で調査したことを発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (2)** 授業内容：自身で調査したことを発表し、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：時制** 授業内容：英語における時制表現の性質を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：節の構造** 授業内容：英語における節の構造について理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：名詞 (1)** 授業内容：英語における名詞の性質について、単数・複数の区別に着目しながら、理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：名詞 (2)** 授業内容：英語における名詞の性質について、冠詞や指示代名詞との関係性を踏まえて、理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (3)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容をスライドやハンドアウトなどの資料にまとめる。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (4)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容について発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：前期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、期末レポートの内容などを全体としてまとめる。 事前学修 3.0hr：前期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の弱点を把握、補強する。

英文法研究 b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

この授業では、これまでに習った英文法を言語学的に捉え直し、理解を深めることを目標とする。また、英語で書かれた文学作品など、生活の中の実例を踏まえ、英語の文法を専門的に理解することのおもしろさについて、考えられようになることを目指す。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：英文法を言語学的に捉え直し、英文法に対しての理解を深める。
個別目標：英語の文法を記述する際の様々な用語の意味を理解し、自分で使えるようになる。
　　英文法について最低限知っておくべきことを理解し、実際に使えるようになる。
　　自分が表現したいことを、適切な英文法を用いて伝えられるようになる。

▌履修条件

特にないが、前学期開講の英文法研究 a を履修済みであることが望ましい。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 30 %、期末レポート 50 %、提出物・授業内課題 20 %(小テスト・グループワークなどを含む)とする。

▌フィードバック方法

課題及び定期試験のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などのソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

Huddleston, R. &Pullum, G.K. 著 (高橋邦年監訳)『ケンブリッジ現代英語文法 入門』(ケンブリッジ英語文法入門)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後の発表のためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、授業内容・授業方針などを把握する。 事後学修 2.0hr：授業で紹介された参考図書や文献に目を通しておく。
2回	**授業テーマ：名詞とその関連表現 (1)** 授業内容：名詞と、量化子や数量表現などの関連表現について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：名詞とその関連表現 (2)** 授業内容：英文法における名詞について、冠詞や指示表現と組み合わせながら、文法的なの理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：形容詞とその関連表現 (1)** 授業内容：英語の形容詞に関して、文法的な性質を学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：形容詞とその関連表現 (2)** 授業内容：英語の形容詞に関して、他の品詞と比較しながら、その性質についての理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：副詞** 授業内容：英語の副詞に関して、形容詞と比較しながら、その文法的な性質の理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (1)** 授業内容：これまでの学習内容を踏まえて、自身で調査したことを発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (2)** 授業内容：自身で調査したことを発表し、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：前置詞とその関連表現 (1)** 授業内容：英語の前置に関して、形容詞と比較しながら、その文法的な性質の理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：前置詞とその関連表現 (2)** 授業内容：英語の前置詞に関して、具体的な熟語表現などを学習しながら、その言語学的な性質についての理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：否定表現 (1)** 授業内容：英語の否定表現に関して、動詞や時制表現と組み合わせながら、文法的な性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：否定表現 (2)** 授業内容：英語の否定表現と、それに関連する表現の文法的な性質について学習する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (3)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容をスライドやハンドアウトなどの資料にまとめる。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：学習成果のまとめと発表 (4)** 授業内容：これまでの学習内容をまとめ、自身で調査した内容について発表する。 事前学修 2.0hr：指定された事前資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、担当者による課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：後期授業の総復習とまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、期末レポートの内容などを全体としてまとめる。 事前学修 3.0hr：後期の授業内容を振り返っておく。 事後学修 1.0hr：担当者による総復習を参考に、自分の弱点を把握、補強する。

Interpreting Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小林　裕子（こばやし　やすこ）

▌授業の概要

通訳は【事実】と【感情】を正しく伝える技術です。この授業では英語運用能力の基礎力を前提として、
より高度な英語運用能力と日本語の語彙能力を身につけることを目的としています。
英語力と日本語語彙力を総合的に駆使して、事実と感情を正しく伝える技術を磨きます。
演習は英語→日本語への通訳が中心となります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：グローバル社会において必要に応じて臨機応変に言語変換の仲立ちができる人材になれる
　　時事問題に関心をもち、複数言語で特定概念を説明できる能力が身につく
　　正義感と親切心をもって必要な言語変換能力を社会に提供することができる
個別目標：要約力・論理的思考が身につく
　　積極的・合理的に問題を解決する方法を多言語で提案することができるようになる
　　積極的に社会と関わり、求められる言語変換を適切に行う事ができる。

▌履修条件

忍耐強く語彙能力を高める意欲がある方
繰り返し練習に耐えられる方
忍耐心と向上心を身につけたい方

▌評価基準・方法

期末試験　60 %
授業への積極的な貢献、課題提出の内容充実度など　40 %

▌フィードバック方法

manaba で個別にフィードバック
対面で課題返却
模範解答の授業内での紹介

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内での通訳練習を行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （語彙検索などを行います）

▌教科書

コミュニケーションと通訳演習　南雲堂

▌参考書

必要に応じて紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：教科書の目次に沿って前学期に学ぶ内容を概観する 事前学修 2.0hr：オリエンテーションでの自己紹介をかんがえておく。 事後学修 2.0hr：次回に向けて教科書を下読みしておく
2回	**授業テーマ：スポーツ交流　1** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
3回	**授業テーマ：スポーツ交流2** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
4回	**授業テーマ：映画　Ⅰ** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
5回	**授業テーマ：映画Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
6回	**授業テーマ：環境問題１－１** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
7回	**授業テーマ：環境問題１－２** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する

8回	**授業テーマ：環境問題２－１** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
9回	**授業テーマ：環境問題２－２** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
10回	**授業テーマ：国際交流１** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
11回	**授業テーマ：国際交流２** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
12回	**授業テーマ：インタビュー　１** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
13回	**授業テーマ：インタビュー　１－２** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
14回	**授業テーマ：通訳演習** 授業内容：前学期で学んだ技術を使って、シナリオ文案と通訳案を作成する 事前学修 2.0hr：教科書を応用して通訳文案を作成する 事後学修 2.0hr：教科書を応用して通訳文案を作成する
15回	**授業テーマ：通訳演習** 授業内容：前学期で学んだ技術を使って、シナリオ文案と通訳案を作成する 事前学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する

Interpreting Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小林　裕子（こばやし　やすこ）

▌授業の概要

通訳は【事実】と【感情】を正しく伝える技術です。この授業では英語運用能力の基礎力を前提として、
より高度な英語運用能力と日本語の語彙能力を身につけることを目的としています。
英語力と日本語語彙力を総合的に駆使して、事実と感情を正しく伝える技術を磨きます。
演習は英語→日本語への通訳が中心となります。前期に身につけた通訳の技術をさらに磨くための授業です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：グローバル社会において必要に応じて臨機応変に言語変換の仲立ちができる人材になれる
　　時事問題に関心をもち、複数言語で特定概念を説明できる能力が身につく
　　正義感と親切心をもって必要な言語変換能力を社会に提供することができる
個別目標：要約力・論理的思考が身につく
　　積極的・合理的に問題を解決する方法を多言語で提案することができるようになる
　　積極的に社会と関わり、求められる言語変換を適切に行う事ができる。

▌履修条件

忍耐強く語彙能力を高める意欲がある方
繰り返し練習に耐えられる方
忍耐心と向上心を身につけたい方

▌評価基準・方法

期末試験　60 %
授業への積極的な貢献、課題提出の内容充実度など　40 %

▌フィードバック方法

manaba で個別にフィードバック
対面で課題返却
模範解答の授業内での紹介

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内での通訳練習を行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （語彙検索などを行います）

▌教科書

コミュニケーションと通訳演習　南雲堂

▌参考書

必要に応じて紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：教科書の目次に沿って後学期に学ぶ内容を概観する。 前学期で身につけた通訳技術をオリエンテーション授業内でグループ演習する 事前学修 2.0hr：教科書の内容に目を通しておきましょう 事後学修 2.0hr：次回に向けて教科書を下読みしておく
2回	**授業テーマ：インタビュー２－１** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 日本の政治について考えてみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
3回	**授業テーマ：インタビュー２－２** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 日本の政治について考えてみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
4回	**授業テーマ：社会現象Ⅰ** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 興味ある社会現象について調べておく 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
5回	**授業テーマ：社会現象Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 興味ある社会現象について調べてみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
6回	**授業テーマ：先端技術　1** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 身近な先端技術について調べてみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する

7回	**授業テーマ：先端技術　2** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 身近な先端技術について調べてみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
8回	**授業テーマ：映像文化　1** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 映像文化の変化について考えてみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
9回	**授業テーマ：映像文化　2** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 映像文化の変化について考えてみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
10回	**授業テーマ：経済　1－1** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 企業誘致について最近の例を学んでみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
11回	**授業テーマ：経済1－2** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 企業誘致について最近の例を学んでみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
12回	**授業テーマ：経済2－1** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 自由貿易について考えてみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
13回	**授業テーマ：経済2－2** 授業内容：教科書に沿って、語彙の学修、リスニングの練習、シャドーイングの実践演習。 教科書の内容に沿って、関連内容・応用内容を通訳演習する。 自由貿易について考えてみる 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
14回	**授業テーマ：通訳演習** 授業内容：後学期で学んだ技術を使って、シナリオ文案と通訳案を作成する 事前学修 2.0hr：教科書を応用して通訳文案を作成する 事後学修 2.0hr：教科書を応用して通訳文案を作成する
15回	**授業テーマ：通訳演習** 授業内容：後学期で学んだ技術を使って、シナリオ文案と通訳案を作成する 事前学修 2.0hr：教科書を応用して通訳文案を作成する 事後学修 2.0hr：教科書を応用して通訳文案を作成する

Translation Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

篠塚　勝正（しのづか　かつまさ）

▌授業の概要

この授業は、主に英日翻訳技術向上を目指します。英日は、当然文法構造が異なるので、正確な英語の文法知識が翻訳には必須です。したがって、この授業では、時折、英文法の説明をしますので、文法があいまいな方にも良いと思います。テキストでは、比較的簡単な英日訳を主とし、皆の前で翻訳したものを声に出して発表して頂きます。テキスト以外に online news article の課題も課します。題材としては、政治経済、科学、医学など身近な話題を取り扱います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：①大学卒業後、企業で英日翻訳が困難に感じないようになる。
②読者にとって脳に負荷のかからない読みやすく、直訳でない翻訳が出来るようになる。
③ email writing の日⇒英訳の練習を行い、与えられた日本文を英文に翻訳できるようになる。
個別目標：卒業後、就職先などで翻訳依頼があった際に、困難なく日⇔英の翻訳ができるようにする。

▌履修条件

レベル設定はしませんが、課題を出せない人や、予習復習をできない人は、履修を避けて下さい。なぜならば、翻訳力が向上しないからです。また、翻訳課題で出た未知語も反復して覚えて下さい。同時に準 1 級レベルの単語テストを毎回行います。週に 50 個は覚えることを条件とします。

▌評価基準・方法

期末試験 50 %、課題 30 %、授業内における参加姿勢及び発言等 20 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価します。なお、出席を重視するので、5 分の 4 以上の出席を評価の前提とします。また、一度でも翻訳機を使って課題を出した人は、評価対象外とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学習支援システム manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （シャドーイング訓練を行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （翻訳を PC を使って行います。）

▌教科書

Kyoko Okamoto 他『English Challenger』成美堂　その他、翻訳用に online news paper などを配ります。

▌参考書

適宜、お伝えします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業内容の説明** 授業内容：シラバスをよく読んでおいてください。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおいて下さい。 事後学修 2.0hr：この授業を履修する方は、指定の翻訳範囲を予習してください。
2 回	**授業テーマ：Unit1: Literacy and Education ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳課題の再確認をして下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項・翻訳確認
3 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 1 残り** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳課題の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit1 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
4 回	**授業テーマ：Unit2:Sustainable City ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
5 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 2 残り** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit2 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
6 回	**授業テーマ：Unit 3: Friendly Robots ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
7 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 3 残り** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit3 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
8 回	**授業テーマ：Unit 4: Understanding Your personality ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
9 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit4 残り・翻訳課題発表** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit4 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の再確認
10 回	**授業テーマ：Unit 5:Amazing Hotels・文法説明・翻訳作業・翻訳発表** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業の文法事項、翻訳の確認

11回	**授業テーマ：単語テスト・Unit5 残り・翻訳課題発表** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit5 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の再確認
12回	**授業テーマ：Unit 6: Culture and Religion・文法説明・翻訳作業・翻訳発表** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業の文法事項、翻訳の確認
13回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 6 残り** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：日本文の email を英文に訳してきてください。また、指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit6 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の確認・日英翻訳の再確認
14回	**授業テーマ：Unit 7: The ideal Workplace・文法説明** 授業内容：翻訳課題を行います。 事前学修 2.0hr：日本文の email を英文に訳してきてください。同時に、指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit7 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の確認・日英翻訳の再確認
15回	**授業テーマ：今までのまとめ及び、初見の翻訳作業** 授業内容：今までの総括を行います。 事前学修 2.0hr：今まで行ったことすべての再確認（どこが弱いか、出来ないかなど） 事後学修 3.0hr：今までの総合的なまとめと復習してください。

Translation Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

篠塚　勝正（しのづか　かつまさ）

▌授業の概要

この授業は、主に英日翻訳技術向上を目指します。英日は、当然文法構造が異なるので、正確な英語の文法知識が翻訳には必須です。したがって、この授業では、時折、英文法の説明をしますので、文法があいまいな方にも良いと思います。テキストでは、比較的簡単な英日訳を主とし、皆の前で翻訳したものを声に出して発表して頂きます。テキスト以外に online news article の課題も課します。題材としては、政治経済、科学、医学など身近な話題を取り扱います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：①大学卒業後、企業で英日翻訳が困難に感じないようになる。
②読者にとって脳に負荷のかからない読みやすく、直訳でない翻訳が出来るようになる。
③ email writing の日⇒英訳の練習を行い、与えられた日本文を英文に翻訳できるようになる。
個別目標：卒業後、就職先などで翻訳依頼があった際に、困難なく日⇔英の翻訳ができるようにする。

▌履修条件

レベル設定はしませんが、課題を出せない人や、予習復習をできない人は、履修を避けて下さい。なぜならば、翻訳力が向上しないからです。また、翻訳課題で出た未知語も反復して覚えて下さい。同時に準 1 級レベルの単語テストを毎回行います。週に 50 個は覚えることを条件とします。

▌評価基準・方法

期末試験 50 %、課題 30 %、授業内における参加姿勢及び発言等 20 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価します。なお、出席を重視するので、5 分の 4 以上の出席を評価の前提とします。また、一度でも翻訳機を使って課題を出した人は、評価対象外とします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学習支援システム manaba を通じて行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （自分の力で、翻訳を積極的に行い、英語力のみならず日本語力も浸かるようにします。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （翻訳課題を素早く、Word file に入力する訓練をします。）

▌教科書

Kyoko Okamoto 他 『English Challenger』成美堂　その他、翻訳用に online news paper などを配ります。

▌参考書

適宜、お伝えします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション：授業内容の説明** 授業内容：翻訳作業の練習を行います。 事前学修 2.0hr：シラバスをよく読んでおいて下さい。 事後学修 2.0hr：この授業を履修する方は、指定の翻訳範囲を予習してください。
2 回	**授業テーマ：Unit8: Future food ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳課題の再確認をして下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項・翻訳確認
3 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 8 残り** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳課題の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit8 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
4 回	**授業テーマ：Unit9:The ideal wedding ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
5 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 9 残り** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit9 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
6 回	**授業テーマ：Unit10: how to stay young and healthy ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
7 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 10 残り** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit10 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写
8 回	**授業テーマ：Unit11 Space age ・文法説明・翻訳作業** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：指定した翻訳の再確認と指定した単語を覚えて下さい。 事後学修 2.0hr：文法事項、翻訳の確認
9 回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 11 残り・翻訳課題発表** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit11 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の再確認
10 回	**授業テーマ：Unit12 The future of medical science ・文法説明・翻訳作業・翻訳発表** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業の文法事項、翻訳の確認

11回	**授業テーマ：単語テスト・Unit12 残り・翻訳課題発表** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit12 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の再確認
12回	**授業テーマ：Unit13: Uncontacted tribes ・文法説明・翻訳作業・翻訳発表** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：online news 記事の翻訳課題と指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：授業の文法事項、翻訳の確認
13回	**授業テーマ：単語テスト・Unit 13 残り** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：日本文の email を英文に訳してきてください。また、指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit14 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の確認・日英翻訳の再確認
14回	**授業テーマ：Unit14 Future computer ・文法説明** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：日本文の email を英文に訳してきてください。同時に、指定した単語を覚えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：Unit14 の翻訳英文のシャドーイング・音読・音読筆写・文法事項、翻訳の確認・日英翻訳の再確認
15回	**授業テーマ：今までのまとめ及び、初見の翻訳作業** 授業内容：翻訳作業を行います。 事前学修 2.0hr：今まで行ったことすべての再確認（どこが弱いか、出来ないかなど） 事後学修 3.0hr：今までの総合的なまとめと復習してください。

Advanced Writing Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

This course is designed to enable students to develop advanced academic writing skills through exposure to and analysis of various works and text types and then undertaking extensive practice of the written conventions (e.g., essays) related to conducting such analysis. Critical and reflective thinking skills and multimodal literacy are emphasized throughout the course. This class will be taught ONLY in English.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：The main goal of this course is for students to become proficient and confident academic writers and to develop critical thinking skills through the mastery of essays in several genres (e.g., extended narrative, comparison-contrast, analytical). Students will be expected to actively participate inside (e.g., taking part in interactive discussions and in peer-feedback) and outside the classroom (e.g., regular visits to MLACC for writing support).

個別目標：The specific goals of the course are:

(1) to review sentence, paragraph, and essay structure and strengthen vocabulary and grammatical knowledge

(2) to learn how to analyze various literary works and text types

(3) to write well-organized essays and to demonstrate evidence of critical and reflective thinking.

▌履修条件

It is highly recommended that students have passed Writing I-a/b and Writing II-a/b before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Active participation (discussion, peer feedback, in-class writing) 40%; process-based writing portfolio including drafts, revisions, and reflection 60%.

▌フィードバック方法

On-going feedback will be given by the instructor face-to-face and via manaba. Students will receive one-on-one consultations with oral and written feedback. Assessment checklists and rubrics will guide student performance and serve as feedback for improvement.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Essays and research writing. AI tools may support brainstorming or language checking but not generate original text.）

▌教科書

Keith S. Folse &Tison Pugh (2020), National Geographic Learning Great Writing Series 5: From Great Essays to Research (Fifth) Edition. National Geographic Learning.

▌参考書

Supplementary materials will be provided by the instructor. Students are encouraged to use outside resources such as electronic/paper dictionaries, grammar checkers, thesauruses, etc.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students learn about the syllabus and course schedule. Students engage in writing activities designed to create a self-introduction. 事前学修 2.0hr：Preview Unit Course Syllabus 事後学修 2.0hr：Complete self-introduction; Preview first unit
2回	**授業テーマ：Unit 1: Reviewing the Essay** 授業内容：Students read and analyze an example essay to identify the parts of a cohesive five paragraph essay. Students complete textbook exercise and practice writing hooks. 事前学修 2.0hr：Preview unit 1 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
3回	**授業テーマ：Thesis Statement and Controlling Idea** 授業内容：Students review the purpose of a thesis and controlling idea in an essay. Students study examples and write their own. Students study the development of the body paragraphs. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
4回	**授業テーマ：The Conclusion** 授業内容：By examining example essays, students study effective conclusions as well as all parts of the essay. Students complete textbook exercises, including building better vocabulary and sentences. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Review unit and complete assigned textbook work
5回	**授業テーマ：Narrative Essay** 授業内容：Students choose one of the narrative essays and write a first draft. Students should follow the strategies suggested in the unit to write an engaging essay on their topic choice. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 3.0hr：Write First Draft Narrative Essay
6回	**授業テーマ：Unit 2: The Writing Process** 授業内容：Students read about the steps in the writing process and how to choose a topic. Students brainstorm a topic with a partner. Students outline the topic. 事前学修 2.0hr：Preview unit 2 事後学修 2.0hr：Complete topic outline
7回	**授業テーマ：Proofreading** 授業内容：Students review the importance of proofreading drafts. Students complete textbook exercises. Students learn about cutting unnecessary information. Students continue to build vocabulary. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work

8回	**授業テーマ：Opinion Essay (1)** 授業内容：Students choose a topic and outline their idea. Students begin writing a five-paragraph opinion essay. Each paragraph should have a topic sentence and supporting details. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Write Opinion Essay
9回	**授業テーマ：Opinion Essay (2)** 授業内容：Student continue to develop their opinion essay. Students exchange drafts of their essays with a partner and give feedback. Students should revise their first draft. 事前学修 2.0hr：Review essay 事後学修 3.0hr：Complete First Draft Opinion Essay
10回	**授業テーマ：Unit 3: Using Original Sources** 授業内容：Students will learn how to recognize kinds of information. Students will practice using direct quotations and paraphrasing by completing exercises in the textbook. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
11回	**授業テーマ：Methods of Citing Sources** 授業内容：Students will learn and practice about in-text citations. Students will be introduced to MLA and APA formats. Students will practice summarizing and synthesis through textbook activities. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Complete assigned textbook work
12回	**授業テーマ：Research Essay (1)** 授業内容：Students begin researching a topic, creating an outline, and writing a five-paragraph essay that must include at least three in-text citations and references. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 2.0hr：Write Research Essay
13回	**授業テーマ：Research Essay (2)** 授業内容：Student continue to develop their research essay. Students exchange drafts of their essays with a partner and give feedback. Students should revise their first draft. 事前学修 2.0hr：Preview assigned material 事後学修 4.0hr：Complete First Draft Research Essay
14回	**授業テーマ：Writing Portfolio Workshop 1** 授業内容：Students should have received feedback from both the instructor and their classmates. Students should revise their first draft, incorporating suggested changes in order to improve their essay. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop 事後学修 2.0hr：Complete final revisions
15回	**授業テーマ：Writing Portfolio Workshop 2** 授業内容：Students continue to revise their first draft, incorporating suggested changes in order to improve their essay. They should proofread and check that all parts of the essay are complete. 事前学修 2.0hr：Finalize your writing portfolio 事後学修 2.0hr：Reflection on your performance

Advanced Writing Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

This course is an advanced academic writing course, designed to help students improve their English academic writing ability, with the ultimate goal of producing essays and research papers. The second half of the course will review the topics covered in Advanced Writing Skills a, and continue with different types of essays, such as comparison essays and argumentative essays. In addition, we will review organization, sentence structure, and grammar, as well as discuss the writing process and teach necessary research &documentation skills.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：The goal of this course is for students to improve their academic writing skills, with the main goal of writing essays (e.g., comparison essays, argumentative essays) in their own areas of interest. Students will participate in an interactive manner in all class activities (e.g., discussions, practice exercises), integrating all four English proficiency skills.

個別目標：The specific goals of the course are: 1. to review the basics of paragraph &essay writing
2. to review grammatical points which are important in writing (e.g., adjective/adverb clauses）
3. to learn how to write a well-organized essay (e.g., comparison/contrast essay)
4. to learn how to write a research paper with solid referencing/documentation skills
5. to become familiar with the writing process (i.e., prewriting -> writing -> revising)

▌履修条件

Students will be expected to actively participate in all activities. Students must attend the first class to be included in the class. Students should also have passed Writing I-a/I-b, as well as Writing II-a/II-b.

▌評価基準・方法

Active Participation (interactive discussions, in-class writing tasks, peer feedback): 40%
Process-Based Writing Portfolio: 60%

▌フィードバック方法

On-going feedback will be given by the instructor face-to-face and via manaba. Students will receive one-on-one consultations with oral and written feedback. Assessment checklists and rubrics will guide student performance and serve as feedback for improvement.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Collaborative writing, peer evaluations &feedback）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Essays and research writing; AI may support brainstorming or language checks only.）

▌教科書

Alice Oshima &Alice Hogue (2020), Longman Academic Writing Series 4: Essays (Fifth edition). New York: Pearson.

▌参考書

Supplementary materials will be passed out in class. Students should bring a paper/electronic dictionary (J/E, E/J, E/E).

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation &Eiken Writing Workshop I** 授業内容：Course syllabus &tips for Eiken Essay Writing (e.g., organization, transition signals, using prompts); Writing Activity: Eiken Essay Writing 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Write an Eiken essay
2回	**授業テーマ：Chapter 7: Comparison/Contrast essay I** 授業内容：Lecture on Comparison/Contrast Essays Part I (Ch. 7): e.g., organization (point-by-point; block organization); Writing Activity: Comparison/Contrast Essays Part I worksheet 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment
3回	**授業テーマ：Chapter 7: Comparison/Contrast essay II** 授業内容：Lecture on Comparison/Contrast Essays Part II (Ch. 7): e.g., compare and contrast signal words; Writing Activity: Comparison/Contrast Essay (for Portfolio I) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Write comparison/contrast essay
4回	**授業テーマ：Chapter 12: Adjective clauses** 授業内容：Lecture on Adjective Clauses (Ch. 12): relative pronouns and adverbs; restricitve and nonrestrictive adjective clauses, types of adjective clauses; Writing Activity: Adjective Clause Worksheet 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment
5回	**授業テーマ：Chapter 8: Argumentative essay I** 授業内容：Lecture on Argumentative Essays Part I (Ch. 8): e.g., the elements of an argumentative essay, the introductory paragraph; Writing Activity: Argumentative Essay Part I worksheet 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment
6回	**授業テーマ：Chapter 8: Argumentative essay II** 授業内容：Lecture on Argumentative Essays Part II (Ch. 8): e.g., statistics as support, analyzing the model; Writing Activity: Argumentative Essay (for Portfolio II) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Write an argumentative essay
7回	**授業テーマ：Chapter 13: Adverb clauses** 授業内容：Lecture on Adverb Clauses (Ch. 13): that clauses/if/whether clauses; question clauses; Writing Activity: Adverb Clause worksheet 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment

8回	**授業テーマ：Writing a mini research paper I** 授業内容：Lecture: Writing a Research Paper I: e.g., analyzing the model, organization (e.g., source-by-source; point-by-point); Research paper worksheet I 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Find a topic; brainstorm
9回	**授業テーマ：Writing a mini research paper II** 授業内容：Lecture: Writing a Research Paper II: e.g., analyzing the model, sequence of tenses; Writing Activity: Research Paper worksheet II 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Start writing your mini research paper
10回	**授業テーマ：Writing a mini research paper III** 授業内容：Lecture: Writing a research paper III: e.g., narrowing your topic, developing an effective thesis statement, writing references (APA/MLA); Writing Activity: Research paper (for Portfolio III) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Write your mini research paper
11回	**授業テーマ：Writing a mini research paper IV** 授業内容：Work on gathering information &writing research paper in class; receive immediate feedback. Be ready to submit next week. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Revise your mini research paper
12回	**授業テーマ：Chapter 14: Participial phrases** 授業内容：Lecture on Participles and participial Phrases (Ch. 14): e.g., kinds of participles, participial phrases (e.g., reduced adjective clauses; present/past/perfect form participial phrases. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignments
13回	**授業テーマ：Mini Research Writing Workshop** 授業内容：Students refine research topics, thesis statements, and outlines. In-class writing and instructor feedback will support the development of the mini research paper. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Complete revisions to mini-research paper
14回	**授業テーマ：Writing Portfolio Workshop I** 授業内容：Rewrite your Comparison/Contrast essay (Portfolio I)and your Argumentative Essay (Portfolio II) based on the feedback received in class. Revise and rewrite to put in your portfolio. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop I 事後学修 2.0hr：Work on writing portfolio; Submit revised drafts
15回	**授業テーマ：Writing Portfolio Workshop II** 授業内容：Complete final edits your Research paper (Portfolio III) based on the feedback received in class. Revise and rewrite to put in your portfolio. 事前学修 2.0hr：Prepare for Writing Portfolio Workshop II 事後学修 2.0hr：Work on writing portfolios 1-III; Submit revised drafts

Advanced Reading Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

梶浦　恭平（かじうら　きょうへい）

▌授業の概要

この授業では、有名なポップソングを題材に総合的に英語が学べるように作られた教科書を用いてリーディングを行います。歌詞の内容を理解するだけでなく、歌が作られた背景や歴史など文化的な側面についても理解を深め、様々なテーマについて自分でさらに調べたり考えたりすることを目標とします。

朗読音声を聞き、それと同じスピードで音読する練習をします。さらに英文を読みこなすために必要な基本的な語彙の習得と文法事項の復習を行い、大学生にふさわしい全般的な英語運用能力を養成し、強化することを狙いとしています。教科書以外に TOEIC の問題などを用いて読解力を養成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：様々な分野の英語の文章を読みこなすための基礎力を養成し、ある程度のスピードで文章を読んで理解し、また自然なスピードで音読できるようになる。
歌の歌詞を理解し、歌を通して様々な歴史的文化的な話題に興味を持ち、理解を深める。

個別目標：① 英文を意味のまとまりごとに読めるようになる
② 自然なスピードで音読できるようになる。
③ 興味を持ったトピックに関してさらに調べて考えをまとめることができるようになる。

▌履修条件

(1) 読解力を向上させたいという気持ちがあり、積極的に授業に参加すること。
(2) 英語の歌を聞いたり歌ったりするのが好きなこと。

▌評価基準・方法

授業の参加状況・提出課題（70 %）、期末レポート（30 %）の結果に基づいて、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題の提出及びフィードバックは google form を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『ソングス＆カルチャー　ポップソングで学ぶ初級英語』Enjoying English through Pop Songs
関戸冬彦、小林愛明、山中章子、吉田要 2017 朝日出版社

▌参考書

授業の際、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の進め方についての説明** 授業内容：読解力をつける上で必要なことを確認する 事前学修 2.0hr：テキストを用意して、学習の準備をする。 事後学修 2.0hr：配布資料を復習して、読解力をつけるために何が必要かを考える。
2回	**授業テーマ：Unit 1 Stand by Me (1)** 授業内容：Stand by Me を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント関係代名詞について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
3回	**授業テーマ：Unit 1 Stand by Me (2)** 授業内容：Stand by Me に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
4回	**授業テーマ：Unit 2 Jailhouse Rock (1)** 授業内容：Jailhouse Rock を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント命令文について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
5回	**授業テーマ：Unit 2 Jailhouse Rock (2)** 授業内容：Jailhouse Rock に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
6回	**授業テーマ：Unit 3 Blowin' in the Wind (1)** 授業内容：Blowin' in the Wind を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント進行形について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
7回	**授業テーマ：Unit 3 Blowin' in the Wind (2)** 授業内容：Blowin' in the Wind に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
8回	**授業テーマ：Unit 4 Puff, the Magic Dragon (1)** 授業内容：Puff, the Magic Dragon を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント助動詞 would について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
9回	**授業テーマ：Unit 4 Puff, the Magic Dragon (2)** 授業内容：Puff, the Magic Dragon に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。

10回	**授業テーマ：Unit 5 I've Gotta Get a Message to You (1)** 授業内容：I've Gotta Get a Message to You を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント強調構文について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
11回	**授業テーマ：Unit 5 I've Gotta Get a Message to You (2)** 授業内容：I've Gotta Get a Message to You に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
12回	**授業テーマ：Unit 6 Bridge Over Troubled Water (1)** 授業内容：Bridge Over Troubled Water を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント現在完了について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
13回	**授業テーマ：Unit 6 Bridge Over Troubled Water (2)** 授業内容：Bridge Over Troubled Water に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
14回	**授業テーマ：Unit 7 Take Me Home, Country Roads (1)** 授業内容：Take Me Home, Country Roads を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント仮定法について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
15回	**授業テーマ：Unit 7 Take Me Home, Country Roads (2)** 授業内容：Take Me Home, Country Roads に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。

Advanced Reading Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

梶浦　恭平（かじうら　きょうへい）

▌授業の概要

この授業では、有名なポップソングを題材に総合的に英語が学べるように作られた教科書を用いてリーディングを行います。歌詞の内容を理解するだけでなく、歌が作られた背景や歴史など文化的な側面についても理解を深め、様々なテーマについて自分でさらに調べたり考えたりすることを目標とします。

朗読音声を聞き、それと同じスピードで音読する練習をします。さらに英文を読みこなすために必要な基本的な語彙の習得と文法事項の復習を行い、大学生にふさわしい全般的な英語運用能力を養成し、強化することを狙いとしています。教科書以外に TOEIC の問題などを用いて読解力を養成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：様々な分野の英語の文章を読みこなすための基礎力を養成し、ある程度のスピードで文章を読んで理解し、また自然なスピードで音読できるようになる。
歌の歌詞を理解し、歌を通して様々な歴史的文化的な話題に興味を持ち、理解を深める。

個別目標：① 英文を意味のまとまりごとに読めるようになる
② 自然なスピードで音読できるようになる。
③ 興味を持ったトピックに関してさらに調べて考えをまとめることができるようになる。

▌履修条件

(1) 読解力を向上させたいという気持ちがあり、積極的に授業に参加すること。
(2) 英語の歌を聞いたり歌ったりするのが好きなこと。

▌評価基準・方法

授業の参加状況・提出課題（70 %）、期末レポート（30 %）の結果に基づいて、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題の提出及びフィードバックは google form を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『ソングス＆カルチャー　ポップソングで学ぶ初級英語』Enjoying English through Pop Songs
関戸冬彦、小林愛明、山中章子、吉田要 2017 朝日出版社

▌参考書

授業の際、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：授業の進め方についての説明** 授業内容：読解力をつける上で必要なことを確認する。 事前学修 2.0hr：テキストを用意して、学習の準備をする。 事後学修 2.0hr：配布資料を復習して、読解力をつけるために何が必要かを考える。
2 回	**授業テーマ：Unit 8 Imagine (1)** 授業内容：Imagine を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント wonder if について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
3 回	**授業テーマ：Unit 8 Imagine (2)** 授業内容：Imagine に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
4 回	**授業テーマ：Unit 9 I Need to Be in Love (1)** 授業内容：I Need to Be in Love を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント助動詞の過去形について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
5 回	**授業テーマ：Unit 9 I Need to Be in Love (2)** 授業内容：I Need to Be in Love に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
6 回	**授業テーマ：Unit 10 Honesty (1)** 授業内容：Honesty を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント不定詞の形容詞的用法について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
7 回	**授業テーマ：Unit 10 Honesty (2)** 授業内容：Honesty に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
8 回	**授業テーマ：Unit 11 Hotel California (1)** 授業内容：Hotel California を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント受動態について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
9 回	**授業テーマ：Unit 11 Hotel California (2)** 授業内容：Hotel California に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。

10回	**授業テーマ：Unit 12 I Just Called to Say I Love You (1)** 授業内容：I Just Called to Say I Love You を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント不定詞の副詞的用法について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
11回	**授業テーマ：Unit 12 I Just Called to Say I Love You (2)** 授業内容：I Just Called to Say I Love You に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
12回	**授業テーマ：Unit 13 Pride (In the Name of Love) (1)** 授業内容：Pride (In the Name of Love) を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント動詞句について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
13回	**授業テーマ：Unit 13 Pride (In the Name of Love) (2)** 授業内容：Pride (In the Name of Love) に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
14回	**授業テーマ：Unit 14 Like a Virgin (1)** 授業内容：Like a Virgin を聴いて、歌詞を理解し、音読する。文法ポイント文型について。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。
15回	**授業テーマ：Unit 14 Like a Virgin (2)** 授業内容：Like a Virgin に関連する文章のリーディングと会話のリスニング、音読。TOEIC の問題演習。 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を予習する。 事後学修 2.0hr：授業で扱ったことを意識しながら復習・音読練習をする。

Advanced Reading Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

This course focuses on the close reading of short fiction in English. Students read selected stories mainly in class to allow time for careful interpretation and discussion. Through guided reading, reflection, and collaborative activities, students develop confidence and enjoyment in reading English literature. This course is taught in English.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：The goal of this course is to develop students' ability to read and interpret short literary texts in English. Students will build confidence in understanding characters and themes and in expressing their ideas through discussion and reflection.

個別目標：By course end, students will be able to:

(1) identify key elements of short fiction, including character, setting, and theme
(2) make simple inferences based on textual evidence
(3) discuss literary texts in English using appropriate vocabulary
(4) express personal responses to reading through short written reflections
(5) participate actively in collaborative reading and performance activities

▌履修条件

Students should have completed lower-level reading and English skills courses (Reading I, Reading II, and Reading III) and be prepared to read and discuss texts in English.

▌評価基準・方法

Assessment is based on the following components: active participation and coursework (30%), reflective assignments and literary notebook (20%), graded reader book report (20%), and a final collaborative Reader's Theater project (30%).

▌フィードバック方法

Feedback is provided through in-class discussion, comments on reflective assignments, and guidance during collaborative activities. Students receive ongoing feedback face-to-face and via manaba on comprehension, participation, and expression throughout the course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Collaborative pair and group work in every lesson）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Discovering Fiction 1, 2nd edition, by J. Kay. &R. Gelshenen, Cambridge.

▌参考書

Additional materials will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction and Library Visit** 授業内容：Students will be introduced to the course syllabus. Students will visit the library to pick out a graded reader and learn about the final book report project. 事前学修 2.0hr：Preview the course book and read the syllabus 事後学修 2.0hr：Complete Reading Reflection Habits
2回	**授業テーマ：”Eleven” I (Identity and Voice)** 授業内容：Student will begin reading the short story, ”Eleven” by Sandra Cisneros. Guided in class reading will focus on narrative voice and perspective. Students discuss and complete in-class work. 事前学修 2.0hr：Preview story and vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete reflection focusing on voice and perspective
3回	**授業テーマ：”Eleven” II** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will read to interpret feelings, tone, and discuss key moments. 事前学修 2.0hr：Review key scenes 事後学修 2.0hr：Complete reflection focusing on character
4回	**授業テーマ：”Eleven” III** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will discuss theme and personal interpretation using textual evidence. 事前学修 2.0hr：Review notes and quotes 事後学修 2.0hr：Complete reflection focusing on theme
5回	**授業テーマ：”Two Thanksgiving Day Gentlemen” I (Irony and Interpretation)** 授業内容：Student will begin reading the short story, ”Two Thanksgiving Day Gentlemen” by O'Henry. Guided in class reading will focus on setting, situation, and plot development. Students discuss and complete in-class work. 事前学修 2.0hr：Preview story and vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete reflection on first impressions
6回	**授業テーマ：”Two Thanksgiving Day Gentlemen” II** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will read to interpret character motives and discuss the role of irony in the story. 事前学修 2.0hr：Review story events 事後学修 2.0hr：Complete reflection on irony message
7回	**授業テーマ：”Two Thanksgiving Day Gentlemen” III** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will discuss theme, author's purpose, and multiple viewpoints. 事前学修 2.0hr：Review key passages 事後学修 2.0hr：Complete summary reflection
8回	**授業テーマ：”The Fun They Had” I (Perspective and Society)** 授業内容：Student will begin reading the short story, ”The Fun They Had” by Isaac Asimov. Guided in class reading will focus on world-building and comprehension of details. Students discuss and complete in-class work. 事前学修 2.0hr：Preview the story and vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete reflection on setting and story differences

9回	**授業テーマ：”The Fun They Had” II** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will read to infer meaning and interpret characters’ attitudes. 事前学修 2.0hr：Review key scenes 事後学修 2.0hr：Complete reflection on story inferences
10回	**授業テーマ：”The Fun They Had” III** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will discuss theme and connections to education and society. 事前学修 2.0hr：Review notes and quotes 事後学修 2.0hr：Complete reflection on theme
11回	**授業テーマ：Reader’s Theater Project I-Introduction** 授業内容：Students are introduced to the Reader’s Theater Project. The script is reviewed and roles are assigned. 事前学修 2.0hr：Preview the Reader’s Theater Project 事後学修 2.0hr：Prepare assigned role
12回	**授業テーマ：Reader’s Theater Project II-Practice** 授業内容：Students rehearse the script in pairs, small groups and as a whole class. Students work on intonation and pronunciation, receiving peer and instructor feedback. 事前学修 2.0hr：Review assigned role 事後学修 2.0hr：Practice assigned role including intonation and pronunciation
13回	**授業テーマ：Reader’s Theater Project III-Presentation** 授業内容：Students review their parts in pairs or small group and then do a final rehearsal as a whole class. Students present their performance. 事前学修 2.0hr：Review intonation, pronunciation and voice 事後学修 2.0hr：Complete performance reflection
14回	**授業テーマ：Graded Reader Sharing** 授業内容：Students share their progress of their independent reading and select the book report style. 事前学修 2.0hr：Review graded reader text 事後学修 2.0hr：Prepare book report assignment for presentation
15回	**授業テーマ：Book Report Presentations and Course Reflection** 授業内容：Students present their graded reader in pairs or small groups through a flexible book report style. Students complete an end-of-course reflection. 事前学修 2.0hr：Review and finalize book report 事後学修 2.0hr：Complete final reflection survey

Advanced Reading Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

This course focuses on the close reading and interpretation of short fiction in English. Students read selected stories mainly in class to explore characters, themes, and authorial choices through discussion. Emphasis is placed on interpreting meaning, considering multiple perspectives, and expressing ideas clearly.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：The goal of this course is to develop students' ability to interpret short literary texts in English. Students will deepen their understanding of themes, perspectives, and authorial intent while expressing and refining their interpretations through discussion and reflection.

個別目標：By course end, students will be able to:

(1) analyze key elements (character, setting, and theme)
(2) interpret meaning and nuance based on textual evidence
(3) discuss literary texts in English
(4) compare and refine interpretations through discussion and reflection
(5) participate actively in collaborative reading and performance activities

▌履修条件

Students should have completed lower-level reading and English skills courses (Reading I, Reading II, and Reading III) and be prepared to read and discuss texts in English.

▌評価基準・方法

Assessment is based on the following components: active participation and coursework (30%), reflective assignments and literary notebook (20%), graded reader book report (20%), and a final collaborative Reader's Theater project (30%).

▌フィードバック方法

Feedback is provided through in-class discussion, comments on reflective assignments, and guidance during collaborative activities. Students receive ongoing feedback face-to-face and via manaba on comprehension, participation, and expression throughout the course.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Collaborative pair and group work in every lesson）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Discovering Fiction 1, 2nd edition, by J. Kay. &R. Gelshenen, Cambridge.

▌参考書

Additional materials will be provided by the instructor.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction and Library Visit** 授業内容：Students will be introduced to the course syllabus. Students will visit the library to pick out a graded reader and learn about the final book report project. 事前学修 2.0hr：Preview the course book and read the syllabus 事後学修 2.0hr：Complete Reading Reflection Habits
2回	**授業テーマ：”The Blanket” I (Subtle emotion and Inference)** 授業内容：Student will begin reading the short story, ”The Blanket” by Floyd Dell. Guided in-class reading focusing on narrative context and relationships. Students discuss and complete in-class work. 事前学修 2.0hr：Preview story and vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete reflection focusing on narrative context
3回	**授業テーマ：”The Blanket” II** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will read to characters' emotions and unspoken tensions. 事前学修 2.0hr：Review key scenes 事後学修 2.0hr：Complete reflection focusing on character
4回	**授業テーマ：”The Blanket” III** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will discuss theme and interpretation based on textual evidence. 事前学修 2.0hr：Review notes and quotes 事後学修 2.0hr：Complete reflection focusing on theme
5回	**授業テーマ：”The Mirror” I (Symbolism and Ambiguity)** 授業内容：Student will begin reading the short story, ”The Mirror” by Judith Kay. Guided reading focusing on symbolic elements and story structure. Students discuss and complete in-class work. 事前学修 2.0hr：Preview story and vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete reflection on first impressions
6回	**授業テーマ：”The Mirror” II** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will read to interpret meaning through discussion of imagery and perspective. 事前学修 2.0hr：Review story events 事後学修 2.0hr：Complete reflection on use of imagery
7回	**授業テーマ：”The Mirror” III** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will synthesize interpretations and discuss of possible meanings. 事前学修 2.0hr：Review key passages 事後学修 2.0hr：Complete summary reflection
8回	**授業テーマ：”The Tigress and Her Mate” I (Satire and Authorial stance)** 授業内容：Student will begin reading the short story, ”The Tigress and Her Mate” by James Thurber. Guided reading focusing on tone, characterization, and context. Students discuss and complete in-class work. 事前学修 2.0hr：Preview the story and vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete reflection on character

9回	**授業テーマ：”The Tigress and Her Mate” II** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will read to interpret irony and authorial intent. 事前学修 2.0hr：Review key scenes 事後学修 2.0hr：Complete reflection on the use of irony and author voice
10回	**授業テーマ：”The Tigress and Her Mate” III** 授業内容：Students will continue with the short story. Students will discuss theme, satire, and social commentary. 事前学修 2.0hr：Review notes and quotes 事後学修 2.0hr：Complete reflection on satire and social commentary
11回	**授業テーマ：Reader’s Theater Project I-Introduction** 授業内容：Students are introduced to the Reader’s Theater Project. The script is reviewed and roles are assigned. 事前学修 2.0hr：Preview the Reader’s Theater Project 事後学修 2.0hr：Prepare assigned role
12回	**授業テーマ：Reader’s Theater Project II-Practice** 授業内容：Students rehearse the script in pairs, small groups and as a whole class. Students work on intonation and pronunciation, receiving peer and instructor feedback. 事前学修 2.0hr：Review assigned role 事後学修 2.0hr：Practice assigned role including intonation and pronunciation
13回	**授業テーマ：Reader’s Theater Project III-Presentation** 授業内容：Students review their parts in pairs or small group and then do a final rehearsal as a whole class. Students present their performance. 事前学修 2.0hr：Review intonation, pronunciation and voice 事後学修 2.0hr：Complete performance reflection
14回	**授業テーマ：Graded Reader Sharing** 授業内容：Students share their progress of their independent reading and select the book report style. 事前学修 2.0hr：Review graded reader text 事後学修 2.0hr：Prepare book report assignment for presentation
15回	**授業テーマ：Book Report Presentations and Course Reflection** 授業内容：Students present their graded reader in pairs or small groups through a flexible book report style. Students complete an end-of-course reflection. 事前学修 2.0hr：Review and finalize book report 事後学修 2.0hr：Complete final reflection survey

Advanced Listening Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

梶浦　恭平 (かじうら　きょうへい)

▌授業の概要

この授業では、ハリウッド映画を題材にしたビデオ教材を用いてリスニング力の向上を目指します。映画を紹介する映像を繰り返し見て、自然なスピードの英語に慣れ、語彙や重要表現を学びます。授業で紹介した映画を自分で見てみると、字幕なしでもかなり聴き取れるようになっていると思います。受講者のレベルに応じて、教科書以外にニュースや歌など様々な題材を用いて、リスニングを行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：自然なスピードの英語に慣れ、字幕に頼らずにある程度洋画を理解できるリスニング力をつける。
個別目標：① 語彙を増やし、自然なスピードの会話でキーワードが聞き取れるようになる。
② 様々な英語に触れ、リスニングの基礎を固める。

▌履修条件

(1) リスニング力を向上させたいという気持ちがあり、積極的に授業に参加すること。
(2) 映画を見るのが好きなこと。

▌評価基準・方法

授業の参加状況・提出課題(70 %)、期末レポート(30 %)の結果に基づいて、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題の提出及びフィードバックは google form を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

John S. Lander. Hollywood English - Movie Reviews from VOA- . 2014. Asahi Press.

▌参考書

授業の際、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の進め方の説明とイントロダクション** 授業内容：リスニング力をつける上で必要なことを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書を入手して内容を一通り見ておく。 事後学修 2.0hr：リスニング力をどのように高めていくかについて計画を立てる。
2回	**授業テーマ：Unit1 Cloud Atlas (1)** 授業内容：Cloud Atlas の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit1 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
3回	**授業テーマ：Unit1 Cloud Atlas (2)** 授業内容：Cloud Atlas の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit1 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
4回	**授業テーマ：Unit2 The Dark Knight Rises (1)** 授業内容：The Dark Knight Rises の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit2 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
5回	**授業テーマ：Unit2 The Dark Knight Rises (2)** 授業内容：The Dark Knight Rises の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit2 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
6回	**授業テーマ：Unit3 Another Earth (1)** 授業内容：Another Earth の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit3 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
7回	**授業テーマ：Unit3 Another Earth (2)** 授業内容：Another Earth の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit3 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
8回	**授業テーマ：Unit4 The Amazing Spider-Man (1)** 授業内容：The Amazing Spider-Man の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit4 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
9回	**授業テーマ：Unit4 The Amazing Spider-Man (2)** 授業内容：The Amazing Spider-Man の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit4 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
10回	**授業テーマ：Unit5 Harry Potter and the Deathly Hallows: Part 2 (1)** 授業内容：Harry Potter and the Deathly Hallows の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit5 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。

11回	**授業テーマ：Unit5 Harry Potter and the Deathly Hallows: Part 2 (2)** 授業内容：Harry Potter and the Deathly Hallows の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit5 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
12回	**授業テーマ：Unit6 The Social Network (1)** 授業内容：The Social Network の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit6 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
13回	**授業テーマ：Unit6 The Social Network (2)** 授業内容：The Social Network の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit6 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
14回	**授業テーマ：Unit7 Skyfall (1)** 授業内容：Skyfall の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit7 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
15回	**授業テーマ：Unit7 Skyfall (2)** 授業内容：Skyfall の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit7 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。

Advanced Listening Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

梶浦　恭平 (かじうら　きょうへい)

▌授業の概要

この授業では、ハリウッド映画を題材にしたビデオ教材を用いてリスニング力の向上を目指します。映画を紹介する映像を繰り返し見て、自然なスピードの英語に慣れ、語彙や重要表現を学びます。授業で紹介した映画を自分で見てみると、字幕なしでもかなり聴き取れるようになっていると思います。受講者のレベルに応じて、教科書以外にニュースや歌など様々な題材を用いて、リスニングを行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：自然なスピードの英語に慣れ、字幕に頼らずにある程度洋画を理解できるリスニング力をつける。
個別目標：① 語彙を増やし、自然なスピードの会話でキーワードが聞き取れるようになる。
② 様々な英語に触れ、リスニングの基礎を固める。

▌履修条件

(1) リスニング力を向上させたいという気持ちがあり、積極的に授業に参加すること。
(2) 映画を見るのが好きなこと。

▌評価基準・方法

授業の参加状況・提出課題(70 %)、期末レポート(30 %)の結果に基づいて、総合的に評価する。

▌フィードバック方法

毎回の課題の提出及びフィードバックは google form を用いて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

John S. Lander. Hollywood English - Movie Reviews from VOA- . 2014. Asahi Press.

▌参考書

授業の際、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の進め方の説明とイントロダクション** 授業内容：リスニング力をつける上で必要なことを確認する。 事前学修 2.0hr：教科書を入手して内容を一通り見ておく。 事後学修 2.0hr：リスニング力をどのように高めていくかについて計画を立てる。
2回	**授業テーマ：Unit8 Lincoln (1)** 授業内容：Lincoln の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit8 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
3回	**授業テーマ：Unit1 Lincoln (2)** 授業内容：Lincoln の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit8 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
4回	**授業テーマ：Unit9 Ruby Sparks (1)** 授業内容：Ruby Sparks の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit9 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
5回	**授業テーマ：Unit9 Ruby Sparks (2)** 授業内容：Ruby Sparks の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit9 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
6回	**授業テーマ：Unit10 The Hobbit: An Unexpected Journey (1)** 授業内容：The Hobbit: An Unexpected Journey の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit10 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
7回	**授業テーマ：Unit3 The Hobbit: An Unexpected Journey (2)** 授業内容：The Hobbit: An Unexpected Journey の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit10 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
8回	**授業テーマ：Unit11 Argo (1)** 授業内容：Argo の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit11 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
9回	**授業テーマ：Unit11 Argo (2)** 授業内容：Argo の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit11 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
10回	**授業テーマ：Unit12 The Tree of Life (1)** 授業内容：The Tree of Life の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit12 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
11回	**授業テーマ：Unit12 The Tree of Life (2)** 授業内容：The Tree of Life の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit12 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。

12回	**授業テーマ：Unit13 J. Edgar (1)** 授業内容：J. Edgar の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit13 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
13回	**授業テーマ：Unit13 J.Edgar (2)** 授業内容：J. Edgar の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit13 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。
14回	**授業テーマ：Unit14 Super8 (1)** 授業内容：Super8 の映像を見て、あらすじを読んで理解し、音読する。重要語彙を理解し、使い方を学習する。 事前学修 2.0hr：Unit14 の Movie summary と vocabulary を読んでわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、教科書を見ずに聞き取れるようになるまで繰り返し音声を聞く。
15回	**授業テーマ：Unit14 Super8 (2)** 授業内容：Super8 の映像を繰り返し見て、内容確認の問題に解答し、解説する。会話の音声を聞いて、書き取りをし、発音練習をする。 事前学修 2.0hr：Unit14 の後半部分を予習してわからない単語を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、内容が理解できるようになるまで繰り返し video を見る。

Advanced Listening Skills a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

A compulsory elective first-semester course in the third and fourth year. Building on the skills learned in Listening I-a/b and II-a/b, Advanced Listening Skills a requires students to listen to and comprehend a variety of authentic listening materials. Furthermore, students will be expected to use critical thinking skills and strategies to deepen their understanding of the course content. This course will be taught entirely in English and students will be required to actively participate.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills; however, vocabulary acquisition and critical thinking will be particularly emphasized. Through active participation and independent study, students will draw on the lessons learned and apply them to targeted listening tasks.

個別目標：By the end of the first semester, students will be able to listen to and comprehend a variety of current topics with greater confidence through the application of listening strategies. In addition, students will demonstrate critical thinking by interpreting spoken texts, making inferences, and evaluating how ideas are framed across authentic listening materials.

▌履修条件

It is recommended that students take Listening I-a/b and Listening II-a/b before undertaking this course. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation (30%), coursework (20%), mid-term project (20%) and final project (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback occurs face-to-face or via manaba in each lesson and coursework is evaluated to check students' understanding of main ideas, inference, interpretation of speaker intent, and listening for details. A mid-term project and final project will further demonstrate students' listening and other integrated skills.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Yamaoka, T., Roman, R. &Toyoshima, C. (2024). CNN News English: Engaging College Students as Active Learners. Asahi Press.

▌参考書

Supplementary materials will be provided by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students will go over the course syllabus and course content. Introductory activities will take place to build the class atmosphere and establish expectations. 事前学修 2.0hr：Preview the course textbook and look over the manaba information 事後学修 2.0hr：Complete the assigned work.
2回	**授業テーマ：Unit 1** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
3回	**授業テーマ：Unit 2** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic with a focus on identifying speaker stance and key arguments. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
4回	**授業テーマ：Unit 3** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
5回	**授業テーマ：Unit 4** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic with an emphasis on inference and implied meaning. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
6回	**授業テーマ：Mid-term Project (1)** 授業内容：Students work individually to complete a mid-term listening project that focuses on interpreting extended authentic audiovisual material. Students will be introduced to the project and begin guided viewing and listening tasks. 事前学修 2.0hr：Preview mid-term project 事後学修 3.0hr：Complete assigned work
7回	**授業テーマ：Mid-term Project (2)** 授業内容：Students continue guided viewing and listening tasks and complete the mid-term project worksheet, demonstrating their ability to interpret spoken language in context. 事前学修 2.0hr：Review project preparations 事後学修 2.0hr：Complete project reflection

8回	**授業テーマ：Unit 5** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
9回	**授業テーマ：Unit 6** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
10回	**授業テーマ：Unit 7** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic with attention to bias, framing, and perspective. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
11回	**授業テーマ：Unit 8** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
12回	**授業テーマ：Final Project Introduction** 授業内容：Students work individually or in small groups to complete a final listening project that will require students to interpret and synthesize ideas from authentic listening materials.Students will be introduced to the project and begin preparations and research. 事前学修 2.0hr：Preview the final project 事後学修 3.0hr：Complete assigned work
13回	**授業テーマ：Final Project Preparation and Research** 授業内容：Students will continue to research and organize their materials for the final presentation day. 事前学修 2.0hr：Review project preparations 事後学修 3.0hr：Finalize project and practice for presentation
14回	**授業テーマ：Final Project Presentation** 授業内容：Students will present their final project to the class. Students will complete listening sheets. 事前学修 2.0hr：Finalize preparations and practice 事後学修 2.0hr：Reflect on final project. Complete course reflection worksheet.
15回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students will receive individual consultations with the instructor on their performance in the course and guidance for future listening study. 事前学修 2.0hr：Prepare questions and reflection for the consultation 事後学修 4.0hr：Engage in dedicated listening activities over the summer break.

Advanced Listening Skills b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

A compulsory elective second-semester course in the third and fourth year. Building on the skills learned in previous listening classes, Advanced Listening Skills b requires students to listen to and comprehend a variety of authentic listening materials. Furthermore, students will be expected to use critical thinking skills and strategies to deepen their understanding of the course content. This course will be taught entirely in English and students will be required to actively participate.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：While this course mainly focuses on listening, integrating the four skills will be a key component of each class. Students will concentrate on a number of skills; however, vocabulary acquisition and critical thinking will be particularly emphasized. Students will further develop their ability to interpret extended authentic listening materials and apply these skills independently.

個別目標：By the end of the second semester, students will be able to listen to and comprehend a variety of current topics with greater confidence through the application of listening strategies.

▌履修条件

Advanced Listening Skills b is a separate course and can be taken independently from Advanced Listening Skills a. Attendance at more than 80% of the classes is required.

▌評価基準・方法

Students are evaluated via active participation (30%), coursework (20%), mid-term project (20%) and final project (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

On-going feedback occurs face-to-face or via manaba in each lesson and coursework is evaluated to check students' understanding of main ideas, inference, interpretation of speaker intent, and listening for details. A mid-term project and final project will further demonstrate students' listening and other integrated skills.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Yamaoka, T., Roman, R. &Toyoshima, C. (2024). CNN News English: Engaging College Students as Active Learners. Asahi Press.

▌参考書

Supplementary materials will be provided by the instructor and available online.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students will go over the course syllabus and course content. Introductory activities will take place to build the class atmosphere and establish expectations. 事前学修 2.0hr：Preview the course textbook and look over the manaba information 事後学修 2.0hr：Complete the assigned work.
2回	**授業テーマ：Unit 9** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
3回	**授業テーマ：Unit 10** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
4回	**授業テーマ：Unit 11** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
5回	**授業テーマ：Mid-term Project (3)** 授業内容：Students complete an extended mid-term listening project using authentic audiovisual material. Through guided viewing, listening worksheets, and discussion activities, students focus on inference, interpretation, and understanding meaning in context. 事前学修 2.0hr：Preview mid-term project 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
6回	**授業テーマ：Mid-term Project (2)** 授業内容：Students continue the mid-term listening project through guided viewing and listening tasks, with an emphasis on inference and comprehension of extended spoken discourse. 事前学修 2.0hr：Review project materials 事後学修 3.0hr：Complete assigned work
7回	**授業テーマ：Mid-term Project (3)** 授業内容：Students complete the mid-term listening project and related worksheets, reflecting on meaning, themes, and interpretation of the audiovisual material. 事前学修 2.0hr：Review project preparations 事後学修 3.0hr：Complete project reflection
8回	**授業テーマ：Unit 13** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection

9回	**授業テーマ：Unit 14** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
10回	**授業テーマ：Unit 15** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
11回	**授業テーマ：Unit 16** 授業内容：Students are introduced to the topic theme through pre-listening tasks. Students watch a news video and complete reading comprehension questions. Students discuss the topic. 事前学修 2.0hr：Preview the unit and check vocabulary 事後学修 2.0hr：Complete assigned work and reflection
12回	**授業テーマ：Final Project Introduction** 授業内容：Students work individually or in small groups to complete a final listening project that requires students to independently interpret and synthesize ideas from authentic listening materials. Students will be introduced to the project and begin preparations and research. 事前学修 2.0hr：Preview the final project 事後学修 3.0hr：Complete assigned work
13回	**授業テーマ：Final Project Preparation and Research** 授業内容：Students will continue to research and organize their materials for the final presentation day. 事前学修 2.0hr：Review project preparations 事後学修 3.0hr：Finalize project and practice for presentation
14回	**授業テーマ：Final Project Presentation** 授業内容：Students will present their final project to the class. Students will complete listening sheets. 事前学修 2.0hr：Finalize preparations and practice 事後学修 2.0hr：Reflect on final project. Complete course reflection worksheet.
15回	**授業テーマ：Student Consultations** 授業内容：Students will receive individual consultations with the instructor on their performance in the course and guidance for future listening study. 事前学修 2.0hr：Prepare questions and reflection for the consultation 事後学修 4.0hr：Engage in dedicated listening activities over the spring break.

Discussion &Debate a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

タイソン　ロード

▌授業の概要

In Discussion and Debate a, students will learn advanced discussion skills in English and become confident speakers about current topics and events related to both local and global issues. Students will build upon the skills they have learned in Integrated English I-IV in the Intensive Language Program (ILP). Students will be expected to participate actively in pair, small group, and larger group discussions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/3/4）

一般目標：The main objective of this course is for students to acquire and master advanced discussion skills, so that they can express opinions and ideas confidently in English. Students will receive training on how to participate actively in English discussions about various topics.

個別目標：The specific objectives of this course are outlined below. By the end of this course students will be able to:

1. Demonstrate discussion skills such as taking a position on a topic, constructing logical arguments, contributing to and expanding on ideas, asking questions, clarifying other’ s positions, evaluating and defending positions, suggesting options, weighing relevant criteria etc.
2. Analyze and evaluate various sources of information and provide good sources of evidence for their opinions and interpretations.
3. Synthesize and summarize information concisely relating the main points.
4. Demonstrate media literacy skills and critical thinking skills.

▌履修条件

This course is a first-semester elective course. While cultivating similar skills, Discussion and Debate a and Discussion and Debate b are two independent half-year courses (i.e., Discussion and Debate b is available to students who have not completed Discussion and Debate a).

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation (40%), a Debate Project (30%), and a Final Discussion Test (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Clankie, S., Maekawa, Y., Nakatsugawa, M., &Endo, T. (2009). Solutions: A Topic-Based Communication and Discussion Textbook. Cengage Learning (required textbook).

▌参考書

Supplementary materials will be provided as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students review the syllabus and course schedule with their instructor. Students actively participate in pair and group discussions to activate prior knowledge and build confidence in communication. 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus and course textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
2回	**授業テーマ：Unit 1 Culture: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 1 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1 and complete assigned work
3回	**授業テーマ：Unit 1 Culture: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 2 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 2 and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Unit 1 Culture: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 3 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 3 and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Unit 3 Language: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 4 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 4 and complete assigned work
6回	**授業テーマ：Unit 3 Language: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 5 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 5 and complete assigned work
7回	**授業テーマ：Unit 3 Language: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 6 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 6 and complete assigned work

8回	**授業テーマ：Unit 2 Society: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 7 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 7 and complete assigned work
9回	**授業テーマ：Unit 2 Society: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 8 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 8 and complete assigned work
10回	**授業テーマ：Unit 3 Society: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 9 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 9 and complete assigned work
11回	**授業テーマ：Final Debate Preparation** 授業内容：Students in pairs or groups will prepare arguments and supporting evidence for and against a proposition. They will organize their arguments and supporting evidence logically and prepare to debate enthusiastically in the next class. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Logically organize arguments and evidence for the final debate
12回	**授業テーマ：Final Debate** 授業内容：Students participate actively and enthusiastically in a final debate using all of the discussion language, media literacy, and critical thinking skills they have learned this semester. 事前学修 2.0hr：Make final preparations for the debate 事後学修 2.0hr：Complete final debate reflection and assigned work
13回	**授業テーマ：Final Discussion Test Review** 授業内容：Students will review Discussion Skills 1-9 and all of the vocabulary and contents covered this semester. Students prepare for the pair or group final discussion text the next week. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-9 and all of the vocabulary and contents covered this semester 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 1-9 and all of the vocabulary and contents covered this semester
14回	**授業テーマ：Final Discussion Test** 授業内容：Students in pairs or small groups participate in a final discussion test based on Discussion Skills 1-9 and all of the vocabulary and contents covered this semester. 事前学修 2.0hr：Practice for the Final Discussion Test with your partner(s) 事後学修 2.0hr：Complete self-reflection assignment
15回	**授業テーマ：Student Consultations and Course Feedback Session** 授業内容：Students are given group and individual feedback based on their performance in the various discussion and debate activities during the course. Students complete a course survey and submit their self-reflection assignment. 事前学修 2.0hr：Submit the self-reflection assignment to the instructor of the course 事後学修 2.0hr：Complete the course survey

Discussion &Debate b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

タイソン　ロード

▌授業の概要

In Discussion and Debate b, students will learn advanced discussion skills in English and become confident speakers about current topics and events related to both local and global issues. Students will build upon the skills they have learned in Integrated English I-IV in the Intensive Language Program (ILP). Students will be expected to participate actively in pair, small group, and larger group discussions.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/3/4）

一般目標：The main objective of this course is for students to acquire and master advanced discussion skills, so that they can express opinions and ideas confidently in English. Students will receive training on how to participate actively in English discussions about various topics.

個別目標：The specific objectives of this course are outlined below. By the end of this course students will be able to:

1. Demonstrate discussion skills such as taking a position on a topic, constructing logical arguments, contributing to and expanding on ideas, asking questions, clarifying other’ s positions, evaluating and defending positions, suggesting options, weighing relevant criteria etc.
2. Analyze and evaluate various sources of information and provide good sources of evidence for their opinions and interpretations.
3. Synthesize and summarize information concisely relating the main points.
4. Demonstrate media literacy skills and critical thinking skills.

▌履修条件

This course is a second-semester elective course. While cultivating similar skills, Discussion and Debate a and Discussion and Debate b are two independent half-year courses (i.e., Discussion and Debate b is available to students who have not completed Discussion and Debate a).

▌評価基準・方法

Students will be evaluated for this course via Active Participation (40%), a Debate Project (30%), and a Final Discussion Test (30%). Feedback and assessments will be given in class or on manaba. Please consult your instructor.

▌フィードバック方法

Students will receive both oral and written feedback in class and on manaba. Feedback will be given on quizzes and other assignments.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work and group work）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

Clankie, S., Maekawa, Y., Nakatsugawa, M., &Endo, T. (2009). Solutions: A Topic-Based Communication and Discussion Textbook. Cengage Learning (required textbook).

▌参考書

Supplementary materials will be provided as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：Students review the syllabus and course schedule with their instructor. Students actively participate in pair and group discussions to activate prior knowledge and build confidence in communication. 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus and course textbook 事後学修 2.0hr：Complete assigned work
2回	**授業テーマ：Unit 5 The City and the Country: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 10 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 10 and complete assigned work
3回	**授業テーマ：Unit 5 The City and the Country: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 11 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 11 and complete assigned work
4回	**授業テーマ：Unit 5 The City and the Country: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 12 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 12 and complete assigned work
5回	**授業テーマ：Unit 6 Environment: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 13 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 13 and complete assigned work
6回	**授業テーマ：Unit 6 Environment: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 14 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 14 and complete assigned work
7回	**授業テーマ：Unit 6 Environment: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 15 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 15 and complete assigned work

8回	**授業テーマ：Unit 7 Education: Lesson 1** 授業内容：Students are introduced to the contents of the unit, learn the vocabulary for discussion of the topic, and practice the Discussion Skills 16 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 16 and complete assigned work
9回	**授業テーマ：Unit 7 Education: Lesson 2** 授業内容：Students share ideas and build positions with supporting evidence for and against the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 17 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 17 and complete assigned work
10回	**授業テーマ：Unit 7 Education: Lesson 3** 授業内容：Students discuss the topic as a group and complete a reflection journal stating their final opinion on the topic. Students learn more vocabulary and the Discussion Skills 18 target language. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 18 and complete assigned work
11回	**授業テーマ：Final Debate Preparation** 授業内容：Students in pairs or groups will prepare arguments and supporting evidence for and against a proposition. They will organize their arguments and supporting evidence logically and prepare to debate enthusiastically in the next class. 事前学修 2.0hr：Prepare arguments or evidence for a position 事後学修 2.0hr：Logically organize arguments and evidence for the final debate
12回	**授業テーマ：Final Debate** 授業内容：Students participate actively and enthusiastically in a final debate using all of the discussion language, media literacy, and critical thinking skills they have learned this semester. 事前学修 2.0hr：Make final preparations for the debate 事後学修 2.0hr：Complete final debate reflection and assigned work
13回	**授業テーマ：Final Discussion Test Review** 授業内容：Students will review Discussion Skills 10-18 and all of the vocabulary and contents covered this semester. Students prepare for the pair or group final discussion text the next week. 事前学修 2.0hr：Review Discussion Skills 10-18 and all of the vocabulary and contents covered this semester 事後学修 2.0hr：Review Discussion Skills 10-18 and all of the vocabulary and contents covered this semester
14回	**授業テーマ：Final Discussion Test** 授業内容：Students in pairs or small groups participate in a final discussion test based on Discussion Skills 10-18 and all of the vocabulary and contents covered this semester. 事前学修 2.0hr：Practice for the Final Discussion Test with your partner(s) 事後学修 2.0hr：Complete self-reflection assignment
15回	**授業テーマ：Student Consultations and Course Feedback Session** 授業内容：Students are given group and individual feedback based on their performance in the various discussion and debate activities during the course. Students complete a course survey and submit their self-reflection assignment. 事前学修 2.0hr：Submit the self-reflection assignment to the instructor of the course 事後学修 2.0hr：Complete the course survey

Advanced Research &Presentation Skills

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

The purpose of this course is to gain advanced research and presentation skills, so that students will be able to conduct research and present their work. We will cover the basic steps of conducting research (e.g., formulating a research question, conducting a literature review, designing a methodology, collecting and analyzing data) and learn about academic research writing and oral presentations, acquiring useful and practical skills. We will also work on individual research projects throughout the course.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：The goals of this course are to learn how to conduct research &present findings in oral presentations and in writing.

個別目標：Students will learn to: 1. Formulate research questions, conduct a literature review, design research methodology, collect/analyze data.
2. Use different research methodologies (e.g., questionnaires, interviews, observations).
3. Learn how to express themselves in English in writing and oral presentations.
4. Engage in critical thinking and ask interesting questions.

▌履修条件

Students must actively engage in class activities (e.g., discussions &presentations). We will design different types of research projects (e.g., questionnaires, interviews, observations) and collect data. This requires critical thinking, as well as independent learning.

▌評価基準・方法

Active participation in class activities, including questionnaire/interview design (60%), written report (20%), oral presentation (20%). Plagiarism will not be tolerated. Avoid machine translation and generative AI. 80% of classes must be attended to pass the course.

▌フィードバック方法

Feedback of assignments will be conducted through manaba and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group activities, peer feedback）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （We will be in a PC classroom using MS Word, Powerpoint &Excel.）

▌教科書

Reading materials will be assigned and distributed accordingly. Some of the readings will come from Wisher, G. (2009) The undergraduate research handbook. Palgrave Macmillan.

▌参考書

Supplementary materials and references will be distributed in class as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction: Advanced Research and Presentation** 授業内容：Lecture and discussion about ”What is Research?” (e.g., definition of research, what it means to do research); Student questionnaire. 事前学修 2.0hr：Look over syllabus 事後学修 2.0hr：Reading: Starting Research (Ch. 2) &Good Research (Ch. 3)
2回	**授業テーマ：Conducting Research: Starting Research/Generating a Research Topic** 授業内容：Lecture and discussion about ”Starting Research” (e.g., planning research, gathering information, data collection, conducting fieldwork); Brainstorming activities (finding a research topic) 事前学修 2.0hr：Reading: Starting Research (Ch. 2) &Good Research, The Essentials (Ch. 3) 事後学修 2.0hr：Reading: Research for a Project (Ch. 4) &Literature Review (Ch. 7)
3回	**授業テーマ：Conducting Research: Literature Review I** 授業内容：Lecture and discussion about ”Carrying out Research for a Project/Carrying out a Literature Review”; Group activity about critical thinking. 事前学修 2.0hr：Reading: Carrying Out Research for a Project (Ch. 4) &Carrying out a Literature Review (Ch. 7) 事後学修 2.0hr：Reading: Finding Sources Ch.8) /Using the Internet(Ch.10)
4回	**授業テーマ：Conducting Research: Literature Review II** 授業内容：Lecture and discussion about conducting research, gathering references (e.g., library, internet). Class Activity: Finding Sources. 事前学修 2.0hr：Reading: Finding Sources (Ch.8)/Using the Internet (Ch.10) 事後学修 2.0hr：Reading: Research Methods (Ch.8)/Quantitative Methods(Ch.11)
5回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology I (Questionnaires)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Questionnaires (e.g., how to design a questionnaire, how to administer a questionnaire online). Questionnaire activity. 事前学修 2.0hr：Reading:Research Methods(Ch. 8)/Quantitative Methods(Ch.11) 事後学修 2.0hr：Reading: Qualitative Methods in Action (Ch. 12)
6回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology II (Interviews)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Interviews (e.g., how to design an interview, challenges of interviews). Interview Activity. 事前学修 2.0hr：Reading: Qualitative Methods in Action (Ch. 12) 事後学修 2.0hr：Reading: Review previous readings
7回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology III (Observations)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Observations (e.g., how to use an observational checklist, how to do an observational study). Observation Activity. 事前学修 2.0hr：Reading: Review previous readings 事後学修 2.0hr：Reading: Writing a Research Proposal (Ch. 6)
8回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Research Proposal** 授業内容：Writing a research proposal: Fine-tuning and narrowing the research topic. Class activity: Research Proposal Worksheet. 事前学修 2.0hr：Reading: Writing a Research Proposal (Ch. 6) 事後学修 2.0hr：Review class material &work on Research Proposal

9回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Literature Review I** 授業内容：Once the research proposal has been approved, students will work on their literature review. They will conduct research in the library and on the internet, finding relevant sources. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 4 &7; Search for materials for lit. review 事後学修 2.0hr：Work on literature review
10回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Literature Review II** 授業内容：After reading the sources, students will compile their literature review in an organized manner. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 9 &10; Work on literature review 事後学修 2.0hr：Finish literature review
11回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Methodology** 授業内容：Next, students will write their methodology sections, with details about participants, materials, procedures, and data coding/analysis. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 8, 10 &12, Bring questions to class 事後学修 2.0hr：Work on methodology
12回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations I: Introduction** 授業内容：Lecture &discussion: Basic Principles of Presentations (e.g., similarities and differences between public speaking &conversation; what to do if anxious). Class Activity: One-minute speeches. 事前学修 2.0hr：Finish methodology 事後学修 2.0hr：Review class material; work on first draft of Research Paper
13回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations II: Delivery** 授業内容：Lecture &discussion: Delivery (e.g., 4 methods of delivery, controlling your voice: volume, pitch, speed, pasing, vocal variety, pronunciation). Class Activity: Delivery exercises 事前学修 2.0hr：Submit first draft of Research Paper 事後学修 2.0hr：Practice delivery skills
14回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations III: Powerpoint** 授業内容：Lecture &discussion: Delivery &Powerpoint: working on articulation and enunciation. Class Activity: Tongue Twisters; creating a powerpoint. 事前学修 2.0hr：Reading: Oral Presentations 事後学修 2.0hr：Prepare powerpoint for final presentation; Practice
15回	**授業テーマ：Final Oral Presentations** 授業内容：All oral presentations will be conducted on the last day of class. Peer feedback and questions will be encouraged. 事前学修 2.0hr：Prepare for oral presentation 事後学修 2.0hr：Submit final draft of written Research Paper

Advanced Research &Presentation Skills

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

The purpose of this course is to gain advanced research and presentation skills, so that students will be able to conduct research and present their work. We will cover the basic steps of conducting research (e.g., formulating a research question, conducting a literature review, designing a methodology, collecting and analyzing data) and learn about academic research writing and oral presentations, acquiring useful and practical skills. We will also work on individual research projects throughout the course.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/4）

一般目標：The goals of this course are to learn how to conduct research &present findings in oral presentations and in writing.

個別目標：Students will learn to: 1. Formulate research questions, conduct a literature review, design research methodology, collect/analyze data.
2. Use different research methodologies (e.g., questionnaires, interviews, observations).
3. Learn how to express themselves in English in writing and oral presentations.
4. Engage in critical thinking and ask interesting questions.

▌履修条件

Students must actively engage in class activities (e.g., discussions &presentations). We will design different types of research projects (e.g., questionnaires, interviews, observations) and collect data. This requires critical thinking, as well as independent learning.

▌評価基準・方法

Active participation in class activities, including questionnaire/interview design (60%), written report (20%), oral presentation (20%). Plagiarism will not be tolerated. Avoid machine translation and generative AI. 80% of classes must be attended to pass the course.

▌フィードバック方法

Feedback of assignments will be conducted through manaba and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, group activities, peer feedback）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （We will be in a PC classroom using MS Word, Powerpoint &Excel.）

▌教科書

Reading materials will be assigned and distributed accordingly. Some of the readings will come from Wisher, G. (2009) The undergraduate research handbook. Palgrave Macmillan.

▌参考書

Supplementary materials and references will be distributed in class as necessary.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction: Advanced Research and Presentation** 授業内容：Lecture and discussion about ”What is Research?” (e.g., definition of research, what it means to do research); Student questionnaire. 事前学修 2.0hr：Look over syllabus 事後学修 2.0hr：Reading: Starting Research (Ch. 2) &Good Research (Ch. 3)
2回	**授業テーマ：Conducting Research: Starting Research/Generating a Research Topic** 授業内容：Lecture and discussion about ”Starting Research” (e.g., planning research, gathering information, data collection, conducting fieldwork); Brainstorming activities (finding a research topic) 事前学修 2.0hr：Reading: Starting Research (Ch. 2) &Good Research, The Essentials (Ch. 3) 事後学修 2.0hr：Reading: Research for a Project (Ch. 4) &Literature Review (Ch. 7)
3回	**授業テーマ：Conducting Research: Literature Review I** 授業内容：Lecture and discussion about ”Carrying out Research for a Project/Carrying out a Literature Review”; Group activity about critical thinking. 事前学修 2.0hr：Reading: Carrying Out Research for a Project (Ch. 4) &Carrying out a Literature Review (Ch. 7) 事後学修 2.0hr：Reading: Finding Sources Ch.8) /Using the Internet(Ch.10)
4回	**授業テーマ：Conducting Research: Literature Review II** 授業内容：Lecture and discussion about conducting research, gathering references (e.g., library, internet). Class Activity: Finding Sources. 事前学修 2.0hr：Reading: Finding Sources (Ch.8)/Using the Internet (Ch.10) 事後学修 2.0hr：Reading: Research Methods (Ch.8)/Quantitative Methods(Ch.11)
5回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology I (Questionnaires)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Questionnaires (e.g., how to design a questionnaire, how to administer a questionnaire online). Questionnaire activity. 事前学修 2.0hr：Reading:Research Methods(Ch. 8)/Quantitative Methods(Ch.11) 事後学修 2.0hr：Reading: Qualitative Methods in Action (Ch. 12)
6回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology II (Interviews)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Interviews (e.g., how to design an interview, challenges of interviews). Interview Activity. 事前学修 2.0hr：Reading: Qualitative Methods in Action (Ch. 12) 事後学修 2.0hr：Reading: Review previous readings
7回	**授業テーマ：Conducting Research: Research Methodology III (Observations)** 授業内容：Lecture and discussion about types of research methods: Observations (e.g., how to use an observational checklist, how to do an observational study). Observation Activity. 事前学修 2.0hr：Reading: Review previous readings 事後学修 2.0hr：Reading: Writing a Research Proposal (Ch. 6)
8回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Research Proposal** 授業内容：Writing a research proposal: Fine-tuning and narrowing the research topic. Class activity: Research Proposal Worksheet. 事前学修 2.0hr：Reading: Writing a Research Proposal (Ch. 6) 事後学修 2.0hr：Review class material &work on Research Proposal

9回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Literature Review I** 授業内容：Once the research proposal has been approved, students will work on their literature review. They will conduct research in the library and on the internet, finding relevant sources. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 4 &7; Search for materials for lit. review 事後学修 2.0hr：Work on literature review
10回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Literature Review II** 授業内容：After reading the sources, students will compile their literature review in an organized manner. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 9 &10; Work on literature review 事後学修 2.0hr：Finish literature review
11回	**授業テーマ：Conducting Research Writing: Writing a Methodology** 授業内容：Next, students will write their methodology sections, with details about participants, materials, procedures, and data coding/analysis. 事前学修 2.0hr：Review Chapters 8, 10 &12, Bring questions to class 事後学修 2.0hr：Work on methodology
12回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations I: Introduction** 授業内容：Lecture &discussion: Basic Principles of Presentations (e.g., similarities and differences between public speaking &conversation; what to do if anxious). Class Activity: One-minute speeches. 事前学修 2.0hr：Finish methodology 事後学修 2.0hr：Review class material; work on first draft of Research Paper
13回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations II: Delivery** 授業内容：Lecture &discussion: Delivery (e.g., 4 methods of delivery, controlling your voice: volume, pitch, speed, pasing, vocal variety, pronunciation). Class Activity: Delivery exercises 事前学修 2.0hr：Submit first draft of Research Paper 事後学修 2.0hr：Practice delivery skills
14回	**授業テーマ：Conducting Oral Presentations III: Powerpoint** 授業内容：Lecture &discussion: Delivery &Powerpoint: working on articulation and enunciation. Class Activity: Tongue Twisters; creating a powerpoint. 事前学修 2.0hr：Reading: Oral Presentations 事後学修 2.0hr：Prepare powerpoint for final presentation; Practice
15回	**授業テーマ：Final Oral Presentations** 授業内容：All oral presentations will be conducted on the last day of class. Peer feedback and questions will be encouraged. 事前学修 2.0hr：Prepare for oral presentation 事後学修 2.0hr：Submit final draft of written Research Paper

コミュニケーション特講Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

This course examines important historical, cultural, and social influences on language in the United States. We will begin with an introduction to the English language in the United States, examining numerous historical events. We will also look at differences between British English and American English. Then, we will examine major forms of language variation, such as regional dialects (e.g., Southern American English) and social dialects (e.g., youth language and slang). We will also explore other language varieties, such as Native American languages and immigrant languages such as Spanish and Asian languages.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：1. To understand the history and variation of English in the United States.
2. To understand and appreciate the role/importance of languages other than English in the U.S.
3. To comprehend the sociocultural/sociopolitical context of language in the U.S.

個別目標：1. To develop a comparative perspective that places language in the U.S. within a framework of language in society.
2. To study sociolinguistics through the context of American society.
3. To learn not only about language in the U.S., but discuss issues of language and society in other contexts around the world.
4. To be able to search for, comprehend, and critique research materials on language.

▌履修条件

To actively participate in class activities (e.g., discussions, debates, group projects) and be curious about issues pertaining to language in the U.S. At least 80% of the classes must be attended in order to receive a passing grade.

▌評価基準・方法

Active participation in class activities, including discussions, worksheets, and comment sheets (50%). There will be a class project (30%) and presentation (20%). Plagiarism will not be tolerated. Avoid machine translation and generative AI. 80% of classes must be attended to pass the course.

▌フィードバック方法

Feedback will be conducted through manaba and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, debates, group projects）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Will use PCs for Word, PowerPoint）

▌教科書

Readings will be made available through manaba.

▌参考書

Finegan, Edward and Rickford, John R. (Eds.) (2004). Language in the USA: Themes for the Twenty-First Century. Cambridge University Press.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation &Introduction to Language in the U.S. I** 授業内容：Lecture: Introduction to Language in the U.S. Reading: American History for Language Students Activity: Video (The Adventure of English: English in America) 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
2回	**授業テーマ：Introduction to Language in the U.S. II** 授業内容：Lecture: Introduction to Language in the U.S. II Reading: American History for Language Students Activity: Video (The Adventure of English: English in America) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
3回	**授業テーマ：American History: Its History &Origins I** 授業内容：Lecture: American History: Its History &Origins I Activity: Video: The Story of English: Pioneers O Pioneers! 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
4回	**授業テーマ：American History: Its History &Origins II** 授業内容：Lecture: American History: Its History &Origins II Activity: Video: The Story of English: Pioneers O Pioneers! 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
5回	**授業テーマ：American English and Its Distinctiveness I** 授業内容：Lecture: American English and Its Distinctiveness I Activity: British vs. American English 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
6回	**授業テーマ：American English and Its Distinctiveness II** 授業内容：Lecture: American English and Its Distinctiveness II Activity: British vs. American English 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
7回	**授業テーマ：American English and Its Distinctiveness III** 授業内容：Lecture: American English and Its Distinctiveness III Activity: British vs. American English 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).

8回	**授業テーマ：Regional Dialects I** 授業内容：Lecture: Regional Dialects I Activity: Video (Do You Speak American? Up North) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
9回	**授業テーマ：Regional Dialects II** 授業内容：Lecture: Regional Dialects II Activity: Video (Do You Speak American? Down South) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
10回	**授業テーマ：Regional Dialects II** 授業内容：Lecture: Regional Dialects III Activity: Video (Do You Speak American? Out West) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
11回	**授業テーマ：Social Variaties** 授業内容：Lecture: Social Varieties Activity: Video clips on social variation 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
12回	**授業テーマ：Other Language Varieties in the U.S. I** 授業内容：Lecture: Multilingualism &non-English mother tongues 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
13回	**授業テーマ：Other Language Varieties in the U.S. II** 授業内容：Lecture: Native American Languages Activity: Video clips on Native American languages 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
14回	**授業テーマ：Other Language Varieties in the U.S. III** 授業内容：Lecture: Spanish in the Northeast/in the Southwest; Language in the Asian American Community Activity: Video clips on immigrant languages 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Prepare for class presentations
15回	**授業テーマ：Group projects &class presentations** 授業内容：Group projects/class presentations on language variation in the U.S. (e.g., regional dialects, social dialects, non-English native and immigrant languages) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).

コミュニケーション特講Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

This course examines important historical, cultural, and social influences on language in the United States. We will continue in the second half of this course by looking closely at the sociolinguistic situation in the United States. We will start by focusing on important controversies regarding language in the U.S., such as bilingual education and African American Vernacular English. We will also discuss topics such as language policy, language rights, and recent efforts to restrict and revitalize minority languages. Lastly, we will explore topics related to sociolinguistic variation, such as youth language, slang, and gender.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：1. To understand the sociolinguistic context of the United States.
2. To understand and appreciate the role/importance of languages other than English in the U.S.
3. To comprehend the sociocultural/sociopolitical context of language in the U.S.
4. To become familiar with the history of important language legislation and policies in the U.S.

個別目標：1. To develop a comparative perspective that places language in the U.S. within a framework of language in society.
2. To study sociolinguistics through the context of American society.
3. To learn not only about language in the U.S., but discuss issues of language and society in other contexts around the world.
4. To be able to search for, comprehend, and critique research materials on language.

▌履修条件

To actively participate in class activities (e.g., discussions, debates, group projects) and be curious about issues pertaining to language in the U.S. At least 80% of the classes must be attended in order to receive a passing grade. Also, it is recommended to have taken the first half of this class.

▌評価基準・方法

Active participation in class activities, including discussions, worksheets, and comment sheets (50%). There will be a class project (30%) and presentation (20%). Plagiarism will not be tolerated. Avoid machine translation and generative AI. 80% of classes must be attended to pass the course.

▌フィードバック方法

Feedback will be conducted through manaba and in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, debates, group projects）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Will use PCs for Word, PowerPoint）

▌教科書

Readings will be made available through manaba.

▌参考書

Finegan, Edward and Rickford, John R. (Eds.) (2004). Language in the USA: Themes for the Twenty-First Century. Cambridge University Press.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course orientation &The Sociolinguistic Situation** 授業内容：Lecture: Language diversity and English language acquisition Activity: Video clips on language diversity in the U.S. 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
2回	**授業テーマ：Language in Education** 授業内容：Lecture: Language in education Activity: Debate over bilingual education 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
3回	**授業テーマ：African American English I** 授業内容：Lecture: African American English I Activity: Video clip (The Story of English: Black on White) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
4回	**授業テーマ：African American English II** 授業内容：Lecture: African American English I Activity: Video clip (The Story of English: Black on White) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
5回	**授業テーマ：Ebonics and its controversy** 授業内容：Lecture: Ebonics and its controversy Activity: Video clup (The Black English Case) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
6回	**授業テーマ：Langauge ideology and prejudice** 授業内容：Lecture: Language ideology and prejudice Activity: Video clips 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
7回	**授業テーマ：Language attitudes to speech** 授業内容：Lecture: Language attitudes to speech Activity: Video (American Tongues) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).

8回	**授業テーマ：Language planning, language policy &English-Only** 授業内容：Lecture: Language planning, language policy &English-Only Activity: Video (English only in America) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
9回	**授業テーマ：Adolescent language** 授業内容：Lecture: Adolescent language Activity: Discussion on Youth language 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
10回	**授業テーマ：Slang** 授業内容：Lecture: Slang Activity: Discussion on Slang 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
11回	**授業テーマ：The language of cyberspace** 授業内容：Lecture: The language of cyberspace Activity: Electronic discourse and texting (e.g., emoticons, abbreviations) 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
12回	**授業テーマ：Hip Hop Nation** 授業内容：Lecture: Hip Hop Nation Activity: Video clips 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review materials from class; summarize what you have learned (e.g., vocabulary).
13回	**授業テーマ：Language, gender, and sexuality** 授業内容：Lecture: Language, gender, and sexuality Activity: Video clips 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Prepare for class presentations
14回	**授業テーマ：Group projects &class presentations** 授業内容：Activity: Class presentations of group projects 事前学修 2.0hr：Prepare for class presentations 事後学修 2.0hr：Prepare for class presentations
15回	**授業テーマ：Group projects &class presentations** 授業内容：Activity: Class presentations of group projects 事前学修 2.0hr：Prepare for class presentations 事後学修 2.0hr：Prepare for class presentations

コミュニケーション特講Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中井　延美 (なかい　のぶみ)

▌授業の概要

この授業では、「コミュニケーションとは何か」という問いの答えを、ヒトが有する「心を読む能力」を通して探していく。コミュニケーションとは、一般的に、ある人から別の人へ情報が伝達されることである。ただし、コミュニケーションは単に言葉による意味の伝え合いでは決してない。コミュニケーションの仕組みについて、表現の意味と話し手の意味の観点から考えていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：「コミュニケーションとは何か」という問いについて、次の１～３の点から考えてみる。１．発話で使用される表現 (語句や文) は、話し手が伝えようとしている事がらの全てを言い尽くしているわけではない。２．話し手の口にした表現の意味は、相手に伝えたいことのヒントに過ぎない。３．聞き手は、発話された表現の意味をまず解読し、それを基にコンテクストに照らして《推論する》ことによって、話し手が伝えようとした内容 (メッセージ) を読み取る。

個別目標：「コミュニケーションとは何か」そして「ヒトは他者の心をどのように読むか」という問題を考えるために、日常生活のなかで周囲の会話に注意を払い、上記「一般目標」で記されている１～３に該当する具体例を見つけ出す。

▌履修条件

“ことば” の探究に興味をもっていること以外に特になし。

▌評価基準・方法

授業への取組み（ディスカッション、グループ活動など）：30 %
課題の提出：30 %
期末試験：40%

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライドの提示など）

▌教科書

今井邦彦 (編), ウィルスン＆ウォートン (著) (2009)『最新語用論入門 12 章』大修館書店.

▌参考書

今井邦彦・西山佑司(2012)『ことばの意味とはなんだろう―意味論と語用論の役割』岩波書店.
中井延美(2018)『必携！ 日本語ボランティアの基礎知識』大修館書店.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：意味（1）** 授業内容：自然的意味と伝達的意味／動物のコミュニケーションと人間のコミュニケーション 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：意味（2）** 授業内容：推論とコミュニケーション／文の意味と発話の意味 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
4回	**授業テーマ：語用論の本質と目的（1）** 授業内容：文の意味と話し手の意味との間にあるギャップ／コンテクストの本質と役割 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
5回	**授業テーマ：語用論の本質と目的（2）** 授業内容：話し手の意味と情報伝達／語用論の研究対象 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
6回	**授業テーマ：グライスの語用論（1）** 授業内容：コミュニケーションにおけるコードと推論の役割／グライスの語用論 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
7回	**授業テーマ：グライスの語用論（2）** 授業内容：グライスのアプローチに対する疑問 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
8回	**授業テーマ：認知的関連性の原理（1）** 授業内容：関連性：認知的原則／関連性の定義 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
9回	**授業テーマ：認知的関連性の原理（2）** 授業内容：認知的関連性の原理 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
10回	**授業テーマ：伝達的関連性の原理（1）** 授業内容：相手の心的状況を予測し操作する能力／関連性の期待 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

11回	**授業テーマ：伝達的関連性の原理（2）** 授業内容：グライスの語用論との比較 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
12回	**授業テーマ：語用論と関連性（1）** 授業内容：関連性理論から導かれること／最初の解釈が最終的解釈である 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
13回	**授業テーマ：語用論と関連性（2）** 授業内容：関連性理論から導かれること／余分なコストは付加的な認知効果で補われる 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
14回	**授業テーマ：まとめと復習（1）** 授業内容：「コミュニケーションとは何か」という問いについて、学習した内容を踏まえて考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
15回	**授業テーマ：まとめと復習（2）** 授業内容：「ヒトは他者の心をどのように読むか」という問いについて、学習した内容を踏まえて考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

コミュニケーション特講Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中井　延美 (なかい　のぶみ)

▌授業の概要

この授業では、前期のコミュニケーション特講Ⅱ-a に続いて、「コミュニケーションとは何か」という問題について、ヒトが有する「心を読む能力」を通して、さらに詳しく検討する。コミュニケーションとは、一般的に、ある人から別の人へ情報が伝達されることである。ただし、コミュニケーションは単に言葉による意味の伝え合いでは決してない。コミュニケーションの仕組みについて、表現の意味と話し手の意味の観点から引き続き考えていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：「コミュニケーションとは何か」という問いについて、次の１～３の点から再び考えてみる。１．発話で使用される表現 (語句や文) は、話し手が伝えようとしている事がらの全てを言い尽くしているわけではない。２．話し手の口にした表現の意味は、相手に伝えたいことのヒントに過ぎない。３．聞き手は、発話された表現の意味をまず解読し、それを基にコンテクストに照らして《推論する》ことによって、話し手が伝えようとした内容 (メッセージ) を読み取る。

個別目標：「コミュニケーションとは何か」そして「ヒトは他者の心をどのように読むか」という問題を考えるために、日常生活のなかで周囲の会話に注意を払い、上記「一般目標」で記されている１～３に該当する具体例をさらに見つけ出す。

▌履修条件

“ことば” の探究に興味をもっていること。前学期開講のコミュニケーション特講Ⅱ-a を履修していることが望ましい。ただし、前学期に扱った教科書の該当範囲を十分に読了している場合は、履修を認める。

▌評価基準・方法

授業への取組み（ディスカッション、グループ活動など）：30 %
課題の提出：30 %
期末試験：40%

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライドの提示など）

▌教科書

今井邦彦 (編), ウィルスン＆ウォートン (著) (2009)『最新語用論入門 12 章』大修館書店.

▌参考書

今井邦彦・西山佑司(2012)『ことばの意味とはなんだろう―意味論と語用論の役割』岩波書店.
中井延美(2018)『必携！ 日本語ボランティアの基礎知識』大修館書店.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：明示的意味と非明示的意味（１）** 授業内容：明示的伝達の本質 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：明示的意味と非明示的意味（２）** 授業内容：非明示的伝達の本質／関連性理論による非明示的伝達の分析／関連性理論と伝達 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
4回	**授業テーマ：語彙意味論へのアプローチ（１）** 授業内容：語の意味の古典的見解に関する検討 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
5回	**授業テーマ：語彙意味論へのアプローチ（２）** 授業内容：フォーダーによる代替アプローチ／概念獲得についてのフォーダーのアプローチの波紋 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
6回	**授業テーマ：概念とカテゴリ化（１）** 授業内容：プロトタイプ性効果／プロトタイプと意味論 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
7回	**授業テーマ：概念とカテゴリ化（２）** 授業内容：プロトタイプと百科事典的記載／語彙語用論への道 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
8回	**授業テーマ：語彙的縮小（１）** 授業内容：レヴィンソンによる縮小の説明／語彙的縮小への関連性理論的アプローチ 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
9回	**授業テーマ：語彙的縮小（２）** 授業内容：関連性とアドホック概念 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

10回	**授業テーマ：語彙的拡張（1）** 授業内容：これまでの分析法／関連性理論による語彙的拡張の分析 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
11回	**授業テーマ：語彙的拡張（2）** 授業内容：関連性理論の正当性を示す数々の証拠 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
12回	**授業テーマ：概念の転嫁的用法（1）** 授業内容：転嫁的用法とアイロニー 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
13回	**授業テーマ：概念の転嫁的用法（2）** 授業内容：概念の転嫁的用法／語や句のアイロニー／メタ言語的否定／再現的引喩 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
14回	**授業テーマ：まとめと復習（1）** 授業内容：「コミュニケーションとは何か」という問いについて、学習した内容を踏まえて考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
15回	**授業テーマ：まとめと復習（2）** 授業内容：「ヒトは他者の心をどのように読むか」という問いについて、学習した内容を踏まえて考える 事前学修 2.0hr：教科書の指定範囲を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

英語学特講Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

嶋田　珠巳（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

テーマは、アイルランドのことばと社会。コミュニティのことばが土地に根付いたアイルランド語から英語に替わったアイルランド。どのようにして言語交替が起こったのか、現在はどのような言語状況にあるのか。人々はアイルランド語を次の世代に引き継ぐことをやめて、英語を「選択」したのか。前期は『英語という選択ーーアイルランドの今』の第 1 章から第 4 章までと第 6 章 II の内容を解説する。講義はインタラクティブに行う。

※ いくぶん専門に入り込んだ話になるので、必ず初回の授業に出て履修の適性を自分で確かめること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：ことばと社会について、個別の事例の詳細を含めて考察することができる。

個別目標：(1)アイルランドの言語事情に関して理解を深めることができる。
(2)アイルランドに起こった言語交替について説明することができる。
(3)ことばと社会について、事例に基づいて考察することができる。

▌履修条件

「講義を聞きながら思考すること」をやってみたいと思う、主体的に取り組む学生を歓迎する。

▌評価基準・方法

評価基準：到達目標の (1) と (2) ができているか、あるいはその到達度。

方法：授業への取り組み 50%(授業内小課題、ディスカッションを含む)、 試験 50%。

▌フィードバック方法

授業内で適宜行う。個別の対応に関しては必要に応じて面談する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （積極的な発言が求められる。授業内で理解したことや考えたことを書く、発表するなどの活動を含む。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

嶋田珠巳 (2016)『英語という選択ーアイルランドの今』岩波書店.

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：第 1 ～ 15 回の流れの概説、アイルランドとそこで話されることばに関する導入を行う 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、教科書の目次と全体を見ておく 事後学修 2.0hr：履修の決定、 教科書の「読書」
2回	**授業テーマ：アイルランドというフィールド** 授業内容：アイルランドの人々とコミュニティ、言語状況について概説し、受講生の疑問に答える 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章 I を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：アイルランドを通してことばを知る試み** 授業内容：アイルランドにおける言語研究について講義する 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：アイルランドで起こった言語交替** 授業内容：言語交替について、歴史的な背景を中心に解説する 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章 II と第 2 章 II を中心に読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：ことばを引き継がないということと「選択」** 授業内容：言語の選択に関して、基礎的なところから講義する 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章 I と II を中心に読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：ワークショップ：言語の選択** 授業内容：「言語の選択」をテーマに、疑問、調査、考察等を個人またはグループで発表する 事前学修 2.0hr：ワークショプに向けて資料を準備する 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：今起こりつつある言語交替** 授業内容：アイルランドの現在の言語事情、特にアイルランド語使用地域を中心に講義する 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章 III を中心に読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：アイルランド語と英語の２つを持つということ** 授業内容：アイルランドにおける二言語主義と人々の考えについて講義する 事前学修 2.0hr：教科書第 3 章前半を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：ことばへの意識、コミュニティの言語態度を知る調査** 授業内容：コミュニティの言語態度を知る調査はどのように行うのがいいか、調査方法なども考察する 事前学修 2.0hr：教科書第 3 章後半を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：ことばのフィールド調査** 授業内容：コミュニティに入って行う文法の調査で気づくこと、さらに調査方法について解説する 事前学修 2.0hr：教科書第 4 章前半を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：アイルランド英語話者の言語意識** 授業内容：アイルランドらしさへの意識と正しさへの意識。アイルランド英語母語話者の言語意識について講義する 事前学修 2.0hr：教科書第 4 章後半を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

12回	**授業テーマ：ことばの変化と人々の気持ち** 授業内容：アイルランドの二言語主義、そして日本のことばのこと、言語教育のこと。言語の未来を考えるヒントについて講義する 事前学修 2.0hr：教科書第 6 章 II を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：ワークショプ：私たちの気になる言語問題** 授業内容：「私たちの気になる言語問題」をテーマに、疑問、調査、考察等を個人またはグループで発表する 事前学修 2.0hr：ワークショプに向けて資料を準備する 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：受講生の質問とディスカッション** 授業内容：受講生の質問と考察にこたえる 事前学修 2.0hr：これまでの自分のノートを見直し、要点と疑問点を整理しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：これまでの総括を行う 事前学修 2.0hr：教科書第 1 ～ 4 章と第 6 章 II を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語学特講Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

嶋田　珠巳（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

テーマは、アイルランド英語の文法と言語接触。後期は、アイルランド英語の文法に深入りする。時間表現と情報構造の表現に焦点を当て、その文法的な解説を行った上で、アイルランド語がどのようにアイルランド英語の形成に関わっているのかを考察する。例えば、時の表現に関しては、「be after 完了」(例：We are after missing the bus.) や「do be 習慣」(例：We do be praying for you.) など、アイルランド英語に特徴的な時間表現を糸口に、アイルランド英語のテンス・アスペクト体系とその形成を考察する。後期は『英語という選択ーーアイルランドの今』の第 5 章と第 6 章 I の内容の解説、さらにアイルランド語文法も見る、という内容。講義はインタラクティブに行う。

※ いくぶん専門に入り込んだ話になるので、必ず初回の授業に出て履修の適性を自分で確かめること。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：言語学・英語学の素養を身につける。

個別目標：(1)英語の多様性に関して、ことばの分析を通して理解を深めることができる。

(2)言語接触とそれが生み出す文法的特性について、考察することができる。

▌履修条件

・「講義を聞きながら思考すること」をやってみたいと思う、主体的に取り組む学生を歓迎する。

・前期の授業を受講していることが望ましい。

▌評価基準・方法

評価基準：到達目標の (1) と (2) ができているか、あるいはその到達度。

方法：授業への取り組み 50%(授業内小課題、ディスカッションを含む)、 試験 50%。

▌フィードバック方法

授業内で適宜行う。個別の対応に関しては必要に応じて面談する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （積極的な発言が求められる。授業内で理解したことや考えたことを書く、発表するなどの活動を含む。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

嶋田珠巳 (2016)『英語という選択ーアイルランドの今』岩波書店.

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション：アイルランド語とアイルランド英語、そして言語の「個性」** 授業内容：講義 1 ～ 15 回の流れの概説、アイルランド英語、言語の「個性」に関する導入などを行う 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、教科書第 5 章 I を見ておく 事後学修 2.0hr：履修の決定、理解の整理
2回	**授業テーマ：アイルランド英語とは何か：言語接触と語彙と文法** 授業内容：アイルランド英語の形成、言語接触による文法形成について考察する 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章 I を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：アイルランド英語 be after 完了の意味** 授業内容：be after の形式、意味、用法。have 完了との違いなどを考察する 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章 II を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：アイルランド英語 How long are you here?の意味** 授業内容：アイルランド英語とイギリス英語の違い。アイルランド英語の be の意味を考察する 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章 II を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：アイルランド英語 do be 習慣の意味** 授業内容：do be 習慣の意味と社会的意味について考察する 事前学修 2.0hr：教科書第 4 章と第 5 章 II を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：アイルランド英語における時の表現の全体像** 授業内容：アイルランド英語の時の表現をおさらいし、体系における文法諸形式の位置づけを考察する 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章 II を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：アイルランド英語の'tis... 文** 授業内容：アイルランド英語の'tis... 文と標準英語の「強調構文」を比べ、アイルランド英語の文法特性を考察する 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章 III を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：アイルランド英語における情報構造の表現** 授業内容：アイルランド英語における情報構造の表現についてデータをもとに考察する 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章 III を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：受講生の質問とディスカッション:アイルランド英語の文法** 授業内容：アイルランド英語の文法について、受講生からの質問に答え、必要な議論と考察を行う 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章を見直し、これまでのノートを確認する 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：言語接触が生み出す文法** 授業内容：アイルランドに土着のアイルランド語と後に入ってきた英語の言語接触が生み出す言語の形はどのようなものか 事前学修 2.0hr：教科書第 6 章 I を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

11回	**授業テーマ：アイルランド語の時の表現** 授業内容：アイルランド英語の形成のベースにあるアイルランド語の時の表現を見る 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章 II と時の表現のノートを見直しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
12回	**授業テーマ：アイルランド語の情報構造の表現** 授業内容：アイルランド英語の形成のベースにあるアイルランド語の情報構造の表現を見る 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章 II と情報構造の表現のノートを見直しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：アイルランド語からアイルランド英語への継承** 授業内容：アイルランド英語はアイルランド語から何を引き継いだのかを考察する 事前学修 2.0hr：教科書第 6 章 I を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：受講生の質問とディスカッション：言語接触** 授業内容：言語接触について、受講生からの質問に答え、必要な議論と考察を行う 事前学修 2.0hr：これまでの自分のノートを見直し、要点と疑問点を整理しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：これまでの総括を行う 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章と第 6 章 I を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語学特講Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

鍛治　広真 (かじ　ひろみ)

▌授業の概要

この授業では言語の音を体系的に分析するための音声学と音韻論の基本的な考え方を学びます。主に日本語と英語を考察の対象としますが、特に英語の音と、音を表記する文字との間の関係を考察することで、英語における音の体系の規則を学びます。言語の「音」がどのようなものであるかを、分析的に理解し説明できるようになるための考え方を身につけます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：音声学と音韻論の考え方を理解し、英語の文字と音韻体系の特徴を考察できる。

個別目標：(1) 調音音声学の基本的な考え方を理解し、説明できるようになる。
(2) 音素と音声の関係を理解し、説明できるようになる。
(3) 英語の綴りと発音の関係を理解し、説明できるようになる。

▌履修条件

「英語音声学 a/b」等、音声学に関する科目を履修済みまたは履修中であることが望ましい。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 50%(小課題など)、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （問題演習など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

大名力『英語の発音と綴り―なぜ walk がウォークで、work がワークなのか』中央公論新社

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：音声学と音韻論について導入する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
2回	**授業テーマ：音を作る仕組み** 授業内容：音声器官の構造と声帯の働きを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：日本語の発音** 授業内容：日本語の音声を観察しながら、音声器官の各部の働きを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：音の分類** 授業内容：調音音声学の観点から、音を分類する基準について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：音素と異音** 授業内容：日本語において区別が無視される「音」を考え、音韻論における「音素」の考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：英語の音節** 授業内容：音のまとまりである音節という単位について、その構造と性質を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：文字の種類** 授業内容：言語を表記する文字(英語のアルファベットを含む)の種類にどのようなものがあるかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：各文字の読み方の基本** 授業内容：英語に現れる音声にはどのようなものであるか、アルファベット各文字の音価は何かを学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：単母音字と複母音字** 授業内容：英語に現れる母音の種類と文字の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：弱音節の母音字の発音** 授業内容：アクセントの有無と母音の発音の関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：黙字 e の働き** 授業内容：発音しない e の文字を含む単語の発音について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理

12回	**授業テーマ：複数の読み方を持つ文字** 授業内容：”use”の”s”/s, z/のように複数の読みを持つ文字とその由来について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：黙字とその歴史的由来** 授業内容：綴りには含まれるが発音しない文字の由来と、英語の音声の変化について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：綴りの表音性と表形態素性** 授業内容：英語の綴りと音の結びつき、綴りと意味の結びつきについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：まとめと振り返り** 授業内容：今学期の内容を振り返り、補足する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

英語学特講Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

鍛治　広真 (かじ　ひろみ)

▌授業の概要

この授業では個別の言語に現れる具体的な「音声」と抽象的な単位としての「音」の違いを捉えるための音韻論を学びます。例えば、英語で区別される [r][l] の違いは日本語では無視できますが、これは英語と日本語の「音韻体系」が異なるためです。言語ごとに異なる抽象的な音の体系を分析するための考え方を学びます。(発音・聞き取りの実践はこの授業ではなく「英語音声学 a/b」の授業で扱います)

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：音韻論の基本的な考え方を理解し、英語と日本語の音韻的な特徴の違いを知る。

個別目標：(1) 音声学と音韻論の考え方の違いを理解する
(2) 日英語の音韻体系の違いについて基礎的な知識を身につける
(3) 日本語または英語の現象を音韻論的観点から考察することができる

▌履修条件

履修の条件は設けないが、英語音声学を履修済み(または履修中)であると理解の助けになる。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 50%(小課題、ディスカッションなど)、試験 50 %

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業および manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （問題演習など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

菅原真理子(編)『朝倉日英対照言語学シリーズ　音韻論』朝倉書店

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：音声学と音韻論について導入する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
2回	**授業テーマ：音声器官と音声記号** 授業内容：資料を読み音声器官と IPA（国際音声字母)および音声を記述する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3回	**授業テーマ：英語の子音の音声学的特徴** 授業内容：資料を読み英語の子音の音声学的特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4回	**授業テーマ：英語の母音の音声学的特徴** 授業内容：資料を読み英語の母音の音声学的特徴について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5回	**授業テーマ：音声学的記述と音韻論的記述** 授業内容：資料を読み音声学的記述と音韻論的記述のそれぞれの特徴と違いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
6回	**授業テーマ：音素と異音** 授業内容：資料を読み音素と異音の関係について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
7回	**授業テーマ：日英語の音素体系の違い** 授業内容：資料を読み日本語と英語の音声体系の違いについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
8回	**授業テーマ：日本語の音節とモーラ** 授業内容：資料を読み日本語の音節とモーラについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：英語の音節とモーラ** 授業内容：資料を読み英語の音節とモーラについて学ぶ。日本語との違いを考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：ピッチアクセント** 授業内容：資料を読みピッチアクセントと日本語のアクセントの特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：ストレスアクセント** 授業内容：資料を読みストレスアクセントと英語のアクセントの特徴を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理

12回	**授業テーマ：品詞とアクセント** 授業内容：資料を読み品詞とアクセント付与規則の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：派生語のアクセント** 授業内容：資料を読み接尾辞付加による語形成とアクセント付与規則の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：複合語のアクセント** 授業内容：資料を読み複合語とアクセント付与規則の関係を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：今学期の内容を振り返り、補足する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理

文学特講Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

佐藤　亨（さとう　とおる）

▌授業の概要

アメリカの小説を読む。教材はシャーウッド・アンダソンの『ワインズバーグ・オハイオ』(1919 年)である。本作はオハイオ州ワインズバーグという作者が設定した架空の町に住むさまざまな人間の悩み、葛藤、考えなどを描いた傑作である。短編小説の寄せ集めのような形で全体が成立している小説で、しかも一つ一つが粒ぞろいの作品群である。本作品はアンダソンの代表作であり、ヘミングウェイ、フォークナー、ヘンリー・ミラーなど後続の作家たちに影響を与えた。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：(1)比較的やさしい英語で書かれているので、一文、一文、文章の構造を踏まえて読んでいきたい。そしてそのことを積み上げることで小説を読み切ったという達成感を獲得したい。(2)基本的な英語の構文、単語をおぼえる。(3)本小説を読むことがアメリカの文化、アメリカ人の考え方を知る機会にしたい。

個別目標：授業で読んだ作品ごとに自分の考えを 1,500 字程度でまとめる。

▌履修条件

積極的に授業に取り組む学生を歓迎する。 辞書は必ず持参すること。

▌評価基準・方法

リアクションペーパー(20 %)、単語小テスト(20 %)、期末試験(60 %)から評価する。 原則として、8 割の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業で書いてもらうリアクションペーパーのフィードバックは授業中に行うことで双方向の授業を目指す。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

アンダソン『ワインズバーグ・オハイオ』西川正身解説注釈、研究社

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：アメリカ文学を読むということ** 授業内容：アメリカ文学はイギリス文学とどこが違うのか。そして、日本の文学に対してどのような影響を与えてきたか。 シャーウッド・アンダソンと『ワインズバーグ・オハイオ』の紹介。 事前学修 2.0hr：シャーウッド・アンダソンと『ワインズバーグ・オハイオ』について調べてくる 事後学修 2.0hr：「アメリカ文学とは何か」という問題を、授業の内容を受けて自分で再考する。
2回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”Hands”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
3回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”Hands”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
4回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”Hands”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
5回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む・単語試験** 授業内容：”Mother”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
6回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”Mother”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
7回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”Mother”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
8回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む・単語試験** 授業内容：”The Philosopher”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
9回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”The Philosopher”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
10回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”The Philosopher”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
11回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む・単語試験** 授業内容：”Adventure”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。

12回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”Adventure”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
13回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”Adventure”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
14回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：前期読んだ教材の復習。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：不明箇所のチェック、確認。
15回	**授業テーマ：前期試験** 授業内容：前期試験 事前学修 2.0hr：試験範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：不明箇所のチェック、確認。

文学特講Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

佐藤　亨（さとう　とおる）

▌授業の概要

アメリカの小説を読む。教材はシャーウッド・アンダソンの『ワインズバーグ・オハイオ』(1919 年)である。本作はオハイオ州ワインズバーグという作者が設定した架空の町に住むさまざまな人間の悩み、葛藤、考えなどを描いた傑作である。短編小説の寄せ集めのような形で全体が成立している小説で、しかも一つ一つが粒ぞろいの作品群である。本作品はアンダソンの代表作であり、ヘミングウェイ、フォークナー、ヘンリー・ミラーなど後続の作家たちに影響を与えた。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：(1)比較的やさしい英語で書かれているので、一文、一文、文章の構造を踏まえて読んでいきたい。そしてそのことを積み上げることで小説を読み切ったという達成感を獲得したい。(2)基本的な英語の構文、単語をおぼえる。(3)本小説を読むことがアメリカの文化、アメリカ人の考え方を知る機会にしたい。

個別目標：授業で読んだ作品ごとに自分の考えを 1,500 字程度でまとめる。

▌履修条件

積極的に授業に取り組む学生を歓迎する。 辞書は必ず持参すること。

▌評価基準・方法

リアクションペーパー(20 %)、単語小テスト(20 %)、期末試験(60 %)から評価する。 原則として、8 割の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業で書いてもらうリアクションペーパーのフィードバックは授業中に行うことで双方向の授業を目指す。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

アンダソン『ワインズバーグ・オハイオ』西川正身解説注釈、研究社

▌参考書

授業で随時紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：アメリカ文学を読むということ** 授業内容：アメリカ文学はイギリス文学とどこが違うのか。そして、日本の文学に対してどのような影響を与えてきたか。 シャーウッド・アンダソンと『ワインズバーグ・オハイオ』の紹介。 事前学修 2.0hr：シャーウッド・アンダソンと『ワインズバーグ・オハイオ』について調べてくる 事後学修 2.0hr：「アメリカ文学とは何か」という問題を、授業の内容を受けて自分で再考する。
2回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”The Strength of God”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
3回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”The Strength of God”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
4回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”The Strength of God”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
5回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む・単語試験** 授業内容：”The Teacher”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
6回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”The Teacher”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
7回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”The Teacher”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
8回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む・単語試験** 授業内容：”The Untold Lie”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
9回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”The Untold Lie”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
10回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”The Untold Lie”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
11回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む・単語試験** 授業内容：”Departure”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。

12回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”Departure”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
13回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：”Departure”を読む。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：授業範囲内の単語を覚える。
14回	**授業テーマ：アメリカの小説を読む** 授業内容：後期読んだ教材の復習。 事前学修 2.0hr：授業範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：不明箇所のチェック、確認。
15回	**授業テーマ：後期試験** 授業内容：後期試験 事前学修 2.0hr：試験範囲を読んでくる。 事後学修 2.0hr：不明箇所のチェック、確認。

文学特講Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

この授業では、幅広い文学テクストを読み、批評するための知識と技術を身につけることを目指す。そのために、世界文学というアイディアを基に編まれたアンソロジー(選集)を読み、教員や他の学生とのディスカッションを通じて自らの読み方を他人に伝えるための方法を磨く。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：幅広い文学テクストを読み、批評するための知識と技術を身につける。
個別目標：1. 具体的な作品を事例に世界文学の概念を説明できる。
2. テクストに即して自らの意見を論理的に主張できる。
3. テクストのネットワークの調査と形成を実施できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

平常点(予習の出来やディスカッションでの授業参加) 50%、確認テスト 50%および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （批評文の作成など）

▌教科書

秋草俊一郎ほか編『世界文学アンソロジー』(三省堂、2019)
上記の教科書は教科書販売期間中に購入すること。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。
2回	**授業テーマ：言葉** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における言葉について考える。 事前学修 2.0hr：ディキンスン「ことば」、李『由熙』(抄)、カシューア「ヘルツル真夜中に消える」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 1、コラム「翻訳」を読む。
3回	**授業テーマ：自己** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における自己について考える。 事前学修 2.0hr：ペソーア「わたしは逃亡者」、アンデルセン「影法師」、アディーチェ「なにかが首のまわりに」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 2、コラム「アダプテーション」を読む。
4回	**授業テーマ：孤独** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における孤独について考える。 事前学修 2.0hr：ファッロフザード「あの日々」、ジョイス「土くれ」、魯迅「狂人日記」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 3、コラム「オリエンタリズム」を読む。
5回	**授業テーマ：家族** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における家族について考える。 事前学修 2.0hr：石垣「子供」、プレームチャンド「私の兄さん」、アチェベ「終わりの始まり」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 4、コラム「自伝文学」を読む。
6回	**授業テーマ：戦争** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における戦争について考える。 事前学修 2.0hr：ツェラーン「死のフーガ」、バーベリ『騎兵隊』(抄)、コルタサル「グラフィティ」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 5、コラム「移民・亡命」を読む。
7回	**授業テーマ：環境** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における環境について考える。 事前学修 2.0hr：ヒメネス「わたしはよく知っている」、「鳥達は何処から来たか知っている」、石牟礼『神々の村』(抄)、ヴォルフ『故障』(抄)を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 6、コラム「ノーベル文学賞」を読む。
8回	**授業テーマ：愛** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における愛について考える。 事前学修 2.0hr：コレット「ジタネット」、カルヴィーノ「ある夫婦の冒険」、莫言「白い犬とブランコ」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 7、コラム「魔術的リアリズム」を読む。
9回	**授業テーマ：悪** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における悪について考える。 事前学修 2.0hr：カフカ「夏の暑い日のこと……」、ネスィン「神の恵みがありますように」、宮沢「毒もみの好きな署長さん」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 8、コラム「メタモルフォーゼ」を読む。
10回	**授業テーマ：生死** 授業内容：ディスカッションを通じて、文学と／における生死について考える。 事前学修 2.0hr：トマス「あのおだやかな夜におとなしく入ってはいけない」、シュペルヴィエル「沖合の少女」、ガルシア＝マルケス「世界でいちばん美しい溺れびと」を読む。 事後学修 2.0hr：読書案内 9、コラム「日本における世界文学」を読む。
11回	**授業テーマ：批評(1)テクストを読む** 授業内容：批評文を書くために文学テクストを読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。

12回	**授業テーマ：批評(2)比較テクストを読む** 授業内容：批評文を書くために文学テクスト(比較テクスト)を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
13回	**授業テーマ：批評(3)短めの批評文を読む** 授業内容：批評文を書くために文学テクストについての短めの批評文を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
14回	**授業テーマ：批評(4)長めの批評文を読む** 授業内容：批評文を書くために文学テクストについての長めの批評文を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：これまでの授業を踏まえて全体のまとめをする。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業全体の内容を振り返る。

文学特講Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

この授業では、英語で書かれた文学テクストのなかで、特定の時代や人物やジャンルなどを調査し論じるための知識と技術を身につけることを目指す。そのために、初期近代イギリス文学で大きな潮流を形成した形而上派詩（Metaphysical poetry）を概観しながら、その特徴を知ると同時に詩の精読の訓練をする。各回では、ジョン・ダン、ジョージ・ハーバート、アンドリュー・マーヴェルなどの代表的な詩人が取り上げられ、授業は講義と学生によるコメントへのフィードバックとを組み合わせた形で進行する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：4）

一般目標：英語で書かれた文学テクストのなかで、特定の時代や人物やジャンルなどを調査し論じるための知識と技術を身につける。

個別目標：1. 具体的な作品と共に形而上派詩の特徴を説明できる。
2. 英語で書かれた詩を語学的かつ批評的に精読できる。
3. 特定の作家について論じるための方法を実践できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

平常点（コメントシートの提出など）50%、確認テスト 50%の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に判断する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （コメントシート、最終課題の作成など）

▌教科書

使用しない。必要なテクストは配布する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。
2回	**授業テーマ：ジョン・ダンの恋愛詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、ジョン・ダンの恋愛詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
3回	**授業テーマ：ジョン・ダンの宗教詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、ジョン・ダンの宗教詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
4回	**授業テーマ：エドワード・ハーバートの恋愛詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、エドワード・ハーバートの恋愛詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
5回	**授業テーマ：ジョージ・ハーバートの宗教詩（1）図形詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、ジョージ・ハーバートの宗教詩（二篇の図形詩）を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
6回	**授業テーマ：ジョージ・ハーバートの宗教詩（2）その他の抒情詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、ジョージ・ハーバートの宗教詩（その他の抒情詩）を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
7回	**授業テーマ：トマス・ケアリーの恋愛詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、トマス・ケアリーの恋愛詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
8回	**授業テーマ：リチャード・クラショーの宗教詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、リチャード・クラショーの宗教詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
9回	**授業テーマ：エイブラハム・カウリーの恋愛詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、エイブラハム・カウリーの恋愛詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
10回	**授業テーマ：アンドリュー・マーヴェルの恋愛詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、アンドリュー・マーヴェルの恋愛詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
11回	**授業テーマ：アンドリュー・マーヴェルの自然詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、アンドリュー・マーヴェルの自然詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。

12回	**授業テーマ：ヘンリー・ヴォーンの宗教詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、ヘンリー・ヴォーンの宗教詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
13回	**授業テーマ：キャサリン・フィリップスの友情詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、キャサリン・フィリップスの友情詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
14回	**授業テーマ：トマス・トラハーンの宗教詩** 授業内容：講義とディスカッションを通じて、トマス・トラハーンの宗教詩を精読する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。
15回	**授業テーマ：全体のまとめ** 授業内容：これまでの授業を踏まえて全体のまとめをする。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内の議論を振り返る。

英語教育特講Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

英語コミュニケーション能力を測定するテストを開発するための理論を学び、さらにそれを開発・改良するための実践的知識を得る。コミュニケーション能力、言語テストの信頼性、妥当性という概念を理解するにあたり、外部試験や英語検定教科書等からの具体例を用いてグループ、クラスでディスカッションを行い、実践との関連性を重視して授業を展開する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：英米語専攻 4）

一般目標：コミュニケーション能力という概念を理解する。
言語テストの種類と目的を理解する。
言語テストの信頼性・妥当性・実用性・波及効果およびこれらの相互関係を理解する。
テストの開発と改良のための指針を理解する。
以上を理解し、中・高等学校の英語科担当教員として心得ておくべきテストの基礎知識を総合的に身に付ける。
個別目標：信頼性・妥当性・実用性・波及効果の観点から言語テストを分析することができる。
言語テストの開発と改良に必要な統計分析ができる。

▌履修条件

中・高校生が受けるテストの模範解答を書ける程度の英語力があること。
本科目を修得したのち、続けて英語教育特講 I-b を履修することが望ましい。

▌評価基準・方法

課題 50%、試験 50%の結果に基づき総合的に評価する。なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、遅刻・欠席は減点する。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

笠原究・佐藤臨太郎(2024)『英語テスト作成入門(改訂新板)』金星堂

▌参考書

若林俊輔・根岸雅史(1993)『無責任なテストが落ちこぼれを作る』大修館
アーサー・ヒューズ 著　静哲人 訳(2003)『英語のテストはこう作る』研究社
小泉利恵・印南洋・深澤真(2017)『実例でわかる英語テスト作成ガイド』大修館書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：テストが測定する力とは何か** 授業内容：測定とは何か、テストとは何か、どんな力を測定するのかなどについて考察する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：TEAP リーディングテストの解答を書く。
2回	**授業テーマ：言語能力の構成要素** 授業内容：測定しようとする言語能力とは何か、どのような構成要素が考えられるかについて考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
3回	**授業テーマ：言語テストの妥当性** 授業内容：妥当性とはどういう概念か、妥当性の高いテストとはどういうものか等について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書・参考書を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
4回	**授業テーマ：言語テストの信頼性** 授業内容：信頼性とはどういう概念か、信頼性の高いテストとはどういうものか等について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書・参考書を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
5回	**授業テーマ：言語テストの種類と用途** 授業内容：様々な種類の言語テストとその用途について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
6回	**授業テーマ：言語テストの理論的課題：テストの形式に表れる言語学習観** 授業内容：言語テストの理論的課題の一つであるテストの形式に表れる言語学習観について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
7回	**授業テーマ：リーディング「総合問題」の妥当性** 授業内容：リーディング「総合問題」の妥当性について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：リーディングテストの解答を書く。 事後学修 2.0hr：部分的測定テストを統合的測定テストに作りかえる課題を行う。
8回	**授業テーマ：部分的測定テストと総合的測定テスト** 授業内容：部分的測定テストと総合的測定テストのそれぞれの目的と活用について考察する。 事前学修 2.0hr：２種類のクローズテストを解く。 事後学修 2.0hr：部分的測定テストと総合的測定テストに関する課題を行う。

9回	**授業テーマ：公立高校入試問題の検討** 授業内容：実際の公立高校入試問題を入手して、検証する。そして、テストの内容と活用について考察する。 事前学修 2.0hr：公立高校入試問題の解答を書く。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
10回	**授業テーマ：理解様式応答テスト項目作成の指針** 授業内容：理解様式応答テスト項目作成の指針についてさまざまな具体例を挙げながら考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
11回	**授業テーマ：表現様式応答テスト項目作成の指針** 授業内容：表現様式応答テスト項目作成の指針について様々な具体例を挙げながら考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
12回	**授業テーマ：ライティング・テストの採点：総合的方法と分析的方法** 授業内容：ライティング・テストの採点である総合的方法と分析的方法の違いについて理解を深める。具体例を挙げながら考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
13回	**授業テーマ：NRT のテスト項目の統計：難易度分析と弁別力分析** 授業内容：NRT のテスト項目の統計の一部である難易度分析と弁別力分析について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
14回	**授業テーマ：NRT の開発と改良：錯乱肢有効度分析** 授業内容：NRT の開発と改良をするための錯乱肢有効度分析について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：前期の学びについて改めて全体をレビューしながら、重要項目について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の復習問題を解く。 事後学修 2.0hr：専門用語の理解を確認する。

英語教育特講Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

英語教育特講 I-a で学んだ理論を踏まえ、中・高等学校で実施する到達度テストを作成する実践力を身につける。実際にテストを作成し、グループおよびクラスで検討する演習を中心とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：英米語専攻 4）

一般目標：テストの目的に応じて妥当性・信頼性のバランスを考慮し、学習者への望ましい波及効果が期待できる到達度テストを作成することができる。
　　テストの結果を報告するための基本的な統計知識を身につけ、活用することができる。
個別目標：中・高等学校で実施するテストを、その目的に応じて作成することができる。
　　エクセルを用いてテスト結果を統計的に処理し、記述・解釈することができる。

▌履修条件

英語教育特講 I-a を修得していることが望ましい。

▌評価基準・方法

課題 70%、小テスト 30% の結果に基づき総合的に評価する。なお、4/5 以上の出席を評価の前提条件とし、遅刻・欠席は減点する。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

笠原究・佐藤臨太郎(2024)『英語テスト作成入門(改訂新版)』金星堂(＊前期と同じ)

▌参考書

小泉利恵・印南洋・深澤真(2017)『実例でわかる英語テスト作成ガイド』大修館書店
松沢伸二(2002)『英語教師のための新しい評価法』大修館
アーサー・ヒューズ 著　静哲人 訳 (2003)『英語のテストはこう作る』研究社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：文法テストの作成** 授業内容：中学校・高校で求められる英語の文法能力について考察する。それに基づいて適切な文法テストの作成について考察する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
2回	**授業テーマ：文法テストの検討** 授業内容：中学校・高校で求められる文法テスト作成について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：文法テストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバックに基づき、自作の文法テストを修正する。
3回	**授業テーマ：リーディング・テスト(１)必要な情報の読み取りを問うテスト** 授業内容：リーディング・テストにおいて必要な情報の読み取りを問う問題項目の作成について考察する。 事前学修 2.0hr：Cambridge ESOL Exam のリーディング問題を解く。 事後学修 2.0hr：Cambridge ESOL Exam のリーディング問題を解く。
4回	**授業テーマ：リーディング・テスト(２)概要・要点の把握を問うテスト** 授業内容：リーディング・テストにおいて概要・要点の把握を問う問題項目の作成について考察する。 事前学修 2.0hr：Cambridge ESOL Exam のリーディング問題を解く。 事後学修 2.0hr：Cambridge ESOL Exam のリーディング問題を解く。
5回	**授業テーマ：中学校における音読テスト** 授業内容：中学校における音読の意義と方法、そして、テストする際の留意点について考察する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：ワークシートで授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
6回	**授業テーマ：高校における音読テスト** 授業内容：高校における音読の意義と方法、そして、テストする際の留意点について考察する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：ワークシートで授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
7回	**授業テーマ：話すこと(発表)のテストの作成** 授業内容：スピーキング力とは何か、「発表する能力」を測定するテストとは何か等について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：ワークシートで授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
8回	**授業テーマ：話すこと(発表)のテストの検討** 授業内容：「話すこと(発表)」のテストの種類と評価について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：話すこと(発表)のテストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバックに基づき、自作のテストを修正する。
9回	**授業テーマ：話すこと(やりとり)のテスト** 授業内容：「話すこと(やりとり)」のテストの種類と評価について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：ワークシートで授業内容を復習し、疑問点を書いておく。
10回	**授業テーマ：単語テストの作成** 授業内容：中学校・高校で求められる英語の語彙力とは何かについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：配布資料を読み、授業内容を復習し、疑問点を書いておく。

11回	**授業テーマ：単語テストの検討** 授業内容：中学校・高校における英語の語彙テストについて考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。。 事前学修 2.0hr：単語テストを作成する。 事後学修 2.0hr：授業でのフィードバックに基づき、自作の単語テストを修正する。
12回	**授業テーマ：テスト結果の記述** 授業内容：平均値・中央値・最頻値などについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の復習問題を解く。
13回	**授業テーマ：エクセルを用いたテスト結果の記述** 授業内容：正答率・識別力・選択率などについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の復習問題を解く。
14回	**授業テーマ：テストの得点の解釈：標準化された得点の求め方** 授業内容：範囲・分散・標準偏差・偏差値などについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：教科書の復習問題を解く。
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：後期の授業内容について改めて全体をリビューして、重要ポイントについて振り返る。 事前学修 2.0hr：教科書の復習問題を解く。 事後学修 2.0hr：専門用語の理解を確認する。

特殊研究 I

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位

単位認定科目

▌授業の概要

英米語学科の単位認定科目です。海外留学先等で履修した科目に対応する内容の科目が本学科の専門科目にないような場合、この科目により単位の認定を行うことがあります。同種の科目として、特殊研究Ⅱがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：英米語専攻 3）

一般目標：将来を見据え、積極的に社会とのかかわりを持ちながら、教室外での学びを奨励するために設定された科目です。
日頃のクラスメートとは違う人々とかかわりをもちながら、周囲から学び取り、自らの目標を長期的な視野に基づいて設定できるようになる。
社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え行動していく積極的な力を身につける。

個別目標：積極的に目標を自ら定め、実行し、達成するまで努力を継続できる力をはぐくむ。
将来に対して確かな手ごたえを感じ、自己成長につなげる。

▌履修条件

特にありません。
詳細については、英米語学科主任により別途指示します。

▌評価基準・方法

単位認定方法などの詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （海外でのアクティブラーニングの状況を考慮します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （海外大学での授業での PC 利用状況を考慮します）

▌教科書

とくにありません

▌参考書

参考資料が必要な時は相談してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

授業内容

詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

事前学修

希望する研修については教員と相談をしたり、自ら資料を収集するなどして積極的に研修内容を事前把握してください。

事後学修

研修内容について、その内容を報告するなどし、単位認定が可能であるかどうか判定されます。

特殊研究Ⅱ

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位

単位認定科目

▌授業の概要

英米語学科の単位認定科目です。海外留学先等で履修した科目に対応する内容の科目が本学科の専門科目にないような場合、この科目により単位の認定を行うことがあります。同種の科目として、特殊研究Ⅰがあります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：英米語専攻 3）

一般目標：積極的に社会とのかかわりを持ちながら、教室外での学びを奨励するために設定された科目です。
日頃のクラスメートとは違う人々とかかわりをもちながら、周囲から学び取り、自らの目標を長期的な視野に基づいて設定できるようになる。
社会の変化に柔軟に対応し、自ら考え、行動していく積極性を身につける。

個別目標：積極的に目標を自ら定め、実行し、達成するまであきらめない気持ちを継続する力を身につける。
将来に対して確かな手ごたえを感じ、積極的な就職活動にも結び付けることができる自信と実力を身につける。

▌履修条件

特にありません。
詳細については、英米語学科主任により別途指示します。

▌評価基準・方法

単位認定方法などの詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （海外でのアクティブラーニングの状況を考慮します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （海外大学での授業での PC 利用状況を考慮します）

▌教科書

とくにありません

▌参考書

参考資料が必要な時は相談してください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

授業内容

海外大学での学習を通して、学んだ科目について英米語学科の単位として積極的に認定します。

事前学修

希望する研修については教員と相談をしたり、自ら資料を収集するなどして積極的に研修内容を事前把握してください。

事後学修

研修内容について、その内容を報告するなどしながら、単位認定が可能であるかどうか判定がなされます。

海外実地研修

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

海外で行われた特定の分野における集中研修に対して単位の認定を行います。
集中研修の内容としては、語学中心の研修、ビジネス中心の研修等があります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：英米語専攻 1/3）

一般目標：将来を見据え、積極的に社会とのかかわりを持ちながら、教室外での学びを奨励するために設定された科目です。日ごろのクラスメートとは違う人々とかかわりを持ちながら、周囲から学びとり、自らの目標を長期的な視野に基づいて設定できるようになります。社会の変化に柔軟に対応できる積極性を身につけ実社会で通用する能力を涵養します。

個別目標：積極的に目標を自ら定め実行し達成感を持つことで、しっかりとした就職へ向けての意識やさらなる学習意欲を高めることができる。目標を自ら定めて実行することができるようになる。

▌履修条件

特にありません。
詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

▌評価基準・方法

単位認定方法等の詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （海外でのアクティブラーニングの状況を考慮します）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （海外大学での授業での PC 利用状況を考慮します）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

参考資料が必要な方は個別に申し出てください。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

詳細については、英米語学科主任より別途指示します。

授業内容

研修先での活動実施内容について取りまとめておくなど資料を示すことができるようにしておいてください。

事前学修

希望する研修については教員と相談をしたり、自ら資料を収集するなどして積極的に研修内容を事前把握してください。

事後学修

研修内容について、その内容の報告を受けたうえで、単位認定が可能であるかどうか判定致します。

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

鍛治　広真（かじ　ひろみ）

▌授業の概要

4 年次に言語に関わるテーマの卒業論文を執筆することを目指し、そのために必要な準備をする。文献を読んで言語現象を分析する方法や、どのような領域が対象になりうるかという例を学ぶ。授業では文献の内容に関してディスカッションを行う。また、履修者は自分の関心のあるテーマについて授業内で発表を行う機会がある。学期末に書くレポートのテーマとアウトラインについても、授業内で発表し、よりよくする方法を全員で検討する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：言語学的な研究対象や分析方法について基本的な知識を習得し、研究テーマを見つける。

個別目標：(1) 言語について興味をもち、探求するテーマを履修者自身の関心から見つけることができる
(2) テーマについて文献を読み、考察することができる
(3) 考えを口頭および文章で効果的に伝えることができる

▌履修条件

事前に担当教員と面談し、履修の合意を得ること。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 50%（発表、ディスカッションなど）、レポート 50 %。

▌フィードバック方法

課題等に対するフィードバックは授業、個別面談および manaba を通りして行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集および発表資料、レポート等の作成に PC を使用する。）

▌教科書

使用しない

▌参考書

新田誠吾『はじめてでも、ふたたびでも、これならできる！　レポート・論文のまとめ方』すばる舎
河野 哲也『レポート・論文の書き方入門』慶應義塾大学出版会
石井一成『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ゼミの進め方を説明する。学生発表の日程を決定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：履修の決定	16 回	**授業テーマ：後期レポートテーマの検討** 授業内容：学年末レポートのテーマ案を発表し、ディスカッションする。 事前学修 2.0hr：レポートテーマを考える 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
2 回	**授業テーマ：見本論文をよむ** 授業内容：見本論文を読み、言語学の論文の書き方を分析する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	17 回	**授業テーマ：文献購読(分析方法) (1)** 授業内容：文献を読み言語データの分析方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
3 回	**授業テーマ：文献購読(言語学概論) (1)** 授業内容：文献を読み言語学の研究対象・研究方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：自分のテーマの検討	18 回	**授業テーマ：文献購読(分析方法) (2)** 授業内容：文献を読み言語データの分析方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
4 回	**授業テーマ：文献購読(言語学概論) (2)** 授業内容：文献を読み言語学の研究対象・研究方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：自分のテーマの検討	19 回	**授業テーマ：文献購読(分析方法) (3)** 授業内容：文献を読み言語データの分析方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
5 回	**授業テーマ：文献購読(言語学概論) (3)** 授業内容：文献を読み言語学の研究対象・研究方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：自分のテーマの検討	20 回	**授業テーマ：レポートテーマの発表 (1)** 授業内容：レポートのテーマを発表し、発表内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
6 回	**授業テーマ：テーマ報告とディスカッション** 授業内容：受講者の研究テーマを発表し、発表内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：テーマを考え、発表資料を作成する 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	21 回	**授業テーマ：レポートテーマの発表 (2)** 授業内容：レポートのテーマを発表し、発表内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
7 回	**授業テーマ：レポートの構造と書き方** 授業内容：レポートの構造と書式を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	22 回	**授業テーマ：引用の技法** 授業内容：レポートにおける文献の引用の仕方と参考文献リストの書き方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：参考文献リストの作成
8 回	**授業テーマ：資料の探し方と管理** 授業内容：レポート執筆のための文献資料を探し方と管理方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。探したい資料の種類を考える 事後学修 2.0hr：資料探しを実践する	23 回	**授業テーマ：論文の構造** 授業内容：論文の構造を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理
9 回	**授業テーマ：文献リストの作成と検討** 授業内容：レポート執筆のための文献リストを作成し、作成したリストを受講者同士で検討する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：文献リストの改訂	24 回	**授業テーマ：文献報告 (1)** 授業内容：レポートのための文献の内容を報告し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
10 回	**授業テーマ：レジュメ、レポート作成のポイント** 授業内容：わかりやすい発表レジュメやレポートを作成するための、体裁および内容両面のポイントを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：発表資料の作成を実践する	25 回	**授業テーマ：文献報告 (2)** 授業内容：レポートのための文献の内容を報告し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理

11回	**授業テーマ：レポートテーマの発表** 授業内容：レポートのテーマを発表し、発表内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	26回	**授業テーマ：レポートアウトラインの検討 (1)** 授業内容：レポートのアウトラインを作成し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
12回	**授業テーマ：文献収集と報告** 授業内容：レポートのための文献資料を収集し、文献内容を報告する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：文献資料の整理	27回	**授業テーマ：レポートアウトラインの検討 (2)** 授業内容：レポートのアウトラインを作成し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
13回	**授業テーマ：文献報告 (1)** 授業内容：文献資料の内容を要約し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	28回	**授業テーマ：レポート第 1 稿の検討 (1)** 授業内容：レポートの第 1 稿の内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
14回	**授業テーマ：文献報告 (2)** 授業内容：文献資料の内容を要約し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	29回	**授業テーマ：レポート第 1 稿の検討 (2)** 授業内容：レポートの第 1 稿の内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
15回	**授業テーマ：前半のまとめ** 授業内容：前半の授業内容を振り返り、補足をする。レポートの執筆計画を報告する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：理解の整理	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：授業内容を振り返り、補足をする。レポートの改訂計画を報告する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：レポートの準備

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

本講座では、教員採用試験の英語面接を念頭に置いて、社会的・教育的話題について自分の意見を英語で適切に表現できるようにする。また、言語習得にはインプットだけでなくアウトプットも必要だと考える「インプット・インタラクションモデル」を支持し、言語活動を取入れます。言語活動を通して、英語コミュニケーション力を向上させます。また、教職履修者は将来自分のクラスで言語活動を行うことができるように教員の視点からも学びます。プレゼンテーションやディスカッションなどのアウトプット活動も行います。さらに、動機づけ理論についても文献を読んだりして理論を学びながら心理的側面を分析し、最後に研究発表とレポート作成を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：教員採用試験の英語面接や英検準 1 級の 2 次試験で要求されるレベルの英語コミュニケーション能力を身につける。そして、生徒のやる気を引き出す英語授業という観点に基づきつつ、主体的・対話的で深い学びを導く教育について理解を深め、授業指導に生かすことができる。

個別目標：1．社会的・教育的な話題に関して、自分の意見を話したり書いたりしディスカッションしたりできる。
2．動機づけに関して独自におこなった研究に関して深い理解を持ち、説明することができる。
3．主体的・対話的で深い学びについて自分の意見を持ち、授業指導において工夫をすることができる。

▌履修条件

教職課程履修者のみ。
英語力向上のために常に努力すること。

▌評価基準・方法

発表５０%、レポート３０%、授業への積極的な態度や発言２０%の総合評価
５分の４以上の出席を前提条件とし、欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

最初の授業で連絡します。

▌参考書

ゾルタン・ドルニェイ動機づけを高める英語指導ストラテジー３５

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション(授業の説明、履修上の注意など)** 授業内容：授業の概要と今後のスケジュールについて理解する。ゼミ担当教員と他のゼミ生について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書にざっと目を通しておく。 事後学修 2.0hr：課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：Introduction to the second half of the course** 授業内容：後期の講義内容について確認する。夏休み期間中の研究について各自発表する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
2回	**授業テーマ：Self introduction activities** 授業内容：英語による自己紹介活動を行う。ゼミ担当教員とゼミ生同士の研究や興味関心について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	17回	**授業テーマ：Paper debate 2** 授業内容：前期に一度実施した Paper debate について、再度体験しながら学校現場での活用について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
3回	**授業テーマ：Talks about social topics** 授業内容：さまざま社会的話題について英語で自分の意見を述べる。また、他者の意見を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	18回	**授業テーマ：Lecture: motivation theories 1** 授業内容：動機づけ理論について考察する。第二言語習得における動機づけ理論、特に統合的動機付けと道具的動機付け、そして国際的志向性について考察する。 事前学修 2.0hr：ハンドアウトを読む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
4回	**授業テーマ：Talks about memorable event in the past** 授業内容：過去における思い出深い出来事に関して英語で発表する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	19回	**授業テーマ：Lecture: motivation theories 2** 授業内容：動機づけ理論について考察する。教育心理学における動機づけ理論、特に自己決定理論について考察する。 事前学修 2.0hr：ハンドアウトを読む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
5回	**授業テーマ：Dictogloss 1** 授業内容：Dictogloss を実際に体験し、その効果について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	20回	**授業テーマ：Lecture: motivation theories 3** 授業内容：動機づけ理論について考察する。第二言語習得における動機づけ理論、特に第二言語動機付けセルフシステムについて考察する。 事前学修 2.0hr：ハンドアウトを読む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
6回	**授業テーマ：Dictogloss 2** 授業内容：さらに Dictogloss を実際に体験し、その効果について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	21回	**授業テーマ：Short debate 1** 授業内容：Debate の簡易版を実際に体験し、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
7回	**授業テーマ：Presentation about a favorite movie, song or book** 授業内容：各自用意してきた内容についてプレゼンテーションをする。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	22回	**授業テーマ：Short debate 2** 授業内容：前回に引き続き、Debate の簡易版を実際に体験し、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
8回	**授業テーマ：Presentation 2** 授業内容：前時に発表できていないゼミ生はプレゼンテーションをする。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	23回	**授業テーマ：Discussion 1** 授業内容：日常的話題について実際に英語で Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。

9回	**授業テーマ：Jigsaw reading 1** 授業内容：Jigsaw reading を実際に体験し、その効果について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	24回	**授業テーマ：Discussion 2** 授業内容：社会的話題について実際に英語で Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
10回	**授業テーマ：Jigsaw reading 2** 授業内容：さらに Jigsaw reading を実際に体験し、その効果について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	25回	**授業テーマ：Giving suggestions 1** 授業内容：助言や提言をする場面設定の中で実際にそれらをおこなう体験し、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
11回	**授業テーマ：Talks about the summer vaction** 授業内容：小学校や中学校、高校の授業を意識した、夏休みの予定についてやり取りする言語活動について考察する。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	26回	**授業テーマ：Giving suggestions 2** 授業内容：前回に引き続き、助言や提言をする場面設定の中で実際にそれらをおこなう体験し、学校現場での活用について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
12回	**授業テーマ：Story retelling 1** 授業内容：小学校や中学校、高校の授業を意識した、読んだ内容について相手に伝える言語活動について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	27回	**授業テーマ：Presentation about a research project 1** 授業内容：講座を通して興味を持ったトピックについて、また次年度の卒業研究のスケジュールについて各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：担当者は発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
13回	**授業テーマ：Story retelling 2** 授業内容：さらに、小学校や中学校、高校の授業を意識した、読んだ内容について相手に伝える言語活動について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	28回	**授業テーマ：Presentation about a research project 2** 授業内容：前回に引き続き、講座を通して興味を持ったトピックについて、また次年度の卒業研究のスケジュールについて各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：担当者は発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
14回	**授業テーマ：Paper debate** 授業内容：Paper debate を実際に体験し、小・中・高の現場で活用することを意識しながらその効果について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	29回	**授業テーマ：Presentation about a research project 3** 授業内容：前回に引き続き、講座を通して興味を持ったトピックについて、また次年度の卒業研究のスケジュールについて各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：担当者は発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。
15回	**授業テーマ：Wrapping up &making a plan of the summer camp** 授業内容：前期の講義内容をレビューして、重要ポイントについて振り返る。 事前学修 2.0hr：教科書のアクティビティに取り組む。 事後学修 2.0hr：各自研究と担当箇所の発表の準備を進める。	30回	**授業テーマ：授業の総復習、補足、QA** 授業内容：一年間の講座をレビューして、重要ポイントについて振り返る。 事前学修 2.0hr：各自研究をレポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：各自研究をレポートにまとめる。

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

河原　伸一（かわはら　しんいち）

▌授業の概要

今、さまざまな要因によって第二次世界大戦後の国際秩序が大きく変わろうとしています。この授業では、国際政治経済分野において、各受講者が関心を持ったテーマについて、英語を含む文献調査と議論を通じて深く考察し、受講生自身の言葉で自分なりの考えを日本語及び英語で効果的に表現できる力を身に付け、国際未来社会で活躍できるようにします。具体的には、アクティブ・ラーニングを通じて、学生・教員間、学生・社会人間、学生間のコミュニケーションを促します。国際政治経済分野における多様な価値観に触れ、受講者自身の考え方と対比し、受講生自身が国際未来社会のために何ができるかを考える契機とすることができます。また、卒業後に役立つ企業分析ツールとして、財務会計リテラシーも身に付けます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：受講生は、各自が設定したテーマに関する議論・論文・レポート作成に向け、担当教員の指導の下、効果的に取り組むことができます。毎日、英語を含む新聞や調査レポートなどの情報をチェックし、今、世界で起きている事象の背景について深く調査します。また、ビジネスの最前線で活躍している社会人との意見交換などを通じて、実務に関する情報と各自のキャリアパス設計に資する情報を効果的に収集することもできます。また、財務会計リテラシーを身に付けることができます。

個別目標：受講生は、指導教員による国際的事象の背景説明や文献紹介を参考にして各自の研究テーマを絞り込みます。各自が設定したテーマに関する先行研究を行い、テーマに対するアプローチ及び知見を理解することができます。また、文章添削を通じて適切な日本語文章を書くことができます。さらに、社会の第一線で活躍している社会人とのコミュニケーションを通じて、各自のテーマの理論と社会における実践との接点を理解できます。

▌履修条件

事前に履修を認められた者のみ。

▌評価基準・方法

毎回の授業参加度 60 %と財務会計などの知識定着など学修目標達成 40 %の結果に基づき、総合的に評価します。
5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。
授業参加度には、当日授業のテーマに関する予習・復習、授業内におけるディスカッションへの参加・貢献を含みます。
日商簿記 3 級レベル以上の知識定着を期待します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内または学修支援システム manaba で行います。
国際未来社会で活躍できる力を身に付けるため、世界で通用するロジックの展開を基準としてフィードバックを行います。ディスカッションの場合、授業内でロジックの流れや表現が適切か・効果的かどうか学生と相互確認しながらフィードバックします。レポートの場合、ロジックの流れや表現について添削を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ・ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼン・レポート作成時などに Excel、Word ソフトを搭載したパソコンを使用）

▌教科書

(1) 滝澤ななみ『スッキリわかる　日商簿記３級』TAC 出版
(2)『合格するため本試験問題集　日商簿記 3 級』TAC 出版
(3) その他の教科書・文献については、講義の進捗に応じて紹介します。

▌参考書

開講時に指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：商品売買・国際情勢分析** 授業内容：「商品を買ってきたときの仕訳」「掛けで仕入れたときの仕訳」など商品売買の仕訳を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：教科書「商品売買」を読む 事後学修 2.0hr：学修スケジュールの作成	16回	**授業テーマ：伝票・国際情勢分析** 授業内容：三伝票制や入金・出金伝票の起票などについて学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
2回	**授業テーマ：現金・国際情勢分析** 授業内容：「他人振出小切手を受け取ったときの仕訳」など現金処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献調査 事後学修 2.0hr：学修スケジュールの作成	17回	**授業テーマ：精算表・国際情勢分析** 授業内容：「現金過不足の処理」などさまざまな決算整理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
3回	**授業テーマ：当座預金・国際情勢分析** 授業内容：「小切手を振り出したときの仕訳」「決算日において当座預金が貸方残高のときの仕訳」などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：関連情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成	18回	**授業テーマ：財務諸表作成・国際情勢分析** 授業内容：損益計算書や貸借対照表といった財務諸表の作成手順を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：関連情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
4回	**授業テーマ：小口現金・国際情勢分析** 授業内容：「小口現金を前渡ししたときの仕訳」など小口現金の処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献調査 事後学修 2.0hr：文献調査	19回	**授業テーマ：帳簿の締め切り・国際情勢分析** 授業内容：「収益・費用の振り替え」や「当期純利益の振り替え」、各勘定の締め切りを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：アパレル業界の基礎 事後学修 2.0hr：アパレル業界の基礎
5回	**授業テーマ：手形・国際情勢分析** 授業内容：「約束手形を振り出したときの仕訳」など手形処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：発言メモの作成 事後学修 2.0hr：文献調査	20回	**授業テーマ：株式の発行・国際情勢分析（ロシア分析）** 授業内容：「会社を設立して株式を発行したときの仕訳」などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読

6回	**授業テーマ：貸付金・情勢分析** 授業内容：「お金を貸し付けたときの仕訳」など貸付金などの処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
7回	**授業テーマ：債権債務・国際情勢分析** 授業内容：「商品以外のものを後払いで買ったときの仕訳」など債権債務の処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：発言メモの作成 事後学修 2.0hr：文献調査
8回	**授業テーマ：費用・国際情勢分析** 授業内容：「消耗品を買ったときの仕訳」「固定資産税を支払ったときの仕訳」など費用処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：情報収集 事後学修 2.0hr：情報収集
9回	**授業テーマ：貸倒れ・国際情勢分析** 授業内容：「売掛金が貸し倒れたときの仕訳」など貸倒れと貸倒引当金の処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
10回	**授業テーマ：減価償却・国際情勢分析** 授業内容：「固定資産を売却したときの仕訳」など減価償却の処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：資料収集 事後学修 2.0hr：資料収集
11回	**授業テーマ：剰余金の処分・国際情勢分析** 授業内容：「剰余金を配当、処分したときの仕訳」など剰余金処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
12回	**授業テーマ：消費税・国際情勢分析** 授業内容：「消費税を受け取ったときの仕訳」など消費税の処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
13回	**授業テーマ：前払い・国際情勢分析** 授業内容：「費用を前払いしたときの仕訳」など前払いなどの処理を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
14回	**授業テーマ：帳簿への記入・国際情勢分析** 授業内容：「商品有高帳への記入」などさまざまな元帳などへの記入を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
15回	**授業テーマ：試算表・国際情勢分析** 授業内容：合計試算表、残高試算表、合計残高試算表の作成手順を学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
21回	**授業テーマ：合併・国際情勢分析(ロシア分析)** 授業内容：合併したときの仕訳や無形固定資産を取得したときの仕訳などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
22回	**授業テーマ：法人税・国際情勢分析** 授業内容：「法人税等を中間申告、納税したときの仕訳」などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：企業情報収集 事後学修 2.0hr：レポート作成
23回	**授業テーマ：商品売買・国際情勢分析** 授業内容：売上原価対立法や「決算時における売上原価の決定」などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：文献講読 事後学修 2.0hr：文献講読
24回	**授業テーマ：電子記録債権債務・国際情勢分析** 授業内容：電子記録債権債務が発生したときの仕訳などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：英語文献講読 事後学修 2.0hr：英語文献講読
25回	**授業テーマ：銀行勘定調整法・国際情勢分析** 授業内容：「預金残高が一致しないときの処理」について学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：英語文献講読 事後学修 2.0hr：英語文献講読
26回	**授業テーマ：固定資産・国際情勢分析** 授業内容：「固定資産を割賦で購入したときの仕訳」などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションメモの作成 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションメモの推敲
27回	**授業テーマ：リース取引・国際情勢分析** 授業内容：ファイナンス・リース取引やオペレーティング・リース取引の処理などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：プレゼンテーション原稿の作成 事後学修 2.0hr：プレゼンテーション原稿の推敲
28回	**授業テーマ：研究開発費・国際情勢分析(論文・レポートの骨子)** 授業内容：「研究開発費を支出したときの仕訳」などを学びます。また、各自の卒論・レポートの骨子について、グループ・ディスカッションを行い、さまざまな視点から仮説検証・課題設定を行います。 事前学修 2.0hr：論文・レポートの骨子 事後学修 2.0hr：論文・レポートの骨子
29回	**授業テーマ：有価証券・論文・レポートに関する議論** 授業内容：「有価証券を購入したときの仕訳」などを学びます。また、各自の卒論・レポートの仮説・課題・構成について、グループ・ディスカッションを行い、さまざまな視点から仮説検証・課題設定・構成検討を行います。 事前学修 2.0hr：論文・レポートの章立て 事後学修 2.0hr：論文・レポートの章立て
30回	**授業テーマ：論文・レポートに関する議論** 授業内容：各自の卒論・レポートについて執筆に本格的に着手し、グループ・ディスカッションを行い、さまざまな視点から仮説検証・課題設定・構成検討を行い、4年次に完成させる卒論の内容充実を目指します。 事前学修 4.0hr：論文・レポートの執筆 事後学修 4.0hr：論文・レポートの執筆(推敲)

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

This course will examine the psychology of language as it relates to learning, mind, and brain, as well as to society and culture. How do we learn to speak and understand language? Is language unique to humans? How do we read and write? How do we learn new words? We will explore key issues in the multidisciplinary field of psycholinguistics, such as how children learn to speak, understand and read their first language, second and foreign language acquisition, bilingualism, and the relationship between language, thought and culture.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：In this course, we will learn about psycholinguistics, establishing an understanding of the processes underlying language and examining language as a product of the human mind, from a crosslinguistic and crosscultural perspective. In addition, we will explore a wide range of related topics in psychology, to deepen our understanding of the human mind.

個別目標：The goals of this course are for students to:

1. Learn about the psychology of language, and understand current debates and controversies in this field
2. Develop critical thinking skills and the ability to conduct research
3. Learn how to express themselves in both academic writing and oral presentations in English

▌履修条件

To actively participate in class activities (e.g., discussions, debates, group projects) and be curious about issues pertaining to language, thought, and mind. At least 80% of the classes must be attended in order to receive a passing grade.

▌評価基準・方法

Active participation in class activities, such as discussions, debates and group projects, (50%), research paper (20%), oral presentations (30%).

▌フィードバック方法

Feedback of assignments, papers, and presentations will be conducted through manaba and face-to-face in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, debates, group projects）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （We will be in a PC classroom using MS Word, Powerpoint &Excel.）

▌教科書

Readings will be distributed in class. Some of the readings will come from: 1. Steinberg, D. D. &Sciarini N. V. (2006). An Introduction to Psycholinguistics (2nd edition), New York: Pearson/Longman; 2. Hock, R. R. (2015). Forty Studies that Changed Psychology, Boston: Pearson.

▌参考書

Supplementary texts/readings will be distributed accordingly.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：Course orientation &Introduction to Psycholinguistics** 授業内容：Self-introductions &student questionnaire; Lecture &discussion on ”An introduction to psycholinguistics” 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Read text	16 回	**授業テーマ：Second/Foreign Language Acquisition I** 授業内容：Lecture &discussion on second language learning Part I: Basic psychological factors in L2 acquisition, such as memory, motivation, intellectual processing. Activity: Learning a foreign language. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
2 回	**授業テーマ：Animal Communication I** 授業内容：Lecture &discussion on ”Animal Communication, Part I”. Watch first half of video ”Animals Like Us: Animal Language.” Complete video worksheet. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment	17 回	**授業テーマ：Second/Foreign Language Acquisition II** 授業内容：Lecture &discussion of second language learning Part II: Basic social factors in L2 acquisition, such as home, classroom, community; comparison of L2 learning in children and adults. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
3 回	**授業テーマ：Animal Communication II** 授業内容：Lecture &discussion on ”Animal Communication, Part II”. Watch second half of video ”Animals Like Us: Animal Language.” Complete video worksheet. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment	18 回	**授業テーマ：Second/Foreign Language Acquisition III** 授業内容：Lecture &discussion on second-language teaching methods, such as grammar-translation, audiolingual, communicative language teaching. Activity: Second Language Teaching Methods. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
4 回	**授業テーマ：Animal Communication III** 授業内容：Lecture &discussion on ”Animal Communication, Part III”. Watch video clips on different forms of animal communication (e.g., monkeys, apes, dolphins, whales, birds) and discuss. 事前学修 2.0hr：Read text in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations	19 回	**授業テーマ：Introduction to Psychology** 授業内容：Lecture: An introduction to psychology. A discussion of the various fields of psychology: cognitive, developmental, clinical, social, personality, psychobiology, neuropsychology. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
5 回	**授業テーマ：Animal Communication IV** 授業内容：Work on animal communication presentations for the following week (e.g., gather research materials, organize presentation, prepare powerpoint). 事前学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations 事後学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations	20 回	**授業テーマ：40 Studies that Changed Psychology I** 授業内容：Read the table of contents of 40 Studies that Changed Psychology. Each student will select a chapter to present in class. Instructor will do one or two model presentations showing how to present (e.g., organization, powerpoint). 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read through book &find an interesting text
6 回	**授業テーマ：Animal Communication Presentations I** 授業内容：First half of class will give their animal communication presentations. Students must prepare questions to ask the class for an interactive discussion following each presentation. 事前学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations 事後学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations	21 回	**授業テーマ：40 Studies that Changed Psychology II** 授業内容：Model presentations on Human Interaction &Social Behavior: (1) The power of conformity (Asch); (2) To help or not to help (Darley &Latane). Each presentation with video clips, quiz &discussion. 事前学修 2.0hr：Select text &read 事後学修 2.0hr：Continue reading text

7回	**授業テーマ：Animal Communication Presentations II** 授業内容：Second half of class will give their animal communication presentations. Students must prepare questions to ask the class for an interactive discussion following each presentation. 事前学修 2.0hr：Prepare for animal communication presentations 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment	22回	**授業テーマ：Psychology Workshop I** 授業内容：Student presentations on The Biological Bases of Human Behavior (Ch. 1) (e.g., twin studies, visual cliff, split brain). Each presentation will have video clips, a quiz &a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
8回	**授業テーマ：Child Language Development I** 授業内容：Lecture &discussion on "Child Language Development, Part I". Discuss basic principles of language development &theories of language acquisition (e.g., behaviorist &psycholinguistic approaches) 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment	23回	**授業テーマ：Psychology Workshop II** 授業内容：Student presentations on Consciousness and the Senses (Ch. 2) (e.g., categories, dreams, hypnosis). Each presentation will have video clips, a quiz &a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
9回	**授業テーマ：Child Language Development II** 授業内容：Lecture &discussion on "Child Language Development, Part II". Discuss stages of language acquisition and watch video clips on different language stages (e.g., babbling, one-word utterances). 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Prepare for parentese presentations	24回	**授業テーマ：Psychology Workshop III** 授業内容：Student presentations on Conditioning &Learning (Ch. 3) (e.g., conditioning, agggression, superstition). Each presentation will have video clips, a quiz &a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
10回	**授業テーマ：Parentese Presentations I** 授業内容：Lecture &discussion on "Child Language Development, Part III". Continue to discuss stages of language acquisition. Focus on child-directed speech. Worksheet &some video presentations. 事前学修 2.0hr：Prepare for presentation 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment	25回	**授業テーマ：Psychology Workshop IV** 授業内容：Student presentations on Cognition, Memory, and Intelligence (Ch. 4) (e.g., intelligence, memory, expectations, cognitive maps). Each presentation will have video clips, a quiz &a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
11回	**授業テーマ：Parentese Presentations II** 授業内容：Lecture &discussion on parentese, focusing on child-directed speech. Worksheet &video presentations showing caregiver-child interactions (e.g., caregiver input, baby/toddler communication). 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment	26回	**授業テーマ：Psychology Workshop V** 授業内容：Student presentations on Changes over the Human Lifespan (Ch. 5) (e.g., attachment, moral development, control, object concept). Each presentation will have video clips, a quiz &a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
12回	**授業テーマ：Child Language Development IV** 授業内容：Discuss milestones of early communication development in terms of different forms of language development (e.g., phonology, syntax, semantics, pragmatics). 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Review text &do assignment	27回	**授業テーマ：Psychology Workshop VI** 授業内容：Student presentations on Motivation &Emotion (Ch. 6) (e.g., facial expressions, emotions, motivation). Each presentation will have video clips, a quiz &a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
13回	**授業テーマ：Child Language Development V** 授業内容：Discuss atypical forms of child language development (e.g., deaf children, Genie). Discuss what kinds of challenges these children face. Prepare for child language presentations. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Prepare for Child Language Presentations	28回	**授業テーマ：Psychology Workshop VII** 授業内容：Student presentations on Personality (Ch. 7) (e.g., intervnal vs. external control, masculinity/femininity, relationships). Each presentation will have video clips, a quiz &a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment
14回	**授業テーマ：Child Language Presentations I** 授業内容：Present a video clip of a baby/toddler/child and describe the communicative context. Explain how the child communicates (e.g., through words, gestures, facial expressions). Complete worksheet. 事前学修 2.0hr：Prepare for Child Language Presentations 事後学修 2.0hr：Prepare for Child Language Presentations	29回	**授業テーマ：Psychology Workshop VIII** 授業内容：Student presentations on Psychological Disorders (Ch. 8) &Therapy (Ch. 9) (e.g., depression, defense mechanisms, social pathology) Each presentation will have video clips, a quiz &a discussion. 事前学修 2.0hr：Read text(s) in advance; prepare for class 事後学修 2.0hr：Think of good topics for senior thesis
15回	**授業テーマ：Child Language Presentations II** 授業内容：Present a video clip of a baby/toddler/child and describe the communicative context. Explain how the child communicates (e.g., through words, gestures, facial expressions). Complete worksheet. 事前学修 2.0hr：Prepare for Child Language Presentations 事後学修 2.0hr：Read text &do assignment	30回	**授業テーマ：Research Proposals for Senior Thesis** 授業内容：Brainstorming for topics for graduation thesis. Complete proposal worksheet. Find possible readings for Spring Break. 事前学修 2.0hr：Think of good topics for senior thesis; be ready to discuss 事後学修 2.0hr：Start working on senior thesis!

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

この授業では、日本やアメリカなど各国の情勢やグローバル課題に関する知識を身につけ、関心のあるテーマでゼミ論文を作成する。適宜、企業や官公庁などでゼミ研修も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：国際社会に関する深い教養を身につけ、ゼミ論文の作成を通じて国際社会が抱える課題を様々な観点から考えるための知識と論理的・客観的思考を養う。

個別目標：1. 国際問題について独自の考えを持つことができる。
2. 日本語でも英語でも自らの考えを他者に伝えることができる。
3. 英検準 1 級や TOEIC750 点レベル以上に英語力を高めることができる。

▌履修条件

事前に担当者に相談すること。

▌評価基準・方法

発表・授業への参加 50 %、論文執筆 30 %、論文のプレゼン 20 %。原則として毎回出席すること。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PPT を使ったプレゼンを行う。）

▌教科書

なし。

▌参考書

広瀬佳一他編『よくわかる国際政治（第 2 版）』（ミネルヴァ書房、2025 年）。他、適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：各自の関心について発表する。レポートと論文の違いを知る。 事前学修 2.0hr：国際問題に関してどのような関心を持っているか発表できるようにする。 事後学修 2.0hr：ゼミ論文のテーマについて考える。	16 回	**授業テーマ：ゼミ論文の作成計画の発表** 授業内容：ゼミ論文作成計画を発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：コメントをふまえて計画を修正
2 回	**授業テーマ：現代の課題 1** 授業内容：欧米の動向について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	17 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の発表を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文作成計画に活かす
3 回	**授業テーマ：現代の課題 2** 授業内容：アジアの動向について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	18 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文作成計画に活かす
4 回	**授業テーマ：現代の課題 3** 授業内容：中東の動向について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	19 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文草稿に活かす
5 回	**授業テーマ：現代の課題 4** 授業内容：グローバル課題について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	20 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文草稿に活かす
6 回	**授業テーマ：現代の課題 5** 授業内容：日本の外交・安全保障について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	21 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文草稿に活かす
7 回	**授業テーマ：現代の課題 6** 授業内容：ウクライナ戦争について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	22 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文草稿に活かす
8 回	**授業テーマ：現代の課題 7** 授業内容：台湾情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	23 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて論文草稿に活かす
9 回	**授業テーマ：現代の課題 8** 授業内容：米中対立について学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	24 回	**授業テーマ：ゼミ論文の中間発表** 授業内容：ゼミ論文の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて論文を修正
10 回	**授業テーマ：ゼミ論文テーマの検討** 授業内容：レポートのテーマを発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：コメントをふまえてテーマを再検討	25 回	**授業テーマ：ゼミ論文の中間発表** 授業内容：ゼミ論文の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて論文を修正
11 回	**授業テーマ：論文の作成方法 1** 授業内容：論文を書く意味を知る。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読む 事後学修 2.0hr：授業の内容をふまえて簡単なレポートを作成	26 回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを行う。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容を論文草稿に反映させる

12回	**授業テーマ：論文の作成方法 2** 授業内容：論文の作成方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読む 事後学修 2.0hr：授業の内容をふまえて簡単なレポートを作成	27回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを行う。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容を論文草稿に反映させる
13回	**授業テーマ：プレゼン技術 1** 授業内容：プレゼンの基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読んで、簡単なプレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンの反省点をまとめる	28回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを行う。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容を論文草稿に反映させる
14回	**授業テーマ：プレゼン技術 2** 授業内容：プレゼンの練習をする。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読んで、簡単なプレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンの反省点をまとめる	29回	**授業テーマ：ゼミ論文の発表** 授業内容：ゼミ論文の発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえてゼミ論文を完成
15回	**授業テーマ：ゼミ論文作成計画の発表** 授業内容：ゼミ論文作成計画を発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：コメントをふまえて計画を修正	30回	**授業テーマ：ゼミ論文の発表** 授業内容：ゼミ論文の発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえてゼミ論文を完成

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

嶋田　珠巳（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

ひろく言語および英語に関する諸問題について、自らの関心のもとに考察を深め、探究する。
前期：ものを読み、その内容を正確に理解し、その理解を表現する。素材は言語学、社会言語学、応用言語学分野のものなど幅広く、理解と考察はできるだけ深く。英語で書かれた読みもの素材を含む。
後期：個別またはグループでプロジェクト研究を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：ひろく言語および英語に関わる諸問題について、自らの関心のもとに考察を深め、探究する力を身につける。
個別目標：（1）自らの関心を知る。
（2）その関心のもとに考察する手だてを見つけることができる。
（3）日本語および英語で書かれた文献内容を理解し、そこから考察を展開することができる。
（4）メンバーと互いの興味を共有し、ディスカッションを通して考察を深めることができる。
（5）自分の調査と考え、および研究内容を適切に表現することができる。

▌履修条件

主体的に取り組む。

▌評価基準・方法

評価基準：到達目標の１～５ができているか、あるいはその到達度を総合的に評価する。
方法：授業への取り組み 70%、プロジェクト研究 30%。

▌フィードバック方法

日頃の授業に関する事柄は、授業内、面談（アポイントメントによる）にて行う。
評価に関しては、希望者に面談を実施する。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （主体的な取り組みが思考、表現、討議において求められる。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

こちらで教材を準備する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。下記は本ゼミ担当者の著書、編著。
・嶋田珠巳 (2016) 『英語という選択―アイルランドの今』 岩波書店.
・嶋田珠巳・斎藤兆史・大津由紀雄 編著（2019）『言語接触―英語化する日本語から考える「言語とはなにか」』 東京大学出版会.
・嶋田珠巳・鍛治広真 編著 (2021) 『時間と言語』 三省堂.
・平田聡・嶋田珠巳 著 (2022) 『時間はなぜあるのか―チンパンジー学者と言語学者の探検』 ミネルヴァ書房.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：３年次にどのような力をつけるのかを考えてみよう。ゼミ仲間との出会いを楽しんで。 事前学修 2.0hr：※全回とも授業内のアドバイスを参考に各自の工夫で行う。 事後学修 2.0hr：質問と相談	16回	**授業テーマ：後期オリエンテーション** 授業内容：後期のゼミをどう進めていくか。それぞれの目標とゼミ全体の目標について考え、話し合おう。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：質問と相談
2回	**授業テーマ：それぞれの関心：自らの興味を知る手がかり** 授業内容：自分の興味を知るにはどのような方法があるだろう。あなたが最近考えていることはどんなことですか。何に興味がありますか。 事前学修 2.0hr：興味のある事柄はなにか 事後学修 2.0hr：考えの整理	17回	**授業テーマ：それぞれの関心：研究テーマの方向性を決める** 授業内容：今関心があること、もっと学びを深めたいこと。卒業論文を意識して、考えていこう。 事前学修 2.0hr：テーマの探索 事後学修 2.0hr：質問と相談
3回	**授業テーマ：日本語で書かれた文章を読む（1）** 授業内容：文章をどう読むのか。４年次の卒業論文の基礎力にもなる、読解力養成の第一歩。 事前学修 2.0hr：文章を自分のやり方で読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	18回	**授業テーマ：研究テーマへのアプローチ** 授業内容：研究テーマの方向性がある程度決まったら、次に何をするのだろう。動き出すにはどうしたらいい？ 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業
4回	**授業テーマ：日本語で書かれた文章を読む（2）** 授業内容：文章をどう読み、どう整理するのか。正確に読むとはどのようなことか。 事前学修 2.0hr：文章を自分のやり方で読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	19回	**授業テーマ：プロジェクト研究の開始** 授業内容：個人またはグループでプロジェクト研究を開始する。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業
5回	**授業テーマ：英語で書かれた文章を読む（1）** 授業内容：英文読解。ある程度専門性の高い内容の英文を読みこなすにはどのようにしたらいいのか。 事前学修 2.0hr：文章を自分のやり方で読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	20回	**授業テーマ：他の研究を知る** 授業内容：プロジェクト研究を進めるにあたって、自分たちがしようとしていることの研究的位置づけを知ることは重要だ。図書館に出かけて、気になる本を確認してみよう。関連する文献や資料を探してみよう。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業
6回	**授業テーマ：英語で書かれた文章を読む（2）** 授業内容：英文読解。英文をできるだけ早く正確に読み、内容をまとめてみよう。 事前学修 2.0hr：文章を自分のやり方で読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理	21回	**授業テーマ：何を考えるか、どのように考えるか** 授業内容：関連する文献・資料を探して、どんどん読んでいこう。その過程で考えたことは何か。まずは自分の読解と考察を整理してみて。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業
7回	**授業テーマ：文章を読むこと、そこから考えること** 授業内容：文章から何を感じ、何を考えるか。ものを考えるというのはどういうことなのか。 事前学修 2.0hr：これまでの素材文章を読み直し、理解できなかった部分を書き出しておく 事後学修 2.0hr：理解の整理	22回	**授業テーマ：調査内容の充実（1）** 授業内容：プロジェクト研究にしっかり取り組もう。個別、グループ別に研究指導を行う。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業

8回	**授業テーマ：疑問の解決、興味の共有、さまざまなアイデア** 授業内容：自分が考えたことを仲間に聞いてもらおう。仲間の発言から自分が考えたことを話してみよう。アイデアの広がり、深まりを体感してみて。 事前学修 2.0hr：これまでの素材文章を読み直し、自分の考察をまとめておく 事後学修 2.0hr：理解の整理	23回	**授業テーマ：調査内容の充実（2）** 授業内容：プロジェクト研究にしっかり取り組もう。個別、グループ別に研究指導を行う。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
9回	**授業テーマ：それぞれの関心：自分の関心のある素材を見つける** 授業内容：あなたはどんな人？　就活でも、生きていく上でも、自分を少し知っておくといいよね。ゼミでアプローチするのは、学術的な関心の部分。ことばのどんなことに興味がありますか。 事前学修 2.0hr：図書館などに出かけ、読みたい本を探す 事後学修 2.0hr：質問と相談	24回	**授業テーマ：調査内容の充実（3）** 授業内容：プロジェクト研究にしっかり取り組もう。個別、グループ別に研究指導を行う。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
10回	**授業テーマ：図書館で本を探す** 授業内容：自分の関心を知るにも、これから卒業論文を書くにも、図書館はヒントをたくさんくれる。図書館実習を通して文献検索のしかたを学び、自分の気になる本を借りてみよう。 事前学修 2.0hr：図書館などに出かけ、読みたい本を探す 事後学修 2.0hr：理解の整理	25回	**授業テーマ：ディスカッションで考えを深める（1）** 授業内容：プロジェクト研究の過程での問題点や課題について話し合おう。仲間と共に解決策を探ってみよう。 事前学修 2.0hr：トピックの準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
11回	**授業テーマ：レジュメの作成と自分の考えの表現** 授業内容：あなたが選んだ本はどんな本ですか。その本のこと、自分がおもしろいと思ったこと、考えたことをレジュメにまとめてみよう。 事前学修 2.0hr：素材を読む、レジュメの作成 事後学修 2.0hr：理解の整理	26回	**授業テーマ：ディスカッションで考えを深める（2）** 授業内容：プロジェクト研究の過程での問題点や課題について話し合おう。仲間と共に解決策を探ってみよう。先週の解決策の提案が成功したかなど、続きの話もぜひ。 事前学修 2.0hr：準備 事後学修 2.0hr：実際の作業
12回	**授業テーマ：文章の内容理解とディスカッション（1）** 授業内容：その本のどこか１章をさらにしっかり読んでみよう。どのようなテクストから何を読み取り、何を思ったのか、表現しよう。レジュメを準備して、発表し、全体で討議する。 事前学修 2.0hr：素材を読む、レジュメの作成 事後学修 2.0hr：理解の整理	27回	**授業テーマ：プロジェクト研究発表会（1）** 授業内容：プロジェクト研究の発表と討議。 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
13回	**授業テーマ：文章の内容理解とディスカッション（2）** 授業内容：本の内容紹介、受講生発表の２週目。１週目よりも、よくなる。 事前学修 2.0hr：素材を読む、レジュメの作成 事後学修 2.0hr：理解の整理	28回	**授業テーマ：プロジェクト研究発表会（2）** 授業内容：プロジェクト研究の発表と討議。そろそろ、みんな考えが発言できるようになってきたかな。 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
14回	**授業テーマ：文章の内容理解とディスカッション（3）** 授業内容：本の内容紹介、受講生発表の３週目。仲間の関心にも興味がもてるかもしれない。互いの考えを知り、さらに考察を深めていこう。 事前学修 2.0hr：素材を読む、レジュメの作成 事後学修 2.0hr：理解の整理	29回	**授業テーマ：プロジェクト研究発表会（3）** 授業内容：プロジェクト研究の発表と討議。充実した議論はどんなときに生まれるだろう？ 事前学修 2.0hr：発表の準備 事後学修 2.0hr：理解の整理
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：これまでのゼミの振り返り。勝浦ゼミ合宿に向けての準備。夏休みにやっておきたいことの確認。 事前学修 2.0hr：質問内容 事後学修 2.0hr：理解の整理	30回	**授業テーマ：３年次ゼミの総括** 授業内容：ゼミでの学びを振り返ってみよう。３年次のプロジェクト研究を４年次の卒業研究にどう繋げていこうか？ 事前学修 2.0hr：質問内容の整理 事後学修 2.0hr：まとめ

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

ことばに関して知的好奇心を刺激されるような疑問を見つけ、その疑問に対する自分なりの分析・解決方法を考えるための支援を行う。「その疑問がなぜ興味深いのか」、「その疑問を解決すると、どのような良いことがあるか」などを自分で考え、自分の考えを人に伝えられるようになることを目指す。担当教員の講義に加え、学生による発表・意見交換を積極的に行うことで、各自が見つけた疑問と、その分析・解決方法をより良いものにする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：ことばに関して知的好奇心を刺激されるような疑問を見つけ、その疑問に対する自分なりの分析・解決方法を考える。

個別目標：1. ことばについて、自分が興味深いと思う新しい疑問を見つけられるようになる。
2. ことばについての疑問を他の人に説明し、共有できるようになる。
3. ことばについての疑問を分析・解決できるようになる。

▌履修条件

知的好奇心を持つこと及び自分の頭で考えることを厭わない姿勢が求められる。
また学生として、積極的・主体的に講義内での議論に参加することが期待される。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 50 %、発表及びゼミ論文などの提出物 50 %とする。

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などのソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

必要に応じて適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後のプレゼンのためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義要項を参考に授業内容や方針を確認する 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める	16回	**授業テーマ：後期オリエンテーション** 授業内容：今後の講義計画、期末レポート執筆のための重要事項などを説明する。今後の発表のためのスケジュールなども決める。 事前学修 2.0hr：夏休みの研究成果をまとめておく 事後学修 2.0hr：夏休みの研究成果をまとめておく
2回	**授業テーマ：研究トピックの見つけ方 (1)** 授業内容：ヒトのことばについて、研究トピックを考えるための準備を行う。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める	17回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (1)** 授業内容：これまでの研究成果をまとめて発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
3回	**授業テーマ：研究トピックの見つけ方 (2)** 授業内容：文献などを読み、研究トピックを考える。グループ内でのディスカッションも行う。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める	18回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (2)** 授業内容：これまでの研究成果をスライドやハンドアウトといった資料にまとめて発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
4回	**授業テーマ：研究トピックの見つけ方 (3)** 授業内容：研究トピックを見つけるために、複数の文献を読み、内容をまとめる。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める	19回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (3)** 授業内容：これまでの研究成果を資料にまとめて発表する。発表の方法についても学習する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
5回	**授業テーマ：研究トピックの見つけ方 (4)** 授業内容：文献調査の内容を資料としてまとめ、発表の準備を進める。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考え始める	20回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (4)** 授業内容：これまでの研究内容を資料にまとめて発表する。発表へのコメントについて考える。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
6回	**授業テーマ：ゼミ生の興味・関心の発表 (1)** 授業内容：自身で選んだトピックについて、現段階での調査内容を発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに考えを深める	21回	**授業テーマ：ゼミ生によるお互いの研究成果に対するコメント発表 (1)** 授業内容：研究成果の発表についてグループディスカッションなどを行い、お互いの研究をより良いものにしていく。 事前学修 2.0hr：発表準備・自分の発表に対する質問・コメントについて返答を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
7回	**授業テーマ：ゼミ生の興味・関心の発表 (2)** 授業内容：自身で選んだトピックについて、現段階での調査内容を発表し、コメントなどを踏まえて理解を深める。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに考えを深める	22回	**授業テーマ：ゼミ生によるお互いの研究成果に対するコメント発表 (2)** 授業内容：研究成果の発表についてグループディスカッションなどを行い、コメントなどを反映させる。 事前学修 2.0hr：発表準備・自分の発表に対する質問・コメントについて返答を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める
8回	**授業テーマ：研究の進め方 (1)** 授業内容：トピックについてさらに深く理解するために、研究の進め方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める	23回	**授業テーマ：ゼミ生によるお互いの研究成果に対するコメント発表 (3)** 授業内容：研究成果の発表についてグループディスカッションなどを行い、コメントを今後の研究に活かす方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：発表準備・自分の発表に対する質問・コメントについて返答を考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに研究を進める

9回	**授業テーマ：研究の進め方 (2)** 授業内容：研究・調査を進めるために必要なツールや研究方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める	24回	**授業テーマ：研究のまとめ方 (1)** 授業内容：これまでに集めたデータや資料などを確認し、一つの研究としてまとめる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める
10回	**授業テーマ：研究の進め方 (3)** 授業内容：研究・調査について具体的な方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める	25回	**授業テーマ：研究のまとめ方 (2)** 授業内容：資料やデータなどを確認し、研究トピックを再検討する。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める
11回	**授業テーマ：研究の進め方 (4)** 授業内容：これまで学習してきたことを踏まえて、研究のための調査を始める準備をする。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める	26回	**授業テーマ：研究のまとめ方 (3)** 授業内容：研究トピックについて再考し、研究成果などを文章でまとめる。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめ始める
12回	**授業テーマ：研究の進め方 (5)** 授業内容：これまで学習してきたことを踏まえて、研究のための調査を行う。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を深め始める	27回	**授業テーマ：ゼミ生による最終発表 (1)** 授業内容：これまでの講義を通して学んだことをスライドやハンドアウトにまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとにゼミ論文を修正する
13回	**授業テーマ：夏休みの研究課題発表 (1)** 授業内容：夏季休暇の期間を使って行う調査について、研究計画や内容をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに考えをさらに深める	28回	**授業テーマ：ゼミ生による最終発表 (2)** 授業内容：これまでの講義を通して学んできたことを発表し、研究をまとめる。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとにゼミ論文を修正する
14回	**授業テーマ：夏休みの研究課題発表 (2)** 授業内容：研究計画や内容をまとめ、発表する。発表を通して得られたフィードバックを参考にして、研究計画を練り直す。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに考えをさらに深める	29回	**授業テーマ：ゼミ生による最終発表 (3)** 授業内容：これまでの講義を通して学んだことの発表を行い、得られたコメントなどをきちんと理解してレポートに反映させる。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとにゼミ論文を修正する
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容をまとめる。 事前学修 2.0hr：これまでの発表・コメントをもとに研究を進める 事後学修 2.0hr：これまでの発表・コメントをもとに研究を進める	30回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、期末レポートの内容などを全体としてまとめる。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文を完成させる 事後学修 2.0hr：ゼミ論文を完成させる

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

中井　延美（なかい　のぶみ）

▌授業の概要

この授業では、言語学の意味論と語用論という分野を通して、ことばの意味と発話の解釈について検討する。意味論では、ことばの意味とはいったい何なのか、ことばを使う私たちと外界の関係はどのようなものなのかを考える。個々の語の意味だけでなく、語の意味がどのように組み合わさって、より大きな句表現・文表現の意味を生み出すのか、さらにそれらの表現間の意味関係も考察する。語用論では、人が実際の会話でどのようにことばを使うかを研究する。ある発話が適切かどうかを決めるのに文脈がどのように役立つか、また文脈の変化がどのように文の意味を変えるか、といった問題に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：ことばの意味と解釈について、次の1～3の問いについて考えていく。1．ことばの意味がわかれば、あらゆる発話の意味が自動的に理解できるか。2．語句や文の意味が特定できても、それが、ある発話の意味を理解するのに、ほんの一部分でしか助けにならないのはなぜか。3．人がことばを発する際に、文脈や状況はどのような役割を果たすか。

個別目標：ことばの意味と解釈に関する興味深い研究課題を見つけ、個人研究プロジェクトに取り組む。その過程で、文献調査、研究方法の設定、データの収集・分析を行い、最後に、研究成果を口頭発表と研究報告書を通してゼミ内で共有する。

▌履修条件

“ことば” の探究に興味をもっていること以外に特になし。

▌評価基準・方法

授業内活動（ディスカッション・グループ活動などへの参加姿勢）30 %
授業外活動（予習・準備、課題の提出）30 %
研究成果の発信（口頭発表、研究報告書）40 %

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライドの提示など）

▌教科書

必要に応じて資料を配布、書籍の購入を指示する。

▌参考書

Hope C. Dawson, Michael Phelan, eds. (2016) Semantics (Ch. 6) &Pragmatics (Ch. 7) in Language Files: Materials for an Introduction to Language and Linguistics, 12tn Ed, Ohio State UP.
今井邦彦・西山佑司 (2012)『ことばの意味とはなんだろう―意味論と語用論の役割』岩波書店.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期ガイダンス** 授業内容：前期授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：後期授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：ことばの意味とは何か** 授業内容：同じ文にさまざまな解釈がある例を観察したのち、意味論的意味と語用論的意味について考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	17回	**授業テーマ：前期の振り返り** 授業内容：ことばの意味と発話の解釈について、前期の授業で扱った意味論と語用論の項目を復習する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：語の意味** 授業内容：個々の語の意味には、どのような種類の意味があるか具体例と共に概観する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	18回	**授業テーマ：研究テーマの共有（1）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
4回	**授業テーマ：句表現・文表現の意味** 授業内容：個々の語の意味だけでなく、語の意味がどのように組み合わさって、より大きな句表現・文表現の意味を生み出すのかを考察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	19回	**授業テーマ：研究テーマの共有（2）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
5回	**授業テーマ：文と文の意味** 授業内容：文と文が組み合わさることで生じる意味を観察する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	20回	**授業テーマ：研究テーマの共有（3）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
6回	**授業テーマ：意味論のまとめ** 授業内容：語の意味、句表現・文表現の意味、文と文の意味について復習し、もう一度「ことばの意味とは何か」を考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	21回	**授業テーマ：発表スライドの作り方** 授業内容：中間発表会に向け、発表スライドの作り方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
7回	**授業テーマ：コンテクストに左右される意味** 授業内容：語句や文の意味が特定できても、それは、ある発話の意味を理解するのに、ほんの一部分でしか助けにならないこと、そして、人がことばを発する際には、コンテクスト（文脈や状況）が非常に重要な役割を果たすことについて考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	22回	**授業テーマ：口頭発表の行い方** 授業内容：中間発表会に向け、口頭発表の行い方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を仕上げる

8回	**授業テーマ：グライスの語用論と協調の原理** 授業内容：発話の理解・解釈には言語表現の解読だけでは不十分であり、必ず聞き手による推論(inference)が必要であることを最初に主張したグライスの語用論、協調の原理を概観する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	23回	**授業テーマ：中間発表会** 授業内容：個人研究の中間発表会を行う。 事前学修 2.0hr：口頭発表の練習をする 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
9回	**授業テーマ：オースティンと発話行為理論** 授業内容：発話(伝達のための言語形式の使用)とは、それ自体がある種の行為を遂行している、というオースティンの理論を紹介する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	24回	**授業テーマ：研究報告書の書き方(1)** 授業内容：タイトルと序文の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究報告書を書き進める
10回	**授業テーマ：関連性理論(1)** 授業内容：1980 年代にスペルベルとウィルソンが提唱した語用理論である関連性理論(Relevance Theory)を紹介する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	25回	**授業テーマ：研究報告書の書き方(2)** 授業内容：研究の動機と背景の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究報告書を書き進める
11回	**授業テーマ：関連性理論(2)** 授業内容：「何が伝達されるのか」という問題について、表意と語用論的操作(曖昧性の除去・飽和・アドホック概念構築・自由拡充)及び、推意から考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	26回	**授業テーマ：研究報告書の書き方(3)** 授業内容：先行研究の出典および参考文献の提示方法を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究報告書を書き進める
12回	**授業テーマ：関連性理論(3)** 授業内容：解釈の手順(聞き手は発話の解釈を具体的にどのような手順で行うのか)について考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	27回	**授業テーマ：研究報告書の書き方(4)** 授業内容：研究方法の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究報告書を書き進める
13回	**授業テーマ：個人研究テーマを考える(1)** 授業内容：自分が取り組みたい個人研究テーマを見つける。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	28回	**授業テーマ：研究報告書の書き方(5)** 授業内容：結果と結論の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究報告書を書き進める
14回	**授業テーマ：個人研究テーマを考える(2)** 授業内容：自分がその研究で何を主張したいのか、どのような問いの答えを見つけたいのかを考える。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	29回	**授業テーマ：研究成果の発信(口頭発表)** 授業内容：クラス内で研究成果を口頭発表する。 事前学修 2.0hr：口頭発表の準備を整える 事後学修 2.0hr：口頭発表会で得たコメントを研究報告書に反映させる
15回	**授業テーマ：夏季休暇中の研究計画** 授業内容：自分がその研究を進めていく上で、夏季休暇中にすべきこと(文献調査、データ収集など)を明確にし、研究計画書を提出する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：研究計画書を提出する	30回	**授業テーマ：研究成果の発表(研究報告書)** 授業内容：研究報告書を提出する。 事前学修 2.0hr：研究報告書を完成させる 事後学修 2.0hr：研究の今後の課題を考える

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

This seminar explores how meaning is created through stories, media, and digital texts. Students develop multiliteracy skills by examining how narratives shape belief, identity, and cultural values. Through myths, film, news, and social media, they analyze bias and perspective while strengthening critical thinking and their ability to express their own voice in English. This course is conducted entirely in English.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：This seminar aims to develop students' ability to think critically about diverse texts and to communicate their ideas clearly and responsibly in English.

個別目標：By the end of the course, students will be able to:

(1) Analyze narrative structure and perspective in stories and media texts.
(2) Examine how language and images shape meaning and belief.
(3) Apply basic strategies to assess bias and credibility.
(4) Articulate ideas clearly and responsibly in English.
(5) Develop and present an original analytical or creative project.

▌履修条件

Students are expected to participate actively in discussions, group work, and project-based activities. Because this is a seminar course, consistent preparation and engagement are essential. Attendance of at least 80% of classes is required to receive a passing grade.

▌評価基準・方法

Final grades will be based on the following components:
Active participation and coursework – 50%
Written projects – 20%
Oral presentations – 30%

▌フィードバック方法

Feedback will be provided through written comments, oral responses to presentations, and individual or small-group conferences conducted in person or through manaba. Peer feedback will also be incorporated during project workshops.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Active learning will be conducted through discussion, group work, workshops, and student presentations.）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （For research and project preparation as needed. AI tools may support brainstorming or language checking but not generate original text.）

▌教科書

Course materials will be provided by the instructor.

▌参考書

There are no required reference books. Supplementary materials and readings will be provided as needed.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Multi-literacy and Story** 授業内容：Overview of course themes and introduction to stories as meaning-making tools. 事前学修 2.0hr：Preview course syllabus 事後学修 2.0hr：Short reflection on a story that influenced you	16回	**授業テーマ：Digital Storytelling Today** 授業内容：Introduce and discuss forms of storytelling in social media and online platforms. 事前学修 2.0hr：Find one digital story example. 事後学修 2.0hr：Analyze a digital story
2回	**授業テーマ：What Is a "Text"? Expanding Literacy** 授業内容：Explore different forms of texts (myths, media, digital content). 事前学修 2.0hr：Bring one example of a "text" from daily life 事後学修 2.0hr：Brief written reflection on types of texts you encounter	17回	**授業テーマ：Identity and Audience Online** 授業内容：Explore performance and authenticity in digital texts. 事前学修 2.0hr：Review assigned examples. 事後学修 2.0hr：Reflect on digital identity
3回	**授業テーマ：Myths and Cultural Identity** 授業内容：Examine myths as early explanations of the world. 事前学修 2.0hr：Read a short myth 事後学修 2.0hr：Identify key themes and values in a myth	18回	**授業テーマ：Representation and Ethics** 授業内容：Discuss who tells stories and why it matters. 事前学修 2.0hr：Read short article. 事後学修 2.0hr：Write a response paragraph
4回	**授業テーマ：Comparing Myths Across Cultures** 授業内容：Conduct a cross-cultural comparison of origin stories. 事前学修 2.0hr：Read assigned myth 事後学修 2.0hr：Write short comparison paragraph	19回	**授業テーマ：News as Narrative** 授業内容：Understand framing in news reporting. 事前学修 2.0hr：Prepare two headlines on the same event 事後学修 2.0hr：Compare language use between two articles on the same story
5回	**授業テーマ：The Hero's Journey** 授業内容：Introduction to narrative structure and archetypes. 事前学修 2.0hr：Watch a short film clip and take notes 事後学修 2.0hr：Map a story using narrative stages	20回	**授業テーマ：Bias and Perspective in Media** 授業内容：Identify persuasive techniques. 事前学修 2.0hr：Review media sample 事後学修 2.0hr：Write a short analysis
6回	**授業テーマ：Heroes in Contemporary Media** 授業内容：Analyze modern heroes in film or anime. 事前学修 2.0hr：Watch assigned clip and take notes 事後学修 2.0hr：Write short reflection on cultural values in the story	21回	**授業テーマ：Evaluating Sources** 授業内容：Introduction to credibility and evidence. 事前学修 2.0hr：Prepare one online source 事後学修 2.0hr：Evaluate an online source
7回	**授業テーマ：Fairy Tales and Social Messages** 授業内容：Explore how stories teach social norms. 事前学修 2.0hr：Read short fairy tale 事後学修 2.0hr：Write short reflection on morals or lessons	22回	**授業テーマ：Misinformation and the Digital Age** 授業内容：Discuss misinformation and responsible sharing. 事前学修 2.0hr：Read short case example 事後学修 2.0hr：Write a reflection
8回	**授業テーマ：Retelling and Adaptation** 授業内容：How stories change across time and culture. 事前学修 2.0hr：Review two versions of a story 事後学修 2.0hr：Write short analysis of differences	23回	**授業テーマ：AI and Digital Texts** 授業内容：Examine AI-generated content and authorship. 事前学修 2.0hr：Review AI sample text 事後学修 2.0hr：Compare AI and human text

9回	**授業テーマ：Narrative Perspective and Bias** 授業内容：Understand points of view and framing. 事前学修 2.0hr：Read short text 事後学修 2.0hr：Identify perspective and bias in a text	24回	**授業テーマ：Stories and Social Change** 授業内容：Introduce and discuss storytelling as influence and activism. 事前学修 2.0hr：Watch short campaign clip and take notes 事後学修 2.0hr：Write a short response paragraph
10回	**授業テーマ：Stories and Society** 授業内容：Examine how narratives reflect cultural values and issues. 事前学修 2.0hr：Watch short clip or read excerpt and be ready to discuss 事後学修 2.0hr：Write short reflection	25回	**授業テーマ：Final Project Introduction** 授業内容：Overview of final project expectations. Begin preparations. 事前学修 2.0hr：Brainstorm ideas 事後学修 2.0hr：Write project outline
11回	**授業テーマ：Project Workshop I** 授業内容：Develop mid-term project topics and outlines. 事前学修 2.0hr：Prepare possible topics for development 事後学修 2.0hr：Draft project outline	26回	**授業テーマ：Research and Writing Workshop I** 授業内容：Develop structure and argument. 事前学修 2.0hr：Review outline 事後学修 2.0hr：Draft introduction
12回	**授業テーマ：Project Workshop II** 授業内容：Peer feedback and revision planning. Prepare for presentation. 事前学修 2.0hr：Review draft 事後学修 3.0hr：Finalize draft and practice for presentation	27回	**授業テーマ：Research and Writing Workshop II** 授業内容：Further develop structure and argument. Continue presentation and writing presparations. 事前学修 2.0hr：Review introduction 事後学修 3.0hr：Complete remaining sections of presentation and writing
13回	**授業テーマ：Mid-Term Presentations I** 授業内容：Students present their project to the class. 事前学修 2.0hr：Prepare and practice for presentation 事後学修 3.0hr：Submit written component	28回	**授業テーマ：Final Presentations I** 授業内容：Students present final projects to the class. 事前学修 3.0hr：Prepare and practice presentation 事後学修 2.0hr：Finalize written component
14回	**授業テーマ：Mid-Term Presentations II** 授業内容：Students engage in peer feedback and discussion. 事前学修 2.0hr：Prepare for discussion 事後学修 3.0hr：Write short reflection	29回	**授業テーマ：Final Presentations II** 授業内容：Discuss presentation topics and peer feedback. 事前学修 2.0hr：Review presentations 事後学修 3.0hr：Prepare reflection
15回	**授業テーマ：Reflection and Student Consultations** 授業内容：Students engage in reflection of what they learned in the first term and receive consultations from the instructor. 事前学修 2.0hr：Prepare reflection on course learnings 事後学修 2.0hr：Complete assigned summer homework	30回	**授業テーマ：Course Reflection and Student Consultations** 授業内容：Review of multi-literacy skills and preparation for senior thesis. 事前学修 2.0hr：Review reflection 事後学修 2.0hr：Be sure all work has been submitted; prepare ideas for senior thesis topic

専門領域研究講座

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

英詩(英語で書かれた詩)を研究するための基本的な知識と技術の習得を目指す。これまであまり詩を読んだことのないという初学者を想定して、前期ではさまざまなテクストを読んで詩に親しみ、後期では特定のテクストを研究して詩について論じる方法を学ぶ。全体を通じて、英語や詩について理解を深めるだけでなく、４年次に文学分野で卒業研究を執筆するための基礎が身につくように授業はデザインされる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：英詩(英語で書かれた詩)を研究するための基本的な知識と技術を身につける。

個別目標：1. 英詩の主な要素に基づいて詩を形式的に描写できる。
2. 自らの美的・知的判断に基づいて英詩を紹介できる。
3. 基本的な研究の手続きに基づいて英詩を批評できる。

▌履修条件

履修には教員との事前の面談が必要となる。

▌評価基準・方法

平常点(ディスカッションなどの授業参加) 50%、エッセイ(論文形式の文章)課題 50%の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表やディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （リサーチやエッセイ課題の作成など）

▌教科書

使用しない。必要なテクストは配布する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。	16回	**授業テーマ：エッセイの目的を知る** 授業内容：詩についてのエッセイの目的を学ぶ。 事前学修 2.0hr：夏休みの間に読んだものをまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。
2回	**授業テーマ：英詩の精読(１)英詩を読む** 授業内容：辞書などを活用して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	17回	**授業テーマ：一次資料をリサーチする** 授業内容：一次資料をリサーチする方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料をリサーチする。
3回	**授業テーマ：英詩の精読(２)英詩を描写する** 授業内容：英詩を描写するための基本的な手続きを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	18回	**授業テーマ：二次資料(レファレンス類)を使う** 授業内容：二次資料(レファレンス類)をリサーチする方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料をリサーチする。
4回	**授業テーマ：英詩の精読(３)単語に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、単語に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	19回	**授業テーマ：サンプル・エッセイ(１)を読む** 授業内容：サンプル・エッセイ(１)を輪読し、リサーチの成果を文章で表現する方法を体感する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：サンプル・エッセイ(１)を再読する。
5回	**授業テーマ：英詩の精読(４)統語に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、統語に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	20回	**授業テーマ：社会的・歴史的コンテクストをリサーチする** 授業内容：文学テクストの社会的・歴史的コンテクストをリサーチする方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ文学テクストの社会的・歴史的コンテクストをリサーチする。
6回	**授業テーマ：英詩の精読(５)詩行に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、詩行に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	21回	**授業テーマ：サンプル・エッセイ(２)を読む** 授業内容：サンプル・エッセイ(２)を輪読し、リサーチの成果を文章で表現する方法を体感する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：サンプル・エッセイ(２)を再読する。
7回	**授業テーマ：英詩の精読(６)構成に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、構成に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	22回	**授業テーマ：二次資料(論文・学術書)をリサーチする** 授業内容：二次資料(論文・学術書)をリサーチする方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料(論文・学術書)をリサーチする。
8回	**授業テーマ：英詩の精読(７)話者に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、話者に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	23回	**授業テーマ：サンプル・エッセイ(３)を読む** 授業内容：サンプル・エッセイ(３)を輪読し、リサーチの成果を文章で表現する方法を体感する。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：サンプル・エッセイ(３)を再読する。
9回	**授業テーマ：英詩の精読(８)比喩に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、比喩に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	24回	**授業テーマ：アーギュメントをつくる** 授業内容：エッセイのアーギュメントをつくる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイのアーギュメントをつくる。
10回	**授業テーマ：英詩の精読(９)音声に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、音声に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	25回	**授業テーマ：アーギュメントを組み立てる** 授業内容：エッセイのアーギュメントを組み立てる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイのアーギュメントを組み立てる。

11回	**授業テーマ：英詩の精読(１０)韻律に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、韻律に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	26回	**授業テーマ：エッセイの本文を書く(１)ボディ・パラグラフ** 授業内容：エッセイの本文のうち、ボディ・パラグラフを書く方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイのボディ・パラグラフを書く。
12回	**授業テーマ：英詩の精読(１１)詩形に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、詩形に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	27回	**授業テーマ：エッセイの本文を書く(２)序論と結論** 授業内容：エッセイの本文のうち、序論と結論を書く方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイの序論と結論を書く。
13回	**授業テーマ：英詩の精読(１２)詩人に注目する** 授業内容：ディスカッションを通じて、詩人に注目して英詩を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	28回	**授業テーマ：エッセイを編集・校正する** 授業内容：エッセイを編集・校正する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイを編集・校正する。
14回	**授業テーマ：英詩の精読(１３)英詩を批評する** 授業内容：英詩を批評するための基本的な手続きを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	29回	**授業テーマ：エッセイの体裁を整え、提出する** 授業内容：エッセイの体裁を整え、提出する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身のエッセイの体裁を整え、提出する。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期で学んだ内容を復習する。 事前学修 2.0hr：これまでに扱った詩を再読する。 事後学修 2.0hr：夏休みの間に各自で読むものを考える。	30回	**授業テーマ：エッセイの講評と全体のまとめ** 授業内容：各学生のエッセイを講評し、全体のまとめをする。 事前学修 2.0hr：自身のエッセイの内容を説明できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：卒業研究に向けて、各自の関心に沿って新たなリサーチを始める。

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

鍛治　広真 (かじ　ひろみ)

▌授業の概要

言語現象を研究対象とし、履修者各自が研究テーマを設定して卒業論文の執筆をする。授業は演習形式で実施する。履修者は卒業研究の各段階で進捗を報告し、その内容についてディスカッションを行う。伝わりやすいプレゼンテーションの訓練をするとともに、意見交換を通じて研究内容を向上させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：言語に関わる研究テーマを見つけ、調査し、考察を深め、卒業論文を執筆する。
個別目標：(1) 自分の関心に基づき研究計画を立て実行することができる
(2) 必要な資料を収集することができる
(3) 伝わりやすい表現、書式の文章を書くことができる

▌履修条件

事前に担当教員と面談し、履修の合意を得ること

▌評価基準・方法

授業への取り組み(発表、ディスカッションなど)と提出物、卒業論文により総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題へのフィードバックは授業または manaba または個別面談を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション、ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （資料収集および発表資料、レポート、論文等の作成に PC を使用する。）

▌教科書

使用しない

▌参考書

新田誠吾『はじめてでも、ふたたびでも、これならできる！　レポート・論文のまとめ方』すばる舎
河野 哲也『レポート・論文の書き方入門』慶應義塾大学出版会
石井一成『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社
田中草大『#卒論修論一口指南』文学通信

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：ゼミの進め方を説明する。学生発表の日程を決定する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む、ノートの準備 事後学修 2.0hr：テーマ発表資料の準備	16回	**授業テーマ：調査結果のまとめ方** 授業内容：調査結果のまとめ方、分析方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：調査結果をまとめる
2回	**授業テーマ：テーマ構想の発表 (1)** 授業内容：研究テーマの構想を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	17回	**授業テーマ：調査報告とディスカッション (1)** 授業内容：調査の結果を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
3回	**授業テーマ：テーマ構想の発表 (2)** 授業内容：研究テーマの構想を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	18回	**授業テーマ：調査報告とディスカッション (2)** 授業内容：調査の結果を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
4回	**授業テーマ：文献リストの作成** 授業内容：論文執筆のため各自のテーマに関係する文献リストを作成する 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：文献資料の収集	19回	**授業テーマ：調査報告とディスカッション (3)** 授業内容：調査の結果を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
5回	**授業テーマ：文献報告とディスカッション (1)** 授業内容：各自のテーマに関係する文献の内容を報告し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	20回	**授業テーマ：論文アウトライン** 授業内容：論文アウトラインの作成方法を学ぶ 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：論文アウトラインを作成する
6回	**授業テーマ：文献報告とディスカッション (2)** 授業内容：各自のテーマに関係する文献の内容を報告し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	21回	**授業テーマ：アウトラインの発表(1)** 授業内容：論文のアウトラインを発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
7回	**授業テーマ：文献報告とディスカッション (3)** 授業内容：各自のテーマに関係する文献の内容を報告し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	22回	**授業テーマ：アウトラインの発表(2)** 授業内容：論文のアウトラインを発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
8回	**授業テーマ：論文の構造** 授業内容：論文の構造、各部に書くべき内容を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。 事後学修 2.0hr：理解の整理	23回	**授業テーマ：アウトラインの発表(3)** 授業内容：論文のアウトラインを発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
9回	**授業テーマ：論文の構想の発表 (1)** 授業内容：発表資料の準備 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	24回	**授業テーマ：アウトラインの発表(4)** 授業内容：論文のアウトラインを発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
10回	**授業テーマ：論文の構想の発表 (2)** 授業内容：論文の構想を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	25回	**授業テーマ：論文の書式** 授業内容：論文の書式・図表の掲載の仕方・目次の作成方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の実践

11回	**授業テーマ：論文の構想の発表 (3)** 授業内容：論文の構想を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	26回	**授業テーマ：第 1 稿の検討(1)** 授業内容：論文の第 1 稿を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
12回	**授業テーマ：調査とデータの収集** 授業内容：論文執筆のための調査の方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく 事後学修 2.0hr：理解の整理。調査計画の準備	27回	**授業テーマ：第 1 稿の検討(2)** 授業内容：論文の第 1 稿を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
13回	**授業テーマ：調査計画の構想 (1)** 授業内容：各自の調査計画を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	28回	**授業テーマ：第 1 稿の検討(3)** 授業内容：論文の第 1 稿を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
14回	**授業テーマ：調査計画の構想 (2)** 授業内容：各自の調査計画を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理	29回	**授業テーマ：第 1 稿の検討(4)** 授業内容：論文の第 1 稿を発表し、内容に基づいてディスカッションする。 事前学修 2.0hr：発表資料の準備 事後学修 2.0hr：ディスカッション内容の整理
15回	**授業テーマ：前半のまとめ** 授業内容：ここまでの内容を振り返り、補足をする。夏休みに向けて研究計画を報告する。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：研究計画の実践	30回	**授業テーマ：まとめと改稿のポイント** 授業内容：論文を改訂する際のポイントを学ぶ。 事前学修 2.0hr：これまでの内容を復習し、疑問点と考察を整理する 事後学修 2.0hr：改訂稿の準備

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

「やる気の出る英語の授業」とはどんな特徴を持つのか、どのように実践すればよいのかについて考察します。社会心理学や教育心理学、応用言語学からの動機づけ理論を研究し、学際的な見方を養います。そして、履修生同士の討議や発表を通して、教育的実践について具体的に検討します。また、英語教育の重要なトピックについて、論文を読み、ディスカッションを通して考えを深めます。さらには、コミュニケーション中心の英語授業を行うための英語運用能力も同時に養成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：・「やる気」を引き出す具体的方策について広い知識を持ち、且実践できる。
・コミュニケーション活動について知識を持ち、それらを授業内で実践できる。
・教員採用試験の英語面接や英検準 1 級 2 次面接試験合格レベルの英語運用力を身に着ける。

個別目標：・社会的・教育的話題について自分の意見を英語で論理的に述べることができる。
・やる気の出る授業について、自分の考えを持ち、それを実践に移すことができる。
・主体的・対話的で深い学びを引き起こす工夫を授業指導に生かすことができる。
・英語学習の動機づけの観点から「やる気」の主要な要因について説明できる。

▌履修条件

・原則的に、3 年次に授業担当者の専門領域研究講座を履修していること。
・そうでない場合は、担当者の承諾を履修前に受けていること。

▌評価基準・方法

・授業内の活動への取り組み(40 %)、模擬授業(30 %)、英語面接テスト(20 %)、課題(10 %)を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ほぼ毎時間のグループディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Excel、Word、PowerPoint ソフトを搭載したノート PC を毎回持参すること）

▌教科書

・最初の授業で提示します。

▌参考書

・小池生夫編著(2013)『提言　日本の英語教育ーガラパゴスからの脱出』　光村図書
・ゾルタン・ドルニエイ著／米山朝二ら訳(2005)『動機づけを高めるため英語指導ストラテジー３５』　大修館書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：一年間のゼミスケジュールについて理解する。また、研究の進捗状況について各自発表する。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	16回	**授業テーマ：後期のオリエンテーション** 授業内容：後期のゼミスケジュールを確認する。夏休み中の研究について各自進捗状況を発表する。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：指定個所を読む。
2回	**授業テーマ：動機づけ理論の紹介①** 授業内容：最新の動機づけ理論研究について文献研究をし、担当者が発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	17回	**授業テーマ：適切な教師の行動** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための適切な教師の行動について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
3回	**授業テーマ：動機づけ理論の紹介②** 授業内容：前回に引き続き、最新の動機づけ理論研究について文献研究をし、担当者が発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	18回	**授業テーマ：教室内の楽しい、支持的な雰囲気** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための教室内の楽しい、支持的な雰囲気について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
4回	**授業テーマ：動機づけ理論の紹介③** 授業内容：前回に引き続き、最新の動機づけ理論研究について文献研究をし、担当者が発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	19回	**授業テーマ：学習者の言語関連の価値観と好ましい態度の養成** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための学習者の言語関連の価値観と好ましい態度の養成について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
5回	**授業テーマ：動機づけ理論の紹介④** 授業内容：前回に引き続き、最新の動機づけ理論研究について文献研究をし、担当者が発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。	20回	**授業テーマ：成功期待感** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための成功期待感について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
6回	**授業テーマ：第 1 回模擬授業①** 授業内容：各自が理想とする授業を実際に実演する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。	21回	**授業テーマ：目標志向性** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための目標志向性について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
7回	**授業テーマ：第 1 回模擬授業②** 授業内容：前回に引き続き、各自が理想とする授業を実際に実演する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。	22回	**授業テーマ：教材の適切性と現実的学習者信念** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための教材の適切性と現実的学習者信念について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。

8回	**授業テーマ：第 1 回模擬授業③** 授業内容：前回に引き続き、各自が理想とする授業を実際に実演する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：模擬授業を振り返る。	23回	**授業テーマ：学習への興味の喚起** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための学習への興味の喚起について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。
9回	**授業テーマ：英語教育 Hot Issue について①** 授業内容：英語教育の最新の話題について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	24回	**授業テーマ：動機づけを高めるタスクの提示と具体的学習目標** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための動機づけを高めるタスクの提示と具体的学習目標について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
10回	**授業テーマ：英語教育 Hot Issue について②** 授業内容：英語教育の最新の話題について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。	25回	**授業テーマ：自尊感情と肯定的社会心象** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための自尊感情と肯定的社会心象について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
11回	**授業テーマ：英語ディスカッション①** 授業内容：社会的話題について実際に Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。 事前学修 2.0hr：課題をおこなう。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、英語を論理的に述べる練習をする。	26回	**授業テーマ：学習者の自律と協働学習** 授業内容：生徒の動機づけを高めるための学習者の自律と協働学習について考察する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定個所を読む。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、発表の準備をおこなう。
12回	**授業テーマ：英語ディスカッション②** 授業内容：前回に引き続き、社会的話題について実際に Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。 事前学修 2.0hr：課題をおこなう。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、英語を論理的に述べる練習をする。	27回	**授業テーマ：研究発表①** 授業内容：卒業研究について各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。
13回	**授業テーマ：英語ディスカッション③** 授業内容：前回に引き続き、社会的話題について実際に Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。 事前学修 2.0hr：課題をおこなう。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、英語を論理的に述べる練習をする。	28回	**授業テーマ：研究発表②** 授業内容：卒業研究について各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。
14回	**授業テーマ：英語ディスカッション④** 授業内容：前回に引き続き、社会的話題について実際に Discussion をおこない、学校現場での活用について考察する。 事前学修 2.0hr：課題をおこなう。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、英語を論理的に述べる練習をする。	29回	**授業テーマ：研究発表③** 授業内容：卒業研究について各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。 事後学修 2.0hr：発表の準備をおこなう。
15回	**授業テーマ：前期の総括** 授業内容：前期のゼミを振り返る。各自の研究について進捗状況を発表する。 事前学修 2.0hr：課題をおこなう。 事後学修 2.0hr：課題をおこなう。	30回	**授業テーマ：1 年間の学び・研究の総括** 授業内容：卒業研究について各自発表する。グループディスカッションを通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。 事後学修 2.0hr：授業を振り返り、自分の考えを深める。

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

河原　伸一（かわはら　しんいち）

▌授業の概要

米中対立やグローバルサウスの台頭など冷戦後の国際秩序が大きく変わろうとしています。この授業では、国際政治経済金融分野において、各受講生が関心を持ったテーマについて、英語を含む文献調査及び議論などにより深く考察し、卒業論文を作成します。具体的には、先行研究によってこれまでの研究成果を理解した後、アクティブ・ラーニングを通じて、学生・教員間、学生間のコミュニケーションを促し、受講生自身の新たな気づきにつなげ、卒業論文に受講生のオリジナリティを反映させることができます。卒業論文は、4 年間の学習の集大成であり、また、卒業後、国際未来社会で活躍するための原動力になります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：地球儀規模で世界を俯瞰し、国際的な座標軸において視野を広げ、世界平和について考え、行動できるようになります。
国際社会で見られる多様な価値観に触れ、多面的に問題について考察し、問題を解決できるようになります。
アクティブ・ラーニングを通じて、深く考えること、独創的な着想ができるようになります。
社会で今起きている事象に絶えず関心を持ち、社会に貢献できる可能性について自律的に考えるようになります。

個別目標：各自のテーマに関する文献調査や授業内におけるディスカッションを通じて、テーマに関する知見を高めます。また、新聞などの良質な日本語・英語の多読・精読を継続し、適切な日本語・英語表現ができるようにします。さらに、ビジネスの最前線で活躍している社会人とのコミュニケーションを通じて、各自のテーマと社会との接点を実践的に理解し、卒業後の仕事に活かすことができます。

▌履修条件

事前に履修許可を得た学生のみ履修を認めます。

▌評価基準・方法

授業参加度 40 %、卒業論文 60 %に基づき、総合的に評価します。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とします。
授業参加度には、授業テーマに関する課題リーディングの予習・復習、授業内におけるディスカッションへの積極的な参加・貢献が含まれます。
卒業論文の評価項目には、選考文献の網羅的な調査、オリジナリティ、適切なロジック展開などが含まれます。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内または学修支援システム manaba で行います。
国際未来社会で活躍できるロジック力を身に付けられるよう、授業内ディスカッションの場合、ロジックの流れが適切かどうか、学生と相互確認しながらフィードバックを行います。レポートの場合、ロジックの流れにモレや重複がないかどうか、読み手にメッセージが明瞭に伝わるかどうかを添削指導します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループ・ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （卒論作成時などに Excel、Word ソフトを搭載したパソコンを使用）

▌教科書

講義の進捗に応じて、指示します。

▌参考書

受講生の卒業論文に関連した参考文献を随時、指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：各受講生の研究テーマに関する各種先行研究を購読・視聴し、十分な背景知識を得た上で、研究テーマについて 1 つずつグループ・ディスカッションを行い、論点を整理します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関するブレーンストーミング 1 事後学修 2.0hr：一年間の研究計画策定	16回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：各受講生が卒論の進捗状況について中間発表を行い、クラスでさまざまな視点から論点を議論します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：発表準備 事後学修 2.0hr：後学期の研究計画策定
2回	**授業テーマ：研究テーマに関するブレーンストーミング 2** 授業内容：第 1 回授業において検討する必要があると指摘された点について、再考結果を受講生間で共有し、他の受講生のアイデア創出に資する活動を行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関するキーワード作成 事後学修 2.0hr：研究テーマについての考察・メモ作成	17回	**授業テーマ：先行研究のレビュー 4** 授業内容：前回の先行研究調査後に発表された最新の先行研究について追加調査を行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：先行研究のレビュー 事後学修 2.0hr：本文執筆
3回	**授業テーマ：研究テーマに関するブレーンストーミング 3** 授業内容：各自の卒論における研究概要をクラスで共有し、他の受講生の研究概要から自分で気づかなかった論点について学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：研究概要作成 事後学修 2.0hr：研究テーマの図式化	18回	**授業テーマ：先行研究のレビュー 5** 授業内容：各受講生が新たに収集した先行研究に重大なモレがないか確認します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：先行研究のレビュー 事後学修 2.0hr：本文執筆
4回	**授業テーマ：研究テーマに関するブレーンストーミング 4** 授業内容：各自が図式化した研究内容をクラスで共有し、他人に伝えるスキルを実践的に学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：研究内容の図式化 事後学修 2.0hr：アウトライン作成	19回	**授業テーマ：データの分析・解釈・議論（その 1）** 授業内容：各受講生が行った分析・解釈の適切性について、クラスで議論します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：データの分析・解釈 事後学修 2.0hr：独創性の検証
5回	**授業テーマ：先行研究のレビュー　1** 授業内容：各自の先行研究レビューをクラスで共有し、卒論執筆にどの程度の基本文献が必要か共通認識を持ちます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献調査 事後学修 2.0hr：参考文献調査	20回	**授業テーマ：データの分析・解釈・議論（その 2）** 授業内容：前回授業で指摘された論点について、各受講者が再考結果をクラスで発表します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：データの整理 事後学修 2.0hr：データ入力

6回	**授業テーマ：先行研究のレビュー 2** 授業内容：収集した基本文献が適切なものかどうか、不足しているものはないかクラスで調査します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献調査 事後学修 2.0hr：参考文献読み込み	21回	**授業テーマ：概要作成** 授業内容：卒論の本格的な執筆に着手する。第一段階として、卒論の概要を検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：概要作成 事後学修 2.0hr：本文執筆
7回	**授業テーマ：先行研究のレビュー 3** 授業内容：先行研究の論点について、クラスで共有し、理論と実践の観点からグループ・ディスカッションを行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献読み込み 事後学修 2.0hr：参考文献読み込み	22回	**授業テーマ：各テーマに関する議論** 授業内容：各受講生の卒論テーマと我々の身近な課題との関係性についてクラスで議論し、卒論の今日的意義を確認します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：議論の準備 事後学修 2.0hr：議論ポイント整理
8回	**授業テーマ：調査方法 1** 授業内容：小林昌樹『調べる技術』を参考にして、レファレンス・スキルをマスターします。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献読み込み 事後学修 2.0hr：研究テーマの独創性の検証	23回	**授業テーマ：概要の展開** 授業内容：参考文献に英語で執筆された適切な文献が含まれているか確認します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：外国語参考文献の読み込み 事後学修 2.0hr：外国語参考文献の読み込み
9回	**授業テーマ：調査方法 2** 授業内容：前回授業で学んだレファレンス・スキルを活用して新たに収集した先行研究をクラスで共有し、レファレンス・スキルの有効性を確認します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献読み込み 事後学修 2.0hr：参考文献読み込み	24回	**授業テーマ：各テーマに関する議論(その１)** 授業内容：執筆できたところから、クラスで議論・修正などを行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：本文執筆
10回	**授業テーマ：アウトライン作成(その１)** 授業内容：各受講生の卒論アウトラインについてクラスで議論し、整合性や独自性などについて検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：アウトライン作成 事後学修 2.0hr：アウトライン作成	25回	**授業テーマ：各テーマに関する議論(その２)** 授業内容：新たに執筆した部分や修正部分について、クラスで議論・修正を行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：本文執筆
11回	**授業テーマ：アウトライン作成(その２)** 授業内容：前回授業で指摘された改善点についてクラスで報告し、さらなる改善が可能か検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：参考文献読み込み 事後学修 2.0hr：概要執筆	26回	**授業テーマ：各テーマに関する議論(その３)** 授業内容：新たに執筆した部分や修正部分について、クラスで議論・修正を行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：本文執筆
12回	**授業テーマ：骨子作成** 授業内容：卒論アウトラインについて、一定の水準を超えたものについて、骨子の詳細を検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：骨子に肉付けをする 事後学修 2.0hr：概要作成	27回	**授業テーマ：初稿** 授業内容：卒論の初稿に対して、改善点などについて、教員がコメントします。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：本文執筆
13回	**授業テーマ：データ収集** 授業内容：卒論の説得力を高めるためにデータが必要かどうか検討します。必要な場合、データ照会先を検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：データ収集 事後学修 2.0hr：データ収集	28回	**授業テーマ：他の学生の論文のレビュー(その１)** 授業内容：各受講生の卒論をクラスで共有し、自分の卒論に不足している部分などを学びます。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 3.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：本文執筆
14回	**授業テーマ：データの分析・解釈(その１)** 授業内容：収集したデータの分析・解釈方法について先行研究を参考にして検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：データの分析・解釈 事後学修 2.0hr：データ入力	29回	**授業テーマ：他の学生の論文のレビュー(その２)** 授業内容：前回に引き続き、各受講生の卒論をクラスで共有し、さまざまな視点から最終確認を行います。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：本文執筆 事後学修 2.0hr：論文完成
15回	**授業テーマ：データの分析・解釈(その２)** 授業内容：データの分析・解釈について、先行研究を参考にして客観性や完全性があるか検討します。また、直近の国際情勢について、各自事前調査した上で、グループ・ディスカッションを行い、洞察力を高めます。 事前学修 2.0hr：データの分析・解釈 事後学修 2.0hr：概要作成	30回	**授業テーマ：プレゼンテーション** 授業内容：完成した卒論をクラス内で発表し、教員や他の学生から建設的なコメントを得ます。内容や表記方法について修正する必要がある場合、適宜修正を行い、卒論の最終版を提出する。 事前学修 4.0hr：論文発表準備 事後学修 4.0hr：論文完成

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

ケイコ　ナカムラ

▌授業の概要

This course is designed to enable students to write a graduation thesis on a topic of their choice (e.g., related to psycholinguistics or a topic in the fields of linguistics and/or psychology). Students will learn how to conduct research by finding a research topic, writing a literature review, designing a research methodology (e.g., questionnaires, interviews), collecting and analyzing data, and presenting results in the form of a written senior thesis as well as an oral presentation.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：The goal of this course is to write a graduation thesis on a topic related to psycholinguistics or a related field (e.g., linguistics, psychology), based on empirical (data-driven) research.

個別目標：Through this course, students will:

1. Learn how to conduct independent research (e.g., find an interesting topic, write a research proposal, conduct a literature review, design a research methodology, collect and analyze data, compile results)
2. Write a graduation report or thesis
3. Conduct presentations at several points in their research (e.g., proposal, midterm report, final presentation)

▌履修条件

This course requires that students be able to conduct independent learning, by taking initiative in the process of writing a graduation thesis. Students must be independent, critical thinkers and work consistently throughout the year on their research project, in concrete stages.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on: active participation in class activities (e.g., writing a research proposal, conducting a literature review, designing a methodology, collecting and analyzing data, compiling results, writing): 30%; Graduation report/thesis: 50%; Oral presentations: 20%. Students must attend 80% or more of the classes.

▌フィードバック方法

Feedback of assignments will be conducted through manaba and face-to-face in class.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussions, peer evaluations &feedback）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （We will be in a PC classroom using MS Word, Powerpoint &Excel.）

▌教科書

Readings will be distributed as necessary. Some readings will come from Basic Steps to Writing Research Papers, 2nd edition (2018) by D. Kluge &M. Taylor.

▌参考書

Supplementary materials will be provided according to the research interests and senior thesis topic of the individual students.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to Graduation Thesis Writing** 授業内容：Lecture on "What is a research paper?" (Ch. 1) Looking at types of research papers &steps of writing a research paper. Try to generate several possible topics. Give feedback. 事前学修 2.0hr：Brainstorm possible thesis topics 事後学修 2.0hr：Search for promising thesis topics	16回	**授業テーマ：Data Collection III** 授業内容：Continue data collection through the summer. Be ready to start coding and analysis at the beginning of the second semester. 事前学修 2.0hr：Continue data collection 事後学修 2.0hr：Continue data collection
2回	**授業テーマ：Starting research/Generating a research topic** 授業内容：Lecture on "Prewriting: Preparation &Research" (Ch. 2) Continue brainstorming topics. Once topic is selected, topic must be fine-tuned and narrowed. 事前学修 2.0hr：Search for promising thesis topics 事後学修 2.0hr：Narrow down thesis topic possibilities	17回	**授業テーマ：Data Collection IV** 授業内容：Continue data collection through the summer. Be ready to start coding and analysis at the beginning of the second semester. 事前学修 2.0hr：Continue data collection 事後学修 2.0hr：Continue data collection
3回	**授業テーマ：Writing a Research Proposal** 授業内容：Lecture on "The Beginning Thesis Statement" (Ch. 4) &"Revising the Thesis Statement &Working Outline" (Ch. 5). Once topic is selected, write research proposal. Topic presentations. 事前学修 2.0hr：Decide on research topic 事後学修 2.0hr：Finish research proposal	18回	**授業テーマ：Data Analysis I** 授業内容：Once data has been gathered, start data coding and analysis. For example, if using Google Forms, organize data. 事前学修 2.0hr：Report on current status of data collection 事後学修 2.0hr：Start data analysis
4回	**授業テーマ：Literature Review I: Carrying out research** 授業内容：Lecture on "Research" (Ch. 3): Possible sources and references. Conduct research: Work on gathering information on selected topic. 事前学修 2.0hr：Start literature review 事後学修 2.0hr：Continue with the literature review	19回	**授業テーマ：Data Analysis II** 授業内容：Continue data coding and analysis. For example, if doing observations, tally the results of checklist. 事前学修 2.0hr：Continue data analysis 事後学修 2.0hr：Continue data analysis
5回	**授業テーマ：Literature Review II: Finding &Using Sources** 授業内容：Lecture on "The Experimental Report" (Ch. 5). Continue to conduct research and gather information on selected topic. 事前学修 2.0hr：Continue with the literature review 事後学修 2.0hr：Continue with the literature review	20回	**授業テーマ：Data Analysis III** 授業内容：Continue data coding and analysis. For example, if doing interviews, organize data qualitatively. 事前学修 2.0hr：Continue data analysis 事後学修 2.0hr：Finish data analysis
6回	**授業テーマ：Literature Review III: Using the Internet** 授業内容：Lecture on "Avoiding Plagiarism: Citing &Quoting Sources" (Ch. 13): Learn how to reference accurately and properly. 事前学修 2.0hr：Continue with the literature review 事後学修 2.0hr：Continue with the literature review	21回	**授業テーマ：Writing up a Graduation Thesis I: Literature Review** 授業内容：Review literature review and edit it. Add new references. 事前学修 2.0hr：Start write-up 事後学修 2.0hr：Work on write up research question &literature review
7回	**授業テーマ：Literature Review IV: Organizing the literature review** 授業内容：Lecture on "Support, Accuracy, Logic &Relevance" (Ch. 10); Continue to gather materials and read/summarize materials. 事前学修 2.0hr：Continue with the literature review 事後学修 2.0hr：Continue with the literature review	22回	**授業テーマ：Writing up a Graduation Thesis II: Methodology** 授業内容：Write up methodology section; have separate sections for Participants, Materials, Procedure, Data coding &analysis 事前学修 2.0hr：Submit introduction/research question &literature review 事後学修 2.0hr：Work on methodology

8回	**授業テーマ：Literature Review Writing** 授業内容：”Writing the first draft” (Ch. 7) &”Writing the Introduction” (Ch. 9). Start to write the introduction &literature review part of graduation thesis. 事前学修 2.0hr：Summarize references for literature review 事後学修 2.0hr：Write your literature review (2-3 pages minimum)	23回	**授業テーマ：Writing up a Graduation Thesis III: Results** 授業内容：Once data analysis is finished, organize results. 事前学修 2.0hr：Submit methodology 事後学修 2.0hr：Work on results
9回	**授業テーマ：Research Methodology I: Quantitative Research** 授業内容：Lecture on ”Setting up the Experiment” (Ch. 17), discuss how to design a questionnaire (e.g., how to make questions, how to analyze data) 事前学修 2.0hr：Read materials (e.g., on questionnaires) 事後学修 2.0hr：Design a questionnaire for your research	24回	**授業テーマ：Writing up a Graduation Thesis IV: Discussion** 授業内容：Once results section is finished, organize discussion. What is the meaning of your results? What are the strengths and weaknesses of study? Future directions of research? 事前学修 2.0hr：Submit results 事後学修 2.0hr：Work on discussion
10回	**授業テーマ：Research Methodology II: Qualitative Research** 授業内容：Discuss other research methodologies, such as how to design an interview (e.g., writing good questions, getting good answers). 事前学修 2.0hr：Read materials (e.g., on interviews) 事後学修 2.0hr：Design an interview for your research	25回	**授業テーマ：Writing up a Graduation Thesis V: Conclusion &References** 授業内容：Write conclusion (go back to introduction and make sure research questions are answered). Add a title and references. 事前学修 2.0hr：Submit discussion 事後学修 2.0hr：Work on conclusion &references
11回	**授業テーマ：Research Methodology III: Other Research Methods** 授業内容：Discuss other research methodologies, such as how to conduct observations or experiments (e.g., using a checklist, creating conditions). Find the best methodology for research question. 事前学修 2.0hr：Read materials (e.g., observations, experiments) 事後学修 2.0hr：Find the best methodology to answer your research question	26回	**授業テーマ：Submission of first draft** 授業内容：Format graduation thesis according to the format guidelines. Need to have a cover sheet, a table of contents, acknowledgments and references. Should also have tables and figures. 事前学修 2.0hr：Put everything together into a first draft; submit first draft 事後学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback
12回	**授業テーマ：Research Methodology Design I** 授業内容：Design research methodology I: Participants, procedures, instrument (e.g., questionnaire, interview), data analysis. 事前学修 2.0hr：Design your research methodology 事後学修 2.0hr：Write up your research methodology	27回	**授業テーマ：Revision of First Draft** 授業内容：After the first draft is submitted, it will be returned with feedback. 事前学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback 事後学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback
13回	**授業テーマ：Research Methodology Design II** 授業内容：Design research methodology II: Participants, procedures, instrument (e.g., questionnaire, interview), data analysis. If possible, try to pilot research study. 事前学修 2.0hr：Write up your research methodology &get approval 事後学修 2.0hr：Set up your data collection	28回	**授業テーマ：Submission of second draft** 授業内容：Based on the feedback from the first draft, submit a second draft. 事前学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback; submit second draft 事後学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback
14回	**授業テーマ：Data Collection I** 授業内容：After piloting study, start data collection (e.g., online questionnaire, interviews, observations, experiments). 事前学修 2.0hr：Be ready to discuss plans for data collection 事後学修 2.0hr：Start data collection	29回	**授業テーマ：Revision of second draft** 授業内容：After the second draft is submitted, it will be returned with comments and feedback once more. 事前学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback 事後学修 2.0hr：Re-write draft based on feedback
15回	**授業テーマ：Data Collection II** 授業内容：Midterm Report presentation of where you are in your research. Continue data collection through the summer. 事前学修 2.0hr：Continue data collection 事後学修 2.0hr：Continue data collection	30回	**授業テーマ：Final Research Presentations/Submission of final draft** 授業内容：Revise and rewrite graduation thesis based on the second round of feedback. Final graduation thesis presentations will be held on the last day of class. 事前学修 2.0hr：Prepare for final research presentation 事後学修 2.0hr：Submit final written draft of graduation report/thesis

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

この授業では、専門領域研究講座に引き続いて、グローバル課題に関する知識を身につけ、関心のあるテーマで卒業論文を作成する。適宜、企業や官公庁などで研修も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：国際社会に関する深い教養を身につけ、卒業の作成を通じて国際社会が抱える課題を様々な観点から考えるための知識と論理的・客観的思考を養う。

個別目標：1. 国際問題について独自の考えを持つことができる。
2. 日本語でも英語でも自らの考えを他者に伝えることができる。
3. 英検準 1 級や TOEIC800 点レベル以上に英語力を高めることができる。

▌履修条件

事前に担当者に相談すること。

▌評価基準・方法

発表・授業への参加 50 %、論文執筆 30 %、論文のプレゼン 20 %。原則として、毎回出席すること。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PPT を使ったプレゼンを行う。）

▌教科書

Stephen M. Walt, ”International Relations: One World, Many Theories,” Foreign Policy No. 110 (Spring, 1998)

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：各自の関心あるテーマについて発表する。 事前学修 2.0hr：国際問題に関してどのような関心を持っているか発表できるようにする。 事後学修 2.0hr：卒論のテーマについて考える。	16 回	**授業テーマ：卒論作成計画の発表** 授業内容：卒論の計画について発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：コメントをふまえて計画を修正
2 回	**授業テーマ：国際政治の視点** 授業内容：国際政治の基礎を復習する。 事前学修 2.0hr：指定された文献を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	17 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論計画をアップデート
3 回	**授業テーマ：国際政治の理論 1** 授業内容：教科書を輪読し、リアリズムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	18 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論計画をアップデート
4 回	**授業テーマ：国際政治の理論 2** 授業内容：教科書を輪読し、リアリズムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	19 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論草稿をアップデート
5 回	**授業テーマ：国際政治の理論 3** 授業内容：教科書を輪読し、リベラリズムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	20 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論草稿をアップデート
6 回	**授業テーマ：国際政治の理論 4** 授業内容：教科書を輪読し、リベラリズムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	21 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論草稿をアップデート
7 回	**授業テーマ：現代の課題 1** 授業内容：ウクライナ戦争について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	22 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論草稿をアップデート
8 回	**授業テーマ：現代の課題 2** 授業内容：台湾情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	23 回	**授業テーマ：先行研究の発表** 授業内容：先行研究の批判的分析を行う。 事前学修 2.0hr：先行研究に関するプレゼンを準備 事後学修 2.0hr：議論をふまえて卒論草稿をアップデート
9 回	**授業テーマ：現代の課題 3** 授業内容：米中対立について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	24 回	**授業テーマ：卒論の中間発表** 授業内容：卒論の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて卒論をアップデート
10 回	**授業テーマ：現代の課題 4** 授業内容：中東情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書を読み、議論の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業のふりかえり	25 回	**授業テーマ：卒論の中間発表** 授業内容：卒論の中間発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて卒論をアップデート
11 回	**授業テーマ：卒論の作成方法 1** 授業内容：論文とは何かについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読む 事後学修 2.0hr：授業の内容をふまえて簡単なレポートを作成	26 回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを実施する。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容を卒論に反映させる

12回	**授業テーマ：卒論の作成方法 2** 授業内容：論文の書き方について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読む 事後学修 2.0hr：授業の内容をふまえて簡単なレポートを作成	27回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを実施する。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容をレ卒論に反映させる
13回	**授業テーマ：プレゼン技術 1** 授業内容：プレゼンの基礎について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読んで、簡単なプレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンの反省点をまとめる	28回	**授業テーマ：外部講師によるセミナー** 授業内容：関心あるテーマを専門とする外部講師によるセミナーを実施する。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読み、セミナーに備える 事後学修 2.0hr：セミナーの内容を卒論に反映させる
14回	**授業テーマ：プレゼン技術 2** 授業内容：プレゼンの練習を行う。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読んで、簡単なプレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンの反省点をまとめる	29回	**授業テーマ：卒論の発表** 授業内容：卒論の発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて卒論を完成
15回	**授業テーマ：卒論作成計画の発表** 授業内容：卒論の計画について発表する。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：コメントをふまえて計画を修正	30回	**授業テーマ：卒論の発表** 授業内容：卒論の発表を行う。 事前学修 2.0hr：プレゼンの準備 事後学修 2.0hr：プレゼンへのコメントをふまえて卒論を完成

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

嶋田　珠巳（しまだ　たまみ）

▌授業の概要

卒業論文執筆のための指導を行う。卒業論文のトピックは、ひろく言語に関することを条件とする。授業形態は個人面談およびグループ演習による。
※ 本卒論ゼミは全員が卒論を完成させるという目標のもとに学生どうしが互いの関心を共有する形で進める。卒業論文をしっかりと書きたい、ゼミ仲間とともにさまざまに考察を深めたい、という学生を歓迎する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：言語に関する自らの関心のもとでテーマをさだめ、卒業論文を完成させる。
個別目標：(1)自らの興味や関心に基づいて研究テーマを決める。そのもとで必要な文献を探し、内容を理解し、自らの考察のために役立てることができる。
(2)研究テーマに関して調査をすすめ、その内容を文章にまとめることができる。
(3)研究テーマについて、独自の考察を行い、新たな知見を導くことができる。

▌履修条件

(1)卒業論文を完成させるという強い意思のあること。
その上で、(2)履修登録確定の前に卒業研究のテーマについて教員に相談していること。
※ 担当教員の専門領域研究講座または英語学特講 I-a と b の単位を既に取得していることが望ましい(希望者多数の場合、それ以外の者は履修を認めないことがある)。履修を希望する人はかならず初回の授業に出席すること。

▌評価基準・方法

到達目標の(1)～(3)ができているか。
卒業論文完成までの取り組みと完成した卒業論文を総合的に評価する。

▌フィードバック方法

必要に応じて授業内などで適宜行う。成績評価に関しても、希望により面談を行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （主体的に調査、研究を進める。ゼミメンバーと積極的に意見交換を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （卒業論文の作成のために PC を利用する。）

▌教科書

指定しない。

▌参考書

それぞれのテーマに応じて、適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：研究テーマへのアプローチ(1)** 授業内容：卒業研究のテーマをどのように立てるのがいいか、１年間のタイムスケジュールをどのように立てるのか。 事前学修 2.0hr：言語に関する現時点での関心を書き留めておく。 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	16回	**授業テーマ：後期のガイダンス** 授業内容：トピック：後期の卒業研究の進め方、夏休みの進捗状況確認。それぞれの解決すべき課題について共有し、解決策を探る。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
2回	**授業テーマ：研究テーマへのアプローチ(2)** 授業内容：自らの関心をどのようにして卒業論文のテーマにしていくのか。 事前学修 2.0hr：自分の関心についてまとめたものを準備しておく 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	17回	**授業テーマ：独自の調査と考察(1)** 授業内容：自らの調査と考察についてレジュメにまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
3回	**授業テーマ：それぞれのテーマと研究計画(1)** 授業内容：個人面談を行いながら、卒業論文のテーマをおおよそ定め、完成までのロードマップを各自が描く。 事前学修 2.0hr：研究テーマを絞り、卒業論文の構想を考え始める 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	18回	**授業テーマ：独自の調査と考察(2)** 授業内容：自らの調査と考察についてレジュメにまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
4回	**授業テーマ：それぞれのテーマと研究計画(2)** 授業内容：個人面談を行いながら、卒業論文のテーマをおおよそ定め、完成までのロードマップを各自が描く。 事前学修 2.0hr：卒業論文完成までの計画を自分でいったん立ててみる 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	19回	**授業テーマ：独自の調査と考察(3)** 授業内容：自らの調査と考察についてレジュメにまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
5回	**授業テーマ：文献から情報を得る(1)** 授業内容：文献調査の方法と実際の作業。自分の関心に近い文献をいくつか見つける。 事前学修 2.0hr：文献調査への着手 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	20回	**授業テーマ：論文を書くときの作法(1)** 授業内容：参考文献の書き方、引用の仕方、調査報告の書き方、データの示し方など、執筆上の注意点を確認する。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
6回	**授業テーマ：文献から情報を得る(2)** 授業内容：文献を正確に読み、その内容をまとめる作業をそれぞれに行う。 事前学修 2.0hr：内容を整理する、疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	21回	**授業テーマ：論文を書くときの作法(2)** 授業内容：執筆原稿を見ながら注意点を確認し、自ら修正を行う。 事前学修 2.0hr：原稿確認ができるように準備しておく 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
7回	**授業テーマ：文献内容の理解と考察(1)** 授業内容：興味をもった文献の内容をまとめ、レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：レポートの作成、疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	22回	**授業テーマ：執筆上の問題点の解決(1)** 授業内容：それぞれに執筆に取り組む。適宜助言を得ながら、書き進める。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
8回	**授業テーマ：文献内容の理解と考察(2)** 授業内容：文献の精読と批判的考察の演習を行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備、疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	23回	**授業テーマ：執筆上の問題点の解決(2)** 授業内容：それぞれに執筆に取り組む。適宜助言を得ながら、書き進める。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
9回	**授業テーマ：経過報告、問題点の共有と解決(1)** 授業内容：研究トピックと文献の紹介を行う。ゼミ仲間との意見交換を通して問題点を解決する。 事前学修 2.0hr：発表の準備、疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	24回	**授業テーマ：卒業論文を完成させる(1)** 授業内容：それぞれの論文にコメントを入れ、改善の助言を行う。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察

10回	**授業テーマ：経過報告、問題点の共有と解決（2）** 授業内容：研究トピックと文献の紹介を行う。ゼミ仲間との意見交換を通して問題点を解決する。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	25回	**授業テーマ：卒業論文を完成させる（2）** 授業内容：それぞれの論文にコメントを入れ、改善の助言を行う。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
11回	**授業テーマ：研究を進める（1）：問題の所在** 授業内容：ここまでの段階でわかってきた自分の関心のある領域の問題のありかを整理し、自らの立てた問いのもとに調査を始める。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	26回	**授業テーマ：卒業論文を完成させる（3）** 授業内容：それぞれの論文にコメントを入れ、改善の助言を行う。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
12回	**授業テーマ：研究を進める（2）：調査の目的と計画** 授業内容：調査計画を立てる。自らの問いに対して、どのような調査によって何を明らかにするのかを具体的に考える。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	27回	**授業テーマ：疑問点と問題点の解決（1）** 授業内容：改稿における疑問点の解決、ゼミ仲間との討議を行う。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
13回	**授業テーマ：研究をすすめる（3）：自らの調査の開始** 授業内容：自らデザインした調査・実験などを開始する。教員の助言をもとに改善をはかりながら調査等を進める。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	28回	**授業テーマ：疑問点や問題点の解決（2）** 授業内容：改稿における疑問点の解決、ゼミ仲間との討議を行う。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察
14回	**授業テーマ：前期のまとめとディスカッション** 授業内容：調査や調査デザインの問題点や強み、仲間と話し合う。自らのテーマの面白さや奥行きに気づく。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	29回	**授業テーマ：卒業論文の発表** 授業内容：完成した卒業論文について、レジュメにまとめ、発表する。仲間と意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：発表のためのレジュメの作成、自分の卒業研究の重要なところの確認 事後学修 2.0hr：完成までの過程と考察のまとめ
15回	**授業テーマ：卒業論文の執筆に向けて** 授業内容：夏休みを前に、これからやることを確認する。調査をまとめていく、卒業論文の構成を意識して文章を書く作業に入る。 事前学修 2.0hr：疑問点や問題点の把握 事後学修 2.0hr：学んだことの整理とさらなる考察	30回	**授業テーマ：卒業論文の発表** 授業内容：完成した卒業論文について、レジュメにまとめ、発表する。仲間と意見交換を行う。 事前学修 2.0hr：発表のためのレジュメの作成、自分の卒業研究の重要なところの確認 事後学修 2.0hr：フィードバックを書き留めておくなど

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

辰己　雄太（たつみ　ゆうた）

▌授業の概要

専門領域研究講座で取り組んだ、ことばに関する「なぜ」をさらに深めてより良い分析・説明を考え、卒業研究を完成させるための支援を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：ことばに関して疑問を見つけ、その疑問についてより良い分析・解決方法を提案する能力を身につける。
個別目標：1. ことばについて、自分が興味深いと思う「なぜ」をより深いものにできるようになる
2. その「なぜ」を他の人に興味深いとより強く思わせられるようになる
3. その「なぜ」により良い分析・説明を与えられるようになる

▌履修条件

知的好奇心を持つこと及び自分の頭で考えることを厭わない姿勢が求められる。
また学生として、積極的・主体的に講義内での議論に参加することが期待される。

▌評価基準・方法

５分の４以上の出席を評価の前提とする。評点の内訳は、授業への積極的な貢献度 50 %、発表及びゼミ論文などの提出物 50 %とする。

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・ディベート、グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （必要に応じて、PowerPoint、Word などのソフトを搭載したノートパソコンを持参すること）

▌教科書

特になし。必要に応じて、資料を配付する。

▌参考書

必要に応じて適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：講義の計画、受講上の注意や評価基準などを説明する。今後のプレゼンのためのスケジュールを決める。 事前学修 2.0hr：講義要項を参考に授業内容や方針を確認する 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考える	16回	**授業テーマ：後期オリエンテーション** 授業内容：今後の講義計画、卒業論文執筆のための重要事項などを説明する。今後の発表のためのスケジュールなども決める。 事前学修 2.0hr：夏休みの研究成果をまとめておく 事後学修 2.0hr：夏休みの研究成果をまとめておく
2回	**授業テーマ：研究テーマを探す (1)** 授業内容：ヒトのことばについて、研究テーマを考えるための準備を行う。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考える 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考える	17回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (1)** 授業内容：これまでの研究内容をまとめて発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める
3回	**授業テーマ：研究テーマを探す (2)** 授業内容：ヒトのことばについて、研究テーマを考え、調査のためにアイデアを考える。 事前学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考える 事後学修 2.0hr：ことばについての「なぜ」を考える	18回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (2)** 授業内容：これまでの研究内容をスライドやハンドアウトといった資料にまとめて発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める
4回	**授業テーマ：研究テーマについての調査 (1)** 授業内容：選んだ研究テーマについての調査を始める。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関する資料などを調査する 事後学修 2.0hr：調査した結果をまとめる	19回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (3)** 授業内容：これまでの研究内容を資料にまとめて発表する。発表の方法についても学習する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める
5回	**授業テーマ：研究テーマについての調査 (2)** 授業内容：選んだ研究テーマについての調査を続け、発表に向けて資料の作成などを行う。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関する資料などを調査する 事後学修 2.0hr：調査した結果をまとめる	20回	**授業テーマ：夏休みの研究成果発表 (4)** 授業内容：これまでの研究内容を資料にまとめて発表する。発表へのコメントについて考える。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める
6回	**授業テーマ：研究進捗の報告 (1)** 授業内容：選んだトピックについて、調査したことをまとめ発表を行う。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める	21回	**授業テーマ：研究を発展させる (1)** 授業内容：発表をとして得られたフィードバックを理解し、今後の研究へどのように反映させるかを考える。 事前学修 2.0hr：これまでの研究成果をどう発展させたらよいか考える 事後学修 2.0hr：研究を発展させる
7回	**授業テーマ：研究進捗の報告 (2)** 授業内容：選んだトピックについて、調査したことをまとて発表を行い、グループで意見交換をする。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める	22回	**授業テーマ：研究を発展させる (2)** 授業内容：今後の研究をどのように発展させるのかを考える。 事前学修 2.0hr：これまでの研究成果をどう発展させたらよいか考える 事後学修 2.0hr：研究を発展させる
8回	**授業テーマ：研究方法 (1)** 授業内容：研究報告を踏まえて、さらにテーマを掘り下げるための研究方法を考える。 事前学修 2.0hr：どのような研究方法が良いか考える 事後学修 2.0hr：学んだことを整理する	23回	**授業テーマ：研究を発展させる (3)** 授業内容：自身の研究を卒業論文としてまとめるために、研究をどこまで発展させるのかを考える。 事前学修 2.0hr：これまでの研究成果をどう発展させたらよいか考える 事後学修 2.0hr：研究を発展させる
9回	**授業テーマ：研究方法 (2)** 授業内容：自身の研究テーマに合った研究方法について考える。 事前学修 2.0hr：どのような研究方法が良いか考える 事後学修 2.0hr：学んだことを整理する	24回	**授業テーマ：研究成果発表準備 (1)** 授業内容：卒業論文のフォーマットや重要事項を再確認する。また、発表にむけて資料の整理を始める。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる
10回	**授業テーマ：研究方法 (3)** 授業内容：研究方法についてグループで相談し、より具体的な研究方法を決定する。 事前学修 2.0hr：どのような研究方法が良いか考える 事後学修 2.0hr：学んだことを整理する	25回	**授業テーマ：研究成果発表準備 (2)** 授業内容：卒業論文の執筆に取り組み、論文の構成などを決定する。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる

11回	**授業テーマ：研究計画を立てる (1)** 授業内容：これまで学習した内容や調査した内容を踏まえて、今後の研究計画を立てる。 事前学修 2.0hr：研究に必要なことを考える 事後学修 2.0hr：研究計画を見直す	26回	**授業テーマ：研究成果発表準備 (3)** 授業内容：卒業論文の執筆を続け、集めたデータなどをまとめる。 事前学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる 事後学修 2.0hr：ゼミ論文をまとめる
12回	**授業テーマ：研究計画を立てる (2)** 授業内容：自身の研究計画をグループ内で共有し、実現可能で具体性のある研究計画になっているかを確認する。 事前学修 2.0hr：研究に必要なことを考える 事後学修 2.0hr：研究計画を見直す	27回	**授業テーマ：研究成果発表 (1)** 授業内容：卒業論文の内容をスライドやハンドアウトにまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに卒業研究を修正する
13回	**授業テーマ：夏休みの研究課題発表 (1)** 授業内容：夏季休暇の期間を使って行う調査について、研究計画や内容をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める	28回	**授業テーマ：研究成果発表 (2)** 授業内容：卒業論文の内容を発表し、研究をまとめる。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに卒業研究を修正する
14回	**授業テーマ：夏休みの研究課題発表 (2)** 授業内容：研究計画や内容をまとめ、発表する。発表を通して得られたフィードバックを参考にして、研究計画を練り直す。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントを踏まえて自身の考えを深める	29回	**授業テーマ：研究成果発表 (3)** 授業内容：卒業論文の内容を発表し、得られたコメントなどをきちんと理解して論文に反映させる。 事前学修 2.0hr：発表準備・他のゼミ生の発表について質問・コメントを考えておく 事後学修 2.0hr：コメントをもとに卒業研究を修正する
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容を復習する。 事前学修 2.0hr：これまでの発表・コメントを踏まえて研究を進める 事後学修 2.0hr：これまでの発表・コメントを踏まえて研究を進める	30回	**授業テーマ：総まとめ** 授業内容：これまで学習してきた内容、卒業論文の内容などを全体としてまとめる。 事前学修 2.0hr：卒業研究を完成させる 事後学修 2.0hr：卒業研究を完成させる

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

中井　延美（なかい　のぶみ）

▌授業の概要

この授業では、言語学の語用論という分野を通して、発話の解釈について検討する。語用論は、人が実際の会話の中でどのようにことばを使うかを研究する分野である。ある発話が適切かどうかを決めるのに文脈がどのように役立つか、また文脈の変化がどのように文の意味を変えるか、といった問題に取り組む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：発話解釈について、次の１～3に沿って考えていく。１．発話で使用される表現 (語句や文) は、話し手が伝えようとしている事がらの全てを言い尽くしているわけではない。２．話し手の口にした表現の意味は、相手に伝えたいことのヒントに過ぎない。３．聞き手は、発話された表現の意味をまず解読し、それを基にコンテクストに照らして《推論する》ことによって、話し手が伝えようとした内容 (メッセージ) を読み取る。

個別目標：発話解釈に関する興味深い研究課題を見つけ、卒業研究に取り組む。その過程で、文献調査、研究方法の設定、データの収集・分析を行い、最後に、研究成果を口頭発表と卒業論文を通じて発信する。ゼミでの学びを通じて、就職活動のための知的土台をかためる。

▌履修条件

“ことば” の探究に興味をもっていること以外に特になし。

▌評価基準・方法

授業内活動（ディスカッション・グループ活動などへの参加姿勢）30 %
授業外活動（予習・準備、課題の提出）30 %
研究成果の発信（口頭発表、卒業論文）40 %

▌フィードバック方法

manaba の個別指導コレクション等を通じて適宜フィードバックする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （スライドの提示など）

▌教科書

必要に応じて資料を配布、書籍の購入を指示する。

▌参考書

Hope C. Dawson, Michael Phelan, eds. (2016) Pragmatics (Ch. 7) in Language Files: Materials for an Introduction to Language and Linguistics, 12tn Ed, Ohio State UP.
加藤広重・澤田淳〔編〕(2020)『はじめての語用論―基礎から応用まで』 研究社.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：前期ガイダンス** 授業内容：前期授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	16回	**授業テーマ：後期ガイダンス** 授業内容：後期授業の概要を説明する 事前学修 2.0hr：manaba アンケートに回答する 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
2回	**授業テーマ：語用論とは何か** 授業内容：コンテクストを考慮して言語使用について研究する語用論という分野とその方法論について概観する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	17回	**授業テーマ：前期の振り返り** 授業内容：発話の解釈について、前期の授業で扱った語用論の項目を復習する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む
3回	**授業テーマ：グライス語用論** 授業内容：ポール・グライスが確立した語用理論を紹介する。ことばの意味について「言われた意味」と「推論された事がら」という二つのレベルで捉える。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	18回	**授業テーマ：研究テーマの共有（1）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
4回	**授業テーマ：情報語用論** 授業内容：文や発話に含まれる情報には、伝達される情報の新旧があり、言語形式に様々な形で反映されることを観察する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	19回	**授業テーマ：研究テーマの共有（2）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
5回	**授業テーマ：対人語用論** 授業内容：人がことばで情報を伝える場合、そこにはポライトネスのような人間関係に関するやりとりの要素が伴われることを理解する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	20回	**授業テーマ：研究テーマの共有（3）** 授業内容：各自の研究について、情報を共有し、意見交換する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
6回	**授業テーマ：指示語用論** 授業内容：「指示」とそれに関連する機能に注目して言語表現の使用を考察する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	21回	**授業テーマ：発表スライドの作り方** 授業内容：中間発表会に向け、発表スライドの作り方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を進める
7回	**授業テーマ：関連性理論（1）** 授業内容：1980 年代にスペルベルとウィルソンが提唱した語用理論である関連性理論（Relevance Theory）を紹介する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	22回	**授業テーマ：口頭発表の行い方** 授業内容：中間発表会に向け、口頭発表の行い方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：中間発表の準備を仕上げる
8回	**授業テーマ：関連性理論（2）** 授業内容：「何が伝達されるのか」という問題について、表意と語用論的操作（曖昧性の除去・飽和・アドホック概念構築・自由拡充）及び、推意から考える。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	23回	**授業テーマ：中間発表会** 授業内容：卒業研究の中間発表会を行う 事前学修 2.0hr：口頭発表の練習をする 事後学修 2.0hr：課題に取り組む

9回	**授業テーマ：関連性理論（3）** 授業内容：解釈の手順（聞き手は発話の解釈を具体的にどのような手順で行うのか）について考える。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	24回	**授業テーマ：卒業研究論文の書き方（1）** 授業内容：タイトルと序文の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：卒業論文を書き進める
10回	**授業テーマ：文法研究と語用論** 授業内容：文法現象の中に深く関わっている語用論的要素を観察する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	25回	**授業テーマ：卒業研究論文の書き方（2）** 授業内容：研究の動機と背景の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：卒業論文を書き進める
11回	**授業テーマ：対照語用論と文化対照** 授業内容：語用論的な現象に関する言語間の類似と相違を公平な見方で説明する研究があることを知る。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	26回	**授業テーマ：卒業研究論文の書き方（3）** 授業内容：先行研究の出典および参考文献の提示方法を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：卒業論文を書き進める
12回	**授業テーマ：英語教育と語用論** 授業内容：英語教育では、文法や単語などのことばの正しさだけではなく、状況に応じたことばの使用の適切さについても学習者に伝える必要があることを理解する。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	27回	**授業テーマ：卒業研究論文の書き方（4）** 授業内容：研究方法の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：卒業論文を書き進める
13回	**授業テーマ：卒業研究のテーマを考える（1）** 授業内容：自分が取り組みたい卒業研究のテーマを見つける。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	28回	**授業テーマ：卒業研究論文の書き方（5）** 授業内容：結果と結論の書き方を確認する。 事前学修 2.0hr：配布された資料を読む 事後学修 2.0hr：卒業論文を書き進める
14回	**授業テーマ：卒業研究のテーマを考える（2）** 授業内容：自分がその研究で何を主張したいのか、どのような問いの答えを見つけたいのかを考える。 事前学修 2.0hr：配布された論文を読む 事後学修 2.0hr：課題に取り組む	29回	**授業テーマ：研究成果の発信（口頭発表）** 授業内容：クラス内で研究成果を口頭発表する 事前学修 2.0hr：口頭発表の準備を整える 事後学修 2.0hr：口頭発表時に得たコメントを卒業論文に反映させる
15回	**授業テーマ：夏季休暇中の研究計画** 授業内容：自分の卒業研究を進めていく上で、夏季休暇中にすべきこと（文献調査、データ収集など）を明確にし、研究計画書を提出する。 事前学修 2.0hr：研究計画書を仕上げる 事後学修 2.0hr：研究計画書を提出する	30回	**授業テーマ：研究成果の発信（卒業論文）** 授業内容：卒業論文を提出する 事前学修 2.0hr：卒業論文を完成させる 事後学修 2.0hr：研究テーマの今後の課題を考える

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

This two-semester course guides students in completing an original graduation thesis on topics related to language, narrative, voice, representation, and so on. Students develop a research question, conduct research, and present findings in written and oral academic formats through independent inquiry. This course will be conducted in English.

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：To develop students' ability to conduct independent research and produce a coherent academic thesis that demonstrates critical thinking, effective use of sources, and clear scholarly expression.

個別目標：By the end of this course, students will be able to formulate a research question, review relevant scholarship, design and conduct a study or analysis, interpret findings, and present results clearly in written and oral academic forms using an appropriate scholarly voice.

▌履修条件

Students are expected to demonstrate readiness for independent study, consistent engagement, and responsibility for managing a long-term research project. Regular attendance, active participation, and steady progress toward thesis completion are required.

▌評価基準・方法

Evaluation will be based on progress in the research process, including proposal development, drafts, and participation (30%); the final written graduation thesis (50%); and oral presentations (20%). Students must attend at least 80% of classes to receive credit.

▌フィードバック方法

Feedback will be provided face-to-face and via manaba through written comments on submitted work, individual consultations, and in-class guidance at each stage of the research and writing process.

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Group discussion, peer evaluation, and feedback）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （As needed for research and writing. AI tools may support brainstorming or language checking but not generate original text.）

▌教科書

No fixed textbook is required. Readings and reference materials will be provided by the instructor according to students' research topics and needs.

▌参考書

Supplementary references will be introduced as appropriate to each student's research topic, field, and methodology.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction &Thesis Overview** 授業内容：Overview of course goals, expectations, and thesis structure. 事前学修 2.0hr：Reflect on possible research interests. 事後学修 2.0hr：List three possible research topics	16回	**授業テーマ：Research Progress Review** 授業内容：Students report research progress and set completion goals. 事前学修 2.0hr：Prepare brief progress summary. 事後学修 2.0hr：Complete remaining data collection if needed.
2回	**授業テーマ：Understanding Academic Research** 授業内容：Discuss what research is and how topics become research questions. 事前学修 2.0hr：Review potential topics. 事後学修 2.0hr：Write a short description of one possible topic	17回	**授業テーマ：Organizing Data or Materials** 授業内容：Structuring collected data, texts, or notes for analysis. 事前学修 2.0hr：Bring research materials. 事後学修 2.0hr：Organize research materials into categories.
3回	**授業テーマ：Exploring Research Interests** 授業内容：Discuss and refine topic ideas. 事前学修 2.0hr：Review topic notes. 事後学修 2.0hr：Narrow topic to one focus.	18回	**授業テーマ：Analyzing Findings I** 授業内容：Introduction to basic analysis strategies. 事前学修 2.0hr：Review collected data. 事後学修 2.0hr：Begin analysis notes
4回	**授業テーマ：Developing Research Questions** 授業内容：Turn topics into clear research questions. 事前学修 2.0hr：Draft possible questions. 事後学修 2.0hr：Submit research questions draft.	19回	**授業テーマ：Analyzing Findings II** 授業内容：Continuing analysis and identifying patterns. 事前学修 2.0hr：Continue analysis 事後学修 2.0hr：Summarize key findings
5回	**授業テーマ：Finding Academic Sources** 授業内容：Strategies for searching scholarly literature. 事前学修 2.0hr：Try database search. 事後学修 2.0hr：Find 5 relevant sources and record notes	20回	**授業テーマ：Interpreting Results** 授業内容：Developing meaning and argument from findings. 事前学修 2.0hr：Review findings. 事後学修 2.0hr：Write interpretation outline
6回	**授業テーマ：Reading Academic Articles** 授業内容：How to read and evaluate scholarly texts. 事前学修 2.0hr：Read one selected article. 事後学修 2.0hr：Write summary notes	21回	**授業テーマ：Writing Results Section** 授業内容：Present findings clearly and objectively. 事前学修 2.0hr：Prepare outline. 事後学修 2.0hr：Draft results section
7回	**授業テーマ：Organizing Literature** 授業内容：Identifying themes and research gaps. 事前学修 2.0hr：Bring notes on sources. 事後学修 2.0hr：Group sources into themes	22回	**授業テーマ：Writing Discussion Section** 授業内容：Connect findings to research question and literature. 事前学修 2.0hr：Review literature review. 事後学修 2.0hr：Draft discussion section
8回	**授業テーマ：Writing Literature Reviews I** 授業内容：Examine difference between summary and synthesis. 事前学修 2.0hr：Review notes. 事後学修 2.0hr：Outline literature review	23回	**授業テーマ：Integrating Thesis Sections** 授業内容：Combine sections into full structure. 事前学修 2.0hr：Review draft sections 事後学修 2.0hr：Combine all sections into one draft
9回	**授業テーマ：Writing Literature Reviews II** 授業内容：Work on building arguments from sources. 事前学修 2.0hr：Review literature review outline 事後学修 2.0hr：Work on literature review	24回	**授業テーマ：Draft Workshop** 授業内容：Peer and instructor feedback 事前学修 2.0hr：Prepare draft 事後学修 3.0hr：Revise draft according to feedback.
10回	**授業テーマ：Academic Writing Style** 授業内容：Work on clarity, cohesion, and scholarly voice. 事前学修 2.0hr：Review literature review draft 事後学修 2.0hr：Revise literature review draft	25回	**授業テーマ：Full Draft Submission** 授業内容：Complete thesis draft submitted for feedback. 事前学修 2.0hr：Finalize full draft 事後学修 2.0hr：Review instructor comments

11回	**授業テーマ：Research Design Overview** 授業内容：Understand approaches to research. 事前学修 2.0hr：Read short methods overview. 事後学修 2.0hr：Expand literature review	26回	**授業テーマ：Revision Strategies** 授業内容：Improve argument, clarity, and structure. 事前学修 2.0hr：Review feedback 事後学修 2.0hr：Revise thesis
12回	**授業テーマ：Planning the Study** 授業内容：Develop procedures and research steps. 事前学修 2.0hr：Draft research plan. 事後学修 2.0hr：Submit literature review draft	27回	**授業テーマ：Individual Conferences** 授業内容：Focused consultation on revisions. 事前学修 2.0hr：Prepare questions 事後学修 2.0hr：Continue revisions
13回	**授業テーマ：Proposal Workshop** 授業内容：Individual feedback on proposal and literature review. 事前学修 2.0hr：Prepare proposal draft. 事後学修 2.0hr：Revise proposal and literature review	28回	**授業テーマ：Final Editing &Formatting and Presentation Preparation** 授業内容：Polishing language and format. Prepare for final presentations. 事前学修 2.0hr：Prepare near-final draft 事後学修 2.0hr：Finalize final thesis
14回	**授業テーマ：Presentation Preparation** 授業内容：Prepare proposal presentation. 事前学修 2.0hr：Prepare slides and script 事後学修 2.0hr：Finalize proposal and literature review	29回	**授業テーマ：Final Presentations** 授業内容：Formal academic presentations of research. 事前学修 2.0hr：Prepare presentation 事後学修 2.0hr：Reflect on presentation
15回	**授業テーマ：Midterm Presentation /Proposal Submission** 授業内容：Students present research plan and preliminary literature review. 事前学修 2.0hr：Finalize proposal and presentation materials. 事後学修 2.0hr：Begin data collection, analysis, or research activities according to the approved plan.	30回	**授業テーマ：Final Submission &Reflection** 授業内容：Submit thesis and review research process. 事前学修 2.0hr：Complete final edits 事後学修 3.0hr：Submit final thesis

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

横山　竜一郎（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

卒業研究として、英米文学(あるいは英語で書かれた文学テクスト)についての論文を執筆する。前期では、研究のテーマを決定し、論文の材料を揃えるために、一次資料(文学テクスト)と二次資料(レファレンス類・論文・学術書など)をリサーチする。後期では、前期のリサーチで集めた材料をアーギュメントとして洗練させ、論文として文章化する。毎回の授業は、教員による説明、学生による発表、ディスカッションによって主に進む。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：英語で書かれた文学テクストについての論文を執筆するための知識と技術を身につける。

個別目標：1. 文学の論文における価値、内容、形式を説明できる。
2. 長期的なプロジェクトとして論文執筆を遂行できる。

▌履修条件

履修には教員との事前の面談が必要となる。

▌評価基準・方法

平常点(ディスカッションなどの授業参加) 50%、卒業論文 50%の結果および到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。また、原則として 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

主に授業内の講評を通じておこなう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表やディスカッションなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （リサーチや論文の作成など）

▌教科書

使用しない。必要なテクストは配布する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクション** 授業内容：授業全体のイントロダクションをおこなう。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：授業の内容と評価方法を確認する。	16回	**授業テーマ：進捗の確認** 授業内容：卒業研究の進捗を全体で共有し、確認する。 事前学修 2.0hr：卒業研究の進捗をまとめる。 事後学修 2.0hr：改めて今後の研究計画を立てる。
2回	**授業テーマ：サンプルの論文を読む** 授業内容：卒業研究のサンプルとなる論文を読む。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：授業内容を復習し、関心に沿って関連文献を調べる。	17回	**授業テーマ：論文の本文を書く(1)アウトラインを考える** 授業内容：本文のアウトラインを考える方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：本文のアウトラインを考える。
3回	**授業テーマ：一次資料をリサーチする(1)全体を読む** 授業内容：一次資料の全体を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：対象とする文学テクストを決定する。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料の全体を読む。	18回	**授業テーマ：論文の本文を書く(2)ノートからステートメントをつくる** 授業内容：ノートからステートメントをつくる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：ノートからステートメントをつくる。
4回	**授業テーマ：一次資料をリサーチする(2)ノートをとる** 授業内容：一次資料のノートをとる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料のノートをとる。	19回	**授業テーマ：論文の本文を書く(3)ステートメントからパラグラフをつくる** 授業内容：ステートメントからパラグラフをつくる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：ステートメントからパラグラフをつくる。
5回	**授業テーマ：一次資料をリサーチする(3)反応を記録する** 授業内容：一次資料を読んでの反応を記録する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料を読んでの反応を記録する。	20回	**授業テーマ：論文の本文を書く(4)強いパラグラフを書く** 授業内容：強いパラグラフを書く方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：強いパラグラフを書く。
6回	**授業テーマ：一次資料をリサーチする(4)反応を分析する** 授業内容：一次資料を読んでの反応を分析する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料を読んでの反応を分析する。	21回	**授業テーマ：論文の本文を書く(5)パラグラフを連結させる** 授業内容：パラグラフを連結させる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：パラグラフを連結させる。
7回	**授業テーマ：二次資料(レファレンス類)を使う(1)辞典と事典を調べる** 授業内容：二次資料としての辞典と事典を調べる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料としての辞典と事典を調べる。	22回	**授業テーマ：論文の本文を書く(6)パラグラフからセクションをつくる** 授業内容：パラグラフからセクションをつくる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：パラグラフからセクションをつくる。
8回	**授業テーマ：二次資料(レファレンス類)を使う(2)校訂版・学術版を読む** 授業内容：二次資料としてのテクストの校訂版・学術版を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料としての校訂版・学術版を読む。	23回	**授業テーマ：論文の本文を書く(7)セクションを連結させる** 授業内容：セクションを連結させる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：セクションを連結させる。
9回	**授業テーマ：社会的・歴史的コンテクストをリサーチする(1)社会現象と文学潮流を調べる** 授業内容：一次資料が置かれていた社会的・歴史的コンテクストとしての社会現象や文学潮流を調べる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料を取り巻いていた社会現象や文学現象を調べる。	24回	**授業テーマ：論文の本文を書く(8)結論を書く** 授業内容：結論を書く方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：結論を書く。
10回	**授業テーマ：社会的・歴史的コンテクストをリサーチする(2)リソースを使う** 授業内容：一次資料が置かれていた社会的・歴史的コンテクストを調べるためのリソースを使う方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料が置かれていた社会的・歴史的コンテクストを調べるためのリソースを使う。	25回	**授業テーマ：論文の本文を書く(9)序論を修正する** 授業内容：序論を修正する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：序論を修正する。

11回	**授業テーマ：社会的・歴史的コンテクストをリサーチする（3）調査内容を活用する** 授業内容：一次資料が置かれていた社会的・歴史的コンテクストの調査内容を議論に活用する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ一次資料が置かれていた社会的・歴史的コンテクストの調査内容を議論に活用する。	26回	**授業テーマ：論文を編集・校正する（1）表記、文法、句読法のエラーをなくす** 授業内容：論文の編集・校正として、特に表記、文法、句読法のエラーをなくす方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：論文の編集・校正として、特に表記、文法、句読法のエラーをなくす。
12回	**授業テーマ：二次資料(論文・学術書)をリサーチする（1）先行研究を調べる** 授業内容：二次資料としての先行研究を調べる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料としての先行研究を調べる。	27回	**授業テーマ：論文を編集・校正する（2）引用のスタイルを揃える** 授業内容：論文の編集・校正として、特に引用のスタイルを揃える方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：論文の編集・校正として、特に引用のスタイルを揃える。
13回	**授業テーマ：二次資料(論文・学術書)をリサーチする（2）先行研究を読む** 授業内容：二次資料としての先行研究を読む方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料としての先行研究を読む。	28回	**授業テーマ：論文を編集・校正する（3）文書の様式を確認する** 授業内容：論文の編集・校正として、特に文書の様式を確認する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：論文の編集・校正として、特に文書の様式を確認する。
14回	**授業テーマ：二次資料(論文・学術書)をリサーチする（3）先行研究からノートをとる** 授業内容：二次資料としての先行研究からノートをとる方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：自身の選んだ二次資料としての先行研究からノートをとる。	29回	**授業テーマ：論文の体裁を整え、提出する** 授業内容：論文の体裁を整え、提出する方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定されたテクストを読む。 事後学修 2.0hr：卒業研究としての論文の体裁を整え、提出する。
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前期で学んだ内容を復習する。 事前学修 2.0hr：これまでのリサーチで集めた材料を整理する。 事後学修 2.0hr：今後の研究計画を立てる。	30回	**授業テーマ：論文の講評と全体のまとめ** 授業内容：各学生の論文を講評し、全体のまとめをする。 事前学修 2.0hr：自身の論文の内容を説明できるようにしておく。 事後学修 2.0hr：講評をまとめる。

卒業研究

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

本講座は教職課程履修者を対象とし、コミュニケーション能力育成を重視した教授法の比較研究や学習者論の先行研究分析を通して、実践的な教科指導力に必要な知識及び技能を身に付ける。専門領域研究講座でも扱った CLT（communicative language teaching）をはじめ、国際教育における異文化理解、国際バカロレアの教育手法（Approaches to Teaching and Learning, Cognitive Academic Language Proficiency）や言語科目の指導方法の理解を深め、実践的なコミュニケーション能力育成について演習を通して協働的・探究的に学んだ結果を踏まえ、卒業研究論文を作成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2/3/4）

一般目標：英語科教育の基礎知識と国際バカロレア教育の教育手法や指導方法を踏まえ、コミュニケーション能力育成を重視した指導方法に係る知識・技能や中学校・高等学校の英語授業で求められる英語運用能力の向上を目指すとともに、英語教育実践研究に係るテーマを設定し、調査研究の成果をまとめる。

個別目標：1. 効果的な言語学習方法を踏まえた教授法を理解し、コミュニカティブな指導力を身に付けることができる。
2. 生徒のコミュニケーション能力育成に必要な英語運用能力を身に付けることができる。
3. 自ら課題を探究してテーマを設定し、調査研究した結果をアウトプットすることができる。

▌履修条件

・教職課程履修者。
・中学校・高等学校の英語教員を目指し、主体的に学ぶ意欲がある者。

▌評価基準・方法

・授業内活動への取組 30%、課題への取組・提出 10%、研究論文 60%
・研究論文は内容の他に途中経過の提出状況、発表、口頭試問を含めて評価する。

▌フィードバック方法

・授業内活動及び発表については、活動後に受講者全員による協議を含めたフィードバックを行う。
・提出課題や研究論文については、後日、口頭・添削・manaba によりフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、ディベート、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック、アウトプットの共有）

▌教科書

第 1 回授業で指示する。

▌参考書

第 1 回授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、英語教育概論** 授業内容：授業概要（ねらい、スケジュール、評価等）の説明、研究領域に関するディスカッション、英語教育を概観するキーワードによる演習等を通して、各自の年間到達目標を設定する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備 (5) 先行研究の収集及び取扱い** 授業内容：学術データベースや図書館資料の活用方法、信頼性の高い文献の選定基準、引用情報の整理方法について実践的に学ぶとともに、AI 活用における留意点を確認する。第 15 回までの進捗状況を報告する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。中間報告を完成する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：英語科教授法比較実践研究(1)** 授業内容：英語科教授法の比較研究を踏まえ、communicative language teaching の手法（task-based, content-based, content and language integrated learning, focus on form 等）を用いたコミュニケーション活動を設計・実践する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	17回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備(6)研究課題の明確化及びブレインストーミング** 授業内容：各自の研究テーマに基づき、研究目的・研究の問い・仮説等を整理し、論文全体の方向性と意義を言語化するとともに、有効な先行研究等の収集と検証を行う。受講者間でテーマに係るブレインストーミングを行う。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語科教授法比較実践研究(2)** 授業内容：英語科教授法の比較研究を踏まえ、communicative language teaching の手法（task-based, content-based, content and language integrated learning, focus on form 等）を用いたコミュニケーション活動を設計・実践する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	18回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備(7)研究方法の設計** 授業内容：各自の研究テーマに基づき、質的研究と量的研究の特徴や長所・限界を理解するとともに、研究目的に適した調査方法・分析手法を検討することにより、研究設計計画を固める。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：Communicative Language Teaching 研究 (1) task-based language teaching** 授業内容：コミュニケーション活動モデルに示される一般的能力とコミュニケーション言語能力を踏まえ、task-based language teaching を実践する。task として information gap, jigsaw, problem-solving 等を用いる。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	19回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備(8)研究計画書の作成** 授業内容：各自の研究テーマに基づき、研究背景、目的、方法、期待される成果、年間スケジュールを体系的に整理し、論理性のある研究計画書としてまとめを作成する。アンケート調査等の草案を検討する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：Communicative Language Teaching 研究 (2) Content and language integrated learning** 授業内容：CLIL（内容言語統合型学習）を取り上げ、学習者の認知思考力の発達を考慮し、低次な思考力から高次な思考力を要する活動への移行を含めた協働学習を設計・実践する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	20回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備(9)進捗状況の報告及び受講者間ブレインストーミング①** 授業内容：第 19 回までの授業及び事前・事後学修における研究論文の進捗状況を共有するとともに、各テーマに基づくブレインストーミング及びフィードバックを通して、研究課題の理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：授業研究 (1) Oral Introduction 実践研究** 授業内容：Oral Introduction の授業モデルを視聴し、導入部分の組み立てやインタラクティブな活動について論じるとともに、英語科教育法で使用している教科書（高等学校用）を基に、Oral Introduction を設計する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	21回	**授業テーマ：論文テーマ別研究(1)論文構成の共有と論点の整理、フィードバック** 授業内容：各自のテーマ及び資料に基づき、受講者間でディスカッションを行うことにより、論点を整理するとともに、研究内容や論文構成、内容の精度を高める。 事前学修 2.0hr：指定された事前課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。

7回	**授業テーマ：授業研究 (2) Oral Introduction の実践研究** 授業内容：Oral Introduction の授業モデルを視聴し、導入部分の組み立てやインタラクティブな活動について論じるとともに、英語科教育法で使用している教科書(高等学校用)を基に、Oral Introduction を設計する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	22回	**授業テーマ：論文テーマ別研究(2)論文構成の共有と論点の整理、フィードバック** 授業内容：各自のテーマ及び資料に基づき、受講者間でディスカッションを行うことにより、論点を整理するとともに、研究内容や論文構成、内容の精度を高める。 事前学修 2.0hr：指定された事前課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：国際バカロレア教育研究 (1) 教育理念と学習者像** 授業内容：専門領域研究講座で扱った国際バカロレア教育の教育理念や学習者像等について資料購読を通じて復習するとともに、現行の学習指導要領に合致する学力の要素や学習方法について演習を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	23回	**授業テーマ：論文テーマ別研究(3)論文構成の共有と論点の整理、フィードバック** 授業内容：各自のテーマ及び資料に基づき、受講者間でディスカッションを行うことにより、論点を整理するとともに、研究内容や論文構成、内容の精度を高める。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：国際バカロレア教育研究 (2)Approaches to Teaching and Learning の概論** 授業内容：専門領域研究講座で扱った Approaches to Teaching and Learning(ATL) について確認するとともに、生徒の学習強化や生徒への評価、目標達成支援方策・ツールという視点から、ATL の実例を取り上げて考える。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	24回	**授業テーマ：論文テーマ別研究(4)論文構成の共有と論点の整理、フィードバック** 授業内容：各自のテーマ及び資料に基づき、受講者間でディスカッションを行うことにより、論点を整理するとともに、研究内容や論文構成、内容の精度を高める。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：国際バカロレア教育研究 (3)Approaches to Teaching and Learning の５技能と６種類の指導方法** 授業内容：ATL の５つの技能のカテゴリーと６種類の指導方法について、個別事例を検討するとともに、言語活動の設計や学習指導案例の分析等の演習を通して理解を深める。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	25回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆：進捗状況の報告及び受講者間ブレインストーミング②** 授業内容：第 24 回までの授業及び事前・事後学修における研究論文の進捗状況を共有するとともに、各テーマに基づくブレインストーミング及びフィードバックを通して、執筆の方向性を確認する。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：国際バカロレア教育研究 (4)CALP(Cognitive Academic Language Proficiency) の活用** 授業内容：言語習得のメカニズムである BICS との比較を通して、CALP の特徴・意義・活用の方向性を概観するとともに、CALP を活用した教科指導事例(言語活動)を考案する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	26回	**授業テーマ：研究論文の検討 (1) 収集資料とデータ管理、AI 活用記録** 授業内容：第 25 回までの授業及び事前・事後学修における執筆状況を踏まえ、各自のテーマに係る収集資料及びデータの整理と AI 活用記録の申告、調査・アンケート等の手順等を確認する。 事前学修 2.0hr：指定された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備(1)オリエンテーション** 授業内容：研究論文執筆に当たり、到達目標とテーマ設定手順、年間研究・執筆スケジュール、評価方法を確認するとともに、研究倫理・不正防止と AI の活用について基本的理解を共有する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	27回	**授業テーマ：研究論文の検討 (2) 分析・考察及び構成・文章表現の確認** 授業内容：各自の執筆状況に応じて、収集資料の整理と分析に基づく考察の論理性、説得性を確認するとともに、論文構成と文章表現の再確認を行い、教員及び他受講者からのフィードバックを得る。 事前学修 2.0hr：執筆手順・スケジュールに従い、研究論文執筆を進める。 事後学修 2.0hr：執筆手順・スケジュールに従い、研究論文執筆を進める。
13回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備(2)手順** 授業内容：研究論文執筆で確認すべき基本的な事項について、演習を通して理解する。①主張、理由、根拠の明確化、②アウトラインまでのステップ、③イメージ図の作成、④テーマ決定のポイント、⑤アウトライン作成 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指定された課題に取り組む。	28回	**授業テーマ：研究論文の検討 (3) 論文の完成と提出** 授業内容：提出した論文に基づき口頭による内容報告を行い、受講者間での質疑応答及びフィードバックを通して、加筆修正すべき点の有無を点検する。教員からのフィードバックを得て推敲する。 事前学修 2.0hr：執筆手順・スケジュールに従い、研究論文を完成させる。 事後学修 2.0hr：スケジュール及びフィードバックに従い、研究論文を修正する。
14回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備 (3) テーマの設定** 授業内容：第 13 回授業で学んだテーマ決定のポイント及び主張を決める際の留意点を踏まえ、資料の調査研究や講座内での協議を通じて、研究テーマを設定する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。	29回	**授業テーマ：研究論文の検討 (4) 論文の再提出** 授業内容：推敲・教員からのフィードバックを重ねて改善点を具体化し、研究論文を完成させる。次回発表に向けた要旨の作成等、発表準備を進める。 事前学修 2.0hr：研究論文を修正し完成させる。 事後学修 2.0hr：発表要旨を作成し、発表準備・練習を行う。
15回	**授業テーマ：卒業研究論文執筆準備 (4) 構想の検討とブレインストーミング** 授業内容：第 12 回からの授業及び事前・事後学修の成果を基に、講座内で研究構想を共有するとともに、新たな視点や根拠資料の開拓のヒント等のフィードバックを得て、第 16 回授業での中間報告までの行程を確認する。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んで要点をまとめる。 事後学修 2.0hr：調査研究の中間報告を作成し、第 16 回授業で発表する。	30回	**授業テーマ：授業のまとめ、研究論文発表** 授業内容：研究論文に基づく発表と質疑応答を行う。学生及び教員からのフィードバック(相互評価)を受けて、研究成果・到達点・今後の課題を総括的に振り返り、自己評価を行う。 事前学修 2.0hr：第 29 回事後学修と併せて、発表準備・練習する。 事後学修 2.0hr：必要に応じて研究論文を推敲し直し再提出する。

［専門科目］

○中国語学科

中国語検定対策講座 I

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

南　勇（なん　ゆう）

▌授業の概要
中国語の検定試験に合格することを目指す。併せて中国語や関連領域について広く深く理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）
一般目標：目標とする中国語の検定試験に合格する。検定の勉強を通じて中国語および関連領域について考察する。
個別目標：1. 中国語検定に合格する。
2. 中国語の基礎的事項を定着させる。
3. 諸領域と中国語の連関を理解する。

▌履修条件
積極的に努力するとともに、弱点を直視する勇気を持つこと。

▌評価基準・方法
学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは教室または manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （情報教室で PC を利用して授業を行うことがある。中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書
授業中に指示する。

▌参考書
授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：レベル確認テスト** 授業内容：レベルを確認し、各自の目標を設定する。 事前学修 2.0hr：既習の教材を読み直し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
2回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
3回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
4回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
5回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
6回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
7回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
8回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
9回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
10回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
11回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
12回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。

13回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
14回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
15回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。

中国語検定対策講座Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

南　勇（なん　ゆう）

▌授業の概要
前期に引き続き中国語の検定試験に合格することを目指す。併せて中国語や関連領域について広く深く理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）
一般目標：目標とする中国語の検定試験に合格する。検定の勉強を通じて中国語および関連領域について考察する。
個別目標：1. 中国語検定に合格する。
2. 中国語の基礎的事項を定着させる。
3. 諸領域と中国語の連関を理解する。

▌履修条件
積極的に努力するとともに、弱点を直視する勇気を持つこと。

▌評価基準・方法
学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （情報教室で PC を利用して授業を行うことがある。中国語学習アプリを利用することがある。）

▌教科書
授業中に指示する。

▌参考書
授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：レベル確認テスト** 授業内容：レベルを確認し、各自の目標を設定する。 事前学修 2.0hr：既習の教材を読み直し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
2回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
3回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
4回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
5回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
6回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
7回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
8回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
9回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
10回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
11回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
12回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。

13回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
14回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。
15回	**授業テーマ：演習と解説** 授業内容：過去問題を解き、解説を通して解法を習得する。 事前学修 2.0hr：前回の内容を今一度復習し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：当該授業の内容を復習し、辞書等を活用して理解を深める。

文章表現演習 Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

段　威（だん　い）

▌授業の概要

本演習は、中国語の作文能力を身につけ、さらに文章力を高めることを目標とする。
「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を重点的に学び、典型的な誤りの実例・分析・訂正文および正解文を参考にして、さらに語彙の正しい組み合わせや文法の実践応用を身につける。
中国語で書かれた文章の背景と内容を理解するための知識を解説し、作文練習と「応用文」のトレーニングをこなすことで、「応用文」の文章力を高める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：実用的な「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を習得し、中国語の作文能力さらに文章力を身につける。
個別目標：①「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を理解できる。
②語句の誤りを分析・判断することができる。
③手紙・メールや SNS のメッセージを正確に書くことができる。

▌履修条件

中検 3 級以上の中国語能力を持っていること。

▌評価基準・方法

試験 60 %、課題 20 %、学修内容振り返りシート 10%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題及び試験フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （PBL）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業中適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・中国語の文章表現について** 授業内容：文章文の基礎と表現について 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、基礎中国語の単語と文法を復習する。 事後学修 2.0hr：文章表現に関する知識をまとめておく。
2回	**授業テーマ：名詞・代名詞の関連表現** 授業内容：名詞・代名詞の特徴と表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
3回	**授業テーマ：名詞述語文の関連表現** 授業内容：名詞述語文の表現文型と重要な文法特徴 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
4回	**授業テーマ：形容詞の関連表現** 授業内容：形容詞の特徴と表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
5回	**授業テーマ：形容詞述語文の関連表現** 授業内容：形容詞述語文の表現文型と重要な文法特徴 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
6回	**授業テーマ：動詞の関連表現** 授業内容：動詞の特徴と表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
7回	**授業テーマ：動詞述語文の関連表現** 授業内容：動詞述語文の表現文型と重要な文法特徴 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
8回	**授業テーマ：前半で学んだ内容の確認** 授業内容：学習した内容を確認し、文法的特徴を理解する。 事前学修 2.0hr：前半で学んだ内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
9回	**授業テーマ：数字・量詞の関連表現** 授業内容：数字・数量の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
10回	**授業テーマ：前置詞の関連表現** 授業内容：前置詞の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。

11回	**授業テーマ：副詞の関連表現** 授業内容：副詞の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
12回	**授業テーマ：助詞の関連表現** 授業内容：助詞の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
13回	**授業テーマ：擬声語の関連表現** 授業内容：擬声語の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
14回	**授業テーマ：語彙の重ね型の関連表現** 授業内容：語彙の重ね型の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期の振り返り、重要な文法と表現を確認する。 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容総括シートを記し、学修ポートフォリオを整理する。

文章表現演習Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

段　威（だん　い）

▌授業の概要

前期に引き続き、中国語の作文能力を身につけ、さらに文章力を高めることを目標とする。
「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を重点的に学び、典型的な誤りの実例・分析・訂正文および正解文を参考にして、さらに語彙の正しい組み合わせや文法の実践応用を身につける。
中国語で書かれた文章の背景と内容を理解するための知識を解説し、作文練習と「応用文」のトレーニングをこなすことで、「応用文」の文章力を高める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：実用的な「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を習得し、中国語の作文能力さらに文章力を身につける。
個別目標：①「語彙を適切に組み合わせる」、「正しい応用文法」、「美しい表現」を理解できる。
②語句の誤りを分析・判断することができる。
③手紙・メールや SNS のメッセージを正確に書くことができる。

▌履修条件

中検 3 級以上の中国語能力を持っていること。

▌評価基準・方法

試験 60 %、課題 20 %、学修内容振り返りシート 10%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題及び試験フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （PBL）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業中適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：単文について** 授業内容：単文の構成と語順 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、基礎中国語の単語と文法を復習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
2回	**授業テーマ：「主謂賓」構文について** 授業内容：「主謂賓」構文および関連表現 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通して関連単語を暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
3回	**授業テーマ：謂語および関連表現** 授業内容：動作・状態の「態」の表現と特別な動詞述語文 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
4回	**授業テーマ：賓語および関連表現** 授業内容：賓語の位置と「把」構文 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
5回	**授業テーマ：状語および関連表現** 授業内容：状語の分類と位置 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
6回	**授業テーマ：補語の関連表現①結果・程度・数量** 授業内容：結果・程度・数量補語の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
7回	**授業テーマ：補語の関連表現②方向・可能** 授業内容：方向・可能補語の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
8回	**授業テーマ：前半で学んだ内容の確認** 授業内容：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。 事前学修 2.0hr：前半で学んだ内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
9回	**授業テーマ：比較と強調の関連表現** 授業内容：比較と強調の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
10回	**授業テーマ：疑問文と反語の関連表現** 授業内容：疑問文と反語の表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。

11回	**授業テーマ：修飾語の関連表現** 授業内容：修飾語の語順及び表現文型 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
12回	**授業テーマ：複文の関連表現** 授業内容：選択・逆接・仮定・因果 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
13回	**授業テーマ：応用文の関連表現①メッセージ** 授業内容：手紙・メール・SNS のメッセージの関連表現 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
14回	**授業テーマ：応用文の関連表現②説明** 授業内容：紹介・説明・スピーチの関連表現 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期の振り返り、重要な文法と表現を確認する。 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容総括シートを記し、学修ポートフォリオを整理する。

口頭表現演習 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

周　威兵（しゅう いへい）

▌授業の概要

中国で外国人留学生向けの授業で使用されている中国語中級教科書に沿って、中国語による講読、会話練習、発表を行う。
授業は中国語のみで行われる。
学期末には試験を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：オール中国語の授業を通して、中国語の語彙力およびコミュニケーション力を向上させるとともに、現代中国社会に対する理解を深める。
個別目標：①現代中国社会の様々な話題について理解する。
②中国語で質疑応答ができ、意見や感想を述べられるようになる。

▌履修条件

中国語での練習や発表に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

平常点 60%、期末試験 40%で評価する。平常点は、出席状況、受講の積極性、小テストにより評価する。

▌フィードバック方法

授業中の解説や評価によりフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『実践中国語―中級聴説』北京師範大学出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業ガイダンス** 授業内容：授業の目的、進め方、評価方法などについて説明する。自己紹介を行う。 事前学修 2.0hr：自己紹介の準備をする。 事後学修 2.0hr：教科書全体に目を通し、使い方を確認する
2回	**授業テーマ：第一課 早睡早起身体好** 授業内容：交際活動：談談自己的生活習慣 自分の日ごろの仕事や休憩の状況について紹介し、それぞれの違いについて評価し合う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
3回	**授業テーマ：第二課 点菜** 授業内容：交際活動：選択合適的飯館，点愛吃的菜 料理注文の方法や技について理解し、料理に対する評価を述べる。中国各地の料理の特徴を説明できるようになる。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
4回	**授業テーマ：第三課 講価** 授業内容：交際活動：討論什麽時候可以講价以及講価的好辦法 商品の質や価格について比較や評価を行い、値段交渉ができるようになる。また、値引き交渉について話し合う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
5回	**授業テーマ：第四課 一位出租汽車司机** 授業内容：交際活動：討論出行経験和対司机的印象 様々な交通機関の特徴を述べ、比較し、評価する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
6回	**授業テーマ：第五課 運動的故事** 授業内容：交際活動：討論運動習慣以及喜歓的運動 運動に関する趣味や得意なことを説明し、試合の過程を紹介したり描写したりできる。また、健康と体力作りについて討論する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
7回	**授業テーマ：第六課 夜生活** 授業内容：交際活動：討論一下夜生活的方式及異同 様々な余暇の過ごし方、娯楽を比較したり、活動に人を誘ったり、1 つの娯楽について説明や評価を行ったりする。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
8回	**授業テーマ：知識総結与復習** 授業内容：第 1 課～第 6 課の語彙と文法のポイントを総括する。 事前学修 2.0hr：課題の準備を行う 事後学修 2.0hr：第 1 課～第 6 課の授業内容を復習する
9回	**授業テーマ：第九課 難忘的経歴** 授業内容：交際活動：説説自己最難忘的事情 忘れられない経験やその理由について述べる。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
10回	**授業テーマ：第十課 上当** 授業内容：交際活動：討論一下什麽人最容易上当以及為什麽 だまされた経験を述べ、だまされた後どうするようになったかを説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する

11回	**授業テーマ：第十一課 在国外的経歴** 授業内容：交際活動：討論在国外生活的優缺点 外国の風土や人情、海外にいる時に感じたことについて紹介する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
12回	**授業テーマ：第十二課 出洋相** 授業内容：交際活動：講講自己出洋相的一件事情 恥ずかしい失敗をした経験を話し、「恥をかく」ことに対する自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
13回	**授業テーマ：第十三課 網絡与隠私** 授業内容：交際活動：討論大家対隠私的看法以及網絡道徳問題 プライバシーについての考え方を説明し、新しいテクノロジーがプライバシーに与える影響、インターネットが生活に及ぼす影響について話す。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
14回	**授業テーマ：知識総結与復習** 授業内容：第 9 課～第 13 課の語彙と文法のポイントを総括する。 事前学修 2.0hr：課題の準備をする 事後学修 2.0hr：第 9 課～第 13 課の授業内容を復習する
15回	**授業テーマ：授業の総括、授業内テスト** 授業内容：期末考試 事前学修 2.0hr：授業全体の内容を復習する 事後学修 2.0hr：授業全体における自身のパフォーマンスや課題をふりかえる

口頭表現演習Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

周　威兵（しゅう いへい）

▌授業の概要

中国で外国人留学生向けの授業で使用されている中国語中級教科書に沿って、中国語による講読、会話練習、発表を行う。
授業は中国語のみで行われる。
学期末には試験を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1）

一般目標：オール中国語の授業を通して、中国語の語彙力およびコミュニケーション力を向上させるとともに、現代中国社会に対する理解を深める。
個別目標：①現代中国社会の様々な話題について理解する。
②中国語で質疑応答ができ、意見や感想を述べられるようになる。

▌履修条件

中国語での練習や発表に積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

平常点 60%、期末試験 40%で評価する。平常点は、出席状況、受講の積極性、小テストにより評価する。

▌フィードバック方法

授業中の解説や評価によりフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （中国語会話）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『実践中国語―中級聴説』北京師範大学出版社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：第十四課 礼尚往来** 授業内容：交際活動：談談送礼物与收礼物 社会でのコミュニケーションにおける基本的な礼儀や、どのようにしてプレゼントを選び、贈ればよいかを説明する。「礼尚往来(礼には礼で返す)」の考え方を説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
2回	**授業テーマ：第十五課 入郷随俗** 授業内容：交際活動：談談自己家郷特別的風俗習慣 風習や習慣について説明や評価を行い、「入郷随俗(郷に入っては郷に従う)」の考え方について説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
3回	**授業テーマ：第十六課 中西文化習俗** 授業内容：交際活動：討論中日文化習俗的不同 様々な地域や様々な民俗的風習を比較し、説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
4回	**授業テーマ：第十七課 一個関于愛情的心理測試** 授業内容：交際活動：討論 “日久生情” 和 “一見鍾情” 恋愛スタイルを紹介し、恋愛のプロセスについて述べる。また、様々な恋愛スタイルに対する自分の考えを説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
5回	**授業テーマ：第十八課 理想的妻子** 授業内容：交際活動：討論自己心目中理想的男朋友或女朋友 理想の相手を選ぶ基準を説明し、様々な理想の基準に対して評価を行う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
6回	**授業テーマ：第二十一課 差不多与太認真** 授業内容：交際活動：討論生活中自己的性格特征 いろいろな人の性格の特徴を描写し、簡単な評価を行う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
7回	**授業テーマ：第二十二課 小気鬼** 授業内容：交際活動：編一個 “小気” 主題的短劇并表演 ケチ、おおらか等の性格の特徴を描写し、簡単な評価を行う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
8回	**授業テーマ：知識総結与復習** 授業内容：第 14 課～第 18 課、第 21 課～第 22 課の語彙と文法のポイントを総括する。 事前学修 2.0hr：課題の準備を行う 事後学修 2.0hr：第 14 課～第 18 課、第 21 課～第 22 課の授業内容を復習する
9回	**授業テーマ：第二十三課 口頭禅** 授業内容：交際活動：説説自己或朋友的口頭禅并進行分析 自分の「座右の銘」を紹介する。「座右の銘」を通じて、その人の性格の特徴を描写する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する

10回	**授業テーマ：第二十四課 怎样才是男子漢** 授業内容：交際活動：討論一下男女平等問題 「男の中の男」「いい女」はどのような特徴を備えているかを説明し、男女に対する人々の要求について簡単に評価を行う。また、男女平等の考え方について説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
11回	**授業テーマ：第二十六課 母親和女児的信** 授業内容：交際活動：討論自己和父母的関係，説説心目中理想的父母 家庭内でのジェネレーション・ギャップ現象について描写し、世代の違いに対する考え方を簡単に説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
12回	**授業テーマ：第二十八課 丁克与丁寵** 授業内容：交際活動：討論一下要孩子還是養寵物 自分の子育て観を説明し、その理由を簡単に説明する。DINKS に対する考え方を述べる。ペットを飼うという考え方に対して評価を行う。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
13回	**授業テーマ：第三十二課 広告与媒体** 授業内容：交際活動：討論喜歓的広告以及広告対生活的影響 広告が日常生活に与える作用や影響を分析し、説明する。 事前学修 2.0hr：辞書を引いて本文の意味を調べておく 事後学修 2.0hr：本文の内容を復習する
14回	**授業テーマ：知識総結与復習** 授業内容：第 23 課、第 24 課、第 26 課、第 28 課、第 32 課の語彙と文法のポイントを総括する。 事前学修 2.0hr：課題の準備をする 事後学修 2.0hr：第 23 課、第 24 課、第 26 課、第 28 課、第 32 課の授業内容を復習する
15回	**授業テーマ：授業の総括、授業内テスト** 授業内容：期末考試 事前学修 2.0hr：授業全体の内容を復習する 事後学修 2.0hr：授業全体における自身のパフォーマンスや課題をふりかえる

日中通訳基礎演習Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

神崎　龍志（かんざき　たつし）

▌授業の概要

本講義は、1、2年次に学んだ中国語の総合力を基礎とし、ビジネスシーンで役立つ通訳の基礎的技能を訓練することを目的とする。通訳に必要な反応の速さ、スムーズな言語転換と訳出に必要な基礎的技術を養う。
なお、授業においては、学生同士が中国語ならびに日本語の発音・用語・表現・訳文について検討しあうなど、アクティブラーニングの手法を積極的に用いるものとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：通訳の基礎的技能を修得する。
個別目標：①通訳者に必要な日中両言語の豊富な語彙力と表現力を身につけること。
②日中ビジネス用語を修得しながら、初歩的な通訳パフォーマンスができるようにすること。

▌履修条件

1、2年次に中国語の基礎力・応用力を十分に習得できた者で、通訳技術の修得に強い興味と意欲のある者を対象とする。
毎日30分以上の課外訓練が可能な者で、短期長期を問わず留学経験のある者が望ましい。
疾病以外の理由による 3 回以上の公欠前提の履修は認めないものとする。

▌評価基準・方法

①平常授業での日中翻訳の品質、逐次通訳能力、総合パフォーマンス（70%）
②期末実技考課（30%）
なお、原則として5分の4以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループディスカッション、グループ発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

プリント教材を適宜、提供または利用する。

▌参考書

『通訳者のしごと (岩波ジュニア新書 623)』(近藤正臣著、岩波書店、2009年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：通訳基礎理論概説および訓練方法** 授業内容：通訳に関する基礎的理論、通訳訓練法を説明する。 事前学修 2.0hr：本講義の概要について目を通してくる。 事後学修 2.0hr：学習目標と訓練方法の確認。
2回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(1)－シャドウイング訓練導入。シャドウイングの効果と訓練方法について** 授業内容：シャドウングについて説明する。日本語、中国語の原稿を使ってシャドウイング訓練をおこなう。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：通訳訓練方法について説明できるようにする。
3回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(2)－教材に基づくシャドウイング練習** 授業内容：シャドウイングの訓練を行う。 事前学修 2.0hr：シャドウイング発表のための準備学習 事後学修 2.0hr：指定された教材のシャドウイング訓練を行う。
4回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(3)－速読導入。速読とは。その効果と訓練方法** 授業内容：速読の方法と効果について説明し、課題文の速読訓練を行う。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：速読についての講義内容を把握する。
5回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(4)－教材に基づく速読練習** 授業内容：課題文に沿って速読訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：速読発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：速読について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(5)－逐次通訳導入。逐次通訳とは。その訓練方法** 授業内容：逐次通訳のポイントを説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：逐次通訳についての講義概要を把握する。
7回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(6)－教材に基づく逐次通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次通訳訓練を行う。 事前学修 2.0hr：反応訓練のための事前学習。 事後学修 2.0hr：逐次通訳について説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅰ(7)－通訳基礎訓練Ⅰにおける各自の課題確認と目標設定(グループ討論中間総括発表)** 授業内容：逐次通訳における各自の課題および改善点を明確化する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：自分の課題と目標を確認する。
9回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(1)速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次通訳練習** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
10回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(2)速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次通訳練習** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。

11回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(3)速読課題文発表、シャドウイング訓練、同時通訳練習** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
12回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(4)速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次通訳練習** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
13回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(5)速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次通訳練習** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
14回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅰ(6)－基礎技術訓練Ⅰにおける課題認識と目標設定(グループ討論総括発表)** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術を用いて発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
15回	**授業テーマ：まとめ。この学期の技術練習を俯瞰し、進歩の度合と今後取り組むべき技術課題を明確にする** 授業内容：これまで学んできたことを振り返り、成果と課題について発表する。 事前学修 2.0hr：試験の準備。 事後学修 2.0hr：試験内容の復習。

日中通訳基礎演習Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

神崎　龍志（かんざき　たつし）

▌授業の概要

本講義は１、２年次および３年生前期までに学んだ中国語の総合力をもとに、ビジネスシーンで役立つ通訳の基礎的な技能を訓練することを目的とする。通訳に必要な適確な訳出、スムーズな言語転換に必要な基礎的技術を養う。
なお、授業では学生同士が中国語ならびに日本語の発音や用語・表現・訳文について検討しあうなど、アクティブラーニングの手法を積極的に用いるものとする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：通訳の基礎的技能の修得。
個別目標：①日中通訳に必要な基本的スキルとその難点について説明できる。
②基礎的な日中ビジネス通訳に必要な語彙力、表現力を身につける。

▌履修条件

すでに中国語の基礎力・応用力を十分に有する者で、通訳技術を学び、向上させることに興味と意欲のある者を対象とする。
毎日３０分以上の課外訓練が可能な者で、短期・長期を問わず留学経験のある者が望ましい。
疾病以外の理由による３回以上の公欠前提の履修は認めないものとする。

▌評価基準・方法

①平常授業での日中翻訳の品質、逐次通訳能力、総合パフォーマンス（７０%）
②期末実技考課（３０%）
なお、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループディスカッション、グループ発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

プリント教材を適宜、提供または利用する。

▌参考書

『通訳者のしごと (岩波ジュニア新書 ６２３) 』(近藤正臣著、岩波書店、２００９年)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：通訳基礎理論概説および訓練方法** 授業内容：通訳に関する基礎的な理論と通訳訓練法について説明する。 事前学修 2.0hr：本講義の概要について目を通してくる。 事後学修 2.0hr：学習目標と訓練方法の確認。
2回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ（１）－シャドウイング訓練導入。シャドウイングの効果と訓練方法について** 授業内容：シャドウイングの訓練法と効果について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：通訳訓練方法について説明できるようにする。
3回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ（２）－教材に基づくシャドウイング練習** 授業内容：教材を用いてシャドウイングの訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：シャドウイング発表のための準備学習 事後学修 2.0hr：指定された教材のシャドウイング訓練を行う。
4回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ（３）－速読導入。速読とは。その効果と訓練方法** 授業内容：速読の訓練法と効果について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：速読についての講義内容を把握する。
5回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ（４）－教材に基づく速読練習** 授業内容：教材を用いて速読の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：速読発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：速読について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ（５）－逐次通訳と同時通訳とはなにか。その訓練方法と効果** 授業内容：逐次通訳と同時通訳の違いを知り、訓練方法と効果についても説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：同時通訳についての講義概要を把握する。
7回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ（６）－教材に基づく逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：反応訓練のための事前学習。 事後学修 2.0hr：同時通訳について説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：通訳基礎Ⅱ（７）－通訳基礎訓練Ⅰにおける各自の課題確認と目標設定（グループ討論中間総括発表）** 授業内容：ここまでの授業で得られた成果と課題について確認し、改善点を中心に目標を設定する。 事前学修 2.0hr：配布資料に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：自分の課題と目標を確認する。
9回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ（１）速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
10回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ（２）速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。

11回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ（3）速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
12回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ（4）速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
13回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ（5）速読課題文発表、シャドウイング訓練、逐次・同時通訳練習** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行なう。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
14回	**授業テーマ：通訳基礎技術訓練Ⅱ（6）－基礎技術訓練Ⅰにおける課題認識と目標設定（グループ討論総括発表）** 授業内容：これまでの授業で学んできた通訳技術に関する発表を行う。 事前学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。 事後学修 2.0hr：指定教材の反応訓練。
15回	**授業テーマ：まとめ。この学期の技術練習を俯瞰し、進歩の度合と今後取り組むべき技術課題を明確にする** 授業内容：これまでの授業を振り返り、成果と課題をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：試験の準備。 事後学修 2.0hr：試験内容の復習。

日中翻訳基礎演習 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中桐　典子（なかぎり　のりこ）

▌授業の概要

中国語の会話能力、なかでも発話能力を高めるためには、日本語を中国語に的確に置き換える力、翻訳する力を養うことが重要である。本授業では、中級レベルの文法事項を体系的に学習し、それらを実際の表現に結び付けながら、自然で正確な和文中訳ができるよう段階的に学習を進めていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：日本語と中国語に見られる発想法の違いに注目し、日本語的な考え方にとらわれず、中国語として自然で分かりやすい表現ができる力を身につける。また、相手に自分の意図や考えが正確に伝わる中国語が作れる運用能力を育成し、それによって中国にかかわる諸分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論できる能力を習得する。

個別目標：①日本語の文を中国語の基本的な文構造を用いて訳すことができる。
②その上で、日本語の文をより的確で自然な中国語に訳すことができる。
③中国語でよく使われる単語、熟語、言い回しなどを覚え、状況に応じて使用することができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

定期考査 70 %、小テストおよび課題提出 20 %、受講態度および発言等 10 %を基準に、総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （割り当てられた日本語の文を中国語に訳し、板書し、解説する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『作文ルール 66　日中翻訳技法』相原茂著　朝日出版社

▌参考書

『Why?にこたえる　はじめての　中国語の文法書』新訂版　相原茂等著　同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンスおよび初級文法のポイントを復習** 授業内容：テキスト第 1 課、第 2 課を用い、初級文法の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：テキスト第 1 課、第 2 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：テキスト第 1 課、第 2 課の内容で、自分が分からなかった箇所を中心に、しっかり復習する。
2 回	**授業テーマ：第 3 課** 授業内容：1. ある、いる 2. お飾りの「很」 事前学修 2.0hr：テキストの第 3 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
3 回	**授業テーマ：第 4 課** 授業内容：1. 疑問文の種類 2.「行きませんか？」は「行きましょう」 3.「何か」「誰か」「どこか」の訳し方 事前学修 2.0hr：テキストの第 4 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
4 回	**授業テーマ：第 5 課** 授業内容：1.「何の映画？」と「なんて映画だ！」 2. 疑問詞＋でも 事前学修 2.0hr：テキストの第 5 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
5 回	**授業テーマ：第 6 課** 授業内容：1. 動詞はどうした？ 2.「サングラスの男」はサングラスをかけている 事前学修 2.0hr：テキストの第 6 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
6 回	**授業テーマ：第 7 課** 授業内容：1. よくあらわれる「来」と「去」 2.「動目」構造の動詞 事前学修 2.0hr：テキストの第７課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
7 回	**授業テーマ：第 8 課** 授業内容：1.「思う」あれこれ 2. 動詞の重ね型 事前学修 2.0hr：テキストの第８課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
8 回	**授業テーマ：第 3 課から第 8 課の復習** 授業内容：暗記すべき中国語を再度復習し、定着させる。 事前学修 2.0hr：第 3 課から第 8 課で学習した重要文を復習しておく。 事後学修 2.0hr：第３課から第 8 課の指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
9 回	**授業テーマ：第９課** 授業内容：１. 文脈に隠れた代名詞 2. こんな場合、あんなとき 事前学修 2.0hr：テキスト第 9 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。

10回	**授業テーマ：第 10 課** 授業内容：1. 副詞「就」 2. 副詞「才」 事前学修 2.0hr：テキスト第 10 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
11回	**授業テーマ：第 11 課** 授業内容：1. 例外なしは「都」で 2.「だけ」にあたる「只」 3.「も」もあたる「也」 事前学修 2.0hr：テキスト第 11 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
12回	**授業テーマ：第 12 課** 授業内容：1.「また」の 3 種類 2.「再」 事前学修 2.0hr：テキスト第 12 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
13回	**授業テーマ：第 13 課** 授業内容：1.「～から」 2.「～まで」 3. 動詞の後に来る「～到」 事前学修 2.0hr：テキスト第 13 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
14回	**授業テーマ：第 9 課から第 13 課の復習** 授業内容：暗記すべき中国語を再度復習し、定着させる。 事前学修 2.0hr：第 9 課から第 13 課で学習した重要文を復習しておく。 事後学修 2.0hr：第 9 課から第 13 課の指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、まとめのテストを行う。
15回	**授業テーマ：前期の復習** 授業内容：第 3 課～第 13 課の総まとめを行う。 事前学修 2.0hr：半期の学習内容、特に指定された重要文を中心に復習しておく。 事後学修 2.0hr：定着していない文法知識や重要文を再度復習し、定着させる。

日中翻訳基礎演習Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中桐　典子（なかぎり　のりこ）

▌授業の概要

中国語の会話能力、なかでも発話能力を高めるためには、日本語を中国語に的確に置き換える力、翻訳する力を養うことが重要である。本授業では、中級レベルの文法事項を体系的に学習し、それらを実際の表現に結び付けながら、自然で正確な和文中訳ができるよう段階的に学習を進めていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：日本語と中国語に見られる発想法の違いに注目し、日本語的な考え方にとらわれず、中国語として自然で分かりやすい表現ができる力を身につける。また、相手に自分の意図や考えが正確に伝わる中国語が作れる運用能力を育成し、それによって中国にかかわる諸分野の事柄について自分の考えをまとめ、適切に議論できる能力を習得する。

個別目標：①日本語の文を中国語の基本的な文構造を用いて訳すことができる。
②その上で、日本語の文をより的確で自然な中国語に訳すことができる。
③中国語でよく使われる単語、熟語、言い回しなどを覚え、状況に応じて使用することができる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

定期考査 70 %、小テストおよび課題提出 20 %、受講態度および発言等 10 %を基準に、総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （割り当てられた日本語の文を中国語に訳し、板書し、解説する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『作文ルール 66　日中翻訳技法』相原茂著　朝日出版社

▌参考書

『Why?にこたえる　はじめての　中国語の文法書』新訂版　相原茂等著　同学社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンスおよび前期の復習** 授業内容：プリントを使用し、前期の総復習を行う。 事前学修 2.0hr：テキスト第 1 課～第 13 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：テキスト第 1 課～第 13 課の内容で、自分が分からなかった箇所を中心に、しっかり復習する。
2 回	**授業テーマ：第 14 課** 授業内容：1.「X は Y だ」はいつも「X 是 Y」とは限らない 2.「是～的」構文 事前学修 2.0hr：テキストの第 14 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
3 回	**授業テーマ：第 15 課** 授業内容：1. 中国語の介詞 2. 介詞フレーズを含む文の否定 事前学修 2.0hr：テキストの第 15 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
4 回	**授業テーマ：第 16 課** 授業内容：1.「ちょっと」「少し」の表し方 2.「安くする」手だて 事前学修 2.0hr：テキストの第 16 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
5 回	**授業テーマ：第 17 課** 授業内容：1. 量詞 2. 数詞は動詞、形容詞の後ろ 事前学修 2.0hr：テキストの第 17 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
6 回	**授業テーマ：第 18 課** 授業内容：1. 形容詞　「了」は要らない 2.「～ている」「～していた」なのに「了」をつける 3. 過去の習慣に「了」は要らない 事前学修 2.0hr：テキストの第 18 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
7 回	**授業テーマ：第 19 課** 授業内容：1. 動詞があっての補語 2. 補語は大事 事前学修 2.0hr：テキストの第 19 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
8 回	**授業テーマ：第 14 課から第 19 課の復習** 授業内容：暗記すべき中国語を再度復習し、定着させる。 事前学修 2.0hr：第 14 課から第 19 課で学習した重要文を復習しておく。 事後学修 2.0hr：第 14 課から第 19 課の指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。

9回	**授業テーマ：第 20 課** 授業内容：1.「要」が要る時 2.「起こりそう」なら「会」を添える 3.「～できる」3 種 事前学修 2.0hr：テキスト第 20 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
10回	**授業テーマ：第 21 課** 授業内容：1.「被」構文 2. 受け身がだめなら、能動文 事前学修 2.0hr：テキスト第 21 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
11回	**授業テーマ：第 22 課** 授業内容：1.「把」構文 事前学修 2.0hr：テキスト第 22 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
12回	**授業テーマ：第 23 課** 授業内容：1. やりもらい 2. ときに「目的」はあとから 3. 将然相 事前学修 2.0hr：テキスト第 23 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
13回	**授業テーマ：第 24 課** 授業内容：1. 道具、手段や原因を表す 2. 否定と肯定 3. 逆転の発想 事前学修 2.0hr：テキスト第 24 課を読んでおく。 事後学修 2.0hr：指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、小テストを行う。
14回	**授業テーマ：第 20 課から第 24 課の復習** 授業内容：暗記すべき中国語を再度復習し、定着させる。 事前学修 2.0hr：第 20 課から第 24 課で学習した重要文を復習しておく。 事後学修 2.0hr：第 20 課から第 24 課の指定された中国語の文を暗記し、書けるようにしておく。次回、まとめのテストを行う。
15回	**授業テーマ：後期の復習** 授業内容：第 14 課～第 24 課の総まとめを行う。 事前学修 2.0hr：半期の学習内容、特に指定された重要文を中心に復習しておく。 事後学修 2.0hr：定着していない文法知識や重要文を再度復習し、定着させる。

中国方言基礎演習 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

郭　文ホー（かく　まーほー）

▌授業の概要
会話中心の授業を通して、広東語の運用能力及び広東語に関する基礎知識を習得します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）
一般目標：挨拶、簡単な自己紹介、数字、動詞述語文の作り方が理解できます。
個別目標：広東語のピンインを習得するのは今学期の第 1 目標です。また広東語と中国語の間の相違を理解することも大事です。

▌履修条件
①広東語に興味があるなら、誰でも履修できます。
②広東語母語話者の履修は認めません。

▌評価基準・方法
アクティブラーニング 1（20 %）、アクティブラーニング 2（20 %）と期末試験（60 %）に基づいて評価します。
なお、80%以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法
アクティブラーニング 1：授発音してもらって、フィードバックします。
アクティブラーニング 2：自己紹介を発表してもらって、フィードバックします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （発音強化と自己紹介を書くこと（内容の変更あり））

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
飯田真紀（2019）『ニューエクスプレスプラス　広東語』東京：白水社

▌参考書
特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション・発音(1)** 授業内容：広東語についての紹介、発音の仕組み(1)（声調） 事前学修 2.0hr：教科書 p.8-9 を読む 事後学修 2.0hr：復習（特に声調）
2 回	**授業テーマ：発音(2)** 授業内容：発音の仕組み(2)（声調以外） 事前学修 2.0hr：教科書 p.12-21 を読む 事後学修 2.0hr：復習
3 回	**授業テーマ：第 1 課** 授業内容：文の仕組み、動詞「係」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習（特にピンインの読み方）
4 回	**授業テーマ：第 2 課** 授業内容：動詞述語文、疑問詞「mat1 ye5」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習（特にピンインの読み方）
5 回	**授業テーマ：第 3 課** 授業内容：数字、所有を表わす「有」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
6 回	**授業テーマ：第 4 課** 授業内容：量詞、修飾語マーカー「ge3」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
7 回	**授業テーマ：アクティブラーニング 1 発音強化** 授業内容：苦手な発音を知り、それを注意しながら練習する 事前学修 2.0hr：第 1 ～ 4 課の会話を音読する 事後学修 2.0hr：発音の弱点に注意しながら、もう一度第 1 ～ 4 課の会話を音読する
8 回	**授業テーマ：第 5 課** 授業内容：指示詞、形容詞述語文 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
9 回	**授業テーマ：第 6 課** 授業内容：存在を表わす「有」、所在場所を表わす「hai2」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
10 回	**授業テーマ：第 7 課** 授業内容：疑問詞「點」、前置詞「hai2」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
11 回	**授業テーマ：第 8 課** 授業内容：助動詞「想」、時刻の表し方 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習

12回	**授業テーマ：アクティブラーニング 2 自己紹介** 授業内容：簡単な表現で自分のことを紹介する 事前学修 2.0hr：第 1 ～ 8 課の内容を確認し、簡単な自己紹介を用意する 事後学修 2.0hr：自己紹介の文章を読みなおす
13回	**授業テーマ：第 9 課** 授業内容：動詞「鍾意」、依頼・提案を表わす「a1」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
14回	**授業テーマ：第 10 課** 授業内容：表現：形容詞＋「di1」、助動詞「可以」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
15回	**授業テーマ：まとめ：第 1 課から第 10 課まで** 授業内容：第 1 課～第 10 課の内容を復習する 事前学修 2.0hr：第 1 課から第 10 課までの復習 事後学修 2.0hr：復習

中国方言基礎演習Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

郭　文ホー（かく　まーほー）

▌授業の概要

会話中心の授業を通して、広東語の運用能力及び広東語に関する基礎知識を習得します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：好き嫌い、経験、依頼、使役の表現の作り方を理解できます。

個別目標：発音を強化しながら、広東語で自分のことをより詳しく表現できるのは今学期の第 1 目標です。また広東語と中国語の間の相違を理解することも大事です。

▌履修条件

①広東語に興味があるなら、誰でも履修できます。ただし、中国方言基礎演習 I（広東語）を履修したことが必要です。

②広東語母語話者の履修は認めません。

▌評価基準・方法

アクティブラーニング 1（20 %）、アクティブラーニング 2（20 %）と期末試験（60 %）に基づいて評価します。

なお、80%以上の出席を評価の前提条件とします。

▌フィードバック方法

アクティブラーニング１：発音してもらって、フィードバックします。

アクティブラーニング２：日記を発表してもらって、フィードバックします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発音強化と日記を書くこと（内容の変更あり））

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

飯田真紀（2019）『ニューエクスプレスプラス　広東語』東京：白水社

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション・前期の復習** 授業内容：前期の内容（テキスト第 1 課～第 10 課）を簡単に復習する 事前学修 2.0hr：第 1 課～第 10 課の内容を確認する 事後学修 2.0hr：復習
2回	**授業テーマ：第 11 課** 授業内容：完了を表わす「zho2」、動詞「請」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
3回	**授業テーマ：第 12 課** 授業内容：実現の否定と疑問、選択疑問文「定係」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
4回	**授業テーマ：第 13 課** 授業内容：経験を表わす「過」、助動詞「識」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
5回	**授業テーマ：第 14 課** 授業内容：進行を表わす「緊」、助動詞「要」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
6回	**授業テーマ：第 15 課** 授業内容：比較表現、動詞「俾」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
7回	**授業テーマ：アクティブラーニング 1 発音強化** 授業内容：苦手な発音を知り、それを注意しながら練習する 事前学修 2.0hr：第 11 ～ 15 課の会話を音読する 事後学修 2.0hr：発音の弱点に注意しながら、もう一度第 11 ～ 15 課の会話を音読する
8回	**授業テーマ：第 16 課** 授業内容：結果補語、時間の長さを表わす語句 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
9回	**授業テーマ：第 17 課** 授業内容：方向補語、動詞の重ね型 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
10回	**授業テーマ：第 18 課** 授業内容：文型：動詞＋「俾」＋人、文型：動詞＋「hai2」＋場所 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
11回	**授業テーマ：第 19 課** 授業内容：様態補語、文型：「俾」＋人＋動詞 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習

12回	**授業テーマ：アクティブラーニング 2 日記を書く** 授業内容：広東語である日のことを書く 事前学修 2.0hr：第 1 ～ 19 課の内容を確認し、簡単な日記を書く 事後学修 2.0hr：日記の文章を読みなおす
13回	**授業テーマ：第 20 課** 授業内容：「有」の連動文、動詞＋「晒」 事前学修 2.0hr：前回の復習 事後学修 2.0hr：復習
14回	**授業テーマ：まとめ：第 11 課から第 15 課まで** 授業内容：第 11 課～第 15 課の内容を簡単に復習する 事前学修 2.0hr：第 11 課から第 15 課までの内容を確認する 事後学修 2.0hr：復習
15回	**授業テーマ：まとめ：第 16 課から第 20 課まで** 授業内容：第 16 課～第 20 課の内容を簡単に復習する 事前学修 2.0hr：第 16 課から第 20 課までの復習 事後学修 2.0hr：復習

中国語文法Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

曹　泰和（そう　たいわ）

▌授業の概要

中国語文法の構造、体系に関わる基本的な知識を学ぶ。
Ⅰでは中国語の疑問文、“是…的” 構文等の知識を学習する。
文法研究に必要な基礎力を養成する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：授業内容の項目で挙げている文法項目を充分に理解し、自分の言葉で説明できる。
　　複雑な文の意味を文法知識を踏まえた上正確に理解できるようになる。
　　問題点を見つけ、考えを述べることができるようになる。
個別目標：能動的に問題を見つける方法を身につけ、自分の分析と考えを整理して述べることができるようになる。

▌履修条件

２年次までに習得した知識を前提とする。

▌評価基準・方法

課題、小テスト、期末テスト(60%)、授業態度、授業の理解度 (40%) で評価する。
なお、５分の４以上の授業の出席を評価の前提条件とし、欠席する場合は減点とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内時間及び学習支援システム manaba を通して行う。
授業の時間内でドリルの答え合わせをし、解説を行う時間を設ける。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『Why？ にこたえる　はじめての中国語の文法書』相原　茂　石田知子　戸沼市子著　同学社

▌参考書

朱徳熙 1995『文法講義ー朱徳熙教授の中国語文法要説ー』　杉村博文/木村英樹訳　白帝社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義の概要** 授業内容：指示代詞と人称代詞、形容詞と区別詞を中心に、第１課から第 10 課までの文法項目を確認する。 1 年次に習った文法項目の復習。 事前学修 2.0hr：講義概要を読み、流れを把握しておく。 事後学修 2.0hr：１年次の中国語科目および「中国語研究入門」の学習内容を復習する。
2回	**授業テーマ：第 11 課　疑問文について** 授業内容：諾否疑問文、疑問詞疑問文について学習する。 事前学修 2.0hr：第 11 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
3回	**授業テーマ：ドリル 11** 授業内容：練習問題を通して、第 11 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 11 の問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。
4回	**授業テーマ：第 12 課　再び，疑問文について** 授業内容：様々な疑問形式を学ぶ。 事前学修 2.0hr：第 12 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
5回	**授業テーマ：ドリル 12** 授業内容：練習問題を通して、第 12 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 12 の問題をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。
6回	**授業テーマ：第 13 課　介詞(前置詞)** 授業内容：介詞の構造と役割、介詞と動詞、主な介詞と用法について学習する。 事前学修 2.0hr：第 13 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
7回	**授業テーマ：ドリル 13** 授業内容：練習問題を通して、第 13 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 13 をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。
8回	**授業テーマ：第 11 課～第 13 課の復習** 授業内容：疑問文、介詞、“是・・・的” 構文について復習し理解を深める。 事前学修 2.0hr：第 11 課～第 13 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：間違えた箇所を再確認する。
9回	**授業テーマ：第 14 課　介詞,“是…的” 構文** 授業内容：介詞フレーズを含んだ文、“是…的” 構文について学習する。 事前学修 2.0hr：第 14 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
10回	**授業テーマ：ドリル 14** 授業内容：練習問題を通して、第 14 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 14 をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。

11回	**授業テーマ：第 15 課　常用される副詞** 授業内容：副詞の種類、副詞の働きと特徴、常用される副詞について解説する。 事前学修 2.0hr：第 15 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
12回	**授業テーマ：ドリル 15** 授業内容：練習問題を通して、第 15 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 15 をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。
13回	**授業テーマ：第 16 課　文成分のまとめ** 授業内容：文成分の基本的順序について学習する。 事前学修 2.0hr：第 16 課の内容に目を通し、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：ノートの整理をする。
14回	**授業テーマ：ドリル 16** 授業内容：練習問題を通して、第 16 課の文法項目をより深く理解する。 事前学修 2.0hr：ドリル 16 をやっておく。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所のやり直しをする。
15回	**授業テーマ：前期の総まとめ** 授業内容：これまでの文法項目の復習と到達度の確認を行う。 事前学修 2.0hr：全体の復習をし、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：返却されたドリルを確認し、間違えた箇所を再確認する。

現当代文学Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

河村　昌子（かわむら　しょうこ）

▌授業の概要

近現代中国の文学を、作家と作品に焦点をあてながら解説します。
時代背景や文学史の流れを確認しながら、日本語訳で、作品をじっくり味わいます。
この授業では、五四時期から 1940 年代までの作家・作品を取り上げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：中国近現代文学史の概要を理解し、代表的な作家・作品について知識を深める。
　　文学作品を鑑賞する力を身につける。
個別目標：①五四時期から 1940 年代までの中国文学史を説明することができる。
　　②五四時期から 1940 年代までの代表的な作家・作品について、説明することができる。
　　③近現代中国の文学作品について、①②の知識を活用して、自分の考えを述べることができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 60 %、課題レポート 40 %で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時に行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業時にプリント教材を配付します。

▌参考書

丸山昇・伊藤虎丸・新村徹編『中国現代文学事典』東京堂出版 1985
中国文芸研究会編『原典で読む 図説中国 20 世紀文学―解説と資料』白帝社 1995

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：文学革命** 授業内容：1910 年代後半から 20 年代初頭に展開された文学、文化の改革運動について解説します。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読み、到達目標を理解しましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
2回	**授業テーマ：魯迅－近代文学の誕生** 授業内容：魯迅「狂人日記」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 1 回、第 2 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
3回	**授業テーマ：中国の新詩と徐志摩について** 授業内容：20 世紀中国のいわゆる新詩を牽引した聞一多（ぶんいった、Wen Yiduo、1899-1946）、徐志摩（じょしま、Xu Zhimo、1896-1931）等について解説し、作品を紹介します。 事前学修 2.0hr：第 1 回、第 2 回の授業内容を復習してください。 事後学修 2.0hr：第 1 回～第 3 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
4回	**授業テーマ：創造社と文学研究会** 授業内容：1921 年に成立した 2 つの文学団体「創造社」「文学研究会」について解説します。 事前学修 2.0hr：中国の近代文学が何を目指していたか、考えてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
5回	**授業テーマ：茅盾について** 授業内容：茅盾（ぼうじゅん、Mao Dun、1986-1981）について解説します。 事前学修 2.0hr：第一次国共合作について調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
6回	**授業テーマ：茅盾の作品** 授業内容：茅盾「林商店」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 4 回～第 6 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
7回	**授業テーマ：中国アナキズム** 授業内容：20 世紀初頭から 1920 年代に中国で一定の勢力を持っていた政治思潮アナキズムについて解説します。 事前学修 2.0hr：中国文学と外国文学の関わりについて、考えてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
8回	**授業テーマ：巴金の作品** 授業内容：巴金「バラライカの思い出」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 7 回、第 8 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
9回	**授業テーマ：左翼作家連盟** 授業内容：1930 年に上海で成立した文学運動組織左翼作家連盟について解説します。 事前学修 2.0hr：時代背景を調べましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
10回	**授業テーマ：東北作家** 授業内容：東北地方出身で、満州国建国後に故郷を離れた作家について解説します。 事前学修 2.0hr：満洲国について調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。

11回	**授業テーマ：蕭紅の作品** 授業内容：蕭紅「手」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 9 回～第 11 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
12回	**授業テーマ：沈従文について** 授業内容：沈従文（しんじゅうぶん、Shen Conewen、1902-1988）について解説します。 事前学修 2.0hr：中国の少数民族について調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
13回	**授業テーマ：沈従文の作品** 授業内容：沈従文「蕭蕭」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 12 回、第 13 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
14回	**授業テーマ：張愛玲について** 授業内容：張愛玲（ちょうあいれい、Zhang Ailing、1920-1995）について解説します。 事前学修 2.0hr：上海について調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。。
15回	**授業テーマ：張愛玲の作品** 授業内容：張愛玲「封鎖」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 14 回、第 15 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。

現当代文学Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

河村　昌子（かわむら　しょうこ）

▌授業の概要

近現代中国の文学を、作家と作品に焦点をあてながら解説します。
時代背景や文学史の流れを確認しながら、日本語訳で、作品をじっくり味わいます。
この授業では、1940 年代から現在までの作家・作品を取り上げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：中国近現代文学史の概要を理解し、代表的な作家・作品について知識を深める。
　　文学作品を鑑賞する力を身につける。
個別目標：① 1940 年代から現在までの中国文学史を説明することができる。
　　② 1940 年代から現在までの代表的な作家・作品について、説明することができる。
　　③近現代中国の文学作品について、①②の知識を活用して、自分の考えを述べることができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 60 %、課題レポート 40 %で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時に行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

プリント教材を送付します。

▌参考書

丸山昇・伊藤虎丸・新村徹編『中国現代文学事典』東京堂出版 1985
中国文芸研究会編『原典で読む 図説中国 20 世紀文学―解説と資料』白帝社 1995

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：毛沢東「文芸講話」** 授業内容：中国共産党の指導者毛沢東の文芸政策について解説します。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで、今後の学修の見通しをたてましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
2回	**授業テーマ：丁玲について** 授業内容：丁玲（ていれい、Ding Ling、1904-1986）について解説します。 事前学修 2.0hr：時代背景を調べましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
3回	**授業テーマ：丁玲の作品** 授業内容：丁玲「霞村にいた時」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 1 回、第 2 回、第 3 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
4回	**授業テーマ：文化大革命** 授業内容：1966 年から 1976 年まで続いた政治運動文化大革命について解説します。 事前学修 2.0hr：時代背景を調べましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
5回	**授業テーマ：巴金について** 授業内容：巴金（はきん、Ba Jin、1904-2005）について解説します。 事前学修 2.0hr：第 1 回、第 4 回の授業内容を復習してください。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
6回	**授業テーマ：巴金『随想録』** 授業内容：巴金「懐念蕭珊」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 4 回、第 5 回、第 6 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
7回	**授業テーマ：モダニズム文学** 授業内容：改革開放政策とともに流行したモダニズム文学について解説します。 事前学修 2.0hr：文学の実験とは何か、考えてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
8回	**授業テーマ：余華の作品** 授業内容：余華「十八歳の旅立ち」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 7 回、第 8 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
9回	**授業テーマ：高行健について** 授業内容：高行健（こうこうけん、Gao Xingjian、1940-）について解説します。 事前学修 2.0hr：文学の実験とは何か、考えてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
10回	**授業テーマ：高行健の作品** 授業内容：高行健「おじいさんに買った釣り竿」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 9 回、第 10 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
11回	**授業テーマ：莫言について** 授業内容：莫言（ばくげん、Mo Yan、1955 －）について解説します。 事前学修 2.0hr：ノーベル文学賞について調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。

12回	**授業テーマ：莫言の作品** 授業内容：莫言「洪水」を読んで、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 11 回、第 12 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
13回	**授業テーマ：史鉄生について** 授業内容：史鉄生（してつせい、Shi Tiesheng、1951 － 2010）について解説します。 事前学修 2.0hr：身体障がいについて調べてみましょう。 事後学修 2.0hr：授業内容を振り返って確認してください。
14回	**授業テーマ：史鉄生の作品** 授業内容：史鉄生「私と地壇」を読んで、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 13 回、第 14 回の講義を踏まえて、作品を理解しましょう。
15回	**授業テーマ：郝景芳の作品** 授業内容：郝景芳（かくけいほう、Hao Jingfang、1981 －）「人工知能の時代にいかに学ぶか」を読んで、解説します。 事前学修 2.0hr：講義で取り上げる作品に目を通してください。 事後学修 2.0hr：第 1 回から第 15 回までの講義を踏まえて、作品を理解し、現代中国の文学を振り返りましょう。

古典文学Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）

▌授業の概要

中国古典文学の韻文・散文を中心に、その書き下し文や現代日本語訳などを踏まえて、深く解釈します。
古典の歴史的背景や言葉の来歴を確認し、翻訳者の意図を汲み取りながら精読します。
先秦から六朝期の作品を取り上げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：中国の古典文学についての体系的知識を身につけ、作品やその翻訳に対して自分の意見を持ち、鑑賞する力を修得する。
個別目標：①中国古典文学の歴史及び展開について理解できる。
②翻訳者の意図を汲み取ることができる。
③辞書を引きながら中国古典作品を自分で読解することができる。
④代表的な中国古典作品について、説明することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 60 %、課題レポート 40 %で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （辞書で調査したり、教員と学生が話し合うなどしながら、文献の読解を求めることがあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前学修や感想文の提出などで用いることがあります。）

▌教科書

定めない。

▌参考書

『詩経国風 書経』(筑摩書房、世界古典文学全集)、小尾郊一・花房英樹『文選』(集英社、全釈漢文大系)、魯迅『中国小説史略』(ちくま学芸文庫、今村与志雄訳)、竹田晃・黒田真美子『中国古典小説選』(明治書院)、その他の参考書については授業中に適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業内容の概説と、資料の調査方法を説明します。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読んで、到達目標を理解しましょう。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
2回	**授業テーマ：『毛詩』「大序」を読む** 授業内容：『毛詩』「大序」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。また、「三家詩」について調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
3回	**授業テーマ：『詩経』を読む** 授業内容：『詩経』陳風「月出」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
4回	**授業テーマ：『列仙伝』を読む** 授業内容：『列仙伝』巻下「子英」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
5回	**授業テーマ：「古詩十九首」を読むⅠ** 授業内容：「古詩十九首」其一(「行行重行行」)を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
6回	**授業テーマ：「古詩十九首」読むⅡ** 授業内容：「古詩十九首」其二(「青青河畔草」)を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
7回	**授業テーマ：曹丕を読む** 授業内容：曹丕「論文」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。また、三曹(曹操・曹丕・曹植)について調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
8回	**授業テーマ：曹植を読む** 授業内容：曹植「雑詩」其六(「飛観百余尺」)を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：講義で配付した資料を確認して下さい。
9回	**授業テーマ：阮籍を読むⅠ** 授業内容：『世説新語』任誕篇(「阮歩兵喪母……」)を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
10回	**授業テーマ：阮籍を読むⅡ** 授業内容：阮籍「詠懐詩」其一を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。また、「竹林七賢」について調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
11回	**授業テーマ：陸機を読む** 授業内容：陸機「擬古詩」其一(「擬行行重行行」)を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。また、第５回の授業を復習して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。

12回	**授業テーマ：陶淵明を読むⅠ** 授業内容：陶淵明「桃花源記」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
13回	**授業テーマ：陶淵明を読むⅡ** 授業内容：陶淵明「飲酒」其五を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
14回	**授業テーマ：干宝を読むⅠ** 授業内容：干宝『捜神記』「織女」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
15回	**授業テーマ：干宝を読むⅡ** 授業内容：干宝『捜神記』「売鬼」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。

古典文学Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）

▌授業の概要

中国古典文学の韻文・散文を中心に、その書き下し文や現代日本語訳などを踏まえて、深く解釈します。
古典の歴史的背景や言葉の来歴を確認し、翻訳者の意図を汲み取りながら精読します。
六朝期から清朝の作品を取り上げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：中国の古典文学についての体系的知識を身につけ、作品やその翻訳に対して自分の意見を持ち、鑑賞する力を修得する。
個別目標：①中国古典文学の歴史及び展開について理解できる。
②翻訳者の意図を汲み取ることができる。
③辞書を引きながら中国古典作品を自分で読解することができる。
④代表的な中国古典作品について、説明することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 60 %、課題レポート 40 %で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （辞書で調査したり、教員と学生が話し合うなどしながら、文献の読解を求めることがあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし （事前学修や感想文の提出などで用いることがあります。）

▌教科書

定めない。

▌参考書

『文選』(集英社、全釈漢文大系)、魯迅『中国小説史略』(ちくま学芸文庫、今村与志雄訳)、『中国古典小説選』(明治書院)、『杜甫全詩訳注』(講談社学術文庫)、『白氏文集』(明治書院、新釈漢文大系)、その他の参考書については授業中に適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業内容の概説と、資料の調査方法を説明します。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読んで、到達目標を理解しましょう。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
2回	**授業テーマ：『文選』を読む** 授業内容：『文選』について、解説します。 事前学修 2.0hr：『文選』について調べて下さい。また、『文選』の目次に目を通して、古典文学のジャンルを概観して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
3回	**授業テーマ：謝眺を読む** 授業内容：謝眺「遊東田」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
4回	**授業テーマ：杜甫を読むⅠ** 授業内容：杜甫「月夜」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
5回	**授業テーマ：杜甫を読むⅡ** 授業内容：杜甫「春日憶李白」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
6回	**授業テーマ：李白を読むⅠ** 授業内容：李白「魯郡東石門送杜二甫」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
7回	**授業テーマ：李白を読むⅡ** 授業内容：李白「望廬山瀑布」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
8回	**授業テーマ：白居易を読むⅠ** 授業内容：白居易「長恨歌」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
9回	**授業テーマ：白居易を読むⅡ** 授業内容：白居易「長恨歌」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
10回	**授業テーマ：蘇軾を読むⅠ** 授業内容：蘇軾「赤壁賦」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：講義で配付した資料を確認して下さい。
11回	**授業テーマ：蘇軾を読むⅡ** 授業内容：蘇軾「赤壁賦」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。

12回	**授業テーマ：『三国志演義』を読むⅠ** 授業内容：『三国志演義』「水魚之交」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。また、明代と四大奇書について調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
13回	**授業テーマ：『三国志演義』を読むⅡ** 授業内容：『三国志演義』「死諸葛走生仲達」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
14回	**授業テーマ：紀昀『閲微草堂筆記』を読むⅠ** 授業内容：紀昀『閲微草堂筆記』巻二「屠者許方」(前半箇所)を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。また、清代と清朝考証学について調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
15回	**授業テーマ：紀昀『閲微草堂筆記』を読むⅡ** 授業内容：紀昀『閲微草堂筆記』巻二「屠者許方」(後半箇所)を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。

東アジア比較思想論 I

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

南　勇（なん　ゆう）

▌授業の概要

「中国人」に焦点を照らして、中国人の思考様式・行動パターンおよび価値観・歴史観を解明することによって、中国人に対する理解を深め、中国人と付き合う予備知識を身につけるのが本講義のねらいです。そのため、中国人に関する世間一般の見方にとどまらず、その深層の原因を文化・歴史の重大事件から掘り下げて解答します。また、東アジアという視点から、日・中・韓三国それぞれ交錯された認識を比較しながら問題意識を広げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：一般目標：文化比較の方法論で独自の問題意識から中国文化現象を分析できることを目指します。
個別目標：中国文化に対して自分の見解を持つこと。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

期末試験６０%。レポート (発表) ３０%、
授業内における学習態度、参加姿勢、発言など１０%。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

主に授業内で討論を展開します。それぞれの考え、見解を自由に発表し、お互いに議論を盛り上げます。最後に先生がまとめて、認識を共有します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （翻訳、グループワーク、プレゼンテーションなど活用する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回レジュメを配る。

▌参考書

授業中指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション：内容と方法論。体験授業：囚人ゲーム** 授業内容：この授業の内容と進み方を簡略に紹介、全体像を把握する。「囚人ゲーム」で実際授業を体験する。 事前学修 2.0hr：本講義になにを期待するか、考えてみる。 事後学修 2.0hr：自分の問題意識を整理する。
2回	**授業テーマ：「朋友」から人間関係を考える。** 授業内容：グループに分けて短文「朋友」を翻訳、内容を議論する。 事前学修 2.0hr：日本人にとっての「友達」を考えてみる。 事後学修 2.0hr：講義を聞き、日中「友達」に対する考え方の違いを考える。
3回	**授業テーマ：人間関係の原点：「nin 貴姓？」** 授業内容：中国文化における「姓」が持つ意味と重みを解説、そこから中国人の人間関係の原点を理解する。 事前学修 2.0hr：関連資料を調べる。 事後学修 2.0hr：日本人の初対面の場面を想定してみて、報告する。
4回	**授業テーマ：中国語の「外人」はどういう意味なのか** 授業内容：グループに分けて短文「外人」を翻訳し、中国語の「外人」の意味を理解する。 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料を読む 事後学修 2.0hr：中国語の「外人」に近い表現を調べてみる。
5回	**授業テーマ：中国社会の人間関係の変遷：「熟人社会」から「生人社会」へ** 授業内容：「熟人社会」と「生人社会」というキーワードを理解し、中国はどう変化していくかを解説する。 事前学修 2.0hr：日本も「熟人社会」なのか、考えてみる。 事後学修 2.0hr：日中社会を比較してみる。
6回	**授業テーマ：「隠私」：中国では「友情」をどう維持するのか** 授業内容：日本人は友達との絆をどう維持するか、それと比較して中国人の行動パターンを解説する。 事前学修 2.0hr：日本人としての「経験談」を用意する。 事後学修 2.0hr：友情の在り方について考えてみる。
7回	**授業テーマ：日中「メンツ」のキャップ** 授業内容：日本人と中国人の経験談から「メンツ」を議論する。 事前学修 2.0hr：日本語の「メンツ」を調べてみる。 事後学修 2.0hr：「メンツ」、プライト、自尊心等の相違をまとめてみる。
8回	**授業テーマ：NHK スペシャル：中国の親代行お見合い** 授業内容：NHK の番組を視聴し、中国の親と一人っ子との考えの乖離を考える。 事前学修 2.0hr：比較のために、日本の親子関係を考えてみる 事後学修 2.0hr：番組を視聴し、その感想をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Z 世代のお見合い** 授業内容：tiktok の映像からみる中国若者のお見合い事情・考え方を紹介、解説する 事前学修 2.0hr：tiktok はどういうアプリか、実際見てみる。 事後学修 2.0hr：自分が LINE をどう使うか、顧みる。
10回	**授業テーマ：競争社会：犬・狼・戦狼外交** 授業内容：犬、オオカミから中国の競争社会の深層に潜入、解説する。 事前学修 2.0hr：日本人の犬、オオカミのイメージを調べる。 事後学修 2.0hr：日本も競争社会なのか、考えてみる。
11回	**授業テーマ：安心社会と信頼社会** 授業内容：「安心」と「信頼」はどう違うか、これをキーワードで違う二つの社会・人間関係の構築パターンを解説する。 事前学修 2.0hr：日本語の「安心」と「信頼」の語義を調べてまとめる。 事後学修 2.0hr：これから「安心社会」それとも「信頼社会に」に向かうべきか、考えてみる。

12回	**授業テーマ：日・中・米社会比較：利己主義と利他主義** 授業内容：具体的に、日本、中国、アメリカを比較しながら、「安心社会」と「信頼社会」の理解を深める。 事前学修 2.0hr：日本の「近所(町内会)」と比較する。 事後学修 2.0hr：「利己」行為をより深く考えてみる。
13回	**授業テーマ：討論：私の中国文化の「発見」１** 授業内容：プレゼンテーション：今まで勉強してきた内容に基づき、自分の独自の視点から日中文化を比較してみる。 事前学修 2.0hr：発表準備をする。 事後学修 2.0hr：：他の学生の発表から得られた点をまとめてみる。
14回	**授業テーマ：討論：私の中国文化の「発見」２** 授業内容：プレゼンテーション：今まで勉強してきた内容に基づき、自分の独自の視点から日中文化を比較してみる。 事前学修 3.0hr：すべてのレジュメを整理する。 事後学修 2.5hr：他の学生の発表から得られた点をまとめてみる。
15回	**授業テーマ：学習理解度確認テスト** 授業内容：前期に勉強してきた様々な内容に基づいて質問する。 事前学修 3.0hr：今学期配布したすべてのレジュメを整理する。 事後学修 2.0hr：総括する。

東アジア比較思想論Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

南　勇（なん　ゆう）

▌授業の概要

「中国人」に焦点を照らして、中国人の思考様式・行動パターンおよび価値観・歴史観を解明することによって、中国人に対する理解を深め、中国人と付き合う予備知識を身につけるのが本講義のねらいです。そのため、中国人に関する世間一般の見方にとどまらず、その深層の原因を文化・歴史の重大事件から掘り下げて解答します。また、東アジアという視点から、日・中・韓三国それぞれ交錯された認識を比較しながら問題意識を広げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：文化比較の方法論で独自の問題意識から中国文化現象を分析できることを目指します。
個別目標：中国文化に対して自分の見解を持つこと。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

期末試験６０%。レポート (発表) ３０%、
授業内における学習態度、参加姿勢、発言など１０%。
課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

主に授業内で討論を展開します。それぞれの考え、見解を自由に発表し、お互いに議論を盛り上げます。最後に先生がまとめて、認識を共有します。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （翻訳、グループワーク、プレゼンテーションなど活用する。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回レジュメを配る。

▌参考書

授業中指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：地図からみる中国と西洋の視点** 授業内容：昔、西洋人が描かれた上海地図と中国人が描かれた上海地図を比べて、視点・視野・世界観の違いを解説する。 事前学修 2.0hr：世界地図と日本地図をみる。 事後学修 2.0hr：学習計画を作成してみる。
2回	**授業テーマ：王朝地理：中華思想の原点** 授業内容：「中華思想」とは、「中国」が世界の中心である考え方。古代中国人はなぜこのような世界観ができたか、掘り下げる。 事前学修 2.0hr：自分がイメージした「中華」を考える。 事後学修 2.0hr：自分のイメージと照合してその差異を整理する。
3回	**授業テーマ：「中華」と周辺：中国の方角文化** 授業内容：世界の中心と自負する「中国」は、当時の近隣周辺諸国をどのように見て、位置づけたのか、解明する。 事前学修 2.0hr：日本人にとって東、南、北、西は方角以外、何を連想させられるのか、調べてみる。 事後学修 2.0hr：『西遊記』の関連内容をまとめてみる。
4回	**授業テーマ：「文化 DNA」：上野公園の鹿はなぜライオンのフンから危険を嗅げるか。** 授業内容：文化論の基本視点を紹介する。歴史を時間軸で整理するか、それとも「決定的瞬間」に着眼して整理するか。 事前学修 2.0hr：フロイトの『夢の解析』を調べる。 事後学修 2.0hr：日本の歴史における「決定的瞬間」を考えてみる。
5回	**授業テーマ：「脱亜入欧」：日本の視点からみる中国と韓国** 授業内容：明治日本は東亜 (中国と韓国) をどのように眺めてきたか、それが今の日本とどのような関連性を持っているか、解明する。 事前学修 2.0hr：福沢諭吉のアジア論を読む。 事後学修 2.0hr：福沢諭吉のアジア論をまとめてみる。
6回	**授業テーマ：「ネーション」：「他者」化される中国** 授業内容：「日本人」のアイデンティティの形成過程において、「中国 (清国)」はどう関わっていたか解明する。 事前学修 2.0hr：「アイデンティティ」を調べる。 事後学修 2.0hr：当時の新聞を読んでみる。
7回	**授業テーマ：「日清戦争」と近代中国人の論理** 授業内容：「中国」のアイデンティティの形成過程において、「日本」はどう関わっていたか解明する。 事前学修 2.0hr：「日清戦争」の資料を調べる。 事後学修 2.0hr：「進化論」をどう思うか、考えてみる。
8回	**授業テーマ：中間発表：私の中国文化の「発見」** 授業内容：プレゼンテーション：今まで勉強してきた内容に基づき、自分の独自の視点から日中文化を比較してみる。 事前学修 2.0hr：配布したレジュメを整理して、質問表を作成する。 事後学修 2.0hr：課題を完成する。
9回	**授業テーマ：「劉邦と項羽」：天下取りが中国人の性格に与えた影響** 授業内容：「勝者」と「敗者」は中国人の性格、考え方、行動様式にどのような影響を与えたか解明する。 事前学修 2.0hr：劉邦と項羽に関する資料を調べる。 事後学修 2.0hr：映画「劉邦と項羽」(あるいは「覇王別姫」) を観て考える。
10回	**授業テーマ：中国語・韓国語の中の「和語」とその流れ。** 授業内容：明治維新から和製漢語が「逆流入」の形で大量に中国と韓国に流れ込んだ。近年の中国語でも同じ現象がみられる。今はどのような日本語が、どのように入って、使われているか、解明する。 事前学修 2.0hr：今はどんな日本語が中国で使われているのかを調べる。 事後学修 2.0hr：中国語の中の日本語由来の「和製漢語」を調べてリストアップする。
11回	**授業テーマ：愛国教育に秘める「愛」と「讐」** 授業内容：中国の愛国教育に常に「日本」の影がみられる。それはなぜなのか、解明する。 事前学修 2.0hr：「郷土愛」をどう思うか、考えてみる。 事後学修 2.0hr：愛国主義をどう思うか、まとめてみる。

12回	**授業テーマ：「漢服」：中国文化の高揚のシンプル** 授業内容：「旗袍」の代わりに、いまは漢服が徐々に広がっている。その流行の底に潜んでいる思惑を解明する。 事前学修 2.0hr：ネットから漢服の写真を探し、授業で共有する。 事後学修 2.0hr：「漢服」と着物を比較してみる。
13回	**授業テーマ：中国の海洋戦略と「中国夢」** 授業内容：万里の長城から海洋へ、これは中国の世界観の飛躍的変化。その変化の軌道を整理して解明する。 事前学修 2.0hr：中国にとって、「海」は何を意味するか。 事後学修 2.0hr：日中領土紛争に関して考えてみる。
14回	**授業テーマ：復習** 授業内容：後期に配布した全レジュメを整理して、ポイントをまとめる。 事前学修 2.5hr：すべてのレジュメを整理する。 事後学修 2.5hr：レジュメを整理して、自分流のポイントをまとめる。
15回	**授業テーマ：学習理解度確認テスト** 授業内容：前期に勉強してきた様々な内容に基づいて質問する。 事前学修 3.0hr：テストのの準備をする。 事後学修 2.0hr：テストの結果を検証する。

中国宗教・文化論Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国近世の大儒、朱熹(朱子、1130～1200)の生涯と思想について考察する。朱熹の思想(朱子学)は、その死後、中国のみならず、日本も含めた東アジア全域に広がり、現在その地域に生きる人々の考え方の骨格になっている。したがって朱子学を学ぶことは、そのまま東アジアの文化を学ぶことにもなるであろう。また古来、朱子学を含めた儒学(儒教)思想は宗教か否かという問いがある。この問いについては、いまだ結論は出ていないように思われるが、これについても考えていくこととしたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：朱熹の思想(朱子学)の背景にある中国の歴史や文化についての知識を身につけるとともに、これらの分野にかんする自分の考えをまとめ、適切に議論する能力を修得する。

個別目標：①朱熹の思想(朱子学)、およびその文化的、歴史的背景について理解することができる。②現代中国における朱子学の影響について説明することができる。③朱子学を含めた儒学(儒教)思想は宗教か否かという問いに答えることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

コメントシート(40 %)、受講時の積極性(20 %)、期末試験(40 %)

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業時に教材プリントを配布する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、授業計画** 授業内容：今後の授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、この授業の目標を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業計画を見直し、自分なりの朱子学についてのイメージを考えておく
2回	**授業テーマ：朱熹の生きた時代** 授業内容：これから取り上げる朱熹という思想家の生きた時代について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹の生きた時代について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
3回	**授業テーマ：早年の朱熹** 授業内容：早年の朱熹の思想について、建安の三先生とのかかわりを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：早年の朱熹について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
4回	**授業テーマ：朱熹と李侗の生涯** 授業内容：朱熹が二十代の頃に出会った李侗の生涯について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と李侗について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
5回	**授業テーマ：朱熹と李侗の思想** 授業内容：朱熹二十代の頃の思想について、李侗の説いた「未発の工夫」とのかかわりを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と李侗について、さらに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
6回	**授業テーマ：朱熹と張栻の生涯** 授業内容：朱熹が三十代の頃に出会った張栻の生涯について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と張栻について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
7回	**授業テーマ：朱熹と張栻の思想** 授業内容：朱熹三十代の頃の思想について、張栻の説いた「已発の工夫」とのかかわりを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と張栻について、さらに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
8回	**授業テーマ：朱熹と陸九淵の生涯** 授業内容：朱熹が四、五十代の頃に出会った陸九淵の生涯について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陸九淵について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
9回	**授業テーマ：朱熹と陸九淵の思想** 授業内容：朱熹が四、五十代の頃に出会った陸九淵の思想について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陸九淵について、さらに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
10回	**授業テーマ：朱熹と陸九淵の論争とその後** 授業内容：朱熹四、五十代の頃の思想について、陸九淵の思想とのかかわりを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陸九淵の同時代人についても調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
11回	**授業テーマ：朱熹と陳亮の生涯** 授業内容：朱熹が四、五十代の頃に出会った陳亮の生涯について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陳亮について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する

12回	**授業テーマ：朱熹と陳亮の思想** 授業内容：朱熹が四、五十代の頃に出会った陳亮の思想について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陳亮について、さらに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
13回	**授業テーマ：朱熹と陳亮の論争とその後** 授業内容：朱熹四、五十代の頃の思想について、陳亮の思想とのかかわりを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹と陳亮の同時代人についても調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
14回	**授業テーマ：晩年の朱熹** 授業内容：朱熹六十代の頃の思想について、当時の政治情勢なども踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：晩年の朱熹について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：朱熹やその同時代人らの生涯、思想をまとめて、整理する。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを整理しておく 事後学修 2.0hr：朱熹と同時代人とのかかわりを説明できるようにする

中国宗教・文化論Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国近世の大儒、朱熹(朱子、1130～1200)以後の中国思想の展開について考察する。朱熹の思想(朱子学)は、その死後、中国全土に広がったが、その一方で、王守仁(陽明、1472～1529)がひらいた陽明学をはじめ、朱子学に反対するものや、それに独自の見解を加えるものもあらわれた。これらの思想を知ることは、東アジアの文化をより深く学ぶことにもなるであろう。また古来、陽明学を含めた儒学(儒教)思想は宗教か否かという問いがある。この問いについては、いまだ結論は出ていないように思われるが、これについても考えていくこととしたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 4、GSM 2）

一般目標：朱熹以後の思想の背景にある中国の歴史や文化についての知識を身につけるとともに、これらの分野にかんする自分の考えをまとめ、適切に議論する能力を修得する。

個別目標：①陽明学をはじめとする思想、およびその文化的、歴史的背景について理解することができる。②現代中国における陽明学などの影響について説明することができる。③陽明学を含めた儒学(儒教)思想は宗教か否かという問いに答えることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

コメントシート(40 %)、受講時の積極性(20 %)、期末試験(40 %)

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業時に教材プリントを配布する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、授業計画** 授業内容：今後の授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、この授業の目標を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業計画を見直し、朱子学以後の中国思想についてのイメージを考えておく
2回	**授業テーマ：朱熹の門弟たち** 授業内容：朱熹の死後、その門弟たちの活躍について概説する。 事前学修 2.0hr：朱熹の門弟たちについて、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
3回	**授業テーマ：元代の思想** 授業内容：元代に流行した思想、とりわけ医学思想などについて概説する。 事前学修 2.0hr：元代の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
4回	**授業テーマ：三大全の編纂と刊行** 授業内容：明代初期に刊行された三大全(四書大全、五経大全、性理大全)について概説する。 事前学修 2.0hr：三大全(四書大全、五経大全、性理大全)について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
5回	**授業テーマ：王守仁(陽明)の生涯** 授業内容：明代中期に生まれた王守仁(陽明)の生涯と、当時の時代状況について概説する。 事前学修 2.0hr：王守仁(陽明)の生涯について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
6回	**授業テーマ：王守仁(陽明)の思想** 授業内容：王守仁(陽明)の思想(心即理、致良知など)について概説する。 事前学修 2.0hr：王守仁(陽明)の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
7回	**授業テーマ：王守仁(陽明)の門弟たち** 授業内容：王守仁(陽明)とその門弟たちとの交流を、『伝習録』などを手がかりに概説する。 事前学修 2.0hr：王守仁(陽明)の門弟たちについて、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
8回	**授業テーマ：王学左派と李贄の思想** 授業内容：王守仁(陽明)の死後に活躍した王学左派(王艮、王畿など)や李贄の思想について概説する。 事前学修 2.0hr：王学左派と李贄の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
9回	**授業テーマ：明の遺臣たち** 授業内容：明末清初、明の遺臣として活躍した黄宗羲、顧炎武、王夫之らの思想について概説する。 事前学修 2.0hr：明の遺臣たちの思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
10回	**授業テーマ：清朝考証学の登場** 授業内容：清朝考証学という学問手法と、その背景について概説する。 事前学修 2.0hr：清朝考証学について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
11回	**授業テーマ：顔李学派の思想** 授業内容：顔李学派と称される顔元、李きょうらの思想について概説する。 事前学修 2.0hr：顔李学派の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する

12回	**授業テーマ：洪秀全と太平天国** 授業内容：太平天国が建てられた経緯などについて説明し、さらに洪秀全の思想を概説する。 事前学修 2.0hr：洪秀全と太平天国について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
13回	**授業テーマ：公羊学の思想** 授業内容：清代末期に流行した公羊学の思想について概説する。 事前学修 2.0hr：公羊学の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
14回	**授業テーマ：清朝の滅亡と西洋思想** 授業内容：中国に伝わり広まっていた西洋思想と、当時の時代背景について概説する。 事前学修 2.0hr：清朝の滅亡と西洋思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまで取り上げてきた王守仁(陽明)や李贄の生涯、思想をまとめて、整理する。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを整理しておく 事後学修 2.0hr：朱熹の死後に生まれた様々な思想をまとめて、整理する。

中国語圏実地研修

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

夏季休暇中の約 1 ヶ月を利用して、派遣合意書を取り交わしている中国の大学にて中国語を学び、現地の実際に触れて見聞を広めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 3）

一般目標：より高度な中国語コミュニケーション能力を身につけ、中国社会の現状を認識する。
個別目標：①中国語の日常会話を聞いて理解できる。
②自分の意見を中国語を用いて説明できる。
③中国社会の現状について、実例をあげて説明できる。

▌履修条件

5 月から 6 月にかけて募集を行い、選考試験を実施します。その結果によっては参加できないことがあります。

▌評価基準・方法

研修先における修了証書をもって評価します。

▌フィードバック方法

研修中のミーティングおよび研修報告会を実施し、対面でのフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （海外研修）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特になし

▌参考書

特になし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

中国の大学にて中国語を学び、現地の実際に触れて見聞を広めます。

授業内容

研修先における中国語の授業が主となりますが、これに加えて、現地で生活し、商業、交通、観光などの実際を体験することで、中国社会の現状を学びます。また、研修のための事前研修、研修後の報告会を行います。

事前学修

事前研修への参加を必須とします。
また、研修先での学修や生活について、情報を収集してください。

事後学修

研修報告を必須とします。
また、積極的に中国語を使用するようにしてください。

中国現代史Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

中国史の中で特にアヘン戦争から辛亥革命までの時期を深く理解する。
この時期は中国の王朝体制が崩壊し、革命を経て共和国の成立を見る時期であり、中国史上の一大転換点である。換言すれば中国が近代化を開始する時期にほかならない。世界が一体のものとして動くようになるこの時期、中国もまたその中で新たな体制を模索するのである。
このような時期を探究の対象とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：国際的人材の求められる教養のひとつとして、中国における近現代の意味を理解する。
個別目標：1. 世界史と中国史を統一的に説明できる。
2. 歴史と現在を関連付けて説明できる。
3. 国際社会の時間的空間的全体像を把握できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『《YAMAKAWA SELECTION》中国史 下』 尾形勇・岸本美緒編集、山川出版社、2019 年。

▌参考書

『中国の歴史　増補改訂版』山本英史著、河出書房新社、2016 年。
『中国史 上』 尾形勇・岸本美緒編集、山川出版社、2019 年。
その他必要に応じて授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：中国現代史の意義** 授業内容：アヘン戦争がひとつの転換点になっていることについて、世界史的視点から説明する。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の年表を読み、中国史の概略を理解する。 事後学修 2.0hr：近代化の意味を確認する。
2回	**授業テーマ：時代区分** 授業内容：中国では歴史を大きく五つの時代に区分していることを紹介し、半植民地半封建社会とよばれる時代の特徴を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の年表を読み、中国史の歴史区分を理解する。 事後学修 2.0hr：時代区分と近代化の関連を再確認する。
3回	**授業テーマ：アヘン戦争** 授業内容：アヘン戦争の経緯を概観し、そこに半植民地半封建社会が始まる事情を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
4回	**授業テーマ：南京条約と虎門寨追加条約** 授業内容：不平等条約に言及し、アヘン戦争を経て中国の国際的地位が一変することを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
5回	**授業テーマ：太平天国** 授業内容：太平天国がどのようなものであり、清朝がいかに影響を受けたか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
6回	**授業テーマ：湘軍** 授業内容：太平天国の滅亡に際して湘軍や英仏軍の果たした役割を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
7回	**授業テーマ：洋務運動** 授業内容：洋務運動について説明するとともに、日本を含めた国際社会との関連を考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
8回	**授業テーマ：義和団** 授業内容：義和団の展開を概観し、西太后の判断とその結果について説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
9回	**授業テーマ：下関条約** 授業内容：日清戦争について概観し、当時の国際社会における中国の地位を考察する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
10回	**授業テーマ：三民主義** 授業内容：孫文が革命の準備を進めるなかで特に民族主義についてどう考えていたか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。

11回	**授業テーマ：辛亥革命** 授業内容：清朝が滅亡し、中華民国が成立したことで、長く続いた王朝体制も終焉を迎えたことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
12回	**授業テーマ：中華民国** 授業内容：中華民国が成立しても、半植民地半封建社会がさらに続く事情を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
13回	**授業テーマ：五・四運動** 授業内容：ベルサイユ条約において明らかになった中国の国際的地位を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
14回	**授業テーマ：軍閥** 授業内容：孫文が最期に残した言葉を紹介し、その歴史的意義を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
15回	**授業テーマ：近代化** 授業内容：アヘン戦争以降、中国は否応なく近代化を進めることになるが、近代化とは何を意味するのか、改めて考察する。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の年表のうち授業で扱った箇所を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書、参考書、ノート等を改めて熟読し、理解を深める。

中国現代史Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中島　祝（なかじま　はじめ）

▌授業の概要

中国史の中で共産党政権に関わる時期を広く講義する。
辛亥革命を経て共和国を成立させたものの、孫文の言葉にあるように、その革命は不完全なままに終わった。辛亥革命で達成されたことと未完のまま残されたことを確認し、両党が未完成の課題にどのように対処し、またその結果が現代にどう影響しているのか、深く探究する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：国際的人材の求められる教養のひとつとして、中国における近現代の意味を理解する。
個別目標：1. 世界史と中国史を統一的に説明できる。
2. 歴史と現在を関連付けて説明できる。
3. 国際社会の時間的空間的全体像を把握できる。

▌履修条件

特になし

▌評価基準・方法

学期末試験もしくはそれに代わる課題を主とする。必要に応じて中間試験や追加課題等を課し、授業成果と併せて成績を評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは教場またはオンラインで行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

『《YAMAKAWA SELECTION》中国史 下』 尾形勇・岸本美緒編集、山川出版社、2019 年。

▌参考書

『中国の歴史　増補改訂版』山本英史著、河出書房新社、2016 年。
『中国史 上』尾形勇、岸本美緒編、山川出版社、2019 年。
その他必要に応じて授業中に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：清末の中国と世界** 授業内容：アヘン戦争を以って半植民地半封建社会の始まりとされることの意味を改めて考察する。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の年表を熟読し、世界史と中国史の関連を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
2回	**授業テーマ：辛亥革命の意義** 授業内容：辛亥革命に清朝のみならず王朝体制が終焉し、新たに共和国が成立したが、それでも半植民地半封建社会は続くことの意味を改めて考える。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
3回	**授業テーマ：国民党** 授業内容：孫文の遺志を継承すべく、新たに蒋介石が率いることになる事情を概観する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
4回	**授業テーマ：第一次国共合作** 授業内容：軍閥が抜港する状況を終わらせるべく、国民党と共産党が「合作」の体制をとったことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
5回	**授業テーマ：北伐** 授業内容：第一次国共合作は北伐のための体制であるが、国民党のなかで右派が主導し、目的を達する前に合作が崩壊したことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
6回	**授業テーマ：盧溝橋事件** 授業内容：日中戦争の発端を概観するとともに、第二次世界大戦との関連を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
7回	**授業テーマ：第二次国共合作** 授業内容：日中戦争のために再び国民党と共産党が合作体制をとるが、両者それぞれに戦後構想を持っていたことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
8回	**授業テーマ：国共内戦** 授業内容：日中戦争が終わると国共両党はそれぞれの思惑を実現すべく内戦に至ったことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
9回	**授業テーマ：1949 年 10 月 1 日** 授業内容：国共内戦に共産党が勝利し、中華人民共和国が成立したことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
10回	**授業テーマ：向ソ一辺倒** 授業内容：第二次世界大戦後の世界は冷戦の世界であり、中国はソ連の陣営に参加したことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。

11回	**授業テーマ：大躍進** 授業内容：中国とソ連が対立を激化していくなかで、中国が成果を挙げんとした様子を説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
12回	**授業テーマ：文化大革命** 授業内容：紅と専の対立とされる文化大革命がどのように展開されたか説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
13回	**授業テーマ：改革開放** 授業内容：文化大革命の後の政策転換が、中国がこんにち見せる経済発展の出発点であることを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
14回	**授業テーマ：南巡講話** 授業内容：改革開放は当初限られた範囲で実施され、その成果をみて次第に拡大されていったことを説明する。 事前学修 2.0hr：教科書の該当部分を熟読し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書の該当部分を改めて熟読し、理解を深める。
15回	**授業テーマ：現代の中国と国際関係** 授業内容：中国が台頭することにより、東アジアや世界の国際関係は大きく様相を変えつつある。その現状を確認し、課題を検討する。 事前学修 2.0hr：教科書巻末の年表のうち授業で扱った箇所を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：教科書、参考書、ノート等を改めて熟読し、理解を深める。

中国社会研究入門

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国語学科カリキュラム・ポリシーの 1 に鑑み、中国の政治・経済・社会について，わかりやすく丁寧に講義します。中国社会のもつ多様性や、経済、社会のもつ特異性など、幅広いテーマについて検討する予定です。一方的な講義とならないよう、適宜ディスカッションの時間を持ちながら進めていきます。講義の進め方についての詳細は、第 1 回目の講義の際に指示します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国の政治システムがどのようになっているのか。中国経済はどのようなプロセスで発展してきたのか。中国社会のもつ特徴は何か。これらの問題に対して、ひととおりの知識を有し、まとまった説明ができるようになることを到達目標とします。

個別目標：中国の政治体制がどのような構造なのか、立法・行政・司法の三権はどのように配置されているのか、経済の市場化はどのように進められたのか、格差や環境汚染などの問題点はどこまで進み、どこまで改善されたのか、インターネットの普及は中国社会にどのような変化をもたらしたのか、などの具体的なテーマについて考え、自分の考えを述べることができることを目標にします。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

試験 70 %、レポート 30 %、また授業内における参加姿勢及び発言等に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データのまとめなど。）

▌教科書

テキストは使用しません。

▌参考書

授業内で適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：中国社会の現在** 授業内容：中国社会を学ぶ際のさまざまなアプローチについて。 事前学修 2.0hr：現代中国の社会変化について新聞などをチェックすること。 事後学修 2.0hr：中国ビジネスの現状を考え、講義の内容を復習する。
2 回	**授業テーマ：中国社会の変容（改革開放の意味）** 授業内容：中国における改革開放の意味について。 事前学修 2.0hr：前回の講義の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：改革開放について講義内容を復習する。
3 回	**授業テーマ：社会主義市場経済の意味** 授業内容：社会主義市場経済の内容とその変容について。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、プリント等を確認する。
4 回	**授業テーマ：政治（国家制度）** 授業内容：中国の国家制度について解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：中国の政治制度について、講義内容を復習する。
5 回	**授業テーマ：政治（共産党）** 授業内容：共産党機構に関する説明。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：共産党が果たしている役割を復習し整理する。
6 回	**授業テーマ：政治（地方分権）** 授業内容：中央と地方の分権制度について解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：中央と地方との関係について講義内容を復習し確認する。
7 回	**授業テーマ：経済（改革開放以前）** 授業内容：計画経済時代の経済構造について解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：改革開放以前の中国について、講義内容と照らし合わせながら整理する。
8 回	**授業テーマ：経済（改革開放以後）** 授業内容：改革開放以後の経済状況の変遷について解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：改革開放前後の変化を中心に講義内容をまとめる。
9 回	**授業テーマ：経済（農村政策）** 授業内容：農村政策の変遷について解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：改革開放以後の農村政策の変容をまとめる。
10 回	**授業テーマ：経済（対外開放政策）** 授業内容：対外経済関係の移り変わりについて。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：対外経済政策の変化について、講義内容を復習し確認する。
11 回	**授業テーマ：社会（人口政策）** 授業内容：人口政策の移り変わりについて解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：中国の人口変動について講義内容を復習する。

12回	**授業テーマ：社会(所得格差)** 授業内容：所得格差の実情について説明。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：所得格差がどのように変容していったのか、講義内容を復習し確認する。
13回	**授業テーマ：社会(環境政策)** 授業内容：中国における環境問題への取り組みについて解説。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：環境汚染は経済発展とどのような関係にあるのか、中国を事例に講義内容を復習する。
14回	**授業テーマ：外交(外交政策)** 授業内容：対外関係、特に米中関係について論じる。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：中国の外交政策の大きな変動を整理する。
15回	**授業テーマ：外交(日中関係)** 授業内容：日中関係の今後について解説する。 事前学修 2.0hr：前回の内容の要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：日中関係はどこに向かうのか、講義内容と照らし合わせながら整理する。

中国現代史研究入門

開講学科等：中 ｜ 1 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小川　唯（おがわ　ゆい）

▌授業の概要

中国現代史に関する基礎知識と多角的視野を身につけます。現代の日中関係や社会問題を知るうえで重要なテーマを各回で学び、講義と課題によって、その歴史的背景を理解していきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：日本・中国の近現代史を身近に感じ、それらに対する基礎知識と多角的視野を身につけ、現代中国への理解を深めます。

個別目標：テーマに応じて、グループワーク、課題プリントや年表の作成を行い、中国現代史に関する基礎知識を身につけます。授業内での質疑応答を通じて、様々な視野で問題を考え、現代中国への理解を深めます。

▌履修条件

毎回、課題プリントと年表を作成すること。

▌評価基準・方法

受講時の積極性・理解度(30%)、課題(40%)、期末テスト(30%)で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内での解説および学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （年表作成、グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

プリント教材を配布

▌参考書

久保亨ほか『現代中国の歴史第 2 版：両岸三地 100 年のあゆみ』(東京大学出版会) 2019 年

田中仁ほか『新図説中国近現代史』(法律文化社) 2012 年

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：わたしたちの身近にある中国** 授業内容：授業の概要を説明します。また、日中関係の長い歴史と文化的影響について概説します。 事前学修 2.0hr：中国に関するニュースを調べ、自分と中国との関わりについて考える 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、祖父母親子 3 代の自分史を作成する
2回	**授業テーマ：中国と日本の近代の幕開け** 授業内容：中国と日本が本格的に近代化に取り組んだ時代について概説し、その共通点や相違点を考えます。 事前学修 2.0hr：中国と日本の近現代史を調べ、その相違点について考える 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、中国と日本の近現代史における転機を年表にまとめる
3回	**授業テーマ：“中華民族” の誕生―民族問題、国家統一をめぐる歴史** 授業内容：「中国人」「中華民族」という呼び方は近代に形成されていきました。その背景にある民族問題や国家統合について考えます。 事前学修 2.0hr：国家の定義と民族問題について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む
4回	**授業テーマ：“中国語” を創る―標準語をめぐる歴史** 授業内容：多様な方言や民族を擁する中国で、標準語が形成された歴史を知り、世界で話されている中国語の状況にも理解を深めます。 事前学修 2.0hr：中国の方言を調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む
5回	**授業テーマ：地方から立ちあがる政治指導者たち(1)孫文** 授業内容：孫文の生涯をたどり、清朝末期から中華民国前期までの激動の時代を理解します。 事前学修 2.0hr：中国の政治指導者を調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む
6回	**授業テーマ：地方から立ちあがる政治指導者たち(2)蒋介石** 授業内容：蒋介石の生涯をたどり、中華民国期という激動の時代を理解します。 事前学修 2.0hr：中華民国の歴史を調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む
7回	**授業テーマ：地方から立ちあがる政治指導者たち(3)毛沢東** 授業内容：毛沢東の生涯をたどり、中華民国から中華人民共和国へと変わる激動の時代を理解します。 事前学修 2.0hr：社会主義の定義を調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む
8回	**授業テーマ：日中戦争と戦後処理** 授業内容：日中戦争の展開と、戦後の冷戦体制下における中国の外交問題について、理解を深めます。 事前学修 2.0hr：日中戦争の経緯を調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む
9回	**授業テーマ：地方から立ち上がる政治指導者たち(4)鄧小平** 授業内容：鄧小平の生涯をたどり、中華人民共和国が「改革開放」へ展開する激動の時代を理解します。 事前学修 2.0hr：改革開放とは何かを調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む
10回	**授業テーマ：中華人民共和国の政治と社会(1)** 授業内容：中華人民共和国の政治変容が社会にどのような影響を与えたのか、若者文化の変遷から理解します。 事前学修 2.0hr：中華人民共和国の歴史を調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む
11回	**授業テーマ：台湾・香港の歴史** 授業内容：台湾や香港が置かれた歴史的・政治的・経済的立場を理解します。 事前学修 2.0hr：台湾・香港と中国の関係を調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む

12回	**授業テーマ：中華人民共和国の政治と社会(2)** 授業内容：2000 年以降の中国政治について理解し、外交や経済への影響や諸問題を考えます。 事前学修 2.0hr：現代中国が抱える社会問題を調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む
13回	**授業テーマ：華僑・華人の歴史** 授業内容：世界に広がる華僑・華人の歴史や特徴について理解します。 事前学修 2.0hr：チャイナ・タウンの特徴を調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、年表に講義内容の重点を書き込む
14回	**授業テーマ：日中関係のあゆみ** 授業内容：近現代の日中関係史を復習し、年表の総仕上げを行います。 事前学修 3.0hr：日中関係の経緯を調べる 事後学修 3.0hr：講義内容を復習し、年表を完成させる
15回	**授業テーマ：総復習、年表提出** 授業内容：中国近現代史に対する知識を振り返り、理解度を確認します。 事前学修 3.0hr：これまで学習した内容を復習する 事後学修 2.0hr：総復習した内容を振り返る

中国思想研究入門

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要
中国の思想についての概説を行う。中国には古来すぐれた思想が存在したが、このような思想は現代中国の文化、社会にも生き続けている。したがって中国語を学び、中国について深く理解しようと思うならば、中国の思想を知ることを避けては通れない。このような視点に立って、本年度は中国古代の諸子百家の思想を中心に、仏教や道教などについても取り上げていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）
一般目標：中国前近代の思想の概要を知り、中国の文化、社会に対する理解を深める。
個別目標：中国前近代の思想が、現代中国の文化、社会にいかに影響を与えているかを説明できる。

▌履修条件
特になし。

▌評価基準・方法
コメントシート（30 %）、受講時の積極性（20 %）、期末試験（50 %）

▌フィードバック方法
フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし

▌教科書
特にありません。必要に応じて、プリントを配布する。

▌参考書
適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、授業計画** 授業内容：今後の授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、この授業の目標を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業計画を見直し、自分なりの中国思想についてのイメージをまとめておく
2回	**授業テーマ：諸子百家の時代** 授業内容：次回から取り上げる諸子百家の時代について、歴史背景などを踏まえて概説する。 事前学修 2.0hr：諸子百家の時代について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
3回	**授業テーマ：儒家（1）：孔子の思想** 授業内容：孔子の思想について、「礼」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：孔子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
4回	**授業テーマ：儒家（2）：孟子の思想** 授業内容：孟子の思想について、「性善」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：孟子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
5回	**授業テーマ：儒家（3）：荀子の思想** 授業内容：荀子の思想について、「性悪」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：荀子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
6回	**授業テーマ：道家（1）：老子の思想** 授業内容：老子の思想について、「道」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：老子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
7回	**授業テーマ：道家（2）：荘子の思想** 授業内容：荘子の思想について、「無」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：荘子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
8回	**授業テーマ：墨家：墨子の思想** 授業内容：墨子の思想について、「兼愛」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：墨子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
9回	**授業テーマ：名家：公孫龍子の思想** 授業内容：公孫龍子の思想について、「白馬非馬」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：公孫龍子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
10回	**授業テーマ：兵家：孫子の思想** 授業内容：孫子の思想について、その軍事思想を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：孫子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
11回	**授業テーマ：法家：韓非子の思想** 授業内容：韓非子の思想について、その法の思想を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：韓非子の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
12回	**授業テーマ：焚書坑儒と儒教の国教化** 授業内容：諸子百家の時代以後における思想史の流れを概説する。 事前学修 2.0hr：秦代から漢代にかけての思想史の流れについて、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する

13回	**授業テーマ：仏教思想の展開** 授業内容：仏教思想について、「無常」や「輪廻」を中心に概説する。 事前学修 2.0hr：仏教の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
14回	**授業テーマ：道教思想の展開** 授業内容：道教の思想や、それに関連する煉丹術などについて概説する。 事前学修 2.0hr：道教の思想について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：中国の思想史の大きな流れを概説し、確認する。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを整理しておく 事後学修 2.0hr：中国思想の概要を説明できるようにする

中国文学研究入門

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）

▌授業の概要

中国古典文学のうち、詩のジャンルの精華として、唐代に成立した近体詩という形式が挙げられます。この授業では、その到達点ともいうべき近体詩を学んだ上で、そこに至るまでの詩の展開について、特に事実性の強い作品（詠史詩）と、虚構性豊かな作品（遊仙詩等）を中心に解説します。
作品の元となる文献や作者の生きた当時の時代背景の流れを確認しながら、読み解いていきます。
先秦から唐代の文章を中心に取り上げます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国古典文学の近体詩の形式を理解する。
　　中国古典文学の伝統性豊かな詩風と創造性豊かな詩風を理解する。
　　文学を鑑賞する力を高める。
個別目標：1. 近体詩の形式を理解し、説明することができる。
　　2. 代表的な詩文を知り、説明することができる。
　　3. 中国古典文学の研究資料を調査することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 30 %、コメントシート 40 %、期末テスト 30%で総合的に評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （辞書で調査したり、教員と学生が話し合うなどしながら、文献の読解を求めることがあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前学修や感想文の提出などで用いることがあります。）

▌教科書

定めない。

▌参考書

小川環樹『唐詩概説』(岩波文庫)、『詩経国風 書経』(筑摩書房、世界古典文学全集)、市川桃子・斉藤茂『中国古典詩聚花－詠史と詠物－』(小学館)、『文選』(集英社、全釈漢文大系)、『陶淵明全集』上・下 (岩波文庫)、その他の参考書については授業中に適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業の概要を読んで、到達目標を理解しましょう。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読んで、到達目標を理解しましょう。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
2回	**授業テーマ：王維を読む** 授業内容：王維「送元二使安西」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
3回	**授業テーマ：杜甫を読む** 授業内容：杜甫「春望」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
4回	**授業テーマ：李白を読む** 授業内容：李白「静夜思」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
5回	**授業テーマ：韓愈を読む** 授業内容：韓愈「雑説」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
6回	**授業テーマ：『詩経』を読むⅠ** 授業内容：『毛詩』「大序」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。また、『毛詩』『春秋左氏伝』について調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
7回	**授業テーマ：『詩経』を読むⅡ** 授業内容：『詩経』秦風「黄鳥」を読み、解説します。また、三家詩について調べて下さい。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
8回	**授業テーマ：曹植「詠三良」を読む** 授業内容：曹植「詠三良」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
9回	**授業テーマ：『十八史略』を読む** 授業内容：『十八史略』の「先従隗始」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
10回	**授業テーマ：左思を読むⅠ** 授業内容：左思「詠史詩」其二を中心に、詠史詩の文体的変化を解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。

11回	**授業テーマ：陶淵明を読むⅠ** 授業内容：陶淵明「詠貧士」其三を中心に、詠史詩的文体への道家思想の流入を解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
12回	**授業テーマ：左思を読むⅡ** 授業内容：左思「招隠詩」を読み、解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
13回	**授業テーマ：郭璞を読む** 授業内容：郭璞「遊仙詩」其一を中心に解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
14回	**授業テーマ：陶淵明を読むⅡ** 授業内容：陶淵明「連雨読飲詩」を中心に解説します。 事前学修 2.0hr：授業で取り上げる作品に目を通して下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：学修内容の到達度テストを実施します。 事前学修 2.0hr：これまでの学修内容を復習してください。 事後学修 2.0hr：テスト問題を活用しながら、学習内容を整理してください。

中国歴史研究入門

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国の歴史についての概説を行う。中国は古来文化の先進国として、すぐれた思想や文学が生み出されてきたが、それらを学ぶためには、まずは中国の歴史を知ることを避けては通れない。このような視点に立って、この講義では、はるか古代から中世、近世に至るまでの中国の歴史を概観していく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国の歴史の概要を知り、中国の文化、社会に対する理解を深める。
個別目標：各王朝の興亡の歴史と、その前後の王朝とのつながりを理解して、中国史の流れを説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

コメントシート（30 %）、受講時の積極性（20 %）、期末試験（50 %）

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特にありません。必要に応じて、プリントを配布する。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、授業計画** 授業内容：今後の授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、この授業の目標を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業計画を見直し、自分なりの中国思想についてのイメージをまとめておく
2 回	**授業テーマ：夏殷周三代の歴史** 授業内容：夏殷周三代の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：夏殷周三代の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
3 回	**授業テーマ：春秋・戦国時代の歴史** 授業内容：春秋・戦国時代における各国の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：春秋・戦国時代の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
4 回	**授業テーマ：秦王朝の歴史** 授業内容：秦王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：秦王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
5 回	**授業テーマ：漢王朝の歴史** 授業内容：漢王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：漢王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
6 回	**授業テーマ：三国時代の歴史** 授業内容：三国時代における各国の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：三国時代の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
7 回	**授業テーマ：南北朝時代の歴史** 授業内容：南北朝時代における各国の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：南北朝時代の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
8 回	**授業テーマ：隋王朝の歴史** 授業内容：隋王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：隋王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
9 回	**授業テーマ：唐王朝と五代十国の歴史** 授業内容：唐王朝、および五代十国時代における各国の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：唐王朝と五代十国の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
10 回	**授業テーマ：宋王朝の歴史** 授業内容：宋王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：宋王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
11 回	**授業テーマ：元王朝の歴史** 授業内容：元王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：元王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
12 回	**授業テーマ：明王朝の歴史** 授業内容：明王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：明王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する

13回	**授業テーマ：清王朝の歴史について** 授業内容：清王朝の盛衰について、その理由も含めて概説する。 事前学修 2.0hr：清王朝の歴史について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
14回	**授業テーマ：清王朝の滅亡と近代への歩み** 授業内容：清王朝以後の中国史の流れについて概説する。 事前学修 2.0hr：清王朝の滅亡とその後について、自分なりに調べておく 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：中国の歴史の大きな流れを概説し、確認する。 事前学修 2.0hr：これまで学んだことを整理しておく 事後学修 2.0hr：中国史の概要を説明できるようにする

中国語学研究入門

開講学科等：中　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前/後

中桐　典子（なかぎり　のりこ）

▌授業の概要

主に①文の成分、②中国語の 6 つの補語、③「存現文」など中国語に特徴的な文構造の 3 点を中心に学習する。各種問題演習を通して、答えに至る理由を文法的観点から考察し、自ら説明できる力を養う。なお、学生の習熟度に応じて、学習内容や進度、学習順序を適宜調整する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国語を効率的に習得するために、言語の構造や語法への理解を深める。あわせて、文法を体系的に学ぶことで、中国語で自分の考えを論理的に整理し、場面に応じて的確に表現し、相手と建設的に議論できる運用能力を身につける。

個別目標：①中国語の文成分について説明できる。
②中国語の 6 つの補語について説明できる。
③中国語に特徴的な構文について説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

定期試験 70 %、レポートおよび小テスト 20 %、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %を基準とし、総合的に評価する。 また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （割り当てられた練習問題を解き、なぜそのような答えになったのかについて解説を加える。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

プリント教材を配布する。

▌参考書

『why？ にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂他著　同学社
『やさしく　くわしい　中国語文法の基礎』守屋宏則著　東方書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・中国語の文成分について解説する** 授業内容：次回からの学習に必要な文成分の知識を確認する。複数の中国語の文について、その構造を考え、６つの文成分に分解する練習を行う。 事前学修 2.0hr：プリントの「日本語の文成分」「中国語の文成分」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の文成分に関する練習問題をやり、文成分に関する知識を定着させる。
2回	**授業テーマ：中国語の程度補語、結果補語について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「程度補語」、「結果補語」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の程度補語、結果補語に関する練習問題をやり、程度補語、結果補語に関する知識を定着させる。
3回	**授業テーマ：中国語の様態補語について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「様態補語」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の様態補語に関する練習問題をやり、様態補語に関する知識を定着させる。
4回	**授業テーマ：中国語の方向補語について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「方向補語」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の方向補語に関する練習問題をやり、方向補語に関する知識を定着させる。
5回	**授業テーマ：中国語の方向補語の派生義について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「方向補語の派生義」に関する説明を読んで理解しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の方向補語の派生義に関する練習問題をやり、方向補語の派生義に関する知識を定着させる。
6回	**授業テーマ：中国語の可能補語について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「可能補語」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の可能補語に関する練習問題をやり、可能補語に関する知識を定着させる。
7回	**授業テーマ：中国語の数量補語について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「数量補語」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の数量補語に関する練習問題をやり、数量補語に関する知識を定着させる。
8回	**授業テーマ：中国語の連動文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「連動文」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の連動文に関する練習問題をやり、連動文に関する知識を定着させる。
9回	**授業テーマ：中国語の二重目的語文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「二重目的語文」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の二重目的語文に関する練習問題をやり、二重目的語文に関する知識を定着させる。
10回	**授業テーマ：中国語の存現文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「存現文」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の存現文に関する練習問題をやり、存現文に関する知識を定着させる。

11回	**授業テーマ：中国語の使役文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「使役文」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の使役文に関する練習問題をやり、使役文に関する知識を定着させる。
12回	**授業テーマ：中国語の処置文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「処置文」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の処置文に関する練習問題をやり、処置文に関する知識を定着させる。
13回	**授業テーマ：中国語の受け身文について解説する** 授業内容：文法項目の説明を行った後、学生に練習問題の解答・解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントの「受け身文」に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語の受け身文に関する練習問題をやり、受け身文に関する知識を定着させる。
14回	**授業テーマ：中国語検定試験の和文中訳問題(1)の文法について考える** 授業内容：中国語検定試験和文中訳の過去問題を教材とし、学生に解答してもらい、その上でポイントとなる文法項目は何かについて解説をしてもらう。 事前学修 2.0hr：プリントに挟み込んである中国語検定試験の和文中訳問題(1)に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：中国語検定試験の和文中訳問題(2)をやり、ポイントとなる文法項目について考える。
15回	**授業テーマ：半期で学んだ文法事項の総まとめを行う** 授業内容：半期を通じて誤答の多かった問題について再度解説を行い、練習問題をやって知識の定着を図る。 事前学修 2.0hr：半期の学習内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：定着していない文法事項を再度復習し、定着させる。

中国語音声学入門

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

曹　泰和（そう　たいわ）

▌授業の概要
中国語の音声と文字(ピンインローマ字)に関する基礎的な知識を体系的に学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）
一般目標：授業で取り上げる音声に関する基礎的知識を習得する。
個別目標：中国語音声学の基礎概念を理解する。
　　中国語の声母・韻母の体系および発音上の特徴を理解する。
　　音節、声調について理解する。
　　軽声、重音、軽音について理解する。

▌履修条件
１年次までに習得した知識を前提とする。

▌評価基準・方法
課題、小テスト、期末テスト(60%)、授業態度、授業の理解度 (40%) で評価する。
なお、５分の４以上の授業の出席を評価の前提条件とし、欠席する場合は減点とする。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは、授業内時間及び学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
なし （事前に学習する項目について調べてもらうことがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
なし （PPT を使い、プレゼンテーションを行う場合がある。）

▌教科書
『中国語音声学　日本語・英語との発音比較を重視して』佐藤　昭著　朝日出版社 （2900+税）

▌参考書
授業中提示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業内容の概要** 授業内容：授業ガイダンスを行う。 どのような視点から中国語音声学を学ぶかを提示する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、流れを把握しておく。 事後学修 2.0hr：教科書の第３章「音声学の基礎知識」を予習しておく。
2回	**授業テーマ：声母の発音①** 授業内容：声母の種類と調音器官 調音様式による声母の細区分 事前学修 2.0hr：教科書の第５章の第１節と第２節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成。
3回	**授業テーマ：声母の発音②** 授業内容：調音様式による声母の発音 ピンインの読み違いやすい声母文字 事前学修 2.0hr：教科書の第５章の第３節と第４節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成。
4回	**授業テーマ：韻母の分類とピンイン表記①** 授業内容：中国語の韻母の音と韻母の分類 母音字だけの韻母と母音字＋子音字の韻母 事前学修 2.0hr：教科書の第６章の第１節と第２節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
5回	**授業テーマ：韻母の分類とピンイン表記②** 授業内容：ピンインで音節表記するときの特別のつづり字法 ピンインの特殊文字 事前学修 2.0hr：教科書の第６章の第３節と第４節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成。
6回	**授業テーマ：韻母の分類とピンイン表記③** 授業内容：ローマ字〈i〉〈u〉〈e〉の「一字数音」現象 隔音符号 事前学修 2.0hr：教科書の第６章第５節と第６節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
7回	**授業テーマ：韻母の発音①** 授業内容：中国語の主母音の種類 各種韻母の発音 事前学修 2.0hr：教科書の７章の第１節と第２節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
8回	**授業テーマ：韻母の発音②** 授業内容：複母音 音節を閉じる韻尾(n・ng)の発音 日本語と中国語の母音の比較 事前学修 2.0hr：教科書の７章の第３節、第４節と第５節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
9回	**授業テーマ：中国語の音節表①** 授業内容：声母と韻母の組み合わせ関係 声母・韻母の特徴的な結合制限 事前学修 2.0hr：教科書の８章の第１節と第２節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。

10回	**授業テーマ：中国語の音節表②** 授業内容：声母・韻母お可能な組み合わせのなかの空白 特殊音節 事前学修 2.0hr：教科書の第８章の第３節と第４節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
11回	**授業テーマ：声調の発音①** 授業内容：中国語は声調言語である 第３声の発話(強調形と非強調形) 事前学修 2.0hr：教科書の第９章の第１節と第２節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
12回	**授業テーマ：声調の発音②** 授業内容：２音節語における各声調の組み合わせ 声調符号の表記、声母・韻母と声調の関係 事前学修 2.0hr：教科書の第９章の第３節と第４節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する
13回	**授業テーマ：軽声と重・軽音の発音①** 授業内容：中国語の軽声 軽声音節に関連した諸事項 事前学修 2.0hr：教科書の第１０章の第１節と第２節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
14回	**授業テーマ：軽声と重・軽音の発音②** 授業内容：中国語の重音・中音・軽音 軽声を含まない３音節語・４音節語における第２音節の発音 事前学修 2.0hr：教科書の第１０章の第３節と第４節に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成
15回	**授業テーマ：到達度の確認** 授業内容：これまでの文法項目の復習と到達度の確認を行う。 事前学修 2.0hr：全体の復習をし、質問を用意する。 事後学修 2.0hr：第 14 回までの授業内容を整理し、要点を摘出する。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）

▌授業の概要

中国の動乱期である六朝という時代、当時の士大夫たちは厳しい現実と向き合いながら、様々な詩文を生み出してきました。その集大成ともいえるのが、梁の昭明太子蕭統らが編纂した『文選』です。『文選』には、各時代の様々な文人の代表作がジャンルごとに分類され、さらに時代順に収録されていることから、その伝統性や継承関係も把握することができます。
この授業では、中国の六朝期の詩歌集である『文選』に即して、古典詩の代表的なジャンルを理解し、個々の作品を精読しながら、その研究方法の習得を目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国古典詩文の伝統性を理解し、作品の精読や比較を通じて、自分の考えを持つことができる。
　　中国古典詩文を適切な日本語に訳せるようになる。
個別目標：①作品の精読を通して、自分の考えを文章化することができる。
　　②中国古典文学の研究資料を調査することができる。
　　③辞書を用いて中国古典詩文を適切に現代語訳することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

授業への取り組み 60 %、課題レポート 40 %で、総合的に評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教員と学生の話し合いや担当箇所の発表準備、及び発表等。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （適宜、ワード等を用いて発表レジュメを作成します。）

▌教科書

定めない。

▌参考書

中国刊行の李善注や六家注『文選』諸本。日本刊行の『文選』の諸訳注本。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業内容の概説と、資料の調査方法を説明します。 事前学修 2.0hr：授業の概要を読んで、到達目標を理解しましょう。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	16回	**授業テーマ：『文選』贈答を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻二十三・贈答に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
2回	**授業テーマ：『文選』公讌を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十・公讌に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	17回	**授業テーマ：『文選』贈答を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十三・贈答に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
3回	**授業テーマ：『文選』公讌を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十・公讌に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	18回	**授業テーマ：『文選』楽府を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十七・楽府に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
4回	**授業テーマ：『文選』公讌を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十・公讌に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	19回	**授業テーマ：『文選』楽府を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十七・楽府に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
5回	**授業テーマ：『文選』公讌を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十・公讌に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業の内容を復習して下さい。	20回	**授業テーマ：『文選』楽府を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻二十七・楽府に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
6回	**授業テーマ：『文選』詠史を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十一・詠史に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	21回	**授業テーマ：『文選』楽府を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十七・楽府に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
7回	**授業テーマ：『文選』詠史を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十一・詠史に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	22回	**授業テーマ：『文選』雑詩を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十九・雑詩に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
8回	**授業テーマ：『文選』詠史を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻二十一・詠史に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	23回	**授業テーマ：『文選』雑詩を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十九・雑詩に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
9回	**授業テーマ：『文選』詠史を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十一・詠史に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	24回	**授業テーマ：『文選』雑詩を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻二十九・雑詩に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
10回	**授業テーマ：『文選』遊仙を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十一・遊仙に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	25回	**授業テーマ：『文選』雑詩を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十九・雑詩に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。

11回	**授業テーマ：『文選』遊仙を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十一・遊仙に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	26回	**授業テーマ：『文選』雑擬を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻三十・雑擬に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
12回	**授業テーマ：『文選』遊仙を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻二十一・遊仙に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	27回	**授業テーマ：『文選』雑擬を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻三十・雑擬に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
13回	**授業テーマ：『文選』遊仙を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻二十一・遊仙に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	28回	**授業テーマ：『文選』雑擬を読むⅢ** 授業内容：『文選』巻三十・雑擬に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
14回	**授業テーマ：『文選』贈答を読むⅠ** 授業内容：『文選』巻二十三・贈答に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	29回	**授業テーマ：『文選』雑擬を読むⅣ** 授業内容：『文選』巻三十・雑擬に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。
15回	**授業テーマ：『文選』贈答を読むⅡ** 授業内容：『文選』巻二十三・贈答に収録される作品を精読します。 事前学修 2.0hr：配付資料に目を通して下さい。適宜、指定した箇所を調べて下さい。 事後学修 2.0hr：授業で配付した資料を確認して下さい。	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：1 年間学習してきたことを振り返ります。 事前学修 2.0hr：学習してきた内容を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：学習してきた内容を説明できるようにして下さい。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

小川　唯（おがわ　ゆい）

▌授業の概要

日中関係をテーマとし、現在の日本と中国の間で影響力をもった歴史人物や文化を調べ、民間の国際交流の性質や意義について考えます。
今年度は、１つの地域に焦点を当てて中国社会への理解を深めたうえで、日中文化交流の歴史を振り返ってみましょう。関連する資料を共同で調査し、分析し、具体的な人物や物事についてゼミ生が分担報告を行い、皆で議論します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：日中関係や日中文化比較の視角から、現代社会を知るうえで必要な歴史的知識と思考力を獲得する。
個別目標：習得した中国語・中国に関する知識と自身の興味関心を結びつけ、議論や調査によってテーマに対する理解を深める。
　　資料作成から発表までの一連の作業ができるようになる。

▌履修条件

中国の歴史・社会問題や国際交流に関心があることが望ましい。

▌評価基準・方法

報告の内容、議論や調査への参加状況等を対象に、1. 知識・理解度（報告資料 20 %・議論の内容 20 %）、2. 技能・表現力（発表 30 %）、3. 意欲・関心・思考力（受講時の積極性 30 %）で評価します。

▌フィードバック方法

演習中の議論および解説によってフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （議論・発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word・PowerPoint 資料の作成・中国語入力）

▌教科書

プリント教材を配布します。

▌参考書

適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

今年度のテーマは「地域から見る日中関係―近現代中国浙江省の街と人」です。
西湖、仏教、魯迅、蒋介石、アリババ、浙江大学など日本にも関係が深いトピックを調べ、日中関係史への理解を深めます。
テーマを通じて、日中関係についての知識、それらを調査する力、簡潔にまとめて発表する力を身につけましょう。また、議論を通じて様々な考えに触れ、思考力を身につけましょう。

授業内容

ゼミ生は指定されたトピックに沿って前期と後期に報告を行います。また、分担で論文を読んだり、中国のニュース・新聞や動画等を見たりして、議論します。
希望があれば、フィールドワークや中国人学生へのインタビューを実施します。

事前学修

毎回、指示された教材を読んでおきましょう。報告担当者は関連するキーワードなどを調べたうえで報告及び報告資料を準備してください。

事後学修

ゼミナールでの議論をふまえ、さらに複数の資料を調べて、トピックへの理解を深めてください。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

河村　昌子（かわむら　しょうこ）

▌授業の概要

中国近現代文学の作品や、現代中国の文化に関わる文章を、背景となる社会状況や、中国の人々のものの考え方を学びながら、購読します。翻訳作品の精読と、中国語原文の翻訳を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：社会的、文化的背景を踏まえて、中国近現代文学の作品や現代中国の文化に関わる文章を理解し、自分の考えを述べることができるようになる。
　　中国語の文章を適切な日本語に訳せるようになる。
個別目標：①社会的、文化的背景を踏まえて、個々の作品・文章について説明することができる。
　　②作品・文章を通して考えたことを自分のことばで表現することができる。
　　③辞書を使って中国語の文章を適切な日本語に翻訳することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

以下の項目で評価する。
①社会的、文化的背景を踏まえて、作品・文章について説明できるか（知識・思考力）30%
②作品・文章を通して考えたことを自分のことばで適切に表現できるか（技能・表現力）20%
③中国語の文を適切な日本語に翻訳できるか（技能・表現力）20%
④ゼミの運営に主体的に関わり、学修を確実に実行したか（意欲・関心・姿勢）30%

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時に行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PowerPoint や Word を用いての資料作成）

▌教科書

授業時に教材プリントを配布します。

▌参考書

適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

中国近現代文学や、現代中国の文化に親しむ。

授業内容

講読演習では、主に 20 世紀末から 21 世紀の中国の短編小説を翻訳で読み、作品の精読を行い、討論を行います。
翻訳演習では、中国近現代文学の作品や現代社会の文化に関わる文章を原文で読み、日本語に翻訳します。

事前学修

講読演習中は、現代中国のトピックに日頃から目を向け、情報を集めるようにしてください。
翻訳演習では、事前に辞書を引いてきてください。

事後学修

講読演習では、授業で取り上げた作品・文章をよく読んでください。
翻訳演習では、訳文の最終チェックを行って、翻訳を完成させてください。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

神崎　龍志（かんざき　たつし）

▌授業の概要

本科目は、日本語と中国語両言語間の通訳に必要な基本的スキルの修得を主な目的とする。通訳理論を理解し、通訳に必要な基礎能力と知識を学び、通訳現場で通用する技能と知識、理解力と即戦力を高めるための訓練をおこなう。時事問題やニュースなど様々なトピックを丁寧に下訳した上で、通訳パフォーマンスをおこなう。アクティブラーニングの手法も適宜、導入しながら通訳スキルの向上を図る。就職後、社内通訳として活躍することを目指す学生も歓迎である。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：通訳に必要な基礎的技能の習得と応用力の向上。
個別目標：①日中通訳に必要な基本的ノウハウの修得。
　　②日本語と中国語両言語のバランスの取れた通訳パフォーマンス。

▌履修条件

すでに中国語の基礎力・応用力を十分に有する者で、通訳術の習得と向上に興味と意欲がある学生。
短期・長期を問わず、留学経験のある者が望ましいが、その限りではない。

▌評価基準・方法

１．知識・思考力（２０%）、２．技能・表現力（５０%）、３．意欲・関心・姿勢（３０%）で評価する。
１と２については、以下の３点を評価の根拠とする。
①中国語から日本語へ訳す能力
②日本語から中国語へ訳す能力
③その他、通訳パフォーマンス全般
なお、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループディスカッション、グループ発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （授業内の発表回で使用することあり。）

▌教科書

担当教員が、オリジナル教材を適宜、用意する。

▌参考書

『新装版　中国語通訳トレーニング講座 (音声ダウンロード方式)　逐次通訳から同時通訳まで』（神崎多實子・待場裕子編著、東方書店、２０１９年）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：通訳技法概説** 授業内容：基礎的な通訳理論をふまえて、通訳訓練法について説明する。 事前学修 2.0hr：本講座の講義概要に目を通してくる。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	16回	**授業テーマ：日本社会（１）日本の概況** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
2回	**授業テーマ：速読訓練の導入** 授業内容：課題文を用いて速読訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	17回	**授業テーマ：日本社会（２）日本の文化** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
3回	**授業テーマ：速読課題発表** 授業内容：速読課題の発表を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	18回	**授業テーマ：日本社会（３）日本の経済** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
4回	**授業テーマ：逐次・同時通訳の導入** 授業内容：逐次通訳と同時通訳の概要と訓練法について説明する。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	19回	**授業テーマ：日本社会（４）日本の政治** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
5回	**授業テーマ：初級会話の逐次・同時通訳** 授業内容：教材を用いて逐次・同時通訳の基礎訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	20回	**授業テーマ：企業見学（１）** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
6回	**授業テーマ：式辞挨拶（１）あいさつ文の基礎** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	21回	**授業テーマ：企業見学（２）** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
7回	**授業テーマ：式辞挨拶（２）あいさつ文のパターン** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	22回	**授業テーマ：図書館見学ツアー模擬通訳（１）通訳準備** 授業内容：図書館見学ツアーの台本について事前準備作業をおこなう。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
8回	**授業テーマ：式辞挨拶（３）式辞挨拶通訳の基礎** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	23回	**授業テーマ：図書館見学ツアー模擬通訳（２）通訳実践** 授業内容：説明者の説明を聞き、見学ツアーのシナリオ原稿を見ながら、逐次通訳パフォーマンスを行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
9回	**授業テーマ：式辞挨拶（４）式辞挨拶の通訳** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	24回	**授業テーマ：レクチャー　戦後の日本経済** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。

10回	**授業テーマ：式辞挨拶(5)セレモニーの通訳** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	25回	**授業テーマ：代表団随行　打ち合わせと連絡事項** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
11回	**授業テーマ：観光ガイド(1)東京** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	26回	**授業テーマ：宴会(1)歓迎宴会** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
12回	**授業テーマ：観光ガイド(2)大阪** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	27回	**授業テーマ：宴会(2)答礼宴会** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
13回	**授業テーマ：観光ガイド(3)京都** 授業内容：課題文を用いて逐次・同時通訳の訓練を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	28回	**授業テーマ：実技発表と自己評価　その1** 授業内容：通訳実技の発表を行い、自己評価を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
14回	**授業テーマ：実技発表と自己評価** 授業内容：これまでに身に付けた通訳技術に基づいて実技発表を行い、自己評価を加える。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	29回	**授業テーマ：実技発表と自己評価　その2** 授業内容：通訳実技の発表を行い、自己評価を行う。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。
15回	**授業テーマ：通訳技法の自己チェック** 授業内容：実技発表と自己評価を通して見つかった改善点をまとめる。 事前学修 2.0hr：発表のための練習。 事後学修 2.0hr：当日指示された訓練内容を勉強する。	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業で得られた成果と課題についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：自分のまとめ発表のための練習。 事後学修 2.0hr：実技の自己総括。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

曹　泰和（そう　たいわ）

▌授業の概要
中国語の類義語を学びながら、文法知識を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）
一般目標：より高度な中国語能力を養成し、卒業研究に向けて基礎作りをする。
個別目標：似たようなことばの使い分けができるようになり、会話能力、作文能力、プレゼン能力を向上させる。

▌履修条件
積極的に勉強する意欲を持つこと。

▌評価基準・方法
平常点（授業内の参加や授業貢献度等）及び課題により総合的に評価する。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは、授業時間内及び学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （事前に学習する項目について調べてもらうことがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （PPT を使い、プレゼンテーションを行う場合がある。）

▌教科書
プリント使用。

▌参考書
1．『中国語類義語辞典』相原茂主編　朝日出版社
2．《跟我学同義詞》蔡少薇主編 外研社
3．《新華同義詞詞典》商務印書館

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：学生の水準を調査する。** 授業内容：授業ガイダンスを行う。 事前学修 2.0hr：前年度までの中国語学習を振り返り、問題点を整理する。 事後学修 2.0hr：授業に対する準備	16回	**授業テーマ：類義語⑧ “十分”“非常” 等の学習** 授業内容：類義語 “十分”“非常” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
2回	**授業テーマ：類義語① “缺点”“毛病” 等の学習** 授業内容：類義語 “缺点”“毛病” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	17回	**授業テーマ：類義語⑧の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “十分”“非常” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
3回	**授業テーマ：類義語①の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “缺点”“毛病” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	18回	**授業テーマ：類義語⑨ “風光”“風景” 等の学習** 授業内容：類義語 “風光”“風景” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
4回	**授業テーマ：類義語② “認為”“以為” 等の学習** 授業内容：類義語 “認為”“以為” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	19回	**授業テーマ：類義語⑨の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “風光”“風景” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
5回	**授業テーマ：類義語②の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “認為”“以為” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	20回	**授業テーマ：類義語⑩ “怎么”“為什么” 等の学習** 授業内容：類義語 “怎么”“為什么” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
6回	**授業テーマ：類義語③ “商量”“商榷” 等の学習** 授業内容：類義語 “商量”“商榷” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	21回	**授業テーマ：類義語⑩の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “怎么”“為什么” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
7回	**授業テーマ：類義語③の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “商量”“商榷” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	22回	**授業テーマ：類義語⑪ “赶緊”“赶忙” 等の学習** 授業内容：類義語 “赶緊”“赶忙” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
8回	**授業テーマ：類義語④ “時尚”“時髦” 等の学習** 授業内容：類義語 “時尚”“時髦” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	23回	**授業テーマ：類義語⑪の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “怎么”“為什么” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
9回	**授業テーマ：類義語④の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “時尚”“時髦” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	24回	**授業テーマ：類義語⑫ “到底”“終于” 等の学習** 授業内容：類義語 “到底”“終于” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
10回	**授業テーマ：類義語⑤ “実行”“執行” 等の学習** 授業内容：類義語 “実行”“執行” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	25回	**授業テーマ：類義語⑫の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “到底”“終于” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。

11回	**授業テーマ：類義語⑤の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “実行”“執行” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	26回	**授業テーマ：類義語⑬ “買売”“生意” 等の学習** 授業内容：類義語 “買売”“生意” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
12回	**授業テーマ：類義語⑥ “在意”“介意” 等の学習** 授業内容：類義語 “在意”“介意” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	27回	**授業テーマ：類義語⑬の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “買売”“生意” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
13回	**授業テーマ：類義語⑥の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “在意”“介意” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	28回	**授業テーマ：類義語⑭ “有意思”“有趣” 等の学習** 授業内容：類義語 “有意思”“有趣” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。
14回	**授業テーマ：類義語⑦ “方法”“辦法” 等の学習** 授業内容：類義語 “方法”“辦法” について学習する。 事前学修 2.0hr：予習用プリントに目を通し、読めない字と意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：ノートを整理し、課題を完成する。	29回	**授業テーマ：類義語⑭の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “有意思”“有趣” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。
15回	**授業テーマ：類義語⑦の実践演習―会話、作文、プレゼンの発表** 授業内容：各自で “方法”“辦法” の共通点と相違点をまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：学習したテーマについてのプレゼンテーションができるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。	30回	**授業テーマ：最終発表** 授業内容：各自で興味のあるテーマを選び、発表する。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し、問題点を整理する。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国語学科のディプロマ・ポリシーの2に基づき、中国・台湾をはじめ、世界経済の専門的な文献をテーマを決めて読み進め、知識を深めると同時に課題解決に向けたディスカッションを進めていきます。履修者は担当箇所を要約し、プレゼンテーションを行います。その内容に関して、全員でディスカッションをしていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国経済の抱えるさまざま問題群に関して、自分なりの論理的で客観的な判断が行えるようになることが目標です。

個別目標：中国の高い経済成長ななぜ可能なのか、中国の成長はどこまで進むのか、習近平主席が進める「中国の夢」とは何か、成長の歪はどこに生じているのか、など中国経済・社会・文化にかかわる具体的事象について、自分の意見を持ち、積極的に他者と意見交換ができることを目標とします。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

報告内容および授業への積極性などにより評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データのまとめなど。）

▌教科書

開講時に指示します。

▌参考書

授業内で適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ゼミナールの概要説明** 授業内容：ゼミの進行に関する説明。 事前学修 2.0hr：ゼミへの抱負を考えておく。 事後学修 2.0hr：ゼミのスケジュールをまとめておく。	16回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
2回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	17回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
3回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	18回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
4回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	19回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
5回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	20回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
6回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	21回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
7回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	22回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
8回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	23回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
9回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	24回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
10回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	25回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
11回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	26回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。

12回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	27回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
13回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	28回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
14回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	29回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。
15回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。	30回	**授業テーマ：中国経済に関する専門文献講読** 授業内容：中国の社会・経済・外交・政治に関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：関連文献を事前に読み、疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：課題文献を再読し、ゼミを参考に要点をまとめる。

専門領域研究講座

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要

古来中国では、『四書』(論語、孟子、大学、中庸)や『五経』(易、書、詩、春秋、礼記)といった儒教の経典、『老子』や『荘子』など諸子百家とよばれる中国古代の思想書が尊ばれ、数多くの注釈書が著されてきました。そしてこれらの書物に記された名言名句は、中国語の会話や文章の端々にあらわれており、中国文化の根底にあるものの一つといえるでしょう。この授業では、これら中国古代の注釈書を読むことで、古代から現代にいたるまで、中国人がいかに古典を理解していたかを考えていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：2）

一般目標：中国古典の背景にある歴史・文化・社会についての体系的な知識を身につけるとともに、これらの分野にかんする自分の考えをまとめ、適切に議論する能力を修得する。

個別目標：①中国古典およびその文化的、歴史的背景について理解することができる。②現代中国における中国古典の影響について説明することができる。③中国古典の読解のための基礎的知識を身につけることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

発表 40 %、発表資料 40 %、受講時の積極性 20 %で、総合的に判断する。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教員と学生が相互に話し合いながら、文献を読み解いていく。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業時に『論語集注』、『孟子集注』、『老子』王弼注、『荘子』郭象注などのテキストを配布する(学生の興味関心にあわせて、その他のテキストを配布する場合もあります)。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、授業計画** 授業内容：テキストを配布し、今後の授業の進め方について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、この授業の目標を理解しておく 事後学修 2.0hr：授業計画を見直し、自分なりの中国古典についてのイメージを考えておく	16回	**授業テーマ：『老子』と『老子』王弼注について** 授業内容：次回から読み始める『老子』と『老子』王弼注について説明をする。 事前学修 2.0hr：『老子』と『老子』王弼注について、自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
2回	**授業テーマ：『論語』と『論語集注』について** 授業内容：次回から読み始める『論語』と『論語集注』について説明をする。 事前学修 2.0hr：『論語』と『論語集注』について、自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する。	17回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第一章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第一章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
3回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第一章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第一章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	18回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第二章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第二章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
4回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第二章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第二章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	19回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第三章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第三章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
5回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第三章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第三章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	20回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第四章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第四章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
6回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第四章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第四章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	21回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第五章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第五章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
7回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第五章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第五章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	22回	**授業テーマ：『老子』王弼注・第六章を読む** 授業内容：『老子』王弼注の第六章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
8回	**授業テーマ：『論語集注』学而篇・第六章を読む** 授業内容：『論語集注』学而篇の第六章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	23回	**授業テーマ：『荘子』と『荘子』郭象注について** 授業内容：次回から読み始める『荘子』と『荘子』郭象注について説明をする。 事前学修 2.0hr：『荘子』と『荘子』郭象注について、自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
9回	**授業テーマ：『孟子』と『孟子集注』について** 授業内容：次回から読み始める『孟子』と『孟子集注』について説明をする。 事前学修 2.0hr：『孟子』と『孟子集注』について、自分なりに調べておく。 事後学修 2.0hr：ノート、プリントを見直し、授業内容を確認する。	24回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第一章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第一章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
10回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第一章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第一章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	25回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第二章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第二章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。

11回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第二章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第二章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	26回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第三章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第三章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
12回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第三章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第三章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	27回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第四章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第四章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
13回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第四章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第四章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	28回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第五章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第五章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
14回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第五章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第五章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	29回	**授業テーマ：『荘子』郭象注、逍遥遊篇・第六章を読む** 授業内容：『荘子』郭象注の逍遥遊篇・第六章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。
15回	**授業テーマ：『孟子集注』梁恵王篇・第六章を読む** 授業内容：『孟子集注』梁恵王篇の第六章を読み解き、その内容について議論し検討する。 事前学修 2.0hr：プリントの指定した箇所に目を通し、分からない用語は調べておく。 事後学修 2.0hr：再度プリントの指定した箇所を読んで、その内容を完全に理解する。	30回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまで講読したテキストの内容を整理する。 事前学修 2.0hr：これまで学んできたことを整理する。 事後学修 2.0hr：これまで学んできたことを理解し、中国古典について自分なりに説明できるようにする。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

宇賀神　秀一（うがじん　しゅういち）

▌授業の概要

中国古典文学に関するテーマの卒業研究を指導します。研究対象となる文学作品や先行研究への疑問点に対して、教員と学生の間で相互に意見を交換しながら、研究を進め、その成果をプレゼンテーションします。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：研究テーマを設定し、調査能力を高め、簡潔なプレゼンテーションができる。

個別目標：①研究テーマを設定することができる。
②関連資料を調査し、エクセル等を用いて整理することができる。
③先行研究を理解し、分析して課題を見出すことができる。
④自身の研究意義を、パワーポイント等でプレゼンテーションすることができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

研究への主体的な姿勢 60 %、プレゼンテーション 40 %で評価します。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教員と学生の話し合い。研究発表の準備等。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイント等を使用し、研究発表を行う。）

▌教科書

定めない。

▌参考書

授業時に適宜、指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：卒業研究の完成に向けて、その手順や方法について概説します。 事前学修 2.0hr：興味関心のある作者や作品を列挙して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、精読する対象作品を絞り込んで下さい。	16回	**授業テーマ：研究経過の報告** 授業内容：夏季休暇中における研究の進捗状況の報告を行います。 事前学修 2.0hr：夏季休暇を利用して、再度、参考文献の収集・整理を行い、自身の研究テーマについて検討して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
2回	**授業テーマ：作品の精読Ⅰ** 授業内容：実際に作品を精読しながら、研究対象、及びテーマを考えます。 事前学修 2.0hr：作品の原典、注釈書や訳注などを収集し、精読して下さい。 事後学修 2.0hr：先行研究をよく理解して下さい。	17回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅰ** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究の制作を進めます。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関する自身の見解をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
3回	**授業テーマ：作品の精読Ⅱ** 授業内容：作品を精読しながら、研究対象、及びテーマを絞り込んでいきます。 事前学修 2.0hr：作品の原典、注釈書や訳注などを収集し、さらに精読して下さい。 事後学修 2.0hr：先行研究を踏まえ、自分なりの解釈や疑問点を持って下さい。	18回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅱ** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究の制作を進めます。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関する自身の見解をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
4回	**授業テーマ：作品の精読Ⅲ** 授業内容：作品を精読しながら、研究対象、及びテーマを定めます。 事前学修 2.0hr：作品の原典、注釈書や訳注などを収集し、さらに精読して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、研究対象となる作者・作品を決定して下さい。	19回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅲ** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究の制作を進めます。 事前学修 2.0hr：研究テーマに関する自身の見解をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
5回	**授業テーマ：参考文献の収集・整理Ⅰ** 授業内容：インターネットを活用した参考文献の収集方法、及びエクセルでの資料の整理方法を伝えます。 事前学修 2.0hr：研究対象をインターネットで調査して下さい。また、エクセルの使用準備をして下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、先行研究を収集・整理して下さい。	20回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅳ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表の読み原稿をまとめます。 事前学修 2.0hr：研究発表に向けて、その構成(序論・本論・結論)を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
6回	**授業テーマ：参考文献の収集・整理Ⅱ** 授業内容：大学図書館の活用方法を伝えます。 事前学修 2.0hr：研究対象に関する原典・訳注・先行研究などを収集・整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに先行研究を収集・整理して下さい。	21回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅴ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表の読み原稿をまとめます。 事前学修 2.0hr：研究発表に向けて、その構成(序論・本論・結論)を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
7回	**授業テーマ：参考文献の収集・整理Ⅲ** 授業内容：先行研究を網羅的に収集・整理した上で、自身の研究テーマの方向性を定めます。 事前学修 2.0hr：研究対象に関する原典・訳注・先行研究などを収集・整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、先行研究を分析して下さい。	22回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅵ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表の読み原稿をまとめます。 事前学修 2.0hr：研究発表に向けて、その構成(序論・本論・結論)を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
8回	**授業テーマ：先行研究の報告Ⅰ** 授業内容：先行研究の概要の報告を行います。 事前学修 2.0hr：興味関心のある複数の先行研究を精読して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、研究対象や先行研究の疑問点を見出して下さい。	23回	**授業テーマ：卒業研究の制作Ⅶ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表の読み原稿をまとめます。 事前学修 2.0hr：研究発表に向けて、その構成(序論・本論・結論)を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
9回	**授業テーマ：先行研究の報告Ⅱ** 授業内容：先行研究の概要の報告を行います。 事前学修 2.0hr：引き続き興味関心のある複数の先行研究を精読して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、研究対象や先行研究の課題を見出して下さい。	24回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅰ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表に向けて、その成果をパワーポイントにまとめます。 事前学修 2.0hr：パワーポイントに、序論部分(伝記・先行研究の紹介、自身の研究の目的等)をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。

10回	**授業テーマ：先行研究の報告Ⅲ** 授業内容：先行研究を分類・整理して、自身の研究テーマを定めます。 事前学修 2.0hr：興味関心のある複数の先行研究を整理・分類して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、自身の研究テーマを決定して下さい。	25回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅱ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表に向けて、その成果をパワーポイントにまとめます。 事前学修 2.0hr：パワーポイントに、本論部分をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
11回	**授業テーマ：作者の伝記Ⅰ** 授業内容：作者の伝記資料を確認しながら、伝記をまとます。 事前学修 2.0hr：作者の伝記に関する参考文献を整理して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、作者の伝記をまとめて下さい。	26回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅲ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表に向けて、その成果をパワーポイントにまとめます。 事前学修 2.0hr：パワーポイントに、本論部分をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
12回	**授業テーマ：作者の伝記Ⅱ** 授業内容：作者の伝記について報告を行います。 事前学修 2.0hr：研究対象の作者の人生をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに作者の伝記をまとめて下さい。	27回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅳ** 授業内容：教員の指導のもと、研究発表に向けて、その成果をパワーポイントにまとめます。 事前学修 2.0hr：パワーポイントに、結論部分(先行研究との比較や研究意義等)をまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究の制作を進めて下さい。
13回	**授業テーマ：中間発表の準備Ⅰ** 授業内容：作者の伝記と先行研究の紹介を中心に、中間発表の準備を行います。 事前学修 2.0hr：作者の伝記と先行研究を整理して下さい。また、パワーポイントの使用準備をして下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、プレゼンテーションに向けて、要点を集約して下さい。	28回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅴ** 授業内容：予備予備発表を行います。 事前学修 2.0hr：発表用の読み原稿とパワーポイントで、練習して下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、発表の反省点を改善し、再度、準備をして下さい。
14回	**授業テーマ：中間発表の準備Ⅱ** 授業内容：作者の伝記と先行研究の課題を中心に、中間発表の準備を行います。 事前学修 2.0hr：作者の伝記と先行研究の概要、及びその課題を、パワーポイントにまとめて下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、プレゼンテーションに向けて、発表原稿をまとめて下さい。	29回	**授業テーマ：研究発表の準備Ⅵ** 授業内容：予備発表を行います。 事前学修 2.0hr：前回の反省点を改善して、再度、発表の準備をして下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、発表の反省点を改善し、再度、準備をして下さい。
15回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：作者の伝記と先行研究の課題を中心に、パワーポイントを使用して発表を行います。 事前学修 2.0hr：発表原稿をよく読み、分かりやすく発表できるように準備をして下さい。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、研究テーマについて整理して下さい。	30回	**授業テーマ：研究発表** 授業内容：読み原稿とパワーポイントを使用して、研究発表を行います。 事前学修 2.0hr：研究発表の本番に向けて、繰り返し練習して下さい。 事後学修 2.0hr：完成した発表資料等を提出して下さい。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

小川　唯（おがわ　ゆい）

▌授業の概要

指導教員の指導を受けながら、学生が自身の 4 年間の学修の成果と興味関心をもとに、日本と中国に関連する研究テーマを設定し、客観的な視点と適切な資料を用いて研究内容をまとめ、発表を行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：卒業研究を通じて、4 年間の学修成果を総合的な実践に結び付ける。
研究テーマに基づき、適切に資料を収集・読解・分析し、正確で効果的な資料の提示・論述・プレゼンテーションを行うことができるようになる。

個別目標：中間発表会を短期目標として課題に取り組む。
指導教員やゼミ生とのディスカッションを通じ、研究テーマの明確化、根拠・典拠の明示、論理的で簡潔な叙述ができるようになる。
中国語資料を含む資料調査や中国語入力、パソコンを使った資料作成やプレゼンテーションができるようになる。

▌履修条件

原則として、専門領域研究講座で小川ゼミを履修していること。
近現代史を対象とした研究を希望する学生が望ましい。

▌評価基準・方法

①中間発表会および卒業研究発表会における発表内容、②テーマ設定や資料の調査・分析の的確さ、③発表に必要な技能・表現力の習得状況、④研究時の計画性・主体性・ディスカッションへの積極性を対象とし、ルーブリックを用いて総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、個別の対面指導および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション・プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PowerPoint・Word 資料の作成）

▌教科書

特になし

▌参考書

田中比呂志・飯島渉『中国近現代史研究のスタンダード：卒業論文を書く』（研文出版）2005 年 など

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

4 年間の学修の成果をふまえた卒業研究に取り組み、発表します。
卒業研究では、日本と中国に関連し、研究意義が明確なテーマを設定すること、客観的な視点と適切な資料を用いて論理的に分析された内容であること、報告用の資料を準備し、わかりやすく発表することを目指します。

授業内容

個人または合同で研究テーマを設定し、中国語文献を含む資料調査を行います。
指導教員の個別指導のもと、文献・データの読解力と分析力を磨き、研究内容を正確かつ簡潔で効果的な文章とプレゼンテーションにまとめます。
また、ゼミ単位での資料探索および中間発表・ディスカッションを行い、短期目標に対する課題探求能力を培います。
卒業研究発表会に備え、聞き手の反応を意識しながら、パワーポイント等によるプレゼンテーションや配布資料を作成します。

事前学修

研究テーマについて、関連する先行研究やデータを調査し、まとめましょう。

事後学修

指導教員との面談や中間発表会における質疑応答をふまえ、研究の論述内容やプレゼンテーションを修正してください。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

河村　昌子（かわむら　しょうこ）

▌授業の概要

広く中国文化全般、もしくは中国近現代文学に関わるテーマの卒業研究を指導します。
教員のアドバイスを受けながら、研究計画を立て、資料を調査・収集して研究を進め、最終的にプレゼンテーションを行います。希望者には論文指導も行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：設定したテーマのもと、自分で調査研究を行い、その成果を、わかりやすくプレゼンテーションできるようにする。
個別目標：①研究テーマを設定することができる。
②研究に必要な情報を調査・収集し、適切に処理することができる。
③調査研究の結果に基づいて、プレゼンテーションの構成を決めることができる。
④わかりやすい発表資料を作ることができる。
⑤聞きやすいプレゼンテーションができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

調査研究のプロセスと最終プレゼンテーションを対象に、下記の 3 項目について評価します。
①論理的に思考して自分の考えをまとめられているか（知識・思考力）20%
②必要な情報を調査・収集して適切に処理し、わかりやすくプレゼンテーションできているか（技能・表現力）40%
③ゼミの運営に主体的に関わり、学修・研究を確実に実行したか（意欲・関心・姿勢）40%

▌フィードバック方法

課題等へのフィードバックは授業時に行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PowerPoint や Word を用いての資料作成）

▌教科書

使用しません。

▌参考書

適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

中国文化全般、もしくは中国近現代文学に関わるテーマを定め、研究します。

授業内容

各自の研究テーマに沿って収集した資料を、読解し、分析します。資料の要点を整理し、プレゼンテーションに向けて、枠組みを構築してゆきます。プレゼンテーションは、互いに論評しあい、改善を重ねて、完成させます。

事前学修

指導を受ける前に、自分の研究の進み具合をチェックし、取り組み方がわからない点を整理しておいてください。

事後学修

プレゼンテーションに向けて必要な作業を、指導に沿って、進めていってください。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

神崎　龍志（かんざき　たつし）

▌授業の概要

本科目は、基本的に専門領域研究講座（通訳ゼミ）を履修した学生を対象とする。講義内容は主に以下の２点に集約される。
①卒業研究レポートのテーマを決定する。そのテーマに基づき、日本語原稿を作成し、その後、中国語の訳稿を作成する。②当ゼミの学生は、卒業研究発表会において、日本語と中国語両言語で発表するため、それに向けた通訳パフォーマンスの基礎訓練を実施する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：通訳に必要とされる知識と技能の向上を目指しながら、自分の関心ある分野について卒業研究レポートを作成し、卒業研究発表会において優れたパフォーマンスをすること。
個別目標：①通訳のノウハウについて説明ができる。
②指示した課題について、安定した逐次通訳のパフォーマンスができる。
③中国に関連するテーマで研究レポートを作成し、それを使って実践的な通訳ができるようにする。

▌履修条件

すでに中国語の基礎力・応用力を十分に有する者で、通訳術の習得と向上に興味と意欲がある学生。
短期・長期を問わず、留学経験のある者が望ましいが、その限りではない。

▌評価基準・方法

具体的な評価は、以下の３点に基づくものとする。
①卒業研究の実施に必要な通訳スキル修得に関する取り組み（知識・思考力）４０％
②卒業研究レポート（日本語・中国語両言語）の品質と卒業研究発表会でのパフォーマンス（技術・表現力）４０％
③授業・課題への取り組み（意欲・関心・姿勢）２０％
なお、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点とする。

▌フィードバック方法

課題のフィードバックは、学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （それぞれの通訳課題、卒業研究内容についてクラス内で意見交換を行なう。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （卒業研究作成時に PC を使って内容を検討する。）

▌教科書

必要な課題プリントを適宜、配布する。

▌参考書

通訳関連の参考資料を教員が必要に応じて用意する。
卒業研究のテーマ確定後、関連する参考文献を学生が自ら探す。また、必要な場合は、担当教員がそれをサポートする。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：通訳概論(一)** 授業内容：通訳の基礎理論について説明する。 事前学修 2.0hr：本講義の概要について目を通してくる。 事後学修 2.0hr：通訳の概要について説明できるようにする。	16回	**授業テーマ：卒業研究テーマ選定** 授業内容：卒業研究テーマの選定について説明し、検討をおこなう。 事前学修 2.0hr：通訳概論(二)の内容を説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：卒業研究のテーマについて確認する。
2回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：通訳理論についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：通訳の概要説明が十分に行えるようにする。	17回	**授業テーマ：専門用語研究（１）　時事用語** 授業内容：時事分野の専門用語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：時事用語についての講義内容を把握する。
3回	**授業テーマ：通訳訓練技術概論** 授業内容：通訳訓練法について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：通訳訓練法についての内容を把握する。	18回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：時事分野の専門用語を取り上げ、その背景について発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：時事用語についての説明できるようにする。
4回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：通訳訓練法についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：通訳訓練法について説明できるようにする。	19回	**授業テーマ：専門用語研究（２）　環境問題** 授業内容：環境関連分野の専門用語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：環境問題用語についての講義内容を把握する。
5回	**授業テーマ：逐次通訳概論** 授業内容：逐次通訳とはなにか、そのポイントについて概説する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：逐次通訳についての講義内容を把握する。	20回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：環境関連分野の専門用語をまとめ、その背景について発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：環境問題の要点について説明できるようにする。
6回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：逐次通訳とはなにかについてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：逐次通訳について説明ができるようにする。	21回	**授業テーマ：専門用語研究（３）　IT 関連用語** 授業内容：IT 関連分野の専門用語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：IT 関連用語についての講義内容を把握する。
7回	**授業テーマ：同時通訳概論** 授業内容：同時通訳とはなにか、そのポイントについて概説する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：同時通訳についての講義内容を把握する。	22回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：IT 関連用語の意味について発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：IT 関連分野の要点について説明できるようにする。
8回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：同時通訳とはなにかについて、まとめ発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：同時通訳について説明ができるようにする。	23回	**授業テーマ：専門用語研究（４）　流行語** 授業内容：現在および過去の流行語について学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：流行語についての講義内容を把握する。
9回	**授業テーマ：企業内通訳－通訳者の役割** 授業内容：企業内通訳における通訳の役割と留意点について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：通訳者の役割についての講義内容を把握する。	24回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：流行語とその流行語が生まれた背景について発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：流行語について説明できるようにする。

10回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：企業内通訳における通訳の役割と留意点についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：通訳者の役割について説明できるようにする。	25回	**授業テーマ：専門用語研究（５） エネルギー関連** 授業内容：エネルギー関連分野の専門用語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：エネルギー関連用語についての講義内容を把握する。
11回	**授業テーマ：専業通訳－通訳者の地位** 授業内容：専業通訳者の置かれている状況、社会的立場について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：通訳者の状況について説明できるようにする。	26回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：エネルギー関連用語とその用語の背景について発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：エネルギー問題の要点について説明できるようにする。
12回	**授業テーマ：レポート発表** 授業内容：専業通訳者の状況および社会的立場についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：通訳者の地位について説明できるようにする。	27回	**授業テーマ：専門用語研究（６） 知的財産権** 授業内容：知的財産権分野の専門用語を学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：知的財産権の用語と概要について把握する。
13回	**授業テーマ：通訳の実情** 授業内容：通訳者および通訳業界の実情について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：通訳の実情について把握する。発表の準備を行なう。	28回	**授業テーマ：卒業研究レポート提出** 授業内容：卒業研究レポートを作成する。 事前学修 2.0hr：課題発表のための準備学習。 事後学修 2.0hr：卒業研究内容について説明できるようにする。
14回	**授業テーマ：前期レポート発表と提出** 授業内容：前期に学んだ授業内容についてまとめ、発表する。 事前学修 2.0hr：中間発表のための準備。 事後学修 2.0hr：前期に学んだことを簡略に説明できるようにする。	29回	**授業テーマ：卒業研究レポート提出と自己評価** 授業内容：作成中あるいは作成済みの卒業研究レポートについて評価を行う。 事前学修 2.0hr：卒研レポート作成。 事後学修 2.0hr：卒研レポート作成。
15回	**授業テーマ：通訳概論(二)** 授業内容：通訳の基礎理論について説明する。 事前学修 2.0hr：配布資料を読んでくる。 事後学修 2.0hr：通訳概論(二)についての講義内容を把握する。	30回	**授業テーマ：卒業研究発表会に向けた最終準備** 授業内容：卒業研究の内容について最終チェックを行う。 事前学修 2.0hr：卒研レポート発表準備。 事後学修 2.0hr：自分の卒研レポートについてもう一度まとめる。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

曹　泰和（そう　たいわ）

▌授業の概要
中国語語法、日中言語対照に関わるテーマの卒業研究を指導します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）
一般目標：設定したテーマのもと、自分で情報を収集し、収集したデータの考察、分析を行うことができる。
個別目標：①参考文献を読んで、内容を理解し、自分の言葉で分かりやすく説明できる。
②収集したデータの考察及び分析ができる。
③分かりやすく、時間内でプレゼンテーションができる。

▌履修条件
特にありません。

▌評価基準・方法
論文の内容 50%、プレゼンテーション 50%により評価します。

▌フィードバック方法
卒論研究に関するフィードバックは、授業時間内及び学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （卒業研究に関する進捗状況の報告発表と討論）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （PPT を使ってプレゼンテーションを行う）

▌教科書
使用しません。

▌参考書
テーマに応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ
中国語語法研究・日中言語対照研究

授業内容
各自の研究テーマに沿って、参考文献を閲読し研究テーマに対する考察を深め、分析の指導を行う。

事前学修
参考文献を検索しリストを作成する。各自関連する論文を読み、疑問点をまとめる。

事後学修
指摘されたことを確認し、必要な作業を進める。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国語学科のディプロマ・ポリシー2に合わせ、中国経済・社会に対する知識を深めると同時に、関連する諸問題について自分なりの解決策を創造できるよう、学生が各自で決めたテーマに基づいて、論文を作成します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：あるテーマに対して、さまざまな情報を入手し、それらを消化、分析し、自分の言葉で再構成していくという、社会人としての重要なスキルを身につけることが目標です。

個別目標：テーマを設定し、それに関する情報収集の方法、情報のまとめ方、執筆の方法、引用や参考文献掲載時の規範などについて具体的に活用、記述できることを目標とします。

▌履修条件

根気強くテーマを掘り下げる積極性を求めます。

▌評価基準・方法

研究テーマに対する調査、分析および研究成果のプレゼンテーションによって評価します。

①知識・思考力（資料の読解・分析）30%

②技能・表現力（プレゼンテーション）40%

③意欲・関心・姿勢（議論の参加度）30%

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （データのまとめなど。）

▌教科書

特にありません。

▌参考書

卒業研究に沿った文献を適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：卒業研究の進め方について** 授業内容：研究レポートに向けた進め方について説明。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	16回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
2回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	17回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
3回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	18回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
4回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	19回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
5回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	20回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
6回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	21回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
7回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	22回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
8回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	23回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
9回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	24回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
10回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	25回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
11回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	26回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。

12回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	27回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
13回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	28回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
14回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	29回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。
15回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。	30回	**授業テーマ：研究テーマの設定と情報収集、分析** 授業内容：研究テーマに関する文献を読み、授業内で発表する。 事前学修 2.0hr：課題文献の読みと疑問点のまとめ。 事後学修 2.0hr：課題文献の再読と要点のまとめ。

卒業研究

開講学科等：中 ｜ 4 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

中嶋　諒（なかじま　りょう）

▌授業の概要

中国前近代思想、もしくは主に前近代の中国文化全般にかんするテーマの卒業研究を指導します。教員のアドバイスを受けながら、資料を収集・整理・分析することで研究を進め、最終的に研究発表を行うこととする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1・2・3・4）

一般目標：自身が設定したテーマについて、資料を収集・整理・分析し、それを自分の言葉でまとめ、分かりやすく人に伝えることができる。
個別目標：①自身でテーマを設定し、それについて考察することができる。②関連する資料を収集・整理・分析し、その内容を説明することができる。
③研究テーマについて、分かりやすくプレゼンテーションすることができる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

課題への取り組み 50 %、プレゼンテーション 50 %で評価する。

▌フィードバック方法

フィードバックは授業時のコメントと manaba を併用して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （教員と学生が相互に話し合いながら、研究発表の準備を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （パワーポイント等を使用して、研究発表を行う。）

▌教科書

使用しない。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：１年間の見通しを立てる。 事前学修 2.0hr：自身の興味・関心を整理しておく。 事後学修 2.0hr：卒業研究のテーマを決定する。	16回	**授業テーマ：研究経過報告（１）夏季休暇の進捗報告** 授業内容：夏期休暇中に調べたことなどの進捗状況を報告する。 事前学修 2.0hr：研究経過報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、卒業研究制作を進めていく。
2回	**授業テーマ：関連資料の収集（１）インターネットの活用** 授業内容：教員と話し合いながら、興味のあるテーマの関連資料を、インターネット等で収集する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを収集する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、さらなる資料の収集を目指す。	17回	**授業テーマ：卒業研究制作（１）方向性を定める** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の方向性を定めていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
3回	**授業テーマ：関連資料の収集（２）大学図書館の活用** 授業内容：教員と話し合いながら、興味のあるテーマの関連資料を、図書館等で収集する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを収集する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、さらなる資料の収集を目指す。	18回	**授業テーマ：卒業研究制作（２）さらに方向性を定める** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の方向性をさらに定めていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
4回	**授業テーマ：関連資料の収集（３）データベース等の活用** 授業内容：教員と話し合いながら、興味のあるテーマの関連資料を、再度、インターネットや図書館、データベース等で収集する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを収集する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、網羅的な資料の収集を目指す。	19回	**授業テーマ：卒業研究制作（３）読み原稿の序論の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の読み原稿に取り掛かる。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
5回	**授業テーマ：関連資料の整理（１）キーワードの摘出** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料を読み解いていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを整理する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、さらなる資料の整理を目指す。	20回	**授業テーマ：卒業研究制作（４）読み原稿の本論前半部の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の読み原稿を三分の一程度書き上げる。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
6回	**授業テーマ：関連資料の整理（２）キーセンテンスの摘出** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料をさらに読み解いていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを整理する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、さらなる資料の整理を目指す。	21回	**授業テーマ：卒業研究制作（５）読み原稿の本論後半部の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の読み原稿を三分の二程度書き上げる。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
7回	**授業テーマ：関連資料の整理（３）要約する** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料をもういちど読み解いていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを整理する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、体系的な資料の整理を目指す。	22回	**授業テーマ：研究経過報告（２）読み原稿の結論の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の読み原稿を一通り書き上げる。 事前学修 2.0hr：研究経過報告の準備をする。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
8回	**授業テーマ：関連資料の分析（１）疑問点をあげる** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料への疑問点を書き出していく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	23回	**授業テーマ：卒業研究制作（６）読み原稿の推敲** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表の読み原稿を推敲し、完成させる。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
9回	**授業テーマ：関連資料の分析（２）さらに疑問点をあげる** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料への疑問点をさらに書き出していく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	24回	**授業テーマ：卒業研究制作（７）パワーポイントの序論部分の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表のパワーポイントを三分の一程度作成する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。

10回	**授業テーマ：関連資料の分析(３)疑問点を明らかにする** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料への疑問点をまとめていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	25回	**授業テーマ：卒業研究制作(８)パワーポイントの本論部分の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表のパワーポイントを三分の二程度作成する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
11回	**授業テーマ：関連資料の分析(４)さらに疑問点を明らかにする** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した別の参考資料への疑問点を書き出していく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	26回	**授業テーマ：卒業研究制作(９)パワーポイントの結論部分の作成** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表のパワーポイントを一通り作成する。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
12回	**授業テーマ：関連資料の分析(５)あらたな疑問点をあげる** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した別の参考資料への疑問点をさらに書き出していく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	27回	**授業テーマ：卒業研究制作(１０)パワーポイントの確認** 授業内容：教員の指導のもと、卒業研究発表のパワーポイントの不備を確認し、完成させる。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究を踏まえて、自身の見解をまとめていく。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、さらに卒業研究制作を進めていく。
13回	**授業テーマ：関連資料の分析(６)疑問点をまとめる** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した別の参考資料への疑問点をまとめていく。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	28回	**授業テーマ：研究予備発表(１)不備を明らかにする** 授業内容：完成した読み原稿、パワーポイントを使って、研究予備発表を行う。 事前学修 2.0hr：発表資料を作成し、研究成果を分かりやすく伝える準備をする。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、修正作業を行う。
14回	**授業テーマ：関連資料の分析(７)中間発表の準備** 授業内容：教員と話し合いながら、収集した参考資料をもとに、中間発表の準備をする。 事前学修 2.0hr：研究テーマにかんする原典・訳注・先行研究などを分析する。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、誤読の修正や疑問点の解消につとめる。	29回	**授業テーマ：研究予備発表(２)不備をあらためる** 授業内容：完成した読み原稿、パワーポイントを使って、もう一度、研究予備発表を行う。 事前学修 2.0hr：発表資料を作成し、研究成果を分かりやすく伝える準備をする。 事後学修 2.0hr：教員の指導を受けて、修正作業を行う。
15回	**授業テーマ：中間発表** 授業内容：現時点での進捗状況を、パワーポイントなどを使って発表する。 事前学修 2.0hr：研究テーマの目的・意義・方法などをまとめておく。 事後学修 2.0hr：教員の指導のもと、研究テーマについて全体的に整理する。	30回	**授業テーマ：研究発表** 授業内容：完成した読み原稿、パワーポイントを使って、研究発表を行う。 事前学修 2.0hr：最終的な研究成果を発表する。 事後学修 2.0hr：完成した発表資料等を提出する。

日中言語対照Ⅰ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

曹　泰和（そう　たいわ）

▌授業の概要
具体的なテーマを取り上げ、日中言語の対照を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）
一般目標：１．教科書で挙げている内容を充分に理解し、自分の言葉で説明できる。
２．中国語と日本語の違いを見つけ、それを明確に整理できる。
３．問題点を見つけ、考えを述べることができるようになる。
個別目標：日中の言語における相違点に気づき、それについて、自分の分析と考えを整理して述べることができるようになる。

▌履修条件
2 年次までに習得した知識を前提とする。

▌評価基準・方法
課題、小テスト (50 %)、授業への取り組み(50 %) で評価する。
なお、5 分の 4 以上の課題の提出及び授業の出席を前提条件とし、課題の未提出、授業に欠席する場合は減点とする。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは、授業内時間及び学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （事前に学習する項目について調べてもらうことがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （PPT を使い、プレゼンテーションを行う場合がある。）

▌教科書
『日本語ライブラリー　中国語と日本語』沖森卓也・蘇紅編著　朝倉書店

▌参考書
授業中指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業内容の概要** 授業内容：授業ガイダンスを行う。 どのような視点から日本語と中国語を比較するのかを提示する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、流れを把握しておく。 事後学修 2.0hr：教科書の第１章を予習しておく。
2回	**授業テーマ：代名詞①** 授業内容：中国語の人称代名詞と日本語の人称代名詞の比較をする。 事前学修 2.0hr：教科書の第１章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成
3回	**授業テーマ：代名詞②** 授業内容：中国語の指示代詞と日本語の指示代詞の比較をする。 事前学修 2.0hr：教科書の第１章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成。
4回	**授業テーマ：代名詞③** 授業内容：中国語の疑問代詞と日本語の疑問代詞の比較をする。 事前学修 2.0hr：教科書の第１章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
5回	**授業テーマ：第１章の課題文の討論** 授業内容：発展的課題の１、２から一つ選び、発表してもらう。 講評を行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し問題点を整理する。
6回	**授業テーマ：動詞・形容詞①** 授業内容：動詞における中国語と日本語の比較をする。 事前学修 2.0hr：教科書の第２章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
7回	**授業テーマ：動詞・形容詞②** 授業内容：形容詞における中国語と日本語の比較をする。 事前学修 2.0hr：教科書の第２章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
8回	**授業テーマ：動詞・形容詞③** 授業内容：中国語の動補構造に対応する日本語について検討する。 事前学修 2.0hr：教科書の第２章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
9回	**授業テーマ：第２章の課題文の討論** 授業内容：発展的課題の１、２から一つ選び、発表してもらう。 講評を行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し問題点を整理する。
10回	**授業テーマ：副詞①** 授業内容：程度副詞における中国語と日本語の比較をする。 事前学修 2.0hr：教科書の第３章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
11回	**授業テーマ：副詞②** 授業内容：範囲副詞における中国語と日本語の比較をする。 事前学修 2.0hr：教科書の第３章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。

12回	**授業テーマ：第３章の課題文の討論** 授業内容：発展的課題の１、２から一つ選び、発表してもらう。 講評を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の第３章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
13回	**授業テーマ：数量詞** 授業内容：量詞における中国語と日本語の比較について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の第４章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
14回	**授業テーマ：第４章の課題文の討論** 授業内容：発展的課題の１、２から一つ選び、発表してもらう。 講評を行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し問題点を整理する。
15回	**授業テーマ：到達度の確認、期末テスト** 授業内容：これまで取り上げた項目の復習と到達度の確認を行う。 授業内期末テスト 事前学修 2.0hr：総合復習 事後学修 2.0hr：全体の見直しと問題整理をする。

日中言語対照Ⅱ

開講学科等：中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

曹　泰和（そう　たいわ）

▌授業の概要
具体的なテーマを取り上げ、日中言語の対照を行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）
一般目標：１．教科書で挙げている内容を充分に理解し、自分の言葉で説明できる。
２．中国語と日本語の違いを見つけ、それを明確に整理できる。
３．問題点を見つけ、考えを述べることができるようになる。
個別目標：日中の言語における相違点に気づき、それについて、自分の分析と考えを整理して述べることができるようになる。

▌履修条件
２年次までに習得した知識を前提とする。

▌評価基準・方法
課題、小テスト (50%)、授業への取り組み(50%) で評価する。
なお、５分の４以上の課題の提出及び授業の出席を前提条件とし、課題の未提出、授業に欠席する場合は減点とする。

▌フィードバック方法
課題等のフィードバックは、対面授業及び学習支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （事前に学習する項目について調べてもらうことがある。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （PPT を使い、プレゼンテーションを行う場合がある。）

▌教科書
『日本語ライブラリー　中国語と日本語』沖森卓也　蘇紅編著　朝倉書店

▌参考書
授業中指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業内容の概要** 授業内容：授業ガイダンスを行う。 どのような視点から日本語と中国語を比較するのかを提示する。 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、流れを把握しておく。 事後学修 2.0hr：教科書の第６章を予習しておく。
2回	**授業テーマ：テンスとアスペクト①** 授業内容：アスペクト助詞 “了” から日本語との違いを整理する。 事前学修 2.0hr：教科書の第６章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成。
3回	**授業テーマ：テンスとアスペクト②** 授業内容：“了” 以外のアスペクト助詞から中国語と日本語の違いを整理する。 事前学修 2.0hr：教科書の第６章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成。
4回	**授業テーマ：第６章の課題文の討論** 授業内容：発展的課題の１、２から一つ選び、発表してもらい講評する。 課題文の解説を行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し問題点を整理する。
5回	**授業テーマ：比較文** 授業内容：比較文のタイプから中国語と日本語の違いを整理する。 事前学修 2.0hr：教科書の第９章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成。
6回	**授業テーマ：第９章の課題文の討論** 授業内容：発展的課題の１、２から一つ選び、発表してもらい講評する。 課題文の解説を行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し問題点を整理する。
7回	**授業テーマ：敬語①** 授業内容：呼称に関わる敬語表現から中国語と日本語の違いを整理する。 事前学修 2.0hr：教科書の 11 章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成。
8回	**授業テーマ：敬語②** 授業内容：構文的手段による敬語表現から中国語と日本語の違いを整理する。 事前学修 2.0hr：教科書の 11 章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。
9回	**授業テーマ：第 11 章の課題文の討論** 授業内容：発展的課題の１、２、３から一つ選び、発表してもらい講評する。 課題文の解説を行う。 事前学修 2.0hr：発表をしっかりと準備する。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し問題点を整理する。
10回	**授業テーマ：日中同形語** 授業内容：「手紙」、「活動」といった日中同形語の意味的共通点及び相違点について学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 12 章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する。

11回	**授業テーマ：第 12 章の課題文の討論** 授業内容：発展的課題の１、２から一つ選び、発表してもらい講評する。 課題文の解説を行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し問題点を整理する。
12回	**授業テーマ：擬音語・擬態語** 授業内容：オノマトペにおける日本語と中国語の違いについて学習する。 事前学修 2.0hr：教科書の第 14 章に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成する
13回	**授業テーマ：第 14 章の課題文の討論** 授業内容：発展的課題の１、２、３から一つ選び、発表してもらい講評する。 課題文の解説を行う。 事前学修 2.0hr：発表の準備をする。 事後学修 2.0hr：発表内容を見直し問題点を整理する。
14回	**授業テーマ：後期の総まとめ** 授業内容：これまでに取り組んだテーマを整理する。 事前学修 2.0hr：教科書に目を通し、質問する問題点を用意する。 事後学修 2.0hr：復習及び課題を完成
15回	**授業テーマ：到達度の確認、期末テスト** 授業内容：これまで取り上げた項目の復習と到達度の確認を行う。 授業内期末テスト 事前学修 2.0hr：総合復習 事後学修 2.0hr：全体の見直し、問題点を整理する。

ビジネス中国語演習 I

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

段　威（だん　い）

▌授業の概要

これまでに学んだ中国語を基礎として、ビジネスに関する主要な場面に従って、必要と思われる使用頻度の高い関連語彙、基本文例、表現文型とより高度な文法および語句の用法を習得する。
「聴解力」と「話す力」の向上に重点を置いて、実用的なビジネス場面の練習と文章解読のトレーニングをこなすことで、ビジネス・コミュニケーション能力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 2、GSM 5）

一般目標：実用的なビジネスに関する語彙、基本文例、表現文型、文法、語句の用法を習得し、ビジネス・コミュニケーション能力を身につける。
個別目標：①ビジネスに関する語彙と文章文を理解できる。
②基本文型、文法、語句を理解し、基礎的な応用をすることができる。
③ビジネス場面に応じる基本的な「聴解力」と「話す力」を応用することができる。

▌履修条件

中検 3 級以上の中国語能力を持っていること。

▌評価基準・方法

試験 60 %、課題 20 %、学修内容振り返りシート 10%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題及び試験フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （PBL）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業中適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：ビジネス中国語について 事前学修 2.0hr：講義概要を読んで、基礎中国語の単語と文法を復習する。 事後学修 2.0hr：中国ビジネスに関するイメージをまとめておく。
2回	**授業テーマ：空港での出迎え** 授業内容：空港での出迎えについて 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通して関連単語を暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
3回	**授業テーマ：挨拶と紹介** 授業内容：自分や他の人を紹介すること 職位や肩書きなどを言うこと 名刺交換 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
4回	**授業テーマ：飲食と宿泊** 授業内容：ホテルにチェックインする レストランと飲食 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
5回	**授業テーマ：通貨の両替と口座の開設** 授業内容：通貨の両替 口座開設の申請 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
6回	**授業テーマ：スケジュールの打ち合わせ** 授業内容：スケジュールの打ち合わせ・確認 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
7回	**授業テーマ：道中案内** 授業内容：道を尋ねる 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
8回	**授業テーマ：前半で学んだ内容の確認** 授業内容：単語と会話、基本文例と表現文型の復習 事前学修 2.0hr：前半で学んだ内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
9回	**授業テーマ：アポイントメントを取る** 授業内容：電話でアポイントメントを取る 面会・訪問すること 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。

10回	**授業テーマ：会社の紹介** 授業内容：会社の紹介 お互いに理解すること 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
11回	**授業テーマ：ワークチームの説明** 授業内容：組織の構成と仕事の内容 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
12回	**授業テーマ：マーケティング** 授業内容：市場ポジショニング 市場戦略 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
13回	**授業テーマ：ビジネス・レセプション** 授業内容：宴会の手配をすること 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
14回	**授業テーマ：宴会の乾杯の辞** 授業内容：宴会での話題と乾杯の辞 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
15回	**授業テーマ：まとめと前期の振り返り** 授業内容：単語と会話、基本文例と表現文型の確認 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容総括シートを記し、学修ポートフォリオを整理する。

ビジネス中国語演習Ⅱ

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後 ｜ 備考：2021 年度以降入学生のみ履修可能

段　威（だん　い）

▌授業の概要

「ビジネス中国語Ⅰ」を基礎として、ビジネスに関する主要な場面に従って、必要と思われる使用頻度の高い関連語彙、基本文例、表現文型とより高度な文法および語句の用法を習得する。
「聴解力」と「話す力」の向上に重点を置いて、実用的なビジネス場面の練習と文章解読のトレーニングをこなすことで、ビジネス・コミュニケーション能力を身につける。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：中国語専攻 2、GSM 5）

一般目標：実用的なビジネスに関する語彙、基本文例、表現文型、文法、語句の用法を習得し、ビジネス・コミュニケーション能力を身につける。
個別目標：①ビジネスに関する語彙と文章文を理解できる。
②基本文型、文法、語句を理解し、基礎的な応用をすることができる。
③ビジネス場面に応じる基本的な「聴解力」と「話す力」を応用することができる。

▌履修条件

中検 3 級以上の中国語能力を持っていること。

▌評価基準・方法

試験 60 %、課題 20 %、学修内容振り返りシート 10%、授業内における参加姿勢及び発言等 10 %の結果及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。
また、原則として５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題及び試験フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （PBL）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

授業中適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：インターネットによる事務処理Ⅰ (ミーティング)** 授業内容：ネットワーク・ミーティング 事前学修 2.0hr：講義概要を確認し、「ビジネス中国語Ⅰ」の単語と文法を復習する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
2回	**授業テーマ：インターネットによる事務処理Ⅱ (ショッピング)** 授業内容：オンライン・ショッピング 事前学修 2.0hr：事前に配布した資料について、目を通して関連単語を暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
3回	**授業テーマ：見学と視察Ⅰ (見学)** 授業内容：会社の内部を見学する 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
4回	**授業テーマ：見学と視察Ⅱ　(製品)** 授業内容：製品の紹介 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
5回	**授業テーマ：ビジネス・コンサルティングⅠ (顧客のニーズ)** 授業内容：顧客のニーズ 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
6回	**授業テーマ：ビジネス・コンサルティングⅡ (マーケット・リサーチ)** 授業内容：マーケット・リサーチ 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
7回	**授業テーマ：財務管理** 授業内容：予算案を立てること 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
8回	**授業テーマ：前半で学んだ内容の確認** 授業内容：単語と会話、基本文例と表現文型の復習 事前学修 2.0hr：前半で学んだ内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容振り返りシートを記入する。
9回	**授業テーマ：ビジネス交渉Ⅰ (オファー)** 授業内容：注文・オファー 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
10回	**授業テーマ：ビジネス交渉Ⅱ (価格)** 授業内容：価格の交渉 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。

11回	**授業テーマ：ビジネス交渉Ⅲ (許可)** 授業内容：助言／許可を求める 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
12回	**授業テーマ：ビジネス交渉Ⅳ (アフターサービス)** 授業内容：アフターサービス 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
13回	**授業テーマ：契約の調印Ⅰ (契約書の作成)** 授業内容：契約書の作成を控える 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
14回	**授業テーマ：契約の調印Ⅱ (契約書の調印)** 授業内容：契約書の調印 事前学修 2.0hr：関連単語を繰り返して音読しながら暗記する。 事後学修 2.0hr：学習した内容を確認し、基本文例と表現文型を理解する。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期の振り返り 事前学修 2.0hr：今までの授業内容を復習する。 事後学修 2.0hr：学修内容総括シートを記し、学修ポートフォリオを整理する。

［専門科目］

グローバル・スタディーズ関連科目

ビジネス経済学

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

中澤　栄一（なかざわ　えいいち）

▌授業の概要

20 年ほど前の『ビジネス・エコノミクス』の教科書には、「経済学的な見方は、ビジネスの現場で見られる現象を深く掘り下げていく上で大変重要である」(伊藤元重、2004)というような記述がありました。しかし現在は、グーグル、アマゾン、マイクロソフトなどの先端企業に所属する経済学者のチームが最先端の経済学に基づいて新たなビジネスの市場を創り出すような時代を迎えています。このようなビジネス環境の中で、最新の経済学の知識は、ビジネスパーソンにとって単に「役に立つ」ものから、「必要不可欠な」ものに変容しています。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：この授業では、TED (Technology Entertainment Design) の動画を始めとする世界標準レベルの生きた教材を用いて、現代のビジネスパーソンに必要不可欠になっている最先端の経済学の思考方法とその成果を理解することを目標とします。

個別目標：経済やビジネスの諸問題に関して、日本語や外国語で自分の意見を発言できるようになることを個別目標とします。

▌履修条件

経済やビジネスについての事前の知識は必要としませんが、授業の一部を英語で行う予定ですので、TOEIC 等のビジネス関連用語を復習しておくと、授業の理解の役に立つと思います。

パンデミックの再発等の理由により、対面授業が実施できなくなった場合には、改めてコースニュースを通じて連絡します。

▌評価基準・方法

原則として、授業中の発言内容や課題の提出に基づく、平常授業点により成績をつけます。たとえ全部の授業に出席しても、まったく授業中のディスカッションに貢献しないような受講者は不合格になる可能性が高いので、留意してください。なお、急病や就職活動によってやむを得ず欠席する場合は、理由を証明する文書を提出した場合のみ、学期中最大 2 回まで公欠扱いとします。

フィードバックは、対面授業中に行います。

▌フィードバック方法

授業中にフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （反転「流」授業、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

インターネットの動画やパワーポイントによる説明を用いるので、必要に応じて講義内容の理解を助けるハンドアウトを配布する予定です。

以下のサイトから関心のあるものを事前にいくつか見ておくことを勧めます。

http://www.ted.com/talks?language=ja&topics%5B%5D=economics&sort=popular

▌参考書

(1) 『2014～2015 年版　新しい経済の教科書　「経済学」をビジネスで使える武器にする』、日経 BP 社、2014 年 5 月 28 日.

(2) 一橋大学イノベーション研究センター編「市場と組織をデザインするビジネス・エコノミクスの最前線」『一橋ビジネスレビュー』61 巻 1 号(2013 年 6 月 20 日)、pp. 4-88.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：INTRODUCTION** 授業内容：授業の取り進め方や、成績評価の方法などについて、詳細に説明します。 事前学修 2.0hr：この授業で何を身につけたいのか、各自の考えを明らかにしておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
2 回	**授業テーマ：”Communication and Business”** 授業内容：Body language affects how others see us, but it may also change how we see ourselves. Social psychologist Amy Cuddy argues that ”power posing” – standing in a posture of confidence, even when we don’t feel confident – can boost feelings of confidence, and might have an impact on our chances for success. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
3 回	**授業テーマ：”Leadership and Business”** 授業内容：Simon Sinek has a simple but powerful model for inspirational leadership – starting with a golden circle and the question: ”Why?” His examples include Apple, Martin Luther King Jr. and the Wright brothers ... 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
4 回	**授業テーマ：”Economics versus Business Administration”** 授業内容：Sheena Iyengar studies how we make choices – and how we feel about the choices we make. At TEDGlobal, she talks about both trivial choices (Coke v. Pepsi) and profound ones, and shares her groundbreaking research that has uncovered some surprising attitudes about our decisions. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
5 回	**授業テーマ：”Future of Job Market”** 授業内容：Economist Andrew McAfee suggests that, yes, probably, droids will take our jobs – or at least the kinds of jobs we know now. In this far-seeing talk, he thinks through what future jobs might look like, and how to educate coming generations to hold them. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
6 回	**授業テーマ：”Various values and costs”** 授業内容：Advertising adds value to a product by changing our perception, rather than the product itself. Rory Sutherland makes the daring assertion that a change in perceived value can be just as satisfying as what we consider “real” value – and his conclusion has interesting consequences for how we look at life. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する

7回	**授業テーマ：”What is a market?”** 授業内容：With streams and rivers drying up because of over-usage, Rob Harmon talks about a clever market mechanism to bring back the water. Farmers and beer companies find their fates intertwined in the century-old tale of Prickly Pear Creek. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備
8回	**授業テーマ：REVIEW PRESENTATION 1** 授業内容：Choose your favorite video material. Watch it again at least twice. Why do you like the presentation? What did you learn from it? 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備（つづき） 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
9回	**授業テーマ：”Competition versus monopoly”** 授業内容：Technology is advancing in leaps and bounds – and so is economic inequality, says writer Chrystia Freeland. In an impassioned talk, she charts the rise of a new class of plutocrats (those who are extremely powerful because they are extremely wealthy), and suggests that globalization and new technology are actually fueling, rather than closing, the global income gap. Freeland lays out three problems with plutocracy … and one glimmer of hope. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
10回	**授業テーマ：”The role of default in our behavior”** 授業内容：Behavioral economist Dan Ariely, the author of Predictably Irrational, uses classic visual illusions and his own counterintuitive (and sometimes shocking) research findings to show how we’re not as rational as we think when we make decisions. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
11回	**授業テーマ：”How can we measure affluence?”** 授業内容：When the dotcom bubble burst, hotelier Chip Conley went in search of a business model based on happiness. In an old friendship with an employee and in the wisdom of a Buddhist king, he learned that success comes from what you count. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
12回	**授業テーマ：”How can we improve our welfare?”** 授業内容：You’ve never seen data presented like this. With the drama and urgency of a sportscaster, statistics guru Hans Rosling debunks myths about the so-called ”developing world.” 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
13回	**授業テーマ：”Discounting future”** 授業内容：Every day, we make decisions that have good or bad consequences for our future selves. (Can I skip flossing just this one time?) Daniel Goldstein makes tools that help us imagine ourselves over time, so that we make smart choices for Future Us. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：授業中に指示する
14回	**授業テーマ：”Understanding Chinese Economy”** 授業内容：Economic growth is the defining challenge of our time; without it, political and social instability rises, human progress stagnates and societies grow dimmer. But, says economist Dambisa Moyo, dogmatic capitalism isn’t creating the growth we need. As she shows, in both state-sponsored and market-driven models, capitalism is failing to solve social ills, fostering corruption and creating income inequality. Moyo surveys the current economic landscape and suggests that we have to start thinking about capitalism as a spectrum so we can blend the best of different models together to foster growth. 事前学修 2.0hr：前回の授業で指示したインターネットのサイトを事前に見て、自分の意見をまとめておくこと。 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備
15回	**授業テーマ：REVIEW PRESENTATION 2** 授業内容：Choose your favorite video material. Watch it again at least twice. Why do you like the presentation? What did you learn from it? 事前学修 2.0hr：プレゼンテーションの準備（つづき） 事後学修 2.0hr：半年間の学修内容を振り返る

経営学総論

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

呉　東錫（お　どんそく）

▌授業の概要

企業は、私たちの生活と非常に深いかかわりを持っています。この講義の目的は、企業とは何か、私たちとどのように関わっているのかについて、経営学の基礎的知識の習得を通して理解することです。さらには、将来社会人となった時に必要とされる、ビジネス・経営に関する用語・概念等を理解する一助となります。

講義は主に 5 部構成となっており、経営学の概要をバランスよく網羅しています。このうち、前期は「企業論」「経営戦略論」について主に取り上げます。補助教材として動画やケーススタディを導入することにより、経営学の全体像を具体例も交えながら学びます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：企業とは何か、企業と社会の基本的な関係について理解している。
経営学の体系的な知識や企業経営の実務的なマネジメントに役立つ基礎的な知識を習得する。

個別目標：1. 企業論では、経営学を学ぶ意義や企業のあり方、株式会社の成り立ちの理解を通じて、経営とは何か、企業とは何かについて学ぶ。
2. 経営戦略論では、全社戦略や事業戦略について体系的に学ぶ。変化する経営環境に適応しながら、企業が中長期的に存続・成長していくための戦略を理解する。

▌履修条件

1. 事前の知識は特に必要ありませんが、企業活動・経営学の体系的な理解のために、経営学総論Ⅱとともに必修科目となっています。
2. 授業の回により、アクティブラーニング型の授業を行いますので、積極的に授業に「参加」する姿勢が不可欠となります。

▌評価基準・方法

1. 毎回の小テスト (30%)2 点× 15=30 点
2. 中間テスト (20%)10 点× 2=20 点
3. 学期末試験(50 %)

テストにあたっては事前ドリル形式を採用し、各自で都度学修のうえで受験することができます。学期末試験もこのドリルの範囲内から出題する予定です。

▌フィードバック方法

課題などのフィードバックは教員ごとに異なるものの、基本的に次回講義時に全員に対してまとめて行います。また、授業内での課題と小テストの実施およびフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うことがあります。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （一部ペアワーク等によるディスカッションを設けます。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

一般社団法人日本経営協会編『マネジメント検定試験三級　経営学の基本』中央経済社、2023 年、第 7 版
その他に、必要に応じて授業内で配布するプリント資料に沿って授業を進めます。

▌参考書

コーポレート・ガバナンスを考えるための好著として、ロナルド・ドーア著『誰のための会社にするか』岩波書店、2006 年をお勧めします。
このほかの参考書は、授業内で紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、ドリル説明・公開** 授業内容：講義のオリエンテーションとともに、ドリル説明・公開を行います。 事前学修 2.0hr：講義概要で学習内容・評価基準を確認しておいて下さい。 事後学修 2.0hr：授業内で説明した学習内容・評価基準をしっかり理解して下さい。
2回	**授業テーマ：第一部：経営学から何を学ぶか** 授業内容：企業の役割、経営学を学ぶ意義について学修します。 事前学修 2.0hr：企業とは何かについて、メディアや自己の経験等から考えてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの企業を観察し、どんな活動をしているか調べて下さい。
3回	**授業テーマ：第一部：企業のかたち①** 授業内容：企業の形態、法律が定める会社の種類について学びます。 事前学修 2.0hr：企業とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの企業を観察し、どのような特徴を持っているか調べて下さい。
4回	**授業テーマ：第一部：企業のかたち②** 授業内容：公企業と私企業、ベンチャー企業とアントレプレナーシップについて学びます。 事前学修 2.0hr：企業とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの企業を観察し、どのような特徴を持っているか調べて下さい。
5回	**授業テーマ：第一部：大規模な株式会社における企業統治①** 授業内容：大規模な株式会社における経営と所有、コーポレートガバナンスについて学びます。 事前学修 2.0hr：企業統治の方法について調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：身の回りの株式会社をとりあげ、三権分立の様子を調べて下さい。
6回	**授業テーマ：第一部：大規模な株式会社における企業統治②** 授業内容：大規模な株式会社における機関設計、株主総会の変化と株式持ち合いについて学びます。 事前学修 2.0hr：株式会社とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：株式会社と株主総会の事例について調べて下さい。
7回	**授業テーマ：第一部：日本型企業システム、中間テストの説明** 授業内容：日本的雇用慣行、日本型企業システムを支えた制度、日本的な集団的意思決定と稟議制度、日本型の企業統治について学修します。 事前学修 2.0hr：日本型企業システムの特質は何か、調べてきてください。 事後学修 3.0hr：中間テストの事前学習を行ってください。
8回	**授業テーマ：第二部：企業経営と全社戦略①** 授業内容：戦略とは何か、経営戦略の策定、全社戦略の策定、企業全体の方向性について学びます。 事前学修 2.0hr：企業戦略の類型について、調べてきてください。 事後学修 2.0hr：身の回りの株式会社をいくつかとりあげ、企業戦略をまとめて下さい。

9回	**授業テーマ：第二部：企業経営と全社戦略②** 授業内容：経営資源、SWOT 分析、事業領域を表すドメインの決定について学びます。 事前学修 2.0hr：SWOT 分析とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：SWOT 分析を用いた企業経営について、いろいろな事例を調べて考えて下さい。
10回	**授業テーマ：第二部：全社戦略としての成長戦略** 授業内容：成長戦略、アンゾフの成長ベクトル、M ＆ A と企業連携について学びます。 事前学修 2.0hr：M ＆ A の利点と課題について調べてきて下さい。 事後学修 3.0hr：事例紹介のビデオに関する課題を行ってください。
11回	**授業テーマ：第二部：ケース・スタディ（スシロー）** 授業内容：「スシロ―の経営戦略」に関する動画を視聴し、どのような成長戦略をとり、差別化をはかっているかを理解する。 事前学修 2.0hr：事例紹介のビデオに関する事前課題を行ってください。 事後学修 2.0hr：事例紹介のビデオに関する事後課題を行ってください。
12回	**授業テーマ：第二部：全社的な経営資源の配分** 授業内容：経営資源を配分するための PPM モデルについて学修する。 事前学修 2.0hr：PPM モデルについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：具体的に PPM モデルを導入する企業事例を調べて下さい。
13回	**授業テーマ：第二部：事業ごとの競争戦略 (事業戦略)** 授業内容：事業戦略と競争戦略、ポーターの競争戦略論、事業戦略から機能別戦略へのつながりについて学びます。 事前学修 2.0hr：事業戦略、競争戦略、機能別戦略とは何かについて調べてきて下さい。 事後学修 2.0hr：いくつかの企業をとりあげ、これらの戦略に関する取組をまとめて下さい。
14回	**授業テーマ：第二部：経営戦略論の時代的変遷、中間テストの説明** 授業内容：経営戦略論のまとめ、比較的新しい経営戦略論の流れについて学びます。 事前学修 2.0hr：近年の企業の経営戦略について調べてきて下さい。 事後学修 3.0hr：中間テストの事前学習を行ってください。
15回	**授業テーマ：まとめ　企業と社会の関係** 授業内容：第一部・第二部の学修内容を復習し、試験に向けた準備を行います。 事前学修 2.0hr：これまでの学習内容をおさらいしてきて下さい 事後学修 3.0hr：試験の出題形式・評価基準を確認し、試験のための学習を進めて下さい。

会計学総論

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

蟹澤　啓輔（かにさわ　けいすけ）

▌授業の概要

この講義は、これから会計を初めて学ぼうと思っている人を対象とした、初心者向け授業です。会計は、社会人にとっては大変重要な科目と認められていますが、学生の人達にとってはよくわからないあるいは難しい科目というイメージを抱きがちです。本講義では、会計とはどのようなものか、会計と会計学との関係、さらにどのような領域と関わっているのか等について、その前提となる簿記一巡の流れの理解とともに、わかりやすく丁寧に説明していきます。半期の授業を通じ、会計領域全体の内容を理解できるようになります。興味がわけば、さらにそれぞれの領域の学習をより深化させることで独立した会計職業人となることも可能です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 GSM 2/3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：会計の網羅する領域全体を理解できるようになります。とりわけ、簿記、会計、会計学の関連性と必要性を学習し、社会で認められている会計の重要性を認識できるようになることが目標です。

個別目標：財務諸表を見て概要が理解でき、財務分析などに利用できるようになることが目標です。

▌履修条件

配布したレジュメをファイルに閉じ毎回持参すること。

▌評価基準・方法

平常点（授業への参加態度等）30%、期末試験 70%で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム（manaba）を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

オリジナルのレジュメ形式（プリント）で授業を行います。

▌参考書

岩谷誠治著『この 1 冊ですべてわかる会計の基本』日本実業出版社
新井清光、川村義則著『現代会計学　第 2 版』中央経済社
菊谷正人、依田俊伸著『財務会計論の基礎と応用』中央経済社
斉藤静樹著『企業会計入門』有斐閣、桜井久勝著『会計学入門（第 4 版）』日経文庫

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、会計とは、財務諸表とは** 授業内容：シラバスの概要を説明するとともに、授業科目である会計の定義の解説を通して授業の全体像について説明します。 事前学修 1.5hr：参考書等の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
2回	**授業テーマ：会計と制度** 授業内容：会計と法律に基づく制度の関係について説明します。また、授業の後半で会計に関する資格についても紹介します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
3回	**授業テーマ：会計の理論的構造と会計基準** 授業内容：会計理論は 3 階層から構成される理論的構造を持っていますので、構造の全体像と各階層について解説します。また、日本の会計基準の概要と国際的な会計基準についても解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
4回	**授業テーマ：基本財務諸表と簿記一巡の手続き** 授業内容：基本財務諸表と呼ばれる貸借対照表及び損益計算書の概要と、簿記一巡の手続きと呼ばれる基本財務諸表を作成するための実務的なプロセスについて解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
5回	**授業テーマ：複式簿記の概要** 授業内容：企業が取引をどのように仕訳として記録するのかに関し、複式簿記の概要について説明するとともに、営業活動や投資活動、財務活動など主要な取引別に仕訳の作成方法について解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
6回	**授業テーマ：貸借対照表の概論** 授業内容：貸借対照表の全体像と、資産、負債、純資産という貸借対照表を構成する要素について説明するとともに、貸借対照表に関する主要な個別論点や表示について解説します。 事前学修 1.5hr：テキストの事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
7回	**授業テーマ：棚卸資産について** 授業内容：棚卸資産の定義や産業別にどのような棚卸資産が計上されているのかについて説明するとともに、棚卸資産に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
8回	**授業テーマ：有形無形固定資産について** 授業内容：有形無形固定資産の定義や産業別にどのような有形無形固定資産が計上されているのかについて説明するとともに、有形無形固定資産に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習

9回	**授業テーマ：金融商品会計について** 授業内容：金融商品の定義、及び、金融資産、金融負債という金融商品を構成する要素について説明するとともに、金融商品に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
10回	**授業テーマ：負債会計と純資産会計** 授業内容：負債及び純資産の定義や構成要素について説明するとともに、負債や純資産に関する具体的な会計手続きについて解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
11回	**授業テーマ：損益計算書の概論** 授業内容：損益計算書の全体像と、収益、費用、利益という損益計算書を構成する要素について説明するとともに、損益計算書に関する主要な個別論点や表示について解説します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
12回	**授業テーマ：財務分析の基礎** 授業内容：財務分析の基本的な手法と、基本的な財務分析の指標について解説するとともに、簡単な財務分析の演習を行います。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業復習
13回	**授業テーマ：キャッシュ・フロー計算書の概論** 授業内容：キャッシュ・フロー計算書の全体像と、キャッシュ・フローの定義、キャッシュ・フロー計算書に関する主要な表示内容について説明します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業復習
14回	**授業テーマ：連結財務諸表の概論** 授業内容：連結財務諸表の全体像と、基本的な連結財務諸表の作成方法について説明します。 事前学修 1.5hr：参考書の事前通読 事後学修 2.5hr：授業の復習
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：これまでの授業のまとめを行います。 事前学修 2.0hr：授業の復習 事後学修 3.0hr：講義の総復習（レジュメや参考書等の再読）、試験の準備

社会統計学

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

ビジネスにもっとも有用なスキルとして、いま統計学が大きな注目を浴びています。本学のカリキュラム・ポリシーにあるように、新たな社会への創造に向けて、合理的な精神で臨まなければなりませんが、統計学はその手段として最も重要なスキルの一つといえます。本講義では、統計学の基礎をわかりやすく解説し、さまざまなデータを整理・分析できるよう、できるだけ具体的な問題を想定しながら一歩一歩着実に理解を進めていきます。数学が苦手な学生でも、全く問題ありません。ビジネスに必要な統計学の基礎を身につけることが狙いです。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 GSM 2/3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：データをまとめ、整理し、さまざまな統計手法を用いてデータの特徴を理解することができるようになることが目標です。また各種分析手法を用いて、データに潜む因果関係を統計的に明らかにすることができることを目指します。

個別目標：統計データを整理するためのデータの加工、図表の作成ができるようになること。統計データの性質を理解し、必要な分析手法について考え、それを実行する手続きが理解できることを目標とします。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

課題や試験で 80 %、授業への積極性等 20 %、に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書はありません。

▌参考書

講義中に適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：統計学とはどのような学問か** 授業内容：統計学が社会で最も必要とされていることについて。 事前学修 2.0hr：身の回りの統計について考えてみる。 事後学修 2.0hr：記述統計学と推測統計学についてまとめる。
2回	**授業テーマ：データの種類（さまざまな尺度について）** 授業内容：データを分類する際の尺度について。 事前学修 2.0hr：前回の授業の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：データの種類についてまとめる。
3回	**授業テーマ：データの整理・加工** 授業内容：度数分布表やヒストグラム作成について。 事前学修 2.0hr：データの種類に関する前回講義を復習する。 事後学修 2.0hr：データの並べ替えなどの方法をまとめる。
4回	**授業テーマ：データとグラフ** 授業内容：種々のデータおよびグラフについて。 事前学修 2.0hr：データの並べ替えの復習をしておく。 事後学修 2.0hr：データに基づいてさまざまなグラフの作成方法をまとめる。
5回	**授業テーマ：グラフ作成とその応用** 授業内容：グラフ作成の際の注意点など。 事前学修 2.0hr：前回の講義の復習をしておく。 事後学修 2.0hr：複雑なデータのグラフ化についてまとめる。
6回	**授業テーマ：データの特性値（算術平均、幾何平均、メディアン、モードなど）** 授業内容：数量的な記述統計量について。 事前学修 2.0hr：グラフ作成手法の復習。 事後学修 2.0hr：平均の求め方についてまとめておく。
7回	**授業テーマ：変化率を求める（成長率、移動平均）** 授業内容：変化率の求め方。 事前学修 2.0hr：平均の意味について復習しておく。 事後学修 2.0hr：変化率の求め方をまとめる。
8回	**授業テーマ：ちらばりの尺度（分散、標準偏差）** 授業内容：バラツキの尺度を解説。 事前学修 2.0hr：前回の講義の内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：ちらばりの求め方をまとめておく。
9回	**授業テーマ：標準偏差とデータの標準化** 授業内容：比較可能なデータとしての標準化を学ぶ。 事前学修 2.0hr：前回の講義内容を復習する。 事後学修 2.0hr：標準偏差の求め方をまとめる。
10回	**授業テーマ：偏差値と変動係数** 授業内容：偏差値と変動係数の求め方と応用例。 事前学修 2.0hr：標準偏差について前回講義を復習する。 事後学修 2.0hr：偏差値と変動係数についてまとめる。
11回	**授業テーマ：相関係数** 授業内容：２次元データの関連性について。 事前学修 2.0hr：データの標準化について前回講義を復習する。 事後学修 2.0hr：相関係数の考え方を整理する。

12回	**授業テーマ：記述統計学と推測統計学(母集団と標本分布)** 授業内容：記述統計学と推測統計学の考え方の相違。 事前学修 2.0hr：相関係数について復習しておく。 事後学修 2.0hr：推測統計学についてまとめる。
13回	**授業テーマ：確率変数と確率分布** 授業内容：確率変数の平均、分散と基本的な確率分布(二項分布、ポアソン分布、正規分布など)、中心極限定理について。 事前学修 2.0hr：母集団と標本分布の関係を復習しておく。 事後学修 2.0hr：確率分布について復習する。
14回	**授業テーマ：回帰分析の考え方(最小二乗法)** 授業内容：因果関係の分析の考え方について。 事前学修 2.0hr：確率分布の意味を復習しておく。 事後学修 2.0hr：回帰分析を復習する。
15回	**授業テーマ：重回帰分析** 授業内容：複数の説明変数による因果関係の分析手法について。 事前学修 2.0hr：最小二乗法についてもう一度復習する。 事後学修 2.0hr：重回帰分析についてまとめる。

マーケティング論

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前/後

飯田　信一 (いいだ　のぶかず)

▌授業の概要

本講義ではマーケティングの基礎を学びます。マーケティングについて皆さんに興味を持って頂くことが目的となります。講義の前半は、毎回具体的な企業の事例に基づき、分かり易くマーケティングの基本的な概念や理論について講義を行います。講義の後半では、国際マーケティングも事例を中心に学びます。なお、授業の中で取り上げる企業事例については、皆さんの関心度合いや指向により適宜変更します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 GSM 2/3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：1）マーケティングを日常生活場面で、身近な問題として考える姿勢を身につける。
2）マーケティングの基礎的な用語や基本的なフレームワークの意味を理解し、活用できるようになる。
3）グループディスカッションを通じて、自分の考えを分かり易く発信し、他者と共有できるようになる。

個別目標：1）興味、関心がある企業や業界について深堀して考え、ご自身なりに分析や解釈ができるようになること。
2）マーケティングの考え方やフレームワークをご自身の就職活動や今後のキャリアの上で活用することができるようになること。

▌履修条件

マーケティングを社会に出てから必要になると考え、興味を持って授業に参加する学生や将来国際的な仕事に就きたいと考えている学生の受講を歓迎します。普段の授業で行う小テストの評価比重が高いので、継続して出席する意欲が必要です。授業は 1 回毎に完結している訳ではなく、毎回関連性があり繋がって行きます。

▌評価基準・方法

1）授業の理解度と貢献度(小テスト、課題、ディスカッションへの参加等)　60%
2）期末試験　40%
留意：原則として、授業の 5 分の 4 以上の出席および期末試験受験が評価の前提条件となります。

▌フィードバック方法

小テスト、課題は個別のフィードバックはしませんが、翌週の講義で総合的な講評をします。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （適宜グループディスカッション、グループワークを行います。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

必要に応じて資料を提示します。

▌参考書

適宜、授業の中で提示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス、マーケティングの定義** 授業内容：本講義の概要、到達目標の説明、評価方法、マーケティングを学ぶ意義について講義します。 事前学修 2.0hr：マーケティングとはどのような学問か、ご自分で調べてみてください。 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
2 回	**授業テーマ：マーケティングとは何か　概論** 授業内容：マーケティングの定義をスターバックスとドトールコーヒーの事例(予定)を比較しながら考える。「誰に」「何を」「どのように」という切り口で整理して、比較してみる。両者がどのような顧客価値を提供しているか、相違点を浮き彫りにし、何故そのような相違が生まれるのか、考えを深める。 事前学修 2.0hr：スターバックスやドトール等、コーヒーチェーンが顧客にどのような価値を提供しているのか考えてみる。 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
3 回	**授業テーマ：マーケティング活動：　計画を立てる** 授業内容：市場とは何か、市場をどう決めるか。STP（セグメンテーション、ターゲティング、ポジショニング)の考え方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：市場とは何かについて、自分なりに考えてみる。 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
4 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス(1)プロダクト(商品戦略)** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プロダクト(商品戦略)の考え方を学ぶ。 事例：日清食品(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
5 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス(2)プライス(価格戦略)** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プライス(価格戦略)の考え方を学ぶ。 企業はどのようにして価格を決めているのか、同じ業界内でも何故価格戦略に相違があるのか、理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
6 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス(3)プレイス(流通戦略)** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プレイス(流通戦略)の考え方を学ぶ。 事例：コンビニエンスストア(セブンイレブン等)の流通戦略について。 従来型の小売業(百貨店、スーパーマーケット等)が衰退し、コンビニエンスストアが主要な流通手段に成長した経緯、 出店戦略、商品の仕入れ、物流センターから店舗間の物流の仕組みについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
7 回	**授業テーマ：マーケティング・ミックス(4)プロモーション(コミュニケーション戦略)** 授業内容：マーケティング・ミックス 4P のうち、プロモーション(＝コミュニケーション戦略)の考え方を学ぶ。 各企業の広告マネジメントを消費者対応、競争対応、ブランド対応の観点から評価、理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。

8回	**授業テーマ：顧客価値、顧客満足とは何か** 授業内容：顧客価値、顧客満足について学ぶ。 具体的な企業の顧客マネジメント事例を通じて、顧客価値、顧客満足についての理解を深める。 企業事例：「無印良品」の製品開発手法(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
9回	**授業テーマ：ブランド戦略** 授業内容：ブランドとは何か、定義を理解し、ブランドの機能や効果を考える。ブランドの優位性はどのように作り出すのかを理解する。 事例：「無印良品」(予定) ブランドの優位性、連想イメージ、企業によるコミュニケーション活動について理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
10回	**授業テーマ：4P (マーケティングミックス)まとめ** 授業内容：これまで学んだ 4P の枠組みを活用し、企業事例にあてはめ分析を行う。 事例企業：コメダ珈琲(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
11回	**授業テーマ：グローバルマーケティング①** 授業内容：外資系企業が日本市場で競争する事例：　クリスピークリームドーナツ・ジャパン或いはネスレ・ジャパン(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
12回	**授業テーマ：グローバルマーケティング②** 授業内容：国境を越えるマーケティングの勘所、成功要因について、CAGE 分析など含め、具体的企業事例を通じて学ぶ。 企業事例：　ローソンのアジア市場戦略、或いは伊藤園の緑茶飲料の欧州市場戦略など(予定) 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
13回	**授業テーマ：サービス・マーケティング戦略** 授業内容：サービス取引、そしてマーケティング戦略の特徴をモノのマーケティングと比較しながら、企業事例：QB ハウス或いはオイシックス(予定)を通じて理解を深める。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
14回	**授業テーマ：マーケティング総合** 授業内容：企業事例：　ドン・キホーテの経営戦略(予定) 企業の「強み」の作り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義の予習 事後学修 2.0hr：講義で学習した内容、キーワードを確認すること。
15回	**授業テーマ：マーケティング論の総括** 授業内容：これまでの講義内容の振り返り、まとめを行う。また、取り扱えなかったテーマについて補足する。 事前学修 2.0hr：これまでの講義の内容、キーワードを復習しておくこと。 事後学修 2.0hr：本講義の内容を振り返り、重要な概念について復習すること。

日本研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

西川　寛之 (にしかわ　ひろゆき)

▌授業の概要

日本は世界の中で大きい国なのか小さい国なのか，日本の言語や文化は特異なものなのかどうかなどについて考える。
ステレオタイプではなく，日本という場所に住む人がどのような活動をしているのかを考え，理解することを目指す。
日本における伝統，行動，人間関係，社会をキーワードに，国内外の日本研究の歴史と現状を知り，その成果をもとに，多角的な視点から日本を理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：日本を様々な角度からみつめることで，日本について再発見できること。
　　日本がどのようなところであるかを客観的な視点から説明できること。
個別目標：ステレオタイプ的な見方と客観的な見方を身につける
　　相対的な評価を基にした物事の判断をする力を身につける
　　自身が持つ文化を相対化し、さらに客観的な見方ができるようになる

▌履修条件

この授業ではグループ活動を行なう回がある。
自身の身の周りの観察とその記録をレポートとして提出する活動が含まれることを理解して履修すること。

▌評価基準・方法

レポート 10 %，小テスト 20%、期末試験 70 %

▌フィードバック方法

レポートの返却時に採点及びコメントをもってフィードバックを行なう。
授業内の各学習項目に関する質疑の時間を設け、授業内でのフィードバックを行なう。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

事前に熟読すべき資料がメールで送付されるなど，その都度指示する。

▌参考書

参考図書リストを授業開始後に指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：日本という国の単位に関して概観する 国境や領土に関する定義について学ぶ 事前学修 2.0hr：新聞閲覧 事後学修 2.0hr：配付資料の検討
2 回	**授業テーマ：世界の中の１つの国として、日本は大きいのか小さいのか。** 授業内容：日本のことを「小さな島国」と表現することもあるが、「小さな」という際の基準がどのようなものかを考える 世界に他の国と相対的に比較して分析する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
3 回	**授業テーマ：江戸時代までの日本人と日本社会** 授業内容：食生活や生活リズムなどについて、明治時代の変化を紹介しながら、それ以前の日本の文化や習慣について理解する 現在の日本社会の様態との比較を行う 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
4 回	**授業テーマ：戦前戦後の日本人と日本社会　現代社会との比較** 授業内容：明治以降から高度経済成長までの日本社会を概観する 現代社会との比較を行う 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
5 回	**授業テーマ：思想，信仰　年中行事とその歴史** 授業内容：明治以前と以降、第二次世界大戦以降の社会の変化、行動経済成長期から現代までの変化を取り上げる 人口動態、核家族化などがどのように影響してきたのかを年中凝視の在り方を中心に考察する 事前学修 3.0hr：事前配布資料の検討レポート作成 事後学修 1.0hr：次回用配布資料の検討
6 回	**授業テーマ：労働時間と働き方 （祝日・休日・祭日）** 授業内容：過去には「働きバチ」「終身雇用」などの言葉が日本における働き方、雇用形態の紹介に用いられてきた 現代の実態について、国民の休日などの在り方をキーワードとして概観する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
7 回	**授業テーマ：言語　あいさつ言葉などについて** 授業内容：日本社会の中で用いられるあいさつことばも時代とともに変化している 方言(社会方言含む)に注目しながら、日本のあいさつことばについて考察する 事前学修 1.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 3.0hr：次回用配布資料の検討
8 回	**授業テーマ：日本語と世界の言語** 授業内容：日本語を「日本で話されている言葉」ではなく、１つの言語として取り上げるために、世界の諸言語と共通点、相違点を比較する そのうえで、日本語と日本の関係に立ち返り考察を行う 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討

9回	**授業テーマ：翻訳に見る日本語とその他の言語の表現** 授業内容：産業革命以降、動力の発明により人の移動が大きくなり、人の動きに変化が生じてきている。 その変化に対応して他の言語の接触場面が増え、日本語が他の言語に翻訳されること、他の言語を日本語に翻訳することも増えてきた。具体的な翻訳語を例に、直訳との違いから日本の文化的視点や価値観について考察する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
10回	**授業テーマ：民族，ルーツ** 授業内容：「民族」という言葉について理解した上で、諸言語との比較や語族などの視点から、改めて、民族という言葉の定義、国や政治と切り離した人類学的なルーツについて学ぶ 事前学修 3.0hr：事前配布資料の検討，レポート作成 事後学修 1.0hr：次回用配布資料の検討
11回	**授業テーマ：年中行事と宗教観** 授業内容：現在の日本における年中行事の在り方を概観する。 クリスマスやバレンタインデー、ハロウィンの背景にある宗教観について知る 事前学修 1.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 3.0hr：次回用配布資料の検討
12回	**授業テーマ：家族に関する考え方** 授業内容：親族名称の使用範囲について、他の言語・社会との比較を行う　「姉」「兄」という言葉の意味範疇が国・地域により異なることを紹介する ちびまる子ちゃんやさざえさんなど、漫画の中において、家族内の人間関係の移り変わりがあることを紹介する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
13回	**授業テーマ：恋愛・結婚** 授業内容：結婚年齢の変化、離婚率の変化と社会の変容(女性の社会進出・収入)、 お見合い結婚や恋愛結婚、出会いの場の変化などを取り上げ、社会全体と個人の行動の結びつきについて考察する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の検討
14回	**授業テーマ：冠婚葬祭について** 授業内容：社会が変化する一方で、冠婚葬祭をはじめとしたしきたりは形を変化させながら残っている 日本国内の地域ごとの違い、分布と地形について紹介し、文化の伝搬についても考察する 事前学修 2.0hr：事前配布資料の検討 事後学修 2.0hr：次回用配布資料の閲覧
15回	**授業テーマ：日本の言語・文化・思想・歴史・社会などのまとめ** 授業内容：日本の言語や文化、思想が、社会の変化の中でどのように変化し現在に至っているのかを考える 地理的な視点から文化の伝搬を理解し、日本という１つの社会においても文化が多様であることを再確認する 事前学修 3.0hr：レポート作成 事後学修 3.0hr：レポートの提出

北アメリカ研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

移民の国であるアメリカの歴史は比較的短いが、広い領域の中に多人種多民族社会を形成する中で、自由と民主主義を掲げる一方、奴隷制度や人種差別という矛盾も抱えてきた。また、アメリカは外交や通商を通じて、世界にも大きな影響力を持つ。この授業では、前半でアメリカの歴史を 36 年周期で分析し、後半では政治、外交、経済、文化、人種問題という分野別に現代のアメリカを理解していきたい。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：アメリカの歴史の流れを理解する中で、アメリカの社会、文化、政治、経済など総合的な知識を身につける。

個別目標：1.　アメリカの政治と社会、経済の仕組みを説明できる
2.　アメリカの外交・通商政策を説明できる
3.　英語の原文資料でアメリカについて理解を深めることができる。

▌履修条件

アメリカの歴史、社会、文化、政治、経済に関心を持つこと。英文資料を原文で積極的に読めること。

▌評価基準・方法

（1）平常点 60 %（2）テスト 40 %

なお、原則として 3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法

授業内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回レジュメを事前に送付するので、印刷またはダウンロードしてくること。

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション　アメリカ研究入門** 授業内容：アメリカ研究の意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：レジュメを読んで、全体の流れをつかんでおく。 事後学修 2.0hr：アメリカ研究の意義について復習をする。
2 回	**授業テーマ：アメリカ独立革命** 授業内容：アメリカ独立宣言を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
3 回	**授業テーマ：合衆国憲法** 授業内容：合衆国憲法を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
4 回	**授業テーマ：南北戦争** 授業内容：ゲティスバーグ演説を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
5 回	**授業テーマ：アメリカと 2 つの世界大戦** 授業内容：ウィルソン大統領の 14 か条を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
6 回	**授業テーマ：冷戦とアメリカ** 授業内容：ケネディ大統領およびレーガン大統領の就任演説を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
7 回	**授業テーマ：冷戦後のアメリカ** 授業内容：オバマ大統領の就任演説を読む。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
8 回	**授業テーマ：中間試験** 授業内容：中間試験を行う。 事前学修 2.0hr：中間試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験で間違ったところを復習をする。
9 回	**授業テーマ：アメリカ政治** 授業内容：アメリカ政治の系譜を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
10 回	**授業テーマ：アメリカ外交** 授業内容：アメリカ外交の 4 つの系譜を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
11 回	**授業テーマ：アメリカ経済** 授業内容：アメリカ経済の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。

12回	**授業テーマ：アメリカ文化** 授業内容：アメリカ文化の基礎を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
13回	**授業テーマ：移民と人種問題** 授業内容：移民社会の現状を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、小テストに備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
14回	**授業テーマ：21 世紀のアメリカ** 授業内容：現代のアメリカが抱える問題を学ぶ。 事前学修 2.0hr：資料を読み、授業に備える。 事後学修 2.0hr：レジュメを元に復習をする。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後半の振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：レジュメを読み返し、授業に備える。 事後学修 2.0hr：期末テストに備える。

南アメリカ研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

諏佐　ランカ（すさ　らんか）

▌授業の概要

この授業では、文化間意識(異文化理解)を学びながら、その中でも特にラテンアメリカの社会・文化・歴史や、ラテンアメリカ諸国の状況と多様な人々の生活のあり方について知見を深めることができます。履修生は、様々な国々の社会や文化を学びながら、同時にラテンアメリカに関する基礎知識を学ぶこと、グローバルな視点でラテンアメリカ諸国の状況を把握すること、そして現地で暮らす人々の視点から考察する力を養うことが期待されます。本授業の流れは、まず各トピックでグローバルな視点から社会・文化を広く学んだ上で、そのトピックの関連キーワードについて、ラテンアメリカ諸国の状況を掘り下げていきます。CLIL 教科書(CLIL ＝語学とトピックを同時に学ぶ)を使用するので、英語もスキルアップできます。
なお、この授業は原則オールイングリッシュです。教科書をはじめ、授業中の指示や課題、発言、グループワークを含めて基本的には英語で進行します。ただし発言の際は完全な文を作らなくて良いですし、発音も考慮しなくて良いです。履修者一人ずつのレベルに応じて、英語が得意な方は英語で受け答えをして、チャレンジが必要な方は日本語を交えながら行います。授業中の発言や会話も英語と日本語が混じっても構いません。文章が出てこないときは、単語の羅列でも良いですし、チャンク(ひとかたまりのブロック)を出すことができたら完璧です。発言の際の英会話スキルは成績には一切影響しませんので、通じれば何でも OK です。英語での発言に苦手意識がある方は、ごく簡単な英語の受け答えができるようになることがゴールです。本授業の履修後は、英語運用能力がワンランクアップすることを目標としてください。
※授業内容は、履修人数やクラスの進行度など、その時々の学習状況に合わせて適宜変更します

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：英語を活用して、グローバルな視点から文化間意識を高める。その中でも、特にラテンアメリカ社会に関する基礎知識を習得し、ラテンアメリカの社会事情を多角的に理解する。
個別目標：①ラテンアメリカ社会に関する基本的な知識を得る。
②様々な国の社会や文化を学び、自らの文化間意識に対する知見を深める。
③グローバルな視点でラテンアメリカの状況を考えて説明できる。
④ラテンアメリカで暮らす人々の立場や視点から、ラテンアメリカ社会の状況を考えることができる。
⑤英語の運用能力を履修前よりワンランク向上させる。

▌履修条件

1. 海外の社会・文化をはじめ、諸外国における文化間意識について関心を持っている方、そして特にラテンアメリカの社会・文化について積極的に学ぶ意欲のある学生を歓迎します
2. 教科書を購入して毎回持参すること(常に授業で使用するため、教科書がないと単位の取得が出来ません)
3. 授業までに教科書の指定箇所の内容を事前学習しておくこと(内容を知っている前提で授業が進みます)
4. 会話練習、グループワーク、意見交換など積極的に参加すること ※出席＆期末試験だけで単位取得はできません

※授業の進行度や履修者の関心に応じて、授業内容を変更することがあります
※第 1 回目は授業ガイダンスも行います。期末試験や成績評価、教科書、使用する学習システムについてもここでお知らせするので必ず出席すること

▌評価基準・方法

積極的な授業参加(発言・意見交換、小テスト、グループワーク、課題提出等)：60 %
期末試験：40%
※履修人数にもよりますが、授業中の発言が一切ない場合は成績に影響するため、積極的に発言すること(日本語でも構いません)
※期末試験は公欠を除いた 5 分の 4 以上(15 回授業の場合は 12 回以上)出席した場合のみ受験資格を認める
※ manaba や respon アプリ(ルーム等)、Google Classroom で課題提出を行う。重要なお知らせを流すことがあるため、通知設定等を含めて必ず事前準備しておくこと(成績に影響するため)
※履修人数に応じて、評価割合を変更する可能性がある。変更が生じる場合は、速やかに周知する

▌フィードバック方法

授業中は口頭で行う。授業外は manaba や Google Classroom などのシステムを使って行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発言・意見交換、グループワークなど）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （基本的にはないが、必要に応じて課題を配布することがある）

▌教科書

CLIL 英語で培う文化間意識 (CLIL Intercultural Awareness)
笹島 茂 著/工藤泰三 著/荊 紅涛 著/Larry Joe 著/Hannah Haruna 著
出版社：三修社
※教科書は常に使用するため、必ず購入して持参すること
※南アメリカの社会・文化事情についてはパワーポイントやレジュメなどの追加資料を併用する

▌参考書

英和/和英辞書(紙の辞書・電子辞書⇒どちらでも OK。大学入学前に持っていたもので構いません)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Unit 1: 文化間意識を高める** 授業内容：前半はガイダンスを行い、この授業の目的、成績評価方法など重要な説明を行う。履修生は、なぜこの授業を取ろうと思ったかについて改めて考える。また、後期終了後にどのような目標を達成したいかを共有する。また、教科書の使い方の説明、および各チャプターの内容を紹介する。後半は教科書の Unit 1 に入る。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認して、書店で教科書を手に取って試し読みする。履修が確定している場合は購入する 事後学修 2.0hr：教科書を購入したら目次に目を通し、各チャプターがどのような内容であるか確認しておく
2回	**授業テーマ：Unit 2: 人と場所の文化間多様性を理解する** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：移民・難民、宗教、経済 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。

3回	**授業テーマ：Unit 3: 買い物上手になる** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：産業、伝統工芸品 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
4回	**授業テーマ：Unit 4: 食物、文化、社会について知る** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：食文化、ヴィーガン、肥満 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
5回	**授業テーマ：Unit 5: 文化に応じたより良い生活スタイルを送る** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：ワークライフバランス、有給休暇、育児休暇 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
6回	**授業テーマ：Unit 6: 互いの文化を理解する旅行者となる** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：旅行者、観光地、インバウンド 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
7回	**授業テーマ：Unit 7: 地球市民意識を養う** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：グローバル・シティズンシップ、意識調査 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
8回	**授業テーマ：Unit 8: 教育システムを知る** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：教育システム、教育支出、高等教育 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
9回	**授業テーマ：Unit 9: 芸術を鑑賞する** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：創作、生活満足度、文化財 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
10回	**授業テーマ：Unit 10: AI の発展可能性を見る** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：AI 研究、ロボットオペレーティングシステム、倫理 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
11回	**授業テーマ：Unit 11: 男女の役割の考え方を変える** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：ジェンダー、性別役割分業、政治の女性代表 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
12回	**授業テーマ：Unit 12: キャッシュレス社会を上手く生きる** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：銀行、暗号通貨、為替 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
13回	**授業テーマ：Unit 14: 移民問題に取り組む** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：外国人、移民・難民、政策 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：授業内容の復習を行い、新しく学んだ英語表現・知識、興味を持った点をまとめておく。
14回	**授業テーマ：Unit 15: グローバル化に関わる** 授業内容：教科書のテキストを読んで、記載されている問題に答えたり、グループワークやディスカッションなどのアクティビティを通してトピックへの理解を深める。 関連キーワード：グローバリゼーション、輸送、通信、貿易 事前学修 2.0hr：テキストの指定箇所を読み、分からない表現を調べた上で内容を大まかに理解する。 事後学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後期授業で取り上げたトピックについて振り返り、自分の考えをまとめる。 事前学修 2.0hr：後期の授業全体を復習して試験に備える。 事後学修 2.0hr：試験の振り返りをする。

ヨーロッパ研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

古代から戦争を繰り返しながらも統合へと向かってきたヨーロッパの歴史を紐解き、その政治・経済・文化について理解を深めるとともに、現代のヨーロッパが直面する課題について理解する。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：ヨーロッパ統合の歴史の流れを理解する中で、その社会、文化、政治、経済などに関する総合的な知識を身につける。
個別目標：（1）ヨーロッパ統合の過程と課題を説明できる。
（2）ヨーロッパ主要国の特徴について説明できる。
（3）ウクライナ情勢の影響について説明できる。

▌履修条件

ヨーロッパおよび国際関係について関心を持ち、すべての課題を提出できること。

▌評価基準・方法

・試験　40 %
・平常点　60 %
なお、原則 3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法

授業内および manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

毎回レジュメを配布する。事前にダウンロードか印刷しておくこと。

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方と評価方法を説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認し、授業の内容と計画を確認しておく。 事後学修 2.0hr：科目の進め方などを確認する。
2回	**授業テーマ：古代ヨーロッパ** 授業内容：古代ギリシャ・ローマの歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
3回	**授業テーマ：中世ヨーロッパ** 授業内容：中世キリスト教世界の歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
4回	**授業テーマ：近代ヨーロッパ** 授業内容：近代国家の形成と発展の歴史を概観する。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
5回	**授業テーマ：世界大戦とヨーロッパ** 授業内容：二度の世界大戦がヨーロッパにもたらした影響を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
6回	**授業テーマ：東西冷戦とヨーロッパ** 授業内容：東西冷戦がヨーロッパにもたらした影響を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
7回	**授業テーマ：ヨーロッパ統合** 授業内容：ヨーロッパ統合に向けた流れを学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
8回	**授業テーマ：EU の誕生** 授業内容：EU の形成過程と課題を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
9回	**授業テーマ：中間試験** 授業内容：古代から EU 誕生までをカバーする。 事前学修 2.0hr：これまでの復習。 事後学修 2.0hr：試験の振り返り。
10回	**授業テーマ：EU の課題** 授業内容：EU 拡大と課題について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
11回	**授業テーマ：イギリスの EU 離脱** 授業内容：イギリスの EU 離脱の背景と影響を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。

12回	**授業テーマ：ウクライナ情勢 1** 授業内容：ウクライナ戦争の背景を学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
13回	**授業テーマ：ウクライナ情勢 2** 授業内容：ウクライナ戦争の影響と見通しについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
14回	**授業テーマ：ヨーロッパの将来** 授業内容：今後のヨーロッパの方向性について考える。 事前学修 2.0hr：指摘した文献を読む。 事後学修 2.0hr：ノートで復習をする。
15回	**授業テーマ：現代ヨーロッパの課題** 授業内容：現代のヨーロッパの課題を振り返る。 事前学修 2.0hr：指定した文献を読む。 事後学修 2.0hr：現代ヨーロッパが抱える課題の振り返り。

オセアニア研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

大石　隆介（おおいし　りゅうすけ）

▌授業の概要

本科目は学生たちがオセアニア地域の実践的な理解を深めるためのものである。そのためオセアニア地域の国々について歴史的背景、文化、経済、日本との関係など様々な角度から分析を行っていく。オセアニアには幾多の国々が存在するが、本科目ではその中でも特にオーストラリア、ニュージーランドを中心に分析を行っていく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：オセアニア、その中でも特にオーストラリア、ニュージーランドとはどのような国なのか。それぞれの歴史、文化、経済、日本との関係等について学ぶ。

個別目標：オセアニア特にオーストラリア、ニュージーランドについて学び、海外で活躍できる基礎力をつける。

▌履修条件

1 年次開講の各種英語科目において単位を修得し、十分な英語能力を有していることが望ましい。

▌評価基準・方法

コースワーク（宿題、クラス内テストなど）40 %、　定期試験 60 %

▌フィードバック方法

コースワーク等のフィードバックは Manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

担当教員が作成したプリントを講義にて配布する。

▌参考書

オーストラリア・ニュージーランドの教育　編著：青木　麻衣子　佐藤　博志　東信堂

「小さな大国」ニュージーランドの教えるもの　編：日本ニュージーランド学会　東北公益文化大学ニュージーランド研究所　論創社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：第 1 回授業はガイダンスとして本科目の概要、履修上の注意点等について説明する。 事前学修 2.0hr：講義概要をよく読み、本科目でどのようなことを学びたいか考えておく。 事後学修 2.0hr：ガイダンスに従い、次の授業の準備をする。
2 回	**授業テーマ：オセアニアとは** 授業内容：第 2 回授業では、オセアニアの基礎知識（地理・気候・歴史・文化・産業）について学修する。 事前学修 2.0hr：オセアニアについて自身で調べられることを調べておく。興味や疑問があれば質問できるように準備をしておく。 事後学修 2.0hr：オセアニアのついての基礎知識（地理・気候・歴史・文化・産業）について理解する。
3 回	**授業テーマ：オーストラリア１（オーストラリアの自然環境）** 授業内容：第 3 回授業では、オーストラリアの自然環境について学修する。オーストラリアの自然環境、そこに生息する動植物、天然資源等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：オーストラリアの地理的な特徴など自分で調べられることを調べておく。広大なオーストラリアの特徴をイメージする。 事後学修 2.0hr：オーストラリアの自然環境・気候、動植物、天然資源等などについて理解する。
4 回	**授業テーマ：オーストラリア２（オーストラリアの民族文化・産業）** 授業内容：第 4 回授業では、オーストラリアの民族文化・産業について学修する。オーストラリアにおける移民の歴史、先住民、多民族・多文化の共存について理解を深める。 事前学修 2.0hr：オーストラリアの民族構成や産業について調べ、分からないことは質問できるように準備しておく。 事後学修 2.0hr：オーストラリアが多民族国家になるに至った経緯等について理解する。
5 回	**授業テーマ：オーストラリア３（オーストラリアの教育制度）** 授業内容：第 5 回授業では、オーストラリアの教育制度について学修する。オーストラリアと日本の教育制度の違い、オーストラリアにおける多文化教育等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：オーストラリアの教育制度などについて調べ、日本の教育制度との違いを見つけておく。 事後学修 2.0hr：オーストラリアの社会の特性や教育制度について理解する。
6 回	**授業テーマ：オーストラリア４（オーストラリアの労働市場）** 授業内容：第 6 回授業では、オーストラリアの労働市場について学修する。オーストラリアの労働市場の課題、教育による労働力の質的改善等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：オーストラリアの就業状況・労働環境などについて調べ、分からないことは質問できるように準備する。 事後学修 2.0hr：オーストラリアの労働市場の状況と大学教育との関係性などについて理解する。
7 回	**授業テーマ：オーストラリア５（オーストラリアへの渡航・現地での就労）** 授業内容：第 7 回授業では、オーストラリアへの渡航・現地での就労機会について学修する。主にワーキングホリデー制度について紹介する。 事前学修 2.0hr：オーストラリアに長期滞在するにはどのようなことが必要かなど自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ワーキングホリデー制度や現地の様子（物価・交通・治安など）について理解する。
8 回	**授業テーマ：ニュージーランド１（ニュージーランドの自然環境・民族文化）** 授業内容：第 8 回授業では、ニュージーランドの自然環境・民族文化について学修する。ニュージーランドの自然環境の特徴、イギリスによる植民地支配の歴史、産業等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドの自然環境などについて自分で調べ、ニュージーランドの地理的特性を理解する。 事後学修 2.0hr：ニュージーランドの自然環境、イギリスによる植民地支配、先住民マオリ族の生活などについて理解する。
9 回	**授業テーマ：ニュージーランド２（ニュージーランドの教育制度）** 授業内容：第 9 回授業では、ニュージーランドの教育制度について学修する。ニュージーランドの社会的特質、文化形成、教育制度について理解を深める。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドの教育制度について調べ、日本との違いを見つけておく。 事後学修 2.0hr：ニュージーランドの社会の特性や教育制度について理解する。
10 回	**授業テーマ：ニュージーランド３（ニュージーランドの政治経済）** 授業内容：第 10 回授業では、ニュージーランドの政治経済について学修する。ニュージーランドの政治システムや特徴的な政策（非核化政策等）について理解を深める。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドの経済の状況などについて自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ニュージーランドの選挙制度や経済改革や転換について理解する。

11回	**授業テーマ：ニュージーランド4（ニュージーランドにおける産業やスポーツ）** 授業内容：第 11 回授業では、ニュージーランドの産業・スポーツについて学修する。中でもニュージーランドにおけるラグビー、映画産業に焦点をあて理解を深める。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドの産業やスポーツについて自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ニュージーランドにおける映画産業、スポーツ（ラグビー、クリケット、ヨットなど）について理解を深める。
12回	**授業テーマ：ニュージーランド5（ニュージーランドへの渡航・現地での就労）** 授業内容：第 12 回授業では、ニュージーランドへの渡航・現地での就労機会について学修する。主にワーキングホリデー制度について紹介し、ニュージーランドの 5 つの都市（オークランド、ウェリントン、クライストチャーチ、ダニーデン、ハミルトン）における生活環境等について理解を深める。 事前学修 2.0hr：ニュージーランドに長期滞在するにはどのようなことが必要なのか自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ワーキングホリデー制度や現地の様子（物価・交通・治安など）について理解する。
13回	**授業テーマ：その他のオセアニア地域1（ポリネシア）** 授業内容：第 13 回授業では、ポリネシアについて学修する。ポリネシアの気候、人々の生活、産業について理解を深める。 事前学修 2.0hr：ポリネシアの自然環境、文化などについて自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ポリネシアの自然環境、ポリネシアの島国（トンガ、フレンチポリネシア、ツバルなど）の現状について知識を深める。
14回	**授業テーマ：その他のオセアニア地域2（メラネシア・ミクロネシア）** 授業内容：第 14 回授業ではメラネシア・ミクロネシアについて学修する。ミクロネシアにおける外国統治の歴史、メラネシアでの人々の生活、それぞれの産業について理解を深める。 事前学修 2.0hr：メラネシアの自然環境、文化、歴史などについて自分で調べられることを調べておく。 事後学修 2.0hr：ミクロネシアの外国統治の歴史やメラネシアの国々の天然資源に支えられた産業などについて理解を深める。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：第 15 回授業は、まとめとして本科目の内容を総括する。 事前学修 2.0hr：今学期学んだことを復習する。 事後学修 2.0hr：本科目の講義内容を十分に復習し、理解する。

東アジア研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

中川 仁（なかがわ ひとし）

▌授業の概要

この授業では、東アジアの地域研究という視点から、地理、歴史、政治、経済、言語（文化、人種、アイデンティティ）を学び、その地域のあらゆる状況を理解するものである。とくに日本の周辺諸国の戦前、戦後の状況をみていくことによって、東アジアの現状が理解できることを学生諸君には知っていただきたい。授業のなかでは、言語文化の視点と歴史的な状況から、その地域社会の特色を理解していく。そしてポストコロニアルと言語問題という視座からもその地域をみていき、その国の状況や特色を紐解いていく。（日本を知り、東アジアのことがらを網羅的に理解していくことを学修の目的とする。）

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：日本の周辺国家の言語文化と言語問題について理解を深め、国際関係の視点から、その地域社会の文化的価値を理解できるようになる。そして異文化理解の視点から、その地域社会の人種や風土をも理解できるようになる。（グローバルな視点での人的接触、文化的接触に柔軟に対応ができるようになる。）

個別目標：日本の近代的な思想やそのあり方も理解し、戦前、戦後の状況が説明できる。また日本の周辺諸国の地域研究をふまえ、地理、歴史、政治、経済、文化という視点を網羅し、そのことがらについて説明ができる。

▌履修条件

東アジアという地域のことに興味があり、その地域の言語文化に理解を示すこと。また履修者には、積極的に授業に参加すること。（教養という視点で知識を培養していくことを心がけていただきたい。）

▌評価基準・方法

毎回の授業時での課題（授業内容の振り返り及び課題への取り組み）を 60 %とし、テストを 40 %とする。出席は 5 分の 4 以上とする。（欠席については事前に連絡をする。）

▌フィードバック方法

課題及び小テスト、定期試験に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修、課題作成などにおいてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに教科書は指定しない。毎回 manaba において資料を提示する。（プリントを配布することもある。）

▌参考書

参考書などは、その都度紹介する。（そのなかには、簡単な論文及び小論文なども含まれる。）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：日本の近代化と言語問題** 授業内容：日本の時代区分と近代化における言葉の問題に焦点をあて、歴史的な経緯と言葉の連動性を提示し、近代の国語の成立状況を理解していく。ここでは国語の成り立ち、周辺諸国の言葉の成立をも説明していく。 事前学修 2.0hr：日本の近代化と言語状況について調べる。 事後学修 2.0hr：近代日本の言語状況をノートにまとめる。
2 回	**授業テーマ：日本の政治と経済（戦前・戦後を中心に）** 授業内容：日本の時代区分を理解し、政治的な仕組みとして、古代の中央集権国家の成り立ち、貴族社会の成立、武家政権の政治的体制、近代の政治体制を理解し、それぞれの経済状況と戦前戦後の経済の流動性を理解していく。 事前学修 2.0hr：戦前及び戦後の政治変遷と経済の流動化について調べる。 事後学修 2.0hr：戦前及び戦後の政治と経済の要点をノートにまとめる。
3 回	**授業テーマ：中国の近代化と言語問題** 授業内容：中国における近代化とその現状を理解し、アヘン戦争以降の中国の状況と諸外国との関係を理解し、同時に 1600 年代の大航海時代の説明も加えていく。とくに中国の近現代の歴史的な経緯を通史的に理解していく。 事前学修 2.0hr：中国の近代と言葉の問題について調べる。 事後学修 2.0hr：中国の近代と言葉の関係の要点をノートにまとめる。
4 回	**授業テーマ：中国の政治と経済（清朝末期・民国時代・中華人民共和国の部分から）** 授業内容：清末、民初の政治的な体制と共和制国家の成り立ちを説明し、国共内戦による状況の理解と新中国樹立とその国家の政策をも含め、その実情と現状の流れを概観する。 事前学修 2.0hr：それぞれの時代背景を調べる。 事後学修 2.0hr：それぞれの時代の特色を絞って、ノートにまとめる。
5 回	**授業テーマ：中国についてのまとめ** 授業内容：アヘン戦争以降の中国の歴史的な流れを再度説明していき、中国の政治的な体制、国家観、政策的なことがらも含め、中国の実情を知る。そして現状の体制及び世界の中の中国を理解する。 事前学修 2.0hr：今まで勉強したものをまとめ、理解できていない部分を調べておく。 事後学修 2.0hr：中国の時代的背景、歴史的背景、言語問題などについてまとめておく。
6 回	**授業テーマ：日本の周辺諸国（韓国）** 授業内容：日本との関係という視点で、韓国から受けた影響とそれに伴う文化的なことがらを概観し、その歴史的な状況をとらえていく。また日本の近代化とそれに伴うことがらをも概観し、理解していく。 事前学修 2.0hr：日本の周辺諸国としての韓国について調べる。 事後学修 2.0hr：韓国の歴史、言語背景についてまとめる。
7 回	**授業テーマ：日本の周辺諸国（日本の近代化と政治、経済、戦前、戦後の状況などの把握）** 授業内容：日本の近代化に伴う政治的な抑圧の外観を説明し、戦後の状況を把握していく。そして戦後の政治的な体制と経済の仕組みを理解していく。 事前学修 2.0hr：日本の近代化に伴う、政治、経済、戦前、戦後のことがらについて調べる。 事後学修 2.0hr：日本の近代化に伴う、政治、経済、戦前、戦後のことがらについて、その要点をノートにまとめる。
8 回	**授業テーマ：日本の周辺諸国（東西冷戦のことがら）** 授業内容：東西冷戦により分断された国家を理解し、旧ロシア、中国の影響など政治的な思想を概観し、北朝鮮の国家観を理解していく。また現状の存在についても理解を深めていく。 事前学修 2.0hr：東西冷戦について調べる。 事後学修 2.0hr：東西冷戦についての要点を絞って、ノートにまとめる。

9回	**授業テーマ：日本の周辺諸国(台湾)** 授業内容：日本の近代化に巻き込まれた台湾の存在を概観し、その政策、教育、言葉の問題などを把握し、台湾との関係を理解していく。また中国との関係についても、ここでは説明していく。 事前学修 2.0hr：日本の周辺諸国としての台湾について調べる。 事後学修 2.0hr：台湾の歴史、言語背景についてまとめる。
10回	**授業テーマ：日本の周辺諸国(台湾の経済と政治)** 授業内容：台湾の戦前及び戦後の政治的な体制と経済の流動的な流れを概観し、とくに戦後の政治的なことがらと国際社会における存在を理解する。そして現状の台湾を理解していく。 事前学修 2.0hr：台湾の政治と経済(戦前・戦後)について調べる。 事後学修 2.0hr：台湾の政治と経済(戦前・戦後)について、その要点をノートにまとめる。
11回	**授業テーマ：東アジアにおける言語危機と問題点** 授業内容：ここでは中国及び台湾における言語状況とその政策を概観し、言葉がどのような形で流動的な言語として扱われるのか、また流通する言語になりにくいことがらはどのようなことなのかを説明し、理解していく。 事前学修 2.0hr：それぞれの国々の言語問題について調べる。 事後学修 2.0hr：危機言語について、要点を絞ってノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：地域社会の言語問題(言語権)** 授業内容：言葉はどのような形で、共通の概念をもった言語になりえるのか、また少数派の言葉はどのように存在権を表していくのか、言葉にも言語権ということがらがあることを説明し、理解していく。 事前学修 2.0hr：言語権について調べる。 事後学修 2.0hr：言語権の運用や言語のあり方を要点を絞って、ノートにまとめる。
13回	**授業テーマ：言語と政治との関連性** 授業内容：言葉と政治はどのような形で関連性をもっているのか、またその関連性についての要因はどのように成立するのかを概観し、その状況を把握し、理解していく。 事前学修 2.0hr：言語と政治との関連性について調べる。 事後学修 2.0hr：言語と政治について要点を絞って、ノートにまとめる。
14回	**授業テーマ：言語と経済との関連性** 授業内容：言葉は経済的な状況により、その言葉を学修していく人々はどのように増えていくのかを理解し、経済との連動性を紐解いていく。とくに大言語と小言語に分けて、その実態を説明し、理解していく。 事前学修 2.0hr：言語と経済との関連性について調べる。 事後学修 2.0hr：言語と経済について要点を絞って、ノートにまとめる。
15回	**授業テーマ：言語接触と異文化理解(国際理解とグローバル社会の位置づけ)** 授業内容：グローバル社会における言葉の存在を勢力拡大の言語と勢力後退の言語に分け、それぞれを概観し、エスペラント語の存在をも説明していく。そして言葉と人との関係などを含め、異文化との接触を考えていく。 事前学修 2.0hr：国際社会という概念を調べる。 事後学修 2.0hr：国際社会で自分はどうあるべきかを、ノートにまとめてみる。

ASEAN 研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

ディプロマ・ポリシーにおける建学の精神としての社会性を養うため、成長著しい東南アジアについての知識を深めていきます。まず ASEAN 全体の世界経済における位置づけを確認し、そのあとで ASEAN を構成する 10 カ国の概要を講義していきます。また、日本・韓国・台湾・中国など東アジアとの関係、インド・パキスタンなど南アジアとの関係など国際関係にもできるだけ視野を広げていく予定です。全体として ASEAN の置かれた現状および課題について理解できるよう、やさしく丁寧に講義を進めていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：ASEAN 諸国の具体的状況や世界経済に占める位置、そしてさまざまな国内・国際上の課題などについて一通りの知識を有することを目標とします。

個別目標：ASEAN 各国が持つ特徴や課題、ASEAN 全体が持つ特殊性など、さまざまな視点から ASEAN を考察し、それを自分の言葉で整理し説明できるようにすることが目標です。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

試験（小テストを含む）等で 80 %、課題への積極性等 20 %によって総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は指定しません。

▌参考書

講義内で適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス（講義の進め方等）** 授業内容：講義の進め方に関する説明。 事前学修 2.0hr：カリキュラムを確認する 事後学修 2.0hr：講義進行スケジュールを復習しておく
2 回	**授業テーマ：ASEAN の成り立ちと世界経済に占める位置** 授業内容：ASEAN の置かれている現状および世界における相対的位置。 事前学修 2.0hr：ASEAN について概要を調べておく 事後学修 2.0hr：ASEAN の世界経済に占める大きさを復習する
3 回	**授業テーマ：タイ経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN 原加盟国の現状と課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：タイ経済の概要をまとめておく
4 回	**授業テーマ：インドネシア経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN 原加盟国の現状と課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：インドネシア経済の概要をまとめておく
5 回	**授業テーマ：シンガポール経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN 原加盟国の現状と課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：シンガポール経済の概要をまとめておく
6 回	**授業テーマ：フィリピン経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN 原加盟国の現状と課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：フィリピン経済の概要をまとめておく
7 回	**授業テーマ：マレーシア経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN 原加盟国の現状と課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：マレーシア経済の概要をまとめておく
8 回	**授業テーマ：ブルネイ経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN への参加と社会経済の現状および課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ブルネイ経済の概要をまとめておく
9 回	**授業テーマ：ベトナム経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN への参加と社会経済の現状および課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ベトナム経済の概要をまとめておく
10 回	**授業テーマ：ミャンマー経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN への参加と社会経済の現状および課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ミャンマー経済の概要をまとめておく
11 回	**授業テーマ：ラオス経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN への参加と社会経済の現状および課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ラオス経済の概要をまとめておく

12回	**授業テーマ：カンボジア経済の発展と社会経済的特徴** 授業内容：ASEAN への参加と社会経済の現状および課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：カンボジア経済の概要をまとめておく
13回	**授業テーマ：ASEAN と東アジアとの関係** 授業内容：ASEAN と東アジア諸国(中国、韓国、日本)との関係について。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ASEAN と東アジアの関係についてまとめておく
14回	**授業テーマ：ASEAN と南アジアとの関係** 授業内容：ASEAN と南アジア(インド、バングラデシュ、スリランカ)との関係について。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ASEAN と南アジアとの関係についてまとめておく
15回	**授業テーマ：ASEAN の成果と課題** 授業内容：ASEAN が発展できた理由と今後の課題。 事前学修 2.0hr：前回講義を復習しておく 事後学修 2.0hr：ASEAN の成果と課題についてまとめる

中東研究

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

都甲　裕文 (とこう　ひろふみ)

▌授業の概要

今日、中東で生じている大きな変動について、わたしたちは、テレビなどのメディアを通して多くの情報を得ることができる。しかし、その情報を正しく理解するためには、中東の地域と文化に関する基本的な知識が必要とされているのも事実である。この授業では、中東がアラブ人やイスラームだけではない多様な地域であることを学んでいく。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：中東の人々の文化的多様性を理解する。
個別目標：中東の民族と国家について説明できる。

▌履修条件

特になし。

▌評価基準・方法

事前学修・小テスト 40 %と期末試験 60 %の結果に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

事前学修・小テストと期末試験のフィードバックは、次の授業や manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

使用しない。プリントを配付する。

▌参考書

後藤明・山内昌之編『イスラームとは何か』新書館
沼野充義『ユダヤ学のすべて』新書館
菅瀬晶子『新月の夜も十字架は輝く―中東のキリスト教徒』山川出版社

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス：「中東」とはどこか** 授業内容：１)中東に関する最近のニュース、２)中東という概念①ヨーロッパから見た世界・②近東と極東・③中東の誕生、３)中東地域の範囲①アラブ人の地域区分・②湾岸諸国・③この授業での地域区分 事前学修 2.0hr：中東に関する最近のニュースを調べて、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：ガイダンスのプリントを見直し、疑問点を確認する。
2回	**授業テーマ：中東の言葉** 授業内容：１)中東の挨拶…「こんにちは」と「ありがとう」、２)文字と語族①語族とは何か・②非セム系諸語、３)文字と書体①アラビア文字・②ヘブライ文字・③ローマ字 事前学修 2.0hr：プリント１を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント１を見直し、疑問点を確認する。
3回	**授業テーマ：中東の宗教** 授業内容：１)中東の３つの一神教…神はただ一人だけ①ユダヤ教・②キリスト教・③イスラーム、２)その他の宗教…ヤジーディー教、３)３つの一神教の特色、４)３つの一神教の暦 事前学修 2.0hr：プリント２を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント２を見直し、疑問点を確認する。
4回	**授業テーマ：北アフリカ(マグリブ)** 授業内容：１)マグリブ(西方)…先住ベルベル人がアラブ人の征服により、イスラーム化(７世紀)現在ほとんどスンナ派ムスリム、２)基礎知識…モロッコ・アルジェリア・チュニジア・リビア、２)アラブの春 事前学修 2.0hr：プリント３を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント３を見直し、疑問点を確認する。
5回	**授業テーマ：エジプトとスーダン** 授業内容：１)世界最長のナイル川(6825km)…古代から現代までエジプトとスーダンを結びつけた、２)基礎知識…エジプト・スーダン・南スーダン、３)アラブ民族主義と軍事政権、４)スーダン内戦と南スーダンの独立 事前学修 2.0hr：プリント４を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント４を見直し、疑問点を確認する。
6回	**授業テーマ：メディアと移民** 授業内容：１)メディア…出来事や意見を伝えるための媒体、２)通信社・テレビ局・ネット接続遮断、３)中東からの移民と難民①移民…主に経済的理由から他の国に移住・②難民…戦争や災害などで一時的に他の国に避難 事前学修 2.0hr：プリント５を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント５を見直し、疑問点を確認する。
7回	**授業テーマ：シリア・レバノン・ヨルダン** 授業内容：１)東地中海沿岸地方、２)基礎知識…シリア・レバノン・ヨルダン、３)サイクス=ピコ条約と IS、４)シリア内戦 事前学修 2.0hr：プリント６を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント６を見直し、疑問点を確認する。
8回	**授業テーマ：イスラエルとパレスチナ** 授業内容：１)３大宗教の聖地イェルサレム、２)基礎知識…イスラエルとパレスチナ、３)イスラエル建国と中東戦争、４)パレスチナ建国と首都問題 事前学修 2.0hr：プリント７を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント７を見直し、疑問点を確認する。
9回	**授業テーマ：食べ物と市場** 授業内容：１)食べ物・飲み物・嗜好品、２)イスラームの「ハラール」とユダヤの「コシェル」、３)３つの一神教の断食、４)市場「スーク」・「バザール」、５)各国の通貨、６)浴場「ハンマーム」 事前学修 2.0hr：プリント８を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント８を見直し、疑問点を確認する。

10回	**授業テーマ：アラビア半島・イラク・クウェート** 授業内容：1)アラビア半島諸国・ペルシア(アラビア)湾岸諸国・湾岸協力会議、2)基礎知識…サウジアラビア・バーレーン・カタール・アラブ首長国連邦・オマーン・イエメン・クウェート・イラク、3)アラビア半島、4)イラクとクウェート 事前学修 2.0hr：プリント9を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント9を見直し、疑問点を確認する。
11回	**授業テーマ：家族と日常生活** 授業内容：1)名前の付け方①アラブ人ムスリム・②トルコ人・イラン人ムスリム・③ユダヤ人とアラブ人キリスト教徒、2)誕生の儀式、3)服装と身だしなみ…宗教的意味もあるが地方によって異なる民族衣装 事前学修 2.0hr：プリント 10 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 10 を見直し、疑問点を確認する。
12回	**授業テーマ：トルコ・イラン・アフガニスタン** 授業内容：1)非アラブ=イスラームの世界、2)基礎知識…トルコ・イラン・アフガニスタン、3)トルコ革命から現代まで、4)パフラヴィー朝イランから現代まで、5)アフガン人部族社会 事前学修 2.0hr：プリント 11 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 11 を見直し、疑問点を確認する。
13回	**授業テーマ：中東の少数民族** 授業内容：1)民族主義の光と影、2)基礎知識、3)アルメニア人…最初のキリスト教国家、4)ベルベル人…北アフリカにアラブ人進出以前から定住、5)クルド人…トルコ・イラクなどの国境地帯(クルディスタン) 事前学修 2.0hr：プリント 12 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 12 を見直し、疑問点を確認する。
14回	**授業テーマ：教育と女性** 授業内容：1)結婚…法律上の婚姻と宗教上の婚姻①アラブ人ムスリム・②ユダヤ人・③アラブ人キリスト教徒、2)宗教・宗派を越えた結婚は多難、3)教育とヒジャーブ、4)スポーツとヒジャーブ 事前学修 2.0hr：プリント 13 を読んで、事前学修を行う。 事後学修 2.0hr：プリント 13 を見直し、疑問点を確認する。
15回	**授業テーマ：まとめ：中東研究総論** 授業内容：1)中東の言語・宗教・生活様式の多様性、2)中東社会の民主化、3)内戦と難民問題、4)少数民族と難民問題、5)日本と中東との関係 事前学修 3.0hr：復習テストをするのでプリントを見直す。 事後学修 1.0hr：今後の学習について考える。

国際関係概論

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

この授業では、国際関係論の基本的な概念と理論を学ぶとともに、現代世界が直面する課題としてロシアによるウクライナ侵略と台湾情勢、中東情勢について理解を深める。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：国際関係の基礎知識を身につけ、急速に変動する国際未来社会に適応するための知識と英語力を身につける。

個別目標：1. リアリズムとリベラリズムについて理解する。
2. 国際政治の基本的構造を理解する。
3. 現代世界の抱える課題について自らの考えを持つことができる。

▌履修条件

国際関係に関心があること。課題をすべて提出できること。

▌評価基準・方法

平常点 60 %、テスト 20 %、レポート 20 %。
原則として、3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法

授業内および manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （現代の課題についてグループディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （AI を使って国際情勢を理解する訓練をする。）

▌教科書

広瀬佳一・小笠原高雪・小尾美千代編著『よくわかる国際政治（第 2 版）』（ミネルヴァ書房、2025 年）

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の概要、評価基準について説明する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読む。 事後学修 2.0hr：評価基準について確認する。
2 回	**授業テーマ：国際政治の視点** 授業内容：国際政治の性格について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書序章を読む。 事後学修 2.0hr：国際政治の主体について理解する。
3 回	**授業テーマ：国際政治の歴史 1** 授業内容：主権国家体系について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 1 部を読む。 事後学修 2.0hr：国民国家について理解する。
4 回	**授業テーマ：国際政治の歴史 2** 授業内容：帝国主義と 2 つの世界大戦について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 1 部を読む。 事後学修 2.0hr：世界史の大まかな流れを理解する。
5 回	**授業テーマ：国際政治の基礎 1** 授業内容：リアリズムとリベラリズムについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 部を読む。 事後学修 2.0hr：リアリズムとリベラリズムの違いを理解する。
6 回	**授業テーマ：国際政治の基礎 2** 授業内容：国際制度について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 部を読む。 事後学修 2.0hr：制度的リベラリズムについて理解する。
7 回	**授業テーマ：国際安全保障 1** 授業内容：戦争の理論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 3 部を読む。 事後学修 2.0hr：戦争の原因について理解する。
8 回	**授業テーマ：国際安全保障 2** 授業内容：国際秩序の理論について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 3 部を読む。 事後学修 2.0hr：国際秩序を生み出す概念について理解する。
9 回	**授業テーマ：国際政治経済 1** 授業内容：国際的相互依存について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 部を読む。 事後学修 2.0hr：経済のグローバル化について理解する。
10 回	**授業テーマ：国際政治経済 2** 授業内容：21 世紀のグローバル経済について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 部を読む。 事後学修 2.0hr：21 世紀における自由貿易と貿易管理について理解する。
11 回	**授業テーマ：現代の課題 1** 授業内容：ウクライナ情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ウクライナ戦争に関して指定された文献を読む。 事後学修 2.0hr：ウクライナ戦争の背景について理解する。

12回	**授業テーマ：現代の課題 2** 授業内容：ウクライナ情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：ウクライナ戦争に関して指定された文献を読む。 事後学修 2.0hr：ウクライナ戦争の現状について理解する。
13回	**授業テーマ：現代の課題 3** 授業内容：台湾情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：台湾情勢について指定された文献を読む。 事後学修 2.0hr：中台関係の歴史を理解する。
14回	**授業テーマ：現代の課題 4** 授業内容：中東情勢について学ぶ。 事前学修 2.0hr：台湾情勢について指定された文献を読む。 事後学修 2.0hr：中東情勢の現状について理解する。
15回	**授業テーマ：ふりかえり** 授業内容：これまでの授業内容を振り返り、テストとレポートに備える。 事前学修 2.0hr：教科書およびレジュメをふりかえり。 事後学修 2.0hr：テストおよびレポートに備える。

ビジネスキャリア特講 a

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

篠塚　勝正（しのづか　かつまさ）

▌授業の概要

今までにビジネス英語の基本を学んだ方、また実践的ビジネス英語を学んでみたいという方を対象に、実際のビジネスの場面ですぐに使えるスキルを学びます。具体的には 1. ビジネス通信 2. 社交、挨拶 3. 社内会話 4. 取引関係 5. 雇用関係、履歴書 と、大きく分けて五つの分野のビジネス実務を英語で運用できるように、学習を進めていきます。どれも大切な技能であり、皆さんが社会に出る前に英語だけではなく、日本語でも実践できなければならない重要な事柄ばかりです。問題解決能力と、問題発見能力を高めるインタラクティブな授業で積極的に発言してください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：1. 広範囲にわたる基本的ビジネスレターのライティングとビジネス翻訳に対応する力が身につく。
2. 正しく美しいビジネス日本語が身に着き、コミュニケーション能力が高まります。
3. 実社会で通用する高度なビジネス英語運用能力を身につける。
4. 国際未来社会で活躍できる幅広い教養が身につく。

個別目標：1. 日本語と英語両言語のビジネス用語の基本を身につける。
2. 就職活動でも活かせる、正しいビジネスマナーやビジネスの基本的な考え方を理解する。
3. グローバルな環境で発信できる高度な英語コミュニケーション能力を修得する。

▌履修条件

ビジネス英語に興味があり、きちんと提出物を提出できる方。

▌評価基準・方法

定期試験 60 %

授業貢献度（授業中の積極的な発言や情報提供）、提出物、および小テスト 40 %

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （英語文書を日本語ビジネス文書として相応しい日本語に翻訳します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ビジネス email などを word file で提出してもらいます。）

▌教科書

豊田暁 「ビジネス英語エッセンシャルズ」南雲堂

▌参考書

適宜、紹介いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業内容：この授業の説明をします。その後、クラスメイト同士で自己紹介をしあいお互いに切磋琢磨するようにしましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
2 回	**授業テーマ：英文手紙の書き方と正しいビジネスレターの日本語の基礎を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。英語のビジネス表現を学ぶことは、日本語の正しいビジネス表現を学ぶことでもあります。日常会話の日本語とビジネスで使う表現は違います。日本語において丁寧さの度合いが異なるように英語でも丁寧さの度合いが異なる表現がたくさんあります。英語にも敬語はあります。丁寧な英語表現について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
3 回	**授業テーマ：電子メールに関する様々な注意点について演習をします** 授業内容：教科書に沿って進めます。電子メールでは様々な決まりがあります。だらだらと書くのはルール違反です。また件名についても様々な決まりごとがあります。ビジネス英語の基本であるビジネスメールの書き方を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
4 回	**授業テーマ：電話の掛け方や特に英語の電話の際の注意点を学びます。** 授業内容：教科書に沿って進めます。電話会話は表情を読み取ることができませんので、特に使用語彙には注意を払うべきです。聴き取りにくい語彙もなるべく使用を控えましょう。電話では極力、一文を短く且つ説明は完結を心がけましょう。電話の英語定型表現を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
5 回	**授業テーマ：面会の申し入れ。　英語での丁寧表現を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。ビジネス会話で使われる英語は通常の会話で使用される語彙とは若干の違いがあります。何気なく使う日常会話英語を超えるビジネス英語会話を修得していきましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
6 回	**授業テーマ：ホテルの予約。　ビジネス英語の電話表現を学びます。** 授業内容：教科書に沿って進めます。ホテル予約の電話でのやり取りを学びます。ホテル側の的確な表現は定型としてある程度修得しておくことが重要です。対面会話とは違う表現方法についても学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
7 回	**授業テーマ：オフィスの移転通知の書き方や必要項目について演習式で学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。オフィス移転の通知は極めて重要です。特に移転の理由は憶測を呼びますので、それを逆手にとって有利な宣伝材料に使う事もできます。教科書の例では事業拡大に伴う移転ですね。移転のお知らせの重要さについて考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
8 回	**授業テーマ：支店の開設案内など、ビジネスに必要な「お知らせ文書」の書き方を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。お知らせ文書の発想の適切なタイミングについても学びます。早すぎず遅すぎず。ビジネスにおいてはタイミングが事柄の成否を左右します。「お知らせ文書」の長さの適切さも重要な要素です。簡潔明瞭なお知らせ文書について学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成

9回	**授業テーマ：レセプションへの招待。背敷きな招待状の丁寧な表現を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。正式な招待状の作成について学びます。使用する用紙の特殊性から使用文字のフォントの特性についても学びます。使用する語彙についても通常のビジネス言語とは違う性格を持ちますのでしっかり学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
10回	**授業テーマ：アンケートの回答依頼。　典型的なアンケートの作成方法を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。アンケートは特に接客業、宿泊業では重要な経営実態評価の一部となります。アンケート作成の基本を学びます。実際に英語のアンケート調査票を作成してみましょう。自由記述欄への対応についても考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
11回	**授業テーマ：資料の送付依頼。　依頼状の書き方を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。カタログ送付依頼、申込書式送付依頼など、様々な依頼文にも定型表現があります。しっかりと定型表現を学び、先方に失礼のない依頼状の書き方を学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
12回	**授業テーマ：慶弔。丁寧な慶弔文を英語で表現できるように練習します** 授業内容：教科書に沿って進めます。慶弔文では定型の文章や丁寧な表現が求められます。また直接的な表現を避ける傾向もあります。ビジネス慶弔文のマナーを学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題
13回	**授業テーマ：会議の通知。　会社内での通知文の書き方を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。会社内の通知文の書式について学びます。教科書のパターンに沿って、所属部署や宛先部署名を変えるなどして様々な書式に対応できるように練習しましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
14回	**授業テーマ：議事録。　英文の議事録の必要要素を演習で学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。議事録は必要な項目が決まっています。就職した際に議事録を書く必要になることがります。入社 3 年目になるとそのような役割が回ってきます。必要項目をしっかり把握しましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
15回	**授業テーマ：英文履歴書作成。基本的な英文履歴書の書式を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。実際に履歴書を書いてみましょう。決まった書式があるので教科書を参考にして履歴書を完成させます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 3.0hr：後学期行ったことを総括する

ビジネスキャリア特講 b

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

篠塚　勝正（しのづか　かつまさ）

▌授業の概要

実践的ビジネス英語のスキルを学びます。1. ビジネス通信 2. 社交、挨拶 3. 社内会話 4. 取引関係 5. 雇用関係、履歴書 と、大きく分けて五つの分野のビジネス実務を英語で運用できるように、学習を進めていきます。この五つの分野は、聞く、会話を交わす、意見を表明する、理論的に自分の主張を展開する、自分自身を売り込める履歴書を書く、などビジネスに必要な様々な要素が含まれている、どれも大切な技能であり、英語だけではなく、日本語でも実践できなければならない重要な事柄ばかりです.
インタラクティブな授業なので、常に積極的な発言が求められます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：1. より高度なビジネスレターを英語で書く力が身につき、日本語でビジネスレターを書く力も習得できる。
2. ビジネスにおける正しい英語と日本語の使い方が身につく。
3. 国際未来社会で活躍できる幅広い教養を持った社会人として活躍できるようになる。グローバルなビジネスシーンで活かすことができる英語コミュニケーション能力を身につけることができる。
4. 自立した社会人にふさわしいビジネス英語運用能力を身に着けることができる。

個別目標：1. 日本語と英語両言語のビジネス用語の基本を身につける。
2. 就職活動にも活かせる正しいビジネスマナーやビジネスの基本的な考え方を理解する。
3. グローバルな環境で発言できる高度な英語コミュニケーション能力を修得する。

▌履修条件

ビジネス英語に興味があり、きちんと提出物を提出できる方。

▌評価基準・方法

授業内試験 60 %
授業貢献度(積極的な発言や情報提供)、課題などの提出物、および小テスト 40 %

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （英語文書を日本語ビジネス文書として相応しい日本語に翻訳します。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ビジネス文書などを word file で提出してもらいます。）

▌教科書

豊田暁 「ビジネス英語エッセンシャルズ」南雲堂

▌参考書

必要に応じて、ハンドアウトを配ります。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：物品の購入** 授業内容：教科書に沿って進めます。社内での物品購入は担当部署への商品購入依頼から始まります。購入理由、納入時期などを明らかに説明し、上司の了承を得るなど、手続きが必要です。備品購入に関するビジネス文書の作成方法について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
2回	**授業テーマ：社内研修の案内** 授業内容：教科書に沿って進めます。研修が用意されている場合、研修出席には上司の許可が必要である事に加え、研修参加後の報告書提出が必要です。研修参加の手順と報告書執筆に必要な要素について英文書式作成を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
3回	**授業テーマ：日程の中間報告** 授業内容：教科書に沿って進めます。海外からのお客様をお迎えする場合には様々なかつ細やかな対応が必要です。本ユニットでは、空港へのお出迎えから見学予定地の設定、お食事会の設定、移動手段の確保と予約など必要な設定について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
4回	**授業テーマ：引き合い(物品照会)** 授業内容：教科書に沿って進めます。購入予定、購入検討中の物品についてその仕様などを問い合わせメールの書式、そのメールへの適切な返信文書の作成方法について学びます。英語のビジネス文書では多くの場合、定型書式があります。大袈裟に言えば、メールの書き出しを読めばそれ以降の内容が容易に推測できるほどです。定型文について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
5回	**授業テーマ：引き合い(在庫確認)** 授業内容：教科書に沿って進めます。典型的な物品在庫確認のメールの書き方を学びます。返信メールでは在庫がない場合の類似商品の提案方法についても学びます。ビジネスの進め方、戦略の基本についても学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
6回	**授業テーマ：注文** 授業内容：教科書に沿って進めます。注文については見やすさを考慮した書式のまとめ方が求められます。一覧表にして記入するのが読みやすい方法ですが、一覧記入に必要な略語なども学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
7回	**授業テーマ：代金の回収** 授業内容：教科書に沿って進めます。代金の回収は段階を踏んで行います。初回の督促状は柔らかい表現で、回を重なるごとに表現を強め、三回目の督促状においては法的措置に訴える可能性もにおわせる等、強制力行使の可能性をにおわせることもあります。慎重かつ有効な督促状の書き方を学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成

8回	**授業テーマ：クレームと調整** 授業内容：教科書に沿って進めます。注文した商品と届けられた商品が一致しない場合には、その旨を伝えなければなりません。文章表現に工夫をし、的確に相手のミスが明確に伝わるように工夫します。個人と異なり、会社は膨大な量のメールを受信していますので、送信メールは相手の事務作業を軽減するように読みやすい、見やすいメールであるよう工夫が必要です。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
9回	**授業テーマ：履歴書** 授業内容：教科書に沿って進めます。履歴者においては根本的に記述方法が異なることがあります。英文履歴者は現在から遡って記載しますが、日本語の履歴書は過去から現在に向かって書き進めますね。英文履歴書は積極的に自己アピールの材料となるように書かれます。実際に自分の英文履歴書も書いてみましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
10回	**授業テーマ：応募の手紙** 授業内容：教科書に沿って進めます。たとえば、転職する時にはどのようなカバレターを書くべきでしょうか。慎重さと大胆さが必要であると言えるでしょう。これまでの自分をアピールすると共に、慎重に自分と応募先企業との必要能力を検討したお手紙を書くべきでしょう。英文カバーレターは何よりも重要な文書です。適切かつ魅力的なカバーレターの書き方を学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
11回	**授業テーマ：推薦状の依頼** 授業内容：教科書に沿って進めます。就職・転職には通常推薦状が必要であるとされています。前職での活躍ぶりやどのような能力があるかについて前職の時の上司が評価をします。日本では推薦状はこれまでは一般的とされていませんでしたが、最近は特に外資系の会社においては推薦状は無くてはならないものです。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
12回	**授業テーマ：面接** 授業内容：教科書に沿って進めます。就職の際の面接は積極性と謙虚さの絶妙なバランスが求められます。使用語彙についても慎重さが求められます。英語による面接の基本について学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
13回	**授業テーマ：面接結果の通知** 授業内容：教科書に沿って進めます。英語のビジネス文書は定型文と言えるものが場面ごとに存在します。例えば、このユニットで学ぶ面接結果の通知においては最初の一文の 5 文字程度を読む程度で合否が明確に分かります。使用語彙で判別可能です。すなわち、場面ごとに使用語彙がある程度固定されているという事です。このような意味合いで、TOEIC においても解法が固定されるわけです。ビジネス文書の学修は TOEIC 攻略に直結します。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
14回	**授業テーマ：総合演習** 授業内容：教科書に沿って進めます。教科書の総復習をします。英文を適切な日本語ビジネス文として翻訳できるかなど、英語ビジネス文のみならず日本語ビジネス文書の修得を目指したしたこの授業の目的が達成されたか否かを測定する復習備えて振り返り学修をします。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
15回	**授業テーマ：実践ライティング** 授業内容：与えられたトピック、目的に合致するよう文書を作成する実践練習を授業内で実施します。総復習の授業です。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 3.0hr：後学期行ったことを総括する

中国ビジネス入門

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国ビジネスに関心のある学生あるいは将来中国ビジネスの現場で活動したいと考えている学生を対象として、中国ビジネスの基本を学習するとともに、最近の経済・ビジネスに関する論文・論説やニュースを理解するための知識を習得します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：中国経済やビジネスに関する基本的な事柄について理解できるようにする。

個別目標：1. 中国の経済構造の特徴や世界経済に占める位置、これまでの成長の過程を説明することができる。

2. ビジネスに必要な戦略や概念を、具体的な企業や産業を事例を通して説明することができる。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

試験(小テストを含む)や課題への取り組みなどを総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

教科書は使用しない。

▌参考書

授業中、適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・中国についての基礎的情報** 授業内容：中国の概要について。 事前学修 2.0hr：中国ビジネスについて知りたいことをまとめておく 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
2回	**授業テーマ：社会主義市場経済体制** 授業内容：中国の社会経済体制としての社会主義市場経済について。 事前学修 2.0hr：中華人民共和国成立以降の中国の歴史を調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
3回	**授業テーマ：社会主義と資本主義** 授業内容：社会主義と資本主義の考え方の相違について。 事前学修 2.0hr：中国の社会主義について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
4回	**授業テーマ：市場経済と計画経済** 授業内容：市場経済と計画経済のしくみについて。 事前学修 2.0hr：市場経済について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
5回	**授業テーマ：経済発展と産業構造** 授業内容：経済発展に伴う経済構造の変容について。 事前学修 2.0hr：産業構造について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
6回	**授業テーマ：中国の農業ビジネス** 授業内容：中国における農業ビジネスの経緯と課題について。 事前学修 2.0hr：中国の農業について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
7回	**授業テーマ：中国の製造業** 授業内容：中国製造業の変遷と今後の課題。 事前学修 2.0hr：中国の製造業について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
8回	**授業テーマ：中国の IT 産業** 授業内容：中国の IT 産業の発展と今後の課題について。 事前学修 2.0hr：中国の IT 産業について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
9回	**授業テーマ：中国人の「爆買い」** 授業内容：中国人の需要構造の変化と今後の動向について。 事前学修 2.0hr：中国人の海外旅行について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
10回	**授業テーマ：中国の通貨政策と仮想通貨** 授業内容：金融政策における課題と国際化の動向について。 事前学修 2.0hr：人民元について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
11回	**授業テーマ：中国の不動産ビジネス** 授業内容：中国の不動産ビジネスの現状と課題について。 事前学修 2.0hr：中国のマンションについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
12回	**授業テーマ：中国の知的財産ビジネス** 授業内容：特許などの出願件数の増大と今後の動向について。 事前学修 2.0hr：特許権について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。

13回	**授業テーマ：中国からの企業撤退** 授業内容：中国からの企業撤退が容易ではない事情について。 事前学修 2.0hr：中国における外国企業のトラブルについて調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
14回	**授業テーマ：脱一人っ子政策** 授業内容：人口政策の変遷と人口動態の変化、今後の動向など。 事前学修 2.0hr：中国の人口統計について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。
15回	**授業テーマ：中国の指導体制** 授業内容：中国の指導体制の変容と今後の見通しについて。 事前学修 2.0hr：中国共産党の政策について調べる 事後学修 2.0hr：授業内容について復習する。

中国経済Ⅰ

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国経済の特徴をさまざまな側面から詳しく検討します。中国経済Ⅰ、中国経済Ⅱを通して中国経済に関する全体の内容をカバーする予定です。まず中国経済Ⅰでは、中国経済の工業、農業、労働問題を中心に扱います。中国経済Ⅱでは貿易、金融、環境、所得格差などのトピックスを扱う予定です。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2/3、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：中国経済の抱えている課題は何か、工業や農業は持続的な発展が可能か、世界経済危機は中国経済にどのような影響を与えたか、所得格差は世界的にみて大きいのか、そしてその社会的影響は、など中国にかかわる経済問題を具体的に論じることのできる力を身につけることが目標です。

個別目標：中国の経済発展の流れ、概要を正しく理解し、説明できること。また工業・農業の抱えている課題、労働移動がもたらす影響、これからの労働市場の変化について自分の言葉で表現し、積極的に意見交換のできる力を持つことを目標とします。

▌履修条件

教科書を必ず購入すること。

▌評価基準・方法

試験 70 %、レポートおよび授業への積極性などにより 30 %で評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

梶谷懐・藤井大輔編著『新現代中国経済論』ミネルヴァ書房。

▌参考書

講義の中で適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：講義の目標、全体の説明** 授業内容：講義全体の進め方に関する説明。 事前学修 2.0hr：教科書の第一章を一度通読すること。 事後学修 2.0hr：教科書の第一章にもう一度目を通すこと。
2回	**授業テーマ：改革開放以前の中国経済** 授業内容：計画経済時代の中国経済の概要。 事前学修 2.0hr：教科書の第一章のⅠを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第一章のⅠを再読する。
3回	**授業テーマ：改革開放以後の中国経済** 授業内容：改革開放以後の中国経済の概要。 事前学修 2.0hr：教科書の第一章、ⅡとⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第一章のⅡ、Ⅲを再読する。
4回	**授業テーマ：社会主義市場経済** 授業内容：社会主義市場経済という言葉の意味することについて。 事前学修 2.0hr：教科書の第二章のⅠを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第二章のⅠを再読する。
5回	**授業テーマ：移行経済と漸進型経済発展** 授業内容：中国が置かれている現状である移行経済体制と漸進型経済改革について。 事前学修 2.0hr：教科書第二章のⅡ、Ⅲを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第二章Ⅱ、Ⅲを再読する。
6回	**授業テーマ：ペティ＝クラークの法則** 授業内容：経済発展と産業構造の変遷について。 事前学修 2.0hr：教科書第三章のⅠ、Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第三章のⅠ、Ⅱを再読する。
7回	**授業テーマ：工業成長の要因分解** 授業内容：中国経済の成長要因分解について。 事前学修 2.0hr：教科書第三章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第三章Ⅲを再読する。
8回	**授業テーマ：改革以前の国有企業** 授業内容：改革開放以後の国有企業改革の成果と課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第四章Ⅰ、Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第四章Ⅰ、Ⅱを再読する。
9回	**授業テーマ：国有企業改革と所有制の多様化** 授業内容：国有企業改革における所有制の変化と今後の課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第四章Ⅲを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第四章Ⅲを再読する。
10回	**授業テーマ：改革以前の農村** 授業内容：計画経済時代の農村経済について。 事前学修 2.0hr：教科書第五章Ⅰを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第五章Ⅰを再読する。
11回	**授業テーマ：農家経営請負制度** 授業内容：改革開放による農村経済の変化と農家経営請負制度について。 事前学修 2.0hr：教科書第五章Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第五章Ⅱを再読する。

12回	**授業テーマ：「三農問題」の深刻化** 授業内容：農業、農村、農民(三農)問題の所在と今後の課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第五章Ⅲを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第五章Ⅲを再読する。
13回	**授業テーマ：人口転換と一人っ子政策** 授業内容：人口転換モデルと中国の現状について。 事前学修 2.0hr：教科書第六章Ⅰを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第六章Ⅰを再読する。
14回	**授業テーマ：都市労働市場と失業問題** 授業内容：都市労働市場の形成と失業問題について。 事前学修 2.0hr：教科書第六章Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第六章Ⅱを再読する。
15回	**授業テーマ：農村労働力の移動** 授業内容：出稼ぎ労働者による労働移動について。 事前学修 2.0hr：教科書第六章Ⅲを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第六章Ⅲを再読する。

中国経済Ⅱ

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

高田　誠（たかだ　まこと）

▌授業の概要

中国経済の特徴をさまざまな側面から詳しく検討します。中国経済Ⅰ、中国経済Ⅱを通して中国経済全体の内容をカバーする予定です。中国経済Ⅰでは中国経済の工業、農業、労働問題を中心に扱い、中国経済Ⅱでは貿易、金融、環境、所得格差などのトピックスを扱います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ③、英米語学科 2/3、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：中国経済の抱えている課題は何か、工業や農業は持続的な発展が可能か、世界経済危機は中国経済にどのような影響を与えたか、所得格差は世界的にみて大きいのか、そしてその社会的影響は、など中国にかかわる経済問題を具体的に論じることのできる力を身につけることが目標です。

個別目標：中国経済の発展が、アジア全体における雁行形態的発展の中にあること、輸入代替工業化から輸出志向工業化への転換に合わせていること、比較優位の変化を利用して貿易の利益を最大化することに成功していること、環境と成長のトレードオフを考えることが中国経済の今後を左右すること、そして所得格差の拡大がもたらす社会的摩擦など、中国経済の個々のテーマについて自分の意見を述べることができることを目標とします。

▌履修条件

教科書を必ず購入すること。中国経済Ⅰを受講していることが望ましい。

▌評価基準・方法

試験(小テストを含む)等 80 %、課題への積極性 20 %に基づき総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

梶谷懐・藤井大輔編著『新現代中国経済論』ミネルヴァ書房。

▌参考書

講義の中で適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：直接金融と間接金融** 授業内容：経済発展における金融仲介機能としての直接金融と間接金融について。 事前学修 2.0hr：教科書第七章のⅠを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第七章Ⅰを再読する。
2回	**授業テーマ：金融政策とマクロコントロール** 授業内容：金融政策を通じたマクロコントロールについて。 事前学修 2.0hr：教科書第七章のⅡを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第七章Ⅱを再読する。
3回	**授業テーマ：バブル経済と不良債権問題** 授業内容：不動産バブルと不良債権問題について。 事前学修 2.0hr：教科書第七章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第七章Ⅲを再読する。
4回	**授業テーマ：国際貿易と経済成長** 授業内容：国際貿易を通じた経済成長の可能性について。 事前学修 2.0hr：教科書第八章のⅠを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第八章Ⅰを再読する。
5回	**授業テーマ：輸入代替工業化と輸出志向工業化** 授業内容：輸入代替工業化と輸出志向工業化の相違と今後の課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第八章のⅡを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第八章Ⅱを再読する。
6回	**授業テーマ：雁行形態的発展と中国** 授業内容：東アジアにおける雁行形態的発展メカニズムについて。 事前学修 2.0hr：教科書第八章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第八章Ⅲを再読する。
7回	**授業テーマ：人民元と為替レート** 授業内容：人民元の国際化とデジタル化について。 事前学修 2.0hr：教科書第九章のⅠを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第九章Ⅰを再読する。
8回	**授業テーマ：海外直接投資の役割** 授業内容：海外からの直接投資が果たす役割について。 事前学修 2.0hr：教科書第九章のⅡを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第九章Ⅱを再読する。
9回	**授業テーマ：技術導入と外資導入政策** 授業内容：技術導入と技術発展を加速する手段について。 事前学修 2.0hr：教科書第九章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第九章Ⅲを再読する。
10回	**授業テーマ：中華経済圏と世界経済** 授業内容：中国経済と世界経済との融合と今後の課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第十章を精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十章を再読する。
11回	**授業テーマ：日中経済関係の発展** 授業内容：日中経済関係の今後の課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第十一章のⅠ、Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十一章Ⅰ、Ⅱを再読する。

12回	**授業テーマ：対中経済協力の展開** 授業内容：対中 ODA など経済協力の成果と課題について。 事前学修 2.0hr：教科書第十一章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十一章Ⅲを再読する。
13回	**授業テーマ：中国のエネルギー構造** 授業内容：中国のエネルギー消費構造とエネルギー確保について。 事前学修 2.0hr：教科書第十二章のⅠ、Ⅱを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十二章Ⅰ、Ⅱを再読する。
14回	**授業テーマ：環境政策と経済発展** 授業内容：中国における環境保護と経済発展について。 事前学修 2.0hr：教科書第十二章のⅢを精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十二章Ⅲを再読する。
15回	**授業テーマ：所得格差と貧困問題** 授業内容：経済発展と所得格差の拡大について。 事前学修 2.0hr：教科書第十三章を精読し、要点と疑問点をまとめる。 事後学修 2.0hr：講義の内容と照らし合わせながら、第十三章を再読する。

日中観光実務 I

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小川　唯（おがわ　ゆい）

▌授業の概要

日本と中国の観光資源について学びます。日本と中国にある世界遺産について調査とプレゼンテーションの演習を行い、異文化間での説明や案内に必要な論理的思考力を鍛え、表現力を磨きます。また、プレゼンテーションの評価や質疑応答も学生参加型で行うことにより、主体的かつ客観的な視点から授業内容に対する理解を深めます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 2/3、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：日本・中国の観光資源の地理的・歴史的特徴および世界遺産概要を理解する。
観光プロモーションを想定した、効果的な資料作りやプレゼンテーションができるようになる。
個別目標：日本・中国の世界遺産について、正確な情報を調べることができ、魅力を伝えることができる。
資料作成を通じて、最低限必要な基本作法、パソコンソフトの応用力を身につける。
発表や質疑応答により、自身の思考や行動を客観視し調整する経験を積み、表現力を磨く。

▌履修条件

人前でのプレゼンテーションに積極的に取り組むこと。

▌評価基準・方法

期末テスト(30%)、プレゼンテーション・相互評価(40%)、受講状況や議論への積極性等(30%)により総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba で行います。
プレゼンテーションに対しては、教員・受講者によるルーブリック評価を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション・相互評価）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PowerPoint 資料の作成）

▌教科書

プリント教材を配布します。

▌参考書

適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、観光業界の基礎知識** 授業内容：授業の進め方や評価方法を把握します。また、日本におけるインバウンド業界の動向や基本的な用語について理解します。 事前学修 2.0hr：外国人観光客についてのニュースを調べる 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、日本の観光業の利点と課題について考える
2回	**授業テーマ：講義：中国人観光客に関する統計分析** 授業内容：政府観光局の資料をもとに、中国人訪日客の動向について理解します。 事前学修 2.0hr：中国人観光客についてのニュースを調べる 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、中国人観光客に関する統計を分析する
3回	**授業テーマ：講義：世界遺産概要** 授業内容：世界遺産の基本情報について理解します。 事前学修 3.0hr：世界遺産概要について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
4回	**授業テーマ：講義：日本の世界遺産** 授業内容：日本の世界遺産の全体像を把握します。 事前学修 2.0hr：日本の世界遺産一覧表を作成する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、一覧表を完成させる
5回	**授業テーマ：講義：中国の世界遺産** 授業内容：中国の世界遺産の全体像を把握します。 事前学修 3.0hr：中国の世界遺産一覧表を作成する 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、一覧表を完成させる
6回	**授業テーマ：講義：日本と中国の世界遺産比較** 授業内容：日本と中国の世界遺産を比較し、それぞれの特徴を分析します。また、プレゼンテーションの分担を決めます。 事前学修 2.0hr：日本と中国の世界遺産の相違点を考える 事後学修 2.0hr：講義内容を復習する
7回	**授業テーマ：講義・演習：パワーポイント活用法、プレゼンテーションの注意点** 授業内容：観光プロモーションの様々な方法を理解し、プレゼンテーションの基本的な形式や留意点を把握します。また、実際にパワーポイントで発表資料を作成しながら、効果的な見せ方の技術を検討します。 事前学修 2.0hr：パワーポイントの動作を確認しておく。担当する世界遺産の概要を調べておく。 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、パワーポイントで発表資料の一部を作成する
8回	**授業テーマ：講義・演習:配布資料作成の基礎、注意点** 授業内容：配布資料作成における要点、留意点を把握し、担当する世界遺産の発表資料と配布資料の作成作業を行います。また、プレゼンテーションの評価基準を把握します。 事前学修 2.0hr：パワーポイント資料の配布資料案を作成する 事後学修 3.0hr：講義を振り返り、パワーポイントと配布資料を修正する
9回	**授業テーマ：分担発表：中国と日本の世界遺産（1）** 授業内容：分担発表者が世界遺産についてプレゼンテーションを行います。受講者は全員、プレゼンテーションに対する評価と質疑応答を行います。 事前学修 2.0hr：分担発表の準備を行う 事後学修 2.0hr：発表を振り返り、プレゼンテーションを修正する
10回	**授業テーマ：分担発表：中国と日本の世界遺産（2）** 授業内容：分担発表者が世界遺産についてプレゼンテーションを行います。受講者は全員、プレゼンテーションに対する評価と質疑応答を行います。 事前学修 2.0hr：分担発表の準備を行う 事後学修 2.0hr：発表を振り返り、プレゼンテーションを修正する

11回	**授業テーマ：分担発表：中国と日本の世界遺産（3）** 授業内容：分担発表者が世界遺産についてプレゼンテーションを行います。受講者は全員、プレゼンテーションに対する評価と質疑応答を行います。 事前学修 2.0hr：分担発表の準備を行う 事後学修 2.0hr：発表を振り返り、プレゼンテーションを修正する
12回	**授業テーマ：分担発表：中国と日本の世界遺産（4）** 授業内容：分担発表者が世界遺産についてプレゼンテーションを行います。受講者は全員、プレゼンテーションに対する評価と質疑応答を行います。 事前学修 2.0hr：分担発表の準備を行う 事後学修 2.0hr：発表を振り返り、プレゼンテーションを修正する
13回	**授業テーマ：講義：世界遺産の諸問題** 授業内容：世界遺産が抱える環境問題や武力紛争の被害などについて概要を把握します。 事前学修 2.0hr：世界遺産登録をめぐる問題について調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、関連する事例を調べる
14回	**授業テーマ：講義：持続可能な観光の取り組み** 授業内容：世界遺産が行っている持続可能な観光のための様々な対策について理解します。 事前学修 2.0hr：持続可能な観光の取り組みを行っている世界遺産の事例を調べる 事後学修 2.0hr：講義内容を復習し、日本や中国の観光地で行うべき取り組みを考える。
15回	**授業テーマ：総合討論、授業内テスト** 授業内容：世界遺産についての知識の理解度およびインバウンド業界に対する思考力を確認します。また、世界遺産プレゼンテーションのフィードバックを行い、優秀者を表彰します。 事前学修 3.0hr：講義全体の内容を復習する 事後学修 2.0hr：プレゼンテーションのフィードバックを確認し、改善方法を考える。

日中観光実務Ⅱ

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小川　唯（おがわ　ゆい）

▌授業の概要

日本における観光業に関する資料を読み、中国語圏の観光客・商用客の動向や訪日の背景を理解します。また、インバウンドビジネスの現場を知るため、関連業界から講師をお招きして講演会を実施します。さらに、観光業の将来を見据えた取り組みの事例を把握したうえで、受講者自身で問題解決のためのアイデアを企画書としてまとめ、発表します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 2/3、中国語学科〔中国語専攻 2、GSM 5〕）

一般目標：日本・中国の観光産業に関連する知識を深め、データをもとにした分析能力を養う。
　　中国語圏の人々の訪日背景や習慣の違いを理解し、情報交換や問題解決のためのコミュニケーション能力を磨く。
個別目標：日本・中国の観光産業に関する論述や統計資料を読んで理解し、概要をまとめ、自分なりの分析を行うことができる。
　　観光業の課題を解決するアイデアを企画書にまとめ、発表できるようになる。
　　既習の知識をもとに、業界講演において適切な質疑応答ができる。

▌履修条件

社会人としての意識を持ち、授業内の課題および質疑応答に対して積極的に取り組むこと。

▌評価基準・方法

企画書作成・発表(40%)、業界講演についてのレポート(10%)、受講状況、議論や分担講読などへの積極性(50%)により総合的に評価します。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、講義における解説および学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word 資料の作成）

▌教科書

プリント資料を配布します。

▌参考書

適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス、観光業界基礎知識** 授業内容：説明を聞き、授業の進め方や評価方法を把握します。また、日本政府の観光立国に向けた施策の経緯を理解します。 事前学修 2.0hr：観光立国について調べる 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、観光業界のキーワードについて復習する
2回	**授業テーマ：講義：中国語圏の訪日観光客に関するアンケート結果 (1) 観光目的等** 授業内容：日本政府観光局のデータに沿って、中国語圏の観光客の動向(観光目的等)を理解します。 事前学修 2.0hr：中国語圏の訪日観光客に関する資料を探して目を通す 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、日本のインバウンド市場の課題をまとめる
3回	**授業テーマ：講義：中国語圏の訪日観光客に関するアンケート結果 (2) 消費動向** 授業内容：日本政府観光局のデータに沿って、中国語圏の観光客の消費動向を理解します。 事前学修 2.0hr：配布資料を読み、傾向を分析する 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、日本のインバウンド市場の課題をまとめる
4回	**授業テーマ：インバウンドに関する資料紹介** 授業内容：インバウンドに関する資料やウェブサイトを閲覧し、用途を把握します。各国との比較を通じて、中国語圏の訪日観光客の特徴をつかみます。 事前学修 2.0hr：訪日外国人の最新動向を調べる 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、中国語圏の訪日観光客の特徴をまとめる
5回	**授業テーマ：演習：レジュメ・企画書作成** 授業内容：分担講読のレジュメ、最終課題の企画書を作成する際の基本事項および留意点を把握します。パソコンを操作し、これらの課題作成の準備と個別指導を行います。 事前学修 2.0hr：パソコンソフトの動作確認をする。講読する資料全体に目を通しておく。 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、分担講読の資料を作成する
6回	**授業テーマ：講義：訪日から帰国までの流れ** 授業内容：訪日外国人が行う各種手続きと関連する制度の概要を把握します。グループワークにより、身近にあるインバウンドビジネスの実態について情報交換を行います。 事前学修 2.0hr：中国語圏の各地における訪日ビザ(査証)の種類と要件について調べる 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、中国語圏における訪日ビザ取得条件の違いをまとめる
7回	**授業テーマ：分担講読(1)小売業・飲食業** 授業内容：インバウンドビジネスの工夫と課題に関する資料を読み、調査した内容を加えて理解します。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。資料の内容に照らし、レジュメ・企画書を作成する。 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、企画書を修正する
8回	**授業テーマ：分担講読(2)宿泊業・旅行業** 授業内容：インバウンドビジネスの工夫と課題に関する資料を読み、調査した内容を加えて理解します。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。資料の内容に照らし、レジュメ・企画書を作成する。 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、企画書を修正する
9回	**授業テーマ：分担講読(3)運輸業・娯楽業** 授業内容：インバウンドビジネスの工夫と課題に関する資料を読み、調査した内容を加えて理解します。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。資料の内容に照らし、レジュメ・企画書を作成する。 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、企画書を修正する
10回	**授業テーマ：分担講読(4)地方自治体** 授業内容：インバウンドビジネスの工夫と課題に関する資料を読み、調査した内容を加えて理解します。 事前学修 2.0hr：指定された資料を読んでおく。資料の内容に照らし、レジュメ・企画書を作成する。 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、企画書を修正する

11回	**授業テーマ：業界講演** 授業内容：インバウンド業界に携わる外部講師による業界講演を聞き、具体的な現状や業務、将来の展望などについて理解を深めます。 事前学修 2.0hr：外部講師の企業の業務内容を調べ、質問を考えておく 事後学修 2.0hr：講演を振り返り、レポートを提出する
12回	**授業テーマ：講義：日本と中国語圏の観光企画例** 授業内容：日本と中国語圏の代表的な観光企画を確認し、特徴を分析します。また、観光地におけるオーバーツーリズムや環境問題などの課題と、その対策を兼ねた個性的な観光企画の事例を把握し、魅力的な企画とは何かを考えます。 事前学修 2.0hr：日本または中国語圏の有名な観光ツアーを調べる 事後学修 2.0hr：講義を振り返り、企画書を修正し、提出する
13回	**授業テーマ：企画書発表会 (1) ツアープランニング部門** 授業内容：各自が企画書を発表し、質疑応答を行います。 事前学修 2.0hr：企画書発表の準備を行う 事後学修 2.0hr：質疑応答を振り返り、企画書を修正し、完成させる
14回	**授業テーマ：企画書発表会 (2) 業務改善部門** 授業内容：各自が企画書を発表し、質疑応答を行います。 事前学修 2.0hr：企画書発表の準備を行う 事後学修 2.0hr：質疑応答を振り返り、企画書を修正し、完成させる
15回	**授業テーマ：総合討論** 授業内容：企画書に対する総評がフィードバックされ、優秀者は表彰されます。今後のインバウンドビジネスについて議論します。 事前学修 2.0hr：講義全体を振り返り、総合討論に備える 事後学修 2.0hr：議論を振り返り、修正を加えた企画書を再度提出する

通訳の基礎 a

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小林　裕子（こばやし　やすこ）

▌授業の概要

通訳に必要な、正確に聴く力・正確に要約する力・正確に他言語に変換する力を身につける授業です。
日常生活に関わる通訳や簡単な観光通訳ができるような力を身につけられるように学修を進めます。
通訳人には一般常識や一般教養が必要です。
日頃から国内外の社会の動きに興味を持つことによって、通訳人としての実力アップにつなげましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1/2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：グローバル社会で活躍できる教養と英語コミュニケーション力を通訳として活用することができる
　　言語、文化、ビジネスの分野で、英語コミュニケーション力を生かして活躍することができる
　　就職後に継続的に学び続けるための基礎力を身に着けることができる
個別目標：通訳に必要な一般教養を自発的に学ぶ
　　英語の語彙力を深め、広げて、通訳に必要なコミュニケーションの応用力を身につける
　　文章の要約力、説明力を身につける

▌履修条件

継続的に自主的に語彙力を磨くことに興味がある方
忍耐力と継続力に自信がある方
忍耐力と継続力を身につけたい方

▌評価基準・方法

期末試験 60 %
授業への積極的貢献度、提出物の充実度、授業内の積極的発言など 40 %

▌フィードバック方法

manaba を通して個別にフィードバックします
授業内で模範解答を紹介します
提出物を対面で返却します

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内での通訳練習を行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （語彙検索などを行います）

▌教科書

通訳とコミュニケーションの総合演習［改訂版］　南雲堂

▌参考書

必要に応じて紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：半期にわたって学ぶ内容を教科書の目次を使いながら概観する どのように語彙力や要約力をつけていくのか考えてみる 事前学修 2.0hr：オリエンテーションでの自己紹介を考えておく。 事後学修 2.0hr：次回に向けて教科書を下読みしておく
2 回	**授業テーマ：家族　1** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ。 家族に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
3 回	**授業テーマ：家族　Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ。 家族に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
4 回	**授業テーマ：大学生活　Ⅰ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ。 大学生活に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
5 回	**授業テーマ：大学生活　Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ。 大学生活に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
6 回	**授業テーマ：趣味　Ⅰ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 趣味に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
7 回	**授業テーマ：趣味　Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ。 趣味に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する

8回	**授業テーマ：海外文化　Ⅰ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 海外生活に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
9回	**授業テーマ：海外文化　Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 海外生活に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
10回	**授業テーマ：国際交流１－１** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 国際交流に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
11回	**授業テーマ：国際交流１－Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 国際交流に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
12回	**授業テーマ：国際交流２－１** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 国際交流に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
13回	**授業テーマ：国際交流２－Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 国際交流に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
14回	**授業テーマ：通訳演習** 授業内容：前学期で学んだ内容を応用して通訳の実践を行う 事前学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
15回	**授業テーマ：通訳演習** 授業内容：前学期で学んだ内容を応用して通訳の実践を行う 事前学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する

通訳の基礎 b

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小林　裕子（こばやし　やすこ）

▌授業の概要

通訳に必要な、正確に聴く力・正確に要約する力・正確に他言語に変換する力を身につける授業です。
日常生活に関わる通訳や簡単な観光通訳ができるような力を身につけられるように学修を進めます。
通訳人には一般常識や一般教養が必要です。
日頃から国内外の社会の動きに興味を持つことによって、通訳人としての実力アップにつなげましょう。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1/2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：グローバル社会で活躍できる教養と英語コミュニケーション力を通訳として活用することができる
　　言語、文化、ビジネスの分野で、英語コミュニケーション力を生かして活躍することができる
　　就職後に継続的に学び続けるための基礎力を身に着けることができる
個別目標：通訳に必要な一般教養を自発的に学ぶ
　　英語の語彙力を深め、広げて、通訳に必要なコミュニケーションの応用力を身につける
　　文章の要約力、説明力を身につける

▌履修条件

継続的に自主的に語彙力を磨くことに興味がある方
忍耐力と継続力に自信がある方
忍耐力と継続力を身につけたい方

▌評価基準・方法

期末試験 60 %
授業への積極的貢献度、提出物の充実度、授業内の積極的発言など 40 %

▌フィードバック方法

manaba を通して個別にフィードバックします
授業内で模範解答を紹介します
提出物を対面で返却します

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （授業内での通訳練習を行います）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （語彙検索などを行います）

▌教科書

通訳とコミュニケーションの総合演習［改訂版］　南雲堂

▌参考書

必要に応じて紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後学期に学ぶ内容を教科書の目次を使いながら概観する どのように語彙力や要約力をつけていくのか考えてみる 事前学修 2.0hr：前学期に行った通訳演習を思い返して、記憶しているかどうかを確認する。 事後学修 2.0hr：次回に向けて教科書を下読みしておく
2 回	**授業テーマ：日本の文化　Ⅰ　1** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ。 日本の文化に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
3 回	**授業テーマ：日本の文化　Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ。 日本の文化に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
4 回	**授業テーマ：数字で説明する私たちの世界　Ⅰ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ。 私たちの周りにある数字(統計など)に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
5 回	**授業テーマ：数字で説明する私たちの世界　Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ。 統計資料の説明などに関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
6 回	**授業テーマ：観光　Ⅰ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 観光に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
7 回	**授業テーマ：観光　Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ。 観光に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する

8回	**授業テーマ：社会事情　1－1　Ⅰ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 社会事情に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
9回	**授業テーマ：社会事情1－Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 社会事情に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
10回	**授業テーマ：社会事情2－1** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 社会事情に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
11回	**授業テーマ：社会事情2－Ⅱ** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ 社会事情に関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
12回	**授業テーマ：コミュニケーション　1** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ コミュニケーションに関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
13回	**授業テーマ：コミュニケーション2** 授業内容：教科書に沿って英文作成・リスニング・シャドーイング・日本語訳文作成など通訳に必要な技能を学ぶ コミュニケーションに関する語彙を中心に学び、使ってみる。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
14回	**授業テーマ：通訳演習** 授業内容：後学期で学んだ内容を応用して通訳の実践を行う 事前学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する
15回	**授業テーマ：通訳演習** 授業内容：後学期で学んだ内容を応用して通訳の実践を行う 事前学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する 事後学修 2.0hr：教科書の指定部分を応用して通訳文案を作成する

時事英語 a

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

この授業では国際問題、経済・科学問題、社会・文化問題に関する英字新聞の記事を輪読する。最新の記事を輪読することで、就職試験や教員採用試験、英語運用試験で求められる時事英語を身につけることを目指す。また、AI を使った構文解析も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1/3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：英文ニュースを通じて、急速に変動する国際未来社会に適応するための知識と英語力を身につける。

個別目標：1. 英文で国際問題や経済問題、社会問題を理解できる。
2. 時事問題について自らの考えを持つことができる。
3. 英検準 1 級、TOEIC750 点レベル以上に英語力を高めることができる。

▌履修条件

国際問題や経済問題、社会問題に関心があり、授業に積極的に参加することができること。全員で構文読解をするため予習は必須。

▌評価基準・方法

（1）平常点：60 %、（2）記事要約：40 %

なお、原則として 3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学生主体で構文読解を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （AI を使った構文解析を行う。）

▌教科書

毎週読む記事を事前に指定する。

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、評価方法、英文記事の読み方について説明する。 事前学修 2.0hr：最近関心を持っている国際問題について紹介できるように準備する。 事後学修 2.0hr：他の受講者が関心を持っている国際問題・社会問題について調べる。
2 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
3 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
4 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
5 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
6 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
7 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
8 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
9 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
10 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
11 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。

12回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
13回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
14回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
15回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。

時事英語 a

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小林　裕子（こばやし　やすこ）

▌授業の概要

英字新聞とに日本語の新聞の記事を読みながら内容を検討します。トピックのバックグラウンドについて知識を得たうえで、スピーチや記者会見が現代社会の問題の中でどのような意味を持っているのかを探っていきます。国際関係の基礎知識・国際政治の基礎知識・現代社会の抱える諸問題の背景を学習し、説得力のあるわかりやすい解説的な通訳・翻訳技術を習得します。アクティブラーニングに根差した問題発見能力を涵養します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1/3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：国内外の社会情勢に関する基礎知識を学習し、自らの考えを形成していく過程を丁寧に身につけることができる。
　　社会の変化に柔軟に対応できる知識と、ビジネスで幅広く生かすことができる能力、グローバルな教養を身につけてコミュニケーション能力を高めます。
個別目標：分析力を高め、独自の考え方を提示できるような考え方を身につけることができる。
　　グローバルな環境に自分を置いても、自立して積極的に自己を確立し、発言することができるようになる。
　　わかりやすく自分の考えの要点を簡潔にまとめて発言できるようになる。

▌履修条件

積極的に講義に参加し、自分なりの意見をもち、客観的に問題を解釈し、社会の仕組みを解明したいと考える方。
強い意志とやる気のある学生さんの受講を望みます。

▌評価基準・方法

発表、レポート、授業貢献度など総合的に判断し評価します。
期末試験 60 %
授業中の積極的発言、提出レポート 40 %

▌フィードバック方法

manaba での模範解答掲示、manaba での個別コメント、課題の対面返却

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （自分の意見を発表する機会）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （その場で関連事項を検索して発表する機会）

▌教科書

毎回、英字新聞資料を配布します。

▌参考書

必要に応じて紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 事前学修 2.0hr：オリエンテーションでの自己紹介をかんがえておく。 事後学修 2.0hr：仲間の名前を特徴をしっかりと覚え、次回からの講義でのコミュニケーションに生かす。
2 回	**授業テーマ：国内政治を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 政治に関心を持つことの重要性について考えましょう 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
3 回	**授業テーマ：国内政治を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 日本の政治が海外でどう評価されているかを読み解きましょう 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
4 回	**授業テーマ：国内政治を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 日本の政治における問題はどのような特色があるのだろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
5 回	**授業テーマ：経済問題の記事を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 日本の経済はどのような変化をたどってきたのだろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
6 回	**授業テーマ：経済共同体に関する記事を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 経済面での世界的な協力関係について学んでみよう 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
7 回	**授業テーマ：日本の選挙に関する記事を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 日本の選挙の特徴はどのようなものだろう。投票率などについても考えてみよう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる

8回	**授業テーマ：日本の選挙に関する記事を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 選挙とはどのような仕組みになっているのだろう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
9回	**授業テーマ：米国の選挙に関する記事を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 米国の選挙は関心が高いのだろうか。二大政党にはどのような特色があるのだろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
10回	**授業テーマ：日本の政治を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 日本の政治家の一般的な特徴は時代とともに変遷しているのだろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
11回	**授業テーマ：日米関係を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 日米関係は日本にとってどのような意味で重要なのであろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
12回	**授業テーマ：日米関係を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 日米関係の変遷について調べてみよう 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
13回	**授業テーマ：日米同盟関係を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 日米同盟とはどのようなものなのだろう。軍事的にはどのような関係なのだろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
14回	**授業テーマ：日米同盟関係を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 引き続き日米同盟について考えてみよう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
15回	**授業テーマ：日米貿易関係を英字新聞で読む** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表し、ディスカッションに積極的に参加する。 日米の貿易関係の変化についてかんがえてみよう。相互の輸出入にはどのような毒色があるのだろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる

時事英語 b

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要

この授業では国際問題、経済・科学問題、社会・文化問題に関する英字新聞の記事を輪読する。最新の記事を輪読することで、就職試験や教員採用試験、英語運用試験で求められる時事英語を身につけることを目指す。また、AI を使った構文解析も行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1/3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：英文ニュースを通じて、急速に変動する国際未来社会に適応するための知識と英語力を身につける。

個別目標：1. 英文で国際問題や経済問題、社会問題を理解できる。
2. 時事問題について自らの考えを持つことができる。
3. 英検準 1 級、TOEIC750 点レベル以上に英語力を高めることができる。

▌履修条件

国際問題や経済問題、社会問題に関心があり、授業に積極的に参加することができること。全員で構文読解をするため予習は必須。

▌評価基準・方法

（1）平常点：60 %、（2）記事要約：40 %

なお、原則として 3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業内および学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （学生主体で構文読解を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （AI を使った構文解析を行う。）

▌教科書

毎週読む記事を事前に指定する。

▌参考書

適宜指定する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、評価方法、英文記事の読み方について説明する。 事前学修 2.0hr：最近関心を持っている国際問題について紹介できるように準備する。 事後学修 2.0hr：他の受講者が関心を持っている国際問題・社会問題について調べる。
2 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
3 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
4 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
5 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
6 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
7 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
8 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
9 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
10 回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
11 回	**授業テーマ：英文記事要約** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。

12回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
13回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
14回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。
15回	**授業テーマ：英文記事輪読** 授業内容：指定した英文記事の輪読を行う。 事前学修 2.0hr：指定された記事を読み、輪読の準備をする。 事後学修 2.0hr：記事を読み直し、内容と語彙を確認して要約を作成する。

時事英語 b

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小林　裕子（こばやし　やすこ）

▌授業の概要

世界で起きている諸事象について学習する時事英語の授業では、英語を情報を得る道具として使いこなしていく技術をまなび、その技術を駆使して、現在、我々の周りで起きている出来事について探ります。
記事を読みながら、社会で起きている様々な事柄のつながりに気づき、自分なりの分析を加えていけるようにさらに学習を深めていきます。フローバルな視点を身につけ、独自性を保ちながらも異文化のバックグラウンドの人たちと協力していくことができる、考える力、判断する力、表現する力の習得を目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1/3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：The Japan Times や The New York Times など英語で書かれた新聞の大まかな内容を理解できる英語力が身につきます。
　　グローバルな視点から社会の変化に柔軟に対応する考え方を身につけることができる。
　　世界同時進行の事柄について情報を英語で読むことにより日本における報道に先んじて世界情勢を分析できる力を養う。
個別目標：日本国内の出来事と世界情勢の関連・相違を判断することができるようになる
　　実社会で活用できる高度な英語運用能力を身につけることができる
　　アクティブラーニングを通して積極的な発信者になる

▌履修条件

日ごろから新聞や報道でニュースを読んだり、聞いたりできる世の中の動きに興味を持っている学生さんの履修を大歓迎します。

▌評価基準・方法

期末試験 60 %
授業への貢献度、小テスト 40 %

▌フィードバック方法

manaba での模範解答掲示
提出レポートの対面返却

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （発表の機会をたくさん設ける予定です）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （その場で関連事項を検索して発表する機会）

▌教科書

授業資料は毎回配布します。

▌参考書

必要に応じて紹介します

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 自分が最も関心がある時事問題について発表しよう 事前学修 2.0hr：時事問題を学ぶとはどのような意味を持つのか考えておく 事後学修 2.0hr：授業中のみんなの意見についてよく考えてみる
2 回	**授業テーマ：災害・気象　首都圏が抱える災害への危機感** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 近年の災害・気象の特徴はどんなものであるといえるあろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
3 回	**授業テーマ：災害・気象　気候変動への世界的取り組み** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 いつ頃から災害・気象の問題が頻繁に取り上げられるようになったのであろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
4 回	**授業テーマ：犯罪・司法　犯罪の国際化** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 犯罪のグローバル化について考えてみよう。国際的な司法協力はあるのあろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
5 回	**授業テーマ：犯罪・司法　国際的な犯罪の広がり** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 犯罪の国際化とはどのようなことだろう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
6 回	**授業テーマ：環境・資源・エネルギー** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 環境・資源・エネルギー分野にはどのような問題があるのだろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる

7回	**授業テーマ：環境・資源・エネルギー　環境汚染** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 環境・資源・エネルギー分野にはどのような問題があるのか調べてみよう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
8回	**授業テーマ：科学・医療　日本人科学者の倫理観** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 科学における倫理観とはどのようなことだろう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
9回	**授業テーマ：科学・医療　燃料電池車の開発** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 燃料電池の開発やこれからのエネルギーについて考えてみよう・調べてみよう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
10回	**授業テーマ：スポーツ　日本人選手の海外での活躍** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 日本人選手が海外で活躍するようになった理由はなんだろう。考えてみよう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
11回	**授業テーマ：スポーツ　スポーツとメディア報道** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 スポーツとメディアの報道について考えてみよう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
12回	**授業テーマ：最新ニュースの学習** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する 自分が最も関心があるニュースについて内容を要約してみよう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
13回	**授業テーマ：最新ニュースの学習** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する 自分が関心があるニュースについて少し深く調べてみよう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
14回	**授業テーマ：報道とは何か　　報道の在り方とその現実** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 報道とは何のためにあるのだろうか。個人の発信と何が違うのだろうか。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる
15回	**授業テーマ：後学期学習の総合的振り返り** 授業内容：配布された英字新聞の記事の読解とともに、その背景についての講義を聞く。 加えて、自分が考えるところを発表したり、ディスカッションに積極的に参加する。 最も関心を持ったニュースについてレポートを書いてみよう。 事前学修 2.0hr：毎日ニュースをチェックすること 事後学修 2.0hr：復習して単語帳にまとめる。レポートを書く。

Advanced Business English a

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要
TOEIC のリーディング用問題集を通じて、実践的ビジネス英語のスキルを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1/2、中国語学科 GSM 5）
一般目標：グローバルなビジネスシーンで活かすことができる英語コミュニケーション能力を身につけることができる。
個別目標：TOEIC で 650 点以上を達成することができる。
　　実践的ビジネス英語のスキルを身につけることができる。

▌履修条件
TOEIC のスコアを上げるため、グループワークに積極的に取り組むこと。TOEIC の公開テスト受験は必須ではないが、推奨する。

▌評価基準・方法
授業内試験 60 %
平常点　40 %
原則として、3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法
授業内および manaba で行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （グループワークを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （試験は PC・タブレットを使って行う。）

▌教科書
ETS『公式 TOEIC Listening &Reading 650 ＋』(国際ビジネスコミュニケーション協会、2023 年)
TEX 加藤『TOEIC　L&R　Test　出る単特急　金のフレーズ』(朝日新聞出版、2017 年)

▌参考書
必要に応じて、ハンドアウトを配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、評価方法等を説明し、TOEIC の練習問題を解く。 事前学修 2.0hr：シラバスの確認 事後学修 2.0hr：練習問題の復習
2 回	**授業テーマ：教科書　1 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3 回	**授業テーマ：教科書　2 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：教科書　3 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：教科書　4 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6 回	**授業テーマ：教科書　5 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：教科書　6 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8 回	**授業テーマ：教科書　7 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：教科書　8 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
10 回	**授業テーマ：教科書　9 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
11 回	**授業テーマ：教科書　10 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

12回	**授業テーマ：教科書　11 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：教科書　12 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：教科書　13 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：TOEIC の模試を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の復習 事後学修 2.0hr：試験の復習

Advanced Business English a

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

小林　裕子（こばやし　やすこ）

▌授業の概要

これまでにビジネス英語の基本を学んだ方、また実践的ビジネス英語を学んでみたいという方を対象に、実際のビジネスの場面ですぐに使えるスキルを学びます。具体的には 1. ビジネス通信 2. 社交、挨拶 3. 社内会話 4. 取引関係 5. 雇用関係、履歴書 と、大きく分けて五つの分野のビジネス実務を英語で運用できるように、学習を進めていきます。どれも大切な技能であり、皆さんが社会に出る前に英語だけではなく、日本語でも実践できなければならない重要な事柄ばかりです。問題解決能力と、問題発見能力を高めるインタラクティブな授業で積極的に発言してください。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1/2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：1. 広範囲にわたる基本的ビジネスレターのライティングとビジネス翻訳に対応する力が身につく。
2. 正しく美しいビジネス日本語が身に着き、コミュニケーション能力が高まります。
3. 実社会で通用する高度なビジネス英語運用能力を身につける。
4. 国際未来社会で活躍できる幅広い教養が身につく。

個別目標：1. 日本語と英語両言語のビジネス用語の基本を身につける。
2. 就職活動でも活かせる、正しいビジネスマナーやビジネスの基本的な考え方を理解する。
3. グローバルな環境で発信できる高度な英語コミュニケーション能力を修得する。

▌履修条件

ビジネス英語に興味があり、きちんと提出物を提出できる方。

▌評価基準・方法

定期試験 60 %

授業貢献度(授業中の積極的な発言や情報提供)、提出物、および小テスト 40 %

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （英語文書を日本語ビジネス文書として日本語に翻訳し発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ビジネス email などを word file で提出してもらいます。）

▌教科書

豊田暁 「ビジネス英語エッセンシャルズ」南雲堂

▌参考書

適宜、紹介いたします。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業内容：この授業の説明をします。その後、クラスメイト同士で自己紹介をしあいお互いに切磋琢磨するようにしましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
2回	**授業テーマ：英文手紙の書き方と正しいビジネスレターの日本語の基礎を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。英語のビジネス表現を学ぶことは、日本語の正しいビジネス表現を学ぶことでもあります。日常会話の日本語とビジネスで使う表現は違います。日本語において丁寧さの度合いが異なるように英語でも丁寧さの度合いが異なる表現がたくさんあります。英語にも敬語はあります。丁寧な英語表現について考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
3回	**授業テーマ：電子メールに関する様々な注意点について演習をします** 授業内容：教科書に沿って進めます。電子メールでは様々な決まりがあります。だらだらと書くのはルール違反です。また件名についても様々な決まりごとがあります。ビジネス英語の基本であるビジネスメールの書き方を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
4回	**授業テーマ：電話の掛け方や特に英語の電話の際の注意点を学びます。** 授業内容：教科書に沿って進めます。電話会話は表情を読み取ることができませんので、特に使用語彙には注意を払うべきです。聴き取りにくい語彙もなるべく使用を控えましょう。電話では極力、一文を短く且つ説明は完結を心がけましょう。電話の英語定型表現を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
5回	**授業テーマ：面会の申し入れ。　英語での丁寧表現を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。ビジネス会話で使われる英語は通常の会話で使用される語彙とは若干の違いがあります。何気なく使う日常会話英語を超えるビジネス英語会話を修得していきましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
6回	**授業テーマ：ホテルの予約。　ビジネス英語の電話表現を学びます。** 授業内容：教科書に沿って進めます。ホテル予約の電話でのやり取りを学びます。ホテル側の的確な表現は定型としてある程度修得しておくことが重要です。対面会話とは違う表現方法についても学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
7回	**授業テーマ：オフィスの移転通知の書き方や必要項目について演習式で学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。オフィス移転の通知は極めて重要です。特に移転の理由は憶測を呼びますので、それを逆手にとって有利な宣伝材料に使う事もできます。教科書の例では事業拡大に伴う移転ですね。移転のお知らせの重要さについて考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
8回	**授業テーマ：支店の開設案内など、ビジネスに必要な「お知らせ文書」の書き方を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。お知らせ文書の発想の適切なタイミングについても学びます。早すぎず遅すぎず。ビジネスにおいてはタイミングが事柄の成否を左右します。「お知らせ文書」の長さの適切さも重要な要素です。簡潔明瞭なお知らせ文書について学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成

9回	**授業テーマ：レセプションへの招待。背敷きな招待状の丁寧な表現を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。正式な招待状の作成について学びます。使用する用紙の特殊性から使用文字のフォントの特性についても学びます。使用する語彙についても通常のビジネス言語とは違う性格を持ちますのでしっかり学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
10回	**授業テーマ：アンケートの回答依頼。　典型的なアンケートの作成方法を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。アンケートは特に接客業、宿泊業では重要な経営実態評価の一部となります。アンケート作成の基本を学びます。実際に英語のアンケート調査票を作成してみましょう。自由記述欄への対応についても考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
11回	**授業テーマ：資料の送付依頼。　依頼状の書き方を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。カタログ送付依頼、申込書式送付依頼など、様々な依頼文にも定型表現があります。しっかりと定型表現を学び、先方に失礼のない依頼状の書き方を学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
12回	**授業テーマ：慶弔。丁寧な慶弔文を英語で表現できるように練習します** 授業内容：教科書に沿って進めます。慶弔文では定型の文章や丁寧な表現が求められます。また直接的な表現を避ける傾向もあります。ビジネス慶弔文のマナーを学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
13回	**授業テーマ：会議の通知。　会社内での通知文の書き方を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。会社内の通知文の書式について学びます。教科書のパターンに沿って、所属部署や宛先部署名を変えるなどして様々な書式に対応できるように練習しましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
14回	**授業テーマ：議事録。　英文の議事録の必要要素を演習で学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。議事録は必要な項目が決まっています。就職した際に議事録を書く必要になることがります。入社 3 年目になるとそのような役割が回ってきます。必要項目をしっかり把握しましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
15回	**授業テーマ：英文履歴書作成。基本的な英文履歴書の書式を学びます** 授業内容：教科書に沿って進めます。実際に履歴書を書いてみましょう。決まった書式があるので教科書を参考にして履歴書を完成させます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：前学期行ったことを総括する

Advanced Business English b

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小谷　哲男（こたに　てつお）

▌授業の概要
TOEIC のリーディング用問題集を通じて、実践的ビジネス英語のスキルを学ぶ。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1/2、中国語学科 GSM 5）
一般目標：TOEIC 対策を通じて、グローバルなビジネスシーンで活かすことができる英語コミュニケーション能力を身につけることができる。
個別目標：TOEIC で 800 点以上を達成することができる。
　　実践的ビジネス英語のスキルを身につけることができる。

▌履修条件
TOEIC のスコアを上げるため、グループワークに積極的に取り組むこと。TOEIC の公開テスト受験は必須ではないが、推奨する。

▌評価基準・方法
授業内試験 60 %
平常点　40 %
原則として、3 回の欠席または課題未提出で評価対象外とする。

▌フィードバック方法
授業内および manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）
あり （グループワークを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）
あり （試験は PC・タブレットを使って行う。）

▌教科書
ETS『公式 TOEIC Listening &Reading 800+』（国際ビジネスコミュニケーション協会、2021 年）
TEX 加藤『TOEIC　L&R　Test　出る単特急　金のフレーズ』（朝日新聞出版、2017 年）

▌参考書
必要に応じて、ハンドアウトを配布。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方、評価方法等を説明し、TOEIC の練習問題を解く。 事前学修 2.0hr：シラバスの確認 事後学修 2.0hr：練習問題の復習
2 回	**授業テーマ：教科書　1 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
3 回	**授業テーマ：教科書　2 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
4 回	**授業テーマ：教科書　3 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
5 回	**授業テーマ：教科書　4 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
6 回	**授業テーマ：教科書　5 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
7 回	**授業テーマ：教科書　6 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
8 回	**授業テーマ：教科書　7 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
9 回	**授業テーマ：教科書　8 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
10 回	**授業テーマ：教科書　9 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
11 回	**授業テーマ：教科書　10 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習

12回	**授業テーマ：教科書　11 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
13回	**授業テーマ：教科書　12 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
14回	**授業テーマ：教科書　13 セット** 授業内容：TOEIC の Part5~7 の問題を解き、グループワークで正解を導き出す。 事前学修 2.0hr：教科書指定箇所の自律学修 事後学修 2.0hr：授業内容の復習
15回	**授業テーマ：総括** 授業内容：TOEIC の模試を行う。 事前学修 2.0hr：教科書の復習 事後学修 2.0hr：試験の復習

Advanced Business English b

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

小林　裕子（こばやし　やすこ）

▌授業の概要

実践的なビジネス英語のスキルを学びます。 1. ビジネス通信 2. 社交、挨拶 3. 社内会話 4. 取引関係 5. 雇用関係、履歴書 と、大きく分けて五つの分野のビジネス実務を英語で運用できるように、学習を進めていきます。この五つの分野は、聞く、会話を交わす、意見を表明する、理論的に自分の主張を展開する、自分自身を売り込める履歴書を書く、などビジネスに必要な様々な要素が含まれている、どれも大切な技能であり、英語だけではなく、日本語でも実践できなければならない重要な事柄ばかりです.
インタラクティブな授業なので、常に積極的な発言が求められます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ①、英米語学科 1/2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：1. より高度なビジネスレターを英語で書く力が身につき、日本語でビジネスレターを書く力も習得できる。
2. ビジネスにおける正しい英語と日本語の使い方が身につく。
3. 国際未来社会で活躍できる幅広い教養を持った社会人として活躍できるようになる。グローバルなビジネスシーンで活かすことができる英語コミュニケーション能力を身につけることができる。
4. 自立した社会人にふさわしいビジネス英語運用能力を身に着けることができる。

個別目標：1. 日本語と英語両言語のビジネス用語の基本を身につける。
2. 就職活動にも活かせる正しいビジネスマナーやビジネスの基本的な考え方を理解する。
3. グローバルな環境で発言できる高度な英語コミュニケーション能力を修得する。

▌履修条件

ビジネス英語に興味があり、きちんと提出物を提出できる方。

▌評価基準・方法

授業内試験 60 %
授業貢献度(積極的な発言や情報提供)、課題などの提出物、および小テスト 40 %

▌フィードバック方法

課題フィードバックについては対面返却、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （英語文書を日本語ビジネス文書として日本語に翻訳し発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （ビジネス文書などを word file で提出してもらいます。）

▌教科書

豊田暁 「ビジネス英語エッセンシャルズ」南雲堂

▌参考書

必要に応じて、ハンドアウトを配ります。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：物品の購入** 授業内容：教科書に沿って進めます。社内での物品購入は担当部署への商品購入依頼から始まります。購入理由、納入時期などを明らかに説明し、上司の了承を得るなど、手続きが必要です。備品購入に関するビジネス文書の作成方法について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
2回	**授業テーマ：社内研修の案内** 授業内容：教科書に沿って進めます。研修が用意されている場合、研修出席には上司の許可が必要である事に加え、研修参加後の報告書提出が必要です。研修参加の手順と報告書執筆に必要な要素について英文書式作成を学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
3回	**授業テーマ：日程の中間報告** 授業内容：教科書に沿って進めます。海外からのお客様をお迎えする場合には様々なかつ細やかな対応が必要です。本ユニットでは、空港へのお出迎えから見学予定地の設定、お食事会の設定、移動手段の確保と予約など必要な設定について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
4回	**授業テーマ：引き合い(物品照会)** 授業内容：教科書に沿って進めます。購入予定、購入検討中の物品についてその仕様などを問い合わせメールの書式、そのメールへの適切な返信文書の作成方法について学びます。英語のビジネス文書では多くの場合、定型書式があります。大袈裟に言えば、メールの書き出しを読めばそれ以降の内容が容易に推測できるほどです。定型文について学びます。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
5回	**授業テーマ：引き合い(在庫確認)** 授業内容：教科書に沿って進めます。典型的な物品在庫確認のメールの書き方を学びます。返信メールでは在庫がない場合の類似商品の提案方法についても学びます。ビジネスの進め方、戦略の基本についても学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
6回	**授業テーマ：注文** 授業内容：教科書に沿って進めます。注文については見やすさを考慮した書式のまとめ方が求められます。一覧表にして記入するのが読みやすい方法ですが、一覧記入に必要な略語なども学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
7回	**授業テーマ：代金の回収** 授業内容：教科書に沿って進めます。代金の回収は段階を踏んで行います。初回の督促状は柔らかい表現で、回を重なるごとに表現を強め、三回目の督促状においては法的措置に訴える可能性もにおわせる等、強制力行使の可能性をにおわせることもあります。慎重かつ有効な督促状の書き方を学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成

8回	**授業テーマ：クレームと調整** 授業内容：教科書に沿って進めます。注文した商品と届けられた商品が一致しない場合には、その旨を伝えなければなりません。文章表現に工夫をし、的確に相手のミスが明確に伝わるように工夫します。個人と異なり、会社は膨大な量のメールを受信していますので、送信メールは相手の事務作業を軽減するように読みやすい、見やすいメールであるよう工夫が必要です。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
9回	**授業テーマ：履歴書** 授業内容：教科書に沿って進めます。履歴者においては根本的に記述方法が異なることがあります。英文履歴者は現在から遡って記載しますが、日本語の履歴書は過去から現在に向かって書き進めますね。英文履歴書は積極的に自己アピールの材料となるように書かれます。実際に自分の英文履歴書も書いてみましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
10回	**授業テーマ：応募の手紙** 授業内容：教科書に沿って進めます。たとえば、転職する時にはどのようなカバレターを書くべきでしょうか。慎重さと大胆さが必要であると言えるでしょう。これまでの自分をアピールすると共に、慎重に自分と応募先企業との必要能力を検討したお手紙を書くべきでしょう。英文カバーレターは何よりも重要な文書です。適切かつ魅力的なカバーレターの書き方を学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
11回	**授業テーマ：推薦状の依頼** 授業内容：教科書に沿って進めます。就職・転職には通常推薦状が必要であるとされています。前職での活躍ぶりやどのような能力があるかについて前職の時の上司が評価をします。日本では推薦状はこれまでは一般的とされていませんでしたが、最近は特に外資系の会社においては推薦状は無くてはならないものです。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
12回	**授業テーマ：面接** 授業内容：教科書に沿って進めます。就職の際の面接は積極性と謙虚さの絶妙なバランスが求められます。使用語彙についても慎重さが求められます。英語による面接の基本について学びましょう。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
13回	**授業テーマ：面接結果の通知** 授業内容：教科書に沿って進めます。英語のビジネス文書は定型文と言えるものが場面ごとに存在します。例えば、このユニットで学ぶ面接結果の通知においては最初の一文の 5 文字程度を読む程度で合否が明確に分かります。使用語彙で判別可能です。すなわち、場面ごとに使用語彙がある程度固定されているという事です。このような意味合いで、TOEIC においても解法が固定されるわけです。ビジネス文書の学修は TOEIC 攻略に直結します。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
14回	**授業テーマ：総合演習** 授業内容：教科書に沿って進めます。教科書の総復習をします。英文を適切な日本語ビジネス文として翻訳できるかなど、英語ビジネス文のみならず日本語ビジネス文書の修得を目指したしたこの授業の目的が達成されたか否かを測定する復習備えて振り返り学修をします。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：課題作成
15回	**授業テーマ：実践ライティング** 授業内容：与えられたトピック、目的に合致するよう文書を作成する実践練習を授業内で実施します。総復習の授業です。 事前学修 2.0hr：教科書の下読み 事後学修 2.0hr：後学期行ったことを総括する

文化講義Ⅰ（日本）

開講学科等：日英中 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

菊地　明範（きくち　あきのり）

▌授業の概要

日本が、無文字社会から文字を獲得してゆき、現在の漢字仮名交じり文に落ち着くまでの流れを俯瞰する。文字文化の変遷を追いながら時代ごとの作品について考察を加える。
また時代ごとの美意識の変化について、和歌に軸足を置きつつ考察してゆきたい。
芸能史についても触れる予定である。
授業に関する連絡はその都度 manaba を通じて行う。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ③〕、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：1、日本における文字の変遷について理解する。
2，和歌を中心に「美意識」がどのように変化していったのかを時代を追って理解する。
3、それぞれの時代を代表する文学作品について理解する。
4，時代を代表する芸能について理解を深める。
個別目標：(1)無文字社会であった日本がどのように文字を獲得していったか説明できる。
(2)印刷文化について説明できる。
(3)仮名の字母を理解し、現在も残る変体仮名を判読できる。
(4)和歌史の流れの中に連歌・俳諧を位置づけ、美意識の変化を説明できる。
(5)芸能史の流れを認識できる。

▌履修条件

積極的に授業に参加する意欲を持ち合わせていること。
課題に積極的に取り組む意欲を持ち合わせていること。

▌評価基準・方法

提出物６０%(レポート・プリント・振り返りシートなど)
平常点４０%(授業での発言、質問、討議など)
※提出物に関しては基本的に manaba で課題配信し、manaba に提出することになる。

▌フィードバック方法

manaba を利用し、学習内容を確認し、改善点などを指摘する予定である。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッションをしてもらうことがあります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

定めない。必要に応じてプリントを配布する。

▌参考書

授業内にその都度指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス・日本文化について考えてみよう** 授業内容：「文化」についてみんなで考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：現在の自分が考える日本文化の特徴についてまとめておく 事後学修 2.0hr：日本文化について知りたいことなどを記録しておく
2回	**授業テーマ：文字について考える１** 授業内容：文字の変遷について学びます。 事前学修 2.0hr：ひらがな・カタカナについて再認識しておく 事後学修 2.0hr：現行ひらがな・カタカナの字母を確認しておく
3回	**授業テーマ：文字について考える２** 授業内容：文字の変遷について学びます。 事前学修 2.0hr：漢文訓読の方法について復習しておく 事後学修 2.0hr：日本語を記すことについて考察しておく
4回	**授業テーマ：文字について考える３** 授業内容：文字の変遷について学びます。 事前学修 2.0hr：印刷が社会にどのような影響を与えたか考察しておく 事後学修 2.0hr：印刷文字からディジタル文字へ
5回	**授業テーマ：文字について考える４** 授業内容：文字の変遷について学びます。 事前学修 2.0hr：身の回りにあるくずし字を収集し、写真を提出する 事後学修 2.0hr：身の回りにあるくずし字を判読する
6回	**授業テーマ：美意識の変化１(平安時代)** 授業内容：平安時代の美意識について、『古今和歌集』を軸に考えます。 事前学修 2.0hr：平安時代の文学史を概観しておく 事後学修 2.0hr：『古今和歌集』が導いた美について考察する
7回	**授業テーマ：美意識の変化２(鎌倉時代)** 授業内容：鎌倉時代の美意識について『新古今和歌集』を軸に考えます。 事前学修 2.0hr：鎌倉時代の文学史を概観しておく 事後学修 2.0hr：幽玄という美意識について理解する
8回	**授業テーマ：美意識の変化３(室町・江戸時代①)** 授業内容：室町時代の美意識について『風姿花伝』を軸に考えます。 事前学修 2.0hr：室町時代から江戸時代にかけての文学史を概観しておく 事後学修 2.0hr：世阿弥が求めたものを理解する

9回	**授業テーマ：美意識の変化４（江戸時代）** 授業内容：江戸時代前期の美意識について、俳諧を通して考えます。 事前学修 2.0hr：江戸時代前半の文学史を概観しておく 事後学修 2.0hr：俳諧への道のりを理解する
10回	**授業テーマ：美意識の変化５（江戸時代）** 授業内容：江戸時代の美意識について、歌舞伎を通して考えます。 事前学修 2.0hr：歌舞伎について調べておく 事後学修 2.0hr：芸能がどのように発展していったか理解する
11回	**授業テーマ：文化史の中の文学** 授業内容：連歌・俳諧について通観してみます。 事前学修 2.0hr：これまでの授業内容を確認する 事後学修 2.0hr：文学史を概観することで見えてくるものについて考察する
12回	**授業テーマ：芸能を鑑賞する１** 授業内容：能楽について理解を深めます。 事前学修 2.0hr：芸能の歴史を確認する 事後学修 2.0hr：振り返りシートを用い、それぞれの芸能について鑑賞する
13回	**授業テーマ：芸能を鑑賞する２** 授業内容：文楽・歌舞伎について理解を深めます。 事前学修 2.0hr：芸能の歴史を確認する 事後学修 2.0hr：『風姿花伝』について考察しておく
14回	**授業テーマ：明治・大正・昭和の文字文化について** 授業内容：近代日本文化について考えます。 事前学修 2.0hr：近代文学について概観する 事後学修 2.0hr：近代文学の在り方について理解する
15回	**授業テーマ：日本語のゆくえ** 授業内容：皆で今後の日本文化がどのような形になっていくか考えてみましょう。 事前学修 2.0hr：今後の日本語の在り方について考察する 事後学修 2.0hr：レポート作成。

文化講義Ⅱ（異文化理解）

開講学科等：日英中 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

髙橋　眞人（たかはし　まさと）

▌授業の概要

【異文化コミュニケーションとコミュニケーション能力について学習する】

・日本語教師養成における「教育内容の言語と教育に関わる領域」の「異文化間教育とコミュニケーション教育」のうち異文化間教育、異文化コミュニケーション、コミュニケーション教育を、また言語に関わる領域のコミュニケーション能力のうち社会文化能力、対人関係能力、異文化調整能力を中心に育成する。

・多文化共生を目指した社会でどのような異文化コミュニケーションが行われ、どのような問題があるのかについての知識を得る。多様な人々を受け入れ、ともに社会を作るために必要な事柄を学修させる。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ③〕、英米語学科 2、中国語学科 GSM 5）

一般目標：・異文化に接する際の異文化調整能力や対人関係能力等のコミュニケーション能力を身に着けることを目指す。
・多様な背景をもつ人々を受け入れ、共に生きていくための考え方を身につける。
・異文化を受容し、適応していくための知識を身につけ、どのように適応していけばよいのかを判断できる。

個別目標：・異なる文化を持つ人々の間で生じる様々な問題を克服し、文化の多様性を尊重し、異なる文化背景を持つ者が共生に向けて円滑な関係を築くために必要となる異文化間教育に関する基礎的な知識について理解する。
・外国人受け入れの課題と異なる文化的背景を持つ人々と円滑なコミュニケーションを行うために必要な知識と技能を理解する。
・学習者の日本語によるコミュニケーション能力を育成するために、コミュニケーション教育・コミュニケーションストラテジーの理論及び手法について理解する。
・コミュニケーション能力のうち、社会文化能力と対人関係能力の理論・知識を学習する。

▌履修条件

本授業はアクティブラーニング形式を採り入れて行う。受講者にはディスカッションやグループワーク、ペアワークに積極的に参加し、自らの考えを述べ、他者の意見を尊重しながら議論に加わる態度が求められる。

▌評価基準・方法

小テスト・課題提出物・発表 40 %、振り返りレポート 20 %、最終試験 40 %で評価する。90 %以上の成績が S 評価、89 %から 80 %が A 評価、79 %から 70 %が B 評価、69 %から 60 %が C 評価で単位習得とする。59 %以下は D 評価、出席不良 (5 分の 1 に満たない場合)は E 評価とし、単位習得不可とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、教室内または manaba にて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、ペアワーク、発表、振り返り）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （文章作成、manaba への入力）

▌教科書

なし

▌参考書

『多文化共生社会に生きる』李修京編著　明石書店
『多文化共生　人が変わる、社会を変える、』松尾慎編著　凡人社
『グローバルな時代を生きるための異文化理解入門』原沢伊都夫　研究社
『移民政策と国民』江口隆裕　神奈川大学出版会
『異文化トレーニング』八代京子ほか　三修社
『「移民国家」としての日本』宮島喬著、岩波書店
『「移民時代」の多文化共生論」松尾知明　明石書店

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、コミュニケーションと文化【日本語教員試験＜３＞】** 授業内容：授業の目的、到達目標、成績評価の方法を説明する。多文化共生社会の担い手として異文化コミュニケーションを学ぶ意義等を学習し、授業への取り組みの意義を確認する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで本講義の概要をつかむ。不明な用語を調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。疑問点やもっと知りたい点を調べて追記する。
2回	**授業テーマ：多文化共生主義【日本語教員試験＜３＞】** 授業内容：自文化中心主義と多文化共生主義、文化についての定義やモデル、主なコミュニケーション・モデル、コミュニケーションの持つ意味、特徴等を学習する。事前学修で取り組んだ課題について概念の構築をする。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる用語、概念の意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。疑問点やもっと知りたい点を調べて追記する。
3回	**授業テーマ：異文化適応・異文化間トレランス【日本語教員試験＜３＞】** 授業内容：異文化適応のプロセス及びモデル、異文化間トレランス等について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる用語、概念の意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。疑問点やもっと知りたい点を調べて追記する。
4回	**授業テーマ：異文化調整能力【日本語教員試験＜ 50 ＞】** 授業内容：異文化間調整能力について知識を深め、グループディスカッションで多角的に学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる用語、概念の意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：レジュメやノートを復習し、整理することで小テストに備える。疑問点やもっと知りたい点を調べて追記する。。
5回	**授業テーマ：社会文化能力と対人関係能力【日本語教員試験＜ 48・49 ＞】** 授業内容：社会文化能力と対人関係能力について知識を深め、グループディスカッションで多角的に学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる用語、概念の意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。

6回	**授業テーマ：異文化間教育【日本語教員試験< 32 >】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる用語、概念の意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
7回	**授業テーマ：異文化トレーニング【日本語教員試験<３>】** 授業内容：異文化トレーニングについて、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる用語、概念の意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
8回	**授業テーマ：異文化コミュニケーション【日本語教員試験< 33 >】** 授業内容：異文化コミュニケーションについて、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる用語、概念の意味を調べておく。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
9回	**授業テーマ：コミュニケーションストラテジーとコミュニケーション教育【日本語教員試験< 10・34 >】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
10回	**授業テーマ：外国人の受け入れと支援【日本語教員試験< 13 >】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
11回	**授業テーマ：外国人受け入れの課題【日本語教員試験< 13 >】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
12回	**授業テーマ：日本が外国人を受け入れる理由【日本語教員試験< 13 >】** 授業内容：異文化間教育について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。
13回	**授業テーマ：移民受け入れに関する世界の動向【日本語教員試験< 13 >】** 授業内容：移民受け入れに関する世界の動向について、グループでディスカッションを行い、多角的な視点を得つつ、学習する。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業を振り返り、考えたことを記述する。翌週のディスカッションの準備をする。
14回	**授業テーマ：グループ発表、まとめ【日本語教員試験< 13 >】** 授業内容：あるべき統合像についてのグループ発表を行い、多文化共生社会の担い手として何をすべきか、どのような力が必要か、そして何ができるかを多角的な視点で考える。また、これまでの学修内容を振り返る。 事前学修 2.0hr：授業内容にかかわる専門用語の意味を調べてノートに記述する。 事後学修 2.0hr：授業の内容をノートに整理する。そのうえで授業・フィードバックを振り返り、考えたことを記述する。
15回	**授業テーマ：最終試験** 授業内容：最終試験及びフィードバックとしての解説を行い、授業全体の振り返りを行うことで、今後の学習につなげる。 事前学修 2.0hr：これまで学んできたことを整理し、最終試験に備える。 事後学修 2.0hr：最終試験と解説を振り返り、整理したうえで、弱点を補う。

Preparation for TOEIC Ⅰ-a

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　1 単位　｜　開講期：前

長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）

▌授業の概要

TOEIC L&R TEST は、日常生活からビジネス場面まで幅広い内容を扱い、実際の場面で英語をどの程度理解できるかを測定する試験である。本授業では、その学修を通して「聞く」「読む」を中心とした英語運用能力とテスト対応力の向上を図る。テストの全体像や各問題形式を把握した上で、問題演習とボキャブラリービルディングを行い、頻出語彙・表現を習得する。あわせて、語順理解のトレーニングやアウトプット活動を取り入れるとともに、講師－学生・学生－学生間の意見交換やフィードバックを行う対話型授業を通して理解の定着を図る。なお、学外で実施される TOEIC 公開テストの受験料は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①）

一般目標：本授業では、TOEIC L&R TEST の学習を通して、聴解力、読解力、語彙力、文法力といった基礎的な英語運用能力の向上を図ることを目的とする。英語を正確に理解し、日常的・実務的な場面において活用できる力を体系的に身につけることを重視するとともに、その結果として TOEIC スコアの向上につなげる。

個別目標：・TOEIC の演習問題に取り組むことで、出題形式や頻出表現に慣れる。
・効果的な学習方法を理解し、英語によるコミュニケーションに必要な基礎的能力の向上につなげる。
・テキストに掲載されている語句の中から、特に頻出する語彙や表現を適切に活用できるようになる。
・テキストの解説で扱われている基本的な文法事項や品詞の役割について理解を深める。

▌履修条件

本授業では TOEIC L&R TEST と同程度の難易度のテキストを使用する。指定範囲の事前学修や授業後の復習を行い、主体的かつ継続的に学修へ取り組む姿勢が求められる。

▌評価基準・方法

期末試験（60 %）、小テスト（30 %）、提出物等（10 %）の成績および到達目標の達成度を総合的に評価する。なお、原則として、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業内で実施する演習問題や小テストへの取り組みに対して、対面でのコメントに加え、学修支援システム manaba を通してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work, Group work, Dictation, Shadowing など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内での配布に加え、学修支援システム manaba を通して、必要に応じて資料を配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（授業の進め方、TOEIC について）** 授業内容：・TOEIC L&R TEST の概要、成績評価方法、小テストに関する説明を行う。 ・リーディングセクションおよびリスニングセクションの主な出題形式について、演習問題に取り組みながら理解を深める。 ・目標スコアや学修計画を立てる。 ・英語基礎力を現状を把握するために、TOEIC Reading Section Part 5 の短文穴埋め問題（品詞問題中心）についてミニクイズを実施する。 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する。 事後学修 1.0hr：本日の学びの復習
2回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 1（リスニング：写真描写問題）** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 1 の写真描写問題の出題形式に慣れるため、英語の弱形発音や音の連結・脱落といった音声変化に着目しながら音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
3回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 5　（リーディング：短文穴埋め問題）** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 5 の短文穴埋め問題の出題形式に慣れるとともに、品詞の働きや句構造に着目しながら解答するための問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
4回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 2（リスニング：応答問題）** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 2 の応答問題の出題形式に慣れるため、疑問詞や様々な疑問文を聞き取り、状況に応じた適切な応答を判断する練習を含む問題演習を行う。あわせて、音読やシャドーイングを取り入れ、応答表現への理解を深める。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
5回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 6　（リーディング：長文穴埋め問題）** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 6 の長文穴埋め問題の出題形式に慣れるため、文章全体を読み取り、ディスコースマーカーや全体の文章構造に着目しながら解答する問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
6回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(1)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 3 の会話問題の出題形式に慣れるため、設問の要点を事前に読み取る練習を行うとともに、音読やシャドーイングを含む問題演習を行い、会話全体の内容理解を深める。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

7回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (1)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Single Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
8回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3 (リスニング：会話問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 3 の会話問題の出題形式に慣れるため、設問の要点を事前に読み取る練習を行うとともに、音読やシャドーイングを含む問題演習を行い、会話全体の内容理解を深める。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
9回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
10回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (1)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 4 の説明文問題の出題形式に慣れるため、音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。あわせて、内容の要点を聞き取る練習や、音声の内容および話の展開を予測しながら理解を深める活動を取り入れる。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
11回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (3)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
12回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 4 の説明文問題の出題形式に慣れるため、音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。あわせて、内容の要点を聞き取る練習や、音声の内容および話の展開を予測しながら理解を深める活動を取り入れる。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
13回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (4)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
14回	**授業テーマ：Wrap-up (総括) (1)** 授業内容：・これまで学修してきた TOEIC L&R TEST 各パート(Listening ／ Reading)の重要ポイントを整理し、出題形式や解答の要点を総合的に確認する。 ・頻出問題や誤答しやすい項目を中心に演習を行い、解答根拠を明確にしながら理解の最終確認を行う。 ・文法・語彙の定着状況を確認する。 ・TOEIC 公開テストを想定した時間配分や解答手順について確認する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
15回	**授業テーマ：Wrap-up (総括) (2)** 授業内容：・これまで学修してきた TOEIC L&R TEST 各パート(Listening ／ Reading)の重要ポイントを整理し、出題形式や解答の要点を総合的に確認する。 ・頻出問題や誤答しやすい項目を中心に演習を行い、解答根拠を明確にしながら理解の最終確認を行う。 ・文法・語彙の定着状況を確認する。 ・今後の学修に向けた簡単な振り返りを行い、学期全体の学修内容を整理する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

Preparation for TOEIC Ⅰ-b

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　1 単位　｜　開講期：後

長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）

▌授業の概要

TOEIC L&R TEST は、日常生活からビジネス場面まで幅広い内容を扱い、実際の場面で英語をどの程度理解できるかを測定する試験である。本授業では、その学修を通して「聞く」「読む」を中心とした英語運用能力とテスト対応力の向上を図る。テストの全体像や各問題形式を把握した上で、問題演習とボキャブラリービルディングを行い、頻出語彙・表現を習得する。あわせて、語順理解のトレーニングやアウトプット活動を取り入れるとともに、講師－学生・学生－学生間の意見交換やフィードバックを行う対話型授業を通して理解の定着を図る。なお、学外で実施される TOEIC 公開テストの受験料は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①）

一般目標：本授業では、TOEIC L&R TEST の学習を通して、聴解力、読解力、語彙力、文法力といった基礎的な英語運用能力の向上を図ることを目的とする。英語を正確に理解し、日常的・実務的な場面において活用できる力を体系的に身につけることを重視するとともに、その結果として TOEIC スコアの向上につなげる。

個別目標：・TOEIC の演習問題に取り組むことで、出題形式や頻出表現に慣れる。
・効果的な学習方法を理解し、英語によるコミュニケーションに必要な基礎的能力の向上につなげる。
・テキストに掲載されている語句の中から、特に頻出する語彙や表現を適切に活用できるようになる。
・テキストの解説で扱われている基本的な文法事項や品詞の役割について理解を深める。

▌履修条件

本授業では TOEIC L&R TEST と同程度の難易度のテキストを使用する。指定範囲の事前学修や授業後の復習を行い、主体的かつ継続的に学修へ取り組む姿勢が求められる。

▌評価基準・方法

期末試験（60 %）、小テスト（30 %）、提出物等（10 %）の成績および到達目標の達成度を総合的に評価する。なお、原則として、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業内で実施する演習問題や小テストへの取り組みに対して、対面でのコメントに加え、学修支援システム manaba を通してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work, Group work, Dictation, Shadowing など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内での配布に加え、学修支援システム manaba を通して、必要に応じて資料を配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（授業の進め方、TOEIC について）** 授業内容：・TOEIC L&R TEST の概要、成績評価方法、小テストに関する説明を行う。 ・リーディングセクションおよびリスニングセクションの主な出題形式について、演習問題に取り組みながら理解を深める。 ・目標スコアや学修計画を立てる。 ・英語基礎力を現状を把握するために、TOEIC Reading Section Part 5 の短文穴埋め問題（品詞問題中心）についてミニクイズを実施する。 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する。 事後学修 1.0hr：本日の学びの復習
2回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 1（リスニング：写真描写問題）** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 1 の写真描写問題の出題形式に慣れるため、英語の弱形発音や音の連結・脱落といった音声変化に着目しながら音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
3回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 5　（リーディング：短文穴埋め問題）** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 5 の短文穴埋め問題の出題形式に慣れるとともに、品詞の働きや句構造に着目しながら解答するための問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
4回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 2（リスニング：応答問題）** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 2 の応答問題の出題形式に慣れるため、疑問詞や様々な疑問文を聞き取り、状況に応じた適切な応答を判断する練習を含む問題演習を行う。あわせて、音読やシャドーイングを取り入れ、応答表現への理解を深める。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
5回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 6　（リーディング：長文穴埋め問題）** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 6 の長文穴埋め問題の出題形式に慣れるため、文章全体を読み取り、ディスコースマーカーや全体の文章構造に着目しながら解答する問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
6回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(1)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 3 の会話問題の出題形式に慣れるため、設問の要点を事前に読み取る練習を行うとともに、音読やシャドーイングを含む問題演習を行い、会話全体の内容理解を深める。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

7回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (1)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Single Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
8回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3 (リスニング：会話問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 3 の会話問題の出題形式に慣れるため、設問の要点を事前に読み取る練習を行うとともに、音読やシャドーイングを含む問題演習を行い、会話全体の内容理解を深める。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
9回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
10回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (1)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 4 の説明文問題の出題形式に慣れるため、音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。あわせて、内容の要点を聞き取る練習や、音声の内容および話の展開を予測しながら理解を深める活動を取り入れる。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
11回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (3)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
12回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 4 の説明文問題の出題形式に慣れるため、音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。あわせて、内容の要点を聞き取る練習や、音声の内容および話の展開を予測しながら理解を深める活動を取り入れる。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
13回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (4)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
14回	**授業テーマ：Wrap-up (総括) (1)** 授業内容：・これまで学修してきた TOEIC L&R TEST 各パート(Listening ／ Reading)の重要ポイントを整理し、出題形式や解答の要点を総合的に確認する。 ・頻出問題や誤答しやすい項目を中心に演習を行い、解答根拠を明確にしながら理解の最終確認を行う。 ・文法・語彙の定着状況を確認する。 ・TOEIC 公開テストを想定した時間配分や解答手順について確認する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
15回	**授業テーマ：Wrap-up (総括) (2)** 授業内容：・これまで学修してきた TOEIC L&R TEST 各パート(Listening ／ Reading)の重要ポイントを整理し、出題形式や解答の要点を総合的に確認する。 ・頻出問題や誤答しやすい項目を中心に演習を行い、解答根拠を明確にしながら理解の最終確認を行う。 ・文法・語彙の定着状況を確認する。 ・今後の学修に向けた簡単な振り返りを行い、学期全体の学修内容を整理する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

Preparation for TOEIC Ⅰ-a

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

青木　輝（あおき　ひかる）・**小山田　幸永**（おやまだ　ゆきひさ）・**河原　伸一**（かわはら　しんいち）・**篠塚　勝正**（しのづか　かつまさ）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）

▌授業の概要

① TOEIC テストの全体像および各問題形式を把握し、②問題演習を行い、③ TOEIC 対策としての語彙力を強化することで、高得点の取得を目指す。学外で実施される TOEIC 公開テストにおいて、基準点を満たすことが単位取得の条件の一つとなる。なお、テスト受験の費用は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させることで、TOEIC スコアの向上を図る。
個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れる。また、スコア向上のための効果的な学習方法を身につけ、ビジネス場面での英語コミュニケーション能力の強化を図る。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

単位認定は、全クラス一律に定められた基準に基づき、期間中に取得した TOEIC 公開テストのスコアによって行う。各クラスの担当教員が提示する基準に準拠すること。加えて、授業への積極的な参加、予習・復習への取り組み、担当教員に指示された方法で行う単語学習（単語テストを含む）への取り組みなどを考慮する。なお、単位取得の前提条件として、全授業の 5 分の 4 以上の出席を必須とする。

▌フィードバック方法

学習への取り組みに対して、対面または manaba の機能を使用してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （リスニングおよびリーディングの両方の問題に対して、履修者の積極的かつ分析的な態度が求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening &Reading 問題集 12』

▌参考書

国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening &Reading 英単語』

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、TOEIC について）** 授業内容：TOEIC の概要、成績評価、授業の進め方、単語学習（単語テストを含む）への取り組み方（前学期の成績評価に含まれる TOEIC 公開テストのスケジュール等） 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する 事後学修 1.0hr：オリエンテーションで説明された内容の復習
2回	**授業テーマ：Part 1, 2 のコツ（Test1 No1-6、7-11）** 授業内容：単語テスト、Part1 写真描写問題、Part2 応答問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
3回	**授業テーマ：Part 3, 4 のコツ（Test1 No32-37、71-76 ）** 授業内容：単語テスト、Part3 会話問題、Part4 説明文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
4回	**授業テーマ：Part 5 のコツ（Test1 No101-115）** 授業内容：単語テスト、Part5 短文穴埋め問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
5回	**授業テーマ：Part 6 のコツ（Test1 No131-138 ）** 授業内容：単語テスト、Part6 長文穴埋め問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
6回	**授業テーマ：Part 7 のコツ（Test1 No147-153）** 授業内容：単語テスト、Part7 長文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
7回	**授業テーマ：Part 7 のコツ（Test1 No176-185）** 授業内容：単語テスト、Part7 長文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
8回	**授業テーマ：Test1 No38-40、No116-130 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
9回	**授業テーマ：Test1 No77-79、No139-142 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
10回	**授業テーマ：Test1 No41-43、No154-160 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
11回	**授業テーマ：Test1 No80-82、No161-167 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

12回	**授業テーマ：Test1 No44-46、No168-175 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
13回	**授業テーマ：Test1 No83-85、No176-185 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
14回	**授業テーマ：Test1 No47-49、No186-195 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
15回	**授業テーマ：Test1 No86-88、No196-200 の演習** 授業内容：リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの総復習 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

Preparation for TOEIC Ⅰ-b

開講学科等：英 ｜ 1 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

青木　輝（あおき　ひかる）・**小山田　幸永**（おやまだ　ゆきひさ）・**河原　伸一**（かわはら　しんいち）・**篠塚　勝正**（しのづか　かつまさ）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）

▌授業の概要

① TOEIC テストの全体像および各問題形式を把握し、②問題演習を行い、③ TOEIC 対策としての語彙力を強化することで、高得点の取得を目指す。学外で実施される TOEIC 公開テストにおいて、基準点を満たすことが単位取得の条件の一つとなる。なお、テスト受験の費用は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させることで、TOEIC スコアの向上を図る。
個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れる。また、スコア向上のための効果的な学習方法を身につけ、ビジネス場面での英語コミュニケーション能力の強化を図る。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

単位認定は、全クラス一律に定められた基準に基づき、期間中に取得した TOEIC 公開テストのスコアによって行う。各クラスの担当教員が提示する基準に準拠すること。加えて、授業への積極的な参加、予習・復習への取り組み、担当教員に指示された方法で行う単語学習（単語テストを含む）への取り組みなどを考慮する。なお、単位取得の前提条件として、全授業の 5 分の 4 以上の出席を必須とする。

▌フィードバック方法

学習への取り組みに対して、対面または manaba の機能を使用してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （リスニングおよびリーディングの両方の問題に対して、履修者の積極的かつ分析的な態度が求められる）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening &Reading 問題集 12』

▌参考書

国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening &Reading 英単語』

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（授業の進め方、TOEIC について）** 授業内容：TOEIC の概要、成績評価、授業の進め方、単語学習（単語テストを含む）への取り組み方（前学期の成績評価に含まれる TOEIC 公開テストのスケジュール等） 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する 事後学修 1.0hr：オリエンテーションで説明された内容の復習
2回	**授業テーマ：Part 1, 2 のコツ（Test2 No1-6、7-11）** 授業内容：単語テスト、Part1 写真描写問題、Part2 応答問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
3回	**授業テーマ：Part 3, 4 のコツ（Test2 No32-37、71-76 ）** 授業内容：単語テスト、Part3 会話問題、Part4 説明文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
4回	**授業テーマ：Part5 のコツ（Test2 No101-115）** 授業内容：単語テスト、Part5 短文穴埋め問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
5回	**授業テーマ：Part 6 のコツ（Test2 No131-138 ）** 授業内容：単語テスト、Part6 長文穴埋め問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
6回	**授業テーマ：Part 7 のコツ（Test2 No147-153）** 授業内容：単語テスト、Part7 長文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
7回	**授業テーマ：Part 7 のコツ（Test2 No176-185）** 授業内容：単語テスト、Part7 長文問題の形式に慣れるための問題演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
8回	**授業テーマ：Test2 No38-40、No116-130 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
9回	**授業テーマ：Test2 No77-79、No139-142 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
10回	**授業テーマ：Test2 No41-43、No154-160 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
11回	**授業テーマ：Test2 No80-82、No161-168 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

12回	**授業テーマ：Test2 No44-46、No169-175 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
13回	**授業テーマ：Test2 No83-85、No176-185 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
14回	**授業テーマ：Test2 No47-49、No186-195 の演習** 授業内容：単語テスト、リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
15回	**授業テーマ：Test2 No86-88、No196-200 の演習** 授業内容：リスニングの演習と音読、リーディング問題の演習 事前学修 1.0hr：単語テストの総復習 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

Preparation for TOEIC Ⅱ-a

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

青木　輝（あおき　ひかる）・**小谷　哲男**（こたに　てつお）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**長谷川　奈緒美**（はせがわ　なおみ）・**横山　竜一郎**（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

1 年次の Preparation for TOEIC I-a, I-b に引き続き、さらに高得点を目指す。学外で実施される TOEIC 公開テストにおいて、指定された基準点を満たすことが単位取得の条件の一つとなる。なお、テスト受験の費用は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させることで、TOEIC スコアの向上を図る。
個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れる。また、スコア向上のための効果的な学習方法を身につけ、ビジネス場面での英語コミュニケーション能力の強化を図る。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

単位認定は、全クラス一律に定められた基準に基づき、期間中に取得した TOEIC 公開テストのスコアによって行う。各クラスの担当教員が提示する基準に準拠すること。加えて、授業への積極的な参加、予習・復習の取り組み、単語テストの実施状況を平常点として考慮する。なお、単位取得の前提条件として、全授業の 5 分の 4 以上の出席を必須とする。

▌フィードバック方法

小テストなどの取り組みに対して、対面または manaba の機能を使用してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク，グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

[1] 国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening &Reading プラクティス リーディング編』（要購入）
[2] 国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening &Reading 問題集 10』（１年次の Preparation for TOEIC I-a, b で使用したものを２年次でも使う。持っていない人のみ要購入）

▌参考書

TEX 加藤『TOEIC L ＆ R TEST 出る単特急　金のフレーズ』朝日新聞出版（１年次に配布済み）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方や TOEIC について説明する 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する 事後学修 1.0hr：オリエンテーションで説明された内容の復習
2回	**授業テーマ：教科書 [1] Mini Test 1, No. 1-11; 教科書 [2] Test 2, No. 32-34** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
3回	**授業テーマ：[1] Mini Test 1, No. 12-17; [2] Test 2, No. 71-73** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
4回	**授業テーマ：[1] Mini Test 1, No. 18-24; [2] Test 2, No. 35-37** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
5回	**授業テーマ：[1] Mini Test 1, No. 25-29; [2] Test 2, No. 74-76** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
6回	**授業テーマ：[1] Mini Test 2, No. 1-11; [2] Test 2, No. 38-40** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
7回	**授業テーマ：[1] Mini Test 2, No. 12-17; [2] Test 2, No. 77-79** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
8回	**授業テーマ：[1] Mini Test 2, No. 18-24; [2] Test 2, No. 41-43** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
9回	**授業テーマ：[1] Mini Test 2, No. 25-29; [2] Test 2, No. 80-82** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
10回	**授業テーマ：[1] Mini Test 3, No. 1-11; [2] Test 2, No. 44-46** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

11回	**授業テーマ：[1] Mini Test 3, No. 12-17; [2] Test 2, No. 83-85** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
12回	**授業テーマ：[1] Mini Test 3, No. 18-24; [2] Test 2, No. 47-49** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
13回	**授業テーマ：[1] Mini Test 3, No. 25-29; [2] Test 2, No. 86-88** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
14回	**授業テーマ：[1] Mini Test 4, No. 1-11; [2] Test 2, No. 50-52** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
15回	**授業テーマ：[1] Mini Test 4, No. 12-17; [2] Test 2, No. 89-91** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの総復習 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

Preparation for TOEIC Ⅱ-b

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

青木　輝（あおき　ひかる）・**小谷　哲男**（こたに　てつお）・**中井　延美**（なかい　のぶみ）・**長谷川　奈緒美**（はせがわ　なおみ）・**横山　竜一郎**（よこやま　りゅういちろう）

▌授業の概要

Preparation for TOEIC II-a に引き続き、さらに高い得点を目指す。学外で実施される TOEIC 公開テストにおいて、指定された基準点を満たすことが単位取得の条件の一つとなる。なお、テスト受験の費用は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：1/2）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させることで、TOEIC スコアの向上を図る。
個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れる。また、スコア向上のための効果的な学習方法を身につけ、ビジネス場面での英語コミュニケーション能力の強化を図る。

▌履修条件

指定されたクラスで受講すること。

▌評価基準・方法

単位認定は、全クラス一律に定められた基準に基づき、期間中に取得した TOEIC 公開テストのスコアによって行う。各クラスの担当教員が提示する基準に準拠すること。加えて、授業への積極的な参加、予習・復習の取り組み、単語テストの実施状況を平常点として考慮する。なお、単位取得の前提条件として、全授業の 5 分の 4 以上の出席を必須とする。

▌フィードバック方法

小テストなどの取り組みに対して、対面または manaba の機能を使用してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク，グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

前学期の Preparation for TOEIC II-a と同じものを使用する。
[1] 国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening &Reading プラクティス リーディング編』（要購入）
[2] 国際ビジネスコミュニケーション協会『公式 TOEIC Listening &Reading 問題集 10』（1 年次の Preparation for TOEIC I-a, b で使用したものを２年次でも使う。持っていない人のみ要購入）

▌参考書

TEX 加藤『TOEIC L ＆ R TEST 出る単特急　金のフレーズ』朝日新聞出版（1 年次に配布済み）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：教科書 [1] Mini Test 4, No. 18-24; 教科書 [2] Test 2, No. 53-55** 授業内容：リーディング演習、リスニング演習 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
2回	**授業テーマ：[1] Mini Test 4, No. 25-29; [2] Test 2, No. 92-94** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
3回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 101-110; [2] Test 2, No. 56-58** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
4回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 131-134, 147-148; [2] Test 2, No. 95-97** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
5回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 149-152; [2] Test 2, No. 59-61** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
6回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 176-180; [2] Test 2, No. 98-100** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
7回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 111-120; [2] Test 2, No. 62-64** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
8回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 135-138, 153-155; [2] Test 2, No. 65-67** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
9回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 156-160; [2] Test 2, No. 68-70** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
10回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 181-185; [2] Test 1, No. 92-94** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

11回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 121-130; [2] Test 1, No. 62-64** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
12回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 139-142, 161-163; [2] Test 1, No. 95-97** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
13回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 164-171; [2] Test 1, No. 65-67** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
14回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 186-190; [2] Test 1, No. 98-100** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読
15回	**授業テーマ：[1] Final Test, No. 143-146, 172-175; [2] Test 1, No. 68-70** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：単語テストの総復習 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、音読

Preparation for TOEIC Ⅰ-a

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）

▌授業の概要

TOEIC L&R TEST は、日常生活からビジネス場面まで幅広い内容を扱い、実際の場面で英語をどの程度理解できるかを測定する試験である。本授業では、その学修を通して「聞く」「読む」を中心とした英語運用能力とテスト対応力の向上を図る。テストの全体像や各問題形式を把握した上で、問題演習とボキャブラリービルディングを行い、頻出語彙・表現を習得する。あわせて、語順理解のトレーニングやアウトプット活動を取り入れるとともに、講師－学生・学生－学生間の意見交換やフィードバックを行う対話型授業を通して理解の定着を図る。なお、学外で実施される TOEIC 公開テストの受験料は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：本授業では、TOEIC L&R TEST の学習を通して、聴解力、読解力、語彙力、文法力といった基礎的な英語運用能力の向上を図ることを目的とする。英語を正確に理解し、日常的・実務的な場面において活用できる力を体系的に身につけることを重視するとともに、その結果として TOEIC スコアの向上につなげる。

個別目標：・TOEIC の演習問題に取り組むことで、出題形式や頻出表現に慣れる。
・効果的な学習方法を理解し、英語によるコミュニケーションに必要な基礎的能力の向上につなげる。
・テキストに掲載されている語句の中から、特に頻出する語彙や表現を適切に活用できるようになる。
・テキストの解説で扱われている基本的な文法事項や品詞の役割について理解を深める。

▌履修条件

本授業では TOEIC L&R TEST と同程度の難易度のテキストを使用する。指定範囲の事前学修や授業後の復習を行い、主体的かつ継続的に学修へ取り組む姿勢が求められる。

▌評価基準・方法

期末試験（60 %）、小テスト（30 %）、提出物等（10 %）の成績および到達目標の達成度を総合的に評価する。なお、原則として、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業内で実施する演習問題や小テストへの取り組みに対して、対面でのコメントに加え、学修支援システム manaba を通してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work, Group work, Dictation, Shadowing など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内での配布に加え、学修支援システム manaba を通して、必要に応じて資料を配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（授業の進め方、TOEIC について）** 授業内容：・TOEIC L&R TEST の概要、成績評価方法、小テストに関する説明を行う。 ・リーディングセクションおよびリスニングセクションの主な出題形式について、演習問題に取り組みながら理解を深める。 ・目標スコアや学修計画を立てる。 ・英語基礎力を現状を把握するために、TOEIC Reading Section Part 5 の短文穴埋め問題（品詞問題中心）についてミニクイズを実施する。 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する。 事後学修 1.0hr：本日の学びの復習
2回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 1（リスニング：写真描写問題）** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 1 の写真描写問題の出題形式に慣れるため、英語の弱形発音や音の連結・脱落といった音声変化に着目しながら音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
3回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 5　（リーディング：短文穴埋め問題）** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 5 の短文穴埋め問題の出題形式に慣れるとともに、品詞の働きや句構造に着目しながら解答するための問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
4回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 2（リスニング：応答問題）** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 2 の応答問題の出題形式に慣れるため、疑問詞や様々な疑問文を聞き取り、状況に応じた適切な応答を判断する練習を含む問題演習を行う。あわせて、音読やシャドーイングを取り入れ、応答表現への理解を深める。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
5回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 6　（リーディング：長文穴埋め問題）** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 6 の長文穴埋め問題の出題形式に慣れるため、文章全体を読み取り、ディスコースマーカーや全体の文章構造に着目しながら解答する問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
6回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(1)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 3 の会話問題の出題形式に慣れるため、設問の要点を事前に読み取る練習を行うとともに、音読やシャドーイングを含む問題演習を行い、会話全体の内容理解を深める。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

7回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (1)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Single Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
8回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3 (リスニング：会話問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 3 の会話問題の出題形式に慣れるため、設問の要点を事前に読み取る練習を行うとともに、音読やシャドーイングを含む問題演習を行い、会話全体の内容理解を深める。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
9回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
10回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (1)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 4 の説明文問題の出題形式に慣れるため、音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。あわせて、内容の要点を聞き取る練習や、音声の内容および話の展開を予測しながら理解を深める活動を取り入れる。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
11回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (3)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
12回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 4 の説明文問題の出題形式に慣れるため、音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。あわせて、内容の要点を聞き取る練習や、音声の内容および話の展開を予測しながら理解を深める活動を取り入れる。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
13回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (4)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
14回	**授業テーマ：Wrap-up (総括) (1)** 授業内容：・これまで学修してきた TOEIC L&R TEST 各パート(Listening ／ Reading)の重要ポイントを整理し、出題形式や解答の要点を総合的に確認する。 ・頻出問題や誤答しやすい項目を中心に演習を行い、解答根拠を明確にしながら理解の最終確認を行う。 ・文法・語彙の定着状況を確認する。 ・TOEIC 公開テストを想定した時間配分や解答手順について確認する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
15回	**授業テーマ：Wrap-up (総括) (2)** 授業内容：・これまで学修してきた TOEIC L&R TEST 各パート(Listening ／ Reading)の重要ポイントを整理し、出題形式や解答の要点を総合的に確認する。 ・頻出問題や誤答しやすい項目を中心に演習を行い、解答根拠を明確にしながら理解の最終確認を行う。 ・文法・語彙の定着状況を確認する。 ・今後の学修に向けた簡単な振り返りを行い、学期全体の学修内容を整理する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

Preparation for TOEIC Ⅰ-b

開講学科等：中 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

長谷川　奈緒美（はせがわ　なおみ）

▌授業の概要

TOEIC L&R TEST は、日常生活からビジネス場面まで幅広い内容を扱い、実際の場面で英語をどの程度理解できるかを測定する試験である。本授業では、その学修を通して「聞く」「読む」を中心とした英語運用能力とテスト対応力の向上を図る。テストの全体像や各問題形式を把握した上で、問題演習とボキャブラリービルディングを行い、頻出語彙・表現を習得する。あわせて、語順理解のトレーニングやアウトプット活動を取り入れるとともに、講師－学生・学生－学生間の意見交換やフィードバックを行う対話型授業を通して理解の定着を図る。なお、学外で実施される TOEIC 公開テストの受験料は学生個人の負担とする。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：3）

一般目標：本授業では、TOEIC L&R TEST の学習を通して、聴解力、読解力、語彙力、文法力といった基礎的な英語運用能力の向上を図ることを目的とする。英語を正確に理解し、日常的・実務的な場面において活用できる力を体系的に身につけることを重視するとともに、その結果として TOEIC スコアの向上につなげる。

個別目標：・TOEIC の演習問題に取り組むことで、出題形式や頻出表現に慣れる。
・効果的な学習方法を理解し、英語によるコミュニケーションに必要な基礎的能力の向上につなげる。
・テキストに掲載されている語句の中から、特に頻出する語彙や表現を適切に活用できるようになる。
・テキストの解説で扱われている基本的な文法事項や品詞の役割について理解を深める。

▌履修条件

本授業では TOEIC L&R TEST と同程度の難易度のテキストを使用する。指定範囲の事前学修や授業後の復習を行い、主体的かつ継続的に学修へ取り組む姿勢が求められる。

▌評価基準・方法

期末試験（60 %）、小テスト（30 %）、提出物等（10 %）の成績および到達目標の達成度を総合的に評価する。なお、原則として、授業回数の 5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

授業内で実施する演習問題や小テストへの取り組みに対して、対面でのコメントに加え、学修支援システム manaba を通してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Pair work, Group work, Dictation, Shadowing など）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

授業内での配布に加え、学修支援システム manaba を通して、必要に応じて資料を配布する。

▌参考書

授業内で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス（授業の進め方、TOEIC について）** 授業内容：・TOEIC L&R TEST の概要、成績評価方法、小テストに関する説明を行う。 ・リーディングセクションおよびリスニングセクションの主な出題形式について、演習問題に取り組みながら理解を深める。 ・目標スコアや学修計画を立てる。 ・英語基礎力を現状を把握するために、TOEIC Reading Section Part 5 の短文穴埋め問題（品詞問題中心）についてミニクイズを実施する。 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する。 事後学修 1.0hr：本日の学びの復習
2回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 1（リスニング：写真描写問題）** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 1 の写真描写問題の出題形式に慣れるため、英語の弱形発音や音の連結・脱落といった音声変化に着目しながら音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
3回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 5　（リーディング：短文穴埋め問題）** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 5 の短文穴埋め問題の出題形式に慣れるとともに、品詞の働きや句構造に着目しながら解答するための問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
4回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 2（リスニング：応答問題）** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 2 の応答問題の出題形式に慣れるため、疑問詞や様々な疑問文を聞き取り、状況に応じた適切な応答を判断する練習を含む問題演習を行う。あわせて、音読やシャドーイングを取り入れ、応答表現への理解を深める。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
5回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 6　（リーディング：長文穴埋め問題）** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 6 の長文穴埋め問題の出題形式に慣れるため、文章全体を読み取り、ディスコースマーカーや全体の文章構造に着目しながら解答する問題演習を行う。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
6回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3（リスニング：会話問題）(1)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 3 の会話問題の出題形式に慣れるため、設問の要点を事前に読み取る練習を行うとともに、音読やシャドーイングを含む問題演習を行い、会話全体の内容理解を深める。 ・小テスト（語彙クイズ）を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

7回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (1)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Single Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
8回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 3 (リスニング：会話問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 3 の会話問題の出題形式に慣れるため、設問の要点を事前に読み取る練習を行うとともに、音読やシャドーイングを含む問題演習を行い、会話全体の内容理解を深める。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
9回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
10回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (1)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 4 の説明文問題の出題形式に慣れるため、音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。あわせて、内容の要点を聞き取る練習や、音声の内容および話の展開を予測しながら理解を深める活動を取り入れる。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
11回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (3)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
12回	**授業テーマ：TOEIC Listening Section Part 4 (リスニング：説明文問題) (2)** 授業内容：・TOEIC Listening Section Part 4 の説明文問題の出題形式に慣れるため、音読やシャドーイングを含む問題演習を行う。あわせて、内容の要点を聞き取る練習や、音声の内容および話の展開を予測しながら理解を深める活動を取り入れる。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
13回	**授業テーマ：TOEIC Reading Section Part 7　(リーディング：読解問題) (4)** 授業内容：・TOEIC Reading Section Part 7 の長文問題(Multiple Passages)の出題形式に慣れるため、文章内容の要点を読み取る練習を行うとともに、必要な情報を効率的に探し出すためのスキミングやスキャニングを用いた問題演習を行い、情報処理能力の向上を図る。 ・小テスト(語彙クイズ)を実施する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
14回	**授業テーマ：Wrap-up (総括) (1)** 授業内容：・これまで学修してきた TOEIC L&R TEST 各パート(Listening ／ Reading)の重要ポイントを整理し、出題形式や解答の要点を総合的に確認する。 ・頻出問題や誤答しやすい項目を中心に演習を行い、解答根拠を明確にしながら理解の最終確認を行う。 ・文法・語彙の定着状況を確認する。 ・TOEIC 公開テストを想定した時間配分や解答手順について確認する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習
15回	**授業テーマ：Wrap-up (総括) (2)** 授業内容：・これまで学修してきた TOEIC L&R TEST 各パート(Listening ／ Reading)の重要ポイントを整理し、出題形式や解答の要点を総合的に確認する。 ・頻出問題や誤答しやすい項目を中心に演習を行い、解答根拠を明確にしながら理解の最終確認を行う。 ・文法・語彙の定着状況を確認する。 ・今後の学修に向けた簡単な振り返りを行い、学期全体の学修内容を整理する。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、小テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習

Preparation for TOEIC Ⅱ-a

開講学科等：日中 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：前

篠塚　勝正（しのづか　かつまさ）

▌授業の概要

① TOEIC テストの全体像と各問題形式の把握、②問題演習、③ TOEIC のためのボキャブラリービルディングを通して、高得点の取得を目指します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させて、TOEIC スコアを伸ばすことができます。
個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れることができます。また、スコアアップのための効果的な学習方法を身につけることで、ビジネスの知識と共に英語コミュニケーション能力も向上させることができます。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

期末試験 60%、小テスト・授業態度 40%。なお、5 分の 4 以上の出席を単位認定の前提条件とします。

▌フィードバック方法

小テストなどの取り組みに対して、対面あるいは manaba の機能を使用しフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク，グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （dictation やシャドーイング訓練時に PC を使います。）

▌教科書

印刷して、お渡しします。

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：授業の進め方や TOEIC について説明します。Pre-test を実施し今現在の自分のスコアを確認します。 事前学修 1.0hr：TOEIC の問題構成を理解する。 事後学修 1.0hr：本日の学びの復習
2回	**授業テーマ：教科書 [2] Test 2, No. 32-34** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
3回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 71-73** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
4回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 35-37** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
5回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 74-76** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
6回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 38-40** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
7回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 77-79** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
8回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 41-43** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
9回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 80-82** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
10回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 44-46** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
11回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 83-85** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
12回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 47-49** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記

13回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 86-88** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
14回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 50-52** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
15回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 89-91** 授業内容：Post test を実施し、前期でどの程度 TOEIC が伸びたかを確認します。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記

Preparation for TOEIC Ⅱ-b

開講学科等：日中 ｜ 2 年次 ｜ 1 単位 ｜ 開講期：後

篠塚　勝正（しのづか　かつまさ）

▌授業の概要

Preparation for TOEIC II-a に引き続き、さらに高い得点を目指します。リスニング力を伸ばすために、dictation や shadowing 訓練を多く行います。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科〔日本語専攻 G ①/G ②/G ③/G ④、GSM G ①〕、中国語学科 3）

一般目標：英語力の中でも、特に聴解力、読解力、語彙力、文法力を総合的に向上させて、TOEIC スコアを伸ばすことができます。

個別目標：TOEIC の演習問題を解きながら、出題形式や頻出表現に慣れることができます。また、スコアアップのための効果的な学習方法を身につけることで、ビジネスの知識と共に英語コミュニケーション能力も向上させることができます。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

期末試験 60%、小テスト・授業態度 40%。なお、5 分の 4 以上の出席を単位認定の前提条件とします。

▌フィードバック方法

小テストなどの取り組みに対して、対面あるいは manaba の機能を使用しフィードバックを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク，グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （dictation やシャドーイング訓練時に PC を使います。）

▌教科書

印刷してお渡しします。

▌参考書

授業内で適宜紹介します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：教科書 [2] Test 2, No. 53-55** 授業内容：リーディング演習、リスニング演習をします。学生が前期と異なる場合、Pret-test を行い現在の自分のスコアを確認します。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
2回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 92-94** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
3回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 56-58** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
4回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 95-97** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
5回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 59-61** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
6回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 98-100** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
7回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 62-64** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
8回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 65-67** 授業内容：統一単語テスト、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
9回	**授業テーマ：[2] Test 2, No. 68-70** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
10回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 92-94** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
11回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 62-64** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
12回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 95-97** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記

13回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 65-67** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
14回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 98-100** 授業内容：単語ドリル、リーディング演習、リスニング演習をします。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記
15回	**授業テーマ：[2] Test 1, No. 68-70** 授業内容：Post-test を行い、後期でどの程度の TOEIC のスコアが伸びたのかを確認します。 事前学修 1.0hr：指定箇所の予習、単語テストの準備 事後学修 1.0hr：既習箇所の復習、リスニング・スクリプトの暗記

GSM 海外留学

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 4 単位

単位認定科目

▌授業の概要

カリキュラム・ポリシーに基づき、国際性を身につけ、世界的な課題に積極的に参加し発言していくため、GSM 海外留学では、半期の留学を通して海外事情に通じ、言語だけでなくビジネスに必要な教養や国際理解、異文化コミュニケーション能力を身につけることを目的としています。2021 年度については不透明な部分が大きいので、説明会等でアナウンスしていきます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 1/3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：留学を通して基礎となる言語の習得を第一目標とし、さらに異文化理解、社会・経済知識の習得、コミュニケーション能力の習得を目標とします。具体的な到達レベルについては、留学説明会等で提示します。

個別目標：語学の習得については、半期の専門的な授業を通してコミュニケーションができるレベルを目標とします。同時にその国の文化や歴史について学び、自分の言葉で説明できることを目標とします。

▌履修条件

留学派遣にあたっては、留学に必要な要件を備えているかどうかを審査します。

▌評価基準・方法

留学先大学における単位取得科目の成績をもとに、単位互換を行います。詳しくは留学説明会にてお伝えします。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

なし

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

留学先大学における指定の教科書。

▌参考書

留学先大学にて適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

留学先大学のカリキュラムに合わせ、必要な科目を履修していきます。

授業内容

留学先大学におけるカリキュラムの内容に合わせ、必要な知識を授業を通じて習得していきます。

事前学修

留学に必要な審査を経て留学が決定した者については、事前に複数回の研修を行い、留学生活に必要な準備を行います。

事後学修

留学を通して得たこと、学んだことを中心に、各自がレポートを仕上げて提出します。

GSM 海外研修

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

ディプロマ・ポリシーにおける社会性の理念を具現化するため、海外のビジネスの現場を見学し、日系企業の訪問を通して意見交換することで、グローバルビジネスの課題と魅力を探っていきます。多くの日系企業は、成長著しいアジアに進出し、グローバルサプライチェーンを構築しています。現実のビジネスは日本だけで完結せず、アジアを含めたグローバルマーケットで成立しています。GSM 海外研修では、こうした実態を直接見聞することで、ビジネスの実際を肌で感じてもらうことにしています。研修先はアジアの都市になりますが、具体的にはオリエンテーションの時に説明します。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 1/3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：グローバルビジネスの現場を知り、海外で仕事をすることの課題を認識すること、そして課題を克服するための自分なりの手がかりを得ることが到達目標です。

個別目標：具体的には、現地で活躍している日系企業を訪問し、直接担当者にお話しをうかがうことで、グローバリゼーションの中でどのように企業の国際展開が果たされているのか、現地マーケットへのシェア拡大のポイント、CSR に代表される現地への貢献など、さまざまな課題の実情を理解していきます。これらの問題について、自分なりの意見や課題を述べることができることを目標にしています。

▌履修条件

特にありません。

▌評価基準・方法

総計 60 時間の海外研修を要する。
ただし、この 60 時間の中には少なくとも 40 時間の海外研修を含める。
さらに 30 時間をグローバル・スタディーズ専攻生に相応しい海外研修事前学修や事後レポート提出等の海外研修に付随する学修に要する。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （調べた内容を教室で発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

特にありません。

▌参考書

研修内にて適宜指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

グローバルビジネスの実際を知ってもらうため、アジアの都市に行きビジネスの現場を見学するほか、そこで活躍する日系企業を訪問し、具体的にビジネスの課題や魅力を伺います。現場で働く人々の話は、個人の旅行や通常のメディアでは聞くことのできない貴重なものが多くあります。学生たちはそれらの話を聞いたうえで、グループディスカッションを通して内容を整理しまとめ、レポートの形に仕上げていきます。

授業内容

事前学習として研修先に関する知識の修得、疑問点の整理などを行います。また、研修先では事前学習の成果も踏まえ、現場の課題や今後の動向などについて注意深く観察し、帰国後にそれらの課題をまとめ、発表します。

事前学修

事前にグローバルビジネスに関する基礎知識を身につけます。為替のしくみやアジアにおけるビジネスの全体像などについて事前研修をおこないます。

事後学修

海外研修を通して見聞した貴重な情報を、グループディスカッションを行いながら内容を分類し、整理していきます。それらを土台にして、各自がレポートを仕上げて提出します。また、報告会において研修の成果を報告します。

GSM インターンシップ Ⅰ

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

団体・企業等における実習・研修などの就業体験を通し、その体験から得られた成果に対して単位を認定する科目です。
この、GSM インターンシップ制度は、学生が積極的に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、さらに学習意欲を高め、探求心を向上させ、高いレベルの人間性を醸成する事を目的に設置されています。
学生の積極性とチャレンジ精神が大いに試される、究極のインターアクティブな授業といえます。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：グローバル・スタディーズ専攻の学生として必要とされる卓越したマナーや社会常識が身に付く。
　　忍耐力や誠実さなども相手に伝わるように、自分の行動について考えることができるようになる。
　　変化に柔軟に対応する能力を身につけ、実社会で必要となる積極的な思考が養われる。
個別目標：実社会における高い問題解決能力を持った人物として就職する前段階として、様々な職種形態を研究し、実体験する。
　　自分の社会人としての将来について、具体的な目標を設定することができる。

▌履修条件

目的意識を持って就業体験に積極的に参加することができるグローバル・スタディーズ専攻の学生。
詳細については、当該年度の実施要項を参照のこと。

▌評価基準・方法

総計 60 時間のインターンシップを要する。
ただし、この 60 時間の中には少なくとも 40 時間（通常 1 日約 8 時間× 5 日間）の就業実地体験を含める。
さらに 20 時間をグローバル・スタディーズ専攻生に相応しい就業体験事前学修や事後レポート提出等のインターンシップに付随する学修に要する。
★課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌フィードバック方法

総計 60 時間のインターンシップを要する。
ただし、この 60 時間の中には少なくとも 40 時間（通常 1 日約 8 時間× 5 日間）の就業実地体験を含める。
さらに 20 時間をグローバル・スタディーズ専攻生に相応しい就業体験事前学修や事後レポート提出等のインターンシップに付随する学修に要する。
★課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （報告会での発表について教員からのコメントや質問がある場合があります。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （派遣にあたっては様々な資料を自律的に調べて頂きます。）

▌教科書

使用しない

▌参考書

随時紹介する

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

認定される単位に関しての詳細については、履修の手引などを参照すること。

授業内容

説明会に参加し、必要な書類を提出後、面接準備をしていただきます。万全な準備を整えて面接を受けてください。
インターンシップ参加が決定した場合は健康維持に万全を期し、職務を全うしてください。

事前学修

外国語学部グローバル・スタディーズ専攻が指定する事前学修が必要。
詳細については研修先との連携をとりながら指示を受けることとなる。
総合教育センターの全面的なバックアップを受けることができます。
安心して参加してください。

事後学修

研修先での当日の業務内容等を丹念に記録することが必要です。そしてインターンシップ先の業務についての反省や経験を踏まえた事後報告会に出席することが単位認定に必要です。

GSM インターンシップⅡ

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

海外の団体・企業等における実習・研修などの就業体験を通し、その体験から得られた成果に対して単位を認定する科目です。
この、GSM インターンシップ制度は、学生が積極的に自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を行うことにより、さらに学習意欲を高め、探求心を向上させ、高いレベルの人間性を醸成する事を目的に設置されています。
学生の積極性とチャレンジ精神が大いに試される、究極のインターアクティブな授業です。
GSM インターンシップⅡは海外で行われます。説明会に必ず出席したうえで、しっかりと事前研修も受けることになります。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：グローバル・スタディーズ専攻の学生として必要とされる卓越したマナーや社会常識を身に付ける。
常に変化する社会で活躍できる幅広い教養を身につける。
実社会で必要となる、積極的に問題を解決しようとする姿勢が身につく。
個別目標：実社会における高い問題解決能力を持った人物として、就職する前段階として様々な職種形態を研究したり、体験することが目標です。
また、海外でのビジネスマナーもできるだけ念入りに下調べをし、事前学修にも必ず参加することが義務付けられています。
高い能力を持った社会人となるための、高い目標を自ら立てることができるようになります。

▌履修条件

目的意識を持って就業体験に参加できるグローバル・スタディーズ専攻の学生。
詳細については、当該年度の実施要項を参照して下さい。

▌評価基準・方法

総計 60 時間のインターンシップを要する。
ただし、この 60 時間の中には少なくとも 40 時間（通常 1 日約 8 時間× 5 日間）の就業実地体験を含める。
さらに 20 時間をグローバル・スタディーズ専攻生に相応しい就業体験事前学修や事後レポート提出等のインターンシップに付随する学修に要する。
★課題フィードバックについては対面返却、manaba での模範解答掲示、manaba でのコメントを行います。

▌フィードバック方法

報告に向けて提出されたレポートは教員の指導の下、適宜修正を行い報告発表の準備を行います。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （海外インターンシップに参加するには自己の意見表明が重要です。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前学修では特にインターンシップ先の情報収集を PC で行います）

▌教科書

使用しません。

▌参考書

随時紹介しますので積極的に自習して下さい。志望企業について丁寧に調べて下さい。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

認定される単位に関しての詳細については、履修の手引などを参照して下さい。

授業内容

海外でのインターンシップに参加します。言語の修得はもとより、文化背景を異にする環境での働き方について学ぶことが目的です。
積極的に海外でのビジネス習慣やビジネス実務の修得に努めましょう。

事前学修

外国語学部グローバルスタディーズ専攻が指定する事前学修が必要です。詳細については研修先との連携をとりながら指示を受けることとなります。

事後学修

研修先での当日の業務内容等の丹念な記録、及び研修先での反省などを踏まえた事後報告会に出席してください。

GSM ボランティア Ⅰ

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

この授業では、国内ボランティアに参加することを目的とし、とくに浦安地域及び市川地域における活動を中心とする。地域に根ざしたボランティア活動に参加することにより、学生ひとりひとりの「奉仕の精神」と人間性、社会性を養うことに重きをおいている。学生には、身近な日々の出来事に対して、どのように対処したらよいのか、またどのような解決策があるのか、その方策や考え方を学ぶものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：・事務作業やイベントの企画などのプロジェクトに参加することにより、その段取りや考え方を習得する。
・国際交流のあり方や国際理解、コミュニケーションの取り方などを学ぶことができる。
・浦安地域及び市川地域の援農に関わる活動を理解し、その実態を学ぶことができる。

個別目標：ここでは事前、事後を含め、現場以外のことがらを通して、ボランティア活動の意義や本質などを理解する。(ここでは、地域社会におけるボランティア活動を通して、その意義が説明できるということである。)またそのイベントやプロジェクトの必要性をも判断できる。

▌履修条件

各学科の GSM 専攻の学生のみ履修することができる。またこの授業に参加する学生は、服装や身だしなみにも留意すること。

▌評価基準・方法

毎回、事前に学習及び計画を立て、事後については、そこで学んだことを報告書としてまとめる。毎回の授業では、よほどのことがない限り欠席は認められない。

▌フィードバック方法

課題に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。また個別による指導を含めた、フィードバックも進める。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに指定はしない。

▌参考書

授業時にその都度紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

・事務作業やイベントの企画などのプロジェクトに参加する。
・国際交流及び国際理解を深めるため、浦安地域に住む外国人との交流会に参加する。
・浦安及び市川地域の援農に関わる活動に参加する。

授業内容

授業では、学生諸君の受け入れ先によって、状況は異なるが、事前学修としての受け入れ先の把握とその事業内容を理解し、それぞれの分野を細かく厳密に調べる必要がある。また実際に体験することにより、その内容を理解し事後学修として、それぞれの分野で参加してきた内容とそこで学んだものについての報告書を作成する。

事前学修

毎回、事前に学習計画を立て、それについての関連したことを調べなければならない。調べることにより、その分野の処理方法や解決方法を見出していく。

事後学修

事前学修で学んだことについて、実際に体験したことに基づき、それらをまとめる。報告書としてまとめ、他の学生の前で、プレゼンテーションをすることを義務付ける。(報告会及び発表会には必ず出席すること。)

GSM ボランティアⅡ

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位

単位認定科目

▌授業の概要

この授業では、海外ボランティアに参加することを目的とし、とくに諸外国における活動を中心とする。ベトナム、タイ、マレーシア、その他の地域など、その地域に根ざしたボランティア活動に参加することにより、学生ひとりひとりの奉仕の精神と人間性、社会性、国際性を養うことに重きをおいている。学生には、異文化接触との学修と身近なできごとに対して、どのように対処したらよいのか、またどのような解決策があるのか、その方策や考え方を学ぶものである。

▌到達目標（ディプロマ・ポリシー：日本語学科 GSM G ④、英米語学科 GSM 3、中国語学科 GSM 5）

一般目標：・諸外国の事情に合わせた企画及びプロジェクトに参加することにより、その段取りや考え方が習得できる。
・諸外国における事情やそこに住む人々の異文化実地体験を習得することができる。
・国際交流及び国際理解、コミュニケーションの取り方などを学ぶことができる。(異文化接触におけるコミュニケーションスタイルを学ぶことができるということである。)

個別目標：海外におけるボランティア活動のあり方について説明できる。(その必要性や異文化理解、地域研究の特殊性や特殊事情について説明できるということである。)

▌履修条件

各学科のグローバル・スタディーズ専攻の学生のみ履修することができる。またこの授業に参加する学生は、服装や身だしなみにも留意すること。

▌評価基準・方法

毎回、事前に学習及び計画を立て、事後については、そこで学んだことを報告書としてまとめる。毎回の授業では、よほどのことがない限り欠席は認められない。

▌フィードバック方法

課題に関わるフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行うこととする。また個別による指導を含めた、フィードバックも進める。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク及びプレゼンテーション等を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （事前事後における学修においてパソコンを使用する。）

▌教科書

とくに指定はしない。

▌参考書

授業時にその都度紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

授業テーマ

・諸外国の事情に合わせた企画及びプロジェクトに参加する。
・諸外国における事情やそこに住む人々の異文化実地体験に参加する。
・異文化接触及び国際交流に参加する。
・その地域社会における生活、習慣、慣習などをボランティア活動を通して実体験する。

授業内容

授業では、諸外国の状況や事情に合わせて、地域研究をも習得していかなければならない。学生諸君の受け入れ先によって、状況は異なるが、事前学修としての受け入れ先の把握とその事業内容を理解し、その国の特色も学んでいく必要性がある。(それぞれの分野を厳密に調べておく必要性があるということです。)また実際にその活動を体験することにより、その内容を理解し、事後学修として、それぞれの分野で参加してきた内容とそこで学んだことについて報告書を作成する。

事前学修

毎回、事前に学習計画を立て、それについて関連したことがらを調べておかなければならない。調べることにより、その分野の処理方法や解決方法を見出していく。(準備段階において、その地域のことがらやボランティアにおける問いを整理し、参加する意義を明確化していく。)

事後学修

事前学修で学んだことについて、実際に体験したことに基づき、それらをまとめる。報告書としてまとめ、他の学生の前で、プレゼンテーションをすることを義務付ける。(報告会もあることをつけ加えておく。)

教職課程科目

書道 I

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

春田　賢次朗（はるた　けんじろう）

▌授業の概要

中学校国語科書写の学習指導に必要な知識・技法・指導法などについて講義する。学校教育における書写では、文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てることが求められている。本授業は毛筆の実習を通して、主に中学校の書写教育の全体像を把握し、楷書・行書・平仮名・片仮名の基本的な技法、書写の指導法や指導計画などの習得を目指す。実習は楷書を中心に行うが、状況により変わることがある。

▌到達目標

一般目標：中学校国語科書写の学習指導に必要な知識を身につける。
　　楷書と平仮名、片仮名の基本的な書き方を習得し、その調和について理解する。
個別目標：中学校国語科書写の概要を説明することができる。
　　楷書と平仮名、片仮名の基本的な書き方について説明し、指導することができる。
　　楷書と平仮名、片仮名の調和した書き方について説明し、指導することができる。

▌履修条件

教職課程履修者のみ履修可能。

▌評価基準・方法

提出物 (70 %)、授業中の参加姿勢 (30 %) 及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題に関するフィードバックは、机間巡視や授業内の作品添削によって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （書写の実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

全国大学書写書道教育学会編『国語科書写の理論と実践』萱原書房 令和 2 年 3 月

▌参考書

特になし。
道具については初回の授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：授業に必要な用具や、書写指導の目的について講義し、アンケートを行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを通読し、本講義に期待する内容を考えておく。 事後学修 2.0hr：教科書、用具を購入する。
2 回	**授業テーマ：中学校書写の学習内容／楷書に調和する平仮名** 授業内容：平仮名の成立過程および楷書に調和する平仮名の書き方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 18,32,33 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 18,32,33 ページを復習する。
3 回	**授業テーマ：楷書に調和する片仮名** 授業内容：片仮名の成立過程および楷書に調和する片仮名の書き方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 36,37 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 36,37 ページを復習する。
4 回	**授業テーマ：楷書の基本点画とその書き方** 授業内容：楷書の特徴および基本点画の書き方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 38,40,41 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 38,40,41 ページを復習する。
5 回	**授業テーマ：字形の要素と全体の整え方** 授業内容：字形の要素と全体の整え方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 42,43 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 42,43 ページを復習する。
6 回	**授業テーマ：筆順** 授業内容：筆順指導について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 44,45 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 44,45 ページを復習する。
7 回	**授業テーマ：点画の長短／画と画の間** 授業内容：点画の長短、画と画の間について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 46,47 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 46,47 ページを復習する。
8 回	**授業テーマ：点画の方向** 授業内容：点画の方向について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 48,49 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 48,49 ページを復習する。
9 回	**授業テーマ：点画の接し方** 授業内容：点画の接し方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 50,51 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 50,51 ページを復習する。
10 回	**授業テーマ：点画の交わり方** 授業内容：点画の交わり方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 52,53 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 52,53 ページを復習する。

11回	**授業テーマ：「左右」から成る文字の組立て方** 授業内容：「左右」から成る文字の組み立て方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 54,55 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 54,55 ページを復習する。
12回	**授業テーマ：「上下 」から成る文字の組立て方** 授業内容：「上下」から成る文字の組み立て方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 56,57 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 56,57 ページを復習する。
13回	**授業テーマ：「内外」から成る文字の組立て方** 授業内容：「内外」から成る文字の組み立て方について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 58,59 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 58,59 ページを復習する。
14回	**授業テーマ：文字の大きさと配列／点画のつながり** 授業内容：文字の大きさと配列、点画のつながりについて講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 60〜63 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 60〜63 ページを復習する。
15回	**授業テーマ：硬筆** 授業内容：筆記具の特性について講義し、硬筆の実技を行う。 事前学修 2.0hr：2B 以上の鉛筆を準備する。 事後学修 2.0hr：講義の内容を復習する。

書道Ⅱ

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

春田　賢次朗（はるた　けんじろう）

▌授業の概要

中学校国語科書写の学習指導に必要な知識・技法・指導法などについて講義する。学校教育における書写では、文字を正しく整えて速く書くことができるようにするとともに、書写の能力を学習や生活に役立てる態度を育てることが求められている。本授業は毛筆の実習を通して、主に中学校の書写教育の全体像を把握し、楷書・行書・平仮名・片仮名の基本的な技法、書写の指導法や指導計画などの習得を目指す。実習は行書を中心に行うが、状況により変わることがある。また、校種間の接続の視点から、高等学校芸術科書道の内容も一部取り扱う。

▌到達目標

一般目標：中学校国語科書写の学習指導に必要な知識を身につける。
　　行書と平仮名の基本的な書き方を習得し、その調和について理解する。
　　高等学校芸術科書道の学習内容について知る。
個別目標：中学校国語科書写の概要を説明することができる。
　　行書と平仮名の基本的な書き方について説明し、指導することができる。
　　行書と平仮名の調和した書き方について説明し、指導することができる。
　　高等学校芸術科書道の学習内容について説明することができる。

▌履修条件

教職課程履修者のみ履修可能。
書道Ⅰ既修者の履修が望ましい。

▌評価基準・方法

提出物 (70 %)、授業中の参加姿勢 (30 %) 及び到達目標の達成度に基づき総合的に評価する。

▌フィードバック方法

課題に関するフィードバックは、机間巡視や授業内の作品添削によって行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （書写の実習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

なし

▌教科書

全国大学書写書道教育学会編『国語科書写の理論と実践』萱原書房 令和 2 年 3 月

▌参考書

特になし。
道具については初回の授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス／行書の特徴** 授業内容：授業に必要な用具や、行書の特徴について講義する。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認する。 事後学修 2.0hr：用具・用材を準備する。
2回	**授業テーマ：点画の丸み／点画の方向や形の変化①** 授業内容：点画の丸み、点画の方向や形の変化について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 64 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 64,65 ページを復習する。
3回	**授業テーマ：点画の丸み／点画の方向や形の変化②** 授業内容：点画の丸み、点画の方向や形の変化について、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 66,67 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 66,67 ページを復習する。
4回	**授業テーマ：点画の連続① 筆脈の実線化** 授業内容：筆脈の実線化について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 68 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 68,70 ページを復習する。
5回	**授業テーマ：点画の連続② 直接連続** 授業内容：直接連続について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 69,70 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 69,70 ページを復習する。
6回	**授業テーマ：点画の省略 (1)** 授業内容：点画の省略について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 71 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 71 ページを復習する。
7回	**授業テーマ：点画の省略 (2)** 授業内容：点画の省略について中学校の教材をもとに実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 71 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 71 ページを復習する。
8回	**授業テーマ：筆順の変化 (1)** 授業内容：筆順の変化について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 72,73 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 72,73 ページを復習する。
9回	**授業テーマ：筆順の変化 (2)** 授業内容：筆順の変化について中学校の教材をもとに実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 72,73 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 72,73 ページを復習する。

10回	**授業テーマ：行書に調和する仮名** 授業内容：行書に調和する仮名について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 74,75 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 74,75 ページを復習する。
11回	**授業テーマ：文字の大きさと配列(行書き)** 授業内容：文字の大きさと配列について講義し、行書きの実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 76,77 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 76,77 ページを復習する。
12回	**授業テーマ：文字の大きさと配列(散らし書き)** 授業内容：文字の大きさと配列について講義し、散らし書きの実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 76,77 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 76,77 ページを復習する。
13回	**授業テーマ：漢字の古典** 授業内容：高等学校芸術科書道の学習内容について講義し、実技を行う。 事前学修 2.0hr：プリントを通読する。 事後学修 2.0hr：プリントを復習する。
14回	**授業テーマ：実用書式／書き初め** 授業内容：書き初めの実技を行う。 事前学修 2.0hr：教科書 78～83 ページを通読する。 事後学修 2.0hr：教科書 78～83 ページを復習する
15回	**授業テーマ：硬筆** 授業内容：硬筆の実技を行う。 事前学修 2.0hr：2B 以上の鉛筆を準備する。 事後学修 2.0hr：講義の内容を復習する。

教職基礎セミナーⅠ（国語科）

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

山本　聖志（やまもと　せいし）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状 (国語) 取得希望者のための１年次前学期の必修科目であり、３年次に学修する国語科教育法における基礎知識と基本的指導技術を身に付けるための基礎科目である。授業では、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成する。また、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を培う。デジタル教材やＩＣＴ機器の使用に習熟し、授業で活用できる力の基礎を育成する。更に能動的な学修の姿勢を重視し、国語の楽しさを体感できるように育成する。

▌到達目標

一般目標：１．受講者自身が、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとすることができる。
　　２．中学校教科書定番教材を通じて、生徒たちにどのような思考力・判断力・表現力を身に付けさせるかを主体的かつ実践的に指導できる。
個別目標：１．将来国語科教員として必要な文章読解や言語に対する知識・技能を持つことができる。
　　２．授業に役立つ ICT 機器やプレゼンテーションソフトなどの活用によって生徒の思考能力を向上させる技術を習得することができる。

▌履修条件

将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。

▌評価基準・方法

事前学修、グループ討議・発表、課題の提出及びレスポンへの回答、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢で５０%、定期試験５０%の結果に基づき、総合的に評価する。なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題等の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レポートの作成や模擬授業におけるプレゼンテーションで活用）

▌教科書

中学校「現代の国語２」三省堂（国語 015-82）

▌参考書

講義の中で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：ガイダンス** 授業内容：これからの国語科に求められている「授業デザイン」を考える。 事前学修 2.0hr：これまで受けてきた国語教育や授業を振り返り、それを指導することについて理解を深める。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：説明的文章の読み方１** 授業内容：「思考の方法」を読み、中学校国語科で扱う主体的で深い学びについて理解を深める。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、「思考の方法」について説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：説明的文章の読み方２** 授業内容：「人間は他(ほか)の星に住むことができるのか　渡部潤一」を読み、説明文の指導法について考える。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
4回	**授業テーマ：説明的文章の読み方３** 授業内容：「学びの道しるべ」の活用を通し、教科書編集の工夫及び生徒の国語に対する興味・関心及び理解を図る指導について考える。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：短歌の読み方１** 授業内容：「短歌の世界　俵万智」を読み、短歌の指導における指導内容及び方法について理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：短歌の読み方２** 授業内容：「短歌十首」を読み、定型をもった詩の表現技法について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
7回	**授業テーマ：短歌の読み方３** 授業内容：短歌を含む定型詩やその他韻文に関する指導法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。基礎的事項についての習熟を図っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：文法事項１** 授業内容：口語文法に関する知識の整理及び指導事項について理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：文法事項２** 授業内容：用言の活用について国語の指導内容としての位置付けについて理解する。 事前学修 2.0hr：言葉のきまりに関する学習内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
10回	**授業テーマ：評論文１** 授業内容：「100 年後の水を守る　橋本淳司」を読み、評論文の読み方や指導方法について考える。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。具体的な発問等を検討し、指導案を作成しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：評論文２** 授業内容：短い模擬授業を想定し、指導案並びに板書計画を作成する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、筆者の思考の過程を考え説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：評論文３** 授業内容：作成した指導案並びに板書計画について相互評価を行う。 事前学修 2.0hr：自分なりの指導案・板書計画を作成しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する
13回	**授業テーマ：プレゼンテーション１** 授業内容：国語における表現方法としてのプレゼンテーションの意義や指導上の留意事項について学ぶ。 事前学修 2.0hr：指導案をもとに具体的な発問等を検討し、プレゼンテーションの場面を想定する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：プレゼンテーション２** 授業内容：授業で活用できるプレゼンテーション資料を作成する。 事前学修 2.0hr：資料を作成し、その効果について考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：前期の学修内容を振り返り、効果的な国語指導について基礎的事項(漢字や語句)及び応用的事項(指導案・板書計画、プレゼンテーション等)の各観点から考察する。 事前学修 2.0hr：生徒の理解の促進を図る指導案等の工夫について考える。 事後学修 2.0hr：講義全体を俯瞰し国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をする。

教職基礎セミナーⅡ（国語科）

開講学科等：日　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

山本　聖志（やまもと　せいし）

▌授業の概要

１年次前学期「教職基礎セミナーⅠ（国語科）」に続く、中学校・高等学校教諭一種免許状 (国語) 取得希望者のための１年次後学期の必修科目であり、３年次に学修する国語科教育法における基礎知識と基本的指導技術を身に付けるための基礎科目である。授業では、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成する。また伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を培う。デジタル教材やＩＣＴ機器の使用に精通し授業で活用できる力を育成する。能動的な学修の姿勢を重視し、国語の楽しさを体感できるように育成する。

▌到達目標

一般目標：１．受講者自身が、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとすることができる。
　　２．中学校教科書の教材を通じて、生徒たちにどのような思考力・判断力・表現力を身に付けさせるかを主体的かつ実践的に指導できる。
個別目標：１．将来国語科教員として必要な言語に対する知識・技能を持つことができる。
　　２．新しい時代を迎え ICT 機器の活用やプレゼンテーションソフトなどの活用によって生徒の思考能力を向上させる技術を習得することができる。

▌履修条件

将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。

▌評価基準・方法

事前学修、グループ討議・発表、課題の提出及びレスポンへの回答、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢で５０%、定期試験５０%の結果に基づき、総合的に評価する。なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題等の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Excel、PowerPoint 等を搭載したパソコンを指示により持参）

▌教科書

中学校「現代の国語２」三省堂（国語 015-82）※前期から引き続き使用

▌参考書

講義の中で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：後期の教職基礎セミナーで学ぶ事項について理解し、学習計画を立てる。 事前学修 2.0hr：教科書を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：古典１（古文）** 授業内容：「古典に学ぶ」の単元のうち古文を学ぶ際に身に付けておくべき基礎的事項について確認する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であればどのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：古典２（古文）** 授業内容：「枕草子・徒然草」を読み、古文の指導上の基礎事項及び指導方法について考える。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
4回	**授業テーマ：古典３（古文）** 授業内容：「平家物語」を読み、軍記物についての読み方及び指導方法を理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：古典４（漢文）** 授業内容：「漢詩の世界」を読み、漢詩の形式や漢文の読み方を学ぶ際に身に付けておくべき基礎的事項を確認する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であればどのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：古典５（漢文）** 授業内容：漢文に由来する言葉について考え、熟語の構成や熟字訓について理解を深めるともに指導法について考える。 事前学修 2.0hr：言語事項、特に言葉の成り立ちについて調べておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
7回	**授業テーマ：文法１** 授業内容：口語文法に関する指導内容について理解する。 事前学修 2.0hr：品詞分類のうち特に体言に関する事項について復習しておく 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：文法２** 授業内容：口語文法について体系的な理解をするとともに指導上の課題や留意事項について理解する。 事前学修 2.0hr：品詞分類のうち特に用言に関する事項について復習しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：ICT の活用１** 授業内容：「情報を関係づける」を読み、QR コードを活用した授業の発展や情報社会における国語教育の役割について理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。テーマについて自分なりの課題意識をもつ。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
10回	**授業テーマ：ICT の活用２** 授業内容：「情報を関連づける」の単元を読み、ICT を活用した授業づくりについて考え、指導案を作成する際の活用について理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。思考の過程を考え説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

11回	**授業テーマ：韻文** 授業内容：「大阿蘇　三好達治」や提示された詩の作品を読み、韻文の指導内容について理解する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であればどのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：小説１** 授業内容：「走れメロス　太宰　治」を読み、模擬授業を想定した指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。段落の構成を考え、各段の主旨をまとめて発表できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
13回	**授業テーマ：小説２** 授業内容：「走れメロス　太宰　治」を題材に、実際の授業における学習活動や発問計画の重要性について理解し、指導案作成に役立てる。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。指導における発問について考える。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：小説３** 授業内容：「走れメロス　太宰　治」を題材に、グループワークを通し。指導案の相互評価を行う。プレゼンテーションの効果や課題について考察する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であればどのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：後学期の学修内容を踏まえ、基礎及び応用に関する定着の度合いについて確認する。 事前学修 2.0hr：学修内容を振り返り、自身の国語力向上のための課題を抽出する。 事後学修 2.0hr：国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をし、次学年の学修に備える。

教職基礎セミナーⅢ（国語科）

開講学科等：日　｜　2 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）取得希望者のための本学における２年次前学期の必修科目である。授業では、１年次同様、国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成する。また、主体的・対話的な学びなど、能動的な姿勢を重視し、実際の授業に際して、どのように指導を展開するかなどについて学修する。

▌到達目標

一般目標：1 受講者自身が、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする態度を身に付ける。
2 高等学校定番教材等を通じて、生徒たちにどのような思考力・判断力・表現力を身に付けさせるかを主体的かつ実践的な指導法を習得する。
3教員として行うべき様々な指導のポインや実際に指導を展開する上での方法を理解する。

個別目標：1 日本の言語文化に対する関心が深まり、国語を尊重することができる。
2 国語に係る思考力・判断力・表現力を説明できる。
3 具体的な指導のポイント等を説明できる。

▌履修条件

1 将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。
2 原則として、「教職基礎セミナーⅠ（国語科）」及び「教職基礎セミナーⅡ（国語科）」の単位を修得している学生。
3 ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナーⅠ（国語科）」との併修は認める。

▌評価基準・方法

授業への参加の姿勢・貢献度、小テストの結果や課題の提出状況を７０%、定期試験の結果を３０%とし、総合的に評価する。５分の４以上の出席を評価の対象とし、欠席・遅刻は減点する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

「精選　現代の国語」（２東書「現国 702」）
「精選　言語文化」（２東書「言文 702」）
※教科書は必ず明海ショップで購入すること。
「夢十夜」については指導者から資料として提供する。

▌参考書

講義の中で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（本授業の目的と概要、計画）** 授業内容：シラバスに基づいて本授業の目的と概要、学びの流れを確認し、半期の学習の見通しを持つ。 評論読解のポイントについて理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読み、本授業の目的と概要、学びの流れを確認し、半期の学習の見通しを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：現代の国語　評論の読み方** 授業内容：評論の特徴、構成、問題提起、筆者の主張等、評論を読み進める上での留意点について理解する。 事前学修 2.0hr：前回に出された課題に基づき、評論の読み方について自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：現代の国語　山崎正和「水の東西」１（全体内容読解）** 授業内容：全体を通読し、語句の意味等を確認しながら、筆者の主張の概要について協議をする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、筆者の主張を大まかに説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：現代の国語　山崎正和「水の東西」２（各段落の内容把握）** 授業内容：段落分けの確認をする。協議を通して、想定される発問についての解答を確認しながら、段落ごとの筆者の主張をとらえる。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。段落の構成を考え、各段の主旨をまとめて発表できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：現代の国語　山崎正和「水の東西」３（評論の読解）** 授業内容：協議を通して、想定される発問についての解答を確認しながら、筆者の主張の全体を理解する。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：言語文化　文語文法の復習１（動詞）** 授業内容：動詞の文語文法について振り返り、品詞の特徴、活用形の種類、活用の種類、活用の仕方について理解する。 事前学修 2.0hr：動詞の文語文法について、高等学校での既習内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：言語文化　文語文法の復習２（形容詞・形容動詞）** 授業内容：形容詞・形容動詞の文語文法について振り返り、品詞の特徴、活用の種類、活用の仕方について理解する。 事前学修 2.0hr：形容詞・形容動詞の文語文法について、高等学校での既習内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：言語文化　古文　紀貫之『土佐日記』「馬のはなむけ」１（文法事項）** 授業内容：音読をする。品詞分解をし、文法事項について協議を通じて確認をする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、品詞分解・文法事項を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：言語文化　古文　紀貫之『土佐日記』「馬のはなむけ」２(口語訳)** 授業内容：文法事項や古語の意味に留意しながら、口語訳をする。必要に応じて受講者同士で意見交換をしたり、指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：言語文化　古文　紀貫之『土佐日記』「馬のはなむけ」３(日記文学の読解)** 授業内容：協議を通して、想定される発問についての解答を確認しながら、全体の内容理解を深める。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：言語文化　漢文　寓話『淮南子』「塞翁馬」１(訓読・書き下し文)** 授業内容：訓読の基本を振り返りながら、音読をする。必要に応じて受講者同士で意見交換をしたり、指導者に助言を仰いだりしながら、書き下し文を書く。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。訓読の基本を振り返り、書き下し文を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：言語文化　漢文　寓話『淮南子』「塞翁馬」２(口語訳)** 授業内容：句法や漢字の意味に留意しながら、口語訳をする。必要に応じて受講者同士で意見交換をしたり、指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：言語文化　漢文　寓話『淮南子』「塞翁馬」３(漢文寓話の読解)** 授業内容：協議を通して、発問についての解答を確認しながら、寓意を読み取り、全体の内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：言語文化　現代文　夏目漱石『夢十夜』「第一夜」１(語句の意味・概要把握)** 授業内容：本文を音読する。協議を通じて、必要に応じて語句の意味を確認するとともに、物語の基本的な要素である、いつ、どこで、誰が、どうした、の４点を確認する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。必要に応じて語句の意味調べをする。物語の概要を説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：言語文化　現代文　夏目漱石『夢十夜』「第一夜」２(小説の読解)** 授業内容：協議を通して、想定される発問についての解答を確認しながら、全体の内容理解を深める。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：定期考査を通して、授業全体を俯瞰し、国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をするので、それに備える。

教職基礎セミナーⅣ（国語科）

開講学科等：日　｜　2年次　｜　2単位　｜　開講期：後

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（国語）取得希望者のための本学における2年次後学期の必修科目である。授業では、1年次同様、国語を適切に表現し、的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育成する。また、アクティブラーニングなど、能動的な学修の姿勢を重視し、実際の授業に際して、どのように指導を展開するかなどについて学修する。

▌到達目標

一般目標：1　受講者自身が、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする態度を身に付ける。
2　高等学校定番教材等を通じて、生徒たちにどのような思考力・判断力・表現力を身に付けさせるかを主体的かつ実践的な指導法を習得する。
3　教員として行うべき様々な指導のポイントを理解し、実際に指導を展開する上での方法を身に付ける。

個別目標：1　日本の言語文化に対する関心が深まり、国語を尊重することができる。
2　国語に係る思考力・判断力・表現力を説明できる。
3　具体的な指導のポイント等を説明できる。

▌履修条件

1　将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。
2　原則として、「教職基礎セミナーⅠ（国語科）」「教職基礎セミナーⅡ（国語科）」及び「教職基礎セミナーⅢ（国語科）」の単位を修得している学生。
3　ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー（国語科）Ⅱ」との併修は認める。

▌評価基準・方法

授業への参加の姿勢・貢献度、小テストの結果や課題の提出状況を70%、定期試験の結果30%に基づき、総合的に評価する。5分の4以上の出席を評価の対象とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

「精選　現代の国語」（2東書「現国 702」）
「精選　言語文化」（2東書「言文 702」）
前学期の「教職基礎セミナーⅢ」で使用した物を引き続き使用する。

▌参考書

講義の中で適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富嶽百景」1（小説の読解）** 授業内容：本文を音読する。協議を通じて、必要に応じて語句の意味を確認するとともに、物語の基本的な要素である、いつ、どこで、誰が、どうした、の4点を確認する。場面転換に注目して段落分けを考える。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。必要に応じて語句の意味調べをする。物語の概要を説明できるようにする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富岳百景」2（小説の読解）** 授業内容：協議を通して、段落ごとに、発問についての解答を確認しながら、内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。発問の回答についての自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富岳百景」3　（小説の読解）** 授業内容：協議を通して、段落ごとに、発問についての解答を確認しながら、内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。発問の回答についての自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富岳百景」4　（小説の読解）** 授業内容：協議を通して、段落ごとに、発問についての解答を確認しながら、内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。発問の回答についての自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富岳百景」5　（小説の読解）** 授業内容：協議を通して、段落ごとに、発問についての解答を確認しながら、内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。発問の回答についての自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：言語文化　現代文　太宰治「富岳百景」6　（小説の読解）** 授業内容：協議を通して、段落ごとに、発問についての解答を確認しながら、内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。発問の回答についての自分なりの考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：言語文化　文語文法の復習1（助動詞1）** 授業内容：助動詞の文語文法について振り返り、助動詞の働き、種類、接続、意味、活用等を理解する。 事前学修 2.0hr：助動詞の文語文法について、高等学校での既習内容を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
8回	**授業テーマ：言語文化　文語文法の復習2（助動詞2）** 授業内容：実際の古文を対象に、助動詞について文法的な説明ができるように、接続や意味、活用形について確認する。 事前学修 2.0hr：前回の学修内容を振り返り、助動詞の文語文法について確認する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
9回	**授業テーマ：言語文化　古文1　清少納言「枕草子」「五月ばかりなどに山里に歩く」1（文法事項）** 授業内容：音読をする。品詞分解をし、文法事項について協議を通じて確認をする。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、品詞分解・文法事項を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。

10回	**授業テーマ：言語文化　古文１　清少納言「枕草子」「五月ばかりなどに山里に歩く」２(口語訳)** 授業内容：文法事項や古語の意味に留意しながら、口語訳をする。必要に応じて受講者同士で意見交換をしたり、指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：言語文化　古文１　清少納言「枕草子」「五月ばかりなどに山里に歩く」３(中古随筆の読解)** 授業内容：協議を通して、発問についての解答を確認しながら、全体の内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。授業者であれば、どのように発問するかを考え、まとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
12回	**授業テーマ：言語文化　古文２　清少納言「枕草子」「ありがたきもの」１(文法事項)** 授業内容：音読をする。品詞分解をし、文法事項について協議を通じて確認をする。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。また、品詞分解・文法事項を明らかにしておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
13回	**授業テーマ：言語文化　古文２　清少納言「枕草子」「ありがたきもの」２(口語訳・中古随筆の読解)** 授業内容：文法事項や古語の意味に留意し、必要に応じて受講者同士で意見交換をしたりしながら、口語訳をする。協議を通して、発問についての解答を確認しながら、全体の内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：言語文化　漢文　寓話　「列子」「朝三暮四」１(訓読と書き下し文・口語訳)** 授業内容：訓読の基本を振り返りながら、音読をする。音読を踏まえて、書き下し文を書く。句法や漢字の意味に留意し、口語訳をする。必要に応じて受講者同士で意見交換をしたり、指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：言語文化　漢文　寓話　「列子」「朝三暮四」２(口語訳・漢文史話の読解)** 授業内容：句法や漢字の意味に留意し、必要に応じて受講者同士で意見交換をしたりしながら、口語訳をする。協議を通して、発問についての解答を確認しながら、寓意を読み取り、全体の内容理解を深める。必要に応じて指導者に助言を仰いだりする。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。自分なりの口語訳を考えておく。 事後学修 2.0hr：定期考査を通して、講義全体を俯瞰し、国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をするので、それに備える。

国語科教育法Ⅰ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

本授業は、高等学校における国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について、講義や演習を通して学ぶとともに理論と実践の両面から研究する。生徒の言語活用能力を向上させ、言語生活を豊かにできる双方向型の国語科指導のあり方を研究する。
教職専門科目との連携を図って、授業空間での生徒への適切な働きかけの在り方を模擬授業を通して学び合う。また、デジタル教材やＩＣＴ機器の使用に精通し、授業で活用できる力を育成する。

▌到達目標

一般目標：1　国語教育、特に高等学校国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について理解し今日的課題に対応しようとする態度を養う。
　　2　学習指導案を作成するにあたって留意すべきことを理解する。
個別目標：1　身に付けさせたい言語運用能力を明確にしその指導方法と評価方法を身に付ける。
　　2　新しい時代を迎え、ＩＣＴ機器の活用やプレゼンテーションソフトなどの活用によって生徒の思考能力を向上させる技術を習得することができるようになる。

▌履修条件

将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。

▌評価基準・方法

授業への参加の状況及び貢献度、提出物及び小テスト等を７０%、模擬授業の準備状況や内容、相互評価の取組を３０%とし、総合的に評価する。授業への参加が学修の中心となるので、欠席・遅刻については減点とするなど、厳格に対処する。定期試験は実施しない。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （模擬授業　相互評価　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

「精選　現代の国語」（２東書「現国 702」）
「精選　言語文化」（２東書「言文 702」）
昨年度の「教職基礎セミナーⅢ」「教職基礎セミナーⅣ」で使用した物をそのまま使用する。

▌参考書

文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）』（東山書房）
文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 国語編』（東洋館出版社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (本授業の目的と概要、計画)** 授業内容：本授業の目的と概要を理解し、半期の授業計画を把握し、学びの流れについて見通しを持つ。 国語の教員を目指す上での課題について個々に考えた上でグループで意見交換し、全体で共有する。 初回アンケートを実施する。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで半期の授業計画についての見通しを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：『高等学校学習指導要領』における「国語」の科目構成** 授業内容：『高等学校学習指導要領』における「国語」の科目構成と各科目の目標と内容について理解する。 「国語」の教育課程を個々に考えた上でグループで意見交換し、全体で共有する。 事前学修 2.0hr：前時の授業内で支持された課題に基づき、自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：評論と評論の授業づくり** 授業内容：評論の特徴を理解する。 評論を教材とする授業づくりの手順について個々に考えた上でグループで意見交換し、全体で共有する。 事前学修 2.0hr：前時の授業内で支持された課題に基づき、自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：小説と小説の授業づくり** 授業内容：小説の読み方を理解する。 小説を教材とする授業づくりの手順について個々に考えた上でグループで意見交換し、全体で共有する。 事前学修 2.0hr：前時の授業内で支持された課題に基づき、自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：古文・漢文の授業づくり** 授業内容：古文・漢文を教材とする授業づくりの手順について個々に考えた上でグループで意見交換し、全体で共有する。 事前学修 2.0hr：前時の授業内で支持された課題に基づき、自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：模擬授業の準備** 授業内容：模擬授業を実施するグループを分けをする。 文学的教材、評論、古文、漢文の中から担当する教材分野をグループ間で調整する。 取り上げる教材をグループで話し合って決定する。 事前学修 2.0hr：前時の授業内で支持された課題に基づき、自分の意見をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１（文学的教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価２（文学的教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価３（古文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価４（古文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価５（評論教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価６（評論教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価７（古典漢文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価８（漢文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当するグループは模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：全授業の振り返りと「国語科教育法Ⅱ」の授業に向けての準備** 授業内容：半期の全授業を振り返り、協議を通じて、課題を共有する。 「国語科教育法Ⅱ」の授業に向けての準備について協議する。 事前学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：「国語科教育法Ⅰ」の振り返りを踏まえながら、国語科教育法Ⅱの授業に向けての準備をする。

国語科教育法Ⅱ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

本授業は、高等学校における国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について、講義や演習を通して学ぶとともに、理論と実践の両面から研究する。国語科指導力の完成を目指し、現場で活用・応用できる指導力を育成する。
国語教材のテーマを踏まえて自ら分析し、自らが課題を設定し、互いに討論し、自らの考えをまとめ発表できる力を指導できる教師力を模擬授業やグループ討議を通じて構築することを目指す。また、デジタル教材やＩＣＴ機器の使用に精通し、授業で活用できる力を育成する。

▌到達目標

一般目標：1　国語科教育法Ⅰで学んだ内容を活かし、国語科の授業を自力で構想し実践に移すことができる。
　　2　教材に応じて資料を探索し咀嚼し、深い学びにつながる適切な授業方法と評価方法を構想することができる。
個別目標：1　ＩＣＴ機器を活用した模擬授業を通して教育実習等で活用できるように質を向上させる。
　　2　一国語教育者として言葉の力を理解し、一指導者としての柔軟な姿勢を身につける。
　　3　新しい時代を迎え、ＩＣＴ機器の活用やプレゼンテーションソフトなどの活用によって生徒の思考能力を向上させる技術を習得することができる。

▌履修条件

将来、中学校・高等学校の国語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意のある学生。

▌評価基準・方法

授業への参加の状況及び貢献度、提出物及び小テスト等を７０%、模擬授業の準備状況や内容、相互評価の取組を３０%とし、総合的に評価する。授業への参加が学修の中心となるので、欠席・遅刻については減点とするなど、厳格に対処する。定期試験は実施しない。

▌フィードバック方法

学習支援システム manaba を通じて行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （模擬授業　相互評価　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

「精選　現代の国語」（２東書「現国 702」）
「精選　言語文化」（２東書「言文 702」）
「国語科教育法Ⅰ」で使用した物をそのまま使用する。

▌参考書

文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 国語編』（東洋館出版社）
文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 国語編』（東洋館出版社）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (本授業の目的と概要、計画)** 授業内容：本授業の目的と概要を理解し、半期の授業計画を把握し、学びの流れについて見通しを持つ。 事前学修 2.0hr：シラバスを読んで半期の授業計画についての見通しを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：模擬授業の準備１ (ペア分け・教材の決定)** 授業内容：模擬授業を実施するペア分けをする。文学的教材、評論、古文、漢文の中から担当する教材分野をペア間で調整する。取り上げる教材をペアで話し合って決定する。 事前学修 2.0hr：模擬授業のペアや担当する教材決定についての見通しを持つ。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：模擬授業の準備２（学習指導案の作成・ＩＣＴ機器活用）** 授業内容：学習指導案の書き方を理解する。ペアで模擬授業の学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：教材を音読・精読し、内容を理解しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：模擬授業の準備３（学習指導案の作成・授業づくり・ＩＣＴ機器活用）** 授業内容：プレゼンテーションソフトを活用したスライドやワークシート等の作成、具体的な発問の検討等、学習指導案に沿った授業づくりを行う。 事前学修 2.0hr：学習指導案の完成について見通しを持つ。教材を精読し、必要な資料等を準備する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１（現代文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価２（古文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価３（漢文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価４（現代文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価５（古文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価６（漢文教材とＩＣＴ機器活用）** 授業内容：模擬授業を実施し、協議を通じて相互評価を行うとともに評価の在り方について検討する。 事前学修 2.0hr：担当者は模擬授業の準備をし、その他の学生は教材を通読しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：文語文法の復習１（動詞）** 授業内容：動詞の文語文法について振り返り、品詞の特徴、活用形の種類、活用の種類、活用の仕方等について理解する。活用の種類の識別や活用表の作成ができるようにする。必要に応じて他の学生と相談したり、指導者に助言を求めたりする。 事前学修 2.0hr：動詞の文語文法について、高等学校での既習事項を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：文語文法の復習２（形容詞・形容動詞）** 授業内容：形容詞・形容動詞の文語文法について振り返り、品詞の特徴、活用の種類、活用の仕方等について理解する。活用の種類の識別や活用表の作成ができるようにする。必要に応じて他の学生と相談したり、指導者に助言を求めたりする。 事前学修 2.0hr：形容詞・形容動詞の文語文法について、高等学校での既習事項を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：文語文法の復習３（助動詞１）** 授業内容：助動詞の文語文法について振り返り、品詞の特徴、意味、活用の仕方等について理解する。必要に応じて他の学生と相談したり、指導者に助言を求めたりする。 事前学修 2.0hr：助動詞の文語文法について、高等学校での既習事項を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：文語文法の復習４（助動詞２）** 授業内容：実際の古文に用いられている助動詞について文法的に説明ができるようにする。必要に応じて他の学生と相談したり、指導者に助言を求めたりする。 事前学修 2.0hr：前回の学修内容を踏まえて、助動詞の文語文法について、高等学校での既習事項を振り返っておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：文語文法の復習５（用言と助動詞の小テスト）** 授業内容：これまでの用言と助動詞の文語文法についての学修内容を振り返る。用言と助動詞についての文語文法について小テストを実施する。 事前学修 2.0hr：これまでの用言と助動詞の文語文法についての学修内容を復習しておく。 事後学修 2.0hr：半期の全授業の振り返りを踏まえて、来年度の教育実習に向けて準備を進める。

国語科教育法Ⅲ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

山本　聖志（やまもと　せいし）

▌授業の概要

本授業は、中学校における国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について、講義や演習を通して学ぶとともに、理論と実践の両面から学ぶ。特に授業づくりという実践的指導力を育成し、授業をデザインする力を身につけることを目指す。国語教材のテーマを踏まえて自ら分析し、自らが課題を設定し、互いに討論し、自らの考えをまとめ発表できる力を指導できる教師力を模擬授業やグループ討議を通じて構築することを目指す。

▌到達目標

一般目標：1．国語教育、特に中学校国語科教育の本質・構造・評価方法について理解する。
2．現行の学習指導要領の内容を確認し理解するとともに、国語の今日的課題を整理する。
3．教材のもつ力を見極めながら、教材開発や教材研究をしようとする姿勢を身に付ける。
4．ICT 機器を活用した模擬授業を通して、教材研究と評価の方法を身に付け、学習指導案にまとめる。

個別目標：1．国語科に係る評価方法等を説明できる。
2．学習指導要領に示された目標や内容に則して授業設計を行うことができる。
3．教材開発や教材研究ができる。
4．ICT 機器を活用した学習指導案を作成し、模擬授業が展開できる。

▌履修条件

1．後期には「国語科教育法Ⅳ」を履修すること。
2．原則として「教職基礎セミナー(国語科)」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(国語科)」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

模擬授業の準備状況や発表内容、相互批評における貢献度、レスポンへの回答を含む課題の提出状況、授業への参加度・貢献度を平常点として 50%の評価を行う。定期考査により 50%の評価を行う。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題等の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Excel、PowerPoint 等を搭載したパソコンを指示により持参）

▌教科書

中学校「現代の国語３」三省堂(国語 015-92)

▌参考書

文部科学省「中学校学習指導要領解説　国語編(平成 29 年告示)」(東洋館)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本講義の目的と概要、計画について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを元に半期の授業受講計画を作る。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：国語科教育の課題** 授業内容：国語科教育の今日的課題を探る。 事前学修 2.0hr：教科書を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：国語科教育の目標** 授業内容：国語力とは何かを考察し、教科としての目的を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書の構成や授業に際しての工夫について考察する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：国語の授業づくり** 授業内容：21 世紀型の国語科授業づくりについて検討する。 事前学修 2.0hr：「情報を活用する」ことについて事前に学修する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
5回	**授業テーマ：中学校学習指導要領(国語)** 授業内容：中学校学習指導要領(国語)の目標・内容・評価をめぐる考察と理解を行う。 事前学修 2.0hr：中学校学習指導要領解説(国語)の目標・内容を事前に学修する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：授業デザイン１** 授業内容：「読むこと」の力をつける授業デザインについて基礎的理解をする。 事前学修 2.0hr：教科書及び学習指導要領を元に「読むこと」の指導について概観する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：授業デザイン２** 授業内容：「読むこと」の力をつける授業デザインについて実践的応用を学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書及び学習指導要領を元に「読むこと」の指導について考えを深める。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：授業デザイン３** 授業内容：「話すこと・聞くこと」の力をつける授業デザインについて理解する。 事前学修 2.0hr：教科書及び学習指導要領を元に「話すこと・聞くこと」について概観する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：授業デザイン４** 授業内容：「書くこと」の力をつける授業デザインについて理解する。 事前学修 2.0hr：教科書及び学習指導要領を元に「書くこと」について概観する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：授業デザイン５** 授業内容：「言語事項」に関する力とは何か理解する。 事前学修 2.0hr：教科書及び学習指導要領を元に「言語事項」について概観する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。また、次回にその課題に基づいた小テストを実施する。
11回	**授業テーマ：ICT 機器の活用１** 授業内容：国語科における ICT 機器活用について理解する。また、QR コードによる発展学習など教科書の活用についてスキルを身に付ける。 事前学修 2.0hr：学習指導案を作成する単元を精読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：ICT 機器の活用２** 授業内容：ICT 機器活用を念頭においた学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：学習指導案の作成について授業デザインを行う。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：ICT 機器の活用３** 授業内容：グループ内検討を軸にして学習指導案の修正を図る。 事前学修 2.0hr：学習指導案を検討する際の事項を設定しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：学習指導案発表会１** 授業内容：模擬授業を想定した学習指導案に基づき発表の準備を行う 事前学修 2.0hr：模擬授業に向けた準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：学習指導案発表会２** 授業内容：模擬授業を行い、相互評価を行う。 事前学修 2.0hr：授業内で提案された課題に取り組み指導案を完成させる。 事後学修 2.0hr：講義全体を俯瞰し国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をするので、それに備える。

国語科教育法Ⅳ

開講学科等：日　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

山本　聖志（やまもと　せいし）

▌授業の概要

本授業は、中学校における国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について、講義や演習を通して学ぶとともに、理論と実践の両面から学ぶ。特に授業づくりという実践的指導力を育成し、授業をデザインする力を身につけることを目指す。主体的で対話的なインタラクティブな授業の構築を目指し、模擬授業を相互評価することによって授業実践に必要な技能（評価方法も含む）を身につける。

▌到達目標

一般目標：1．国語教育、特に中学校国語科教育の本質・目的・構造・評価方法について理解し、今日的課題に対応しようとする態度を養う。
2．国語科教師として広い視野を持った教材の発掘及び指導法の開発について皆で考える。
3．生徒の興味・関心を引き出す授業の在り方と評価方法を研究する。
4．ICT 機器を活用した模擬授業を通して、主体的で対話的な授業展開を身に付ける。

個別目標：1．国語教育の今日的課題を説明できる。
2．教材の発掘及び指導法を研究できる。
3．生徒が興味・関心を持つような授業の在り方と評価方法を説明できる。
4．ICT 機器を活用した模擬授業を通して、主体的で対話的な授業ができる。

▌履修条件

1．前期には「国語科教育法Ⅲ」を履修すること。
2．原則として「教職基礎セミナー（国語科）」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（国語科）」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

模擬授業の準備状況や発表内容、相互批評における貢献度、レスポンへの回答を含む課題の提出状況、授業への参加度・貢献度を平常点として 50%の評価を行う。定期考査により 50%の評価を行う。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題等の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Excel、PowerPoint を搭載した PC を指示により持参）

▌教科書

中学校「現代の国語３」三省堂（国語 015-92）※前期に引き続き使用する。

▌参考書

文部科学省「中学校学習指導要領解説（平成 29 年度告示）国語編」（東洋館）

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本講義の目的と概要、計画について理解する。 事前学修 2.0hr：シラバスを元に半期の授業計画を作る。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：学習指導案と評価１** 授業内容：学習指導案の作成方法と評価の確認を行う。 事前学修 2.0hr：シラバスを元に半期の授業計画を作る。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案作成の準備をする。
3回	**授業テーマ：学習指導案と評価２** 授業内容：学習者の興味・関心の喚起への理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書「現代の国語３」を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案作成の準備をする。
4回	**授業テーマ：「読むこと」に関する指導** 授業内容：「読むこと」について教材研究・指導法の検討と ICT 機器活用について考える。 事前学修 2.0hr：「中学校学習指導要領解説　国語編」（文部科学省）を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案作成の準備をする。
5回	**授業テーマ：「話すこと・聞くこと」に関する指導** 授業内容：「話すこと・聞くこと」について教材研究・指導法の検討と ICT 機器活用について考える。 事前学修 2.0hr：「中学校学習指導要領解説　国語編」（文部科学省）を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案作成の準備をする。
6回	**授業テーマ：「書くこと」に関する指導** 授業内容：「書くこと」について教材研究・指導法の検討と ICT 機器活用について考える。 事前学修 2.0hr：「中学校学習指導要領解説　国語編」（文部科学省）を概観しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案作成の準備をする。
7回	**授業テーマ：指導案作成１** 授業内容：模擬授業（文学的文章）について指導案を作成する 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成をする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
8回	**授業テーマ：指導案作成２** 授業内容：模擬授業に関する指導案について相互評価を行う。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成をする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
9回	**授業テーマ：指導案作成３** 授業内容：文学的文章のうち韻文に関する指導案を考える。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。

10回	**授業テーマ：模擬授業と相互批評１** 授業内容：指導案を作成しその趣旨について説明する。それに対する相互評価を行う。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
11回	**授業テーマ：模擬授業と相互批評２** 授業内容：古典を題材にした指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
12回	**授業テーマ：模擬授業と相互批評３** 授業内容：古典を題材にした指導案を作成し、指導上の課題や留意事項について考察する。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
13回	**授業テーマ：模擬授業と相互批評４** 授業内容：古典に関する授業について相互批評を行う。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を作成する。
14回	**授業テーマ：模擬授業のまとめ** 授業内容：自分の選んだ題材に基づく模擬授業を行うための指導計画及び板書計画その他計画を完成させる。 事前学修 2.0hr：担当の教材の検討と指導案の作成、そして相互批評レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を完成させる。
15回	**授業テーマ：課題発見と総括** 授業内容：授業全体を通じ、自身の指導上の課題を発見し、今後の学修の見通しをもつ。 事前学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組み、指導案を完成させる。 事後学修 2.0hr：講義全体を俯瞰し国語科教員として必要な基礎知識と授業技術の確認をするので、それに備える。

教職基礎セミナーⅠ（英語科）

開講学科等：英 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：前

遠藤　哲也（えんどう　てつや）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)取得希望者のための１年次前学期の必修科目で、３年次に学修することになっている英語科教育法における基礎知識と基本的技術を身に付けるための基礎科目である。中学校・高等学校における４技能統合型の授業を英語で行うために必要な英語コミュニケーション能力を養うとともに、自分の考えを根拠とともに論理的に組み立ててプレゼンテーションを行うための基礎的なスキルを習得する。授業形態は、ペアワーク、グループワーク等による活動及び個人発表を中心とし、フィードバックとディスカッションを通して、互いにプレゼンテーション能力を高めていく。

▌到達目標

一般目標：中学校・高等学校英語科教員としての視点を養い、指導に必要な英語運用能力及び語彙・文法・音声についての知識・技術を身に付ける。
個別目標：１．中学校・高等学校英語科教員として必要な語彙・文法・音声を学び、課題に応じて活用することができる。
　　２．ペアワークやグループ協議に積極的に取り組み、他者の意見や考えを共有し、協働することができる。

▌履修条件

１．将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者
２．後学期に「教職基礎セミナーⅡ(英語科)」を履修する者

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパーの提出、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・全授業の５分の４以上の出席者を評価対象とする。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可)を利用した調べ学習。ICT を活用したマイクロ・ティーチングの実施。）

▌教科書

「GLOBAL GATE Intermediate -Video-based Four Skills Training」
著者　和田あずさ　 Bill Benfield 森田 彰
発行　成美堂
「出る順で最短合格! 英検 2 級単熟語 EX 第 2 版 (単熟語 EX シリーズ)」
【 編著者 】 ジャパンタイムズ出版英語出版編集部/ロゴポート
【 出版社 】 ジャパンタイムズ出版
ジャパンタイムズ出版社

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Introduction to the Course and Speaking Activities** 授業内容：Course orientation, an English proficiency diagnostic, a one-minute self-introduction speech, and group discussions. 事前学修 2.0hr：英語による自己紹介の作成準備 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：Unit 1　A Day on a Film Set ①** 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：Unit 1　A Day on a Film Set ②** 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
4回	**授業テーマ：Unit 2　Jobray the Aetist ①** 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
5回	**授業テーマ：Unit 2　Jobray the Aetist ②** 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。

6回	**授業テーマ：Unit 3　Horseback Library ①** 授業内容：・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension focusing on main ideas and details ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：Unit 3　Horseback Library ②** 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
8回	**授業テーマ：Unit 4　Arctic Football ①** 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：Unit 4　Arctic Football ②** 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：Unit 5　Transformer Boy ①** 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：Unit 5　Transformer Boy ②** 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：Unit 6　Volunteer Hairdresser ①** 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：Unit 6　Volunteer Hairdresser ②** 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：Unit 7　Truths About Common Illnesses ①** 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：Unit 7　Truths About Common Illnesses ②** 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

教職基礎セミナーⅡ（英語科）

開講学科等：英 ｜ 1年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

遠藤　哲也（えんどう　てつや）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)取得希望者のための１年次後学期の必修科目で、３年次に学修することになっている英語科教育法における基礎知識と基本的技術を身に付けるための基礎科目である。中学校・高等学校における４技能統合型の授業を英語で行うために必要な英語コミュニケーション能力を養うとともに、自分の考えを根拠とともに論理的に組み立ててプレゼンテーションを行うための基礎的なスキルを習得する。授業形態は、ペアワーク、グループワーク等による活動及び個人発表を中心とし、フィードバックとディスカッションを通して、互いにプレゼンテーション能力を高めていく。

▌到達目標

一般目標：中学校・高等学校英語科教員としての視点を養い、指導に必要な英語運用能力及び語彙・文法・音声についての知識・技術を身に付ける。
個別目標：１．中学校・高等学校英語科教員として必要な語彙・文法・音声を学び、課題に応じて活用することができる。
　　２．ペアワークやグループ協議に積極的に取り組み、他者の意見や考えを共有し、協働することができる。

▌履修条件

１．将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者
２．前学期に「教職基礎セミナーⅠ（英語科）」を履修した者

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパーの提出、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・全授業の５分の４以上出席した者を評価対象とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議、プレゼンテーションの実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （動画視聴、PC（スマートフォン可）、フィードバック。）

▌教科書

「GLOBAL GATE Intermediate -Video-based Four Skills Training」
【著　者】　和田あずさ　Bill Benfield 森田 彰
【発　行】　成美堂
「出る順で最短合格! 英検 2 級単熟語 EX 第 2 版 (単熟語 EX シリーズ)」
【 編著者 】 ジャパンタイムズ出版英語出版編集部/ロゴポート
【 出版社 】 ジャパンタイムズ出版
ジャパンタイムズ出版社

▌参考書

なし

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Unit 8 Shona Faces Her Fears ①** 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：事前課題に取り組む 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：Unit 8 Shona Faces Her Fears ②** 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：Unit 9 Alternative Shopping: Vintage Markets ①** 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：Unit 9 Alternative Shopping: Vintage Markets ②** 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

5回	**授業テーマ：Unit 10 Can a Computer Write a Musical?** ① 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：Unit 10 Can a Computer Write a Musical?** ② 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：Unit 11 Reaching for the Stars** ① 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：Unit 11 Reaching for the Stars** ② 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：Unit 12 Bionic Hand** ① 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：Unit 12 Bionic Hand** ② 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：Unit 13 Life Afloat** ① 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：Unit 13 Life Afloat** ② 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：Unit 14 My Italian Town** ① 授業内容：・Warm-up activities to activate background knowledge ・Vocabulary building for listening comprehension ・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：Unit 14 My Italian Town** ② 授業内容：・Reading activities to activate background knowledge ・Vocabulary check to support reading comprehension ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：Unit 15 Bengalulu Eco Office** 授業内容：・Listening comprehension on main ideas and details through video materials ・Discussion and grammar practice to support comprehension ・Dictation and retelling to reinforce listening and speaking skills ・Reading comprehension on main ideas and details ・Writing activities based on the reading text 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

教職基礎セミナーⅢ（英語科）

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

西貝　裕武 (にしがい　ひろむ)

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)取得希望者のための２年次前学期の必修科目で、３年次に学修することになっている英語科教育法の基礎となる言語活動の指導方法に係る知識と４技能統合型授業を英語で行うための英語運用能力とコミュニケーション能力を身に付けることを主なねらいとする。ペアワークやグループワークでの協働的な学びを基本形態とし、言語活動の体験や授業研究、アウトプット活動等を通して、英語によるコミュニケーション活動を行うために必要な語彙・語法を身に付け、異文化理解を深化させる。

▌到達目標

一般目標：コミュニケーション活動を中心とする授業を展開するために必要な英語運用能力及び語彙・語法・背景文化についての知識を身に付けるとともに、４技能を統合した授業において、他者と協働しながらコミュニケーション能力を育成する方法や課題探究に必要な知識及び技能を身に付ける。

個別目標：1. コミュニケーション活動を行うために必要な語彙・語法を学び、あらゆる場面に応じて活用することができる。
2. ペアワークやグループワークに積極的に取り組み、他者と情報や意見、考えを共有し、協働して課題を解決したり新たな考えを構築したりすることができる。
3. 既習事項を活用して英語で論理的・分析的・批判的にアウトプットする力を身に付けることができる。

▌履修条件

1. 将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者。
2. 原則として「教職基礎セミナーⅠ(英語科)」及び「教職基礎セミナーⅡ(英語科)」を履修・習得していること。但し、特別な理由が認められる場合に限り「教職基礎セミナーⅠ(英語科)」と併修することができる。

▌評価基準・方法

・授業内パフォーマンス評価 30%(音読、スピーチ、ディスカッション等)、授業ごとの学習課題 20%、小テスト 30%(Unit に関連・語い)、定期試験 20%
・授業中の活動を重視するため、5 分 4 以上の出席者のみを評価対象とする。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （動画視聴、プレゼンテーション、フィードバック）

▌教科書

①「GLOBAL GATE Video-based Four Skills Training Upper-intermediate」SEIBIDO
②「出る順で最短合格！ 英検準１級 単熟語 EX 第２版」the japan times 出版

▌参考書

・「マーフィーのケンブリッジ英文法」または「GRAMMAR IN USE INTERMEDIATE」 CAMBRIDGE UNIVERSITY PRESS
・参考書、参考資料等は授業で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション (シラバス、授業形式、成績に関する説明)・ Self-introduction speech** 授業内容：授業概要、履修上の注意等を説明・確認する。 スピーキング練習として自己紹介スピーチを行う。 教科書② 1 周目 事前学修 2.0hr：英語力向上について昨年度の取組を振り返り、今年度の目標を設定する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
2回	**授業テーマ：Unit 1 The Social Media Challenge** 授業内容：教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書② 1 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
3回	**授業テーマ：Unit 1 The Social Media Challenge** 授業内容：教科書①詳細理解・音読練習・文法・ライティング 教科書② 1 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
4回	**授業テーマ：Unit 2 Wave Garden** 授業内容：教科書① Unit 1 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書②１周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
5回	**授業テーマ：Unit 2 Wave Garden** 授業内容：教科書①詳細理解・音読練習・文法・ライティング 教科書② 2 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
6回	**授業テーマ：Unit 3 Speaking Through Poetry** 授業内容：教科書① Unit 2 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書② 2 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。

7回	**授業テーマ：Unit 3 Speaking Through Poetry** 授業内容：教科書①詳細理解・音読・文法・ライティング 教科書② 2 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
8回	**授業テーマ：Unit 4 Cooking Korean** 授業内容：教科書① Unit 3 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書② 2 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
9回	**授業テーマ：Unit 4 Cooking Korean** 授業内容：教科書①詳細理解・音読・文法・ライティング 教科書② 3 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
10回	**授業テーマ：Unit 5 My Favorite Places** 授業内容：教科書① Unit 4 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書② 3 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
11回	**授業テーマ：Unit 5 My Favorite Places** 授業内容：教科書①詳細理解・音読・文法・ライティング 教科書② 3 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
12回	**授業テーマ：Unit 6 British Sign Language** 授業内容：教科書① Unit 5 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書② 4 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
13回	**授業テーマ：Unit 6 British Sign Language** 授業内容：教科書①詳細理解・音読・文法・ライティング 教科書② 4 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
14回	**授業テーマ：Unit 7 British Sign Language** 授業内容：教科書① Unit 6 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書② 4 周目 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
15回	**授業テーマ：まとめテスト** 授業内容：教科書① Unit 7 を素材にしたパフォーマンステス Unit 1～Unit 7 の文法テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業の振り返りを書いて提出する。

教職基礎セミナーⅣ（英語科）

開講学科等：英 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

西貝　裕武 (にしがい　ひろむ)

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)取得希望者のための２年次前学期の必修科目で、３年次に学修することになっている英語科教育法の基礎となる言語活動の指導方法に係る知識と４技能統合型授業を英語で行うための英語運用能力とコミュニケーション能力を身に付けることを主なねらいとする。ペアワークやグループワークでの協働的な学びを基本形態とし、言語活動の体験や授業研究、アウトプット活動等を通して、英語によるコミュニケーション活動を行うために必要な語彙・語法を身に付け、異文化理解を深化させる。

▌到達目標

一般目標：コミュニケーション活動を中心とする授業を展開するために必要な英語運用能力及び語彙・語法・背景文化についての知識を身に付けるとともに、４技能を統合した授業において、他者と協働しながらコミュニケーション能力を育成する方法や課題探究に必要な知識及び技能を身に付ける。

個別目標：1. コミュニケーション活動を行うために必要な語彙・語法を学び、あらゆる場面に応じて活用することができる。
2. ペアワークやグループワークに積極的に取り組み、他者と情報や意見、考えを共有し、協働して課題を解決したり新たな考えを構築したりすることができる。
3. 既習事項を活用して英語で論理的・分析的・批判的にアウトプットする力を身に付けることができる。

▌履修条件

1. 将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者。
2. 原則として「教職基礎セミナーⅠ(英語科)」及び「教職基礎セミナーⅡ(英語科)」を履修・習得していること。但し、特別な理由が認められる場合に限り「教職基礎セミナーⅠ(英語科)」と併修することができる。

▌評価基準・方法

・授業内パフォーマンス評価 30%(音読、スピーチ、ディスカッション等)、授業ごとの学習課題 20%、小テスト 30%(Unit に関連・語い)、定期試験 20%
・授業中の活動を重視するため、5 分 4 以上の出席者のみを評価対象とする。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、ディベート、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （動画視聴、プレゼンテーション、フィードバック）

▌教科書

①「GLOBAL GATE Video-based Four Skills Training Upper-intermediate」SEIBIDO
②「出る順で最短合格！ 英検準１級 単熟語 EX 第２版」the japan times 出版

▌参考書

・「マーフィーのケンブリッジ英文法」または「GRAMMAR IN USE INTERMEDIATE」 CAMBRIDGE UNIVERSITY PRESS
・参考書、参考資料等は授業で適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Unit 8 Swimming With Whales** 授業内容：教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：英語力向上について昨年度の取組を振り返り、今年度の目標を設定する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
2回	**授業テーマ：Unit 8 Swimming With Whales** 授業内容：教科書①詳細理解・音読練習・文法・ライティング 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
3回	**授業テーマ：Unit 9 How to Become a Standout Footballer** 授業内容：教科書① Unit 8 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
4回	**授業テーマ：Unit 9 How to Become a Standout Footballer** 授業内容：教科書①詳細理解・音読練習・文法・ライティング 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
5回	**授業テーマ：Unit 10 London Dreadlocks** 授業内容：教科書① Unit 9 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
6回	**授業テーマ：Unit 10 London Dreadlocks** 授業内容：教科書①詳細理解・音読練習・文法・ライティング 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。

7回	**授業テーマ：Unit 11 Earthships** 授業内容：教科書① Unit 10 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
8回	**授業テーマ：Unit 11 Earthships** 授業内容：教科書①詳細理解・音読練習・文法・ライティング 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
9回	**授業テーマ：Unit 12 Fill My Tank** 授業内容：教科書① Unit 11 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
10回	**授業テーマ：Unit 12 Fill My Tank** 授業内容：教科書①詳細理解・音読練習・文法・ライティング 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
11回	**授業テーマ：Unit 13 How to Make Money and Travel Full Time** 授業内容：教科書① Unit 12 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
12回	**授業テーマ：Unit 13 How to Make Money and Travel Full Time** 授業内容：教科書①詳細理解・音読練習・文法・ライティング 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
13回	**授業テーマ：Unit 14 Keeping It Local** 授業内容：教科書① Unit 13 小テスト 教科書①動画視聴・リスニング・リテリング・トピックについてのディスカッション 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
14回	**授業テーマ：Unit 14 Keeping It Local** 授業内容：教科書①詳細理解・音読練習・文法・ライティング 教科書②確認テスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。
15回	**授業テーマ：まとめテスト** 授業内容：教科書① Unit 15 を素材にしたパフォーマンステスト 事前学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。 事後学修 2.0hr：授業の振り返りを書いて提出する。

英語科教育法Ⅰ

開講学科等：英　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

1．高等学校におけるコミュニケーション能力を育成する外国語（英語）授業の指導理念や指導技術を、講義、ディスカッション、実演を通して学ぶ。
2．指導と評価は一体であることを、単元計画、指導案作成を通して学ぶ。

▌到達目標

一般目標：1. 高等学校の英語の学習指導要領について理解している。2. 高等学校の英語の教科用図書について理解している。
3. 学習指導要領の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力等」の３つの資質・能力とともに、領域別の学習到達目標の設定、年間指導計画、単元計画、各授業時間の指導計画について理解している。4. 小学校の外国語活動・外国語の学習指導要領や教科用図書等の教材、並びに小・中・高等学校を通した英語教育の在り方の基本について理解している。

個別目標：（1）学習指導要領解説に示される「改訂の趣旨」「外国語科の目標」を十分に理解し英語教育者としての使命を自覚できる。
（2）生徒との親和関係が保てる人間性を養うため、授業においては常に他者と協力することができる。
（3）英語運用能力を磨き、模擬授業等で扱う教材を正確に理解することができる。
（4）小・中・高等学校の英語教育の接続を考えるために、小学校英語教育についての学ぶ意欲がある。

▌履修条件

1．後期には「教育法Ⅱ」を履修すること。
2．原則として、「教職基礎セミナー（英語科）」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー（英語科）Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

課題（20%）、オーラルイントロダクション実演（20 %）、定期試験（50 %）、授業内ディスカッション（10 %）による総合評価

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表（模擬授業）に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎時英語教育に関するディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （指導法研究発表は PC を使用して行う。データ収集も PC で行う。）

▌教科書

1. 英語授業デザイン・マニュアル　山岡大基・田頭憲二　大修館書店
2. 文部科学省 「高等学校学習指導要領解説―外国語編・英語編」
3. 文部科学省検定教科書　FLEX　English Communication I（増進堂）
4.「指導と評価の一体化」のための学習評価のための参考資料（高等学校　外国語）東洋館出版社

▌参考書

必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：英語教育の目的の変遷** 授業内容：教員が示す異なる指導方法を見て考え、討論する。英語教育の目的の変化について考える PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：高等学校学習指導要領解説外国語編の第 2 節「外国語科改訂の趣旨及び要点」と第 3 節「外国語科の目標」を読む。 事後学修 2.0hr：講義を振り返りながら、高等学校学習指導要領解説外国語編の第 2 節「外国語科改訂の趣旨及び要点」と第 3 節「外国語科の目標」をもう一度読む。
2回	**授業テーマ：学習指導要領におけるアクティブラーニングの定義と目的、主体的な学びとは** 授業内容：アクティブラーニングの 3 つの柱を育成する授業について、教師のモデル授業を通して考える。講義とディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第 9 章第 1 節を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業中に示された課題を行い manaba に提出する
3回	**授業テーマ：学習指導要領における対話的学びとは** 授業内容：対話的学びの概要と具体例を講義とディスカッションを通して学ぶ。 PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第 9 章第 2 節を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業中に示された課題を行い manaba に提出する
4回	**授業テーマ：学習指導要領における深い学びとは** 授業内容：深い学びの概要と具体例を講義とディスカッションを通して学ぶ。PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：教科書第 9 章第 3 節と第 4 節を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(提出)
5回	**授業テーマ：CAN-DO 形式の学習到達目標とは** 授業内容：CAN-DO 形式の学習到達目標の重要性と具体例を講義とディスカッションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 章第 1 節を読む。 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
6回	**授業テーマ：CAN-DO 形式の学習到達目標の作成** 授業内容：CAN-DO 形式の学習到達目標を実際にグループで作成する。。 事前学修 2.0hr：高校検定教科書 FLEX を読み、指導案で使用したい箇所を見つける。 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
7回	**授業テーマ：CAN-DO 形式の学習到達目標の発表** 授業内容：グループ毎に自分たちで作成した学習到達目標を発表する。 事前学修 2.0hr：グループごとに発表できるように準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)

8回	**授業テーマ：指導展開：インプット、インテイク、アウトプット** 授業内容：高校の英語の授業を実際に行う際の具体的な指導展開について講義とディスカッションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 6 章を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
9回	**授業テーマ：英語で行う授業：リーディングにつなげるためのオーラルイントロダクション** 授業内容：英語で授業を行う際に重要な役割を果たすオーラルイントロダクションについて講義とディスカッションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 6 章第 5 節を読み、自分のオーラルイントロダクションについて考える。 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
10回	**授業テーマ：学生によるオーラルイントロダクション1** 授業内容：学生のオーラルイントロダクション発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
11回	**授業テーマ：学生によるオーラルイントロダクション2** 授業内容：学生のオーラルイントロダクション発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
12回	**授業テーマ：学生によるオーラルイントロダクション3** 授業内容：学生のオーラルイントロダクション発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
13回	**授業テーマ：学生によるオーラルイントロダクション4** 授業内容：学生のオーラルイントロダクション発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：指定された MEXTCHANNEL のモデル授業を視聴し授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
14回	**授業テーマ：オーラルイントロダクション後の指導展開** 授業内容：オーラルイントロダクション後のリーディングの指導技術について講義とディスカッションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章を読み、具体例について考える。 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
15回	**授業テーマ：前期のまとめ** 授業内容：前学期の学習内容について振り返り、まとめをおこなう。 事前学修 2.0hr：各自前学期に学修した内容について振り返る。 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)

英語科教育法Ⅱ

開講学科等：英　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

金子　義隆（かねこ　よしたか）

▌授業の概要

1．高等学校におけるコミュニケーション能力を育成する外国語(英語)授業の指導理念や指導技術を、講義、ディスカッション、実演を通して学ぶ。
2．指導と評価は一体であることを、単元計画、指導案作成を通して学ぶ。

▌到達目標

一般目標：1. 高等学校の英語の学習指導要領について理解している。2. 高等学校の英語の教科用図書について理解している。
3. 学習指導要領の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力等」の３つの資質・能力とともに、領域別の学習到達目標の設定、年間指導計画、単元計画、各授業時間の指導計画について理解している。4. 小学校の外国語活動・外国語の学習指導要領や教科用図書等の教材、並びに小・中・高等学校を通した英語教育の在り方の基本について理解している。

個別目標：(１)学習指導要領解説に示される「改訂の趣旨」「外国語科の目標」を十分に理解し英語教育者としての使命を自覚できる。
(２)生徒との親和関係が保てる人間性を養うため、授業においては常に他者と協力することができる。
(３)英語運用能力を磨き、模擬授業等で扱う教材を正確に理解することができる。
(４)小・中・高等学校の英語教育の接続を考えるために、小学校英語教育についての学ぶ意欲がある。

▌履修条件

1．前期には「英語科教育法Ⅰ」を履修すること。
2．原則として、「教職基礎セミナー(英語科)」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー(英語科)Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

試験 30 %、単元計画・授業指導案 20 %、模擬授業 30 %、ビデオ観察レポート 10 %、授業内ディスカッション 10 %による総合評価

▌フィードバック方法

学生の提出物および発表(模擬授業)に対してフィードバックをする。また、毎回ではないが授業後にリフレクションシートを記入してもらい、それに対してフィードバックを行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎時英語教育に関するディスカッションを行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （指導法研究発表は PC を使用して行う。データ収集も PC で行う。）

▌教科書

1. 英語授業デザイン・マニュアル　山岡大基・田頭憲二　大修館書店
2. 文部科学省 「高等学校学習指導要領解説―外国語編・英語編」
3. 文部科学省検定教科書　FLEX　English Communication I（増進堂）
4.「指導と評価の一体化」のための学習評価のための参考資料(高等学校　外国語)東洋館出版社

▌参考書

必要に応じて指示します。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業展開１** 授業内容：本文リーディング前後の発問の意義とその種類、具体例を講義とディスカッションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業中に与えられた課題を行い anaba に提出する
2回	**授業テーマ：授業展開２** 授業内容：本文リーディング後の音読の意義とその種類、具体例を講義とディスカッションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業中に示された課題を行い manaba に提出する
3回	**授業テーマ：授業展開３** 授業内容：本文リーディング後のコミュニケーション活動の意義とその種類、具体例を講義とディスカッションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の該当箇所を読む。 事後学修 2.0hr：授業中に示された課題を行い manaba に提出する
4回	**授業テーマ：ジグソーリーディング** 授業内容：本文リーディングをジグソーを使って読むことの意義とその具体例を講義とディスカッションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(提出)
5回	**授業テーマ：単元計画と指導案作成１** 授業内容：グループごとに単元計画と指導案を作成し、個人の模擬授業について準備を進める。 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
6回	**授業テーマ：単元計画と指導案作成２** 授業内容：グループごとに単元計画と指導案を作成し、個人の模擬授業について準備を進める。 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
7回	**授業テーマ：模擬授業１** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
8回	**授業テーマ：模擬授業２** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)

9回	**授業テーマ：模擬授業３** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
10回	**授業テーマ：模擬授業４** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
11回	**授業テーマ：模擬授業５** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
12回	**授業テーマ：模擬授業６** 授業内容：学生の模擬授業発表と学生同士のフィードバック　模擬授業についての教師からのフィードバックとディスカッション PC を利用して授業のフィードバックを manaba に送信する 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
13回	**授業テーマ：タスク中心指導法１** 授業内容：タスク中心の授業について内容と具体例を講義とディスカッションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：模擬授業で扱う単元に関する資料を読み授業中の活動に備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
14回	**授業テーマ：タスク中心指導法２** 授業内容：タスク中心の授業について内容と具体例を講義とディスカッションを通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：manaba に示された資料を読み授業中のディスカッションに備える 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)
15回	**授業テーマ：後学期のまとめ** 授業内容：後学期に学んだことを振り返えり、共有する。 事前学修 2.0hr：各自後学期に学んだことを振り返り、内容を整理する。 事後学修 2.0hr：授業内に課された課題に取り組む。(manaba 提出　評価対象)

英語科教育法Ⅲ

開講学科等：英　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：前

西貝　裕武 (にしがい　ひろむ)

▌授業の概要

学校英語教育の目的について考察し、中学校における外国語(英語)によるコミュニケーション能力を育成する授業実践に必須となる基本的な考え方と年間指導評価計画の作成及び指導技術、教材開発等について、講義、ディスカッション、実演を通して学ぶ。

▌到達目標

一般目標：1．中学校学習指導要領について理解している。
2．中学校英語の教科用図書の構成と内容を理解している。
3．学習到達目標と年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画及び学習評価について理解している。
4．小学校外国語活動・外国語の学習指導要領並びに教材、教科用図書について理解している。
5．小・中・高等学校で一貫した英語教育の在り方について理解している。
6．中学校の英語授業における生成ＡＩの活用について理解している。

個別目標：1．学習指導要領の「外国語科の目標」を理解し、英語を学ぶ意味を生徒に伝えることができる。
2．積極的に自分の意見や考えを発表するとともに、他者と協力して課題に取り組むことができる。
3．英語運用能力を磨き、模擬授業等の準備を十分に行うとともに、生徒に分かる英語で授業を進めることができる。
4．義務教育における英語教育の充実に向けて、小学校外国語活動及び外国語の目標や内容などを説明するとができる。
5．義務教育修了段階における学習到達目標を基づく授業の組み立てについて理解し、実際の指導に生かすことができる。

▌履修条件

1．後期には「英語科教育法Ⅳ」を履修すること。
2．原則として、「教職基礎セミナー(英語科)」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー(英語科)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

定期考査２０％　発表・グループ討議等での取組姿勢・貢献度２０％　学習課題提出２０％　模擬授業等の準備(単元計画と学習指導案)２０％　模擬授業(指導技術)２０％
なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業時または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎時間グループディスカッション及び発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク、模擬授業等で利用する）

▌教科書

①中学校学習指導要領解説　外国語編(平成 29 年 7 月　文部科学省)
②英語授業デザインマニュアル （大修館書店)
③中学校検定教科書　Here We Go ！　ENGLISH COURSE 1(令和 7 年度版光村図書出版)
④中学校検定教科書　Here We Go ！　ENGLISH COURSE 2(令和 7 年度版光村図書出版)
※①は文科省のサイトからダウンロード可

▌参考書

①評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(令和２年３月　国立教育政策研究所)
②マーフィーのケンブリッジ英文法(中級編)第 4 版または GRAMMAR IN USE INTERMEDIATE（Cambridge University Press)
※①は文科省のサイトからダウンロード可

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：小・中・高等学校を通じた英語教育の目標と実践** 授業内容：小・中・高等学校で一貫した英語教育について、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的充実という視点から現状把握と問題点についての講義とディスカッションを通して、公立学校における英語教育に係る問いを立てる。 事前学修 2.0hr：各人が考える学校英語教育の目的と小中高で受けてきた英語授業の特徴と課題、改善策を考え、発表準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
2回	**授業テーマ：学習指導要領の理解－外国語科の目標－** 授業内容：学習指導要領で示されている「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を踏まえた授業の在り方について、講義・ディスカッション・発表を通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①第 1 章・第 2 章第 1 節を読み、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
3回	**授業テーマ：学習指導要領の理解－英語科の目標と言語活動－** 授業内容：学習指導要領で示されている領域ごとの目標を理解し、「知識及び技能」・「思考力、判断力、表現力等」を一体的に育成する授業の在り方について講義・ディスカッション・発表を通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①第 2 章第 2 節 1，2 を読み、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
4回	**授業テーマ：学習指導要領の理解－指導計画の作成と内容の取扱い―** 授業内容：指導計画の作成上の配慮事項と内容の取扱いについて理解し、教材研究及び授業準備の仕方について講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①第 2 章第 2 節 3 を読み、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
5回	**授業テーマ：学校種別の特徴と接続** 授業内容：小学校の外国語教育を正しく理解し、小・中・高の接続や連携に配慮した計画と実践について講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書②第 3 部第 7 章を読み、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。

6回	**授業テーマ：中学校で使用する教科書の分析** 授業内容：中学校で使用する教科書の構成と内容を学習指導要領と関連づけて分析し、教材研究の基本について講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教教科書②第 1 部第 1 章と教科書③④を通読し、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：講授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
7回	**授業テーマ：英語授業をつくる①　入門期指導** 授業内容：学習者の視点に立った授業準備とは何か？ について講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書②第 1 部第 2 章と教科書③ Let's Be Friends!を読んで、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
8回	**授業テーマ：英語授業をつくる② be 動詞・一般動詞・can・疑問詞** 授業内容：授業が成立するために必須の指導技術と教室運営のポイントを講義・ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書②第 1 部第 3 章と教科書③ Unit 1・2・3 を読んで、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
9回	**授業テーマ：英語授業をつくる③ 代名詞** 授業内容：当該言語材料についての導入から言語活動までの指導計画について、講義・ディスカッション・実演を通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書③ Unit 4 を読んで、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
10回	**授業テーマ：英語授業をつくる③　命令文・疑問詞** 授業内容：当該言語材料についての導入から言語活動までの指導計画について、講義・ディスカッション・実演を通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書③ Unit 5 を読んで、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
11回	**授業テーマ：英語授業をつくる④　三人称単数現在形** 授業内容：当該言語材料についての導入から言語活動までの指導計画について、講義・ディスカッション・実演を通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書③ Unit 6 を読んで、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
12回	**授業テーマ：英語授業をつくる⑤　動詞の過去形** 授業内容：当該言語材料についての導入から言語活動までの指導計画について、講義・ディスカッション・実演を通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書③ Unit 7 を読んで、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
13回	**授業テーマ：英語授業をつくる⑥　現在進行形／過去進行形** 授業内容：当該言語材料についての導入から言語活動までの指導計画について、講義・ディスカッション・実演を通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書③ Unit 8 を読んで、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
14回	**授業テーマ：英語授業のつくる⑦　本文内容理解・音読・リテリング** 授業内容：教科書本文の内容理解と音読指導からリテリングまでの指導過程について講義・ディスカッション・実演を通して理解する。 事前学修 2.0hr：教科書③を通読し、授業中のディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
15回	**授業テーマ：優れた授業実践に共通する基本** 授業内容：第 1 回から第 14 回の授業を踏まえて、学習指導要領の目標を実現する授業について総括する。 事前学修 2.0hr：教科書②第 1 部と教科書③を読んで、発表の準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。

英語科教育法Ⅳ

開講学科等：英　｜　3 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

西貝　裕武 (にしがい　ひろむ)

▌授業の概要

学校英語教育の目的について考察し、中学校における外国語(英語)によるコミュニケーション能力を育成する授業実践に必須となる基本的な考え方と年間指導評価計画の作成及び指導技術、教材開発等について、講義、ディスカッション、実演を通して学ぶ。

▌到達目標

一般目標：1．中学校学習指導要領について理解している。
2．中学校英語の教科用図書の構成と内容を理解している。
3．学習到達目標と年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画及び学習評価について理解している。
4．小学校外国語活動・外国語の学習指導要領並びに教材、教科用図書について理解している。
5．小・中・高等学校で一貫した英語教育の在り方について理解している。
6．中学校の英語授業における生成ＡＩの活用について理解している。

個別目標：1．学習指導要領の「外国語科の目標」を理解し、英語を学ぶ意味を生徒に伝えることができる。
2．積極的に自分の意見や考えを発表するとともに、他者と協力して課題に取り組むことができる。
3．英語運用能力を磨き、模擬授業等の準備を十分に行うとともに、生徒に分かる英語で授業を進めることができる。
4．義務教育における英語教育の充実に向けて、小学校外国語活動及び外国語の目標や内容などを説明するとができる。
5．義務教育修了段階における学習到達目標を基づく授業の組み立てについて理解し、実際の指導に生かすことができる。

▌履修条件

1．後期には「英語科教育法Ⅳ」を履修すること。
2．原則として、「教職基礎セミナー(英語科)」Ⅰ～Ⅳの単位を修得している学生。
3．ただし、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー(英語科)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目を併修することを認める。

▌評価基準・方法

定期考査２０％　発表・グループ討議等での取組姿勢・貢献度２０％　学習課題提出２０％　模擬授業等の準備(単元計画と学習指導案)２０％　模擬授業(指導技術)２０％
なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業時または学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎時間グループディスカッション及び発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループワーク、模擬授業等で利用する）

▌教科書

①中学校学習指導要領解説　外国語編(平成 29 年 7 月　文部科学省)
②英語授業デザインマニュアル （大修館書店)
③中学校検定教科書　Here We Go ！　ENGLISH COURSE 1(令和 7 年度版光村図書出版)
④中学校検定教科書　Here We Go ！　ENGLISH COURSE 2(令和 7 年度版光村図書出版)
※①が文科省のサイトからダウンロード可

▌参考書

①評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料(令和２年３月　国立教育政策研究所)
②マーフィーのケンブリッジ英文法(中級編)第 4 版または GRAMMAR IN USE INTERMEDIATE（Cambridge University Press)
※①は文科省のサイトからダウンロード可

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：英語授業を深める① 過去形** 授業内容：Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Unit 1 について、講義・ディスカッションを通して教材研究の実際を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①第 2 部第 4 章・教科書④の該当ユニットを読み、ディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
2回	**授業テーマ：英語授業を深める② 動名詞・不定詞** 授業内容：Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Unit 2 について、講義・ディスカッションを通して授業準備の実際を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①第 2 部第 5 章・教科書④の該当ユニットを読み、ディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
3回	**授業テーマ：英語授業を深める③ be going to/will、if** 授業内容：Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Unit 3 について、講義・ディスカッションを通して指導技術の実際を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①第 2 部第 6 章・教科書④の該当ユニットを読み、ディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
4回	**授業テーマ：英語授業を深める④ There is/are～、目的語、不定詞(形容詞的用法)** 授業内容：Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Unit 4 について、講義・ディスカッションを通して教室運営の実際を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書①第 3 部第 8 章・教科書④の該当ユニットを読み、ディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
5回	**授業テーマ：英語授業を深める⑤ must/have to、It is ～ (for 人) to…** 授業内容：Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Unit 5 について、講義・ディスカッションを通して主体的・対話的で深い学びという視点から授業を構成する。 事前学修 2.0hr：教科書②第 3 部第 9 章・教科書④の該当ユニットを読み、ディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
6回	**授業テーマ：英語授業を深める⑥ 不定詞(副詞的用法)、接続詞** 授業内容：Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Unit 6 について、講義・ディスカッションを通して学習評価について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書②第 3 部第 10 章・教科書④の該当ユニットを読み、ディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：講授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。

7回	**授業テーマ：英語授業を深める⑦ 比較級、最上級** 授業内容：Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Unit 6 について、講義・ディスカッションを通して指導計画を作成する。 事前学修 2.0hr：教科書④の該当ユニットを読み、ディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
8回	**授業テーマ：模擬授業①** 授業内容：任意に選択した Unit について学習指導案に基づく模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業を行う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業者は改善した学習指導案、授業者以外はリフレクションペーパーを manaba に提出する。
9回	**授業テーマ：模擬授業②** 授業内容：任意に選択した Unit について学習指導案に基づく模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業を行う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業者は改善した学習指導案、授業者以外はリフレクションペーパーを manaba に提出する。
10回	**授業テーマ：模擬授業③** 授業内容：任意に選択した Unit について学習指導案に基づく模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業を行う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。
11回	**授業テーマ：模擬授業④** 授業内容：任意に選択した Unit について学習指導案に基づく模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業を行う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業者は改善した学習指導案、授業者以外はリフレクションペーパーを manaba に提出する。
12回	**授業テーマ：模擬授業⑤** 授業内容：任意に選択した Unit について学習指導案に基づく模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業を行う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業者は改善した学習指導案、授業者以外はリフレクションペーパーを manaba に提出する。
13回	**授業テーマ：模擬授業⑥** 授業内容：任意に選択した Unit について学習指導案に基づく模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業を行う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業者は改善した学習指導案、授業者以外はリフレクションペーパーを manaba に提出する。
14回	**授業テーマ：模擬授業⑦** 授業内容：任意に選択した Unit について学習指導案に基づく模擬授業を行うとともに、授業についての振り返りと改善策についてディスカッションを行う。 事前学修 2.0hr：模擬授業を行う単元について教材研究・授業準備を行う。 事後学修 2.0hr：授業者は改善した学習指導案、授業者以外はリフレクションペーパーを manaba に提出する。
15回	**授業テーマ：分かる・できる・使えるを実感する授業デザイン** 授業内容：分かる・できる・使えるを実感する授業づくりの勘所を整理し、発表する。 事前学修 2.0hr：これまでの授業のリフレクションを整理し、教科書④の Unit 8 の教材研究を行う。 事後学修 2.0hr：授業内で課せられた課題を行い manaba に提出する。

教育原理

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

遠藤　哲也 (えんどう　てつや)

▌授業の概要

教育の基本的な理念や理論を学び、教育実践の土台となる視点を養う。本授業では、教育の目的・意義を歴史的・哲学的・社会的観点から考察し、現代教育が直面する課題について議論を深める。また、教育思想家の主張や教育制度の変遷を学ぶことで、教育の本質を多角的に捉える力を身につける。さらに、実際の教育現場での事例を取り上げながら、理論と実践を結びつける力を育成する。授業を通して、教育者としての使命や役割を理解し自らの教育観を形成するための基盤を築くこと、教育に対する深い洞察と実践力を身につけることを目指す。

▌到達目標

一般目標：1．教育の基本的な理念や目的を理解し、教育の意義を多角的に捉えられるようになる。
　　2．歴史的・哲学的・社会的な観点から教育を考察し、現代教育の課題について批判的に考える力を養う。
　　3．教育理論と実践の関係を理解し、教育者としての基盤となる価値観を形成する。
個別目標：1．教育思想家や教育制度の歴史的背景を説明し、その意義を具体的に論じられる。
　　2．現代の教育課題に関する具体的な事例を分析し、解決策を提案できる。
　　3．自らの教育観や指導方針を明確にし、それを論理的に表現できるようになる。

▌履修条件

教職への志を持ち、熱意ある学生であること。

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパーの提出、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可）を利用した調べ学習）

▌教科書

「教職入門　－教育学のエッセンスから学ぶ－」住本克彦 編著　　建帛社　2023 年

▌参考書

適宜資料を配布

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：・本講義の目的と概要、授業の進め方について説明する。 ・教育の基本概念について知る。 事前学修：2.0hr：テキストを概観し、自分なりの教育観について考えをまとめておく。 事後学修：2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。 事前学修 2.0hr：テキストを概観し、自分なりの教育観について考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：教育の歴史的展開** 授業内容：・日本や世界の教育の歴史的背景を知る。 ・現代教育の成立とその課題について知る。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：教育の目的と理念** 授業内容：授業内容：・日本国憲法と教育基本法の理念を知る。 ・教育における個人の尊重と社会的責任について協議をする。 事前学修 2.0hr：「日本国憲法第 26 条」「教育基本法」を読み、小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを修正する。
4回	**授業テーマ：日本の学校教育制度** 授業内容：・学校制度の仕組みと発展の歴史を知る。 ・義務教育制度の意義と現状について解説をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：教育における平等と公正** 授業内容：・教育機会均等等の概念とその課題について知る。 ・多文化共生社会における教育の役割について協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
6回	**授業テーマ：学習者の発達と学び** 授業内容：・発達段階に応じた教育の方法について知る。 ・学習者理解の視点から個別最適な指導方法について協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：教師の専門性と役割** 授業内容：・教師に求められる資質と能力について知る。 ・教師のリーダーシップについて協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

8回	**授業テーマ：カリキュラムの構造と設計** 授業内容：・学校教育におけるカリキュラムの基本概念を知る。 ・「教科横断的な学び」の意義について知る。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
9回	**授業テーマ：教育評価の方法と実践** 授業内容：・評価の種類とその活用方法を知る。 ・非認知能力(意欲、協調性、自制心、忍耐力等)の評価について協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：教育における ICT の活用** 授業内容：・教育における ICT 活用の目的と課題について知る。 ・ICT を活用した学びの実践事例を知る。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：特別支援教育と多様な学び** 授業内容：・特別支援教育の基本的な考え方を知る。 ・インクルーシブ教育の具体的な実践について協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：教育とグローバル化** 授業内容：・特別支援教育の基本的な考え方を知る。 ・インクルーシブ教育の具体的な実践について協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：教育現場の課題と解決策** 授業内容：・いじめ、不登校等の教育課題に関する現状と課題を知る。 ・教育現場の課題を解決するための方策について協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：教師の働き方改革** 授業内容：・「教師の働き方改革」の背景と課題を知る。 ・教師としての仕事や生きがいについて協議をする。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：授業のまとめ** 授業内容：・学びの振り返りと重要ポイントの整理をする。 ・教職を目指すうえでの自己省察と将来への展望について協議をする。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、改めて学んだこと、自分が成長できたこと等について小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業での協議を受け、小レポートを修正する。

教師論

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

山本　聖志（やまもと　せいし）

▌授業の概要

「教師とは何か」について、求められる教師像を多面的に考察しながら、教職の意義、教師の役割と責任などを踏まえて学ぶ。この科目では、学生に対して、教師としての使命を自覚させるとともに、教職についての基本的な知識と幅広い視野を持たせる。授業では、学修者の能動的な学修への参加を重視するため、学生は、グループにおける事前学修、それに基づいた発表を行い、教師論に関する学びを深めていく。

▌到達目標

一般目標：1．教師の仕事、役割について理解する。
　　2．これからの時代に求められる教師とは何かについて理解する。
個別目標：1．教師は、学校の課題を改善し、協働や研修の中で成長していくことを説明できる。
　　2．教職は、児童生徒の望ましい発達への切れ目のない援助や支援にその意義があることを説明することができる。
　　3．学校における様々な事象を考察し、求められる教師像とは何か、発表したり、小論文等で述べることができる。

▌履修条件

教職への志を持ち、熱意のある学生。

▌評価基準・方法

事前学修、発表、レスポンによる回答や課題提出、受講態度等を 50%、期末試験 50%の結果に基づき総合的に評価する。なお、5 分の 4 以上の出席を評価対象の前提条件とする。

▌フィードバック方法

フィードバックは課題等の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Excel、PowerPoint を搭載した PC を指示により持参）

▌教科書

開講時に指示する。

▌参考書

適宜資料を配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：本講義の目的と概要、計画について理解する。 事前学修 1.5hr：シラバスにより、授業の目的や計画について概観する。 事後学修 2.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：教師の役割** 授業内容：教師の役割とは何かについて、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：教師観** 授業内容：教師観の変遷について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：教職課程** 授業内容：教職課程のカリキュラムについて、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：制度・法律** 授業内容：教師をめぐる制度・法律について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：教員の働き方** 授業内容：学校種による教員の具体的な働き方の違いについて、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：教師の専門性** 授業内容：教師の専門性について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：授業に関わる仕事** 授業内容：授業に関わる仕事について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：子どもと教師** 授業内容：子どもの生活を支える教師の仕事について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：家庭や保護者** 授業内容：子どもの家庭や保護者への対応について、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：子ども理解（人権教育１）** 授業内容：子ども理解や子どもに寄り添うことについて、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。

12回	**授業テーマ：ジェンダー平等(人権教育２)** 授業内容：学校におけるジェンダー平等について、チーム学校として課題解決を図るための方策を考える。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：ダイバーシティ(人権教育３)** 授業内容：学校におけるダイバーシティについて、配布資料や事前学修に基づき理解する。 事前学修 2.0hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：組織力の向上** 授業内容：教師を取り巻く現代的な問題について、チーム学校として組織力を向上させる方策を考える。 事前学修 2.5hr：授業テーマについて考察を行い、その概要をまとめておく。 事後学修 1.5hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：まとめ** 授業内容：教師論全体について学修を振り返り、今後の課題について理解を深める。 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、教師論に関する必要な事項を整理するとともに、自己の課題を明確にしておく。 事後学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、自己の課題の解決に取り組む。

教育行政学

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

藤井　大輔（ふじい　だいすけ）

▌授業の概要

・「教育行政とは何か」について、国や地方公共団体が教育法規を基に行っている教育条件の整備や教育活動の規制・助成の内容を踏まえて学ぶ。
・この科目では、今日の国内外の教育制度や教育施策について、具体的な問題にも触れながら法制的な側面から考察させ、基礎的な知識と幅広い視野を持たせる。

▌到達目標

一般目標：・何のために教育行政があるのかを理解する。
・法令とな何か、学校と教育委員会との関係、教育員会と文部科学省との関係について正しく理解する。
個別目標：・地方教育行政の組織及び運営に関する法律や関連する教育法規の主だった内容を説明できる。
・学校の役割や位置づけを、国や教育委員会との関係で把握して、発表したり、小論文等で述べることができる。
・各種の法令で規定されている教育行政の内容を学校運営や教師の職務に関連付け、説明することができる。

▌履修条件

・教職への志を持ち、熱意のある学生。
・「教師論」、「教育原理」、「生徒指導」のうち、2 科目以上の単位を修得していることが望ましい。

▌評価基準・方法

・事前学修、発表、課題提出や受講態度等の 50 %とレポートまたは期末試験 50 %の結果に基づき、総合的に評価する。
・なお、5 分の 4 以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。
・課題等のフィードバックは、学修支援システム manaba を通して行う。

▌フィードバック方法

基礎確認問題を配布して、課題として解答を求める。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （毎授業回、指定された学生グループがパワーポイントでテキストの内容をまとめてパソコンで発表し、他の学生との質疑応答を行う。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （指定されたグループは毎授業回にパソコンを持参すること。）

▌教科書

・古川治・今西孝蔵・五百柱満編著『教育法規・教育行政入門』ミネルヴァ書房』
・適宜資料を配布する。

▌参考書

・『教育小六法２０２３」学陽書房

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：国の法令** 授業内容：教育行政に関する法律の種類を概括的に理解するとともに、法律の下には施行令や施行規則といった法令があることを理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅰ章①を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
2回	**授業テーマ：教育行政と学校教育** 授業内容：学校教育というものがすべて法令で規定され運営されていることを理解するとともに、なせ、こうした法令に基づき学校教育が展開されているか理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅰ章②と③を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
3回	**授業テーマ：学校組織と教育活動** 授業内容：学校は組織体であり、教育個人の自由な判断で教育が行われているのではなく、校長のリーダーシップの下、様々な役割を持った分掌により多角的に運営されていることを理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅱ章①を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
4回	**授業テーマ：教育課程** 授業内容：小学校から高等学校まで、学校で学ぶ 教科や教科外の内容というものが、学習指導要領で規定さてた教育課程、つまり、教育の基本的事項に基づいて教えられていることを理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第第Ⅱ章②を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
5回	**授業テーマ：児童・生徒と生徒指導** 授業内容：児童・生徒に係る法令について多角的に理解するとともに、児童・生徒の問題行動に関する生徒指導の在り方を理解する。とりわけ、近年教育課題となっている不登校やいじめなどに関する法令を理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅱ章③を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
6回	**授業テーマ：教職員の職務と研修①** 授業内容：教職員に関する法令の内容を理解するとともに、なぜ、教員には、特例法があるのか、その理由について理解する。また、教員にとっては、研修が極めて重要であることを、法令を通して理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅲ章の「教員評価」までを読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
7回	**授業テーマ：教職員の職務と研修②** 授業内容：教員に関して、地方公務員法に規定された条文にも拘束されることを理解するとともに、懲戒や分限処分という法律上の規定があることを理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅲ章の「教員の勤務と週休日」から「教員免許の更新制」までを読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
8回	**授業テーマ：EBPM の考え方を学ぶ①** 授業内容：自分の居住地等の教育課題を調べ行政がどのような施策を展開しているか理解する。限られた予算を有効活用するための政策の作り方を学ぶ。 事前学修 2.0hr：EBPM の考え方についてネットを利用し調べる。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。

9回	**授業テーマ：EBPM の考え方を学ぶ②** 授業内容：限られた予算を有効活用するための政策の作り方を学ぶ。居住地や教員採用試験受験地区の課題を調べ解決策を提案発表する。 事前学修 2.0hr：居住地等の教育課題について調べる。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
10回	**授業テーマ：EBPM の考え方を学ぶ③** 授業内容：限られた予算を有効活用するための政策の作り方を学ぶ。居住地や教員採用試験受験地区の課題を調べ解決策を提案発表する。 事前学修 2.0hr：居住地等の教育課題について調べる。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
11回	**授業テーマ：学校保健・安全と法規** 授業内容：児童・生徒に関わる健康・保健に関する指導の重要性について理解するとともに、健康保健に関する法律について理解する。また、安全教育については、地震などが発生した場合の児童・生徒に対する指導内容と方法を理解する。 事前学修 2.0hr：テキスト第Ⅵ章を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
12回	**授業テーマ：世界の学校体系①** 授業内容：我が国の学校体系の変遷を理解するとともに主要国の学校体系を調べその特徴を考察する。 事前学修 2.0hr：日本の学校体系について調べる。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
13回	**授業テーマ：世界の学校体系②** 授業内容：我が国の学校体系の変遷を理解するとともに主要国の学校体系を調べその特徴を考察する。調査した国の学校体系を発表する。 事前学修 2.0hr：日本の学校体系について調べる。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
14回	**授業テーマ：昨今の教育話題について①** 授業内容：教育行政上の課題の中で重要な、中央教育審議会の動きについて理解する。 事前学修 2.0hr：これまでの学修における教育行政の現代的課題に関する資料を読む。 事後学修 2.0hr：担当教員からの詳説をノートにまとめる。
15回	**授業テーマ：昨今の教育話題について②** 授業内容：教育行政上の課題の中で重要な、いじめ、不登校ついて未然防止、早期発見、早期対応の仕方について、グループ別協議を行うとともに、指定されたグループから発表してもらう。 事前学修 2.0hr：これまでの学修における教育行政の現代的課題に関する資料を読む。 事後学修 2.0hr：全回を通じて学修したことをレポートにまとめ、提出する。

教育心理学

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

教育の対象である幼児、児童および生徒は、学校生活を中心として様々な知識を獲得し、学習への意欲を高め、社会性を身につけ、成長していく過程にある。本科目では、幼児、児童および生徒の心身の発達の段階に応じ、主体的で深い学習活動を支える基礎的な理論と具体的な実践方法を学ぶ。本科目では、教育心理学の理論を、単なる知識としてではなく、教育実践における判断のための枠組みとして捉えることを重視する。発達、学習、動機づけ、評価、多様性に関する理論を通して、主体的で深い学びを支える教育的判断力を養うことを目的とする。

▌到達目標

一般目標：幼児、児童および生徒の発達や学習に関する理論を理解し、それらを教育場面の文脈に即して解釈し、主体的で深い学びを支える教育的判断に結びつける力を涵養する。

個別目標：1）幼児、児童および生徒の心身の発達に関する理論（内的・外的要因の相互作用、発達の概念）を理解し、教育場面に即して解釈できる。
2）各ライフサイクルにおける発達（運動・言語・認知・社会性）を理解し、具体的に説明できる。
3）様々な学習の形態や概念および学習理論を理解し、説明できる。
4）主体的学習を支える動機づけ・集団づくり・学習評価の在り方について、発達の特徴と関連付けて理解している。
5）幼児、児童および生徒の心身の発達段階と多様性に応じた学習支援の在り方を判断できる。

▌履修条件

教職志望学生とする。義務教育教員を志望しない場合も、協働学習に意欲的に参加すること。
教師として必要な対話性や応答性を大切にしながら、心地よい関係と学びの場を形成するための配慮ができること。
また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談ください。

▌評価基準・方法

講義内での参加姿勢：発言や質問（20 %）、レポート課題（50 %）および試験（30 %）によって総合的に評価する。
最終試験は、アカデミック・インタビュー（学術的対話に基づく口頭試問）により、理論の理解度だけでなく、教育場面への解釈や判断に至る思考過程を評価する。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントによる。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share グループワーク　ダイアローグ　リフレクティング）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

桜井 茂男 編集：改訂版　たのしく学べる最新教育心理学 ―教職にかかわるすべての人に，図書文化社，2017

▌参考書

鎌原 雅彦，竹綱 誠一郎：やさしい教育心理学 第 4 版 (有斐閣アルマ)，2015
ブライアン・R・リトル（著）、児島修（訳）：ハーバードの心理学講義、大和書房.

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：教育心理学の概要** 授業内容：1．このコースの学習の進め方をイメージする。2．この講義では何を学ぶのかを理解する。 3．教育心理学の歴史と学校教育の教育心理学上の課題について理解する。 事前学修 2.0hr：現在の学校教育の課題を調べてくる。 事後学修 2.0hr：教育心理学が学校教育の課題にどう応えていくのか、そのためにどのような態度が求められるかをまとめる。
2回	**授業テーマ：発達(1)発達の基礎概念** 授業内容：発達に関する諸理論と発達の規定要因を理解する。 発達に影響する遺伝・環境要因について理解する。 発達の各理論を理解し、ペアで説明し合う。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章（発達を促す）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：発達に影響する遺伝・環境要因と、発達の各理論を整理してまとめる。
3回	**授業テーマ：発達(2)発達段階と発達課題** 授業内容：発達段階について視聴覚教材をみながら、理解する。 ハーヴィガストの発達課題とエリクソンの発達課題について理解する。 確認テストを実施して、理解を定着する。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章（発達を促す）を再度読み、理解できない内容を明らかにする。 事後学修 2.0hr：発達課題をまとめる。
4回	**授業テーマ：学習意欲と動機づけ ―動機づけ理論と学習性無力** 授業内容：学習の動機づけ理論について理解する。 自己調整学習について理解する。 学習性無力とその克服について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 3 章（やる気を高める）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：ワークシート（主体的な学びを促す動機づけの考案）を実施する。
5回	**授業テーマ：学習のメカニズム ―学習理論と記憶のメカニズム** 授業内容：学習の基礎としての条件づけを理解する。 学習における記憶の役割を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 章（学習のメカニズム）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：ワークシート（身近な学習の例を条件付けの理論を用いて説明する）を実施する。
6回	**授業テーマ：授業づくりのための心理学** 授業内容：学習指導の理論について理解する。 協同学習の意義とその方法を理解する。 「主体的な学び（アクティブ・ラーニング）」を考える。 主体的な学びのための教師の役割について、リフレクティング・トークを実施する。 事前学修 2.0hr：教科書第 5 章（授業の心理学）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：主体的な学びを可能にする授業の理論と授業形態をまとめる。

7回	**授業テーマ：アクティブ・ラーニングとコラボレーティブ・ラーニングの実践** 授業内容：アクティブ・ラーニングの模擬授業のための指導案をグループで吟味する。 事前学修 2.0hr：アクティブ・ラーニングの模擬授業のための指導案を作成する。 事後学修 2.0hr：アクティブ・ラーニングの模擬授業のための指導案を修正して完成する。
8回	**授業テーマ：コース前半のまとめ** 授業内容：確認テストを実施する。 確認テスト後に、振り返りを行う。 事前学修 2.0hr：第 1〜7 回の講義内容（コース前半）を復習する。テキストの復習問題や予想問題を実施する。 事後学修 2.0hr：確認テストで理解できていない領域を復習する。前半の学習について、メタ視点で自己評価する。
9回	**授業テーマ：教育評価・知的能力の発達とその測定** 授業内容：教育評価の考え方と方法を理解する。 知的能力の発達について理解する。 知的能力の測定について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第６・７章（教育評価を指導に生かす・知的能力を考える）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：代表的な学習評価と新しい学習評価についてまとめる。
10回	**授業テーマ：社会性と道徳性を育てる** 授業内容：向社会的行動について理解する。 道徳性とその発達について理解する。 コールバーグの道徳発達理論を、ハインツのジレンマの問題を通して理解する。 愛着理論について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第９章（社会性を育む）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：愛着形成と社会性の発達についてまとめる。
11回	**授業テーマ：パーソナリティ（１）　−パーソナリティの諸理論と発達** 授業内容：パーソナリティの諸理論について理解する。 パーソナリティの発達理論（フロイトの発達段階説・エリクソンの発達段階説）について理解する。 自我防衛機制の意味とその種類について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第８章を読む。事前配布資料でパーソナリティのチェックを実施する。 事後学修 2.0hr：自我防衛機制とエリクソンの発達段階説についてまとめる。
12回	**授業テーマ：パーソナリティ（２）　−パーソナリティの測定** 授業内容：パーソナリティの測定とその種類について理解する。 パーソナリティチェックを各自が行い、その方法について理解を深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 8 章（パーソナリティを理解する）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：パーソナリティチェックを行った結果を自己分析し、考察する。
13回	**授業テーマ：学級集団における仲間関係・教師生徒関係** 授業内容：学級集団の機能や特徴について理解する。 学級集団の構造を理解するための方法を理解する。 教師と児童・生徒の関係に関する諸理論を理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 章（学級の心理学）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：受容的で学び合える学級集団を形成する工夫についてレポートを作成する。
14回	**授業テーマ：ストレスと不適応** 授業内容：児童・生徒に頻発するストレス関連の心身症について理解する。 児童・生徒に頻発する行動症状としてのいじめ・不登校について理解する。 基本的な援助法を体験する。 気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 11 章（不適応と臨床心理）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：児童・生徒に頻発するストレス関連の心身の不調と対応についてまとめる。
15回	**授業テーマ：フル・インクルーシヴ教育とコースのまとめ** 授業内容：コースのまとめとして、今後のフル・インクルーシヴ教育に教育心理学の視点から何が必要かを考える。 グループでのダイアローグを実施し、気づきを Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 12 章（身体障がいと発達障がい、特別支援教育）を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：障がいをもつ人々と共に生きるために必要な考え方、様々な障がいの種類および支援体制についてレポートを作成する。

特別支援教育論

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

篠﨑　友誉（しのざき　ともよし）

▌授業の概要

特別な支援を必要とする児童・生徒の障害特性や状況等の理解、特別支援教育制度、教育課程編成、支援法について実践的な授業を行う。授業では、随時、グループディスカッションや発表を取り入れて、さまざまな障害を有する子どもを対象とした事例研究を行う。また、写真やビデオの視聴、学校で実践されている支援法、教材・教具の活用などを通して、障害理解と支援法の理解が深まるようにする。

▌到達目標

一般目標：・インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育制度の概要を説明できる。
・通常の学級にも在籍している発達障害児や軽度知的障害児等の障害特性や心身の発達及び学習・生活上の困難に対する支援を理解し事例を分析することができる。
・特別の支援を必要とする児童・生徒の教育課程編成や個別の教育的ニーズに対して、他教員や関係機関と連携し組織的に対応するための知識や支援方法を理解し発表できる。
・さまざまな障害を有する子ども達を対象とした事例研究を通して、特別の教育的ニーズのある児童・生徒の障害特性や状況等の把握や支援について、概要を理解しグループディスカッションができる。

個別目標：　さまざまな障害等の特性や状況、特別の教育課程、教材・教具、保護者と連携した校内支援の知識を活かして、知的障害児や発達障害児の個々の事例に応じた具体的な校内支援や支援法を考えることができる。

▌履修条件

事例研究を通して、担任に求められる、さまざまな障害の理解と支援、校内支援の方法について、実践的指導力を身に付けるため、教科書各章の事例を熟読し、障害理解、校内支援、教育課程、教材・教具の活用、指導法について理解を深めること。

▌評価基準・方法

出席（50 %）レポート (20 %)　授業での発表内容、授業への参加度、グループ作業の成果など（30 %）

▌フィードバック方法

事例研究の内容を、次回の授業の導入で再確認し、さまざまな障害の理解と支援や校内支援に関する実践的指導力を身に付ける。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループディスカッション、発表）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （成果報告会）

▌教科書

道徳　私たちの未来　未来の私たち　開隆堂出版

▌参考書

特別支援学校学習指導要領

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：イントロダクションとガイダンス：障害のある子ども達と学校** 授業内容：(1) インクルーシブ教育システム　(2) 特別支援教育の理念 事前学修 2.0hr：インクルーシブ教育システムの概要を調べる 事後学修 2.0hr：特殊教育から特別支援教育への転換の要因とインクルーシブ教育の理念についてレポートする
2回	**授業テーマ：介護等体験についての制度・施策　そして、そのねらい** 授業内容：介護等体験についての制度・施策　そして、そのねらいを学ぶ 事前学修 2.0hr：介護等体験についての制度・施策を調べる 事後学修 2.0hr：介護等体験についての制度・施策　そして、そのねらいについてレポートする
3回	**授業テーマ：視覚障害とその教育** 授業内容：視覚障害について学ぶ　事例研究 事前学修 2.0hr：視覚障害について調べる 事後学修 2.0hr：視覚障害とその教育についてレポートする
4回	**授業テーマ：聴覚障害とその教育** 授業内容：聴覚障害につい学ぶ　事例研究 事前学修 2.0hr：聴覚障害について調べる 事後学修 2.0hr：聴覚障害とその教育についてレポートする
5回	**授業テーマ：知的障害とその教育** 授業内容：知的障害について学ぶ　事例研究 事前学修 2.0hr：知的障害について調べる 事後学修 2.0hr：知的障害とその教育についてレポートする
6回	**授業テーマ：肢体不自由とその教育** 授業内容：肢体不自由教育について学ぶ　事例研究 事前学修 2.0hr：肢体不自由教育について調べる 事後学修 2.0hr：肢体不自由とその教育についてレポートする
7回	**授業テーマ：病弱・虚弱とその教育** 授業内容：病弱・虚弱とその教育について学ぶ　事例研究 事前学修 2.0hr：病弱・虚弱とその教育について調べる 事後学修 2.0hr：病弱・虚弱とその教育についてレポートする
8回	**授業テーマ：教育相談と進路指導の実際** 授業内容：教育相談と進路指導の実際について学ぶ　事例研究 事前学修 2.0hr：教育相談と進路指導の実際について調べる 事後学修 2.0hr：教育相談と進路指導の実際についてレポートする
9回	**授業テーマ：さまざまな障害を有する子ども達の教育** 授業内容：さまざまな障害を有する子ども達の教育について学ぶ　事例研究 事前学修 2.0hr：さまざまな障害を有する子ども達の教育について調べる 事後学修 2.0hr：さまざまな障害を有する子ども達の教育についてレポートする

10回	**授業テーマ：自立活動(特別支援学校　学習指導要領より)** 授業内容：自立活動(特別支援学校　学習指導要領より)を学ぶ 事前学修 2.0hr：自立活動(特別支援学校　学習指導要領より)について調べる 事後学修 2.0hr：自立活動(特別支援学校　学習指導要領より)についてレポートする
11回	**授業テーマ：特別な教科「道徳」(特別支援学校　学習指導要領より)** 授業内容：特別な教科「道徳」(特別支援学校　学習指導要領より)について学ぶ 事前学修 2.0hr：特別な教科「道徳」(特別支援学校　学習指導要領より)について概要を調べる 事後学修 2.0hr：特別な教科「道徳」(特別支援学校　学習指導要領より)についてレポートする
12回	**授業テーマ：高等学校における通級指導の実際** 授業内容：高等学校における通級指導の実際を学ぶ 事前学修 2.0hr：高等学校における通級指導の実際について調べる 事後学修 2.0hr：高等学校における通級指導の実際についてレポートする
13回	**授業テーマ：学習成果発表会(アクティブラーニング)1** 授業内容：特別支援教育論について学習成果発表準備(アクティブラーニング) 事前学修 2.0hr：特別支援教育論についてまとめる 事後学修 2.0hr：特別支援教育論について発表準備をする
14回	**授業テーマ：学習成果発表会(アクティブラーニング)2** 授業内容：特別支援教育論について発表する 事前学修 2.0hr：特別支援教育論について、発表準備をする 事後学修 2.0hr：特別支援教育論についての成果報告会を受けてのレポートを作成する。
15回	**授業テーマ：特別支援教育論　まとめと総括** 授業内容：特別支援教育論　まとめと総括 事前学修 2.0hr：特別支援教育論　まとめと総括 事後学修 2.0hr：特別支援教育論　まとめと総括

教育課程論

開講学科等：日英中 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

遠藤　哲也（えんどう　てつや）

▌授業の概要

学校教育における教育課程（カリキュラム）の意義や構造、編成の原理を学ぶ。文部科学省の学習指導要領を基に、教育目標と内容の関連性、教育課程の編成と実施の実際を考察する。また、現代社会の教育課題やグローバル化、多様化する学びに対応した教育課程の在り方について理解する。講義では具体例や演習を通じて、教育課程を構築・運営する力を養うとともに、教育現場での実践的な視点を育成することを目的とする。

▌到達目標

一般目標：1. 教育課程の意義、目的、構成を理解する。
2. 学習指導要領を基にした教育課程編成の考え方を学ぶ。
3. 現代の教育課程に関する課題を分析し、教育現場での活用力を養う。

個別目標：1. 教育課程の基本構造とその背景を説明できる。
2. 学習指導要領に基づいた教育課程編成の理論と実践を理解する。
3. 教育課程の現代的課題を分析し、自分の考えを発表できる。

▌履修条件

教職への志を持ち、熱意ある学生であること。

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパーの提出、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

フィードバックは、課題の返却時の評価のほか、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可）を利用した調べ学習。ICT を活用したマイクロ・ティーチングの実施。）

▌教科書

「新版　教育課程・方法論　コンピテンシーを育てる学びのデザイン」　松尾　知明　学文社

▌参考書

文部科学省「小学校学習指導要領解説　総則編」、「中学校学習指導要領解説　総則編」、「高等学校学習指導要領解説　総則編」

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、第１章　資質・能力の育成と新しい教育課程** 授業内容：授業内容：・授業の進め方と評価方法の説明 ・資質・能力の育成が課題となる背景 ・リテラシーからコンピテンシーへ 事前学修 2.0hr：テキストを概観し、自分なりの教育観について考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：第２章　学びのデザイナーとしての教師** 授業内容：１．カリキュラムのデザイナーとしての教師　２．反省的実践家としての教師　３．教えることを学ぶために 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：第３章　カリキュラムをデザインする基礎知識** 授業内容：１．教育内容の選択　２．教育内容の組織化　３．学校の存在的機能 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを修正する。
4回	**授業テーマ：第４章　授業をデザインする基礎知識** 授業内容：１．行動主義学習理論とカリキュラム　２．構成主義学習理論とカリキュラム　３．「何を知っているか」から知識を活用して「何ができるか」へ　４．Teaching から Learning へのパラダイム転換 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：第５章　教育課程の意義と位置づけ** 授業内容：１．教育の目的と目標　２．教育課程の編成（各教科の編成と授業時数）　３．学習指導要領　４．学校レベルの教育課程の開発 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：第６章　学習指導要領の変遷と資質・能力目標の展開** 授業内容：１．学習指導要領の歴史的変遷　２．指導要録の歴史的展開 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
7回	**授業テーマ：第７章　学習指導要領改訂のポイント** 授業内容：１．学習指導要領の方向性と枠組み　２．各学校におけるカリキュラム・マネジメントの実施　３．各学校段階、各教科における改定の具体的な方向性 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：第８章　カリキュラム・マネジメントの意義と考え方** 授業内容：１．新学習指導要領とカリキュラム・マネジメント　２．カリキュラム・マネジメントの考え方　３．カリキュラム・マネジメントの４原則 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：第９章　カリキュラム・マネジメントの進め方** 授業内容：１．資質・能力を育てるカリキュラムを逆向きにデザインする　２．パフォーマンスのレベルで資質・能力目標を設定し共通理解する　３．パフォーマンスを実現するための児童生徒の学びをデザインする　４．パフォーマンスをもとに PDCA サイクルを回し、指導計画を改善する 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：第 10 章　単元指導計画のデザインー学習活動の構想** 授業内容：1．教育の内容と学習活動　2．単元指導計画の開発　3．問題解決学習とは　4．単元指導計画の作成要領 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：第 11 章　単元を通して育みたい資質・能力目標** 授業内容：1．教育目標の明確化と逆向きデザイン　2．単元設定の理由・単元の目標・パフォーマンス課題　3．単元指導計画の設定要領 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：第 12 章　学力形成と評価の３観点** 授業内容：1．日本における学力論争　2．学力形成と評価の３観点　3．単元指導計画の作成要領(単元の評価規準の決定) 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：第 13 章　アクティブ・ラーニングの考え方・進め方** 授業内容：1．アクティブ・ラーニングとは　2．授業の構成要素とアクティブ・ラーニング　3．子供の学びとアクティブ・ラーニング 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
14回	**授業テーマ：第 14 章　ICT 及び教材の活用** 授業内容：1．デジタル社会と学校教育　2．教師による ICT の効果的な活用　3．情報活用能力の育成　4．単元指導計画の作成要領(学習活動・支援の構想) 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：第 15 章　真正の評価の考え方・進め方** 授業内容：1．真正の評価とは　2．測定中心の評価から問題解決の評価へ　3．資質・能力を育む教育評価の進め方　4．単元指導計画の作成要領(評価計画の構想、ルーブリックの書き方) 事前学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、改めて学んだこと、自分が成長できたこと等について小レポートを作成する。 事後学修 2.0hr：授業での協議を受け、小レポートを修正する。

道徳教育の理論と実践

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

山本　聖志 (やまもと　せいし)

▌授業の概要

「特別の教科　道徳」(道徳科)についての最新の資料と実践事例に基づき、「道徳教育の基礎的な原理」を身に付ける。また、道徳科の学習指導案を作成し、模擬授業を体験し、授業改善を図るなど、理解力と実践力をバランスよく育てる。

▌到達目標

一般目標：(1) 道徳教育の意義や原理に基づき、学校教育の目標や内容を理解する。
(2) 学校教育活動を通じて行う道徳教育及びその要となる道徳科における指導計画や指導方法を理解し、その作成ができる。
(3) 道徳科の授業の構成や展開を理解し、「考え、議論する」授業を実践できる。

個別目標：○道徳とは何かを説明し、歴史的な流れや今日的な課題について捉えることができる。
○子供の道徳性の発達について学び、学習指導要領に示された道徳教育及び道徳科について理解している。
○学校における道徳教育の指導計画や教育活動全体での指導について理解している。
○道徳科の学習指導案を様々な工夫を取り入れて作成することができる。
○道徳科の授業を実践することができる。
○道徳の評価の在り方について理解している。

▌履修条件

教職を目指す、熱意ある学生

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパー提出、授業への参加度・貢献度、レスポンへの回答等の受講姿勢で７０%、期末試験３０%の結果に基づき、総合的に評価する。
・５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、レポートの返却及びその後の個別指導 (対面)、学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。模擬授業の実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可）を利用した調べ学習あり。ICT を活用した模擬授業の実施。）

▌教科書

文部科学省中学校学習指導要領解説　特別の教科道徳編 (平成 29 年 7 月告示)

▌参考書

適宜指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：学校教育における道徳及び道徳教育について** 授業内容：「道徳とは何か」、「道徳教育とは何か」について基本的な考え方を知る。 事前学修 2.0hr：中学校の道徳の時間で学んだ内容や資料についての情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、道徳教育の目指すものついての考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：学習指導要領の変遷と道徳教育について** 授業内容：学習指導要領の変遷と道徳教育について知るとともに、改訂の趣旨及び背景を理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説　特別の教科道徳編の第 1 章を読み、改訂の主旨をまとめておく。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、道徳教育のこれからについての意見をもつ。
3回	**授業テーマ：道徳教育の基本的な在り方と道徳教育の目標について** 授業内容：道徳教育の基本的な在り方と道徳教育の目標及び各教科等における道徳教育について理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説　特別の教科道徳編の第 2 章「道徳教育の目標」読み、各教科等における道徳教育について概要をつかむ。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、各教科等で進める道徳教育への考えをまとめる。
4回	**授業テーマ：道徳科の目標について** 授業内容：「道徳科の目標」について、学習指導要領解説を読み、協議をしながら理解する。 事前学修 2.0hr：「道徳科」が新設された趣旨や背景について調べておく。 事後学修 2.0hr：本日の授業をもとに「道徳科の目標」について小レポートにまとめる。
5回	**授業テーマ：道徳科の内容について** 授業内容：道徳科の内容の捉え方、四つの視点、発達的特質に応じた内容構成の重点化について理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説道徳編第３章「道徳科の内容」を読み概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日の授業をもとに「道徳科の内容」について小レポートにまとめる。
6回	**授業テーマ：指導計画の作成と内容の取り扱いについて** 授業内容：「指導計画作成の方針と推進体制の確立」「年間指導計画の意義と内容」「年間指導計画作成上の創意工夫と留意点」について理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説道徳編第４章第１節「指導計画作成上の配慮事項」を読み、年間指導計画作成について概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日の授業をもとに道徳科の年間指導計画の内容について小レポートにまとめる。
7回	**授業テーマ：道徳科の指導 (1) 道徳科の指導の基本方針** 授業内容：「道徳科の指導の基本方針」「道徳科の特質を生かした学習指導の展開」「学習指導の多様な展開」について理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説道徳編第４章第２節「道徳科の指導」を読み、指導の基本方針等の概要を理解する。 事後学修 2.0hr：本日の授業をもとに学習指導案についての知識を得る。
8回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (2) 道徳の内容の理解と指導方法① (考え議論する道徳の授業を目指して)** 授業内容：「考え、議論する道徳」の授業の在り方を理解する。 事前学修 2.0hr：課題として示した、道徳の内容について分析し、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、道徳の授業の進め方についてまとめる。
9回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (3) 道徳の内容の理解と指導方法②** 授業内容：「考え、議論する道徳」の授業の指導方法等について理解するとともに、協議を通して深める。 事前学修 2.0hr：課題として示した道徳の内容について分析し、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、指導案を作成できるように必要な事項をまとめる。

10回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (4) 学習指導案の作成①「教材のねらいと分析」** 授業内容：教材のねらいと分析を通して、学習指導案の基本的な作り方を理解する。 事前学修 2.0hr：学習指導案の基本的なつくり方ついて、情報を集めておく。 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、次回一人一人が学習指導案の基本形を書けるようにする。
11回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (5) 学習指導案の作成②「指導案の作成 (発問の作成)」** 授業内容：道徳授業における発問について考えるとともに、個人で学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：前時に配布された資料から、指導案の流れ (発問の場面、発問の内容等を考えておく) 事後学修 2.0hr：本日の講義をまとめ、班ごとに授業内容の改善を考えておく。
12回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (6) 模擬授業①「班を作り、模擬授業で使う学習指導案を完成させる」** 授業内容：各班で個人が作成した学習指導案を読み合い、模擬授業で使う学習指導案を完成させる。 事前学修 2.0hr：模擬授業の準備をしておく。 事後学修 2.0hr：班ごとに、模擬授業の学習指導案に沿って、準備・練習をする。
13回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (7) 模擬授業②** 授業内容：模擬授業の実施(第 1 回)。 事前学修 2.0hr：班で授業時の役割分担に沿って、授業準備をしておく。 事後学修 2.0hr：本日の模擬授業を振り返り、改善点をまとめる。
14回	**授業テーマ：道徳の授業指導 (8) 模擬授業③** 授業内容：模擬授業の実施(第 2 回)。 事前学修 2.0hr：班で授業時の役割分担に沿って、授業準備をしておく。 事後学修 2.0hr：本日の模擬授業を振り返り、改善点をまとめる。
15回	**授業テーマ：道徳教育の評価、道徳の授業の評価と改善 (道徳科の評価)** 授業内容：「道徳科の授業に対する評価」について確認し、模擬授業における評価について協議する。また、学修内容を振り返り、知識・技能の定着を図る。 事前学修 1.0hr：学習指導要領解説第５章、第３節「道徳科の授業に対する評価」を読んでおく。 事後学修 4.0hr：道徳の授業の評価についてまとめておく。試験に対する学習をする。

「総合的な学習の時間」の指導法

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

西貝　裕武 (にしがい　ひろむ)

▌授業の概要

・学習指導要領における「総合的な学習(探求)の時間」の位置づけや目的・内容を理解し、「総合的な学習(探求)の時間」における教師の指導的な役割を学ぶ。
・「総合的な学習(探求)の時間」において、具体的な実践を展開できる力を育成する。
・グループ協議や発表等を多く取り入れたアクティブ・ラーニングを通して、教師として備えるべき基礎的な実践力を身に付ける。

▌到達目標

一般目標：・「総合的な学習(探求)の時間」の意義や目標を理解する。
・学習指導要領を基にした「総合的な学習(探求)の時間」における指導計画や評価方法を学ぶ。
・教科等を越えて必要となる資質・能力の育成について理解する。
・生徒の主体的な学びを促す探求的学習のあり方を検討する。
個別目標：・「総合的な学習(探求)の時間」の意義や目標を説明することができる。
・主体的・対話的で深い学びを実現する「総合的な学習(探求)の時間」の単元指導計画を作成できる。
・探求的な学習を実現するための具体的な指導方法を活用できる。
・学習活動の評価及び適切なフィードバックができる。

▌履修条件

教職を目指す、熱意ある学生であること。

▌評価基準・方法

・発表、リフレクションペーパーの提出、授業への参加度・貢献度等の受講姿勢 50 %、課題レポート(2 回) 50 %の結果に基づき、総合的に評価する。
・５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、レポート返却後の個別指導(対面)や学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。単元指導計画の作成及び発表。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可)を利用した調べ学習。）

▌教科書

「総合的な学習の時間の新展開」ミネルヴァ書房

▌参考書

文部科学省「中学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編」
文部科学省「高等学校学習指導要領解説総合的な探求の時間編」
文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」(中学校編)
文部科学省「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開」(高等学校編)
※適宜資料等を配布する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1 回	**授業テーマ：オリエンテーションと総合的な学習の時間のあゆみ** 授業内容：・授業の目標と進め方の説明 ・「総合的な学習の時間」の創設の背景 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
2 回	**授業テーマ：総合的な学習の時間の意義** 授業内容：・学習指導要領における「総合的な学習の時間」の位置づけ ・総合的な学習の時間と他教科との違い 事前学修 2.0hr：教科書第 2 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
3 回	**授業テーマ：総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント** 授業内容：・「社会に開かれた教育課程」と総合的な学習の時間 ・総合的な学習の時間を生かしたカリキュラム・マネジメント 事前学修 2.0hr：教科書第 3 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
4 回	**授業テーマ：総合的な学習の時間の各学校で定める目標及び内容** 授業内容：・総合的な学習の時間の目標と各学校において定める目標と内容 事前学修 2.0hr：教科書第 4 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
5 回	**授業テーマ：総合的な学習の時間の単元計画** 授業内容：・主体的・対話的で深い学びとは ・単元計画の作成と実践事例 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
6 回	**授業テーマ：総合的な学習の時間の指導と評価** 授業内容：・総合的な学習の時間における学習指導 ・総合的な学習の時間における評価 事前学修 2.0hr：教科書第 6 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
7 回	**授業テーマ：総合的な学習の時間を充実させるための体制づくり** 授業内容：・校内組織 ・学習環境 ・外部連携 事前学修 2.0hr：教科書第 7 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。

8回	**授業テーマ：総合的な学習の時間と国際理解教育** 授業内容：・国際理解教育のあゆみと総合的な学習の時間との関係 ・実践事例と単元計画 事前学修 2.0hr：教科書第 8 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：総合的な学習の時間と SDG s** 授業内容：・総合的な学習の時間と SDG s の関係 ・実践事例と単元計画 事前学修 2.0hr：教科書第 9 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：総合的な学習の時間と多文化共生** 授業内容：・総合的な学習の時間における多文化共生の学習 ・実践事例と単元計画 事前学修 2.0hr：教科書第 10 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：総合的な学習の時間とまちづくり学習** 授業内容：・まちづくり学習の背景 ・実践事例と単元計画 事前学修 2.0hr：教科書第 11 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：総合的な学習の時間と生活科** 授業内容：・生活科と総合的な学習の時間の接続 ・幼児教育と小学校教育の接続 事前学修 2.0hr：教科書第 1 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：総合的な学習の時間と ICT** 授業内容：・ICT を活用した総合的な学習の時間の実践 ・実践事例と ICT 活用計画 事前学修 2.0hr：教科書第 13 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：総合的な学習の時間と人権教育** 授業内容：・日本における人権教育 ・学校教育における人権教育 事前学修 2.0hr：教科書第 14 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：総合的な学習の時間と防災教育** 授業内容：・防災教育の重要性 ・学校における防災教育の展開 事前学修 2.0hr：教科書第 15 章を読んで、授業でのディスカッションに備える。 事後学修 2.0hr：授業内容を受けて、学習課題に取り組む。

特別活動論

開講学科等：日英中 ｜ 2年次 ｜ 2単位 ｜ 開講期：後

西貝　裕武 (にしがい　ひろむ)

▌授業の概要

・学習指導要領を踏まえ、教育課程における特別活動の意義・目的・内容を理解し、特別活動における教師の指導的役割について学ぶ。
・ホームルーム・学級指導、生徒会活動、学校行事についてその意義を理解するとともに、学校教育での具体的実践を展開できる力を育成する。
・能動的な学修形態をとり、グループ討議・発表を取り入れて、教師として備えるべき基礎的な実践力を身につける。

▌到達目標

一般目標：・特別活動の目標や内容を理解し、豊かな人間関係づくりを行うホームルーム・学級経営の重要性を理解する。
・豊かな人間関係づくりを構築するホームルーム・学級活動の指導計画を作成するために必要な視点を身に付ける。
・未来社会の形成者となる児童・生徒の資質・能力を育むという認識のもと、自らが理想とする教師像を描く。
個別目標：・「生きる力」を育むためには、学級経営の充実が不可欠であることを自分の言葉で説明できる。
・生徒会活動や学校行事の意義や目的を理解し、教師の役割を理解し、実践できるようになる。
・自分の考えや意見を根拠をもって発表したり、小論文等で論述できるようになる。

▌履修条件

・教職を目指す、熱意ある学生。

▌評価基準・方法

・事前学修、グループ討議・発表、リフレクションペーパー等による授業への参加度・貢献度７０%、期末試験３０%の結果に基づき、到達目標の達成度を総合的に評価する。
・５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、返却後の個別指導 (対面)や学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。マイクロ・ティーチングの実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可)を利用した作業あり。）

▌教科書

・文部科学省『中学校学習指導要領』及び『中学校学習指導要領解説特別活動編』(必ず購入すること)
・文部科学省『高等学校学習指導要領』及び『高等学校学習指導要領解説特別活動編』(文部科学省のサイトからダウンロード可)

▌参考書

・国立教育政策研究所教育課程研究センター『特別活動　指導資料　学校文化を創る特別活動【中学校・高等学校編】』
(文部科学省のサイトからダウンロード)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション及び特別活動とは何かを考える** 授業内容：アイスブレイク・自己紹介をする。 「授業の概要」「目標」「学修計画」「授業の進め方及び確認事項」を知る。 特別活動の目標について小中高の経験に基づき考える。 事前学修 2.0hr：受講生の特別活動の経験について簡潔に発表できるようにまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
2回	**授業テーマ：特別活動の中学校・高等学校学習指導要領における位置づけ** 授業内容：学習指導要領の変遷を振り返り、教育課程における特別活動の位置付けについて理解する。 特別活動の概要について知る。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説・特別活動「特別活動の目標」を読み、特別活動の概要についてまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
3回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動１ー目的と自主性・自発性の育成ー** 授業内容：学習指導要領解説の該当箇所を読み取り、その後、グループで協議する。 グループ協議の結果を発表する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領解説特別活動編「学級活動・ホームルーム活動」を読み、その重要性についてまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
4回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動２ー学級・学校文化を創るー** 授業内容：1 年後の学級の姿を見据え、第１回のホームルーム活動・学級活動の時間において教師としての自己紹介を含め、どのように展開するか個人で考える。その後、グループで協議しまとめる。 事前学修 2.0hr：第１回目の学級活動・ホームルーム活動(生徒が自己紹介し、学級の仲間として活動する際の目標など) について考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
5回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動３ー学級経営の具体１(具体的な学級開きの方法を考え、グループ発表) ー** 授業内容：年度当初の学級活動・ホームルーム活動(の一部分)を教師になったつもりで実際に行う。 事前学修 2.0hr：第１回目の学級活動・ホームルーム活動での教師の指導の仕方を考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
6回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動４－よりよい学級づくりー** 授業内容：学級がうまくいくとはどのようなことかを協議し、学級活動についてポイントをまとめる。 事前学修 2.0hr：中学・高校時代の経験を思い起こして、生徒にとってよい学級とはどのようなものか考えてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
7回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動５ーいじめ・不登校ー** 授業内容：いじめ・不登校の実態を把握するとともに、事例研究を通して問題行動の未然防止や不登校への学級経営上の対応について考える。 事前学修 2.0hr：いじめ・不登校の実態について調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
8回	**授業テーマ：学級活動・ホームルーム活動６ーキャリア教育ー** 授業内容：キャリア教育の要として特別活動が位置付けられている背景を理解するとともに、実践事例からキャリア教育の意義について考える。 事前学修 2.0hr：題材例について、どのような話合い活動を行うかを理由とともに考え、小レポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。

9回	**授業テーマ：生徒会活動１ー生徒会活動の目標ー** 授業内容：学習指導要領の「生徒会活動の目標」を読み、「生徒会活動とは何か」「生徒会活動の重要性」について考える。 事前学修 2.0hr：学習指導要領の「生徒会活動の目標」を読み、概要をつかんでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
10回	**授業テーマ：生徒会活動２ー生徒会活動の実際ー** 授業内容：生徒会担当教員となったと仮定し、どのような活動を実践するかについて協議する。 事前学修 2.0hr：中学校・高校時代の生徒会活動について思い出し、その活動の意味について、自分なりに考えをまとめてくる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
11回	**授業テーマ：学校行事１ー学校行事の目標・儀式的行事ー** 授業内容：学校行事の目標と儀式的行事のねらいと内容について整理する。 学校行事においてどのような資質・能力を育成するかを考える。 事前学修 2.0hr：学習指導要領の「学校行事の目標」を読み、概要をつかんでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
12回	**授業テーマ：学校行事２ー学校行事の内容ー** 授業内容：学校行事の内容「文化的行事」「健康安全・体育的行事」「旅行・集団宿泊的行事」「勤労生産・奉仕的行事」について整理する。 事前学修 2.0hr：学習指導要領の「学校行事の内容」を読み、概要をつかんでおく。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。
13回	**授業テーマ：学級活動の企画** 授業内容：指定された議題または題材について、学級活動の学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：指定された議題または題材について先行事例を調べてくる。 事後学修 2.0hr：授業で協議した学校行事における教師の動きについて、その意味を含めて小レポートにまとめる。
14回	**授業テーマ：学級活動：討論会** 授業内容：学校現場で行われている討論会を経験する。 テーマ例「私たちにできるいじめ防止」 事前学修 2.0hr：パネル・ディスカッションのテーマ(例：私たちにできるいじめ防止)について、自分の考えを小レポートにまとめる。 事後学修 2.0hr：パネル・ディスカッションを受け、課題を manaba で提出する。
15回	**授業テーマ：特別活動論の総まとめ** 授業内容：特別活動論の総まとめを行う。 ・本講座受講前と受講後での認識の違い。 ・育成すべき資質・能力とその理由を再確認する。 事前学修 2.0hr：今までの学修内容を見直す。 事後学修 3.0hr：授業内容を受け、課題を manaba で提出する。

教育方法論

開講学科等：日英中 ｜ 2 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

遠藤　信一（えんどう　しんいち）

▌授業の概要

教育方法に関する教育学や教育工学で用いられる基礎的な理論を学び，授業設計や教授スキル，多種の教材開発・利活用などについて，具体的な実践から学ぶ。その際，学習指導要領に明記された主体的・対話的で深い学びを実現できるような授業を設計し，情報モラルなどにも配慮しながらＩＣＴを活用して発表し，ディスカッションが出来るようになることを目指す。また，総合的な探究の時間を念頭に置き，見方・考え方の指導，問題解決能力の指導・育成方法などについて学ぶ。なお，授業者が SSH，SGH 研究開発など先進的な教育研究を申請してきた経験を踏まえ，高校における教育研究についても，適宜取り扱う。

▌到達目標

一般目標：教育の方法や技術に関する理論を学び，教材の利活用についての理論と実践に対する認識を深め，それらを実際に利活用するための「授業設計能力」「実践的指導力」の基盤を培うことを目的とする。

個別目標：1)これからの社会を担う生徒に求められる資質・能力を理解し，教育方法のあり方を理解している
2)学習指導案の基本的な要素，各視点と作成の流れを理解し，実際に設計できる
3)教授スキルなど基本的な指導技術，多様な教材の設計力を身につけている
4)学習評価の基本的な考え方について理解している
5)ＩＣＴを活用する意義や理論を理解し，教材等を作成・提示することができる
6)情報活用能力(情報モラルを含む)を育成する指導法を理解している

▌履修条件

教職課程履修者とする

▌評価基準・方法

小テスト(30%)，発表・模擬授業(40%)，最終レポート(30%)の割合とし，合計 100 点で評価する

▌フィードバック方法

各授業回においてフィードバックを行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （プレゼンテーション作成，グループワークで実施する）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （グループでの話合い，発表等で PC を利用する）

▌教科書

稲垣忠編著(2022)教育の方法と技術 Ver.2: ID と ICT でつくる主体的・対話的で深い学び、北大路書房　ISBN-13:978-4762832123

▌参考書

中学校学習指導要領(平成 29 年告示 文部科学省)、高等学校学習指導要領(平成 30 年告示 文部科学省)
(購入の必要はない。文部科学省のホームページで入手出来る。)

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション１　これからの子どもたちに育みたい資質・能力** 授業内容：学校現場において必要とされるものは何か，求められる「学力」について，これからの社会を生きていくために求められる力について考える。教育の方法として何を学ぶ必要があるのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：シラバスと教科書の第 1 章に目を通してくる　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：これからの子どもたちに何を身につけたいのか，各自の学習活動のアイデアを整理する
2回	**授業テーマ：オリエンテーション２　教師に求められる授業力** 授業内容：各自の教師像をまとめた上で，これからの教師に求められる資質・能力とは何か，教師の役割とは何かを考える。また，教育方法に関して，教育の過程(教育の目的・内容・評価，指導の方法・条件等)について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教科書の第 2 章に目を通し，理想の教師像について自分の考えをもつ　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：教育の目的・内容・評価、指導の方法・条件に関してまとめる
3回	**授業テーマ：教育方法の基礎的理論・授業づくり(学習指導)のプロセス** 授業内容：授業づくりの基本的な考え方を取り上げる。また，「主体的・対話的で深い学び」を実現する教育方法と授業づくりの関係について考える。 事前学修 2.0hr：今どきの子どもたちの実態について考えをまとめる　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：授業パッケージの制作チームをつくり、制作する授業テーマと学習目標を考える
4回	**授業テーマ：学習評価をデザインする・目標・指導・評価の一体化の意義** 授業内容：学習の成果を測る方法＝評価に対する考え方を学び，評価をデザインする上での基本的な考え方と目標に合わせた評価方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：今後求められる学力について自分の考えをまとめる　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：テーマについて評価方法を検討する
5回	**授業テーマ：学習環境のデザインとデジタル化・授業企画書の発表会(教師の ICT 活用を含む)** 授業内容：学習環境についての考え，目的に応じた設計について考える。また，社会全体のＤＸ化が進む中で，学習環境にはどのような影響があり，目的に応じて，どのようにデザインすれば良いのかを考える。 事前学修 2.0hr：授業企画書を作成する　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：想定するテーマを実施する上で必要な環境を検討する
6回	**授業テーマ：授業を支える指導技術(教師による ICT 活用を含む)** 授業内容：授業の際に教師は何に気をつけているのか，設計した授業を現実の授業に反映するための方策について考える。また，情報機器(PC，実物投影機，電子黒板等)が授業でどのように活用されているかを知る。特に，電子黒板の使用方法を学び，練習する。 事前学修 2.0hr：高校時代の授業を 1 つ選び，教師のふるまいについて気づいたことをまとめる　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：チーム内で 3 分スピーチを相互に行い，話し方の癖を検討する
7回	**授業テーマ：学習者の多様性・学びを引き出す指導技術(生徒による ICT 活用を含む)** 授業内容：「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導技術について，指導のポイントを先行研究を踏まえながら具体的な事例をもとに学ぶ。 事前学修 2.0hr：高校時代の授業を振り返り，担当教師の学生との関わり方について気づいたことをまとめる　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：チーム内でノートの取り方や学び方を紹介しあう

8回	**授業テーマ：学習指導案をつくる(1)学習目標の設定** 授業内容：基本情報、生徒、教材、指導、単元、本時，評価といった学習指導案の構成要素，学習目標(単元の目標)の明確化や観点別の整理，学習者の状態の把握について学ぶ。 事前学修 2.0hr：学習目標になりそうなことをリストアップしてくる　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：テーマについて学習目標を定義する
9回	**授業テーマ：学習指導案をつくる (2) 深い学びを導く教材研究** 授業内容：子どもたちが求められる資質・能力を身につけるために「主体的・対話的で深い学び」の実現が重要である。しかし，教材研究が不十分だと単なる教え込みだけになる。教材研究の方法として，課題分析に取り組み，「主体的・対話的で深い学び」について学ぶ。 事前学修 2.0hr：学習目標に必要な項目をリストアップしてくる　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 3.0hr：学習目標についてまとめる
10回	**授業テーマ：学習指導案をつくる (3)「主体的・対話的で深い学び」を実現する学習過程** 授業内容：「主体的・対話的で深い学び」を実現するためのグループ学習を充実させるためのポイント，協働学習のデザインや対話を支える教育方法について学ぶ。簡単な協働学習を模擬的に実施する。また，「主体的・対話的で深い学び」を実現するインストラクショナルデザインについて学ぶ。 事前学修 2.0hr：簡単なグループ学習の事例と目標を書き出す　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：テーマについて 1 時間の学習指導案を作成する
11回	**授業テーマ：学習指導案をつくる (4) 学びが見える評価方法と学習履歴データの活用** 授業内容：目標がどれだけ実現出来たのか，目標が設定出来ていれば評価は明確である。教育評価のもつ意味を再確認し，学習過程における評価場面、評価者の役割，ルーブリック等，インフォームドな対応と客観的な評価方法について学ぶ。 事前学修 2.0hr：テスト問題の実例を吟味し，どのような学習目標の評価なのか考えてくる　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：評価計画を作成する
12回	**授業テーマ：授業の魅力を高める各教科における ICT・デジタルコンテンツの活用** 授業内容：生徒の興味・関心を高めるために ICT やデジタル教材を活用することは有効である。研究開発学校の先進的な事例を示しながら，ＩＣＴの特徴を理解し，学びのスタイルに応じた適切な活用方法を学ぶ。 事前学修 2.0hr：講義者が実践していたＩＣＴ教材を体験し，メリットと課題についてメモする　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：実際に ICT 機器を操作体験し，活用の可能性を検討する
13回	**授業テーマ：教科を横断して情報活用能力(情報モラルを含む)を育てる** 授業内容：情報社会を生きる力である「情報活用能力」は、すべての教科・領域の学習に関わる資質・能力である。情報モラルの配慮しながら，教科横断的で汎用的な情報活用能力を育てるにはどのような授業・学習活動をデザインすればよいのかを学ぶ。 事前学修 2.0hr：情報活用能力についてまとめる　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：学習者が意識すべき情報活用能力について検討する
14回	**授業テーマ：これからの学習環境・校務の効率化を支えるテクノロジーの役割** 授業内容：SDGs を取材する高校生の具体的な事例を通して，「授業」の枠を越えた学び，ＩＣＴを活用する意義について考える。また，逆向き設計理論など，新たな学びと教育のＤＸ化について考える。 事前学修 2.0hr：逆向き設計の事例について考える　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：今後の学校の ICT 環境における教師の役割について自分の考えをまとめる
15回	**授業テーマ：ICT を活用した模擬授業の実施と授業の改善・授業のまとめ** 授業内容：これまでに学んできた教育方法について，具体的にどのように実施するのか考える。模擬授業を行い，振り返ることでより良い授業へと改善を促す。 事前学修 2.5hr：模擬授業の準備をする　小テストに備え章末問題をやっておく 事後学修 2.0hr：授業内容をふりかえり，提出する

生徒指導・進路指導論

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

「生徒指導とは何か」「進路指導(キャリア教育)とは何か」について、「生徒指導提要」や「高等学校キャリア教育の手引き」を踏まえて学校における生徒指導及び進路指導の意義・目的・課題・指導方法などを学ぶ。この科目では、学生に対して、喫緊の生徒指導・進路指導(キャリア教育)上の課題を事例を通しながら理解させるとともに、担任として、学校組織として、生徒の健全育成や進路実現を図るための基本的な知識と幅広い視野を持たせる。授業では、学修者の能動的な学修への参加を重視するため、学生は、グループにおける事前学修、それに基づいた発表を行い、生徒指導・進路指導に関する学びを深めていく。

▌到達目標

一般目標：1　生徒指導及び進路指導(キャリア教育)の基礎的、基本的な事項を理解することができる。
2　生徒の在り方生き方について、助言、援助、指導するといった、生徒指導の役割を理解することができる。
3　生徒を理解する上での基本的な知識や考え方を身に付け、そのことを発表したり、小論文等で述べることができる。

個別目標：1　教師の使命感をもち、生徒指導・進路指導(キャリア教育)だけではなく、教育の歴史的推移、国内外の教育改革の動向を理解することができる。
2　教育の在り方に関することや学校教育についての基礎的な知識と幅広い視野を持つことができる。
3　授業を通して学友の話を聞きながら、自分の考えを適宜修正し自らの考えを主張できる。

▌履修条件

将来、教員になることを志し、教職課程を履修する熱意のある学生。
「教師論」「教育原理」のうち、Ｉ科目以上の単位を修得していることが望ましい。

▌評価基準・方法

授業への参加姿勢及び貢献度、グループ討議や発表、提出物等を７０%、定期試験の結果を３０%とし、総合的に評価する。５分の４以上の出席を評価の前提条件とする。欠席・遅刻等については減点とするなど、厳格に対応する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク　プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

1　文部科学省『生徒指導提要』(令和４年１２月)
2　文部科学省『高等学校キャリア教育の手引き』(平成２３年１１月)
※2については文部科学省のＨＰから必要な部分をダウンロードする。

▌参考書

授業の中で適宜配付する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション（本授業の目的と概要、計画）** 授業内容：本授業の目的と概要を理解し、半期の学びの流れを知り、見通しを持つ。 生徒指導と生活指導の違い、進路指導とキャリア教育の違いについて考察、協議し、共有する。 事前学修 2.0hr：シラバスに基づいて、本授業の目的と概要、計画についてあらかじめ確認しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：生徒指導１(生徒指導の基礎)** 授業内容：「生徒指導の意義」「生徒指導の方法」等、「生徒指導の基礎」について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第 1 章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：生徒指導２(生徒指導と教育課程)** 授業内容：「教科の指導と生徒指導」「特別活動における生徒指導」等、「生徒指導と教育課程」について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第２章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：生徒指導３(いじめ)** 授業内容：「いじめ防止対策推進法等」「いじめ防止等の対策のための組織と計画」等、「いじめ」対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第４章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
5回	**授業テーマ：生徒指導４(児童虐待)** 授業内容：「児童福祉法・児童虐待の防止等に関する法律等」「児童虐待の発見」「児童虐待の通告」等、「児童虐待」対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第７章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：生徒指導５(自殺)** 授業内容：「自殺対策基本法等」「自殺予防のための学校の組織体制と計画」等、「自殺」」防止への対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第８章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：生徒指導６(中途退学)** 授業内容：「中途退学の関連法規と基本方針」「中途退学に至る予兆の早期発見・対応」等、「中途退学」防止への対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第９章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：生徒指導７(不登校)** 授業内容：「不登校に関する関連法規・基本指針」「不登校対応に求められる学校の組織体制と計画」等、「不登校」対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第１０章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：生徒指導８(インターネット・携帯電話に関わる問題)** 授業内容：「関連法規・基本方針等」「インターネット問題への組織的取組」等、「インターネット・携帯電話に関わる問題」への対応について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第１１章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：生徒指導９(多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導)** 授業内容：「発達障害に関する理解と対応」「支援を要する家庭状況」等、「多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導」について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『生徒指導提要』第１３章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：進路指導(キャリア教育)１(キャリア教育とは何か)** 授業内容：「キャリア教育の必要性と意義」「小学校や中学校におけるキャリア教育」等、「キャリア教育とは何か」について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『高等学校キャリア教育の手引き』第１章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：進路指導(キャリア教育)２(高等学校におけるキャリア教育の推進のために１)** 授業内容：「校内組織の整備の推進」「年間指導計画の作成」等、「高等学校におけるキャリア教育の推進のために」何が求められているかについて理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『高等学校キャリア教育の手引き』第２章第１章から第４章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：進路指導(キャリア教育)３(高等学校におけるキャリア教育の推進のために２)** 授業内容：「連携の推進」「効果的なインターンシップの在り方」等、「高等学校におけるキャリア教育の推進のために」何が求められているかについて理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『高等学校キャリア教育の手引き』第２章第５章から第７章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：進路指導(キャリア教育)４(高等学校におけるキャリア教育の実践)** 授業内容：「高等学校におけるキャリア発達」「入学から卒業までを見通した系統的なキャリア教育の取組」等、「高等学校におけるキャリア教育の推進の実践」について理解し、疑問点等について協議する。 事前学修 2.0hr：『高等学校キャリア教育の手引き』第３章を読んで、その概要を理解しておく。各自疑問点をまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：生徒指導・進路指導(キャリア教育)全体のまとめ** 授業内容：生徒指導・進路指導(キャリア教育)を実践するに当たった自己の課題を発表し、協議を通じて解決策を見出す。 事前学修 2.0hr：授業を振り返り生徒指導・進路指導(キャリア教育)に関する基礎的事項を整理するとともに、自己の課題を明確にする。 事後学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、定期考査に向けて準備を進める。

教育相談

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

樋口　倫子 (ひぐち　のりこ)

▌授業の概要

児童や生徒は、様々な問題に直面しながら成長していく存在である。教育相談は、児童や生徒が自己理解を深め、周囲と互いのあるがままの良さを理解し、尊重し合える関係を構築していく過程を支援する教育活動である。そのため、本科目では児童や生徒の発達課題や心理的特性を踏まえ、「問題とは、意味を問い直す機会」と捉えた支援の思想と実践を学ぶ。

▌到達目標

一般目標：本科目では、教育相談やカウンセリングの基本的な理論(目的、方法、学内外の連携など)を理解し、実践的な対話力と援助力を身につけることを目的とする。また、援助者は児童・生徒との関わりの中で自己の課題に直面する。そのため、支援者としての自己理解を深め、その意味を見つめ直し、自己成長を図る姿勢を養う。

個別目標：1)教育相談に必要な臨床心理学の理論と概念および教育相談の意義や課題が理解できる。
2)教育相談を進める際に必要な基礎的知識、基本姿勢を理解する。
3)教育相談の具体的な進め方と対応の要点、学内外の組織的な連携が理解できる。
4)幼児、児童および生徒の不適応行動や症状に対し、発達課題や教育的課題に応じた教育相談の展開法を選択できる。

▌履修条件

教職志望学生とする。義務教育教員を志望しない場合にも、協働学習に対して意欲的に参加することを希望します。
対話的な関係をつくるために、相手の話を聞く姿勢を求めます。
また、本講義は、多様な背景や特性をもつ履修者が共に学ぶことを前提としています。学修上の困難さがある場合には、個人の努力のみで解決を求めるのではなく、学修環境や参加方法を調整する合理的配慮を行います。配慮を希望する場合は、事前に担当教員または障がい学生支援室に相談ください。

▌評価基準・方法

講義内での参加姿勢：発言や質問(20 %)、レポート課題(50 %)および最終試験(30 %)によって総合的に評価する。最終試験は、アカデミック・インタビュー(学術的対話に基づく口頭試問)により、理論の理解度だけでなく、教育場面への解釈や判断に至る思考過程を評価する。

▌フィードバック方法

講義終了時の質疑応答、次回講義冒頭での課題についての全体コメント、manaba 上での個別コメントによる。
理解が不十分な場合には、補習を実施する。
個別指導は、ワークブックへのコメントを以って行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （Think-Pair-Share Think-Group-Share　Dialogue　Reflecting-Talk　ロールプレー　問題解決型プロジェクト学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （レスポンの質問への回答　デジタル資料閲覧　データ共有）

▌教科書

森田健宏・吉田佐治子　編著：教育相談　第 2 版、ミネルヴァ書房、2024

▌参考書

小林 正幸 ・ 橋本 創一 ・ 松尾 直博 (編集)：教師のための学校カウンセリング、有斐閣アルマ

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：学校現場における教育相談** 授業内容：このコースの学習内容・学習方法について、イメージする。 学校教育相談の概要を理解する。 現在、教育臨床では、児童・生徒がどのような問題を抱えているのかを理解する。 生徒はどのような支援を求めており、教師はどのように対応する必要があるかを話し合う。 事前学修 2.0hr：テキスト第 1 講「教育相談とは」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：児童・生徒の抱える問題の解決支援のための教育相談の意義をまとめる。
2回	**授業テーマ：カウンセリングの理論と技法** 授業内容：カウンセリングの理論とその方法について理解する。 カウンセリングの基本姿勢を体験する。 事前学修 2.0hr：教科書第 2 講「カウンセリングの理論」・3 講「カウンセリングの技法」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：カウンセリングの理論と技法についてまとめる。カウンセリング体験の気づきをまとめる。
3回	**授業テーマ：学校における不適応行動の理解と対応(1)反社会的問題行動 (不登校・ひきこもり) の理解と支援** 授業内容：不登校・ひきこもりの現状について理解する。 不登校・ひきこもりの背景や原因について理解する。 不登校・ひきこもりの支援について理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 4 講「不登校といじめへの対応」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：不登校の促進要因や心理的特性、解決の支援についてまとめる。
4回	**授業テーマ：学校における不適応行動の理解と対応(2)－反社会的問題行動 (いじめ・非行・ドラッグ使用)の理解と支援** 授業内容：いじめ・非行・ドラッグ使用の現状、社会的背景、個人的要因について理解する。 いじめ・非行・ドラッグ使用への支援に関する理論を理解する。 いじめ・非行・ドラッグ使用への支援の実践について、ロールプレーを通じた気づきを話し合う。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(ドラッグの使用)と教科書第 7 講「非行、学校不適応への対応」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：いじめ・非行・ドラッグ使用の社会的背景と個人要因、その解決支援についてまとめる。
5回	**授業テーマ：学校における不適応症状の理解と対応(1)－ストレスとストレスレジリエンス** 授業内容：児童生徒に頻発する心と身体の病の種類とその特徴、原因について理解する。 不適応症状の意味を理解し、その対応について考える。 ストレスレジリエンスを促進する支援を体験する。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(ストレスレジリエンス)と教科書第 9 講「心の病への対応」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：自分自身のストレスとストレスレジリエンス型の対処行動を考えまとめる。
6回	**授業テーマ：学校における不適応症状の理解と対応(2)－心身症・抑うつ** 授業内容：主な心身症の発生機序、症状、治療、教員としての対応について理解する。 不適応への対応に関する動画教材をグループ毎に制作する。 事前学修 2.0hr：事前配布資料(抑うつ)と教科書第 12 講「心理検査法の理解」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：主な心身症の発生機序、症状、治療、教員としての対応をまとめた動画教材を完成する。

7回	**授業テーマ：発達障がいの理解と対応** 授業内容：発達障害の特性とその対応について理解する。 合理的配慮について理解する。 対応事例を通し、実際の学内での対応について考える。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（発達障がい）と教科書第 8 講「発達障害への対応」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：発達障がいごとの特徴と修学上に遭遇する困難な状況と、その支援法についてレポートを作成する。
8回	**授業テーマ：前半のまとめと確認テスト** 授業内容：確認テストを実施する。 確認テスト後の振り返りを行う。 事前学修 1.5hr：第 1〜7 回の講義内容（コース前半）を復習する。テキストの復習問題や予想問題を実施する。 事後学修 2.5hr：確認テストで理解できていない領域を復習する。小テストに向けた準備や学習について、メタ視点で自己評価する。
9回	**授業テーマ：教育相談におけるアセスメントと危機介入** 授業内容：児童・生徒の心の状況を適切に把握し支援につなげるための情報収集について理解する。 行動観察の方法と面接の方法について理解する。 面接時の、児童生徒の観察ポイントについて理解する。 事前学修 1.5hr：教科書第 11 講「教育相談におけるアセスメント①行動観察法・面接法」を読み、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.5hr：危機介入（自殺企図への対応）のポイントを整理する。
10回	**授業テーマ：相談技法　内在化の質問と外在化の質問** 授業内容：内省を促す内的対話の構造について理解する。 問題を当事者の性格から切り離して考える外在化の哲学を理解する。 外在化の会話を体験する。 体験で得た気づきを Think-Pair-Share で深める。 事前学修 2.0hr：内在化の質問と外在化の質問、カウンセリングに関する事前配布資料を読む。 事後学修 2.0hr：外在化する会話を用いたカウンセリングについて、理解を整理し、気づきをまとめる。
11回	**授業テーマ：相談技法（3）−ネットワーク型支援** 授業内容：ネットワーク型支援について理解する。 ダイアローグとリフレクティングの理論を理解する。 リフレクティングを体験し、体験で得た気づきを Think-Group-Share で深める。 事前学修 1.5hr：事前配布（集団へのカウンセリング、ダイアローグ）を読む。 事後学修 2.5hr：ネットワーク型支援を体験した気づきをまとめる。
12回	**授業テーマ：保護者への援助　−家族の発達課題と良好な親子関係への支援** 授業内容：家族の発達課題と、その家族の中での児童・生徒を理解する。 保護者との関係づくりや保護者への支援について理解する。 保護者対応について、ロールプレイにより体験学習する。 体験で得た気づきを、Reflecting-Talk で深める。 事前学修 2.0hr：教科書第 6 講「虐待、いのち教育への対応」・13 講「家庭の理解と保護者への支援」を読み、ライフサイクル毎の発達課題を理解しておく。 事後学修 2.0hr：保護者との面談での基本姿勢、信頼関係を築くために欠かせない対応の基本姿勢をまとめる。
13回	**授業テーマ：教育相談と校内連携・学外連携** 授業内容：校内の連携の原則を理解する。 専門機関および他機関の種類を理解する。 コンサルテーションについて理解する。 事前学修 2.0hr：教科書第 10 講「専門機関との連携・校内や他機関との連携」を読み、校内連携と専門機関について調べておく。 事後学修 2.0hr：不登校への対応事例に対する連携を考え、レポート作成する。
14回	**授業テーマ：教育相談における多職種連携** 授業内容：学外連携の原則を理解する。 多職種連携のためのダイアローグを体験する。 ダイアローグの体験で得た気づきを、Think-Group-Share で深める。 事前学修 2.0hr：事前配布資料（オープンダイアローグ）に目を通し、疑問点を明らかにする。 事後学修 2.0hr：いじめへの対応事例に対するネットワーク型支援についてレポート作成する。
15回	**授業テーマ：これからの教育相談（まとめ）** 授業内容：コース全体を振り返り、これからの教育相談に何が求められるかを考える。 日本語支援，教育ボランティア活動を通じて経験した身近な問題について対話する。 事前学修 2.0hr：教科書第 15 講「これからの教育相談」を読み、教師のおかれている現状を調べる。 事後学修 2.0hr：このコースでの学びの活用に関する最終課題に取り組む。

教育実習Ⅰ

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　3 単位　｜　開講期：通

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状の取得を目指す者は必修である。事前指導では、教職課程における教育実習の意義や位置づけ、実習にあたっての心得を徹底し、模擬授業を通して再度指導案の作り方を確認し、十分な自覚と準備をもって実習に臨めるようにする。後期事後指導では、各自の実習校での教育実習を振り返り、学びや反省点などについて討議する他、研究発表を通してより専門的な教養を深める。

▌到達目標

一般目標：１　事前指導・事後指導を通して教育活動に参画する意義と意識を形成し、課題を明確にする。
　　２　教育実習校の生徒・学習環境の事態を踏まえ学校経営及び教育活動の特色を理解する。
　　３　大学で学修した知識・理論・技術等を指導場面で実践するための基礎を修得する。
個別目標：１　実習生としての自覚を持ち、十分な準備をして実習に臨むことができる。
　　２　教育実習での体験をもとに、問題意識を持って成果をまとめることができる。
　　３　調査・研究を通して、実習の経験を自省するとともに、教育及び国語教育とは何かを考え、説明することができる。

▌履修条件

１　３年次に「国語科教育法Ⅰ」及び「国語科教育法Ⅱ」を履修・修得していること。
２　勉強会や補習、担当教員が推奨する教育現場の見学やボランティアに積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

授業への参画姿勢及び貢献度、発表、模擬授業を６０%、実習校での実習内容及び教育実習報告書を４０%とし、総合的に評価する。５分の４以上の出席者のみを評価対象とする。欠席・遅刻については減点にするなど、厳格に対応する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （模擬授業　相互評価　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

使用教科書については初回授業にて担当者から指示する。

▌参考書

『高等学校学習指導要領解説 国語編』教育出版
『中学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社
国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 高等学校国語』教育出版
国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 中学校 国語』教育出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：教育実習の授業をはじめとする教育課程履修の流れを確認し、教育実習実施期間、教員採用選考の日程等を含めた年間のスケジュールについて見通しを持つ。 事前学修 2.0hr：実習校と教職課程履修における年間スケジュールの確認をする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：オリエンテーション・模擬授業の準備１** 授業内容：シラバスを用いて、改めて後学期の学びのスケジュールについて確認するとともに、自身が模擬授業で取り上げる教材の選択や模擬授業の準備と実施について見通しを持つ。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認し直し、後学期の学びについて見通しを持つ。 事後学修 2.0hr：模擬授業で取り上げる教材の選択や模擬授業の準備と実施について考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：教師の資質と教育実習の役割** 授業内容：教師の資質と教育実習の役割について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教師の資質と教育実習の役割について事前に調べ、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	17回	**授業テーマ：模擬授業の準備２** 授業内容：協議に基づいて模擬授業を実施する順番を決定する。 教育実習での研究授業の反省を踏まえて、模擬授業の学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：模擬授業で取り上げる教材の選択や模擬授業の準備と実施について考えをまとめる。 事後学修 3.0hr：模擬授業の準備を進める。
3回	**授業テーマ：教育実習ガイダンス** 授業内容：教育実習実施から実施後の対応までの一連の流れについて理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：『２０２５年度教育実習報告書』を読んで、教育実習の一連の流れについて把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	18回	**授業テーマ：模擬授業の準備３** 授業内容：教育実習での研究授業の反省を踏まえて、模擬授業の学習指導案を作成する。 事前学修 4.0hr：模擬授業の準備を進める。 事後学修 4.0hr：模擬授業の準備を進める。
4回	**授業テーマ：教育実習の実際１** 授業内容：観察実習(授業参観)のポイント、教育実習における授業設計について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：『２０２５年度教育実習報告書』を読んで、観察実習(授業参観)や授業設計のポイントを把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	19回	**授業テーマ：模擬授業の準備４** 授業内容：教育実習での研究授業の反省を踏まえて、模擬授業の学習指導案を作成する。 事前学修 4.0hr：模擬授業の準備を進める。 事後学修 4.0hr：模擬授業の準備を進める。
5回	**授業テーマ：教育実習の実際２** 授業内容：学習指導案の作り方を中心に学習指導の実際について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 与えられた教材について学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：『２０２５年度教育実習報告書』を読んで、学習指導案作成についての見通しを立てておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	20回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：教育実習の実施に向けての課題解決** 授業内容：教育実習の実施に向けての疑問点、不安な点について考察し、協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教育実習の実施に向けての疑問点、不安な点について洗い出しておく。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	21回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価２** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

7回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備１** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	22回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価３** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備２** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	23回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価４** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備３** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	24回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価５** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備４** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	25回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価６** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備５・教育実習報告書の作成１** 授業内容：実習校での教員実習を控えている者は担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 実習校での教員実習を終えた者は教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。教育実習報告書作成の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	26回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価７** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備６・教育実習報告書の作成２** 授業内容：実習校での教員実習を控えている者は担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 実習校での教員実習を終えた者は教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。教育実習報告書の作成の準備をする。 事後学修 3.0hr：教育実習報告書を manaba を通じて提出する。授業内で指示された課題に取り組む。	27回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価８** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備７・教育実習報告書の作成３** 授業内容：実習校での教員実習を控えている者は担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 実習校での教員実習を終えた者は教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。教育実習報告書の作成の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	28回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価９** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備８・教育実習報告書の作成４** 授業内容：実習校での教員実習を控えている者は担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 実習校での教員実習を終えた者は教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。教育実習報告書の作成の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	29回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１０** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：前学期の学修の振り返りとまとめ** 授業内容：振り返りシートを用いて、実習校での教員実習について個々に振り返り、その結果を持ち寄って、班別協議を実施する。各班の代表の発表により協議結果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：実習校での教員実習について個々に振り返り、振り返りシート作成の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内で振り返りを通じて共有された課題を踏まえ、模擬授業の実施に向けての準備を進める。	30回	**授業テーマ：１年間の学修の振り返りとまとめ** 授業内容：振り返りシートを用いて、１年間の学修について個々に振り返り、その結果を持ち寄って、班別協議を実施する。各班の代表の発表により協議結果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：１年間の学修について個々に振り返り、振り返りシート作成の準備をする。 事後学修 2.0hr：１年間を振り返り、学修を深め、教員、社会人となる準備を進める。

教育実習Ⅱ

開講学科等：日　｜　4 年次　｜　2 単位　｜　開講期：通

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状の取得を目指す者は必修である。事前指導では、教職課程における教育実習の意義や位置づけ、実習にあたっての心得を徹底し、模擬授業を通して再度指導案の作り方を確認し、十分な自覚と準備をもって実習に臨めるようにする。後期事後指導では、各自の実習校での教育実習を振り返り、学びや反省点などについて討議する他、研究発表を通してより専門的な教養を深める。

▌到達目標

一般目標：１　事前指導・事後指導を通して教育活動に参画する意義と意識を形成し、課題を明確にする。
　　２　教育実習校の生徒・学習環境の事態を踏まえ学校経営及び教育活動の特色を理解する。
　　３　大学で学修した知識・理論・技術等を指導場面で実践するための基礎を修得する。
個別目標：１　実習生としての自覚を持ち、十分な準備をして実習に臨むことができる。
　　２　教育実習での体験をもとに、問題意識を持って成果をまとめることができる。
　　３　調査・研究を通して、実習の経験を自省するとともに、教育及び国語教育とは何かを考え、説明することができる。

▌履修条件

１　３年次に「国語科教育法Ⅰ」及び「国語科教育法Ⅱ」を履修・修得していること。
２　勉強会や補習、担当教員が推奨する教育現場の見学やボランティアに積極的に参加すること。

▌評価基準・方法

授業への参画姿勢及び貢献度、発表、模擬授業を６０%、実習校での実習内容及び教育実習報告書を４０%とし、総合的に評価する。５分の４以上の出席者のみを評価対象とする。欠席・遅刻については減点にするなど、厳格に対応する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （模擬授業　相互評価　グループワーク）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Microsoft office 搭載のモバイル PC を必要に応じて使用する。）

▌教科書

使用教科書については初回授業にて担当者から指示する。

▌参考書

『高等学校学習指導要領解説 国語編』教育出版
『中学校学習指導要領解説 国語編』東洋館出版社
国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 高等学校国語』教育出版
国立教育政策研究所教育課程研究センター『評価規準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料 中学校 国語』教育出版

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：教育実習の授業をはじめとする教育課程履修の流れを確認し、教育実習実施期間、教員採用選考の日程等を含めた年間のスケジュールについて見通しを持つ。 事前学修 2.0hr：実習校と教職課程履修における年間スケジュールの確認をする。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	16回	**授業テーマ：オリエンテーション・模擬授業の準備１** 授業内容：シラバスを用いて、改めて後学期の学びのスケジュールについて確認するとともに、自身が模擬授業で取り上げる教材の選択や模擬授業の準備と実施について見通しを持つ。 事前学修 2.0hr：シラバスを確認し直し、後学期の学びについて見通しを持つ。 事後学修 2.0hr：模擬授業で取り上げる教材の選択や模擬授業の準備と実施について考えをまとめる。
2回	**授業テーマ：教師の資質と教育実習の役割** 授業内容：教師の資質と教育実習の役割について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教師の資質と教育実習の役割について事前に調べ、自分の考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	17回	**授業テーマ：模擬授業の準備２** 授業内容：協議に基づいて模擬授業を実施する順番を決定する。 教育実習での研究授業の反省を踏まえて、模擬授業の学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：模擬授業で取り上げる教材の選択や模擬授業の準備と実施について考えをまとめる。 事後学修 3.0hr：模擬授業の準備を進める。
3回	**授業テーマ：教育実習ガイダンス** 授業内容：教育実習実施から実施後の対応までの一連の流れについて理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：『２０２５年度教育実習報告書』を読んで、教育実習の一連の流れについて把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	18回	**授業テーマ：模擬授業の準備３** 授業内容：教育実習での研究授業の反省を踏まえて、模擬授業の学習指導案を作成する。 事前学修 4.0hr：模擬授業の準備を進める。 事後学修 4.0hr：模擬授業の準備を進める。
4回	**授業テーマ：教育実習の実際１** 授業内容：観察実習(授業参観)のポイント、教育実習における授業設計について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：『２０２５年度教育実習報告書』を読んで、観察実習(授業参観)や授業設計のポイントを把握しておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	19回	**授業テーマ：模擬授業の準備４** 授業内容：教育実習での研究授業の反省を踏まえて、模擬授業の学習指導案を作成する。 事前学修 4.0hr：模擬授業の準備を進める。 事後学修 4.0hr：模擬授業の準備を進める。
5回	**授業テーマ：教育実習の実際２** 授業内容：学習指導案の作り方を中心に学習指導の実際について理解し、考察と協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 与えられた教材について学習指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：『２０２５年度教育実習報告書』を読んで、学習指導案作成についての見通しを立てておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	20回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：教育実習の実施に向けての課題解決** 授業内容：教育実習の実施に向けての疑問点、不安な点について考察し、協議により学修を深め、成果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：教育実習の実施に向けての疑問点、不安な点について洗い出しておく。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	21回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価２** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

7回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備１** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	22回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価３** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備２** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	23回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価４** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備３** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	24回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価５** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備４** 授業内容：担当する授業の指導案作り等、実習校での教育実習の準備をする。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	25回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価６** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備５・教育実習報告書の作成１** 授業内容：実習校での教員実習を控えている者は担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 実習校での教員実習を終えた者は教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。教育実習報告書作成の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	26回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価７** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備６・教育実習報告書の作成２** 授業内容：実習校での教員実習を控えている者は担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 実習校での教員実習を終えた者は教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。教育実習報告書の作成の準備をする。 事後学修 3.0hr：教育実習報告書を manaba を通じて提出する。授業内で指示された課題に取り組む。	27回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価８** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備７・教育実習報告書の作成３** 授業内容：実習校での教員実習を控えている者は担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 実習校での教員実習を終えた者は教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。教育実習報告書の作成の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	28回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価９** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 4.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：実習校での教育実習の準備８・教育実習報告書の作成４** 授業内容：実習校での教員実習を控えている者は担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。 実習校での教員実習を終えた者は教育実習報告書の作成に取り組む。 事前学修 3.0hr：担当する授業の指導案作り等、教育実習の準備をする。教育実習報告書の作成の準備をする。 事後学修 3.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。	29回	**授業テーマ：模擬授業と相互評価１０** 授業内容：代表者による模擬授業を実施し、協議を行い、相互評価を行う。 事前学修 4.0hr：担当者は模擬授業の学習指導案の準備をする。その他の学生は教材を通読する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：前学期の学修の振り返りとまとめ** 授業内容：振り返りシートを用いて、実習校での教員実習について個々に振り返り、その結果を持ち寄って、班別協議を実施する。各班の代表の発表により協議結果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：実習校での教員実習について個々に振り返り、振り返りシート作成の準備をする。 事後学修 2.0hr：授業内で振り返りを通じて共有された課題を踏まえ、模擬授業の実施に向けての準備を進める。	30回	**授業テーマ：１年間の学修の振り返りとまとめ** 授業内容：振り返りシートを用いて、１年間の学修について個々に振り返り、その結果を持ち寄って、班別協議を実施する。各班の代表の発表により協議結果を全体で共有する。 事前学修 2.0hr：１年間の学修について個々に振り返り、振り返りシート作成の準備をする。 事後学修 2.0hr：１年間を振り返り、学修を深め、教員、社会人となる準備を進める。

教育実習 I

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 3 単位 ｜ 開講期：通

米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者のための４年次通年必修科目である。教職課程及び教科に関する専門科目の学修で身に付けた知識や理解を基に、中学校や高等学校における教育実習の事前・事後指導を行う。事前指導では、教育実習のねらいや意義、実習にあたっての心得等を正しく理解するとともに、教材研究や指導案作成、模擬授業、授業評価等を再確認し、教育実習前の準備を徹底する。事後指導では、各自の教育実習を振り返り、学生間で共有することで新たな学びの機会とする他、教育課題研究発表やコミュニケーション活動の演習を通して、専門的な知識・技能を高める。

▌到達目標

一般目標：１　教育実習事前指導・事後指導を通して、教育実習のねらいや意義、心得を理解するとともに、教育実習に臨む態度を身に付ける。
　　２　教育実習校の生徒や学習環境の実態を踏まえ、学校経営及び教育活動の特色を理解する。
　　３　３年次までに習得した知識や技能、指導技術を指導実践に生かすことができるよう、専門性の向上を図る。
個別目標：１　教職に関する科目について十分理解し、実習生としての自覚をもって実習に臨むことができる。
　　２　学習指導要領（外国語・英語）に基づく学習指導案を作成し、原則として授業を英語で行うことができる。
　　３　授業改善についての相互評価を行い、教科指導方法や指導技術を改善することができる。
　　４　調査研究及び教育実習での実践を通して、学校経営や教育活動の現状・課題・成果について考え、表現することができる。

▌履修条件

・３年次に「英語科教育法 I」及び「英語科教育法 II」を履修・修得していること。

▌評価基準・方法

・教育実習の実績及び振り返り 40 %、授業での取組課題及びワークシートの提出 30 %、 研究レポート・発表 30 %で総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題や提出物等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック）

▌教科書

初回授業で指示する。

▌参考書

・『英語科教育実習ハンドブック　第４版』加藤茂夫、杉山敏、荒木美恵子著（大修館書店）
・『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　外国語編』文部科学省
・『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　外国語編　英語編』文部科学省
・『評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』（中学校・高等学校　外国語）国立教育政策研究所

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、教育実習の領域** 授業内容：授業概要、スケジュール、評価等について確認する。教育実習で習得すべき領域と実習前に確認すべき事項（実習の目的、実習前の準備、学校現場の現状、教育実習先で気を付けるべきこと、授業観察等）についてまとめる。 事前学修 2.0hr：参考資料を通読する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	16回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (1)** 授業内容：教育実習で学んだ語彙指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ語彙指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
2回	**授業テーマ：教育実習の心構えと留意点のまとめ** 授業内容：第１回の授業でまとめた実習前に確認すべき事項についてグループ発表及び質疑応答を行うとともに、実習校の情報を共有し、予め想定される課題や留意点について話し合うことにより具体的な対応策を考える。 事前学修 2.0hr：実習校の情報を収集し、学校としての課題や成果、取組、実習前に確認すべきことなどについてまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	17回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (2)** 授業内容：教育実習で学んだ文法指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ文法指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
3回	**授業テーマ：教科指導力の向上 (1) コミュニケーション活動、classroom English の活用** 授業内容：授業で活用できるコミュニケーション活動の種類・内容や、classroom English を使った教科指導の流れを確認した上で、コミュニケーション活動を取り上げ、マイクロ・ティーチングの実践演習に向けた準備を行う。 事前学修 2.0hr：教科教育法で学んだ内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	18回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (3)** 授業内容：教育実習で学んだ「話すこと」の指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ「話すこと」の指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
4回	**授業テーマ：教科指導力の向上 (2) マイクロ・ティーチング実践演習** 授業内容：コミュニケーション活動のねらい、指導の流れと構成、時間配分、生徒の活動状況、評価の観点とタイミング等について、マイクロ・ティーチングの実践と観察を通して考察を深め、改善策について検討しまとめる。 事前学修 2.0hr：マイクロ・ティーチングを準備・練習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	19回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (4)** 授業内容：教育実習で学んだ「書くこと」の指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ「書くこと」の指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
5回	**授業テーマ：授業計画の立て方と学習指導案の作成 (1)** 授業内容：授業計画作成の流れや時間配分、４技能統合的な学習活動、異文化理解、文法指導や語彙学習とコミュニケーション活動との統合、学習者の英語力や既習事項、興味関心等に応じた活動の設定等に配慮し指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：実習校で使用する教科書から題材を選び、単元計画を立てる。 事後学修 2.0hr：単元計画に基づき学習指導案を検討する。	20回	**授業テーマ：教育課題研究 (1)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：教育課題についての知識を整理する。 事後学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。
6回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (2)、模擬授業 (1)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	21回	**授業テーマ：教育課題研究 (2)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：第 20 回の事後学修と併せて、リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを提出する。

7回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (3)、模擬授業 (2)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	22回	**授業テーマ：教育課題研究 (3)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを提出する。
8回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (4)、模擬授業 (3)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	23回	**授業テーマ：教育課題研究 (4)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを書いて提出する。
9回	**授業テーマ：単元指導計画、学習指導案の検討及び指導実践練習 (1)** 授業内容：実習校の使用教材の研究を進めるとともに、予定されている単元の指導計画及び学習指導案を精査し、指導実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：実習で使用予定の教材研究を行う。 事後学修 2.0hr：学習指導案を改善する。	24回	**授業テーマ：教材作成演習 (1)（準備）** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を作成する。
10回	**授業テーマ：単元指導計画、学習指導案の検討及び指導実践練習 (2)** 授業内容：実習校の使用教材研究を進めるとともに、予定されている単元の指導計画及び学習指導案を精査し、指導実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：実習で使用予定の教材研究を行う。 事後学修 2.0hr：学習指導案を改善する。	25回	**授業テーマ：教材作成演習 (2) 中学校レベル** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成し、実演した結果を分析・評価する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を提出する。
11回	**授業テーマ：前学期教育実習の振り返りと報告 (1)** 授業内容：教育実習後のまとめと振り返りを行い、報告する。教科指導においては言語教育や言語習得に係る知識や理論を踏まえて自身の実践を批判的に考え、それぞれの教育観、言語観、言語学習観を再考する機会とする。 事前学修 2.0hr：教育実習の成果と課題について自己評価を行い報告する内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を書いて提出する。	26回	**授業テーマ：教材作成演習 (3) 高等学校レベル** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成し、実演した結果を分析・評価する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を提出する。
12回	**授業テーマ：前学期教育実習の振り返りと報告 (2)** 授業内容：教育実習後のまとめと振り返りを行い、報告する。教科指導においては言語教育や言語習得に係る知識や理論を踏まえて自身の実践を批判的に考え、それぞれの教育観、言語観、言語学習観を再考する機会とする。 事前学修 2.0hr：教育実習の成果と課題について自己評価を行い報告する内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を書いて提出する。	27回	**授業テーマ：コミュニケーション能力・対人関係力の向上 (1)** 授業内容：前学期に引き続き、同僚の教員をはじめ児童・生徒や保護者、地域住民と信頼関係を築くために必要なコミュニケーションスキルの向上をねらいとした演習に取り組み、実施後の振り返りを通して自身のスキルアップにつなげる。 事前学修 2.0hr：示されたコミュニケーション能力診断に取り組む。 事後学修 2.0hr：演習後の振り返りを書いて提出する。
13回	**授業テーマ：教職課程学修内容のまとめ** 授業内容：これまで教職課程科目で学修した内容のまとめとして、教育法規や教育課題、学習指導要領、教育施策等に関するキーワードの定義・内容を説明できるように確認しながら、正しい知識の定着を図る。 事前学修 2.0hr：教職課程科目の学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	28回	**授業テーマ：コミュニケーション能力・対人関係力の向上 (2)** 授業内容：同僚の教員をはじめ児童・生徒や保護者、地域住民と信頼関係を築くために必要なコミュニケーションスキルの向上をねらいとした演習に取り組み、実施後の振り返りを通して自身のスキルアップにつなげる。 事前学修 2.0hr：前回の演習を振り返る。 事後学修 2.0hr：演習後の振り返りを書いて提出する。
14回	**授業テーマ：教育実習のまとめ (1)：教員の在り方に係る資質・能力の伸長** 授業内容：教育実習の省察を通して学んだ教員として求められる資質・能力について、グループワークを通して分析・考察を行い発表するとともに、コミュニケーション能力・対人関係力を向上させる演習に取り組む。 事前学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を確認する。 事後学修 2.0hr：グループワークの成果をまとめ、演習の振り返りとともに提出する。	29回	**授業テーマ：最終プレゼンテーション (1)** 授業内容：年間を通して学修した教員に求められる英語力・教材作成力、教科指導力、探究力・プレゼンテーション力、コミュニケーション能力の総まとめとして、スピーチ原稿(及びスライド)を作成した上でプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：スピーチ原稿を作成・練習する。 事後学修 2.0hr：スピーチ原稿及びフィードバックシートを提出する。
15回	**授業テーマ：教育実習のまとめ (2)：学級経営に係る生活指導等** 授業内容：教育実習の省察を通して学んだ学級経営や生活指導、生徒理解と教育相談、保護者との連携について、グループワークを通して分析・考察を行い発表するとともに、教育相談や保護者対応のロールプレイに取り組む。 事前学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を確認する。 事後学修 2.0hr：グループワークの成果をまとめ、演習の振り返りとともに提出する。	30回	**授業テーマ：最終プレゼンテーション (2)** 授業内容：年間を通して学修した教員に求められる英語力・教材作成力、教科指導力、探究力・プレゼンテーション力、コミュニケーション能力の総まとめとして、スピーチ原稿とスライドを作成した上でプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：スピーチ原稿を作成・練習する。 事後学修 2.0hr：スピーチ原稿及びフィードバックシートを提出する。

教育実習Ⅱ

開講学科等：英 ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：通

米村　珠子（よねむら　たまこ）

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者のための４年次通年必修科目である。教職課程及び教科に関する専門科目の学修で身に付けた知識や理解を基に、中学校や高等学校における教育実習の事前・事後指導を行う。事前指導では、教育実習のねらいや意義、実習にあたっての心得等を正しく理解するとともに、教材研究や指導案作成、模擬授業、授業評価等を再確認し、教育実習前の準備を徹底する。事後指導では、各自の教育実習を振り返り、学生間で共有することで新たな学びの機会とする他、教育課題研究発表やコミュニケーション活動の演習を通して、専門的な知識・技能を高める。

▌到達目標

一般目標：１　教育実習事前指導・事後指導を通して、教育実習のねらいや意義、心得を理解するとともに、教育実習に臨む態度を身に付ける。
　　２　教育実習校の生徒や学習環境の実態を踏まえ、学校経営及び教育活動の特色を理解する。
　　３　３年次までに習得した知識や技能、指導技術を指導実践に生かすことができるよう、専門性の向上を図る。
個別目標：１　教職に関する科目について十分理解し、実習生としての自覚をもって実習に臨むことができる。
　　２　学習指導要領（外国語・英語）に基づく学習指導案を作成し、原則として授業を英語で行うことができる。
　　３　授業改善についての相互評価を行い、教科指導方法や指導技術を改善することができる。
　　４　調査研究及び教育実習での実践を通して、学校経営や教育活動の現状・課題・成果について考え、表現することができる。

▌履修条件

・３年次に「英語科教育法 I」及び「英語科教育法 II」を履修・修得していること。

▌評価基準・方法

・教育実習の実績及び振り返り 40 %、授業での取組課題及びワークシートの提出 30 %、 研究レポート・発表 30 %で総合的に評価する。

▌フィードバック方法

・課題や提出物等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、ディスカッション、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック）

▌教科書

授業内で指示する。

▌参考書

・『英語科教育実習ハンドブック　第４版』加藤茂夫、杉山敏、荒木美恵子著（大修館書店）
・『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　外国語編』文部科学省
・『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説　外国語編　英語編』文部科学省
・『評価基準の作成、評価方法等の工夫改善のための参考資料』（中学校・高等学校　外国語）国立教育政策研究所

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション、教育実習の領域** 授業内容：授業概要、スケジュール、評価等について確認する。教育実習で習得すべき領域と実習前に確認すべき事項（実習の目的、実習前の準備、学校現場の現状、教育実習先で気を付けるべきこと、授業観察等）についてまとめる。 事前学修 2.0hr：参考資料を通読する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	16回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (1)** 授業内容：教育実習で学んだ語彙指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ語彙指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
2回	**授業テーマ：教育実習の心構えと留意点のまとめ** 授業内容：第１回の授業でまとめた実習前に確認すべき事項についてグループ発表及び質疑応答を行うとともに、実習校の情報を共有し、予め想定される課題や留意点について話し合うことにより具体的な対応策を考える。 事前学修 2.0hr：実習校の情報を収集し、学校としての課題や成果、取組、実習前に確認すべきことなどについてまとめる。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	17回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (2)** 授業内容：教育実習で学んだ文法指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ文法指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
3回	**授業テーマ：教科指導力の向上 (1) コミュニケーション活動、classroom English の活用** 授業内容：授業で活用できるコミュニケーション活動の種類・内容や、classroom English を使った教科指導の流れを確認した上で、コミュニケーション活動を取り上げ、マイクロ・ティーチングの実践演習に向けた準備を行う。 事前学修 2.0hr：教科教育法で学んだ内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	18回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (3)** 授業内容：教育実習で学んだ「話すこと」の指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ「話すこと」の指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
4回	**授業テーマ：教科指導力の向上 (2) マイクロ・ティーチング実践演習** 授業内容：コミュニケーション活動のねらい、指導の流れと構成、時間配分、生徒の活動状況、評価の観点とタイミング等について、マイクロ・ティーチングの実践と観察を通して考察を深め、改善策について検討しまとめる。 事前学修 2.0hr：マイクロ・ティーチングを準備・練習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	19回	**授業テーマ：実践的な指導力：マイクロ・ティーチングの実践 (4)** 授業内容：教育実習で学んだ「書くこと」の指導について、生徒の学習活動の teaching procedure を再構成してグループワークで共有し、指導方法や生徒の学習成果等について実演を通して学ぶ。その結果を分析・評価して改善の方策を検討する。 事前学修 2.0hr：教育実習中に学んだ「書くこと」の指導についてまとめる。 事後学修 2.0hr：実演した結果を自己分析・自己評価して提出する。
5回	**授業テーマ：授業計画の立て方と学習指導案の作成 (1)** 授業内容：授業計画作成の流れや時間配分、４技能統合的な学習活動、異文化理解、文法指導や語彙学習とコミュニケーション活動との統合、学習者の英語力や既習事項、興味関心等に応じた活動の設定等に配慮し指導案を作成する。 事前学修 2.0hr：実習校で使用する教科書から題材を選び、単元計画を立てる。 事後学修 2.0hr：単元計画に基づき学習指導案を検討する。	20回	**授業テーマ：教育課題研究 (1)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：教育課題についての知識を整理する。 事後学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。
6回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (2)、模擬授業 (1)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	21回	**授業テーマ：教育課題研究 (2)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：第 20 回の事後学修と併せて、リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを提出する。

7回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (3)、模擬授業 (2)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	22回	**授業テーマ：教育課題研究 (3)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを提出する。
8回	**授業テーマ：学習指導案の作成 (4)、模擬授業 (3)** 授業内容：作成した学習指導案に従い、模擬授業を実践する。授業者以外の観察・評価の観点として①指導の流れ、②教具・ICT の活用、③学習活動、④学習評価等を示し、個別具体的にフィードバックし改善策を検討する。 事前学修 2.0hr：学習指導案に基づき模擬授業の練習を行う。 事後学修 2.0hr：模擬授業後の振り返りと改善事項をまとめて提出する。	23回	**授業テーマ：教育課題研究 (4)** 授業内容：８つの教育課題の中からグループで選択した１つの課題についてリサーチし、①現状と課題、②学校での取組、③今後の課題と改善策について、スライド等の vidual aids を作成した上で、リサーチ結果を発表する。 事前学修 2.0hr：リサーチによる情報収集とまとめを行う。 事後学修 2.0hr：発表者は発表後の振り返りを、聞き手はフィードバックを書いて提出する。
9回	**授業テーマ：単元指導計画、学習指導案の検討及び指導実践練習 (1)** 授業内容：実習校の使用教材の研究を進めるとともに、予定されている単元の指導計画及び学習指導案を精査し、指導実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：実習で使用予定の教材研究を行う。 事後学修 2.0hr：学習指導案を改善する。	24回	**授業テーマ：教材作成演習 (1)（準備）** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を作成する。
10回	**授業テーマ：単元指導計画、学習指導案の検討及び指導実践練習 (2)** 授業内容：実習校の使用教材研究を進めるとともに、予定されている単元の指導計画及び学習指導案を精査し、指導実践練習を行う。 事前学修 2.0hr：実習で使用予定の教材研究を行う。 事後学修 2.0hr：学習指導案を改善する。	25回	**授業テーマ：教材作成演習 (2) 中学校レベル** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成し、実演した結果を分析・評価する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を提出する。
11回	**授業テーマ：前学期教育実習の振り返りと報告 (1)** 授業内容：教育実習後のまとめと振り返りを行い、報告する。教科指導においては言語教育や言語習得に係る知識や理論を踏まえて自身の実践を批判的に考え、それぞれの教育観、言語観、言語学習観を再考する機会とする。 事前学修 2.0hr：教育実習の成果と課題について自己評価を行い報告する内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を書いて提出する。	26回	**授業テーマ：教材作成演習 (3) 高等学校レベル** 授業内容：動画を教材の素材として取り上げ、個人ワークで学習指導案(学習活動計画)を検討した後、グループディスカッションにより、グループの学習指導案(学習活動計画)を作成し、実演した結果を分析・評価する。 事前学修 2.0hr：素材となる動画を視聴する。 事後学修 2.0hr：学習指導案を提出する。
12回	**授業テーマ：前学期教育実習の振り返りと報告 (2)** 授業内容：教育実習後のまとめと振り返りを行い、報告する。教科指導においては言語教育や言語習得に係る知識や理論を踏まえて自身の実践を批判的に考え、それぞれの教育観、言語観、言語学習観を再考する機会とする。 事前学修 2.0hr：教育実習の成果と課題について自己評価を行い報告する内容をまとめる。 事後学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を書いて提出する。	27回	**授業テーマ：コミュニケーション能力・対人関係力の向上 (1)** 授業内容：前学期に引き続き、同僚の教員をはじめ児童・生徒や保護者、地域住民と信頼関係を築くために必要なコミュニケーションスキルの向上をねらいとした演習に取り組み、実施後の振り返りを通して自身のスキルアップにつなげる。 事前学修 2.0hr：示されたコミュニケーション能力診断に取り組む。 事後学修 2.0hr：演習後の振り返りを書いて提出する。
13回	**授業テーマ：教職課程学修内容のまとめ** 授業内容：これまで教職課程科目で学修した内容のまとめとして、教育法規や教育課題、学習指導要領、教育施策等に関するキーワードの定義・内容を説明できるように確認しながら、正しい知識の定着を図る。 事前学修 2.0hr：教職課程科目の学修内容を復習する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組み提出する。	28回	**授業テーマ：コミュニケーション能力・対人関係力の向上 (2)** 授業内容：同僚の教員をはじめ児童・生徒や保護者、地域住民と信頼関係を築くために必要なコミュニケーションスキルの向上をねらいとした演習に取り組み、実施後の振り返りを通して自身のスキルアップにつなげる。 事前学修 2.0hr：前回の演習を振り返る。 事後学修 2.0hr：演習後の振り返りを書いて提出する。
14回	**授業テーマ：教育実習のまとめ (1)：教員の在り方に係る資質・能力の伸長** 授業内容：教育実習の省察を通して学んだ教員として求められる資質・能力について、グループワークを通して分析・考察を行い発表するとともに、コミュニケーション能力・対人関係力を向上させる演習に取り組む。 事前学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を確認する。 事後学修 2.0hr：グループワークの成果をまとめ、演習の振り返りとともに提出する。	29回	**授業テーマ：最終プレゼンテーション (1)** 授業内容：年間を通して学修した教員に求められる英語力・教材作成力、教科指導力、探究力・プレゼンテーション力、コミュニケーション能力の総まとめとして、スピーチ原稿(及びスライド)を作成した上でプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：スピーチ原稿を作成・練習する。 事後学修 2.0hr：スピーチ原稿及びフィードバックシートを提出する。
15回	**授業テーマ：教育実習のまとめ (2)：学級経営に係る生活指導等** 授業内容：教育実習の省察を通して学んだ学級経営や生活指導、生徒理解と教育相談、保護者との連携について、グループワークを通して分析・考察を行い発表するとともに、教育相談や保護者対応のロールプレイに取り組む。 事前学修 2.0hr：教育実習の振り返りと記録を確認する。 事後学修 2.0hr：グループワークの成果をまとめ、演習の振り返りとともに提出する。	30回	**授業テーマ：最終プレゼンテーション (2)** 授業内容：年間を通して学修した教員に求められる英語力・教材作成力、教科指導力、探究力・プレゼンテーション力、コミュニケーション能力の総まとめとして、スピーチ原稿とスライドを作成した上でプレゼンテーションを行う。 事前学修 2.0hr：スピーチ原稿を作成・練習する。 事後学修 2.0hr：スピーチ原稿及びフィードバックシートを提出する。

教職実践演習(中・高)

開講学科等：日英中 ｜ 4 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

西貝　裕武（にしがい　ひろむ）**・藤井　大輔**（ふじい　だいすけ）

▌授業の概要

・教職課程科目及び教育実習等で得られた生徒指導・学習指導に係るノウハウを現場で活用できる実践力まで高める。
・教育行政機関の職員、小学校・中学校・高等学校等の校長や教員を招聘して教育現場の視点を踏まえた課題を取り扱うことで、教師としての総合的な資質能力を養う。
・主な授業形態は、能動的な学修を基本にし、講義や演習、プレゼンテーション、グループ討論、事例研究、模擬授業、ロールプレイ等を組み合わせて実施する。

▌到達目標

一般目標：・教育に対する使命感や情熱を持ち、常に生徒から学び、共に成長しようとする姿勢を習得する。
　　・教師としての実践的指導力や総合力を高めることができる。
個別目標：・教師としての使命感をもち、生徒指導だけではなく、教育の歴史的推移、国内外の教育改革の動向を理解することができる。
　　・教育の在り方に関することや学校教育についての基礎的な知識と人間的な幅広い視野をもつことができる。
　　・授業では相手の話を聞きながら、自分の考えを適宜修正し自らの考えを主張できるようになる。

▌履修条件

教職を目指す学生

▌評価基準・方法

授業への積極的な参加姿勢と授業内での発表内容、レポート、最終課題等を総合的に評価する。
５分の４以上の出席を評価の対象とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、レポートの返却後の個別指導 (対面)や学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。マイクロ・ティーチング、ロールプレイの実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可)を利用した作業あり。ICT を活用したマイクロ・ティーチングの実施。）

▌教科書

「中学校学習指導要領(平成 29 年告示)」「高等学校学習指導要領(平成 30 年告示)」
「改訂　生徒指導提要(適宜インターネットからダウンロードする)」

▌参考書

必要に応じ、適宜参考書等を紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：授業の目的、内容、進め方等のガイダンス及びこれまでの学修に関する振り返り** 授業内容：授業の概要を知る(目標、学修計画、授業の進め方及び確認事項)。 事前学修 3.0hr：大学の授業や教育実習を通して見えてきた自分の課題をまとめる。 事後学修 2.0hr：各自が本学の教職課程で学んだ中で得たことをまとめて提出する。
2回	**授業テーマ：学校教育目標と学級開き** 授業内容：学校教育目標を踏まえた学級開き(教師の語り)について、講義、演習、ディスカッションを通して理解する。 事前学修 2.0hr：「教育実習記録」を見直し、学級経営の意義について整理する。 事後学修 2.0hr：グループ討論での共通の課題や改善方向を整理する。
3回	**授業テーマ：生徒指導：学級経営** 授業内容：生徒の学校生活において学級集団が及ぼす影響について、講義・演習・ディスカッションを通して考察する。 事前学修 2.0hr：教育実習時の体験から、学級集団づくりのポイントを整理する。 事後学修 2.0hr：指導略案の修正及び模擬授業のための練習をする。
4回	**授業テーマ：学習指導：学力向上** 授業内容：個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実を重視した授業について、講義・演習、ディスカッションを通して考察する。 事前学修 3.0hr：教育実習時の授業を振り返り、課題を整理する。 事後学修 2.0hr：模擬授業に対する振り返りをワークシートに記入する。
5回	**授業テーマ：生徒理解①：生徒指導と関係機関との連携－** 授業内容：生徒指導における SC・SSW との連携の重要性について、具体的な事例に基づき再確認する。 事前学修 2.0hr：事前配布の事例を読んで、対応に関する自分の考えをまとめる。 事後学修 2.0hr：本事例を考察し、特に必要とされる SC・SSW との連携の在り方をまとめる。
6回	**授業テーマ：生徒理解②：生徒の問題行動に関する事例研究－いじめ・不登校・虐待を中心に－** 授業内容：いじめ、不登校、虐待に関する事例研究を通して、生徒理解及び生徒指導の具体的な在り方について再確認する。 事前学修 2.0hr：事前配布の事例を読んで、自分の考えをまとめ、対応を考える。 事後学修 2.0hr：グループでの対話や講義内容をふまえ、問題行動の背景を考慮した対応をまとめる。
7回	**授業テーマ：生徒理解③：教師と生徒のコミュニケーション－教師の対応力の向上－** 授業内容：教師と生徒のコミュニケーションに関する事例研究を通して、教師の対応力について再確認する。 事前学修 2.0hr：生徒とのより良い人間関係を築くための事前資料を読んで、事例対応を考えてくる。 事後学修 2.0hr：グループでの対話や講義内容をふまえ、教師のコミュニケーション力を豊かにする方策をまとめる。
8回	**授業テーマ：学習指導要領①：学習指導要領の改訂に係る論点整理** 授業内容：中央教育審議会の動向を踏まえながら、教科等の指導に係る方向性を理解する。 事前学修 2.0hr：中教審の動向を調べてくる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことをレポートにまとめる。
9回	**授業テーマ：学習指導要領②：学習指導要領の改訂に係る論点整理** 授業内容：中央教育審議会の動向を踏まえながら、教科等の指導に係る方向性を理解する。 事前学修 3.0hr：中教審の動向を調べてくる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことをレポートにまとめる。
10回	**授業テーマ：教育行政：教育委員会の役割と施策** 授業内容：教育委員会事務局の管理職から教育委員会の役割と教育施策等についての講義を聞く。 事前学修 2.0hr：指定された自治体の教育施策について内容を調べてくる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことをレポートにまとめる。

11回	**授業テーマ：学校経営①：中学校教育の実際(現職教員等による講義・演習)** 授業内容：中学校長(または教員)による中学校における教育活動についての講義を聞く。また、中学校における課題とその解決方法等について演習を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：中学校における教育活動の概要と教育課題について調べる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことをレポートにまとめる。
12回	**授業テーマ：学校経営②：高等学校教育の実際(現職教員等による講義・演習)** 授業内容：高等学校長(または教員)による高等学校における教育活動についての講義を聞く。また、高等学校における課題とその解決方法等について演習を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：高等学校における教育活動の概要と教育課題について調べる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことをレポートにまとめる。
13回	**授業テーマ：学校経営③：特別支援教育の実際(現職教員等による講義・演習)** 授業内容：特別支援学校長(または教員)による特別支援学校における教育活動についての講義を聞く。また、特別支援学校における課題とその解決方法等について演習を通して学ぶ。 事前学修 2.0hr：特別支援学校における教育活動の概要と教育課題について調べる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことをレポートにまとめる。
14回	**授業テーマ：学校経営④：学校の危機管理―学校事故・自然災害への適正な対応―(現職教員等による講義・演習)** 授業内容：学校事故・自然災害への実例を知るとともに、適正な対応について考える。 事前学修 2.0hr：学校における危機管理の必要な幾つかの事例を元に対応を考えてくる。 事後学修 2.0hr：講義と演習で学んだことをレポートにまとめる。
15回	**授業テーマ：まとめ　2年次から学んできた教職課程全科目を通した総括―最終レポート―** 授業内容：教職課程で学んだこと、今後に生かしていくことについて、各自が発表しクラス全体で協議する。 事前学修 2.0hr：教職課程全科目を通して学んだことを振り返りレポートとしてまとめる。 事後学修 2.0hr：これまでの授業を振り返り、自己の課題の解決と次社会での活用に取り組む。

教職インターンシップ

開講学科等：日英中 ｜ 3 年次 ｜ 4 単位 ｜ 開講期：通

浅田　勉（あさだ　つとむ）

▌授業の概要

教職課程に関する基礎的な知識・技能・態度を学び、教員としての自覚を形成する前の段階で、地域小中学校での現場体験を通じて学修し、教職に就く意識を形成する。現場の体験を通して、校内の教職員や多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームとして組織的に諸課題に対応することの重要性を学修する。

▌到達目標

一般目標：1　学習指導要領の理解を通して教育に求められる今日的課題を理解する。
　　2　他の職業との比較を通して、教職の職業的特徴を理解する。
　　3　生徒児童への指導及び指導以外の校務を含めた教員の職務の全体像を理解する。
個別目標：1　体験を通して自己の資質を再確認し、学校の実情、教師の使命を知り教職への動機づけとする。
　　2　実際の現場の厳しさを体感することで教育者としての自覚を促し、資質を高める。

▌履修条件

1　将来、小学校・中学校・高等学校の教員を目指し、教職課程を履修している学生。
2　地域小中学校での現場体験について能動的に参加する意欲をもち、将来、教職に就く意識の形成を図ろうとする意欲のある学生。

▌評価基準・方法

千葉県「ちば！ 教職たまごプロジェクト」に年間を通して２０日以上参加する。インターンシップ中に提出する課題3本３０%、インターンシップ終了後に提出するレポート７０%の割合で総合評価する。

▌フィードバック方法

学修支援システム manaba を通して行う

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （グループワーク、プレゼンテーション）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （Word、Excel、PowerPoint を搭載した PC を指示により持参）

▌教科書

授業担当教員が作成したレジュメをテキストとして使用する。

▌参考書

適宜紹介する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：教職インターンシップの教育活動における目的と意義** 授業内容：教職インターンシップを実施する上での教育活動における目的と意義について学ぶ。 事前学修 2.0hr：インターンシップに臨む意義と目的等をまとめる。 事後学修 2.0hr：インターンシップの目的と意義を理解する。	16回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(10)** 授業内容：前期の内容を受け、後期に向けた自己の課題を明確にする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：インターンシップ後半の改善点を各自整理しまとめる。
2回	**授業テーマ：職業としての教員－教員の使命・職務内容の理解－** 授業内容：教員の使命・職務内容の理解を通して職業としての教員について学ぶ。 事前学修 2.0hr：教員に求められる資質を自身で検討する。 事後学修 2.0hr：教員に必要な義務・倫理観・常識をまとめる。	17回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(11)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
3回	**授業テーマ：小学校・中学校・高等学校学習指導要領と教育活動** 授業内容：小学校・中学校・高等学校学習指導要領と教育活動について理解を深める。 事前学修 2.0hr：学校種を調べ、想定される教育課題をまとめる。 事後学修 2.0hr：学校種による教育活動の特質を整理する。	18回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(12)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：今時の研修内容を振り返り、次の研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
4回	**授業テーマ：事前指導―研修生としての自覚と実際の活動―** 授業内容：事前指導として、研修生としての自覚と実際の活動について学び、相互理解する。 事前学修 2.0hr：研修校の概要と事前ガイダンス等の確認 事後学修 2.0hr：研修生としての心構えと課題を整理する。	19回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(13)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
5回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(1)** 授業内容：教育現場でのインターンシップ体験を行う。各回ごとに活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出する。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	20回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(14)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
6回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(2)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	21回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(15)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
7回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(3)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	22回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(16)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
8回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(4)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	23回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(17)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。

9回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(5)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	24回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(18)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
10回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(6)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	25回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(19)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
11回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(7)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	26回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(20)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。
12回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(8)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	27回	**授業テーマ：インターンシップ体験のまとめ１(体験終了後の事後指導)** 授業内容：体験を通し学んだことや課題と感じたことについて、まとめ報告会の準備を行う。 事前学修 2.0hr：前期後期を通じて研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：指導内容に基づき礼状を清書し送付する。
13回	**授業テーマ：教育現場でのインターンシップ体験(9)** 授業内容：活動内容を PC により端的にまとめたレポートを提出することで、活動内容を振り返り、次回への参考とする。 事前学修 2.0hr：研修校での職務の確認と自らの課題を検討してまとめる。 事後学修 2.0hr：研修を振り返り次研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	28回	**授業テーマ：インターンシップ体験のまとめ２(課題の整理と省察１)** 授業内容：まとめ報告会のプレゼンテーションを作成する。 事前学修 2.0hr：体験で得た成果や課題を整理する。 事後学修 2.0hr：成果や課題を教職にどう活かすのか検討する。
14回	**授業テーマ：中間報告会準備－インターンシップ時の課題と改善点－** 授業内容：活動内容をまとめたレポートに基づき、中間報告会に向けた準備を行う。 事前学修 2.0hr：中間報告会の準備としてまとめ発表できるようにする。 事後学修 2.0hr：今時の研修内容を振り返り、次の研修への課題・改善方法などを記録にまとめる。	29回	**授業テーマ：インターンシップ体験のまとめ３(課題の整理と省察２)** 授業内容：プレゼンテーションを用いて、インターンシップ体験の成果や課題について発表する。 事前学修 2.0hr：グループ討議用のレジュメを作成する。 事後学修 2.0hr：討議を踏まえた新たな課題や視点を整理する。
15回	**授業テーマ：前期中間報告会** 授業内容：前期の活動内容に関する中間報告会を行い、相互評価する。 事前学修 2.0hr：インターンシップ前半の課題を明らかにする。 事後学修 2.0hr：後期に向けての課題と改善点をまとめる。	30回	**授業テーマ：インターンシップ報告会** 授業内容：インターンシップを通して学んだことについてグループワークを通して、相互評価を行い、今後の教職に関わる姿勢や方向性について考察する。 事前学修 2.0hr：終了報告会での発表用レジュメを作成し、発表の準備を進める。 事後学修 2.0hr：研修の成果を教職に活かす方策をまとめる。

Four Skills for Teaching a

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：前

米村　珠子（よねむら　たまこ）・タイソン　ロード・パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者のための３・４年次前学期の必修科目で、中学校・高等学校における４技能統合型の授業を英語で行うために必要な英語運用能力の向上を目指すとともに、生徒のコミュニケーション能力や論理的・批判的・分析的思考力、課題解決力等を伸ばすための指導技術を、ディベート・ディスカッションにより学ぶ。授業は英語で行い、ペアやグループでのコミュニケーション活動を中心とする。

▌到達目標

一般目標：１．中学校・高等学校で育成すべき資質・能力を踏まえた５領域の技能を統合した言語活動の指導力を身に付ける。
２．生徒がコミュニケーション活動を通じて主体的・協働的な学習者となるための有効な援助を与えることができる。
３．論理的・批判的・分析的な思考力に基づく英語コミュニケーション活動を段階的に指導することができる。

個別目標：(1) インプットされた内容や表現を用いて、発表ややり取り、書くことにより自分の考えや意見をアウトプットすることができる。
(2) 自ら考え、他者と考えを共有する活動を積極的に行い、他の受講生や教師との良好なラポールを築くことができる。
(3) 他者と協働するコミュニケーション活動を通して、グローバルな視点で新たな価値を創造し行動することができる。

▌履修条件

1. 将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者。
2. 後学期に「Four Skills for Teaching b」を履修すること。
3. 原則として、「教職基礎セミナー（英語科）」Ⅰ～Ⅳの単位を修得していること。但し、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー（英語科）Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目と併修することを認める。

▌評価基準・方法

課題への取組（2 tasks）45 %、授業内活動の振り返り記録（Self-reflection Journal)15 %、Debate Discussion30%、授業への取組 10%

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、ディベート、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック、アウトプットの共有）

▌教科書

REFLECT　3 Listening &Speaking (Student's book with online practice and student's Ebook): Laurie Blass, Mari Vargo: National Geographic Learning

▌参考書

必要に応じて授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：To make sure of the syllabus and course schedule, to know the students are expected to take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere and set the tone for the course 事前学修 2.0hr：Unit 1 の内容を読む。講座スケジュールを確認する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：Unit 1(1) Creating Connections: Watch &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to consider where people meet in a big city, to evaluate activities that bring people together 事前学修 2.0hr：Unit 1 Watchn &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
3回	**授業テーマ：Unit 1(2) Creating Connections: Listen &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to brainstorm ways to meet your neighbors, to present a plan to help people connect 事前学修 2.0hr：Unit 1 Listen &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
4回	**授業テーマ：Integrated Task 1 Part A** 授業内容：To work in pairs or groups to prepare for an integrated task, to collaborate and cooperate to complete the worksheet of the task 事前学修 2.0hr：授業で指示された Integrated Task 1 の準備を行う。 事後学修 2.0hr：次回発表に向けて Integrated Task 1 を完成させる。
5回	**授業テーマ：Integrated Task 1 Part B** 授業内容：To complete your integrated task for assessment, to perform the task, demonstrating your ability to use the language such as vocabulary and key expression 事前学修 2.0hr：発表準備・練習をする。 事後学修 2.0hr：Task の振り返りを書いて提出する。
6回	**授業テーマ：Unit 2(1) Language and Culture: Listen &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to give your opinion about learning a language, to explain the effect of learning a second language 事前学修 2.0hr：Unit 2 Listen &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
7回	**授業テーマ：Unit 2(2) Language and Culture: Watch &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to discuss how language and culture are related, to present a saying or proverb 事前学修 2.0hr：Unit 2 Watch &Listen までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
8回	**授業テーマ：Unit 4(1) Why We Make Art: Watch &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to evaluate street art, to analyze the motivations of artists 事前学修 2.0hr：Unit 4 Watch &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。

9回	**授業テーマ：Unit 4(2) Why We Make Art: Listen &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to discuss art careers, to give a presentation about a work of art 事前学修 2.0hr：Unit 4 Listen &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
10回	**授業テーマ：Integrated Task 2　Part A** 授業内容：To work in pairs or groups to prepare for an integrated task, to collaborate and cooperate to complete the worksheet of the task 事前学修 2.0hr：授業で指示された Integrated Task 2 の準備を行う。 事後学修 2.0hr：次回発表に向けて Integrated Task 2 を完成させる。
11回	**授業テーマ：Integrated Task 2 Part B** 授業内容：To complete your integrated task for assessment, to perform the task, demonstrating your ability to use the language such as vocabulary and key expression 事前学修 2.0hr：発表準備・練習をする。 事後学修 2.0hr：Task の振り返りを書いて提出する。
12回	**授業テーマ：Debate Discussion 1** 授業内容：To learn about the langauge of debate that are common at the junior high school level, to participate in communicative activities, to do research on the topics 事前学修 2.0hr：グループ・プレゼンテーションの素材を確認する。 事後学修 2.0hr：debate skill worksheet を確認する。
13回	**授業テーマ：Debate Discussion 2** 授業内容：To prepare for the final debate discussion based on the outcomes of Integrated Task 2, to review your arguments from Integrated Task 2 and improve it. 事前学修 2.0hr：Integrated Task 2 の議論を振り返る。 事後学修 2.0hr：Final Debate Discussion の準備を行う。
14回	**授業テーマ：Debate Discussion 3** 授業内容：To prepare for the final debate discussion based on the outcomes of the last class, to review your arguments and make slides effective to your presentation 事前学修 2.0hr：Final Debate Discussion の準備を行う。 事後学修 2.0hr：Final Debate Discussion の準備・練習を行う。
15回	**授業テーマ：Debate Discussion 4** 授業内容：To have debate in teams using the language of debates you learned in the previous lessons, to judge the performances of the other teams and give feedback 事前学修 2.0hr：Task notes を振り返る。Final Debate Discussion の準備を行う。 事後学修 2.0hr：Debate Discussion の振り返りを書いて提出する。

Four Skills for Teaching b

開講学科等：英 ｜ 3 年次 ｜ 2 単位 ｜ 開講期：後

米村　珠子（よねむら　たまこ）・タイソン　ロード・パトリツィア　ハヤシ

▌授業の概要

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）取得希望者のための３・４年次前学期の必修科目で、中学校・高等学校における４技能統合型の授業を英語で行うために必要な英語運用能力の向上を目指すとともに、生徒のコミュニケーション能力や論理的・批判的・分析的思考力、課題解決力等を伸ばすための指導技術を、ディベート・ディスカッションにより学ぶ。授業は英語で行い、ペアやグループでのコミュニケーション活動を中心とする。

▌到達目標

一般目標：１．中学校・高等学校で育成すべき資質・能力を踏まえた５領域の技能を統合した言語活動の指導力を身に付ける。
２．生徒がコミュニケーション活動を通じて主体的・協働的な学習者となるための有効な援助を与えることができる。
３．論理的・批判的・分析的な思考力に基づく英語コミュニケーション活動を段階的に指導することができる。

個別目標：(1) インプットされた内容や表現を用いて、発表ややり取り、書くことにより自分の考えや意見をアウトプットすることができる。
(2) 自ら考え、他者と考えを共有する活動を積極的に行い、他の受講生や教師との良好なラポールを築くことができる。
(3) 他者と協働するコミュニケーション活動を通して、グローバルな視点で新たな価値を創造し行動することができる。

▌履修条件

1. 将来、中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する者。
2. 後学期に「Four Skills for Teaching b」を履修すること。
3. 原則として、「教職基礎セミナー（英語科）」Ⅰ～Ⅳの単位を修得していること。但し、特別な理由が認められる場合は「教職基礎セミナー（英語科）Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ」のいずれか一科目又は複数の科目と併修することを認める。

▌評価基準・方法

課題への取組（2 tasks）45 %、授業内活動の振り返り記録（Self-reflection Journal)15 %、Debate Discussion30%、授業への取組 10%

▌フィードバック方法

課題等のフィードバックは、授業及び学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ディスカッション、ディベート、課題解決学習）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （プレゼンテーション、フィードバック、アウトプットの共有）

▌教科書

REFLECT　3 Listening &Speaking (Student's book with online practice and student's Ebook): Laurie Blass, Mari Vargo: National Geographic Learning

▌参考書

必要に応じて授業で指示する。

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：Course Introduction** 授業内容：To make sure of the syllabus and course schedule, to know the students are expected to take part in group and pair activities to build a positive class atmosphere and set the tone for the course 事前学修 2.0hr：Unit 5 の内容を読む。講座スケジュールを確認する。 事後学修 2.0hr：授業で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：Unit 5(1) Explorers: Listen &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to discuss what it means to be an explorer, to consider explorers, past and present 事前学修 2.0hr：Unit 5 Listen &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
3回	**授業テーマ：Unit 5(2) Explorers: Watch &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to discuss exploration, past and present, to do role-play of an interview with an explorer 事前学修 2.0hr：Unit 5 Watch &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
4回	**授業テーマ：Integrated Task 1 Part A** 授業内容：To work in pairs or groups to prepare for an integrated task, to collaborate and cooperate to complete the worksheet of the task 事前学修 2.0hr：授業で指示された Integrated Task 1 の準備を行う。 事後学修 2.0hr：次回発表に向けて Integrated Task 1 を完成させる。
5回	**授業テーマ：Integrated Task 1 Part B** 授業内容：To complete your integrated task for assessment, to perform the task, demonstrating your ability to use the language such as vocabulary and key expression 事前学修 2.0hr：発表準備・練習をする。 事後学修 2.0hr：Task の振り返りを書いて提出する。
6回	**授業テーマ：Unit 7(1) Get Creative: Watch &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to discuss how boredom and creativity are related, to question ideas about boredom 事前学修 2.0hr：Unit 7 Watch &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
7回	**授業テーマ：Unit 7(2) Get Creative: Listen &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to evaluate how personal habits affect creativity, to present the results of a challenge to be more creative 事前学修 2.0hr：Unit 7 Listen &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
8回	**授業テーマ：Unit 8(1) Is There Good in Gaming?: Listen &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to consider reasons for joining a club or team, to evaluate your attitude toward video gaming 事前学修 2.0hr：Unit 8 Listen &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。

9回	**授業テーマ：Unit 8(2) Is There Good in Gaming?: Watchn &Speak** 授業内容：To engage in speaking and listening activities based on the materials of the textbook, to discuss players and types of video games, to present a review of a video game or an app 事前学修 2.0hr：Unit 8 Watch &Speak までの内容を確認する。 事後学修 2.0hr：教科書の exercise をやる。
10回	**授業テーマ：Integrated Task 2　Part A** 授業内容：To work in pairs or groups to prepare for an integrated task, to collaborate and cooperate to complete the worksheet of the task 事前学修 2.0hr：授業で指示された Integrated Task 2 の準備を行う。 事後学修 2.0hr：次回発表に向けて Integrated Task 2 を完成させる。
11回	**授業テーマ：Integrated Task 2 Part B** 授業内容：To complete your integrated task for assessment, to perform the task, demonstrating your ability to use the language such as vocabulary and key expression 事前学修 2.0hr：発表準備・練習をする。 事後学修 2.0hr：Task の振り返りを書いて提出する。
12回	**授業テーマ：Debate Discussion 1** 授業内容：To learn about the langauge of debate that are common at the senior high school level, to participate in communicative activities, to do research on the topics 事前学修 2.0hr：グループ・プレゼンテーションの素材を確認する。 事後学修 2.0hr：debate skill worksheet を確認する。
13回	**授業テーマ：Debate Discussion 2** 授業内容：To prepare for the final debate discussion based on the outcomes of Integrated Task 2, to review your arguments from Integrated Task 2 and improve it. 事前学修 2.0hr：Integrated Task 2 の議論を振り返る。 事後学修 2.0hr：Final Debate Discussion の準備を行う。
14回	**授業テーマ：Debate Discussion 3** 授業内容：To prepare for the final debate discussion based on the outcomes of the last class, to review your arguments and make slides effective to your presentation 事前学修 2.0hr：Final Debate Discussion の準備を行う。 事後学修 2.0hr：Final Debate Discussion の準備・練習を行う。
15回	**授業テーマ：Debate Discussion 4** 授業内容：To have debate in teams using the language of debates you learned in the previous lessons, to judge the performances of the other teams and give feedback 事前学修 2.0hr：Task notes を振り返る。Final Debate Discussion の準備を行う。 事後学修 2.0hr：Debate Discussion の振り返りを書いて提出する。

小学校英語基礎概論Ⅰ

開講学科等：英　｜　1年次　｜　2単位　｜　開講期：前

遠藤　哲也（えんどう　てつや）

▌授業の概要

・本学においては、中学校や高等学校における英語科教員になるための教職課程は設置しているが、小学校における教職課程は設置していない。本授業では、２０２０年度から全面実施された小学校における外国語（英語）に関する基礎的な概要を理解するために、小学校外国語活動及び外国語（英語）に関する専門的な事項や指導法の基礎を学修する。
・本授業は、小学校英語指導者認定協議会（J-SHINE）の指導者育成共通カリキュラムに基づいて実施する。

▌到達目標

一般目標：・小学校における外国語（英語）活動や外国語（英語）に関する専門的な知識を身に付ける
　　・小学校における外国語（英語）活動や外国語（英語）の基礎的な指導技術を身に付ける。
個別目標：・小学校における外国語（英語）活動や外国語（英語）に関する専門的知識を活用できる。
　　・小学校における外国語（英語）活動や外国語（英語）の基礎的な授業実践ができる。

▌履修条件

１．小学校英語に関する基礎的な知識をもった中学校・高等学校の英語科教員を目指し、教職課程を履修する熱意ある学生。
２．後学期において「小学校英語基礎概論Ⅱ」を履修する学生。
３．J-SHINE の「認定指導者」資格を取得希望の学生は、本講座の他、別途定める集中講座を受講しなければならない。

▌評価基準・方法

・授業におけるプレゼンテーション４０%、小レポート３０%、定期試験３０%による総合評価とする。
・なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、レポート返却後の個別指導（対面）や学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。小学校英語における言語活動の練習。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可）を利用した調べ学習。）

▌教科書

「小学校英語　はじめる教科書　改定３版 外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿ってー」
　吉田研作（監修）　小川 隆夫・東　仁美（著）：２０２４年　mpi 松香フォニックス

▌参考書

・「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）」・「小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編（平成 29 年告示）」
・「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック（文部科学省）」　・文部科学省教材「Let's Try!」
・教科用図書

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：オリエンテーション** 授業内容：・授業概要の説明 ・学習指導要領における外国語活動と外国語の位置づけを知る。 事前学修 2.0hr：テキストを概観し、自分なりの教育観について考えをまとめておく。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：小学校英語教育の変遷** 授業内容：テキスト第二部　Unit 1「小学校英語教育の変遷」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：英語の音声、発音と綴りの関係、文構造・文法** 授業内容：テキスト第二部　Unit 2「英語の音声」、Unit 3「発音と綴りの関係」、Unit 4「英語の文構造・文法」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
4回	**授業テーマ：第二言語習得に関する基本的な知識** 授業内容：テキスト第二部 Unit 6「第二言語習得に関する基本的な知識」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、発表資料を修正する。
5回	**授業テーマ：児童文学（絵本、子ども向けの歌や詩）** 授業内容：テキスト第二部 Unit 7「児童文学（絵本）」、Unit 8「児童文学（子ども向けの歌や詩）」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
6回	**授業テーマ：異文化理解、英語の書き方** 授業内容：テキスト第二部 Unit 9 「異文化理解」、Unit 10「英語の書き方」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：英語コミュニケーション（領域統合型の言語活動）** 授業内容：テキスト第二部 Unit 15 「英語コミュニケーション（領域統合型の言語活動）」及び Unit 11 から Unit 14 の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
8回	**授業テーマ：小学校英語の理念と現状の理解、中学年外国語活動から高学年外国語科への接続** 授業内容：テキスト第三部　Unit 1 「小学校英語の理念と現状の理解」、Unit 2 「中学年外国語活動から高学年外国語科への接続」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

9回	**授業テーマ：外国語活動と外国語科の目標、小・中の接続と小学校の役割** 授業内容：テキスト第一部 Unit 1「外国語活動と外国語科の目標」、Unit 2「小・中の接続と小学校の役割」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
10回	**授業テーマ：児童や学校の多様性への対応** 授業内容：テキスト第一部　Unit 3「児童や学校の多様性への対応」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：発達心理学の基礎、児童の認知・情緒発達に即した指導法** 授業内容：テキスト　第三部 Unit3「発達心理学の基礎」、Unit 5「児童の認知・情緒発達に即した指導法」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：国語教育との連携、学級担任と JET とのティーム・ティーチング** 授業内容：テキスト第一部 Unit 7「国語教育との連携」、テキスト第三部 Unit 6「学級担任と JET とのティーム・ティーチング」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：ことばへの気づきをもたらす指導、外国語活動の学習評価** 授業内容：テキスト第三部 Unit 7「ことばへの気づきをもたらす指導」、Unit 8「外国語活動の学習評価」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：中学年に適したさまざまな活動、中学年に適した教材** 授業内容：テキスト第三部 Unit 9「中学年に適したさまざまな活動」、Unit 10「中学年に適した教材」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：英語によるやり取りの仕方、児童の発話の引き出し方・児童とのやり取りの進め方** 授業内容：テキスト第三部 Unit 11「英語によるやり取りの仕方」、Unit 12「児童の発話の引き出し方・児童とのやり取りの進め方」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

小学校英語基礎概論Ⅱ

開講学科等：英　｜　1 年次　｜　2 単位　｜　開講期：後

遠藤　哲也 (えんどう　てつや)

▌授業の概要

・本学においては、中学校や高等学校における英語科教員になるための教職課程は設置しているが、小学校における教職課程は設置していない。本授業では、前学期に引き続き、小学校における外国語(英語)に関する基礎的な概要を理解するために、小学校外国語活動及び外国語(英語)に関する専門的な事項や指導法の基礎を学修する。
・本授業は、小学校英語指導者認定協議会(J-SHINE) の指導者育成共通カリキュラムに基づいて実施する。

▌到達目標

一般目標：・小学校における外国語(英語)活動や外国語(英語)に関する専門的な知識を身に付ける
　　・小学校における外国語(英語)活動や外国語(英語)の基礎的な指導技術を身に付ける。
個別目標：・小学校における外国語(英語)活動や外国語(英語)に関する専門的知識を活用できる。
　　・小学校における外国語(英語)活動や外国語(英語)の基礎的な授業実践ができる。

▌履修条件

・原則として、「小学校英語基礎概論Ⅰ」の単位を修得した者。
・なお、５分の４以上の出席を評価の対象とし、欠席は減点する。

▌評価基準・方法

・授業におけるプレゼンテーション４０%、小レポート３０%、定期試験３０%による総合評価とする。
・なお、５分の４以上の出席を評価の前提条件とし、欠席は減点する。

▌フィードバック方法

・課題等のフィードバックは、レポート返却後の個別指導(対面)や学修支援システム manaba を通して行う。

▌アクティブ・ラーニングの実施（実施内容）

あり （ペアワーク、グループ協議の実施。マイクロ・ティーチングの実施。）

▌授業での PC の利用（利用内容）

あり （PC（スマートフォン可)を利用した調べ学習。ICT を活用したマイクロ・ティーチングの実施。）

▌教科書

「小学校英語　はじめる教科書　改定3版 外国語科・外国語活動指導者養成のためにーコア・カリキュラムに沿ってー」
　吉田研作(監修)　小川 隆夫・東　仁美(著)：２０２４年　 mpi 松香フォニックス

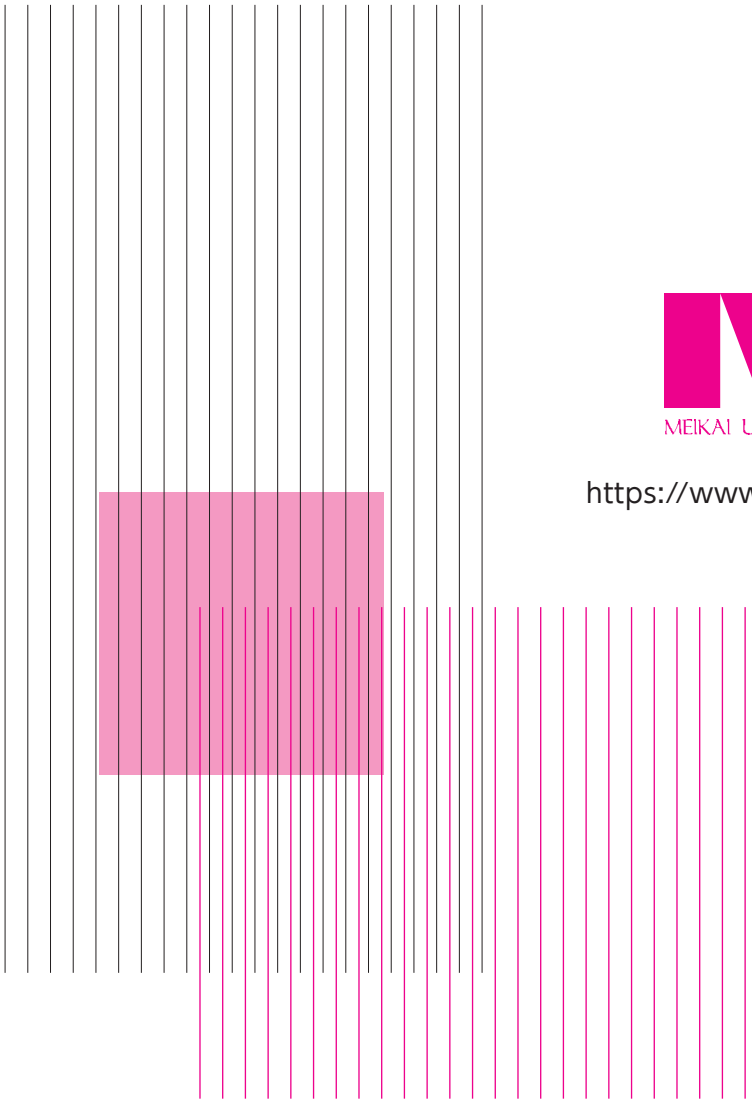
▌参考書

・「小学校学習指導要領(平成 29 年告示)」・「小学校学習指導要領解説外国語活動・外国語編(平成 29 年告示)」
・「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック(文部科学省)」　・文部科学省教材「Let's Try!」
・教科用図書

▌授業テーマ・授業内容と授業外（事前・事後）の学修及び学修目安時間

1回	**授業テーマ：語彙や表現に慣れ親しませる方法** 授業内容：テキスト第三部 Unit 13 「語彙や表現に慣れ親しませる方法」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
2回	**授業テーマ：読み聞かせ指導** 授業内容：テキスト第三部 Unit 14 「読み聞かせ指導」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
3回	**授業テーマ：発表活動の指導** 授業内容：テキスト第三部 Unit 15 「発表活動の指導」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
4回	**授業テーマ：言語使用を通した言語習得・音声によるインプット** 授業内容：テキスト第一部 Unit 4 「言語使用を通した言語習得・音声によるインプット」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
5回	**授業テーマ：コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動** 授業内容：テキスト第一部 Unit 5 「コミュニケーションの目的や場面、状況等を明確にした言語活動」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
6回	**授業テーマ：音声から文字へ** 授業内容：テキスト第一部 Unit 6 「音声から文字へ」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
7回	**授業テーマ：Classroom English, Small Talk, Teacher Talk** 授業内容：テキスト第一部 Unit 8 「Classroom English, Small Talk, Teacher Talk」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内容を受け、小レポートを作成する。
8回	**授業テーマ：「読むこと」と「書くこと」への導き方** 授業内容：テキスト第一部 Unit 9 「『読むこと』と『書くこと』への導き方」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
9回	**授業テーマ：題材の選定と教材** 授業内容：テキスト第一部 Unit 10 「題材の選定と教材」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。

10回	**授業テーマ：学習到達目標、指導計画(カリキュラム・マネジメント)** 授業内容：テキスト第一部 Unit 11 「学習到達目標、指導計画(カリキュラム・マネジメント)」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を予習する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
11回	**授業テーマ：ＡＬＴ等とのティーム・ティーチングによる指導の在り方** 授業内容：テキスト第一部 Unit 12 「学習指導案の作り方」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分を読み、その概要をまとめる。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
12回	**授業テーマ：ＡＬＴ等とのティーム・ティーチングによる指導の在り方** 授業内容：テキスト第一部 Unit 13 「ＡＬＴ等とのティーム・ティーチングによる指導の在り方」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
13回	**授業テーマ：外国語科の学習評価** 授業内容：テキスト第一部 Unit 15 「外国語科の学習評価」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
14回	**授業テーマ：デジタル教科書の活用** 授業内容：テキスト第一部 Unit 14 「デジタル教科書の活用」の内容をまとめたものを発表し、協議する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。
15回	**授業テーマ：小学校外国語(英語)活動と外国語(英語)の模擬授業の実演** 授業内容：模擬授業(マイクロ・ティーチング)を実施する。 事前学修 2.0hr：テキストの該当部分の概要をまとめ、発表資料を作成する。 事後学修 2.0hr：授業内で指示された課題に取り組む。



MEIKAI UNIVERSITY

https://www.meikai.ac.jp